

日本医科大学研究業績年報

第 62 卷

Nippon Medical School Research Annual

Vol. 62



平成27 (2015) 年度

April 2015—March 2016

日本医科大学研究業績年報

第 62 卷

Nippon Medical School Research Annual

Vol. 62

平成 27 (2015) 年度

April 2015 — March 2016

まえがき

学長 弦 間 昭 彦

日本医科大学研究業績年報は、2015年度版で第62巻を数えるに至りました。この年報の発刊は、大学として、研究業績を世の中に発信する貴重な事業であります。研究機関としての評価は、研究論文、学会発表、公的資金の獲得、知的財産権の保持など、多岐に渡る指標でなされていますが、いずれも客観的に表しやすい指標であります。しかし、これらの研究実績は量で定められるものではなく、「影響の大きさや深さ」が加味されなければなりません。特に、近年は、国家的戦略として、実社会での応用の視点が強調されるようになりました。公的資金の獲得、知的財産権の保持については、「影響の大きさや深さ」の一面を表している様に思いますが、その指標でも内容の吟味が必要であります。すべての根幹にあたる研究論文、学会発表は、尚更であります。

2015年度の総論文数は1,841編、欧文数が927編、また学会発表数は4,722件であります。我が国の医学論文数の減少が取りざたされる昨今であります。長い時間軸で見ると、本学も順調な右肩上がりとは行っていない状況ではあります。しかし、内容的に高く評価されているものが多く見られる様に思います。今年度文部科学省関連の科学研究費は、前年度に比較し20%以上増加して、3億円を超えました。これも、教職員の皆さんの日頃の努力による研究業績の蓄積あつてのことであることは語るまでもありません。この傾向が継続することを願っております。

「グローバル化」は「厳しい競争への参入」とも言えます。大学として、国際競争を見据えて、次年度以降の研究業績を質量ともにさらに高める必要があります。さらなる研究の推進発展を期待しております。

最後にこの業績年報の編集にご尽力下さいました近藤幸尋研究部委員会委員長ならびに関係各位に謝意を表します。

目 次

〔1〕基礎科学

1. 人文科学・社会科学	1
[医療心理学]	1
2. 自然科学	3
[数 学]	3
[物理学]	4
[化 学]	5
[生物学]	6
3. 外国語	9
[英語]	9
4. スポーツ科学	10

〔2〕基礎医学

1. 分子解剖学分野	13
2. 解剖学・神経生物学分野	16
3. 感覚情報科学分野	18
4. 生体統御科学分野	20
5. 代謝・栄養学分野	22
6. 分子遺伝医学分野	24
7. 薬理学分野	31
8. 解析人体病理学分野	34
9. 統御機構診断病理学分野	39
10. 微生物学・免疫学分野	44
11. 衛生学公衆衛生学分野	47
12. 法医学分野	53
13. 医療管理学分野	55
14. 基礎医学共同研究利用施設	56
[実験動物管理室]	56
[形態解析共同研究施設]	57
[基礎医学放射性同位元素研究室]	58

〔3〕臨床医学

1. 総合医療・健康科学分野	62
[付属病院総合診療科]	62
2. 循環器内科学分野	63
[付属病院循環器内科]	63
[武蔵小杉病院循環器内科]	82
[多摩永山病院内科、循環器内科]	87
[千葉北総病院循環器内科]	97
3. 神経内科学分野	103
[付属病院神経・脳血管内科]	103
[多摩永山病院脳神経内科]	109
[千葉北総病院神経・脳血管内科]	110
[脳病態画像解析学講座]	111
4. 腎臓内科学分野	113
[付属病院腎臓内科]	113
[武蔵小杉病院腎臓内科]	117
[多摩永山病院腎臓内科]	117

	[千葉北総病院腎臓内科].....	119
5.	血液内科学分野.....	120
	[付属病院血液内科].....	120
	[千葉北総病院血液内科].....	127
6.	消化器内科学分野.....	130
	[付属病院消化器・肝臓内科].....	130
	[千葉北総病院消化器内科].....	134
7.	内分泌糖尿病代謝内科学分野.....	141
	[付属病院糖尿病・内分泌代謝内科].....	141
	[武蔵小杉病院動脈硬化・糖尿病・内分泌内科].....	145
	[千葉北総病院内分泌内科].....	147
8.	呼吸器内科学分野.....	149
	[付属病院呼吸器内科、化学療法科].....	149
	[武蔵小杉病院呼吸器内科].....	156
	[武蔵小杉病院腫瘍内科].....	157
	[千葉北総病院呼吸器内科].....	159
9.	精神・行動医学分野.....	161
	[付属病院精神神経科・武蔵小杉病院精神科・千葉北総病院メンタルヘルス科].....	161
10.	小児・思春期医学分野.....	167
	[付属病院小児科・武蔵小杉病院周産期・小児医療センター（小児科、小児外科、新生児内科）・多摩永山病院小児科・千葉北総病院小児科].....	167
11.	臨床放射線医学分野.....	178
	[付属病院放射線科、放射線治療科].....	178
	[武蔵小杉病院放射線科].....	185
	[武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター].....	187
	[多摩永山病院放射線科].....	190
	[多摩永山病院放射線治療科].....	191
	[千葉北総病院放射線科].....	192
12.	皮膚粘膜病態学分野.....	194
	[付属病院皮膚科].....	194
	[武蔵小杉病院皮膚科].....	202
	[多摩永山病院皮膚科].....	204
13.	消化器外科学分野.....	206
	[付属病院消化器外科・一般外科・移植外科].....	206
	[多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科].....	236
	[千葉北総病院外科・消化器外科].....	254
14.	乳腺外科学分野.....	266
	[付属病院乳腺科].....	266
	[武蔵小杉病院乳腺外科].....	269
15.	内分泌外科学分野.....	270
	[付属病院内分泌外科].....	270
	[武蔵小杉病院内分泌外科].....	273
16.	心臓血管外科学分野.....	274
	[付属病院心臓血管外科・千葉北総病院胸部・心臓血管外科].....	274
	[武蔵小杉病院心臓血管外科].....	278
17.	呼吸器外科学分野.....	279
	[付属病院呼吸器外科・千葉北総病院呼吸器外科].....	279
	[武蔵小杉病院呼吸器外科].....	285
	[多摩永山病院呼吸器外科].....	285

18.	脳神経外科学分野	287
	[付属病院脳神経外科]	287
	[武蔵小杉病院脳神経外科]	295
	[多摩永山病院脳神経外科]	295
	[千葉北総病院脳神経外科]	297
19.	整形外科学分野	306
	[付属病院整形外科・リウマチ外科、武蔵小杉病院整形外科、多摩永山病院整形外科、千葉北総病院整形外科]	306
20.	女性生殖発達病態学分野	314
	[付属病院女性診療科・産科]	314
	[武蔵小杉病院女性診療科・産科]	318
	[多摩永山病院女性診療科・産科]	322
	[千葉北総病院女性診療科・産科]	327
21.	頭頸部・感覚器科学分野	329
	[付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科・武蔵小杉病院耳鼻咽喉科・多摩永山病院耳鼻咽喉科・千葉北総病院耳鼻咽喉科]	329
22.	男性生殖器・泌尿器科学分野	335
	[付属病院泌尿器科]	335
	[武蔵小杉病院泌尿器科]	339
	[多摩永山病院泌尿器科]	340
	[千葉北総病院泌尿器科]	341
23.	眼科学分野	343
	[付属病院眼科・武蔵小杉病院眼科・多摩永山病院眼科・千葉北総病院眼科]	343
24.	疼痛制御麻酔科学分野	350
	[付属病院麻酔科・ペインクリニック]	350
	[武蔵小杉病院麻酔科]	355
	[多摩永山病院麻酔科]	356
	[千葉北総病院麻酔科]	357
25.	救急医学分野	358
	[付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター]	358
	[武蔵小杉病院救命救急センター]	368
	[多摩永山病院救命救急センター]	372
	[千葉北総病院救命救急センター]	375
26.	形成再建再生医学分野	381
	[付属病院形成外科・美容外科]	381
	[武蔵小杉病院形成外科]	392
	[千葉北総病院形成外科]	394
27.	リハビリテーション学分野	396
	[付属病院リハビリテーション科]	396
	[千葉北総病院リハビリテーション科]	396
28.	付属病院付置施設等	397
	[付属病院遺伝診療科]	397
	[付属病院心臓血管集中治療科]	399
	[付属病院病理診断科・病理部]	402
	[付属病院臨床検査部]	405
	[付属病院薬剤部]	407
	[付属病院看護部]	408
	[付属病院放射線科技師室]	410

	[付属病院 ME 部].....	411
	[付属病院東洋医学科].....	412
	[ゲノム先端医療部].....	416
29.	武蔵小杉病院付置施設等.....	419
	[武蔵小杉病院消化器病センター].....	419
	[武蔵小杉病院中央検査室].....	424
	[武蔵小杉病院薬剤部].....	425
	[武蔵小杉病院看護部].....	427
	[武蔵小杉病院放射線科技師室].....	428
	[武蔵小杉病院認知症センター].....	429
30.	多摩永山病院付置施設等.....	432
	[多摩永山病院病理部].....	432
	[多摩永山病院中央検査室].....	433
	[多摩永山病院薬剤部].....	434
	[多摩永山病院看護部].....	435
	[多摩永山病院消化器科].....	438
31.	千葉北総病院付置施設等.....	440
	[千葉北総病院集中治療室].....	440
	[千葉北総病院病理部].....	441
	[千葉北総病院中央検査室].....	441
	[千葉北総病院薬剤部].....	442
	[千葉北総病院放射線センター].....	443
	[千葉北総病院歯科].....	444
	[千葉北総病院看護部].....	444
〔4〕 付置研究施設		
1.	先端医学研究所.....	449
	[分子細胞構造学分野].....	449
	[細胞生物学分野].....	449
	[生体機能制御学分野].....	451
2.	健診医療センター.....	453
3.	成田国際空港クリニック.....	454
〔5〕 その他		
1.	医学教育センター.....	457
付表：1. 各種研究費補助金・研究助成金交付状況..... 461		
1)	平成 27 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金・一部基金）交付決定一覧.....	461
2)	平成 27 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金・一部基金）研究分担の交付決定一覧.....	462
3)	平成 27 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）交付決定一覧.....	463
4)	平成 27 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究分担の交付決定一覧.....	469
5)	平成 27 年度補助・委託一覧.....	471
6)	平成 27 年度学術賞受賞一覧.....	484
7)	平成 27 年度知的財産一覧（特許権）.....	488
2.	動物実験実施状況.....	489
1)	平成 27 年度教室別動物実験実施予定者数、実験計画書（課題）数および 使用動物数（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）.....	489
2)	平成 27 年度千駄木地区実験動物飼育施設動物種別飼育室別稼働率（ケージ数を基に算出（%））.....	490
3)	平成 27 年度千駄木地区実験動物飼育施設動物種別飼育室別搬入数.....	491
4)	平成 27 年度千駄木地区実験動物飼育施設動物種別飼育室別搬出数.....	492
5)	平成 27 年度千駄木地区実験動物飼育施設動物種別飼育室別延べ飼育数.....	493

〔1〕 基 礎 科 学

1. 人文科学・社会科学

[医療心理学]

研究概要

医療心理学教室では、高齢者、軽度認知機能障害、認知症患者、またその介護家族などを対象とする非薬物療法やケアのあり方をテーマとして、調査研究や介入研究を行っている。認知症ケアに関しては、武蔵小杉病院街ぐるみ認知症相談センターの活動に参加し、認知症の早期発見・早期対応に取り組み、介護者への支援、認知症を発症した患者へのケアのあり方を検討している。また、そうした対象者に認知行動療法を適応する試みを進めている。これに加え、高齢者の犯罪という新しい問題を受け、刑務所で受刑している高齢者の認知機能と個人プロフィールの調査研究を実施している。高齢受刑者の増加は大きな社会問題になりつつあり、今後も重要性が増すことが予想される研究課題である。法と精神医学・医療心理学にまたがる領域が研究の対象であり、上記矯正施設での調査研究、医療観察法の審判への参加、労務災害、公務災害への参加などを行っている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Asami T, Yanase M, Nomura T, Okubo Y : Treatment for female patients with eating disorders in the largest medical prison in Japan. *BioPsychoSocial Medicine* 2015 ; 9.
- 2) 野村俊明, 川西智也, 奥村雄介 : 高齢初回受刑者のプロフィールに関する研究. *老年精神医学雑誌* 2015 ; 26 (3) : 297-303.
- 3) 川西智也, 野村俊明, 山本 卓, 北村 伸 : 「当事者ニーズ中心」のケア学へー北欧視察をふまえた認知症ケアについての考察. *日本医科大学基礎科学紀要* 2015 ; 44 : 47-59.
- 4) 山口正寛, 石村郁夫, 鋤柄のぞみ, 野村俊明 : ネガティブ感情の受容困難さと抑うつにおける双方向性の影響過程. *東京未来大学研究紀要* 2015 ; 8 : 169-177.
- 5) 野村俊明 : ロジャーズ派の精神療法およびカウンセリングの副作用. *精神神経学雑誌* 2015 ; 117 (4) : 452-456.
- 6) 野村俊明 : ロジャーズ派の精神療法から始めて. *精神療法増刊* 2015 ; 2 : 77-83.
- 7) 川西智也, 野村俊明, 原 祐子, 渡邊 悟, 山本麻奈, 奥村雄介 : 高齢累犯受刑者のプロフィールに関する研究. *老年精神医学雑誌* 2015 ; 26 (9) : 1028-1036.
- 8) 福栄太郎, 福栄みか, 野村俊明 : 多職種の協働によるひきこもり支援. *臨床精神医学* 2015 ; 44 (12) : 1603-1628.
- 9) 野村俊明 : 高齢受刑者のプロフィール調査からみる矯正医療の今後. *矯正医学* 2015 ; 64 (3) : 92-103.
- 10) 野村俊明 : 大学生のうつ病とその周辺. *首都大学東京学生サポートセンターレポート* 2015 ; 10 : 39-57.

著書

- 1) 小川俊樹, 樫村正美 : [分担] 臨床心理学とは. *ライブラリスタンダード心理学10 スタンダード臨床心理学* (杉江征・青木佐奈枝 (編)), 2015 ; pp1-33, サイエンス社.
- 2) 野村俊明, 青木紀久代 : [編集] *くらしの中の心理臨床 第1巻 うつ* (野村俊明・青木紀久代), 2015 ; 福村出版.
- 3) 樫村正美, 堀越 勝 : [分担] *抑うつの治療 (1) : 精神療法. くらしの中の心理臨床 第1巻うつ* (野村俊明・青木紀久代 (編)), 2015 ; pp131-141, 福村出版.
- 4) 樫村正美, 高木優子 : [分担] *診断基準. くらしの中の心理臨床 第1巻うつ* (野村俊明・青木紀久代 (編)), 2015 ; pp164-171, 福村出版.
- 5) 野村俊明, 青木紀久代, 堀越 勝 : [編集] *くらしの中の心理臨床 第2巻 パーソナリティ障害* (野村俊明・青木紀久代・堀越勝), 2016 ; 福村出版.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 野村俊明 : 高齢者によくみられる精神障害とその非薬物治療. *日本運動・スポーツ科学学会 (第22回)* (東京), 2015.

(2) シンポジウム：

- 1) 野村俊明 : 高齢受刑者のプロフィール調査からみる矯正医療の今後. *日本矯正医学会 (第62回)* (東京), 2015.
- 2) 野村俊明 : 暮らしの中の心理臨床と多職種協働. *日本心理臨床学会 (第34回)* (神戸), 2015.
- 3) 樫村正美 : 高齢者に対する認知行動療法の適用の可能性 (認知症患者および介護家族への介入を中心に). *日本うつ病学会総会 (第*

12回)・日本認知療法学会(第15回)合同企画(東京),2015.

(3)

- 1) Saito A, Aoki K, Hirano N, Kobayashi, Nomura T, Asahi : Stress of Japanese Youth Overseas : Cross-Cultural Comparisons in the U.S., Hong Kong, Japan. American Psychological Association.123th Annual Convention.(Tronto), 2015.
- 2) Koshi M, Aoki K, Kobayashi, Hirano N, Machizawa S, Nomura T, Yasuda M : A cross-cultural multilevel analysis of how school connectedness resilience among Japanese students at home and abroad. American Psychological Association.123th Annual Convention.(Tronto), 2015.
- 3) 稲垣千草, 根本留美, 川西智也, 並木香奈子, 井上志津子, 長久美江子, 石渡明子, 野村俊明, 北村 伸 : 地域の認知症相談における独居/高齢者世帯の特徴 : 多世代同居群との比較. 老年精神医学会(第30回), 2015.
- 4) 根本留美, 稲垣千草, 川西智也, 並木香奈子, 井上志津子, 長久美江子, 石渡明子, 野村俊明, 北村 伸 : 地域臨床における家族支援についての一考察. 認知症ケア学会(第17回), 2015.
- 5) 川西智也, 根本留美, 稲垣千草, 並木香奈子, 井上志津子, 長久美江子, 石渡明子, 野村俊明, 北村 伸 : 本人家族間の「もの忘れ」理解の一致不一致からみたもの忘れ相談の意義. 認知症ケア学会(第17回), 2015.
- 6) 稲垣千草, 根本留美, 川西智也, 並木香奈子, 井上志津子, 長久美江子, 石渡明子, 野村俊明, 北村 伸 : 早期発見にむけての継続的な見守り支援の取り組み. 認知症ケア学会(第17回), 2015.
- 7) 樫村正美, 野村俊明, 石渡明子, 北村 伸 : もの忘れを主訴とした高齢者に対する認知行動療法の安全性の検討. 認知症予防学会(第5回)(神戸), 2015.
- 8) 並木香奈子, 川西智也, 根本留美, 稲垣千草, 井上志津子, 長久美江子, 石渡明子 : 地域のかかりつけ医における認知症診療に関する調査. 認知症予防学会(第5回)(神戸), 2015.
- 9) 川西智也, 根本留美, 稲垣千草, 並木香奈子, 井上志津子, 長久美江子, 石渡明子, 野村俊明, 北村 伸 : 地域のもの忘れ相談機関を利用した潜在的なDLB患者の症状と認知機能. 認知症予防学会(第5回)(神戸), 2015.
- 10) 根本留美, 稲垣千草, 川西智也, 並木香奈子, 井上志津子, 長久美江子, 石渡明子, 野村俊明, 北村 伸 : 認知症早期発見における地域連携 : かかりつけ医からの相談者紹介における一考察. 認知症予防学会(第5回), 2015.
- 11) 稲垣千草, 根本留美, 川西智也, 並木香奈子, 井上志津子, 長久美江子, 石渡明子, 野村俊明, 北村 伸 : 専門職向け公開講座の開催 : 講座の有用性と専門職のニーズについての検討. 認知症予防学会(第5回), 2015.
- 12) 稲垣千草, 根本留美, 川西智也, 並木香奈子, 井上志津子, 長久美江子, 石渡明子, 野村俊明, 北村 伸 : 早期発見にむけての継続的な見守り支援の取り組み. 認知症ケア学会(第16回), 2015.

2. 自然科学

[数学]

研究概要

ヘルムホルツ方程式や定常シュレーディンガー方程式等に対する一様リゾルベント評価の研究を行い、その応用として、対応する時間発展方程式の解の平滑化効果や極限振幅の原理等、既存の結果で未解決の問題に1つの解答を与えた。(中澤)作用素論、特に作用素不等式および numerical range について考察を続けた。3角不等式の一般化についてまとめた。また、本「数学と近代の世界観」の翻訳(共著)を進めた。(儀我)

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Mochizuki K¹⁾, Nakazawa H²⁾ (¹⁾ Emeritus, Tokyo Metropolitan University, ²⁾ Department of Mathematics, Nippon Medical School) : Uniform resolvent estimates for magnetic Schrodinger operators in 2D exterior domain and their applications to related evolution equations. Publ. RIMS. Kyoto. Univ. 2015 ; 51 (2) : 319-336.
- 2) Mochizuki K¹⁾, Nakazawa H²⁾ (¹⁾ Emeritus, Tokyo Metropolitan University, ²⁾ Department of Mathematics, Nippon Medical School) : Uniform resolvent estimates for Helmholtz equations in 2D exterior domain and their applications. 数理解析研究所講究録 2015 ; 1962 : 68-76.
- 3) Uchiyama M¹⁾, Uchiyama A²⁾, Mariko G (¹⁾ Shimane University, ²⁾ Yamagata University) : Superadditivity and derivative of operator functions. Linear Algebra and its Applications 2015 ; 465 : 401-411.
- 4) 儀我真理子 : 数学と近代の世界観 : Mathematics and the Modern View of the World. 数学教育学会誌 2015 ; 2015 (2) : 161-163.

(2) 研究報告書：

- 1) Giga M, Uchiyama M¹⁾, Uchiyama A²⁾ (¹⁾ Ritsumeikan Univesity, ²⁾ Yamagata Univesity) : Superadditivity and derivative of operator functions. 数理解析研究所講究録 2015 ; 1935 : 95-106.

著書

- 1) 中澤秀夫 : [編集] スペクトル・散乱理論とその周辺 Spectral and Scattering Theory and Related Topics. RIMS 研究集会報告集 1975, 2015 ; pp1-126, 京都大学数理解析研究所.

学会発表

(1) 招待講演：

- 1) 中澤秀夫 : 摩擦項を伴う波動方程式の定常問題に対する解の評価とその応用. 信州大学偏微分方程式研究集会 (信州大学理学部 A棟 4階 数理自然合同研究室), 2015. 6.
- 2) 中澤秀夫 : 2次元外部領域におけるシュレーディンガー作用素の一様リゾルベント評価とその応用. 第2回 解析学の耳袋 (沼津市 ブラサ ヴェルデ 4階 会議室 402), 2015. 10.

(2) パネルディスカッション：

- 1) 儀我真理子 : 数学と近代の世界観 (数学と現実世界 - 数学の特性とその進化論的基礎 -). 数学教育学会 (2015年度秋季例会) (京都), 2015. 9.

(3) 一般講演：

- 1) Nakazawa H : Uniform resolvent estimate for stationary dissipative wave equations in an exterior domain and their application to the principle of limiting amplitude. 10th International ISAAC Congress (Macao, China), 2015. 8.
- 2) 中澤秀夫 : 摩擦項を伴う波動方程式の極限振幅の原理. 2015年夏の作用素論シンポジウム (福井フェニックス・プラザ), 2015. 9.
- 3) 儀我真理子 : 作用素不等式とその周辺. 武蔵野偏微分方程式研究集会 (東京), 2015. 10.

学会発表

[追加分]

追加分一般講演：

- 1) Giga M, Uchiyama M¹⁾, Uchiyama A²⁾ (¹⁾ Ritsumeikan Univesity, ²⁾ Yamagata University) : Superadditivity and derivative of

[物理学]

研究概要

今年度の研究概要は以下の通りである。1. キサンチン酸化還元酵素 (XOR) において、レセプターリガンド相互作用に関する研究を継続して行っている。阻害剤 BOF がバクテリア由来の XOR のキャビティーに入ったときに、キャビティー入り口付近の1つのペプチドターンの、酵素の外側に開いて、BOF が外れやすいような動きをすることがわかったが、分子動力学計算を更に行うことによって、哺乳類の同じ箇所が同じような動きをしないことがわかった。XOR と BOF の相互作用に関する静的、動的な構造に関する論文としてまとめている他、生体の様々な分子が XOR キャビティー内に入出入りすることを制御している部分ではないかという仮説に基づき、本来の基質が XOR キャビティー内に入ったときの状況を計算している。(菊地, 藤崎) 2. 溶媒に存在する励起分子のスペクトル形状関数の定式化を行い始めた。以前、溶媒を単なる熱浴と近似したスペクトル形状関数を定式化したが、溶媒による熱浴以外の効果に関しても、スペクトル形状関数に与える影響を明らかにするように定式化を行っている。(菊地) 3. 奈良女子大の戸田幹人准教授と、生体分子におけるエネルギー移動と構造変化の関連に関して、時系列解析の観点から解析を進めている。(藤崎) 4. 去年に引き続き、いくつかの国際会議でレアイベントに関する研究成果を発表し、またいくつかのシンポジウムを共同企画した。これと関連して、現在はレアイベントにおけるキネティクスを計算する手法を Luca Maragliano 氏, 光武亜代理氏 (慶応大) と共同で開発し、論文にまとめている。(藤崎) なお、1 に関しては科研費基盤 C, 3 に関しては萌芽研究の助成を受けている。

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Fujisaki H, Moritsugu K¹⁾, Matsunaga Y²⁾, Tetsuya M³⁾, Luca M⁴⁾ (¹⁾ Graduate School of Medical Life Science, Yokohama City University, ²⁾ Advanced Institute for Computational Science, ³⁾ National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, ⁴⁾ Center for Synaptic Neuroscience, Italian Institute of Technology) : Extended phase-space methods for enhanced sampling in molecular simulations : a review. *Frontiers in Bioengineering and Biotechnology* 2015 ; 3 (125) : 1-10.

(2) 総説:

- 1) 藤崎弘士: 分子系における遷移・反応レートの計算法について II. 分子シミュレーション学会誌アンサンブル 2015 ; 17 : 175-180.
- 2) 藤崎弘士: 分子系における遷移・反応レートの計算法について III. 分子シミュレーション学会誌アンサンブル 2016 ; 18 : 39-44.

学会発表

(1) 招待講演:

- 1) 藤崎弘士: 生体分子に対するレアイベントサンプリングの理論的アプローチ. 日本蛋白質科学会年会 (第 15 回) (徳島市), 2015. 6.
- 2) 藤崎弘士: 複雑な分子はどんな道筋を通過して、どれくらい速く反応するのか?: 反応経路計算の理論化学的アプローチについて. 津田沼分子科学フォーラム (千葉工業大学), 2015. 7.
- 3) 藤崎弘士: 生体分子におけるパスサーチ・パスサンプリング. ランダム力学系とその応用 2015 (京都大学数理解析研究所), 2015. 9.

(2) セミナー:

- 1) 藤崎弘士: 生体分子における反応経路とキネティクスの計算手法. 矢上統計物理学セミナー (慶応大学), 2015. 5.

(3) 一般講演:

- 1) Kikuchi H, Fujisaki H, Furuta T¹⁾, Okamoto K²⁾, Nishino T³⁾ (¹⁾ Center for Biological Resources and Informatics, Tokyo Institute of Technology, ²⁾ Department of Biochemistry, Nippon Medical School, ³⁾ Department of Applied Biological Chemistry, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, University of Tokyo) : On the motion of a loop located in the entrance to the ligand-binding pocket of bacterial XOR with the inhibitor BOF. 53rd Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan (Kanazawa Univ.), 2015. 9.
- 2) Fujisaki H, Mitsutake A¹⁾ (¹⁾ Department of Physics, Keio University) : Investigating kinetics of conformational change using molecular dynamics and milestoning. 53rd Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan (Kanazawa Univ.), 2015. 9.
- 3) Fujisaki H, Mitsutake A¹⁾ (¹⁾ Department of Physics, Keio University) : Investigating kinetics of conformational change using molecular dynamics and milestoning. Biophysical Society 60th Annual Meeting (Los Angeles Convention Center), 2016. 2.
- 4) 藤崎弘士: 生体分子におけるキネティクスの計算手法. 研究会「非線形現象の捉え方」(FIT セミナーハウス (大分県由布院)),

2015. 10.

- 5) 藤崎弘士：生体分子におけるパスサーチ・パスサンプリング. 研究交流会「理論分子科学・分子非線形科学のこれまでとこれから」(東京大学(駒場キャンパス)), 2016. 3.
- 6) 藤崎弘士, 光武亜代理¹⁾ (1) 慶応大学, 理学部物理学科)：生体分子における構造変化遷移レートのマイルストーン法を用いた計算. 日本物理学会第71回年会(東北学院大学(泉キャンパス)), 2016. 3.

[化学]

研究概要

中村：(1) フラーレン誘導体の合成及び、その HIV 逆転写酵素阻害、アポトーシス誘導などの生物活性に関する研究。(2) 薬物代謝酵素シトクロム P450 によるフェノール類の代謝反応機構の解明及び、新規代謝物の探索。(3) 天然物を規範とした抗酸化物質のデザイン・合成及び、抗酸化作用との構造活性相関。菅原：アルカリ金属-ナフタレン錯体を用いたテルペン系化合物の合成及び、不飽和酸とジクロロカルベンとの反応によるジクロロシクロプロパンカルボン酸の合成。(1) 生理活性を有するラクトン類の合成。(2) カンファーなどの天然物ケトンを用いた不斉合成配位子の合成。永井：2, 2'-ビビリジンまたは 1, 10-フェナントロリンを持つルテニウム(II) 混合配位子錯体の溶液化学。(1) 錯体の合成。(2) 高速液体クロマトグラフィーによる錯体異性体の分離およびその機構。(3) 錯体イオンの溶媒和に関する研究。(4) 錯体イオンの溶液内反応および平衡に関する研究。武田：イオン交換体を用いる無機イオンのクロマトグラフィーに関する研究。(1) 弱酸性陽イオン交換体に対するアルカリ土類金属元素および希土類元素の吸着挙動。(2) 弱酸性陽イオン交換体を用いるジルコニウム(IV)、ハフニウム(IV)、および他の金属の三成分分離(3) イオン交換樹脂を用いる貴金属元素の回収と定量。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Yasuno T¹⁾, Ohe T¹⁾, Takahashi K¹⁾, Nakamura S, Mashino T¹⁾ (1) Dept Pharm Sci, Keio Univ) : The human immunodeficiency virus-reverse transcriptase inhibition activity of novel pyridine/pyridinium-type fullerene derivatives. *Bioorg Med Chem Lett* 2015 ; 25 (16) : 3226-3229.
- 2) Kitagawara Y¹⁾, Ohe T¹⁾, Tachibana K¹⁾, Takahashi K¹⁾, Nakamura S, Mashino T¹⁾ (1) Dept Pharm Sci, Keio Univ) : Novel Bioactivation Pathway of Benzbromarone Mediated by Cytochrome P450. *Drug Metab Dispos* 2015 ; 43 (9) : 1303-1306.
- 3) 永井 俊：物理化学実験「酢酸エステルの加水分解反応速度測定」の問題点と改良法. 日本医科大学基礎科学紀要 2015 ; 44 : 1-24.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) Yasuno T¹⁾, Takahashi K¹⁾, Ohe T¹⁾, Nakamura S, Mashino T¹⁾ (1) Dept Pharm Sci, Keio Univ) : Synthesis of novel pyridine/pyridinium-type fullerene derivatives with human immunodeficiency virus-reverse transcriptase inhibition activity. THE INTERNATIONAL CHEMICAL CONGRESS OF PACIFIC BASIN SOCIETIES (Honolulu), 2015. 12.
- 2) Kataoka H¹⁾, Takahashi K¹⁾, Ohe T¹⁾, Nakamura S, Mashino T¹⁾ (1) Dept Pharm Sci, Keio Univ) : Synthesis of multitarget fullerene derivatives with both HCV RNA polymerase inhibitory and antioxidant activities for the treatment of HCV-related disease. THE INTERNATIONAL CHEMICAL CONGRESS OF PACIFIC BASIN SOCIETIES (Honolulu), 2015. 12.
- 3) 横田智史¹⁾, 池 貴幸¹⁾, 安田大輔¹⁾, 高橋恭子¹⁾, 大江知之¹⁾, 中村成夫, 増野匡彦¹⁾ (1) 慶應大・薬) : 抗酸化活性環状ジペプチド化合物の脂質過酸化抑制効果. 日本酸化ストレス学会学術集会(第68回)(鹿児島), 2015. 6.
- 4) 岡崎希望¹⁾, 横田智史¹⁾, 高橋恭子¹⁾, 大江知之¹⁾, 中村成夫, 増野匡彦¹⁾ (1) 慶應大・薬) : インドール共役ヒダントイン誘導体の合成とラジカル消去活性. 日本薬学会関東支部大会(第59回)(船橋), 2015. 9.
- 5) 大江知之¹⁾, 北川原弓奈¹⁾, 橘久美子¹⁾, 藤田侑希¹⁾, 高橋恭子¹⁾, 中村成夫, 増野匡彦¹⁾ (1) 慶應大・薬) : シトクロム P450 によるベンズブロマロンの新規代謝活性化機構. 日本薬物動態学会年会(第30回)(東京), 2015. 11.
- 6) 高橋恭子¹⁾, 五十嵐拓¹⁾, 平石 至¹⁾, 中村成夫, 大江知之¹⁾, 増野匡彦¹⁾ (1) 慶應大・薬) : 尿酸の構造を単純化した置換インドリノン誘導体の合成と抗酸化活性. メディシナルケミストリーシンポジウム(第33回)(千葉), 2015. 11.
- 7) 平井翔子¹⁾, 藤田亮輔¹⁾, 高橋恭子¹⁾, 中村成夫, 大江知之¹⁾, 増野匡彦¹⁾ (1) 慶應大・薬) : 抗酸化活性を有する 2 : イングノン誘導体の A β 誘発細胞死保護効果. 日本薬学会(第136年会)(横浜), 2016. 3.
- 8) 片岡裕樹¹⁾, 高橋恭子¹⁾, 中村成夫, 大江知之¹⁾, 増野匡彦¹⁾ (1) 慶應大・薬) : HCV RNA ポリメラーゼ阻害活性を有するプロリン型フルーレン誘導体の抗酸化活性. 日本薬学会(第136年会)(横浜), 2016. 3.
- 9) 横田智史¹⁾, 池 貴幸¹⁾, 安田大輔¹⁾, 高橋恭子¹⁾, 中村成夫, 大江知之¹⁾, 増野匡彦¹⁾ (1) 慶應大・薬) : シスプラチン誘発細胞毒性

- に対する環状ジペプチド化合物の保護効果. 日本薬学会 (第 136 年会) (横浜), 2016. 3.
- 10) 轟 龍馬¹⁾, 横田智史¹⁾, 高橋恭子¹⁾, 中村成夫, 大江知之¹⁾, 増野匡彦¹⁾ (慶應大・薬): 新規環状ジペプチド化合物の合成およびラジカル消去活性とインドール部位の置換基効果. 日本薬学会 (第 136 年会) (横浜), 2016. 3.
- 11) 安野拓実¹⁾, 高橋恭子¹⁾, 大江知之¹⁾, 中村成夫, 増野匡彦¹⁾ (慶應大・薬): ピリジニウム側鎖を有する新規ジカチオン型 C60 誘導体の HIV 逆転写酵素阻害活性およびがん細胞増殖抑制効果. 日本薬学会 (第 136 年会) (横浜), 2016. 3.
- 12) 伊賀 渉¹⁾, 巴川暢子¹⁾, 藤澤眞太郎¹⁾, 高橋恭子¹⁾, 中村成夫, 大江知之¹⁾, 増野匡彦¹⁾ (慶應大・薬): 5 位メチル化による nevirapine の代謝活性化の回避. 日本薬学会 (第 136 年会) (横浜), 2016. 3.

[生物学]

研究概要

本教室では、遺伝子操作が容易なアフリカツメガエルの消化管を実験モデルとして用い、成体幹細胞を制御する分子メカニズムの解明を目指している。これまでに変態期の小腸では、甲状腺ホルモン (TH) によりニッチが形成され、上皮の一部が脱分化して Lgr5 を発現する幹細胞になることを明らかにした。そこで現在、幹細胞への脱分化機構を解明するために、TH 応答遺伝子の解析を進めている。この他、カロテノイドの研究も継続して行っている。今年度の研究内容は以下の通りである。1) ヒト小腸上皮の維持に重要な Wnt 標準経路に注目し、この経路に関わる β -catenin, CD44, c-Myc などの発現解析を行った。いずれも TH により発現が上昇し、幹細胞ではその出現と同時に Wnt 経路が活性化されることを見出した。さらに、培養実験により、Wnt 経路の正の調節因子である SFRP2 が幹細胞の出現に必須であることを示す結果を得た。また、幹細胞で活性化されるもう 1 つの経路である Notch のリガンドを同定するため、Dll1 と Dll2 の発現解析を行った。どちらも変態期に発現が上昇し、Dll1 は成体上皮原基に局在して発現することを明らかにした。さらに、NIH との共同研究により、TH 応答遺伝子である Shh が幹細胞や間葉系組織の細胞増殖を促進することを明らかにした。2) 昨年度、Ror2 を発現する吸収上皮細胞が TH により幹細胞へと脱分化することを報告した。そこで幹細胞の起源を探るため、Ror2 などの予定幹細胞特異的な発現をする遺伝子のエンハンサー／プロモーター領域を使ってトランスジェニックカエルを作製し、その解析を現在進めている。また、変態期の上皮では Ror2 がリン酸化修飾を受けていることを示唆する知見も得た。3) 幹細胞特異的な遺伝子発現へのエピジェネティックな制御についても研究を開始した。既知の TH 応答遺伝子の転写開始点上流に存在する TH 応答配列の領域 (エンハンサー領域) から転写される non-coding RNA の発現が、幹細胞出現時に上昇することを示す結果などを得ている。(以上、藤本、長谷部、岡) 4) 種々の生物におけるカロテノイドの同定・生合成・性質・機能などに関する研究を、国内外の複数の研究室と進めている。遺伝子工学的に数種類の酵素を改変して炭素数 50 のカロテノイドを作成した。アーキアのバクテリオルベリン合成の新規遺伝子の機能を解明した。シアノバクテリアの抗酸化能の機構とカロテノイド合成酵素の関係を解明した。ユーグレナの初期カロテノイド合成酵素の役割を検討した。この他、サウジアラビアの大学にシアノバクテリアのカロテノイド研究のアドバイスをするため訪問した。(高市)

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Yang Y¹⁾, Yatsunami R¹⁾, Ando A¹⁾, Miyoko N¹⁾, Fukui T¹⁾, Takaichi S, Nakamura S¹⁾ (1) Tokyo Inst Technol): Complete Biosynthetic Pathway of the C₅₀ Carotenoid Bacterioruberin from Lycopene in the Extremely Halophilic Archaeon *Haloarcula japonica*. J Bacteriol 2015; 197 (9): 1614-1623.
- 2) Kusama Y¹⁾, Inoue S¹⁾, Jimbo H¹⁾, Takaichi S, Sonoike K²⁾, Hihara Y¹⁾, Nishiyama Y¹⁾ (1) Saitama Univ, 2) Waseda Univ): Zeaxanthin and echinenone protect the repair of photosystem II from inhibition by singlet oxygen in *Synechocystis* sp. PCC 6803. Plant Cell Physiol 2015; 56 (5): 906-916.
- 3) Furubayashi M¹⁾, Ikezumi M¹⁾, Takaichi S, Maoka T²⁾, Hemmi H³⁾, Ogawa T³⁾, Saito K¹⁾, Tobias A⁴⁾, Umeno D^{1, 5)} (1) Chiba Univ, 2) Res Inst Production Develop, 3) Nagoya Univ, 4) DuPont Indust Biosci, 5) PREST): A highly selective biosynthetic pathway to non-natural C₅₀ carotenoids assembled from moderately selective enzymes. Nature Commun 2015; 6: e7534.
- 4) Nupur¹⁾, Tanuku N²⁾, Takaichi S, Pinnaka A¹⁾ (1) CSIR-Inst Microbial Technol, 2) CSIR-Inst Oceanogr): *Phaebacterium nitratireducens* gen. nov., sp. nov., a phototrophic gammaproteobacterium isolated from a mangrove forest sediment sample. Int J Syst Evol Microbiol 2015; 65 (8): 2357-2364.
- 5) Takaichi S, Maoka T¹⁾ (1) Res Inst Production Develop): Identification and spectroscopic characterization of neurosporene. Biotechnol Lett 2015; 37 (10): 2027-2031.
- 6) Kato S¹⁾, Takaichi S, Ishikawa T²⁾, Asahina M¹⁾, Takahashi S¹⁾, Shinomura T¹⁾ (1) Teikyo Univ, 2) Shimane Univ): Identification and functional analysis of geranylgeranyl pyrophosphate synthase gene (*crtE*) and phytoene synthase gene (*crtB*) for carotenoid biosynthesis in *Euglena gracilis*. BMC Plant Biol 2016; 16: e4.

- 7) Nuyanzina-Boldareva E¹), Akimov V¹), Takaichi S, Gorlenko V¹) (1) Russian Academy Sci) : New strains of an aerobic anoxygenic phototrophic bacterium *Porphyrobacter donghaensis* isolated from a Siberian thermal spring and a weakly mineralized lake. *Microbiology* 2016 ; 85 (1) : 77-86.

(2) 総説 :

- 1) 岡 敦子 : 消化器系の進化と発生のメカニズム. *日本医科大学医学会雑誌* 2015 ; 11 (3) : 155-160.

著 書

- 1) 高市真一 : [分担] カロテノイド. 光と生命の事典 (日本光生物学協会, 光と生命の事典編集委員会編集), 2016 ; pp80-81, 朝倉書店.

学会発表

(1) シンポジウム :

- 1) 高市真一 : はじめに (カロテノイド研究における再現性と科学倫理). *日本カロテノイド学会若手の会 (八王子)*, 2015. 9.

(2) 一般講演 :

- 1) Kato S¹), Kase D¹), Oyatsu T¹), Takaichi S, Ishikawa T²), Asahina M¹), Takahashi S¹), Shinomura T¹) (1) Teikyo Univ, 2) Shimane Univ) : Expression of phytoene synthase gene in *Euglena gracilis* and its responses to cold-light stress. *International Meeting on Biosynthesis, Functions and Synthetic Biology of Isoprenoids (TERPNET2015) (12th) (Vancouver)*, 2015. 6.
- 2) Takaichi S, Mochimaru M¹), Uchida H²), Murakami A²), Hirose E³) (1) Komazawa Univ, 2) Kobe Univ, 3) Univ Ryukyus) : Opposite Chilarity of α -Carotene in Unusual Cyanobacteria with Unique Chlorophylls, *Acaryochloris* and *Prochlorococcus*. *International Symposium on Phototrophic Prokaryotes (15th) (Tubingen)*, 2015. 8.
- 3) Madigan M¹), Asao M¹), Takaichi S, Crespi J¹), Mayers J¹), Kempfer M¹) (1) Southern Illinois Univ) : *Allochromatium tepidum*, a New Thermophilic Purple Sulfur Bacterium. *International Symposium on Phototrophic Prokaryotes (15th) (Tubingen)*, 2015. 8.
- 4) Sugiyama K¹), Ebisawa M¹), Nagashima Y²), Suzuki H²), Takaichi S, Yamada M¹) (1) Kogakuin Univ, 2) Kazusa DNA Res Inst) : Functional identification of lycopene β -cyclase and β -carotene hydroxylase in a cyanobacterium *Arthrospira platensis*. *The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem 2015) (Honolulu)*, 2015. 12.
- 5) Takahashi K¹), Fukuizumi H¹), Shimizu K¹), Nagashima Y²), Suzuki H²), Takaichi S, Yamada M¹), Sugiyama K¹) (1) Kogakuin Univ, 2) Kazusa DNA Res Inst) : Functional identification of ζ -carotene isomerase (Z-ISO) in a cyanobacterium *Arthrospira platensis*. *The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem 2015) (Honolulu)*, 2015. 12.
- 6) 高市真一 : 光合成の進化とカロテノイド成分の変化. *光合成セミナー 2015 : 反応中心と色素系の多様性 (第23回) (京都)*, 2015. 7.
- 7) 長谷部孝, 梶田満子¹), 岡 敦子 (1) 日医大・先端医学研・分子生物) : ツメガエル変態期の消化管再構築における Notch シグナルの役割 : DLL1 と DLL2 の発現解析. *日本動物学会大会 (第86回) (新潟)*, 2015. 9.
- 8) 高市真一 : カロテノイドの変化と光合成の進化. *カロテノイド研究談話会 (第29回) (八王子)*, 2015. 9.
- 9) 高市真一 : カロテノイドのデータベース再構築を目指して. *カロテノイド研究談話会 (第29回) (八王子)*, 2015. 9.
- 10) 八波利恵¹), 楊 影¹), 三横伸弘¹), 安藤 藍¹), 高市真一, 河野雅弘¹), 松村有里子¹), 福居俊昭¹), 中村 聡¹) (1) 東工大院・生命理工) : 高度好塩性古細菌 *Haloarcula japonica* のフィトエンシンターゼ遺伝子のホモログ解析と当該微生物が生産するカロテノイド種の抗酸活性. *カロテノイド研究談話会 (第29回) (八王子)*, 2015. 9.
- 11) 高市真一 : 藻類におけるカロテノイドをもちいた化学分類と系統分類. *日本植物学会大会 (第79回) (新潟)*, 2015. 9.
- 12) 加藤翔太¹), 中林菜月¹), 西村裕一¹), 高市真一, 石川孝博²), 朝比奈雅志¹), 高橋宣収¹), 篠村知子¹) (1) 帝京大理工, 2) 島根大生物資源科学) : 微細藻類 *Euglena gracilis* のカロテノイド合成系の温度および光環境応答. *日本植物学会大会 (第79回) (新潟)*, 2015. 9.
- 13) 加藤翔太¹), 高市真一, 石川孝博²), 朝比奈雅志¹), 高橋宣治¹), 篠村知子¹) (1) 帝京大理工, 2) 島根大生物資源科学) : *Euglena gracilis* の増殖とカロテノイド組成に及ぼす低温・光ストレスの影響. *ユーグレナ研究会研究集会 (第31回) (宮崎)*, 2015. 11.
- 14) 加藤翔太¹), 高市真一, 石川孝博²), 朝比奈雅志¹), 高橋宣治¹), 篠村知子¹) (1) 帝京大理工, 2) 島根大生物資源科学) : 微細藻類 *Euglena gracilis* のカロテノイド合成系の強光ストレス対応. *宇都宮大学オプトバイオシンポジウム (UU-BOS) (第5回) (宇都宮)*, 2015. 12.
- 15) 曾篠実花¹), 加藤翔太¹), 高市真一, 石川孝博²), 朝比奈雅志¹), 篠村知子¹) (1) 帝京大理工, 2) 島根大生物資源科学) : 微細藻類ユーグレナのフィトエン合成酵素遺伝子 (EgcrB) の発現抑制が細胞増殖に及ぼす影響. *宇都宮大学オプトバイオシンポジウム (UU-BOS) (第5回) (宇都宮)*, 2015. 12.

- 16) 高市真一：シアノバクテリアのカロテノイドとその合成経路の由来. 日本植物生理学会（第57回）（盛岡），2016. 3.
- 17) 杉山健二郎¹⁾，高橋 甲¹⁾，鈴木秀幸²⁾，高市真一，山田昌治¹⁾（¹⁾ 工学院大先進工，²⁾ かずさ DNA 研）：*Arthrospira platensis* のカロテン異性化酵素（Z-ISO および CrtH）遺伝子の単離と機能解析. 日本植物生理学会（第57回）（盛岡），2016. 3.
- 18) 曾篠美花¹⁾，加藤翔太¹⁾，高市真一，石川孝博²⁾，朝比奈雅志¹⁾，高橋宣治¹⁾，篠村知子¹⁾（¹⁾ 帝京大理工，²⁾ 鳥根大生物資源科学）：*Euglena gracilis* におけるフィトエン合成酵素遺伝子の抑制が及ぼす細胞増殖およびカロテノイド合成への影響. 日本植物生理学会（第57回）（盛岡），2016. 3.
- 19) 加藤翔太¹⁾，高市真一，石川孝博²⁾，朝比奈雅志¹⁾，高橋宣治¹⁾，篠村知子¹⁾（¹⁾ 帝京大理工，²⁾ 鳥根大生物資源科学）：微細藻類ユーグレナのカロテノイド合成系の強光ストレス応答. 日本植物生理学会（第57回）（盛岡），2016. 3.
- 20) 佐藤諒一¹⁾，高市真一，太田啓之¹⁾，増田真二²⁾（¹⁾ 東工大院生命理工，²⁾ 東工大バイセンター）：強光順化に関与する遺伝子 LAP1 の機能解析. 日本植物生理学会（第57回）（盛岡），2016. 3.

論 文

〔追加分〕

追加分原著：

- 1) Wen L¹⁾，Hasebe T，Miller T¹⁾，Ishizuya-Oka A，Shi Y¹⁾（¹⁾ LGRD/NICHD/NIH）：A requirement for hedgehog signaling in thyroid hormone-induced postembryonic intestinal remodeling. *Cell Biosci* 2015；5：e13.

3. 外国語

[英語]

研究概要

1) 英語を中心としたヨーロッパの言語文化を対象とし、談話分析、テキスト構成論、語彙分析、語形成、語源論等の研究を行う。このことによって、言語と文化の歴史的発達の経緯を探求し、現代における言語の形式と構造に関する科学的ならびに人文的な真実を明らかにする。方法論としては主に、文字テキストの古典的分析、発話記録の実証的分析、語彙情報の収集、調査、分析による。2) 英語教育研究においては、大学1・2年生を対象としたボキャブラリー・ビルディング活動における学習状況とその成果について継続的にデータを収集し、いかなる問題に対処する必要があるかを検討、考察した。また授業支援システム WebClass を活用し、アカデミック語彙・医学関連語彙学習のための e-learning 教材を作成し、教育実践研究を展開した。なお、高等学校検定済英語教科書（英語表現 I、および II）改訂版発刊に向けての原稿執筆にも携わった。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Stone P : Video reflexive ethnography as a tool for better classroom practice. *The Language Teacher* 2015 ; 39 (6) : 10-14.
- 2) Stone P : One activity, two interactions : How identities affect participation in the classroom. *日本医科大学基礎科学紀要* 2015 ; 44 : 25-45.
- 3) 崎村耕二 : テキスト構成と重層のイメージ. *日本医科大学医学会雑誌* 2015 ; 11 (2) : 110-114.

学会発表

(1) パネルディスカッション：

- 1) 崎村耕二 : 研究者のための英語『グローバルを生き抜く研究者のための英語』. 一般社団法人学術英語学会（東京（東京大学駒場キャンパス））, 2015. 5.

(2) ポスターセッション：

- 1) 三和正人, 崎村耕二, 古屋裕子 : 世界に伍する大学に必要な英語レベル. *リサーチ・アドミニストレーター協議会（第1回年次大会）*（長野（信州大学長野工学キャンパス））, 2015. 9.

(3) 一般講演：

- 1) 崎村耕二 : 「言挙げせぬ国」の討論の歴史を考える. *学術英語研究会（第3回研究発表）*（東京（日本医科大学 武蔵境校舎））, 2016. 3.

著書

[追加分]

追加分：

- 1) Minton T¹⁾, 鈴木利彦²⁾, 芦田ルリ³⁾, 西川純恵, 堀口貫治⁴⁾ (1) 慶應義塾大学, 2) 早稲田大学, 3) 東京医科大学, 4) 芝中学・高等学校) : [共著] *Polestar English Expression II* (数研出版株式会社 編集部), 2013 ; pp1-175, 数研出版.
- 2) Minton T¹⁾, 鈴木利彦²⁾, 芦田ルリ³⁾, 西川純恵, 堀口貫治⁴⁾ (1) 慶應義塾大学, 2) 早稲田大学, 3) 東京医科大学, 4) 芝中学・高等学校) : [共著] *Polestar English Expression II, Teacher's Manual* (数研出版株式会社 編集部), 2014 ; pp1-303, 数研出版.

4. スポーツ科学

研究概要

三上：1) 株式会社ニュートリションアクトからの委託研究で、オリーブ葉より抽出したオレアノール酸を多く含むオレ비아ータの抗肥満効果と抗うつ効果について検討した。その結果、オレ비아ータの摂取が体重の増加抑制、脂肪量の低下、抗うつ作用をもたらすことを明らかにした。2) 実験動物を不活動な状態で飼育することにより引き起こされる作業記憶能力の低下とうつ様行動の発症に対してイノシンの経口投与が予防効果を有すること、またこの効果にはアデノシン受容体の働きが関係することを明らかにし、この結果を学会に発表した。3) 記憶形成過程におけるストレス負荷が嫌悪記憶の形成を妨げ、この作用にはグルココルチコイド受容体の働きが関係することを明らかにし、この結果を英文論文として発表した。4) タイのチェンマイ大学からの留学生 Pongson Yaicharoen 氏との共同研究で嫌悪体験の後に高強度運動を行うことが嫌悪記憶の形成を妨げることを明らかにした。武藤：1) 日本における健康づくりに貢献しているラジオ体操を継続的に実施している高齢者の形態、生活活動力、生理機能等の測定結果、およびアンケート結果を継続的に分析した。体内年齢や体力年齢が実年齢より低く、健康関連 QOL が高く、健康に好影響を及ぼすことが示唆された。さらにラジオ体操がきっかけとなり他の運動も実施し、身体活動量が増加することが明らかになった。2) 高齢者における「文部科学省新体力テスト」と ADL 調査の結果から、実際の測定結果と ADL の回答に一致がみられない等問題点・課題が示唆された。3) 「健康運動教室」に参加する中高年者を対象に、体格・生活活動力等を縦断的に調査している。継続して運動を実施し積極的に健康調査に参加する中高年者は生活活動力では有意に低下する項目は少なく増加がみられた項目もあるなど、長年の運動習慣がもたらす効果が示唆された。4) カンボア・シムリアップにおいて青少年の体格・体力、生活習慣、生活環境等の調査研究を継続的に行っている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Uwaya A¹⁾, Lee H¹⁾, Park J²⁾, Lee H, Junko J³⁾, Nakajima S⁴⁾, Ohta S¹⁾, Mikami T (1) Department of Biochemistry and Cell Biology, 2) Tokyo Jikei University, 3) Graduate School of Health and Sport Science, Nippon Sport Science University, 4) Kyoritsu Women's Junior College Graduate) : Acute immobilization stress following contextual fear conditioning reduces fear memory : timing is essential. Behavioral and Brain Functions 2016 ; 12 (8).

(2) 研究報告：

- 1) 渡部月子¹⁾, 渡部隼二¹⁾, 武藤三千代, 櫻井尚子²⁾ (1) 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部, 2) 東京慈恵会医科大学・大学院地域連携保健学分野) : 健康体操教室に継続して参加している後期高齢者の健康維持・増進に関連する生活機能、運動とスポーツの科学 2015 ; 21 (1) : 53-60.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 三上俊夫：認知を改善する運動効果とアルツハイマー病改善への期待。日本体力医学会総会（第 70 回）（長崎），2015. 9.

(2) 一般講演：

- 1) 武藤三千代, 渡部隼二¹⁾, 若山葉子²⁾, 渡部月子¹⁾ (1) 神奈川県立保健福祉大学, 2) 日本医科大学衛生学・公衆衛生学) : ラジオ体操を継続実施している高齢者の体力および健康関連 QOL について。日本運動・スポーツ科学学会（第 22 回大会）（東京），2015. 6.
- 2) 武藤三千代, 渡部隼二¹⁾ (1) 神奈川県立保健福祉大学) : ラジオ体操を励行している高齢者の生活習慣について。日本体育学会（第 66 回大会）（東京），2015. 8.
- 3) 三上俊夫, 李ホソン, 朴ジョンヒク¹⁾, 金 芝美²⁾ (1) 東京慈恵会医科大学臨床検査医学, 2) 日本体育大学) : 一過性の高強度運動による作業記憶能力の亢進にはアデノシン受容体が関与している。日本体力医学会総会（第 70 回）（長崎），2015. 9.
- 4) 武藤三千代, 渡部隼二¹⁾, 渡部月子¹⁾, 若山葉子²⁾ (1) 神奈川県立保健福祉大学, 2) 日本医科大学衛生学・公衆衛生学) : 高齢者における新体力テストと ADL 調査の実際。日本公衆衛生学会（第 74 回総会）（長崎），2015. 11.
- 5) 若山葉子¹⁾, 川田智之¹⁾, 武藤三千代, 渡部隼二²⁾, 渡部月子²⁾ (1) 日本医科大学衛生学・公衆衛生学, 2) 神奈川県立保健福祉大学) : 中高年を対象とした「運動教室」参加者の健康調査成績：2003～2014 年の推移。日本公衆衛生学会（第 74 回総会）（長崎），2015. 11.
- 6) 若山葉子¹⁾, 川田智之¹⁾, 武藤三千代, 渡部隼二²⁾ (1) 日本医科大学衛生学・公衆衛生学, 2) 神奈川県立保健福祉大学) : ラジオ体操の実施効果に関する健康調査：形態・生理機能と生活活動力。日本民族衛生学会（第 80 回総会）（青森），2015. 11.

〔2〕 基 礎 医 学

1. 分子解剖学分野

研究概要

(1) ノンコーディング RNA (ncRNA) の分子解剖学的研究 : a) 臓器・疾患における ncRNA プロファイリングと機能解析 (Banyar 助教, 趙助教, 瀧澤敬講師, 院生・宋, 技術員・小管), b) Exosome についての分子解剖学的解析 (院生・坂本, 小管) を行った. (当大学院 消化器外科学, 女性生殖発達病態学, 侵襲生体管理学分野, 自治医科大学・松原茂樹教授, 富山大学・齋藤滋教授, および東京大学・程久美子准教授との共同研究) (2) 胎盤の分子解剖学的研究 : a) 栄養膜細胞の解析を進めた (Banyar, 小管), b) ヒト胎盤胎児血管内皮細胞内の IIb 型 Fc 受容体-小胞の解析 (瀧澤敬, 小管). (当大学院女性生殖発達病態学, 米国オハイオ州立大学・John M Robinson 教授, 自治医科大学・松原茂樹教授, 屋代隆教授との共同研究) (3) バイオイメージング・組織細胞化学法の開発と応用 : ncRNA 発現解析のための in situ hybridization 解析の開発とその応用を行った (Banyar, 宋, 小管). (4) キスペプチンの神経科学 : ラット視床下部においてキスペプチン親和性受容体の検索を行った (澤井講師, 趙)

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) Mizuguchi Y¹⁾, Takizawa T²⁾, Uchida E¹⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Hospital, Tokyo, Japan, 2) Department of Molecular Medicine and Anatomy, Nippon Medical School, Tokyo, Japan.) : Host cellular microRNA involvement in the control of hepatitis B virus gene expression and replication. *World Journal of Hematology* 2015 ; 7 (4) : 696-702.
- 2) Iizuka-Kogo A¹⁾, Senda T²⁾, Akiyama T³⁾, Shimomura A⁴⁾, Nomura R⁵⁾, Hasegawa Y⁵⁾, Yamamura K⁶⁾, Kogo H⁷⁾, Sawai N⁷⁾, Matsuzaki T⁷⁾ (1) Dept of Anatomy I, Fujita Health University School of Medicine ; Dept of Anatomy and Cell Biology, Gunma University Graduate School of Medicine, 2) Dept of Anatomy I, Fujita Health University School of Medicine ; Dept of Anatomy, Gifu University Graduate School of Medicine, 3) Laboratory of Molecular and Genetic Information, Institute of Molecular and Cellular Biosciences, The University of Tokyo, 4) 藤田保健衛生大学 解剖学第一講座 ; 北海道医療大学 心理科学部 言語聴覚療法学科, 5) Dept of Anatomy I, Fujita Health University School of Medicine., 6) Division of Developmental Genetics, Institute of Resource Development Analysis, Kumamoto University, 7) Dept of Anatomy and Cell Biology, Gunma University Graduate School of Medicine) : Requirement of DLG1 for Cardiovascular Development and Tissue Elongation during Cochlear, Enteric, and Skeletal Development : Possible Role in Convergent Extension. *PLoS One* 2015 ; 10 (4) : e0123965.
- 3) Ishikawa T¹⁾, Takizawa T¹⁾, Iwaki J¹⁾, Mishima T¹⁾, Ui-Tei K²⁾, Takeshita T³⁾, Matsubara S⁴⁾, Takizawa T¹⁾ (1) Department of Molecular Medicine and Anatomy, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan, 3) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 4) Department of Obstetrics and Gynecology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan) : Fc gamma receptor IIb participates in maternal IgG trafficking of human placental endothelial cells. *International Journal of Molecular Medicine* 2015 ; 35 (5) : 1273-1289.
- 4) Oyama S^{1, 2)}, Funasaka Y¹⁾, Watanabe A²⁾, Takizawa T³⁾, Kawana S¹⁾, Saeki H¹⁾ (1) Department of Dermatology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Department of Molecular and Medical Genetics, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 3) Department of Molecular Medicine and Anatomy, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : BRAF, KIT and NRAS mutations and expression of c-KIT, phosphorylated extracellular signal-regulated kinase and phosphorylated AKT in Japanese melanoma patients. *The Journal of Dermatology* 2015 ; 42 (5) : 477-484.
- 5) Ishida Y¹⁾, Zhao D²⁾, Ohkuchi A¹⁾, Kuwata T¹⁾, Yoshitake H²⁾, Yuge K²⁾, Takizawa T²⁾, Matsubara S¹⁾, Suzuki M¹⁾, Saito S³⁾, Takizawa T²⁾ (1) Department of Obstetrics and Gynecology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan, 2) Department of Molecular Medicine and Anatomy, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 3) Department of Obstetrics and Gynecology, Faculty of Medicine, University of Toyama, Toyama, Japan) : Maternal peripheral blood natural killer cells incorporate placenta-associated microRNAs during pregnancy. *International Journal of Molecular Medicine* 2015 ; 35 (6) : 1511-1524.
- 6) Mizuguchi Y^{1, 2)}, Specht S^{1, 2)}, Isse K^{1, 2)}, Sasatomi E^{1, 2)}, Lunz 3rd GJ^{1, 2)}, Takizawa T³⁾, Demetris JA^{1, 2)} (1) Thomas E. Starzl Transplantation Institute, University of Pittsburgh Medical Center, PA, USA, 2) The Department of Pathology, Division of Liver and Transplantation Pathology, University of Pittsburgh Medical Center, PA, USA, 3) Department of Molecular Medicine and Anatomy, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Breast tumor kinase/protein tyrosine kinase 6 (Brk/PTK6) activity in normal and neoplastic biliary epithelia. *Journal of Hepatology* 2015 ; 63 (2) : 399-407.

7) Mizuguchi Y¹⁾, Takizawa T²⁾, Yoshida H¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Hospital, Tokyo, Japan, 2) Department of Molecular Medicine and Anatomy, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Dysregulated microRNAs in progression of hepatocellular carcinoma : A systematic review. Hepatology Research 2016 ; 46 (5) : 391-404.

(2) 総説 :

1) Takizawa T¹⁾, Powell DR²⁾, Hainfeld FJ²⁾, Robinson MJ³⁾ (1) Department of Molecular Anatomy, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Nanoprobes, Yaphank, NY USA, 3) Department of Physiology and Cell Biology, Ohio State University, Columbus, OH, USA) : FluoroNanogold : an important probe for correlative microscopy. J Chem Biol 2015 ; 8 (4) : 129-142.

学会発表

(1) シンポジウム :

1) 趙 東威¹⁾, 竹内真吾¹⁾, 瀧澤俊広¹⁾ (1) 日本医科大学 大学院医学研究科 分子解剖学分野) : シスプラチン耐性癌細胞株における microRNA の発現変動 (セッション 1 2 / 発表日 2015 年 6 月 6 日 (土)). 日本医科大学 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 シンポジウム <Clinical Rebiopsy Bank Project を基盤とした包括がん治療開発拠点形成> 国際協力型がん臨床指導者養成シンポジウム (2015 年 (平成 27 年) 6 月 6 日 (土) 15 : 00~18 : 30) (東京 (日本医科大学 橋桜会館 2 階 橋桜ホール/東京)), 2015. 6.

(2) ワークショップ :

1) 高橋宏典¹⁾, 松原茂樹¹⁾, 大口昭英¹⁾, 薄井里英¹⁾, 桑田知之¹⁾, 馬場洋介¹⁾, 鈴木寛正¹⁾, 瀧澤俊広²⁾, 鈴木光明¹⁾ (1) 自治医大, 2) 日本医大分子解剖) : 妊娠初期栄養膜細胞における a Disintegrin and Metalloproteinase (ADAM) ファミリーの発現 : 絨毛外栄養膜細胞浸潤への ADAM 関与可能性 (ミニワークショップ 7 胎盤関連分子 MW-7-1 / 発表日 2015 年 4 月 10 日 (金)). 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会 (2015 年 (平成 27 年) 4 月 9 日 (木)~4 月 12 日 (日)) (横浜 (パシフィコ横浜/神奈川)), 2015. 4.

2) 倉品隆平¹⁾, 神戸沙織¹⁾, 間瀬有里¹⁾, 石川 源¹⁾, 瀧澤俊広²⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学・産婦人科, 2) 日本医科大学大学院 分子解剖学) : 19 染色体上にクラスターを形成する胎盤特異的 miRNA について (ワークショップ 3「胎盤研究の新展開」TWS3-1 / 発表日 2015 年 11 月 6 日 (金)). 第 23 回日本胎盤学会学術集会・第 33 回日本絨毛性疾患研究会 (2015 年 (平成 27 年) 11 月 5 日 (木)~11 月 6 日 (金)) (東京 (JA 共済ビル・カンファレンスホール/東京)), 2015. 11.

(3) ポスター :

1) Sakamoto W^{1,2)}, Masuno T¹⁾, Tsukamoto T¹⁾, Hagiwara J¹⁾, Asakura T¹⁾, Zhao D²⁾, Naing B²⁾, Takizawa T²⁾, Yokota H¹⁾ (1) Department of Emergency & Critical Care Medicine, Nippon Medical School, 2) Department of Molecular Medicine & Anatomy, Nippon Medical School) : Comprehensive analysis of microRNA profiles in normal rodent mesenteric lymph (June 7th, 2015). 38th Annual Conference on Shock (June 6-9, 2015) (Denver, Colorado, USA), 2015. 6.

2) 趙 東威¹⁾, 稲田貢三子²⁾, 島 友子²⁾, 竹下俊行³⁾, 齋藤 滋²⁾, 瀧澤俊広¹⁾ (1) 日本医科大学分子解剖, 2) 富山大学産婦人科, 3) 日本医科大学産婦人科) : 妊娠初期脱落膜 NK 細胞の miRNA mRNA 発現に関する統合解析 (第 2 報) (ポスターセッション Group35 胎盤 1 P1-35-2 / 発表日 2015 年 4 月 10 日 (金)). 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会 (2015 年 (平成 27 年) 4 月 9 日 (木)~4 月 12 日 (日)) (横浜 (パシフィコ横浜/神奈川)), 2015. 4.

3) 瀧澤敬美¹⁾, 瀧澤俊広¹⁾ (1) 日本医科大学 分子解剖学) : 新しい学生中心型能動的グループ学習法 TEO (Teach Each Other) の開発 : 組織学における学生による講義と実習補助指導 (一般演題 教育・医学史・その他 1 1p-125 / 発表日 2016 年 3 月 28 日 (月)). 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会 (2016 年 (平成 28 年) 3 月 28 日 (月)~3 月 30 日 (水)) (郡山 (ビッグパレットふくしま/福島)), 2016. 3.

4) 澤井信彦¹⁾, 瀧澤俊広¹⁾ (1) 日本医科大学 分子解剖学) : ラット視床下部ドーパミンニューロンへの蛍光標識キスペプチンを用いた *in vivo* binding assay 法の検討 (一般演題 神経系 1 1p-91 / 発表日 2016 年 3 月 28 日 (月)). 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会 (2016 年 (平成 28 年) 3 月 28 日 (月)~3 月 30 日 (水)) (郡山 (ビッグパレットふくしま/福島)), 2016. 3.

5) 島田春貴¹⁾, 岡田曹志¹⁾, 服部竜也¹⁾, 瀧澤敬美²⁾, 瀧澤俊広²⁾ (1) 日本医科大学 医学部 2 年, 2) 日本医科大学 分子解剖学) : アドレナリンの H-E 染色への影響 - 新しい解剖学授業 TEO (Teach Each Other) より生まれた学生研究 - (学生セッション (SS) 細胞生物学・組織学 (SS) 1p-54 / 発表日 2016 年 3 月 28 日 (月)). 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会 (2016 年 (平成 28 年) 3 月 28 日 (月)~3 月 30 日 (水)) (郡山 (ビッグパレットふくしま/福島)), 2016. 3.

(4) 一般講演 :

1) 石田洋一¹⁾, 趙 東威²⁾, 大口昭英¹⁾, 桑田知之¹⁾, 松原茂樹¹⁾, 齋藤 滋³⁾, 瀧澤俊広²⁾ (1) 自治医科大学 産婦人科, 2) 日本医科大学大学院 分子解剖学, 3) 富山大学 産婦人科) : 妊娠期間中の母体末梢血 NK 細胞における miRNA-mRNA の変動解析 (セッション 8 免疫疾患・感染症 42 / 発表日 2015 年 11 月 22 日 (日)). 第 30 回日本生殖免疫学会総会・学術集会 (2015 年 (平成 27 年) 11 月 21 日 (土)~22 日 (日)) (熊本 (くまもと県民交流館パレア/熊本県)), 2015. 11.

2) 坂本和嘉子^{1,2)}, 増野智彦¹⁾, 塚本剛志¹⁾, 朝倉隆之¹⁾, 趙 東威²⁾, Banyar T²⁾, 瀧澤俊広²⁾, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学 高度救

命救急センター, ²⁾ 日本医科大学 分子解剖学): 正常ラット腸間膜リンパ液中の miRNA の網羅的発現解析 (発表日 2016 年 5 月 23 日). 第 30 回日本 Shock 学会総会 (2015 年 (平成 27 年) 05 月 22 日 (金)~05 月 23 日 (土)) (八王子 (京王プラザホテル八王子/東京)), 2015. 5.

3) Banyar T¹⁾, 宋 曉輝¹⁾, 瀧澤俊広¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学分子解剖学): マウス胎盤における H19 遺伝子の発現解析 (第 2 報) (一般演題 5 胎盤の分子機構 T05-1 / 発表日 2015 年 11 月 5 日 (木)). 第 23 回日本胎盤学会学術集会・第 33 回日本絨毛性疾患研究会 (2015 年 (平成 27 年) 11 月 5 日 (木)~11 月 6 日 (金)) (東京 (JA 共済ビル・カンファレンスホール/東京)), 2015. 11.

4) Banyar T¹⁾, 宋 曉輝¹⁾, 瀧澤俊広¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学 分子解剖学): Expression analysis of H19 non-coding RNA in the mouse placenta by in situ hybridization (一般口演 細胞生物学・組織学 3-1 30pmF-2 / 発表日 2016 年 3 月 30 日 (水)). 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会 (2016 年 (平成 28 年) 3 月 28 日 (月)~3 月 30 日 (水)) (郡山 (ビッグパレットふくしま/福島)), 2016. 3.

(5) 懇話会:

1) Banyar T¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学 分子解剖学): In situ hybridization による生殖系臓器におけるノンコーディング RNA の発現解析 (《話題》② / 発表日 2016 年 3 月 27 日 (日)). 【生殖系懇話会】第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会 (2016 年 (平成 28 年) 3 月 27 日 (日) 15:00~17:00) (郡山 (郡山ビッグアイ 7F 市民交流プラザ 第 2 会議室/福島)), 2016. 3.

2) 瀧澤俊広¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学 分子解剖学): 胎盤における miRNA の発現と役割 (《話題》① / 発表日 2016 年 3 月 27 日 (日)). 【生殖系懇話会】第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会 (2016 年 (平成 28 年) 3 月 27 日 (日) 15:00~17:00) (郡山 (郡山ビッグアイ 7F 市民交流プラザ 第 2 会議室/福島)), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分原著:

1) Yamanobe Y¹⁾, Nagahara N¹⁾, Matsukawa T²⁾, Ito T³⁾, Niimori-Kita K³⁾, Chiba M²⁾, Yokoyama K²⁾, Takizawa T^{1,4)} (¹⁾ Isotope Research Center, Nippon Medical School, Japan, ²⁾ Department of Epidemiology and Environmental Health, Juntendo University, Faculty of Medicine, Tokyo, Japan, ³⁾ Department of Pathology and Experimental Medicine, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto, Japan, ⁴⁾ Department of Molecular Medicine and Anatomy, Nippon Medical School, Tokyo, Japan): Sex differences in shotgun proteome analyses for chronic oral intake of cadmium in mice. PLoS One 2015; 10 (3): e0121819.

学会発表

追加分一般講演:

1) 瀧澤俊広¹⁾, 弓削主哉¹⁾, 趙 東威¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学 分子解剖学): 癌と non-coding RNA (セッション 2 4 / 発表日 2014 年 2 月 1 日 (土)). 日本医科大学 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業シンポジウム <Clinical Rebiopsy Bank Project を基盤とした包括がん治療開発拠点形成> (2014 年 (平成 26 年) 2 月 1 日 (土) 13:00~16:40) (東京 (日本医科大学 橘桜会館 2 階 橘桜ホール/東京)), 2014. 2.

2. 解剖学・神経生物学分野

研究概要

思春期は子供から大人へのゲートであり、これを通り抜けることによって、身体的、精神的に成熟し、大人としての社会活動、行動に適応する身体の仕組みが構築される。この思春期が誘発される詳細な神経機能メカニズムであるが、視床下部-下垂体-性腺系への強い抑制はネガティブフィードバック機構だけでは説明がつかず、中枢性の強い抑制性制御が関わっていると考えられていた。近年、オーファン受容体 GPR54 のリガンドとして、新規生理活性物質 kisspeptin が同定され、kisspeptin による GnRH ニューロンの活性誘導が明らかになってきた。「脳内の神経ネットワーク」による思春期発動機序の解明については、未だ多くの課題を残している。我々は「脳とホルモン」、「脳における神経回路形成とホルモン」を中心課題に、ステロイドホルモンとその受容体によって調節される神経細胞機能と形態の変動を多角的に調べてきた。特に性ステロイドホルモンは、脳における性機能調節系制御に深く関わっており、性機能発動の大きなターニングポイントである思春期が生じるメカニズムにはステロイドホルモンが大きく関わりを持つ。我々はこれまでの研究アプローチをより具体的な生理作用解明に適用させ、思春期発動と関連する「性」、「摂食」、「ストレス」といった神経制御機構の3次元神経ネットワークを明らかにし、ネットワークの相互作用、と思春期前後の精神的、身体的な不安定の発生の関連を探求することを目指す研究を行っている。また GFP などの蛍光遺伝子の発現を利用して無麻酔下の living animal の神経活動を可視化する試みを進めており、行動と神経活動を一本化して観察するシステムの構築を進めている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Takumi K, Shimada K, Iijima N, Ozawa H : Maternal high-fat diet during lactation increases kiss1 mRNA expression in the arcuate nucleus at weaning and advances puberty onset in female rats. *Neuroscience Research* 2015 ; 100 (6) : 21-28.
- 2) Iijima N, Takumi K, Matsumoto K, Ozawa H : Visualization of Kisspeptin Binding to Rat Hypothalamic Neurons. *Acta Histochem. Cytochem* 2015 ; 48 (6) : 179-184.
- 3) Hattori Y, Ishii H, Morita A, Sakuma Y, Ozawa H : Characterization of the fundamental properties of the N-terminal truncation (Δ exon 1) variant of estrogen receptor α in the rat. *Gene* 2015 ; 571 (7) : 117-125.
- 4) Li S, Takumi K, Iijima N, Ozawa H : The increase in the number of spines on the gonadotropin-releasing hormone neuron across pubertal development in rats. *Cell Tissue Res* 2016 ; 364 (12) : 405-414.
- 5) Murakawa H, Iwata K, Takeshita T, Ozawa H : Immunoelectron microscopic observation of the subcellular localization of kisspeptin, neurokinin B and dynorphin A in KNDY neurons in the arcuate nucleus of the female rat. *Neuroscience Letters* 2016 ; 612 (1) : 161-166.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 飯島典生, 松本恵介, 託見 健, 小澤一史 : 無麻酔・非拘束動物への光ファイバー顕微鏡の適用可能性について. 日本顕微鏡学会関東支部講演会 (第 40 回) (東京), 2016. 2.

(2) 一般講演：

- 1) Higo S, Honda S, Iijima N, Ozawa H : Kiss1r expression in the rat hypothalamic oxytocin neurons. *World Congress on Neurohypophysial Hormones (11th)* (Queenstown, New Zealand), 2015. 8.
- 2) 國村有弓, 岩田衣世, 石神昭人, 小澤一史 : Alteration of KNDy neuron and pulsatile LH release in female rats during aging. 日本神経科学大会 (第 38 回) (神戸), 2015. 7.
- 3) 肥後心平, 飯島典生, 小澤一史 : Distribution of the Kiss1r mRNA expression in the adult female rat brain. 日本神経科学大会 (第 38 回) (神戸), 2015. 7.
- 4) 小澤一史, 岩田衣世, 國村有弓, 肥後心平, 託見 健, 村川裕子, 飯島典生 : 新規生理活性神経ペプチド「Kisspeptin」による HPG 軸への統合制御調節システム. 日本内分泌学会学術総会 (第 88 回) (東京), 2015. 4.
- 5) 永本盛嗣, 飯島典生, 相川優子, 石井寛高, 肥後心平, 託見 健, 安齋めぐみ, 坂本篤裕, 小澤一史 : 株化細胞を用いた in vitro 吸入麻酔薬作用解析実験系の確立. 日本神経内分泌学会 (第 42 回) (仙台), 2015. 9.
- 6) 服部裕次郎, 石井寛高, 森田明夫, 小澤一史 : ラットエストロゲン受容体 α 遺伝子の Δ exon 1 変異体の機能解析. 日本神経内分泌学会 (第 42 回) (仙台), 2015. 9.

- 7) 石井寛高, 服部裕次郎, 渡部 寛, 小澤一史: C末端欠損型エストロゲン受容体 α 変異体の恒常的活性化機構の解明. 日本神経内分泌学会(第42回)(仙台), 2015. 9.
- 8) 國村有弓, 岩田衣世, 石神昭人, 小澤一史: 加齢にともなう雌ラットのKNDyニューロンの発現変化. 日本神経内分泌学会(第42回)(仙台), 2015. 9.
- 9) 肥後心平, 相川優子, 飯島典生, 小澤一史: 授乳時の妊孕性低下は授乳による急性的なキスペプチン発現制御が原因となる. 日本医科大学医学会総会(第83回)(東京), 2015. 9.
- 10) 李 松子, 託見 健, 飯島典生, 小澤一史: 思春期前後におけるGnRHニューロン上のスパインの変化に関する機能形態学的解析. 日本医科大学医学会総会(第83回)(東京), 2015. 9.
- 11) 飯島典生, 託見 健, 小澤一史: 無麻酔, 非拘束動物からの脳深部神経活動のリアルタイムイメージング: 光ファイバー束を介した新システムの開発. 日本医科大学医学会総会(第83回)(東京), 2015. 9.
- 12) 託見 健, 飯島典生, 小澤一史: 弓状核におけるミクログリアの発達変化とキスベチンニューロンとの近接の形態学的解析. 日本組織細胞化学会総会・学術集会(第56回)(枚方), 2015. 10.
- 13) 李 松子, 託見 健, 飯島典生, 小澤一史: 思春期発達に伴うGnRHニューロン樹状突起スパインの形態変化. 日本組織細胞化学会総会・学術集会(第56回)(枚方), 2015. 10.
- 14) 肥後心平, 本田世玲奈, 飯島典生, 小澤一史: ラット脳におけるKiss1r mRNA発現の分子組織化学的解析. 日本組織細胞化学会総会・学術集会(第56回)(枚方), 2015. 10.
- 15) 託見 健, 飯島典生, 小澤一史: 弓状核ミクログリアとキスベチンニューロンとの機能形態学的関係の解析. 日本解剖学会総会・全国学術集会(第121回)(郡山), 2016. 3.
- 16) 肥後心平, 本田世玲奈, 飯島典生, 小澤一史: ラット室傍核のオキシトシン神経におけるキスベチン受容体の共発現. 日本解剖学会総会・全国学術集会(第121回)(郡山), 2016. 3.
- 17) 李 松子, 託見 健, 飯島典生, 小澤一史: 発達にともなうラットGnRHニューロンのスパインの形態変化の解析. 日本解剖学会総会・全国学術集会(第121回)(郡山), 2016. 3.
- 18) 服部裕次郎, 石井寛高, 渡部 寛, 森田明夫, 小澤一史: C末端欠損型エストロゲン受容体 α 変異体の恒常的活性化機構の解析. 日本解剖学会総会・全国学術集会(第121回)(郡山), 2016. 3.
- 19) 渡部 寛, 石井寛高, 高橋謙治, 高井信朗, 小澤一史: 変形性膝関節症の滑膜ステロイド受容体発現量はBMIと逆相関する. 日本解剖学会総会・全国学術集会(第121回)(郡山), 2016. 3.
- 20) 友利裕二, 飯島典生, 日沼州司, 天野千絵, 石井寛高, 託見 健, 高井信朗, 小澤一史: 表面電荷の違いによるリボソームの細胞内動態の解析. 日本解剖学会総会・全国学術集会(第121回)(郡山), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分原著:

- 1) Higo S, Aikawa S, Iijima N, Ozawa H: Rapid modulation of hypothalamic Kiss1 levels by the suckling stimulus in the lactating rat. *Journal of Endocrinology* 2015; 227 (2): 105-115.
- 2) Higo S, Honda S, Iijima N, Ozawa H: Mapping of Kisspeptin Receptor mRNA in the Whole Rat Brain and its Co-Localisation with Oxytocin in the Paraventricular Nucleus. *Journal of Neuroendocrinology* 2016; 28 (4): 10.1111/Jne.312356.
- 3) Matsuo I, Iijima N, Takumi K, Higo S, Aikawa S, Anzai M, Ishii H, Sakamoto A, Ozawa H: Characterization of sevoflurane effects on Per2 expression using ex vivo bioluminescence imaging of the suprachiasmatic nucleus in transgenic rats. *Neuroscience Research* 2016; 620 (4): 163-168.

3. 感覚情報科学分野

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) Kino Y¹⁾, Washizu C²⁾, Kurosawa M¹⁾, Yamada M²⁾, Miyazaki H¹⁾, Akagi T³⁾, Hashikawa T³⁾, Doi H⁴⁾, Takumi T⁵⁾, Hicks GG⁶⁾, Hattori N¹⁾, Shimogori T⁷⁾, Nukina N¹⁾ (¹⁾ Department of Neuroscience for Neurodegenerative Disorders, Juntendo University Graduate School of Medicine, ²⁾ Laboratory for Structural Neuropathology, Brain Science Institute, RIKEN, ³⁾ Research Resource Center, Brain Science Institute, RIKEN, ⁴⁾ Department of Clinical Neurology and Stroke Medicine, Graduate School of Medicine, Yokohama City University, ⁵⁾ CREST (Core Research for Evolutionary Science and Technology), JST, ⁶⁾ Manitoba Institute of Cell Biology, University of Manitoba, ⁷⁾ Laboratory for Molecular Mechanisms of Thalamus Development, Brain Science Institute, RIKEN) : FUS/TLS deficiency causes behavioral and pathological abnormalities distinct from amyotrophic lateral sclerosis. *Acta Neuropathologica Communications* 2015 ; 3 (24) : 1-11.
- 2) Esaki K¹⁾, Sayano T¹⁾, Sonoda C¹⁾, Akagi T²⁾, Suzuki T¹⁾, Ogawa T³⁾, Okamoto M¹⁾, Yoshikawa T⁴⁾, Hirabayashi Y⁵⁾, Furuya S¹⁾ (¹⁾ Division of Systems Bioengineering, Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences, Kyushu University, ²⁾ Support Unit for Neuromorphological Analysis, RIKEN Brain Science Institute, ³⁾ Department of Pharmaceutical Sciences, International University of Health and Welfare, ⁴⁾ Laboratories for Molecular Psychiatry, RIKEN Brain Science Institute, ⁵⁾ Laboratories for Molecular Membrane Neuroscience, RIKEN Brain Science Institute) : L-Serine Deficiency Elicits Intracellular Accumulation of Cytotoxic Deoxysphingolipids and Lipid Body Formation. *J Biol Chem.* 2015 ; 290 (23) : 14595-145609.
- 3) Kaewkhaw R^{1,2)}, Kaya K¹⁾, Brooks M¹⁾, Homma K, Zou J^{3,4)}, Chaitankar V¹⁾, Rao M³⁾, Swaroop A¹⁾ (¹⁾ Neurobiology-Neurodegeneration & Repair Laboratory, National Eye Institute, National Institutes of Health, ²⁾ Research Center, Faculty of Medicine Ramathibodi Hospital, Mahidol University, ³⁾ Center for Regenerative Medicine, National Institutes of Health, ⁴⁾ iPSC Core, Center for Molecular Medicine, National Heart, Lung, and Blood Institute) : Transcriptome Dynamics of Developing Photoreceptors in Three-Dimensional Retina Cultures Recapitulates Temporal Sequence of Human Cone and Rod Differentiation Revealing Cell Surface Markers and Gene Networks. *STEM CELLS* 2015 ; 33 (12) : 3504-3518.
- 4) Ishii T, Iwasawa S¹⁾, Kurimoto R¹⁾, Maeda A²⁾, Takiguchi Y¹⁾, Kaneda M (¹⁾ Department of Medical Oncology, Graduate School of Medicine, Chiba University, ²⁾ Tokyo Medical Care and Welfare Vocational School) : Crizotinib-Induced Abnormal Signal Processing in the Retina. *PLOS ONE* 2015 ; 10 (8).
- 5) Hama H¹⁾, Hioki H²⁾, Namiki K¹⁾, Hoshida T³⁾, Kurokawa H¹⁾, Ishidate F¹⁾, Kaneko T²⁾, Akagi T⁴⁾, Saito T⁵⁾, Saido T⁵⁾, Miyawaki A^{1,3)} (¹⁾ Laboratory for Cell Function Dynamics, Brain Science Institute, RIKEN, ²⁾ Department of Morphological Brain Science, Graduate School of Medicine, Kyoto University, ³⁾ Biotechnological Optics Research Team, Center for Advanced Photonics, RIKEN, ⁴⁾ Support Unit for Animal Resources Development, Brain Science Institute, RIKEN, ⁵⁾ Laboratory for Proteolytic Neuroscience, Brain Science Institute, RIKEN) : Sca/eS : an optical clearing palette for biological imaging. *nature neuroscience* 2015 ; 18 (10) : 1518-1529.
- 6) Kiyama R¹⁾, Kiyama-Wada Y (¹⁾ Biomedical Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)) : Estrogenic endocrine disruptors : Molecular mechanisms of action. *Environment International* 2015 ; 83 : 11-40.

学会発表

(1) 一般講演 :

- 1) Homma K, Kaneda M : Visualization of photoreceptors derived from human iPSC by using CRISPR/Cas9 system. *Neuroscience 2015 (Chicago)*, 2015. 10.
- 2) Ishii T, Iwasawa S¹⁾, Kurimoto R¹⁾, Maeda A²⁾, Takiguchi Y¹⁾, Kaneda M (¹⁾ Chiba Univ., ²⁾ Tokyo Med. Care and Welfare Vocational Sch.) : Crizotinib disrupt visual processing in the mouse retina. *Neuroscience 2015 (Chicago)*, 2015. 10.
- 3) Homma K, Kaneda M : Generation of human iPSC photoreceptor-gene reporter lines by using CRISPR/Cas9 system. *日本神経科学大会 (第38回) (神戸)*, 2015. 7.
- 4) Ishii T, Homma K, Mano A, Shigematsu T¹⁾, Shimoda Y¹⁾, Kakinuma Y, Kaneda M (¹⁾ MRI, Tokyo Women's Med. Univ. Tokyo Japan) : Transpoter-independent choline uptake in the mouse retina. *日本神経科学大会 (第38回) (神戸)*, 2015. 7.
- 5) 本間耕平, 金田 誠 : CRISPR/Cas9 システムによるヒト iPSC 細胞ノックインライン作製と分化視細胞の可視化. *視覚科学フォーラム研究会 (第19回) (福島)*, 2015. 8.

- 6) 荻原郁夫¹⁾, 眞崎恵美¹⁾, 山川和弘¹⁾ (¹⁾ 理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経遺伝研究チーム) : パルプアルブミン陽性細胞特異的 SCN1A 遺伝子破壊マウスに認められた社会的行動異常と空間記憶学習障害. 日本てんかん学会 (第 49 回) (長崎), 2015. 10.
- 7) 石井俊行, 岩澤俊一郎¹⁾, 栗本遼太¹⁾, 前田朱美²⁾, 鈴木千晶, 碓井澄子, 滝口裕一¹⁾, 金田 誠 (¹⁾ 千葉大学 医学部附属病院 臨床腫瘍部, ²⁾ 東京医療福祉専門学校) : マルチ電極法を用いたマウス網膜光応答に対する ALK 阻害薬の作用評価. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (横浜), 2015. 11.
- 8) 本間耕平, 金田 誠 : CRISPR/Cas9 システムによる視細胞関連遺伝子レポーターノックインヒト iPS 細胞の作製. 日本分子生物学会年会 (第 38 回) (神戸), 2015. 12.
- 9) 小牟田縁¹⁾, 石井俊行, 金田 誠, 上田泰次²⁾, 豊田雅士³⁾, 梅澤明弘⁴⁾, 世古裕子¹⁾ (¹⁾ 国立障害者リハビリテーションセンター 研究所, ²⁾ (株) ID ファーマ, ³⁾ 東京都健康長寿医療センター 研究所, ⁴⁾ 国立成育医療研究センター 再生医療センター) : 末梢血単核細胞から網膜視細胞様細胞への直接的分化誘導. 日本分子生物学会年会 (第 38 回) (神戸), 2015. 12.
- 10) 濱田知宏, 佐久間康夫¹⁾ (¹⁾ 東京医療学院大学) : エストロゲンの細胞分散作用による視索前野性的二型核の雄性化. 日本生理学会大会 (第 93 回) (札幌), 2016. 3.
- 11) 尹 成珠, 金田 誠 : マウスの網膜で ON 型双極細胞の周辺部応答はどのように形成されているのか?. 日本生理学会大会 (第 93 回) (札幌), 2016. 3.
- 12) 石井俊行, 金田 誠 : マウス網膜コリン作動性細胞における経路特異的入力応答. 日本生理学会大会 (第 93 回) (札幌), 2016. 3.

4. 生体統御科学分野

研究概要

本講座では、非神経性コリン作動系 NNCS に関する研究、胎児プログラミング、摂食エネルギー代謝調節機構、神経変性疾患の発症機序の解明などの研究を進めてきた。心臓 NNCS に関する研究については、基礎的研究において心臓 NNCS の機能亢進を惹起させる方法論の具体的プロトコルの確立をマウスを用いて行い、その方法が一部証明された。この研究は英文論文として発表された。加えて、心臓 NNCS の *in vivo* 生理学的機能を、NNCS 機能亢進モデルマウスすなわち心臓特異的 ACh 産生機能亢進マウスを用いて証明し、その特異的な表現型が明らかとなり、現在論文投稿中である。胎児プログラミングの研究では、妊娠中の糖質由来のカロリーを制限した母ラットからの出生仔で、ストレス負荷後に血中コレステロン濃度の高値持続が見られることや血圧の上昇がみられるその基盤的なメカニズムについて、研究が行われてきた。これは、現代社会にその頻度が多くなっている低出生体重児が、その後の生活習慣病への下地として考えられる可能性を示す研究として重要な視点を示唆するものである。慢性ストレス単独によるドーパミン神経への影響を解析した研究では、慢性ストレスのみでも、ドーパミン神経の機能異常および脱落を引き起こすメカニズムが解明され、そこには脳内免疫に関わるミクログリアの活性化とそこ由来の活性酸素種の発生増加の関与が考えられ、論文として発表された。過活動性拒食症モデルラットを作成し、そのストレスにおける HPA 軸機能への影響、関連ホルモン受容体の制御に関わる研究を継続中である。また、CRF 受容体の下垂体における組織学的解析を行い、その内容について現在論文投稿中である。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Nemoto T, Kakinuma Y, Shibasaki T : Restraint-Induced Glucocorticoid Receptor Downregulation is Dysregulated in High Fat Diet-Fed Rats Likely from Impairment of miR-142-3p Expression in the Hypothalamus and Hippocampus. *American Journal of Life Sciences* 2015 ; 3 (3-2) : 24-30.
- 2) 竹之内敬人¹⁾, 月本光俊¹⁾, 岩丸祥史¹⁾, 洲鎌秀永, 関山一成²⁾, 佐藤 充¹⁾, 小島周二¹⁾, 橋本 款²⁾, 木谷 裕¹⁾ (¹⁾ 農業生物学研究所, ²⁾ 東京都医学総合研究所) : Extracellular ATP induces unconventional release of glyceraldehyde-3-phosphate dehydrogenase from microglial cells. *Immunology Letters* 2015 ; 167 (2) : 116-124.
- 3) 洲鎌秀永, 関山一成¹⁾, 児玉 享¹⁾, 高松芳樹¹⁾, 竹之内敬人²⁾, 橋本 款¹⁾, Conti B³⁾, 柿沼由彦 (¹⁾ 東京都医学総合研究所, ²⁾ 農業生物学研究所, ³⁾ The Scripps Research Institute (USA)) : Chronic restraint stress triggers dopaminergic and noradrenergic neurodegeneration : Possible role of chronic stress in the onset of Parkinson's disease. *Brain, Behavior, and Immunity* 2016 ; 51 (1) : 39-46.

著書

- 1) 柿沼由彦 : [自著] 心臓の力 : 休めない臓器はなぜ「それ」を宿したのか. (ブルーバックス B-1929) 心臓の力, 2015 ; pp1-221, 講談社.

学会発表

(1) 招待講演：

- 1) 根本崇宏 : ストレスや栄養状態が視床下部 - 下垂体ホルモンの分泌に与える影響. *Pfizer Endocrinology Forum 2015* (東京), 2015. 9.
- 2) 柿沼由彦 : 循環器領域における NNA (non-neuronal ACh) の関与の可能性. 運動循環器病学会研究会 (第 9 回) (東京), 2016. 2.

(2) ワークショップ：

- 1) 根本崇宏, 柿沼由彦 : Impaired glucocorticoid feedback in low birth weight offspring of calorie restricted dam and its association with behavioral abnormalities. 日本分子生物学会年会 (第 38 回), 日本生化学会大会 (第 88 回) 合同大会 (兵庫県神戸市), 2015. 12.

(3) 一般講演：

- 1) 洲鎌秀永, 柿沼由彦 : Chronic restraint stress triggers the dopaminergic and noradrenergic neurodegeneration-possible role of chronic stress in the onset of Parkinson's disease. 日本生理学会大会 (第 93 回) (北海道札幌市), 2016. 3.
- 2) 柿沼由彦, 及川詩乃, 眞野あすか : Remote ischemic preconditioning with a specialized protocol activates the non-neuronal cardiac cholinergic system and increases ATP content in the heart. 日本生理学会大会 (第 93 回) (北海道札幌市), 2016. 3.

- 3) 根本崇宏, 柿沼由彦, 芝崎 保: 通常食及び高脂肪食負荷の低出生体重ラットでみられた血圧上昇と心臓でのウロコルチン2のmRNAの発現調節の異常. 日本内分泌学会学術総会(第88回)(東京), 2015. 4.
- 4) 根本崇宏, 柿沼由彦: 妊娠中の摂取カロリー制限母ラットからの低出生体重ラットとその仔でみられる血中コルチコステロン濃度上昇の解析. 日本DOHaD研究会(第4回)(東京), 2015. 8.
- 5) 根本崇宏, 竹下俊行¹⁾, 柿沼由彦⁽¹⁾ 日本医科大学 産婦人科学): 母の炭水化物制限により生じる低出生体重ラット仔とその仔では拘束ストレス負荷後に血中コルチコステロンが高値持続する. 産婦人科栄養・代謝研究会(第39回)(東京), 2015. 8.
- 6) 根本崇宏, 柿沼由彦, 芝崎 保: 低出生体重ラット仔でみられる拘束ストレス負荷後の血中コルチコステロン高値持続は次世代にも影響する. 日本神経内分泌学会学術集会(第42回)(宮城県仙台市), 2015. 9.
- 7) 根本崇宏, 柿沼由彦: Elevation of blood pressure in F2 offspring of dams delivered from carbohydrate-restriction during pregnancy. 日本生理学会大会(第93回)(北海道札幌市), 2016. 3.

論 文

[追加分]

追加分原著:

- 1) 及川詩乃, 眞野あすか, 高橋李奈¹⁾, 柿沼由彦⁽¹⁾ 文京学院大学): Remote ischemic preconditioning with a specialized protocol activates the non-neuronal cardiac cholinergic system and increases ATP content in the heart. *International Immunopharmacology* 2015; 29 (1) : 181-184.
- 2) 根本崇宏, 柿沼由彦, 芝崎 保: Impaired miR449a-induced downregulation of Crhr1 expression in low-birth-weight rats. *Journal of Endocrinology* 2015; 224 (2) : 195-203.
- 3) 及川詩乃, 眞野あすか, 池谷光江, 柿沼由彦: Nicotinic receptor-dependent and -independent effects of galantamine, an acetylcholinesterase inhibitor, on the non-neuronal acetylcholine system in C2C12 cells. *International Immunopharmacology* 2015; 29 (1) : 31-35.
- 4) 柿沼由彦: Future perspectives of a cardiac non-neuronal acetylcholine system targeting cardiovascular diseases as an adjunctive tool for metabolic intervention. *International Immunopharmacology* 2015; 29 (1) : 185-188.

5. 代謝・栄養学分野

研究概要

以下の多くは学内外との共同研究だが、個別の表示は割愛した。1. 石灰化の分子機構とアルカリホスファターゼ (ALP) 1) 低ホスファターゼ症をきたす変異組織非特異型 ALP 蛋白質の解析：p. F327del では構造変化による発現量低下と糖鎖修飾障害、2 量体 interface の変異 (p. T68M と p. R71S) では 2 量体形成障害による活性低下を認めた。同一アレル上の複数アミノ酸置換 (p. A33V / p. S367T；後者は新規置換) では病因は前者であった。2) 野生型蛋白質の大量発現系の構築。3) 基質小胞の解析：石灰化時に細胞より芽出する基質小胞の採取法を確立し、構成蛋白質の発現変動の網羅的解析を行った。4) 血管壁異所性石灰化モデルの血管平滑筋培養細胞を用いた高リンによる細胞応答の解析。5) アデニン負荷腎不全モデルマウスの高リン食による血管石灰化分子機構の解析：リン酸輸送体の発現増加を認めた。6) 小腸型 ALP の遺伝子解析。2. キサンチン酸化還元酵素 (XOR) 1) XOR による活性酸素産生機構の酵素学的、構造生物学的解析：国際学会にて演者川口が学会賞を受賞した。2) 変異 XOR 組換え活性酸素超産生マウスの解析：活性酸素ストレスの生体レベルの検証として、DNA アレイ解析、in situ 解析により O₂-特異的酸化ストレスに対する主要臓器の応答機構を解析している。3) 全脳虚血マウスモデルにおける XOR 阻害剤保護効果の検証。4) 酵素-阻害剤複合体の MD シミュレーション解析。5) XOR が関わるヌクレオチド代謝の分子機構解析。3. 好熱菌等の鉄硫黄酵素 好熱菌等の鉄硫黄酵素の構造機能解析のためのアミノ酸要求性大腸菌株作成とそれを用いた解析、mitoNEET 構造機能生理研究など。4. 極微弱近赤外光検出装置を用いた 1 重項酸素 (励起状態の酸素分子) の検出・定量法の開発

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Yamaguchi M¹⁾, Okamoto K³⁾, Kusano T³⁾, Matsuda Y²⁾, Suzuki G¹⁾, Huse A¹⁾, Yokota H¹⁾ (1) Nippon Medical School, Emergency and Critical Care Medicine, 2) Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital and Institute of Gerontology, Department of Pathology, 3) Nippon Medical School, Biochemistry and Molecular Biology) : The Effects of Xanthine Oxidoreductase Inhibitors on Oxidative Stress Markers following Global Brain Ischemia Reperfusion Injury in C57BL/6 Mice. PLoS One. 2015 ; 10 (7) : e0133980.
- 2) Nishino T¹⁾, Okamoto K¹⁾, Kawaguchi Y¹⁾, Matsumura T¹⁾, Egar B²⁾, Pai E²⁾, Nishino T³⁾ (1) Department of Biochemistry and Molecular Biology, Nippon Medical School, 2) Department of Biochemistry, University of Toronto, ON, Canada, 3) Department of Applied Biological Chemistry, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo) : The C-terminal peptide plays a role in the formation of an intermediate form during the transition between xanthine dehydrogenase and xanthine oxidase. FEBS J. 2015 ; 282 (16) : 3075-3090.
- 3) Nakayama A¹⁾, Sakatsume M³⁾, Suzuki H⁴⁾, Katayama A⁵⁾, Kanamori K¹⁾, Shiba K⁶⁾, Iijima S^{1,6)}, Kubota R²⁾ (1) Faculty of Health Science Technology, Bunkyo Gakuin University, 2) Department of Health Sciences, Saitama Prefectural University, 3) Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, 4) Department of Pharmacology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 5) Department of Biochemistry and Molecular Biology, Nippon Medical School, 6) Division of Health Care Science, Graduate School of Health Care Science, Bunkyo Gakuin University) : S. Cellulose Acetate Membrane Electrophoresis Based Urinary Proteomics for the Identification of Characteristic Proteins. Journal of Clinical Laboratory Analysis 2015 ; 0 (0) : 1-9.

(2) 総説：

- 1) Lin MT¹⁾, Fukazawa R, Miyajima-Nakano Y, Matsushita S, Choi SK¹⁾, Iwasaki T, Gennis RB¹⁾ (1) Univ. Illinois at Urbana-Champaign) : *Escherichia coli* auxotroph host strains for amino acid-selective isotope labeling of recombinant proteins. Methods Enzymol. (Isotope Labeling of Biomolecules - Labeling Methods) 2015 ; 565 : 45-66.
- 2) Suwanai Y¹⁾, Nagahara N¹⁾, Naito Z¹⁾, Orimo H (1) Isotope Research Center, Nippon Medical School) : Functional analysis of 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase using knockout mice. Advanced Techniques in Biology & Medicine 2016 ; 4 (1) : 1-4.

(3) 研究報告書：

- 1) 岩崎俊雄：グルコース感受性に関わる細菌型 mitoNEET の生体内レドックス制御システム解析。長瀬科学技術振興財団 研究報告集 2015 ; 26 : 89-97.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) Taguchi TA, Miyajima-Nakano Y, Fukazawa R, Baldansuren A¹⁾, Samoilova IR²⁾, Hasegawa K³⁾, Kumasaka T³⁾, Dikanov AS¹⁾, Iwasaki T (¹⁾ Univ. Illinois at Urbana-Champaign, ²⁾ Russian Acad. Sci., ³⁾ JASRI/Spring-8) : Mapping the electron spin distribution in [2Fe-2S] proteins by ¹³C (beta) cysteine labeling : implications in electron transport pathways. 17th International Conference on Bioinorganic Chemistry (Beijing, China), 2015. 7.
- 2) Kawaguchi Y¹⁾, Nishino T¹⁾, Okamoto K¹⁾, Nishino T²⁾ (¹⁾ Nippon Med. Sch., ²⁾ Grad. Sch. of Agric. and Life Sci. The Univ. of Tokyo) : The role of Asp428 in the reactivity of xanthine dehydrogenase. IX Molybdenum & Tungsten Enzymes Conference 2015 (Hungary), 2015. 9.
- 3) Tani T¹⁾, Shimizu A²⁾, Tsuruoka S¹⁾, Orimo H (¹⁾ Department of Nephrology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Analytic Human Pathology, Nippon Medical School) : High phosphorus diet drastically accelerates CKD-MBD complications of adenine-induced CKD model mouse. ALPS 研究会 (第 11 回) (東京), 2015. 7.
- 4) Saito S, Watanabe A^{1,3)}, Matsumura T, Saito S, Kawamura M²⁾, Sasaki M³⁾, Okada T¹⁾, Orimo H (¹⁾ Division of Molecular Genetics, Department of Biochemistry & Molecular biology, Nippon Medical School, ²⁾ Division of Personalized Genetic Medicine, Nippon Medical School Hospital, ³⁾ Division of Clinical Genetics, Nippon Medical School Hospital) : Homozygous amino acid substitutions (p.A33V/p.S367T) in tissue-nonspecific alkaline phosphatase found in a Malaysian patient with perinatal form hypophosphatasia. ALPS 研究会 (第 11 回) (東京), 2015. 7.
- 5) Matsumura T, Saito S, Orimo H : Characterization of the effect of amino acid substitution in tissue-nonspecific alkaline phosphatase (p. T68M or p. R71S) found in hypophosphatasia patients. ALPS 研究会 (第 11 回) (東京), 2015. 7.
- 6) 草野輝男, 辻田和宏, 牧内正男, 西野朋子, 柿沼カツ子 : ラクトペルオキシダーゼが関与する 1 重項酸素生成反応の解析. 日本生化学会大会 (第 88 回) (神戸ポートアイランド), 2015. 12.
- 7) 川口裕子¹⁾, 西野朋子¹⁾, 岡本 研¹⁾, 西野 研²⁾ (¹⁾ 日本医大 生化・分生 (代謝・栄養), ²⁾ 東大院 農 生命科学) : キサンチン脱水素酵素 (XDH) の NAD⁺ の結合による反応調節. 日本生化学会大会 (第 88 回) (神戸), 2015. 12.
- 8) 松村智裕, 齋藤志は, 折茂英生 : 低ホスファターゼ症例における変異アルカリホスファターゼの解析. 日本生化学会大会 (第 88 回) (神戸ポートアイランド), 2015. 12.
- 9) 岡本 研¹⁾, 菊地浩人²⁾, 藤崎弘士²⁾, 古田忠臣³⁾, 西野武士⁴⁾ (¹⁾ 日本医大 生化・分生 (代謝・栄養), ²⁾ 日医大 物理, ³⁾ 東工大院 生命理工, ⁴⁾ 東大 農 生命科学) : キサンチン酸化還元酵素の基質ガイド機構の解析. 日本生化学会大会 (88) (神戸), 2015. 12.
- 10) 片山 映, 栗原佐知子¹⁾, 鈴木英紀²⁾, 折茂英生 (¹⁾ 日本医科大学産婦人科, ²⁾ 日本医科大学共同研究センター形態解析共同研究施設) : 基質小胞性石灰化における基質小胞タンパク質の網羅的解析. 日本生化学会大会 (第 88 回) (神戸), 2015. 12.
- 11) 谷 崇¹⁾, 清水 章²⁾, 折茂英生, 鶴岡秀一¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学腎臓内科学, ²⁾ 日本医科大学解析人体病理学) : アデニン負荷腎不全モデルマウスにおいて, 高リン血症の存在は著しく CKD-MBD を進行させる. 日本腎性骨症研究会 2016 (東京), 2016. 2.
- 12) 川口裕子¹⁾, 西野朋子¹⁾, 岡本 研¹⁾, 西野武士²⁾ (¹⁾ 日本医大 生化・分生 (代謝・栄養), ²⁾ 東大院 農 生命科学) : キサンチン酸化還元酵素における Asp428 は XDH/XO 反応を巧妙に調節する重要アミノ酸である. 日本痛風・核酸代謝学会総会 (49) (大阪), 2016. 2.
- 13) 岡本 研¹⁾, 菊地浩人²⁾, 藤崎弘士²⁾, 古田忠臣³⁾, 西野武士⁴⁾ (¹⁾ 日本医大 生化・分生 (代謝・栄養), ²⁾ 日本医大 物理, ³⁾ 東工大院 生命理工, ⁴⁾ 東大院 農 生命科学) : キサンチン酸化還元酵素基質結合ポケットの動的解析. 日本痛風核酸代謝学会 (49) (大阪), 2016. 2.

(2)

- 1) 岩崎俊雄 : グルコース感受性に関わる細菌型 mitoNEET の生体内レドックス制御システム解析. 長瀬科学技術振興財団・平成 26 年度研究成果発表会 (大阪), 2015. 4.

6. 分子遺伝医学分野

研究概要

分子遺伝学では遺伝子細胞治療の基盤技術開発を中心に、幅広くゲノム医学や再生医療に取り組んでいる。遺伝子治療研究としては、アデノ随伴ウイルス (AAV) ベクター関連技術の開発を推進した。GMP 準拠ベクター製造法の確立に向け、イオン交換とゲル濾過により超遠心操作が不要なプロトコルを立案し検証した。その応用として、難治性遺伝性疾患 (デュシェンヌ型筋ジストロフィー、低フォスファターゼ症、異染性白質ジストロフィー)、網膜疾患や癌に関する分子病態解析および治療研究を推進した。単一遺伝子病に対する遺伝子治療では遺伝子産物に対する免疫応答が課題となるが、その対策として炎症制御細胞を併用した免疫寛容遺伝子治療を提案し、中型動物における効果を証明した。また、骨髄間質細胞や歯髄幹細胞を応用した炎症制御療法に向け、デュシェンヌ型筋ジストロフィーや脳虚血再還流障害の動物モデルを用いて治療研究を推進した。これら基盤技術の臨床応用に向け、民間企業と協力し共同研究を実施した。臨床展開の取り組みとして医薬品医療機器総合機構の薬事戦略相談を実施し、医師主導治験に向けた取り組みについて指導を受けた。さらに遺伝子細胞治療の ELSI (倫理, 法, 社会的課題) に関し、遺伝子治療ガイドラインの改正や遺伝子治療におけるカルタヘナ法第一種使用等の規制緩和に関する事業 (厚労省および医薬品医療機器総合機構) に参加し政策提言を行った。ハイテクリサーチプロジェクトで設置されたゲノム解析室では、全学的な遺伝子研究の共同利用施設としての運営に加え、遺伝診療科と協力して日本全国から依頼された遺伝病の遺伝子解析を行った。また、ゲノム先端医療部と協力してオーダーメイド医療のための薬剤感受性遺伝子や易罹患性遺伝子の検索を行った。

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Koeda M¹, Watanabe A, Tsuda K², Matsumoto M², Ikeda Y³, Kim W¹, Naing B, Karibe H³, Shimada T, Suzuki H⁴, Matsuura M², Okubo Y¹ (1) Department of Neuropsychiatry, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, (2) Department of Biofunctional Informatics, Tokyo Medical and Dental University, (3) Department of Pediatric Dentistry, Nippon Dental University, (4) Department of Pharmacology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Interaction Effect between Handedness and CNTNAP2 Polymorphism (rs7794745 genotype) on Voice-specific Frontotemporal Activity in Healthy Individuals : An fMRI Study. *Front Behav Neurosci.* 2015 ; 9 (87) : 1-13.
- 2) Sago H^{1, 2}, Sekizawa A^{1, 3}, Japan Nipt Consortium¹ (1) Japan NIPT consortium, Tokyo, Japan ; Center of Maternal-Fetal, Neonatal and Reproductive Medicine, National Center for Child Health and Development, (2) National Research Institute for Child Health and Development, (3) Department of Obstetrics and Gynecology, Showa University School of Medicine) : Nationwide demonstration project of next-generation sequencing of cell-free DNA in maternal plasma in Japan. 1-year experience. *Prenat Diagn.* 2015 ; 35 (4) : 331-336.
- 3) Oyama S¹, Funasaka Y¹, Watanabe A, Takizawa T¹, Kawana S¹, Saeki H¹ (1) Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : BRAF, KIT, and NRAS mutations and expression of c-KIT, pERK and pAKT in Japanese melanoma patients. *J Dermatol.* 2015 ; 42 (5) : 447-484.
- 4) Hironaka K, Yamazaki Y, Hirai Y, Yamamoto M, Miyake N, Miyake K, Okada T, Morita A¹, Shimada T (1) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School) : Enzyme replacement in the CSF to treat metachromatic leukodystrophy in mouse model using single intracerebroventricular injection of self-complementary AAV1 vector. *Sci Rep.* 2015 ; 5 (13104) : 1-12.
- 5) Nishina K¹, Piao W¹, Yoshida-Tanaka K¹, Sujino Y¹, Nishina T¹, Yamamoto T², Nitta K¹, Yoshioka K¹, Kuwahara H¹, Yasuhara H², Baba T², Ono F³, Miyata K⁴, Miyake K, Seth P⁵, et al. (1) Department of Neurology and Neurological Science, Graduate School, Tokyo Medical and Dental University, (2) Bioorganic Chemistry, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University, (3) The Corporation for Production and Research of Laboratory Primates, (4) Division of Clinical Biotechnology, Center for Disease Biology and Integrative Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, (5) Isis Pharmaceuticals, 2855 Gazelle Court, Carlsbad, California) : DNA/RNA heteroduplex oligonucleotide for highly efficient gene silencing. *Nat Commun.* 2015 ; 6 (7669) : 1-13.
- 6) Dohi T, Miyake K, Aoki M, Ogawa R¹, Akaishi S¹, Shimada T, Okada T, Hyakusoku H¹ (1) Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School) : Tissue Inhibitor of Metalloproteinase-2 Suppresses Collagen Synthesis in Cultured Keloid Fibroblasts. *Plast Reconstr Surg Glob Open.* 2015 ; 3 (9) : 1-11.
- 7) Hara K, Watanabe A, Matsumoto S¹, Matsuda Y², Kuwata T³, Kan H¹, Yamada T¹, Koizumi M¹, Shinji S¹, Yamagishi

- A, Ishiwata T²⁾, Naito Z²⁾, Shimada T, Uchida E¹⁾ (1) Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Nippon Medical School, 2) Department of Pathology and Integrative Oncological Pathology, Nippon Medical School Graduate School, 3) National Cancer Center Hospital East) : Surgical specimens of colorectal cancer fixed with the PAXgene Tissue System preserve high-quality RNA. *Biopreserv Biobank* 2015 ; 13 (5) : 325-334.
- 8) Ojima T^{1, 2)}, Shibata E^{1, 2)}, Saito S^{1, 2)}, Toyoda M^{1, 3)}, Nakajima H H¹⁾, Yamazaki-Inoue M¹⁾, Miyagawa Y, Kiyokawa N¹⁾, Fujimoto J¹⁾, Sato T²⁾, Umezawa A¹⁾ (1) National Research Institute for Child Health and Development, 2) Department of Biosciences and Informatics, Keio University, 3) Department of Research Team for Geriatric Medicine, Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology) : Glycolipid dynamics in generation and differentiation of induced pluripotent stem cells. *Sci Rep.* 2015 ; 5 (14988) : 1-13.
- 9) Iijima O, Miyake K, Watanabe A, Miyake N, Igarashi T¹⁾, Kanokoda C, Nakamura-Takahashi A, Kinoshita H²⁾, Noguchi T³⁾, Abe S³⁾, Narisawa S⁴⁾, Millán JL⁴⁾, Okada T, Shimada T (1) Department of Ophthalmology, Nippon Medical School, 2) Department of Dental Materials Science, Tokyo Dental College, 3) Department of Anatomy, Tokyo Dental College, 4) Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham Prebys Medical Discovery Institute, La Jolla, California, USA.) : Prevention of Lethal Murine Hypophosphatasia by Neonatal Ex Vivo Gene Therapy Using Lentivirally Transduced Bone Marrow Cells. *Hum Gene Ther.* 2015 ; 26 (12) : 801-812.
- 10) Hayashita-Kinoh H, Yugeta N¹⁾, Okada H, Nitahara-Kasahara Y, Chiyo T¹⁾, Okada T, Takeda S¹⁾ (1) Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry) : Intra-amniotic rAAV-mediated microdystrophin gene transfer improves canine X-linked muscular dystrophy and may induce immune tolerance. *Mol Ther.* 2015 ; 23 (4) : 627-637.
- 11) Tomono T, Hirai Y, Okada H, Adachi K, Ishii A¹⁾, Shimada T, Onodera M²⁾, Tamaoka A¹⁾, Okada T (1) Department of Neurology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, 2) National Research Institute for Child Health and Development) : Ultracentrifugation-free chromatography-mediated large-scale purification of recombinant adeno-associated virus serotype 1 (rAAV1). *Mol Ther Methods Clin Dev* 2016 ; 3 (15058) : 1-8.
- 12) Nakamura-Takahashi A, Miyake K, Watanabe A, Hirai Y, Iijima O, Miyake N, Adachi K, Kasahara Y, Kinoshita H¹⁾, Noguchi T²⁾, Abe S²⁾, Narisawa S³⁾, Millán JL³⁾, Shimada T, Okada T (1) Department of Dental Materials Science, Tokyo Dental College, 2) Department of Anatomy, Tokyo Dental College, 3) Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham Prebys Medical Discovery Institute, La Jolla, California, USA.) : Treatment of hypophosphatasia by muscle-directed expression of bone-targeted alkaline phosphatase via self-complementary AAV8 vector. *Mol Ther Methods Clin Dev.* 2016 ; 3 (15059) : 1-9.
- 13) Watanabe A, Satoh K¹⁾, Maniwa T¹⁾, Matsumoto K¹⁾ (1) Department of Biosignaling and Radioisotope Experiment, Interdisciplinary Center for Science Research, Organization for Research, Shimane University) : Proteomic analysis for the identification of serum diagnostic biomarkers for joint hypermobility syndrome. *Int J Mol Med.* 2016 ; 37 (2) : 461-467.
- 14) Yaoita M¹⁾, Niihori T¹⁾, Mizuno S²⁾, Okamoto N³⁾, Hayashi S⁴⁾, Watanabe A, Yokozawa M⁵⁾, Suzumura H⁶⁾, Nakahara A⁷⁾, Nakano Y⁸⁾, Hokosaki T⁹⁾, Ohmori A¹⁰⁾, Sawada H¹⁰⁾, Migita O, Mima A (1) Department of Medical Genetics, Tohoku University School of Medicine, 2) Department of Pediatrics, Central Hospital, Aichi Human Service Center, 3) Department of Medical Genetics, Osaka Medical Center, Research Institute for Maternal and Child Health, 4) Department of Neonatology, The Jikei University Hospital, 5) Department of Pediatric Cardiology, Hokkaido Medical Center for Child Health and Rehabilitation, 6) Department of Pediatrics, Dokkyo Medical University, 7) Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, University of Miyazaki, 8) Department of Cardiology, Nagano Children's Hospital, 9) Department of Pediatrics, Yokohama City University Hospital, 10) and others) : Spectrum of mutations and genotype-phenotype analysis in Noonan syndrome patients with RIT1 mutations. *Human Genet.* 2016 ; 135 (2) : 209-222.
- 15) Nakata M¹⁾, Yamamoto S¹⁾, Okada T, Gantulga D¹⁾, Okano H³⁾, Ozawa K²⁾, Yada T^{1, 4)} (1) Department of Physiology, Division of Integrative Physiology, Jichi Medical University School of Medicine, 2) Division of Genetic Therapeutics, Center for Molecular Medicine, Jichi Medical University, 3) Department of Physiology, Keio University School of Medicine, 4) Department of Developmental Physiology, Division of Adaptation Development, National Institute for Physiological Sciences) : IL-10 gene transfer up-regulates arcuate POMC and ameliorates hyperphagia, obesity and diabetes by substituting for leptin. *Int Journal of Obesity* 2016 ; 40 (3) : 425-433.
- (2) 総説 :
- 1) 糸賀 栄¹⁾, 渡邊 淳, 野村文夫¹⁾ (1) 千葉大学医学部附属病院) : 第1章実用化に向かう次世代シーケンサーとその周辺 7. 全自動遺伝子解析装置の最新情報. 遺伝子医学MOOK「ますます臨床利用が進む遺伝子検査—その現状と今後の展望そして課題—」2015 ; (28) : 54-61.

- 2) 渡邊 淳, 武田(岡崎) 恵利^{1,2)}, 佐々木元子⁽¹⁾ 名古屋市立大学病院産科婦人科, ²⁾ お茶の水女子大学大学院): 第4章遺伝カウンセリングとその周辺 1. 遺伝学的検査を扱う際に知っておくべきガイドラインの概要. 遺伝子医学 MOOK「ますます臨床利用が進む遺伝子検査—その現状と今後の展望そして課題—」 2015;(28):222-227.
- 3) 伴野太郎, 岡田浩典, 岡田尚巳: 遺伝子導入用ウイルスベクターの特徴と作成法. Phama Medica 2015;33(4):15-22.
- 4) 岡田浩典, 伴野太郎, 岡田尚巳: ゲノム編集技術を用いる遺伝子治療. 血液フロンティア 2015;25(5):79-94.
- 5) 福本 裕¹⁾, 望月規央¹⁾, 三山健司¹⁾, 榎園 崇¹⁾, 中川栄二¹⁾, 小津慎太郎¹⁾, 岡田尚巳⁽¹⁾ 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院): 重症心身障害児(者)における唾液と略療に共通して分離される医療・介護関連肺炎原因菌について. 環境感染誌 Vol.30.No.4 2015;30(4):249-256.
- 6) 渡邊 淳: 固形腫瘍におけるコンパニオン診断と利用のポイント. 臨床病理 2015;63(1):1310-1315.

著書

- 1) Miyake K, Miyake N, Shimada T: [分担] Gene Delivery into the Central Nervous System (CNS) Using AAV Vectors. Gene Therapy - Principles and Challenges (Doaa Hashad), 2015; pp105-117, INTEC.
- 2) 渡邊 淳: [共著] 11. 遺伝子関連検査 14. 結合織疾患. 日常診療のための検査値のみかた(野村文夫, 村上正巳, 和田隆志, 末岡榮三郎編集), 2015; pp697-702, 中外医学社.

学会発表

(1) 特別講演:

- 1) Okada T: Development in AAV vector-based technology and its application to the gene and cell therapy for neuromuscular diseases. The 21st Annual Meeting of Japan Society of Gene Therapy (大阪), 2015. 7.
- 2) 岡田尚巳: 神経筋疾患に対する細胞遺伝子治療基盤技術開発. 関東機能的脳外科カンファレンス(第39回)(東京), 2015. 4.
- 3) 渡邊 淳: 医療現場でPGx検査を実施する有用性: 現状と課題「医療現場におけるPGxの実際と展望—TDMとPGxとの協働を目指して」. 日本TDM学会・学術大会(第32回)(松本), 2015. 5.
- 4) 岡田尚巳: アデノ随伴ウイルスベクターの基盤技術開発と筋ジストロフィー遺伝子細胞治療への応用. 大阪大学大学院医学系研究科セミナー, 2015. 7.
- 5) 渡邊 淳: ファーマコゲノミクス(PGx)検査. 遺伝カウンセリング研修会(第6回)(松本), 2015. 7.
- 6) 渡邊 淳: PGx情報の活用に向けた現状と課題「遺伝情報の取り扱いについて」. 日本遺伝子診療学会大会(第22回)(横浜), 2015. 7.
- 7) 岡田尚巳: AAVベクター基盤技術の開発と遺伝子細胞治療への応用. 遺伝子治療推進産学懇話会(第25回)(東京), 2015. 11.
- 8) 岡田尚巳: AAVベクターを用いた遺伝子治療の現状と展望. バイオリジクスフォーラム学術集会(第13回), 2016. 2.

(2) シンポジウム:

- 1) 渡邊 淳: 中等教育担当者との協働活動の取り組み. 遺伝関連学会合同シンポジウム「ヒトの遺伝教育の充実に向けて」. 日本人類遺伝学会大会(第60回)(東京), 2015. 10.

(3) 一般講演:

- 1) Miyagawa Y, Han F¹⁾, Verlengia G¹⁾, Uchida H¹⁾, Simonato M¹⁾, Cohen J¹⁾, Glorioso J¹⁾ (¹⁾ Department of Microbiology and Molecular Genetics, University of Pittsburgh School of Medicine): Benign herpes simplex virus vector design for efficient delivery of large or multiple transgenes to a diversity of cells. 18th Annual Meeting of American Society of Gene & Cell Therapy (New Orleans, USA), 2015. 5.
- 2) Tomono T, Hirai Y, Okada H, Chiyo T¹⁾, Shimada T, Onodera M²⁾, Okada T (¹⁾ Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, ²⁾ National Research Institute for Child Health and Development): Efficient Scalable Purification of rAAV1 Using Ion-Exchange and Gel-Filtration Chromatography To Avoid Ultracentrifugation Procedure. 18th Annual Meeting of American Society of Gene & Cell Therapy (New Orleans, Louisiana), 2015. 5.
- 3) Okada H, Ishibashi H¹⁾, Masuda C, Hayashita-Kinoh H, Chiyo T¹⁾, Nitahara-Kasahara Y, Endo-Takahashi Y¹⁾, Kato K¹⁾, Negishi Y¹⁾, Takeda S¹⁾, Okada T (¹⁾ Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry): Blood-Brain Interface Opening By Ultrasound in Adult Common Marmoset To Induce Brain Pathology With rAAV. 18th Annual Meeting of American Society of Gene & Cell Therapy (New Orleans, Louisiana), 2015. 5.
- 4) Hayashita-Kinoh H, Okada H, Nitahara-Kasahara Y, Chiyo T¹⁾, Imagawa K¹⁾, Tachibana K¹⁾, Takeda S¹⁾, Okada T (¹⁾ Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry): Improved Transduction of Canine X-Linked Muscular Dystrophy With rAAV9-Microdystrophin By Using MSCs Pretreatment. 18th Annual Meeting of American Society of Gene & Cell Therapy (New Orleans, Louisiana), 2015. 5.

- 5) Nitahara-Kasahara Y, Hayashita-Kinoh H, Kuraoka M¹⁾, Chiyo T¹⁾, Okada H, Tsumita N¹⁾, Imagawa K¹⁾, Tachibana K¹⁾, Takeda S¹⁾, Okada T (¹⁾ Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry) : Mesenchymal Stromal Cells Can Ameliorate the Progressive Phenotype of Dog With Duchenne Muscular Dystrophy. 18th Annual Meeting of American Society of Gene & Cell Therapy (New Orleans, Louisiana), 2015. 5.
- 6) Nakamura A, Miyake K, Watanabe A, Hirai Y, Miyake N, Iijima O, Adachi K, Kinoshita H¹⁾, Noguchi T²⁾, Abe S²⁾, Shimada T, Okada T (¹⁾ Department of Dental Materials Science, Tokyo Dental College, ²⁾ Department of Anatomy, Tokyo Dental College) : Prolonged Survival and Improved Phenotypes of Lethal Hypophosphatasia Model Mice By Adeno-Associated Virus-Mediated Muscle Transduction of Bone-Targeted Alkaline Phosphatase. 18th Annual Meeting of American Society of Gene & Cell Therapy (New Orleans, Louisiana), 2015. 5.
- 7) Reinhart B¹⁾, Marzulli M¹⁾, Lerondi D¹⁾, Miyagaw Y, Cohen J¹⁾, Glorioso J¹⁾ (¹⁾ Department of Microbiology and Molecular Genetics, University of Pittsburgh School of Medicine) : HSV Vector Development for Targeted Gene Delivery. 18th Annual Meeting of American Society of Gene & Cell Therapy (New Orleans, USA), 2015. 5.
- 8) Omori I¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Kitano T¹⁾, Miyake N, Miyake K, Dan K²⁾, Inokuchi K¹⁾ (¹⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, ²⁾ Medical Education Center, Ryotokuji University) : The D816V c-kit mutation confers higher proliferation activity by JAK-STAT and Src family kinase pathways compared to N822K c-kit mutation in core-binding factor acute myeloid leukemia. 20th Congress of European Hematology Association (Austria, Vienna), 2015. 6.
- 9) Arimura S¹⁾, Okada T, Tezuka T¹⁾, Chiyo T²⁾, Kasahara Y, Yoshimura T³⁾, Motomura M⁴⁾, Yoshida N⁵⁾, Beeson D⁶⁾, Yamanashi Y¹⁾ (¹⁾ Division of Genetics, Department of Cancer Biology, Institute of Medical Science, University of Tokyo., ²⁾ Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, ³⁾ Department of Occupational Therapy, Nagasaki University School of Health Sciences, ⁴⁾ Department of Electrical and Electronics Engineering, Faculty of Engineering, Nagasaki Institute of Applied Science, ⁵⁾ Laboratory of Developmental Genetics, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ⁶⁾ Neurosciences Group, Weatherall Institute of Molecular Medicine, University of Oxford) : NMJ-enlarging therapy for neuromuscular diseases. The 21st Annual Meeting of Japan Society of Gene Therapy (大阪), 2015. 7.
- 10) Tomono T, Hirai Y, Okada H, Adachi K, Chiyo T¹⁾, Ishii A²⁾, Shimada T, Onodera M³⁾, Tamaoka A²⁾, Okada T (¹⁾ Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, ²⁾ Department of Neurology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, ³⁾ National Research Institute for Child Health and Development) : The large-scale purification of rAAV1 from the serum-free cultured medium by ion-exchange and gel-filtration chromatography-steps with ultracentrifugation-free technique. The 21st Annual Meeting of Japan Society of Gene Therapy (大阪), 2015. 7.
- 11) Miyake N, Miyake K, Yamamoto M, Shimada T, Okada T : Successful treatment of neonatal metachromatic leukodystrophy model mice by intravenous injection of self-complementary AAV type 9 vector expressing ASA. The 21st Annual Meeting of Japan Society of Gene Therapy (大阪), 2015. 7.
- 12) Iijima O, Miyake K, Watanabe A, Miyake N, Igarashi T¹⁾, Kanokoda C, Nakamura-Takahashi A, Kinoshita H²⁾, Noguchi T³⁾, Abe S³⁾, Narisawa S⁴⁾, Millán J⁴⁾, Okada T, Shimada T (¹⁾ Department of Ophthalmology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Dental Materials Science, Tokyo Dental College, ³⁾ Department of Anatomy, Tokyo Dental College, ⁴⁾ Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham Prebys Medical Discovery Institute , La Jolla, California, USA.) : Rescue of lethal murine hypophosphatasia using genetically modified bone marrow cells expressing bone-targeted tissue non-specific alkaline phosphatase. ALPS 研究会 (第11回) (東京), 2015. 7.
- 13) Nakamura-Takahashi A, Miyake K, Watanabe A, Nitahara-Kasahara Y, Hirai Y, Miyake N, Iijima O, Kinoshita H¹⁾, Noguchi T²⁾, Abe S²⁾, Millán J³⁾, Narisawa S³⁾, Shimada T, Okada T (¹⁾ Department of Dental Materials Science, Tokyo Dental College, ²⁾ Department of Anatomy, Tokyo Dental College, ³⁾ Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham Prebys Medical Discovery Institute , La Jolla, California, USA.) : Long-term enzyme replacement therapy for hypophosphatasia by muscle-directed expression of bone targeted alkaline phosphatase using self-complementary AAV8 vector. ALPS 研究会 (第11回) (東京), 2015. 8.
- 14) Okada H, Ishibashi H¹⁾, Masuda C, Hayashita-Kinoh H, Chiyo T¹⁾, Nitahara-Kasahara Y, Endo-Takahashi Y¹⁾, Kato K¹⁾, Negishi Y¹⁾, Takeda S¹⁾, Okada T (¹⁾ Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry) : Ultrasound-mediated transient modulation of blood-brain interface in adult common marmosetto induce brain pathology with rAAV. The 21st Annual Meeting of Japan Society of Gene Therapy (大阪), 2015. 7.
- 15) Kasahara Y, Kinoh H, Kuraoka M¹⁾, Chiyo T¹⁾, Okada H, Tsumita N¹⁾, Imagawa K¹⁾, Tachibana K¹⁾, Takeda S¹⁾, Okada T (¹⁾ Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry) : Mesen-

- chymal stromal cells ameliorate progressive phenotype of Duchenne muscular dystrophy in dog. The 21st Annual Meeting of Japan Society of Gene Therapy (大阪), 2015. 7.
- 16) Ishii A¹⁾, Okada H, Hayashita-Kinoh H, Shin J²⁾, Okada T, Takeda S²⁾ (1) Department of Neurology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, 2) Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry) : Feasible gene transduction in non-human primate muscle with recombinant AAV following immunomodulation. The 21st Annual Meeting of Japan Society of Gene Therapy (大阪), 2015. 7.
 - 17) Hayashita-Kinoh H, Nitahara-Kasahara Y, Okada H, Chiyo T¹⁾, Imagawa K¹⁾, Tachibana K¹⁾, Takeda S¹⁾, Okada T (1) Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry) : Improved transduction of canine X-linked muscular dystrophy with rAAV9- microdystrophin by MSCs pretreatment Improved transduction of canine X-linked muscular dystrophy with rAAV9- microdystrophin by MSCs pretreatment. The 21st Annual Meeting of Japan Society of Gene Therapy (大阪), 2015. 7.
 - 18) Kobayashi M¹⁾, Igarashi T¹⁾, Miyake K, Miyake N, Iijima O, Nakamoto K¹⁾, Hirai Y, Takahashi H¹⁾, Okada T (1) Department of Ophthalmology, Nippon Medical School) : Protection of the retina in rat retinal ischemic injury model by triple mutant AAV2-mediated BDNF transduction. The 21st Annual Meeting of Japan Society of Gene Therapy (大阪), 2015. 7.
 - 19) Nakamura A, Miyake K, Watanabe A, Hirai Y, Miyake N, Iijima O, Adachi K, Kinoshita H¹⁾, Noguchi T²⁾, Abe S²⁾, Shimada T, Okada T (1) Department of Dental Materials Science, Tokyo Dental College, 2) Department of Anatomy, Tokyo Dental College) : Gene therapy to rescue lethal hypophosphatasia model mice by adeno-associated virus-mediated muscle transduction of bone-targeted alkaline phosphatase. The 21st Annual Meeting of Japan Society of Gene Therapy (大阪), 2015. 7.
 - 20) Enoki T¹⁾, Kawano Y¹⁾, Sakamoto S¹⁾, Takakura H¹⁾, Mineno J¹⁾, Okada T, Ohmori T²⁾, Mizukami H³⁾, Ozawa K⁴⁾, Sakata Y²⁾ (1) Center for Cell and Gene Therapy, Takara Bio Inc., 2) Research Division of Cell and Molecular Medicine, Center for Molecular Medicine, Jichi Medical University, 3) Division of Genetic Therapeutics, Center for Molecular Medicine, Jichi Medical University, 4) The Institute of Medical Science, The University of Tokyo) : Scalable production of AAV vector by baculovirus expression system for clinical use. The 21st Annual Meeting of Japan Society of Gene Therapy (大阪), 2015. 7.
 - 21) Han F¹⁾, Miyagawa Y, Verlengia G¹⁾, Simonato M¹⁾, Cohen J¹⁾, Glorioso J¹⁾ (1) Department of Microbiology and Molecular Genetics, University of Pittsburgh School of Medicine) : cHS4 and a Ubiquitous Chromatin Opening Element Support Transgene Expression From Herpes Simplex Virus Vectors in the Absence of Immediate-Early Gene Expression. The 38th Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan (Kobe, Japan), 2015. 12.
 - 22) 金子朋広¹⁾, 新井桃子¹⁾, 森田めぐみ¹⁾, 渡辺容子¹⁾, 平間章郎¹⁾, 藤田恵美子¹⁾, 清水 章²⁾, 渡邊 淳, 鶴岡秀一¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院腎臓内科, 2) 日本医科大学付属病院 解析人体病理学) : 遺伝子型測定によるタクロリムス治療効果判定の有用性. 日本腎臓学会学術総会 (第 58 回) (名古屋), 2015. 6.
 - 23) 笠原優子, 喜納裕美, 積田奈々¹⁾, 武田伸一¹⁾, 岡田尚巳 (1) 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所) : 炎症素因による筋ジストロフィー祖式障害の重症化. 日本炎症・再生医学会 (第 36 回) (東京), 2015. 7.
 - 24) 笠原優子, 喜納裕美, 積田奈々¹⁾, 武田伸一¹⁾, 岡田尚巳 (1) 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所) : IL-10 欠損 mdx マウスによって示された炎症素因による筋ジストロフィー組織障害の重症化機序. 日本筋学会 (第 1 回) (東京), 2015. 8.
 - 25) 池上 良¹⁾, 高橋有希, 村松 敬²⁾, 神田雄平¹⁾, 渡邊 淳, 岡田尚巳, 佐藤 亨¹⁾ (1) 東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座, 2) 東京歯科大学保存学講座) : 低ホスファターゼ症モデルマウスにおける酵素補充療法と顎骨および歯牙の評価. 東京歯科大学記念学会 (総会) (第 300 回) (東京), 2015. 10.
 - 26) 三宅紀子, 三宅弘一, 山本基子, 島田 隆, 岡田尚巳 : 異染性白質ジストロフィー (MLD) の遺伝子治療基盤研究. 日本ライソゾーム病研究会 (第 20 回) (東京), 2015. 10.
 - 27) 廣中浩平, 山崎吉之, 平井幸彦, 山本基子, 三宅紀子, 三宅弘一, 森田明夫, 島田 隆, 岡田尚巳 : アデノ随伴ウイルスベクターの脳室内注入による異染性白質ジストロフィーモデルマウスの遺伝子治療. 日本ライソゾーム病研究会 (第 20 回) (東京), 2015. 10.
 - 28) 佐々木元子, 松本健一¹⁾, 島田 隆, 岡田尚巳, 渡邊 淳 (1) 島根大学総合研究支援センター) : えん下困難, 早期満腹を伴う関節可動亢進型エーラスダンロス症候群. 日本人類遺伝学会 (第 60 回) (東京), 2015. 10.
 - 29) 中島壯崇, 仁藤智香子¹⁾, 上田雅之¹⁾, 稲葉俊東¹⁾, 岨 康太, 西山康裕¹⁾, 須田 智¹⁾, 高橋有希, 笠原優子, 今川 究²⁾, 立花克彦²⁾, 岡田尚巳, 木村和美¹⁾ (1) 日本医科大学 神経内科学, 2) JCR ファーマ株式会社) : アデノ随伴ウイルスベクターを用いた IL-10 発現骨間葉系幹細胞移植による脳梗塞治療効果. 第 27 回脳循環代謝学会総会 (富山), 2015. 10.
 - 30) 坂井 敦¹⁾, 三宅紀子, 丸山基世²⁾, 三宅弘一, 島田 隆, 岡田尚巳, 鈴木秀典¹⁾ (1) 日本医科大学薬理学, 2) 日本医科大学実験動物管理室) : 神経傷害に伴う疼痛及び軸索伸長における miR-17-92 クラスターの機能解析. 日本分子生物学会年会 (第 38 回) 日本生化学会 (第 88 回) 合同大会 (神戸), 2015. 12.

- 31) 田嶋華子¹⁾, 渡邊 淳, 根本晴子²⁾, 佐々木元子, 伊藤保彦¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学 小児科, ²⁾ 日本大学松戸歯学部 小児歯科学講座) : 乳歯早期脱落を機に受診し, 低ホスファターゼ症 (歯限局型) と診断した1例. 日本小児科学会 東京都地方会講話会 (第626回) (東京), 2016. 3.
- 32) 坂井 敦²⁾, 三宅紀子, 丸山基世¹⁾, 三宅弘一, 島田 隆, 岡田尚巳, 鈴木秀典²⁾ (¹⁾ 日本医科大学実験動物管理室, ²⁾ 日本医科大学薬理学) : miR-17-92 クラスターによる神経障害性疼痛及び軸索伸長の調節. 日本薬理学会年会 (第89回) (横浜), 2016. 3.
- 33) 伊藤 - 黒木直美¹⁾, 坂井 敦²⁾, 三宅紀子, 三宅弘一, 岡田尚巳, 坂本篤裕¹⁾, 鈴木秀典²⁾ (¹⁾ 日本医科大学疼痛制御麻酔科学, ²⁾ 日本医科大学薬理学) : オキサリプラチン誘発性神経障害性疼痛における miR-15b の関与. 日本薬理学会年会 (89回) (横浜), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分原著 :

- 1) Arimura S¹⁾, Okada T, Chiyo T²⁾, Tezuka T¹⁾, Nitahara-Kasahara Y, Yoshimura T³⁾, Motomura M⁴⁾, Yoshida N⁵⁾, Beeson D⁶⁾, Takeda S²⁾, Yamanashi Y¹⁾ (¹⁾ Division of Genetics, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ²⁾ Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, ³⁾ Department of Occupational Therapy, Nagasaki University School of Health Sciences, ⁴⁾ Department of Electrical and Electronics Engineering, Faculty of Engineering, Nagasaki Institute of Applied Science, ⁵⁾ Laboratory of Developmental Genetics, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ⁶⁾ Neurosciences Group, Weatherall Institute of Molecular Medicine, University of Oxford) : DOK7 gene therapy benefits mouse models of diseases characterized by defects in the neuromuscular junction. *Science* 2014 ; 345 (6203) : 1505-1508.
- 2) Darambazar G¹⁾, Nakata M¹⁾, Okada T, Wang L¹⁾, Li E¹⁾, Shinozaki A¹⁾, Motoshima M¹⁾, Mori M²⁾, Yada T¹⁾ (¹⁾ Department of Physiology, Division of Integrative Physiology, Jichi Medical University School of Medicine, ²⁾ Kitakanto Molecular Novel Research Institute for Obesity and Metabolism) : Paraventricular NUCB2/nesfatin-1 is directly targeted by leptin and mediates its anorexigenic effect. *Biochem Biophys Res Commun.* 2015 ; 456 (4) : 913-918.
- 3) Ohtsuka Y¹⁾, Kanagawa M¹⁾, Yu C¹⁾, Ito C¹⁾, Chiyo T²⁾, Kobayashi K¹⁾, Okada T, Takeda S²⁾, Toda T¹⁾ (¹⁾ Division of Neurology/Molecular Brain Science, Kobe University Graduate School of Medicine, ²⁾ Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry) : Fukutin is prerequisite to ameliorate muscular dystrophic phenotype by myofiber-selective LARGE expression. *Sci Rep.* 2015 ; 5 (8316) : 1-6.
- 4) Miyagawa Y, Marino P²⁾, Verlengia G²⁾, Uchida H¹⁾, Goins W¹⁾, Yokota S³⁾, Geller D⁴⁾, Yoshida O³⁾, Mester J⁵⁾, Cohen J¹⁾, Glorioso J¹⁾ (¹⁾ Department of Microbiology and Molecular Genetics, University of Pittsburgh School of Medicine, ²⁾ Department of Microbiology and Molecular Genetics, University of Pittsburgh School of Medicine ; Section of Pharmacology, ³⁾ Thomas E. Starzl Transplantation Institute, Department of Surgery, University of Pittsburgh School of Medicine, ⁴⁾ Thomas E. Starzl Transplantation Institute, Department of Surgery, University of Pittsburgh School of Medicine ; Liver Cancer Center, ⁵⁾ Department of Biological Sciences, Northern Kentucky University) : Herpes simplex viral vector design for efficient transduction of non-neuronal cells without cytotoxicity. *Proc Natl Acad Sci U S A* 2015 ; 112 (13) : E1632-E1641.
- 5) Tanokashira D¹⁾, Motoki K¹⁾, Minegishi S¹⁾, Hosaka A²⁾, Mamada N²⁾, Tamaoka A³⁾, Okada T, Lakshmana M⁴⁾, Araki W¹⁾ (¹⁾ Department of Demyelinating Disease and Aging, National Institute of Neuroscience, ²⁾ Department of Demyelinating Disease and Aging, National Institute of Neuroscience ; Department of Neurology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, ³⁾ Department of Neurology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, ⁴⁾ Torrey Pines Institute for Molecular Studies, Port St. Lucie, Florida) : LRP1 Downregulates the Alzheimer's β -Secretase BACE1 by Modulating Its Intraneuronal Trafficking. *ENEURO.* 2015 ; 2 (2) : e0006-e0015.
- 6) Tosa M¹⁾, Watanabe A, Ghazizadeh M¹⁾ (¹⁾ Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital) : IL-6 Polymorphism and Susceptibility to Keloid Formation in Japanese Population. *J Invest Dermatol.* 2016 ; 136 (5) : 1069-1072.

追加分 :

- 1) Kuraoka M¹⁾, Kimura E¹⁾, Nagata T¹⁾, Okada T, Aoki Y¹⁾, Tachimori H¹⁾, Yonemoto N¹⁾, Imamura M¹⁾, Takeda S¹⁾ (¹⁾ Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry) : Serum osteopontin as a novel biomarker for muscle regeneration in duchenne muscular dystrophy. *American Journal of Pathology* 2016 ; 186 (5) : 1302-1312.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) 仁藤智香子¹⁾, 中島壯崇, 上田雅之¹⁾, 稲葉俊東¹⁾, 斎藤萌子¹⁾, 西山康裕¹⁾, 須田 智¹⁾, 中村有希, 今川 究²⁾, 立花克彦²⁾, 岡田尚巳, 木村和美¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学 神経内科学, ²⁾ JCR ファーマ株式会社)：ラット局所脳虚血モデルにおける歯髄幹細胞移植による脳保護効果の検討. 第40回日本脳卒中学会総会 (広島), 2015. 3.

7. 薬理学分野

研究概要

27年度は以下の成果を得た。a) 神経障害性疼痛における miR-17-92 クラスターの機能的意義を明らかにした。また、オキサリプラチン誘発性神経障害における miR-15b の発現上昇と痛みの関連を明らかにした。b) ラット小脳スライスを用いたプルキンエ細胞の GABA 作動性シナプス電流の揺らぎから、GABA 受容体の数と、受容体チャネルを流れるコンダクタンスを推定する非正常ノイズ解析を用いて2種類のシナプス修飾機構を明らかにした。c) 成体マウスの海馬において、成熟神経細胞に発現しているセロトニン 5-HT₄ 受容体が、抗うつ薬による神経新生の促進に重要な役割を果たすことを明らかにした。d) 染色体重複自閉症モデルマウスにおいて生後約3週間にわたる SSRI 処理によって、社会性行動、中脳縫線核におけるセロトニン含量および電気的な活動性において改善が見られた。この社会性行動の改善は生後1-3週間の 5-HT_{1A} 受容体アゴニスト投与でも確認された。e) ヒト iPS 細胞株由来神経幹細胞を用いて向精神薬の神経分化に与える影響を評価する系を作製した。f) 多量飲酒者を対象にした脳機能画像研究において、報酬予測に関わる側坐核の脳活動と問題飲酒の重症度との関連を明らかにした。g) ADHD モデルラットを用いて、前頭前皮質第5層の錐体細胞における GABA シナプス伝達に対するドパミンの作用を調べた結果、対照ラットに比べて ADHD モデルラットでは有意にシナプス増強作用が減弱していることを見出した。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Shigemori T¹⁾, Sakai A, Takumi T²⁾, Itoh Y¹⁾, Suzuki H (¹⁾ Department of Pediatrics, Nippon Medical School, ²⁾ RIKEN Brain Science Institute) : Altered microglia in the amygdala are involved in anxiety-related behaviors of a copy number variation mouse model of autism. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (2) : 92-99.
- 2) Koeda M¹⁾, Watanabe A^{2,3)}, Tsuda K⁴⁾, Matsumoto M⁴⁾, Ikeda Y, Kim W¹⁾, Tateno A¹⁾, Naing B^{2,3)}, Karibe H⁵⁾, Shimada T³⁾, Suzuki H, Matsuura M⁴⁾, Okubo Y¹⁾ (¹⁾ Department of Neuropsychiatry, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Division of Personalized Genetic Medicine, Nippon Medical School Hospital, ³⁾ Department of Biochemistry and Molecular Biology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, ⁴⁾ Department of Biofunctional Informatics, Tokyo Medical and Dental University, ⁵⁾ Department of Pediatric Dentistry, Nippon Dental University) : Interaction effect between handedness and CNTNAP2 polymorphism (rs7794745 genotype) on voice-specific frontotemporal activity in healthy individuals : an fMRI study. *Front Behav Neurosci* 2015 ; 20 (9) : 87.
- 3) Tateno A¹⁾, Sakayori T¹⁾, Kawashima Y¹⁾, Higuchi M²⁾, Suhara T²⁾, Mizumura S³⁾, Mintun M⁴⁾, Skovronsky D⁴⁾, Honjo K⁵⁾, Ishihara K⁵⁾, Kumita S⁶⁾, Suzuki H, Okubo Y¹⁾ (¹⁾ Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School, ²⁾ Molecular Imaging Center, National Institute of Radiological Sciences, ³⁾ Department of Radiology, Toho University Omori Medical Center, ⁴⁾ Avid Radiopharmaceuticals, ⁵⁾ Clinical Imaging Center for Healthcare, Nippon Medical School, ⁶⁾ Department of Radiology, Nippon Medical School) : Comparison of imaging biomarkers for Alzheimer's disease : amyloid imaging with [¹⁸F] florbetapir positron emission tomography and magnetic resonance imaging voxel-based analysis for entorhinal cortex atrophy. *Int J Geriatr Psychiatry* 2015 ; 30 (5) : 505-513.
- 4) Kusakari S¹⁾, Saitow F, Ago Y²⁾, Shibasaki K³⁾, Sato-Hashimoto M⁴⁾, Matsuzaki Y⁵⁾, Kotani T⁶⁾, Murata Y⁶⁾, Hirai H⁵⁾, Matsuda T²⁾, Suzuki H, Matozaki T⁷⁾, Ohnishi H⁸⁾ (¹⁾ Laboratory of Biosignal Sciences, Institute for Molecular and Cellular Regulation, Gunma University, ²⁾ Laboratory of Medicinal Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Osaka University, ³⁾ Department of Molecular and Cellular Neurobiology, Gunma University Graduate School of Medicine, ⁴⁾ Department of Laboratory Sciences, Gunma University Graduate School of Health Sciences, ⁵⁾ Department of Neurophysiology, Gunma University Graduate School of Medicine, ⁶⁾ Division of Molecular and Cellular Signaling, Department of Biochemistry and Molecular Biology, Kobe University Graduate School of Medicine, ⁷⁾ Laboratory of Biosignal Sciences, Institute for Molecular and Cellular Regulation, Gunma University, Kobe University Graduate School of Medicine, ⁸⁾ Laboratory of Biosignal Sciences, Institute for Molecular and Cellular Regulation, Gunma University, Gunma Univ Graduate School of Health Sciences) : Shp2 in forebrain neurons regulates synaptic plasticity, locomotion, and memory formation in mice. *Mol Cell Biol* 2015 ; 35 (9) : 1557-1572.
- 5) Kimura M¹⁾, Sakai A, Sakamoto A¹⁾, Suzuki H (¹⁾ Departments of Anesthesiology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Glial cell line-derived neurotrophic factor-mediated enhancement of noradrenergic descending inhibition in the locus coeruleus exerts prolonged analgesia in neuropathic pain. *Br J Pharmacol* 2015 ; 172 (10) : 2469-2478.
- 6) Imoto Y¹⁾, Kira T¹⁾, Sukeno M¹⁾, Nishitani N²⁾, Nagayasu K²⁾, Nakagawa T²⁾, Kaneko S²⁾, Kobayashi K³⁾, Segi-Nishida E⁴⁾

(¹) Department of Physiological Chemistry, Graduate School of Pharmaceutical Sciences Kyoto University, (²) Department of Molecular Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences Kyoto University, (³) Japan Science and Technology Agency, Core Research for Evolutional Science and Technology, (⁴) Department of Biological Science and Technology, Faculty of Industrial Science and Technology, Tokyo University of Science) : Role of the 5-HT₄ receptor in chronic fluoxetine treatment-induced neurogenic activity and granule cell dematuration in the dentate gyrus. *Mol Brain* 2015 ; 8 : 29.

- 7) Tateno A¹⁾, Sakayori T¹⁾, Higuchi M²⁾, Suhara T²⁾, Ishihara K³⁾, Kumita S⁴⁾, Suzuki H, Okubo Y¹⁾ (¹) Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School, (²) Molecular Imaging Center, National Institute of Radiological Sciences, (³) Clinical Imaging Center for Healthcare, Nippon Medical School, (⁴) Department of Radiology, Nippon Medical School) : Amyloid imaging with [¹⁸F] florbetapir in geriatric depression : early-onset versus late-onset. *Int J Geriatr Psychiatry* 2015 ; 30 (7) : 720-728.
- 8) Fujimoto S¹⁾, Ishikawa M¹⁾, Nagano M, Sakamoto A¹⁾ (¹) Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Influence of neonatal sevoflurane exposure on nerve development-related microRNAs and behavior of rats. *Biomed Res* 2015 ; 36 (6) : 347-355.
- 9) Ono Y¹⁾, Saitow F, Konishi S²⁾ (¹) Department of Electronics and Bioinformatics, School of Science and Technology, Meiji University, (²) Department of Neurophysiology, Kagawa School of Pharmaceutical Sciences and Institute of Neuroscience, Tokushima Bunri University) : Differential Modulation of GABAA Receptors Underlies Postsynaptic Depolarization- and Purinoceptor-Mediated Enhancement of Cerebellar Inhibitory Transmission : A Non-Stationary Fluctuation Analysis Study. *PLoS One* 2016 ; 11 (3) : e0150636.

(2) 総説 :

- 1) 鈴木秀典 : スポーツ薬理学. *医薬ジャーナル* 2015 ; 51 (7) : 1711-1714.
- 2) 坂井 敦 : 新生児における痛みの神経学的発達と病態生理. *小児看護* 2015 ; 38 (12) : 1494-1500.
- 3) 鈴木秀典 : ドーピング禁止物質・禁止方法の最新動向. *臨床スポーツ医学* 2016 ; 33 (2) : 118-122.

著 書

- 1) Sakai A, Suzuki H : [分担] microRNA and Pain. *microRNA : Medical Evidence From Molecular Biology to Clinical Practice* (Santulli, Gaetano), 2015 ; pp17-39, Springer.

学会発表

(1) シンポジウム :

- 1) 鈴木秀典 : 2020 年に向けたアンチ・ドーピング活動. 第 26 回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (神戸), 2015. 11.

(2) 一般講演 :

- 1) Shigemori T¹⁾, Sakai A, Takumi T²⁾, Suzuki H, Itoh Y¹⁾ (¹) Department of Pediatrics, Nippon Medical School, (²) Riken BSI) : Involvement of altered microglia during early development in anxiety-related behaviors of a copy number variation mouse model of autism. 11th ASPR Congress & the 118th Annual Meeting of the Japan Pediatric Society (Osaka), 2015. 4.
- 2) Nagahara N¹⁾, Nagano M, Ito T²⁾, Suzuki H (¹) Isotope Research Center, Nippon Medical School, (²) Department of Pathology and Experimental Medicine, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences) : Redox regulation of a multifunctional enzyme, 3-mercaptopyrivate sulfurtransferase. 14th International Congress on Amino Acids, Peptides and Proteins (Vienna), 2015. 8.
- 3) Koeda M¹⁾, Ikeda Y, Tateno A¹⁾, Suzuki H, Okubo Y¹⁾ (¹) Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School) : Mazindol effect on cerebral response to nonverbal affective vocalization in healthy individuals : An fMRI study. The British Neuropsychiatry Association 29th AGM (London), 2016. 2.
- 4) 伊藤直美¹⁾, 坂井 敦, 鈴木秀典, 坂本篤裕¹⁾ (¹) 日医大院・疼痛制御麻酔科学) : オキサリプラチン誘発性神経障害性疼痛における後根神経節でのマイクロ RNA の発現変化. 第 62 回日本麻酔科学会 (神戸), 2015. 5.
- 5) 丸山基世¹⁾, 坂井 敦, 鈴木秀典, 秋元敏雄¹⁾ (¹) 日医大・実験動物管理室) : 機能獲得型変異ラットの解析による TRPV3 の痛覚への関与の検討. 第 62 回日本実験動物学会総会 (京都), 2015. 5.
- 6) 坂井 敦, 武藤友美¹⁾, 木村茉莉子¹⁾, 丸山基世²⁾, 坂本篤裕¹⁾, 鈴木秀典 (¹) 日医大院・疼痛制御麻酔科学, (²) 日医大・実験動物管理室) : 下行性ノルアドレナリン神経伝達の増強を指向した神経障害性疼痛治療の検討. 第 37 回日本疼痛学会 (熊本), 2015. 7.
- 7) 鈴木智弓¹⁾, 山本真由美¹⁾, 浅川 伸¹⁾, 赤間高雄²⁾, 鈴木秀典 (¹) 日本アンチ・ドーピング機構, (²) 早稲田大学スポーツ科学学術院) : Global DRO JAPAN サイトに基づく活用実態と情報提供に関する検討. 第 26 回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (神戸), 2015. 11.
- 8) 山本真由美¹⁾, 高須久望子¹⁾, 浅川 伸¹⁾, 赤間高雄²⁾, 鈴木秀典 (¹) 日本アンチ・ドーピング機構, (²) 早稲田大学スポーツ科学学術

院)：スポーツにおける「フェア」の観点とスポーツの価値・インテグリティ(高潔性・完全性)を通じた教育の構築：アスリートおよび一般国民の比較. 第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会(神戸), 2015. 11.

- 9) 高須久望子¹⁾, 山本真由美¹⁾, 浅川 伸¹⁾, 赤間高雄²⁾, 鈴木秀典⁽¹⁾ 日本アンチ・ドーピング機構, ²⁾ 早稲田大学スポーツ科学学術院)：日本のアスリートにおけるスポーツと「フェア」の観点および「インフルエンサー」について. 第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会(神戸), 2015. 11.
 - 10) 坂井 敦, 三宅紀子¹⁾, 丸山基世²⁾, 三宅弘一¹⁾, 島田 隆¹⁾, 岡田尚巳¹⁾, 鈴木秀典⁽¹⁾ 日医大・分子遺伝医学, ²⁾ 日医大・実験動物管理室)：神経損傷に伴う疼痛及び軸策伸長における miR-17-92 クラスターの機能解析. BMB2015 第38回日本分子生物学会年会, 第88回日本生化学会大会合同大会(神戸), 2015. 12.
 - 11) 中山亜紀¹⁾, 増川陽大¹⁾, 荒井勇輝¹⁾, 小山溪友¹⁾, 片山 映²⁾, 鈴木秀典, 飯島史朗¹⁾ ⁽¹⁾ 文京学院大学, ²⁾ 日医大・代謝栄養学)：尿中エクソソーム個人間差に関する検討. 第26回生物試料分析科学会年次学術集会(沖縄), 2016. 2.
 - 12) 坂井 敦, 三宅紀子¹⁾, 丸山基世²⁾, 三宅弘一¹⁾, 島田 隆¹⁾, 岡田尚巳¹⁾, 鈴木秀典⁽¹⁾ 日医大・分子遺伝医学, ²⁾ 日医大・実験動物管理室)：miR-17-92 クラスターによる神経障害性疼痛及び軸策伸長の調節. 第89回日本薬理学会年会(横浜), 2016. 3.
 - 13) 伊藤直美¹⁾, 坂井 敦, 三宅紀子²⁾, 三宅弘一²⁾, 岡田尚巳²⁾, 坂本篤裕¹⁾, 鈴木秀典⁽¹⁾ 日医大・疼痛制御麻酔科学, ²⁾ 日医大・分子遺伝医学)：オキサリプラチン誘発性神経障害性疼痛における miR-15b の関与. 第89回日本薬理学会年会(横浜), 2016. 3.
- (3) オーガナイザー：
- 1) 笠師久美子¹⁾, 鈴木秀典⁽¹⁾ 北海道大学病院)：スポーツ領域における薬学的介入を考える. 第25回日本医療薬学会年会(横浜), 2015. 11.
 - 2) 小林克典, 二井健介¹⁾ ⁽¹⁾ プラドニック精神神経研究所, マサチューセッツ州立・メディカルスクール)：行動変化のシナプス基盤. 第93回日本生理学会大会(札幌), 2016. 3.
- (4) 市民公開講座：
- 1) 小林克典：脳細胞は若返る 抗うつ薬の作用メカニズム解明を目指して. 第38回日本神経科学大会(神戸), 2015. 7.

論文

[追加分]

追加分原著：

- 1) Manto M¹⁾, Honnorat J²⁾, Hampe C³⁾, Guerra-Narbona R⁴⁾, López-Ramos J⁴⁾, Delgado-García J⁴⁾, Saitow F, Suzuki H, Yanagawa Y⁵⁾, Mizusawa H⁶⁾, Mitoma H⁷⁾ ⁽¹⁾ Unité d'Etude du Mouvement, FNRS Neurologie, ULB Erasme, ²⁾ Neuroscience Research Center INSERM, ³⁾ School of Medicine, University of Washington, ⁴⁾ Division of Neurosciences, Pablo de Olavide University, ⁵⁾ Department of Genetic and Behavioral Neuroscience, Gunma University Graduate School of Medicine and JST, CREST, ⁶⁾ National Center of Neurology and Psychiatry, ⁷⁾ Department of Medical Education, Tokyo Medical University)：Disease-specific monoclonal antibodies targeting glutamate decarboxylase impair GABAergic neurotransmission and affect motor learning and behavioral functions. Front Behav Neurosci 2015 ; 27 (9) : 78.

著書

追加分：

- 1) 鈴木秀典：[編集と分担] 第6章 イオンチャネル型受容体 (p96-110), 第12章 神経伝達物質 (p182-201), 第16章 中枢神経系 (p315-361). 標準薬理学 第7版 (飯野正光, 鈴木秀典), 2015 ; 医学書院.

8. 解析人体病理学分野

研究概要

基礎研究として、腎、肺、婦人科、泌尿器、角膜、移植の病理を中心に行われた。腎では、MPO-ANCA 関連血管炎モデル、ラット骨髄移植の腎急性 GVHD や血栓性微小血管症、ラット糸球体腎炎と血管内高血圧、膜性腎症、巣状分節性糸球体硬化症、菲薄基底膜病や IgA 腎症の糸球体内皮細胞障害、液体クロマトグラフ質量分析法による診断、腎病理診断に有用な免疫染色、肺では、特発性間質性肺炎の IV 型コラーゲン α 鎖や canstatin の発現、リウマチ肺モデルマウスの肺病変と高濃度水素分子水素水の効果、ALK 再構成非小細胞肺癌への ALK 阻害薬クリゾチニブ治療、移植では、ブタからヒヒへの異種骨髄移植、細胞移入による免疫寛容、Chinese tree shrew の異種心臓移植、婦人科では、破骨細胞様巨細胞を伴う子宮平滑筋肉腫、泌尿器では、膀胱癌における DYRK2 の発現と予後などが報告された。診断病理学に関しては、厚労省科研 IgA 腎症前向き研究をコホート研究、IgA 腎症の扁桃摘出ステロイドパルス療法やステロイド+ミゾリビン療法、IgA 腎症と乾癬性関節炎の合併、紫斑病性腎炎、SLE に伴うシェーグレン症候群、糸球体 crystal-storing histiocytosis、EB ウイルス関連 T 細胞増殖性疾患、腎臓移植後 PLA2R 陽性膜性腎症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫、尿管間質性腎炎ぶどう膜炎症候群、Alport 症候群、Behcet 病、悪性リンパ腫に合併した IgA 腎症、補体介在性の血栓性微小血管障害症、monoclonal IgG1- λ 沈着膜性腎症、特発性樹枝状肺骨形成に関連した骨形成不全症、原発性やサルコイドーシス経過中の肺 MALToma、非特異性間質性肺炎を発症した SLE などの報告が行われた。臨床各科、他大学や研究施設との共同研究も盛んに行われ、また、臨床各科との臨床病理検討会も行われ、報告としてまとめられた。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Tasaki M¹⁾, Wamala I¹⁾, Tena A¹⁾, Villani V¹⁾, Sekijima M¹⁾, Pathiraja V¹⁾, Wilkinson R¹⁾, Pratts S¹⁾, Cormack T¹⁾, Clayman E¹⁾, Arn J¹⁾, Shimizu A, Fishman J¹⁾, Sachs D¹⁾, Yamada K¹⁾ (1) Transplantation Biology Research Center Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Boston, MA, USA) : High incidence of xenogenic bone marrow engraftment in pig-to-baboon intra-bone marrow transplantation. *Am J Transplant* 2015 ; 15 (4) : 974-83.
- 2) Wang P¹⁾, Kitamura H²⁾, Shimizu A, Yamanaka N³⁾ (1) Department of Pediatrics, Second Hospital of Shandong University, Jinan, PR China, 2) Renal Pathology Section, National Hospital Organization Chiba-East Hospital, 3) Tokyo Kidney Research Institute) : Glomerular damage in experimental proliferative glomerulonephritis under glomerular capillary hypertension. *Kidney Blood Press Res.* 2015 ; 40 (2) : 188-99.
- 3) Morita M¹⁾, Mii A¹⁾, Shimizu A, Yasuda F¹⁾, Shoji J²⁾, Masuda Y, Ohashi R³⁾, Nagahama K, Kaneko T¹⁾, Tsuruoka S¹⁾ (1) Department of Internal Medicine Division of Neurology, 2) Department of Nephrology, George Washington University Medical Center, Washington, District of USA, 3) Department of Division of Diagnostic Pathology) : Glomerular endothelial cell injury and focal segmental glomerulosclerosis lesion in idiopathic membranous nephropathy. *PLoS One* 2015 ; 10 (4) : e0116700.
- 4) Soejima K¹⁾, Nogami A²⁾, Sekiguchi Y²⁾, Harada T^{3,5)}, Satomi K⁴⁾, Hirose T⁵⁾, Ueda A¹⁾, Miwa Y¹⁾, Nishio S³⁾, Shirai Y⁶⁾, Kowase S⁷⁾, Kunugi S, Murata H⁸⁾, Nitta T⁹⁾, Yoshino H¹⁾, et al. (1) Department of Cardiology, Kyorin University Hospital, 2) Cardiovascular Division, University of Tsukuba, 3) Department of Cardiology, St. Marianna University School of Medicine Hospital, 4) Department of Cardiology, Tokyo Medical University Hachioji Medical Center, 5) Department of Cardiology, Gifu Prefectural General Medical Center, 6) Tokyo Medical and Dental University Hospital, 7) Department of Cardiovascular Medicine, Yokohama Rosai Hospital, 8) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School Hospital, 9) Department of Cardiovascular Surgery, Nippon Medical School of Medicine) : Epicardial catheter ablation of ventricular tachycardia in no entry left ventricle mechanical aortic and mitral valves. *Circ Arrhythm Electrophysiol* 2015 ; 8 (2) : 381-9.
- 5) Kaneko T¹⁾, Mii A¹⁾, Fukui M¹⁾, Nagahama K, Shimizu A, Tsuruoka S¹⁾ (1) Department of Internal Medicine Division of Neurology) : IgA nephropathy and psoriatic arthritis that Improved with steroid pulse therapy and mizoribinein combination with treatment for chronic tonsillitis and epipharyngitis. *Intern Med* 2015 ; 54 (9) : 1085-90.
- 6) Nomura S¹⁾, Suzuki Y¹⁾, Takahashi R¹⁾, Terasaki M, Kimata R¹⁾, Terasaki Y, Hamasaki T¹⁾, Kimura G¹⁾, Shimizu A, Kondo Y¹⁾ (1) Department of Urology) : Dual-specificity tyrosine phosphorylation-regulated kinase 2 (DYRK2) as a novel marker in T1 high-grade and T2 bladder cancer patients receiving neoadjuvant chemotherapy : DYRK2 is associated with survival in bladder cancer. *BMC Urol* 2015 ; 19 (15) : 53.
- 7) Kanzaki G¹⁾, Tsuboi N¹⁾, Haruhara K¹⁾, Koike K¹⁾, Ogura M¹⁾, Shimizu A, Yokoo T¹⁾ (1) Division of Kidney and Hypertension,

- Department of Internal Medicine, Jikei University School of Medicine) : Factors associated with a vicious cycle involving a low nephron number, hypertension and chronic kidney disease. *Hypertens Res* 2015 ; 2015 (38) : 633-641.
- 8) Saito H¹⁾, Hamasaki Y¹⁾, Tojo A¹⁾, Shintani Y²⁾, Shimizu A, Nangaku M¹⁾ ⁽¹⁾ Division of Nephrology and Endocrinology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, ²⁾ Department of Pathology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo) : Phospholipase A2 receptor positive membranous nephropathy long after living donor kidney transplantation between identical twins. *Nephrology (Carlton)* 2015 ; 20 Suppl (2) : 101-4.
 - 9) Kanzaki G, Shimizu A : Currently available useful immunohistochemical markers of renal pathology for the diagnosis of renal allograft rejection. *Nephrology (Carlton)* 2015 ; 20 Suppl (2) : 9-15.
 - 10) Murata O¹⁾, Onozawa S¹⁾, Mine T¹⁾, Ueda T¹⁾, Sugihara F¹⁾, Yasui D¹⁾, Kumita S¹⁾, Shimizu A, Satake M²⁾ ⁽¹⁾ Departments of Radiology and Center for Advanced Medical Technology, ²⁾ Department of Diagnostic Radiology, National Cancer Center East, Kashiwa, Chiba) : Minimizing Systemic Leakage of Cisplatin during Percutaneous Isolated Pancreas Perfusion Chemotherapy : A Pilot Study. *Radiolog* 2015 ; 276 (1) : 102-9.
 - 11) Urushiyama H, Terasaki Y, Nagasaka S, Terasaki M, Kunugi S, Nagase T¹⁾, Fukuda Y, Shimizu A ⁽¹⁾ Department of Respiratory Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo) : Role of $\alpha 1$ and $\alpha 2$ chains of type IV collagen in early fibrotic lesions of idiopathic interstitial pneumonias and migration of lung fibroblasts. *Lab Invest* 2015 ; 95 (8) : 872-85.
 - 12) Terasaki M, Terasaki Y, Yoneyama K¹⁾, Kuwahara N, Wakamatsu K, Nagahama K, Kunugi S, Takeshita T¹⁾, Shimizu A ⁽¹⁾ Department of Obstetrics and Gynecology) : Uterine leiomyosarcoma with osteoclast-like giant cells associated with high expression of receptor activator of nuclear factor κ B ligand. *Hum Pathol* 2015 ; 46 (11) : 1679-1684.
 - 13) Kaneko T¹⁾, Arai M¹⁾, Ikeda M¹⁾, Morita M¹⁾, Watanabe Y¹⁾, Hiramata A¹⁾, Shimizu A, Tsuruoka S¹⁾ ⁽¹⁾ Division of Nephrology, Department of Internal Medicine) : Comparison of immunosuppressive therapies for IgA nephropathy after tonsillectomy : three - course versus one - course steroid pulse combined with mizoribine. *Int Urol Nephrol* 2015 ; 47 (11) : 1823-1830.
 - 14) Chen-Li W¹⁾, Wu Y, Shimizu A, Lian-Long Y¹⁾, Tasaki M²⁾, Villani V²⁾, Moran S²⁾, Xia-Jie J¹⁾, Yamada K^{2, 3)}, Qi-Quan Z¹⁾ ⁽¹⁾ Organ Transplantation Institute, Xiamen University, Xiamen, Fujian Province, China, ²⁾ Transplantation Biology Research Center, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Boston, MA, USA, ³⁾ Organ Replacement and Xenotransplantation Surgery, Center for Advanced Biomedical Science and Swine Research, Kagoshima University) : Rat-to-Chinese tree shrew heart transplantation is a novel small animal model to study non-Gal-mediated discordant xenograft humoral rejection. *Xenotransplantation* 2015 ; 22 (6) : 468-447.
 - 15) Villani V¹⁾, Yamada K¹⁾, Scalea J¹⁾, Gillon B¹⁾, Arn J¹⁾, Sekijima M¹⁾, Tasaki M¹⁾, Cormack T¹⁾, Moran S¹⁾, Torabi R¹⁾, Shimizu A, Sachs D¹⁾ ⁽¹⁾ Transplantation Biology Research Center Laboratories, Center for Transplantation Sciences (CTS), Massachusetts General Hospital, Harvard Med USA) : Adoptive transfer of renal allograft tolerance in a large animal model. *Am J Transplant* 2016 ; 16 (1) : 317-324.
 - 16) Morikawa M¹⁾, Fukuda Y²⁾, Terasaki Y, Itoh H³⁾, Demura Y⁴⁾, Sasaki M⁵⁾, Imamura Y⁶⁾, Honjo C¹⁾, Umeda Y¹⁾, Anzai M¹⁾, Ameshima S¹⁾, Ishizaki T⁷⁾, Ishizuka T¹⁾ ⁽¹⁾ Third Department of Internal Medicine, University of Fukui Faculty of Medical Sciences, ²⁾ Department of Diagnostic Pathology, Itabashi Chuo Medical Center, ³⁾ Department of Radiology, University of Fukui Faculty of Medical Sciences, ⁴⁾ Department of Respiratory Medicine, Japanese Red Cross Fukui Hospital, ⁵⁾ Division of Thoracic Surgery University of Fukui Hospital, ⁶⁾ Division of Surgical Pathology University of Fukui Hospital, ⁷⁾ Department of Respiratory Medicine Kanazawa Medical University) : Osteogenesis imperfecta associated with dendriform pulmonary ossification. *Am J Respir Crit Care Med* 2016 ; 193 (4) : 460-461.
 - 17) Kusano T¹⁾, Takano H¹⁾, Kang D, Nagahama K, Aoki M, Morita M²⁾, Kaneko T²⁾, Tsuruoka S²⁾, Shimizu A ⁽¹⁾ Division of Nephrology, Tokyo Teishin Hospital, ²⁾ Department of Internal Medicine Division of Neurology) : Endothelial cell injury in acute and chronic glomerular lesions in patients with IgA nephropathy. *Hum Pathol* 2016 ; 49 (3) : 135-144.
 - 18) Kanzaki G, Nagasaka S, Higo S, Kajimoto Y, Kanemitsu T, Aoki M, Nagahama K, Natori Y¹⁾, Tsuboi N²⁾, Yokoo T²⁾, Shimizu A ⁽¹⁾ Department of Health Chemistry, School of Pharmacy, Iwate Medical University, ²⁾ Division of Kidney and Hypertension, Department of Internal Medicine, Jikei University School of Medicine) : Impact of anti-glomerular basement membrane antibodies and glomerular neutrophil activation on glomerulonephritis in experimental myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody vasculitis. *Nephrol Dial Transplant* 2016 ; 31 (4) : 574-585.
- (2) 症例報告 :
- 1) Fukuzumi A¹⁾, Miyanaga A¹⁾, Seike M¹⁾, Kato Y¹⁾, Nakamichi S¹⁾, Chubachi K¹⁾, Matsumoto M¹⁾, Noro R¹⁾, Minegishi Y¹⁾, Kunugi S, Kubota K¹⁾, Gemma A¹⁾ ⁽¹⁾ Department of Pulmonary Medicine and Oncology) : Effective Crizotinib schedule for an elderly patient with ALK rearranged non-small-cell lung cancer : a case report. *BMC Research Notes* 2015 ; 23 (8) : 165.

- 2) Tani T¹⁾, Arima R¹⁾, Kaneko T¹⁾, Hayashi H²⁾, Tsuruta K³⁾, Shimizu A, Tsuruoka S¹⁾ (¹⁾ Department of Nephrology, ²⁾ Department of Respiratory Care Medicine, ³⁾ Department of Dermatology) : Pulmonary hemorrhage associated with Henoch-Schölein purpura in an adult patient primary diagnosed of IgA nephropathy. *CEN Case Rep* 2015 ; 4 (1) : 48-54.
- 3) Okada A^{1,2)}, Yoshida T¹⁾, Takemura K¹⁾, Ishigaki K³⁾, Shimizu A, Takano H¹⁾ (¹⁾ Department of Nephrology, Tokyo Teishin Hospita, ²⁾ Division of Nephrology and Endocrinology, The University of Tokyo Graduate School of Medicine, ³⁾ Department of Allergy and Rheumatology, The University of Tokyo Graduate School of Medicine) : Successful Detection of Renal Involvement in Sjögren's Syndrome Secondary to Systemic Lupus Erythematosus by Renal Biopsy. *Intern Med* 2015 ; 54 (10) : 1265-1271.
- 4) Watanabe H¹⁾, Osawa Y²⁾, Goto S¹⁾, Habuka M¹⁾, Imai N¹⁾, Ito Y¹⁾, Hirose T³⁾, Chou T³⁾, Ohashi R⁴⁾, Shimizu A, Ehara T⁵⁾, Shimotori T²⁾, Narita I¹⁾ (¹⁾ Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences, ²⁾ Department of Internal Medicine, Niigata Rinko Hospital, ³⁾ Department of Internal Medicine, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata, ⁴⁾ Division of Diagnostic Pathology, Nippon Medical School Hospital, ⁵⁾ Graduate School of Health Sciences, Department of Health and Sport Science, Matsumoto University, Matsumoto) : A case of endocapillary proliferative glomerulonephritis with macrophages phagocytosing monoclonal immunoglobulin lambda light chain. *Pathol Int* 2015 ; 65 (1) : 38-42.
- 5) Yui S¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Imadome K²⁾, Arai A³⁾, Takahashi M, Ohashi R⁴⁾, Tamai H¹⁾, Moriya K¹⁾, Nakayama K¹⁾, Shimizu A, Inokuchi K¹⁾ (¹⁾ Department of Hematology, ²⁾ Division of Advanced Medicine for Virus Infections, National Research Institute for Child Health and Development, ³⁾ Department of Hematology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo Medical and Dental University, ⁴⁾ Division of Diagnostic Pathology) : Epstein-Barr Virus-positive T-cell Lymphoproliferative Disease Following Umbilical Cord Blood Transplantation for Acute Myeloid Leukemia. *J Nippon Med Sch* 2016 ; 83 (1) : 35-42.

学会発表

(1) シンポジウム :

- 1) Terasaki Y, Urushiyama H¹⁾, Kokuho N, Terasaki M, Kunugi S, Fukuda Y, Shimizu A (¹⁾ Department of Respiratory Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo) : Role of $\alpha 1$ and $\alpha 2$ chains of type IV collagen in early fibrotic lesions of idiopathic interstitial pneumonias and migration of lung fibroblasts. *ATS (American Thoracic Society) International Conference (Denver), 2015.* 5.

(2) ワークショップ :

- 1) 清水 章, 長濱清隆 : 半月体性糸球体腎炎. *日本腎臓学会東部学術大会 (第45回), 2015.* 10.

(3) 一般講演 :

- 1) Kanemitsu T, Higo S, Kanzaki G, Okabayashi Y, Aoki M, Dedong K, Nagahama K, Shimizu A : Development of experimental model of renal thrombotic microangiopathy in rat allogeneic bone marrow transplantation. *ASN kidney Week 2015 (San Diego), 2015.* 11.
- 2) Kajimoto Y, Masuda Y, Higo S, Kanzaki G, Nagasaka S, Nagahama K, Shimizu A : Glomerular capillary injuries in thin basement membrane disease. *ASN Kidney Week 2015 (San Diego), 2015.* 11.
- 3) Joh K¹⁾, Hashiguchi A²⁾, Shinmizu A, Katafuchi R³⁾, Kawamura T⁴⁾ (¹⁾ Department of Pathology, Tohoku Graduate School of Medicine, Sendai, Japan, ²⁾ Department of Pathology, Keio Univ School of Medicine, Tokyo, Japan, ³⁾ Division of Internal Medicine, Fukuoka Higashi Medical Center, Fukuoka, Japan, ⁴⁾ Division of Kidney and Hypertension, Jikei Univ School of Medicine, Tokyo, Japan) : The lumped system in utilized in the japanese histological grade classification of iga nephropathy may produce a score with a broader applicability compared to the split system of oxford classification. *ASN Kidney Week 2015 (San Diego), 2015.* 11.
- 4) Aoki M, Kang D, Kajimoto Y, Kanemitsu T, Nagahama K, Shimizu A : The application of laser microdissection and liquid chromatography -mass spectrometry in the diagnosis of renal amyloidosis. *ASN Kidney Week 2015 (San Diego), 2015.11.(San Diego), 2015.* 11.
- 5) 城 謙輔¹⁾, 坂口明典²⁾, 九野 敏³⁾, 清水 章 (¹⁾ 東北大学大学院・医科学専攻・病理病態学講座, ²⁾ 慶応義塾大学医学部病理学教室, ³⁾ 福岡大学医学部病理学教室) : 厚労省科研 IgA 腎症前向き研究をコホートとしたオックスフォード分類と日本分類の比較. *日本病理学会総会 (第104回), 2015.* 4.
- 6) 梶本雄介, 益田幸成, 肥後清一郎, 神崎 剛, 永坂真也, 長濱清隆, 清水 章 : 菲薄基底膜病における糸球体係蹄障害. *日本病理学会総会 (第104回), 2015.* 4.
- 7) 康 徳東, 青木路子, 金光剛史, 梶本雄介, 肥後清一郎, 寺崎美佳, 長濱清隆, 益田幸成, 清水 章 : 液体クロマトグラフ質量分析法と免疫染色法により同定されるアミロイド蛋白の比較. *日本病理学会総会 (第104回), 2015.* 4.

- 8) 寺崎泰弘, 漆山博和, 國保成暁, 寺崎美佳, 功刀しのぶ, 金沢 智¹⁾, 清水 章⁽¹⁾ 名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物) : リウマチ肺モデル DICC マウスの肺病変の病理形態学的に解析と高濃度水素分子 (H₂) 水素水の病変に対する効果. 日本病理学会総会 (第 104 回), 2015. 4.
- 9) 寺崎美佳, 寺崎泰弘, 米山剛一, 長濱清隆, 若松恭子, 桑原尚美, 功刀しのぶ, 梶本雄介, 漆山博和, 國保成暁, 竹下俊行¹⁾, 清水章⁽¹⁾ 付属病院女性診療科・産科) : 破骨細胞様巨細胞を伴う子宮平滑筋肉腫の 1 例. 日本病理学会総会 (第 104 回), 2015. 4.
- 10) 國保成暁, 漆山博和, 梶本雄介, 長濱清隆, 寺崎美佳, 功刀しのぶ, 益田幸成, 寺崎泰弘, 江石義信¹⁾, 清水 章⁽¹⁾ 東京医科歯科大学) : サルコイドーシス経過中に発症した肺 MALToma の 1 例. 日本病理学会総会 (第 104 回), 2015. 4.
- 11) 神崎 剛, 永坂真也, 肥後清一郎, 梶本雄介, 金光剛史, 青木路子, 康 徳東, 長濱清隆, 益田幸成, 清水 章 : MPO-ANCA 関連血管炎モデルにおける糸球体内ケモカイン発現と半月体形成機序. 日本病理学会総会 (第 104 回), 2015. 4.
- 12) 青木路子, 康 徳東, 金光剛史, 梶本雄介, 神崎 剛, 肥後清一郎, 寺崎美佳, 長濱清隆, 益田幸成, 清水 章 : 液体クロマトグラフ質量分析法による重鎖アミロイドーシスの診断. 日本病理学会総会 (第 104 回), 2015. 4.
- 13) 肥後清一郎, 金光剛史, 清水 章, 益田幸成, 梶本雄介, 神崎 剛, 長濱清隆, 三井亜希子¹⁾, 金子朋広¹⁾, 鶴岡秀一¹⁾ (1) 付属病院腎臓内科) : ラット同種間骨髄移植で生じた急性移植片対宿主病 (急性 GVHD) による腎臓への病理学的・免疫学的特徴. 日本病理学会総会 (第 104 回), 2015. 4.
- 14) 漆山博和¹⁾, 寺崎泰弘, 永坂真也, 國保成暁, 寺崎美佳, 功刀しのぶ, 清水 章⁽¹⁾ 東京大学大学院医学系研究科 器官病態内科 呼吸器内科学) : 間質性肺炎の早期線維化巣における IV 型コラーゲンの沈着と線維芽細胞遊走についての解析. 日本呼吸器学会総会 (第 55 回), 2015. 4.
- 15) 米山剛一¹⁾, 寺崎美佳, 川瀬里衣子¹⁾, 山本晃人¹⁾, 黒瀬圭輔¹⁾ (1) 付属病院女性診療科・産科) : 破骨細胞様巨細胞を伴った子宮平滑筋肉腫の 1 例. 日本臨床細胞学会 (第 56 回), 2015. 6.
- 16) 康 徳東, 青木路子, 新井孝司, 金光剛史, 梶本雄介, 神崎 剛, 寺崎美佳, 長濱清隆, 益田幸成, 清水 章 : 液体クロマトグラフ質量分析法による重鎖アミロイドーシスの診断. 日本腎臓学会 (第 58 回), 2015. 6.
- 17) 青木路子, 康 徳東, 新井孝司, 國保成暁, 岡林佑典, 金光剛史, 梶本雄介, 神崎 剛, 寺崎美佳, 長濱清隆, 益田幸成, 寺崎泰弘, 清水 章 : 重鎖アミロイドーシスの診断への液体クロマトグラフ質量分析法の有用性. 日本腎臓学会 (第 58 回), 2015. 6.
- 18) 肥後清一郎¹⁾, 清水 章, 益田幸成, 永坂真也, 神崎 剛, 梶本雄介, 福井めぐみ¹⁾, 長濱清隆, 三井亜希子¹⁾, 金子朋広¹⁾, 鶴岡秀一¹⁾ (1) 付属病院腎臓内科) : ラット同種間骨髄移植モデルによって生じた急性移植片対宿主病 (急性 GVHD) による腎臓への影響. 日本腎臓学会 (第 58 回), 2015. 6.
- 19) 藤田恵美子¹⁾, 清水 章, 金子朋広¹⁾, 平間章郎¹⁾, 渡辺容子¹⁾, 肥後清一郎¹⁾, 森田めぐみ¹⁾, 鶴岡秀一¹⁾ (1) 付属病院腎臓内科) : 糸球体内泡沫細胞浸潤を伴う微小変換型ネフローゼ症候群に関する臨床病理学的検討. 日本腎臓学会 (第 58 回), 2015. 6.
- 20) 福井めぐみ¹⁾, 三井亜希子¹⁾, 金子朋広¹⁾, 清水 章, 鶴岡秀一¹⁾ (1) 付属病院腎臓内科) : 巣状分節性糸球体硬化症にみられる糸球体内皮細胞障害. 日本腎臓学会 (第 58 回), 2015. 6.
- 21) 竹ヶ原京志郎¹⁾, 井上達哉¹⁾, 鳥山紗由子¹⁾, 佐藤 明¹⁾, 揖斐孝之¹⁾, 石角太郎¹⁾, 渥美健一郎²⁾, 寺崎泰弘, 弦間昭彦²⁾, 白田実男¹⁾ (1) 付属病院呼吸器外科, 2) 付属病院呼吸器内科) : 中葉症候群と鑑別を要した肺原発 MALT lymphoma の一切除例. 日本肺癌学会関東支部会 (第 173 回), 2015. 7.
- 22) 米山剛一¹⁾, 山本晃人²⁾, 寺崎美佳, 川瀬里衣子²⁾, 黒瀬圭輔²⁾, 土居大祐¹⁾, 長濱清隆, 大橋隆治³⁾, 内藤善哉⁴⁾, 竹下俊行²⁾ (1) 武蔵小杉病院女性診療科・産科, 2) 付属病院女性診療科・産科, 3) 付属病院病理診断科, 4) 統御機構診断病理学) : 組織所見が非定型的な子宮頸部肉腫. 日本婦人科腫瘍学会 (第 57 回), 2015. 8.
- 23) 鶴見華子¹⁾, 吉田泰子¹⁾, 中村恭菜¹⁾, 宇仁理恵¹⁾, 東原崇明¹⁾, 松村実美子¹⁾, 清水 章, 高野秀樹¹⁾ (1) 東京通信病院腎臓内科) : 急速進行性糸球体腎炎 (RPGN) を呈した好酸球性多発血管炎性肉芽腫 (EGPA) の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回), 2015. 10.
- 24) 新井桃子¹⁾, 石原 力¹⁾, 板垣史朗²⁾, 平間章郎²⁾, 山田剛久¹⁾, 柏木哲也²⁾, 金子朋広³⁾, 清水 章, 鶴岡秀一²⁾ (1) 千葉北総病院腎臓内科, 2) 付属病院腎臓内科, 3) 多摩永山病院腎臓内科) : プロトンポンプインヒビター (PPI) 内服が誘因となったと考えられる尿細管間質性腎炎ぶどう膜炎症候群の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回), 2015. 10.
- 25) 池ノ内綾子¹⁾, 渡辺容子¹⁾, 森田めぐみ¹⁾, 金子朋広¹⁾, 長濱清隆, 清水 章, 鶴岡秀一¹⁾ (1) 付属病院腎臓内科) : 妊娠によってネフローゼ症候群が増悪した Alport 症候群の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回), 2015. 10.
- 26) 東原崇明¹⁾, 吉田泰子¹⁾, 中村恭菜¹⁾, 岡田 啓¹⁾, 清水 章, 高野秀樹¹⁾ (1) 東京通信病院腎臓内科) : IgA 血管炎加療中に発症した Behcet 病の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回), 2015. 10.
- 27) 中村恭菜¹⁾, 吉田泰子¹⁾, 竹村浩至¹⁾, 清水 章, 高野秀樹¹⁾ (1) 東京通信病院腎臓内科) : 非特異性間質性肺炎が先行し, ネフローゼ症候群にて診断に至った全身性エリテマトーデスの 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回), 2015. 10.
- 28) 松村実美子¹⁾, 東原崇明¹⁾, 中村恭菜¹⁾, 宇仁理恵¹⁾, 清水 章, 高野秀樹¹⁾ (1) 東京通信病院腎臓内科) : 重症肺炎を契機に診断された IgA 腎症と悪性リンパ腫合併の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回), 2015. 10.

- 29) 東原崇明¹⁾, 中村恭菜¹⁾, 吉田泰子¹⁾, 清水 章, 高野秀樹¹⁾ (¹⁾ 東京通信病院腎臓内科) : 肺癌治療に際して蛋白尿増悪・寛解を呈した IgG1- λ の monoclonal IgG 沈着を呈した膜性腎症の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回), 2015. 10.
- 30) 松村実美子¹⁾, 吉田泰子¹⁾, 中村恭菜¹⁾, 東原崇明, 宇仁理恵¹⁾, 清水 章, 草野 武²⁾, 小林威仁²⁾, 宮川義隆²⁾, 高野秀樹¹⁾ (¹⁾ 東京通信病院腎臓内科, ²⁾ 埼玉医科大学病院総合心療内科) : 抗 GBM 抗体型 RPGN に合併した補体介在性の血栓性微小血管障害症. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回), 2015. 10.
- 31) 竹ヶ原京志郎¹⁾, 鳥山紗由子¹⁾, 佐藤 明¹⁾, 揖斐孝之¹⁾, 井上達哉¹⁾, 石角太郎¹⁾, 渥美健一郎²⁾, 森本泰介²⁾, 寺崎泰弘, 弦間昭彦²⁾, 白田実男¹⁾ (¹⁾ 附属病院呼吸器外科, ²⁾ 附属病院呼吸器内科) : 当院における肺原発 MALT lymphoma 二切除例の検討. 日本肺癌学会総会 (第 56 回), 2015. 11.
- (4) コンパニオンミーティング :
- 1) 長濱清隆 : 腎臓の正常構造と糸球体病変の取り方. 日本病理学会総会 (第 104 回), 2015. 4.

論 文

[追加分]

追加分総説 :

- 1) 寺崎泰弘, 國保成暁, 寺崎美佳, 功刀しのぶ : 病理診断の現状と問題点 : IPF/UIP, NSIP を中心に. 内科 2015 ; 117 (2) : 205-209.

追加分研究報告書 :

- 1) 漆山博和¹⁾, 寺崎泰弘, 山内康宏¹⁾, 國保成暁, 寺崎美佳, 功刀しのぶ, 長瀬隆英¹⁾ (¹⁾ 東京大学大学院医学系研究科 器官病態内科 呼吸器内科学) : 間質性肺炎の早期線維化巣における canstatin の発現とその作用の解析. 厚生労働省難治性疾患政策研究事業 びまん性肺疾患に対するエビデンスを提案する 平成 27 年度研究報告書 2015 ; 129-135.

9. 統御機構診断病理学分野

研究概要

統御機構診断病理学分野では、消化器癌などの腫瘍性疾患につき、有効な診断法と新たな分子標的治療法の開発やプロテオーム解析による診断・治療法選択に関わるバイオマーカーの探索を目指し研究している。平成27年度の業績の概略は以下のとおりである。①膵臓癌における癌幹細胞マーカーとFGFなどの増殖因子が、膵癌の前癌病変や癌細胞胞巣内に発現することを見出し、その意義について検討している。②大腸癌では、手術症例のホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）組織から腫瘍部と非腫瘍部の質量分析による蛋白質発現を網羅的に解析した。腫瘍部では非腫瘍部と比べ、有意に発現が亢進、または、低下するタンパク質を同定し、数種の蛋白質について培養細胞を用いたバイオマーカーとしての有用性を検討している。③肝細胞癌の切除標本から蛋白質を抽出し、網羅的な蛋白質の発現解析を行い、腫瘍増殖に関連する分子を同定した。現在詳しい分子病態の解明に取り組み、治療標的としての有用性を検討している。④胃癌の切除標本から抽出した蛋白質を網羅的に解析し、癌などの悪性病態に関わる分子を同定するとともに、胃癌の進展を抑制する新たな治療標的の創出を目指している。⑤神経内分泌腫瘍は、腫瘍細胞の増殖ばかりでなくホルモン分泌機能を有する腫瘍である。現在、腫瘍細胞の増殖メカニズムは明らかになっておらず、増殖に関連する分子の同定と培養細胞を用いた実験的治療を目指して検討を進めている。⑥卵巣癌組織の蛋白質を網羅的に解析し、癌の発生や治療抵抗性に関わる分子の同定を進めている。特に予後不良の明細胞癌に関し、早期発見や癌の進展を抑制する可能性のある分子を同定した。さらに、臨床応用をめざし検討を進めている。⑦皮膚腫瘍では、蛋白質の発現解析を行い、鑑別診断やその分子の機能につき組織標本および培養細胞を用いて検討している。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Takaya A^{1,2)}, Peng W¹⁾, Ishino K¹⁾, Kudo M¹⁾, Yamamoto T³⁾, Wada R¹⁾, Takeshita T²⁾, Naito Z¹⁾ (1) Integrative Oncological Pathology, NMS, 2) Dept. of Reproductive Medicine, Perinatology and Gynecologic Oncology, NMS, 3) Pathological and Biomolecule Analyses Laboratory, Faculty of Pharmacy, Kinki Univ., Osaka) : Cystatin B as a potential diagnostic biomarker in ovarian clear cell carcinoma. *Int J Oncol.* 2015 ; 46 (4) : 1573-81.
- 2) Komiya M¹⁾, Fujii G²⁾, Miyamoto S¹⁾, Takahashi M³⁾, Ishigamori R¹⁾, Onuma W^{1,4)}, Ishino K, Totsuka Y²⁾, Fujimoto K⁵⁾, Mutoh M^{1,2)} (1) Epidemiology and Prevention Division, Research Center for Cancer Prevention and Screening, National Cancer Center, Tokyo, 2) Divisions of Carcinogenesis and Cancer Prevention, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, 3) Central Animal Division, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, 4) Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science, 5) Division of Molecular Biology, Nagasaki International University, Nagasaki, Japan) : Suppressive effects of the NADPH oxidase inhibitor apocynin on intestinal tumorigenesis in obese KK-A (y) and Apc mutant Min mice. *Cancer Sci.* 2015 ; 106 (11) : 1499-1505.
- 3) Peng W, Kure S, Ishino K, Kurose K¹⁾, Yoneyama K¹⁾, Wada R, Naito Z (1) Dept. of Reproductive Medicine, Perinatology and Gynecologic Oncology, NMS) : P16-positive continuous minimal deviation adenocarcinoma and gastric type adenocarcinoma in a patient with Peutz-Jeghers syndrome. *Int J Clin Exp Pathol.* 2015 ; 8 (5) : 5877-82.
- 4) Polley CM¹⁾, Leung S²⁾, Gao D²⁾, Sakatani T^{3,4)}, Nielsen OT^{2,5)}, et al. (1) Biometric Research Branch, Division of Cancer Treatment and Diagnosis, National Cancer Institute, Bethesda, Maryland, USA, 2) Pathology and Laboratory Medicine, University of British Columbia, Vancouver, British Columbia, Canada, 3) Dept. of Pathology, Jichi Medical University, Shimotsuke, Tochigi, Japan, 4) Dept. of Diagnostic Pathology, NMS Hosp, Japan, 5) on behalf of the International Ki67 in Breast Cancer Working Group of the Breast International Group and North American Breast Cancer Group (BIG-NABCG) : An international study to increase concordance in Ki67 scoring. *Mod Pathol.* 2015 ; 28 (6) : 778-86.
- 5) Igarashi Y¹⁾, Matsuda Y²⁾, Fuse A¹⁾, Ishiwata T, Naito Z, Yokota H¹⁾ (1) Dept. of Emergency and Critical Care Medicine, 2) Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital and Institute of Gerontology) : Pathophysiology of microwave-induced traumatic brain injury. *Biomed Rep.* 2015 ; 3 (4) : 468-72.
- 6) Hara K¹⁾, Watanabe A¹⁾, Matsumoto S¹⁾, Matsuda Y²⁾, Kuwata T¹⁾, Kan H¹⁾, Yamada T¹⁾, Koizumi M¹⁾, Shinji S¹⁾, Yamagishi A¹⁾, Ishiwata T, Naito Z, Shimada T¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Dept. of Gastrointestinal Hepato Biliary Pancreatic Surgery, NMS, 2) Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital and Institute of Gerontology) : Surgical Specimens of Colorectal Cancer Fixed with PAX-gene Tissue System Preserve High-Quality RNA. *Biopreserv Biobank.* 2015 ; 13 (5) : 325-34.
- 7) Imada H¹⁾, Sakatani T^{1,3)}, Sawada M²⁾, Matsuura T²⁾, Fukushima N¹⁾, Nakano I²⁾ (1) Dept. of Pathology, Jichi Medical Univer-

sity, ²⁾ Neurology, Jichi Medical University Hosp., ³⁾ Dept. of Diagnostic Pathology, NMS Hosp.) : A lethal intracranial Rosai-Dorfman disease of the brainstem diagnosed at autopsy. *Pathol Int.* 2015 ; 65 (10) : 549-53.

- 8) Niikura N^{1,2)}, Sakatani T^{1,3)}, Arima N^{1,4)}, Ohi Y^{1,5)}, Honma N^{1,6)}, Kanomata N^{1,7)}, Yoshida K^{1,8)}, Kadoya T^{1,9)}, Tamaki K¹⁾, Kumaki N^{1,2)}, Iwamoto T¹⁰⁾, Moriya T^{1,7)}, et al. (¹⁾ Study Group of Standard Measurement of Ki67, The Japanese Society of Breast Cancer, Tokyo, Japan, ²⁾ Dept. of Breast and Endocrine Surgery, Tokai University School of Medicine, Japan, ³⁾ Dept. of Diagnostic Pathology, Jichi Medical University, Shimotsuke, Tochigi, Japan and Dept of Diagnostic Pathology, NMS Hosp, Japan, ⁴⁾ Dept. of Pathology, Kumamoto City Hospital, Kumamoto, Japan, ⁵⁾ Dept. of Pathology, Hakuikai Medical Corporation, Sagara Hospital, Kagoshima, Japan, ⁶⁾ Research Team for Geriatric Pathology, Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology, Tokyo, Japan, ⁷⁾ Dept of Pathology, Kawasaki Medical School, Kurashiki, Okayama, Japan, ⁸⁾ Breast Center, Northern Fukushima Medical Center, Fukushima, Japan, ⁹⁾ Dept. of Surgical Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima, Japan, ¹⁰⁾ and others) : Assessment of the Ki67 labeling index : a Japanese validation ring study. *Breast Cancer.* 2016 ; 23 (1) : 92-100.
- 9) Kanzaki A¹⁾, Kudo M¹⁾, Ansai S¹⁾, Peng W, Ishino K, Yamamoto T²⁾, Wada R, Fujii T, Teduka K, Kawahara K, Kawamoto Y, Kitamura T, Kawana S¹⁾, Saeki H¹⁾, Naito Z (¹⁾ Dept. of Dermatology, NMS, ²⁾ Pathological and Biomolecule Analyses Laboratory, Faculty of Pharmacy, Kinki University, Osaka) : Insulin-like growth factor 2 mRNA-binding protein-3 as a marker for distinguishing between cutaneous squamous cell carcinoma and keratoacanthoma. *Int J Oncol.* 2016 ; 48 (3) : 1007-15.

(2) 総説 :

- 1) 和田龍一, 下田朋宏, 内藤善哉 : 消化管・膵臓の穿刺吸引細胞診の見方と診断そして最新の知見—細胞増と組織像を対比して—消化管・膵臓病変. *病理と臨床* 2015 ; 33 (11) : 1222-1232.

(3) 症例報告 :

- 1) Shinhata H¹⁾, Yamamoto H¹⁾, Sunada K¹⁾, Ino Y¹⁾, Hayashi Y¹⁾, Sato H¹⁾, Miura Y¹⁾, Sakamoto H¹⁾, Kitamura A¹⁾, Takezawa T¹⁾, Yano T¹⁾, Sakatani T^{2,3)}, Sugano K¹⁾ (¹⁾ Dept. of Medicine, Division of Gastroenterology, Jichi Medical University, ²⁾ Dept. of Diagnostic Pathology, Jichi Medical University, ³⁾ Dept. of Diagnostic Pathology, NMS Hosp.) : Advanced rectal carcinoma caused by tumor cell implantation after curative endoscopic submucosal dissection of an intramucosal rectal carcinoma. *Endoscopy.* 2015 ; 47 (Suppl 1) : E192-E194.
- 2) Morimoto M¹⁾, Miyakura Y¹⁾, Lefor A¹⁾, Takahashi K¹⁾, Horie H¹⁾, Koinuma K¹⁾, Tanaka H¹⁾, Ito H¹⁾, Shimizu T¹⁾, Kono Y¹⁾, Sata N¹⁾, Fukushima N²⁾, Sakatani T^{2,3)}, Yasuda Y¹⁾ (¹⁾ Dept. of Surgery, Jichi Medical University, ²⁾ Dept. of Diagnostic Pathology, Jichi Medical University, ³⁾ Dept. of Diagnostic Pathology, NMS Hosp.) : Reduction in the size of enlarged pelvic lymph nodes after chemoradiation therapy is associated with fewer lymph node metastases in locally advanced rectal carcinoma. *Surg Today.* 2015 ; 45 (7) : 834-40.

著書

- 1) 坂谷貴司¹⁾ (¹⁾ 付属病院病理診断科) : [分担] 肝胆道系. 消化器. 細胞診ガイドライン 5 (日本臨床細胞学会), 2015 ; pp207-256, 金原出版.
- 2) 坂谷貴司¹⁾ (¹⁾ 付属病院病理診断科) : [分担] 乳癌. 胃癌・乳癌 HER2 病理診断ガイドライン 第1版 (日本病理学会), 2015 ; pp99-99, 金原出版.
- 3) 坂谷貴司¹⁾ (¹⁾ 付属病院病理診断科) : [分担] 病理診断. 新臨床腫瘍学 改訂第4版 (日本臨床腫瘍学会), 2015 ; pp99-99, 南江堂.
- 4) 坂谷貴司¹⁾ (¹⁾ 付属病院病理診断科) : [分担] TNM 分類. 新臨床腫瘍学 改訂第4版 (日本臨床腫瘍学会), 2015 ; pp99-99, 南江堂.
- 5) 内藤善哉 : [編集統括責任者・分担 (膵臓)] 全編. 消化器. 細胞診ガイドライン 5 (日本臨床細胞学会), 2015 ; pp1-325, 金原出版.
- 6) 内藤善哉 : [編集] 全編. 甲状腺・内分泌・神経系. 細胞診ガイドライン 5 (日本臨床細胞学会), 2015 ; pp1-229, 金原出版.

学会発表

(1) 特別講演 :

- 1) 坂谷貴司^{1,2)} (¹⁾ 付属病院 病理診断科・病理部, ²⁾ 統御機構診断病理学) : 形態学探求の多様性と展開. 日本医科大学医学会総会 (第83回) (千駄木), 2015. 9.
- 2) 内藤善哉 : 胆膵の細胞診ガイドラインの報告様式について : 異型/鑑別困難と判定される症例の取り扱い, そして pitfall. 広島県臨床細胞学会学術集会 (第41回) (広島市), 2016. 3.

(2) 教育講演 :

- 1) 内藤善哉 : 胆管内乳頭状腫瘍 (IPNB) の概念, 特徴, そして問題点. 日本臨床細胞学会秋期大会 (第54回) (名古屋市), 2015. 11.

(3) パネルディスカッション：

1) 和田龍一：稀な GIST の対応：“Wild type” GIST の臨床病理. GIST Pathology Expert Meeting 2015 (東京都), 2015. 12.

(4) セミナー：

1) 和田龍一：GIST と NET：病理診断の update. 消化管粘膜下腫瘍研究会 (第 12 回) (青森県弘前市), 2015. 9.

(5) 一般講演：

- 1) Peng W, Ishino K, Kurose K¹⁾, Kudo M, Wada R, Naito Z (¹⁾ Dept. of Reproductive Medicine, Perinatology and Gynecologic Oncology) : Malignant endometrial polyp : a case report. European Congress of Cytology (39th) (Milan, Italy), 2015. 9.
- 2) Dowsett M¹⁾, Leung S²⁾, Sakatani T^{3,4)}, Nielsen OT²⁾, et al. (¹⁾ Academic Department of Biochemistry, Royal Marsden Hospital, London, UK, ²⁾ Pathology and Laboratory Medicine, University of British Columbia, Vancouver, British Columbia, Canada, ³⁾ Dept of Diagnostic Pathology, Jichi Med Univ, Japan, ⁴⁾ Dept of Diagnostic Pathology, NMS Hosp, Japan) : Analytical validation of a standardized scoring protocol for Ki67 : Phase-3 of an international multicenter collaboration. CTRC-AACR San Antonio Breast Cancer Symposium (38th) (San Antonio, TX, USA), 2015. 12.
- 3) 呉 壮香¹⁾, 和田龍一^{1,2)}, 彭 為霞^{1,2)}, 石井英昭²⁾, 稲井俊太³⁾, 長尾俊孝⁴⁾, 内藤善哉^{1,2)} (¹⁾ 統御機構診断病理学, ²⁾ 付属病院病理診断科, ³⁾ 付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科, ⁴⁾ 東京医科大学人体病理学講座) : 耳下腺に発生した oncocytic papillary cystadenocarcinoma の 1 例. 日本病理学会総会 (第 104 回) (名古屋市), 2015. 4.
- 4) 秋元直彦, 和田龍一, 内藤善哉 : 脂質代謝関連因子 angiopoietin-like protein 8 の発現の組織学的検討. 日本病理学会総会 (第 104 回) (名古屋市), 2015. 4.
- 5) 新井洋紀, 和田龍一, 石野孔祐, 工藤光洋, 内藤善哉 : 食道胃接合部と前庭部に発生した 2 つの腺癌のプロテオーム解析. 日本病理学会総会 (第 104 回) (名古屋市), 2015. 4.
- 6) 横山宗伯¹⁾, 小川真紀¹⁾, 中山智子¹⁾, 丸茂一義²⁾, 朝戸裕子²⁾, 岡林 賢²⁾, 虎澤誠英³⁾, 内藤善哉 (¹⁾ 東京警察病院病理診断科, ²⁾ 東京警察病院呼吸器科, ³⁾ 東京警察病院脳神経外科) : 生前に診断された Pulmonary tumor thrombotic microangiopathy (PTTM) の一剖検例. 日本病理学会総会 (第 104 回) (名古屋市), 2015. 4.
- 7) 石野孔祐, 工藤光洋, 彭 為霞, 川原清子, 河本陽子, 鈴木妙子, 手塚 潔, 藤井雄文, 和田龍一, 内藤善哉 : 膀胱癌細胞株への 2-デオキシグルコース曝露により発現変動を示したタンパク質の解析. 日本病理学会総会 (第 104 回) (名古屋市), 2015. 4.
- 8) 大橋隆治¹⁾, 川原清子²⁾, 武井寛幸³⁾, 内藤善哉^{1,2)} (¹⁾ 付属病院 病理診断科, ²⁾ 統御機構診断病理学, ³⁾ 付属病院乳腺外科) : 乳癌 neoadjuvant chemotherapy (NAC) 前後における EpCAM 発現の意義. 日本病理学会総会 (第 104 回) (名古屋市), 2015. 4.
- 9) 石渡俊行, 吉村久志¹⁾, 松田陽子²⁾, 鈴木妙子, 河本陽子, 川原清子, 石渡俊二³⁾, 内藤善哉 (¹⁾ 日本獣医生命科学大学獣医保健看護学科病態病理学, ²⁾ 東京都健康長寿医療センター 病理診断科, ³⁾ 近畿大学薬学部臨床薬学部門医療薬剤学) : 膀胱癌の新たな治療標的としての線維芽細胞増殖因子-4 (Fibroblast Growth Factor Receptor 4 as a Novel Therapeutic Target for Pancreatic Cancer) (英語). 日本病理学会総会 (第 104 回) (名古屋市), 2015. 4.
- 10) 柳田裕美¹⁾, 細根 勝¹⁾, 片山博徳¹⁾, 磯部宏昭¹⁾, 川野記代子¹⁾, 日吾美栄子¹⁾, 新井 悟¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 内藤善哉 (¹⁾ 多摩永山病院 病理診断科, ²⁾ 三菱化学メディエンス 病理・細胞診センター) : リンパ節捺印細胞診にて転移性腫瘍との鑑別に難渋した CD30 (+) B 細胞性リンパ腫の 1 例. 日本臨床細胞学会春期大会 (第 56 回) (鳥取), 2015. 6.
- 11) 川瀬里衣子¹⁾, 山本晃人¹⁾, 黒瀬圭輔¹⁾, 米山剛一¹⁾, 松原美幸²⁾, 彭 為霞^{2,3)}, 和田龍一^{2,3)}, 内藤善哉^{2,3)} (¹⁾ 多摩永山病院 病理診断科, ²⁾ 付属病院病理診断科・病理部, ³⁾ 統御機構診断病理学) : 傍大動脈リンパ節転移を認めた dysgerminoma の 1 例. 日本臨床細胞学会春期大会 (第 56 回) (鳥取), 2015. 6.
- 12) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 横山 正³⁾, 水口義昭¹⁾, 石渡俊行, 内藤善哉, 田尻 孝¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 付属病院消化器外科, ²⁾ 千葉北総病院消化器外科, ³⁾ 多摩永山病院消化器外科) : 膀胱神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膀胱切除術の手術成績. 日本膀胱学会大会 (第 46 回) (名古屋市), 2015. 6.
- 13) 石渡俊行, 吉村久志¹⁾, 松田陽子²⁾, 鈴木妙子, 河本陽子, 川原清子, 石渡俊二³⁾, 松下 晃⁴⁾, 中村慶春⁴⁾, 内田英二⁴⁾, 内藤善哉 (¹⁾ 日本獣医生命科学大学獣医保健看護学科病態病理学, ²⁾ 東京都健康長寿医療センター 病理診断科, ³⁾ 近畿大学薬学部臨床薬学部門医療薬剤学, ⁴⁾ 付属病院消化器外科) : 膀胱癌における線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR-4) 発現と治療標的としての可能性. 日本膀胱学会大会 (第 46 回) (名古屋市), 2015. 6.
- 14) 寺澤憲昭¹⁾, 坂谷貴司²⁾, 川名展弘¹⁾, 小坂達朗¹⁾, 小林美保¹⁾, 鈴木純子¹⁾, 遠藤 崇¹⁾, 林 玲匡³⁾, 町並陸生¹⁾ (¹⁾ 社会医療法人河北総合病院, ²⁾ 付属病院病理診断科, ³⁾ 東京大学医学部附属病院) : 胆管原発 mixed adenoneuroendocrine carcinoma の 1 例. 日本臨床細胞学会春期大会 (第 56 回) (鳥取), 2015. 6.
- 15) 高山良子¹⁾, 安齋真一²⁾, 石渡俊行, 山本哲志³⁾, 松田陽子⁴⁾, 内藤善哉, 川名誠司⁵⁾ (¹⁾ 多摩永山病院皮膚科, ²⁾ 武蔵小杉病院皮膚科, ³⁾ 近畿大学薬学部病態分子解析学, ⁴⁾ 東京都健康長寿医療センター病理診断科, ⁵⁾ 付属病院皮膚科) : Bowen 病と日光角化症における病理組織学的鑑別診断マーカーとしての lumican の発現の検討. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (第 31 回) (大阪市), 2015. 7.

- 16) 大橋隆治¹⁾, 坂谷貴司¹⁾, 松原美幸¹⁾, 柳原恵子²⁾, 山下浩二²⁾, 土屋眞一¹⁾, 武井寛幸²⁾, 内藤善哉^{1, 3)} (1) 付属病院 病理診断科・病理部, 2) 付属病院乳腺外科, 3) 統御機構診断病理学) : 神経内分泌分化を伴う乳腺粘液癌の細胞像と臨床組織像との比較. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (東京都), 2015. 7.
- 17) 森谷卓也¹⁾, 鹿股直樹¹⁾, 有馬信之²⁾, 本間尚子³⁾, 大井恭代⁴⁾, 坂谷貴司^{5, 6)}, 飛田 陽⁷⁾, 玉城研太郎⁸⁾, 新倉直樹⁹⁾, 杉江知治¹⁰⁾, その他 1 名 (1) 川崎医科大学病理学 2, 2) 熊本市市民病院病理診断科, 3) 東邦大学医学部病理学講座, 4) 社会医療法人博愛会相良病院乳腺科, 5) 自治医科大学病理学, 6) 付属病院病理診断科, 7) 松山赤十字病院, 8) 那覇西クリニック, 9) 京都大学大学院医学研究科標的治療腫瘍学講座, 10) その他) : 乳癌の Ki-67 ラベリングインデックスに対する至適な計測法の検討. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (東京), 2015. 7.
- 18) 米山剛一¹⁾, 山本晃人¹⁾, 寺崎美佳²⁾, 川瀬里衣子³⁾, 黒瀬圭輔³⁾, 土居大祐¹⁾, 長濱清隆²⁾, 大橋隆治⁴⁾, 内藤善哉^{4, 5)}, 竹下俊行³⁾ (1) 武蔵小杉病院 女性診療科・産科, 2) 解析人体病理学, 3) 付属病院 女性診療科・産科, 4) 付属病院病理診断科, 5) 統御機構診断病理学) : 組織所見が非定型的な子宮頸部肉腫. 日本婦人科腫瘍学会学術講演会 (第 57 回) (盛岡市), 2015. 8.
- 19) 高屋 茜¹⁾, 佐藤杏月¹⁾, 山本晃人²⁾, 川瀬里衣子²⁾, 黒瀬圭輔²⁾, 米山剛一¹⁾, 内藤善哉, 竹下俊行²⁾ (1) 武蔵小杉病院 女性診療科・産科, 2) 付属病院 女性診療科・産科) : 卵巣明細胞線癌の診断バイオマーカーとしての CystatinB の可能性. 日本婦人科腫瘍学会学術講演会 (第 57 回) (盛岡市), 2015. 8.
- 20) 若林奈緒¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 柳田邦昭¹⁾, 野本俊一¹⁾, 小川 令¹⁾, 松本典子¹⁾, 内藤善哉 (1) 付属病院形成外科・美容外科) : 良悪性の診断に非常に苦慮した耳下腺腫瘍の 1 例. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京, 千駄木), 2015. 9.
- 21) 柳田裕美¹⁾, 細根 勝¹⁾, 新井 悟¹⁾, 湯本典夫¹⁾, 片山博徳¹⁾, 東 敬子¹⁾, 磯部宏昭¹⁾, 川野記代子¹⁾, 岩瀬裕美¹⁾, 日吾美栄子¹⁾, 丹野正隆¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 東 直行³⁾, 内藤善哉 (1) 多摩永山病院 病理診断科, 2) 三菱化学メディエンス 病理・細胞診センター, 3) 多摩永山病院 皮膚科) : 転移性腫瘍との鑑別に難渋した CD30 (+) B 細胞性リンパ腫の 1 例. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京, 千駄木), 2015. 9.
- 22) 眞田麻梨恵¹⁾, 長岡竜太¹⁾, 岡村律子¹⁾, 軸園智雄¹⁾, 赤須東樹¹⁾, 五十嵐健人¹⁾, 杉谷 巖¹⁾, 清水一雄¹⁾, 彭 為霞²⁾, 大橋隆治²⁾, 内藤善哉²⁾ (1) 付属病院 内分泌外科, 2) 付属病院病理診断科) : 内視鏡補助下手術で治療した若年者甲状腺濾胞癌の 1 例. 日本甲状腺外科学会学術集会 (第 48 回) (東京都), 2015. 10.
- 23) 石野孔祐, 工藤光洋, 彭 為霞, 呉 壮香, 川原清子, 河本陽子, 北村妙子, 藤井雄文, 手塚 潔, 和田龍一, 内藤善哉 : 睪癌細胞株 MIAPaCa2 のタンパク発現に対する 2-デオキシグルコースの効果. 日本癌学会学術総会 (第 74 回) (名古屋市), 2015. 10.
- 24) 山本哲志¹⁾, 工藤光洋, 彭 為霞, 高田英志²⁾, 三田村邦子¹⁾, 多賀 淳¹⁾, 内藤善哉 (1) 近畿大学薬学部病態分子解析学, 2) 付属病院消化器外科) : ホルマリン固定パラフィン包埋大腸癌組織を用いたプロテオーム解析によるバイオマーカーの探索. 日本癌学会学術総会 (第 74 回) (名古屋市), 2015. 10.
- 25) 住吉宏樹¹⁾, 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 水口義昭¹⁾, 進士誠一¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 石渡俊行, 内田英二¹⁾ (1) 消化器外科) : 睪癌における STAT5a/5b の発現および増殖, 抗癌剤感受性, 細胞接着, 浸潤への関与. 日本癌学会学術総会 (第 74 回) (名古屋市), 2015. 10.
- 26) 和田龍一 : より正確な再発リスク評価のために : 核分裂像の評価を中心として. (東京), 2015. 11.
- 27) 柳田裕美¹⁾, 細根 勝¹⁾, 新井 悟¹⁾, 湯本典夫¹⁾, 片山博徳¹⁾, 東 敬子¹⁾, 磯部宏昭¹⁾, 川野記代子¹⁾, 岩瀬裕美¹⁾, 日吾美栄子¹⁾, 丹野正隆¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 東 直行³⁾, 内藤善哉 (1) 多摩永山病院 病理診断科, 2) 三菱化学メディエンス 病理・細胞診センター, 3) 多摩永山病院 皮膚科) : 細胞診材料における術中迅速細胞免疫染色が有用であった Germinoma の 1 例. 日本臨床細胞学会秋期大会 (第 54 回) (名古屋市), 2015. 11.
- 28) 渡會泰彦¹⁾, 村瀬幸宏¹⁾, 山田英雄²⁾, 石井英昭¹⁾, 内藤善哉^{1, 4)}, 土屋眞一¹⁾, 越川 卓³⁾, 清水一雄²⁾ (1) 付属病院 病理診断科・病理部, 2) 内分泌外科学, 3) 愛知県立大学看護学部, 4) 統御機構診断病理学) : チェルノブイリ甲状腺癌検診に関わるロシア語甲状腺細胞診教本の発刊の意義. 日本臨床細胞学会秋期大会 (第 54 回) (名古屋市), 2015. 11.
- 29) 村瀬幸宏¹⁾, 大橋隆治¹⁾, 坂谷貴司¹⁾, 松原美幸¹⁾, 渡會泰彦¹⁾, 石井英昭¹⁾, 内藤善哉^{1, 2)} (1) 付属病院 病理診断科・病理部, 2) 統御機構診断病理学) : 低分化成分を伴った甲状腺乳頭癌の組織細胞像に関する検討. 日本臨床細胞学会秋期大会 (第 54 回) (名古屋市), 2015. 11.
- 30) 葉山葉子¹⁾, 大橋隆治¹⁾, 坂谷貴司¹⁾, 松原美幸¹⁾, 渡會泰彦¹⁾, 石井英昭¹⁾, 内藤善哉¹⁾ (1) 付属病院 病理診断科・病理部) : 印環細胞を伴った乳癌の組織・細胞像に関する検討. 日本臨床細胞学会秋期大会 (第 54 回) (名古屋市), 2015. 11.
- (6) 講演 :
- 1) 石渡俊行 : ヒト癌細胞の動物移植法を用いた癌バイオマーカーの検索. アカデミックフォーラム (第 12 回) (東京), 2015. 5.
- 2) 和田龍一 : GIST-診断とリスク分類の再確認. 近畿 GIST 研究会 (第 22 回) (大阪), 2015. 6.
- 3) 和田龍一 : GIST と NET のキホン : 病理診断と治療. 日本病理学会北海道支部病理夏の学校 (第 12 回) (札幌市), 2015. 7.
- (7) 講演会 :
- 1) 和田龍一 : 神経内分泌腫瘍の病理. 消化管粘膜下腫瘍研究会 (第 12 回) (東京都), 2015. 12.

著 書

〔追加分〕

追加分：

- 1) 内藤善哉：〔編集〕全編. 呼吸器・胸腺・体腔液・リンパ節. 細胞診ガイドライン4（日本臨床細胞学会），2015；pp1-264. 金原出版.
- 2) 坂谷貴司¹⁾ (1) 付属病院病理診断科)：〔分担〕乳腺. 乳腺・皮膚・軟骨部. 細胞診ガイドライン2（日本臨床細胞学会），2015；pp17-148. 金原出版.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) 和田龍一, 内藤善哉：抗酸菌感染症：病理標本からのアプローチ. 千駄木幹線免疫アレルギー研究会（第25回）（東京都），2015. 3.

追加分特別講演：

- 1) 坂谷貴司¹⁾ (1) 付属病院 病理診断科)：ER, PgR, HER2のセルフアセスメント. NPO 法人 日本病理精度保証機構 教育・研修会（日本臨床検査技師会館，東京），2015. 3.

10. 微生物学・免疫学分野

研究概要

当微生物学・免疫学講座では「自然免疫」システム、特にその中枢を担う樹状細胞 (DC) 及び DC により統御されたナチュラルキラー T (NKT) 細胞, 並びに $\gamma\delta$ 型 T 細胞による腫瘍ならびに感染の制御に関する研究を主として展開している. 感染症学および感染免疫学 [A] HIV 感染伝播機構の解明とその制御法の開発 (1) 我々は HIV の主たる感染標的が, 従来想定されてきた血液中の CD4 陽性ヘルパー T 細胞ではなく, 粘膜内の CD4 陽性 NKT 細胞であることを示す実験結果を得その確認作業を HIV 感染者で実施している. また, その感染制御に関わる粘膜内 $V\gamma 1V\delta 1$ 型 T 細胞の活性化を担う薬物の検索を, 漢方薬成分を含め検討し新たなエイズ治療を模索している. また, こうした免疫抑制に HIV 由来の Nef 遺伝子に関わることを, そしてその機序を明らかにした (*Virology*, 487 : 285-295, 2016) (2) ビルビン酸脱水素酵素であるジクロロ酢酸 (DCA) により麻疹ウイルスの持続感染が制御できることを国際誌である *Antiviral Res* 誌に掲載した. (3) 皮膚ランゲルハンス細胞に酷似した細胞を臍帯血細胞より誘導し得た. 腫瘍免疫学 [B] (1) 腫瘍内には抗腫瘍作用を誘導するもの (immunogenic DC ; DC) と腫瘍増殖を助けるもの (tolerogenic DC ; tDC) とが存在するが, 糖脂質抗原 α -galactocylceramide が tDC を hDC に変換する現象を見いだした. (2) 妊娠時において, DC 亜群 (DEC-205 と 33D1) のバランスが妊娠維持に関与すること, そしてこのバランスは胎盤ではなく, 子宮筋層で保持されていることを見いだした. アレルギー免疫学 [C] マスト細胞からのヒスタミン遊離を DC が制御することを発見した (*Int Arch Allergy Immunol* , 168 : 219-232, 2016).

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) Oguri S^{1,3}, Hanawa T², Matsuo J³, Ishida K³, Yamazaki T^{3,5}, Nakamura S⁴, Okubo T³, Fukumoto T¹, Akizawa K¹, Shimizu C¹, Kamiya S², Yamaguchi H³ (1) Hokkaido University Hospital, (2) Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine, (3) Department of Medical Laboratory Science, Faculty of Health Sciences, Hokkaido University, (4) Division of Biomedical Imaging Research, Juntendo University Graduate School of Medicine, (5) Research Fellow of Japan Society for the Promotion of Science) : Protozoal ciliate promotes bacterial autoinducer-2 accumulation in mixed culture with Escherichia coli. *The Journal of General and Applied Microbiology* 2015 ; 61 (5) : 203-210.
- 2) Matsuo J¹, Nakamura S², Takeda S³, Ishida K^{1,4}, Yamazaki T^{1,4}, Yoshida M⁵, Chiba H^{3,6}, Hui S^{1,3}, Yamaguchi H¹ (1) Department of Medical Laboratory Science, Faculty of Health Sciences, Hokkaido University, (2) Division of Biomedical Imaging Research, Juntendo University Graduate School of Medicine, (3) Health Innovation and Technology Center, Faculty of Health Sciences, Hokkaido University, (4) Japan Society for the Promotion of Science, (5) Division of Ultrastructural Research, Juntendo University Graduate School of Medicine, (6) Department of Health Science Technology, Faculty of Health Sciences, Hokkaido University) : Synergistic Costimulatory Effect of Chlamydia pneumoniae with Carbon Nanoparticles on NLRP3 Inflammasome-Mediated Interleukin-1 β Secretion in Macrophages. *Infection and Immunity* 2015 ; 83 (7) : 2917-2925.
- 3) Nakagawa Y, Negishi Y, Shimizu M, Takahashi M, Ichikawa M¹, Takahashi H (1) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School) : Effect of extracellular pH and hypoxia on the function and development of antigen-specific cytotoxic T lymphocytes. *Immunology Letters* 2015 ; 167 (2) : 72-86.
- 4) Shinya E, Shimizu M, Owaki A, Paoletti S¹, Mori L¹, De Libero G¹, Takahashi H (1) Experimental Immunology, Department of Biomedicine, University Hospital Basel) : Hemopoietic cell kinase (Hck) and p21-activated kinase 2 (PAK2) are involved in the down-regulation of CD1a lipid antigen presentation by HIV-1 Nef in dendritic cells. *Virology* 2016 ; 487 : 285-295.
- 5) Murakami R^{1,2}, Nakagawa Y¹, Shimizu M¹, Wakabayashi A¹, Negishi Y¹, Hiroi T³, Okubo K², Takahashi H¹ (1) Departments of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, (2) Departments of Otorhinolaryngology, Nippon Medical School, (3) Department of Allergy and Immunology, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science) : Effects of dendritic cell subset manipulation on airway allergy in a mouse model. *International Archives of Allergy and Immunology* 2016 ; 168 (4) : 219-232.

(2) 総説 :

- 1) 熊谷善博 : 免疫工学による免疫システム分子機構の解析 : II. T 細胞抗原レセプタートランスジェニックマウスを用いた免疫調節機構の解析. *Chemical Times* 2015 ; 236 (2) : 2-7.
- 2) 富田祐司¹, 近藤幸尋² (1) 日本医科大学武蔵小杉病院, (2) 日本医科大学附属病院泌尿器科) : 淋菌性尿道炎. *臨床泌尿器科* 2015 ; 69 (4) : 78-81.
- 3) 富田祐司¹, 近藤幸尋² (1) 日本医科大学武蔵小杉病院, (2) 日本医科大学附属病院泌尿器科) : 非淋菌性尿道炎 : クラミジア性尿道炎.

臨床泌尿器科 2015; 69 (4) : 82-84.

- 4) 高橋秀実: HIV 感染に対する新たな視点と治療法. 臨床免疫・アレルギー科 2015; 63 (6) : 569-576.
- 5) 熊谷善博: 免疫工学による免疫システム分子機構の解析: III. タンパク質工学と細胞工学を有効に利用した抗体の作製. Chemical Times 2015; 237 (3) : 14-19.
- 6) 高橋秀実: 最新の免疫学からみた東洋医学による治療戦略の意義. アレルギー・免疫 2016; 23 (3) : 349-356.
- 7) 高橋秀実: 未病と自然炎症: 生薬成分による制御の可能性. 日本東洋医学会雑誌 2016; 67 (2) : 195-203.
- 8) 高橋秀実: HIV 感染と自然免疫. アレルギー・免疫 2016; 23 (5) : 684-690.
- 9) 高橋秀実: γ δ T 細胞と生体制御 (序). 炎症と免疫 2016; 24 (3) : 171-172.
- 10) 高橋秀実: HIV 感染と γ δ T 細胞. 炎症と免疫 2016; 24 (3) : 173-177.

学会発表

(1) 特別講演:

- 1) 高橋秀実: 邪正闘争としての疾病. KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 4.
- 2) 高橋秀実: 未病と自然炎症. KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 7.
- 3) 高橋秀実: 漢方薬の解表作用による lipid raft の解離とアレルギー・感染症の治療. 日本東洋医学会関西支部総会 (大阪), 2015. 10.
- 4) 高橋秀実: 温病学 (1). KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 11.
- 5) 高橋秀実: 最新の免疫学からみた東洋医学による治療戦略の意義. KAMPO Medical Conference (東京), 2016. 2.
- 6) 高橋秀実: 日本医科大学における東洋医学にかんする教育の現状と展望. 日本漢方教育懇話会 (第2回) (鶴見), 2016. 2.
- 7) 高橋秀実: Suppression of a tumor growing through activated CD8+ CTLs primed by administration of α -galactosylceramide (α -GalCer) in vivo. 平成 26 年度丸山ワクチン研究助成発表会 (東京), 2016. 3.

(2) 招待講演:

- 1) Kuroki-Ishida K: Most chlamydiae live in natural environments but not in humans: What kinds of features do they need to cause human disease?. 日本微生物生態学会大会 (第30回) (茨城), 2015. 10.

(3) 教育講演:

- 1) 若林あや子: 食品学の基礎. アレルギー大学 (第10期) (千葉), 2015. 6.
- 2) 若林あや子: アレルギーの食品栄養学. アレルギー大学 (千葉) ベーシックプログラム (千葉), 2015. 7.
- 3) 高橋秀実: 漢方と免疫. 日本東洋医学会関東甲信越地区春期教育講演会 (東京), 2016. 3.

(4) シンポジウム:

- 1) 高橋秀実: 低濃度パクリタキセルによる免疫抑制性樹状細胞への分化阻害. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業シンポジウム (東京), 2015. 6.
- 2) 高橋秀実: 自然免疫, 自然炎症と漢方医学. 日本小児東洋医学会総会 (第43回) (東京), 2015. 9.

(5) セミナー:

- 1) 高橋秀実: 東洋医学入門パート I, 東洋医学入門パート II. 臨床研修指導医のための漢方入門セミナー (福岡), 2015. 6.
- 2) 高橋秀実: 東洋医学入門パート I, 東洋医学入門パート II. 臨床研修指導医のための漢方入門セミナー (京都), 2015. 10.

(6) 一般講演:

- 1) Negishi Y^{1,2)}, Ichikawa T^{1,2)}, Takeshita T²⁾, Takahashi H¹⁾ (¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School): Adoptive transfer of DEC-205-positive DCs activated by α -galactosylceramide induced marked fetal loss in pregnant mice. The Annual Meeting of the American Society for Reproductive Immunology (35th) (Ontario, Canada), 2015. 6.
- 2) Kougo H^{1,2)}, Shimizu M¹⁾, Yonekawa M¹⁾, Tomita Y¹⁾, Uchida E²⁾, Takahashi H¹⁾ (¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, ²⁾ Surgery for Organ and Biomedical Regulation, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School): Suppression of tumor growing through activated CD8+ CTLs primed by administration of α -galactosylceramide. 日本免疫学会学術集会 (第44回) (札幌), 2015. 11.
- 3) Shinya E, Shimizu M, Owaki A, Matsumura J, Okura S, Mori L¹⁾, De Libero G¹⁾, Takahashi H (¹⁾ Department of Biomedicine, University of Basel): Hemopoietic cell kinase (HCK) augmented the interaction between HIV-1 Nef and p21-activated kinase 2 (PAK2) to down-regulate CD1a-restricted lipid-antigen presentation in dendritic cells. 日本免疫学会学術集会 (第44回) (札幌), 2015. 11.
- 4) Kumagai Y, Takahashi H: The interaction between HIV-1 gp120 and chemokine receptor analyzed by using multivalent V3 epitopes grafted at immunoglobulin hypervariable regions. 日本免疫学会学術集会 (第44回) (札幌), 2015. 11.
- 5) Azuma H, Koike E, Otsuka Y, Negishi Y, Takahashi H: Effect of humoral factor and E-cadherin interaction on TLR-expressions

- of Langerhans cells derived from CD34+ cord blood cell. 日本免疫学会学術集会（第44回）（札幌），2015. 11.
- 6) Otsuka Y^{1,2)}, Koike E¹⁾, Azuma H¹⁾, Mayumi N^{1,2)}, Saeki H²⁾, Takahashi H¹⁾ (1) Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, 2) Department of Dermatology, Nippon Medical School) : Effect of stimulation with TLR ligands on monocytes-derived Langerhans cells. 日本免疫学会学術集会（第44回）（札幌），2015. 11.
 - 7) Wakabayashi A, Yonekawa M, Ishii K, Murakami R, Date T, Takahashi H : HMGB-1 contributes to the enhancement of co-stimulatory molecule-expression on mucosal DCs by oral administration of cholera toxin. 日本免疫学会学術集会（第44回）（札幌），2015. 11.
 - 8) Negishi Y^{1,2)}, Ichikawa T^{1,2)}, Shimizu M¹⁾, Takeshita H¹⁾, Kuroki K¹⁾, Takeshita T²⁾, Takahashi H¹⁾ (1) Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, 2) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School) : Miscarriage of murine pregnancy induced by adoptive cell transfer of α -GalCer-activated DEC-205+ DCs. 日本免疫学会学術集会（第44回）（札幌），2015. 11.
 - 9) Takaku S, Shimizu M, Takahashi H : Japanese herbal medicine enhance tumor vaccine efficacy mediated by CD8+ T cells in a syngeneic manner. 日本免疫学会学術集会（第44回）（札幌），2015. 11.
 - 10) 根岸靖幸, 島 義雄, 西田直子, 朝倉啓文, 竹下俊行, 高橋秀実 : 後期早産の胎盤における DEC-205 陽性樹状細胞の役割. 日本産婦人科学会総会（第67回）（東京），2015. 4.
 - 11) 富田祐司¹⁾, 木全亮二¹⁾, 河原崎由里子¹⁾, 堀内和孝¹⁾, 近藤幸尋²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院, 2) 日本医科大学附属病院泌尿器科) : 当院における fTUL の治療成績. 日本泌尿器科学会総会（第103回）（金沢），2015. 4.
 - 12) 廣田 薫, 高久 俊, 小野顕人, 伊達伯欣, 石井一史, 平馬直樹, 高橋秀実 : 咽喉不利の病態 胃食道逆流症の症例から. 日本東洋医学会学術総会（第66回）（富山），2015. 6.
 - 13) 小野顕人, 近江恭子, 廣田 薫, 高久 俊, 平馬直樹, 高橋秀実 : 木防已湯ならびに五苓散の併用により心不全が改善した1例. 日本東洋医学会学術総会（第66回）（富山），2015. 6.
 - 14) 齊藤 仁, 廣田 薫, 高久 俊, 小野顕人, 平馬直樹, 高橋秀実 : 漢方薬によりステロイド, 免疫抑制剤の減量・中止が可能となった臨床的非筋炎型皮膚筋炎 CADM に合併した間質性肺炎の1例. 日本東洋医学会学術総会（第66回）（富山），2015. 6.
 - 15) 福岡豊永, 花村 碧, 飛塚峻介, 高久 俊, 平馬直樹, 高橋秀実 : がんの在宅医療における鍼灸治療の役割 第2報. 日本中医学学会学術総会（第5回）（東京），2015. 9.
 - 16) Negishi Y^{1,2)}, Shima Y³⁾, Takahashi H¹⁾, Takeshita T²⁾ (1) Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, 2) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School, 3) Department of Pediatrics, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital) : Role of DEC-205 positive dendritic cells in moderately and late preterm delivery. 日本胎盤学会総会（第23回）（東京），2015. 11.
 - 17) Negishi Y^{1,2)}, Ichikawa T^{1,2)}, Takeshita T²⁾, Takahashi H¹⁾ (1) Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, 2) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School) : Role of iNKT cells in the miscarriages of pregnant mice induced by adoptive transfer of α -GalCer-activated DEC-205+ DCs. 日本生殖免疫学会総会（第30回）（熊本），2015. 11.
 - 18) 松村次郎, 大脇敦子, 新谷英滋, 高橋秀実 : HIV-1 の指向性変化に対する APOBEC-3G の影響. 日本エイズ学会学術集会・総会（第29回）（東京），2015. 12.
 - 19) 大倉定之, Stoye J, 高橋秀実 : 細胞内抑制因子 Fv1 存在下におけるレトロウイルスゲノムの細胞内局所の解析. 日本エイズ学会学術集会・総会（第29回）（東京），2015. 12.
 - 20) 石井一史 : 急性胆嚢炎後に発症した局所性多汗症の1例. KAMPO Medical Conference（東京），2015. 12.
 - 21) Kuroki-Ishida K, Takahashi H : The approach for the determination of chlamydial proteins inhibiting the lysosomal fusion. 日本細菌学会総会（第89回）（大阪），2016. 3.

11. 衛生学公衆衛生学分野

研究概要

衛生学公衆衛生学分野では、社会医学に関連した研究テーマを選択し、実験および調査研究を行っている。研究手法はさまざまであるが、最終的には「人間」を対象とした予防医学研究につながるものである。各教員が研究を進めるには、研究資金の獲得が不可欠であり、本年度は以下の教員が、文科省科研費補助金等の外部資金を研究代表者として獲得している。・職場勤務者のメタボリック症候群関連指標とメンタルヘルスに関する総合的研究（基盤（C））（川田智之）・カーバメイト系農薬による抗癌免疫機能への影響及びその機序（基盤（C））（李卿）メタボリック症候群発症予測指標としての血中多価不飽和脂肪酸の有用性：職域疫学研究（基盤（C））（大塚俊昭）・好中球性アレルギー喘息病態における Nrf2 の役割（基盤（C））（李英姫）・サリン事件被害者の長期的な健康不安の解析（挑戦的萌芽）（勝又聖夫）・非正規雇用の健康影響に関する国際比較研究（基盤（C））（可知悠子）研究費の獲得、および学術論文の作成が各教員の使命であり、継続的に業績を積み重ねることを期待したい。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Kachi Y, Inoue M¹, Nishikitani M², Yano E¹ (1) 帝京大学, (2) 福岡女子大学) : Differences in self-rated health by employment contract and household structure among Japanese employees : a nationwide cross-sectional study. *Journal of occupational health* 2014 ; 56 (5) : 339-346.
- 2) Kawada T, Otsuka T, Inagaki H, Wakayama Y, Katsumata M : Biological markers, lifestyles and metabolic syndrome in workers. *Diabetes Metab Syndr* 2015 ; 9 (2) : 71-73.
- 3) Li Q, Kobayashi M, Kawada T : Carbamate pesticide-induced apoptosis in human T lymphocytes. *Int J Environ Res Public Health* 2015 ; 12 (4) : 3633-3645.
- 4) Otsuka T, Kachi Y, Takada H¹, Kato K, Kodani E², Ibuki C³, Kusama Y², Kawada T (1) Industrial Safety and Health Center, Canon Inc., (2) Department of Internal Medicine and Cardiology, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, (3) Cardiovascular Center, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital) : Development of a risk prediction model for incident hypertension in a working-age Japanese male population. *Hypertens Res* 2015 ; 38 (6) : 419-425.
- 5) Kawada T : Relationships between the smoking status and plasma fibrinogen, white blood cell count and serum C-reactive protein in Japanese workers. *Diabetes Metab Syndr* 2015 ; 9 (3) : 180-182.
- 6) Kachi Y, Otsuka T, Kawada T : Socioeconomic Status and Overweight : A Population-Based Cross-Sectional Study of Japanese Children and Adolescents. *Journal of epidemiology* 2015 ; 25 (7) : 463-469.
- 7) Li Q, Kobayashi M, Kawada T : Effect of carbamate pesticides on perforin, granzymes A-B-3/K, and granzysin in human natural killer cells. *Int J Immunopathol Pharmacol* 2015 ; 28 (3) : 403-410.
- 8) Kawada T : Relationship between biological markers, metabolic components, lifestyles and impaired fasting glucose in male workers. *Diabetes Metab J* 2015 ; 39 (5) : 434-438.
- 9) Ochiai H¹, Ikei H², Song C³, Kobayashi M, Miura T⁴, Kagawa T², Li Q, Kumeda S⁵, Imai M⁶, Miyazaki Y³ (1) Department of Plastic and Reconstructive Surgery, National hospital organization Tokyo Medical Center, (2) Forestry and Forest Products Research Institute, (3) Center for Environment, Health and Field Sciences, Chiba University, (4) Agematsu Town Office Industry & Tourism Department, Nagano, (5) Nagano Prefectural Kiso Hospital, (6) 10Le Verseau Inc.) : Physiological and Psychological Effects of a Forest Therapy Program on Middle-Aged Females. *Int J Environ Res Public Health* 2015 ; 12 (12) : 15222-15232.
- 10) Kawada T, Andou T¹, Fukumitsu M¹ (1) Sano City Hospital) : Waist circumference, visceral abdominal fat thickness and three components of metabolic syndrome. *Diabetes Metab Syndr* 2016 ; 10 (1) : 4-6.

(2) Editorial：

- 1) Otsuka T, Munakata R¹ (1) Cardiovascular Center, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital) : Enlargement of the brachial artery : significance of measurement. *Hypertens Res* 2015 ; 38 (7) : 459-460.

(3) 手紙：

- 1) Kawada T : C-reactive protein, depressive symptoms and incident diabetes mellitus with special emphasis on physical activity. *J Psychosom Res* 2015 ; 78 (4) : 407-407.
- 2) Kawada T : Brachial-ankle pulse wave velocity and blood pressure control in treated hypertensive patients. *Int J Cardiol* 2015 ;

184 : 611-611.

- 3) Kawada T : Air pollution and diabetes mellitus. *Diabetes Res Clin Pract* 2015 ; 108 (1) : e7-e7.
- 4) Kawada T : Prevention of atopic dermatitis by moisturizer in neonates. *J Allergy Clin Immunol* 2015 ; 135 (4) : 1088-1088.
- 5) Kawada T : Acute myocardial infarction and sleep apnea. *Int J Cardiol* 2015 ; 187 : 486-487.
- 6) Kawada T : Statins use and dementia : causality of the association. *J Intern Med* 2015 ; 277 (5) : 624-624.
- 7) Kawada T : Sleep by actigraphy in patients with remitted bipolar disorders. *Acta Psychiatr Scand* 2015 ; 131 (5) : 399-400.
- 8) Kawada T : Regarding "Subclinical carotid artery disease and plasma homocysteine levels in patients with hypertension". *J Am Soc Hypertens* 2015 ; 9 (5) : 410-411.
- 9) Kawada T : Cadmium burden and its renal effect in inhabitants in a cadmium-contaminated area. *Environ Toxicol Pharmacol* 2015 ; 39 (3) : 1276-1277.
- 10) Kawada T : Screening method major depressive disorders by questionnaire survey in patients with chronic spinal pain. *Spine J* 2015 ; 15 (6) : 1509-1510.
- 11) Kawada T : Sleep in children with atopic dermatitis. *Pediatr Allergy Immunol* 2015 ; 26 (4) : 384-385.
- 12) Kawada T : Characteristics of patients with hypersomnia by actigraphy. *Sleep Med* 2015 ; 16 (6) : 807-807.
- 13) Kawada T : GHQ-12 as a predictor of burnout with emotional exhaustion in resident doctors. *Asian J Psychiatry* 2015 ; 15 : 77-78.
- 14) Kawada T : Association between smoking and depression in patients with type 2 diabetes. *J Diabetes* 2015 ; 7 (4) : 589-589.
- 15) Kawada T : Body mass index, waist circumference, visceral adiposity, and cardio-metabolic risk profile. *Am J Cardiol* 2015 ; 116 (2) : 336-336.
- 16) Kawada T : Letter by kawada regarding article, "Carotid intima-media thickness is associated with the progression of cognitive impairment in older adults". *Stroke* 2015 ; 46 (7) : e175-e175.
- 17) Kawada T : Effect of laughing qigong on an elderly population. *Geriatr Gerontol Int* 2015 ; 15 (7) : 929-930.
- 18) Kawada T : Long sleep duration in elders without dementia increases risk of dementia mortality (NEDICES). *Neurology* 2015 ; 85 (4) : 388-388.
- 19) Kawada T : Diastolic function, fasting plasma glucose and left ventricular mass index. *Int J Cardiol* 2015 ; 193 : 58-58.
- 20) Kawada T : Augmentation index as an indicator of central arterial stiffness and indicators of carotid atherosclerosis by ultrasonography in relation to life stress. *J Psychosom Res* 2015 ; 79 (2) : 171-171.
- 21) Kawada T : Types of bariatric surgery and fat reduction by ultrasound evaluation. *Obes Surg* 2015 ; 25 (8) : 1498-1498.
- 22) Kawada T : Blood homocysteine level in patients with oral lichen planus. *J Formos Med Assoc* 2015 ; 114 (8) : 789-789.
- 23) Kawada T : Diabetes mellitus and cognitive resilience. *JAMA Neurol* 2015 ; 72 (8) : 949-949.
- 24) Kawada T : Sleep parameters by actigraphy and relationship between plasma melatonin and intestinal permeability in alcoholics. *Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol* 2015 ; 309 (4) : G279-G279.
- 25) Kawada T : Job stress and the metabolic syndrome with special reference to sex and age. *Int J Cardiol* 2015 ; 194 : 63-64.
- 26) Kawada T : Sleep characteristics of children with Williams syndrome in relation to saliva melatonin and cortisol. *Sleep Med* 2015 ; 16 (9) : 1176-1176.
- 27) Kawada T : Sleep problems in patients with traumatic brain injury by actigraphy. *Arch Phys Med Rehabil* 2015 ; 96 (9) : 1741-1742.
- 28) Kawada T : Daytime total sleep time relates to the association between acute traumatic brain injury and cognitive function recovery. *Int J Nurs Studies* 2015 ; 52 (10) : 1653-1654.
- 29) Kawada T : Effect of temporary and unemployed work on the risk of mortality. *Int Arch Occup Environ Health* 2015 ; 88 (7) : 993-994.
- 30) Kawada T : Liver fat, visceral fat and metabolic syndrome in patients with severe obesity. *Int J Surgery* 2015 ; 22 : 153-153.
- 31) Kawada T : Sleep apnea, depression and sleep problems : inter-relationship in patients with severe obstructive sleep apnea. *Lung* 2015 ; 193 (5) : 865-865.
- 32) Kawada T : Egg consumption and incident type 2 diabetes : are there any advantage of excessive consumption of egg?. *Am J Clin Nutr* 2015 ; 102 (4) : 974-974.
- 33) Kawada T : Comment on "Atypical Epidemiologic Finding in Association between Depression and Alcohol Use or Smoking in Korean Male : Korean Longitudinal Study of Aging". *Psychiatry Invest* 2015 ; 12 (4) : 573-574.
- 34) Kawada T : Metabolic syndrome, depression, anxiety and mortality. *Int J Cardiol* 2015 ; 198 : 40-41.
- 35) Kawada T : Survival analysis in patients with ischemic stroke. *J Thromb Thrombolysis* 2015 ; 40 (4) : 520-520.

- 36) Kawada T : Cardiometabolic risk prediction by job stress and sleep deficiency. *Am J Ind Med* 2015 ; 58 (11) : 1229-1229.
- 37) Kawada T : Obstructive sleep apnea and coronary artery calcium with special emphasis on obesity. *Am J Cardiol* 2015 ; 116 (10) : 1647-1648.
- 38) Kawada T : Comment on Anjana et al. Incidence of Diabetes and Prediabetes and Predictors of Progression Among Asian Indians : 10-Year Follow-up of the Chennai Urban Rural Epidemiology Study (CURES). *Diabetes Care* 2015 ; 38 : 1441-1448. *Diabetes Care* 2015 ; 38 (12) : e211-e211.
- 39) Kawada T : Letter : Prevalence of depression and glucose abnormality in an urbanizing rural population of Bangladesh (*Diabetes Metab J* 2015 ; 39 : 218-29). *Diabetes Metab J* 2015 ; 39 (6) : 528-529.
- 40) Kawada T : Relationship between serum pigment epithelium-derived factor and serum dipeptidyl peptidase-4. *Int J Cardiol* 2016 ; 202 : 741-742.
- 41) Kawada T : Risk of major cardiovascular events in patients with hemodialysis or peritoneal dialysis with special reference to stroke. *Int J Cardiol* 2016 ; 202 : 941-941.
- 42) Kawada T : Galectin-3 and Kawasaki disease patients with special reference to coronary artery aneurysm. *Int J Cardiol* 2016 ; 203 : 806-806.
- 43) Kawada T : Sleep evaluation by actigraphy. *J Gerontol B Social Science* 2016 ; 71 (1) : 115-116.
- 44) Kawada T : Depression and mortality in patients with acute coronary syndrome. *Am J Med* 2016 ; 129 (1) : e13-e13.
- 45) Kawada T : Total and high molecular weight adiponectin are associated with incident atrial fibrillation. *Heart* 2016 ; 102 (3) : 254-254.
- 46) Kawada T : Anxiety and depression in female patients with type 2 diabetes. *Am J Public Health* 2016 ; 106 (2) : e1-e1.
- 47) Kawada T : Type 2 diabetes and amyotrophic lateral sclerosis. *Eur J Neurol* 2016 ; 23 (2) : e9-e9.
- 48) Kawada T : Smoking and risk of cardiovascular disease in patients with type 2 diabetes. *Clin Exp Pharmacol Physiol* 2016 ; 43 (2) : 280-280.
- 49) Kawada T : Combined effect of proton-pump inhibitors and other drugs with regard to lower gastrointestinal tract bleeding with special reference to low-dose aspirin. *J Gastroenterol* 2016 ; 51 (2) : 173-173.
- 50) Kawada T : In-hospital outcomes in patients with peripheral arterial disease : comparison of two treatments. *Am J Cardiol* 2016 ; 117 (4) : 701-701.
- 51) Kawada T : Ultrasound assessment of abdominal visceral adipose tissue for cardiovascular risk. *J Clin Endocrinol Metab* 2016 ; 101 (2) : L11-L12.
- 52) Kawada T : The effect of tolvaptan on kidney function in patients with autosomal dominant polycystic kidney disease. *Clin Exp Nephrol* 2016 ; 20 (1) : 147-148.
- 53) Kawada T : Cross-sectional and longitudinal study on the association between serum uric acid and metabolic syndrome. *Clin Chim Acta* 2016 ; 455 : 201-201.
- 54) Kawada T : Framingham risk score of metabolically unhealthy obese individuals defined by insulin resistance and metabolic components. *Nutrition* 2016 ; 32 (3) : 398-398.
- 55) Kawada T : Hemostatic/fibrinolytic markers and cardiovascular risk factors in schoolchildren. *Blood Coagul Fibrinolysis* 2016 ; 27 (2) : 233-233.
- 56) Kawada T : Comment on : Haroon et al. Risk of Dementia in Seniors With Newly Diagnosed Diabetes : A Population-Based Study. *Diabetes Care* 2015 ; 38 : 1868-1875. *Diabetes Care* 2016 ; 39 (3) : e48-e48.
- 57) Kawada T : Obstructive sleep apnea, sleep duration and fasting glucose. *Am J Respir Crit Care Med* 2016 ; 193 (5) : 579-580.
- 58) Kawada T : Serum high-sensitivity cardiac troponin T and coronary artery calcification. *J Cardiovasc Comput Tomogr* 2016 ; 10 (2) : e1-e1.
- 59) Kawada T : Serum high-sensitivity C-reactive protein in patients with obstructive sleep apnea syndrome with special reference to metabolic syndrome. *Sleep Breath* 2016 ; 20 (1) : 383-384.
- 60) Kawada T : Serum gamma glutamyl transferase in patients with sleep apnea-hypopnea. *Sleep Breath* 2016 ; 20 (1) : 243-243.
- 61) Kawada T : Comment on : "Job-related burnout and the relationship to quality of life among Chinese medical college staff" by Yao et al. *Arch Environ Occup Health* 2016 ; 71 (2) : 57-57.

(4) 連載 :

- 1) 可知悠子 : 健康から考える 非正規雇用の課題と対策 (第9回) 非正規雇用労働者の健康を守るために : 連載を振り返る. *産業衛生学雑誌* 2016 ; 58 (2) : 84-86.

著書

- 1) Li Y, Umezawa M¹⁾, Takizawa H²⁾, Takeda K¹⁾, Kawada T (¹⁾ The Center for Environmental Health Science for the Next Generation, Tokyo University of Science, Japan, ²⁾ Department of Respiratory Medicine, Kyorin University Hospital, Japan) : [編集] PM2.5 : Role of Oxidative Stress in Health Effects and Prevention Strategy. PM2.5 : Role of Oxidative Stress in Health Effects and Prevention Strategy, 2015 ; pp1-257, Nova Science Publishers, Inc. Hauppauge.
- 2) Li Y, Takizawa H¹⁾, Azuma A²⁾, Kawada T (¹⁾ Department of Respiratory Medicine, Kyorin University Hospital, Japan, ²⁾ Department of Pulmonary Medicine/Infection and Oncology, Nippon Medical School, Japan) : [分担] Antioxidant Interventions as Potential Protective Strategies for Populations Susceptible to Diesel Exhaust Particles. PM2.5 : Role of Oxidative Stress in Health Effects and Prevention Strategy, 2015 ; pp211-225, Nova Science Publishers, Inc. Hauppauge.
- 3) 若山葉子, 武藤三千代¹⁾, 川田智之 (¹⁾ 日本医科大学スポーツ科学) : [分担] 高齢者の血圧・血液生化学値の検討 : 年齢別・肥満の有無別による検討. 高齢者における健康維持増進のための総合的追及研究 (神奈川県立保健福祉大学「健康調査グループ」), 2016 ; pp3-6, アシスト.

学会発表

(1) 招待講演 :

- 1) Li Q : Forest Medicine : Effects of forest environment on human health. 2nd annual meeting of World Outstanding Medical Doctors Association (Beijing, China), 2016. 1.
- 2) Li Q : Forest Medicine : Effects of forest environment on human health. The international symposium on multidisciplinary approach of forest healing (Chungbuk National University, Republic of Korea), 2016. 1.
- 3) 可知悠子 : 非正規雇用と健康 非正規雇用に関連する法制度の動向. 日本医学会総会 (第 29 回) (京都), 2015. 4.
- 4) 可知悠子 : ライフステージに応じた多様な働き方と健康. 日本公衆衛生学会総会 (第 74 回) (長崎), 2015. 11.

(2) シンポジウム :

- 1) 大塚俊昭, 菅 裕彦¹⁾, 齋藤郁夫²⁾ (¹⁾ キャノン株式会社矢向事業所 健康支援室, ²⁾ 慶應義塾大学) : 家庭血圧遠隔モニタリングシステムによる職場血圧の評価 : 職場での使用経験および初期使用成績 (シンポジウム 7 : Telemedicine を用いた血圧モニタリングの可能性と未来を探る). 日本高血圧学会総会 (第 38 回) (松山), 2015. 10.
- 2) 大塚俊昭 : 疫学からみた肺癌の病因 : 喫煙を中心に (メディカルスタッフシンポジウム -1 : 肺癌は社会にとってどれ程の問題なのか, どうしたら防げるのか?). 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (横浜), 2015. 11.

(3) 一般講演 :

- 1) 大塚俊昭, 宗像 亮¹⁾, 小谷英太郎²⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 循環器センター, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院 内科・循環器科) : オシロメトリック法による上腕動脈断面積および volume elastic modulus 測定の臨床的意義. 脈波解析研究会 (第 57 回) (東京), 2015. 6.
- 2) 可知悠子, 若山葉子 : 臨床医を対象とした臨床研究教育の実践と課題 : 日本医科大学での事例. 日本医学教育学会 (第 47 回) (新潟), 2015. 7.
- 3) Li Q, Kobayashi M, Kawada T : Effects of carbamate pesticides on human natural killers and T lymphocytes. 51th Congress of the European Societies of Toxicology (Porto, Portugal), 2015. 9.
- 4) Li Y, Shimizu T, Hirata Y, Inagaki H, Takizawa T¹⁾, Azuma A²⁾, Yamamoto M³⁾, Kawada T (¹⁾ Department of Respiratory Medicine, Kyorin University Hospital, Tokyo, Japan, ²⁾ Department of Pulmonary Medicine/Infection and Oncology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ³⁾ Department of Biochemistry, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan) : Role of Nrf2 in the allergic airway inflammation differ between BALB/c and C57BL/6 mice. XXIV World Allergy Congress (WAC) (Seoul, Korea), 2015. 10.
- 5) 若山葉子, 川田智之, 武藤三千代¹⁾, 渡部鎌二²⁾ (¹⁾ 日本医科大学スポーツ科学, ²⁾ 神奈川県立保健福祉大学人間総合) : ラジオ体操の実施効果に関する調査研究 : 形態・生理機能と生活活動力. 日本民族衛生学会総会 (第 80 回) (弘前市), 2015. 11.
- 6) Li Q, Kobayashi M, Kumeda S¹⁾, Ochiai H²⁾, Ochiai T³⁾, Miura T⁴⁾, Kagawa T⁵⁾, Imai M⁶⁾, Otsuka T, Kawada T (¹⁾ Nagano Prefectural Kiso Hospital, ²⁾ Department of Plastic and Reconstructive Surgery, National hospital organization Tokyo Medical Center, ³⁾ Forest Baubiologie Studio Inc., ⁴⁾ Agematsu Town Office Industry & Tourism Department, Nagano, ⁵⁾ Forestry and Forest Products Research Institute, ⁶⁾ Le Verseau Inc.) : Effects of Forest Bathing on Cardiovascular and Metabolic Parameters in Middle-Aged Males. 18th International Conference on Modern Medicine and Alternative Medicine (Zurich, CH Switzerland), 2016. 1.
- 7) Li Q, Kobayashi M, Kawada T : Effect of carbamate pesticides on human natural killer activity. The Society of Toxicology 55th Annual Meeting (New Orleans, Louisiana), 2016. 3.

- 8) Saiki Y, Otsuka T, Kato K¹⁾, Kodani E²⁾ (1) Cardiovascular Center, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 2) Department of Internal Medicine and Cardiology, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital) : Impact of Smoking Cessation and Subsequent Body Weight Gain on Cardiometabolic Risk Factors in a Middle-aged Male Population. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2016. 3.
- 9) 李 卿, 川田智之: カーバメイト系農薬によるヒトNK細胞内 Perforin, Granzymes A-B-3/K及び Granulysin への影響. 第88回日本産業衛生学会総会 (大阪), 2015. 5.
- 10) 大塚俊昭, 高田洋孝¹⁾, 可知悠子, 川田智之 (1) キヤノン株式会社 安全衛生部健康支援室: 職域における将来の高血圧進展リスク予測モデル作成の試み. 日本産業衛生学会 (第88回) (大阪), 2015. 5.
- 11) 大塚俊昭, 小谷英太郎¹⁾, 加藤活人, 西城由之, 齋藤郁夫²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院 内科・循環器内科, 2) 慶應義塾大学): 家庭血圧遠隔モニタリングシステム (OMRON MedicalLINK) による職場血圧測定を試み. 臨床高血圧フォーラム (第4回) (福岡), 2015. 5.
- 12) 久我咲子¹⁾, 可知悠子, 井上真智子²⁾, 大塚俊昭, 加藤活人, 西城由之, 川田智之 (1) 上智大学総合人間科学部・看護学科, 2) 浜松医科大学地域家庭医療学講座): 医師の性質及び医師・患者関係と shared decision making との関連: 都内10区2市の診療所内科医に対する郵送調査. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (第6回) (茨城), 2015. 6.
- 13) 井上真智子, 可知悠子: 低所得者の窓口負担は現状より下げるべきか?: 一般診療所医師の考えに関する質的研究. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (第6回) (茨城), 2015. 6.
- 14) 若山葉子, 川田智之, 武藤三千代¹⁾, 渡部月子²⁾, 渡部鎌二³⁾ (1) 日本医科大学スポーツ科学, 2) 神奈川県立保健福祉大学人間総合, 3) 神奈川県立保健福祉大学看護学部): 中高年を対象とした「運動教室」参加者の健康調査成績: 2003~2014年の推移. 日本公衆衛生学会総会 (第74回) (長崎市), 2015. 10.
- 15) 武藤三千代¹⁾, 渡部鎌二²⁾, 渡部月子³⁾, 若山葉子 (1) 日本医科大学スポーツ科学, 2) 神奈川県立保健福祉大学人間総合, 3) 神奈川県立保健福祉大学看護学部): 高齢者における新体力テストとADL調査の実際. 日本公衆衛生学会総会 (第74回) (長崎市), 2015. 10.
- 16) 安藤絵美子¹⁾, 可知悠子, 川上憲人¹⁾, 福田吉治²⁾, 川田智之 (1) 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻, 2) 帝京大学大学院公衆衛生学研究科): 非正規雇用と循環器疾患リスク因子との関連: 国民生活基礎調査と国民健康・栄養調査. 日本公衆衛生学会総会 (第74回) (長崎), 2015. 11.
- 17) 平田幸代, 稲垣弘文, 清水孝子, 川田智之: ラット末梢血単核球におけるグランザイム3の発現. 日本分子生物学会年会 (第38回), 日本生化学会大会 (第88回) 合同大会 (神戸), 2015. 12.
- 18) 稲垣弘文, 平田幸代, 清水孝子, 川田智之: ヒト末梢血単核球によるグランザイム3産生へのBrefeldin Aの影響. 日本分子生物学会年会 (第38回), 日本生化学会大会 (第88回) 合同大会 (神戸), 2015. 12.
- 19) 平田紀美子, 勝又聖夫, 稲垣弘文, 川田智之: 高速液体クロマトグラフィー (HPLC) 法による唾液分析時の唾液保存条件の検討: 2. 日本薬学会 (第136年会) (横浜市), 2016. 3.
- 20) 平田幸代, 稲垣弘文, 川田智之: ラットグランザイム3の発現と基質特異性の解析. 日本薬学会 (第136年会) (横浜), 2016. 3.
- (4) Young Investigator's Award 最終選考:
- 1) 西城由之, 大塚俊昭, 加藤活人¹⁾, 小谷英太郎²⁾, 川田智之 (1) 日本医科大学千葉北総病院 循環器センター, 2) 日本医科大学多摩永山病院 内科・循環器内科): 禁煙は高血圧発症リスクを上昇させるか?: 禁煙にともなう体重変動を考慮した職域コホート研究. 日本循環器病予防学会学術集会 (第51回) (大阪), 2015. 6.
- (5) 高得点演題:
- 1) 西城由之, 大塚俊昭, 加藤活人¹⁾, 小谷英太郎²⁾, 川田智之 (1) 日本医科大学千葉北総病院 循環器センター, 2) 日本医科大学多摩永山病院 内科・循環器内科): 健常集団における継続喫煙及び禁煙による高血圧発症リスク: 体重変化の影響を考慮した検討. 日本高血圧学会総会 (第38回) (松山), 2015. 10.

論文

[追加分]

追加分原著:

- 1) Kachi Y, Otsuka T, Kawada T: Precarious employment and the risk of serious psychological distress: a population-based cohort study in Japan. Scandinavian journal of work, environment & health 2014; 40 (5): 465-472.

追加分レポート:

- 1) 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会¹⁾, 可知悠子, その他15名 (1) 日本公衆衛生学会): 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会報告 非正規雇用と健康 現状分析と今後のモニタリングおよび対策の方向性. 日本公衆衛生雑誌 2014; 61 (8): 396-405.

追加分手紙：

- 1) Kawada T : Sleep-onset time by actigraphy in patients with Parkinson disease. Sleep Med 2015 ; 16 (5) : 668-668.

追加分連載：

- 1) 福田吉治¹⁾, 可知悠子, 安藤絵美子²⁾ (¹⁾ 山口大学医学部地域医療推進学, ²⁾ 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻精神保健学分野 博士後期課程) : 健康から考える 非正規雇用の課題と対策 (第1回) 非正規雇用をめぐる健康課題 連載にあたって. 産業衛生学雑誌 2014 ; 56 (6) : 286-288.
- 2) 可知悠子 : 健康から考える 非正規雇用の課題と対策 (第2回) 非正規雇用に関連する法制度の動向 労働契約法. 産業衛生学雑誌 2015 ; 57 (1) : 26-28.
- 3) 可知悠子 : 健康から考える 非正規雇用の課題と対策 (第3回) 非正規雇用に関連する法制度の動向 労働者派遣法. 産業衛生学雑誌 2015 ; 57 (2) : 45-47.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) 可知悠子, 大塚俊昭, 川田智之 : 非正規雇用が心理的ストレス反応に及ぼす影響 : 全国規模のコホート研究. 日本産業衛生学会 (第87回) (岡山), 2014. 5.
- 2) 可知悠子, 大塚俊昭, 川田智之 : 親の社会経済的地位と子どもの肥満との関連 平成22年国民生活基礎調査, 国民健康・栄養調査より. 日本循環器病予防学会 (第50回) (京都), 2014. 7.

追加分招待講演：

- 1) 可知悠子 : 医学生に対する公衆衛生学・衛生学教育のあり方. 日本衛生学会学術総会 (第85回) (和歌山), 2015. 3.

12. 法医学分野

研究概要

1. 法医中毒学・臨床中毒学：急性薬毒物中毒の疑われる救急患者や法医鑑定の前検資料に対して、GC/MS, LC/MS, LC/MS/MS等を用いた薬毒物分析システムを運用し、多くの成果を挙げている。質量分析計を用いて前検資料に含まれる睡眠薬の新規代謝物を探索し、別途化学合成した標準品とデータを比較することで、その存在を明らかにした。質量分析機器を用いた最新技法(LC-TOF, QTOF)を用いた薬毒物および代謝物の微量分析法の開発にも取り組んでいる。2. アルコール(Alc)の代謝とその細胞および生体に及ぼす影響を研究：Alc脱水素酵素(ADH1・ADH3)のAlc代謝における役割を遺伝子、蛋白質、細胞、動物個体の各レベルで検討し、Alc感受性およびAlc関連障害の個体差およびその機序を研究している。またAlcの心臓への影響を、培養心筋細胞を用いて、蛋白質と遺伝子の発現レベルで解析している。3. NMRおよびMRIを用いた研究：共同研究センター磁気共鳴分析施設のNMR装置や他施設のMRI装置を用いて、NMR技術を用いた死体髄液からの頭蓋内傷病変の診断法の新規開発に関する研究、筑波前検センターと共同で死後画像診断、MR組織学に関する基礎研究、形成外科学と共同で美容医療材料と美容医療後遺症との関連に関する研究を行っている。さらに京都大学との共同研究の成果物であるNMRデータ解析技術を用いて、救急医学、神経内科学、小児医学および京都大学附属病院各科と新しい診断技術に関する共同研究を進めている。4. 法医実務の研究：2003年6月より千葉県警の司法解剖を受託している(日本大学医学部法医解剖室を借用)ので、前検例にかかわる具体的問題を病理組織学的検討を含めて研究している。またそれ以外の刑事・民事事件についても依頼があれば積極的に対応している。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Uekusa K¹⁾, Hayashida M¹⁾, Ohno Y¹⁾ (1) Department of Legal Medicine, Nippon Medical School) : Forensic toxicological analyses of drugs in tissues in formalin solutions and in fixatives. *Forensic Science International* 2015 ; 249 : 165-172.
- 2) Okuda T^{1,2)}, Takanari H⁴⁾, Shiotani S⁵⁾, Hayakawa H³⁾, Ohno Y²⁾, Fowler D¹⁾ (1) Office of the Chief Medical Examiner, State of Maryland, 2) Department of Legal Medicine, Nippon Medical School, 3) Tsukuba Medical Examiner's Office, 4) Department of Pathophysiology, Oita University School of Medicine, 5) Department of Radiology, Tsukuba Medical Center) : Pericardial tear as a consequence of cardiopulmonary resuscitation (CPR) involving chest compression : A report of two postmortem cases of acute type A aortic dissection with hemopericardium. *Legal Medicine* 2015 ; 17 (3) : 201-204.
- 3) Goto M^{1,2)}, Kitamura H¹⁾, Alam M¹⁾, Haseba T³⁾, Akimoto T⁴⁾, Shimizu A⁵⁾, Yamamoto T²⁾, Yamamoto M⁶⁾, Motohashi H¹⁾ (1) Department of Gene Expression Regulation, Institute of Development, Aging and Cancer, Tohoku University, 2) Department of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics, Graduate School of Dentistry, Tohoku University, 3) Department of Legal Medicine, Nippon Medical School, 4) Division of Laboratory Animal Science, Nippon Medical School, 5) Environmental Engineering Symbiosis, Soka University, 6) Department of Medical Biochemistry, Graduate School of Medicine, Tohoku University) : Alcohol Dehydrogenase 3 Cooperates with Keap1-Nrf2 System for Protection of Mouse Liver from Nonalcoholic Steatohepatitis. *Genes to Cells* 2015 ; 20 (6) : 464-480.
- 4) Okuda T^{1,2)}, Wang Z³⁾, Lapan S¹⁾, Fowler D¹⁾ (1) Office of the Chief Medical Examiner, State of Maryland, 2) Department of Legal Medicine, Nippon Medical School, 3) Department of Pathology, Staten Island University Hospital) : Bathtub drowning : An 11-year retrospective study in the state of Maryland. *Forensic Science International* 2015 ; 253 : 64-70.
- 5) Mashimo K¹⁾, Arthur PG²⁾, Ohno Y¹⁾ (1) Department of Legal Medicine, Nippon Medical School, 2) School of Biomedical, Biomolecular and Chemical Sciences, Faculty of Life and Physical Sciences, University of Western Australia) : Ethanol Dose- and Time-dependently Increases α and β Subunits of Mitochondrial ATP Synthase of Cultured Neonatal Rat Cardiomyocytes. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (5) : 237-245.
- 6) Yamaguchi K¹⁾, Goda T²⁾, Yamaki S²⁾, Ohno Y¹⁾ (1) Department of Legal Medicine, Nippon Medical School, 2) Shimadzu Corporation Global Application Development Center) : Structural analysis of quazepam metabolites in bile by ion trap time-of-flight mass spectrometry. *Forensic Science International* 2015 ; 256 : 7-16.
- 7) 田邊 綾¹⁾, 富田ゆかり²⁾, 崔 范来²⁾, 奥田貴久²⁾, 金涌佳雅²⁾, 大野曜吉²⁾ (1) 日本医科大学医学部第4学年, 2) 日本医科大学法医学) : 生活保護者宿泊施設での食道癌による衰弱死の1例. *法医学の実際と研究* 2015 ; 58 : 125-131.

(2) 総説：

- 1) 須崎紳一郎¹⁾, 林田眞喜子²⁾ (1) 武蔵野赤十字病院救命救急センター, 2) 日本医科大学法医学) : 違法薬物(麻薬・覚醒剤・危険ドラッグ

グ) 規制と警察対応について. 救急医学 2015 ; 39 (7) : 835-840.

(3) 症例報告 :

- 1) Kanawaku Y¹⁾, Takahashi S²⁾, Kanetake J³⁾, Funayama M²⁾ (¹⁾ Department of Legal Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Division of Forensic Medicine, Department of Public Health and Forensic Medicine, Tohoku University School of Medicine, ³⁾ Division of Forensic Medicine, National Defense Medical College) : An Autopsy Case of a Pregnant Woman With Severe Placental and Fetal Damage From Domestic Violence. Am J Forensic Med Pathol 2015 ; 36 (3) : 125-126.
- 2) Okuda T^{1,2)}, Shiotani S³⁾, Kobayashi T⁴⁾, Hayakawa H^{1,2)}, Ohno Y¹⁾ (¹⁾ Department of Legal Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Tsukuba Medical Examiner's Office, ³⁾ Department of Radiology, Seirei Fuji Hospital, ⁴⁾ Department of Radiological Technology, Tsukuba Medical Center) : Possibility of visualization of gastrothorax based on unenhanced postmortem computed tomography/PMCT. Legal Medicine 2015 ; 17 (6) : 521-524.

(4) Correspondence :

- 1) Okuda T¹⁾, Takanari H²⁾, Shiotani S³⁾ (¹⁾ Department of Legal Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Pathophysiology, Oita University School of Medicine, ³⁾ Department of Radiology, Seirei Fuji Hospital) : A systematic review and pooled analysis of CPR-associated cardiovascular and thoracic injuries. Resuscitation 2015 ; 97 : e3.

学会発表

(1) 海外留学生講演 :

- 1) 奥田貴久 : 北米の死因究明制度と死亡時画像診断. 第 83 回日本医科大学医学会総会 (日本医科大学橋桜会館), 2015. 9.

(2) 一般講演 :

- 1) Haseba T¹⁾, Maruyama M²⁾, Akimoto T²⁾, Ohno Y¹⁾ (¹⁾ Department of Legal Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Division of Laboratory Animal Science, Nippon Medical School) : Class I Alcohol dehydrogenase (ADH1) is indispensable for continuous alcohol drinking (CAD) to develop alcoholism. 第 15 回ヨーロッパアルコール生物医学会 (15th ESBRA Congress) (バレンシア (スペイン)), 2015. 9.
- 2) 奥田貴久^{1,2)}, 大野曜吉¹⁾, 野口トーマス^{1,3)}, Fowler D²⁾ (¹⁾ 日本医科大学法医学, ²⁾ Office of the Chief Medical Examiner in the State of Maryland, ³⁾ Department of Forensic Pathology and Surgery, The Keck School of Medicine of the University of Southern California) : 入浴中の溺死の解剖所見に関する統計学的考察. 第 99 次日本法医学会学術全国集会 (高知 (高知)), 2015. 6.
- 3) 金浦佳雅^{1,2)}, 平川慶子²⁾, 小池 薫³⁾, 原田一樹¹⁾, 大野曜吉²⁾, 金武 潤¹⁾ (¹⁾ 防衛医科大学校法医学, ²⁾ 日本医科大学法医学, ³⁾ 京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野) : ペンテトラゾール単回投与けいれん誘発ラットの死体髄液の NMR スペクトル解析. 第 99 次日本法医学会学術全国集会 (高知 (高知)), 2015. 6.
- 4) 山口晃志¹⁾, 勝又美穂²⁾, 大野曜吉¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学法医学, ²⁾ 日本医科大学第 4 学年) : 剖検で得られた胆汁及び尿に含まれるゾルピデム代謝物の分析. 日本法中毒学会 34 年会 (福岡 (福岡)), 2015. 6.
- 5) 真下啓子¹⁾, Arthur PG²⁾, 大野曜吉¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学法医学, ²⁾ Biochemistry & Molecular Biology, The University of Western Australia) : 培養心筋細胞の ATP 合成酵素サブユニットタンパク質のエタノール曝露による濃度依存的および時間依存的増加. 平成 27 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 (神戸 (兵庫)), 2015. 10.
- 6) 金浦佳雅¹⁾, 大野曜吉¹⁾, 金武 潤²⁾ (¹⁾ 日本医科大学法医学, ²⁾ 防衛医科大学校法医学) : 膀胱内に血腫を伴った腹膜外膀胱破裂により死亡した一剖検例. 第 84 回日本法医学会学術関東地方集会 (東京 (東京)), 2015. 10.
- 7) 奥田貴久^{1,2)}, 早川秀幸^{1,2)}, 塩谷清司^{2,3)}, 大野曜吉¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学法医学, ²⁾ 筑波剖検センター, ³⁾ 聖隷富士病院放射線科) : Tension gastrothorax (緊張性胃胸) の 1 例. 第 84 回日本法医学会学術関東地方集会 (東京 (東京)), 2015. 10.
- 8) 長谷場健^{1,2)}, 丸山基世³⁾, 秋元敏夫³⁾ (¹⁾ 日本医科大学法医学, ²⁾ 神奈川歯科大社会歯科学, ³⁾ 日本医科大学実験動物管理室) : 慢性アルコール摂取によるアルコール代謝亢進に寄与する Non-ADH1 Pathway の正体. 第 35 回アルコール医学生物学研究会学術集会 (東京 (東京)), 2016. 1.

論文

[追加分]

追加分原著 :

- 1) 大嶋俊二¹⁾, 福田和郎¹⁾, 阿部裕子²⁾, 長谷場健³⁾, 大野曜吉³⁾ (¹⁾ アサヒグループホールディングス (株) イノベーション研究所, ²⁾ アサヒグループホールディングス (株) 酒類開発研究, ³⁾ 日本医科大学法医学) : 飲酒後のアルコール代謝動態と生理的変動に関するデータベース (第 2 報) : ALDH2*1/*1 型の男性がビールあるいは焼酎を食事の有無で適量飲酒した場合. アルコールと医学生物学 2014 ; 33 : 1-11.

13. 医療管理学分野

研究概要

27年度の研究活動は以下のとおりである。①病院の人的体制および急性期治療機能などの病院機能に関して、日本と他の経済協力開発機構加盟国との比較研究を行った。②高齢社会の医療システムに関して、在宅医療と尊厳生に関する研究を行った。

研究業績

論文

(1) 総説：

- 1) 伊藤憲祐^{1,2)}, 矢澤 聡^{1,3)}, 秋山健一¹⁾, 本田 徹^{1,2)} (1) あやめ診療所, 2) NPO 法人シェア = 国際保健協力市民の会, 3) 慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室) : 尊厳生 (そんげんせい) : 住み慣れた地域・自宅で最期まで自分らしく老いることができる社会を創造するために, 日医大医会誌 2015 ; 11 (2) : 120-124.

14. 基礎医学共同研究利用施設

[実験動物管理室]

研究概要

遺伝性疾患モデル動物の開発、病態解析および原因遺伝子の同定によって疾患の解明・医学研究への貢献を目指して研究を進めている。非肥満2型糖尿病モデル動物であるWBN/KobラットにZucker fatty rat由来の遺伝子を導入したWBN/Kob-fattyコンジェニックラットは実験動物管理室で作成した肥満2型糖尿病モデル動物で、膵臓における炎症関連の遺伝子発現、および糖尿病性合併症モデルとして有用である。このラットに糖尿病に起因するAGEs(終末糖化産物)の生成を阻害する南蛮毛を投与して糖尿病性腎症の抑制効果について調べた。また、WBN/Ilaラットに貧毛遺伝子Htを導入したヘアレスラット(WBN/Ila-Htラット)はアトピー性皮膚炎のモデルで、このラットは皮膚炎発症および被毛の病態だけでなく、2次性胆汁性肝硬変モデル作成のための胆管結紮切除手術に起因する出血への抵抗性が明らかとなったことから、遺伝的要因との関連について調べている。また、WBN/Ila-Htラットの原因遺伝子産物であるTRPV3は、カプサイシン受容体であるTRPV1に代表される温度感覚や痛覚において重要な役割を担っているTransient receptor potential (TRP)チャネルに属するが、33℃以上の温度刺激やオレガノ等の様々な天然物によって活性化されるTRPV3の役割はあまり明らかになっていない。このTRPV3の詳細な生理学的機能の解析を行っている。

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Goto M¹⁾, Kitamura H¹⁾, Alam-Md M¹⁾, Ota N¹⁾, Haseba T³⁾, Akimoto T⁴⁾, Shimizu A⁵⁾, Takano-Yamamoto T²⁾, Yamamoto M⁶⁾, Motohashi H¹⁾ (1) Department of Gene Expression Regulation, Institute of Development, Aging and Cancer, Tohoku University, (2) Department of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics, Graduate School of Dentistry, Tohoku University, (3) Department of Legal Medicine, Nippon Medical School, (4) Division of Laboratory Animal Science, Nippon Medical School, (5) Department of Environmental Engineering for Symbiosis, Faculty of Engineering, Soka University, (6) Department of Medical Biochemistry, Graduate School of Medicine, Tohoku University) : Alcohol dehydrogenase 3 contributes to the protection of liver from nonalcoholic steatohepatitis. *Genes to Cells* 2015 ; 20 (6) : 464-480.

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) 長谷場健¹⁾, 丸山基世, 秋元敏雄, 大野曜吉¹⁾ (1) 日本医科大学 医学部 法医学) : Class I alcohol dehydrogenase (ADH1) is indispensable for continuous alcohol drinking (CAD) to develop alcoholism. *ESBRA CONGRESS (Conference for the European Society for Biomedical Research on Alcoholism) (15th)*, 2015. 9.
- 2) 坂井 敦¹⁾, 三宅紀子²⁾, 丸山基世, 三宅弘一²⁾, 島田 隆²⁾, 岡田尚巳²⁾, 鈴木秀典¹⁾ (1) 日本医科大学 医学部 薬理学, (2) 日本医科大学 医学部 分子遺伝学) : Functional analysis of miR-17-92 cluster in chronic pain and neurite outgrowth following nerve injury. *日本分子生物学会年会 (第38回)・日本生化学会 (第88回) 合同大会 (神戸)*, 2015. 12.
- 3) 坂井 敦¹⁾, 三宅紀子²⁾, 丸山基世, 三宅弘一²⁾, 島田 隆²⁾, 岡田尚巳²⁾, 鈴木秀典¹⁾ (1) 日本医科大学 医学部 薬理学, (2) 日本医科大学 医学部 分子遺伝学) : miR-17-92 cluster modulates neuropathic pain and neurite outgrowth. *日本薬理学会年会 (第89回) (名古屋)*, 2016. 3.
- 4) 丸山基世, 坂井 敦¹⁾, 鈴木秀典¹⁾, 秋元敏雄 (1) 日本医科大学 医学部 薬理学) : 機能獲得型変異ラットの解析によるTRPV3の痛覚への関与の検討. *日本実験動物学会総会 (第62回) (京都)*, 2015. 5.
- 5) 藤澤正彦¹⁾, 菅原 道¹⁾, 荒井香南¹⁾, 大坂優衣¹⁾, 丸山基世, 袴田陽二¹⁾ (1) 日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医保健看護学科 生体機能学分野) : NSAIDs 誘発性マウス小腸潰瘍に対する5HT-4受容体作動薬の効果について. *日本実験動物学会総会 (第62回) (京都)*, 2015. 5.
- 6) 坂井 敦¹⁾, 武藤友美²⁾, 木村茉莉子²⁾, 丸山基世, 坂本篤裕²⁾, 鈴木秀典¹⁾ (1) 日本医科大学 医学部 薬理学, (2) 日本医科大学 医学部 疼痛制御麻酔科学) : 下行性ノルアドレナリン神経伝達の増強を指向した神経障害性疼痛治療の検討. *日本疼痛学会 (第37回) (熊本)*, 2015. 7.
- 7) 秋元敏雄¹⁾, 岡田嘉仁²⁾, 丸山基世¹⁾, 鈴木龍一郎³⁾, 福生吉裕⁴⁾ (1) 日本医科大学実験動物管理室, (2) 明治薬科大学天然薬物学教室, (3) 城西大学薬学部生薬学, (4) 博慈会老人病研究所) : 肥満2型糖尿病モデルWBN/Kob-fattyラットにおける糖尿病性腎症に対する南蛮毛の未病ケアの効果について. *第22回日本未病システム学会学術総会 (北海道大学学術交流会館)*, 2015. 10.

- 8) 長谷場健¹⁾, 丸山基世, 秋元敏夫, 大野曜吉¹⁾ (1) 日本医科大学 医学部 法医学): 慢性アルコール摂取によるアルコール代謝亢進に寄与する Non-ADH1 pathway の正体. アルコール医学生物学会 (第 35 回) (東京), 2016. 1.

[形態解析共同研究施設]

研究概要

共同研究センター形態解析共同研究施設は、バーチャルスライド、電子顕微鏡、レーザー顕微鏡などの形態研究に関する種々の先端機器の管理、運営および共同利用の推進を業務としている。一方、学内研究者に形態機器の技術指導、および共同研究も実施している。また、附属病院、関連病院から依頼された病理生検材料について、診断サポートのための電子顕微鏡による検索、報告も行っている。学内との共同研究としては、先端医学研究所制御学部門の田中信之教授と「ウイルス感染による感音難聴発症メカニズムに関する研究」、同「ALK 肺癌治療薬 Crizotinib による autophagy 様細胞死の実態とその誘導機構の解明」等の電顕検索を行った。また、学外との共同研究としては、防衛医科大学校・萩沢博士の科研費基盤研究 (C)「衝撃波に起因するびまん性肺出血の病態解明と止血制御対策」の研究分担者として従事した。さらに、公益財団法人東京都医学総合研究所の原博士らによる「マウス ES 細胞からの巨核球成熟と血小板産生」、エビハラ病院長の松村博士による「肺魚肺サーファクタント・ラメラ構造体の発生機序」等の研究の電顕検索を行った。鈴木個人の研究としては、ヒト血小板 α 顆粒の 3 次元的構築するために、集束イオンビーム (FIB) を発生して、鏡塔内で試料を削り、その断面を撮影することを連続的に行うことができる集束イオンビーム搭載走査型電顕 (FIB-SEM) で観察・撮影の試みを行った。血小板 α 顆粒は形態的には内容コントラストが 3 層に分かれ、微小管構造も見られる。その内容貯蔵物は約 300 種を含むとされ、他に類のない貯蔵物を含む顆粒である。その形態の詳細と内容物との関係を明らかにすることを今後の研究課題としていきたい。

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) 松村豪¹⁾, 武井恒知²⁾, 千田勝一²⁾, 鈴木英紀³⁾, 高木孝士⁴⁾, 小林素秋⁵⁾ (1) エビハラ病院, 2) 岩手医科大学, 3) 日本医科大学 形態解析共同研究施設, 4) 日本電子 (株), 5) セプトサビエ (株)): アフリカ産生体肺魚 (プロトプテルス・エチオピクス) の肺サーファクタント細胞内輸送経路とラメラ構造体分泌様式の電子顕微鏡的研究. 日本肺サーファクタント・界面医学会雑誌 2015; 46: 26-31.

(2) 総説:

- 1) 鈴木英紀¹⁾: 正常および先天性異常血小板の超微形態. 日本医科大学医学会雑誌 2015; 11 (2): 62-63.

著書

- 1) 鈴木英紀¹⁾: [分担] 血小板の超微形態. 新血栓止血学 血管と血小板 (一瀬白帝, 丸山征郎, 内山真一郎), 2015; pp137-45, 金芳堂.

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) Hara T^{1,2)}, Kawaguchi M^{1,2)}, Kanokoda M^{1,2)}, Suzuki H³⁾, Kasahara K⁴⁾, Kitajima K¹⁾ (1) Stem Cell Project, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan, 2) Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan, 3) Division of Morphological and Biomolecular Research, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 4) Laboratory of Biomembrane, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan): Megakaryocyte-platelet induction from mouse embryonic stem cells by enforced expression of Gata2 in late hemogenic endothelial cells. 13th Annual Meeting of International Society for Stem Cell Research (Stockholm), 2015. 6.
- 2) Kawaguchi M^{1,2)}, Kitajima K¹⁾, Kanokoda M^{1,2)}, Suzuki H³⁾, Nakajima M^{1,2)}, Kasahara K⁴⁾, Hara T^{1,2)} (1) Stem Cell Project, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan, 2) Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan, 3) Division of Morphological and Biomolecular Research, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 4) Laboratory of Biomembrane, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan): Megakaryocyte-platelet induction from mouse embryonic stem cells by enforced expression of Gata2 in late hemogenic endothelial cells. 44th Annual Meeting of the International Society for Experimental Hematology (Kyoto), 2015. 9.
- 3) 鈴木英紀¹⁾, 萩沢康介²⁾, 西川可穂子²⁾, 木下 学²⁾, 武岡真司³⁾, 半田 誠⁴⁾ (1) 日本医科大学共同研究センター形態解析共同研究施設, 2) 防衛医科大学校, 3) 早稲田大学理工学部学術院, 4) 慶應義塾大学医学部): 血小板凝集時および肝出血モデルでの人工血小板 H12 (ADP) リボソームの動態: 電顕的検討. 第 37 回日本血栓止血学会学術集会 (甲府市), 2015. 5.

- 4) 小田紘嗣^{1,2)}, 國島伸治³⁾, 鈴木英紀⁴⁾, 河合朋樹¹⁾, 西小森隆太¹⁾, 小原 収^{2,5)}, 平家俊男¹⁾ (1) 京都大学医学部小児科, 2) 理化学研究所統合生命医科学研究センター, 3) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター, 4) 日本医科大学共同研究センター形態解析共同研究施設, 5) かずさ DNA 研究所) : Filamin A 異常症男性患者の血小板機能評価. 第 37 回日本血栓止血学会学術集会 (甲府市), 2015. 5.
- 5) 鈴木英紀¹⁾, 萩沢康介²⁾, 武岡真司³⁾, 半田 誠⁴⁾, 木下 学²⁾ (1) 日本医科大学共同研究センター形態解析共同研究施設, 2) 防衛医科大学校, 3) 早稲田大学理工学部学術院, 4) 慶応義塾大学医学部) : ウサギ肝およびマウス肺出血モデルにおける人工血小板投与時の超微細形態像. 第 22 回日本血液代替物学会年次大会, 2015. 10.
- 6) 松村豪一¹⁾, 海老原謙¹⁾, 武井恒智²⁾, 千田勝一²⁾, 鈴木英紀³⁾, 高木孝士⁴⁾, 小林素秋⁵⁾ (1) エビハラ病院, 2) 岩手医科大学, 3) 日本医科大学共同研究センター形態解析共同研究施設, 4) 日本電子 (株), 5) セプトサピエ (株)) : 肺サーファクタント・ラメラ構造体の発生機序に関する電子顕微鏡的研究 (II). 第 51 回日本肺サーファクタント・界面医学会 (大阪市), 2015. 10.

論文

[追加分]

追加分原著 :

- 1) Hagiwara K¹⁾, Nishikawa K²⁾, Yanagawa R³⁾, Kinoshita M⁴⁾, Doi M⁵⁾, Suzuki H⁶⁾, Iwaya K⁷⁾, Saitoh D⁸⁾, Seki S⁴⁾, Takeoka S⁶⁾, Handa M⁹⁾, Nishida Y¹⁾ (1) Department of Physiology, National Defense Medical College, Tokorozawa, Saitama, Japan, 2) Department of Traumatology and Critical Care Medicine, National Defense Medical College, Tokorozawa, Saitama, Japan, 3) Department of Defense Medicine, National Defense Medical College, Tokorozawa, Saitama, Japan, 4) Department of Immunology and Microbiology, National Defense Medical College, Tokorozawa, Saitama, Japan, 5) Department of Life Science and Medical Bioscience, Graduate School of Advanced Science and Engineering, Waseda University, TWIns, Tokyo, Japan, 6) Division of Morphological and Biomolecular Research, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 7) Department of Basic Pathology, National Defense Medical College, Tokorozawa, Saitama, Japan, 8) Division of Traumatology, National Defense Medical College Research Institute, Tokorozawa, Japan, 9) Department of Transfusion Medicine and Cell Therapy, School of Medicine, Keio University, Tokyo, Japan) : Treatment with fibrinogen γ -chain peptide-coated, adenosine 5'-diphosphate-encapsulated liposomes as an infusible hemostatic agent against active liver bleeding in rabbits with acute thrombocytopenia. *Transfusion* 2015 ; 55 (2) : 314-325.

[基礎医学放射性同位元素研究室]

研究概要

共同研究センター・基礎医学 RI 研究室は平成 24 年 6 月に放射線主任者である永原准教授が専任教員として任命され、法的小および管理業務、従事者に対する教育訓練、大学院講義、研究を行った。また、平成 25 年 4 月より内藤善哉大学院教授が研究室室長として統括している。永原はメルカプトビルビン酸硫黄転移酵素 (MST) の酵素化学とレドックス化学に関する研究を継続するとともに、環境医学、病態生化学、タンパク質化学の分野の研究を展開した。既に MST の酵素機能の多様性 (抗酸化機構や SO_x の産生) を in vitro で明らかにした。共同研究者により H₂S やポリスルフィドが産生される事が証明された。科研費研究で作成した MST ノックアウト (KO) マウスは精神遅延発達障害を伴うヒトの先天性 MST 欠損症 (mercaptolactate cysteine disulfiduria) のモデルであり、病態解明を目指している。本学・薬理学分野との共同研究で MST-KO マウスに不安行動を認め、病態の解明を進めている。さらに国内や欧米と複数の共同研究 (国立精神神経医療センター研究所・木村博士、熊本大学・伊藤教授および嶋村教授、東京都健康長寿医療センター研究所・遠藤博士、神奈川県立こども医療センター・田中博士、東北大学・赤池教授、明治薬科大学・小笠原教授、ジャギロニアン大 (ポーランド)・Wrobelk 教授、アテネ大学 (ギリシャ)・Papapetropoulos 教授、マックスプランク研究所 (ドイツ)・Morty 教授、LSH 健康科学センター (アメリカ)・Lefer 教授) を進めている。結果は論文や学会などで発表した。専任教員が一名配置され 3 年が経過し、海外から留学生 (武田科学財団) と特別研究生を受け入れたが教員室、実験スペース、分析機器、実験器具など益々整備の必要性が課題になった。

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) Yamanobe Y, Nagahara N, Matsukawa T¹⁾, Ito T²⁾, Niimori-Kita K²⁾, Chiba M¹⁾, Yokoyama K¹⁾, Takizawa T (1) Department of Epidemiology and Environmental Health, Juntendo Univ, 2) Department of Pathology and Experimental Medicine, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences) : Sex differences in shotgun proteome analyses for chronic oral intake of cadmium in mice. *PLoS One* 2015 ; 0121819.

- 2) Kimura Y¹⁾, Toyofuku Y¹⁾, Koike S¹⁾, Shibuya N¹⁾, Nagahara N³⁾, Lefer D⁴⁾, Ogasawara Y²⁾, Kimura H¹⁾ (1) Department of Molecular Pharmacology, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, 2) Department of Analytical Biochemistry, Meiji Pharmaceutical University, 3) Radioisotope Center, 4) Department of Pharmacology and Experimental Therapeutics and Cardiovascular Center of Excellence, LSU Health Science Center) : Identification of H₂S₃ and H₂S produced by 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase in the brain. *Sci Rep* 2015 ; 14774.

(2) 総説 :

- 1) Suwanai Y, Nagahara N : Relationship between thioredoxin-dependent redox-sensing molecular switches in 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase and production of hydrogen sulfide and/or polysulfides. *Cell Mol Med* 2015.
- 2) Suwanai Y, Nagahara N, Naito Z, Orimo H : Functional Analysis of 3-Mercaptopyruvate Sulfurtransferase Using Knockout Mice. *Adv Tech Biol Med* 2016 ; 4 (167).

著 書

- 1) Nagahara N, Nagano M¹⁾, Ito T²⁾, Suzuki H¹⁾ (1) Dept. of Pharmacol., Nippon Medical School, 2) Dept. of Pathol. Experi. Med., Grad. Sch. of Med. Sci., Kumamoto University) : [共著] Redox regulation of Mammalian 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase. *Methods Enzymol*, 2015 ; pp229-254, ELSEVIER.

学会発表

(1) シンポジウム :

- 1) Nagahara N¹⁾, Nagano M²⁾, Ito T³⁾, Suzuki H²⁾ (1) Isotope Res. Center, Nippon Medical School, 2) Dept. of Pharmacol., Nippon Medical School, 3) Dept. of Pathol. Experi. Med., Grad. Sch. of Med. Sci., Kumamoto University) : Redox regulation of a multifunctional enzyme, 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase. *International Congress on Amino Acids, Peptides and Proteins (14th) (Austria)*, 2015. 8.

(2) ワークショップ :

- 1) 永原則之, 永野昌俊¹⁾, 伊藤隆明²⁾, 秋元敏雄³⁾, 鈴木秀典¹⁾ (1) 日本医科大学・薬理学, 2) 熊本大学・大学院生命科学研・機能病理, 3) 日本医科大学・実験動物) : 多機能酵素・3-メルカプトピルビン酸硫黄転移酵素-ノックアウトマウスの網羅的解析(硫化水素(H₂S)とポリサルファイド(H₂Sn)のシグナル分子としての機能). *日本生化学会大会(第88回)(神戸)*, 2015. 12.

(3) 一般講演 :

- 1) 木村由佳¹⁾, 三上義礼¹⁾, 大隅貴美子¹⁾, 津金麻美子²⁾, 岡淳一郎³⁾, 豊福優希子⁴⁾, 小池 伸⁵⁾, 渋谷典広¹⁾, 永原則之, 小笠原祐樹⁵⁾, 木村英雄¹⁾ (1) 国立精神・神経医療研究センター, 2) 中央大学 理工, 3) 東京理科大学, 4) 順天堂大学, 5) 明治薬科大学) : 脳のTRPA1チャネルを活性化するシグナル分子としてのポリサルファイドとその生合成. *日本生化学会大会(第88回)*, 2015. 12.
- 2) 渋谷典広¹⁾, 小池 伸²⁾, 田中真紀子¹⁾, 湯浅-石上磨里³⁾, 木村由佳¹⁾, 小笠原裕樹²⁾, 福井 清⁴⁾, 永原則之, 木村英雄¹⁾ (1) 国立精神・神経医療研究センター, 2) 明治薬科大学, 3) 東京医科歯科大学, 4) 徳島大学疾患酵素学研究中心) : 生理活性物質硫化水素の産生経路. *日本生化学会大会(第88回)(神戸)*, 2015. 12.

〔3〕臨 床 医 学

1. 総合医療・健康科学分野

[付属病院総合診療科]

研究業績

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 須崎 真¹⁾, 藤田和恵²⁾, 渥美健一郎²⁾, 林 宏紀²⁾, 小野寺直子¹⁾, 兵働英也¹⁾, 小原俊彦¹⁾, 斎藤好信²⁾, 弦間明彦²⁾, 安武正弘¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院総合診療科, ²⁾ 日本医科大学付属病院呼吸器内科)：大学病院総合診療センターにおける感染症診療の実態に関する検討. 日本感染症学会総会・学術講演会 (第 89 回) (京都), 2015. 4.
- 2) 若栗大朗¹⁾, 三枝太郎¹⁾, 須崎 真¹⁾, 桐木園子¹⁾, 田中啓広¹⁾, 小野寺直子¹⁾, 荒木 尚²⁾, 兵働英也¹⁾, 小原俊彦¹⁾, 川井 真²⁾, 安武正弘¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院総合診療科, ²⁾ 日本医科大学付属病院救命救急科)：Crowned dens syndrome (CDS) mimicking meningitis. 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (第 6 回) (筑波), 2015. 6.
- 3) 桐木園子¹⁾, 小原俊彦¹⁾, 小野寺直子¹⁾, 兵働英也¹⁾, 若栗大朗¹⁾, 三枝太郎¹⁾, 須崎 真¹⁾, 川井 真²⁾, 安武正弘¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院総合診療科, ²⁾ 日本医科大学付属病院救命救急科)：化膿性脊椎炎治療中に心不全と肺炎を発症し, 全身管理が困難だった 1 例. 日本病院総合診療医学会学術総会 (第 11 回) (奈良), 2015. 9.
- 4) 若栗大朗¹⁾, 細川雄亮²⁾, 坪 宏一²⁾, 兵働英也¹⁾, 山本 剛²⁾, 小原俊彦¹⁾, 清水 渉²⁾, 川井 真³⁾, 安武正弘¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院総合診療科, ²⁾ 日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科, ³⁾ 日本医科大学付属病院救命救急科)：一般外来に来院する急性冠症候群の臨床的特徴：集中治療室入室症例との比較. 日本病院総合診療医学会学術総会 (第 12 回) (横浜), 2016. 2.

2. 循環器内科学分野

[付属病院循環器内科]

研究概要

内科学（循環器内科学）教室では循環器病学では、以下に示すような臨床的、基礎的研究を行った。1. 慢性心房細動に対する至適な高周波カテーテル焼灼術の開発 2. 3次元マッピング機器を用いた開心術後心房頻拍の機序解明と治療法の開発 3. 器質的心疾患に合併した重症心室性不整脈の薬物療法および非薬物治療（高周波カテーテル焼灼術、デバイス治療）の検討 4. 遺伝性不整脈疾患（QT延長症候群、ブルガダ症候群など）の遺伝子診断とこれに基づいた薬物および非薬物治療 5. 次世代シーケンサを用いた網羅的全エクソン（Exome）解析、全ゲノム解析、ゲノムワイド関連解析（GWAS）による遺伝性不整脈の新規遺伝子同定 6. iPS細胞を用いた遺伝性不整脈の病態解明とテラーメイド治療 7. 心電図 Wavelet 解析を用いて心サルコイドーシスの病態進行評価 8. 急性冠症候群の発生機序を解明：PET-冠動脈CT融合画像により非侵襲的に検出される炎症に富む冠動脈プラークと血管内視鏡・optical coherence tomographyなどの血管内画像診断による組織特性との対比からの検討 9. 拡張型心筋症患者の予後の検討：心筋生検によって得られる組織診断、核磁気共鳴画像の遅延造影効果、心筋脂肪酸代謝障害からの検討 10. カテーテルによる肥大型心筋症の心筋焼灼術後の左室形態と血行動態の変化の検討 11. 心疾患病態・血管内皮機能関係に影響する因子の検討 12. 運動療法による心疾患病態に対する改善効果の機序 13. 心疾患合併高血圧症における中心血圧と病態との関連 14. 自己骨髄細胞による血管新生療法と徐放化増殖因子ハイドロゲルによる血管再生治療 15. マゴットセラピー法（無菌性医用うじ虫治療）の活用 16. 組織ドプラ、スペックルトラッキング法を用いた心機能評価：心臓再同期療法、大動脈壁の硬さ、左右心機能 17. 心臓造影MRI（CMR）のMOLLI法による心筋線維化の評価。18. 電子顕微鏡による心筋 Autophagy の評価と心機能、心予後との関連性の検討。19. 肥大型心筋症に対する心筋焼灼術の長期効果の検討。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Miyoshi T¹, Maeno Y², Sago H³, Inamura N⁴, Yasukouchi S⁵, Kawataki M⁶, Horigome H⁷, Yoda H⁸, Taketazu M⁹, Shouzu M¹⁰, Nil M, Kato H³, Hagiwara A⁶, Omoto A¹⁰, Shimizu W, et al. ⁽¹⁾ National Cerebral and Cardiovascular Center, ⁽²⁾ Kurume University, ⁽³⁾ National Center for Child Health and Development, ⁽⁴⁾ Kanagawa Children's Medical Center, ⁽⁵⁾ Nagano Children's Hospital, ⁽⁶⁾ Tokyo Medical Center, ⁽⁷⁾ University of Tsukuba, ⁽⁸⁾ Toho University Omori Medical Center, ⁽⁹⁾ International Medical Center, ⁽¹⁰⁾ and others) : Fetal bradyarrhythmia associated with congenital heart defects - nationwide survey in Japan. *Circ J* 2015 ; 79 (4) : 854-861.
- 2) Shima A, Miyamoto M, Kubota Y, Takagi G, Shimizu W : Beraprost Sodium Protects Against Diabetic Nephropathy in Patients with Arteriosclerosis Obliterans : A Prospective, Randomized, Open-label Study. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (2) : 84-91.
- 3) Takahashi N¹, Sato N¹, Ishikawa M¹, Kikuchi A¹, Hanaoka D¹, Ishihara S¹, Amitani K¹, Sakai Y¹, Kumita S², Shimizu W ⁽¹⁾ Musashi Kosugi Hospital, ⁽²⁾ Radiology) : Long-term Hemodialysis Corrects Left Ventricular Dyssynchrony in End-stage Renal Disease : A Study with Gated Technetium-99m Sestamibi Myocardial Perfusion Single-photon Emission Computed Tomography. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (2) : 76-83.
- 4) Takahashi N¹, Sato N¹, Takagi K¹, Omote T¹, Kikuchi A¹, Hanaoka D¹, Yamamoto E¹, Ishikawa M¹, Amitani K¹, Kumita S², Shimizu W ⁽¹⁾ Musashi Kosugi Hospital, ⁽²⁾ Radiology) : Clinical usefulness of gated technetium-99m sestamibi myocardial perfusion single-photon emission computed tomography with phase analysis for the management of patients with isolated ventricular noncompaction. *J Cardiol Cases* 2015 ; 11 (4) : 101-104.
- 5) Makimoto H¹, Nakajima I¹, Miyamoto K¹, Yamada Y¹, Okamura H¹, Noda T¹, Aiba T¹, Kamakura S¹, Kusano K¹, Shimizu W, Satomi K¹ ⁽¹⁾ 国立循環器病研究センター) : Clinical impact of mapping strategies for treatment of ventricular tachycardias in patients with structural heart disease. *Pacing Clin Electrophysiol* 2015 ; 38 (5) : 630-640.
- 6) Zannad F¹, Cannon C¹, Cushman W¹, Bakris G¹, Menon V¹, Perez A¹, Fleck P¹, Mehta C¹, Kupfer S¹, Wilson C¹, Lam H¹, White W¹, Takagi G ⁽¹⁾ EXAMINE Investigators) : Heart failure and mortality outcomes in patients with type 2 diabetes taking alogliptin versus placebo in EXAMINE : a multicentre, randomised, double-blind trial. *Lancet* 2015 ; 23 (385) : 2067-2076.
- 7) Ishihara M¹, Fujino M¹, Ogawa H¹, Yasuda S¹, Noguchi T¹, Nakao K¹, Ozaki Y¹, Kimura K¹, Suwa S¹, Fujimoto K¹, Nakama Y¹, Morita T¹, Shimizu W, Saito Y¹, Tsujita K¹, et al. ⁽¹⁾ J-MINUET) : Clinical Presentation, Management and Outcome of Japanese Patients With Acute Myocardial Infarction in the Troponin Era - Japanese Registry of Acute Myocardial

- Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET). *Circ J* 2015 ; 79 (6) : 1255-1262.
- 8) Shimizu W : Where does heterogeneity exist in ventricular tachyarrhythmias?. *Heart Rhythm* 2015 ; 12 (6) : 1304-1305.
 - 9) Nakagomi A¹⁾, Shibui T¹⁾, Kohashi K¹⁾, Kosugi M¹⁾, Kusama Y¹⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Tama Nagayama Hospital) : Differential Effects of Atorvastatin and Pitavastatin on Inflammation, Insulin Resistance, and the Carotid Intima-Media Thickness in Patients with Dyslipidemia. *J Atheroscler Thromb* 2015 ; 22 (11) : 1158-1171.
 - 10) Nakatsuji A, Miyauchi Y, Iwasaki Y, Tsuboi I, Hayashi H, Uetake S¹⁾, Takahashi K, Yodogawa K, Hayashi M, Shimizu W (¹⁾ Chiba Hokusou Hospital) : Detection and Evaluation of Pulmonary Hypertension by a Synthesized Right-Sided Chest Electrocardiogram. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (3) : 136-145.
 - 11) Shigemizu D¹⁾, Aiba T²⁾, Nakagawa H³⁾, Oazaki K⁴⁾, Miya F¹⁾, Satake W⁵⁾, Toda T⁵⁾, Miyamoto Y⁶⁾, Fujimoto A³⁾, Suzuki Y⁷⁾, Kubo M⁸⁾, Tsunoda T¹⁾, Shimizu W, Tanaka T⁴⁾ (¹⁾ Laboratory for Medical Science Mathematics, RIKEN Center for Integrative Medical Sciences, ²⁾ Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, ³⁾ Laboratory for Genome Sequencing Analysis, RIKEN Center for Integrative Medical Sciences, ⁴⁾ Laboratory for Cardiovascular Diseases, RIKEN Center for Integrative Medical, ⁵⁾ Division of Neurology/Molecular Brain Science, Kobe University Graduate, ⁶⁾ Department of Preventive Cardiology, National Cerebral and Cardiovascular Center, ⁷⁾ Department of Computational Biology, Division of Biosystem Science University, ⁸⁾ Laboratory for Genotyping Development, RIKEN Center for Integrative Medical Sciences) : Exome Analyses of Long QT Syndrome Reveal Candidate Pathogenic Mutations in Calmodulin-Interacting Genes. *PLoS One* 2015 ; 10 (7) : e0130329.
 - 12) Ishihara M¹⁾, Fujino M¹⁾, Ogawa H¹⁾, Yasuda S¹⁾, Noguchi T¹⁾, Nakao K¹⁾, Ozaki Y¹⁾, Kimura K¹⁾, Suwa S¹⁾, Fujimoto K¹⁾, Nakama Y¹⁾, Morita T¹⁾, Shimizu W, Saito Y¹⁾, Tsujita K¹⁾, et al. (¹⁾ J-MINUET) : Clinical Presentation, Management and Outcome of Japanese Patients With Acute Myocardial Infarction in the Troponin Era -Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET) -. *Circ J*. 2015 ; 79 (7) : 1643-1643.
 - 13) Kanzaki H¹⁾, Satomi K¹⁾, Noda T¹⁾, Shimizu W, Kamakura S¹⁾, Kitaura Y¹⁾, Ishizaka N¹⁾, Kitakaze M¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center) : Comparison of the acute effects of right ventricular apical pacing and biventricular pacing in patients with heart failure. *Intern Med* 2015 ; 54 (11) : 1329-1335.
 - 14) Murata H, Hayashi M, Iwasaki Y, Yodogawa K, Ueno A²⁾, Hayashi H, Tsuboi I, Uetake S, Takahashi K, Yamamoto T, Maruyama M, Akutsu K, Yamamoto T, Kobayashi Y²⁾, Tanaka K, et al. (¹⁾ Tokai University Hachioji Hospital) : Clinical and Electrocardiographic Characteristics of Electrical Storms Due to Monomorphic Ventricular Tachycardia Refractory to Intravenous Amiodarone. *Circ J* 2015 ; 79 (10) : 2130-2137.
 - 15) Wakabayashi K¹⁾, Sato N²⁾, Kajimoto K³⁾, Minami Y⁴⁾, Mizuno M⁴⁾, Keida T⁵⁾, Asai K, Munakata R⁶⁾, Murai K, Sakata Y⁷⁾, Suzuki H¹⁾, Takano T (¹⁾ Fujigaoka Hospital, ²⁾ Musashi Kosugi Hospital, ³⁾ Towa Hospital, ⁴⁾ Tokyo Women's Medical University, ⁵⁾ Edogawa Hospital, ⁶⁾ Osaka University Graduate School of Medicine) : Incidence and predictors of in-hospital non-cardiac death in patients with acute heart failure. *Eur Heart J Acute Cardiovasc Care* 2015 ; Epub.
 - 16) Kamakura T¹⁾, Wada M¹⁾, Nakajima I¹⁾, Ishibashi K¹⁾, Miyamoto K¹⁾, Okamura H¹⁾, Noda T¹⁾, Aiba T¹⁾, Takaki H¹⁾, Yasuda S¹⁾, Ogawa H¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center) : Evaluation of the Necessity for Cardioverter-Defibrillator Implantation in Elderly Patients With Brugada Syndrome. *Circ Arrhythm Electrophysiol* 2015 ; 8 (4) : 785-791.
 - 17) Wada Y¹⁾, Aiba T²⁾, Matsuyama T²⁾, Nakajima I²⁾, Ishibashi K²⁾, Miyamoto K²⁾, Yamada Y²⁾, Okamura H²⁾, Noda T²⁾, Satomi K²⁾, Morita Y²⁾, Kanzaki H²⁾, Kusano K²⁾, Anzai T²⁾, Kamakura S²⁾, et al. (¹⁾ Shiga University, ²⁾ Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center) : Clinical and Pathological Impact of Tissue Fibrosis on Lethal Arrhythmic Events in Hypertrophic Cardiomyopathy Patients With Impaired Systolic Function. *Circ J* 2015 ; 79 (8) : 1733-1741.
 - 18) Miyamoto K¹⁾, Noda T¹⁾, Satomi K¹⁾, Wada M¹⁾, Nakajima I¹⁾, Ishibashi K¹⁾, Okamura H¹⁾, Noguchi T¹⁾, Anzai T¹⁾, Yasuda S¹⁾, Ogawa H¹⁾, Shimizu W, Aiba T¹⁾, Kamakura S¹⁾, Kusano K¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine National Cerebral and Cardiovascular Center) : Larger low voltage zone in endocardial unipolar map compared with that in epicardial bipolar map indicates difficulty in eliminating ventricular tachycardia by catheter ablation. *Heart Vessels* 2015 ; Epub.
 - 19) Miyamoto K¹⁾, Aiba T¹⁾, Arihiro S¹⁾, Watanabe M¹⁾, Kokubo Y¹⁾, Ishibashi K¹⁾, Hirose S¹⁾, Wada M¹⁾, Nakajima I¹⁾, Okamura H¹⁾, Noda T¹⁾, Nagatsuka K¹⁾, Noguchi T¹⁾, Anzai T¹⁾, Yasuda S¹⁾, et al. (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine National Cerebral and Cardiovascular Center) : Impact of renal function deterioration on adverse events during anticoagulation therapy using non-vitamin K antagonist oral anticoagulants in patients with atrial fibrillation. *Heart Vessels* 2015 ; Epub.
 - 20) Shiomura R¹⁾, Nakamura S, Takano H, Kato K, Inui K, Kubota Y, Komiyama H¹⁾, Murai K, Asai K, Shimizu W (¹⁾ Chiba

- Hokusou Hospital) : Impact of Brain Natriuretic Peptide, Calcium Channel Blockers, and Body Mass Index on Recovery Time from Left Ventricular Systolic Dysfunction in Patients With Takotsubo Cardiomyopathy. *Am J Cardiol* 2015 ; 116 (4) : 515-519.
- 21) Itoh H¹⁾, Dochi K¹⁾, Shimizu W, Denjoy I²⁾, Ohno S¹⁾, Aiba T³⁾, Kimura H¹⁾, Kato K¹⁾, Fukuyama M¹⁾, Hasegawa K¹⁾, Bahr E⁴⁾, Guicheney P²⁾, Horie M¹⁾ (¹⁾ Shiga University of Medical Science, ²⁾ Sorbonne Universités, Institut de Recherche sur les Maladies Cardiovasculaires, du Métabolisme et de la Nutrition, ³⁾ National Cerebral and Cardiovascular Center, ⁴⁾ University of Münster, Münster) : A Common Mutation of Long QT Syndrome Type 1 in Japan. *Circ J* 2015 ; 79 (9) : 2026-2030.
- 22) Aoyama R, Kobayashi A¹⁾, Tsubokou Y¹⁾, Takeda K¹⁾, Fujimoto H¹⁾, Harada K¹⁾, Kyo S¹⁾ (¹⁾ Tokyo geriatric Metropolitan Hospital) : Two Case Reports of Group B Streptococcal Infective Endocarditis Complicated by Embolism. *Intern Med* 2015 ; 54 (18) : 2333-2336.
- 23) Taniguchi H, Kobayashi Y¹⁾, Maruyama M²⁾, Morita N¹⁾, Hayashi M, Miyauchi Y, Shimizu W (¹⁾ Tokai University Hachioji Hospital, ²⁾ Chiba Hokusou Hospital) : Electrophysiological and anatomical background of the fusion configuration of diastolic and presystolic Purkinje potentials in patients with verapamil-sensitive idiopathic left ventricular tachycardia. *J Arrhythmia* 2015 ; 31 (5) : 261-267.
- 24) Takagi G, Miyamoto M, Fukushima Y, Yasutake M, Tara S, Takagi I, Seki N, Kumita S, Shimizu W : Imaging Angiogenesis Using ^{99m}Tc-Macroaggregated Albumin Scintigraphy in Patients with Peripheral Artery Disease. *J Nucl Med* 2015 ; 57 (2) : 192-197.
- 25) Munakata R¹⁾, Otsuka T²⁾, Uchiyama S¹⁾, Shimura T¹⁾, Kurihara O¹⁾, Kimata N¹⁾, Inami T¹⁾, Murakami D¹⁾, Ohba T¹⁾, Takano M¹⁾, Ibuki C¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Chiba Hokusou Hospital, ²⁾ Hygiene and Public Health) : Volume elastic modulus of the brachial artery and coronary artery stenosis in patients with suspected stable coronary artery disease. *Heart Vessels* 2015 ; Epub.
- 26) Kobori A¹⁾, Shizuta S¹⁾, Inoue K¹⁾, Kaitani K¹⁾, Morimoto T¹⁾, Nakazawa Y¹⁾, Ozawa T¹⁾, Kurotobi T¹⁾, Morishima I¹⁾, Miura F¹⁾, Watanabe T¹⁾, Masuda M¹⁾, Naito M¹⁾, Fujimoto H¹⁾, Nishida T¹⁾, et al. (¹⁾ UNDER-ATP Trial Investigators :) : Adenosine triphosphate-guided pulmonary vein isolation for atrial fibrillation : the UNmasking Dormant Electrical Reconduction by Adenosine TriPhosphate (UNDER-ATP) trial. *Eur Heart J* 2015 ; 36 (46) : 3276-3287.
- 27) Kurihara O¹⁾, Takano M¹⁾, Uchiyama S¹⁾, Fukuizumi I¹⁾, Shimura T¹⁾, Matsushita M¹⁾, Komiyama H¹⁾, Inami T¹⁾, Murakami D¹⁾, Munakata R¹⁾, Ohba T¹⁾, Hata N¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Chiba Hokusou Hospital) : Microvascular resistance in response to iodinated contrast media in normal and functionally impaired kidneys. *Clin Exp Pharmacol Physiol* 2015 ; 42 (12) : 1245-1252.
- 28) Kurihara O¹⁾, Okamoto K¹⁾, Mizuno K, Takano M¹⁾, Yamamoto M¹⁾, Kobayashi N¹⁾, Munakata R¹⁾, Murakami D¹⁾, Inami S, Ohba T¹⁾, Hata N¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Chiba Hokusou Hospital) : Coronary atherosclerosis and risk of acute coronary syndromes in chronic kidney disease using angioscopy and the kidney disease : Improving Global Outcomes (KDIGO) classification. *Atherosclerosis* 2015 ; 243 (2) : 567-572.
- 29) Nakano Y¹⁾, Shimizu W (¹⁾ 広島大学) : Genetics of long-QT syndrome. *J Hum Genet* 2016 ; 61 (1) : 51-55.
- 30) Ruwald M, Parks X, Moss A, Zareba W, Baman J, McNitt S, Kanters J, Shimizu W, Wild A, Jons C, Lopes C : Stop-codon and C-terminus nonsense mutations are associated with lower risk of cardiac events in Long QT Syndrome Type 1 patients. *Heart Rhythm* 2016 ; 13 (1) : 122-131.
- 31) Inami T¹⁾, Ohba M¹⁾, Matsushita M¹⁾, Kobayashi N¹⁾, Inokuchi K¹⁾, Hata N¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Chiba Hokusou Hospital) : JAK2 mutation and acute coronary syndrome complicated with stent thrombosis. *Heart Vessels* 2016 ; Epub.
- 32) Shimura T¹⁾, Yamamoto M¹⁾, Takano M¹⁾, Okamoto K¹⁾, Inami S¹⁾, Murakami D¹⁾, Munakata R¹⁾, Kurihara O¹⁾, Kano S¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimizu W, Mizuno K (¹⁾ Chiba Hokusou Hospital) : Extreme late-phase observation using coronary angioscopy until 7 years after sirolimus-eluting stent implantation. *Coron Artery Dis* 2016 ; 27 (1) : 29-33.
- 33) Mizuno M¹⁾, Kijimoto K²⁾, Sato N³⁾, Yumino D¹⁾, Minami Y¹⁾, Murai K, Munakata R⁴⁾, Asai K, Keida T⁵⁾, Sakata Y⁶⁾, Hagiwara N¹⁾, Takano T (¹⁾ Tokyo Women's Medical University, ²⁾ Sekikawa Hospital, ³⁾ Musashi Kosugi Hospital, ⁴⁾ Chiba Hokusou Hospital, ⁵⁾ Edogawa Hospital, ⁶⁾ Osaka University) : Clinical profile, management, and mortality in very-elderly patients hospitalized with acute decompensated heart failure : An analysis from the ATTEND registry. *Eur J Intern Med* 2016 ; 27 : 80-85.
- 34) Kamakura T¹⁾, Wada M¹⁾, Nakajima I¹⁾, Ishibashi K¹⁾, Miyamoto K¹⁾, Okamura H¹⁾, Noda T¹⁾, Aiba T¹⁾, Takaki H¹⁾, Yasuda S¹⁾, Ogawa H¹⁾, Shimizu W, Makiyama T²⁾, Kimura T¹⁾, Nakamura S¹⁾, et al. (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine National Cerebral and Cardiovascular Center, ²⁾ Nagasaki University) : Significance of electrocardiogram recording in high intercostal spaces in patients with early repolarization syndrome. *Eur Heart J* 2016 ; 37 (7) : 630-637.

- 35) Kubota Y, Asai K, Murai K, Tetsuo-Tsukada Y, Hayashi H, Saito Y¹⁾, Azuma A¹⁾, Genma A¹⁾, Shimizu W (1) Pulmonary Medicine and Oncology Graduate School of Medicine) : COPD advances in left ventricular diastolic dysfunction. *International Journal of COPD* 2016 ; 11 (1) : 649-655.
- 36) 村田広茂, 清水 渉 : 先天性・2次性QT延長症候群. 循環器疾患と分子遺伝学. 循環器内科 2015 ; 77 (4) : 331-337.
- (2) 総説 :
- 1) Hayashi M, Shimizu W, Albert C : The Spectrum of Epidemiology underlying Sudden Cardiac Death. *Circ Res* 2015 ; 116 (12) : 1887-1906.
 - 2) Komiyama H¹⁾, Takano M¹⁾, Hata N¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimizu W, Mizuno K (1) Chiba Hokusou Hospital) : Neoatherosclerosis : Coronary stents seal atherosclerotic lesions but result in making a new problem of atherosclerosis. *World J Cardiol* 2015 ; 7 (11) : 776-783.
 - 3) 鈴木啓士¹⁾, 山本 剛¹⁾, 清水 渉, 竹田晋浩²⁾ (1) 心臓血管集中治療科, 2) 外科系集中治療科) : 重症病態を診る! モニタリングの魅力 : ER, ICU, OPE 室での症例から学ぶ : 循環不全, 心筋梗塞. 救急・集中治療 2015 ; 27 (5,6) : 409-416.
 - 4) 清水 渉 : 特集 これからの心房細動治療 序文. 循環器内科 2015 ; 78 (1) : 1-3.
 - 5) 高木 元, 桐木園子, 宮本正章 : マゴットセラピーを成功させるための適応と副作用対策. 形成外科 2015 ; 58 (8) : 855-861.
 - 6) 宮本正章, 高木 元, 桐木園子, 高瀬仁志, 海平和男 : マゴットセラピー (医療用無菌ウジ治療). 内分泌・糖尿病・代謝内科 2015 ; 41 (2) : 134-139.
 - 7) 宮本正章, 高木 元, 久保田芳明, 桐木園子, 手塚晶人, 太良修平, 清水 渉, 福嶋善光, 汲田伸一郎, 田畑泰彦 : 難治性末梢動脈疾患に対する血管再生治療の最前線. *日本耳鼻咽喉科学会会報* 2015 ; 118 (11) : 1281-1288.
 - 8) 泉 佑樹 : 3次元心エコー図により僧帽弁を評価する. *臨床雑誌 内科* 2015 ; 116 (6) : 1024-1024.
 - 9) 岡英一郎, 岩崎雄樹 : 電気的除細動前後での抗凝固療法. *Cardio-Coagulation* 2015 ; 2 (4) : 271-276.
 - 10) 古山景子¹⁾, 高木 元, 瀬戸奈津子¹⁾ (1) 看護部) : 糖尿病足病変 足潰瘍と蜂窩織炎を発症した事例. *Nursing Canvas* 2015 ; 4 (1) : 35-62.
 - 11) 岩崎雄樹 : 閉塞性睡眠時無呼吸症候群における不整脈発生と自律神経の関係. *心電図* 2016 ; 36 (1) : 55-63.
 - 12) 村田広茂¹⁾, 清水 渉 (1) 多摩永山病院) : 話題 心臓突然死と genome-wide association study. 循環器内科 2016 ; 79 (2) : 120-124.
- (3) レター :
- 1) Shiomura R¹⁾, Nakamura S, Takano H, Kato K, Inui K, Kubota Y, Komiyama H¹⁾, Murai K, Asai K, Shimizu W (1) Chiba Hokusou Hospital) : Reply : To PMID 26059866. *Am J Cardiol* 2015 ; 116 (7) : 1155-1155.
- (4) 症例報告 :
- 1) Okazaki H¹⁾, Hata N¹⁾, Shirakabe A¹⁾, Tsurumi M¹⁾, Shinada T¹⁾, Shimizu W (1) Chiba Hokusoh Hospital) : Early effects of oral pulmonary vasodilators in an elderly patient with critical thromboembolic pulmonary hypertension : A case report. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (4) : 206-210.
 - 2) Shibuya J¹⁾, Nakamura S, Komiyama H¹⁾, Kato K, Inami S²⁾, Takano H, Mizuno K, Shimizu W (1) Chiba Hokusou Hospital, 2) Mita Hospital) : Target lesion evaluation by multiple modalities in vivo : near-infrared spectroscopy (NIRS), virtual histology intravascular ultrasound, optical coherence tomography, and angiography. *EuroIntervention* 2015 ; 11 (6) : e1-e1.
 - 3) Kobayashi N¹⁾, Takano M¹⁾, Shimura T¹⁾, Hata N¹⁾, Shimizu W (1) Chiba Hokusoh Hospital) : Longitudinal stent deformation as a cause of very late stent thrombosis : Optical coherence tomography images. *Int J Cardiol* 2016 ; 202 : 601-603.
 - 4) Kobayashi N¹⁾, Hata N¹⁾, Kuwako T¹⁾, Shimizu W (1) Chiba Hokusoh Hospital) : Flow-limiting thrombosis after intracoronary coil embolisation : optical coherence tomography during acute myocardial infarction. *EuroIntervention* 2016 ; 11 (9) : 1028.
 - 5) Uetake S¹⁾, Maruyama M¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Hata N¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimizu W (1) Chiba Hokusou Hospital) : Conversion from Two Types of Wide QRS Complex Tachycardia to Narrow QRS Complex Tachycardia : What are the Mechanisms?. *J Cardiovasc Electrophysiol* 2016 ; 27 (1) : 129-130.
 - 6) Maruyama M¹⁾, Uetake S¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Hata N¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimizu W (1) Chiba Hokusou Hospital) : A Narrow QRS Complex Tachycardia With Variable AV Relationships : What Is the Mechanism?. *J Cardiovasc Electrophysiol* 2016 ; 27 (2) : 239-241.
 - 7) Shirakabe A¹⁾, Takano M¹⁾, Yamamoto M¹⁾, Kurihara O¹⁾, Kobayashi N¹⁾, Matsushita M¹⁾, Tsurumi M¹⁾, Okazaki H¹⁾, Hata N¹⁾, Shimizu W (1) Chiba Hokusoh Hospital) : Preventive effects of bare-metal stent on restenosis after everolimus-eluting stent deployment. *Heart Vessel* 2016 ; 31 (3) : 434-437.

著 書

- 1) 清水 渉 : [分担] 5. 循環器系の疾患 . 5.4 循環器疾患と遺伝子異常 . 3) 遺伝性不整脈. 内科学 (矢崎義雄), 2013 ; pp424-428, 朝倉

書店。

- 2) 宮本康二, 清水 渉: [分担] IV 不整脈と β 遮断薬. 27 心房細動の発症予防において β 遮断薬が効く症例とは?. β 遮断薬を臨床で活かす! エキスパートからのキーメッセージ 50 (伊藤 浩), 2013; pp88-90, 南江堂.
- 3) 清水 渉: [分担] QT 延長症候群. 今日の治療指針 2014 年版 (山口 徹, 北原光夫, 福井次矢), 2014; pp374-375, 医学書院.
- 4) 清水 渉: [分担] 6. 不整脈薬物治療に関するガイドライン (2009 年改訂版). 今日の治療指針 2014 年版 付録 診療ガイドライン (山口 徹, 北原光夫, 福井次矢), 2014; pp1798-1805, 医学書院.
- 5) 清水 渉: [分担] IV Brugada 症候群. Brugada 症候群の病態: 中高年男性の突然死「ボックリ病」. 不整脈症候群 遺伝子変異から不整脈治療を捉える (池田隆徳, 清水 渉, 高橋尚彦), 2015; pp62-65, 南江堂.
- 6) 清水 渉: [分担] IV Brugada 症候群. Brugada 症候群の日本と世界の疫学: 欧米よりも日本で多い. 不整脈症候群 遺伝子変異から不整脈治療を捉える (池田隆徳, 清水 渉, 高橋尚彦), 2015; pp66-68, 南江堂.
- 7) 清水 渉: [分担] IV Brugada 症候群. Brugada 症候群の臨床診断: Brugada 型心電図所見って何?. 不整脈症候群 遺伝子変異から不整脈治療を捉える (池田隆徳, 清水 渉, 高橋尚彦), 2015; pp69-73, 南江堂.
- 8) 清水 渉: [分担] IV 症例提示. COLUMN 5. Brugada 症候群 (非典型例). 不整脈症候群 遺伝子変異から不整脈治療を捉える (池田隆徳, 清水 渉, 高橋尚彦), 2015; pp97-99, 南江堂.
- 9) 清水 渉, 淀川顕司: [分担] 11 章 QT 延長症候群・torsade de pointes (TdP). 不整脈診療 クリニカルケースション (平尾見三, 笹野哲郎), 2015; pp141-144, 診断と治療社.
- 10) 相庭武司, 清水 渉: [分担] 遺伝子関連検査 15 循環器疾患. 日常診療のための検査値のみかた (野村文夫, 村上正巳, 和田隆志, 末岡榮三朗), 2015; pp703-709, 中外医学社.
- 11) 林 明聡: [分担] フランク誘導とは何か? いつ使うのか? ST-T 変化の 1 次性, 2 次性とは?, V3R-5R, V7-9 はいつ使う?. 不整脈クリニカルケースション (平尾見三), 2015; pp220-224, 診断と治療社.
- 12) 林 明聡, 清水 渉: [分担] カテコラミン誘発性多形性心室頻拍の治療の実際. 不整脈症候群 (池田隆徳, 清水 渉, 高橋尚彦), 2015; pp143-150, 南江堂.
- 13) 岩崎雄樹: [共著] 循環器病態ファイル. 循環器病態ファイル 第 2 版, 2015; pp1-252, メディカルサイエンスインターナショナル.
- 14) 岩崎雄樹: [分担] WPW 症候群の病態と頻拍発作. 不整脈症候群, 2015; pp170-177, 南江堂.
- 15) 清水 渉: [分担] III. 不整脈 C. 不整脈症候群 12. QT 短縮症候群はどのような疾患でどのような不整脈がみられるのか?. EBM 循環器疾患の治療 (小室一成, 阿古潤哉, 坂田泰史, 池田隆徳, 長谷部直幸), 2015; pp307-310, 中外医学社.
- 16) 林 明聡: [分担] I 群抗不整脈薬はどれくらい有効?. 不整脈診療の極意 (山下武志), 2015; pp94-98, 南山堂.
- 17) 古瀬領人, 山本 剛, 清水 渉, 竹田普浩: [分担] 15 章 呼吸管理: NIV. 循環器急性期診療 (香坂 俊), 2015; pp161-171, メディカル・サイエンス・インターナショナル.
- 18) 林 明聡, 清水 渉: [分担] アピキサパン. ファーマナビゲーター 抗凝固療法編 (山下武志, 是恒之宏, 矢坂正弘), 2015; pp298-311, メディカルレビュー社.
- 19) 萩原かな子: [分担] 心不全を伴う心房細動治療 静注薬治療も含めて (解説). 循環器内科, 2015; pp87-91, 科学評論社.
- 20) 林 明聡: [分担] カテコラミン誘発性多形性心室頻拍に対して有効な薬剤はどれか. 不整脈治療 update 第 4 巻 (奥村謙), 2015; pp166-174, 医薬ジャーナル社.
- 21) 林 明聡: [分担] 不整脈. 循環器診療の最新エビデンスを使いこなす (清水 渉), 2015; pp71-85, 秀潤社.
- 22) 高木 元: [分担] 末梢動脈疾患・静脈疾患・リンパ管疾患. 循環器診療のエビデンスを使いこなす (清水 渉), 2015; pp154-166, 秀潤社.
- 23) 岩崎雄樹: [分担] (IV 章) 調律の異常 不整脈をどう読んでいくか 心室期外収縮の性質 (解説/特集). Electrocardiography A to Z (磯部光章, 奥村 謙, 清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整, 合屋雅彦, 山根禎一), 2015; pp176-177, 医学書院.
- 24) 岩崎雄樹: [分担] (IV 章) 調律の異常 不整脈をどう読んでいくか 心室期外収縮の起源 (解説/特集). Electrocardiography A to Z (磯部光章, 奥村 謙, 清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整, 合屋雅彦, 山根禎一), 2015; pp174-175, 医学書院.
- 25) 岩崎雄樹: [分担] (IV 章) 調律の異常 不整脈をどう読んでいくか RR 間隔が突然変動する場合 (解説/特集). Electrocardiography A to Z (磯部光章, 奥村 謙, 清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整, 合屋雅彦, 山根禎一), 2015; pp160-161, 医学書院.
- 26) 岩崎雄樹: [分担] (IV 章) 調律の異常 不整脈をどう読んでいくか P 波と QRS 波の関係 1:1 に対応しているか (解説/特集). Electrocardiography A to Z (磯部光章, 奥村 謙, 清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整, 合屋雅彦, 山根禎一), 2015; pp158-159, 医学書院.
- 27) 岩崎雄樹: [分担] (IV 章) 調律の異常 不整脈をどう読んでいくか 基本調律は何か P 波がない場合 (解説/特集). Electrocardiography A to Z (磯部光章, 奥村 謙, 清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整, 合屋雅彦, 山根禎一), 2015; pp156-157, 医学書院.
- 28) 岩崎雄樹: [分担] (IV 章) 調律の異常 不整脈をどう読んでいくか 基本調律は何か P 波がある場合 (解説/特集). Electrocardiography A to Z (磯部光章, 奥村 謙, 清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整, 合屋雅彦, 山根禎一), 2015; pp154-155, 医学書院.

- 29) 岩崎雄樹：〔分担〕(IV章) 調律の異常 不整脈をどう読んでいくか 不整脈基本解析のステップ (解説/特集). *Electrocardiography A to Z* (磯部光章, 奥村 謙, 清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整, 合屋雅彦, 山根禎一), 2015 ; pp150-153, 医学書院.
- 30) 岩崎雄樹：〔分担〕【集中治療における不整脈管理】心房細動・心房粗動・心房頻拍. *ICUとCCU*, 2015 ; pp507-514, 医学図書出版.
- 31) 萩原かな子：〔分担〕(IV章) 調律の異常 不整脈をどう読んでいくか 心拍数が50拍/分未満の場合 (解説/特集). *Electrocardiography A to Z* (磯部光章, 奥村 謙, 清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整, 合屋雅彦, 山根禎一), 2015 ; pp162-165, 医学書院.
- 32) 萩原かな子：〔分担〕(IV章) 調律の異常 不整脈をどう読んでいくか 心拍数が100拍/分以上の場合 wide QRS 頻拍の鑑別診断 (解説/特集). *Electrocardiography A to Z* (磯部光章, 奥村 謙, 清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整, 合屋雅彦, 山根禎一), 2015 ; pp166-167, 医学書院.
- 33) 萩原かな子：〔分担〕(IV章) 調律の異常 不整脈をどう読んでいくか 心拍数が100拍/分以上の場合 narrow QRS 頻拍の鑑別診断 (解説/特集). *Electrocardiography A to Z* (磯部光章, 奥村 謙, 清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整, 合屋雅彦, 山根禎一), 2015 ; pp170-171, 医学書院.
- 34) 萩原かな子：〔分担〕(IV章) 調律の異常 不整脈をどう読んでいくか 植え込みデバイスのリズムをどう読んでいくか (解説/特集). *Electrocardiography A to Z* (磯部光章, 奥村 謙, 清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整, 合屋雅彦, 山根禎一), 2015 ; pp172-173, 医学書院.
- 35) 山本 剛¹⁾, 宮本正章⁽¹⁾ 心臓血管集中治療科)：〔分担〕深部静脈血栓症/肺血栓症. *ER・ICUでの薬の使い方 Q & A 2016'17* (岡元和文), 2015 ; pp209-216, 総合医学社.
- 36) 萩原かな子：〔分担〕肥大型心筋症に合併した僧帽弁輪起源の心房頻拍の1例. *心臓*, 2015 ; pp85-91, 日本心臓財団.
- 37) 清水 渉：〔分担〕4. 循環器疾患 QT延長症候群. 今日の治療指針 (金澤一郎, 永井良三), 2015 ; pp919-922, 医学書院.
- 38) 岩崎雄樹：〔分担〕抗不整脈薬. *Pocket Drugs 2016*, 2016 ; 医学書院.
- 39) 高橋健太, 岩崎雄樹, 清水 渉：〔分担〕2 不整脈. 診療ガイドライン UP-TO-DATE (門脇 孝, 小室一成, 宮地良樹), 2016 ; pp123-129, メディカルレビュー社.
- 40) 岩崎雄樹：〔分担〕早期興奮症候群 (WPW 症候群). 循環器疾患最新の治療 2016-2017 (堀正二, 永井良三, 伊藤 浩), 2016 ; pp359-363, 南江堂.
- 41) 岩崎雄樹, 清水 渉：〔分担〕9. 早期興奮症候群 (WPW 症候群) X. 不整脈. 循環器疾患 最新の治療 2016-2017 (堀 正二, 永井良三, 伊藤 浩), 2016 ; pp359-363, 南江堂.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 小宮山英徳¹⁾, 高野雅充¹⁾, 澤谷倫史¹⁾, 松下誠人¹⁾, 栗原 理¹⁾, 加藤活人¹⁾, 宗像 亮¹⁾, 村上大介¹⁾, 大場崇芳¹⁾, 清野精彦¹⁾, 水野杏一²⁾, 清水 渉, その他2名⁽¹⁾ 千葉北総病院, ⁽²⁾ 三越厚生事業団)：5年経過したCobalt Chrome EES内のNeoatherosclerosisを血管内視鏡で観察しえた症例. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (大阪), 2015. 9.
- 2) 植竹俊介¹⁾, 丸山光紀¹⁾, 山本哲平¹⁾, 畑 典武¹⁾, 清野精彦¹⁾, 清水 渉, その他2名⁽¹⁾ 千葉北総病院)：持続性の安定した心房頻拍と房室結節リエントリー頻拍が同時に発生し診断に苦慮した1例. *カテーテルアブレーション関連秋季大会 2015* (福島), 2015. 10.

(2) シンポジウム：

- 1) Iwasaki Y : Novel risk factors in atrial fibrillation Obesity, sleep apnea and AF. *APHRS 2015* (Melborne, Australia), 2015. 11.
- 2) Iwasaki Y, Sekiguchi A¹⁾, Hayami N²⁾, Yamashita T¹⁾, Shimizu W⁽¹⁾ The Cardiovascular Institute, ⁽²⁾ Teikyo University School of Medicine) : Role of PGDF/VEGF Interaction on Atrial Arrhythmogenic Pulmonary Vein Specific Endocardial Fibrosis in Hypertension. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 3) Kuroda Y¹⁾, Yuasa S²⁾, Watanabe Y³⁾, Hattori T⁴⁾, Ohno S⁴⁾, Egashira T²⁾, Seki T²⁾, Okata S⁵⁾, Tanaka A⁶⁾, Aizawa Y²⁾, Suzuki T¹⁾, Murata M²⁾, Aiba T⁷⁾, Makita N⁸⁾, Furukawa T⁵⁾, et al. ⁽¹⁾ Nagoya University, ⁽²⁾ Keio University School of Medicine, ⁽³⁾ Hamamatsu University School of Medicine, ⁽⁴⁾ Shiga University of Medical Science, ⁽⁵⁾ Tokyo Medical and Dental University, ⁽⁶⁾ Saga University, ⁽⁷⁾ National Cerebral and Cardiovascular Center, ⁽⁸⁾ Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences) : Disease Modeling of Long-QT Syndrome Type 7 Using Patient-specific iPSCs. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 4) Tetsuo-Tsukada Y, Murai K, Yashima M, Asai K, Shimizu W : Proposal of a Support System for Primary Care Physicians for Managing Elderly Patients with Chronic Heart Failure. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 5) Aoyama R, Takano H, Kobayashi Y¹⁾, Kitamura M, Asai K, Kumita S¹⁾, Shimizu W⁽¹⁾ Radiology) : Clinical Implication of Myocardial Glucose Metabolism in Patients with Hypertrophic Cardiomyopathy Assessed by 18F-FDG-PET. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.

- 6) Ishibashi K¹⁾, Aiba T¹⁾, Sakaguchi H¹⁾, Miyazaki A¹⁾, Kamiya C¹⁾, Yamauchi T²⁾, Ito H³⁾, Ohno S³⁾, Motomura H⁴⁾, Ogawa T⁵⁾, Goto H⁶⁾, Watanabe H⁷⁾, Yoshimatsu J¹⁾, Kamakura S¹⁾, Miyamoto Y¹⁾ (1) National Cerebral and Cardiovascular Center, 2) Ehime University, 3) National Cerebral and Cardiovascular Center, 4) Nagasaki University, 5) Shiga University of Medical Science, 6) Nagasaki University, 7) Hyogo Children's Hospital) : Pregnancy in the Congenital Long-QT Syndrome : Efficacy and Safety of Beta-Blocker Therapy for Prevention of Lethal Ventricular Arrhythmias. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 7) Miyauchi M¹⁾, Miyauchi Y, Yasuda S¹⁾, Miyatake Y¹⁾, Atarashi H²⁾, Shimizu W, Hayakawa H¹⁾ (1) Yotsuya Medical Cube, 2) Tama Nagayama Hospital) : Role of FDG-PET/CT in Patients with Atrial Fibrillation. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 8) Takano H, Katoh K, Nakamura S, Fukuizumi I, Yamamoto T¹⁾, Shimizu W (1) Cardiovascular Intensive Care) : Cost-effectiveness Analysis of Percutaneous Coronary Intervention in Patients Complicated with Atrial Fibrillation. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 9) Iwasaki Y, Yamashita T¹⁾, Sekiguchi A¹⁾, Shimizu W (1) The Cardiovascular Institute) : Effects of Aging and Hypertension on Antithrombotic Function of Atrial Endocardium in Atrial Tachy-paced Rat model. 日本不整脈学会学術大会 (第 30 回) (京都), 2015. 7.
- 10) Iwasaki Y : Pathophysiological Mechanisms on the Relationship Between Autonomic Nervous System and Arrhythmia in Obstructive Sleep Apnea Syndrome. 日本不整脈学会学術大会 (第 30 回) (京都), 2015. 7.
- 11) 齋藤恒徳¹⁾, 浅井邦也, 乾 恵輔, 佐藤 茂²⁾, 高野仁司, 水野杏一, 清水 渉 (1) 多摩永山病院, 2) 東京電子顕微鏡相談室) : Prognostic Utility of Ultrastructural Features and Autophagy in Cardiomyocytes for Early Dilated Cardiomyopathy. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 12) 高木 元, 桐木園子, 久保田芳明, 手塚晶人, 太良修平, 羽田朋人, 高木郁代, 宮本正章, 清水 渉 : DDS 徐放化多血小板血漿 (PRP) による血管組織再生医療. 日本下肢救済・足病学会学術集会 (第 7 回) (横浜), 2015. 7.
- 13) 林 明聡, 村田広茂 : 集中治療室における不整脈非薬物治療の役割 : 心不全急性期の難治性心室性不整脈に対するカテーテルアブレーション. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (第 24 回) (東京), 2015. 8.
- 14) 林 明聡, 清水 渉 : カテコラミン誘発多形性心室頻拍の遺伝子解析. 日本心臓病学会学術集会 (第 63 回) (横浜), 2015. 9.
- 15) 久保田芳明, 浅井邦也, 吉永 綾, 泉 佑樹, 村井綱兄, 時田祐吉, 吉川雅智, 塚田弥生, 清水 渉 : COPD 合併心不全患者における治療戦略. 日本心臓病学会学術集会 (第 63 回) (横浜), 2015. 9.
- 16) 石原嗣郎¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 石田洋子¹⁾, 清水 渉 (1) 武蔵小杉病院) : 当院における心不全チームの現状. 日本心不全学会学術集会 (第 19 回) (大阪), 2015. 10.
- 17) 高木 元, 宮本正章, 太良修平, 桐木園子, 久保田芳明, 手塚晶人, 羽田朋人, 高木郁代, 清水 渉 : 難治性下肢潰瘍に対する組織工学を応用した血管再生治療. 日本フットケア学会年次学術集会 (第 14 回) (神戸), 2016. 2.
- 18) 太良修平, 杉浦唯久¹⁾, 黒部裕嗣²⁾, 清水 渉, クリストファー・ブリューアー¹⁾, 新岡俊治¹⁾ (1) Nationwide Children's Hospital, 2) 徳島大学大学院医歯 ; 薬学研究部) : In-situ Vascular Regeneration of Cell-free Bioresorbable Arterial Graft. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 19) 山本 剛¹⁾, 鈴木啓士¹⁾, 高木郁代, 古瀬領人¹⁾, 黄 俊憲¹⁾, 三軒豪仁¹⁾, 林 洋史¹⁾, 細川雄亮¹⁾, 坪 宏一¹⁾, 清水 渉 (1) 心臓血管集中治療科) : A New Paradigm Shift in Antithrombotic Therapy for Venous Thromboembolism. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 20) 高野仁司, 小林靖弘¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾, 清水 渉 (1) 放射線科) : Noninvasive Assessment of Inflammatory Response after Coronary Stenting by 18FFluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 21) 高木 元, 宮本正章, 桐木園子, 久保田芳明, 福嶋善光¹⁾, 太良修平, 羽田朋人, 高木郁代, 橋本英伸¹⁾, 清水 渉 (1) 放射線科) : Working Towards Ready-to-use Cell Therapy : A Clinical Diagnostic Approach and Therapeutic Angiogenesis in Polyvascular Disease. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 22) 齋藤恒徳, 清水 渉 : Myocarditis and Cardiovascular Pathology. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- (3) パネルディスカッション :
- 1) 杉山理恵, 高木 元, 三原恵理 : 当院の NST 活動報告. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- (4) 一般講演 :
- 1) Arao M¹⁾, Shimizu W (1) Tokyo Metropolitan Matsuzawa Hospital) : Relationship between diastolic stiffness assessed by diastolic wall strain and cardiac toxicity from trastuzumab. HFA2015 (SPAIN), 2015. 5.
- 2) Aiba T¹⁾, Ono M¹⁾, Toyoda F¹⁾, Ishibashi K¹⁾, Miyamoto Y¹⁾, Sekine A¹⁾, Kusano K¹⁾, Matsuura H¹⁾, Tanaka T¹⁾, Shimizu W (1) Department of Cardiovascular Medicine National Cerebral and Cardiovascular Center) : A novel KCNJ3 mutation as a

- susceptibility for ventricular arrhythmias in long-QT syndrome. ESC Congress (London.U.K.), 2015. 8.
- 3) Arao M¹, Shimizu W (¹ Tokyo Metropolitan Matsuzawa Hospital) : Relationship between diastolic stiffness assessed by diastolic wall strain and cardiac toxicity from anticancer agents. ESC2015 (London), 2015. 8.
 - 4) Ogano M¹, Iwasaki Y, Tanabe J¹, Yodogawa K, Hayashi M, Miyauchi Y, Shimizu W (¹ Shizuoka Medical Center) : Importance of time-course assessment of left ventricular end-systolic volume to identify durable cardiac resynchronization therapy responders. ESC Congress (London.U.K.), 2015. 8.
 - 5) Suzuki K¹, Kubota Y, Chinen D, Nakamura Y, Sangen H¹, Inui K, Aoyama R, Nakamura S, Murai K, Kato K, Takano H, Asai K, Shimizu W (¹ Cardiovascular Intensive Care) : Coronary Plaque Characteristics in Patients Impaired Glucose Tolerance : A Multiple Vessel Optical Coherence Tomography study. ESC2015 (London), 2015. 8.
 - 6) Kurihara O¹, Takano M¹, Munakata R¹, Murakami D¹, Okamatsu K¹, Ohba T¹, Seino Y¹, Snimizu W, Mizuno K², et al. (¹ Chiba Hokusou Hospital, ² Mitsukoshi Health and Welfare Foundation) : Effect of Statin Therapy in Pre-diabetic Status Evaluated by Coronary Angioscopy. CCC2016 (Toronto), 2015. 10.
 - 7) Fujimoto Y : Does three months blanking period also exist after the second session of atrial fibrillation ablation?. AHA (Orlando), 2015. 11.
 - 8) Ogano M¹, Iwasaki Y, Tanabe J¹, Yodogawa K, Hayashi M, Miyauchi Y, Shimizu W (¹ Shizuoka Medical Center) : Importance of durable reverse left ventricular remodeling by cardiac resynchronization therapy for prevention of ventricular tachyarrhythmia in patients with heart failure. APHRS 2015 (Melborne, Australia), 2015. 11.
 - 9) Oka E : Right Atrial Isolation Caused by Fibrosis Resulted in Atrioventricular Block, Increase of Right Ventricular Pacing Which Induced Left Ventricular Dyssynchrony and Retrograde Left Atrial Contraction After Ventricular Pacing, and Development of Congestive Heart Failure in A Patient With DDD Pacemaker for Sick Sinus Syndrome. APHRS 2015 (Melborne, Australia), 2015. 11.
 - 10) Kirinoki-Ichikawa S, Miyamoto M, Takagi G, Kubota Y, Tezuka A, Iimura T, Ogawa R, Shimizu W : Limb Salvage Achievement by Maggot Debridement Therapy (MDT) : The Analysis of 164 Patients with Chronic Refractory Foot Gangrene. 7th AASD Scientific Meeting (Hong Kong), 2015. 11.
 - 11) Suzuki K¹, Takano H, Tanita A, Sangen H¹, Nakamura Y, Inui K, Kubota Y, Aoyama R, Nakamura S, Tara S, Murai K, Tokita Y, Asai K, Shimizu W (¹ Cardiovascular Intensive Care) : Coronary characteristic in Patients with Impaired Glucose Tolerance. AHA (Orlando), 2015. 11.
 - 12) Ko T¹, Takahashi Y¹, Hada T¹, Matsuda J¹, Sato T¹, Takano H, Shimizu W (¹ The Fraternity Memorial Hospital) : Successful Percutaneous Fogarty Catheter Embolectomy in a Patient with Recurrent Acute Limb Ischemia. Linc Asia Pacific 2016 (香港), 2016. 3.
 - 13) Hayashi M, Shimizu W : Clinical Use of Three Novel Oral Anticoagulants in a Japanese University Hospital : Focusing on the Patient Backgrounds and Drug Efficacy. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
 - 14) Seino Y¹, Inami T¹, Munakata R¹, Shimura T¹, Uchiyama S¹, Maruyama M¹, Takano M¹, Ohba T¹, Shimizu W (¹ Chiba Hokusoh Hospital) : SAS-CHSARC Network : The Chiba-Hokusoh Sleep Apnea Regional Collaborative (CHSARC) Network for the Earlier Diagnosis and Treatment of Sleep Apnea Syndrome. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
 - 15) Ishihara M¹, Nakano K², Ozaki Y³, Kimura K⁴, Suwa S⁵, Fujimoto K⁶, Nakama Y⁷, Morita T⁸, Shimizu W, Saito Y⁹, Tsujita K¹⁰, Noguchi T, Ogawa H (¹ Hyogo College of Medicine, ² Saiseikai Kumamoto Hospital Cardiovascular Center, ³ Fujita Health University Hospital, ⁴ Yokohama City University Medical Center, ⁵ Juntendo University Shizuoka Hospital, ⁶ National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, ⁷ Hiroshima City Hospital, ⁸ Osaka General Medical Center, ⁹ Nara Medical University, ¹⁰ and others) : Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET). 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
 - 16) Kohashi K¹, Nakagomi A¹, Morisawa T¹, Kosugi M¹, Endoh I¹, Kusama Y¹, Atarashi H¹, Shimizu W (¹ Tama Nagayama Hospital) : Effects of Eicosapentaenoic Acid on the Myeloperoxidase, Cardiac Function and Long-term Prognosis in Patients with Chronic Heart Failure. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
 - 17) Takagi G, Miyamoto M, Kirinoki S, Kubota Y, Tezuka A, Tara S, Hada T, Takagi I, Shimizu W : Low Basal Energy Expenditure Regulates Poor Outcome in Patients with Critical Limb Ischemia. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
 - 18) Aiba T¹, Makimoto H¹, Makiyama T², Watanabe H³, Hayashi K⁴, Nakano Y⁵, Morita H⁶, Aonuma K⁷, Hagiwara N⁸, Fukuda K⁹, Yoshinaga M¹⁰, Horigome H⁷, Sumitomo N, Tanaka T, Sekine A¹ (¹ National Cerebral and Cardiovascular Center, ² Kyoto University, ³ Niigata University, ⁴ Kanazawa University, ⁵ Hiroshima University, ⁶ Okayama University, ⁷ Tsukuba University, ⁸ Tokyo Woman's Medial University, ⁹ Keio University, ¹⁰ and others) : Diverse Gender Difference of

- Arrhythmic Risk in Patients with Congenital Long QT Syndrome : From Japanese Congenital LQTS Multicenter Registry. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 19) Igawa O¹⁾, Murata H¹⁾, Ino T¹⁾, Kusama Y¹⁾, Adachi M²⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Tama Nagayama Hospital, ²⁾ Sanin Rosai Hospital) : Notable Muscle Structure in Mitral Isthmus : Important Anatomical Finding Related to Catheter Ablation. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 20) Murai K, Sato N¹⁾, Munakata R²⁾, Asai K, Minami Y³⁾, Mizuno M³⁾, Keida T⁴⁾, Kajimoto K⁵⁾, Sakata Y⁶⁾, Shimizu W, Takano T (¹⁾ Musashi Kosugi Hospital, ²⁾ Chiba Hokusoh Hospital, ³⁾ Tokyo Women's Medical University, ⁴⁾ Edogawa Hospital, ⁵⁾ Touwa Hospital, ⁶⁾ Osaka University) : Differences according to Systolic Blood Pressure of Clinical Impact of Cool Extremities on In-hospital Mortality in Acute Heart Failure Syndromes. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 21) Okamura H¹⁾, Kamakura T¹⁾, Morita H²⁾, Tokioka K²⁾, Nakajima I¹⁾, Wada M¹⁾, Ishibashi K¹⁾, Miyamoto K¹⁾, Noda T¹⁾, Aiba T¹⁾, Nishii N²⁾, Nagase S²⁾, Shimizu W, Yasuda S¹⁾, Ogawa H¹⁾ (¹⁾ National Cerebral and Cardiovascular Center, ²⁾ Okayama University) : Risk Stratification in Patients with Brugada Syndrome without Previous Cardiac Arrest : Prognostic Value of Combined Risk Factors Hideo Okamura. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 22) Igawa O¹⁾, Murata H¹⁾, Ino T¹⁾, Kusama Y¹⁾, Adachi M²⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Tama Nagayama Hospital, ²⁾ Sanin Rosai Hospital) : Fibrous Bridge in Right Atrial Appendage : Important Anatomical Finding Related to Catheter Manipulation. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 23) Okamura H¹⁾, Kamakura T¹⁾, Morita H²⁾, Tokioka K²⁾, Nakajima I¹⁾, Wada M¹⁾, Ishibashi K¹⁾, Miyamoto K¹⁾, Noda T¹⁾, Aiba T¹⁾, Nishii N²⁾, Nagase S²⁾, Shimizu W, Yasuda S¹⁾, Ogawa H¹⁾ (¹⁾ National Cerebral and Cardiovascular Center, ²⁾ Okayama University) : Validation of the Japanese Guideline 2011 for ICD Implantation in Patients with Brugada Syndrome without Previous Cardiac Arrest. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 24) Igawa O¹⁾, Murata H¹⁾, Ino T¹⁾, Kusama Y¹⁾, Adachi M²⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Tama Nagayama Hospital, ²⁾ Sanin Rosai Hospital) : Translucent Area in RA : Important Anatomical Finding Related to Catheter Manipulation. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 25) Kosugi M¹⁾, Nakagomi A¹⁾, Goda H¹⁾, Nakano H¹⁾, Saitoh T¹⁾, Nozaki A¹⁾, Hara C¹⁾, Moresawa T¹⁾, Kohashi K¹⁾, Kodani E¹⁾, Kusama Y¹⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Tama Nagayama Hospital) : Impact of Inflammation on the Long-Term Prognosis in Patients with Microvascular Angina. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 26) Igawa O¹⁾, Murata H¹⁾, Ino T¹⁾, Kusama Y¹⁾, Adachi M²⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Tama Nagayama Hospital, ²⁾ Sanin Rosai Hospital) : Myocardium Surrounding Left-coronary Aortic Sinus : Important Anatomical Information Related to Catheter Ablation of Ventricular Tachyarrhythmias. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 27) Saitoh T, Asai K, Sato S¹⁾, Takano H, Mizuno K, Shimizu W (¹⁾ Central Electron Microscopic Institute) : Autophagy in Left Ventricular Cardiomyocytes Predict the Recovery of Cardiac Function in Early Dilated Cardiomyopathy. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 28) Sangen H, Takano H, Nishigoori S, Ooyama R, Chinen D, Nakamura Y, Aoyama R, Kubota Y, Inui K, Nakamura S, Murai K, Katoh K, Asai K, Fukuma N, Shimizu W : Relationship between Twenty-Four Hour Ambulatory Blood Pressure Monitoring Pattern and Plaque Characteristics in Patients with Coronary Artery Disease. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 29) Tanita A, Nakamura S, Komiyama H, Murai K, Katoh K, Inami S¹⁾, Takano H, Mizuno K, Shimizu W (¹⁾ International University of Health and Welfare Mita Hospital) : The Impact of Holesterol Crystals for the Coronary Slow Flow Phenomenon during Percutaneous Coronary Intervention. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 30) Ogano M¹⁾, Iwasaki Y, Tanabe J¹⁾, Yodogawa K, Hayashi M, Miyauchi Y, Shimizu W (¹⁾ Shizuoka Medical Center) : Relationship between Left Ventricular Septal Coronary Hypoperfusion and LV Dysfunction in the Patient with Permanent Right Ventricular Pacing. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 31) Nakagomi A¹⁾, Noma S¹⁾, Morisawa T¹⁾, Kohashi K¹⁾, Kosugi M¹⁾, Murata H¹⁾, Endoh I¹⁾, Kusama Y¹⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Tama Nagayama Hospital) : Differential Effects of Atorvastatin and Pitavastatin on the Monocyte Tissue Factor Activity and Progression of Carotid Atherosclerosis in Hypercholesterolemic Patients. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 32) Inui K, Asai K, Kubota Y, Nakamura S, Murai K, Katoh K, Takano H, Tetsuo-Tsukada Y, Shimizu W : Prognostic Value of Extracellular Volume Fraction in Non-ischemic Heart Failure Patients. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 33) Inui K, Asai K, Saitoh T¹⁾, Kubota Y, Nakamura S, Murai K, Takano H, Tetsuo-Tsukada Y, Shimizu W (¹⁾ Tama Nagayama Hospital) : T1 Mapping in Nonischemic Cardiomyopathy at Cardiac Magnetic Resonance : Comparison with Endomyocardial

- Biopsy. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 34) Nakamura Y, Nakamura S, Nishigoori S, Oyama R, Chinen D, Sangen H, Aoyama R, Kubota Y, Inui K, Murai K, Katoh K, Takano H, Asai K, Shimizu W : Relationship between Sleep-disordered Breathing and Systemic Atherosclerosis : Cross Sectional Study. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 35) Nakagomi A¹⁾, Noma S¹⁾, Morisawa T¹⁾, Kohashi K¹⁾, Kosugi M¹⁾, Endoh I¹⁾, Kusama Y¹⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (1) Tama Nagayama Hospital) : The Nutritional Status is Significantly Associated with Inflammation and Predicts Poor Outcomes in Patients with Chronic Heart Failure. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 36) Morisawa T¹⁾, Nakagomi A¹⁾, Kohashi K¹⁾, Kosugi M¹⁾, Endoh I¹⁾, Kusana Y¹⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (1) Tama Nagayama Hospital) : Elevated Osteoprotegerin is Associated with Endothelial Dysfunction and Predicts Early Carotid Atherosclerosis in Patients with Coronary Artery Disease. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 37) Murata H¹⁾, Miyauchi Y, Takayama M²⁾, Hayashi M, Iwasaki Y, Yodogawa K, Kosugi M¹⁾, Kodani E¹⁾, Nakagomi A¹⁾, Kitamura M, Takano H, Igawa O¹⁾, Kusama Y¹⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (1) Tama Nagayama Hospital, 2) Sakakibara Memorial Hospital) : Long-term Survival and Incidences of Non-fatal Ventricular Tachycardia and Sudden Cardiac Death after Alcohol Septal Ablation for Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 38) Hayashi M, Miyauchi Y, Iwasaki Y, Fujimoto Y, Oka E, Ito K, Takahashi K, Tsuboi I, Hayashi H, Yodogawa K, Shimizu W : Incidence, Mechanisms, and Implications of Atrial Tachycardia Following Catheter Ablation of Atrial Fibrillation : A Prospective Cohort Study. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 39) Omori I, Iwasaki Y, Fujimoto Y, Ito K, Oka E, Takahashi K, Hayashi H, Tsuboi I, Yodogawa K, Hayashi M, Miyauchi Y, Shimizu W : Electrocardiographic Characterization in the Patients with Persistent Left Superior Vena Cava. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 40) Shimoura R¹⁾, Kobayashi N¹⁾, Hata N¹⁾, Okazaki H¹⁾, Tsurumi M¹⁾, Tomita K¹⁾, Shinada T¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimizu W (1) Chiba Hokusoh Hospital) : Coronary artery aneurysm formation in the early stage after stent implantation. 日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (第 24 回) (福岡), 2015. 7.
- 41) Ogano M¹⁾, Iwasaki Y, Tanabe J¹⁾, Yodogawa K, Hayashi M, Miyauchi Y, Shimizu W (1) Shizuoka Medical Center) : Restoration of ventricular septal hypoperfusion by cardiac resynchronization therapy in patients with permanent right ventricular pacing. 第 30 回日本不整脈学会/第 32 回日本心電学会合同学術集会 (第 30 回/第 32 回) (京都), 2015. 7.
- 42) Murakamo D¹⁾, Takano M¹⁾, Shimira T¹⁾, Kurihara O¹⁾, Komiyama H¹⁾, Munakata R¹⁾, Ohba T¹⁾, Seino Y¹⁾, Mizuno K²⁾, Shimizu W (1) Chiba Hokusoh Hospital, 2) Mitsukoshi Health and Welfare Foundation) : Six-Month Follow-Up Evaluation about Endothelial dysfunction after Everolimus-Eluting Stent Implantation in Comparison with Use of ACE-I or ARB. 日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (第 24 回) (福岡), 2015. 7.
- 43) Hagiwara-Ito K, Iwasaki Y, Fujimoto Y, Oka E, Takahashi K, Tsuboi I, Yodagawa K, Hayashi M, Miyauchi Y, Shimizu W : Importance of Conduction Velocity Slowing Induced by Sodium Channel Blockade and Enhanced Atrioventricular Conduction during atrial flutter for the development of spontaneous 1 to 1 atrioventricular conduction. 日本不整脈学会学術大会 (第 30 回) (京都), 2015. 7.
- 44) Hosokawa Y¹⁾, Takano H, Suzuki K¹⁾, Furuse E¹⁾, Ko T¹⁾, Sangen H¹⁾, Inui K, Kubota Y, Aoyama R, Kitamura M, Tara S, Tokita Y, Yamamoto T¹⁾, Asai K, Shimizu W, et al. (1) Cardiovascular Intensive Care) : A case of Rotablator in STEMI with very advanced age. CCT 2015 (神戸), 2015. 10.
- 45) Ko T¹⁾, Takahashi Y¹⁾, Hada T¹⁾, Matsuda J¹⁾, Sato T¹⁾, Shimizu W (1) The Fraternity Memorial Hospital) : Successful percutaneous thrombectomy of acute limb ischemia using a Fogarty adherent clot catheter. CCT 2015 (神戸), 2015. 10.
- 46) Matsushita M¹⁾, Takano M¹⁾, Hata N¹⁾, Sawatani T¹⁾, Kurihara O¹⁾, Komiyama H¹⁾, Murakami D¹⁾, Munakata R¹⁾, Kobayashi N¹⁾, Shimizu W (1) Chiba Hokusoh Hospital) : Antegrade puncture at superficial femoral artery (SFA) because of bilateral common femoral artery aneurysm for the treatment of CTO in distal SFA. Asia PCR / Sing LIVE 2016 (Singapore), 2016. 1.
- 47) Ishihara M¹⁾, Ogawa H²⁾, Nakao K³⁾, Yasuda S²⁾, Noguchi T²⁾, Ozaki Y⁴⁾, Kimura K⁵⁾, Suwa S⁶⁾, Fujimoto K⁷⁾, Nakama Y⁸⁾, Morita T⁹⁾, Shimizuu W, Saito Y¹⁰⁾, Hirohata A, Morita Y, et al. (1) Hyogo College of Medicine, 2) National Cerebral and Cardiovascular Center, 3) Kumamoto Hospital, 4) Fujita Helth University Hospital, 5) Yokohama City University Medical Center, 6) Juntendo University Shizuoka Hospital, 7) Kumamoto Medical Center, 8) Hiroshima City Hospital, 9) Osaka General Medical Center, 10) and others) : Impact of In-Hospital Onset on Mortality in Patients with ST-elevation Myocardial Infarction : A Sub-Analysis of J-MINUET Study. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 48) Yodogawa K, Seino Y¹⁾, Iwasaki Y, Hayashi M, Takano H, Miyauchi Y, Asai K, Shimizu W (1) Chiba Hokusoh Hospital) : Steroid Induced Diabetes in Patients with Cardiac Sarcoidosis. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.

- 49) Hayashi H¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Akutsu K¹⁾, Iwasaki Y, Hosokawa Y¹⁾, Sangen H¹⁾, Ko T¹⁾, Suzuki K¹⁾, Furuse E¹⁾, Shimizu W (¹ Cardiovascular Intensive Care Medicine) : Efficacy of Intravenous Amiodarone for Tachycardiac Atrial Fibrillation in Patients with Acute Decompensated Heart Failure. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 50) Fujimoto Y, Hayashi M, Oka E, Hagiwara K, Takahashi K, Tsuboi I, Hayashi H, Yodogawa K, Iwasaki Y, Miyauchi Y, Shimizu W : Does Three-month Blanking Period also Exist after the Second Session of Atrial Fibrillation Ablation?. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 51) Uetake S¹⁾, Maruyama M¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Katoh K¹⁾, Hata N¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimizu W (¹ Chiba Hokusoh Hospital) : Left Ventricular Stiffness Assessed is a Strong Determinant of the Prevalence of Paroxysmal Atrial Fibrillation in Structurally Normal Hearts. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 52) Takahashi N¹⁾, Sato N¹⁾, Hanaoka D¹⁾, Ishikawa M¹⁾, Ohkuma S¹⁾, Mitsuishi T¹⁾, Ishizuka A¹⁾, Shigihara S¹⁾, Takagi K¹⁾, Sone M¹⁾, Nakama K¹⁾, Tokuyama H¹⁾, Omote T¹⁾, Kikuchi A¹⁾, Ishihara S¹⁾, et al. (¹ Musashikosugi Hospital) : What is Contractile Dyssynchrony? : The Primitive Study of Contractile Dyssynchrony Assessed by Gated Single-photon Emission Computed Tomography. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 53) Tokuyama H¹⁾, Ishizuka A¹⁾, Shigihara S¹⁾, Takagi K¹⁾, Sone M¹⁾, Nakama K¹⁾, Onote T¹⁾, Kikuchi A¹⁾, Ishihara S¹⁾, Ishikawa M¹⁾, Amitani K¹⁾, Takahashi N¹⁾, Sato N¹⁾, Shimizu W (¹ Musashikosugi Hospital) : Screening of Worsening Renal Function in Acute Heart Failure by Urinary Liver-type Fatty Acid Binding Protein. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 54) 久保田芳明, 高野仁司, 小野寺健太, 鈴木啓士¹⁾, 中村有希, 三軒豪仁¹⁾, 乾 恵輔, 青山里恵, 太良修平, 時田祐吉, 山本 剛¹⁾, 哲翁 (塚田) 弥生, 浅井邦也, 清水 渉 (¹ 心臓血管集中治療科) : Incidence of Hypoglycemia in Coronary Artery Disease Patients Receiving No Antidiabetic Agents. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 55) Igawa O¹⁾, Murata H¹⁾, Kusama Y¹⁾, Adachi M¹⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (¹ Tama Nagayama Hospital) : Structural Specificity of Pectinate Muscles in Right Atrial Appendage, Japanese Fan like Alignment” : Notable Structure Related to Device Therapy. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 56) Igawa O¹⁾, Murata H¹⁾, Kusama Y¹⁾, Adachi M¹⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (¹ Tama Nagayama Hospital) : “Myocardial Bridge” between Anterior and Posterior Papillary Muscles : Possibility of Electrical Connection between Papillary Muscles. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 57) Tsuboi I, Hayashi M, Miyauchi Y, Iwasaki Y, Yodogawa K, Hayashi H, Takahashi K, Oka E, Hagiwara K, Fujimoto Y, Shimizu W : Feasibility and Safety of Twice Interruption of New Oral Anticoagulants with Unfractionated Heparin Bridging in Patients Undergoing Atrial Fibrillation Ablation. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 58) Igawa O¹⁾, Murata H¹⁾, Kusama Y¹⁾, Adachi M¹⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (¹ Tama Nagayama Hospital) : Notable Muscular Construction of Atrioventricular Septum : Important Structure Related to Catheter Manipulation. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 59) Atsumi Y, Takano H, Amano Y¹⁾, Kitamura M, Tsuboi I, Aoyama R, Miyakuni T, Onodera K, Sangen H, Kubota Y, Miyauchi Y, Asai K, Takayama M²⁾, Shimizu W (¹ Radiology, ²⁾ Sakakibara Heart Institute) : Relationship between the Sudden Cardiac Death 5-year Risk and Cardiac Magnetic Resonance in Hypertrophic Cardiomyopathy. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 60) Sangen H, Takano H, Kitamura M, Tsuboi I, Aoyama R, Miyakuni T, Onodera K, Kubota Y, Miyauchi Y, Asai K, Takayama M¹⁾, Shimizu W (¹ Sakakibara Heart Institute) : Comparison between Sudden Cardiac Death Risk Estimation and the Actual Event Rate in Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy after Alcohol Septal Ablation. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 61) Iwasaki Y, Fujimoto Y, Oka E, Hagiwara K, Takahashi K, Tsuboi I, Hayashi H, Yodogawa K, Hayashi M, Miyauchi Y, Shimizu W : Novel Esophageal Pressure Monitoring for the Management of Obstructive Apnea during Radiofrequency Catheter Ablation of Atrial Fibrillation. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 62) Hagiwara K, Iwasaki Y, Fujimoto Y, Oka E, Takahashi K, Tsuboi I, Hayashi H, Yodogawa K, Hayashi M, Miyauchi Y, Shimizu W : Unique Structural Substrate of Right Atrium in the Patient with Lone Typical Atrial Flutter. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 63) Morisawa T¹⁾, Nakagomi A¹⁾, Kohashi K¹⁾, Kosugi M¹⁾, Kusama Y¹⁾, Shimizu W (¹ Tama Nagayama Hospital) : Effect of Statin Pretreatment on Coronary Plaque Composition Using Virtual Histology Intravascular Ultrasound in Patients with Coronary Artery Disease. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 64) Kohashi K¹⁾, Nakagomi A¹⁾, Morisawa T¹⁾, Kosugi M¹⁾, Endoh I¹⁾, Kawaguchi N¹⁾, Kusama Y¹⁾, Shimizu W (¹ Tama

- Nagayama Hospital) : Impacts of Dipeptidyl Peptide-4 Inhibitors on the Inflammation, Cardiac Function and Long-term Prognosis of Chronic Heart Failure Patients with Diabetes. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 65) Nakagomi A¹⁾, Morisawa T¹⁾, Kohashi K¹⁾, Saiki Y¹⁾, Kosugi M¹⁾, Endoh I¹⁾, Kawaguchi N¹⁾, Endoh Y¹⁾, Kusama Y¹⁾, Shimizu W (1) Tama Nagayama Hospital) : Effects of Febuxostat and Allopurinol on the Inflammation and Cardiac Function in Chronic Heart Failure Patients with Hyperuricemia. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 66) Igawa O¹⁾, Murata H¹⁾, Kusama Y¹⁾, Adachi M¹⁾, Atarashi H¹⁾, Shimizu W (1) Tama Nagayama Hospital) : Anatomical Pitfall in 3D Mapping, "Right Ventricular Recess" : Unexpected Structure in Free Wall of Right Ventricular Outflow Tract. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 67) 清水 渉 : 遺伝性不整脈の現状と展望. 日本医学会総会 (第29回) (京都), 2015. 4.
- 68) 説田浩一¹⁾, 清野精彦²⁾, 清水 渉 (1) 都立駒込病院臨床検査科, 2) 千葉北総病院) : Appropriate Blood Pressure Control Suppresses Minor Myocardial Injury in Patients With Essential Hypertension. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 69) Kubota Y, Asai K, Chinen D, Yoshinaga A, Inui K, Nakamura S, Murai K, Yoshikawa M, Tetsuo-Tsukada Y, Hayashi H¹⁾, Saito Y¹⁾, Azuma A¹⁾, Gemma A¹⁾, Shimizu W (1) Respiratory Medicine) : Chronic Obstructive Pulmonary Disease Advances Left Ventricular Diastolic Dysfunction. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 70) Fukuma N, Onodera K, Koen M, Katoh Y, Takahashi H, Mabuchi K, Shimizu W : Alteration of Time Course of Obstructive Sleep Disordered Breathing by Excess Salt Intake in Patients after Acute Myocardial Infarction. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 71) Suzuki K, Kubota Y, Chinen D, Nakamura Y, Sangen H, Inui K, Aoyama R, Nakamura S, Murai K, Katoh K, Takagi G, Takano H, Asai K, Shimizu W : Coronary Plaque Characteristics in Patients Impaired Glucose Tolerance : A Multiple Vessel Optical Coherence Tomography Study. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 72) Yodogawa K, Seino Y¹⁾, Ohara T²⁾, Iwasaki Y, Hayashi M, Miyauchi Y, Shimizu W (1) Chiba Hokusoh Hospital, 2) General Medicine) : Prevalence and Prognostic Significance of Late Potentials in Patients with Pulmonary Sarcoidosis. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 73) Sugaya J¹⁾, Fukuma N, Kato M¹⁾, Koen M, Katoh K, Takahashi H, Honma H, Shimizu W (1) Physiological Examination Center) : Depression Leads to Increase in Cortisol Secretion as a Mineralocorticoid Hormone in Patients after Myocardial Infarction. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 74) Yoshinaga A, Iwasaki Y, Hayashi M, Yodogawa K, Miyauchi Y, Chinen D, Yoshikawa M, Honma H, Shimizu W : BNP Predicts Left Atrial Appendage Thrombus in the Patients with Persistent Atrial Fibrillation Scheduled Catheter Ablation under Optimal Anti-coagulation Therapy. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 75) Chinen D¹⁾, Nagai T¹⁾, Uemura K¹⁾, Aikawa Y¹⁾, Motokawa T¹⁾, Sugano Y¹⁾, Atsumi Y¹⁾, Ogo T¹⁾, Kanzaki H¹⁾, Noguchi T¹⁾, Anzai T¹⁾, Shimizu W, Ogawa H¹⁾, Sugimachi M¹⁾, Yasuda S¹⁾ (1) National Cerebral and Cardiovascular Center) : Clinical Validation of a Novel Echo-Doppler Decision Model to Predict Left Ventricular Filling Pressure in Patients with Heart Failure. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 76) Fukuma N, Onodera K, Koen M, Katoh K, Takahashi H, Mabuchi K, Fukuma Y, Shimizu W : Strict Low Salt Diet Activates Mineralocorticoid Receptor in Patients with Chronic Coronary Artery Disease. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 77) Murakami D¹⁾, Takano M¹⁾, Shimura T¹⁾, Kurihara O¹⁾, Mukakata R¹⁾, Ohba T¹⁾, Seino Y¹⁾, Mizuno K, Shimizu W (1) Chiba Hokusoh Hospital) : Combination of Several Calcium-channel-Blockers improves a Prognosis for the Patients of Refractory Vasospastic Angina with Appropriate Judgment of Drug Efficacy. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 78) Ito K, Iwasaki Y, Miyauchi Y, Hayashi M, Yodogawa K, Tsuboi I, Hayashi H, Takahashi K, Oka E, Fujimoto Y, Shimizu W : Clinical, Electrocardiographic and Echocardiographic Characteristics in the Patients with Common Atrial Flutter Associated with Documented Spontaneous 1 : 1 Atrioventricular Conduction. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 79) Tsuboi I, Miyauchi Y, Hayashi M, Iwasaki Y, Yodogawa K, Hayashi H, Takahashi K, Ito K, Oka E, Fujimoto Y, Shimizu W : A Validation Study of the 2014 European Society of Cardiology Risk Prediction Model for Sudden Death in Hypertrophic Cardiomyopathy Patients. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 80) Murakami D¹⁾, Takano M¹⁾, Shimura T¹⁾, Uetake S¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Munakata R¹⁾, Maruyama M¹⁾, Ohba T¹⁾, Seino Y¹⁾, Mizuno K, Shimizu W (1) Chiba Hokusoh Hospital) : No Need of Implantable Cardioverter-Defibrillator in Patients with a History of Fatal Ventricular Arrhythmia following Pure Refractory Vasospastic Angina. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 81) Kato M¹⁾, Fukuma N, Sugaya J¹⁾, Onodera K, Koen M, Katoh K, Katoh Y, Honma H, Shimizu W (1) Physiological Examination

- tion Center) : Time Course of Subtraction of Expiratory from Inspiratory Ventilation during Exercise as Index of Ventilatory Reserve in Heart Disease Patients. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 82) Arao M¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Tokyo Metropolitan Matsuzawa Hospital) : Relationship between Left Ventricular Mass Index and Cardiac Toxicity from Anticancer Agents. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 83) 野一色千景¹⁾, 小川 令¹⁾, 久保田芳明, 高木 元, 有馬樹里¹⁾, 赤石論史¹⁾, 百束比古¹⁾ (¹⁾ 形成外科) : ケロイドの若年発症における血管内皮機能の検討. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
- 84) 渋谷淳介¹⁾, 塩村玲子¹⁾, 岡崎大武¹⁾, 鶴見昌史¹⁾, 富田和憲¹⁾, 小林宣明¹⁾, 品田卓郎¹⁾, 畑 典武¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 千葉北総病院) : 上腸間膜動脈解離を併発し緊急経皮的血管形成術で救命し得た Stanford B 大動脈解離の 1 例. 日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会 (第 40 回) (京都), 2015. 5.
- 85) 久保田芳明, 加藤浩司, 谷田篤史, 鈴木啓士, 乾 恵輔, 中村俊一, 村井綱見, 高木 元, 高野仁司, 浅井邦也, 宮本正章, 清水 渉 : 耐糖能異常患者における冠動脈重症度病変スコア. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関), 2015. 5.
- 86) 岡英一郎, その他 2 名 : 左室心外膜側癥痕内の ectopy の進出ブロックによりアブレーションの効果判定ができた拡張型心筋症に伴う持続性心室頻拍の 1 例. 臨床心臓電気生理学研究会 (第 45 回) (東京), 2015. 5.
- 87) 鈴木啓士, 加藤浩司, 谷田篤史, 中村有希, 久保田芳明, 乾 恵輔, 中村俊一, 村井綱見, 高木 元, 高野仁司, 浅井邦也, 清水 渉 : 耐糖能異常患者における冠動脈プラークの特徴 : 光干渉断層法を用いた検討. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関), 2015. 5.
- 88) 青山里恵, 高野仁司, 北村光信, 浅井邦也, 高山守正, 清水 渉 : 高齢者 HOCM 患者での PTSMA の安全性と有効性の検討. 日本老年医学会学術集会 (第 57 回) (横浜), 2015. 6.
- 89) 板垣史朗, 鶴岡秀一, 金子朋宏, 高木 元, 久保田芳明, 大山 亮, 宮本正章, 桐木園子 : 血液透析患者に対しマゴット療法を施行した 1 例. 日本透析医学会学術集会 (第 60 回) (横浜), 2015. 6.
- 90) 藤本雄飛 : Does three months blanking period also exist after the second session of atrial fibrillation ablation?. 日本不整脈学会学術大会 (第 30 回) (京都), 2015. 7.
- 91) 青山里恵, 高野仁司, 高圓雅博, 久保田芳明, 乾 恵輔, 中村俊一, 村井綱見, 加藤浩司, 浅井邦也, 清水 渉 : The impact of blood pressure variability on the vulnerability of coronary plaque in stable angina : analysis from OCT. 日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (第 24 回) (福岡), 2015. 7.
- 92) 青山里恵, 高野仁司, 石山泰三, 坪光雄介, 藤本 肇, 武田和夫, 原田和昌 : The minor balloon rupture and the entrapment of IABP for cardiogenic shock of Vf storm. 日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (第 24 回) (福岡), 2015. 7.
- 93) 石川昌弘¹⁾, 高橋直人¹⁾, 花岡大資¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 橋和聡文¹⁾, 市川太郎¹⁾, 田島寛之¹⁾, 汲田伸一郎²⁾, 清水 渉 (¹⁾ 武蔵小杉病院, ²⁾ 放射線科) : 透析未導入の重症 CKD 患者における左室同期不全の検討. 日本核医学会関東甲信越地方会 (第 83 回) (東京), 2015. 7.
- 94) 徳山榮男¹⁾, 石塚淳史¹⁾, 嶋原祥太¹⁾, 高木宏治¹⁾, 曾根教子¹⁾, 中摩健二¹⁾, 菊池有史¹⁾, 石原嗣郎¹⁾, 石川昌弘¹⁾, 網谷賢一¹⁾, 高橋直人¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 武蔵小杉病院) : crosser で血管中心部の石灰化病変を debulking することで良好な拡張を得た浅大腿動脈病変. 日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (第 24 回) (福岡), 2015. 7.
- 95) 岡英一郎 : Differential Effectiveness of Landiolol among Tachycardiac Atrial Fibrillation and Atrial Tachycardia / Flutter in Patients with Left Ventricular Dysfunction. 日本不整脈学会学術大会 (第 30 回) (京都), 2015. 7.
- 96) 桐木園子, 宮本正章, 高木 元, 久保田芳明, 手塚晶人, 清水 渉 : 67Ga・citrate SPECT・CT 融合画像評価による骨髓炎の診断および評価法の検討. 日本核医学会関東甲信越地方会 (第 83 回) (東京), 2015. 7.
- 97) 岩崎雄樹 : Wearable Cardioverter Defibrillator (WCD The Current Status and Future Prospects in Japan. 日本不整脈学会学術大会 (第 30 回) (京都), 2015. 7.
- 98) 細川雄樹¹⁾, 山本 剛¹⁾, 古瀬領人¹⁾, 鈴木啓士¹⁾, 中村有希, 三軒豪仁¹⁾, 乾 恵輔, 久保田芳明, 吉真 孝¹⁾, 北村光信, 中村俊一, 宮地秀樹¹⁾, 吉川雅智, 加藤浩司, 坪 宏一, その他 4 名 (¹⁾ 心臓血管集中治療科) : The risk of bleeding in acute phase of ACS by Upfront prasugrel regimen. 日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (第 24 回) (福岡), 2015. 7.
- 99) 黄 俊憲¹⁾, 坪 宏一¹⁾, 細川雄亮¹⁾, 古瀬領人¹⁾, 西郡 卓¹⁾, 山本 剛¹⁾, 萩原かな子, 村井綱見, 小野澤志郎²⁾, 清水 渉 (¹⁾ 心臓血管集中治療科, ²⁾ 放射線科) : 急性 B 型大動脈解離に合併した腸管虚血及び虚血解除が腸管浮腫の出現と消退として明瞭に観察し得た 1 例. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (第 24 回) (東京), 2015. 8.
- 100) 青山里恵, 高野仁司, 小林靖弘¹⁾, 北村光信, 浅井邦也, 汲田伸一郎¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 放射線科) : Clinical implication of myocardial glucose metabolism in patients with hypertrophic cardiomyopathy assessed by 18F-FDG-PET. 日本心臓病学会学術集会 (第 63 回) (横浜), 2015. 9.
- 101) 川瀬 創, 乾 恵輔 : 敗血症から重篤な多臓器不全を来たし一時透析も要するも, 合併症が残存することなく回復した感染性心内膜炎の 1 例. 日本心臓病学会学術集会 (第 63 回) (横浜), 2015. 9.

- 102) 青山里恵, 高野仁司, 北村光信, 浅井邦也, 清水 渉 : HOCMへの staged PTsMA にて著明な圧較差の改善を認めた1例. Structure Club Japan 2015 (東京), 2015. 9.
- 103) 小杉宗範¹⁾, 中込明裕¹⁾, 森澤太郎¹⁾, 小橋啓一¹⁾, 村田広茂¹⁾, 小谷英太郎¹⁾, 川口直美¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 細根 勝¹⁾, 清水 渉¹⁾ (多摩永山病院) : 単冠動脈症に重症冠動脈病変を合併した虚血性心筋症の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第236回) (東京), 2015. 9.
- 104) 小杉宗範¹⁾, 中込明裕¹⁾, 合田浩紀¹⁾, 森澤太郎¹⁾, 小橋啓一¹⁾, 村田広茂¹⁾, 小谷英太郎¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 新 博次¹⁾, 清水 渉¹⁾ (多摩永山病院) : 微小血管狭心症患者において, 炎症は発症, 予後に深く関与する. 日本心臓病学会学術集会 (第63回) (横浜), 2015. 9.
- 105) 小橋啓一¹⁾, 中込明裕¹⁾, 森澤太郎¹⁾, 小杉宗範¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 新 博次¹⁾, 清水 渉¹⁾ (多摩永山病院) : 脂質異常症を有する慢性不全患者において, エイコサペンタエン酸酸化ストレスを抑制し, 心機能と長期予後を改善する. 日本心臓病学会学術集会 (第63回) (横浜), 2015. 9.
- 106) 鈴木啓士, 山本 剛, 小野寺健太, 西郡 卓, 大山 亮, 岡英一郎, 古瀬領人, 三軒豪仁, 林 洋史, 細川雄亮, 坪 宏一, 谷田篤史, 高木郁代, 清水 渉 : NOAC 登場後の急性静脈血栓症に対する抗凝固療法. 日本心臓病学会学術集会 (第63回) (横浜), 2015. 9.
- 107) 内山沙央里¹⁾, 澤谷倫史¹⁾, 志摩綾香¹⁾, 栗原 理¹⁾, 松下誠人¹⁾, 植竹俊介¹⁾, 小宮山英徳¹⁾, 山本哲平¹⁾, 加藤活人¹⁾, 宗像 亮¹⁾, 村上大介¹⁾, 丸山光紀¹⁾, 高野雅充¹⁾, 大場崇芳¹⁾, 畑 典武¹⁾, その他2名¹⁾ (千葉北総病院) : 肺炎球菌感染症を契機に発症した化膿性心膜炎の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第237回) (東京), 2015. 9.
- 108) 細川雄樹¹⁾, 山本 剛¹⁾, 古瀬領人¹⁾, 鈴木啓士¹⁾, 三軒豪仁¹⁾, 吉真 孝¹⁾, 北村光信, 宮地秀樹¹⁾, 坪 宏一¹⁾, 高野仁司, 浅井邦也, 清水 渉¹⁾ (心臓血管集中治療科) : 急性冠症候群へのプラスグレル冠動脈造影前投与が急性期出血に与える影響. 日本心臓病学会学術集会 (第63回) (横浜), 2015. 9.
- 109) 中野博之¹⁾, 中込明裕¹⁾, 森澤太郎¹⁾, 小橋啓一¹⁾, 村田広茂¹⁾, 小杉宗範¹⁾, 小谷英太郎¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 清水 渉¹⁾ (多摩永山病院) : 食欲不振と低Na血症を契機に発見された, 頭蓋内巨大脳動脈瘤の1例. 日本内科学会関東地方会 (第618回) (東京), 2015. 10.
- 110) 久保田芳明, 浅井邦也, 吉永 綾, 泉 佑樹, 村井綱兄, 時田祐吉, 吉川雅智, 塚田弥生, 清水 渉 : Efficacy and safety of SGLT-2 inhibitors in heart failure patients with diabetes mellitus. 日本心不全学会学術集会 (第19回) (大阪), 2015. 10.
- 111) 小鹿野道雄¹⁾, 田邊 潤¹⁾, 岩崎雄樹, 林 明聡, 宮内靖史, 清水 渉¹⁾ (静岡医療センター) : Narrow QRS で機械的交互脈を認めた患者に対してCRTが著効した1例. 植込みデバイス関連冬季大会 (第8回) (北九州), 2015. 11.
- 112) 桐木園子, 高木 元, 久保田芳明, 手塚晶人, 太良修平, 高木郁代, 清水 渉, 宮本正章 : 重症下肢虚血症例における第二種高気圧酸素療法の効果. 日本創傷治療学会 (第45回) (東京), 2015. 11.
- 113) 高木 元, 宮本正章, 桐木園子, 久保田芳明, 手塚晶人, 太良修平, 羽田朋人, 高木郁代, 清水 渉 : 脈管栄養学とその予後 : 閉塞性動脈硬化症における検討. 日本脈管学会総会 (第56回) (東京), 2015. 11.
- 114) 高木 元, 桐木園子, 久保田芳明, 手塚晶人, 太良修平, 羽田朋人, 高木郁代, 宮本正章, 清水 渉 : 重症下肢虚血症例における第二種高気圧酸素療法の効果. 日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 (第50回) (前橋), 2015. 11.
- 115) 古瀬領人¹⁾, 細川雄亮¹⁾, 山本 剛¹⁾, 鈴木啓士¹⁾, 黄 俊憲¹⁾, 三軒豪仁¹⁾, 林 洋史¹⁾, 坪 宏一¹⁾, 青山里恵, 時田祐吉, 高野仁司, 清水 渉, 川瀬康裕²⁾, 石井庸介²⁾, 新田 隆²⁾ (1) 心臓血管集中治療科, (2) 心臓血管外科) : 初療の経胸壁心エコーにて早期診断し得た, 前乳頭筋断裂を合併した後壁梗塞に伴う心原性ショックの1例. 日本冠疾患学会学術集会 (第29回) (札幌), 2015. 11.
- 116) 鈴木啓士¹⁾, 山本 剛¹⁾, 古瀬領人¹⁾, 三軒豪仁¹⁾, 林 洋史¹⁾, 細川雄亮¹⁾, 坪 宏一¹⁾, 高木郁代, 清水 渉¹⁾ (心臓血管集中治療科) : NOAC 登場後のVTE診療の変化. 肺塞栓症研究会 (第22回) (東京), 2015. 11.
- 117) 桐木-市川園子, 宮本正章, 高木 元, 久保田芳明, 太良修平, 橋野史彦, 阿川周平, 池田 剛, 岩切勝彦, 清水 渉 : 特発性間質性肺炎に合併した腸管嚢胞様気腫症に対して高気圧酸素治療が奏功した1例. 日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 (第50回) (前橋), 2015. 11.
- 118) 青山里恵 : 「教育」を考える : 自分, 子供, キャリアアップ. 日本循環器学会関東甲信越地方会男女共同参画フォーラム (第3回) (東京), 2015. 12.
- 119) 齋藤恒徳¹⁾, 田村浩一²⁾, 新田 隆³⁾, 清水 渉¹⁾ (多摩永山病院, ²⁾ 病理部, ³⁾ 心臓血管外科) : 弁膜症性心房細動における左心耳内血栓の形成機序. 心筋生検研究会 (第37回) (東京), 2015. 12.
- 120) 村田広茂¹⁾, 井川 修¹⁾, 小谷英太郎¹⁾, 小杉宗範¹⁾, 合田浩紀¹⁾, 田中貴久¹⁾, 齋藤恒徳¹⁾, 野崎文華¹⁾, 小橋啓一¹⁾, 森澤太郎¹⁾, 松崎 弦¹⁾, 岡崎玲子¹⁾, 遠藤育子¹⁾, 川口直美¹⁾, 中込明裕¹⁾, その他3名¹⁾ (多摩永山病院) : 咳嗽を契機に診断された呼吸周期依存性心房頻拍の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第238回) (東京), 2015. 12.
- 121) 藤本雄飛 : 心房細動に対する電氣的除細動後の再発をP波で予測可能か. 体表心臓微小電位研究会 (第26回) (東京), 2016. 2.
- 122) 西郡 卓¹⁾, 小林宣明¹⁾, 渋谷淳介¹⁾, 塩村玲子¹⁾, 鶴見昌史¹⁾, 品田卓郎¹⁾, 松本 尚¹⁾, 畑 典武¹⁾, 清水 渉¹⁾ (千葉北総病院) :

- 急性冠症候群におけるドクターヘリ搬送症例の臨床的特徴. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
- 123) 宗像 亮¹⁾, 栗原 理¹⁾, 岡崎大武¹⁾, 鶴見昌史¹⁾, 小林宣明¹⁾, 品田卓郎¹⁾, 高野雅充¹⁾, 畑 典武¹⁾, 清野精彦¹⁾, 清水 渉¹⁾ (千葉北総病院): 急性肺血栓塞栓症の予後と, 症状出現から治療までの時間についての検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
- 124) 曾根教子¹⁾, 高木宏治¹⁾, 徳山榮男¹⁾, 菊池有史¹⁾, 石川昌弘¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 清水 渉¹⁾ (武蔵小杉病院): Fin Graph を用いた指先採血による Na, K 濃度と静脈採血による Na, K 濃度の比較試験. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
- 125) 石原嗣郎¹⁾, 高木宏治¹⁾, 曾根教子¹⁾, 徳山榮男¹⁾, 菊池有史¹⁾, 石川昌弘¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 清水 渉¹⁾ (武蔵小杉病院): 心不全を繰り返すと機能は徐々に低下する. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
- 126) 高木宏治¹⁾, 曾根教子¹⁾, 徳山榮男¹⁾, 菊池有史¹⁾, 石原嗣郎¹⁾, 石川昌弘¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 清水 渉¹⁾ (武蔵小杉病院): 冠動脈解離の発症に冠攣縮が関与した急性心筋梗塞の1例. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
- 127) 齋藤恒徳¹⁾, 小谷英太郎¹⁾, 野崎文華¹⁾, 中野博之¹⁾, 合田浩紀¹⁾, 田中貴久¹⁾, 小橋啓一¹⁾, 森澤太一郎¹⁾, 村田広茂¹⁾, 小杉宗範¹⁾, 中込明裕¹⁾, 井川 修¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 新 博次¹⁾, 清水 渉¹⁾ (多摩永山病院): P-ANCA 陽性糸球体腎炎を合併した感染性心内膜炎の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第239回) (東京), 2016. 2.
- 128) 高木 元, 桐木園子, 日ノ澤進一郎, 杉山未緒, 本城和義, 永積 渉, 杉山理恵, 柿沼香里, 酒井仁士, 渡邊友起子, 三原恵理: 動脈硬化疾患の栄養リスクと予後検討. 日本静脈経腸栄養学会学術集会 (第31回) (福岡), 2016. 2.
- 129) 黄 俊憲¹⁾, 萩原かな子, 林 洋史¹⁾, 坪 宏一¹⁾, 山本 剛¹⁾, 岡本彬美²⁾, 杉原 仁²⁾, 五十嵐健人³⁾, 市場晋吾⁴⁾, 竹田晋浩⁴⁾, 清水 渉¹⁾ (心臓血管集中治療科, ²⁾ 糖尿病内分泌代謝内科, ³⁾ 内分泌外科, ⁴⁾ 外科系集中治療科): 褐色細胞腫の自然破裂により急激な血行動態の悪化を来したが, 集中管理により緊急手術を回避でき待機手術に成功した1例. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
- 130) 石原正浩¹⁾, 藤野雅史²⁾, 小川久雄²⁾, 中尾浩一³⁾, 安田 聡²⁾, 野口輝夫²⁾, 尾崎行男⁴⁾, 諏訪 哲⁵⁾, 藤本和輝⁶⁾, 中間泰晴⁷⁾, 森田孝⁸⁾, 清水 渉, 齋藤能彦⁹⁾, 廣畑 敦¹⁰⁾, 森田康弘, その他5名 (¹⁾ 兵庫医科大学, ²⁾ 国立循環器病研究センター, ³⁾ 熊本病院, ⁴⁾ 藤田保健衛生大学, ⁵⁾ 順天堂大学医学部附属静岡病院, ⁶⁾ 熊本医療センター, ⁷⁾ 広島市民病院, ⁸⁾ 大阪府立急性期・総合医療センター, ⁹⁾ 奈良県立医科大学, ¹⁰⁾ その他): Combined Impact of Chronic Kidney Disease and Acute Kidney Injury on In-hospital Mortality in Patients with Acute Myocardial Infarction. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 131) 小川久雄¹⁾, 新 博次²⁾, 井上 博³⁾, 内山真一郎⁴⁾, 北園孝成⁵⁾, 山下武志⁶⁾, 清水 渉, 海北幸一⁷⁾, 鴨打正浩⁸⁾, 福田浩二⁹⁾, 松井邦彦¹⁰⁾, 下川宏明 (¹⁾ 国立循環器病研究センター, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院, ³⁾ 富山病院, ⁴⁾ 国際医療福祉大学臨床医学研究センター, ⁵⁾ 九州大学大学院病態機能内科学, ⁶⁾ 心臓血管研究所, ⁷⁾ 熊本大学, ⁸⁾ 九州大学大学院医療経営・管理学, ⁹⁾ 東北大学大学院, ¹⁰⁾ その他): Effectiveness and Safety of Rivaroxaban in Patients with Non-Valvular Atrial Fibrillation: The Second Report from the EXPAND Study. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 132) 小川久雄¹⁾, 新 博次²⁾, 井上 博³⁾, 内山真一郎⁴⁾, 北園孝成⁵⁾, 清水 渉, 池田隆徳⁶⁾, 海北幸一⁷⁾, 鴨打正浩⁸⁾, 福田浩二⁹⁾, 松井邦彦¹⁰⁾, 下川宏明 (¹⁾ 国立循環器病研究センター, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院, ³⁾ 富山病院, ⁴⁾ 国際医療福祉大学臨床医学研究センター, ⁵⁾ 九州大学大学院病態機能内科学, ⁶⁾ 東邦大学, ⁷⁾ 熊本大学, ⁸⁾ 九州大学大学院医療経営・管理学, ⁹⁾ 東北大学大学院, ¹⁰⁾ その他): 心房細動に対する抗凝固療法の新たなエビデンス. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 133) 石原正浩¹⁾, 藤野雅史²⁾, 小川久雄²⁾, 中尾浩一³⁾, 安田 聡²⁾, 野口輝夫²⁾, 尾崎行男⁴⁾, 木村一雄⁵⁾, 諏訪 哲⁶⁾, 藤本和輝⁷⁾, 中間泰晴⁸⁾, 森田 孝⁹⁾, 清水 渉, 齋藤能彦¹⁰⁾, 廣畑 敦, その他5名 (¹⁾ 兵庫医科大学, ²⁾ 国立循環器病研究センター, ³⁾ 熊本病院, ⁴⁾ 藤田保健衛生大学, ⁵⁾ 横浜市立大学附属市民総合医療センター, ⁶⁾ 順天堂大学医学部附属静岡病院, ⁷⁾ 熊本医療センター, ⁸⁾ 広島市民病院, ⁹⁾ 大阪府立急性期・総合医療センター, ¹⁰⁾ その他): Frequency and Prognostic Impact of Intravascular Imaging-guided Urgent Percutaneous Coronary Intervention in Patients with Acute Myocardial Infarction: Results from J-MINUET. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 134) 説田浩一¹⁾, 北原康行¹⁾, 清野精彦²⁾, 清水 渉¹⁾ (都立駒込病院, ²⁾ 千葉北総病院): Combination of Heart-Type Fatty Acid-Binding Protein and B-type Natriuretic Peptide is Useful for Risk Stratification in Hypertensive Patients. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 135) 宮國知世, 高野仁司, 小野寺健太, 泉 佑樹, 中村有希, 三軒豪仁, 久保田芳明, 乾 恵輔, 青山里恵, 時田祐吉, 吉川雅智, 浅井邦也, 清水 渉: Is Reduced Fractional Flow Reserve in Left Anterior Descending Artery Really Responsible for Myocardial Ischemia? : Validation by Dobutamine Stress Echocardiography. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 136) 石川昌弘¹⁾, 高橋直人¹⁾, 大熊 慧¹⁾, 三石達也¹⁾, 石塚淳史¹⁾, 嶋原祥太¹⁾, 曾根教子¹⁾, 高木宏治¹⁾, 徳山榮男¹⁾, 中摩健二¹⁾, 表俊也¹⁾, 菊池有史¹⁾, 石原嗣郎¹⁾, 網谷賢一¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, その他1名 (¹⁾ 武蔵小杉病院): Impact of Severe or End-stage Chronic Kidney Disease Avoiding Hemodialysis on Left Ventricular Mechanical Dyssynchrony. 日本循環器学会 (第80回) (仙台市), 2016. 3.
- 137) 井川 修¹⁾, 村田広茂¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 足立正光¹⁾, 新 博次¹⁾, 清水 渉¹⁾ (多摩永山病院): No Ventricular Myocardium in Aorto-

- mitral Continuity : Important Anatomical Finding Related to Catheter Ablation. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 138) 高圓雅博, 福間長知, 小野寺健太, 加藤和代, 加藤祐子, 高橋 啓, 清水 渉 : ACEI Insufficiently Suppresses Aldosterone Secretion Compared with ARB in Patients with Acute Myocardial Infarction. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 139) 村上大介¹⁾, 栗原 理¹⁾, 志村徹郎¹⁾, 清野精彦¹⁾, 宗像 亮¹⁾, 小宮山英徳¹⁾, 松下誠人¹⁾, 志摩綾香¹⁾, 内山沙央里¹⁾, 澤谷倫史¹⁾, 大場崇芳¹⁾, 高野雅充¹⁾, 畑 典武¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 千葉北総病院) : Do Minute Elevation of High-sensitivity TnT, H-FABP or NT-proBNP during Acetylcholine Provocation Test Reflect the Severity/Degree of Coronary Spasm?. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 140) 小杉宗範¹⁾, 中込明裕¹⁾, 中野博之¹⁾, 齋藤恒徳¹⁾, 野崎文華¹⁾, 森澤太一郎¹⁾, 小橋啓一¹⁾, 小谷英太郎¹⁾, 草間芳樹¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 多摩永山病院) : Impact of Smoking Status on the Inflammation and Long-Term Prognosis in Patients with Vasospastic Angina. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 141) 坏 宏一¹⁾, 山本 剛¹⁾, 細川雄亮¹⁾, 宮地秀樹¹⁾, 村田茂信¹⁾, 林 洋史¹⁾, 三軒豪仁¹⁾, 鈴木啓士¹⁾, 古瀬領人¹⁾, 師田哲郎²⁾, 新田隆²⁾, 清水 渉 (¹⁾ 心臓血管集中治療科, ²⁾ 心臓血管外科) : Outcome of Initial Medical Management for Non-communicating Acute Type A Aortic Dissection : Is All Necessary for Surgical Repair?. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 142) 青山里恵, 高野仁司, 北村光信, 小林靖弘¹⁾, 浅井邦也, 汲田伸一郎¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 放射線科) : Evaluation of Myocardial Glucose Metabolism in Hypertrophic Cardiomyopathy by 18Ffluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography : Impact of Alcohol Septal Ablation Therapy. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 143) 輿水千波¹⁾, 加藤和代, 酒井良子¹⁾, 吉井英輔¹⁾, 佐藤和美¹⁾, 佐野眞己¹⁾, 菅谷寿理²⁾, 小野寺健太, 高圓雅博, 福間長知, 清水 渉 (¹⁾ 栄養科, ²⁾ 生理機能センター) : 心疾患患者における減塩に対する意識調査とエネルギー摂取量の評価. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 144) 村上大介¹⁾, 高野雅充¹⁾, 栗原 理¹⁾, 松下誠人¹⁾, 小宮山英徳¹⁾, 宗像 亮¹⁾, 畑 典武¹⁾, 清野精彦¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 千葉北総病院) : Drug-on Acetylcholine Provocation Test Improves the Prognosis of Patients of Refractory Vasospastic Angina with a Combination of Several Calcium-channel-blockers. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 145) 高木 元, 宮本正章, 太良修平, 桐木園子, 久保田芳明, 手塚晶人, 羽田朋人, 高木郁代, 清水 渉 : 再生医療と栄養 : 閉塞性動脈硬化症における検討. 日本再生医療学会総会 (第 15 回) (大阪), 2016. 3.
- (5)
- 1) Ishihara M¹⁾, Ogawa H²⁾, Nakao K³⁾, Yasuda S²⁾, Noguchi T²⁾, Ozaki Y⁴⁾, Kimura K⁵⁾, Suwa S⁶⁾, Fujimoto K⁷⁾, Nakama Y⁸⁾, Morita T⁹⁾, Shimizuu W, Saito Y¹⁰⁾, Hirohata A, Morita Y, et al. (¹⁾ Hyogo College of Medicine, ²⁾ National Cerebral and Cardiovascular Center, ³⁾ Kumamoto Hospital, ⁴⁾ Fujita Health University Hospital, ⁵⁾ Yokohama City University Medical Center, ⁶⁾ Juntendo University Shizuoka Hospital, ⁷⁾ Kumamoto Medical Center, ⁸⁾ Hiroshima City Hospital, ⁹⁾ Osaka General Medical Center, ¹⁰⁾ and others) : Impact of Symptom Presentation on In-hospital Outcomes in Patients with Acute Myocardial Infarction : A Sub-Analysis of J-MINUET Study. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 2) Ishihara M¹⁾, Ogawa H²⁾, Nakao K³⁾, Yasuda S²⁾, Noguchi T²⁾, Ozaki Y⁴⁾, Kimura K⁵⁾, Suwa S⁶⁾, Fujimoto K⁷⁾, Nakama Y⁸⁾, Morita T⁹⁾, Shimizuu W, Saito Y¹⁰⁾, Hirohata A, Morita Y, et al. (¹⁾ Hyogo College of Medicine, ²⁾ National Cerebral and Cardiovascular Center, ³⁾ Kumamoto Hospital, ⁴⁾ Fujita Health University Hospital, ⁵⁾ Yokohama City University Medical Center, ⁶⁾ Juntendo University Shizuoka Hospital, ⁷⁾ Kumamoto Medical Center, ⁸⁾ Hiroshima City Hospital, ⁹⁾ Osaka General Medical Center, ¹⁰⁾ and others) : Current Situation of Thrombolytic Therapy in Patients with Acute Myocardial Infarction in Japan : A Sub-Analysis of the J-MINUET Study. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 3) Aiba T¹⁾, Ishibashi K¹⁾, Kamakura T¹⁾, Wada M¹⁾, Inoue Y¹⁾, Miyamoto K¹⁾, Okamura H¹⁾, Nagase S¹⁾, Noda T¹⁾, Kamakura S¹⁾, Anzai T¹⁾, Noguchi T¹⁾, Yasuda S¹⁾, Miyamoto Y²⁾, Shimizu W, et al. (¹⁾ Division of Cardiovascular Medicine National Cerebral and Cardiovascular Center, ²⁾ Division of Preventive Cardiology National Cerebral and Cardiovascular Center) : Clinical Characteristics of Patients with Genetically Undefined Long-QT Syndrome. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 4) Aiba T¹⁾, Haraguchi R¹⁾, Ashihara T²⁾, Kusano K¹⁾, Shimizu W, Ikeda T³⁾, Nakazawa K¹⁾, et al. (¹⁾ National Cerebral and Cardiovascular Center, ²⁾ Shiga University, ³⁾ Toho University) : Non-invasive Risk Stratification of Ventricular Arrhythmias Initiated from Right Ventricular Outflow Tract : A Simulation Study for the Brugada Syndrome. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 5) Makita N¹⁾, Shimizu W, et al. (¹⁾ Nagasaki University) : Utility of QT Dynamics for Identifying Genetic Testing Candidates in Children with Borderline QT Interval Prolongation. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- (6) Featured Research Session :
- 1) Nakagomi A¹⁾, Morisawa T¹⁾, Kohashi K¹⁾, Kosugi M¹⁾, Endoh I¹⁾, Kawaguchi N¹⁾, Endoh Y, Kusama Y¹⁾, Shimizu W (¹⁾

Tama Nagayama Hospital) : Impact of Smoking Status on the Inflammation and Endothelial Function in Patients with Metabolic Syndrome. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.

(7) Plenary Session :

- 1) Inui K, Asai K, Kubota Y, Murai K, Tetsuo-Tsukada Y, Shimizu W : The Usefulness of T1 Mapping for Evaluation of Myocardial Fibrosis in Patients with Cardiomyopathy. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.

(8) シンポ :

- 1) Miyazaki A¹⁾, Sakaguchi H¹⁾, Aiba T¹⁾, Kamakura A¹⁾, Miyamoto Y¹⁾, Kusano K¹⁾, Shimizu W, Ohuchi H¹⁾ (¹⁾ 国立循環器病研究センター) : Comorbid epilepsy and developmental disorder in congenital long QT syndrome with perinatal arrhythmia. 第 30 回日本不整脈学会/第 32 回日本心電学会合同学術集会 (第 30 回/第 32 回) (京都), 2015. 7.
- 2) Furukawa T, Okata S, Yuasa S, Suzuki T, Makita N, Kurokawa J, Egashira T, Yamakawa H, Saeki T, Aizawa Y, Hashimoto H, Kuroda Y, Tanaka A, Yae K, Murata M, et al. : Study of long QT syndrome type3 using human IPS cell-derived cardiomyocytes. 第 30 回日本不整脈学会/第 32 回日本心電学会合同学術集会 (第 30 回/第 32 回) (京都), 2015. 7.

(9) セッション :

- 1) 清水 渉 : Update in Inherited Arrhythmia Syndromes. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.

(10) トピック :

- 1) 清水 渉 : Role of non-vitamin K antagonist oral anticoagulants (NOACs) for patients with non-valvular atrial fibrillation. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 2) Miyauchi Y, Hayashi M, Iwasaki Y, Yodogawa K, Tsuboi I, Hayashi H, Takahashi K, Oka E, Hagiwara K, Kobayashi Y¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Tokai University Hachioji Hospital) : Radiofrequency Catheter Ablation of Ventricular Tachycardia in Patients with Acute or Recent Myocardial Infarction. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.

論文

[追加分]

追加分総説 :

- 1) 清水 渉 : 心電図 ST 上昇を考える : J 波症候群 J 波の機序. 心電図 2014 ; 34 (4) : 345-351.
- 2) 清水 渉 : 特別講演 遺伝性不整脈疾患と失神. 心電図 2014 ; 35 (2) : S2-3-S-2-7.
- 3) 相庭武司¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 国立循環器病研究センター) : QT 延長症候群 : 遺伝子タイプ別の病態・予後・治療方法 : 多施設登録研究からみた日本人のエビデンス. 医学のあゆみ 2013 ; 245 (9) : 766-772.
- 4) 清水 渉 : 特集 : 致死性不整脈診療の最前線 序論. 最新医学 2013 ; 68 (7) : 5-6.
- 5) 野田 崇¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 国立循環器病研究センター) : QT 延長・短縮. 日本医事新報 2013 ; 4670 : 40-45.
- 6) 清水 渉 : 遺伝性不整脈の最近のトピックス : 先天性 QT 延長症候群, Brugada 症候群, 早期再分極症候群. Ther Res 2013 ; 34 (12) : 1486-1490.
- 7) 清水 渉 : 先天性 QT 延長症候群. 心臓 2014 ; 46 (1) : 15-20.
- 8) 清水 渉 : 遺伝性不整脈の遺伝子検査の進歩. 日本循環器看護学会誌 2014 ; 9 (2) : 16-18.
- 9) 林 明聡, 清水 渉 : 特集 遺伝性不整脈 遺伝性不整脈の非薬物治療の適応と可能性. 呼吸と循環 2014 ; 62 (9) : 847-855.

追加分原著 :

- 1) Takaya Y¹⁾, Noda T¹⁾, Nakajima I¹⁾, Yamada Y¹⁾, Miyamoto K¹⁾, Okamura H¹⁾, Satomi K¹⁾, Aiba T¹⁾, Kusano F¹⁾, Kan-zaki H¹⁾, Anzai T¹⁾, Ishihara M¹⁾, Yasuda S¹⁾, Ogawa H¹⁾, Kamakura S¹⁾, et al. (¹⁾ 国立循環器病研究センター) : Electrocardiographic predictors of response to cardiac resynchronization therapy in patients with intraventricular conduction delay. Circ J 2013 ; 78 (1) : 71-77.
- 2) Yodogawa K, Seino Y, Shiomura R, Takahashi K, Tsuboi I, Uetake S, Hayashi H, Horie T, Iwasaki Y, Hayashi M, Miyauchi Y, Shimizu W : Recovery of atrioventricular block following steroid therapy in patients with cardiac sarcoidosis. J Cardiol 2013 ; 62 (5) : 320-325.
- 3) Yoshinaga M¹⁾, Ushinohama H, Sato S, Tauchi N, Horigome H, Takahashi H, Sumitomo N, Kucho Y, Sjoraishi H, Nomura Y, Shimizu W, Nagashima M (¹⁾ 鹿児島医療センター) : Electrocardiographic screening of 1-month-old infants for identifying prolonged QT intervals. Circ Arrhythm Electrophysiol 2013 ; 6 (5) : 932-938.
- 4) Priori S, Wilde A, Horie M¹⁾, Cho Y, Behr E, Berul C, Blom N, Brugada J, Chiang C, Huikuri H, Kannankeril P, Krahn A, Leenhardt A, Moss A, Schwartz P, et al. (¹⁾ Shiga Medical University) : Executive summary : HRS/EHRA/APHS expert consensus statement on the diagnosis and management of patients with inherited primary arrhythmia syndromes. Europace 2013 ; 15 (10) : 1389-1406.

- 5) Kawata H¹⁾, Morita H¹⁾, Yamada Y¹⁾, Noda T¹⁾, Satomi K¹⁾, Aiba T¹⁾, Isobe M¹⁾, Nagase S¹⁾, Nakamura K¹⁾, Kusano K¹⁾, Ito H¹⁾, Kamakura S¹⁾, Shimizu W (¹⁾ 国立循環器病研究センター) : Prognostic significance of early repolarization in inferolateral leads in Brugada patients with documented ventricular fibrillation : A novel risk factor for Brugada syndrome with ventricular fibrillation. *Heart Rhythm* 2013 ; 10 : 1161-1168.
- 6) Shimizu W : Clinical features of Brugada syndrome. *J Arrhythmia* 2013 ; 29 : 65-70.
- 7) Shimizu W : Update of diagnosis and management in inherited cardiac arrhythmias. *Circ J* 2013 ; 77 (12) : 2867-2872.
- 8) Priori S, Wilde A, Horie M¹⁾, Cho Y, Behr E, Berul C, Blom N, Brugada J, Chiang C, Huikuri H, Kannankeril P, Krahn A, Leenhardt A, Moss A, Schwartz P, et al. (¹⁾ Shiga Medical University) : HRS/EHRA/APHS Expert Consensus Statement on the Diagnosis and Management of Patients with Inherited Primary Arrhythmia Syndromes : Document endorsed by HRS, EHRA, and APHS in May 2013 and by ACCF, AHA, PACES, and AEPC in June 2013. *Heart Rhythm* 2013 ; 10 (12) : 1932-1963.
- 9) Bezzina C, Barc J, Mizusawa Y, Remme C, Gourraud J, Simonet F, Verkerk A, Schwartz P, Crotti L, Dagradi F, Guicheney P, Fressart V, Leenhardt A, Antzelevitch C, Bartkowiak S, et al. : Common variants at SCN5A-SCN10A and HEY2 are associated with Brugada syndrome, a rare disease with high risk of sudden cardiac death. *Nat Genet* 2013 ; 45 : 1044-1049.
- 10) Kamakura T¹⁾, Kawata H¹⁾, Nakajima I¹⁾, Yamada Y¹⁾, Miyamoto K¹⁾, Okamura H¹⁾, Noda T¹⁾, Satomi K¹⁾, Aiba T¹⁾, Takaki H¹⁾, Aihara N¹⁾, Kamakura S¹⁾, Kimura T¹⁾, Shimizu W (¹⁾ 国立循環器病研究センター) : Significance of Non-Type 1 Anterior Early Repolarization in Patients with Inferolateral Early Repolarization Syndrome. *J Am Coll Cardiol* 2013 ; 62 (17) : 1610-1618.
- 11) Yoshinaga M¹⁾, Kucho Y, Sarantuya J, Ninomiya Y, Horigome H, Ushinohama H, Shimizu W, Horie M²⁾ (¹⁾ 鹿児島医療センター, ²⁾ 滋賀医科大学) : Genetic characteristics of children and adolescents with long-QT syndrome diagnosed by school-based electrocardiographic screening programs. *Circ Arrhythm Electrophysiol* 2014 ; 7 (1) : 107-112.
- 12) Miyamoto K¹⁾, Aiba T¹⁾, Nakajima I¹⁾, Yamada Y¹⁾, Okamura H¹⁾, Noda T¹⁾, Satomi K¹⁾, Ishihara M¹⁾, Anzai T¹⁾, Yasuda S¹⁾, Ogawa H¹⁾, Kamakura S¹⁾, Shimizu W (¹⁾ 国立循環器病研究センター) : Efficacy and safety of novel anticoagulant dabigatran in clinical practice for Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation. *J Arrhythmia* 2014 ; 30 (2) : 58-64.
- 13) Katsumi G, Shimizu W, Watanabe H, Noda T, Nogami A, Ohkubo K, Makiyama T, Takehara N, Kawamura Y, Hosaka Y, Sato M, Fukase S, Chinushi M, Oda H, Okabe M, et al. : Efficacy of bepridil to prevent ventricular fibrillation in severe form of early repolarization syndrome. *Int J Cardiol* 2014 ; 172 (2) : 519-522.
- 14) Kokunai Y, Nakata T, Furuta M, Sakata S, Kimura H, Aiba T, Yoshinaga M, Osaki Y, Nakamori M, Itoh H, Sato T, Kubota T, Kadota K, Shindo K, Mochizuki H, et al. : A Kir3.4 mutation causes Andersen-Tawil syndrome by an inhibitory effect on Kir2.1. *Neurology* 2014 ; 82 (3) : 1058-1064.
- 15) Shimizu W : Clinical and genetic diagnosis for inherited cardiac arrhythmias. *J Nippon Med Sch* 2014 ; 81 (4) : 203-210.
- 16) Makita N, Yagihara N, Crotti L, Johnson C, Beckmann B, Roh M, Shigemizu D, Lichtner P, Ishikawa T, Aiba T, Homfray T, Behr E, Klug D, Denjoy I, Mastantuono E, et al. : Novel Calmodulin (CALM2) Mutations Associated with Congenital Arrhythmia Susceptibility. *Circ Cardiovasc Genet* 2014 ; 7 (4) : 466-474.
- 17) Bando S, Soeki T, Matsuura T, Niki T, Ise T, Yamaguchi K, Taketani Y, Iwase T, Yamada H, Wakatsuki T, Akaike M, Aiba T, Shimizu W, Sata M : Congenital long QT syndrome with compound mutations in the KCNH2 gene. *Heart Vessels* 2014 ; 29 (4) : 554-559.
- 18) Inami T, Tsurumi M, Seino Y, Shimizu W : Successful treatment of ball-shaped very late thrombus after myocardial infarction. *BMJ Case Rep* 2014 ; pii : bcr2014204340.
- 19) Kohashi K, Nakagomi A, Saiki Y, Morisawa T, Kosugi M, Kusama Y, Atarashi H, Shimizu W : Effects of Eicosapentaenoic Acid on the Levels of Inflammatory Markers, Cardiac Function and Long-Term Prognosis in Chronic Heart Failure Patients with Dyslipidemia. *J Atheroscler Thromb* 2014 ; 21 (7) : 712-729.
- 20) Takahashi K, Shimizu W, Miyake A, Nabeshima T, Nakayshiro M, Ganaha H : High prevalence of the SCN5A E1784K mutation in school children with long QT syndrome living on the Okinawa islands. *Circ J* 2014 ; 78 (8) : 1974-1979.
- 21) Shirakabe A¹⁾, Hata N¹⁾, Kobayashi N¹⁾, Okazaki H¹⁾, Shinada T¹⁾, Tomita K¹⁾, Yamamoto M¹⁾, Tsurumi M¹⁾, Matsushita M¹⁾, Yamamoto Y¹⁾, Yokoyama S¹⁾, Asai K, Shimizu W (¹⁾ Chiba Hokusou Hospital) : Serum heart-type fatty acid-binding protein level can be used to detect acute kidney injury on admission and predict an adverse outcome in patients with acute heart failure. *Circ J* 2015 ; 79 (1) : 119-128.
- 22) Takahashi N, Sato N, Ishikawa M, Kikuchi A, Hanaoka D, Ishihara S, Amitani K, Sakai N, Kumita S, Shimizu W : Long-term Hemodialysis Corrects Left Ventricular Dyssynchrony in End-stage Renal Disease : A Study with Gated Technetium-99m

- Sestamibi Myocardial Perfusion Single-photon Emission Computed Tomography. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (2) : 76-83.
- 23) Yamamoto Y¹⁾, Shirakabe A¹⁾, Hata N¹⁾, Kobayashi N¹⁾, Shinada T¹⁾, Tomita K¹⁾, Yamamoto M¹⁾, Tsurumi M¹⁾, Matsushita M¹⁾, Okazaki H¹⁾, Yokoyama S¹⁾, Asai K, Mizuno K, Shimizu W (¹⁾ Chiba Hokusou Hospital) : Seasonal variation in patients with acute heart failure : prognostic impact of admission in the summer. Heart Vessels 2015 ; 30 (2) : 193-203.
- 24) Kurihara O¹⁾, Takano M¹⁾, Munakata R¹⁾, Murakami D¹⁾, Okamatsu K¹⁾, Ohba T¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimizu W, Mizuno K²⁾ (¹⁾ Chiba Hokusou Hospital, ²⁾ Mitsukoshi Health and Welfare Foundation) : Effect of Statin Therapy in Pre-diabetic Status Evaluated by Coronary Angioscopy. Angioscopy 2015 ; 1 (1) : 26-31.
- 25) Iwasaki Y, Yamashita T¹⁾, Sekiguchi A¹⁾, Hayami N¹⁾, Shimizu W (¹⁾ The Cardiovascular Institute) : Importance of Pulmonary Vein Preferential Fibrosis for Atrial Fibrillation Promotion in Hypertensive Rat Hearts. Can J Cardiol 2016 ; 32 (6) : 767-776.
- 26) Inami T¹⁾, Seino Y¹⁾, Shimura T¹⁾, Kurihara O¹⁾, Kimata N¹⁾, Murakami D¹⁾, Munakata R¹⁾, Takano M¹⁾, Ohba T¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Chiba Hokusoh Hospital) : Linkage of sleep-disordered breathing and acute aortic dissection with patent false lumen. Heart Vessels 2016 ; 31 (7) : 1069-1076.
- 27) 里見和浩¹⁾, 岡崎秀治¹⁾, 和田 暢¹⁾, 井口公平¹⁾, 小林 貴¹⁾, 船迫宴福¹⁾, 川上大志¹⁾, 大塚陽介¹⁾, 中島育太郎¹⁾, 野田 崇¹⁾, 宮本康二¹⁾, 山田優子¹⁾, 岡村英夫¹⁾, 相庭武司¹⁾, 鎌倉史郎¹⁾, その他1名 (¹⁾ 国立循環器病研究センター) : 特殊心筋疾患に合併する致死性不整脈に対するカテーテルアブレーション治療戦略 : 催不整脈性右室心筋症および心サルコイドーシスを中心に. 心電図 2013 ; 33 (3) : 263-269.
- 28) 磯貝俊明, 田中博之, 高山 陽, 二川圭介, 上田哲郎, 瀬川和彦, 中田正規, 清水 渉 : 20年前ににてんかんと診断後, 統合失調症を合併し, 鑑別に難渋した先天性QT延長症候群の1例. 心臓 2013 ; 45 (9) : 1124-1128.
- 29) 中島育太郎¹⁾, 野田 崇¹⁾, 石橋耕平¹⁾, 山田優子¹⁾, 宮本康二¹⁾, 岡村英夫¹⁾, 里見和浩¹⁾, 相庭武司¹⁾, 鎌倉史郎¹⁾, 草野研吾¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 国立循環器病研究センター) : 虚血と不整脈 虚血性心疾患に伴う心室不整脈に対するデバイス治療. 心電図 2014 ; 34 (2) : 137-143.
- 30) 岡英一郎, 岩崎雄樹, 新田 隆¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 心臓血管外科) : 房室伝導比2:1の心房粗動持続により頻脈誘発性心筋症をきたし, うっ血性心不全を発症した1例. 循環器専門医 2015 ; 23 (1) : 108-114.

追加症例報告 :

- 1) Fukuzumi A, Akutsu K, Tokita Y, Yamamoto T, Shimizu W, Mizuno K, Tanaka K : Surgical thrombectomy for right heart thrombus with acute aortic dissection. Ann Thorac Cardiovasc Surg 2014 ; 20 (supple) : 937-940.

追加研究報告書 :

- 1) Kano S, Munakata R, Inami T, Takano M, Seino Y, Shimizu W : Recurrent Takotsubo cardiomyopathy with variable left ventricular obstruction and morphologies. J Am Coll Cardiol 2013 ; 63 (2) : e3.
- 2) Uetake S¹⁾, Miyauchi Y, Hayashi M, Shimizu W (¹⁾ Chiba Hokusou Hospital) : Electrophysiological characteristics of a left atrial anomalous muscular band in a case with paroxysmal atrial fibrillation. Heart Rhythm Case Rep. 2015 ; 1 (2) : 78-81.

著 書

追加分 :

- 1) 宮内靖史, 清水 渉 : [分担] IV. 不整脈 5. 植込み型除細動器 (ICD・CRTD) の現状と問題点. Annual Review 循環器 (小室一成, 佐地 勉, 坂田隆造, 赤阪隆史), 2014 ; pp186-193, 中外医学社.
- 2) 清水 渉 : [分担] 4 遺伝性不整脈の遺伝医学. いまさら聞けない 遺伝医学 (斎藤加代子, 近藤恵里), 2014 ; pp49-58, メディカルドゥ.
- 3) 山本 剛, 清水 渉 : [分担] 5. 肺循環に起因する肺疾患 肺性心. 呼吸器疾患診療最新ガイドライン (弦間昭彦), 2014 ; pp146-150, 総合医学社.
- 4) 林 明聡, 清水 渉 : [分担] 第3章 心房細動における心原性脳塞栓症発症リスク Q6 心房細動患者の年齢が65,75,85歳では, 心原性脳塞栓症の発症に関してどの程度のリスクの相違が認められるか?. 抗凝固療法 達人の処方箋 (山下武志), 2014 ; pp56-58, メディカルレビュー社.
- 5) 林 明聡, 清水 渉 : [分担] 第3章 心房細動における心原性脳塞栓症発症リスク Q7 CHADS2スコア1点の心房細動患者 : CHA2DS2-VASCスコア, HAS-BLEDスコアによる評価を加えたとき治療はどのように異なるか?. 抗凝固療法 達人の処方箋 (山下武志), 2014 ; pp60-62, メディカルレビュー社.
- 6) 岩崎雄樹 : [分担] 透析患者における心房細動脳卒中予防. 不整脈治療 Update 第3巻 (奥村 謙, 山下武志, 伊藤 浩, 池田隆徳, 井上耕一, 埴田 浩), 2015 ; pp206-211, 医薬ジャーナル社.

学会発表

追加分教育講演：

- 1) 清水 渉：心房細動の急性期および慢性期薬物治療. 日本集中治療医療医学会（第42回）（東京），2015. 2.

追加分シンポ：

- 1) Shimizu W：Genetics and prevalence. The 16th International symposium on progress in clinical pacing (Rome, Italy), 2014. 12.
- 2) Iwasaki Y, Yamashita T¹⁾, Shimizu W⁽¹⁾ 心臓血管研究所)：Pathophysiology of atrial fibrillation/translational science and future direction” JHRS-JSE Joint symposium. Diagnosis and treatment of inherited arrhythmia. 日本不整脈学会/日本心電学会合同学術集会（第29回/第31回）（東京），2014. 7.
- 3) Shimizu W：Management of patients with inherited primary arrhythmia. 日本不整脈学会/日本心電学会合同学術集会（第29回/第31回）（東京），2014. 7.
- 4) Ono T, Yana K, Furuya M, Yodogawa K, Atarashi H, Shimizu W：Non-invasive assessment of autonomic activity. 日本不整脈学会/日本心電学会合同学術集会（第29回/第31回）（東京），2014. 7.

追加分特別講演：

- 1) Shimizu W：Genetic Mutation of Brugada Syndrome. In relation to Early Repolarization Syndrome. HRS-JHRS Joint Session. Revisit of Brugada Syndrome：From Basic Mechanism to Catheter Ablation. Heart Rhythm Society 2013 (Denver, USA.), 2013. 5.
- 2) Shimizu W：Recommendations on the Diagnosis and Management of Brugada Syndrome. Special Session. The 2013 Expert Consensus Statement on the Diagnosis and Management of Inherited Arrhythmias. Heart Rhythm Society 2013 (Denver, USA.), 2013. 5.
- 3) Shimizu W：Let's discuss my most difficult clinical case. Europace 2013 (Athens, Greece), 2013. 6.
- 4) Shimizu W：Brugada syndrome. Sudden Cardiac Death Session 2 Reduction of SCD in Inherited Cardiac Disorders. APHRS CARDIO RHYTHM 2013 (6th) (Hong Kong, China), 2013. 10.
- 5) Shimizu W：Brugada Syndrome. Special Session. How to implement the HRS guidelines on inherited arrhythmias into my practice. Heart Rhythm Society 2014 (San Francisco, USA), 2014. 5.
- 6) Shimizu W：Latest in Brugada syndrome. HRS-EHRA-APHRS Expert consensus statement. APHRS 2014 (New Delhi, India), 2014. 10.
- 7) Shimizu W：EURO-JAPAN ARRHYTHMIA FORUM SessionIV Updating on Brugada Syndrome Genetics and prevalence. The 16th International symposium on progress in clinical pacing (Rome, Italy), 2014. 12.
- 8) Shimizu W：International Forum of VA：Session 4 Basic Science-2 Genetic Screening Genetics of LQTS. 1st International Forum of Ventricular Arrhythmia (Taiwan), 2015. 3.

[武蔵小杉病院循環器内科]

研究概要

計画している臨床研究の結果が少しずつ集積されてきており、以下が主な学会発表である。日本集中治療医学会では、Na/K専用測定器(FinGraph)の有用性、心不全再入院による各種指標の悪化に関する研究および冠攣縮が関与した冠動脈解離の症例報告を行った。日本循環器学会では、核医学検査による非同期に関する研究で2題、急性心不全に関する急性腎障害に関する報告、急性心不全における薬物療法に関するメタ分析結果に関する報告、さらに岡山医療センターへの国内留学をし、そのデータベースからの慢性肺血栓症に対するバルーン治療による予後改善効果に関する報告した。また、Late breaking clinical trialで、新規抗アルドステロン薬であるfinerenoneによる第II相試験であるARTS-HF Japan試験の結果、Late breaking cohort studyで、低ナトリウム血症を伴う急性心不全に対するトルバプタンの効果に関するレジストリー研究であるMt Fuji研究の報告をした。これらの報告は来年度中に可能な限り論文化していく予定である。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Takahashi N, Sato N, Takagi K, Omote T, Kikuchi A, Hanaoka D, Yamamoto E, Ishilawa M, Amitani K, Kumita S¹⁾, Shimizu W²⁾ (1) Department of Radiology, Nippon Medical School Hospital, 2) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School Hospital)：Clinical usefulness of gated technetium-99m sestamibi myocardial perfusion single-photon emission computed tomography with phase analysis for the management of patients with isolated ventricular noncompaction. Journal of Cardi-

- ology Cases 2015 ; 11 (4) : 101-104.
- 2) Takahashi N, Sato N, Ishilawa M, Kikuchi A, Hanaoka D, Ishihara S, Amitani K, Sakai Y, Kumita S¹⁾, Shimizu W²⁾ (¹⁾ Department of Radiology, Nippon Medical School Hospital, ²⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School Hospital) : Long-term Hemodialysis Corrects Left Ventricular Dyssynchrony in End-stage Renal Disease : A Study with Gated Technetium-99m Sestamibi Myocardial Perfusion Single-photon Emission Computed Tomography. *Journal of Nippon Medical School* 2015 ; 82 (2) : 76-83.
 - 3) Kajimoto K¹⁾, Sato N, Takano T²⁾ (¹⁾ Division of Cardiology, Sekikawa Hospital, Tokyo, Japan, ²⁾ Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Association of anemia and renal dysfunction with in-hospital mortality among patients hospitalized for acute heart failure syndromes with preserved or reduced ejection fraction. *European Heart Journal : Acute Cardiovascular Care* 2015 ; Epub ahead of print.
 - 4) Vaduganathan M¹⁾, Mentz R²⁾, Greene S³⁾, Senni M⁴⁾, Sato N, Nodari S⁵⁾, Butler J⁶⁾, Gheorghiade M³⁾ (¹⁾ Department of Medicine, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Boston, MA, USA, ²⁾ Duke University Medical Center, Durham, NC, USA, ³⁾ Center for Cardiovascular Innovation, Northwestern University Feinberg School of Medicine, Chicago, IL, USA, ⁴⁾ Dipartimento Cardiovascolare, Azienda Ospedaliera Papa Giovanni XXIII, Bergamo, Italy, ⁵⁾ Department of Cardiology, Spedali Civili and University of Brescia, Brescia, Italy, ⁶⁾ Division of Cardiology, Stony Brook University, Stony Brook, NY, USA) : Combination Decongestion Therapy in Hospitalized Heart Failure Loop Diuretics, Mineralocorticoid Receptor Antagonists, and Vasopressin Antagonists. *Expert Review of Cardiovascular Therapy* 2015 ; 13 (7) : 799-809.
 - 5) Sato N : Lessons and Perspectives on Heart Failure Management From Considerations Based on the CHART-2 Study. *Circulation Journal* 2015 ; 79 (8) : 1689-1690.
 - 6) Mebazaa A¹⁾, Longrois D²⁾, Metra M³⁾, Mueller C⁴⁾, Richards A⁵⁾, Roessig L⁶⁾, Seronde M⁷⁾, Sato N, Stockbridge N⁸⁾, Stough W⁹⁾, Alonso A, Cody R, Bruns N, Gheorghiade M, Holzmeister J, et al. (¹⁾ U942 INSERM, APHP, Department of Anesthesia and Critical Care, Hôpitaux Universitaires Saint Louis-Lariboisière, Paris, France, ²⁾ Département d'Anesthésie-Réanimation, Hôpital Bichat-Claude Bernard, University Paris Diderot, Paris, France, ³⁾ Cardiology, University of Brescia, Brescia, Italy, ⁴⁾ Department of Cardiology, University Hospital Basel, Basel, Switzerland, ⁵⁾ Cardiovascular Research Institute, National University of Singapore, Singapore, ⁶⁾ Global Clinical Development, Bayer Pharma AG, Berlin, Germany, ⁷⁾ Department of Cardiology, University Hospital of Besançon, Besançon, France, ⁸⁾ Division of Cardiovascular and Renal Products, Center for Drug Evaluation and Research, Food and Drug Administration, Silver Spring, MD, USA, ⁹⁾ Campbell University College of Pharmacy and Health Sciences, NC, USA) : Agents with vasodilator properties in acute heart failure : how to design successful trials. *European Journal of Heart Failure* 2015 ; 17 (7) : 652-664.
 - 7) Wakabayashi K¹⁾, Sato N, Kajimoto K²⁾, Minami Y³⁾, Mizuno M³⁾, Keida T⁴⁾, Asai K⁵⁾, Munakata R⁶⁾, Murai K⁵⁾, Sakata Y⁷⁾, Suzuki H¹⁾, Takano T⁵⁾ (¹⁾ I Division of Cardiology, Showa University Fujigaoka Hospital, Japan, ²⁾ Division of Cardiology, Towa Hospital, Japan, ³⁾ Department of Cardiology, Tokyo Women's Medical University, Japan, ⁴⁾ Department of Cardiology, Edogawa Hospital, Japan, ⁵⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Japan, ⁶⁾ Intensive and Cardiac Care Unit, Nippon Medical School, Japan, ⁷⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Osaka University Graduate School of Medicine, Japan, ⁸⁾ on behalf of the ATTEND investigators) : Incidence and predictors of in-hospital non-cardiac death in patients with acute heart failure. *European Heart Journal : Acute Cardiovascular Care* 2015 ; Epub ahead of print.
 - 8) Kajimoto K¹⁾, Sato N, Takano T²⁾ (¹⁾ Division of Cardiology, Sekikawa Hospital, Tokyo, Japan, ²⁾ Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Association of age and baseline systolic blood pressure with outcomes in patients hospitalized for acute heart failure syndromes. *International journal of cardiology* 2015 ; 191 : 100-106.
 - 9) Vaduganathan M¹⁾, Butler J²⁾, Roessig L³⁾, Fonarow G⁴⁾, Greene S⁵⁾, Metra M⁶⁾, Cotter G⁷⁾, Kupfer S⁸⁾, Zalewski A⁹⁾, Sato N, Filippatos G¹⁰⁾, Gheorghiade M⁵⁾ (¹⁾ Department of Medicine, Massachusetts General Hospital, ²⁾ Cardiology Division, Emory University Hospital, Atlanta, ³⁾ Novartis Pharmaceutical Corporation, East Hanover, NJ, ⁴⁾ Ahmanson-UCLA Cardiomyopathy Center, Ronald Reagan, ⁵⁾ Center for Cardiovascular Innovation, Northwestern, ⁶⁾ Division of Cardiology, University of Brescia, Brescia, Italy, ⁷⁾ Momentum-Research, Inc., Durham, NC, USA, ⁸⁾ Takeda Global Research and Development Center, Inc., ⁹⁾ Bayer Pharma AG, Berlin, Germany, ¹⁰⁾ and others) : Clinical trials in hospitalized heart failure patients : targeting interventions to optimal phenotypic subpopulations. *Heart Fail Rev* 2015 ; 20 (4) : 393-400.
 - 10) Minami Y¹⁾, Kajimoto K²⁾, Sato N, Aokage T³⁾, Mizuno M¹⁾, Asai K³⁾, Munakata R³⁾, Yumio D¹⁾, Murai K³⁾, Hagiwara N¹⁾, Mizuno K⁴⁾, Kasanuki H¹⁾, Takano T⁴⁾ (¹⁾ Department of Cardiology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan, ²⁾ Department of Cardiology, Sensoji Hospital, Tokyo, Japan, ³⁾ Intensive and Cardiac Care Unit, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ⁴⁾ Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan., ⁵⁾ for the ATTEND Study Investigators.) : Third heart

sound in hospitalised patients with acute heart failure : insights from the ATTEND study. International journal of clinical practice 2015 ; 69 (8) : 820-828.

- 11) Sato N : Epidemiology of heart failure in Asia. Heart Fail Clinics 2015 ; 11 (4) : 573-579.
- 12) Shiraishi Y^{1,2)}, Kohsaka S¹⁾, Harada K¹⁾, Sakai T¹⁾, Takagi A¹⁾, Miyamoto T¹⁾, Iida K¹⁾, Tanimoto S¹⁾, Fukuda K¹⁾, Nagao K, Sato N¹⁾, Takayama M¹⁾ (1) Tokyo CCU Network Scientific Committee, Tokyo, Japan, (2) Department of Cardiology, Keio University) : Time Interval from Symptom Onset to Hospital Care in Patients with Acute Heart Failure : A Report from the Tokyo Cardiac Care Unit Network Emergency Medical Service Database. PLOS ONE 2015 ; 10 (11) : e0142017.
- 13) Teixeira A¹⁾, Parenica J¹⁾, Park J¹⁾, Ishihara S¹⁾, Alhabib K¹⁾, Laribi S¹⁾, Maggioni A¹⁾, Miró O¹⁾, Sato N, Kajimoto K¹⁾, Cohen-Solal A¹⁾, Fairman E¹⁾, Lassus J¹⁾, Mueller C¹⁾, Peacock W¹⁾, et al. (1) Global Research on Acute Conditions Team) : Clinical presentation and outcome by age categories in acute heart failure : Results from an international observational cohort. European Journal of Heart Failure 2015 ; 17 (11) : 1085-1207.
- 14) Kajimoto K¹⁾, Sato N, Takano T²⁾ (1) Division of Cardiology, Sekikawa Hospital, Tokyo, Japan, (2) Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, (3) investigators of the Acute Decompensated Heart Failure Syndromes (ATTEND) registry) : Relation between elevated blood urea nitrogen, clinical features or comorbidities, and clinical outcome in patients hospitalized for acute heart failure syndromes. International Journal of Cardiology 2015 ; 201 : 311-314.
- 15) Kajimoto K¹⁾, Sato N, Takano T²⁾ (1) Division of Cardiology, Sensoji Hospital, Japan, (2) Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, Japan, (3) on behalf of the investigators of the Acute Decompensated Heart Failure Syndromes (ATTEND) registry) : Association between anemia, clinical features and outcome in patients hospitalized for acute heart failure syndromes. European heart journal. Acute cardiovascular care 2015 ; 4 (6) : 568-576.
- 16) Sato N, Takahashi W¹⁾, Hirayama A²⁾, Ajioka M³⁾, Takahashi N, Okishige K⁴⁾, Wang X⁵⁾, Maki A⁶⁾, Maruyama H⁶⁾, Ebinger U⁵⁾, Yamaguchi M⁶⁾, Pang Y⁷⁾, Matsumoto M⁶⁾, Kawana M⁸⁾ (1) Department of Cardiology, National Hospital Organization Shinshu Ueda Medical Center, (2) Division of Cardiology, Nihon University School of Medicine, (3) Department of Cardiology, Tosei General Hospital, (4) Division of Cardiology, Yokohama City Minato Red Cross Hospital, (5) Novartis Pharmaceuticals Corporation, (6) Novartis Pharma K.K., (7) Novartis Institute for BioMedical Research, Inc, (8) Department of General Medicine, Tokyo Women's Medical University Hospital) : Multicenter, Randomized, Double-Blinded, Placebo-Controlled Phase II Study of Serelaxin in Japanese Patients With Acute Heart Failure. Circulation Journal 2015 ; 79 (6) : 1237-1247.
- 17) Fukushima Y¹⁾, Kumita S¹⁾, Tokita Y²⁾, Sato N (1) Department of Radiology, Nippon Medical School Hospital, (2) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon) : Prognostic Value of Myocardial Perfusion SPECT After Intravenous Bolus Administration of Nicorandil in Patients with Acute Ischemic Heart Failure. Journal of nuclear medicine 2016 ; 57 (3) : 385-391.

(2) 総説 :

- 1) Sato N, Takahashi W¹⁾, Hirayama A²⁾, Ajioka M³⁾, Takahashi N, Okishige K⁴⁾, Wang X⁵⁾, Maki A⁶⁾, Maruyama H⁶⁾, Ebinger U⁵⁾, Yamaguchi M⁶⁾, Pang Y⁷⁾, Matsumoto H⁶⁾, Kawana M⁹⁾ (1) Department of Cardiology, National Hospital Organization Shinshu Ueda Medical Center, (2) Division of Cardiology, Nihon University School of Medicine, (3) Department of Cardiology, Tosei General Hospital, (4) Division of Cardiology, Yokohama City Minato Red Cross Hospital, (5) Novartis Pharmaceuticals Corporation, (6) Novartis Pharma K.K., (7) Novartis Institute for BioMedical Research, Inc, (8) Department of General Medicine, (9) Department of General Medicine, Tokyo Women's Medical University Hospital) : Multicenter, Randomized, Double-Blinded, Placebo-Controlled Phase II Study of Serelaxin in Japanese Patients With Acute Heart Failure. Circulation Journal 2015 ; 79 (6) : 1237-1247.
- 2) 佐藤直樹 : Type2 : 慢性心腎症候群. 心臓 2015 ; 47 (5) : 542-545.
- 3) 鳴原祥太, 佐藤直樹 : 非侵襲的陽圧換気 (NIPPV). medicine 2015 ; 52 (7) : 1058-1061.
- 4) 佐藤直樹 : 急性心不全. 理学療法ジャーナル 2015 ; 49 (6) : 513-515.
- 5) 佐藤直樹 : 急性心不全患者への実地診療における対応. 心臓 2015 ; 47 (6) : 757-760.
- 6) 中摩健二, 松原広己¹⁾ (1) 独立行政法人岡山医療センター臨床研究部) : 多剤併用療法時代における肺動脈性肺高血圧症の最適治療. Medical Practice 2015 ; 32 (12) : 2005-2008.

(3) 症例報告 :

- 1) 木下賀央里¹⁾, 石塚淳史, 山口朋禎¹⁾, 山本英世, 春原沙織¹⁾, 板倉潮人¹⁾, 本郷公英¹⁾, 佐藤直樹, 白杵二郎¹⁾ (1) 武蔵小杉病院呼吸器内科) : ECMO で救命し得た重症インフルエンザ肺炎の1例. 日本胸部臨床 2015 ; 74 (9) : 1005-1012.
- 2) 山口朋禎¹⁾, 鳴原祥太, 板倉潮人¹⁾, 本郷公英¹⁾, 木下賀央里¹⁾, 春原沙織¹⁾, 佐藤純平¹⁾, 白杵二郎¹⁾, 佐藤直樹, 弦間昭彦²⁾ (1) 武蔵小杉病院呼吸器内科, (2) 付属病院呼吸器内科) : 集団発生したオウム病の1例. 日本内科学会雑誌 2015 ; 104 (8) : 352-356.
- 1) 佐藤直樹 : 心不全にまつわる NEW TOPIC. HEART nursing 2015 2015 ; 28 (12) : 87-88.
- 2) 加藤真帆¹⁾, 坂田泰史²⁾, 佐藤直樹, 麻野井英次³⁾ (1) 日本大学医学部内科学系循環器内科学分野, (2) 大阪大学大学院医学系研究科

- 循環器内科学, ³⁾ 射水市民病院) : 今後の5年間で克服すべき心不全領域の課題. *medicina* 2015 ; 52 (7) : 1034-1042.
- 3) 佐藤直樹 : 総論 : リスク層別化の意義と疾患啓発の重要性. *Medicament News* 2015 ; (2207) : 1-2.
- 4) 石原嗣郎 : 総論 : リスク層別化の意義と疾患啓発の重要性. *Medicament News* 2015 ; (2207) : 10-11.
- 5) 百村伸一¹⁾, 石原嗣郎, 木田圭亮²⁾, 小坂橋俊美³⁾ (¹⁾ 自治医科大学さいたま医療センター, ²⁾ 聖マリアンナ医科大学循環器内科, ³⁾ 北里大学医学部循環器内科) : 心不全における体液状態の評価とその適正管理. *Fluid Management Renaissance* 2015 ; 5 (1) : 7-14.

著書

- 1) Sato N : [編集] *Epidemiology of Heart Failur in Asia*. HEART FAILURE CLINICS, 2015.
- 2) 佐藤直樹 : [分担] 拡張不全が非代償性心不全になったときの病態と対応を教えてください. 拡張不全の日常診療 Q&A (伊藤 浩), 2015 ; pp210-213, 中外医学社.
- 3) 佐藤直樹 : [分担] 腎機能障害を合併した急性心不全に対し, 低用量ドパミン追加は有用か?. *EBM 循環器疾患の治療* 2015-2016 (小室一成), 2015 ; pp170-173, 中外医学社.

学会発表

(1) 特別講演 :

- 1) Sato N : Serelaxin in Japanese Patients with Acute Heart Failure : A Multicenter, Randomized, Double-blinded, Placebo-controlled Phase II Study. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.

(2) 教育講演 :

- 1) Tsukada Y¹⁾, Kubota Y¹⁾, Murai K¹⁾, Asai K¹⁾, Sato N, Kusama Y²⁾, Seino Y³⁾, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Deparyment of Cardiovascular Medicine Nippon Medical School, ²⁾ Deparyment of Cardiovascular Tama-Nagayama Hospital Medicine Nippon Medical School, ³⁾ Deparyment of Cardiovascular Chiba-Kokuso Hospital Medicine Nippon Medical School) : What is the Best Way of the Medical Coordination to Support Elderly Patients with Chronic Heart Failure in Tokyo Area?. 日本心不全学会学術集会 (第19回) (大阪), 2015. 10.

(3) シンポジウム :

- 1) Ishihara S : Risk Stratification for Acute Heart Failure : a Meta-analysis of 34 Studies and 2838 Patients. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 2) Sato N : Asian Acute heart failure guidance. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
- 3) 石原嗣郎, 佐藤直樹, 石田洋子¹⁾, 清水 渉²⁾ (¹⁾ 武蔵小杉病院看護部, ²⁾ 付属病院循環器内科) : 当院における心不全チームの現状. 日本心不全学会学術集会 (第19回) (大阪), 2015. 10.
- 4) 佐藤直樹 : 心不全を念頭に置いた冠動脈疾患治療 : 疫学研究を踏まえた今後の展開. 日本冠疾患学会学術集会 (第29回) (札幌), 2015. 11.
- 5) 佐藤直樹 : 循環器集中治療における心腎連関. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.

(4) セミナー :

- 1) 佐藤直樹 : 心不全における利尿薬治療は今後どうすべきか? -急性期早期うっ血解除と水利尿薬の役割-. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 2) 佐藤直樹 : 急性心不全パンデミックにどう対応すべきか? : 循環器医からの提言. 日本麻酔科学会学術集会 (第62回) (神戸), 2015. 5.

(5) 一般講演 :

- 1) Sato N, Lam C¹⁾, Teerlink J²⁾, Greenberg B³⁾, Tsutsui H⁴⁾, Oh B⁵⁾, Zhang J⁶⁾, Hua T⁷⁾, Wang X⁷⁾, Ge J⁸⁾ (¹⁾ National Heart Centre Singapore, ²⁾ University of California San Francisco San Francisco Veterans Affairs Medical Center, ³⁾ University of California San Diego, Cardiology, ⁴⁾ Hokkaido Univercity Graduate School of Medicine, Cardiovascular medicine, ⁵⁾ Seoul National University College of Medicine, Internal Mwdicine, ⁶⁾ Fuwai Hospital, Chinese Academy of Medical Sciences and Peking Union Medical College, National Center of Cardiovascular Diseases, ⁷⁾ Novartis Pharmaceuticals Corp, ⁸⁾ Zhongshan Hospital, Fudan Univercity, Cardiology) : Evaluating the efficacy, safety and tolerability of serelaxin when added to standard therapy in asian patients with acute heart failure : The RELAX-AHF-ASIA trial. HEART FAILURE 2015 (Sevilla-Spain), 2015. 5.
- 2) Takagi K, Sato N, Tokuyama H, Omote T, Kikuchi A, Isihara S, Ishikawa M, Amitani K, Takahashi N, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Nippon Medical School Hospital Cardiology) : Clinical significance of the combined therapy eith aquaretic and natriuretic agents for fluid managements in hospitalized heart failure patients. HEART FAILURE 2015 (Sevilla-Spain), 2015. 5.
- 3) Sato N : Future Direction Clinical Research Acute Heart Failure. 日本心不全学会学術集会 (第19回) (大阪), 2015. 10.
- 4) Nakama K, Matsubara H¹⁾, Ogawa A²⁾, Tabuchi I¹⁾, Shigetoshi M¹⁾, Hatanaka K¹⁾, Miyaji K¹⁾, Sato N, Munemasa M¹⁾ (¹⁾

Department of Cardiology, NHO Okayama Medical Center, ²⁾ Department of Clinical Science NHO Okayama Medical Center) : Long-Term Outcomes of Balloon Pulmonary Angioplasty for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.

- 5) 村井綱治¹⁾, 浅井邦也¹⁾, 澤田賢一郎¹⁾, 吉永 綾¹⁾, 知念大悟¹⁾, 久保田芳明¹⁾, 吉川雅智¹⁾, 塚田弥生¹⁾, 佐藤直樹, 清水 渉¹⁾ (¹⁾ 付属病院循環器内科) : 入院前の carvedilol 内服が及ぼす初回急性心不全入院患者への影響. 日本内科学会総会・講演会 (112 回) (京都), 2015. 4.
 - 6) 佐藤直樹 : スタンダードな薬の使い方. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
 - 7) 佐藤直樹 : 循環管理における multidisciplinary なアプローチの重要性. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
 - 8) 佐藤直樹 : 慢性閉塞性肺疾患合併心不全に対して β 遮断薬の有用性は? : 現状を知り, 明日の診療に生かす. 日本心筋症研究会 (第 1 回) (東京), 2015. 7.
 - 9) 佐藤直樹 : COPD 合併心不全 : その診断と β 遮断薬治療. 日本不整脈学会学術大会 (第 30 回)・日本心電学会学術集会 (第 32 回) 合同学術大会 (京都), 2015. 7.
 - 10) 徳山榮男, 石塚淳史, 嶋原翔太, 高木宏治, 曾根教子, 中摩健二, 菊池有史, 石原嗣郎, 石川昌弘, 網谷賢一, 高橋直人, 佐藤直樹, 清水 渉¹⁾ (¹⁾ 付属病院循環器内科) : crosser で血管中心部の石炭化病変を debulking することで良好な拡張を得た浅大腿動脈病変. 日本心血管インターベンション治療学会 (第 24 回) (福岡), 2015. 7.
 - 11) Endo H¹⁾, Matsuda K¹⁾, Mochizuki T²⁾, Kukuchi H¹⁾, Ishimaru N¹⁾, Yamamura E¹⁾, Watanabe A¹⁾, Hasegawa T¹⁾, Takagi K (¹⁾ critical care Medicine) : Legionella pneumonia was cured after using veno-venous extra corporeal membrane oxygenation during 66 days : a case report. Asian Conference for Emergency Medicine (8th) (Taipei), 2015. 11.
 - 12) 三石達也, 石原嗣郎, 大熊 慧, 石塚淳史, 嶋原祥太, 曾根教子, 高木宏治, 徳山榮男, 表 俊也, 菊池有史, 石川昌弘, 網谷賢一, 高橋直人 : Cushing 病に心不全を合併した全身性浮腫の 1 例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第 238 回) (東京), 2015. 12.
 - 13) 曾根教子, 高木宏治, 徳山榮男, 菊池有史, 石川昌弘, 佐藤直樹, 清水 渉¹⁾ (¹⁾ 付属病院循環器内科) : FinGraph を用いた指先採決による Na, K 濃度と静脈採決による Na, K 濃度の比較試験. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
 - 14) 石原嗣郎, 高木宏治, 徳山榮男, 菊池有史, 石川昌弘, 曾根教子, 佐藤直樹, 清水 渉¹⁾ (¹⁾ 付属病院循環器内科) : 心不全を繰り返すと機能は徐々に低下する. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
 - 15) 高木宏治, 曾根教子, 徳山榮男, 菊池有史, 石川昌弘, 石原嗣郎, 佐藤直樹, 清水 渉¹⁾ (¹⁾ 付属病院循環器内科) : 冠動脈解離の発症に冠痙攣が関与した急性心筋梗塞の 1 例. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- (6)
- 1) 高木宏治¹⁾ (¹⁾ 付属病院循環器内科) : 循環器医 & 集中治療医の最強タッグを目指して一症例に学ぶ. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.

論文

{追加分}

追加分総説 :

- 1) 高木宏治, 佐藤直樹 : バソプレシン受容体拮抗薬への期待と課題. 呼吸と循環 2014 ; 62 (5) : 427-431.
- 2) 田島廣之¹⁾, 金城忠志¹⁾, 竹ノ下尚子²⁾, 市川太郎²⁾, 中摩健二, 菊池有史, 佐藤直樹, 松田 潔³⁾ (¹⁾ 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, ²⁾ 武蔵小杉病院放射線科, ³⁾ 武蔵小杉病院救命救急センター) : 各論 II ; 非外傷 血管 IVR 急性肺血栓塞栓症の IVR. 救急医学 2015 ; 40 (2) : 194-200.
- 3) 佐藤直樹 : ICU/CCU における心腎症候群. 日本腎臓学会誌 2015 ; 57 (2) : 302-307.

追加分原著 :

- 1) Kinugawa K¹⁾, Inomata T²⁾, Sato N, Yasuda M³⁾, Shimakawa T³⁾, Bando K³⁾, Mizuguchi K³⁾ (¹⁾ Department of Therapeutic Strategy for Heart Failure, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, ²⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Kitasato University School of Medicine, Tokyo, ³⁾ Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd, Tokyo, Japan) : Effectiveness and adverse events of tolvaptan in octogenarians with heart failure. International Heart Journal 2015 ; 56 (2) : 137-143.
- 2) Kajimoto K¹⁾, Sato N, Takano T²⁾ (¹⁾ I Division of Cardiology, Towa Hospital, Tokyo, Japan, ²⁾ Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ³⁾ on behalf of the investigators of the Acute Decompensated Heart Failure Syndromes (ATTEND) registry) : Relation of left ventricular ejection fraction and clinical features or co-morbidities to outcomes among patients hospitalized for acute heart failure syndromes. The American Journal of Cardiology 2015 ; 115 (3) : 334-340.
- 3) Kamiya M¹⁾, Sato N²⁾, Nozaki A²⁾, Akiya M²⁾, Okazaki H²⁾, Takahashi Y²⁾, Mizuno K¹⁾, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ²⁾ Department of Internal Medicine, Fraternity Memorial Hospital, Tokyo, Japan.) : Renal effects of added low-dose dopamine in acute heart failure patients with diuretic resistance to natriuretic

peptide. Journal of cardiovascular pharmacology 2015 ; 65 (3) : 282-288.

追加分研究報告書 :

- 1) 田島廣之¹⁾, 金城忠志¹⁾, 竹ノ下尚子²⁾, 市川太郎²⁾, 一色彩子²⁾, 中摩健二, 佐藤直樹, 村田 智³⁾, 小野澤志郎³⁾, 三樹いづみ³⁾, 山本 剛⁴⁾, 中沢 賢⁵⁾ (¹⁾ 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, ²⁾ 武蔵小杉病院放射線科, ³⁾ 付属病院放射線科) : 肺血栓栓症に対する Interventional Radiology の実際. 臨床放射線 2015 ; 61 (1) : 177-184.

学会発表

追加分教育講演 :

- 1) 佐藤直樹 : What is the Role of Tolvaptan in the Management of Heart Failure?. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2015. 3.
- 2) 佐藤直樹 : A Randomized Clinical Trial of the Novel steroidal Mineralocorticoid Receptor Antagonist Finerenone in Japanese Worsening Heart Failure Patients—ARTS—HF Japan. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2015. 3.
- 3) 佐藤直樹 : A Multicenter Prospective Cohort Study of the Effects of Tolvaptan in Acute Heart Failure Patients with Hyponatremia : MT FUJI Study. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2015. 3.

追加分一般講演 :

- 1) Takahashi N, Sato N, Kanaoka D, Ishikawa M, Shigihara S, Takagi K, Sone M, Tokuyama H, Nakama K, Omote T, Kikuchi A, Ishihara S, Amitani K, Kumita S¹⁾, Shimizu W²⁾ (¹⁾ Department of Radiology, Nippon Medical School Hospital, ²⁾ Department of Cardiology, Nippon Medical School Hospital) : What is Contractile Dyssynchrony? : The Primitive Study of Contractile Dyssynchrony Assessed by Gated Single-photon Emission Computed Tomography. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2015. 3.
- 2) Ishikawa M, Takahashi N, Mitsuishi T, Ishizuka A, Shigihara S, Takagi K, Sone M, Tokuyama H, Nakama K, Omote T, Kikuchi A, Ishihara S, Amitani K, Sato N, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiology, Nippon Medical School Hospital) : Impact of Severe or End-stage Chronic Kidney Disease Avoiding Hemodialysis on Left Ventricular Mechanical Dyssynchrony. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2015. 3.
- 3) Ishihara S, Sato N, Gayat E¹⁾, Laribi S¹⁾, Cohen-Solal A¹⁾, Mebazaa A¹⁾ (¹⁾ INSERM, UMRS 942 Biomarkers and cardiac diseases, France) : Comparable Effects of Vasodilators and Inotropes on Hemodynamic Congestion : Systematic Review and Meta Analysis of Hemodynamic Studies of Acute Heart Failure. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2015. 3.
- 4) Tokuyama H, Ishizuka A, Shigihara K, Sone M, Takagi K, Nakama K, Omote T, Kikuchi A, Ishihara S, Ishikawa M, Amitani K, Takahashi N, Sato N, Ishimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiology, Nippon Medical School Hospital) : Screening of worsening renal function in acute heart failure by urinary livertype fatty acid binding protein. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2015. 3.
- 5) Tokuyama H, Ishizuka A, Shigihara K, Sone M, Takagi K, Nakama K, Omote T, Kikuchi A, Ishihara S, Ishikawa M, Amitani K, Takahashi N, Sato N, Ishimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiology, Nippon Medical School Hospital) : Screening of worsening renal function in acute heart failure by urinary livertype fatty acid binding protein. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2015. 3.
- 6) 石川昌弘, 高橋直人, 花岡大資, 佐藤直樹, 橋和聡文¹⁾, 市川太郎¹⁾, 田島廣之²⁾, 汲田伸一郎³⁾, 清水 渉⁴⁾ (¹⁾ 武蔵小杉病院放射線科, ²⁾ 武蔵小杉病院血管内・低浸透治療センター, ³⁾ 付属病院放射線科, ⁴⁾ 付属病院循環器内科) : 透析未導入の重症CKD患者における左室同期不全の検討. 日本核医学会関東甲信越地方会 (第83回) (東京), 2014. 7.
- 7) 橋和聡文¹⁾, 市川太郎¹⁾, 花岡大資, 佐藤直樹, 石川昌弘, 高橋直人, 田島廣之²⁾, 汲田伸一郎³⁾ (¹⁾ 武蔵小杉病院放射線科, ²⁾ 武蔵小杉病院血管内・低浸透治療センター, ³⁾ 付属病院放射線科) : 糖尿病における Heart Rate Response と左室同期不全の関連性. 日本核医学会関東甲信越地方会 (第83回) (東京), 2014. 7.

追加分特別講演 :

- 1) Sato N : Perspectives for Prevention of Hospitalized Heart Failure : Lessons from the ATTEND Registry. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2015. 3.

[多摩永山病院内科, 循環器内科]

研究概要

当科は循環器専攻の内科医により構成され, 虚血性心疾患, 不整脈などの循環器疾患を中心に診療を行っているが, 多摩地区の中核病院としての機能を維持するため内科全般を診療対象とし, 専門領域の他, 高血圧, 糖尿病, 脂質異常症, メタボリックシンドローム, 慢

性腎臓病（CKD）などを対象に実地臨床に即した研究を行っている。1) 急性冠症候群の急性期治療および予後規定因子に関する研究 2) 冠攣縮性狭心症の病態と予後規定因子に関する研究 3) 心室細動を伴う冠攣縮性狭心症例に対する植込み型除細動器の適応に関する研究 4) 慢性心不全患者におけるサイトカインと予後に関する研究 5) 日本心電学会主催の心房細動症例の登録研究（J-RHYTHM Registry） 6) 不整脈診断のための臨床電気生理とカテーテル治療 7) 不整脈治療に必要な臨床心臓解剖学の研究 8) 心房細動、動脈硬化の発症に関わる炎症に関する研究 9) エイコサペンタエン酸と心不全の関連についての研究 10) 食塩感受性高血圧に対する薬物治療、食塩摂取量に関する研究 11) インクレチン製剤の血糖非依存性効果に関する研究 12) 日本循環器学会認定の多施設共同研究への参加 13) 多摩地区、南多摩地区における多施設共同研究への参加 14) 高齢者医療に関する共同研究以上を中心に研究を行い、日本内科学会、日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本心電学会、日本成人病（生活習慣病）学会、日本高血圧学会、日本糖尿病学会、日本老年医学会、及びその他の関連学会へ研究成果を報告するとともに、内科総合診療部門として稀な内科系疾患の症例報告も積極的に行っている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Soejima K¹, Nogami A², Sekiguchi Y², Harada T³, Satomi K⁴, Hirose T⁵, Ueda A¹, Miwa Y¹, Sato T¹, Nishio S³, Shirai Y², Kowase S⁶, Murakoshi N², Kunugi S⁷, Murata H, et al. (1) Kyorin University Hospital, (2) Cardiovascular Division, University of Tsukuba, (3) St. Marianna University School of Medicine Hospital, (4) Department of Cardiology, Tokyo Medical University Hachioji Medical Center, (5) Department of Cardiology, Gifu Prefectural General Medical Center, (6) Department of Cardiovascular Medicine, Yokohama Rosai Hospital, (7) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School Hospital) : Epicardial catheter ablation of ventricular tachycardia in “no entry” left ventricle : mechanical aortic and mitral valves. *Circ Arrhythm Electrophysiol.* 2015 ; 8 (2) : 381-389.
- 2) Nakagomi A, Shibui T, Kohashi K, Kosugi M, Kusama Y, Atarashi H, Shimizu W¹ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School.) : Differential Effects of Atorvastatin and Pitavastatin on Inflammation, Insulin Resistance, and the Carotid Intima-Media Thickness in Patients with Dyslipidemia. *J Atheroscler Thromb* 2015 ; 22 (11) : 1158-1171.
- 3) Otsuka T¹, Kachi Y¹, Takada H¹, Katoh K¹, Kodani E, Ibuki C², Kusama Y, Kawada T¹ (1) Department of Hygiene and Public Health, Nippon Medical School, (2) Cardiovascular Center, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital) : Development of a Risk Prediction Model for Incident Hypertension in a Working-Age Japanese Male Population. *Hypertens Res.* 2015 ; 38(6) : 419-425.
- 4) Kodani E : Early detection of atrial fibrillation is the first step to prevent cardiogenic stroke : Usefulness of B-type natriuretic peptide. *J Cardiol* 2015 ; 65 (6) : 451-452.
- 5) Ogawa H¹, Akao M¹, Suzuki S², Yamashita T², Okumura K³, Atarashi H, Inoue H⁴ (1) Department of Cardiology, National Hospital Organization Kyoto Medical Center, (2) Department of Cardiovascular Medicine, The Cardiovascular Institute, (3) Cardiology, Respiratory Medicine and Nephrology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, (4) Second Department of Internal Medicine, University of Toyama, Graduate School of Medicine) : Antiplatelet therapy in Japanese patients with atrial fibrillation without oral anticoagulants : Pooled analysis of Shinken Database, J-RHYTHM registry and Fushimi AF registry. *Int J Cardiol* 2015 ; 190 : 344-346.
- 6) Tomita H¹, Okumura K¹, Inoue H², Atarashi H, Yamashita T⁴, Origasa H³, Tsushima E⁵ (1) Department of Cardiology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, (2) Second Department of Internal Medicine, University of Toyama School of Medicine, (3) Division of Biostatistics and Clinical Epidemiology, University of Toyama School of Medicine, (4) Cardiovascular Institute Hospital, (5) Department of Physical Therapy, Hirosaki University Graduate School of Health Sciences) : Validation of risk scoring system excluding female sex from CHA2DS2-VASc in Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation -Subanalysis of the J-RHYTHM Registry. *Circ J* 2015 ; 79 (8) : 1719-1726.
- 7) Chishaki A¹, Kumagai N², Takahashi N³, Saikawa T⁴, Inoue H⁵, Okumura K⁶, Atarashi H, Yamashita T⁷, Origasa H⁸, Sakurai M⁹, Kawamura Y¹⁰, Kubota I, Matumoto K, Kaneko Y, Ogawa S, et al. (1) Department of Health Sciences, Faculty of Medical Sciences, Kyushu University, (2) Department of administration, University of Niigata Prefecture, (3) Department of Cardiology and Clinical Examination, faculty of Medicine, Oita University, (4) Japan Community Health Care Organization Yufuin Hospital, (5) Second Department of Internal Medicine, Toyama University Hospital, (6) Department of Cardiology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, (7) The Cardiovascular Institute, (8) Division of Biostatistics and Clinical Epidemiology, University of Toyama, (9) Department of Cardiology Hokko Memorial Hospital, (10) and others) : Non-valvular atrial fibrillation patients with low CHADS2 scores benefit from warfarin therapy according to propensity score matching subanalysis using the J-

RHYTHM Registry. *Thromb Res* 2015 ; 136 (2) : 267-273.

- 8) Murata H, Miyauchi Y¹⁾, Hayashi M¹⁾, Iwasaki Y¹⁾, Yodogawa K¹⁾, Ueno A²⁾, Hayashi H¹⁾, Tuboi I¹⁾, Uetake S¹⁾, Takahashi K¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Maruyama M¹⁾, Akutsu K¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Kobayashi Y²⁾, et al. (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School., 2) Division of Cardiology, Department of Medicine, Tokai University Hachioji Hospital) : Clinical and Electrocardiographic Characteristics of Electrical Storms Due to Monomorphic Ventricular Tachycardia Refractory to Intravenous Amiodarone. *Circ J* 2015 ; 79 (9) : 2130-2137.
- 9) Nakagomi A, Saiki Y, Noma S, Kohashi K, Morisawa T, Kosugi M, Kusama Y, Atarashi H, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Effects of febuxostat and allopurinol on the inflammation and cardiac function in chronic heart failure patients with hyperuricemia. *IJC Metabolic & Endocrine* 2015 ; 8 : 46-55.
- 10) Kodani E, Atarashi H, Inoue H¹⁾, Okumura K²⁾, Yamashita T³⁾, Origasa H⁴⁾ (1) Second Department of Internal Medicine, University of Toyama School of Medicine, 2) Department of Cardiology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, 3) Cardiovascular Institute Hospital, 4) Division of Biostatistics and Clinical Epidemiology, University of Toyama School of Medicine) : Use of warfarin in elderly patients with non-valvular atrial fibrillation ; Subanalysis of the J-RHYTHM Registry. *Circ J* 2015 ; 79 (11) : 2345-2352.
- 11) Tomita H¹⁾, Okumura K¹⁾, Inoue H²⁾, Atarashi H, Yamashita T³⁾, Origasa H⁴⁾ (1) Department of Cardiology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, 2) Second Department of Internal Medicine, University of Toyama School of Medicine, 3) Cardiovascular Institute Hospital, 4) Division of Biostatistics and Clinical Epidemiology, University of Toyama School of Medicine) : Assessment of risk factors for bleeding in Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation receiving warfarin treatment : A subanalysis of the J-RHYTHM Registry. *Int J Cardiol* 2015 ; 201 : 308-310.
- 12) Morisawa T, Nakagomi A, Kohashi K, Kosugi M, Kusama Y, Atarashi H, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Osteoprotegerin is Associated With Endothelial Function and Predicts Early Carotid Atherosclerosis in Patients With Coronary Artery Disease. *Int Heart J* 2015 ; 56 (6) : 605-612.
- 13) Kaneko Y¹⁾, Nito S²⁾, Okishige K³⁾, Morishige I⁴⁾, Tobiume T⁵⁾, Nakajima T¹⁾, Irie T¹⁾, Ota M¹⁾, Iijima T¹⁾, Iizuka T¹⁾, Tamura M¹⁾, Tamura S¹⁾, Saito A¹⁾, Igawa O, Kato R⁶⁾, et al. (1) Gunma University Graduate School of Medicine, 2) Gunma Prefectural Cardiovascular Center, 3) Yokohama-City Bay Red Cross Hospital, 4) Ogaki Municipal Hospital, 5) Tokushima University, 6) Saitama Medical University) : A typical Fast-Slow Atrioventricular Nodal Reentrant Tachycardia Incorporating a "Superior" Slow Pathway A Distinct Supraventricular Tachycardia. *Circulation*. 2016 ; 133 (2) : 114-123.
- 14) Klionsky D¹⁾, Abdelmohsen K, Abe A, Abedin M, Abeliovich H, Acevedo Arozena A, Adachi H, Adams H, Adams C, Adams P, Adeli K, Adhietty P, Adler S, Adhietty P, Saito T (1) Life Sciences Institute, University of Michigan) : Guidelines for the use and interpretation of assays for monitoring autophagy : 2nd edition. *Autophagy* 2016 ; 12 (1) : 1-222.
- 15) Imaizumi Y¹⁾, Eguchi K¹⁾, Imada H²⁾, Hidano K³⁾, Nijima S¹⁾, Kawata H³⁾, Fukushima N³⁾, Saito T, Hiroe M⁴⁾, Kario K¹⁾ (1) Division of Cardiology, Jichi Medical University, 2) Department of Pathology, Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital, 3) Division of Pathology, Jichi Medical University, 4) Department of Cardiology, National Center for Global Health and Medicine) : Electron microscopy of contact between a monocyte and a multinucleated giant cell in cardiac sarcoidosis. *Can J Cardiol* 2016.
- 16) Kodani E, Atarashi H, Inoue H, Okumura K, Yamashita T, Origasa H : Secondary prevention of stroke with warfarin in patients with non-valvular atrial fibrillation : Subanalysis of the J-RHYTHM Registry. *J Stroke Cerebrovasc Dis* 2016 ; 25 (3) : 585-599.
- 17) Kodani E, Atarashi H, Inoue H, Okumura K, Yamashita T, Origasa H : Beneficial Effect of Non-vitamin K Antagonist Oral Anticoagulants in Patients with Nonvalvular Atrial Fibrillation : Results of the J-RHYTHM Registry 2. *Circ J* 2016 ; 80 (4) : 843-851.
- 18) Saito T, Asai K¹⁾, Sato S²⁾, Hayashi M¹⁾, Adachi A³⁾, Sasaki Y³⁾, Takano H¹⁾, Mizuno K¹⁾, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, 2) Tokyo Electron Microscopy Laboratory, 3) Division of Morphological and Biomolecular Research, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Autophagic vacuoles in cardiomyocytes of dilated cardiomyopathy with initially decompensated heart failure predict improved prognosis. *Autophagy* 2016 ; 12 (3) : 579-587.
- 19) Otsuka T¹⁾, Takada H²⁾, Nishiyama Y³⁾, Kodani E, Saiki Y¹⁾, Kato K¹⁾, Kawada T¹⁾ (1) Department of Hygiene and Public Health, Nippon Medical School., 2) Industrial Safety and Health Center, Canon Inc., 3) Department of Neurology, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital) : Dyslipidemia and the risk of developing hypertension in a working-age female population. *J Am Heart Assoc* 2016 ; 5 (3) : e003053.

(2) 総説 :

- 1) 林 洋史¹⁾, 村田広茂, 宮内靖史²⁾, 林 明聡²⁾, 岩崎雄樹²⁾, 淀川賢司²⁾, 清水 渉²⁾, 山本 剛¹⁾, 坪 宏一¹⁾, 細川雄亮¹⁾, 宮地秀樹¹⁾, 北村光信¹⁾, 吉 眞孝¹⁾, 平田晶子¹⁾, 古瀬領人¹⁾, その他2名 (1) 日本医科大学心臓血管集中治療科, 2) 日本医科大学循環内

- 科)：経口アミオダロン不耐症例に合併した electrical storm に対する静注アミオダロンの安全性および有効性. PROGRESS IN MEDICINE 2015 ; 35 (suppl-1) : 376-380.
- 2) 村田広茂, 清水 渉¹⁾ (1) 日本医科大学循環器内科)：先天性・2次性QT延長症候群. 循環器内科 2015 ; 77 (4) : 333-337.
 - 3) 村田広茂, 清水 渉¹⁾：遺伝性不整脈疾患の遺伝子基盤に基づいた病態解明. Surgery Frontier 2015 ; 22 (2) : 120-127.
 - 4) 新 博次：心原性脳梗塞のリスク評価と薬物療法の実践. 臨床と研究 2015 ; 92 (6) : 815-818.
 - 5) 草間芳樹：黄金ルール (6) ST 上昇から考えられる疾患がある. ハートナーシング 2015 ; 28 (7) : 635-638.
 - 6) 草間芳樹：黄金ルール (7) 本物の心筋梗塞に伴う ST 上昇の見分け方を把握する. ハートナーシング 2015 ; 28 (7) : 639-640.
 - 7) 草間芳樹：黄金ルール (8) 梗塞部位と心電図波形はつながっている. ハートナーシング 2015 ; 28 (7) : 641-643.
 - 8) 井川 修：右室構造と電気生理. 超音波検査技術 2015 ; 40 (5) : 526-533.
 - 9) 井川 修：臨床講座 右室構造と電気生理. 超音波検査技術 2015 ; 40 (5) : 526-533.
 - 10) 井川 修：心筋構造と致死性不整脈. 臨床と研究 2015 ; 92 (11) : 1436-1442.

著 書

- 1) 井川 修：〔分担〕不整脈と解剖・画像. 不整脈診療クリニカルクエスト 200 (平尾見三編集), 2015 ; pp291-295, 診断と治療社.
- 2) 齋藤恒徳, 佐藤 茂¹⁾ (1) 東京顕微鏡相談室)：〔共著〕電子顕微鏡アトラス 心内膜下心筋生検., 2015 ; 日新 EM 株式会社.
- 3) 芦原貴司¹⁾, 草間芳樹, 栗田康生²⁾, 小菅雅美³⁾, 佐藤俊明⁴⁾, 高瀬凡平⁵⁾, 丹野 郁⁶⁾, 中井俊子⁷⁾, 山根禎一⁸⁾ (1) 志賀医科大学循環器内科・不整脈センター学, 2) 国際医療福祉大学, 3) 横浜市立大学付属市民総合医療センター心臓血管センター, 4) 杏林大学医学部内科学, 5) 防衛医科大学校病院集中治療部, 6) 昭和大学医学部循環器内科, 7) 日本大学医学部循環器内科, 8) 東京慈恵会医科大学循環器内科)：〔共著〕心電図検定公式問題集&ガイドー受験者必携! 2級/3級 (池田隆徳), 2015 ; (株) メディカル出版.
- 4) 小谷英太郎：〔分担〕心房細動に対する抗血栓凝固療法：NOAC はどれも同じか. 不整脈治療 update 第4巻 (池田隆徳 編), 2015 ; pp56-68, 医薬ジャーナル社.
- 5) 井川 修：〔分担〕アブレーションに必要な解剖. 格段にうまくいくカテーテルアブレーションの基本とコツ (高橋 淳編集), 2015 ; pp24-35, 羊土社.
- 6) 井川 修：〔分担〕大動脈弁の解剖, 形態学的特徴. 大動脈弁形成術のすべて：メカニズムを識る 弁温存を目指す, 2015 ; pp2-10, 文光堂.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 新 博次：日本心電図学会/日本不整脈学会 (徹底討論：循環器系学会の今後のあり方). 日本心臓病学会 (第63回), 2015. 9.

(2) 教育講演：

- 1) 井川 修：TAVIに関連する不整脈. 日本不整脈学会 (第30回)・心電学会合同学術集会 (第32回), 2015. 7.
- 2) 井川 修：デバイス治療に役立つ心臓の解剖. 日本不整脈学会 (第30回)・心電学会合同学術集会 (第32回), 2015. 7.
- 3) 井川 修：ASD カテ治療と房室ブロック. CVIT・第9回成人先天性心疾患カテーテル治療研究会, 2015. 7.
- 4) 井川 修：心エコー図の理解に役立つ臨床心臓構造学. 第19回日本心不全学会学術集会 (第19回), 2015. 10.
- 5) 齋藤恒徳：実践! 循環器臨床医のため 超やさしい心筋病理のみかた. 心不全若手勉強会 (第5回), 2015. 12.

(3) シンポジウム：

- 1) 齋藤恒徳, Asai K¹⁾, Inui K¹⁾, Sato S²⁾, Takano H¹⁾, Mizuno K¹⁾, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, 2) Tokyo Electron Microscopy Laboratory)：Prognostic Utility of Ultrastructural Features and Autophagy in Cardiomyocytes for Early Dilated Cardiomyopathy (心筋症の基礎と臨床：新しい視点からの展開). 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 2) 齋藤恒徳, Shimizu W¹⁾：Myocarditis and Cardiovascular Pathology (心筋炎を再考する). 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.

(4) セミナー：

- 1) 井川 修：EPSの見方：心臓の解剖学的所見との関連を含む. 日本不整脈学会 (第30回)・心電学会合同学術集会 (第32回), 2015. 7.
- 2) 井川 修：不整脈の理解に必要な心臓の解剖 (1)：右心系の解剖. 日本不整脈学会 (第30回)・心電学会合同学術集会 (第32回), 2015. 7.
- 3) 井川 修：不整脈の理解に必要な心臓の解剖 (2)：左心系の解剖. 日本不整脈学会 (第30回)・心電学会合同学術集会 (第32回), 2015. 7.

- 4) 新 博次：心房細動と高尿酸血症について。日本心臓病学会（第63回），2015. 9.
- 5) 井川 修：アブレーションに必要な解剖学。カテーテルアブレーション関連秋季大会2015，2015. 10.
- (5) 一般講演：
- 1) Igawa O : Myocardium Surrounding Left-coronary Aortic Sinus : Important Anatomical information Related to Catheter Ablation of Ventricular Tachyarrhythmias. Heart Rhythm Society 2015 the Heart Rhythm Society's 36th Annual Scientific Sessions (Boston), 2015. 5.
 - 2) Igawa O : Important anatomical information for ablation of atrial flutter. 8th APHRS Scientific Sessions 2015 (Melbourne), 2015. 11.
 - 3) Igawa O, Murata H, Ino T, Kusama Y, Adachi M, Atarashi H, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Notable Muscle Structure in Mitral Isthmus : Important anatomical finding related to the catheter ablation. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 4) Igawa O, Murata H, Ino T, Kusama Y, Adachi M, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Notable Structure, "Fibrous bridge" in Right Atrial Appendage : Important anatomical finding related to the catheter ablation. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 5) Igawa O, Murata H, Ino T, Kusama Y, Adachi M, Atarashi H, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Translucent Area in RA : Important anatomical finding related to catheter manipulation. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 6) Igawa O, Murata H, Ino T, Kusama Y, Adachi M, Atarashi H, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Myocardium Surrounding Leftcoronary Aortic Sinus : Important anatomical information related to catheter ablation of ventricular tachyarrhythmias. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 7) Nakagomi A, Noma S, Morisawa T, Kohashi K, Kosugi M, Endoh I, Kusama Y, Atarashi H, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : The Nutritional Status is Significantly Associated with Inflammation and Predicts Poor Outcomes in Patients with Chronic Heart Failure. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 8) Nakagomi A, Noma S, Morisawa T, Kohashi K, Kosugi M, Murata H, Endoh I, Kusama Y, Atarashi H, Shimizu W¹⁾ : Differential Effects of Atorvastatin and Pitavastatin on the Monocyte Tissue Factor Activity and Progression of Carotid Atherosclerosis in Hypercholesterolemic Patients. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 9) Morisawa T, Nakagomi A, Kohashi K, Kosugi M, Endoh I, Kusama Y, Atarashi H, Shimizu W¹⁾ : Elevated Osteoprotegerin is Associated with Endothelial Dysfunction and Predicts Early Carotid Atherosclerosis in Patients with Coronary Artery Disease. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 10) Murata H, Miyauchi Y¹⁾, Takayam M²⁾, Hayashi M¹⁾, Iwasaki Y¹⁾, Yodogawa K, Kosugi M¹⁾, Kodani E, Nakagomi A, Kitamura M¹⁾, Takano H¹⁾, Igawa O, Kusama Y, Atarashi H, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, 2) Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, Sakakibara Memorial Hospital) : Long-term Survival and Incidences of Nonfatal Ventricular Tachycardia and Sudden Cardiac Death after Alcohol Septal Ablation for Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 11) Kohashi K, Nakagomi A, Morisawa T, Kosugi M, Endoh I, Kusama Y, Atarashi H, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Effects of Eicosapentaenoic Acid on the Myeloperoxidase, Cardiac Function and Longterm Prognosis in Patients with Chronic Heart Failure. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 12) Kosugi M, Nakagomi A, Goda H, Nakano H, Saitoh T, Nozaki A, Hara C, Morisawa T, Kohashi K, Kodani E, Kusama Y, Atarashi H, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Impact of Inflammation on the Long-Term Prognosis in Patients with Microvascular Angina. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 13) Endoh I, Endoh Y¹⁾ : Expression of Antiinflammatory S100A8 in M2 Macrophages : A Potential Therapeutic Target for Inflammatory Cardiovascular Diseases. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 14) Saito T, Asai K¹⁾, Sato S²⁾, Takano H¹⁾, Mizunp K¹⁾, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, 2) Tokyo Electron Microscopy Laboratory) : Autophagy in Left Ventricular Cardiomyocytes Predict the Recovery of Cardiac Function in Early Dilated Cardiomyopathy. 日本循環器学会学術集会（第79回），2015. 4.
 - 15) Tomita H¹⁾, Okumura K¹⁾, Inoue H²⁾, Atarashi H, Yamashita T³⁾, Origasa H⁴⁾, Tsushima⁵⁾ (1) Department of Cardiology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, 2) Second Department of Internal Medicine, University of Toyama School of Medicine, 3) Department of Cardiovascular Medicine, The Cardiovascular Institute, 4) Division of Biostatistics and Clinical Epidemiology, University of Toyama School of Medicine, 5) Department of Physical Therapy, Hirosaki University School of Health Science) : Score System Excluding Female Gender from CHA2DS2-VASc in Japanese Patients with Non-Valvular Atrial Fibrilla-

- tion : A Subanalysis of the J-RHYTHM Registry. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回), 2015. 4.
- 16) Fukuda K¹, Ogawa H², Atarashi H, Inoue H³, Uchiyama S⁴, Kitazono T⁵, Ikeda T⁶, Kaikita K², Kumauchi M⁷, Matsui K⁸, Shimokawa H¹ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, (2) Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, (3) University of Toyama, (4) Clinical Research Center for Medicine, International University of Health and Welfare, (5) Department of Medicine and Clinical Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, (6) Department of Cardiovascular Medicine, Toho University Faculty of Medicine, (7) Department of Health Care Administration and Management, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, (8) Department of Community Medicine, Kumamoto University Hospital) : Effectiveness and Safety of Rivaroxaban in Patients with Non-Valvular Atrial Fibrillation : First Report from the EXPAND Study. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回), 2015. 4.
- 17) Suzuki S¹, Yamashita T¹, Okumura K², Atarashi H, Akao M³, Inoue H⁴ (1) Department of Cardiovascular Medicine, The Cardiovascular Institute, (2) Department of Cardiology, Respiratory Medicine and Nephrology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, (3) Department of Cardiology, National Hospital Organization Kyoto Medical Center, Kyoto, (4) Second Department of Internal Medicine, University of Toyama, Graduate School of Medicine) : Ischemic Stroke in Japanese Atrial Fibrillation Patients without Anticoagulation : Pooled Analysis of Shinken Database, J-RHYTHM Registry, and Fushimi AF Registry. 日本循環器学会学術集会 (第 79 回), 2015. 4.
- 18) Murata H, Miyauchi Y¹, Takayama M¹, Hayashi M¹, Iwasaki Y¹, Yodogawa K¹, Kosugi M, Kodani E, Nakagomi A, Kitamura M¹, Takano H¹, Igawa O, Kusama Y, Atarashi H, Shimizu W¹ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Long-term Survival and Incidences of Non-fatal Ventricular Tachycardia and Sudden Cardiac Death after Alcohol Septal Ablation for Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy in Japan. 日本不整脈学会 (第 30 回)・心電学会合同学術集会 (第 32 回), 2015. 7.
- 19) Igawa O : Cardiac Anatomy for Device Therapy. 日本不整脈学会 (第 30 回)・心電学会合同学術集会 (第 32 回), 2015. 7.
- 20) Igawa O : Arrhythmia associated with TAVI : Structure Of aortic Root and its Surroundings. 日本不整脈学会 (第 30 回)・心電学会合同学術集会 (第 32 回), 2015. 7.
- 21) Inoue H¹, Uchiyama S², Atarashi H, Okumura K³, Koretsune Y⁴, Yasaka M⁵, Yamashita T⁶ (1) Second Department of Internal Medicine, university of Toyama School of Medicine, (2) Clinical Research Center for Medicine, International University of health and Welfare, (3) Department of Cardiology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, (4) Institute for Clinical Research, Osaka National Hospital, (5) Department of Cerebrovascular Medicine and Neurology, Clinical Research Institute, National Hospital Organization Kyushu Medical Center, (6) The Cardiovascular Institute) : Interim report of Post-Marketing Surveillance on the Long-Term Use of dabigatran etexilate in Japanese patients with nonvalvular atrial fibrillation : the J-dabigatran Surveillance. 日本不整脈学会 (第 30 回)・心電学会合同学術集会 (第 32 回), 2015. 7.
- 22) Kobayashi Y¹, Ueno A¹, Murata H, Fukamizo S², Sasaki T³, Tanno K⁴, Watanabe N⁴, Nagao K⁵, Yamamoto T⁵, Takayama M⁶ (1) Division of Cardiology, Tokai University Hachioji-hospital, (2) Tokyo Metropolitan Hiroo Hospital, (3) Tokyo medical and Dental University, (4) Showa University, (5) Nippon Medical School, (6) Sakakibara Heart Institute) : Clinical features and backgrounds of electrical storm associated with acute myocardial infarction : Multicenter registry Tokyo CCU network. 日本不整脈学会 (第 30 回)・心電学会合同学術集会 (第 32 回), 2015. 7.
- 23) Saiki Y¹, Otsuka T¹, Kato K², Kodani E (1) Department of Hygiene and Public Health, Graduate School of Nippon Medical School, (2) Department of Cardiology, Nippon Medical School Chiba-Hokusoh Hospital) : Continuous Smoking, Smoking Cessation, the Risk of Developing Hypertension in a Healthy Population : Impact of Body Weight Changes. 日本高血圧学会総会 (第 38 回), 2015. 9.
- 24) Igawa O, Murata H, Kusama Y, Adachi M, Atarashi H, Shimizu W¹ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Structural Specificity of Pectinate Muscles in Right Atrial Appendage, “Japanese Fan like Alignment” : Notable Structure Related to Device Therapy. 日本循環器学会学術集会 (第 80 回), 2016. 3.
- 25) Igawa O, Murata H, Kusama Y, Adachi M, Shimizu W¹ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : “Myocardial Bridge” between Anterior and Posterior Papillary Muscles : Possibility of Electrical Connection between Papillary Muscles. 日本循環器学会学術集会 (第 80 回), 2016. 3.
- 26) Igawa O, Murata H, Kusama Y, Adachi M, Atarashi H, Shimizu W¹ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Anatomical Pitfall in 3D Mapping, “Right Ventricular Recess” : Unexpected Structure in Free Wall of Right Ventricular Outflow Tract. 日本循環器学会学術集会 (第 80 回), 2016. 3.
- 27) Igawa O, Murata H, Kusama Y, Adachi M, Atarashi H, Shimizu W¹ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon

- Medical School) : Notable Muscular Construction of Atrioventricular Septum : Important Structure Related to Catheter Manipulation. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 28) Kodani E, Atarashi H, Inoue H¹⁾, Okumura K²⁾, Yamashita T³⁾, Origasa H⁴⁾ (1) Saiseikai Toyama Hospital, 2) Hirosaki University, 3) Department of Cardiovascular Medicine, The Cardiovascular Institute, 4) Division of Biostatistics and Clinical Epidemiology, University of Toyama) : Five-year Outcome of Warfarin Therapy in Japanese Patients with Non-valvular Atrial Fibrillation. A Result of the J-RHYTHM Registry 2. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 29) Nakagomi A, Morisawa T, Kohashi K, Kosugi M, Endoh I, Kawaguchi N, Endoh Y¹⁾, Kusama Y, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Impact of Smoking Status on the Inflammation and Endothelial Function in Patients with Metabolic Syndrome. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 30) Nakagomi A, Morisawa T, Kohashi K, Saiki Y¹⁾, Kosugi M, Endoh I, Kawaguchi N, Endoh Y²⁾, Kusama Y, Shimizu W²⁾ (1) Department of Hygiene and Public Health, Graduate School of Nippon Medical School, 2) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Effects of Febuxostat and Allopurinol on the Inflammation and Cardiac Function in Chronic Heart Failure Patients with Hyperuricemia. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 31) Kohashi K, Nakagomi A, Morisawa T, Kosugi M, Endoh I, Kawaguchi N, Kusama Y, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Impacts of Dipeptidyl Peptide-4 Inhibitors on the Inflammation, Cardiac Function and Long-term Prognosis of Chronic Heart Failure Patients with Diabetes. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 32) Morisawa T, Nakagomi A, Kohashi K, Kosugi M, Kusama Y, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Effect of Statin Pretreatment on Coronary Plaque Composition Using Virtual Histology Intravascular Ultrasound in Patients with Coronary Artery Disease. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 33) Saiki Y¹⁾, Otsuka T¹⁾, Kato K²⁾, Kodani E (1) Department of Hygiene and Public Health, Graduate School of Nippon Medical School) : Impact of Smoking Cessation and Subsequent Body Weight Gain on Cardiometabolic Risk Factors in a Middle-aged Male Population. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 34) Tanno K¹⁾, Kobayashi Y, Ueno A, Fukamizu S, Sasaki T, Watanabe N, Murata H, Yamamoto T, Nagao K, Takayama M (1) okyo CCU Network Committee, Tokyo) : Clinical Characteristics of Patients with Acute Myocardial Infarction and Electrical Storm in the Coronary Care Unit. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 35) Ueno A¹⁾, Kobayashi Y¹⁾, Murata H, Sasaki T²⁾, Fukamizu S³⁾, Watanabe N⁴⁾, Tanno K⁴⁾, Yamamoto T⁵⁾, Nagao K⁶⁾, Takayama M⁷⁾ (1) Division of Cardiology, Tokai University Hachioji-hospital, 2) Tokyo Medical and Dental University, 3) Tokyo Metropolitan Hiroo Hospital, 4) Showa University, 5) Nippon Medical School, 6) Nippon Medical School, 7) Sakakibara Memorial Hospital) : Incidence and Clinical Characteristics of Electrical Storm in Hospitalized Patients Complicating Acute Myocardial Infarction : Report from Tokyo CCU Network Registry. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 36) Fukuda K¹⁾, Ogawa H²⁾, Atarashi H, Inoue H³⁾, Uchiyama S⁴⁾, Kitazono T⁵⁾, Ikeda T⁶⁾, Kaikita K²⁾, Komouchi M⁷⁾, Matsui K⁸⁾, Shimokawa H¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, 2) Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, 3) University of Toyama, 4) Clinical Research Center for Medicine, International University of Health and Welfare, Tokyo, 5) Department of Medicine and Clinical Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, 6) Department of Cardiovascular Medicine, Toho University Faculty of Medicine, 7) Department of Health Care Administration and Management, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, 8) Department of Community Medicine, Kumamoto University Hospital) : Rapid Development of Antithrombotic Therapy : Current Status and Future Directions. 日本循環器学会学術集会 (第79回), 2015. 4.
- 37) 大野 敦¹⁾, 植木彬夫¹⁾, 小谷英太郎, 住友秀孝²⁾, 関口芳弘³⁾, 宮川高一⁴⁾ (1) 東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科, 2) 立川相互病院内分泌代謝科, 3) 青梅市立病院内分泌糖尿病内科, 4) クリニックみらい国立) : 多摩地域の内科医対象のアンケート調査から見たインスリン療法の実施状況に関する年次推移. 日本内科学会総会・講演会 (第112回), 2015. 4.
- 38) 小谷英太郎, 新 博次, 井上 博¹⁾, 奥村 謙²⁾, 山下武志³⁾ (1) 富山大学医学部第2内科, 2) 弘前大学付属病院循環器科, 3) 心臓血管研究所付属病院) : 弁膜症性心房細動のワルファリン投与例における血栓塞栓症, 大出血の発症リスク因子 : J-RHYTHM Registryからの報告. 日本内科学会総会・講演会 (第112回), 2015. 4.
- 39) 栗田 明¹⁾, 高瀬凡平²⁾, 小谷英太郎, 岩原信一郎³⁾, 草間芳樹, 近藤修二⁴⁾, 新 博次 (1) 武蔵野徳洲苑医務室, 2) 防衛医科大学, 3) 南町田病院, 4) 三越診療所) : 心拍数変動指標と通常の健診データによる超高齢者の生命予後比較. 日本内科学会総会・講演会 (第112回), 2015. 4.
- 40) 松崎 弦, 中込明裕, 小谷英太郎, 小杉宗範, 井川 修, 草間芳樹, 新 博次, 清水 渉¹⁾ (1) 付属病院循環器内科) : 腹痛を主訴に大動脈周囲炎を伴う後腹膜繊維症と診断された1例. 日本内科学会関東地方会 (第614回), 2015. 5.
- 41) 小谷英太郎, 飯田美佐子¹⁾, 柴田まり子¹⁾, 加藤活人²⁾, 大塚俊昭²⁾, 緒方憲一, 草間芳樹, 新 博次 (1) 多摩永山病院 看護部, 2)

- 衛生学公衆衛生学分野) : DPP-4 阻害薬の血糖降下作用と Body mass index の関連 : シタグリプチンと他の DPP-4 阻害薬の比較. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回), 2015. 5.
- 42) 関口芳弘¹⁾, 大野 敦²⁾, 植木彬夫²⁾, 小谷英太郎, 住友秀孝³⁾, 宮川高一⁴⁾ (1) 青梅市立総合病院内分泌糖尿病内科, 2) 東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科, 3) 立川相互病院内分泌代謝科, 4) クリニックみらい国立) : 多摩地域の内科医対象のアンケート調査から見たインスリン療法の実地状況に関する年次推移. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回), 2015. 5.
- 43) 大塚俊昭¹⁾, 小谷英太郎, 加藤活人¹⁾, 西城由之¹⁾, 齋藤郁夫²⁾ (1) 日本医科大学衛生学公衆衛生学, 2) 慶應義塾大学) : 家庭血圧遠隔モニタリングシステム (OMRON Medical LINK) による職場血圧測定の実験. 臨床高血圧フォーラム (第 4 回), 2015. 5.
- 44) 小橋啓一, 野崎文華, 小谷英太郎, 合田浩紀, 田中貴久, 齋藤恒徳, 中野博之, 森澤太一郎, 小杉宗範, 中込明裕, 草間芳樹, 新博次 : 非 ST 上昇型急性心筋梗塞後に遅発性ステント血栓症を発症し, その後も治療に難渋した維持透析患者の 1 例. 多摩地区虚血性心疾患研究会 (第 42 回), 2015. 5.
- 45) 大塚俊昭¹⁾, 宗像 亮²⁾, 小谷英太郎 (1) 日本医科大学衛生学公衆衛生学, 2) 千葉北総病院循環器内科) : オシロメトリック法による上腕動脈断面面積および volume elastic modulus 測定の臨床的意義. 脈波解析研究会 (第 57 回), 2015. 6.
- 46) 小谷英太郎, 草間芳樹, 新 博次 : 高齢者 2 型糖尿病における DPP-4 阻害薬による HbA1c 低下効果の予測因子. 日本老年医学会学術集会 (第 57 回), 2015. 6.
- 47) 合田浩紀, 小谷英太郎, 松崎 弦, 林 耕次, 中野博之, 齋藤恒徳, 野崎文華, 原千鶴子, 小橋啓一, 森澤太一郎, 小杉宗範, 村田広茂, 中込明裕, 井川 修, 草間芳樹, その他 2 名 : 単冠動脈症に重症冠動脈病変を合併した虚血性心筋症の 1 例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第 236 回), 2015. 6.
- 48) 西城由之¹⁾, 大塚俊昭¹⁾, 加藤活人¹⁾, 小谷英太郎, 川田智之¹⁾ (1) 日本医科大学衛生学公衆衛生学) : 禁煙は高血圧発症リスクを上昇させるか? 禁煙にともなう体重変動を考慮した職場コホート研究. 日本循環器病予防医学会 (第 51 回), 2015. 6.
- 49) 桑原政成^{2,1)}, 元木葉子³⁾, 一浦嘉代子⁴⁾, 藤井瑞恵⁵⁾, 猪俣千里⁶⁾, 佐藤弘樹⁷⁾, 森澤太一郎, 森田喜紀²⁾, 桑原一通⁸⁾, 中村好一²⁾ (1) 虎の門病院循環器センター内科, 2) 自治医科大学, 3) 横浜市立大学, 4) 滋賀医科大学, 5) 札幌市立大学, 6) 大阪大学, 7) 大分大学医学部, 8) 阿佐祇園デンタルクリニック) : はみがき習慣と心血管疾患リスク因子との関係. 日本循環器病予防学会学術集会 (第 51 回), 2015. 6.
- 50) 大野 敦¹⁾, 植木彬夫²⁾, 小谷英太郎²⁾, 住友秀孝²⁾, 関口芳弘²⁾, 宮川高一²⁾ (1) 総合新川崎病院糖尿病代謝内科, 2) 糖尿病治療多摩懇話会) : 内科医対象のアンケート調査結果から見たインスリン療法の実施状況に関する年次推移. 神奈川糖尿病研究会 (第 32 回), 2015. 6.
- 51) 桑原政成^{1,2)}, 元木葉子³⁾, 一浦嘉代子⁴⁾, 藤井瑞恵⁵⁾, 猪俣千里⁶⁾, 佐藤弘樹⁷⁾, 森澤太一郎, 森田喜紀²⁾, 桑原一通⁸⁾, 中村好一²⁾ (1) 虎の門病院循環器センター内科, 2) 自治医科大学, 3) 横浜市立大学, 4) 滋賀医科大学, 5) 札幌市立大学, 6) 大阪大学, 7) 大分大学医学部, 8) 阿佐祇園デンタルクリニック) : はみがき習慣と心血管疾患リスク因子との関係 : 5 年間コホート研究. 日本循環器病予防学会 (第 51 回), 2015. 6.
- 52) 井川 修, 細根 勝¹⁾, 新 博次 (1) 多摩永山病院病理部) : ヒト心臓標本 : 不整脈の理解に必要な心臓解剖. 日本不整脈学会 (第 30 回)・心電学会合同学術集会 (第 32 回), 2015. 7.
- 53) 大野 敦¹⁾, 植木彬夫¹⁾, 小谷英太郎, 住友秀孝²⁾, 関口芳弘³⁾, 宮川高一⁴⁾ (1) 東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科, 2) 立川相互病院内分泌代謝科, 3) 青梅市立病院内分泌糖尿病内科, 4) クリニックみらい国立) : 多摩地域での糖尿病情報発信と医療連携 : 糖尿病治療多摩懇話会での試み. 日本糖尿病情報学会年次学術集会 (第 15 回), 2015. 8.
- 54) 小杉宗範, 中込明裕, 森澤太一郎, 小橋啓一, 村田広茂, 小谷英太郎, 川口直美, 草間芳樹, 細根 勝, 清水 渉¹⁾ (1) 付属病院循環器内科) : 超高齢男性に発症し, 比較的長期生存した原発性体腔液リンパ腫類似リンパ腫の 1 例. 日本内科学会関東地方会 (第 617 回), 2015. 9.
- 55) 松崎 弦 : 左下腹部に痛みを感じる 67 歳男性. 未病・エニグマ症例検討会 (第 24 回), 2015. 9.
- 56) 小杉宗範, 中込明裕, 合田浩紀, 森澤太一郎, 小橋啓一, 村田広茂, 小谷英太郎, 草間芳樹, 新 博次, 清水 渉¹⁾ (1) 付属病院循環器内科) : 微小血管狭心症患者において, 炎症は発症, 予後に深く関与する. 日本心臓病学会 (第 63 回), 2015. 9.
- 57) 小橋啓一, 中込明裕, 森澤太一郎, 小杉宗範, 草間芳樹, 新 博次, 清水 渉¹⁾ (1) 付属病院循環器内科) : 脂質異常症を有する慢性心不全患者において, エイコサペンタエン酸酸化ストレスを抑制し, 心機能と長期予後を改善する. 日本心臓病学会 (第 63 回), 2015. 9.
- 58) 小谷英太郎, 新 博次, 井上 博¹⁾, 奥村 謙²⁾, 山下武志³⁾ (1) 富山大学医学部第 2 内科, 2) 弘前大学付属病院循環器科, 3) 心臓血管研究所病院) : 低腎機能の非弁膜症性心房細動例におけるワルファリンの有用性 : J-RHYTHM Registry からの検討. 日本心臓病学会 (第 63 回), 2015. 9.
- 59) 野崎文華, 小橋啓一, 小谷英太郎, 合田浩紀, 田中貴久, 齋藤恒徳, 中野博之, 森澤太一郎, 小杉宗範, 中込明裕, 草間芳樹, 新博次, 清水 渉¹⁾ (1) 付属病院循環器内科) : 非 ST 上昇型急性心筋梗塞後に遅発性ステント血栓症を発症し, 治療に難渋した維持透析患者の 1 例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第 237 回), 2015. 9.

- 60) 杉原加寿子¹⁾, 亀山明美¹⁾, 菅谷量俊¹⁾, 村田和也¹⁾, 小谷英太郎 (1) 多摩永山病院薬剤科): 造影剤使用後の腎機能に対するメトホルミンの影響. 日本くすりと糖尿病学会学術集会 (第4回), 2015. 9.
- 61) 小谷英太郎, 新 博次, 井上 博¹⁾, 奥村 謙²⁾, 山下武志³⁾, 大塚俊昭⁴⁾, 折笠秀樹¹⁾ (1) 富山大学医学部, 2) 弘前大学付属病院, 3) 心臓血管研究所付属病院, 4) 日本医科大学衛生学公衆衛生): 非弁膜症性心房細動例における血栓塞栓症に対する高血圧の影響: J-RHYTHM Registry からの報告. 日本高血圧学会総会 (第38回), 2015. 9.
- 62) 西城由之¹⁾, 大塚俊昭¹⁾, 加藤活人¹⁾, 小谷英太郎 (1) 衛生学公衆衛生学): 健常集団における継続喫煙及び禁煙による高血圧発症リスク: 体重変化の影響を考慮した検討. 日本高血圧学会総会 (第38回), 2015. 9.
- 63) 中野博之, 中込明裕, 森澤太一郎, 小橋啓一, 村田広茂, 小杉宗徳, 小谷英太郎, 草間芳樹, 清水 渉¹⁾ (1) 付属病院循環器内科): 食欲不振と低Na血症を契機に発見された, 頭蓋内巨大脳動脈瘤の1例. 日本内科学会関東地方会 (第618回), 2015. 10.
- 64) 久保元基¹⁾, 永瀬 聡²⁾, 上岡 亮³⁾, 中川晃志³⁾, 西井伸洋³⁾, 森田 宏³⁾, 伊藤 浩³⁾, 近藤麻衣子⁴⁾, 馬場健児⁴⁾, 大槻審一⁴⁾, 笠原真悟⁴⁾, 佐野俊二⁵⁾, 井川 修 (1) 心臓血管センター榊原記念病院循環器内科, 2) 国立循環器病センター心臓血管内科, 3) 岡山大学病院循環器内科, 4) 岡山大学病院小児科, 5) 岡山大学心臓血管外科): 心電図波形を基に頻拍誘発性心筋症を生じた心房頻拍の起源である左心耳切除を行った小児の1例. 日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連秋季大会 (第8回), 2015. 10.
- 65) 喜久川浩子¹⁾, 矢野安佐子¹⁾, 池尻由香¹⁾, 佐々木和美¹⁾, 小谷英太郎 (1) 多摩永山病院看護部): 新生児室における環境音の実態調査: 看護師意識と新生児のストレス反応. 日本看護学会: ヘルスプロモーション—学術集会 (第46回), 2015. 11.
- 66) 小橋啓一, 小谷英太郎, 大山 亮, 田中貴久, 斉藤常德, 中野博之, 野崎文華, 森澤太一郎, 小杉宗徳, 中込明裕, 草間芳樹: 感染性心内膜炎と鑑別が困難であった前乳頭筋部分断裂による僧帽弁閉鎖不全症の1例. 多摩地区虚血性心疾患研究会 (第43回), 2015. 11.
- 67) 大野 敦¹⁾, 植木彬夫¹⁾, 小谷英太郎, 住友秀孝²⁾, 関口芳弘³⁾, 宮川高一⁴⁾ (1) 東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科, 2) 立川相互病院内分泌代謝科, 3) 青梅市立総合病院内分泌糖尿病内科, 4) クリニックみらい国立): 多摩地域における糖尿病とCKDに関するアンケート調査 (第2報). 日本糖尿病合併症学会 (第30回), 2015. 11.
- 68) 村田広茂, 井川 修, 小谷英太郎, 小杉宗徳, 合田浩紀, 田中貴久, 斉藤恒徳, 野崎文華, 小橋啓一, 森澤太一郎, 松崎 弦, 岡崎怜子, 遠藤育子, 川口直美, 中込明裕, その他4名: 咳嗽を契機に診断された呼吸周期依存性心房頻拍の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第238回), 2015. 12.
- 69) 小林義典¹⁾, 上野 亮¹⁾, 村田広茂, 深水誠二²⁾, 佐々木毅³⁾, 丹野 郁⁴⁾, 渡辺則和⁵⁾, 山本 剛⁶⁾, 高山守正⁷⁾, 長尾 建⁸⁾ (1) 東海大学医学部附属八王子病院循環器内科, 2) 都立広尾病院循環器内科, 3) 東京医科歯科大学不整脈センター, 4) 昭和大学東豊洲病院循環器内科, 5) 昭和大学循環器内科, 6) 付属病院集中治療室, 7) 榊原記念病院, 8) 日本大学循環器): 心筋梗塞急性期に出現するVT/VF storm の発生背景と臨床的特徴: 東京都CCUネットワーク多施設登録試験から. 東京CCU研究会 (第35回), 2015. 12.
- 70) 斎藤恒徳, 田村浩一¹⁾, 新田 隆²⁾, 清水 渉¹⁾ (1) 日本医科大学病理部, 2) 日本医科大学心臓血管外科): 弁膜症性心房細動における左心耳内血栓の形成機序. 第37回心筋生検研究会 (第37回), 2015. 12.
- 71) 斎藤恒徳: 左室収縮障害を伴う高血圧性心疾患の心筋細胞障害およびオートファジーの検出とその臨床的意義. 高血圧と冠動脈疾患研究会 (第10回), 2015. 12.
- 72) 小谷英太郎, 杉原加寿子¹⁾, 亀山明美¹⁾, 菅谷量俊¹⁾, 草間芳樹, 村田和也¹⁾ (1) 薬剤部): メトホルミンの造影剤使用後の腎機能に対する影響. 日本成人病 (生活習慣病) 学会学術集会 (第50回), 2016. 1.
- 73) 大野 敦¹⁾, 植木彬夫¹⁾, 小谷英太郎, 住友秀孝²⁾, 関口芳弘³⁾, 宮川高一⁴⁾ (1) 東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科, 2) 立川相互病院内分泌代謝科, 3) 青梅市立総合病院内分泌糖尿病内科, 4) クリニックみらい国立): 多摩地域におけるメタボリックシンドロームへの対応に関するアンケート結果の年次推移. 日本成人病 (生活習慣病) 学会学術集会 (第50回), 2016. 1.
- 74) 斎藤恒徳, 小谷英太郎, 野崎文華, 中野博之, 合田浩紀, 田中貴久, 小橋啓一, 森澤太一郎, 村田広茂, 小杉宗徳, 中込明裕, 井川修, 草間芳樹, 新 博次, 清水 渉¹⁾ (1) 付属病院循環器内科): P-ANCA 陽性糸球体腎炎を合併した感染性心内膜炎の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第239回), 2016. 2.
- 75) 川上大志¹⁾, 西村和久¹⁾, 永井啓行¹⁾, 上谷晃由¹⁾, 青野 潤¹⁾, 井上勝次¹⁾, 鈴木 純¹⁾, 土居原拓也²⁾, 井川 修, 大木元明義¹⁾, 檜垣実男¹⁾ (1) 愛媛大学大学院循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講座, 2) 愛媛大学大学院解剖学・発生学講座): 植込みデバイス治療の安全性および技術向上を目指したcadaver training の経験. 日本不整脈学会第8回植込みデバイス関連冬季大会 (第8回), 2016. 2.
- 76) 斎藤恒徳: P-ANCA 陽性糸球体腎炎を合併した感染性心内膜炎の1例. 東京心臓病理フォーラム (第13回), 2016. 3.
- 77) 石川裕美子¹⁾, 馬來康太郎¹⁾, 大森 順¹⁾, 新福摩弓¹⁾, 川見典之¹⁾, 植木信江¹⁾, 津久井拓¹⁾, 岩切勝彦²⁾, 細根 勝³⁾, 井川 修 (1) 多摩永山病院消化器科, 2) 日本医科大学付属病院消化器肝臓内科, 3) 多摩永山病院病理部): 急激に進行し心転移を来した未分化胃癌の1例. 日本内科学会関東地方会 (第622回), 2016. 3.
- 78) 井川 修, 村田広茂, 草間芳樹, 足立正光, 新 博次, 清水 渉¹⁾ (1) 付属病院循環器内科): No Ventricular Myocardium in Aortomitral Continuity: Important Anatomical Finding Related to Catheter Ablation. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.

- 79) 小谷英太郎, 新 博次, 井上 博¹⁾, 奥村 謙²⁾, 山下武志³⁾, 折笠秀樹⁴⁾ (1) 済生会富山病院, 2) 弘前大学循環器内科, 3) 心臓血管研究所, 4) 富山大学医学部 医学薬学研究部バイオ統計学・臨床疫学): Beneficial Effect of Non-vitamin K Antagonist Oral Anticoagulants in Patients with Non-valvular Atrial Fibrillation : On-treatment Analysis of the J-RHYTHM Registry2. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 80) 小杉宗徳, 中込明裕, 中野博之, 齋藤恒徳, 野崎文華, 森澤太一郎, 小橋啓一, 小谷英太郎, 草間芳樹, 清水 渉¹⁾ (1) 付属病院循環器内科): Impact of Smoking Status on the Inflammation and Long-Term Prognosis in Patients with Vasospastic Angina. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 81) 塚 宏一¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Hosokawa Y¹⁾, Miyachi H¹⁾, Murata H, Hayashi H¹⁾, Sangen H¹⁾, Suzuki K¹⁾, Furuse E¹⁾, Morota T²⁾, Nitta T²⁾, Shimizu W¹⁾ (1) Division of Cardiovascular Intensive Care, Nippon Medical School, 2) Department of Cardiovascular Surgery, Nippon Medical School): Outcome of Initial Medical Management for Non-communicating Acute Type A Aortic Dissection : Is All Necessary for Surgical Repair?. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 82) 金古善明¹⁾, 内藤滋人²⁾, 沖重 薫³⁾, 森島逸郎⁴⁾, 飛梅 威⁵⁾, 中島 忠¹⁾, 入江忠信¹⁾, 太田昌樹¹⁾, 飯島貴史¹⁾, 田村岐太郎¹⁾, 小林生生¹⁾, 齋藤章宏¹⁾, 井川 修, 加藤律史⁶⁾, 松本万夫⁶⁾, その他2名 (1) 群馬大学循環器科, 2) 群馬県立心臓血管センター, 3) 横浜私立みなと赤十字病院, 4) 大垣市民病院, 5) 徳島大学循環器内科, 6) 埼玉医科大学国際医療センター心臓内科): Atypical Fast-Slow Atrioventricular Nodal Reentrant Tachycardia Incorporating a "Superior" Slow Pathway : A Distinct Supraventricular Tachyarrhythmia. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 83) 池田隆徳¹⁾, 小川久雄²⁾, 新 博次, 井上 博³⁾, 内山真一郎⁴⁾, 北園孝成⁵⁾, 山下武志⁶⁾, 清水 渉⁷⁾, 海北幸一⁸⁾, 鴨打正浩⁹⁾, 福田浩二¹⁰⁾, 松井邦彦⁸⁾, 下川宏明¹⁰⁾ (1) 東邦大学循環器内科, 2) 国立循環器病研究センター, 3) 済生会富山県済生会富山病院, 4) 国際医療福祉大学臨床医学研究センター, 5) 九州大学大学院医学研究院病態機能内科学, 6) 心臓血管研究所, 7) 日本医科大学内科学, 8) 熊本大学大学院循環器内科学, 9) 九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学, 10) その他): Effectiveness and Safety of Rivaroxaban in Patients with Non-Valvular Atrial Fibrillation : The Second Report from the EXPAND Study. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 84) 山下武志¹⁾, 小川久雄²⁾, 新 博次, 井上 博³⁾, 内山真一郎⁴⁾, 北園孝成⁵⁾, 清水 渉⁶⁾, 池田隆徳⁷⁾, 海北幸一⁸⁾, 鴨打正浩⁵⁾, 福田浩二⁹⁾, 松井邦彦⁸⁾, 下川宏明⁹⁾ (1) 心臓血管研究所, 2) 国立循環器病センター, 3) 済生会富山病院, 4) 山王メディカルセンター, 5) 九州大学, 6) 日本医科大学, 7) 東邦大学, 8) 東北大学): 心房細動に対する抗凝固療法の新たなエビデンス. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 85) 渡辺則和¹⁾, Kobayashi Y²⁾, Kobayashi Y³⁾, Tanno K¹⁾, Fukamizu S⁴⁾, Sasaki T⁵⁾, Murata H, Ueno A²⁾, Yamamoto T⁶⁾, Nagao K⁷⁾, Takayama M⁸⁾ (1) Division of Cardiology, Department of Medicine, Showa University School of Medicine, 2) Tokai University Hachioji Hospital, 3) Showa University Koto Toyosu Hospital, 4) Tokyo Metropolitan Hiroo Hospital, Tokyo, 5) Tokyo Medical and Dental University Hospital, 6) Nippon Medical School Hospital, 7) Nihon University Hospital, 8) Sakakibara Memorial Hospital): Characteristics of Relationship Electrical Storm and Responsible Coronary Artery Lesions in Acute Myocardial Infarction : Multicenter Registry from Tokyo CCU Network. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- 86) 佐々木毅¹⁾, Kobayashi Y²⁾, Murata H, Ueno A²⁾, Fukamizu S³⁾, Tanno K⁴⁾, Watanabe N⁴⁾, Yamamoto T⁵⁾, Nagao K⁶⁾, Takayama M⁷⁾ (1) Tokyo Medical and Dental University, 2) Division of Cardiology, Tokai University Hachioji-hospital, 3) Tokyo Metropolitan Hiroo Hospital, 4) Showa University, 5) Nippon Medical School, 6) Nihon University Hospital, 7) Sakakibara Memorial Hospital): Predictive Factors for In-Hospital Mortality of Patients with Electrical Storm after Acute Myocardial Infarction : Multicenter Registry from Tokyo CCU Network. 日本循環器学会学術集会 (第80回), 2016. 3.
- (6) モーニングレクチャー :
- 1) Igawa O : Essential Anatomical Information of the Heart for Catheter Ablation (Structural Characteristics of Aortic Root). 日本循環器学会学術集会 (第79回), 2015. 4.

論文

〔追加分〕

追加分総説 :

- 1) 草間芳樹, 眞壁怜子, 小谷英太郎, 中込明裕, 井川 修, 新 博次 : 冠攣縮性狭心症の臨床像と心電図変化. 心電図 2015 ; 35 (Suppl 1) : 74-78.
- 2) 新 博次, 草間芳樹 : 心電学研究の進歩. 循環器専門医 2015 ; 23 (1) : 87-90.
- 3) 新 博次 : 日本人におけるエビデンスから学ぶ薬物治療. 循環器専門医 2015 ; 23 (1) : 1-2.

追加分原著 :

- 1) Yamashita T¹⁾, Inoue H²⁾, Okumura K³⁾, Atarashi H, Origasa⁴⁾ (1) The Cardiovascular Institute, J-RHYTHM Registry Inves-

tigators, ²⁾ Second Department of Internal Medicine, University of Toyama School of Medicine, ³⁾ Department of Cardiology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, ⁴⁾ Division of Biostatistics and Clinical Epidemiology, University of Toyama School of Medicine) : Warfarin anticoagulation intensity in Japanese nonvalvular atrial fibrillation patients : A J-RHYTHM Registry analysis. *J Cardiol* 2015 ; 65 (3) : 175-177.

2) Sakamoto S¹⁾, Shibata M¹⁾, Murata H, Nitta T¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Surgery, Nippon Medical School) : Intraoperative cardiac mapping in the treatment of an infant congenital fibroma. *Ann Thorac Surg*. 2015 ; 99 (3) : 1064-1066.

[千葉北総病院循環器内科]

研究概要

千葉北総病院循環器内科では、虚血性心疾患（冠動脈疾患）、不整脈、うっ血性心不全、末梢血管疾患、睡眠時無呼吸症候群、心血管バイオマーカーの臨床開発を中心に研究活動を展開しています。虚血性心疾患では、冠動脈造影（CAG）、血管内視鏡（AGS）、血管内超音波（IVUS）、光干渉断層像（OCT）といった最新画像診断に新規不安定プラーク関連バイオマーカーによる解析を加えた特徴的な研究成果を英文原著論文として多数発表しています。当科の冠動脈画像診断に対する外部の評価は高く、今後も一層の発展を目指しています。不整脈では、症例数の増加に伴い貴重な症例の英文ケースレポート、上室性および心室性不整脈の発生機序に関する研究成果を英文原著論文として発表しています。心不全については、以前から心筋バイオマーカーの臨床開発を継続していますが、これに加えて睡眠時無呼吸症候群や他の全身疾患と心不全発症の関係についての研究発表を重ねています。末梢血管疾患については、虚血性心疾患とともに危険因子（とりわけ糖尿病や慢性腎疾患など）に関する研究を進めており今後の進歩が期待されます。また、地域医療連携の形で睡眠時無呼吸症候群が各種循環器疾患の危険因子であることを発信しています。千葉北総病院は循環器疾患の症例数が多く、スタッフの研究意欲もとても高いので、文科省科研費を獲得するなど、今後さらなる飛躍が実現できるよう努めています。

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) Shima A, Miyamoto M¹⁾, Kubota Y¹⁾, Takagi G¹⁾, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Beraprost Sodium Protects Against Diabetic Nephropathy in Patients with Arteriosclerosis Obliterans : A Prospective, Randomized, Open-label Study. *Journal of Nippon Medical School* 2015 ; 82 (2) : 84-91.
- 2) Momomura S¹⁾, Seino Y, Kihara Y²⁾, Adachi H³⁾, Yasumura Y⁴⁾, Yokoyama H⁵⁾, Wada H¹⁾, Ise T⁶⁾, Tanaka K⁷⁾ (¹⁾ Division of Cardiovascular Medicine, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, ²⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Hiroshima University Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima, ³⁾ Division of Cardiology, Gunma Prefectural Cardiovascular Center, Maebashi, ⁴⁾ Cardiovascular Division, Osaka National Hospital, Osaka, ⁵⁾ Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita, ⁶⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Institute of Health Biosciences, University of Tokushima Graduate School, Tokushima, ⁷⁾ Division of Cardiovascular Disease, Miyoshi Central Hospital, Miyoshi) : Adaptive Servo-Ventilation Therapy for Patients With Chronic Heart Failure in a Confirmatory, Multicenter, Randomized, Controlled Study. *Circulation Journal* 2015 ; 79 (5) : 981-990.
- 3) Otsuka T¹⁾, Kachi Y¹⁾, Takada H²⁾, Kato K, Kodani E³⁾, Ibuki C, Kusama Y³⁾, Kawada T¹⁾ (¹⁾ Department of Hygiene and Public Health, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ²⁾ Industrial Safety and Health Center, Canon Inc., Tokyo, Japan, ³⁾ Department of Internal Medicine and Cardiology, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, Tokyo, Japan) : Development of a risk prediction model for incident hypertension in a working-age Japanese male population. *Hypertension research* 2015 ; 38 (6) : 419-425.
- 4) Nakatsuji A¹⁾, Miyauchi Y¹⁾, Iwasaki Y¹⁾, Tsuboi I¹⁾, Hayashi H¹⁾, Uetake S, Takahashi K¹⁾, Yodogawa K¹⁾, Hayashi M¹⁾, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Detection and Evaluation of Pulmonary Hypertension by a Synthesized Right-Sided Chest Electrocardiogram. *Journal of Nippon Medical School* 2015 ; 82 (3) : 136-145.
- 5) Umemoto S¹⁾, Seino Y, Ogihara T^{2,3)}, Matsuzaki M⁴⁾, Rakugi H³⁾, Ohashi Y⁵⁾, Saruta T⁶⁾, et al. (¹⁾ Center for Clinical Research, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan, ²⁾ Morinomiya University of Medical Sciences, Osaka, Japan, ³⁾ Department of Geriatric Medicine and Nephrology, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan, ⁴⁾ Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan, ⁵⁾ Department of Integrated Science and Engineering for Sustainable Society, Faculty of Science and Engineering, Chuo University, Tokyo, Japan, ⁶⁾ Keio University, Tokyo, Japan) : Effects of calcium channel blocker-based combinations on intra-individual blood pressure variability : post hoc analysis of the COPE trial. *Hypertension Research* 2015 ; 39 (1) :

- 6) Shiomura R¹, Nakamura S¹, Takano H¹, Kato K¹, Inui K¹, Kubota Y¹, Komiyama H, Murai K¹, Asai K¹, Shimizu W¹ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Impact of Brain Natriuretic Peptide, Calcium Channel Blockers, and Body Mass Index on Recovery Time from Left Ventricular Systolic Dysfunction in Patients With Takotsubo Cardiomyopathy. *The American Journal of Cardiology* 2015 ; 116 (4) : 515-519.
- 7) Murata H¹, Miyauchi Y¹, Hayashi M¹, Iwasaki Y¹, Yodogawa K¹, Ueno A², Hayashi H¹, Tsuboi I¹, Uetake S, Takahashi K¹, Yamamoto T, Maruyama M, Akutsu K¹, Yamamoto T¹, Kobayashi Y³ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, (2) Department of Intensive and Cardiovascular Care Unit, Nippon Medical School Hospital, Tokyo, (3) Division of Cardiology, Hachioji Hospital, Tokai University, Tokyo) : Clinical and Electrocardiographic Characteristics of Electrical Storms Due to Monomorphic Ventricular Tachycardia Refractory to Intravenous Amiodarone. *Circulation Journal* 2015 ; 79 (10) : 2130-2137.
- 8) Taniguchi H¹, Kobayashi Y², Maruyama M, Morita N², Hayashi M¹, Miyauchi Y¹, Shimizu W¹ (1) Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, (2) Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, Tokai University Hachioji Hospital, Tokyo, Japan) : Electrophysiological and anatomical background of the fusion configuration of diastolic and presystolic Purkinje potentials in patients with verapamil-sensitive idiopathic left ventricular tachycardia. *Journal of Arrhythmia* 2015 ; 31 (5) : 261-267.
- 9) Shibuya J¹, Nakamura S¹, Komiyama H, Kato K¹, Inami S², Takano H¹, Mizuno K¹, Shimizu W¹ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, (2) Department of Cardiology, Mita Hospital, International University of Health and Welfare, Tokyo, Japan) : Target lesion evaluation by multiple modalities in vivo : near-infrared spectroscopy (NIRS), virtual histology intravascular ultrasound, optical coherence tomography, and angiography. *EuroIntervention* 2015 ; 11 (6) : e1-e1.
- 10) Momomura S¹, Seino Y, Kihara Y², Adachi H³, Yasumura Y⁴, Yokoyama H⁵ (1) Cardiovascular Medicine, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan, (2) Department of Cardiovascular Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan, (3) Division of Cardiology, Gunma Prefectural Cardiovascular Center, Gunma, Japan, (4) Cardiovascular Division, Osaka National Hospital, Osaka, Japan, (5) Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Osaka, Japan) : Adaptive servo-ventilation therapy using an innovative ventilator for patients with chronic heart failure : a real-world, multicenter, retrospective, observational study (SAVIOR-R). *Heart Vessels* 2015 ; 30 (6) : 805-817.
- 11) Kurihara O, Takano M, Uchiyama S, Fukuizumi I, Shimura T, Matsushita M, Komiyama H, Inami T, Murakami D, Munakata R, Ohba T, Hata N, Seino Y, Shimizu W¹ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Microvascular resistance in response to iodinated contrast media in normal and functionally impaired kidneys. *Clinical and Experimental Pharmacology and Physiology* 2015 ; 42 (12) : 1245-1250.
- 12) Kurihara O, Okamoto K, Mizuno K¹, Takano M, Yamamoto M, Kobayashi N, Munakata R, Murakami D, Inami S¹, Ohba T, Hata N, Seino Y, Shimizu W¹ (1) Division of Cardiology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Coronary atherosclerosis and risk of acute coronary syndromes in chronic kidney disease using angiography and the kidney disease : Improving Global Outcomes (KDIGO) classification. *Atherosclerosis* 2015 ; 243 (2) : 567-572.
- 13) Kitamura M¹, Hata N¹, Takayama T², Hirayama A², Ogawa M³, Yamashita A³, Mera H⁴, Yoshino H⁴, Nakamura F⁵, Seino Y (1) Division of Intensive Care Unit, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, Chiba, Japan, (2) Division of Cardiology, Department of Medicine, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan, (3) Department of Cardiology, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan, (4) Second Department of Internal Medicine, Kyorin University School of Medicine, Tokyo, Japan, (5) Third Department of Internal Medicine, Teikyo University Chiba Medical Center, Chiba, Japan) : Different characteristics of cardiac biomarkers to decide and predict the culprit lesions in patients with suspicious acute coronary syndrome. *Heart and Vessels* 2016 ; 31 (6) : 907-917.
- 14) Shimura T, Yamamoto M, Takano M, Okamoto K, Inami S, Murakami D, Munakata R, Inami T, Kurihara O, Kano S, Seino Y, Shimizu W¹, Mizuno K¹ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Extreme late-phase observation using coronary angiography until 7 years after sirolimus-eluting stent implantation. *Coronary Artery Disease* 2016 ; 27 (1) : 29-33.
- 15) Mizuno M¹, Kajimoto K², Sato N³, Yumino D¹, Minami Y¹, Murai K⁴, Munakata R, Asai K⁵, Keida T⁶, Sakata Y⁷, Hagiwara N¹, Takano T⁴ (1) Department of Cardiology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan, (2) Department of Cardiology, Sekikawa Hospital, Tokyo, Japan, (3) Department of Cardiology, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, Kawasaki, Japan, (4) Intensive and Cardiac Care Unit, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, (5) Division of Cardiology, Hepatology, Ge-

riatics, and Integrated Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ⁶⁾ Department of Cardiology, Edogawa Hospital, Tokyo, Japan, ⁷⁾ Department of Cardiology, Osaka University, Osaka, Japan) : Clinical profile, management, and mortality in very-elderly patients hospitalized with acute decompensated heart failure : An analysis from the ATTEND registry. *European Journal of Internal Medicine* 2016 ; 27 : 80-85.

- 16) 水野正之¹⁾, 高野雅充, 岡崎大武²⁾, 稲見 徹, 河原崎昇¹⁾, 清野精彦 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院放射線センター, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院集中治療室) : FD-OCT における外側色調が内側のシグナル輝度に及ぼす影響. *日本心血管インターベンション治療学会誌* 2015 ; 7 (3) : 86-89.

(2) 総説 :

- 1) Komiyama H, Takano M, Hata N, Seino Y, Shimizu W¹⁾, Mizuno K²⁾ (¹⁾ Cardiology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ²⁾ Mitsukoshi Health and Welfare Foundation, Tokyo, Japan) : Neoatherosclerosis : Coronary stents seal atherosclerotic lesions but result in making a new problem of atherosclerosis. *World Journal of Cardiology* 2015 ; 7 (11) : 776-783.
- 2) Kihara Y¹⁾, Seino Y, Momomura S²⁾ (¹⁾ Hiroshima University Hiroshima, Japan, ²⁾ Jichi Medical University Saitama, Japan) : Adaptive Servo-Ventilation for Central Sleep Apnea in Heart Failure. *The new England Journal of Medicine* 2016 ; 374 (7) : 687-691.
- 3) 清野精彦 : 循環器領域における性差医療に関するガイドライン JCS2010 の概要. *日本臨牀* 2015 ; 73 (4) : 677-680.
- 4) 松下誠人, 宗像 亮, 清野精彦 : 慢性心不全における現在の標準的薬物治療. *循環器内科* 2015 ; 77 (5) : 421-425.
- 5) 小宮山英徳, 高野雅充, 清野精彦, 小林宣明¹⁾, 畑 典武¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院集中治療室) : PCI における血管内イメージングによる病態解析. *ICU と CCU* 2015 ; 39 (6) : 353-361.
- 6) 清野精彦 : 冠動脈カテーテルインターベンションの今後の展開 2015. *ICU と CCU* 2015 ; 39 (6) : 327-327.
- 7) 稲見 徹, 清野精彦 : 睡眠呼吸障害と大動脈疾患 : とくに閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) が及ぼす影響. *医学のあゆみ* 2015 ; 254 (7) : 499-502.
- 8) 西脇龍広¹⁾, 中園裕紀¹⁾, 福田恵子¹⁾, 清野精彦 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院薬剤部) : [各職種の心不全チームへのかかわりと役割] 薬剤師の視点から. *Medical Alliance* 2015 ; 1 (4) : 336-342.
- 9) 清野精彦 : 循環器系バイオマーカー測定の意義と課題. *Heart View* 2015 ; 19 (12) : 8-15.
- 10) 松下誠人, 高野雅充 : 冠動脈病変を診断する : 侵襲的冠動脈イメージング OCT を極める (プラーク形態を中心に). *Coronary Intervention* 2015 ; 11 (6) : 30-36.

(3) その他 :

- 1) 清野精彦 : 私が最も影響を受けた論文. *ICU と CCU* 2015 ; 39 (12) : 757-760.

(4) レター :

- 1) Otsuka T¹⁾, Munakata R (¹⁾ Department of Hygiene and Public Health, Nippon Medical School, Bunkyo-ku, Tokyo, Japan) : Enlargement of the brachial artery : significance of measurement. *Hypertension research* 2015 ; 38 (7) : 459-460.
- 2) Shiomura R¹⁾, Nakamura S¹⁾, Takano H¹⁾, Kato K¹⁾, Inui K¹⁾, Kubota Y¹⁾, Komiyama H, Murai K¹⁾, Asai K¹⁾, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Reply : To PMID 26059866. *The American Journal of Cardiology* 2015 ; 116 (7) : 1155-1155.
- 3) Maruyama M : Pseudo VA Linking with Atrial Overdrive Pacing : Importance of Pacing Site. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology* 2016 ; 27 (3) : E1.

(5) 症例報告 :

- 1) Uetake S, Maruyama M, Yamamoto T, Hata N, Seino Y, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Conversion from Two Types of Wide QRS Complex Tachycardia to Narrow QRS Complex Tachycardia : What are the Mechanisms?. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology* 2016 ; 27 (1) : 129-130.
- 2) Kobayashi N¹⁾, Takano M, Shimura T, Hata N¹⁾, Shimizu W²⁾ (¹⁾ Division of Intensive Care Unit, Chiba Hokusoh Hospital, Nippon Medical School, Chiba, Japan, ²⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Flow-limiting thrombosis after intracoronary coil embolisation : optical coherence tomography during acute myocardial infarction. *EuroIntervention* 2016 ; 11 (9) : 1028-1028.
- 3) Maruyama M, Uetake S, Yamamoto T, Hata N, Seino Y, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : A Narrow QRS Complex Tachycardia With Variable AV Relationships : What Is the Mechanism?. *Journal of Cardiovascular Electrophysiology* 2016 ; 27 (2) : 239-241.

著 書

- 1) 雪吹周生, 清野精彦 : [分担] 血管拡張薬. 治療薬ハンドブック 2016 (高久 史磨), 2016 ; pp409-416, 株式会社じほう.

- 2) 清野精彦：〔分担〕急性心不全. year note TOPICS 2016-2017 (医療情報科学研究所), 2016 ; pp73-77, 株式会社メディックメディア.
- 3) 清野精彦：〔分担〕慢性心不全. year note TOPICS 2016-2017 (医療情報科学研究所), 2016 ; pp77-86, 株式会社メディックメディア.
- 4) 清野精彦：〔分担〕安定狭心症. 循環器疾患 最新の治療 2016-2017 (堀 正二・永井 良三 伊藤 浩), 2016 ; pp97-101, 株式会社南江堂.

学会発表

(1) 教育講演：

- 1) 塚田弥生¹⁾, 久保田芳明¹⁾, 村井綱児¹⁾, 浅井邦也¹⁾, 佐藤直樹²⁾, 草間芳樹³⁾, 清野精彦, 清水 渉¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院循環器内科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科, ³⁾ 日本医科大学多摩永山病院循環器内科) : 首都圏における高齢者心不全患者に対する効果的な病診連携のあり方とは?. 日本心不全学会学術集会 (第19回) (大阪), 2015. 10.

(2) シンポジウム：

- 1) Seino Y, Inami T, Munakata R, Shimura T, Uchiyama S, Maruyama M, Takano M, Ohba T, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo) : SAS-CHSARC Network : The Chiba-Hokusho Sleep Apnea Regional Collaborative (CHSARC) Network for the Earlier Diagnosis and Treatment of Sleep Apnea Syndrome. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 2) Momomura S¹⁾, Seino Y, Kihara Y²⁾, Yasumura Y³⁾, Adachi H⁴⁾, Yokoyama H⁵⁾ (¹⁾ Division of Cardiovascular Medicine, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, ²⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Hiroshima University Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima, ³⁾ Cardiovascular Division, Osaka National Hospital, Osaka, ⁴⁾ Division of Cardiology, Gunma Prefectural Cardiovascular Center, Maebashi, ⁵⁾ Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita) : Effects of ASV Therapy on Cardiac Function and Remodeling in Systolic Heart Failure Outpatients from a Randomized Controlled Study (SAVIOR-C). 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 3) 高野雅充：急性冠症候群の発症機序解明と予防法検討における血管内視鏡の役割. 日本心臓血管内視鏡学会 (第29回) (大阪), 2015. 9.
- 4) 小宮山英徳, 高野雅充, 澤谷倫史, 松下誠人, 栗原 理, 加藤活人, 宗像 亮, 村上大介, 大場崇芳, 清野精彦, 水野杏一¹⁾, 清水 渉²⁾ (¹⁾ 三越厚生事業団, ²⁾ 日本医科大学循環器内科) : 5年経過したCobalt Chrome EES内のNeoatherosclerosisを血管内視鏡で観察しえた症例. 日本心臓血管内視鏡学会 (第29回) (大阪), 2015. 9.
- 5) 清野精彦：Cross-linkage between Sleep Disordered Breathing and Cardiovascular Diseases : from SAS-CHSARC Cohort Study. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2016. 3.
- 6) Kotooka N¹⁾, Seino Y, Sato Y²⁾, Mizuno A³⁾, Eguchi K⁴⁾, Inomata T⁵⁾, Yamamoto K⁶⁾, Tsutsui H⁷⁾, Masuyama T⁸⁾, Kitakaze M⁹⁾, Inoue T¹⁰⁾, Node K¹⁾, その他2名 (¹⁾ Department of Cardiology, Saga University, Saga, ²⁾ Chiba University Clinical Research Center, Chiba, ³⁾ Department of Cardiology, St.Luke's International Hospital, Tokyo, ⁴⁾ Department of Medicine, Division of Cardiovascular Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, ⁵⁾ Department of Cardio-Angiology, Kitasato University School of Medicine, Sagami-hara, ⁶⁾ Department of Molecular Medicine and Therapeutics, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, ⁷⁾ Department of Cardiovascular Medicine Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, ⁸⁾ Department of Internal Medicine, Cardiovascular Division, Hyogo College of Medicine, Nishinomiya, ⁹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita, ¹⁰⁾ and others) : Home Telemonitoring Study for Japanese Patients with Heart Failure (HOMES-HF). 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2016. 3.

(3) セミナー：

- 1) 宗像 亮：Slender coronary angiography through 4Fr guiding catheter : new era of less invasive procedure. 日本心臓血管内視鏡学会 (第29回) (大阪), 2015. 9.
- 2) 清野精彦, 稲見 徹：睡眠時無呼吸の地域連携診療と心血管疾患予防の重要性：SAS-CHSARC 研究から. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2016. 3.

(4) ポスター：

- 1) Murakami D, Takano M, Shimura T, Kurihara O, Munakata R, Ohba T, Seino Y, Mizuno K¹⁾, Shimizu W²⁾ (¹⁾ Mitsukoshi Health and Welfare Foundation, Tokyo, ²⁾ Division of Cardiology, Nippon Medical School, Tokyo) : Combination of Several Calcium-channel-Blockers improves a Prognosis for the Patients of Refractory Vasospastic Angina with Appropriate Judgment of Drug Efficacy. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 2) Okada K¹⁾, Yagi T¹⁾, Saito N¹⁾, Hara Y¹⁾, Matsumoto H¹⁾, Yokota H²⁾, Matsushita M, Tsurumi M³⁾, Bessho R⁴⁾, Hata N (¹⁾

- Shock and Trauma Center, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ²⁾ Dept of Critical Care Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ³⁾ ICU, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ⁴⁾ Dept of Cardiothoracic Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital) : Use of veno-venous extracorporeal membrane oxygenation for multiple trauma patients with respiratory insufficiency : A case series. Asia-Pacific Chapter of Extracorporeal Life Support Organization (2nd) (京都), 2015. 7.
- 3) Momomura S¹⁾, Seino Y, Kihara Y²⁾, Adachi H³⁾, Yasumura Y⁴⁾, Yokoyama H⁵⁾ (¹⁾ Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan, ²⁾ Hiroshima University Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima, Japan, ³⁾ Gunma Prefectural Cardiovascular Center, Gunma, Japan, ⁴⁾ Osaka National Hospital, Osaka, Japan, ⁵⁾ National Cerebral and Cardiovascular Center, Osaka, Japan) : Post Hoc Analysis of a Multicenter, Randomized, Controlled Study in Patients with Chronic Heart Failure : Factors Associated with Clinical Composite Response Improved by Adaptive-Servo Ventilation Therapy. HFSA 19th Annual Scientific Meeting (USA (Maryland)), 2015. 9.
- 4) Kurihara O, Takano M, Munakata R, Murakami D, Okamatsu K, Ohba T, Seino Y, Shimizu W¹⁾, Mizuno K²⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ²⁾ Mitsukoshi Health and Welfare Foundation, Tokyo, Japan) : Effect of Statin Therapy in Pre-diabetic Status Evaluated by Coronary Angioscopy. Canadian Cardiovascular Congress 2015 (Canada (Toronto)), 2015. 10.
- 5) Shiomura R¹⁾, Kobayashi N¹⁾, Hata N¹⁾, Okazaki H¹⁾, Tsurumi M¹⁾, Tomita K¹⁾, Shinada T¹⁾, Seino Y, Shimizu W²⁾ (¹⁾ ICU, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ²⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Coronary artery aneurysm formation in the early stage after stent implantation. 日本心血管インターベンション治療学会学術集会CVIT2015 (第24回) (福岡), 2015. 7.
- 6) Yodogawa K¹⁾, Seino Y, Iwasaki Y¹⁾, Hayashi M¹⁾, Takano H¹⁾, Miyauchi Y¹⁾, Asai K¹⁾, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo) : Steroid Induced Diabetes in Patients with Cardiac Sarcoidosis. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2016. 3.
- 7) Setsuta K¹⁾, Seino Y, Shimizu W²⁾ (¹⁾ Department of Cardiology and Clinical Laboratory, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, ²⁾ Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, Tokyo) : Appropriate Blood Pressure Control Suppresses Minor Myocardial Injury in Patients with Essential Hypertension. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 8) Murakami D, Takano M, Shimura T, Uetake S, Yamamoto T, Munakata R, Maruyama M, Ohba T, Seino Y, Mizuno K¹⁾, Shimizu W²⁾ (¹⁾ Mitsukoshi Health and Welfare Foundation, Tokyo, ²⁾ Division of Cardiology, Nippon Medical School, Tokyo) : No Need of Implantable Cardioverter-Defibrillator in Patients with a History of Fatal Ventricular Arrhythmia following Pure Refractory Vasospastic Angina. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.
- 9) 植竹俊介, 丸山光紀, 山本哲平, 畑典武, 清野精彦, 清水渉¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院循環器内科) : 持続性の安定した心房頻拍と房室結節リエントリー頻拍が同時に発生し診断に苦慮した1例. カテーテルアブレーション関連秋季大会2015 (福島), 2015. 10.
- 10) Uetake S, Maruyama M, Yamamoto T, Katoh K, Hata N, Seino Y, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo) : Left Ventricular Stiffness Assessed is a Strong Determinant of the Prevalence of Paroxysmal Atrial Fibrillation in Structurally Normal Hearts. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2016. 3.
- (5) 一般講演 :
- 1) Komiyama H, Sawatani T, Shima A, Shibata Y, Matsushita M, Kurihara O, Uetake S, Yamamoto T, Kato K, Munakata R, Murakami D, Maruyama M, Takano M, Hata N, Seino Y : Utility of 0.010 inch PCI system for severely calcified and stenotic lesions. Asia PCR / Sing LIVE 2016 (シンガポール), 2016. 1.
- 2) Matsushita M, Takano M, Hata N, Sawatani T, Kurihara O, Komiyama H, Murakami D, Munakata R, Kobayashi N¹⁾, Shimizu W²⁾ (¹⁾ Division of Intensive Care Unit, Chiba Hokusoh Hospital, Nippon Medical School, Chiba, Japan, ²⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Antegrade puncture at superficial femoral artery (SFA) because of bilateral common femoral artery aneurysm for the treatment of CTO in distal SFA. Asia PCR / Sing LIVE 2016 (シンガポール), 2016. 1.
- 3) Murakami D, Takano M, Shimura T, Kurihara O, Komiyama H, Munakata R, Ohba T, Seino Y, Mizuno K¹⁾, Shimizu W²⁾ (¹⁾ Mitsukoshi Health and Welfare Foundation, Tokyo, Japan, ²⁾ Division of Cardiology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Six-Month Follow-Up Evaluation about Endothelial dysfunction after Everolimus-Eluting Stent Implantation in Comparison with Use of ACE-I or ARB. 日本心血管インターベンション治療学会 (第24回) (福岡), 2015. 8.
- 4) Yodogawa K¹⁾, Seino Y, Ohara T²⁾, Iwasaki Y¹⁾, Hayashi M¹⁾, Miyauchi Y¹⁾, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ Department of Cardiovascular

Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, ²⁾ Department of General Medicine, Nippon Medical School, Tokyo) : Prevalence and Prognostic Significance of Late Potentials in Patients with Pulmonary Sarcoidosis. 日本循環器学会学術集会 (第79回) (大阪), 2015. 4.

- 5) 内山沙央里, 澤谷倫史, 志摩綾香, 栗原 理, 松下誠人, 植竹俊介, 小宮山英徳, 山本哲平, 加藤活人, 宗像 亮, 村上大介, 丸山光紀, 高野雅充, 畑 典武, 清野精彦, その他2名 : 肺炎球菌感染症を契機に発症した化膿性心膜炎の1例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (東京), 2015. 9.
 - 6) 栗原 理, 岡松健太郎, 水野杏一¹⁾, 宗像 亮, 村上大介, 高野雅充, 大場崇芳, 畑 典武, 清野精彦, 清水 渉²⁾ (1) 三越厚生事業団, ²⁾ 日本医科大学循環器内科) : 慢性腎不全と冠動脈硬化 血管内視鏡からの検討. 日本心臓血管内視鏡学会 (第29回) (大阪), 2015. 9.
 - 7) 宗像 亮, 栗原 理, 岡崎大武¹⁾, 鶴見昌史¹⁾, 小林宣明¹⁾, 品田卓郎¹⁾, 高野雅充, 畑 典武, 清水 渉²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院集中治療室, ²⁾ 日本医科大学付属病院循環器内科) : 急性肺血栓塞栓症の予後と, 症状出現から治療までの時間についての検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
 - 8) Murakami D, Kurihara O, Shimura T, Seino Y, Munakata R, Komiyama H, Matsushita M, Katoh K, Shima A, Uchiyama S, Sawatani T, Ohba T, Takano M, Hata N, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo) : Do Minute Elevation of High-sensitivity TnT, H-FABP or NT-proBNP during Acetylcholine Provocation Test Reflect the Severity/Degree of Coronary Spasm?. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2016. 3.
 - 9) Setsuta K¹⁾, Kitahara Y²⁾, Seino Y, Shimizu W³⁾ (1) Department of Cardiology and Clinical Laboratory, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, ²⁾ Department of Cardiology, Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, ³⁾ Department of Cardiology, Nippon Medical School, Tokyo) : Combination of Heart-Type Fatty Acid-Binding Protein and B-type Natriuretic Peptide is Useful for Risk Stratification in Hypertensive Patients. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2016. 3.
- (6) ミート・ザ・エキスパート :
- 1) 清野精彦 : Ischemic Cascade and Multibiomarker Strategy : Cardiovascular Biomarkers for Coronary Artery Disease. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2016. 3.
 - 2) Murakami D, Kurihara O, Matsushita M, Komiyama H, Munakata R, Hata N, Seino Y, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo) : Drug-on Acetylcholine Provocation Test Improves the Prognosis of Patients of Refractory Vasospastic Angina with a Combination of Several Calcium-channel-blockers. 日本循環器学会学術集会 (第80回) (仙台), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分原著 :

- 1) Shirakabe A¹⁾, Hata N¹⁾, Kobayashi N¹⁾, Okazaki H¹⁾, Shinada T¹⁾, Tomita K¹⁾, Yamamoto M¹⁾, Tsurumi M¹⁾, Matsushita M, Yamamoto Y¹⁾, Yokoyama S¹⁾, Asai K²⁾, Shimizu W²⁾ (1) Division of Intensive Care Unit, Chiba Hokusoh Hospital, Nippon Medical School, Chiba, Japan, ²⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Serum heart-type fatty acid-binding protein level can be used to detect acute kidney injury on admission and predict an adverse outcome in patients with acute heart failure. *Circulation Journal* 2015 ; 79 (1) : 119-128.
- 2) Yamamoto Y¹⁾, Shirakabe A¹⁾, Hata N¹⁾, Kobayashi N¹⁾, Shinada T¹⁾, Tomita K¹⁾, Yamamoto M¹⁾, Tsurumi M¹⁾, Matsushita M, Okazaki H¹⁾, Yokoyama S¹⁾, Asai K²⁾, Mizuno K²⁾, Shimizu W²⁾ (1) Division of Intensive Care Unit (ICU), Chiba Hokusoh Hospital, Nippon Medical School, Chiba, Japan, ²⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Seasonal variation in patients with acute heart failure : prognostic impact of admission in the summer. *Heart Vessels* 2015 ; 30 (2) : 193-203.
- 3) Kurihara O, Takano M, Munakata R, Murakami D, Okamoto K, Ohba T, Seino Y, Shimizu W¹⁾, Mizuno K²⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ²⁾ Mitsukoshi Health and Welfare Foundation, Tokyo, Japan) : Effect of Statin Therapy in Pre-diabetic Status Evaluated by Coronary Angioscopy. *Angioscopy* 2015 ; 1 (1) : 26-31.
- 4) 小宮山英徳, 高野雅充 : Buddy Wire の小技, どのワイヤーを選ぶ?. *Coronary Intervention* 2015 ; 11 (1) : 32-33.

追加分症例報告 :

- 1) Uetake S, Miyauchi Y¹⁾, Hayashi M¹⁾, Shimizu W¹⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Electrophysiological characteristics of a left atrial anomalous muscular band in a case with paroxysmal atrial fibrillation. *Heart Rhythm Case Reports* 2015 ; 1 (2) : 78-81.

3. 神経内科学分野

[付属病院神経・脳血管内科]

研究概要

当科では脳卒中、パーキンソン病、認知症の研究に取り組んでいる。脳卒中の臨床研究および基礎的研究として脳梗塞の病態解明を主要課題として取り組んでいる。臨床研究では、年間600症例以上のSCU (Stroke Care Unit) での急性期診療における様々な情報をデータベース化し、脳卒中急性期の診断・治療についての様々な研究を行っている。特に超急性期脳梗塞に対するt-PA静注療法、血栓除去デバイスを中心とした血管内治療、MRIや超音波、SPECT、血液マーカー、抗凝固薬をはじめとする薬物を用いた診断・治療の研究がなされている。また頸動脈狭窄に対するステント留置や脳出血の病態についての研究を行っている。基礎研究では、脳梗塞に対する遺伝子細胞治療を主な研究テーマとして行っている。急性期脳梗塞モデルに対する骨髄間葉系細胞および歯髄幹細胞移植が有意な神経保護効果を示すことを報告してきたが、現在はウイルスベクターを用いて治療遺伝子を搭載させた幹細胞を作成・移植し、脳内に治療蛋白を強発現させることで、さらなる治療効果が得られるか検討している。また、歯髄幹細胞移植については当科における臨床実施を目指して研究を進めている。パーキンソン病に関しては、近年、トピックスとなっている非運動症状に関して積極的に研究を行っている。特に幻視とFDG-PET・神経心理学的評価の関係や、うつ、アンヘドニア、アパシーと認知機能との関連を、嗅覚障害評価との関連と共に検討を行っている。さらには最も効果的な薬剤であるレボドパの体内動態に影響する項目の検討、ドパミントランスポーターSPECTの正常データベース構築に関する検討も予定している。その他、当教室がこれまで行ってきた変性疾患を中心としたSPECTやPETを用いた脳循環代謝に関する研究を継続している。認知症に関してはもの忘れ外来患者のデータベースに基づき臨床研究を行っている。特に軽度認知障害からアルツハイマー病への移行予測因子として、 $A\beta$ 沈着のバイオマーカー(髄液 $A\beta_{42}$ 、アミロイドPET)、タウを介した神経障害のバイオマーカー(髄液タウ、MRIでの脳容積測定、SPECT)、疾患関連遺伝子を評価すると共に、根本治療薬の標的への応用を目標に研究を行っている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Kanamaru T^{1, 2)}, Kamimura N¹⁾, Yokota T¹⁾, Nishimaki K¹⁾, Iuchi K¹⁾, Lee H¹⁾, Takami S³⁾, Akashiba H³⁾, Shitaka Y³⁾, Ueda M²⁾, Katsura K²⁾, Kimura K²⁾, Ohta S¹⁾ (1) Department of Biochemistry and Cell Biology, Institute of Development and Aging Sciences, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 2) Department of Neurological Science, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 3) Pharmacology Research Laboratories, Astellas Pharma Inc.) : Intravenous transplantation of bone marrow-derived mononuclear cells prevents memory impairment in transgenic mouse models of Alzheimer's disease. *Brain Res* 2015 ; 1605 : 49-58.
- 2) Suda S, Ueda M, Nito C, Nishiyama Y, Okubo S, Abe A, Aoki J, Suzuki K, Sakamoto Y, Kimura K : Valproic acid ameliorates ischemic brain injury in hyperglycemic rats with permanent middle cerebral occlusion. *Brain Res* 2015 ; 1606 : 1-8.
- 3) Saji N^{1, 2)}, Kimura K^{1, 3)}, Yagita Y¹⁾, Kawarai T²⁾, Shimizu H²⁾, Kita Y²⁾ (1) Department of Stroke Medicine, Kawasaki Medical School, 2) Department of Neurology, Hyogo Brain and Heart Center at Himeji, 3) Department of Neurological Science, Nippon Medical School Graduate School of Medicine) : Comparison of arteriosclerotic indicators in patients with ischemic stroke : ankle-brachial index, brachial-ankle pulse wave velocity and cardio-ankle vascular index. *Hypertens Res* 2015 ; 38 (5) : 323-328.
- 4) Ishiwata A, Nito C, Kimura K : Lewy Body Dementia as an Underlying Etiology for Posterior Cortical Atrophy Initially Presented with Visual Agnosia and Alexia : A Case Report. *J Neurol Neurophysiol* 2015 ; 6 (2).
- 5) Nagayama H, Kajimoto Y, Kumagai T, Nishiyama Y, Mishina M, Kimura K : Pharmacokinetics of Levodopa before and after Gastrointestinal Resection in Parkinson's Disease. *Case Rep Neurol* 2015 ; 7 (3) : 181-185.
- 6) Saji N^{1, 2)}, Kimura K, Yagita Y¹⁾, Uemura J¹⁾, Aoki J, Sato T, Sakurai T²⁾ (1) Department of Stroke Medicine, Kawasaki Medical School, 2) Center for Comprehensive Care and Research on Memory Disorders, National Center for Geriatrics and Gerontology) : Deep Cerebral Microbleeds and Renal Dysfunction in Patients with Acute Lacunar Infarcts. *J Stroke Cerebrovasc Dis* 2015 ; 24 (11) : 2572-2579.
- 7) Suda S, Yang B¹⁾, Schaar K¹⁾, Xi X¹⁾, Pido J¹⁾, Parsha K¹⁾, Aronowski J¹⁾, Savitz S¹⁾ (1) Department of Neurology, University of Texas Medical School at Houston) : Autologous Bone Marrow Mononuclear Cells Exert Broad Effects on Short- and Long-Term Biological and Functional Outcomes in Rodents with Intracerebral Hemorrhage. *Stem Cells Dev* 2015 ; 24 (23) : 2756-2766.
- 8) Suzuki K, Aoki J, Kanzawa T¹⁾, Nishiyama Y, Takayama Y, Kimura H²⁾, Takahashi S³⁾, Kano T³⁾, Akaji K³⁾, Tanizaki Y³⁾,

- Kimura K, Mihara B²⁾ (1) Department of Stroke, Institute of Brain and Blood Vessels, Mihara Memorial Hospital, 2) Department of Neurology, Institute of Brain and Blood Vessels, Mihara Memorial Hospital, 3) Department of Neurosurgery, Institute of Brain and Blood Vessels, Mihara Memorial Hospital) : Correlation between the Occlusion Site and Clinical Outcome after Acute Ischemic Stroke. Intern Med 2015 ; 54 (24) : 3139-3144.
- 9) Nogami A^{1,2)}, Yamazaki M³⁾, Saito Y⁴⁾, Hatsuta H¹⁾, Sakiyama Y⁵⁾, Takao M¹⁾, Kimura K²⁾, Murayama S^{1,6)} (1) Department of Neuropathology and Neurology, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology, 2) Department of Neurology, Nippon Medical School, 3) Department of Neurology, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 4) Department of Laboratory Medicine (Neuropathology), National Center Hospital of Neurology and Psychiatry, 5) Department of Neurology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, 6) Department of Neurology, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology) : Early Stage of Progressive Supranuclear Palsy : A Neuropathological Study of 324 Consecutive Autopsy Cases. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (6) : 266-273.
- 10) Muraga K, Suda S, Nagayama H, Okubo S, Abe A, Aoki J, Nogami A, Suzuki K, Sakamoto Y, Ueda M, Mishina M, Kimura K : Limb-shaking TIA : Cortical myoclonus associated with ICA stenosis. Neurology 2016 ; 86 (3) : 307-309.
- 11) Sakamoto Y, Ouchi T, Okubo S, Abe A, Aoki J, Nogami A, Sato T, Hokama H, Ogawa Y, Suzuki S, Mishina M, Kimura K : Thrombolysis, Complete Recanalization, Diffusion Reversal, and Luxury Perfusion in Hyperacute Stroke. J Stroke Cerebrovasc Dis 2016 ; 25 (1) : 238-239.
- 12) Watanabe Y¹⁾, Suda S²⁾, Kanamaru T²⁾, Katsumata T²⁾, Okubo S²⁾, Kaneko T^{1,2)}, Mii A¹⁾, Sakai Y¹⁾, Katayama Y^{2,3)}, Kimura K²⁾, Tsuruoka S¹⁾ (1) Department of Nephrology, Nippon Medical School, 2) Department of Neurological Science, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 3) Department of Neurology, General Tokyo Hospital) : High urinary albumin/creatinine ratio at admission predicts poor functional outcome in patients with acute ischemic stroke. Nephrology 2016.
- 13) Aoki J^{1,2)}, Kimura K^{1,2)}, Sakamoto Y^{1,2)} (1) Department of Neurological Science, Nippon Medical School Graduate School of Medicine, 2) Department of Stroke Medicine, Kawasaki Medical School) : Early administration of tissue-plasminogen activator improves the long-term clinical outcome at 5 years after onset. J Neurol Sci 2016 ; 362 : 33-39.
- 14) 須田 智, 上田雅之, 木村和美 : 脳梗塞モデルにおけるバルプロ酸投与による脳保護効果の検討 1型糖尿病誘発動物を用いて. 未病と抗老化 2015 ; 24 : 50-55.
- 15) 稲葉俊東, 須田 智, 上田雅之, 仁藤智香子, 西山康裕, 片山泰朗¹⁾, 木村和美 (1) 総合東京病院 神経内科・脳卒中センター) : ラット中大脳動脈永久閉塞モデルにおけるイブジラストの脳保護効果の検討. 脳循環代謝 2015 ; 26 (2) : 19-24.
- (2) 総説 :
- 1) Nagayama H, Kimura K : Depression Preceding Parkinson's Disease Onset. Austin Alzheimers Parkinsons Dis 2015 ; 2 (2) : 1023-1028.
- 2) 仁藤智香子, 木村和美 : 【臓器浮腫・うっ血の病態とその治療法】 脳の浮腫・うっ血の病態と治療法. Fluid Management Renaissance 2015 ; 5 (2) : 45-50.
- 3) 木村和美 : 一過性脳虚血発作の内科的治療. 脳卒中 2015 ; 37 (3) : 194-196.
- 4) 石渡明子 : アリセプト® 服薬継続のための剤型選択. CLINICIAN'15 2015 ; 638 : 76-80.
- 5) 木村和美 : 【抗血栓療法の実状と今後の展開】 脳梗塞急性期の診断と治療の最前線. 進歩する心臓研究 2015 ; 35 (1) : 26-31.
- 6) 阿部 新, 木村和美 : 心原性脳塞栓症の急性期治療と2次予防 特に血管内治療および血栓溶解療法について. 循環器内科 2015 ; 78 (1) : 98-104.
- 7) 西山康裕, 木村和美 : 注目される病態関連分子 (第23回) ADMA (asymmetric dimethylarginine). 分子脳血管病 2015 ; 14 (2) : 169-172.
- 8) 村賀香名子, 木村和美 : 【超高齢社会における脳卒中治療のパラダイムシフト】 超高齢者の脳梗塞再発予防 (抗血小板療法・抗凝固療法). 分子脳血管病 2015 ; 14 (2) : 132-136.
- 9) 青木淳哉, 木村和美 : 【脳卒中Update】 脳卒中臨床の最新的话题 急性期血栓溶解療法 認可から20年の動向. 医学のあゆみ 2015 ; 254 (1) : 55-61.
- 10) 木村和美 : 超急性期脳梗塞に対する rt-PA 静注療法. 脳循環代謝 2015 ; 26 (2) : 177-179.
- 11) 神谷達司 : 脳梗塞病態と新治療開発 超軽微低体温との併用療法. 脳循環代謝 2015 ; 26 (2) : 83-91.
- 12) 呉 侑樹, 上田雅之, 木村和美 : 【脳卒中と糖尿病】 脳卒中抑制を目指した薬物治療 大規模臨床試験から考察. Diabetes Contemporary 2015 ; 2 (3) : 18-23.
- 13) 青木淳哉, 木村和美 : 【神経放射線診断-最新情報と読影のピットフォール】 超音波 経頭蓋超音波ドプラ法. Clinical Neuroscience 2015 ; 33 (10) : 1174-1178.
- 14) 阿部 新 : 【救急で出会うけいれん・てんかんにどう対応する?】 「けいれん」してないけど「てんかん」? 非けいれん性てんかん重

- 積状態 (NCSE). レジデントノート 2015; 17 (10): 1918-1923.
- 15) 青木淳哉: 知って得するワンポイントアドバイス DWI-FLAIR ミスマッチとは?. 脳と循環 2015; 20 (3): 262-265.
- 16) 阿部 新, 木村和美: 【知っておきたい生活習慣病リハビリテーション】脳卒中とリハビリテーション. 成人病と生活習慣病 2015; 45 (11): 1348-1352.
- 17) 坂本悠記, 鈴木健太郎, 木村和美: 【脳卒中治療ガイドライン 2015 改訂を实地臨床に活かす】心房細動と抗凝固療法. Mebio 2015; 32 (12): 50-53.
- 18) 須田 智, 木村和美: 【いま知っておきたい! 内科最新トピックス】新規抗凝固薬 (NOAC) の登場により, 脳梗塞治療はどのように変わったか. 内科 2015; 116 (6): 926-929.
- 19) 坂本悠記: 脳出血超急性期の血圧と予後: SAMURAI ICH study. 血圧 2015; 22 (12).
- 20) 青木淳哉, 木村和美: 【脳卒中はこう診る - 新ガイドラインで何が変わったか】脳卒中の急性期治療 脳梗塞への tPA 静注療法の今. medicina 2016; 53 (2): 278-282.
- 21) 永山 寛: Parkinson 病の気分障害と認知機能低下. 神経内科 2016; 84 (2): 181-187.
- (3) その他:
- 1) Sakamoto Y, Okubo S, Kanamaru T, Suzuki K, Kimura K: A case report of bilateral paramedian thalamic and occult midbrain infarctions without disturbance of consciousness. Neurol Sci 2015; 36 (8): 1511-1513.
- (4) 症例報告:
- 1) 佐藤貴洋^{1,2)}, 佐治直樹³⁾, 小林和人⁴⁾, 芝崎謙作⁵⁾, 木村和美²⁾ (1) 川崎医科大学 脳卒中医学教室, 2) 日本医科大学 神経・脳血管内科, 3) 国立長寿医療研究センター もの忘れ外来部, 4) 伊勢赤十字病院 脳血管内治療内科, 5) 寿泉堂総合病院 脳卒中科): MRI で多発性微小脳動脈瘤を示唆する点状低信号を認めた心臓粘液腫による心原性脳塞栓症の 1 例. 臨床神経学 2016; 56 (2): 98-103.
- (5) 海外論文紹介:
- 1) 須田 智: 脳を標的としたナノ粒子製剤はペプチドに血液脳関門を通過させ, 神経保護効果を発揮する. 分子脳血管病 2016; 15 (1): 75-77.

著 書

- 1) 石渡明子: [分担] アルツハイマー型認知症の SPECT による治療効果の判定. 認知症の脳画像診断 早期検出と鑑別をめざして (西村恒彦, 武田雅俊), 2015; pp65-70, メジカルビュー社.
- 2) 永山 寛: [分担] アパシーを呈する症例・IV Case Study: 症例を通してガイドラインを学ぶ. 神経内科外来シリーズ 2. パーキンソン病外来 (荒木信夫), 2016; pp194-197, メジカルビュー社.
- 3) 永山 寛: [分担] 重度のうつを呈する症例・IV Case Study: 症例を通してガイドラインを学ぶ. 神経内科外来シリーズ 2. パーキンソン病外来 (荒木信夫), 2016; pp198-201, メジカルビュー社.
- 4) 熊谷智昭, 永山 寛: [分担] 突発性睡眠を呈する症例・IV Case Study: 症例を通してガイドラインを学ぶ. 神経内科外来シリーズ 2. パーキンソン病外来 (荒木信夫), 2016; pp202-205, メジカルビュー社.

学会発表

- (1) 教育講演:
- 1) 木村和美: 脳梗塞急性期に役に立つバイオマーカー BNP. 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
- 2) 木村和美: 脳梗塞急性期における MRI first (超急性期脳梗塞画像診断を議論する). 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
- 3) 木村和美: 脳梗塞急性期の診断と治療. 日本内科学会北陸支部生涯教育講演会 (第 65 回) (福井), 2015. 6.
- 4) 木村和美: 奇異性塞栓症の診断と治療. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第 238 回) (東京), 2015. 12.
- (2) シンポジウム:
- 1) 木村和美: 脳卒中治療 ガイドライン 2015 発表から半年を経て: 脳梗塞治療の現状と課題. 日本脳循環代謝学会総会 (第 27 回) (富山), 2015. 10.
- (3) セミナー:
- 1) 木村和美: 脳梗塞急性期血行再建療法. 日本脳神経外科コンgres 総会 (第 35 回) (横浜), 2015. 5.
- 2) 木村和美, 青木淳哉: 2. 超音波 (経頭蓋ドブラ) (第 12 回生涯教育セミナー「Hands-on」). 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
- 3) 永山 寛: 指定発言①「郵送調査より」(患者満足度の高い治療を目指して: PD 大規模患者調査から見た 5 年間の変化と残された課題). 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
- 4) 鈴木健太郎: Stent Retrieve 導入前後の転帰の変化: 血管内治療専門医への道 (Stent Retriever 導入後の急性期脳梗塞の治療戦略と

- 初期成績). 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
- 5) 坂本悠記: 脳卒中患者における BNP 検査の意義. 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
 - 6) 木村和美: 脳卒中患者における BNP 検査の意義. 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
 - 7) 木村和美: 日本における抗凝固療法の現状と課題. 日本脳神経超音波学会総会 (第 34 回) (京都), 2015. 6.
 - 8) 木村和美: 脳梗塞と抗凝固療法: 現状と近未来への展望. The Mt.Fuji Workshop on CVD (第 34 回) (神戸), 2015. 8.
 - 9) 坂本悠記: 脳梗塞急性期に役に立つバイオマーカー: 心不全の検査 BNP を中心に. 救急医学総会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.
 - 10) 木村和美: NOAC 時代の再灌流療法. 日本脳循環代謝学会総会 (第 27 回) (富山), 2015. 10.
 - 11) 永山 寛: パーキンソン病患者に関するピットフォール: 運動症状・非運動症状治療での問題点. 日本神経治療学会総会 (第 33 回) (名古屋), 2015. 11.
 - 12) 木村和美: NOAC 時代の急性期脳梗塞の治療. 日本脳神経外科救急学会 (第 21 回) (東京), 2016. 1.
 - 13) 永山 寛: PD のうつ update. The 15th International Parkinson's Disease Symposium in Takamatsu (高松), 2016. 2.
- (4) 一般講演:
- 1) Nagayama H, Mishina M, Kimura K: The effect of istradefylline for anhedonia in Parkinson's disease. International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders (19th) (San Diego, US), 2015. 6.
 - 2) Mishina M¹⁾, Ishii K²⁾, Ishiwata K²⁾, Sakata M²⁾, Toyohara J²⁾, Oda K³⁾, Kimura K (¹⁾ Department of Neuro-pathophysiological imaging, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Research Team for Neuroimaging, Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology, ³⁾ Department of Radiological Technology, Faculty of Health Sciences, Hokkaido University of Science) : Regional accumulation of [C-11]PiB and [F-18]FDG in subtype of Lewy body disease. European Society of Neuroradiology (38th) (Naples, Italy), 2015. 9.
 - 3) Aoki J, Kimura K, Metoki N¹⁾, Tateishi Y²⁾, Todo K³⁾, Morita N⁴⁾, Harada M⁵⁾, Hayashi K⁶⁾, Yamamoto N⁷⁾, Tanahashi N⁸⁾, Inoue T⁹⁾, Iwanaga T¹⁰⁾, Yamato Study Group, et al. (¹⁾ Hirosaki Stroke and Rehabilitation Center, ²⁾ Nagasaki University School of Medicine, ³⁾ Kobe City Medical Center General Hospital, ⁴⁾ National Cerebral and Cardiovascular Center, ⁵⁾ Tokushima University, ⁶⁾ University of Fukui Hospital, ⁷⁾ Tokushima University, ⁸⁾ Saitama Medical University International Medical Center, ⁹⁾ Kawasaki Medical School, ¹⁰⁾ and others) : Tissue Type Plasminogen Activator (t-PA) and Edaravone Combination Therapy Study (YAMATO Study). International Stroke Conference 2016 (Los Angeles, US), 2016. 2.
 - 4) Satoshi S, Muraga K, Kanamaru T, Okubo S, Matsumoto N, Abe A, Aoki J, Suzuki K, Sakamoto Y, Kimura K: Low Free Triiodothyronine May Predict Poor Functional Outcome in Patients With Acute Ischemic Stroke. International Stroke Conference 2016 (Los Angeles, US), 2016. 2.
 - 5) Aoki J, Suzuki K, Sakamoto Y, Okubo S, Abe A, Suda S, Okubo S, Kimura K: Negative-FLAIR Vascular Hyperintensities Serves as a Marker of Chronic Major Arterial Occlusion in Acute Stroke. International Stroke Conference 2016 (Los Angeles, US), 2016. 2.
 - 6) Aoki J, Kimura K, Sakamoto Y: Early Administration of Tissue-plasminogen Activator Improves the Long-term Clinical Outcome at 5 Years After Onset. International Stroke Conference 2016 (Los Angeles, US), 2016. 2.
 - 7) Kanamaru T, Suda S, Muraga K, Okubo S, Watanabe Y¹⁾, Tsuruoka S¹⁾, Kimura K (¹⁾ Department of Nephrology, Nippon Medical School) : Albuminuria Predicts Early Neurological Deterioration in Patients with Acute Ischemic Stroke. International Stroke Conference 2016 (Los Angeles, US), 2016. 2.
 - 8) Nishiyama Y, Otsuka T¹⁾, Ueda M, Kimura K (¹⁾ Department of Hygiene and Public Health, Nippon Medical School) : Dyslipidemia Should be Associated With an Increased Risk of Hypertension in a Working-age Japanese Male Population. International Stroke Conference 2016 (Los Angeles, US), 2016. 2.
 - 9) Koga M¹⁾, Kimura K, Yamamoto H¹⁾, Sasaki M²⁾, Toshimitsu H¹⁾, Kitazono T³⁾, Aoki J, Seki K²⁾, Ide T¹⁾, Yoshimura S¹⁾, Minematsu K¹⁾ (¹⁾ National Cerebral and Cardiovascular Center, ²⁾ Iwate Medical University, ³⁾ Kyushu University) : Thrombolysis for Acute Wake-up and Unclear-onset Strokes With Alteplase at 0.6mg/kg (THAWS) Trial: An Update. International Stroke Conference 2016 (Los Angeles, US), 2016. 2.
 - 10) 三品雅洋^{1, 2, 4)}, 石井賢二²⁾, 石渡喜一²⁾, 坂田宗之²⁾, 豊原 潤²⁾, 織田圭一^{2, 3)}, 木村和美⁴⁾ (¹⁾ 日本医科大学大学院医学研究科 脳病態画像解析学講座, ²⁾ 東京都健康長寿医療センター研究所 神経画像研究チーム, ³⁾ 北海道科学大学 保健医療学部診療放射線学科, ⁴⁾ 日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野) : Regional accumulation of [C-11]PiB and [F-18]FDG in subtype of Lewy body disease. 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
 - 11) 西山康裕^{1, 2)}, 上田雅之¹⁾, 永田智香子¹⁾, 須田 智¹⁾, 片山泰朗³⁾, 木村和美¹⁾, アラク アーメット²⁾, プリストーニャ²⁾, ゲーリー スタインバーグ²⁾ (¹⁾ 日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野, ²⁾ スタンフォード大学 脳神経外科, ³⁾ 総合東京病院 神経内科) : Blood-derived brain macrophages contribute to spontaneous recovery after stroke. 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新

- 湯), 2015. 5.
- 12) 仁藤智香子¹⁾, 中島壯崇^{1, 2)}, 稲葉俊東¹⁾, 上田雅之¹⁾, 斎藤萌子¹⁾, 西山康裕¹⁾, 須田 智¹⁾, 中村有希²⁾, 今川 究³⁾, 立花克彦³⁾, 岡田尚巳²⁾, 木村和美¹⁾ (1) 日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野, 2) 日本医科大学大学院医学研究科 生化学・分子生物学分野, 3) JCR ファーマ株式会社: Intravenous administration of dental pulp stem cells in a rodent stroke model. 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
 - 13) 野上 茜^{1, 2)}, 山崎峰雄³⁾, 齊藤祐子⁴⁾, 長谷川成人⁵⁾, 初田裕幸¹⁾, 池内 健⁶⁾, 崎山快夫⁷⁾, 高尾昌樹¹⁾, 片山泰朗²⁾, 木村和美²⁾, 村山繁雄^{1, 8)} (1) 東京都健康長寿医療センター 神経病理, 2) 日本医科大学病院 神経内科, 3) 日本医科大学千葉北総病院 神経内科, 4) 国立精神神経センター 臨床検査部, 5) 東京都医学総合研究所 認知症・高次脳機能分野 病態細胞生物研究室, 6) 新潟大学 脳研究所 生命科学リソース研究センター 遺伝子機能解析学分野, 7) 自治医科大学附属さいたま医療センター 神経内科, 8) 東京都健康長寿医療センター 神経内科: Preclinical PSP and CBD - immunochemical and molecular pathological study. 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
 - 14) 上田雅之, 仁藤智香子, 西山康裕, 須田 智, 村賀香名子, 木村和美: EPA-E expands therapeutic time window in rat focal ischemiareperfusion model. 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
 - 15) 鈴木健太郎, 須田 智, 高橋里史¹⁾, 木村浩晃²⁾, 狩野忠滋³⁾, 赤路和則³⁾, 神澤孝夫⁴⁾, 美原 盤²⁾, 木村和美 (1) 慶應大学病院 脳神経外科, 2) 美原記念病院 神経内科, 3) 美原記念病院 脳神経外科, 4) 美原記念病院 脳卒中部門: イコサペント酸エチル投与による血清炎症マーカーの検討. 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
 - 16) 齊藤智成^{1, 2)}, 野村浩一^{1, 2)}, 片野雄大¹⁾, 上田雅之¹⁾, 木村和美¹⁾ (1) 日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野, 2) 医療法人 SHIODA 塩田病院 脳卒中センター: 脳梗塞の原因を中大脳動脈解離と考えた 3 症例. 日本神経学会学術大会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
 - 17) 石渡明子, 水村 直¹⁾, 館野 周²⁾, 大久保善朗²⁾, 木村和美 (1) 東邦大学医療センター大森病院 放射線科, 2) 日本医科大学 精神神経科: 軽度認知障害における 18F-AV45 (Florbetapir) -PET によるアミロイド蓄積評価. 日本神経学会学術総会 (第 56 回) (新潟), 2015. 5.
 - 18) 稲垣千草¹⁾, 根本留美¹⁾, 川西智也¹⁾, 並木香奈子¹⁾, 井上志津子¹⁾, 長久美江子¹⁾, 石渡明子, 野村俊明²⁾, 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 認知症センター, 2) 日本医科大学 医療心理学教室: 早期発見にむけての継続的な見守り支援の取り組み: 街ぐるみ認知症相談センターの継続来所の動向から. 認知症ケア学会 (第 16 回) (札幌), 2015. 5.
 - 19) 根本留美¹⁾, 稲垣千草¹⁾, 川西智也¹⁾, 井上志津子¹⁾, 長久美江子¹⁾, 並木香奈子¹⁾, 石渡明子, 野村俊明²⁾, 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 認知症センター, 2) 日本医科大学 医療心理学教室: 地域臨床における家族支援についての一考察: 家族相談の類型化とそこから見えてきたニーズを通じて. 認知症ケア学会 (第 16 回) (札幌), 2015. 5.
 - 20) 川西智也¹⁾, 稲垣千草¹⁾, 根本留美¹⁾, 並木香奈子¹⁾, 石渡明子, 野村俊明²⁾, 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 認知症センター, 2) 日本医科大学 医療心理学教室: 本人-家族間の「もの忘れ」理解の不一致からみた, もの忘れ相談の意義: 早期からの三項関係の醸成. 認知症ケア学会 (第 16 回) (札幌), 2015. 5.
 - 21) 川西智也¹⁾, 根本留美¹⁾, 稲垣千草¹⁾, 並木香奈子¹⁾, 石渡明子, 野村俊明²⁾, 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 認知症センター, 2) 日本医科大学 医療心理学教室: 地域のもの忘れ相談機関を利用した潜在的な DLB 患者の症状と認知機能. 認知症予防学会 (第 5 回) (神戸), 2015. 5.
 - 22) 高橋史郎, 須田 智, 酒巻雅典, 村賀香名子, 呉 侑樹, 大久保誠二, 永山 寛, 木村和美: 失調症状を呈し一過性脳梁病変を認めた 36 歳男性例. 日本神経学会関東・甲信越地方会 (第 213 回) (東京), 2015. 6.
 - 23) 青木淳哉, 木村和美, 坂本悠記, 鈴木健太郎: 発症から tPA 療法までの時間は発症 5 年後の転帰に関連する独立した因子である. 日本心血管脳卒中学会学術集会 (第 2 回) (徳島), 2015. 6.
 - 24) 鈴木健太郎, 青木淳哉, 杵名章仁, 坂本悠記, 金丸拓也, 阿部 新, 木村和美: Penumbra system による血行再建術における再開通率と心房細動の関係. 日本心血管脳卒中学会学術集会 (第 2 回) (徳島), 2015. 6.
 - 25) 佐藤貴洋, 坂本悠記, 阿部 新, 鈴木健太郎, 大久保誠二, 永山 寛, 木村和美: 短期間に内頸動脈の閉塞と再開通を繰り返した 83 歳男性の 1 症例. 日本脳ドック学会総会 (第 24 回) (横浜), 2015. 6.
 - 26) 稲垣千草¹⁾, 根本留美¹⁾, 川西智也¹⁾, 並木加奈子¹⁾, 石渡明子, 野村俊明²⁾, 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 認知症センター, 2) 日本医科大学 医療心理学教室: 独居/高齢者世帯における認知症早期発見/早期対応についての検討: 街ぐるみ認知症相談センターにおける地域の認知症相談より. 日本老年精神医学会 (第 30 回) (横浜), 2015. 6.
 - 27) 長井弘一郎, 熊谷智昭, 青木淳哉, 鈴木健太郎, 林 俊行, 永山 寛, 木村和美: VP シヤント術後にパーキンソンニズムを呈し, L-dopa が有効であった 74 歳男性例. 日本神経学会関東・甲信越地方会 (第 214 回) (東京), 2015. 9.
 - 28) 野村浩一¹⁾, 杵名章仁¹⁾, 齊藤智成, 木村和美 (1) 医療法人 SHIODA 塩田病院 脳神経内科: 勝浦市における認知症早期発見・早期対応への取り組み: 特定健康診査におけるスクリーニングの効果の検討. 日本認知症予防学会学術集会 (第 5 回) (神戸), 2015. 9.
 - 29) 根本留美¹⁾, 川西智也¹⁾, 稲垣千草¹⁾, 並木香奈子¹⁾, 榎村正美¹⁾, 石渡明子, 野村俊明²⁾, 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院

- 認知症センター, ²⁾ 日本医科大学 医療心理学教室): 認知症早期発見における地域連携: かかりつけ医からの相談者紹介における一考察. 日本認知症予防学会学術集会 (第5回) (神戸), 2015. 9.
- 30) 稲垣千草¹⁾, 根本留美¹⁾, 川西智也¹⁾, 並木香奈子¹⁾, 石渡明子, 野村俊明²⁾, 北村 伸¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 認知症センター, ²⁾ 日本医科大学 医療心理学教室): 専門職向け公開講座の開催: 講座の有用性と専門職のニーズについての検討. 日本認知症予防学会学術集会 (第5回) (神戸), 2015. 9.
- 31) 並木香奈子¹⁾, 根本留美¹⁾, 川西智也¹⁾, 稲垣千草¹⁾, 井上志津子¹⁾, 長久美江子¹⁾, 若松直樹²⁾, 石渡明子, 野村俊明³⁾, 北村 伸¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 認知症センター, ²⁾ 新潟リハビリテーション大学 リハビリテーション心理学専攻, ³⁾ 日本医科大学 医療心理学教室): 地域のかかりつけ医における認知症診療に関する調査. 日本認知症予防学会学術集会 (第5回) (神戸), 2015. 9.
- 32) 櫻村正美¹⁾, 野村俊明¹⁾, 石渡明子, 北村 伸²⁾ (¹⁾ 日本医科大学 医療心理学教室, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 認知症センター): 物忘れを主訴とした高齢者に対する認知行動療法の安全性の検討. 日本認知症予防学会学術集会 (第5回) (神戸), 2015. 9.
- 33) 藤澤洋輔, 西山康裕, 水越元気, 石渡明子, 木村和美: てんかん重積で発症した抗 SS-A 抗体陽性辺縁系脳炎の46歳女性例. 日本神経学会関東・甲信越地方会 (第214回) (東京), 2015. 9.
- 34) 須田 智, 渡邊容子¹⁾, 金丸拓也, 大久保誠二, 勝又俊弥, 鶴岡秀一¹⁾, 木村和美 (¹⁾ 日本医科大学 腎臓内科): 入院時のアルブミン尿の存在は脳梗塞予後不良因子である. 日本脳循環代謝学会総会 (第27回) (富山), 2015. 10.
- 35) 中島壯崇, 仁藤智香子, 上田雅之, 稲葉俊東, 岨 康太¹⁾, 西山康裕, 須田 智, 高橋有希¹⁾, 笠原優子¹⁾, 今川 究²⁾, 立花克彦¹⁾, 岡田尚巳¹⁾, 木村和美 (¹⁾ 日本医科大学大学院医学研究科 分子遺伝子分野, ²⁾ JCR ファーマ株式会社): アデノ随伴ウイルスベクターを用いた IL-10 発現骨髄間葉系細胞移植による脳梗塞治療効果. 日本脳循環代謝学会総会 (第27回) (富山), 2015. 10.
- 36) 野村浩一¹⁾, 沓名章仁¹⁾, 木村和美 (¹⁾ 医療法人 SHIODA 塩田病院 脳神経内科): 患者アンケートによる早朝のオフ症状と非運動症状の調査. パーキンソン病・運動障害疾患コンgres (第9回) (東京), 2015. 10.
- 37) 阿部 新, 鈴木健太郎, 坂本悠記, 青木淳哉, 木村和美: 心原性塞栓症の回収血栓内赤血球割合は血管内治療に影響を与えるか?. 日本脳神経血管内治療学会学術総会 (第31回) (岡山), 2015. 11.
- 38) 青木淳哉, 鈴木健太郎, 坂本悠記, 阿部 新, 木村和美: 超急性期血栓再建術が効果的であった DWI-ASPECTS4 点の中大脳動脈閉塞症の2例. 日本脳神経血管内治療学会学術総会 (第31回) (岡山), 2015. 11.
- 39) 坂本悠記, 鈴木健太郎, 青木淳哉, 阿部 新, 木村和美: 超高齢者に血栓回収療法を行い, 良好な転帰を得た1例. 日本脳神経血管内治療学会学術総会 (第31回) (岡山), 2015. 11.
- 40) 鈴木健太郎, 青木淳哉, 坂本悠記, 阿部 新, 木村和美: 超急性期頭蓋内内頸動脈閉塞症例に対する Penumbra 5MAX ACE の有用性. 日本脳神経血管内治療学会学術総会 (第31回) (岡山), 2015. 11.
- 41) 熊谷智昭, 後藤由也, 鈴木健太郎, 林 俊行, 岨 康太, 長井弘一郎, 青木淳也, 永山 寛, 木村和美: VP シェント術後にパーキンソン症候群を呈した2例. 日本神経治療学会総会 (第33回) (名古屋), 2015. 11.
- 42) 永山 寛, 熊谷智昭, 大内崇弘, 上田雅之, 三品雅洋, 木村和美: パーキンソン病の anhedonia に対する istradefylline の効果. 日本神経治療学会総会 (第33回) (名古屋), 2015. 11.
- 43) 藤澤洋輔, 西山康裕, 水越元気, 石渡明子, 木村和美: てんかん重積で発症した抗 SS-A 抗体陽性辺縁系脳炎の46歳女性例. 日本神経治療学会総会 (第33回) (名古屋), 2015. 11.
- 44) 林 俊行, 熊谷智昭, 後藤由也, 鈴木健太郎, 青木淳哉, 木村和美: 物忘れで発症し脳アミロイドアンギオパチーによる白質病変が疑われた78歳女性例. 日本神経治療学会総会 (第33回) (名古屋), 2015. 11.
- 45) 稲葉俊東, 片山泰朗¹⁾, 上田雅之, 仁藤智香子 (¹⁾ 総合東京病院 神経内科・脳卒中センター): マクロライド系抗生物質の脳虚血に対する神経保護効果. 日本神経治療学会総会 (第33回) (名古屋), 2015. 11.
- 46) 坂本悠記, 澤田和貴, 外間裕之, 佐藤貴洋, 野上 茜, 阿部 新, 仁藤智香子, 永山 寛, 上田雅之, 木村和美: クロピドグレルではなくアスピリンが Vasomotor symptoms に有効であった本態性血小板血症の1例. 日本神経治療学会総会 (第33回) (名古屋), 2015. 11.
- 47) 後藤由也, 西山康裕, 水越元気, 藤澤洋輔, 熊谷智昭, 石渡明子, 三品雅洋, 木村和美: 皮膚筋炎に対して免疫抑制剤2剤併用が奏功した31歳男性例. 日本神経学会関東・甲信越地方会 (第215回) (東京), 2015. 12.
- 48) 太田智大, 戸田論補, 小澤明子, 山崎峰雄, 木村和美: 複視, 眼痛が皮疹に1週間先行して出現した眼部帯状疱疹の66歳男性例. 日本神経学会関東・甲信越地方会 (第215回) (東京), 2015. 12.
- 49) 土方奈奈子, 阿部 新, 坂本悠記, 野上 茜, 外間裕之, 仁藤智香子, 大久保誠二, 木村和美: 子宮腺筋腫を有し更年期症状に対するホルモン補充療法中に多発脳梗塞を呈した59歳女性例. 日本神経学会関東・甲信越地方会 (第215回) (東京), 2015. 12.
- 50) 呉 侑樹, 酒巻雅典, 須田 智, 村賀香名子, 金丸拓也, 大久保誠二, 永山 寛, 木村和美: 左房内粘液種による脳梗塞に対して t-PA 静注療法に続いて機械的血栓回収術を施行した68歳女性例. 日本神経学会関東・甲信越地方会 (第216回) (東京), 2016. 3.
- 51) 戸田論補, 太田智大, 小澤明子, 高橋幸利¹⁾, 山崎峰雄, 木村和美 (¹⁾ 国立静岡てんかん・神経医療センター 小児科): 緩徐進行性

の認知機能障害、歩行障害および抗 NMDA 型グルタミン酸受容体抗体陽性を認めた一側大脳半球萎縮の 42 歳男性例. 日本神経学会 関東・甲信越地方会 (第 216 回) (東京), 2016. 3.

(5) マラソンレクチャー:

- 1) 木村和美: 実臨床に根ざしたワルファリンと NOAC の 4 種類の使い分け. 日本神経治療学会総会 (第 33 回) (名古屋), 2015. 11.

学会発表

[追加分]

追加分一般講演:

- 1) Ishiwata A, Mizumura S¹⁾, Kimura K (¹⁾ Department of Radiology, Toho University Omori Medical Center) : Pharmacological Effects of Donepezil as a Disease Modifier. Alzheimer's Conference/Parkinson's Conference (Nice, France), 2015. 3.

[多摩永山病院脳神経内科]

研究概要

2015 年 6 月に一時欠員となっていた多摩永山病院脳神経内科部長として、東京女子医科大学神経内科より長尾毅彦が赴任した。現在は部長 1 名のみ体制であるため、今後の研究開始にむけて準備段階の半年間であった。活発に研究活動を継続している当院循環器内科との心房細動症例を中心とした共同臨床研究、脳神経外科および救命救急センター脳神経チームとの協働による脳卒中に関する研究の開始にむけて鋭意協議中である。また、部長の長尾が赴任前より行っていた欧州の急性期脳卒中研究チームとの共同研究、静岡県立大学栄養学教室との共同研究、抗血小板薬の本邦での大規模臨床研究のプールデータの作成、日本血栓止血学会凝固線溶部会主導の凝固能検査標準化に関する多施設研究などは改めて当院にて継続するように調整している。

研究業績

論文

(1) 総説:

- 1) 長尾毅彦: 抗凝固療法: 最近の話題. 神経治療学 2015; 32 (3): 266-270.
- 2) 長尾毅彦: 老化と虚血性脳血管障害. 日本血栓止血学会誌 2015; 26 (3): 272-275.
- 3) 長尾毅彦: 糖尿病合併脳梗塞患者への SGLT2 阻害薬を用いた血糖管理の有用性と注意点. 分子脳血管病 2015; 14 (2): 157-160.
- 4) 長尾毅彦: 新規経口抗凝固薬 (NOAC) を使い分ける!: 高齢者・嚥下障害・認知症. 脳梗塞と心房細動 2015; 2 (3): 69-74.
- 5) 長尾毅彦: プライマリケア医のための抗凝固療法セミナー Common Disease としての心房細動治療: 脳出血の既往のある心房細動症例に抗凝固療法をどうするか?. Cardio-Coagulation 2015; 2 (3): 221-224.

(2) 学会参加報告:

- 1) 長尾毅彦: From the World Conference: 第 40 回日本脳卒中学会総会. Cardio-Coagulation 2015; 2 (2): 64-65.

学会発表

(1) 特別講演:

- 1) Nagao T: Are there any racial differences of clinical benefits among DOACs?. Vas-Cog World 2015 (Tokyo), 2015. 9.
- 2) 長尾毅彦: tPA 静注療法及び血栓回収療法後の抗凝固療法. 日本脳血管内治療学会関東地方会 (第 12 回) (東京), 2015. 6.
- 3) 長尾毅彦: 経口抗凝固薬の実態と虚像: われわれは何を信じればよいのか. NLM 講演会 6 月度例会 (東京), 2015. 6.
- 4) 長尾毅彦: 日本人に最適な心原性脳塞栓症予防を再考する: 脳卒中専門医の立場から. 阿賀北神経疾患懇話会 (新潟県新発田市), 2015. 6.
- 5) 長尾毅彦: 脳卒中と血圧変動. 血圧変動を考える会 2015 (東京), 2015. 7.
- 6) 長尾毅彦: 新規経口抗凝固薬 4 年目の展望: われわれに求められているもの. 脳関連疾患を考える会 (群馬県前橋市), 2015. 7.
- 7) 長尾毅彦: 脳卒中治療ガイドライン 2015 を一番乗り: 血圧管理も含めて. 南町田 CS-NET (第 14 回) (東京都町田市), 2015. 7.
- 8) 長尾毅彦: 日本人に最適な抗凝固療法を再考する: 脳卒中専門医の立場から. 抗凝固療法 Network 講演会 in Shonai (山形県酒田市), 2015. 7.
- 9) 長尾毅彦: アテローム血栓性脳梗塞に対する Best Medical Treatment: 抗血栓療法, 脂質低下療法を中心に. 日本栓子検出と治療学会 (第 18 回) (栃木県宇都宮市), 2015. 9.
- 10) 長尾毅彦: 日本人に最適な抗凝固療法を再考する: 脳卒中専門医の立場から. 脳卒中予防を中心とした医療連携を考える会 (第 4 回) (東京都東大和市), 2015. 9.
- 11) 長尾毅彦: 老年者の血栓症治療のあるべき姿とは?: 心原性脳塞栓症と静脈血栓症. 大阪老年病研究会 (第 5 回) (大阪), 2015. 9.

- 12) 長尾毅彦：日本人に最適な抗凝固療法を再考する：脳卒中専門医の立場から。鳥取県東部地区 Network Meeting（鳥取），2015. 9.
 - 13) 長尾毅彦：日本人に最適な抗凝固療法を再考する：脳卒中専門医の立場から。安城・西尾地区 Network Meeting（愛知県安城市），2015. 9.
 - 14) 長尾毅彦：日本人に最適な抗凝固療法を再考する：脳卒中専門医の立場から。Anticoagulation Expert Forum in Yokohama（神奈川県横浜市），2015. 9.
 - 15) 長尾毅彦：目黒区からの心原性脳塞栓症撲滅をめざして。目黒区循環器講演会（東京），2015. 9.
 - 16) 長尾毅彦：抗血栓療法中の出血合併症をどう防ぐか？。日本高血圧学会総会（第38回）（愛媛県松山市），2015. 10.
 - 17) 長尾毅彦：出血させずに、しっかり心原性脳塞栓症予防はできるのか。札幌循環器疾患講演会（北海道札幌市），2015. 10.
 - 18) 長尾毅彦：日本人に最適な抗凝固療法を再考する：脳卒中専門医の立場から。富士北麓地区 Network Meeting（山梨県富士吉田市），2015. 10.
 - 19) 長尾毅彦：日本人のための、違いのわかる心原性脳塞栓症予防。多摩エリア Thrombosis Conference（東京都武蔵野市），2015. 10.
 - 20) 長尾毅彦：血液サラサラ大丈夫？：臨床現場で悩む状況を中心に。抗血栓薬を上手に使う会（福島県白河市），2015. 10.
 - 21) 長尾毅彦：出血させずに、しっかり心原性脳塞栓症予防はできるのか。これからの脳卒中予防を考える会（新潟県新潟市），2015. 11.
 - 22) 長尾毅彦：改訂されたガイドラインで脳卒中治療戦略はどう変わるのか。城東地区 Stroke Summit（東京），2015. 11.
 - 23) 長尾毅彦：脳塞栓症あれこれ：心原性だけではありません。目から鱗の脳心血管病勉強会（千葉県柏市），2015. 11.
 - 24) 長尾毅彦：日本人に最適な抗凝固療法を再考する：脳卒中専門医の立場から。首都圏脳卒中ネットワーク講演会（神奈川県相模原市），2015. 12.
 - 25) 長尾毅彦：地域ぐるみの脳卒中急性期診療を考える：理想の双方向連携をめざして。第3回 Tama-FAST（東京都立川市），2015. 12.
- (2) 宿題講演：
- 1) 長尾毅彦：rt-PA 以外の急性期内科的治療。The Mt.Fuji Workshop on CVD（第34回）（兵庫県神戸市），2015. 8.
- (3) 教育講演：
- 1) 長尾毅彦：心原性脳塞栓症。成人先天性心疾患セミナー（第12回）（東京），2015. 6.
 - 2) 長尾毅彦：予防が一番 脳卒中を勉強しましょう。町田市脳卒中市民公開講座（東京都町田市），2015. 10.
 - 3) 長尾毅彦：高齢者脳卒中予防にさじ加減は必要か？。Premium Conference：高齢者の包括的医療を考える（東京），2015. 10.
- (4) 一般講演：
- 1) 鈴木一史¹⁾，阿部香代子¹⁾，吉澤浩志²⁾，長尾毅彦，飯嶋 睦²⁾，北川一夫²⁾，坂井修二¹⁾（¹⁾ 東京女子医科大学 画像診断・核医学科，²⁾ 東京女子医科大学 神経内科）：CT perfusion により虚血性病変との鑑別が可能であった急性期疾患の2例。東京女子医科大学・神経懇話会（第46回）（東京），2015. 7.

[千葉北総病院神経・脳血管内科]

研究概要

東京都健康長寿医療センター研究所ブレインバンク・神経病理学部門（村山繁雄部長）との共同研究で行っていた進行性核上性麻痺（PSP）の臨床病理学的研究を論文として発表したPSPの早期病変と考えられる病理変化を捉えることができるのか、高齢者連続剖検において、どのくらいの頻度で見られるのかを明らかにした。

信州大学神経難病講座（小柳清光教授）との共同研究では、グアム島パーキンソン認知症の神経病理学的研究や筋萎縮性側索硬化症の臨床病理学的研究を行っている。

自己免疫性神経疾患としての脳症や神経筋疾患の症例研究も行っており、日本神経学会関東地方会では、ラスムッセン脳症との鑑別が問題となる「緩徐進行性の認知機能障害、歩行障害および抗NMDA型グルタミン酸受容体抗体陽性を認めた一側大脳半球萎縮の42歳男性例」の症例報告を行った。

平成27年度から科研費（挑戦的萌芽）に採用された「血清NMRデータを用いた新たなアルツハイマー病診断法の開発」を京都大学の共同研究として開始した。本研究は患者血清を用いて、独自開発された「NMR核磁気共鳴」計測とパターン認識によるデータ解析を行うことにより、アルツハイマー病患者と、認知正常例および軽度認知障害例との識別が可能か否かを検討するもので、100名以上のサンプル収集が完了しており、解析作業が進行中であり、平成28年度中に発表予定である。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Oyanagi K¹⁾, Yamazaki M, Hashimoyto T^{1,2)}, Asakawa M¹⁾, Wakabayashi K³⁾, Takahashi H⁴⁾ (1) Department of Brain Disease Research, Shinshu University School of Medicine, 2) Department of Neurology, University of Occupational and Environmental Health, 3) Department of Neuropathology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, 4) Department of Pathology, Brain Research Institute, Niigata University) : Hippocampal sclerosis in the parkinsonism-dementia complex of Guam : quantitative examination of neurons, neurofibrillary tangles, and TDP-43immunoreactivity in CA1. *Neuropathology* 2015 ; 35 (3) : 224-235.
- 2) Oyanagi K¹⁾, Mochizuki Y^{2,3)}, Nakayama Y⁴⁾, Hayashi K⁵⁾, Shimizu T⁵⁾, Nagao M⁵⁾, Hashimoto T⁶⁾, Yamazaki M, Matsubara S⁵⁾, Komori T²⁾ (1) Division of Neuropathology, Department of Brain Disease Research, Shinshu University School of Medicine, 2) Departments of Pathology, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, 3) Department of Neurology, Tokyo Metropolitan Kita Medical and Rehabilitation Center for the Disabled, 4) Laboratory of Nursing Research for Intractable Disease, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, 5) Departments of Neurology, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, 6) Department of Neurology, University of Occupational and Environmental Health) : Marked preservation of the visual and olfactory pathways in ALS patients in a totally locked-in state. *Clinical Neuropathology* 2015 ; 34 (5) : 267-274.
- 3) Nogami A^{1,2)}, Yamazaki M, Saito Y³⁾, Hatsuta H¹⁾, Sakiyama Y⁴⁾, Takao M¹⁾, Kimura K²⁾, Murayama S^{1,5)} (1) Department of Neuropathology and Neurology, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology, 2) Department of Neurology, Nippon Medical School, 3) Department of Laboratory Medicine (Neuropathology), National Center Hospital of Neurology and Psychiatry, 4) Department of Neurology, Jichi Medical University Saitama Medical Center, 5) Department of Neurology, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology) : Early Stage of Progressive Supranuclear Palsy : A Neuropathological Study of 324 Consecutive Autopsy Cases. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (6) : 266-276.

(2) 総説：

- 1) 小柳清光¹⁾, 橋本智代^{1,2)}, 中原亜紗^{1,3)}, 山崎峰雄 (1) 信州大学医学部神経難病学講座分子病理学部門, 2) 産業医科大学神経内科, 3) 信州大学医学部卒後臨床研修センター) : 神経病理診断の標準化I【基本的な評価法①】神経細胞とその突起の変化について. *病理と臨床* 2015 ; 33 (3) : 234-241.
- 2) 山崎峰雄 : 認知症患者の脳解剖で何が明らかになった？ 誤診がわかったことは？. *日本医事新報* 2016 ; 4788 : 67-68.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 橋本智代^{1,2)}, 山崎峰雄, 土屋邦秋³⁾, 柿田明美⁴⁾, 高橋 均⁴⁾, 足立弘明¹⁾, 小柳清光²⁾ (1) 産業医科大学神経内科学, 2) 信州大学医学部神経難病学, 3) 東京都臨床医学総合研究所, 4) 新潟大学脳研究所病理学分野) : Phosphorylated TDP-43 in the PDC and ALS of Guam : Comparison with FTLD-TDP. *日本神経学会学術大会 (第56回) (新潟市)*, 2015. 5.
- 2) 野上 茜^{1,2)}, 山崎峰雄, 齊藤祐子³⁾, 長谷川成人⁴⁾, 初田裕幸¹⁾, 池内 健⁵⁾, 崎山快夫⁶⁾, 高尾昌樹¹⁾, 片山泰朗²⁾, 木村和美²⁾, 村山繁雄^{1,7)} (1) 東京都健康長寿医療センター神経病理, 2) 日本医科大学病院神経内科, 3) 国立精神神経センター臨床検査部, 4) 東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能分野病態細胞生物研究室, 5) 新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター遺伝子機能解析学分野, 6) 自治医科大学附属さいたま医療センター神経内科, 7) 京都健康長寿医療センター神経内科) : Preclinical PSP and CBD - immunochemical and molecular pathological study. *日本神経学会学術大会 (第56回) (新潟市)*, 2015. 5.
- 3) 加藤丈司¹⁾, 河原崎昇¹⁾, 岡田 進²⁾, 山崎峰雄 (1) 日本医科大学千葉北総病院放射線センター, 2) 日本医科大学千葉北総病院放射線科) : 多発性硬化症の3T 頭部MRI 脱髄斑の信号改善について. *日本神経治療学会総会 (第33回) (名古屋市)*, 2015. 11.
- 4) 太田智大, 戸田諭補, 小澤明子, 山崎峰雄, 木村和美¹⁾ (1) 本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野) : 複視, 眼痛が皮疹に1週間先行して出現した眼部帯状疱疹の66歳男性例. *日本神経学会関東・甲信越地方会 (第215回) (千代田区)*, 2015. 12.
- 5) 戸田諭補, 太田智大, 小澤明子, 高橋幸利¹⁾, 山崎峰雄, 木村和美²⁾ (1) 国立静岡てんかん・神経医療センター小児科, 2) 日本医科大学大学院医学研究科神経内科学分野) : 緩徐進行性の認知機能障害, 歩行障害および抗NMDA型グルタミン酸受容体抗体陽性を認めた一側大脳半球萎縮の42歳男性例. *日本神経学会関東・甲信越地方会 (第216回) (千代田区)*, 2016. 3.

[脳病態画像解析学講座]

研究概要

日本医科大学大学院医学研究科脳病態画像解析学講座は2014年12月1日に開設, 当初千駄木キャンパス内にあった本部は, 2015年10月1日寄附講座教授三品雅洋の日本医科大学武蔵小杉病院神経内科部長兼務に伴い, 日本医科大学武蔵小杉病院神経内科部長室に移動した。

2015年12月には、2015年の活動報告を講座のweb site上で公開した。本年度は、パーキンソン病における代謝型グルタミン酸受容体1型分布の研究、レビイ小体病における脳機能の代償とアミロイド分布の関連に関する研究、未治療パーキンソン病におけるアデノシンA1受容体分布の研究、脳卒中登録研究のためのデータベースの構築、医学教育を見据えたデータベースの構築の研究が実施された。原著論文1編、症例報告3編、Society for Neuroscience・European Society of Neuroradiologyなどでの演題発表に加え、KEYSTONE SYM-POSIA on Molecular and Cellular Biologyではアデノシン受容体画像についての招待講演があった。2008年に発表した「Low density of sigma receptors in early Alzheimer's disease. Ann Nucl Med 22 (3) : 151-156, 2008」はAnnals of Nuclear Medicine Frequently Cited Paperを3度目の受賞となった。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Takumi I¹⁾, Mishina M^{2,3)}, Kominami S²⁾, Mizunari T²⁾, Kobayashi S²⁾, Teramoto A^{4,5)}, Morita A⁵⁾ (1) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, 2) Neurological Institute, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 3) Department of Neuro-pathophysiological Imaging, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 4) Tokyo Rosai Hospital, 5) Department of Neurosurgery, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Ambient Temperature Change Increases in Stroke Onset : Analyses Based on the Japanese Regional Metrological Measurements. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (6) : 281-286.

4. 腎臓内科学分野

[付属病院腎臓内科]

研究概要

付属病院腎臓内科は臨床および基礎面ともに精力的な研究と発表を行った（英文原著9編，和文原著6編）．臨床研究としては，慢性腎臓病患者に対する各種治療薬（エリスロポエチン，リン吸着薬，利尿薬など）の薬効評価，IgA腎症患者への治療法の研究などを中心に国内外での関連学会への発表と論文発表を行った．基礎研究としては主に病理学教室との共同により各種腎疾患モデルにおける障害機序解明に関わる研究を行った．また海外研究者との共同研究で腎集合管細胞における酸排泄機序に関する新しい報告も行った．大学院生は生化学教室および自治医大薬理学との共同研究により，急性腎障害における新規バイオマーカーに関する研究および腎不全における血管石灰化機序解明に関する研究にも着手した．一方，臨床における症例報告も積極的に多数の国内外における関連学会に発表し，そのうち6例が論文としても受理された（英文5編，和文1編）．研究助成としては文部科学省科学研究費（代表）1件と厚生労働省科学研究費（分担）2件を継続し，新規に日本腎臓財団公募助成も取得した．

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Ouchi M, Oba K, Saigusa T, Watanabe K, Ohara M, Matsumura N, Suzuki T, Anzai N, Tsuruoka S, Yasutake M : Association between pulse wave velocity and a marker of renal tubular damage (N-acetyl- β -D-glucosaminidase) in patients without diabetes. *J Clin Hypertens (Greenwich)* 2015 ; 17 (4) : 290-297.
- 2) Takahashi N¹⁾, Sato N¹⁾, Sakai Y²⁾ (¹⁾ Department of Cardiology, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, ²⁾ Department of Nephrology, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital) : Long-term Hemodialysis Corrects Left Ventricular Dyssynchrony in End-stage Renal Disease : A Study with Gated Technetium-99m Sestamibi Myocardial Perfusion Single-photon Emission Computed Tomography. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (2) : 76-83.
- 3) Morita M, Mii A, Shimizu A¹⁾, Yasuda F, Shoji J²⁾, Masuda Y¹⁾, Ohashi R³⁾, Nagahama K¹⁾, Kaneko T, Tsuruoka S (¹⁾ Department of Analytic Human Pathology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ²⁾ Department of Nephrology, George Washington University Medical Center, Washington, District of Columbia, United States of America, ³⁾ Division of Diagnostic Pathology, Nippon Medical School Hospital, Tokyo, Japan) : Glomerular Endothelial Cell Injury and Focal Segmental Glomerulosclerosis Lesion in Idiopathic Membranous Nephropathy. *PLOS ONE* 2015 ; 10 (4) : e0116700.
- 4) Wada K, Wada Y, Uchida H, Tsuruoka S : Effects of lanthanum carbonate versus calcium carbonate on vascular stiffness and bone mineral metabolism in hemodialysis patients with type 2 diabetes mellitus : a randomized controlled trial. *Int J Nephrol Renovasc Dis.* 2015 ; 26 (8) : 111-118.
- 5) Okayama D, Suzuki T, Shiga T, Minami Y, Tsuruoka S, Hagiwara N : Blood Urea Nitrogen/Creatinine Ratio and Response to Tolvaptan in Patients with Decompensated Heart Failure : A Retrospective Analysis. *Am J Cardiovasc Drugs.* 2015 ; 15 (4) : 289-293.
- 6) Kaneko T, Arai M, Ikeda M, Morita M, Watanabe Y, Hiramata A, Shimizu A¹⁾, Tsuruoka S (¹⁾ Department of Analytic Human Pathology, Nippon Medical School) : Comparison of immunosuppressive therapies for IgA nephropathy after tonsillectomy : three-course versus one-course steroid pulse combined with mizoribine. *International Urology and Nephrology* 2015 ; 47 (11) : 1823-1830.
- 7) Schwartz G, Gao X, Tsuruoka S, Purkerson J, Peng H, D'aqati V, Picard N, Eladari D, Al-Awqati Q : SDF1 induction by acidosis from principal cells regulates intercalated cell subtype distribution. *J Clin Invest* 2015 ; 125 (12) : 4365-4374.
- 8) 由井智子, 新井桃子, 福井めぐみ, 三井亜希子, 金子朋広, 鶴岡秀一, 清水 章¹⁾, 渡邊 淳²⁾ (¹⁾ 日本医科大学解析人体病理学, ²⁾ 日本医科大学付属病院 ゲノム先端医療部) : タクロリムス代謝酵素の遺伝子多型が治療効果に影響したと推測されるSLEの1例. *臨床リウマチ* 2015 ; 27 (3) : 219-226.
- 9) 助川まさみ¹⁾, 由井静香¹⁾, 大塚裕介¹⁾, 鈴木安奈¹⁾, 住祐一郎¹⁾, 麦島康司¹⁾, 大塚智之¹⁾, 大野 大¹⁾, 酒井行直¹⁾, 鶴岡秀一 (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科) : 当院における腹膜透析患者に対する tolvaptan の使用経験. *腎と透析 腹膜透析* 2015 ; 79 (別冊) : 71-72.
- 10) 大塚裕介¹⁾, 助川まさみ¹⁾, 由井静香¹⁾, 鈴木安奈¹⁾, 住祐一郎¹⁾, 麦島康司¹⁾, 大塚智之¹⁾, 大野 大¹⁾, 酒井行直¹⁾, 鶴岡秀一 (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科) : 当院における腹膜透析導入実態の年代別推移およびその予後の検討. *腎と透析 腹膜透析* 2015

2015 ; 79 (別冊) : 269-270.

- 11) 由井静香¹⁾, 助川まさみ¹⁾, 大塚裕介¹⁾, 鈴木安奈¹⁾, 住祐一郎¹⁾, 麦島康司¹⁾, 大塚智之¹⁾, 酒井行直¹⁾, 前田幸生²⁾, 鶴岡秀一¹⁾ (日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 看護部) : 腹膜透析患者における栄養状態評価の検討. 腎と透析 腹膜透析 2015 2015 ; 79 (別冊) : 298-299.
- 12) 新井桃子, 金子朋広, 三井亜希子, 高田英志¹⁾, 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 松井浩輔²⁾, 船木威徳²⁾, 窪田 実²⁾, 鶴岡秀一¹⁾ (日本医科大学付属病院消化器外科, ²⁾ 貴友会王子病院 腎臓内科) : 腹膜透析カテーテルの卵管采巻絡再発に対しカテーテル固定術が有効であった1例. 腎と透析 2015 ; 79 (別冊 腹膜透析 2015) : 179-180.
- 13) 和田健太郎¹⁾, 和田有子²⁾, 鶴岡秀一¹⁾ (日本鋼管福山病院内科・透析センター, ²⁾ セントラル病院内科) : 血糖管理の不良な2型糖尿病血液透析患者に対する持効型インスリン デグルデクの効果. 日腎会誌 2015 ; 57 (5) : 872-877.

(2) 症例報告 :

- 1) Otsuka T¹⁾, Sakai Y¹⁾, Ohno D¹⁾, Tsuruoka S¹⁾ (Department of Nephrology, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital) : A Case of Cryoglobulinemic Membranoproliferative Glomerulonephritis Induced by Hepatitis C Virus. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (2) : 193-201.
- 2) Kaneko T, Mii A, Fukui M, Nagahama K¹⁾, Shimizu A¹⁾, Tsuruoka S¹⁾ (Department of Analytic Human Pathology, Nippon Medical School) : IgA nephropathy and psoriatic arthritis that improved with steroid pulse therapy and mizoribine in combination with treatment for chronic tonsillitis and epipharyngitis. Internal Medicine 2015 ; 54 (9) : 1085-1090.
- 3) Tani T, Arima R, Kaneko T, Hayashi H¹⁾, Tsuruta K²⁾, Shimizu A³⁾, Tsuruoka S¹⁾ (Department of Respiratory Care Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Dermatology, Nippon Medical School, ³⁾ Department of Pathology, Nippon Medical School) : Pulmonary hemorrhage associated with Henoch-Schönlein purpura in an adult patient primary diagnosed of IgA nephropathy. CEN Case Rep 2015 ; 4 (1) : 48-54.
- 4) Kaneko T, Shimizu A¹⁾, Aoki M, Tsuruoka S¹⁾ (Department of Analytic Human Pathology, Nippon Medical School) : A case of gefitinib-associated membranous nephropathy in treatment for pulmonary adenocarcinoma. CEN Case Rep 2015 ; 4 (1) : 31-37.
- 5) 鶴田恭子¹⁾, 船坂陽子¹⁾, 金子朋広, 鶴岡秀一, 清水 章²⁾, 川名誠司¹⁾, 佐伯秀久¹⁾ (日本医科大学 皮膚科学教室, ²⁾ 日本医科大学 解析人体病理学) : 膜性増殖性糸球体腎炎を呈したII型クリオグロブリン血症性血管炎の2例. 皮膚科の臨床 2015 ; 57 (8) : 1249-1253.

著 書

- 1) 荒谷紗絵, 長浜正彦¹⁾ (聖路加国際病院 腎臓内科) : [分担] K異常を診療する. レジデントノート Vol.17No.3 (5月号) 2015, 2015 ; pp543-552, 羊土社.
- 2) 住祐一郎, 鶴岡秀一 : [分担] 薬剤・医原性の電解質異常とその臨床. メディカルプラクティス vol.32 2015年臨時増刊号, 2015 ; pp40-47, 文光堂.
- 3) 森田めぐみ : [分担] 【糖尿病と腎疾患2015】糖尿病の食事療法・経口薬治療 腎機能障害患者, 透析患者における速効型インスリン分泌促進薬の使用について. 腎と透析, 2015 ; pp203-206, 東京医学社.
- 4) 平野良隆, 酒井行直, 鶴岡秀一 : [分担] 酸塩基平衡の検査 : 血液ガス分析のすすめ. Medicament News (飯野 靖彦), 2015 ; pp2206号 1p-2p, (株) ライフ・サイエンス.
- 5) 鶴岡秀一 : [分担] 外用消炎鎮痛薬. 症状と患者背景にあわせた頻用薬の使い分け 改訂版 (藤村昭夫), 2015 ; pp38-46, 羊土社.
- 6) 荒谷紗絵, 酒井行直, 鶴岡秀一 : [分担] 尿管異常による尿と血液の変化. 腎と透析, 2015 ; pp562-567, 東京医学社.
- 7) 麦島康司¹⁾, 酒井行直, 鶴岡秀一 (日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科) : [分担] 慢性腎不全. ガイドライン外来診療2016 (泉孝英 編集), 2016 ; pp426-430, 日経メディカル開発.

学会発表

(1) 一般講演 :

- 1) Yamazaki T, Kawahara N, Hayasaka T, Tsuruoka S, Saito T : Usefulness of ultrasonography as a diagnostic tool of carpal tunnel syndrome in hemodialysis patients. American Society of Nephrology Kidney Week 2015 (San Diego CA, USA), 2015. 11.
- 2) 長谷川正宇¹⁾, 荒谷紗絵¹⁾, 長浜正彦¹⁾, 藤丸拓也¹⁾, ヒース雪¹⁾, 瀧 史香¹⁾, ニッ山みゆき¹⁾, 上田琢也¹⁾, 小松康宏¹⁾ (聖路加国際病院 腎臓内科) : 冠動脈造影CT検査による保存期CKD患者の冠動脈病変の検討. 日本腎臓学会学術総会 (第58回) (名古屋), 2015. 6.
- 3) 池ノ内綾子, 森田めぐみ, 長濱清隆¹⁾, 清水 章¹⁾, 鶴岡秀一 (日本医科大学 解析人体病理学) : 網膜症を認めない糖尿病症例における糖尿病性腎症の臨床病理学的特徴. 日本腎臓学会学術総会 (第58回) (名古屋), 2015. 6.
- 4) 住祐一郎¹⁾, 助川まさみ¹⁾, 由井静香¹⁾, 大塚裕介¹⁾, 鈴木安奈¹⁾, 麦島康司¹⁾, 大塚智之¹⁾, 酒井行直, 鶴岡秀一 (日本医科大学武

- 蔵小杉病院 腎臓内科)：肝硬変による難治性腹水を伴う透析困難症のHD患者に対し、腹水コントロール目的でPD併用を行った1例。日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜), 2015. 6.
- 5) 由井静香¹⁾, 助川まさみ¹⁾, 大塚裕介¹⁾, 鈴木安奈¹⁾, 住祐一郎¹⁾, 麦島康司¹⁾, 大塚智之¹⁾, 酒井行直, 鶴岡秀一 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科)：急性虫垂炎から腹膜炎を発症し、原因菌として緑膿菌が同定された腹膜透析患者の1例。日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜), 2015. 6.
 - 6) 大塚裕介¹⁾, 助川まさみ¹⁾, 由井静香¹⁾, 鈴木安奈¹⁾, 住祐一郎¹⁾, 麦島康司¹⁾, 大塚智之¹⁾, 酒井行直, 鶴岡秀一 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科)：Ca・Pコントロールに難渋した多発骨転移を伴う前立腺癌を有する血液透析患者の1例。日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜), 2015. 6.
 - 7) 吉田 健¹⁾, 大塚美穂¹⁾, 高柳佳津紗¹⁾, 高木 基¹⁾, 伊藤健介¹⁾, 尾崎 傑¹⁾, 門松 豊¹⁾, 大塚智之²⁾, 酒井行直, 鶴岡秀一 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 ME部, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科)：FX-CorDiaxの性能評価。日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜), 2015. 6.
 - 8) 福井めぐみ, 三井亜希子, 金子朋広, 清水 章¹⁾, 鶴岡秀一 (1) 日本医科大学 解析人体病理学)：巣状分節性糸球体硬化症にみられる糸球体内皮細胞障害。日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋), 2015. 6.
 - 9) 荒川裕輔¹⁾, 鶴岡秀一, 藤村昭夫¹⁾ (1) 自治医科大学附属病院 臨床薬理学)：ラット腎虚血再灌流モデルにおける尿中バイオマーカーの評価。日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋), 2015. 6.
 - 10) 新井桃子, 谷 崇, 板垣史朗, 石原 力, 荒川裕輔, 安田文彦, 藤野鉄平, 三井亜希子, 金子朋広, 山田剛久¹⁾, 内村遼一²⁾, 浅野 健²⁾, 藤野 修²⁾, 鶴岡秀一 (1) 日本医科大学千葉北総病院 腎臓内科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 小児科)：Wiskott-Aldrich症候群合併の末期腎不全患者に対し、腹膜透析離脱後血液透析に移行した1例。日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜), 2015. 6.
 - 11) 金子朋広, 新井桃子, 森田めぐみ, 渡辺容子, 平間章郎, 藤田恵美子, 清水 章¹⁾, 渡邊 淳²⁾, 鶴岡秀一 (1) 日本医科大学 解析人体病理学, 2) 日本医科大学 遺伝診療科・ゲノム先端医療部)：遺伝子型測定によるタクロリムス治療効果判定の有用性。日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋), 2015. 6.
 - 12) 河原直美¹⁾, 荒井和紀¹⁾, 大吉孝治¹⁾, 大島昌恵¹⁾, 小池幸子¹⁾, 宮内明子¹⁾, 山崎 忠¹⁾, 早坂常江¹⁾, 鶴岡秀一, 斎藤鉄男¹⁾ (1) 徳真会真岡病院 ME科)：透析アミロイド症における手根管症候群に対する正中神経エコーの有用性。日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜), 2015. 6.
 - 13) 池田まり子, 岩堀 徹¹⁾, 新井桃子, 森田めぐみ, 金子朋広, 永坂真也²⁾, 清水 章²⁾, 鶴岡秀一 (1) 幸有会記念病院 腎臓内科, 2) 日本医科大学 解析人体病理学)：多重染色フローサイトメトリー法を用いた、糸球体腎炎の腎生検時における末梢血免疫細胞解析。日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋), 2015. 6.
 - 14) 池田まり子, 森田めぐみ, 渡辺容子, 平間章郎, 藤田恵美子, 酒井行直, 金子朋広, 鶴岡秀一)：多発性嚢胞腎(PKD)患者におけるtolvaptan(T)中止の短期的影響。日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋), 2015. 6.
 - 15) 渡辺容子, 上田佳恵, 金丸拓也¹⁾, 須田 智¹⁾, 金子朋広, 勝又俊弥¹⁾, 鶴岡秀一 (1) 日本医科大学 神経内科)：慢性腎臓病患者の急性期脳梗塞の特徴。日本腎臓学会学術集会(第58回)(名古屋), 2015. 6.
 - 16) 大内基司¹⁾, 三枝太郎²⁾, 大庭建三³⁾, 大谷真由¹⁾, 鈴木達也²⁾, 安武正弘⁴⁾, 安西高彦¹⁾, 鶴岡秀一 (1) 獨協医科大学 薬理学, 2) 日本医科大学付属病院 老年内科, 3) 大洗海岸コアクリニック, 4) 日本医科大学 総合医療・健康科学)：非糖尿病の高齢者における尿中NAG活性とarterial stiffnessの関係。日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋), 2015. 6.
 - 17) 藤田恵美子, 清水 章¹⁾, 金子朋広, 平間章郎, 渡辺容子, 肥後清一郎, 森田めぐみ, 鶴岡秀一 (1) 日本医科大学 解析人体病理学)：糸球体内泡沫細胞浸潤を伴う微小変化型ネフローゼ症候群に関する臨床薬理学的検討。日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋), 2015. 6.
 - 18) 肥後清一郎, 清水 章¹⁾, 益田幸成¹⁾, 永坂真也¹⁾, 神埼 剛¹⁾, 梶本雄介¹⁾, 森田めぐみ, 長濱清隆¹⁾, 三井亜希子, 金子朋広, 鶴岡秀一 (1) 日本医科大学 解析人体病理学)：ラット同種間骨髄移植モデルによって生じた急性移植片対宿主病(急性GVHD)による腎臓への影響。日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋), 2015. 6.
 - 19) 山田剛久¹⁾, 太田智大²⁾, 山崎峰雄²⁾, 新井桃子, 平間章郎, 石原 力, 有馬留志, 柏木哲也, 鶴岡秀一 (1) 千葉北総病院 腎臓内科, 2) 千葉北総病院 神経内科)：当院において免疫吸着療法を施行した重症筋無力症の3例 PLSとFK506との併用療法。日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜), 2015. 6.
 - 20) 山田剛久¹⁾, 新井桃子, 有馬留志, 平間章郎, 石原 力, 柏木哲也 (1) 日本医科大学千葉北総病院 腎臓内科)：当院において顆粒球吸着療法を施行した潰瘍性大腸炎の3例。日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜), 2015. 6.
 - 21) 板垣史朗, 鶴岡秀一, 金子朋広, 高木 元¹⁾, 久保田芳明¹⁾, 大山 亮¹⁾, 宮本正章¹⁾, 桐木園子¹⁾ (1) 日本医科大学 循環器内科)：血液透析患者に対しマゴット療法を施行した1例。日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜), 2015. 6.
 - 22) 仲田将義¹⁾, 成美雅人¹⁾, 高地由紀子¹⁾, 樋上信幸¹⁾, 楠 正昭¹⁾, 西郷俊吾²⁾, 斎藤京子²⁾, 鎌野千佐子²⁾, 大沢弘和²⁾, 柏木哲也, 橋本和政, 鶴岡秀一 (1) 博慈会腎クリニック ME 機器管理課, 2) 博慈会腎クリニック 腎臓内科)：レボカルニチン経口から静注への変

- 更におけるカルニチン動態の比較検討. 日本透析医学会学術集会・総会 (第 60 回) (横浜), 2015. 6.
- 23) 吉田幸恵, 山田祥子, 渡邊容子, 平間章郎, 金子朋広, 鶴岡秀一: 高齢腹膜透析導入患者へのトルバプタン使用した 1 例. 日本透析医学会学術集会・総会 (第 60 回) (横浜), 2015. 6.
- 24) 山田剛久¹⁾, 新井桃子¹⁾, 有馬留志, 平間章郎, 石原 力, 柏木哲也 (¹⁾ 日本医大千葉北総病院 腎臓内科): 当院において顆粒球吸着療法を施行した潰瘍性大腸炎の 3 例. 第 60 回日本透析医学会学術集会 (横浜), 2015. 6.
- 25) 谷 崇, 清水 章¹⁾, 鶴岡秀一, 折茂英生²⁾ (¹⁾ 日本医科大学大学院 解析人体病理学, ²⁾ 日本医科大学大学院 代謝・栄養学): High phosphorous diet drastically accelerates CKD-MBD complications of adenine-induced CKD model mouse. ALPS 研究会 (第 11 回) (東京), 2015. 7.
- 26) 河原直美¹⁾, 荒井和紀¹⁾, 大吉孝治¹⁾, 大島昌恵¹⁾, 小池幸子¹⁾, 宮内明子¹⁾, 山崎 忠¹⁾, 早坂常江¹⁾, 鶴岡秀一, 斎藤鉄男¹⁾ (¹⁾ 徳真会真岡病院 ME 科): 透析アミロイド症における手根管症候群に対する正中神経エコーの有用性: 第 2 報. 栃木県透析医学会 (第 38 回) (栃木県下都賀郡壬生町), 2015. 9.
- 27) 大島昌恵¹⁾, 荒井和紀¹⁾, 大吉孝治¹⁾, 河原直美¹⁾, 小池幸子¹⁾, 宮内明子¹⁾, 山崎 忠¹⁾, 早坂常江¹⁾, 鶴岡秀一, 斎藤鉄男¹⁾ (¹⁾ 徳真会真岡病院 ME 科): 維持透析患者における NT-proBNP 測定の有用性. 栃木県透析医学会 (第 38 回) (栃木県下都賀郡壬生町), 2015. 9.
- 28) 池ノ内綾子, 渡辺容子, 森田めぐみ, 金子朋広, 長濱清隆¹⁾, 清水 章¹⁾, 鶴岡秀一 (¹⁾ 日本医科大学 解析人体病理学): 妊娠によってネフローゼ症候群が増悪した Alport 症候群の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回) (東京), 2015. 10.
- 29) 大川陽平¹⁾, 大塚美穂¹⁾, 高柳佳津紗¹⁾, 吉田 健¹⁾, 高木 基¹⁾, 伊東健介¹⁾, 尾崎 傑¹⁾, 門松 豊¹⁾, 大塚智之²⁾, 酒井行直, 鶴岡秀一 (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 ME 部, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科): FX-CorDiax の性能評価. 神奈川県臨床工学会 (第 1 回) (横浜), 2015. 10.
- 30) 住祐一郎, 寺田光佑, 平間章郎, 酒井行直, 中山一隆¹⁾, 鶴岡秀一 (¹⁾ 日本医科大学付属病院 血液内科): MPAL に対する骨髄移植後の慢性 GVHD による肝機能障害および腹水コントロールのために腹膜透析を導入した 1 例. 日本移植学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 10.
- 31) 麦島康司¹⁾, 助川まさみ¹⁾, 由井静香¹⁾, 大塚裕介¹⁾, 片山安奈¹⁾, 住祐一郎¹⁾, 吉田幸恵¹⁾, 下田奈央子¹⁾, 大塚智之¹⁾, 酒井行直, 鶴岡秀一 (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科): ステロイド投与中に腸管気腫症を合併した ANCA 関連腎炎の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回) (東京), 2015. 10.
- 32) 新井桃子, 石原 力, 板垣史朗, 平間章郎, 山田剛久¹⁾, 金子朋広, 清水 章²⁾, 鶴岡秀一 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 腎臓内科, ²⁾ 日本医科大学 解析人体病理学): プロトンポンプインヒビター (PPI) 内服が誘引と考えられる尿細管間質性腎炎ぶどう膜炎症候群の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回) (東京), 2015. 10.
- 33) 下田奈央子¹⁾, 助川まさみ¹⁾, 由井静香¹⁾, 大塚裕介¹⁾, 片山安奈¹⁾, 住祐一郎¹⁾, 麦島康司¹⁾, 吉田幸恵¹⁾, 大塚智之¹⁾, 酒井行直, 清水 章²⁾, 鶴岡秀一 (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科, ²⁾ 日本医科大学 解析人体病理学): 大腿部壊死性筋膜炎を契機として発症したネフローゼ症候群の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回) (東京), 2015. 10.
- 34) 吉田幸恵, 平間章郎, 金子朋広, 酒井行直, 鶴岡秀一: 膜性腎症に対して PSL・CyA 内服加療中に腸管膜嚢胞気腫症を発症した 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回), 2015. 10.
- 35) 大辻弘朗, 森田めぐみ, 住祐一郎, 平間章郎, 湯澤 令, 寺田光佑, 酒井行直, 鶴岡秀一: シェーグレン症候群を合併した強皮症性腎クラーゼの 1 例. 日本腎臓学会東部学術総会 (第 45 回) (東京), 2015. 10.
- 36) 由井静香¹⁾, 助川まさみ¹⁾, 大塚裕介¹⁾, 鈴木安奈¹⁾, 住祐一郎¹⁾, 麦島康司¹⁾, 大塚智之¹⁾, 酒井行直, 鶴岡秀一 (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科): 腹膜透析患者における急性虫垂炎を早期診断, 治療し得た 1 例. 日本腹膜透析医学会学術集会・総会 (第 21 回) (仙台), 2015. 11.
- 37) 住祐一郎¹⁾, 助川まさみ¹⁾, 由井静香¹⁾, 大塚裕介¹⁾, 鈴木安奈¹⁾, 麦島康司¹⁾, 大塚智之¹⁾, 酒井行直, 鶴岡秀一 (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 腎臓内科): 肝硬変による難治性腹水を伴う透析困難症の HD 患者に対し, 腹水コントロール目的で PD 併用を行った 1 例. 日本腹膜透析医学会学術集会・総会 (第 21 回) (仙台), 2015. 11.
- 38) 平間章郎, 阿部雅紀¹⁾, 井尾浩章²⁾, 岡戸丈和³⁾, 丹野有道⁴⁾, 富安朋宏⁵⁾, 入村 泉⁶⁾, ヒース雪⁷⁾, 保坂 望⁸⁾, 鷺田直樹⁹⁾ (¹⁾ 日本大学, ²⁾ 順天堂大学, ³⁾ 東京医科歯科大学, ⁴⁾ 東京慈恵会医科大学, ⁵⁾ 東京医科大学, ⁶⁾ 東京女子医科大学, ⁷⁾ 聖路加国際病院, ⁸⁾ 昭和大学, ⁹⁾ 慶応義塾大学): 東京都内 11 施設における出口部処置法と患者のペット飼育に関する調査について. 日本腹膜透析医学会学術集会・総会 (第 21 回) (仙台), 2015. 11.

論文

[追加分]

追加分原著:

- 1) Fujita E, Nagahama K, Shimizu A, Aoki M, Higo S, Yasuda F, Mii A, Fukui M, Kaneko T, Tsuruoka S: Glomerular capil-

lary and endothelial cell injury is associated with the formation of necrotizing and crescentic lesions in crescentic glomerulonephritis. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (1) : 27-35.

- 2) Otsuka T¹⁾, Sakai Y¹⁾, Yui S¹⁾, Sukegawa M¹⁾, Suzuki A¹⁾, Mugishima K¹⁾, Sumi Y¹⁾, Otsuka Y¹⁾, Tsuruoka S¹⁾ (Department of Nephrology, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital) : Comparison of Pain and Efficacy of Darbepoetin Alfa and Epoetin Beta Pegol Treatment in Patients Receiving Peritoneal Dialysis. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (1) : 21-26.

著 書

追加分 :

- 1) 鶴岡秀一 : [分担] 尿細管性アシドーシス. 今日の治療指針 2015 (山口徹, 北原光夫), 2015 ; pp600-601, 医学書院.
- 2) 大塚裕介, 鶴岡秀一 : [分担] Selected Papers 腎臓領域 尿中 Na・K 排泄と血圧の関係. Fluid Management Renaissance, 2015 ; pp73-74, メディカルレビュー社.
- 3) 片山安奈, 酒井行直, 佐藤直樹¹⁾ (日本医科大学 循環器内科) : [分担] 体液過剰是正のための方策 : 非薬物療法. Fluid Management Renaissance Vol5 No1, 2015 ; pp54-60, メディカルレビュー社.
- 4) 荒谷紗絵, 長浜正彦¹⁾, 長谷川正宇¹⁾, 廣瀬知人¹⁾, 藤丸拓也¹⁾ (聖路加国際 腎臓内科) : [分担] 腎・電解質. 集中治療 999 の謎 (田中竜馬), 2015 ; pp165-196, メディカル・サイエンス・インターナショナル.

[武蔵小杉病院腎臓内科]

研究業績

論 文

(1) 原著 :

- 1) Otsuka T, Sakai Y, Ohno D, Tsuruoka S¹⁾ (Department of Nephrology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : A Case of Cryoglobulinemic Membranoproliferative Glomerulonephritis Induced by Hepatitis C Virus. Journal of Nippon Medical School 2015 ; 82 (4) : 193-201.

追加分原著 :

- 1) Otsuka T, Sakai Y, Yui S, Sukegawa M, Suzuki A, Mugishima K, Sumi Y, Otsuka Y, Tsuruoka S¹⁾ (Department of Nephrology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Comparison of Pain and Efficacy of Darbepoetin Alfa and Epoetin Beta Pegol Treatment in Patients Receiving Peritoneal Dialysis. Journal of Nippon Medical School 2015 ; 82 (1) : 21-26.

[多摩永山病院腎臓内科]

研究業績

論 文

(1) 原著 :

- 1) Morita M¹⁾, Mii A¹⁾, Shimizu A²⁾, Yasuda F¹⁾, Shoji J³⁾, Masuda Y¹⁾, Ohashi R⁴⁾, Nagahama K²⁾, Kaneko T¹⁾, Tsuruoka S¹⁾ (Department of Nephrology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Analytic Human Pathology, Nippon Medical School, ³⁾ Department of Nephrology, George Washington University Medical Center, ⁴⁾ Division of Diagnostic Pathology, Nippon Medical School Hospital) : Glomerular endothelial cell injury and focal segmental glomerulosclerosis lesion in idiopathic membranous nephropathy. PLoS One 2015 ; 10 (4).
- 2) Kaneko T¹⁾, Arai M¹⁾, Ikeda M¹⁾, Morita M¹⁾, Watanabe Y¹⁾, Hiramasa A¹⁾, Shimizu A²⁾, Tsuruoka S¹⁾ (Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Analytic Human Pathology, Nippon Medical School) : Comparison of immunosuppressive therapies for IgA nephropathy after tonsillectomy : three-course versus one-course steroid pulse combined with mizoribine. International Urology And Nephrology 2015 ; 47 (11) : 1823-1830.
- 3) Yodogawa K¹⁾, Mii A²⁾, Fukui M²⁾, Iwasaki Y¹⁾, Hayashi M¹⁾, Kaneko T²⁾, Miyauchi Y¹⁾, Tsuruoka S²⁾, Shimizu W¹⁾ (Department of Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Divisions of Nephrology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School) : Warfarin use and incidence of stroke in Japanese hemodialysis patients with atrial fibrillation. Heart and Vessels 2015.
- 4) Watanabe Y¹⁾, Suda S²⁾, Kanamaru T²⁾, Katsumata T²⁾, Okubo S²⁾, Kaneko T¹⁾, Mii A¹⁾, Sakai Y¹⁾, Katayama Y²⁾, Kimura

K²), Tsuruoka S¹) (1) Department of Nephrology, Nippon Medical School, (2) Department of Neurological Science, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : High urinary albumin/creatinine ratio at admission predicts poor functional outcome in patients with acute ischemic stroke. *Nephrology* 2016.

- 5) Kusano T¹), Takano H¹), Kang D²), Nagahama K²), Aoki M²), Morita M³), Kaneko T³), Tsuruoka S³), Shimizu A²) (1) Division of Nephrology, Tokyo Teishin Hospital, (2) Department of Analytic Human Pathology, Nippon Medical School, (3) Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School) : Endothelial cell injury in acute and chronic glomerular lesions in patients with IgA nephropathy. *Human Pathology* 2016 ; 49 : 135-144.

(2) 症例報告 :

- 1) Kaneko T¹), Mii A¹), Fukui M¹), Nagahama K²), Shimizu A²), Tsuruoka S¹) (1) Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, (2) Department of Analytic Human Pathology, Nippon Medical School) : IgA nephropathy and psoriatic arthritis that improved with steroid pulse therapy and mizoribine in combination with treatment for chronic tonsillitis and epipharyngitis. *Internal Medicine* 2015 ; 54 (9) : 1085-1090.
- 2) 鶴田恭子¹), 船坂陽子¹), 金子朋広²), 鶴岡秀一²), 清水 章³), 川名誠司¹), 佐伯秀久¹) (1) 日本医科大学皮膚科学教室, (2) 日本医科大学腎臓内科, (3) 日本医科大学 解析人体病理学) : 膜性増殖性糸球体腎炎を呈したII型クリオグロブリン血症性血管炎の2例. *皮膚科の臨床* 2015 ; 57 (8) : 1249-1253.
- 3) 由井智子¹), 新井桃子¹), 福井めぐみ¹), 三井亜希子¹), 金子朋広¹), 鶴岡秀一¹), 清水 章²), 渡邊 淳³) (1) 日本医科大学腎臓内科, (2) 日本医科大学解析人体病理学, (3) 日本医科大学ゲノム先端医療部) : タクロリムス代謝酵素の遺伝子多型が治療効果に影響したと推測されるSLEの1例. *臨床リウマチ* 2015 ; 27 (3) : 219-226.
- 4) 新井桃子¹), 金子朋広¹), 三井亜希子¹), 高田英志²), 清水哲也²), 水口義昭²), 松井浩輔³), 船木威徳³), 窪田 実³), 鶴岡秀一¹) (1) 日本医科大学腎臓内科, (2) 日本医科大学消化器外科, (3) 王子病院) : 腹膜透析カテーテルの卵管采巻絡再発に対しカテーテル固定術が有効であった1例. *腎と透析* 2015 ; 79 : 179-180.

学会発表

(1) 一般講演 :

- 1) 肥後清一郎¹), 金光剛史²), 清水 章²), 益田幸成²), 梶本雄介²), 神崎 剛²), 長濱清隆²), 三井亜希子¹), 金子朋広¹), 鶴岡秀一¹) (1) 日本医科大学腎臓内科, (2) 日本医科大学解析人体病理学) : ラット同種間骨髄移植で生じた急性移植片対宿主病(急性GVHD)による腎臓への病理学的・免疫学的特徴. *日本病理学会総会(第104回)(名古屋)*, 2015. 4.
- 2) 新井桃子¹), 谷 崇¹), 板垣史郎¹), 石原 力¹), 荒川裕輔¹), 安田文彦¹), 藤野鉄平¹), 三井亜希子¹), 金子朋広¹), 山田剛久¹), 内村遼一²), 浅野 健²), 藤野 修²), 鶴岡秀一¹) (1) 日本医科大学腎臓内科, (2) 日本医科大学小児科) : Wiskott-Aldrich 症候群合併の末期腎不全患者に対し, 腹膜透析離脱後血液透析に移行した1例. *日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜)*, 2015. 6.
- 3) 板垣史郎¹), 鶴岡秀一¹), 金子朋広¹), 高木 元²), 久保田芳明²), 大山 亮²), 宮本正章²), 桐木園子²) (1) 日本医科大学腎臓内科, (2) 日本医科大学循環器内科) : 血液透析患者に対しマゴット療法を施行した1例. *日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜)*, 2015. 6.
- 4) 池田雅人¹), 金子朋広²), その他17名 (1) 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 腎臓高血圧内科, (2) 日本医科大学腎臓内科) : 国内腎臓内科インターベンション実施状況に関する全国アンケート調査. *日本透析医学会学術集会・総会(第60回)(横浜)*, 2015. 6.
- 5) 肥後清一郎¹), 清水 章²), 益田幸成²), 永坂真也²), 神崎 剛²), 梶本雄介²), 福井めぐみ¹), 長濱清隆²), 三井亜希子¹), 金子朋広¹), 鶴岡秀一¹) (1) 日本医科大学腎臓内科, (2) 日本医科大学解析人体病理学) : 2015256316 ラット同種間骨髄移植モデルによって生じた急性移植片対宿主病(急性GVHD)による腎臓への影響. *日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋)*, 2015. 6.
- 6) 藤田恵美子¹), 清水 章²), 金子朋広¹), 平間章郎¹), 渡辺容子¹), 肥後清一郎¹), 森田めぐみ¹), 鶴岡秀一¹) (1) 日本医科大学腎臓内科, (2) 日本医科大学解析人体病理学) : 糸球体内泡沫細胞浸潤を伴う微小変化型ネフローゼ症候群に関する臨床病理学的検討. *日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋)*, 2015. 6.
- 7) 渡辺容子¹), 上田佳恵²), 金丸拓也³), 須田 智³), 金子朋広¹), 勝又俊弥³), 鶴岡秀一¹) (1) 日本医科大学腎臓内科, (2) 鶴見西口病院, (3) 日本医科大学神経内科) : 慢性腎臓病患者の急性期脳梗塞の特徴. *日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋)*, 2015. 6.
- 8) 池田まり子¹), 森田めぐみ¹), 渡辺容子¹), 藤田恵美子¹), 金子朋広¹), 鶴岡秀一¹) (1) 日本医科大学腎臓内科) : 多発性嚢胞腎(PKD)患者におけるtolvaptan(T)中止の短期的影響. *日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋)*, 2015. 6.
- 9) 福井めぐみ¹), 三井亜希子¹), 金子朋広¹), 清水 章²), 鶴岡秀一¹) (1) 日本医科大学腎臓内科, (2) 日本医科大学解析人体病理学) : 巣状分節性糸球体硬化症にみられる糸球体内皮細胞障害. *日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋)*, 2015. 6.
- 10) 池田まり子¹), 岩堀 徹²), 新井桃子¹), 森田めぐみ¹), 金子朋広¹), 鶴岡秀一¹), 永坂真也²), 清水 章²) (1) 日本医科大学腎臓内科, (2) 日本医科大学解析人体病理学) : 多重染色フローサイトメトリー法を用いた, 糸球体腎炎の腎生検時における末梢血免疫細胞解析. *日本腎臓学会学術総会(第58回)(名古屋)*, 2015. 6.

- 11) 金子朋広¹⁾, 新井桃子¹⁾, 森田めぐみ¹⁾, 渡辺容子¹⁾, 平間章郎¹⁾, 藤田恵美子¹⁾, 清水 章²⁾, 渡邊 淳³⁾, 鶴岡秀一¹⁾ (1) 日本医科大学腎臓内科, 2) 日本医科大学解析人体病理学, 3) 日本医科大学遺伝診療科・ゲノム先端医療部): 遺伝子型測定によるタクロリムス治療効果判定の有用性. 日本腎臓学会学術総会 (第 58 回) (名古屋), 2015. 6.
- 12) 池ノ内綾子¹⁾, 渡辺容子¹⁾, 森田めぐみ¹⁾, 金子朋広¹⁾, 長濱清隆²⁾, 清水 章²⁾, 鶴岡秀一¹⁾ (1) 日本医科大学腎臓内科, 2) 日本医科大学解析人体病理学): 妊娠によってネフローゼ症候群が増悪した Alport 症候群の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回) (東京), 2015. 10.
- 13) 新井桃子¹⁾, 石原 力¹⁾, 板垣史朗¹⁾, 平間章郎¹⁾, 山田剛久¹⁾, 柏木哲也¹⁾, 金子朋広¹⁾, 清水 章²⁾, 鶴岡秀一¹⁾ (1) 日本医科大学腎臓内科, 2) 日本医科大学解析人体病理学): プロトンポンプインヒビター (PPI) 内服が誘引となったと考えられる尿細管間質性腎炎ぶどう膜炎症候群の 1 例. 日本腎臓学会東部学術大会 (第 45 回) (東京), 2015. 10.

[千葉北総病院腎臓内科]

研究概要

研究概要 (腎臓内科) 腎臓内科は持続性蛋白尿, 血尿に対し腎生検を施行し積極的に診断, 治療を行い外来での長期観察を行っている. 腎生検症例は日本腎臓学会東部地方会に報告し治療方針や予後に関して外部の専門医の意見を賜り以後の診療に役立てている. 慢性腎不全の保存期は外来にて経過観察し出来るだけ計画的な血液浄化への導入に努めている. 慢性腎不全の重篤な合併症に対しては各科の協力を得て ICU や SCU にて積極的な治療を施している. 血液透析以外の血液浄化療法 (血漿交換や LDL 吸着など) も各科よりの依頼があれば積極的に対応している. 教育的な示唆に富む透析症例は日本透析医学会学術集會に発表し外部の透析医の評価を受けるようにしている.”

研究業績

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) 山田剛久, 太田智大¹⁾, 山崎峰雄¹⁾, 新井桃子²⁾, 平間章郎²⁾, 石原 力²⁾, 有馬留志²⁾, 柏木哲也²⁾, 鶴岡秀一²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院神経脳血管内科, 2) 日本医科大学付属病院腎臓内科): 当院において免疫吸着療法を施行した重症筋無力症の 3 例: PSL と FK506 との併用療法. 日本透析医学会学術集會 (第 60 回) (横浜市), 2015. 6.
- 2) 山田剛久, 新井桃子¹⁾, 有馬留志¹⁾, 平間章郎¹⁾, 石原 力¹⁾, 柏木哲也¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院腎臓内科): 当院において顆粒球吸着療法を施行した潰瘍性大腸炎の 3 例. 日本透析医学会学術集會 (第 60 回) (横浜市), 2015. 6.
- 3) 池ノ内綾子, 森田めぐみ¹⁾, 長濱清隆²⁾, 清水 章²⁾, 鶴岡秀一¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院腎臓内科, 2) 解析人体病理学): 網膜症を認めない糖尿病症例における糖尿病性腎症の臨床病理学的特徴. 日本腎臓学会学術総会 (第 58 回) (名古屋市), 2015. 6.
- 4) 肥後清一郎, 清水 章²⁾, 益田幸成²⁾, 永坂真也²⁾, 神崎 剛²⁾, 梶本雄介²⁾, 福井めぐみ¹⁾, 長濱清隆²⁾, 三井亜希子¹⁾, 金子朋広¹⁾, 鶴岡秀一¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院腎臓内科, 2) 日本医科大学解析人体病理学): ラット同種間骨髄移植モデルによって生じた急性移植片対宿主病 (急性 GVHD) による腎臓への影響. 日本腎臓学会学術総会 (第 58 回) (名古屋市), 2015. 6.

5. 血液内科学分野

[付属病院血液内科]

研究概要

血液病学の基礎的研究では、急性白血病の遺伝子異常やその機能解析、次世代シーケンサーを用いた骨髄不全症候群の原因遺伝子の解明などを重点的に行った。さらに本年度も骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫などの腫瘍免疫学などの方法論を駆使した病態の解明を行った。また真性多血症、本態性血小板血症などの骨髄増殖性疾患の発癌機構、病態についても解析をすすめた。臨床的研究では、急性白血病の臨床病態解析および遺伝子異常による予後解析、悪性リンパ腫の病態および治療成績に関する解析などを行い、造血幹細胞移植では臍帯血移植、骨髄非破壊的移植の治療成績改善や移植合併症に関する検討を行った。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Iriyama N¹⁾, Fujisawa S²⁾, Yoshida C³⁾, Wakita H⁴⁾, Chiba S⁵⁾, Okamoto S⁶⁾, Kawakami K⁷⁾, Takezako N⁸⁾, Kumagai T⁹⁾, Inokuchi K¹⁰⁾, et al. (1) Nihon University School of Medicine Division of Hematology and Rheumatology Department of Medicine Tokyo Japan, (2) Yokohama City University Medical Center Department of Hematology Kanagawa Japan, (3) National Hospital Organization Mito Medical Center Department of Hematology Ibaraki Japan, (4) Japanese Red Cross Society, Narita Red Cross Hospital Division of Hematology and Oncology Narita Japan, (5) University of Tsukuba Department of Hematology Faculty of Medicine Ibaraki Japan, (6) Keio University School of Medicine Division of Hematology Department of Internal Medicine Tokyo Japan, (7) Kagawa Prefectural Central Hospital Department of Hematology and Clinical Oncology Kagawa Japan, (8) National Hospital Organization Disaster Medical Center Department of Hematology Tokyo Japan, (9) Ohme Municipal General Hospital Department of Hematology Tokyo Japan, (10) and others) : Shorter halving time of BCR-ABL1 transcripts is a novel predictor for achievement of molecular responses in newly diagnosed chronic-phase chronic myeloid leukemia treated with dasatinib : Results of the D-first study of Kanto CML study group. *Am J Hematol* 2015 ; 90 (4) : 282-287.
- 2) Arai Y¹⁾, Takeda J¹⁾, Aoki K¹⁾, Kondo T¹⁾, Takahashi S²⁾, Onishi Y³⁾, Ozawa Y⁴⁾, Aotsuka N⁵⁾, Kouzai Y⁶⁾, Nakamae H⁷⁾, Ota S⁸⁾, Nakaseko C⁹⁾, Yamaguchi H¹⁰⁾, Kato K, Atsuta Y (1) Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, (2) Division of Molecular Therapy, The Advanced Clinical Research Center, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, (3) Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital, (4) Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, (5) Division of Hematology-Oncology, Japanese Red Cross Society Narita Hospital, (6) Department of Transfusion Medicine, Tokyo Metropolitan Tama Medical Center, Tama, (7) Department of Hematology, Osaka City University Hospital, (8) Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, (9) Department of Hematology, Chiba University Hospital, (10) and others) : Efficiency of high-dose cytarabine added to CY/TBI in cord blood transplantation for myeloid malignancy Blood. *blood* 2015 ; 126 (3) : 415-422.
- 3) Iriyama N¹⁾, Fujisawa S²⁾, Yoshida C³⁾, Wakita H⁴⁾, Chiba S⁵⁾, Okamoto S⁶⁾, Kawakami K⁷⁾, Takezako N⁸⁾, Kumagai T⁹⁾, Inokuchi K¹⁰⁾, Ohyashiki K, Taguchi J, Yano S, Igarashi T, Kouzai Y, et al. (1) Nihon University School of Medicine Division of Hematology and Rheumatology, Department of Medicine Tokyo Japan, (2) Yokohama City University Medical Center Department of Hematology Kanagawa Japan, (3) National Hospital Organization, Mito Medical Center Department of Hematology Ibaraki Japan, (4) Japanese Red Cross Society, Narita Red Cross Hospital Division of Hematology and Oncology Narita Japan, (5) University of Tsukuba Department of Hematology, Faculty of Medicine Ibaraki Japan, (6) Keio University School of Medicine Division of Hematology, Department of Internal Medicine Tokyo Japan, (7) Kagawa Prefectural Central Hospital Department of Hematology and Clinical Oncology Kagawa Japan, (8) National Hospital Organization Disaster Medical Center Department of Hematology Tokyo Japan, (9) Ohme Municipal General Hospital Department of Hematology Tokyo Japan, (10) and others) : Early cytotoxic lymphocyte expansion contributes to a deep molecular response to dasatinib in patients with newly diagnosed chronic myeloid leukemia in the chronic phase : results of the D-first study. *Am J Hematol* 2015 ; 90 (9) : 819-824.
- 4) Nei T¹⁾, Sonobe K²⁾, Onodera A³⁾, Itabashi T⁴⁾, Yamaguchi H⁵⁾, Maeda M⁶⁾, Saito R⁷⁾ (1) Department of Infection Control and Prevention, Nippon Medical School Hospital, (2) Department of Infection Control and Prevention, Nippon Medical School Hospital Department of Clinical Laboratory, Nippon Medical School Hospital, (3) Department of Hematology, Nippon Medical School, (4) Department of Pediatrics, Nippon Medical School, (5) Department of Hematology, Nippon Medical School, (6) Department of Infec-

- tion Control and Prevention, Nippon Medical School Hospital Department of Pediatrics, Nippon Medical School, ⁷⁾ Department of Microbiology and Immunology, Tokyo Medical and Dental University) : Two cases with bacteremia suspected to be due to relatively rare *Pseudomonas* (*Flavimonas*) *oryzihabitans*. *Infect Chemother* 2015 ; 21 (10) : 751-755.
- 5) Garg M¹⁾, Nagata Y²⁾, Kanojia D¹⁾, Mayakonda A¹⁾, Yoshida K²⁾, Haridas Keloth S¹⁾, Zang Z¹⁾, Okuno Y³⁾, Shiraishi Y⁴⁾, Chiba K⁴⁾, Tanaka H⁵⁾, Miyano S⁵⁾, Inokuchi K⁷⁾, Wakita S⁷⁾, Yamaguchi H⁷⁾ (¹⁾ Cancer Science Institute of Singapore, National University of Singapore, Singapore, ²⁾ Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan, ³⁾ Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan, ⁴⁾ Laboratory of DNA Information Analysis, and, ⁵⁾ Laboratory of Sequence Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan, ⁶⁾ Munich Leukemia Laboratory, Munich, Germany, ⁷⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Profiling of somatic mutations in acute myeloid leukemia with FLT3-ITD at diagnosis and relapse. *Blood* 2015 ; 126 (22) : 2491-2501.
- 6) Tamai H¹⁾, Yamanaka S¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Nakayama K¹⁾, Inokuchi K¹⁾ (¹⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo) : Effective Management of Acute Promyelocytic Leukemia with High Risk of Fatal Intracranial Hemorrhage. *Biol Med* 2015 ; 8 (1) : 1000262.
- 7) Watanabe E¹⁾, Nishikawa T²⁾, Ikawa K³⁾, Yamaguchi H⁴⁾, Abematsu T⁵⁾, Nakagawa S⁵⁾, Kurauchi K⁵⁾, Kodama Y⁵⁾, Tanabe T⁵⁾, Shinkoda Y⁶⁾, Matsumoto K¹⁾, Okamoto Y⁵⁾, Takeda Y¹⁾, Kawano Y⁵⁾ (¹⁾ Department of Clinical Pharmacy and Pharmacology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima University, ²⁾ Department of Pediatrics, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima University, ³⁾ Department of Clinical Pharmacotherapy, Hiroshima University, ⁴⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, ⁵⁾ Department of Pediatrics, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima University, ⁶⁾ Department of Pediatrics, Kagoshima City Hospital) : Trough level monitoring of intravenous busulfan to estimate the area under the plasma drug concentration-time curve in pediatric hematopoietic stem cell transplant recipients. *Int J Hematol* 2015 ; 102 (5) : 611-616.
- 8) Yamaguchi H¹⁾, Sakaguchi H²⁾, Yoshida K³⁾, Yabe M⁴⁾, Yabe H⁴⁾, Okuno Y²⁾, Muramatsu H²⁾, Takahashi Y²⁾, Yui S⁵⁾, Shiraishi Y⁶⁾, Chiba K⁶⁾, Tanaka H⁷⁾, Miyano S⁶⁾, Inokuchi K⁵⁾, Ito E⁸⁾, et al. (¹⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, ³⁾ Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, ⁴⁾ Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University School of Medicine, ⁵⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, ⁶⁾ Laboratory of DNA Information Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ⁷⁾ Laboratory of Sequence Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ⁸⁾ Department of Pediatrics, Hirosaki University Graduate School of Medicine) : The clinical and genetic features of dyskeratosis congenita, cryptic dyskeratosis congenita, and Hoyeraal-Hreidarsson syndrome in Japan. *Int J Hematol* 2015 ; 102 (5) : 544-552.
- 9) Isono N¹⁾, Imai Y¹⁾, Watanabe A¹⁾, Moriya K²⁾, Tamura H²⁾, Inokuchi K²⁾, Asano C³⁾, Masuda M³⁾, Shimura H¹⁾, Mitsuhashi K¹⁾, Kazama H¹⁾, Sugimori H⁴⁾, Motoji T¹⁾, Tanaka J¹⁾ (¹⁾ Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan, ²⁾ Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ³⁾ Department of Hematology/Oncology, Tokyo Women's Medical University Yachiyo Medical Center, Chiba, Japan, ⁴⁾ Department of Health Science, Daito Bunka University, Tokyo, Japan) : Cytomegalovirus reactivation in low-grade B-cell lymphoma patients treated with bendamustine. *Leuk Lymph* 2015 ; 24 : 1-4.
- 10) Yamaguchi H¹⁾, Sakaguchi H²⁾, Yoshida K³⁾, Yabe M⁴⁾, Yabe H⁴⁾, Okuno Y²⁾, Muramatsu H²⁾, Takahashi Y²⁾, Yui S⁵⁾, Shiraishi Y⁶⁾, Chiba K⁶⁾, Tanaka H⁷⁾, Miyano S⁶⁾, Inokuchi K⁵⁾, Ito E⁸⁾, et al. (¹⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, ³⁾ Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, ⁴⁾ Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University School of Medicine, ⁵⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, ⁶⁾ Laboratory of DNA Information Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ⁷⁾ Laboratory of Sequence Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ⁸⁾ Department of Pediatrics, Hirosaki University Graduate School of Medicine) : The clinical and genetic features of dyskeratosis congenita, cryptic dyskeratosis congenita, and Hoyeraal-Hreidarsson syndrome in Japan. *Int J Hematol* 2015 ; 102 (5) : 544-552.
- 11) Yamada A¹⁾, Tamura H¹⁾, Asayama T¹⁾, Moriya K¹⁾, Okuyama N¹⁾, Kondo-Onodera A¹⁾, Hamada Y¹⁾, Ishibashi M¹⁾, Yokose N²⁾, Tanosaki S³⁾, Inokuchi K¹⁾ (¹⁾ Division of Hematology, Department of Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Chiba Hokusoh Hospital, ³⁾ Department of Hematology, Fraternity Memorial Hospital) : Evaluating an enhanced International Prognostic Index (NCCN-IPI) in our institutions with diffuse large B-cell lymphoma.

- Rinsho Ketsueki 2015 ; 56 (7) : 915-918.
- 12) Tamura H¹⁾ (¹⁾ Division of Hematology, Department of Medicine, Nippon Medical School) : Single vs double stem cell transplantation for the treatment of multiple myeloma. Nihon Rinsho 2015 ; 73 (1) : 85-89.
 - 13) 田村秀人¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学血液内科) : 多発性骨髄腫における SLAM ファミリー分子の機能とそれらを標的としたキメラ抗原受容体遺伝子改変 T 細胞免疫療法. 血液内科 2015 ; 70 (2) : 211-221.
 - 14) Tamai H¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Miyake K²⁾, Takatori M³⁾, Kitano T¹⁾, Dan K⁴⁾, Inokuchi K¹⁾ (¹⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, ²⁾ Department of Biochemistry and Molecular Biology, Division of Gene Therapy Research Center for Advanced Medical Technology, Nippon Medical School, Tok, ³⁾ Research Center for Life Science, Nippon Medical School, Tokyo, ⁴⁾ Medical Education Center, Ryotokuji University) : Sensitivity of RCSD1-ABL1 Positive Acute Lymphoblastic Leukemia to TKIs Varies between Fusion sites in Ph-like Acute Lymphoblastic Leukemia. International Journal of Recent scientific Research 2016 ; 7 (3) : 9729-9733.
 - 15) Wakita S¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Ueki T²⁾, Usuki K³⁾, Kurosawa S⁴⁾, Kobayashi Y⁵⁾, Kawata E⁵⁾, Tajika K⁶⁾, Gomi S⁶⁾, Koizumi M⁷⁾, Fujiwara Y¹⁾, Yui S¹⁾, Fukunaga K¹⁾, Ryotokuji T¹⁾, Inokuchi K¹⁾, et al. (¹⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ²⁾ Department of Hematology, Nagano Red Cross Hospital, Nagano, Japan, ³⁾ Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Tokyo, Japan, ⁴⁾ Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan, ⁵⁾ Department of Hematology, Japanese Red Cross Kyoto Daini Hospital, Kyoto, Japan, ⁶⁾ Department of Hematology, Yokohama Minami Kyousai Hospital, Yokohama, Japan, ⁷⁾ Department of Gastroenterology, Asahi General Hospital, Chiba, Japan) : Complex genetic abnormalities involving three or more genetic mutations are important prognostic factors for acute myeloid leukemia. Leukemia 2016 ; 30 (3) : 545-554.
 - 16) Yui S¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Imadome K²⁾, Arai A³⁾, Takahashi M⁴⁾, Ohashi R⁴⁾, Tamai H¹⁾, Moriya K¹⁾, Nakayama K¹⁾, Shimizu A⁴⁾, Inokuchi K¹⁾ (¹⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, ²⁾ Division of Advanced Medicine for Virus Infections, National Research Institute for Child Health and Development, ³⁾ Department of Hematology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo Medical and Dental University, ⁴⁾ Division of Pathology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School) : Epstein-Barr virus-positive T cell lymphoproliferative disease following umbilical cord blood transplantation for acute myeloid leukemia. J Nippon Med Sch 2016 ; 83 (1) : 35-42.
 - 17) Okabe M¹⁾, Yamaguchi H²⁾, Usuki K³⁾, Kobayashi Y⁴⁾, Kawata E⁴⁾, Kuroda J⁵⁾, Kimura S⁶⁾, Tajika K⁷⁾, Gomi S⁷⁾, Arima N⁸⁾, Mori S⁹⁾, Ito S¹⁰⁾, Wakita S¹⁾, Arai K¹⁾, Inokuchi K¹⁾, et al. (¹⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, Japan, ²⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, Japan, ³⁾ Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Japan, ⁴⁾ Department of Hematology, Japanese Red Cross Kyoto Daini Hospital, ⁵⁾ Division of Hematology and Oncology, Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan, ⁶⁾ Division of Hematology, Respiratory Medicine and Oncology, Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine, Saga University, Japan, ⁷⁾ Department of Hematology, Yokohama Minami Kyousai Hospital, Japan, ⁸⁾ Department of Hematology, Kitano Hospital, Japan, ⁹⁾ Hemato-Oncology Department, St Luke's International Hospital, Japan, ¹⁰⁾ and others) : Clinical features of Japanese polycythemia vera and essential thrombocythemia patients harboring CALR, JAK2V617F, JAK2Ex12del, and MPLW515L/K mutations. Leuk Res 2016 ; 40 : 68-76.
 - 18) Yui S¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Imadome K²⁾, Arai A³⁾, Takahashi M⁴⁾, Ohashi R⁴⁾, Tamai H¹⁾, Moriyai K¹⁾, Nakayama K⁴⁾, Shimizu A¹⁾, Inokuchi K (¹⁾ Department of Hematology, Nippon Medical School, ²⁾ Division of Advanced Medicine for Virus Infections, National Research Institute for Child Health and Development, ³⁾ Department of Hematology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo Medical and Dental University, ⁴⁾ Division of Pathology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School) : Epstein-Barr Virus-positive T-cell Lymphoproliferative Disease Following Umbilical Cord Blood Transplantation for Acute Myeloid Leukemia. J Nippon Med Sch 2016 ; 83 (1) : 35-42.
 - 19) 猪口孝一¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学血液内科) : 急性白血病の診断・予後予測に必要な染色体・遺伝子検査. 血液内科 2015 ; 70 (5) : 549-554.
 - 20) 猪口孝一¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学血液内科) : 本態性血小板血症の血小板数のコントロールは必要か 予後スコアと遺伝子変異を基盤としたコントロールが必要である. 血液フロンティア 2015 ; 25 (6) : 106-110.
 - 21) 猪口孝一¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学血液内科) : 急性混合性白血病の診断と治療. 血液内科 2015 ; 71 (5) : 660-665.
 - 22) 守屋慶一¹⁾, 田村秀人¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学血液内科) : 真性白血球系無形成. 日本臨床 11月号別冊 免疫症候群 (I) 2015 ; 34 : 272-276.
 - 23) 田村秀人¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学血液内科) : 多発性骨髄腫の進展様式. Medicina (特集 : 外来で診るリンパ腫・骨髄腫 - 治療または長期共存を目指して) 2015 ; 52 (12) : 2140-2145.
 - 24) 山口博樹¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学血液内科) : 古典的 MPN の治療目標 -ELN および IWG-MRT のコンセンサスガイド. 血液内科 2015 ;

71 (2) : 308-313.

- 25) 山口博樹¹⁾ (1) 日本医科大学血液内科) : MPN の診療のエビデンス - ランドマーク的臨床試験を中心に. 臨床血液 2015 ; 56 (8) : 939-948.
- 26) 山口博樹¹⁾ (1) 日本医科大学血液内科) : 2015 年の白血病診療. 白血病の分類と治療と予後. 内科 2015 ; 116 (2) : 217-222.
- 27) 山口博樹¹⁾ (1) 日本医科大学血液内科) : 骨髄不全症候群におけるテロメア制御異常. 日本医科大学雑誌 2015 ; 11 (3) : 136-144.
- 28) 濱田泰子¹⁾, 田村秀人¹⁾ (1) 日本医科大学血液内科) : Monoclonal gammopathy of undetermined significance (MGUS). 日本臨床 1 月号別冊 免疫症候群 (第 2 版 II) 2016 ; 771-775.
- 29) 山口博樹¹⁾ (1) 日本医科大学血液内科) : 骨髄異型性関連変化を伴う AML (AML-MRC) の治療戦略. 血液内科 2016 ; 72 (2) : 179-184.

著書

- 1) 田村秀人¹⁾ (1) 日本医科大学血液内科) : [自著] 歯科医師にとって知っておきたい血液疾患のポイント. 老年歯科医学 (森戸 光彦, 2015 ; pp106-125, 医歯薬出版.
- 2) 田村秀人¹⁾ (1) 日本医科大学血液内科) : [自著] 合併症への対策. ブラッシュアップ多発性骨髄腫・木崎 昌弘, 2015 ; pp177-185, 中外医学社..

学会発表

(1) パネルディスカッション :

- 1) Hamada Y¹⁾, Ishibashi M¹⁾, Tamura H¹⁾, Inhak C²⁾, Inokuchi K¹⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Japan, 2) Department of Microbiology and Immunology, Inje University College of Medicine, Korea) : Prognostic Significance of Plasma Galectin-9 Levels in Patients with Myelodysplastic Syndromes. JSH International Symposium (The 6th) (軽井沢), 2015. 5.
- 2) Omori I¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Kitano T¹⁾, Miyake N²⁾, Miyake K²⁾, Dan K³⁾, Inokuchi K¹⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Department of Biochemistry and Molecular Biology, Division of Gene Therapy Research Center for Advanced Medical Technology, Nippon Medical School, Tok, 3) Medical Education Center, Ryotokuji University, Urayasu, Japan) : The D816V c-kit mutation confers higher proliferation activity by JAK-STAT and Src family kinase pathways compared to N822K c-kit mutation in core-binding factor acute myeloid leukemia. 20th. European Hematology Association. (Vienna, Austria), 2015. 6.
- 3) Okabe M¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Usuki K²⁾, Kobayashi Y³⁾, Kawata E³⁾, Kuroda J⁴⁾, Kimura S⁵⁾, Tajika K⁶⁾, Gomi S⁶⁾, Arima N⁷⁾, Mori S⁸⁾, Ito S⁹⁾, Koizumi M¹⁰⁾, Wakita S¹⁾, Inokuchi K¹⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, 2) Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, 3) Department of Hematology, Japanese Red Cross Kyoto Daini Hospital, 4) Division of Hematology and Oncology, Kyoto Prefectural University of Medicine, 5) Division of Hematology, Respiratory Medicine and Oncology, Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine, Saga University, 6) Department of Hematology, Yokohama Minami Kyousai Hospital, 7) Department of Hematology, Kitano Hospital, 8) Hemato-Oncology Department, St Luke's International Hospital, 9) Department of Hematology, Iwate Medical University, 10) and others) : Clinical features of Japanese polycythemia vera and essential thrombocythemia patients harboring CALR, JAK2V617F, JAK2Ex12del, and MPLW515L/K mutations. 20th. European Hematology Association. (Vienna, Austria), 2015. 6.
- 4) Yamada A¹⁾, Tamura H¹⁾, Ishibashi M¹⁾, Isoda A²⁾, Sasaki M³⁾, Handa H⁴⁾, Imai Y⁵⁾, Koike M⁶⁾, Ito S⁷⁾, Moriya K¹⁾, Hamada Y¹⁾, Asayama T¹⁾, Matsumoto M²⁾, Komatsu N³⁾, Koiti I¹⁾, et al. (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Japan, 2) Department of Hematology, National Hospital Organization Nishigunma National Hospital, 3) Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Juntendo University School of Medicine, 4) Department of Medicine and Clinical Science, Gunma University Graduate School of Medicine, 5) Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, 6) Department of Hematology, Juntendo University Shizuoka Hospital, 7) Hematology & Oncology, Department of Internal Medicine, Iwate Medical University School of Medicine) : Expression and function of SLAM family molecule SLAMF3 (CD229) in myeloma. International Myeloma Workshop (15th) (Rome, Italy), 2015. 9.
- 5) Ishibashi M¹⁾, Tamura H¹⁾, Isoda A²⁾, Matsumoto M²⁾, Sasaki M³⁾, Komatsu N³⁾, Handa H⁴⁾, Imai Y⁵⁾, Tanaka J⁵⁾, Tanosak S⁶⁾, Ito S⁷⁾, Ishida Y⁷⁾, Koike M⁸⁾, Moriya K¹⁾, Inokuchi K¹⁾, et al. (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Japan) : Reverse signaling via B7-H1/PD-1 interaction and clinical characteristics of B7-H1 (PD-L1) expressed on multiple myeloma cells. International Myeloma Workshop (15th) (Rome, Italy), 2015. 9.
- 6) Asayama T¹⁾, Ishibashi M¹⁾, Tamura H¹⁾ (1) Division of Hematology, Department of Medicine, Nippon Medical School) : Clinical significance and pathophysiological function of the Tim-3/galectin-9 pathway in myelodysplastic syndromes. ASH Annual Meeting

- (Orland, FL, USA), 2015. 12.
- 7) 山田晃子¹⁾, 守屋慶一¹⁾, 朝山敏夫¹⁾, 石橋真理子¹⁾, 濱田泰子¹⁾, 奥山奈美子¹⁾, 小野寺(近藤)麻加¹⁾, 横瀬紀夫²⁾, 田野崎栄³⁾, 田村秀人¹⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 血液内科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 血液内科, 3) 同愛記念病院 血液内科): 本邦における新規国際予後指標 NCCN-IPI の有用性についての検討. 日本内科学会総会 (第 112 回) (京都), 2015. 4.
 - 8) 濱田泰子¹⁾, 石橋真理子¹⁾, 田村秀人¹⁾, 朝山敏夫¹⁾, 奥山奈美子¹⁾, 小野寺(近藤)麻加¹⁾, 守屋慶一¹⁾, 五十嵐健人²⁾, 小野瀬裕之³⁾, 横瀬紀夫⁴⁾, 田野崎栄⁵⁾, 五味聖二⁶⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) 日本医科大学血液内科, 2) 日本医科大学内分泌外科, 3) 金地病院甲状腺内科, 4) 日本医科大学千葉北総病院, 5) 同愛記念病院血液内科, 6) 横浜南共済病院血液内科): 橋本病に合併した甲状腺原発悪性リンパ腫における臨床的特徴と A20 遺伝子変異の関与. 日本内科学会総会 (第 112 回) (京都), 2015. 4.
 - 9) 中山一隆¹⁾, 山口博樹¹⁾, 清水 章²⁾, 三井亜希子³⁾, 玉井勇人¹⁾, 岡本宗雄¹⁾, 福永景子¹⁾, 由井俊輔¹⁾, 了徳寺剛¹⁾, 平川経晃¹⁾, 岡部雅弘¹⁾, 藤原裕介¹⁾, 朝山敏夫¹⁾, 小野寺麻加¹⁾, 猪口孝一¹⁾, その他 4 名 (1) 日本医科大学血液内科, 2) 日本医科大学病理部, 3) 日本医科大学腎臓内科): 血液造血器腫瘍に対する同種移植後の AKI および CKD 発症のリスク因子および腎組織像についての検討. 日本内科学会総会 (第 112 回) (京都), 2015. 4.
 - 10) 山口博樹¹⁾, 藤原裕介¹⁾, 小林克也²⁾, 玉井勇人¹⁾, 小野寺麻加¹⁾, 岡本宗雄¹⁾, 守屋慶一¹⁾, 中山一隆¹⁾, 竹田晋浩²⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) 日本医科大学血液内科, 2) 日本医科大学付属病院集中治療室): 人工呼吸管理を必要とした呼吸不全合併血液疾患症例の予後と臨床的特徴. 日本内科学会総会 (112 回) (京都), 2015. 4.
 - 11) 守屋慶一¹⁾, 田村秀人¹⁾, 中村恭子²⁾, 細根 勝³⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Division of Hematology, Department of Medicine, Nippon Medical School, 2) Shinakasaka clinic, 3) Department of pathology, Nippon Medical School Tama-Nagayama Hospital): Primary esophageal B cell lymphoma treated by Helicobacter pylori eradication and literature review. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
 - 12) 奥山奈美子¹⁾, 田村秀人¹⁾, 朝山敏夫¹⁾, 濱田泰子¹⁾, 小野寺麻加¹⁾, 守屋慶一²⁾, 横瀬紀夫¹⁾, 猪口孝一 (1) Division of hematology, Division of medicine, Nippon Medical School, 2) Division of Hematology, Nippon Medical School Chiba Hokusou Hospital): Primary bone marrow B-cell non-Hodgkin's lymphoma: report of five cases. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
 - 13) 砂川実香¹⁾, 石橋真理子¹⁾, 守屋慶一¹⁾, 田村秀人¹⁾, 朝山敏夫¹⁾, 濱田泰子¹⁾, 奥山奈美子¹⁾, 山田晃子¹⁾, 小野寺麻加¹⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Division of Hematology, Department of Medicine, Nippon Medical School): Clinical impact of soluble B7-H1 (PD-L1) in multiple myeloma. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
 - 14) 土蔵太一朗¹⁾, 山口博樹¹⁾, 植木俊充²⁾, 白杵憲祐³⁾, 小林 裕⁴⁾, 田近賢二⁵⁾, 五味聖二⁵⁾, 黒澤彩子⁶⁾, 宮寺恵希¹⁾, 渡辺 允¹⁾, 小林杏奈¹⁾, 藤原裕介¹⁾, 由井俊輔¹⁾, 福永景子¹⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Nagano Red Cross Hospital, Nagano, Japan, 3) Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Japan, 4) Department of Hematology, Kyoto Second Red Cross Hospital, Kyoto, Japan, 5) Department of Hematology, Yokohama Minami Kyou Sai Hospital, Kanagawa, Japan, 6) Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan): The clinical features and prognostic impact of acute myeloid leukemia with MLL gene aberrations. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
 - 15) 岡本宗雄¹⁾, 中山一隆¹⁾, 山口博樹¹⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Dept. Hematl, Nippon Medical School, Tokyo, Japan): Successful use of dasatinib after imatinib-induced liver failure in chronic myeloid leukemia. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
 - 16) 濱田泰子¹⁾, 田村秀人¹⁾, 朝山敏夫¹⁾, 奥山奈美子¹⁾, 小野寺(近藤)麻加¹⁾, 守屋慶一¹⁾, 田野崎栄³⁾, 横瀬紀夫⁴⁾, 五味聖二²⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Division of Hematology, Department of Medicine, Nippon Medical School, 2) Division of Hematology, Yokohama Minami Kyou Sai Hospital, 3) Division of Hematology, the Fraternity Memorial Hospital, 4) Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Chiba Hokusoh Hospital): Efficacy and tolerance of azacitidine in specific subsets of patients with MDS. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
 - 17) 藤原裕介¹⁾, 脇田知志¹⁾, 由井俊輔¹⁾, 福永景子¹⁾, 了徳寺剛¹⁾, 平川経晃¹⁾, 岡部雅弘¹⁾, 玉井勇人¹⁾, 岡本宗雄¹⁾, 中山一隆¹⁾, 山口博樹¹⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Dept. Hematl, Nippon Medical School, Tokyo, Japan): Analysis of genetic mutation of the elderly patients with acute myeloid leukemia. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
 - 18) 中山一隆¹⁾, 岡本宗雄¹⁾, 横瀬紀夫¹⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Dept. Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan): Clinical and ABL mutation features associated with Exon 8/9 35bp insertion in CML patients. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
 - 19) 朝山敏夫¹⁾, 石橋真理子¹⁾, 田村秀人¹⁾, 濱田泰子¹⁾, 奥山奈美子¹⁾, 小野寺麻加¹⁾, 山田晃子¹⁾, 守屋慶一¹⁾, 横瀬紀夫²⁾ (1) Division of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Division of Hematology, Chiba Hokusoh Hospital, Chiba, Japan): Is the plasma galectin-9 associated with disease progression in myelodysplastic syndrome patients?. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
 - 20) 石橋真理子¹⁾, 濱田泰子¹⁾, 田村秀人¹⁾, 海渡裕太¹⁾, 守屋慶一¹⁾, 小野寺麻加¹⁾, 奥山奈美子¹⁾, 朝山敏夫¹⁾, Jeon You-Kyoung²⁾, Choi Inhak²⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Division of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Dep. of Microbiology and Immunol-

ogy, Inje University, Busan, Korea) : Expression and tumor immune evasion mechanisms of VSIG4 in myelodysplastic syndromes. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.

- 21) 福永景子¹⁾, 山口博樹¹⁾, 脇田知志¹⁾, 藤原裕介¹⁾, 由井俊輔¹⁾, 了徳寺剛¹⁾, 平川経晃¹⁾, 岡部雅弘¹⁾, 玉井勇人¹⁾, 荒井邦仁¹⁾, 北野智章¹⁾, 小坂文子¹⁾, 中山一隆¹⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School) : Analyses of clinical and molecular feature of refractory AML patients underwent allo-SCT. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 22) 山中 聡¹⁾, 玉井勇人¹⁾, 山口博樹¹⁾, 了徳寺剛¹⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Single center study of adult-acute lymphoblastic leukemia (1990-2015). 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 23) 平川経晃^{1, 2)}, 田島絹子¹⁾, 黒澤彩子¹⁾, 山崎裕介¹⁾, 公益財団法人日本骨髓バンク, 池田奈未³⁾, 小島裕人³⁾, 田中秀則³⁾, 金森平和⁴⁾, 宮村耕一⁵⁾, 小寺良尚⁶⁾, 福田隆浩¹⁾ (1) 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科, 2) 日本医科大学 血液内科, 3) 公益財団法人 HLA 研究所, 4) 神奈川県立がんセンター 血液内科, 5) 名古屋第一赤十字病院 血液内科, 6) 愛知医科大学医学部 造血幹細胞移植振興寄附講座) : ドナー側から見た骨髓バンクコーディネートにおける実情. 日本造血細胞移植学会総会 (第 38 回) (名古屋), 2016. 3.
- 24) 平川経晃^{1, 2)}, 田島絹子¹⁾, 黒澤彩子¹⁾, 山崎裕介¹⁾, 公益財団法人日本骨髓バンク, 池田奈未³⁾, 小島裕人³⁾, 田中秀則³⁾, 金森平和⁴⁾, 宮村耕一⁵⁾, 小寺良尚⁶⁾, 福田隆浩¹⁾ (1) 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科, 2) 日本医科大学 血液内科, 3) 公益財団法人 HLA 研究所, 4) 神奈川県立がんセンター 血液内科, 5) 名古屋第一赤十字病院 血液内科, 6) 愛知医科大学医学部 造血幹細胞移植振興寄附講座) : 患者側から見た骨髓バンクコーディネートにおける実情. 日本造血細胞移植学会総会 (第 38 回) (名古屋), 2016. 3.

(2) 一般講演 :

- 1) Iwaki K¹⁾, Fujiwara T^{2, 3)}, Ito T¹⁾, Kobayashi M²⁾, Tsukita M²⁾, Okitsu Y²⁾, Fukuhara N²⁾, Onishi Y²⁾, Fujiwara M^{1, 2)}, Tamura H⁴⁾, Tanaka T⁵⁾, Harigae H^{1, 2)} (1) Division of Blood Transfusion and Cell Processing, Tohoku University Hospital, Japan, 2) Department of Hematology and Rheumatology, 3) Molecular Hematology/Oncology, Tohoku University Graduate School, Sendai Japan, 4) Division of Hematology, Department of Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 5) SBI Pharmaceuticals Co.,Ltd.) : Photodynamic diagnosis of minimal residual disease in multiple myeloma with 5-aminolevulinic acid (5-アミノレブリン酸を用いた多発性骨髄腫微小残存病変の光線力学診断). 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 2) 山田晃子¹⁾, 田村秀人¹⁾, 石橋真理子¹⁾, 磯田 淳²⁾, 佐々木純³⁾, 半田 寛⁴⁾, 今井陽一⁵⁾, 小池道明⁶⁾, 伊藤薫樹⁷⁾, 守屋慶一¹⁾, 小野寺麻加¹⁾, 奥山奈美子¹⁾, 濱田泰子¹⁾, 朝山敏夫¹⁾, 猪口孝一¹⁾, その他 5 名 (1) 日本医科大学血液内, 2) 国立病院機構西群馬病院血液内科, 3) 順天堂大学医学部順天堂医院血液内科, 4) 群馬大学医学部附属病院血液内科, 5) 東京女子医科大学血液内科, 6) 順天堂大学医学部附属静岡病院血液内科, 7) 岩手医科大学血液・腫瘍内科, 8) 同愛記念病院血液内科) : 骨髄腫における SLAM ファミリー分子 SLAMF3 と SLAMF7 の発現と機能. 日本骨髄腫学会学術集会 (第 40 回) (熊本), 2015. 5.
- 3) 石橋真理子¹⁾, 田村秀人¹⁾, 砂川実香¹⁾, 磯田 淳²⁾, 松本守生²⁾, 佐々木純³⁾, 小松則夫³⁾, 半田 寛⁴⁾, 今井陽一⁵⁾, 田野崎栄⁶⁾, 伊藤薫樹⁷⁾, 石田陽治⁷⁾, 小池道明⁸⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) 日本医科大学血液内科, 2) 国立病院機構西群馬病院血液内科, 3) 順天堂大学医学部順天堂医院血液内科, 4) 群馬大学医学部附属病院血液内科, 5) 東京女子医科大学血液内科, 6) 同愛記念病院血液内科, 7) 岩手医科大学血液・腫瘍内科, 8) 順天堂大学医学部附属静岡病院血液内科) : 骨髄腫細胞に発現する B7-H1 (PD-L1) 分子の逆シグナル伝達と臨床的インパクト. 日本骨髄腫学会学術集会 (第 40 回) (熊本), 2015. 5.
- 4) 守屋慶一¹⁾, 石橋真理子¹⁾, 田村秀人¹⁾, 半田 寛²⁾, 佐々木純³⁾, 磯田 淳⁴⁾, 今井陽一⁵⁾, 伊藤薫樹⁶⁾, 田野崎栄⁷⁾, 猪口孝一⁷⁾, 小松則夫¹⁾, 松本守生³⁾, 田中淳司⁵⁾, 石田陽治⁶⁾, 小池道明⁸⁾ (1) 日本医科大学血液内, 2) 群馬大学医学部附属病院血液内科, 3) 順天堂大学医学部順天堂医院血液内科, 4) 国立病院機構西群馬病院血液内科, 5) 東京女子医科大学血液内科, 6) 岩手医科大学血液・腫瘍内科, 7) 同愛記念病院血液内科, 8) 順天堂大学医学部附属静岡病院血液内科) : 骨髄腫における増殖因子 IL-6 および IGF-1 とそれらレセプター発現の臨床的意義 : KTMM 多施設共同研究. 日本骨髄腫学会学術集会 (第 40 回) (熊本), 2015. 5.
- 5) 齊藤明生¹⁾, 磯田 淳²⁾, 横濱章彦³⁾, 半田 寛⁴⁾, 塚本憲史⁵⁾, 築根 豊⁶⁾, 佐々木純⁶⁾, 小松則夫⁶⁾, 松本守生²⁾, 澤村守夫²⁾, 伊藤薫樹⁷⁾, 石田陽治⁷⁾, 外山耕太郎¹⁾, 田村秀人¹⁰⁾, 猪口孝一¹⁰⁾, その他 14 名 (1) 公立藤岡総合病院血液内科, 2) 国立病院機構西群馬病院血液内科, 3) 群馬大学医学部附属病院輸血部, 4) 群馬大学医学部附属病院血液内科, 5) 群馬大学医学部附属病院腫瘍センター, 6) 順天堂大学附属順天堂医院血液内科, 7) 岩手医科大学附属病院血液・腫瘍内科, 8) 順天堂大学医学部附属静岡病院血液内科, 9) 群馬県立がんセンター血液内科, 10) その他) : ワルデンシュトレームマクログロブリン血症に関する多施設共同後方視的研究. 日本骨髄腫学会学術集会 (第 40 回) (熊本), 2015. 5.
- 6) 築根 豊¹⁾, 佐々木純¹⁾, 八幡悠里子¹⁾, 田村秀人²⁾, 小野寺麻加²⁾, 小池道明³⁾, 伊藤薫樹⁴⁾, 石田陽治⁵⁾, 今井陽一⁶⁾, 田中淳司⁶⁾, 磯田 淳⁷⁾, 松本守生⁷⁾, 田野崎栄⁸⁾, 萩原政夫⁹⁾, 杉森裕樹¹⁰⁾, その他 2 名 (1) 順天堂大学医学部内科学血液学講座, 2) 日本医科大学血液内科, 3) 順天堂大学医学部附属静岡病院血液内科, 4) 岩手医科大学腫瘍内科, 5) 岩手医科大学血液腫瘍内科, 6) 東京女子医科大学医学部血液内科, 7) 国立病院機構西群馬病院血液内科, 8) 同愛記念病院血液内科, 9) 永寿総合病院血液内科, 10) その他) : 多発

- 性骨髓腫における B 型肝炎ウイルス再活性化の頻度と臨床的特徴. 日本骨髓腫学会学術集会 (第 40 回) (熊本), 2015. 5.
- 7) 丸毛淳史¹⁾, 中山一隆¹⁾, 奥山奈美子¹⁾, 小野寺麻加¹⁾, 玉井勇人¹⁾, 由井俊輔¹⁾, 山口博樹¹⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) 日本医科大学血液内科): 血液型不適合骨髓移植後の赤芽瘻を発症しその後 Evans syndrome を合併した 1 例. 日本血液学会 関東甲信越地方会 (第 3 回) (筑波), 2015. 7.
- 8) 宮原一真^{1, 2)}, 園部晴代^{1, 2)}, 小川早恵子^{1, 2)}, 植田貴子^{1, 2)}, 亀山澄子^{1, 2)}, 橋本政子^{1, 2)}, 本間 博^{1, 2)}, 田村秀人¹⁾ (1) 日本医科大学臨床検査部, 2) 日本医科大学 輸血部): 当院における輸血後感染症検査の実施状況について. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 9) 由井俊輔¹⁾, 山口博樹¹⁾, 植木俊充²⁾, 白杵憲祐³⁾, 小林 裕⁴⁾, 田近賢二⁵⁾, 五味聖二⁵⁾, 黒澤彩子⁶⁾, 藤原裕介¹⁾, 福永景子¹⁾, 脇田知志¹⁾, 平川経晃¹⁾, 了徳寺剛¹⁾, 荒井邦仁¹⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Department of Hematology, Nagano Red Cross Hospital, Nagano, Japan, 3) Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Tokyo, Japan, 4) Department of Hematology, Kyoto Second Red Cross Hospital, Kyoto, Japan, 5) Department of Hematology, Yokohama Minami Kyou Sai Hospital, Kanagawa, Japan, 6) Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan): The clinical features of Japanese de novo AML with RAS signal transduction pathway genes mutation. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 10) 宮寺恵希¹⁾, 山口博樹¹⁾, 植木俊充²⁾, 白杵憲祐³⁾, 小林 裕⁴⁾, 田近賢二⁵⁾, 五味聖二⁵⁾, 黒澤彩子⁶⁾, 土蔵太一郎¹⁾, 渡辺 允¹⁾, 小林杏奈¹⁾, 藤原裕介¹⁾, 由井俊輔¹⁾, 福永景子¹⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Nagano Red Cross Hospital, Nagano, Japan, 3) Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Japan, 4) Department of Hematology, Kyoto Second Red Cross Hospital, Kyoto, Japan, 5) Department of Hematology, Yokohama Minami Kyou Sai Hospital, Kanagawa, Japan, 6) Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan): The clinical features of acute myeloid leukemia with TP53 mutation. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 11) 山口博樹¹⁾, 坂口大俊²⁾, 吉田健一³⁾, 矢部みはる⁴⁾, 矢部普正⁴⁾, 奥野友介²⁾, 村松秀城²⁾, 高橋義行²⁾, 由井俊輔¹⁾, 白石友一⁵⁾, 千葉健一⁵⁾, 田中洋子⁶⁾, 宮野 悟⁵⁾, 猪口孝一¹⁾, 伊藤悦朗⁷⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Department of Pediatrics, Nagoya University, Nagoya, Japan, 3) Department of Pathology and Tumor Biology, Kyoto University, Kyoto, Japan, 4) Department of Cell Transplantation, Tokai University, Isehara, Japan, 5) Human Genome Center, Institute Medical Science, Tokyo University, Tokyo, Japan, 6) Human Genome Center, Institute Medical Science, Tokyo University, Tokyo, Japan, 7) Department of Pediatrics, Hirosaki University, Hirosaki, Japan): The clinical and genetic features of DKC, cryptic DKC, and Hoyeraal-Hreidarsson syndrome in Japan. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 12) 脇田知志¹⁾, 山口博樹¹⁾, 植木俊充²⁾, 白杵憲祐³⁾, 小林 裕⁴⁾, 田近賢二⁵⁾, 五味聖二⁵⁾, 黒澤彩子⁶⁾, 土蔵太一郎¹⁾, 渡辺 允¹⁾, 小林杏奈¹⁾, 藤原裕介¹⁾, 由井俊輔¹⁾, 福永景子¹⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Nagano Red Cross Hospital, Nagano, Japan, 3) Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Japan, 4) Department of Hematology, Kyoto Second Red Cross Hospital, Kyoto, Japan, 5) Department of Hematology, Yokohama Minami Kyou Sai Hospital, Kanagawa, Japan, 6) Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan): Complex genetic abnormalities are important prognostic factors for acute myeloid leukemia. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 13) 黒澤彩子¹⁾, 山口博樹²⁾, 山口拓洋³⁾, 福永景子²⁾, 由井俊輔²⁾, 金森平和⁴⁾, 白杵憲祐⁵⁾, 魚嶋伸彦⁶⁾, 柳田正光⁷⁾, 鐘野勝洋⁸⁾, 植木俊充⁹⁾, 水野石一¹⁰⁾, 矢野真吾, 竹内 仁, 猪口孝一²⁾, その他 14 名 (1) Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan, 2) Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, 3) Division of Biostatistics, Tohoku University Hospital, Sendai, 4) Kanagawa Cancer Center, Yokohama, 5) NTT Medical Center Tokyo, Tokyo, 6) Japanese Red Cross Kyoto Dai-ni Hospital, Kyoto, 7) Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, 8) Chiba Aoba Municipal Hospital, Chiba, 9) Nagano Red Cross Hospital, Nagano, 10) and others): A decision analysis of post-remission therapy in AML: The impact of FLT3-ITD, NPM1, and CEBPA. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 14) 玉井勇人¹⁾, 山口博樹¹⁾, 三宅弘一²⁾, 鷹取美雪³⁾, 北野智章¹⁾, 檀 和夫⁴⁾, 猪口孝一¹⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Biochemistry and Molecular Biology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 3) Research Center for Life Science, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 4) Medical Education Center, Ryotokuji University, Japan): Leukemogenicity of RCSD1-ABL1 of Ph-like acute lymphoblastic leukemia varies between fusion sites. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 15) 了徳寺剛¹⁾, 山口博樹¹⁾, 植木俊充²⁾, 白杵憲祐³⁾, 小林 裕⁴⁾, 田近賢二⁵⁾, 五味聖二⁵⁾, 黒澤彩子⁶⁾, 土蔵太一郎¹⁾, 宮寺恵希¹⁾, 渡辺 允¹⁾, 小林杏奈¹⁾, 藤原裕介¹⁾, 由井俊輔¹⁾, 猪口孝一¹⁾, その他 8 名 (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, 2) Nagano Red Cross Hospital, Nagano, 3) Department of Hematology, NTT Medical Center, Tokyo, 4) Department of Hematology, Kyoto Second Red Cross Hospital, 5) Department of Hematology, Yokohama Minami Kyou Sai Hospital, Kanagawa,

- Japan, ⁶ Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo) : The clinical and prognostic features of de novo AML with epigenetics regulative gene mutation. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 16) 高橋理紗¹, 石橋真理子¹, 田村秀人¹, 山田晃子¹, 守屋慶一¹, 小野寺麻加¹, 奥山奈美子¹, 濱田泰子¹, 朝山敏夫¹, 磯田 淳², 松本守生², 佐々木純³, 小松則夫³, 半田 寛⁴, 猪口孝一¹, その他 5 名 (¹ Division of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ² Department of Hematology, National Hospital Organization Nishigunma National Hospital, Gunma, ³ Division of Hematology, Juntendo University School of Medicine, Tokyo, ⁴ Division of Hematology, Gunma University Graduate School of Medicine, Gunma) : Pathophysiological roles of SLAM family molecule CD229 in multiple myeloma. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 17) 大森郁子¹, 山口博樹¹, 北野智章¹, 三宅紀子², 三宅弘一², 猪口孝一¹ (¹ Department of Hematology, Nippon Medical School, Tokyo, ² Department of Biochemistry and Molecular Biology, Nippon Medical School, Tokyo) : The D816V c-kit mutation confers higher proliferation activity compared to the N822K in CBF-AML. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 18) 築根 豊¹, 佐々木純¹, 八幡悠里子¹, 田村秀人², 小野寺麻加², 小池道明³, 伊藤薫樹⁴, 石田陽治⁵, 今井陽一⁶, 田中淳司⁶, 磯田 淳⁷, 松本守生⁷, 田野崎榮⁸, 華 見⁹, 萩原政夫⁹ (¹ 順天堂大学医学部内科学血液学講座, ² 日本医科大学血液内科, ³ 順天堂大学医学部附属静岡病院血液内科, ⁴ 岩手医科大学腫瘍内科, ⁵ 手医科大学血液腫瘍内科, ⁶ 東京女子医科大学医学部血液内科, ⁷ 国立病院機構西群馬病院血液内科, ⁸ 同愛記念病院血液内科, ⁹ 永寿総合病院血液内科) : 多発性骨髄腫における B 型肝炎ウイルス再活性化の頻度と臨床的特徴. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 19) 平川経晃¹, 田島絹子¹, 武田 航¹, 松村弥生¹, 河野千佳¹, 浅尾 優¹, 田母神宏之¹, 伊野和子¹, 田中 喬¹, 藤 重夫¹, 稲本賢弘¹, 冲中敬二¹, 黒澤彩子¹, 金 成元¹ (¹ Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan, ² Blood Transfusion and Cellular Therapy, National Cancer Center Hospital, Tokyo) : Association of donor age and gender with outcomes after UR-BMT for AML. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢), 2015. 10.
- 20) 山中 聡¹, 中山一隆¹, 玉井勇人¹, 酒巻雅典², 猪口孝一¹ (¹ 日本医科大学血液内科, ² 日本医科大学神経内科) : ATL に対する抗 CCR4 抗体治療後にたこつぼ型心筋症, HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) を発症した 1 例. 日本血液学会 関東甲信越地方会 (第 4 回) (東京), 2016. 3.
- 21) 丸毛淳史¹, 山口博樹¹, 大森郁子¹, 山中 聡¹, 藤原裕介¹, 由井俊輔¹, 福永景子¹, 了徳寺剛¹, 平川経晃¹, 岡部雅弘¹, 脇田知志¹, 玉井勇人¹, 岡本宗雄¹, 中山一隆¹, 猪口孝一¹ (¹ 日本医科大学付属病院血液内科) : 造血幹細胞移植に伴う非感染性呼吸器合併症の検討. 日本造血幹細胞移植学会総会 (第 38 回) (名古屋), 2016. 3.
- 22) 中山一隆¹, 山口博樹¹, 清水 章³, 三井亜希子², 玉井勇人¹, 岡本宗雄¹, 福永景子¹, 由井俊輔¹, 了徳寺剛¹, 平川経晃¹, 岡部雅弘¹, 朝山敏夫¹, 小野寺麻加¹, 守屋慶一¹, 猪口孝一¹, その他 3 名 (¹ 日本医科大学血液内科, ² 日本医科大学腎臓内科, ³ 日本医科大学病理部) : 血液造血器腫瘍に対する同種移植後の KDIGO 分類による AKI および CKD 発症リスク因子および、腎組織像についての検討. 日本造血細胞移植学会総会 (第 38 回) (名古屋), 2016. 3.

学会発表

[追加分]

追加分パネルディスカッション :

- 1) Okabe M¹, Yamaguchi H¹, Usuki K², Kobayashi Y³, Kawata E³, Kuroda J⁴, Kimura S⁵, Tajika K⁶, Gomi S⁶, Arima N⁷, Mori S⁸, Ito S⁹, Koizumi M¹⁰, Wakita S¹, Inokuchi K¹⁰, et al. (¹ Department of Hematology, Nippon Medical School, Japan, ² Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Japan, ³ Department of Hematology, Japanese Red Cross Kyoto Daini Hospital, Japan, ⁴ Division of Hematology and Oncology, Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan, ⁵ Division of Hematology, Respiratory Medicine and Oncology, Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine, Saga University, Japan, ⁶ Department of Hematology, Yokohama Minami Kyousai Hospital, Japan, ⁷ Department of Hematology, Kitano Hospital, Japan, ⁸ Hemato-Oncology Department, St Luke's International Hospital, Japan, ⁹ Department of Hematology, Iwate Medical University, Japan, ¹⁰ and others) : Clinical features of Japanese polycythemia vera and essential thrombocythemia patients harboring CALR, JAK2V617F, JAK2Ex12del, and MPLW515L/K mutations. Japanese Society of Hematology (JSH) International Symposium (the 7th) (軽井沢), 2115. 5.

[千葉北総病院血液内科]

研究概要

白血病, 悪性リンパ腫, 多発性骨髄腫等の造血器腫瘍, 造血不全症, 血小板減少症など血液疾患全般の診療に当たっています。当科では原則的に病名を告知し, 病状・治療方針・予想される副作用について詳しくご説明し, 納得して頂いたうえで治療を開始しています。

個々の患者さんにとってのベストの治療法を、御本人・御家族とともに考え、治癒のみならず、患者満足度の高い医療を目指しています。自家末梢血幹細胞移植を H21 年度より開始して、症例を蓄積しています。H23 年度には同系（一卵性双生児）末梢血幹細胞移植を実施しました。骨髄増殖性腫瘍の JAK2 遺伝子の解析を行っています。骨髄異形成症候群に対する少量メルファラン療法に関する臨床研究を実施しています。また、慢性骨髄性白血病の分子標的治療に関する検討、多発性骨髄腫細胞上の免疫関連分子が免疫反応に及ぼす影響、治療抵抗性・再発性高齢多発性骨髄腫に対する新規化学療法といった多施設共同研究に参加しています。血液学会総会では希少症例に関する症例報告を行った他、多施設共同研究の成果発表に加わりました。

研究業績

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) Fujiwara Y, Wakita S¹⁾, Yui S, Fkunaga K¹⁾, Ryotokuji T¹⁾, Hirakawa T¹⁾, Okabe M¹⁾, Tamai H¹⁾, Okamoto M¹⁾, Nakayama K¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Inokuchi K¹⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School) : Analysis of genetic mutation of the elderly patients with acute myeloid leukemia. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢市), 2015. 10.
- 2) Okuyama N¹⁾, Tamura H¹⁾, Asayama T¹⁾, Hamada Y¹⁾, Onodera A¹⁾, Moriya K¹⁾, Yokose N, Inokuchi K¹⁾ (1) Division of Hematology, Division of Medicine, Nippon Medical School) : Primary bone marrow B-cell non-Hodgkin's lymphoma : report of five cases. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢市), 2015. 10.
- 3) Hamada Y¹⁾, Tamura H¹⁾, Asayama T¹⁾, Okuyama N¹⁾, Onodera A¹⁾, Moriya K¹⁾, Tanosaki S³⁾, Yokose N, Gomi S²⁾, Inokuchi K¹⁾ (1) Division of Hematology, Department of Medicine, Nippon Medical School, 2) Division of Hematology, Yokohama Minami Kyou Sai Hospital, 3) Division of Hematology, the Fraternity Memorial Hospital) : Efficacy and tolerance of azacitidine in specific subsets of patients with MDS. 日本血液学会学術集会 (77 回) (金沢市), 2015. 10.
- 4) Asayama T¹⁾, Ishibashi M¹⁾, Tamura H¹⁾, Hamada Y¹⁾, Okuyama N¹⁾, Onodera A¹⁾, Yamada A¹⁾, Moriya K¹⁾, Yokose N, Inokuchi K¹⁾ (1) Department of Hematology, Nippon Medical School) : Clinical Significance and Pathophysiological Function of the Tim-3/Galectin-9 Pathway in Myelodysplastic Syndromes. Annual Meeting of the American Society of Hematolog (57th) (Orlando), 2015. 12.
- 5) Yui S, Yamaguchi H¹⁾, Ueki T²⁾, Usuki K³⁾, Kobayashi Y⁴⁾, Tajika K⁵⁾, Gomi S⁵⁾, Kurosawa S⁶⁾, Fujiwara Y, Fukunaga K¹⁾, Wakita S¹⁾, Hirakawa T¹⁾, Ryotokuji T¹⁾, Arai K¹⁾, Inokuchi K¹⁾, et al. (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, 2) Department of Hematology, Nagano Red Cross Hospital, 3) Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, 4) Department of Hematology, Kyoto Second Red Cross Hospital, 5) Department of Hematology, Yokohama Minami Kyou Sai Hospital, 6) Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital) : The clinical features of Japanese de novo AML with RAS signal transduction pathway genes mutation. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢市), 2015. 10.
- 6) Miyadera K¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Ueki T²⁾, Usuki K³⁾, Kobayashi Y⁴⁾, Tajika K⁵⁾, Gomi S⁵⁾, Kurosawa S⁶⁾, Tokura T¹⁾, Watanabe M¹⁾, Kobayashi A¹⁾, Fujiwara Y, Yui S, Fukunaga K¹⁾, Inokuchi K¹⁾, et al. (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, 2) Department of Hematology, Nagano Red Cross Hospital, 3) Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, 4) Department of Hematology, Kyoto Second Red Cross Hospital, 5) Department of Hematology, Yokohama Minami Kyou Sai Hospital, 6) Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital) : The clinical features of acute myeloid leukemia with TP53 mutation. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢市), 2015. 10.
- 7) Wakita S¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Ueki T²⁾, Usuki K³⁾, Kobayashi Y⁴⁾, Tajika K⁵⁾, Gomi S⁵⁾, Kurosawa S⁶⁾, Tokura T¹⁾, Watanabe M¹⁾, Kobayashi A¹⁾, Fujiwara Y, Yui S, Fukunaga K¹⁾, Inokuchi K¹⁾, et al. (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, 2) Department of Hematology, Nagano Red Cross Hospital, 3) Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, 4) Department of Hematology, Kyoto Second Red Cross Hospital, 5) Department of Hematology, Yokohama Minami Kyou Sai Hospital, 6) Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital) : Complex genetic abnormalities are important prognostic factors for acute myeloid leukemia. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢市), 2015. 10.
- 8) Ryotokuji T⁷⁾, Yamaguchi H¹⁾, Ueki T²⁾, Usuki K³⁾, Kobayashi Y⁴⁾, Tajika K⁵⁾, Gomi S⁵⁾, Kurosawa S⁶⁾, Tokura T¹⁾, Miyadera K¹⁾, Watanabe M¹⁾, Kobayashi A¹⁾, Fujiwara Y, Yui S, Inokuchi K¹⁾, et al. (1) Department of Hematology, Nippon Medical School, 2) Department of hematology, Nagano Red Cross Hospital, 3) Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, 4) Department of Hematology, Kyoto Second Red Cross Hospital, 5) Department of Hematology, Yokohama Minami Kyou Sai Hospital, 6) Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, 7) Department of Hematology, Doudai Memorial Hospital) : The Clinical and prognostic features of de novo AML with epigenetics regulative gene mutation. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢市), 2015. 10.
- 9) Fukunaga K¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Wakita S¹⁾, Fujiwara Y, Yui S, Rhotokuji T¹⁾, Hirakawa T¹⁾, Okabe M¹⁾, Tamai H¹⁾, Arai

- K¹), Kitano T¹), Kosaka F¹), Nakayan K¹), Inokuchi H¹) (1) Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School) : Analyses of clinical and molecular feature of refractory AML patients underwent allo-SCT. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢市), 2015. 10.
- 10) Nakayama K¹), Okamoto M¹), Yokose N, Inokuchi K¹) (1) Department of Hematology, Nippon Medical School) : Clinical and ABL mutation features associated with Exon 8/9 35bp insertion in CML patients. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢市), 2015. 10.
- 11) Asayama T¹), Ishibashi M¹), Tamura H¹), Hamada Y¹), Okuyama N¹), Onodera A¹), Yamada A¹), Moriya K¹), Yokose N, Inokuchi K¹) (1) Division of Hematology, Nippon Medical School) : Is the plasma galectin-9 associated with disease progression in myelodysplastic syndrome patients?. 日本血液学会学術集会 (第 77 回) (金沢市), 2015. 10.
- 12) 浜田泰子¹), 石橋真理子¹), 田村秀人¹), 奥山奈美子¹), 守屋慶一¹), 五十嵐健人¹), 小野瀬裕之¹), 横瀬紀夫, 五味聖二²), 猪口孝一¹) (1) 日本医科大学付属病院血液内科, 2) 横浜南共済病院) : 橋本病に合併した甲状腺原発悪性リンパ腫における臨床的特徴と A20 遺伝子変異の関与. 日本内科学会講演会 (第 112 回) (京都市), 2015. 4.
- 13) 山田晃子¹), 田村秀人¹), 守屋慶一¹), 朝山敏夫¹), 石原真理子¹), 奥山奈美子¹), 小野寺麻加¹), 横瀬紀夫, 田野崎栄¹), 猪口孝一¹) (1) 日本医科大学付属病院血液内科) : 本邦びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫患者における新規国際予後指標 NCCN-IPI の有用性についての検討. 日本内科学会講演会 (第 112 回) (京都市), 2015. 4.
- 14) 瀬理 祥, 由井俊輔, 藤原祐介, 横瀬紀夫, 猪口孝一¹) (1) 日本医科大学付属病院血液内科) : 前立腺肥大として発症し診断に苦慮した小型 B 細胞リンパ腫の 1 例. 日本血液学会関東甲信越地方会 (第 4 回) (東京都), 2016. 3.

6. 消化器内科学分野

[付属病院消化器・肝臓内科]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) 山脇博士¹⁾, 二神生爾¹⁾, 坂本長逸¹⁾, 岩切勝彦¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器内科学)：日本における FD 患者に対して acotiamide が及ぼす上下部消化管症状の検討. 日本潰瘍学会プログラム・抄録集 2015；43.
- 2) 岩切勝彦, 川見典之, 野村 務¹⁾, 星原芳雄 (1) 日本医科大学 消化器外科学)：流動性食道炎の診断と治療のコツ. Gastroenterological Endoscopy 2015；57 (8)：1641-1647.
- 3) 山脇博士, 二神生爾：機能性胃腸症 (FD) FD に隠された炎症？ 病気の本体はどこにある？. 診断と治療 2015；103 (8)：1013-1018.
- 4) 山脇博士, 二神生爾, 岩切勝彦：食道・胃・十二指腸疾患機能性ディスペプシア. Medicina 2015；52 (10)：1682-1687.

(2) 総説：

- 1) 川見典之, 岩切勝彦：2. ボノプラザンの効果：既存の酸分泌抑制薬は不要か 2) 逆流性食道炎：維持療法. Progress in Medicine 2015；35 (8)：1291-1295.
- 2) 三宅一昌, 鮑本哲兵, 植木信江：抗血栓薬服用による消化管障害と出血傾向にどう向き合うべきか. 内科 2015；116 (6)：1144-1148.
- 3) 竹之内菜菜, 岩切勝彦：PPI 抵抗性 GERD での薬物療法と一工夫. 薬事 2016；58 (1)：21-24.

(3) 研究報告書：

- 1) 植木信江¹⁾, 三宅一昌, 坂本長逸 (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器科)：NSAIDs による消化管傷害. リウマチ科 2015；53 (5)：460-464.
- 2) 山脇博士, 二神生爾, 岩切勝彦：機能性ディスペプシア. medicina 2015；52 (10)：1682-1687.

著書

- 1) 山脇博士, 二神生爾, 坂本長逸：[分担] FD 患者の睡眠障害および感染後 FD をどう診療するか. FD 診療のすべて—その理論から実践まで—(三輪洋人), 2015；pp116-123, ヴァン メディカル.
- 2) 川見典之, 岩切勝彦：[分担] 食道アカラシア. 臨床食道学 (小澤壯治・木下芳一), 2015；pp108-111, 南江堂.
- 3) 岩切勝彦：[分担] II. 検査の実際 9 機能検査 A 食道内圧検査 B 食道 pH モニタリング. 消化器内視鏡技師のためのハンドブック (改訂第7版) (日本消化器内視鏡学会/消化器内視鏡技師制度委員会・松井敏幸・赤松泰次・田村君英), 2016；pp126-127, 医学図書出版株式会社.
- 4) 川見典之, 岩切勝彦：[分担] I. 消化管 1. 食道運動障害診療の最新動向. Annual Review 2016 消化器 (竹原哲郎・金井隆典・下瀬川 徹・島田光生), 2016；pp1-8, 株式会社中外医学社.

学会発表

(1) 教育講演：

- 1) Kawamoto C：Fundamentals of Radiofrequency ablation. Asian Conference on Tumor Ablation (ACTA) meeting (The 2nd) (Fukuoka), 2015. 10.

(2) シンポジウム：

- 1) 岩切勝彦：食道運動機能からみた逆流性食道炎の病態と治療 (GERD の長期経過と治療). 日本潰瘍学会 (第 43 回) (沖縄), 2015. 6.
- 2) 岩切勝彦：内視鏡検査による食道運動機能 (LES 弛緩不全, 食道体部運動) の評価. 日本神経消化器病学会 (第 17 回) (沖縄), 2015. 11.
- 3) 山脇博士¹⁾, 二神生爾¹⁾, 金子恵子¹⁾, 岩切勝彦¹⁾ (1) 日本医科大学消化器内科学)：心窩部痛症候群における腭機能障害の検討：超音波内視鏡を用いて. 日本消化管学会総会学術集会 (第 12 回) (東京), 2016. 2.

(3) セミナー：

- 1) 岩切勝彦：GERD の病態と治療の新展開. 日本消化器内視鏡学会関東地方会 (第 100 回) (東京), 2015. 6.

(4) ワークショップ：

- 1) 江原彰仁, 大森 順, 秋元直彦, 小杉友紀, 鈴木将大, 馬來康太郎, 遠坂由紀子, 三井啓吾, 米澤真興, 田中 周, 辰口篤志, 藤森俊二, 岩切勝彦, 坂本長逸：当院における小腸血管性病変の検討（内視鏡を活用したあらたな診療展開 一十二指腸, 小腸一）. 日本消化器内視鏡学会関東地方会（第100回）（東京）, 2015. 6.
- 2) 三井啓吾, 江原彰仁, 坂本長逸：小腸腫瘍性疾患におけるバルーン内視鏡とカプセル内視鏡による診断と課題. 日本消化器病学会総会（第101回）（仙台市）, 2015. 4.
- 3) 江原彰仁, 三井啓吾, 坂本長逸：小腸内視鏡による腫瘍性疾患の現状と課題（小腸疾患の内視鏡診断と治療の新展開）. 日本消化器内視鏡学会総会（第89回）（名古屋）, 2015. 5.
- 4) 中川 愛¹⁾, 厚川正則¹⁾, 岩切勝彦²⁾（¹⁾ 日本医大千葉北総病院・消化器内科, ²⁾ 日本医大・消化器肝臓内科）：肝性浮腫に対する tolvaptan の治療効果予測に推定門脈圧が有用である. 日本肝臓学会総会（第19回）（東京都）, 2015. 10.
- 5) 藤森俊二¹⁾, 蓮田泰誠²⁾, 岩切勝彦³⁾（¹⁾ 日本医大千葉北総病院・消化器内科, ²⁾ 理化学研究所統合生命医科学研究センター, ³⁾ 日本医大・消化器肝臓内科）：NSAIDs 起因性小腸傷害の個人差と抗菌タンパク質 BPIFB4 の遺伝子多型に関連が疑われる. 日本消化器病学会大会（第57回）（東京都）, 2015. 10.
- 6) 山脇博士, 二神生爾, 岩切勝彦：FD 患者に対する acotimaide 投与による食欲改善効果の検討：胃排出能, 脳幹 peptide による解析. 日本消化器内視鏡学会総会（第90回）（東京都）, 2015. 10.
- 7) 橋本知実, 二神生爾, 岩切勝彦：EPS 症例における潜在的膵機能障害の検討：超音波内視鏡を用いて. 日本消化器内視鏡学会総会（第90回）（東京都）, 2015. 10.
- 8) 西本崇良¹⁾, 二神生爾¹⁾, 山脇博士¹⁾, 橋本知実¹⁾, 金子恵子¹⁾, 丸木雄太¹⁾, 小高康裕¹⁾, 佐藤ひとみ¹⁾, 名見耶浩幸¹⁾, 植木信江¹⁾, 河越哲郎¹⁾, 三宅一昌¹⁾, 川本智章¹⁾, 岩切勝彦¹⁾（¹⁾ 日本医科大学消化器内科）：早期胃排出能・GSRs 質問票を用いた膵機能異常合併症例の検討：FD 治療フロチャートに膵機能評価は必要か. 日本消化管学会総会学術集会（第12回）（東京）, 2016. 2.
- 9) 川見典之¹⁾, 竹之内菜菜¹⁾, 星野慎太郎²⁾, 梅澤まり子¹⁾, 花田優理子¹⁾, 岩切勝彦¹⁾（¹⁾ 日本医科大学消化器内科学, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院消化器内科）：アカラシアバルーン拡張術有効例の特徴と最新の短期及び長期治療成績. 日本消化管学会総会学術集会（第12回）（東京）, 2016. 2.

(5) 一般講演：

- 1) Hanada Y, Hoshino S, Takenouchi N, Umezawa M, Sano H, Kawami N, Iwakiri K : Endoscopic Diagnosis of Hiatus Hernia Is Not Consistent With Esophageal Manometric Diagnosis. ACG 2015 (Hawaii), 2015. 10.
- 2) Kawami N, Takenouchi N, Umezawa M, Hoshino S, Hanada Y, Iwakiri K : Effects of Aging and Acid Reflux on Esophageal Motility. ACG 2015 (Hawaii), 2015. 10.
- 3) Umezawa M, Kawami N, Takenouchi N, Hoshino S, Iwakiri K : Primary Peristalsis and Esophagogastric Junction (EGJ) Pressure Following a Transient Lower Esophageal Sphincter Relaxation (TLESR) Are Accompanied by a Forceful Contraction. ACG 2015 (Hawaii), 2015. 10.
- 4) Takenouchi N, Hoshino S, Umezawa M, Hanada Y, Sano H, Kawami N, Iwakiri K : Secondary Esophageal Peristalsis in Patients With GERD. ACG 2015 (Hawaii), 2015. 10.
- 5) Yuriko H, Shintaro H, Nana T, Mariko U, Hirihito S, Noriyuki K, Katsuhiko I : Endoscopic Diagnosis of Hiatus Hernia Is Not Consistent With Esophageal Mnometric Diagnosis. ACG 2015 (Hawaii), 2015. 10.
- 6) Kawamoto C : Oral presentation of Top 10 abstracts. Asian Conference on Tumor Ablation (ACTA) meeting (The 2nd) (Fukuoka), 2015. 10.
- 7) 岩切勝彦：胃食道逆流症（GERD）の病態と治療. 日本消化器病学会総会（第101回）ポストグラデュエイトコース（仙台市）, 2015. 4.
- 8) 川見典之, 岩切勝彦¹⁾, 坂本長逸（¹⁾ 日本医科大学 千葉北総病院 消化器内科）：PPI 倍量抵抗性 NERD の原因と酸抑制の関係. 日本消化器病学会総会（第101回）（仙台市）, 2015. 4.
- 9) 蘆田 潔¹⁾, 岩切勝彦²⁾, 梅垣英次³⁾（¹⁾ 洛和会音羽病院 消化器病センター, ²⁾ 日本医科大学 千葉北総病院 消化器内科, ³⁾ 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野）：TAK-438 の重症逆流性食道炎患者における治療効果からみた難治性逆流性食道炎への応用. 日本消化器病学会総会（第101回）（仙台市）, 2015. 4.
- 10) 糸川典夫¹⁾, 厚川正則¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 福田 健, 松下洋子, 中塚雄久, 岩切勝彦¹⁾, 川本智章, 坂本長逸（¹⁾ 日本医科大学 千葉北総病院 消化器内科）：B 型慢性肝炎に対する Peg-IFN 単独療法, sequential 療法の検討. 日本消化器病学会総会（第101回）（仙台市）, 2015. 4.
- 11) 中川 愛¹⁾, 厚川正則¹⁾, 新井泰央¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 橋本知実, 福田 健, 松下洋子, 金子恵子, 植原義之, 中塚雄久, 川本智章, 岩切勝彦¹⁾, 坂本長逸（¹⁾ 日本医科大学 千葉北総病院 消化器内科）：肝性浮腫に対する tolvaptan の治療効果と効果関連因子の検討. 日本消化器病学会総会（第101回）（仙台市）, 2015. 4.

- 12) 栢 卓史¹⁾, 中塚雄久¹⁾, 張本滉智, 城所秀子, 新井泰央, 中川 愛, 安良岡隆志, 橋本知実¹⁾, 糸川典夫, 松下洋子, 福田 健, 厚川正則, 金子恵子, 川本智章, 高橋秀実²⁾, その他1名 (1) 日本医科大学 武蔵小杉病院 消化器内科, (2) 日本医科大学 微生物学免疫学): 抗 CD137 抗体による HER2 発現ヒト腫瘍細胞株に対する trastuzumab の ADCC 増強作用. 日本消化器病学会総会 (第 101 回) (仙台市), 2015. 4.
- 13) 山脇博士, 二神生爾, 坂本長逸: FD 患者におけるグレリンの食後早期排出機能制御に及ぼす役割の検討 -GHRL gene SNP 解析を用いて. 日本消化器病学会総会 (第 101 回) (仙台市), 2015. 4.
- 14) 花田優理子, 鮑本哲兵, 山脇博士, 小高博裕, 名見耶浩幸, 植木信江, 楠 正典, 河越哲郎, 二神生爾, 三宅一昌, 坂本長逸: 長期アスピリン服用者における酸分泌抑制薬併用が上部・下部消化管出血に与える影響: 高齢者と非高齢者において. 日本消化器内視鏡学会総会 (第 89 回) (名古屋), 2015. 5.
- 15) 鮑本哲兵, 後藤 修¹⁾, 木下 聡¹⁾, 相良誠二¹⁾, 藤本 愛¹⁾, 落合康利¹⁾, 西澤俊宏¹⁾, 中村理恵子¹⁾, 植木信江, 浦岡俊夫¹⁾, 辰口篤志, 三宅一昌, 坂本長逸, 矢作直久¹⁾ (1) 慶應義塾大学医学部腫瘍センター 低侵襲療法研究開発部門: H.pylori 除菌後胃癌および背景粘膜に生じる組織学的変化と内視鏡診断の検討. 日本消化器内視鏡学会総会 (第 89 回) (名古屋), 2015. 5.
- 16) 植木信江, 鮑本哲兵, 丸本雄太, 山脇博士, 小高博裕, 名見耶浩幸, 進藤智隆, 楠 正典, 河越哲郎, 二神生爾, 三宅一昌, 坂本長逸: 低用量アスピリンは胃 ESD 後潰瘍治癒遅延と出血リスク増加をもたらす. 十二指腸胃逆流の関与. 日本消化器内視鏡学会総会 (第 89 回) (名古屋), 2015. 5.
- 17) 糸川典夫¹⁾, 厚川正典¹⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 橋本知実, 福田 健, 松下洋子, 城所秀子, 植原義之, 中塚雄久, 岩切勝彦¹⁾, 川本智章, 坂本長逸 (1) 日本医科大学千葉北総病院消化器内科): B 型慢性肝炎における血清 25 (OH) D3 濃度の検討. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 18) 大久保知美¹⁾, 厚川正則¹⁾, 島田紀朋²⁾, 吉澤 海³⁾, 安部 宏⁴⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 相澤良夫⁴⁾, 坪田昭人⁵⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院, (2) 千葉徳洲会病院, (3) 町田市民病院, (4) 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター, (5) 東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター): DAAs に対する NS5A 領域の薬剤耐性変異を有する症例の特徴. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 19) 厚川正則¹⁾, 島田紀朋²⁾, 吉澤 海³⁾, 安部 宏⁴⁾, 大久保知美¹⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 松下洋子⁵⁾, 坪田昭人⁶⁾, 相澤良夫³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院, (2) 徳洲会千葉病院, (3) 町田市民病院, (4) 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター, (5) 日本医科大学付属病院, (6) 東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター): C 型慢性肝炎に対する DCV/ASV 療法の成績に Host が与える影響. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 20) 近藤千紗¹⁾, 厚川正則¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 橋本知実, 福田 健, 松下洋子, 中塚雄久, 川本智章, 坂本長逸 (1) 日本医科大学千葉北総病院消化器内科): 非代償性肝硬変における高アンモニア血症に対するカルニチン製剤の有効性についての検討. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 21) 中川 愛¹⁾, 厚川正則¹⁾, 坂本長逸 (1) 日本医科大学千葉北総病院消化器内科): 肝性浮腫に対する tolvaptan の治療効果と効果予測因子の検討. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 22) 新井泰央¹⁾, 厚川正則¹⁾, 大久保知美¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 橋本知実²⁾, 福田 健²⁾, 松下洋子²⁾, 金子恵子²⁾, 植原義之²⁾, 中塚雄久²⁾, 川本智章²⁾, 羽鳥 努³⁾, 岩切勝彦²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院消化器内科, (2) 日本医科大学付属病院消化器・肝臓内科, (3) 日本医科大学千葉北総病院病理診断科): 非アルコール性脂肪性肝疾患における血清ビタミン D 濃度の特徴. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 23) 山脇博士, 二神生爾, 佐藤ひとみ, 坂本長逸, 岩切勝彦: FD 患者における下部消化器症状に対する acotiamide の改善効果の検討 (薬剤性粘膜障害 2・創薬と育薬). 日本潰瘍学会 (第 43 回) (沖縄), 2015. 6.
- 24) 二神生爾, 山脇博士, 松下洋子, 坂本長逸, 岩切勝彦: FD 患者におけるグレリンの食後早期胃排出能制御に及ぼす役割の検討: GHRL gene SNP 解析を用いて (機能性消化管障害). 日本潰瘍学会 (第 43 回) (沖縄), 2015. 6.
- 25) 橋本知実¹⁾, 二神生爾¹⁾, 丸本雄太¹⁾, 山脇博士¹⁾, 小高博裕¹⁾, 新福摩弓¹⁾, 名見耶浩幸¹⁾, 植木信江¹⁾, 金子恵子¹⁾, 河越哲郎¹⁾, 中塚雄久¹⁾, 三宅一昌¹⁾, 赤水尚史²⁾, 坂本長逸¹⁾, 川本智章, その他1名 (1) 日本医科大学消化器内科学, (2) 和歌山県立医科大学内科学第一講座): EPS 症例における潜在的膵機能障害の検討 (機能性消化管障害およびその他臨床研究). 日本潰瘍学会 (第 43 回) (沖縄), 2015. 6.
- 26) 鮑本哲兵⁵⁾, 後藤 修¹⁾, 鶴田雅士²⁾, 木下 聡¹⁾, 相良誠二¹⁾, 藤本 愛¹⁾, 落合康利¹⁾, 前畑忠輝¹⁾, 西澤俊宏¹⁾, 中村理恵子¹⁾, 浦岡俊夫¹⁾, 緒方晴彦⁴⁾, 亀山香織³⁾, 矢作直久¹⁾ (1) 慶應義塾大学医学部腫瘍センター 低侵襲療法研究開発部門, (2) 慶應義塾大学医学部 一般消化器外科, (3) 慶應義塾大学 病理診断部, (4) 慶應義塾大学病院 内視鏡センター, (5) 日本医科大学 消化器内科学): ESD で完全切除された SM 深部浸潤癌が短期間で局所再発した 1 例. 日本消化器内視鏡学会関東地方会 (第 100 回) (東京), 2015. 6.
- 27) 花田優理子, 星野慎太郎, 竹之内菜葉, 梅澤まり子, 佐野弘仁, 川見典之, 星原芳雄, 岩切勝彦: 深吸気時の滑脱型裂孔ヘルニアの内視鏡診断はヘルニア腸を過剰に診断している. 日本消化器病学会大会 (第 57 回) (東京都), 2015. 10.

- 28) 厚川正則¹⁾, 島田紀明²⁾, 吉澤 海³⁾, 安部 宏⁴⁾, 大久保知美¹⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 坪田昭人⁵⁾, 相澤良夫⁴⁾, 岩切勝彦⁶⁾ (1) 日本医大千葉北総病院・消化器内科, 2) 千葉徳洲会病院・消化器内科, 3) 町田市民病院・消化器科, 4) 東京慈恵会医大葛飾医療センター・消化器・肝臓内科, 5) 東京慈恵会医大総合医科学研究センター・臨床医学研究所, 6) 日本医大・消化器肝臓内科): C型慢性肝炎に対するDCV/ASV療法の成績に与える因子の解析. 日本肝臓学会総会(第19回)(東京), 2015. 10.
- 29) 大久保知美¹⁾, 厚川正則¹⁾, 島田紀明⁵⁾, 安部 宏³⁾, 吉澤 海⁶⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 相澤良夫³⁾, 坪田昭人⁴⁾, 岩切勝彦²⁾ (1) 日本医大千葉北総病院・消化器内科, 2) 日本医大・消化器肝臓内科, 3) 東京慈恵外医大葛飾医療センター・消化器・肝臓内科, 4) 東京慈恵医大柏病院・消化器・肝臓内科, 5) 千葉徳洲会病院・消化器内科, 6) 町田市民病院・消化器科): DDAsに対するHCV NS5A領域の薬剤耐性変異を有する症例の特徴. 日本肝臓学会総会(第19回)(東京), 2015. 10.
- 30) 新井泰央¹⁾, 厚川正則¹⁾, 大久保知美¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 羽鳥 努³⁾, 岩切勝彦²⁾ (1) 日本医大千葉北総病院・消化器内科, 2) 日本医大・消化器肝臓内科, 3) 日本医大千葉北総病院・病理部): NAFLD患者における血清ビタミンD濃度を含めた背景因子の解析. 日本肝臓学会総会(第19回)(東京), 2015. 10.
- 31) 橋本知実, 二神生爾, 西本崇良, 山脇博士, 金子恵子, 中塚雄久¹⁾, 川本智章, 岩切勝彦 (1) 日本医科大学 武蔵小杉病院): 心窩部痛症候群における膵機能障害の検討: 超音波内視鏡を用いて. 日本神経消化器病学会(第17回)(沖縄), 2015. 11.
- 32) 山脇博士, 二神生爾, 岩切勝彦: FD患者に対するacotimaide投与による食欲改善効果の検討: 脳幹peptideによる解析. 日本神経消化器病学会(第17回)(沖縄), 2015. 11.
- 33) 竹之内菜菜, 星野慎太郎, 花田優理子, 梅澤まり子, 佐野弘仁, 星原芳雄, 岩切勝彦: 健常者の夜間胃酸逆流のメカニズムと胃酸逆流時の睡眠深度. 日本神経消化器病学会(第17回)(沖縄), 2015. 11.
- 34) 西本崇良¹⁾, 二神生爾¹⁾, 山脇博士¹⁾, 橋本知実¹⁾, 松下洋子¹⁾, 金子恵子¹⁾, 中塚雄久²⁾, 川本智章¹⁾, 岩切勝彦¹⁾ (1) 日本医大消化器内科, 2) 日本医科大学付属病院 武蔵小杉病院): 心窩部痛症候群に伴う膵機能障害症例の検討. 日本神経消化器病学会(第17回)(沖縄), 2015. 11.
- 35) 竹之内菜菜¹⁾, 川見典之¹⁾, 星野慎太郎²⁾, 梅澤まり子¹⁾, 花田優理子¹⁾, 佐野弘仁¹⁾, 星原芳雄¹⁾, 岩切勝彦¹⁾ (1) 日本医大付属病院消化器肝臓内科, 2) 日本医大千葉北総病院): PPI倍量抵抗性NERDの病因. 日本消化管学会総会学術集会(第12回)(東京), 2016. 2.
- 36) 花田優理子¹⁾, 星野慎太郎²⁾, 竹之内菜菜¹⁾, 梅澤まり子¹⁾, 佐野弘仁¹⁾, 川見典之¹⁾, 星原芳雄¹⁾, 岩切勝彦¹⁾ (1) 日本医大付属病院消化器肝臓内科, 2) 日本医大千葉北総病院): 内視鏡検査により滑脱型裂孔ヘルニアの診断は食道内圧診断と一致しない. 日本消化管学会総会学術集会(第12回)(東京), 2016. 2.
- 37) 星野慎太郎¹⁾, 竹之内菜菜²⁾, 梅澤まり子²⁾, 佐野弘仁²⁾, 川見典之²⁾, 花田優理子³⁾, 星原芳雄²⁾, 岩切勝彦²⁾ (1) 日本医大千葉北総病院消化器内科, 2) 日本医大附属病院消化器・肝臓内科, 3) 日本医大武蔵小杉病院消化器内科): PPI抵抗性逆流性食道炎に対するポノプラザンの治療効果. 日本消化管学会総会学術集会(第12回)(東京), 2016. 2.
- 38) 山田章善¹⁾, 星原芳雄¹⁾, 星野慎太郎¹⁾, 根本菜々¹⁾, 梅澤まり子¹⁾, 川見典之¹⁾, 佐野弘仁¹⁾, 相田順子²⁾, 田久保海誉²⁾, 岩切勝彦¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器, 肝臓内科, 2) 東京都健康長寿医療センター研究所, 老年病理学研究会チーム高齢者がん研究グループ): 粘膜傷害grade AやBの下部食道における周在性の検討. 日本消化管学会総会学術集会(第12回)(東京), 2016. 2.
- 39) 星原芳雄¹⁾, 山田章善¹⁾, 川見典之¹⁾, 佐野弘仁¹⁾, 貝瀬 満²⁾, 相田順子³⁾, 田久保海誉³⁾, 岩切勝彦 (1) 日本医科大学医学部消化器肝臓内科, 2) 虎の門病院消化器科, 3) 東京都健康長寿医療センター研究所老年病理学研究会チーム高齢者がん): 下部食道小病変の周在性を決定する方法について. 日本消化管学会総会学術集会(第12回)(東京), 2016. 2.
- 40) 阿川周平¹⁾, 江原彰仁¹⁾, 重松 秀¹⁾, 高木信介¹⁾, 秋元直彦¹⁾, 大森 順¹⁾, 佐藤 航¹⁾, 小杉友紀¹⁾, 馬來康太郎¹⁾, 三井啓吾¹⁾, 米澤真興¹⁾, 田中 周¹⁾, 辰口篤志¹⁾, 藤森俊二¹⁾, 岩切勝彦¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器・肝臓内科): ダブルバルーン内視鏡が有用であった小腸憩室12症例の検討. 日本消化管学会総会学術集会(第12回)(東京), 2016. 2.
- 41) 小杉友紀¹⁾, 藤森俊二¹⁾, 薮田泰誠²⁾, 花田隆造³⁾, 林田真理⁴⁾, 櫻井俊之⁵⁾, 岩切勝彦¹⁾, 坂本長逸¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器内科学, 2) 理化学研究所 統合生命医科学研究センター, 3) 相生会墨田病院, 4) 杏林大学 第3内科, 5) 国立国際医療研究センター病院消化器科): SLC02A1遺伝子多型とNSAIDs起因性小腸傷害の関心の解明. 日本カプセル内視鏡学会(第9回)(東京), 2016. 2.
- 42) 大森 順¹⁾, 三井啓吾¹⁾, 高木信介¹⁾, 重松 秀¹⁾, 秋元直彦¹⁾, 佐藤 航¹⁾, 鈴木将大¹⁾, 小杉友紀¹⁾, 馬來康太郎¹⁾, 勝矢由紀子¹⁾, 江原彰仁¹⁾, 米澤真興¹⁾, 田中 周¹⁾, 辰口篤志¹⁾, 藤森俊二¹⁾, その他1名 (1) 日本医科大学消化器内科): 小腸内視鏡で指摘しえたメラニン欠乏症小腸悪性黒色腫の1例. 日本消化管学会総会学術集会(第12回)(東京), 2016. 2.
- (6) 専修医セッション:
- 1) 高野竜太郎¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小野寺浩之¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 赤間悠一¹⁾, 増田寛喜¹⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 田中 周²⁾, 福田 健²⁾, 小泉英里子²⁾, その他2名 (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学 消化器内科): 内視鏡的に整復し得た胃軸捻転症の1例. 日本消化器内視鏡学会関東地方会(第100回)(東京), 2015. 6.

論文

[追加分]

追加分原著：

- 1) Yamawaki H, Futagami S, Kawagoe T, Maruki Y, Hashimoto S, Nagoya H, Sato H, Kodaka Y, Gudis K, Akamizu T¹⁾, Sakamoto C, Iwakiri K (1) The First Department of Medicine, Wakayama Medical University) : Improvement of meal-related symptoms and epigastric pain in patients with functional dyspepsia treated with acotiamide was associated with acylated ghrelin levels in Japan. *Neurogastroenterology & Motility* 2016 ; 28 (7) : 1037-1047.

追加分研究報告書：

- 1) 三井啓吾, 田中 周, 江原彰仁, 鈴木将大, 大森 順, 秋元直彦, 馬來康太郎, 藤森俊二, 坂本長逸 : (3) その他の炎症性疾患 : a. 虚血性小腸炎. *INTESTINE* 2015 ; 19 (2) : 171-176.
- 2) 鮑本哲兵, 三宅一昌 : アスピリンによる消化管傷害の現状と治療戦略. *消化器内科* 2014 ; 59 (6) : 532-536.

[千葉北総病院消化器内科]

研究概要

上部消化管領域では、食道癌・胃癌の化学療法、早期胃癌・胃腺腫の内視鏡的治療、難治性の胃食道逆流症患者に対する病態検査および病態に基づいた治療を行っている。また新規導入した食道内圧検査により、原因不明な嚥下困難症例の診断・治療も開始している。消化管領域では、早期大腸癌・大腸腺腫の内視鏡的治療を行っており、原因不明の消化管出血患者に対するカプセル内視鏡検査も施行している。肝・胆・膵領域では、肝臓癌に対するラジオ波焼灼療法、C型慢性肝炎に対する抗ウイルス療法、総胆管結石に対する内視鏡的治療などを積極的に行っている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Abe H¹⁾, Tsubota A²⁾, Shimada N³⁾, Atsukawa M⁴⁾, Kato K³⁾, Takaguchi K⁵⁾, Asano T⁶⁾, Chuganji Y⁶⁾, Sakamoto C⁷⁾, Toyoda H⁸⁾, Kumada T⁸⁾, Ide T⁹⁾, Sata M⁹⁾, Aizawa Y¹⁾ (1) Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal Medicine, Jikei University School of Medicine Katsushika Medical Center, 2) Institute of Clinical Medicine and Research, The Jikei University School of Medicine, 3) Department of Gastroenterology and Hepatology, Shinmatsudo Central General Hospital, 4) Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 5) Department of Hepatology, Kagawa Prefectural Central Hospital, 6) Department of Gastroenterology, Tokyo Metropolitan Bokutoh Hospital, 7) Department of Gastroenterology, Nippon Medical School, Graduate School of Medicine, 8) Department of Gastroenterology, Ogaki Municipal Hospital, 9) Division of Gastroenterology, Department of Medicine, Kurume University School of Medicine) : Factors associated with sustained virological response in 24-week telaprevir-based triple therapy for chronic hepatitis C genotype 1b patients with the IL28B minor genotype. *Hepatology Research* 2015 ; 45 (4) : 387-396.
- 2) Atsukawa M¹⁾, Tsubota A²⁾, Shimada N³⁾, Yoshizawa K⁴⁾, Abe H⁵⁾, Asano T⁶⁾, Ohkubo Y⁷⁾, Araki M⁸⁾, Ikegami T⁹⁾, Kondo C¹⁾, Itokawa N¹⁾, Nakagawa A¹⁾, Arai T¹⁾, Matsushita Y¹⁰⁾, Nakatsuka K¹⁰⁾, et al. (1) Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 2) Core Research Facilities for Basic Science, Research Center for Medical Sciences, Jikei University School of Medicine, 3) Chiba Tokushukai Hospital, 4) Machida Municipal Hospital, 5) Jikei University School of Medicine Katsushika Medical Center, 6) Tokyo Metropolitan Bokutoh Hospital, 7) Saiseikai Yokohamashi Tobu Hospital, 8) Ibaraki Central Hospital, 9) Tokyo Medical University, Ibaraki Medical Center, 10) and others) : Influencing factors on serum 25-hydroxyvitamin D₃ levels in Japanese chronic hepatitis C patients. *Bio Med Central Infectious Diseases* 2015 ; 15 (344).
- 3) Nakatsuka K¹⁾, Atsukawa M^{1,3)}, Shimizu M²⁾, Takahashi H²⁾, Kawamoto C¹⁾ (1) Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, 2) Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, 3) Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital) : Ribavirin contributes to eradicate hepatitis C virus through polarization of T helper 1/2 cell balance into T helper 1 dominance. *World Journal of Hepatology* 2015 ; 7 (25) : 2590-2596.
- 4) Arai T¹⁾, Atsukawa M¹⁾, Tsubota A²⁾, Kondo C¹⁾, Shimada N³⁾, Abe H⁴⁾, Itokawa N¹⁾, Nakagawa A¹⁾, Okubo T¹⁾, Aizawa Y⁴⁾, Iwakiri K¹⁾ (1) Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 2) Core Research Facilities for Basic Science, Research Center for Medical Sciences, Jikei University School of Medicine, 3)

- Division of Gastroenterology and Hepatology, Chiba Tokushukai Hospital, ⁴⁾ Division of Gastroenterology and Hepatology, Jikei University School of Medicine Katsushika Medical Center) : Vitamin D-related gene polymorphisms do not influence the outcome and serum vitamin D level in pegylated interferon/ribavirin therapy combined with protease inhibitor for patients with genotype 1b chronic hepatitis C. *Journal of Medical Virology* 2015 ; 87 (11) : 1904-1912.
- 5) Itokawa N¹⁾, Atsukawa M¹⁾, Tsubota A³⁾, Okubo T¹⁾, Arai T¹⁾, Nakagawa A¹⁾, Kondo C¹⁾, Iwakiri K²⁾ (¹⁾ Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ²⁾ Division of Gastroenterology and Hepatology, Nippon Medical School, ³⁾ Core Research Facilities for Basic Science, Research Center for Medical Sciences, Jikei University, School of Medicine) : Effects of sorafenib combined with low-dose interferon therapy for advanced hepatocellular carcinoma : a pilot study. *International Journal of Clinical Oncology* 2015 ; Epub ahead of prin.
- 6) Kondo C¹⁾, Atsukawa M¹⁾, Tsubota A²⁾, Shimada N³⁾, Abe H⁴⁾, Aizawa Y⁴⁾ (¹⁾ Department of Internal Medicine, Division of Gastroenterology, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ²⁾ Core Research Facilities for Basic Science, Research Center for Medical Sciences, Jikei University School of Medicine, ³⁾ Division of Gastroenterology and Hepatology, Chiba Tokushukai Hospital, ⁴⁾ Department of Internal Medicine, Jikei University School of Medicine Katsushika Medical Center) : Evaluation of factors associated with relapse in telaprevir-based triple therapy for chronic hepatitis C. *Journal of Postgraduate Medicine* 2016 ; 62 (1) : 20-25.
- 7) Mitsui K¹⁾, Fujimori S²⁾, Tanaka S¹⁾, Ehara A¹⁾, Omori J¹⁾, Akimoto N¹⁾, Maki K¹⁾, Suzuki M¹⁾, Kosugi Y¹⁾, Ensaka Y¹⁾, Matsuura Y¹⁾, Kobayashi T¹⁾, Yonezawa M²⁾, Tatsuguchi A¹⁾, Sakamoto C¹⁾ (¹⁾ Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital) : Retrieval of Retained Capsule Endoscopy at Small Bowel Stricture by Double-Balloon Endoscopy Significantly Decreases Surgical Treatment. *Journal of Clinical Gastroenterology* 2016 ; 50 (2) : 141-146.
- 8) Tari A¹⁾, Asaoku H²⁾, Takata K³⁾, Fujimori S⁴⁾, Tanaka S⁵⁾, Fujihara M⁶⁾, Koga T⁷⁾, Yoshino T³⁾ (¹⁾ Department of Gastroenterology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital, ²⁾ Department of Clinical Laboratory, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, ³⁾ Department of Pathology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry, and Pharmaceutical Sciences, ⁴⁾ Department of Gastroenterology, Chiba Hokusoh Hospital, Nippon Medical School, ⁵⁾ Department of Endoscopy, Hiroshima University Hospital, ⁶⁾ Department of Pathology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-Bomb Survivors Hospital, ⁷⁾ CPC Clinical Trial Hospital, Kagoshima) : The role of "watch and wait" in intestinal follicular lymphoma in rituximab era. *Scandinavian Journal of Gastroenterology* 2016 ; 51 (3) : 321-328.
- 9) Fujimori S¹⁾, Hanada R²⁾, Hayashida M³⁾, Sakurai T⁴⁾, Ikushima I²⁾, Sakamoto C⁵⁾ (¹⁾ Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ²⁾ Medical Co. LTA Sumida Hospital, ³⁾ Department of Anesthesiology, Kyorin University School of Medicine, ⁴⁾ International Clinical Research Center, Research Institute, National Center for Global Health and Medicine, ⁵⁾ Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School, Tokyo) : Celecoxib Monotherapy Maintained Small Intestinal Mucosa Better Compared With Loxoprofen Plus Lansoprazole Treatment : A Double-blind, Randomized, Controlled Trial. *Journal of Clinical Gastroenterology* 2016 ; 50 (3) : 218-226.
- 10) Atsukawa M¹⁾, Tsubota A²⁾, Shimada N³⁾, Yoshizawa K⁴⁾, Abe H⁵⁾, Asano T⁶⁾, Ohkubo Y⁷⁾, Araki M⁸⁾, Ikegami T⁹⁾, Okubo T¹⁾, Kondo C¹⁾, Osada Y¹⁰⁾, Nakatsuka K¹⁰⁾, Chuganji Y⁶⁾, Matsuzaki Y⁹⁾, et al. (¹⁾ Department of Internal Medicine, Division of Gastroenterology, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ²⁾ Core Research Facilities for Basic Science, Research Center for Medical Sciences, Jikei University School of Medicine, ³⁾ Chiba Tokushukai Hospital, Funabashi, ⁴⁾ Machida Municipal Hospital, ⁵⁾ Jikei University School of Medicine Katsushika Medical Center, ⁶⁾ Tokyo Metropolitan Bokutoh Hospital, ⁷⁾ Saiseikai Yokohamashi Tobu Hospital, ⁸⁾ Ibaraki Central Hospital, ⁹⁾ Tokyo Medical University, Ibaraki Medical Center, Ibaraki, ¹⁰⁾ and others) : Effect of native vitamin D₃ supplementation on refractory chronic hepatitis C patients in simeprevir with pegylated interferon/ribavirin. *Hepatology Research* 2016 ; 46 (5) : 450-458.
- (2) 総説 :
- 1) Fujimori S¹⁾ (¹⁾ Department of Gastroenterology, Nippon Medical School, Graduate School of Medicine) : What are the effects of proton pump inhibitors on the small intestine?. *World Journal of Gastroenterology* 2015 ; 21 (22) : 6817-6819.
- 2) 藤森俊二 : カプセル内視鏡. *メディカル・サイエンス・ダイジェスト* 2015 ; 40 (5) : 2-4.

著 書

- 1) 藤森俊二 : [分担] カプセル内視鏡との出会い. *日本医事新報* 4763号, 2015 ; p1, 日本医事新報社.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 藤森俊二：小腸消化管出血の診断と対策. 日本消化器内視鏡学会北陸支部例会（第105回）（富山），2015. 6.

(2) 教育講演：

- 1) 藤森俊二：カプセル内視鏡を用いた小腸診療の最前線. 日本消化器病学会関東支部（第27回）（東京），2015. 11.
- 2) 藤森俊二：小腸カプセル内視鏡の臨床診断と応用（小腸カプセル内視鏡）. 日本消化器内視鏡学会甲信越セミナー（第27回）（山梨），2016. 1.

(3) シンポジウム：

- 1) 藤森俊二^{1,7)}， 蓮田泰誠²⁾， 花田隆造³⁾， 林田真理⁴⁾， 櫻井俊之⁵⁾， 古田隆久⁶⁾， 岩切勝彦¹⁾， 坂本長逸¹⁾（¹⁾ 日本医科大学消化器・肝臓内科，²⁾ 理化学研究所統合生命医科学研究センター，³⁾ 相生会墨田病院内科，⁴⁾ 杏林大学第三内科，⁵⁾ 国立国際医療研究センター病院消化器科，⁶⁾ 浜松医科大学臨床研究管理センター，⁷⁾ 日本医科大学千葉北総病院消化器内科）：NSAIDs 起因性小腸傷害の個人差と抗菌タンパク質 BPIFB4 の遺伝子多型に関連が疑われる（薬剤性小腸粘膜病変の病態と予防）. 小腸研究会（第53回）（盛岡），2015. 11.
- 2) 大森 順¹⁾， 三井啓吾²⁾， 高木信介²⁾， 重松 秀²⁾， 鈴木将大¹⁾， 江原彰仁²⁾， 田中 周²⁾， 辰口篤志²⁾， 藤森俊二¹⁾， 岩切勝彦²⁾（¹⁾ 千葉北総病院消化器内科，²⁾ 付属病院消化器・肝臓内科）：バルーン内視鏡を中心とした小腸悪性リンパ腫診断とその予後（小腸腫瘍の最前線）. 小腸研究会（第53回）（盛岡），2015. 11.

(4) パネルディスカッション：

- 1) 島田紀朋¹⁾， 厚川正則²⁾， 坪田昭人³⁾（¹⁾ 千葉徳洲会病院消化器内科，²⁾ 日本医科大学千葉北総病院消化器内科，³⁾ 東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター基盤研究施設）：IFN 反応性とウイルス変異から見た治療戦略（C型肝炎ウイルス治療の進化と残された課題：C型肝炎撲滅を目指して）. 日本消化器病学会総会（第101回）（仙台），2015. 4.
- 2) 厚川正則¹⁾， 島田紀朋²⁾， 坪田昭人³⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院消化器内科，²⁾ 千葉徳洲会病院消化器内科肝臓センター，³⁾ 東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター）：C型慢性肝炎治療における vitamin D の影響：vitamin D 併用 SMV3 剤併用療法 RCT から得られた知見（C型肝炎ウイルス治療の進化と残された課題：C型肝炎撲滅を目指して）. 日本消化器病学会総会（第101回）（仙台），2015. 4.
- 3) 糸川典夫¹⁾， 厚川正則¹⁾， 島田紀朋²⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院消化器内科，²⁾ おおたかの森病院消化器・肝臓内科）：B型慢性肝炎に対する PegIFN 療法における HBs 抗原量低下予測因子の解明. 日本肝臓学会西部会（第41回）（名古屋），2015. 12.

(5) セミナー：

- 1) 厚川正則：実臨床における C 型慢性肝炎の治療と工夫. 日本肝臓学会総会（第51回）（熊本），2015. 5.
- 2) 三井啓吾¹⁾， 藤森俊二^{1,2)}（¹⁾ 付属病院消化器・肝臓内科，²⁾ 千葉北総病院消化器内科）：小腸病変に対する最強タッグ（CE & DBE を併用した診断・治療戦略）. 日本カプセル内視鏡学会学術集会（第9回）（東京），2016. 2.

(6) ワークショップ：

- 1) 江原彰仁¹⁾， 大森 順²⁾， 秋元直彦¹⁾， 小杉友紀¹⁾， 鈴木将大²⁾， 馬來康太郎¹⁾， 遠坂由紀子¹⁾， 三井啓吾¹⁾， 米澤真興²⁾， 田中 周¹⁾， 坂口篤志¹⁾， 藤森俊二²⁾， 岩切勝彦¹⁾， 坂本長逸¹⁾（¹⁾ 付属病院消化器・肝臓内科，²⁾ 千葉北総病院消化器内科）：当院における小腸血管性病変の検討. 日本消化器内視鏡学会関東地方会（第100回）（東京），2015. 6.
- 2) 中川 愛¹⁾， 厚川正則¹⁾， 岩切勝彦²⁾（¹⁾ 千葉北総病院消化器内科，²⁾ 付属病院消化器・肝臓内科）：肝性浮腫に対する tolvaptan の治療効果予測に推定門脈圧が有用である. JDDW2015 日本消化器関連学会週間（第23回）（東京），2015. 10.
- 3) 藤森俊二¹⁾， 蓮田泰誠²⁾， 岩切勝彦³⁾（¹⁾ 日本医大千葉北総病院消化器内科，²⁾ 理化学研究所統合生命医科学研究センター，³⁾ 日本医科大学付属病院消化器・肝臓内科）：NSAIDs 起因性小腸傷害の個人差と抗菌タンパク質 BPIFB4 の遺伝子多型に関連が疑われる. JDDW2015 日本消化器関連学会週間（第23回）（東京），2015. 10.

(7) 一般講演：

- 1) Tari A¹⁾， Kitadai Y²⁾， Asaoku H³⁾， Shinagawa K⁴⁾， Fujimori S⁵⁾， Tanaka S⁴⁾， Koga T⁶⁾， Yoshino T⁷⁾， Chayama K²⁾（¹⁾ Department of Gastroenterology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital, ²⁾ Department of Gastroenterology and Metabolism, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University, ³⁾ Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital, ⁴⁾ Department of Endoscopy, Hiroshima University Hospital, ⁵⁾ Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ⁶⁾ CPC Clinical Trial Hospital, Kagoshima, ⁷⁾ Department of Pathology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry, and Pharmaceutical Sciences）：Treatment of intestinal follicular lymphoma : prospective study of comparison between “watch and wait” and “rituximab-containing chemotherapy. United European Gastroenterology Week 2015 (23rd) (Barcelona), 2015. 10.
- 2) Nakagawa A¹⁾， Atsukawa M¹⁾， Okubo T¹⁾， Arai T¹⁾， Itokawa N¹⁾， Kondo C¹⁾， Fujimori S¹⁾， Iwakiri K²⁾（¹⁾ Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ²⁾ Division of Gastroenterology and

- Hepatology, Nippon Medical School) : Usefulness of the hepatic venous pressure gradient as a predictor to evaluate the efficacy of tolvaptan in decompensated liver cirrhosis patients with hepatic edema. The Liver Meeting 2015 AASLD - American Association for the Study of Liver Diseases (66th) (San Francisco, California), 2015. 11.
- 3) Shoji H^{1, 2)}, Yoshio S¹⁾, Mano Y¹⁾, Sugiyama M¹⁾, Aoki Y¹⁾, Itokawa N³⁾, Atsukawa M³⁾, Osawa Y⁴⁾, Kimura K⁴⁾, Taketomi A²⁾, Mizokami M¹⁾, Kanto T¹⁾ (1) The Research Center for Hepatitis & Immunology, National Center for Global Health and Medicine, Ichikawa, 2) Department of Gastroenterological Surgery 1, Hokkaido University Graduate School of Medicine, 3) Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 4) Division of Hepatology, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital) : Pro-angiogenic Tie2-expressing monocytes/TEMs as a biomarker of the response to sorafenib in patients with advanced hepatocellular carcinoma. The Liver Meeting 2015 AASLD - American Association for the Study of Liver Diseases (66th) (San Francisco, California), 2015. 11.
 - 4) Iio E¹⁾, Shimada N²⁾, Abe H³⁾, Atsukawa M⁴⁾, Yoshizawa K⁵⁾, Takaguchi K⁶⁾, Eguchi Y⁷⁾, Nomura H⁸⁾, Kuramitsu T⁹⁾, Kang J¹⁰⁾, Matsui T¹⁰⁾, Tanaka Y¹⁾, et al. (1) Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, 2) Ootakanomori Hospital, Kashiwa, 3) Jikei University School of Medicine Katsushika Medical Center, 4) Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 5) Machida Municipal Hospital, 6) Kagawa Prefectural Central Hospital, 7) Saga University Hospital, 8) Shin-Kokura Hospital, Kitakyushu, 9) Kuramitsu Clinic, Akita, 10) and others) : Efficacy of Daclatasvir/Asunaprevir According to Resistance Associated Variants in Chronic Hepatitis C Genotype1b. The Liver Meeting 2015 AASLD - American Association for the Study of Liver Diseases (66th) (San Francisco, California), 2015. 11.
 - 5) Kondo C¹⁾, Atsukawa M¹⁾, Shimada N²⁾, Tsubota A³⁾, Abe H⁴⁾, Okubo T¹⁾, Nakagawa A¹⁾, Arai T¹⁾, Itokawa N¹⁾, Tanaka Y⁵⁾, Aizawa Y⁶⁾, Iwakiri K⁷⁾ (1) Department of Internal Medicine, Division of Gastroenterology, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 2) Division of Gastroenterology and Hepatology, Ootakanomori Hospital, 3) Core Research Facilities for Basic Science, Research Center for Medical Sciences, Jikei University School of Medicine, 4) Division of Gastroenterology and Hepatology, Shinmatsudo Central General Hospital, 5) Department of Virology and Liver Unit, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, 6) Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal Medicine, Jikei University School of Medicine Katsushika Medical Center, 7) Division of Gastroenterology and Hepatology, Nippon Medical School) : Efficacy of daclatasvir/asunaprevir for chronic hepatitis C patients with renal insufficiency. Annual Conference of Asian Pacific Association for the Study of the Liver (25th) (Tokyo), 2016. 2.
 - 6) Okubo T¹⁾, Atsukawa M¹⁾, Shimada N²⁾, Abe H³⁾, Arai T¹⁾, Nakagawa A¹⁾, Itokawa N¹⁾, Kondo C¹⁾, Aizawa Y³⁾, Iwakiri K⁴⁾ (1) Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 2) Ootakanomori Hospital, Kashiwa, 3) The Jikei University Katsushika Medical Center, 4) Division of Gastroenterology and Hepatology, Nippon Medical School) : Elderly and low serum 25 (OH) D₃ level contributes to drug resistance of NS5A region. Annual Conference of Asian Pacific Association for the Study of the Liver (25th) (Tokyo), 2016. 2.
 - 7) Itokawa N¹⁾, Atsukawa M¹⁾, Okubo T¹⁾, Arai T¹⁾, Nakagawa A¹⁾, Kondo C¹⁾, Iwakiri K²⁾ (1) Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 2) Division of Gastroenterology and Hepatology, Nippon Medical School) : Serum M2BPGi and HVPg are useful factors predicting the effect of tolvaptan on hepatic edema. Annual Conference of Asian Pacific Association for the Study of the Liver (25th) (Tokyo), 2016. 2.
 - 8) Arai T¹⁾, Atsukawa M¹⁾, Kondo C¹⁾, Itokawa N¹⁾, Nakagawa A¹⁾, Okubo T¹⁾, Kato K²⁾, Tsubota A³⁾, Iwakiri K⁴⁾ (1) Department of Internal Medicine, Division of Gastroenterology, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 2) Department of Gastroenterology and Hepatology, Shinmatsudo Central General Hospital, 3) Core Research Facilities for Basic Science, Research Center for Medical Sciences, Jikei University School of Medicine, 4) Division of Gastroenterology and Hepatology, Nippon Medical School) : Serum 25 (OH) D₃ levels are related to the severity of liver fibrosis in patients with NAFLD. Annual Conference of Asian Pacific Association for the Study of the Liver (25th) (Tokyo), 2016. 2.
 - 9) Iio E¹⁾, Shimada N²⁾, Abe H³⁾, Atsukawa M⁴⁾, Yoshizawa K⁵⁾, Takaguchi K⁶⁾, Eguchi Y⁷⁾, Nomura H⁸⁾, Kuramitsu T⁹⁾, Kang J¹⁰⁾, Matsui T¹⁰⁾, Tanaka Y¹⁾, et al. (1) Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, 2) Ootakanomori Hospital, Kashiwa, 3) Jikei University School of Medicine Katsushika Medical Center, 4) Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 5) Machida Municipal Hospital, Tokyo, 6) Kagawa Prefectural Central Hospital, 7) Saga University Hospital, 8) Shin-Kokura Hospital, Kitakyushu, 9) Kuramitsu Clinic, Akita, 10) and others) : Efficacy and adverse events of daclatasvir/asunaprevir in chronic hepatitis C genotype1b. Annual Conference of Asian Pacific Association for the Study of the Liver (25th) (Tokyo), 2016. 2.
 - 10) 新井泰央¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 厚川正則¹⁾, 島田紀朋²⁾, 安部 宏³⁾, 相澤良夫³⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 坪田昭人⁴⁾, 坂本長逸⁵⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院消化器内科, 2) 千葉徳洲会病院消化器内科肝臓センター, 3) 東京慈恵会医大葛飾医療センター消化器肝臓内

- 科, 4) 東京慈恵会医大総合医科学研究所, 5) 日本医科大学付属病院消化器・肝臓内科): C型慢性肝炎に対する protease 阻害薬併用 peg-IFN, Ribavirin 療法の治療効果における vitamin D 代謝関連 SNP の影響についての検討. 日本消化器病学会総会 (第 101 回) (仙台), 2015. 4.
- 11) 糸川典夫¹⁾, 厚川正則¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 福田 健²⁾, 松下洋子²⁾, 中塚雄久²⁾, 岩切勝彦²⁾, 川本智章²⁾, 坂本長逸²⁾ (1) 千葉北総病院消化器内科, 2) 付属病院消化器・肝臓内科): B型慢性肝炎に対する Peg-IFN 単独療法, sequential 療法の検討. 日本消化器病学会総会 (第 101 回) (仙台), 2015. 4.
- 12) 近藤千紗¹⁾, 厚川正則¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 新井泰央¹⁾, 橋本知実²⁾, 福田 健²⁾, 松下洋子²⁾, 金子恵子²⁾, 橋原義之²⁾, 中塚雄久²⁾, 岩切勝彦²⁾, 川本智章²⁾, 坂本長逸²⁾ (1) 千葉北総病院消化器内科, 2) 付属病院消化器・肝臓内科): 肝硬変症例における高アンモニア血症に対する L-carnitine 製剤の治療効果の検討. 日本消化器病学会総会 (第 101 回) (仙台), 2015. 4.
- 13) 中川 愛¹⁾, 厚川正則¹⁾, 新井泰央¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 橋本知実²⁾, 福田 健²⁾, 松下洋子²⁾, 金子恵子²⁾, 橋原義之²⁾, 中塚雄久²⁾, 川本智章²⁾, 岩切勝彦²⁾, 坂本長逸²⁾ (1) 千葉北総病院消化器内科, 2) 付属病院消化器・肝臓内科): 肝性浮腫に対する tolvaptan の治療効果と効果関連因子の検討. 日本消化器病学会総会 (第 101 回) (仙台), 2015. 4.
- 14) 橋 卓史¹⁾, 中塚雄久^{1,2)}, 張本滉智²⁾, 城所秀子^{1,2)}, 新井泰央²⁾, 中川 愛²⁾, 安良岡隆志²⁾, 橋本知実^{1,2)}, 糸川典夫²⁾, 松下洋子²⁾, 福田 健²⁾, 厚川正則²⁾, 金子恵子²⁾, 川本智章²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器内科, 2) 日本医科大学消化器・肝臓内科, 3) 日本医科大学微生物学免疫学): 抗 CD137 抗体による HER2 発現ヒト肺癌細胞株に対する trastuzumab の ADCC 増強作用. 日本消化器病学会総会 (第 101 回) (仙台), 2015. 4.
- 15) 島田紀朋¹⁾, 厚川正則²⁾, 坪田昭人³⁾, 吉澤 海⁴⁾, 安部 宏⁵⁾, 加藤慶三⁶⁾, 大久保雄介⁷⁾, 平岡 淳⁸⁾, 高口浩一⁹⁾, 石川 達¹⁰⁾, 相澤良夫⁵⁾, その他 4 名 (1) 千葉徳洲会病院消化器内科, 2) 日本医科大学千葉北総病院消化器内科, 3) 東京慈恵会医科大学総合医科学研究所センター基盤研究施設 (分子細胞生物学), 4) 町田市民病院消化器内科, 5) 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター消化器肝臓内科, 6) 新松戸中央総合病院消化器肝臓科, 7) 済生会横浜市東部病院消化器内科, 8) 愛媛県立中央病院消化器病センター内科, 9) 香川県立中央病院肝臓内科, 10) その他): SMV3 剤併用療法の成績から見た難治要因の検討. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 16) 新井泰央¹⁾, 厚川正則¹⁾, 大久保知美¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 橋本知実²⁾, 福田 健²⁾, 松下洋子²⁾, 金子恵子²⁾, 橋原義之²⁾, 中塚雄久²⁾, 川本智章²⁾, 羽鳥 努³⁾, 岩切勝彦²⁾ (1) 千葉北総病院消化器内科, 2) 付属病院消化器・肝臓内科, 3) 千葉北総病院病理診断科): 非アルコール性脂肪性肝疾患における血清ビタミン D 濃度の特徴. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 17) 糸川典夫¹⁾, 厚川正則¹⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 橋本知実²⁾, 福田 健²⁾, 松下洋子²⁾, 城所秀子²⁾, 橋原義之²⁾, 中塚雄久²⁾, 岩切勝彦²⁾, 川本智章²⁾, 坂本長逸²⁾ (1) 千葉北総病院消化器内科, 2) 付属病院消化器・肝臓内科): B型慢性肝炎における血清 25 (OH) D₃ 濃度の検討. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 18) 大久保知美¹⁾, 厚川正則¹⁾, 島田紀朋²⁾, 吉澤 海³⁾, 安部 宏⁴⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 相澤良夫⁴⁾, 坪田昭人⁵⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院消化器内科, 2) 千葉徳洲会病院, 3) 町田市民病院, 4) 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター, 5) 東京慈恵会医科大学総合医科学研究所センター): DAAs に対する NS5A 領域の薬剤耐性変異を有する症例の特徴. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 19) 厚川正則¹⁾, 島田紀朋²⁾, 吉澤 海³⁾, 安部 宏⁴⁾, 大久保知美¹⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 松下洋子⁵⁾, 坪田昭人⁶⁾, 相澤良夫³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院消化器内科, 2) 千葉徳洲会病院, 3) 町田市民病院, 4) 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター, 5) 日本医科大学付属病院消化器・肝臓内科, 6) 東京慈恵会医科大学総合医科学研究所センター): C型慢性肝炎に対する DCV/ASV 療法の成績に Host 因子が与える影響. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 20) 近藤千紗¹⁾, 厚川正則¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 橋本知実²⁾, 福田 健²⁾, 松下洋子²⁾, 中塚雄久²⁾, 川本智章²⁾, 坂本長逸²⁾ (1) 千葉北総病院消化器内科, 2) 付属病院消化器・肝臓内科): 非代償性肝硬変における高アンモニア血症に対するカルニチン製剤の有効性についての検討. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 21) 中川 愛¹⁾, 厚川正則¹⁾, 坂本長逸²⁾ (1) 千葉北総病院消化器内科, 2) 付属病院消化器・肝臓内科): 肝性浮腫に対する tolvaptan の治療効果と効果予測因子の検討. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本), 2015. 5.
- 22) 飯尾悦子^{1,2)}, 島田紀朋³⁾, 吉澤 海⁴⁾, 安部 宏⁵⁾, 厚川正則⁶⁾, 野村秀幸⁷⁾, 江口有一郎⁸⁾, 田中靖人¹⁾ (1) 名古屋市立大大学院・病態医学, 2) 名古屋市立大大学院・消化器・代謝内科学, 3) おおたかの森病院・消化器肝臓科, 4) 町田市民病院・消化器科, 5) 東京慈恵会医大葛飾医療センター, 6) 日本医大千葉北総病院消化器内科, 7) 新小倉病院, 8) 佐賀大・肝疾患医療支援学): C型慢性肝疾患に対するダクラタスビル/アスナプレビル併用療法の治療成績, 副作用の検討. JDDW2015 日本消化器関連学会週間 (第 23 回) (東京), 2015. 10.
- 23) 大久保知美¹⁾, 厚川正則¹⁾, 島田紀朋⁵⁾, 安部 宏³⁾, 吉澤 海⁶⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 相澤良夫³⁾, 坪田昭人⁴⁾, 岩切勝彦²⁾ (1) 日本医大千葉北総病院消化器内科, 2) 日本医科大学付属病院消化器・肝臓内科, 3) 東京慈恵会医大葛飾医療センター・消化器・肝臓内科, 4) 東京慈恵会医大柏病院・消化器・肝臓内科, 5) 千葉徳洲会病院・消化器内科, 6) 町田市民病院・

- 消化器科) : DDAs に対する HCV NS5A 領域の薬剤耐性変異を有する症例の特徴. JDDW2015 日本消化器関連学会週間 (第 23 回) (東京), 2015. 10.
- 24) 島田紀朋¹⁾, 厚川正則²⁾, 田中靖人³⁾, 坪田昭人⁴⁾ (1) おおたかの森病院・消化器肝臓科, 2) 日本医大千葉北総病院消化器内科, 3) 名古屋市立大大学院・ウイルス学, 4) 東京慈恵会医大総合医科学研究センター) : SMV3 剤併用療法の難治要因の検討. JDDW2015 日本消化器関連学会週間 (第 23 回) (東京), 2015. 10.
- 25) 島田紀朋¹⁾, 厚川正則²⁾, 安部 宏³⁾, 吉澤 海⁴⁾, 田中靖人⁵⁾, 坪田昭人⁶⁾, 相澤良夫³⁾ (1) おおたかの森病院・消化器肝臓科, 2) 日本医大千葉北総病院消化器内科, 3) 東京慈恵会医大葛飾医療センター・消化器・肝臓内科, 4) 町田市民病院・消化器科, 5) 名古屋市立大大学院・ウイルス学, 6) 東京慈恵会医大総合医科学研究センター) : DCV+ASV 併用療法の薬剤耐性変異別の治療効果及び AFP の推移. JDDW2015 日本消化器関連学会週間 (第 23 回) (東京), 2015. 10.
- 26) 島田紀朋¹⁾, 厚川正則²⁾, 安部 宏³⁾, 吉澤 海⁴⁾, 高口浩一⁵⁾, 石川 達⁶⁾, 辻 邦彦⁷⁾, 熊田 卓⁸⁾, 飯尾悦子⁹⁾, 田中靖人⁹⁾, 平岡 淳¹⁰⁾, 坪田昭人³⁾, 相澤良夫³⁾ (1) おおたかの森病院・消化器肝臓科, 2) 日本医大千葉北総病院消化器内科, 3) 東京慈恵会医大, 4) 町田市民病院・消化器科, 5) 香川県立中央病院・肝臓内科, 6) 済生会新潟第二病院・消化器内科, 7) 手稲溪仁会病院・消化器内科, 8) 大垣市民病院・消化器内科, 9) 名古屋市立大大学院・ウイルス学, 10) その他) : 治療開始 4 週後の HCV RNA 量から見た SMV3 剤併用療法の治療効果予測. JDDW2015 日本消化器関連学会週間 (第 23 回) (東京), 2015. 10.
- 27) 厚川正則¹⁾, 島田紀朋²⁾, 吉澤 海³⁾, 安部 宏⁴⁾, 大久保知美¹⁾, 新井泰央¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 坪田昭人⁵⁾, 相澤良夫⁴⁾, 岩切勝彦⁶⁾ (1) 日本医大千葉北総病院消化器内科, 2) 千葉徳洲会病院・消化器内科, 3) 町田市民病院・消化器科, 4) 東京慈恵会医大葛飾医療センター・消化器・肝臓内科, 5) 東京慈恵会医大総合医科学研究センター・臨床医学研究所, 6) 日本医科大学付属病院消化器・肝臓内科) : C 型慢性肝炎に対する DCV/ASV 療法の成績に与える因子の解析. JDDW2015 日本消化器関連学会週間 (第 23 回) (東京), 2015. 10.
- 28) 新井泰央¹⁾, 厚川正則¹⁾, 大久保知美¹⁾, 中川 愛¹⁾, 糸川典夫¹⁾, 近藤千紗¹⁾, 羽鳥 努³⁾, 岩切勝彦²⁾ (1) 日本医大千葉北総病院消化器内科, 2) 日本医科大学付属病院消化器・肝臓内科, 3) 日本医大千葉北総病院・病理部) : NAFLD 患者における血清ビタミン D 濃度を含めた背景因子の解析. JDDW2015 日本消化器関連学会週間 (第 23 回) (東京), 2015. 10.
- 29) 星野慎太郎^{1,2)}, 竹ノ内菜葉¹⁾, 梅澤まり子¹⁾, 花田優理子¹⁾, 佐野弘仁¹⁾, 川見典之¹⁾, 星原芳雄¹⁾, 岩切勝彦¹⁾ (1) 付属病院消化器・肝臓内科, 2) 千葉北総病院消化器内科) : 健常者の夜間逆流のメカニズムと逆流時の睡眠深度. JDDW2015 日本消化器関連学会週間 (第 23 回) (東京), 2015. 10.
- 30) 花田優理子¹⁾, 星野慎太郎^{1,2)}, 竹ノ内菜葉¹⁾, 梅澤まり子¹⁾, 佐野弘仁¹⁾, 川見典之¹⁾, 星原芳雄¹⁾, 岩切勝彦¹⁾ (1) 付属病院消化器・肝臓内科, 2) 千葉北総病院消化器内科) : 深吸気時の滑脱型裂孔ヘルニアの内視鏡診断はヘルニア長を過剰に診断している. JDDW2015 日本消化器関連学会週間 (第 23 回) (東京), 2015. 10.
- 31) 藤森俊二^{1,6)}, 蒔田泰誠²⁾, 花田隆造³⁾, 林田真理⁴⁾, 櫻井俊之⁵⁾, 小杉友紀¹⁾, 三井啓吾¹⁾, 岩切勝彦¹⁾, 坂本長逸¹⁾ (1) 日本医科大学消化器・肝臓内科, 2) 理化学研究所統合生命医科学研究センター, 3) 相生会墨田病院内科, 4) 杏林大学第三内科, 5) 国立国際医療研究センター病院消化器科, 6) 日本医科大学千葉北総病院消化器内科) : SLCO2A1 遺伝子多型と NSAIDs 起因性小腸傷害の関心の解明. 平成 26 年度厚生労働科学研究委託業務難病性疾患克服研究事業「難治性小腸潰瘍の診断法確立と病態解明に基づいた治療法探索」平成 26 年第 2 回班会議 (東京), 2016. 1.
- 32) 大森 順²⁾, 三井啓吾¹⁾, 高木信介¹⁾, 重松 秀¹⁾, 秋元直彦¹⁾, 佐藤 航¹⁾, 鈴木将大²⁾, 小杉友紀¹⁾, 馬來康太郎¹⁾, 勝矢由紀子¹⁾, 江原彰仁¹⁾, 米澤真興²⁾, 田中 周¹⁾, 辰口篤志¹⁾, 藤森俊二²⁾, その他 1 名 (1) 千葉北総病院消化器内科, 2) 付属病院消化器・肝臓内科) : 小腸内視鏡で指摘しえたメラニン欠乏性小腸悪性黒色腫の 1 例. 日本消化管学会総会学術集会 (第 12 回) (東京), 2016. 2.
- 33) 星野慎太郎 : PPI 抵抗性逆流性食道炎に対するポノプラザンの治療効果. 日本消化管学会総会学術集会 (第 12 回) (東京), 2016. 2.
- 34) 小杉友紀¹⁾, 藤森俊二^{1,6)}, 蒔田泰誠²⁾, 花田隆造³⁾, 林田真理⁴⁾, 櫻井俊之⁵⁾, 岩切勝彦¹⁾, 坂本長逸¹⁾ (1) 日本医科大学消化器・肝臓内科, 2) 理化学研究所統合生命医科学研究センター, 3) 相生会墨田病院内科, 4) 杏林大学第三内科, 5) 国立国際医療研究センター病院消化器科, 6) 日本医科大学千葉北総病院消化器内科) : SLCO2A1 遺伝子多型と NSAIDs 起因性小腸傷害の関心の解明. 日本カプセル内視鏡学会学術集会 (第 9 回) (東京), 2016. 2.

論文

[追加分]

追加分原著 :

- 1) Kondo C¹⁾, Atsukawa M¹⁾, Tsubota A²⁾, Shimada N³⁾, Abe H⁴⁾, Itokawa N¹⁾, Nakagawa A¹⁾, Fukuda T⁵⁾, Matsushita Y⁵⁾, Nakatsuka K⁵⁾, Kawamoto C⁵⁾, Iwakiri K¹⁾, Aizawa Y⁴⁾, Sakamoto C⁵⁾ (1) Division of Gastroenterology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 2) Core Research Facilities for Basic Science, Research Center for Medical Sciences, The Jikei University School of Medicine, 3) Division of Gastroenterology and Hepatology, Shinmatsudo Central

General Hospital, ⁴⁾ Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal Medicine, The Jikei University School of Medicine Katsushika Medical Center, ⁵⁾ Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal Medicine) : Safety and efficacy of partial splenic embolization in telaprevir-based triple therapy for chronic hepatitis C. Internal Medicine 2015 ; 54 (2) : 119-126.

7. 内分泌糖尿病代謝内科学分野

[付属病院糖尿病・内分泌代謝内科]

研究概要

基礎研究：本年度も選抜交配により樹立した高脂肪食投与後の耐糖能が異なる2系統のマウス（SDG-P/R系）の解析を進め、耐糖能を指標とした選抜交配により世代が進むにつれて摂食行動や体重が変化すること、糖尿病の成因についての総説を国際学術誌に発表した。SDG-P/R系マウスを用いた研究として、摂食行動の規定因子の解析、遺伝的なインスリン分泌能の規定因子の解析、経口血糖降下薬の抗動脈硬化作用について発表した。グルコース連続経口投与によって、動脈硬化モデル動物の作成が可能であることを見出し、国際学術誌に発表した。臨床研究：好酸球増多を伴うインスリン抗体産生と高血糖の改善にステロイド治療が有用であることを国際学術誌に発表し、ミトコンドリア糖尿病についての症例報告を行った。2型糖尿病患者の食事制限による減量効果と食事誘発性熱産生量の関係、糖尿病と合併症、自律神経障害との関係について発表し、学術誌に投稿予定である。インスリン産生腫瘍の診断におけるGHRP2負荷試験の有用性、原発性アルドステロン症の耐糖能異常の機序について報告した。昨年度に引き続き、インスリン導入時の開始単位数設定式の開発、各種内分泌疾患における治療前後での血管機能評価、急性冠症候群におけるアキレス腱肥厚の頻度調査、DPP4阻害薬の脂質代謝および高齢者糖尿病治療への有用性、血清PCOOHと冠動脈硬化の関係、心臓周囲脂肪組織面積と代謝パラメータの解析といった研究を行っている。また甲状腺機能異常症での脂質合成・吸収マーカーの変化、ミグリトールの減量効果とその機序、抗PIT-1抗体に関する研究、インスリン様成長因子（IGF-II）による低血糖の機序についての研究が継続されている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Nagao M, Asai A, Sugihara H, Oikawa S : Transgenerational changes of metabolic phenotypes in two selectively bred mouse colonies for different susceptibilities to diet-induced glucose intolerance. *Endocrine Journal* 2015 ; 62 (4) : 371-378.
- 2) Emoto N¹⁾, Okajima F¹⁾, Sugihara H, Goto R^{2, 3)} (1) Division of Endocrinology, Department of Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, Chiba, 2) Hakubi Center of Advanced Research, Kyoto University, Kyoto, 3) Graduate School of Economics, Kyoto University, Kyoto) : Behavioral economics survey of patients with type 1 and type 2 diabetes. *Patient Preference and Adherence* 2015 ; 9 : 649-658.
- 3) Shuto Y, Asai A, Nagao M, Sugihara H, Oikawa S : Repetitive Glucose Spikes Accelerate Atherosclerotic Lesion Formation in C57BL/6 Mice. *PLoS One* 2015 ; 10 (8) : e0136840.

(2) 総説：

- 1) Nagao M, Asai A, Sugihara H, Oikawa S : Fat intake and the development of type 2 diabetes. *Endocrine Journal* 2015 ; 62 (7) : 561-572.
- 2) 福田いずみ, 肥塚直美¹⁾, 杉原 仁 (1) 東京女子医科大学) : 下垂体前葉機能低下症. *内科* 2015 ; 115 (6) : 1336-1339.
- 3) 福田いずみ, 肥塚直美¹⁾, 杉原 仁 (1) 東京女子医科大学) : 下垂体前葉機能亢進症. *内科* 2015 ; 115 (6) : 1340-1343.
- 4) 稲垣恭子¹⁾, 及川眞一^{1, 2)} (1) 日本医科大学 糖尿病・内分泌代謝内科, 2) 複十字病院・糖尿病生活習慣病センター) : 糖尿病における脂質異常症管理のEBM. *糖尿病合併症* 2015 ; 29 (2) : 202-205.
- 5) 長尾元嗣 : 後期高齢者の脂質異常への対応. *日本医事新報* 2015 ; 4765 (8月4週) : 52-53.
- 6) 長尾元嗣 : 心不全を合併した高度肥満症患者の肥満外科治療. *日本医事新報* 2015 ; 4769 (9月3週) : 60-61.
- 7) 福田いずみ, 肥塚直美¹⁾, 杉原 仁 (1) 東京女子医科大学) : 非膵臓腫瘍に伴う低血糖症. *内分泌・糖尿病・代謝内科* 2015 ; 41 (3) : 192-197.
- 8) 福田いずみ, 杉原 仁 : 内分泌機能検査 Update : 原理と実践 GH・IGF-I. *ホルモンと臨床* 2016 ; 62 (4) : 3 (265) -10 (272).

(3) 症例報告：

- 1) Takaya M, Nagao M, Takemitsu S, Nakajima Y, Sugihara H, Uchigata Y¹⁾, Oikawa S (1) Diabetes Center, Tokyo Women's Medical University School of Medicine, Japan) : Severe Insulin-resistant Diabetes due to Insulin Antibodies Associated with Eosinophilia. *Internal Medicine* 2015 ; 54 (18) : 2367-2371.

著書

- 1) 福田いずみ, 肥塚直美¹⁾, 市原淳弘¹⁾ (1) 東京女子医科大学) : [分担] 視床下部-下垂体系機能検査. *臨床検査法提要* (金井正光・奥村伸生・戸塚実・矢富裕), 2015 ; pp690-700, 金原出版(株).

- 2) 杉原 仁：〔分担〕第1章 視床下部・下垂体疾患 下垂体性 PRL 分泌亢進症. 難治性内分泌代謝疾患 Update (成瀬光栄, 平田結喜緒, 田辺晶代), 2015 ; pp14-16, (株) 診断と治療社.
- 3) 福田いずみ, 杉原 仁：〔分担〕第5章 性腺 ターナー (Turner) 症候群. 難治性内分泌代謝疾患 Update (成瀬光栄, 平田結喜緒, 田辺晶代), 2015 ; pp101-103, (株) 診断と治療社.
- 4) 福田いずみ, 杉原 仁：〔分担〕第5章 性腺 クラインフェルター (Klinefelter) 症候群. 難治性内分泌代謝疾患 Update (成瀬光栄, 平田結喜緒, 田辺晶代), 2015 ; pp104-105, (株) 診断と治療社.
- 5) 杉原 仁：〔分担〕12 内分泌疾患 成長ホルモン (GH) 分泌不全症. 今日の治療指針 私はこう治療している (山口徹, 北原光夫, 福井次矢, 高木誠, 小室一成), 2016 ; pp799-799, (株) 医学書院.
- 6) 杉原 仁：〔分担〕内分泌疾患治療におけるドーピング禁止物質. 臨床 スポーツ医学 (赤間高雄), 2016 ; pp168-173, (株) 文光堂.
- 7) 福田いずみ：〔分担〕CASE 04 知人の医師に内分泌疾患を指摘され受診した64歳女性. 専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ 内分泌疾患 (肥塚直美), 2016 ; pp38-44, (株) 日本医事新報社.

学会発表

(1) 招待講演：

- 1) Oikawa S : Learning from the novel model of type 2 diabetes-transgenerational changes of metabolic phenotypes in two selectively bred mouse colonies. International Congress on Obesity and Metabolic Syndrome (43rd) (Seoul, Korea), 2015. 11.

(2) ワークショップ：

- 1) 周東佑樹, 原田太郎, 山口祐司, 山本友也, 小林俊介, 長峯朋子, 仲村優子, 守屋綾子, 服部奈緒美, 高谷磨紀代, 真山大輔, 長尾元嗣, 稲垣恭子, 及川眞一, 杉原 仁：糖尿病教育入院患者における起立性低血圧の頻度と特徴. 日本糖尿病合併症学会 (第30回) (名古屋), 2015. 11.

(3) 一般講演：

- 1) Kato S¹⁾, Nakazawa K¹⁾, Suzuki Y¹⁾, Asai A, Nagao M, Nagashima K²⁾, Oikawa S, Miyazawa T¹⁾ (1) Food Biodynamic Chemistry Laboratory, Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University, 2) The Cardiovascular Institute) : LC-MS/MS determination of phosphatidylcholine hydroperoxide isomers via promotion of sodium adduct formation. Asian Congress of Nutrition (12th) (横浜), 2015. 5.
- 2) Asai A, Nagao M, Sugihara H, Oikawa S : Spontaneous high fat diet overeating and body weight gain in selectively bred mice for diet-induced glucose intolerance : possible role of leptin. European Association for the Study of Diabetes Annual Meeting(51st) (Stockholm, Sweden), 2015. 9.
- 3) Oikawa S¹⁾, Nagao M, Inagaki TK, Sugihara H, Moritani S²⁾, Sasaki J³⁾, Kono S⁴⁾, Stream Study Investigators⁵⁾ (1) Fukujiji Hospital, 2) Moritani Clinic, 3) International University of Health and Welfare, 4) National Institute of Health and Nutrition, 5) STREAM Study Investigators) : Sitagliptin effect on lipid and glucose metabolism (SLIM study). European Association for the Study of Diabetes Annual Meeting (51st) (Stockholm, Sweden), 2015. 9.
- 4) Kodate A¹⁾, Nakagawa K¹⁾, Otoki Y¹⁾, Ito J¹⁾, Kato S, Kimura F¹⁾, Miyazawa T²⁾ (1) Food Biodynamic Chemistry Laboratory, Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University, 2) Food Biotechnology Innovation Project NICHe, Tohoku University) : Analysis of a glycated lipids present in milk powder. International Symposium on the Maillard Reaction (12th) (Tokyo), 2015. 9.
- 5) Kato M¹⁾, Hayasaka S¹⁾, Kimura F¹⁾, Nakagawa K¹⁾, Kato S, Miyazawa T²⁾ (1) Food Biodynamic Chemistry Laboratory, Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University, 2) Food Biotechnology Innovation Project NICHe, Tohoku University) : Anti-hypertensive effect of soy sauce in salt-sensitive hypersensitive rats. International symposium on the Maillard Reaction (12th) (Tokyo), 2015. 9.
- 6) 武市奈緒美, 浅井 明, 小林俊介, 長峯朋子, 高野綾子, 若栗稔子, 長尾元嗣, 原田太郎, 田村秀樹, 及川眞一, 杉原 仁：インスリンノーマにおける GHRP-2 試験の有用性の検討. 日本内分泌学会学術総会 (第88回) (東京), 2015. 4.
- 7) 大庭健史, 小林俊介, 長尾元嗣, 山本雅昭, 松野下夏樹¹⁾, 野津寛大¹⁾, 杉原 仁 (1) 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科) : 甲状腺中毒性周期性四肢麻痺を契機に Gitelman 症候群と診断された1例. 日本内分泌学会学術総会 (第88回) (東京), 2015. 4.
- 8) 大山健一¹⁾, 田原重志¹⁾, 服部祐次郎¹⁾, 杉原 仁, Prevedello MD²⁾, Carrau LR³⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 脳神経外科, 2) オハイオ州立大学 脳神経外科, 3) オハイオ州立大学 頭頸部外科) : 視交差後方頭蓋咽頭腫に対する経錐体法および内視鏡下経鼻手術法に関する解剖学的検討. 日本内分泌学会学術総会 (第88回) (東京), 2015. 4.
- 9) 長峯朋子, 浅井 明, 篠田 恵, 子島 順¹⁾, 田村秀樹, 杉原 仁 (1) 鶴見大学歯学部附属病院 内科) : GH・PRL・TSH 分泌不全を認めた抗 PIT-1 抗体症候群が疑われる1例. 日本内分泌学会学術総会 (第88回) (東京), 2015. 4.
- 10) 森谷茂樹¹⁾, 乙成孝俊²⁾, 原田太郎, 長尾元嗣, 稲垣 (谷村) 恭子, 杉原 仁, 及川眞一³⁾, 糖脂質代謝研究会⁴⁾ (1) 森谷医院, 2) 乙

- 成内科医院, ³⁾(財)結核予防会複十字病院 糖尿病・生活習慣病センター, ⁴⁾糖脂質代謝研究会): シタグリプチンの脂質代謝への影響: SLIM 研究から. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関市, 北九州市), 2015. 5.
- 11) 山口祐司, 真山大輔, 武市奈緒美, 長尾元嗣, 稲垣恭子, 中島 泰, 及川眞一, 杉原 仁: ミトコンドリア糖尿病の臨床像と診断. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関市, 北九州市), 2015. 5.
 - 12) 岡島史宜¹⁾, 江本直也¹⁾, 杉原 仁 (¹⁾日本医科大学千葉北総病院 内分泌内科): 強化インスリン療法患者への DPP-4 阻害薬追加投与の反応性予知に関する検討. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関市, 北九州市), 2015. 5.
 - 13) 高野綾子, 長尾元嗣, 小林俊介, 周東佑樹, 長峯朋子, 仲村優子, 武市奈緒美, 原田太郎, 稲垣恭子, 及川眞一, 杉原 仁: 原発性アルドステロン症の局在による糖代謝異常の出現機序について. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関市, 北九州市), 2015. 5.
 - 14) 長尾元嗣, 浅井 明, 真山大輔, 周東佑樹, 小林俊介, 杉原 仁, 及川眞一: 選抜交配により作成した新規糖尿病モデルマウスの摂食行動に関する解析. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関市, 北九州市), 2015. 5.
 - 15) 稲垣恭子, 首藤真理子, 篠田 恵, 山口祐司, 山本友也, 仲村優子, 小林俊介, 周東佑樹, 真山大輔, 長尾元嗣, 原田太郎, 及川眞一, 杉原 仁: 耐糖能異常者におけるスタチンとエゼチミブのアポ B48 への影響. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関市, 北九州市), 2015. 5.
 - 16) 小林俊介, 長尾元嗣, 原田太郎, 稲垣恭子, 及川眞一, 杉原 仁: 2 型糖尿病患者における心電図補正 QT 時間延長と臨床背景の検討. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関市, 北九州市), 2015. 5.
 - 17) 周東佑樹, 浅井 明, 長尾元嗣, 川原百代, 杉原 仁, 及川眞一: グルコース経口投与による血糖変動の繰り返しがマウスの動脈硬化化形成に及ぼす影響. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関市, 北九州市), 2015. 5.
 - 18) 仲村優子, 真山大輔, 長尾元嗣, 及川眞一, 杉原 仁: 2 型糖尿病患者におけるインスリン使用の有無による体重減少率とエネルギー消費量の検討. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関市, 北九州市), 2015. 5.
 - 19) 乙木百合香¹⁾, 加藤俊治, 仲川清隆¹⁾, 宮澤陽夫^{1, 2)} (¹⁾東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, ²⁾東北大学 未来科学技術共同研究センター): LC-MS/MS によるエタノールアミン型, コリン型プラズマローゲンの精密定量法の確立. 日本脂質生化学会 (第 57 回) (東京), 2015. 5.
 - 20) 仲川清隆¹⁾, 鈴木優里¹⁾, 加藤俊治, 舘脇直人²⁾, 永塚貴弘²⁾, 西田浩志²⁾, 宮澤陽夫^{1, 3)} (¹⁾東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, ²⁾新潟薬大 応用生命, ³⁾東北大学 未来科学技術共同研究センター): ヒト肝癌細胞における過酸化リン脂質 PCOOH の代謝と作用: PCOOH の作用へのビタミン E の影響. 日本ビタミン学会 (第 67 回) (奈良), 2015. 6.
 - 21) 周東佑樹, 浅井 明, 長尾元嗣, 川原百代, 杉原 仁, 及川眞一: metformin の抗動脈硬化作用に関する耐糖能異常モデルマウスを用いた検討. 日本動脈硬化学会 総会・学術集会 (第 47 回) (仙台), 2015. 7.
 - 22) 加藤俊治^{1, 2)}, 仲川清隆²⁾, 浅井 明^{1, 2)}, 長尾元嗣¹⁾, 永島和幸³⁾, 杉原 仁¹⁾, 及川眞一¹⁾, 宮澤陽夫^{2, 4)} (¹⁾日本医科大学 内分泌代謝, ²⁾東北大学農学研究科機能分子解析学, ³⁾心臓血管研究所附属病院, ⁴⁾東北大学未来科学技術研究センター): LC-MS/MS によるヒト血漿過酸化リン脂質異性体の解析. 日本動脈硬化学会 総会・学術集会 (第 47 回) (仙台), 2015. 7.
 - 23) 岡島史宜¹⁾, 江本直也¹⁾, 杉原 仁 (¹⁾日本医科大学千葉北総病院 内分泌内科): 2 型糖尿病患者における短期教育入院の脂質日内変動に対する影響に関する検討. 日本動脈硬化学会 総会・学術集会 (第 47 回) (仙台), 2015. 7.
 - 24) 稲垣恭子, 首藤真理子, 山口祐司, 仲村優子, 長峯朋子, 高野綾子, 周東佑樹, 小林俊介, 真山大輔, 長尾元嗣, 原田太郎, 及川眞一, 杉原 仁: 糖尿病を合併した家族性高コレステロール血症のアポ B48 濃度について. 日本動脈硬化学会 総会・学術集会 (第 47 回) (仙台), 2015. 7.
 - 25) 加藤俊治^{1, 2)}, 仲川清隆²⁾, 井関達也²⁾, 半澤康彦²⁾, 木村ふみ子²⁾, 宮澤陽夫^{2, 3)} (¹⁾日本医科大学大学院医内内分泌糖尿病代謝内科学, ²⁾東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, ³⁾東北大学 未来科学技術共同研究センター): 質量分析による油脂酸化劣化の評価法の開発. 日本過酸化脂質・抗酸化物質学会 (第 23 回) (仙台), 2015. 8.
 - 26) 伊藤隼哉¹⁾, 仲川清隆¹⁾, 加藤俊治¹⁾, 永井利治²⁾, 宮澤陽夫^{1, 3)} (¹⁾東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, ²⁾月島食品工業 (株), ³⁾東北大学 未来科学技術共同研究センター): 生体内の脂質過酸化機構の解明に向けた PCOOH の立体異性体解析. 日本過酸化脂質・抗酸化物質学会 (第 23 回) (仙台), 2015. 8.
 - 27) 加藤俊治^{1, 2)}, 仲川清隆²⁾, 井関達也²⁾, 木村ふみ子²⁾, 宮澤陽夫^{2, 3)} (¹⁾日本医科大学 内分泌代謝内科, ²⁾東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, ³⁾東北大学 未来科学技術共同研究センター): マヨネーズに含まれる極微量過酸化リン脂質の定量. 日本食品科学工学会 (第 62 回) (京都), 2015. 8.
 - 28) 周東佑樹¹⁾, 浅井 明^{1, 2)}, 長尾元嗣^{1, 2)}, 杉原 仁¹⁾, 及川眞一¹⁾ (¹⁾日本医科大学大学院医内内分泌糖尿病代謝内科学, ²⁾東北大学大学院農学研究科 食の健康科学ユニット): 新規耐糖能異常モデルマウスにおけるメトホルミンの抗動脈硬化作用. 日本過酸化脂質・抗酸化物質学会 (第 23 回) (仙台), 2015. 8.
 - 29) 加藤俊治^{1, 2)}, 仲川清隆²⁾, 井関達也²⁾, 木村ふみ子²⁾, 宮澤陽夫^{3, 4)} (¹⁾日本医科大学 内分泌代謝内科, ²⁾東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, ³⁾東北大学 未来科学技術共同研究センター, ⁴⁾東北大学大学院農学研究科 食の健康科学ユニット): 質量

- 分析を用いた油脂酸化劣化の新規評価法の開発. 日本油化学会 (第 54 回) (名古屋), 2015. 9.
- 30) 乙木百合香¹⁾, 仲川清隆¹⁾, 加藤俊治, 木村ふみ子¹⁾, 宮澤陽夫^{2,3)} (1) 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, 2) 東北大学 未来科学技術共同研究センター, 3) 東北大学大学院農学研究科 食の健康科学ユニット): LC-MS/MS によるコリン型及びエタノールアミン型プラズマローゲンの精密定量. 日本油化学会 (第 54 回) (名古屋), 2015. 9.
- 31) 伊藤隼哉¹⁾, 仲川清隆¹⁾, 加藤俊治, 永井利治²⁾, 宮澤陽夫^{3,4)} (1) 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, 2) 月島食品工業 (株), 3) 東北大学 未来科学技術共同研究センター, 4) 東北大学大学院農学研究科 食の健康科学ユニット): キラル HPLC-MS/MS を用いたホスファチルコリンヒドロペルオキシド (PCOOH) の立体異性体分離: 生体内の脂質過酸化機構の解明に向けて. 日本油化学会 (第 54 回) (名古屋), 2015. 9.
- 32) 仲川清隆¹⁾, 小舘 愛¹⁾, 乙木百合香¹⁾, 伊藤隼哉¹⁾, 加藤俊治, 木村ふみ子¹⁾, 宮澤陽夫^{2,3)} (1) 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, 2) 東北大学 未来科学技術共同研究センター, 3) 東北大学大学院農学研究科 食の健康科学ユニット): ナトリウムイオンの付加を利用した糖化脂質の新しい質量分析. 日本油化学会 (第 54 回) (名古屋), 2015. 9.
- 33) 宮澤陽夫^{1,2)}, 伊藤隼哉³⁾, 仲川清隆³⁾, 加藤俊治, 永井利治⁴⁾ (1) 東北大学大学院農学研究科 食の健康科学ユニット, 2) 東北大学 未来科学技術共同研究センター, 3) 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, 4) 月島食品工業 (株)): リン脂質ヒドロペルオキシド (PCOOH) 立体異性体の LC-MS/MS 分析. 脂溶性ビタミン総合研究委員会 (第 348 回) (東京), 2015. 9.
- 34) 長峯朋子¹⁾, 浅井 明²⁾, 高野綾子²⁾, 仲村優子²⁾, 武市奈緒美²⁾, 長尾元嗣²⁾, 田村秀樹^{2,3)}, 福田いずみ²⁾, 子島 順⁴⁾, 杉原 仁²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 内分泌内科, 2) 日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科, 3) 医療法人社団 田村医院, 4) 鶴見大学歯学部附属病院 内科): 悪性腫瘍を合併した抗 PIT-1 抗体症候群の 1 例. 日本神経内分泌学会 (第 42 回) 日本行動神経内分泌研究会 (第 23 回) 合同学術集会 (仙台), 2015. 9.
- 35) 仲村優子, 長尾元嗣, 山本友也, 小林俊介, 福田いずみ, 林 良敬¹⁾, 杉原 仁 (1) 名古屋大学環境医学部研究所発生・遺伝分野): 下垂体病変を伴った TSH 不適切分泌症候群 (SITSH) の 2 症例. 日本内分泌学会 関東甲信越支部学術集会 (第 16 回) (千葉市), 2015. 9.
- 36) 服部奈緒美^{1,2)}, 長峯朋子^{1,2)}, 岡島史宜^{1,2)}, 杉原 仁, 田中知明⁴⁾, 江本直也^{1,2)} (1) 日本医科大学千葉北総病院 内分泌内科, 2) 日本医科大学内分泌糖尿病代謝内科): 下垂体腫瘍を伴う不適切 TSH 分泌症候群の 1 例. 日本内分泌学会 関東甲信越支部学術集会 (第 16 回) (千葉市), 2015. 9.
- 37) 岡島史宜^{1,4)}, 石崎 晃²⁾, 服部奈緒美^{1,3)}, 長峯朋子^{1,4)}, 杉原 仁⁴⁾, 江本直也^{1,4)} (1) 日本医科大学千葉北総病院 内分泌内科, 2) 佐倉中央病院, 3) 伊藤病院, 4) 日本医科大学内分泌糖尿病代謝内科学): 診断および治療に難渋した下垂体炎の 1 例. 日本内分泌学会 関東甲信越支部学術集会 (第 16 回) (千葉市), 2015. 9.
- 38) 木下量介¹⁾, 服部奈緒美^{1,2)}, 長峯朋子^{1,2)}, 岡島史宜^{1,2)}, 杉原 仁^{1,2)}, 江本直也^{1,2)} (1) 日本医科大学千葉北総病院内分泌内科, 2) 日本医科大学内分泌糖尿病代謝内科): 低 Na 血症を伴う精神症状が主たる症状と考えられた下垂体性副腎皮質機能低下症の 1 例. 日本内分泌学会 関東甲信越支部学術集会 (第 16 回) (千葉市), 2015. 9.
- 39) 大庭健史, 五十嵐健人¹⁾, 杉谷 巖¹⁾, 周東佑樹, 守屋綾子, 仲村優子, 稲垣恭子, 長尾元嗣, 原田太郎, 福田いずみ, 杉原 仁 (1) 日本医科大学付属病院 内分泌外科): 治療方針に苦慮しているパラグングリオーマの 1 例. 日本内分泌学会 関東甲信越支部学術集会 (第 16 回) (千葉市), 2015. 9.
- 40) 長峯朋子^{1,2)}, 岡島史宜^{1,2)}, 小齊平聖治³⁾, 日野光紀³⁾, 杉原 仁²⁾, 江本直也^{1,2)} (1) 日本医科大学千葉北総病院 内分泌内科, 2) 日本医科大学内分泌糖尿病代謝内科学, 3) 日本医科大学千葉北総病院 呼吸器内科): 急激な血糖コントロール悪化を契機に診断した IgG4 関連疾患合併 2 型糖尿病の 1 例. 日本内分泌学会 関東甲信越支部学術集会 (第 16 回) (千葉市), 2015. 9.
- 41) 仲川清隆¹⁾, 伊藤隼哉¹⁾, 加藤俊治²⁾, 浅井 明³⁾, 木村ふみ子¹⁾, 宮澤陽夫^{3,4)} (1) 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, 2) 日本医科大学 糖尿病・内分泌代謝内科, 3) 東北大学大学院農学研究科 食の健康科学ユニット, 4) 東北大学 未来科学技術共同研究センター): リン脂質ヒドロペルオキシド幾何異性体・光学異性体の LC-MS/MS 分析. 日本食品分析学会平成 27 年度学術集会 (東京), 2015. 9.
- 42) 浅井 明^{1,2)}, 長尾元嗣^{2,3)}, 周東佑樹²⁾, 杉原 仁²⁾, 宮澤陽夫^{1,4)}, 及川眞一²⁾ (1) 東北大学大学院農学研究科 食の健康科学ユニット, 2) 日本医科大学大学院医内分泌糖尿病代謝内科学, 3) ルンド大学 糖尿病センター, 4) 東北大学 未来科学技術共同研究センター): 食後高血糖が動脈硬化巣形成に及ぼす影響: 新規耐糖能異常モデルマウスを用いた解析. 日本栄養・食糧学会東北支部 (第 49 回) 北海道支部 (第 45 回) 合同支部大会 (仙台), 2015. 10.
- 43) 伊藤隼哉¹⁾, 仲川清隆¹⁾, 加藤俊治, 永井利治²⁾, 宮澤陽夫^{1,3)} (1) 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, 2) 月島食品工業 (株), 3) 東北大学 未来科学技術共同研究センター): LC-MS/MS による過酸化リン脂質光学異性体の解析. 日本農芸化学会東北支部 (第 150 回) (仙台), 2015. 10.
- 44) 乙木百合香¹⁾, 仲川清隆¹⁾, 加藤俊治, 荒井敬行²⁾, 古川勝敏²⁾, 宮澤陽夫^{1,3)} (1) 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, 2) 東北大加齢研, 3) 東北大学 未来科学技術共同研究センター): LC-MS/MS によるコリン型及びエタノールアミン型プラズマローゲンの精密定量. 日本農芸化学会東北支部 (第 150 回) (仙台), 2015. 10.

- 45) 水落俊介¹⁾, 伊藤隼哉¹⁾, 加藤俊治, 仲川清隆¹⁾, 宮澤陽夫^{2, 3)} (1) 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, 2) 東北大学 未来科学技術共同研究センター, 3) 東北大学大学院農学研究科 食の健康科学ユニット): アラキドン酸型過酸化リン脂質の精密定量法の開発. 日本栄養・食糧学会東北支部 (第 49 回) 北海道支部 (第 45 回) 合同支部大会 (仙台), 2015. 10.
- 46) 大沼 諒¹⁾, 加藤俊治, 伊藤隼哉¹⁾, 仲川清隆¹⁾, 宮澤陽夫^{2, 3)} (1) 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, 2) 東北大学 未来科学技術共同研究センター, 3) 東北大学大学院農学研究科 食の健康科学ユニット): 化学発光検出-高速液体クロマトグラフによる β -カロテン酸化物の解析. 日本食品科学工学会平成 27 年度東北支部大会および市民フォーラム (弘前), 2015. 10.
- 47) 堤 正将¹⁾, 長峯朋子, 岡島史宜¹⁾, 杉原 仁, 江本直也¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 内分泌内科): 脳塞栓症を契機に見えられた甲状腺機能亢進症の 1 例. 日本甲状腺学会学術集会 (第 58 回) (福島市), 2015. 11.
- 48) 小林俊介, 服部奈緒美, 田原重志¹⁾, 柳原恵子²⁾, 田村秀樹, 福田いずみ, 杉原 仁 (1) 日本医科大学付属病院 脳神経外科, 2) 日本医科大学付属病院 乳腺科): SIADH で発症し経過中に尿崩症となった転移性下垂体腫瘍の 1 例. 臨床内分泌代謝 Update (第 25 回) (東京), 2015. 11.
- 49) 岡本彬美, 山本友也, 仲村優子, 山口祐司, 周東佑樹, 長峯朋子, 長尾元嗣, 福田いずみ, 杉原 仁: 無痛性甲状腺炎に副腎クリーゼを合併した ACTH 単独欠損症. 臨床内分泌代謝 Update (第 25 回) (東京), 2015. 11.
- 50) 長峯朋子, 岡島史宜¹⁾, 堤 正将¹⁾, 服部奈緒美²⁾, 江本直也¹⁾, 杉原 仁 (1) 日本医科大学千葉北総病院 内分泌内科, 2) 伊藤病院): 2 型糖尿病の治療中に低 K 血症をきたした Cushing 症候群の 1 例. 臨床内分泌代謝 Update (第 25 回) (東京), 2015. 11.
- 51) 浅井 明^{1, 2)} (1) 日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科, 2) 東北大学大学院農学研究科): 太る人と太らない人がいるのはなぜか: 新規モデルマウスの作出とその表現型解析からの考察. あしなが予防医学研究会 (第 4 回) (東京), 2015. 11.
- 52) 加藤俊治^{1, 2)}, 仲川清隆²⁾, 浅井 明^{1, 2)}, 長尾元嗣¹⁾, 永島和幸³⁾, 杉原 仁¹⁾, 及川眞一¹⁾, 宮澤陽夫⁴⁾ (1) 日本医科大学 内分泌代謝内科, 2) 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, 3) 心臓血管研究所 付属病院, 4) 東北大学 未来科学技術共同研究センター): LC-MS/MS による生体過酸化リン脂質異性体の解析. 日本分子生物学会年会 (第 38 回) 日本生化学会大会合同大会 (第 88 回) (神戸), 2015. 12.
- 53) 伊藤隼哉¹⁾, 仲川清隆¹⁾, 加藤俊治, 永井利治²⁾, 宮澤陽夫^{3, 4)} (1) 東北大学大学院農学研究科 機能分子解析学, 2) 月島食品工業 (株), 3) 東北大学 未来科学技術共同研究センター, 4) 東北大学大学院農学研究科 食の健康科学ユニット): キラル HPLC-MS/MS を用いた生体内リン脂質ヒドロペルオキシドの生成機構の解析. 日本分子生物学会年会 (第 38 回) 日本生化学会大会合同大会 (第 88 回) (神戸), 2015. 12.
- 54) 周東佑樹, 服部奈緒美, 長尾元嗣, 原田太郎, 稲垣恭子, 福田いずみ, 近藤俊輔¹⁾, 片上秀喜²⁾, 杉原 仁 (1) 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科, 2) 帝京大学ちば総合医療センター 内科臨床研究部): 糖尿病を契機に診断された膵神経内分泌癌による異所性 ACTH 症候群の 1 例. 日本糖尿病学会 関東甲信越地方会 (第 53 回) (横浜), 2016. 1.
- 55) 守屋綾子, 長尾元嗣, 小林俊介, 原田太郎, 稲垣恭子, 田村秀樹¹⁾, 福田いずみ, 及川眞一, 杉原 仁 (1) 医療法人社団 田村医院): 原発性アルドステロン症における糖代謝異常の機序と治療の効果についての検討. 日本糖尿病学会 関東甲信越地方会 (第 53 回) (横浜), 2016. 1.
- 56) 服部奈緒美, 真山大輔, 山口祐司, 長尾元嗣, 原田太郎, 稲垣恭子, 杉原 仁: 肥満を呈したミトコンドリア糖尿病の 1 例. 日本糖尿病学会 関東甲信越地方会 (第 53 回) (横浜), 2016. 1.
- 57) 稲垣恭子: 糖尿病における脂質異常症の管理. 置賜脂質動脈硬化懇話会 学術集会 (第 61 回) (米沢市), 2016. 1.

[武蔵小杉病院動脈硬化・糖尿病・内分泌内科]

研究概要

基礎研究においては、膵 β 細胞の小胞体ストレスを成長ホルモン (GH) が抑制することを解明した. X-Box binding protein -1 (XBP-1) は分子シャペロンやフォールディング酵素の発現を誘導して小胞体でのフォールディング能力を高め小胞体ストレスを軽減する. この XBP-1 を増加させることで GH は小胞体ストレスを抑制し、膵島の形態維持にも関与していることを、日本糖尿病学会で発表した. GH は海馬でも XBP-1 を介して、小胞体ストレスを軽減し、認知症の進行を抑制する可能性があり、現在研究中である. また肝臓におけるインスリン抵抗性と脂質代謝障害について研究を行っている. 臨床研究においては、免疫寛容を司る主要組織適合遺伝子複合体 (major histocompatibility) の一種である HLA-G の調節機構に胎盤性成長ホルモンがどのように関与しているか、さらにこの HLA-G が流産や早産、妊娠中や分娩後の自己免疫性甲状腺疾患の発症や増悪に関与しているかを研究している (武蔵小杉病院 産婦人科との共同研究). また妊娠糖尿病の血糖管理と胎児の予後についての検討を行った.

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Kobayashi K¹, Tanaka T¹, Okada S², Morimoto S³, Matsumura S⁴, Manio M⁴, Inoue K⁴, Kimura K⁵, Yagi T, Saito Y², Fushiki T⁴, Inoue H⁵, Matsumoto M⁶, Nabeshima Y⁷ (1) Laboratory of Molecular Life Science, Foundation for Biomedical Research and Innovation, (2) First Department of Internal Medicine, Nara Medical University, (3) Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, (4) Laboratory of Nutrition Chemistry, Graduate School of Agriculture, Kyoto University, (5) Department of Physiology and Metabolism, Brain/Liver Interface Medicine Research Center, College of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa, (6) Department of Molecular Metabolic Regulation, Diabetes Research Center, Research Institute, National Center for Global Health and Medicine, (7) 2Correspondence : Laboratory of Molecular Life Science, Foundation for Biomedical Research and Innovation) : Hepatocyte β -Klotho regulates lipid homeostasis but not body weight in mice. FASEB JOURNAL 2016 ; 30 (2) : 849-862.

(2) 総説：

- 1) 松本道宏¹, 酒井真志人¹, 八木 孝 (1) 国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター分子代謝制御研究部) : 肝での糖新生制御機構と薬物治療標的. Annual Review 2016 糖尿病・代謝・内分泌 21-29.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 清水楓由音¹, 八木 孝, 興水 学¹, 小林和陽¹, 小島 聖¹, 森本千秋¹, 石川真由美 (1) 武蔵小杉病院栄養科) : 栄養指導依頼の電子化. 日本病態栄養学会年次学術集会 (第 19 回) (横浜), 2016. 1.
- 2) 松本道宏¹, 早川智子¹, 酒井真志人¹, 山崎大介¹, 八木 孝, 矢野宏之¹, 満島 勝¹, 南 史朗², 春日雅人³ (1) 国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター分子代謝制御研究部, (2) 日本医科大学大学院生体機能制御学) : 転写調節分子 CITED2 は癌抑制遺伝子産物 Rb の不活化を介して前駆脂肪細胞の増殖を誘導し脂肪細胞分化を促進する. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関), 2015. 4.
- 3) 八木 孝, 酒井 真¹, 辻村知子¹, 山地大介¹, 矢野浩之¹, 満島 勝¹, 内田 亨², 長嶋洋治³, 南 史朗⁴, 春日雅人⁵, 松本道宏¹ (1) 国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部, (2) 兵庫大学健康科学部, (3) 東京女子医科大学病理診断科, (4) 先端医学研究所生体機能制御学, (5) 国立国際医療研究センター) : 肝臓特異的な脂肪酸合成酵素の欠損は ob/ob マウスの脂肪肝と耐糖能を改善するが随時高血糖を惹起する. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関), 2015. 4.
- 4) 石川真由美, 豊村順子¹, 田口雄亮², 中田朋子², 豊島由香², 南 史朗² (1) 日本歯科大学生命歯学部 NDU 生命科学講座, (2) 日本医科大学先端医学研究所 生体機能制御学) : 成長ホルモンによる膵 β 細胞の小胞体ストレスの抑制. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関), 2015. 5.
- 5) 村澤恒男¹, 石川真由美, 南 史朗² (1) 武蔵小杉病院腎臓内科, (2) 日本医科大学先端医学研究所 生体機能制御学) : 2 型糖尿病患者の alogliptin 無効例に対する sitagliptin 切り替え時の体重, 推算 GFR を含めた有効性・安全性の検討. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関), 2015. 5.
- 6) 岡本芳久¹, 石川真由美, 南 史朗², 水谷 聡³ (1) 横浜市立大学附属市民総合センター内分泌糖尿内科, (2) 日本医科大学先端医学研究所 生体機能制御学, (3) 武蔵小杉病院消化器病センター) : FDG-PET/CT が術前の腫瘍局在診断に有用であった膵インスリンノーマの 1 例. 日本内科学会関東地方会 (第 614 回) (東京), 2015. 5.
- 7) 松本道宏¹, 酒井真志人¹, 八木 孝 (1) 国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター分子代謝制御研究部) : 肝臓における糖代謝調節の分子機構. 肝臓と糖尿病・代謝研究会 (第 2 回) (下関), 2015. 5.
- 8) 石川真由美, 豊村順子¹, 田口雄亮², 中田朋子², 豊島由香², 南 史朗² (1) 日本歯科大学生命歯学部 NDU 生命科学講座, (2) 日本医科大学先端医学研究所 生体機能制御学) : 膵島の加齢変化における成長ホルモンの役割. 日本ヒト細胞学会 (第 33 回) (宮崎), 2015. 8.
- 9) 福永ヒトミ¹, 望月瑠美¹, 金子佳世¹, 大槻昌子, 八木 孝, 石川真由美, 南 史朗², 立山尚子³, 米山 剛³ (1) 武蔵小杉病院看護部, (2) 日本医科大学先端医学研究所 生体機能制御学, (3) 武蔵小杉病院女性診療科・産科) : 妊娠糖尿病の反復例における患者の意識についての検討. 日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会 (東京), 2015. 11.
- 10) 大槻昌子, 八木 孝, 南 史朗¹, 金城忠史², 田島廣之², 山崎有人³, 笹野公伸³, 石川真由美 (1) 日本医科大学先端医学研究所 生体機能制御学, (2) 血管内, (3) 東北大学大学院医学系研究科医科専攻病理病態学講座) : Subclinical-Cushing 症候群に合併した原発性アルドステロン症の 1 例. 臨床内分泌代謝 Update (第 25 回) (東京), 2015. 11.
- 11) 大槻昌子, 八木 孝, 南 史朗¹, 金城忠史², 田島廣之², 山崎有人³, 笹野公伸³, 石川真由美 (1) 日本医科大学先端医学研究所 生体機能制御学, (2) 武蔵小杉病院血管内・低浸透治療センター, (3) 東北大学大学院医学系研究科医科専攻病理病態学講座) : Subclin-

- ical-Cushing 症候群に合併した原発性アルドステロン症の 1 例. 臨床内分泌代謝 Update (第 25 回) (東京), 2015. 11.
- 12) 八木 孝, 辻村智子¹⁾, 酒井真志人¹⁾, 長嶋洋治⁴⁾, 松本道宏¹⁾, 矢野宏之¹⁾, 満島 勝¹⁾, 南 史朗²⁾, 春日雅人³⁾ (1) 国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター分子代謝制御研究部, 2) 日本医科大学大学院生体機能制御学, 3) 国立国際医療研究センター, 4) 東京女子医科大学 病理診断科): 脂肪肝合併 2 型糖尿病の病態における肝臓の脂肪酸合成酵素の役割の解明. 分子糖尿病シンポジウム (第 27 回) (東京), 2015. 12.
- 13) 八木 孝, 酒井真志人¹⁾, 辻村知子¹⁾, 矢野宏之¹⁾, 満島 勝¹⁾, 飯田 智¹⁾, 長沼孝雄¹⁾, 高峰英¹⁾, 長嶋洋二²⁾, 南 史朗³⁾, 春日雅人⁴⁾, 松本道宏¹⁾ (1) 国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部, 2) 東京女子医科大学病理診断科, 3) 日本医科大学先端医学研究所生体機能制御学部門, 4) 国立国際医療研究センター): 肝臓特異的な脂肪酸合成酵素の欠損は食餌誘導性非アルコール性脂肪肝炎の進展を抑制する. 日本病態栄養学会年次学術集会 (第 19 回) (横浜), 2016. 1.
- 14) 横関知子¹⁾, 田沼里衣子¹⁾, 小林佳弘²⁾, 佐々木悠人²⁾, 加藤知明³⁾, 森田圭介³⁾, 黒川美子⁴⁾, 鶴田由美子⁵⁾, 松村由紀子⁵⁾, 柴山ひとみ⁵⁾, 八木 孝, 眞鍋幸恵⁶⁾, 廣木とよ子⁵⁾, 磯山凱一⁶⁾, 井上宏司⁶⁾ (1) 医療法人葛会アイビークリニック 栄養科, 2) 医療法人葛会アイビークリニック リハビリテーション科, 3) 医療法人葛会アイビークリニック 診療放射線科, 4) 医療法人葛会アイビークリニック 薬剤部, 5) 医療法人葛会アイビークリニック 看護部, 6) 医療法人葛会アイビークリニック): 嚥下造影検査に多職種が参加することの有用性について. 日本病態栄養学会年次学術集会 (第 19 回) (横浜), 2016. 1.

[千葉北総病院内分泌内科]

研究概要

(内分泌内科) 平成 27 年度は昨年度から引き続き科学研究費助成金の交付を受けている研究テーマである「神経経済学的適応障害としての 2 型糖尿病の行動経済学的病態分析」を行っている. この研究は, 将来の健康を害することがわかっているにもかかわらず, 食事療法や運動療法あるいは薬物療法を遵守できない 2 型糖尿病患者の心理メカニズムを, 行動経済学的観点から解析することにより, 画期的な行動介入療法を考案しようとするものである. 分析の結果, 仮想的くじ購入に関して, 危険愛好的であるほど糖尿病の合併症が進行していること, 同じ糖尿病であっても 1 型と 2 型では神経経済学的に異なる疾患単位であり, 1 型と 2 型では危険回避行動において数値的な判断能力が異なることを英文論文とし Patient Preference and Adherence に報告した. またこの 1 型と 2 型の違いは質問設定を数値自由記入方式から選択方式にすると差がなくなることから, コントロールの悪い糖尿病患者に合理的な判断を導く方法があることを第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会 (2015 年 5 月下旬) で発表した. 2015 年には, さらに学歴や年収を含めた質問票を作成し, 1 型および 2 型糖尿病患者の行動経済学的特性に影響をおよぼす社会経済学的要因の分析を行っている. また糖尿病患者のインスリンとの併用療法における DPP-4 阻害薬追加投与の反応性予知に関する分析を行い, 第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会 (2015 年 5 月下旬) で報告した. またインスリン強化療法における脂質代謝に対する影響について第 47 回日本動脈硬化学会 (2015 年 7 月仙台) で報告した. その他, 内分泌疾患の症例について詳細な検討を行い, 日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会, 臨床内分泌代謝 update, 日本甲状腺学会で報告した.

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Emoto N, Okajima F, Sugihara H¹⁾, Goto R^{2, 3)} (1) Department of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 2) Hakubi Center of Advanced Research, Kyoto University, 3) Graduate School of Economics, Kyoto University): Behavioral economics survey of patients with type 1 and type 2 diabetes. Patient Preference and Adherence 2015; 9: 649-658.

著書

- 1) 江本直也: [分担] 処方箋の読み方・とらえ方「肥満」になると, なぜ糖尿病の発症リスクが高まるのか. 処方箋の教室 肥満糖尿病: Rp. レシピ, 2015; pp109-112, 南山堂.
- 2) 江本直也: [分担] 1 型および 2 型糖尿病の治療の進め方. 処方 Q & A 糖尿病 (龍野一郎, 佐々木秀久 編), 2015; pp2-15, 南山堂.
- 3) 岡島史宜: [共著] 1 型および 2 型糖尿病の治療の進め方. 処方 Q & A 糖尿病 (龍野一郎, 佐々木秀久編), 2015; pp16-23, 南山堂.

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) 岡島史宜, 江本直也, 杉原 仁¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院糖尿病・内分泌代謝内科): 強化インスリン療法患者への DPP-4 阻害薬追

- 加投与の反応性予知に関する検討. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (山口県下関市), 2015. 5.
- 2) 江本直也, 岡島史宜: 糖尿病患者の行動経済学的分析 (第 4 報): 質問設定による数学的危険回避選択への影響. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (山口県下関市), 2015. 5.
 - 3) 岡島史宜, 江本直也, 杉原 仁¹⁾ (1) 日本医科大学大学院内分泌糖尿病代謝学): 2 型糖尿病患者における短期教育入院の脂質日内変動に対する影響に関する検討. 日本動脈硬化学会総会学術会 (第 47 回) (仙台市), 2015. 7.
 - 4) 服部奈緒美^{1,2)}, 長峯朋子^{1,2)}, 岡島史宜¹⁾, 杉原 仁²⁾, 田中知明⁴⁾, 江本直也^{1,2)} (1) 日本医科大学千葉北総病院内分泌内科, 2) 日本医科大学内分泌糖尿病代謝内科学, 3) 伊藤病院, 4) 千葉大学大学院医学研究院細胞治療学科): 下垂体腫瘍を伴う不適切 TSH 分泌症候群の 1 例. 日本内分泌学会 (第 16 回) 関東甲信越支部学術集会 (千葉市), 2015. 9.
 - 5) 岡島史宜¹⁾, 石崎 晃²⁾, 服部奈緒美^{1,3)}, 長峯朋子^{1,4)}, 杉原 仁⁴⁾, 江本直也¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院内分泌内科, 2) 佐倉中央病院, 3) 伊藤病院, 4) 日本医科大学内分泌糖尿病代謝内科学): 診断および治療に難渋した下垂体炎の 1 例. 日本内分泌学会 (第 16 回) 関東甲信越支部学術集会 (千葉市), 2015. 9.
 - 6) 木下量介¹⁾, 服部奈緒美^{1,3)}, 長峯朋子^{1,2)}, 岡島史宜¹⁾, 杉原 仁²⁾, 江本直也¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院内分泌内科, 2) 日本医科大学内分泌糖尿病代謝内科学, 3) 伊藤病院): 低 Na 血症を伴う精神症状が主たる症状と考えられた下垂体性副腎皮質機能低下症の 1 例. 日本内分泌学会 (第 16 回) 関東甲信越支部学術集会 (千葉市), 2015. 9.
 - 7) 長峯朋子^{1,2)}, 岡島史宜¹⁾, 小齊平聖治³⁾, 日野光紀³⁾, 杉原 仁²⁾, 江本直也¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院内分泌内科, 2) 日本医科大学内分泌糖尿病代謝内科学, 3) 日本医科大学千葉北総病院呼吸器内科): 急激な血糖コントロール悪化を契機に診断した IgG4 関連疾患合併 2 型糖尿病の 1 例. 日本内分泌学会 (第 16 回) 関東甲信越支部学術集会 (千葉市), 2015. 9.
 - 8) 堤 正将¹⁾, 長峯朋子^{1,2)}, 岡島史宜¹⁾, 杉原 仁²⁾, 江本直也¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院内分泌内科, 2) 日本医科大学内分泌糖尿病代謝内科学): 脳塞栓症を機に発見された甲状腺機能亢進症の 1 例. 日本甲状腺学会学術集会 (第 58 回) (福島市), 2015. 11.
 - 9) 長峯朋子^{1,2)}, 岡島史宜¹⁾, 堤 正将¹⁾, 服部奈緒美^{1,3)}, 江本直也¹⁾, 杉原 仁²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院内分泌内科, 2) 日本医科大学内分泌糖尿病代謝内科学, 3) 伊藤病院): 2 型糖尿病の治療中に低 K 血症をきたした Cushing 症候群の 1 例. 臨床内分泌代謝 Update (第 25 回) (東京), 2015. 11.

8. 呼吸器内科学分野

[付属病院呼吸器内科, 化学療法科]

研究概要

癌：肺癌個別化治療に向け、抗癌剤感受性と遺伝子発現に基づくレジメン開発、第III世代EGFR-TKI、免疫チェックポイントを標的とする国際共同の新薬開発を含む臨床試験等を行っている。EGFR 遺伝子変異に基づいた gefitinib の多施設臨床試験は国際的に評価され、研究を継続している。nab-Paclitaxel の至適用量を検討する医師主導多施設共同臨床試験を開始した。IP 合併肺癌や薬剤性肺障害の研究では我国の中心的施設となっている。がん患者の臨床的意思決定支援を目指した研究も行っている。基礎研究は感受性、副作用予測研究を展開し、新たな併用療法や耐性予測等を含む新治療開発を進めている。肺癌の発癌、増殖に関わる研究を遺伝子や蛋白レベルで行ない、発癌母地として IIPs に注目し、特殊な発癌機構の理解と予防法の開発を目指す。炎症：炎症性肺疾患、感染症を中心に研究を展開。厚労省研究班を軸に間質性肺炎の病態研究、IIPs の治療研究を行っている。特に IPF 新規治療薬の開発・評価（ビルフェニドン、NAC、Nintedanib、PC-SOD、ほか）、疾患活動性と予後との関係は国際共同試験をリードする。また、稀少疾患であるびまん性肺疾患、サルコイドーシス、難治性気道病変の病態と治療研究、急性肺障害や薬剤性肺障害の国際比較、PMX 吸着療法の研究を推進（先進医療 B 施行）。基礎研究では肺障害、線維化病態を中心に、骨髄由来線維細胞、EMT、HSP、サーファクタント、メカニカルストレス、マクロライドの作用機序と新規化合物 EM900 の評価、IP の呼気凝集液を用いた分子病態の検討を行っている。呼吸ケア：COPD の基礎研究は医薬基盤研究所の助成を受け、阪大、理化研との共同で創薬を進めてきた。フコースを付加する酵素 Fut8 について、ヒト血清中の活性が COPD の病態に与える影響と遺伝子との関係について研究を進め、血清蛋白の糖鎖修飾の COPD バイオマーカーとしての可能性についても検討している。COPD 増悪のバイオマーカー開発で2つの特許を取得、増悪感受性に関連する遺伝子（SIGLECs など）、増悪検出のためのバイオマーカーの候補（IL27）について論文報告した。COPD のフェノタイプ（肺気腫など）に関する SNPs の研究を進めている。厚労科研究の助成により、在宅酸素療法患者の災害対策に対する公開講座を開催し、将来に備えた指針の作成を進めている。東京大学大学院工学系研究科と共同で医療システム関連の研究を行っている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Nishijima N, Seiko M, Soeno C, Chiba M, Miyanaga A, Noro R, Sugano T, Matsumoto M, Kubota K, Gemma A : miR-200/ZEB axis regulates sensitivity to nintedanib in non-small cell lung cancer cells. *Int J Oncol* 48 (3) : 937-944.
- 2) Matsumoto M, Seike M, Noro R, Soeno C, Sugano T, Takeuchi S, Miyanaga A, Kitamura K, Kubota K, Gemma A : Control of the MYC-eIF4E axis plus mTOR inhibitor treatment in small cell lung cancer. *BMC Cancer* 2015 ; 9 (15 (1)) : 241.
- 3) Takahashi A, Ishii G, Neri S, Yoshida T, Hashimoto H, Suzuki S, Umemura S, Matsumoto S, Yoh K, Niho S, Goto K, Ohmatsu H, Nagai K, Gemma A, Ohe Y, et al. : Podoplanin-expressing cancer-associated fibroblasts inhibit small cell lung cancer growth. *Oncotarget* 2015 ; 6 (11) : 9531-9541.
- 4) Ogura T, Taniguchi H, Azuma A, Inoue Y, Kondoh Y, Hasegawa Y, Bando M, Abe S, Mochizuki Y, Chida K, Klüglich M, Fujimoto T, Okazaki K, Tadayasu Y, Sakamoto W, et al. : Safety and pharmacokinetics of nintedanib and pirfenidone in idiopathic pulmonary fibrosis. *Eur Respir J*. 2015 ; 45 (5) : 1382-1392.
- 5) Horinouchi H, Yamamoto N, Fujiwara Y, Sekine I, Nokihara H, Kubota K, Kanda S, Yagishita S, Wakui H, Kitazono S, Mizukami H, Tokudome T, Tamuera T : Phase I study of ipilimumab in phased combination with paclitaxel and carboplatin in Japanese patients with non-small-cell lung cancer. *Invest New Drugs* 2015 ; 33 (4) : 881-889.
- 6) Miyanaga A, Masuda M, Tsuta K, Kawasaki K, Nakamura Y, Sakuma T, Asamura H, Gemma A, Yamada T : Hippo pathway gene mutations in malignant mesothelioma : revealed by RNA and targeted exon sequencing. *J Thorac Oncol* 2015 ; 10 (5) : 844-851.
- 7) Raghu G, Rochwerf B, Zhang Y, Garcia C, Azuma A, Behr J, Brozek J, Collard H, Cunningham W, Homma S, Johkoh T, Martinez F, Myers J, Protzko S, Richeldi L, et al. : An Official ATS/ERS/JRS/ALAT Clinical Practice Guideline : Treatment of Idiopathic Pulmonary Fibrosis. An Update of the 2011 Clinical Practice Guideline. *Am J Respir Crit Care Med* 2015 ; 192 (2) : e3-e19.
- 8) Kubota K, Sakai H, Katakami, Nishio M, Inoue A, Okamoto H, Isobe, Kunitoh H, Takiguchi Y, Kobayashi K, Nakamura Y, Ohmatsu H, Sugawara S, Minato K, Fukuda M, et al. : A randomized phase III trial of oral S-1 plus cisplatin versus docetaxel plus cisplatin in Japanese patients with advanced non-small-cell lung cancer : TCOG0701 CATS trial. *Ann Oncol*.

- 2015 ; 26 (7) : 1401-1408.
- 9) Miyauchi E, Inoue A, Kobayashi K, Maemondo M, Sugawara S, Oizumi S, Isobe H, Gemma A, Saijo Y, Yoshizawa H, Hagiwara K, Nukiwa T : Efficacy of chemotherapy after first-line gefitinib therapy in EGFR mutation-positive advanced non-small cell lung cancer-data from a randomized Phase III study comparing gefitinib with carboplatin plus paclitaxel (NEJ002). *Jpn J Clin Oncol.* 2015 ; 45 (7) : 670-676.
 - 10) Kokuho N, Ishii T, Kamio K, Hayashi H, Kurahara M, Hattori K, Motegi T, Azuma A, Gemma A, Kida K : Diagnostic Values For Club Cell Secretary Protein (CC16) in Serum of Patients of Combined Pulmonary Fibrosis and Emphysema. *COPD* 2015 ; 12 (4) : 347-254.
 - 11) Ogura T, Azuma A, Inoue Y, Taniguchi H, Chida K, Bando M, Niimi Y, Kakutani S, Suga M, Sugiyama Y, Kudoh S, Nukiwa T : All-case post-marketing surveillance of 1371 patients treated with pirfenidone for idiopathic pulmonary fibrosis. *Respiratory Investigation* 2015 ; 53 (5) : 232-241.
 - 12) Yokota T, Tachibana H, Konishi T, Yurikusa T, Hamauchi S, Sakai K, Nishikawa M, Suzuki M, Naganawa Y, Hagihara T, Tsumaki H, Kubo T, Sato M, Taguri M, Kubota K, et al. : Multicenter phase II study of an oral care program for patients with head and neck cancer receiving chemoradiotherapy. *Support Care Cancer* 2015.
 - 13) Saito H, Nomura K, Abe S, Motegi T, Ishii T, Hattori K, Kusunoki Y, Gemma A, Kida K : Long-term effects of gastrectomy in patients with spirometry-defined COPD and patients at risk of COPD : a case-control study. *Int J Chron Obstruct Pulmon Dis.* 2015 ; 10 : 2311-2318.
 - 14) Harano K, Yonemori K, Hirakawa A, Shimizu C, Katsumata N, Gemma A, Fujiwara Y, Tamura K : The influence of familial factors on the choice of the place of death for terminally ill breast cancer patients : a retrospective single-center study. *Breast Cancer.* 2015.
 - 15) Akaza H, Oya M, Iijima M, Hyodo I, Gemma A, Itoh H, Adachi M, Okayama Y, Sunaya T, Inuyama L : A large-scale prospective registration study of the safety and efficacy of sorafenib tosylate in unresectable or metastatic renal cell carcinoma in Japan : results of over 3200 consecutive cases in post-marketing all-patient surveillance. *Jpn J Clin Oncol.* 2015 ; 45 (10) : 953-962.
 - 16) Sugano T, Seike M, Noro R, Chiba M, Zou F, Nakamichi S, Nishijima N, Matsumoto M, Kubota K, Gemma A : Inhibition of ABCB1 Overcomes Cancer Stem Cell-like Properties and Acquired Resistance to MET inhibitor in Non-Small Cell Lung Cancer. *Mol Cancer Ther* 2015 ; 14 : 2433-2440.
 - 17) Miyazaki Y, Azuma A, Inase N, Taniguchi H, Ogura T, Inoue E, Takeuchi M, Yoshizawa Y, Sugiyama Y, Kudoh S : Cyclosporine A combined with low-dose corticosteroid treatment in patients with idiopathic pulmonary fibrosis. *Respir Investig* 2015 ; 53 (6) : 288-295.
 - 18) Taguchi Y, Ebina M, Hashimoto S, Ogura T, Azuma A, Taniguchi H, Kondoh Y, Suga M, Takahashi H, Nakata K, Sugiyama Y, Kudoh S, Nukiwa T : Efficacy of pirfenidone and disease severity of idiopathic pulmonary fibrosis : Extended analysis of phase III trial in Japan. *Respir Investig* 2015 ; 53 (6) : 279-287.
 - 19) Kondoh Y, Taniguchi H, Ebina M, Azuma A, Ogura T, Taguchi Y, Suga M, Takahashi H, Nakata K, Sugiyama Y, Kudoh S, Nukiwa T : Risk factors for acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis - Extended analysis of pirfenidone trial in Japan. *Respir Investig* 2015 ; 53 (6) : 271-278.
 - 20) Osawa M, Kudoh S, Sakai F, Endo M, Hamaguchi T, Ogino Y, Yoneoka M, Sakaguchi M, Nishimoto H, Gemma A : Clinical features and risk factors of panitumumab-induced interstitial lung disease : a postmarketing all-case surveillance study. *Int J Clin Oncol.* 2015 ; 20 (6) : 1063-1071.
 - 21) Yatagai Y, Hirota T, Sakamoto T, Yamada H, Masuko H, Kaneko Y, Iijima H, Naito T, Noguchi E, Tamari M, Kubo M, Takahashi A, Konno S, Makita H, Azuma A, et al. : Variants near the HLA complex group 22 gene (HCG22) confer increased susceptibility to late-onset asthma in Japanese populations. *Allergy Clin Immunol.* 2016 ; S0091-6749 (16) : 00024-00025.
 - 22) Costabel U, Inoue Y, Richeldi L, Collard H, Tschoepe I, Stowasser S, Azuma A : Efficacy of Nintedanib in Idiopathic Pulmonary Fibrosis across Prespecified Subgroups in INPULSIS. *Am J Respir Crit Care Med.* 2016 ; 193 (2) : 178-185.
 - 23) Kusunoki Y, Nakamura T, Hattori K, Motegi T, Ishii T, Gemma A, Kida K : Atrial and Ventricular Arrhythmia-Associated Factors in Stable Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease. *Respiration* 2016 ; 91 (1) : 34-42.
 - 24) Aotani E, Hamano T, Gemma A, Takeuchi M, Takebayashi T, Kobayashi K : Identification of adverse events that have a negative impact on quality of life in a clinical trial comparing docetaxel versus S-1 with cisplatin in lung cancer. *Int J Clin Oncol.* 2016.
 - 25) Furutate R, Ishii T, Motegi T, Hattori K, Kusunoki Y, Gemma A, Kida K : The Neutrophil to Lymphocyte Ratio Is Related to Disease Severity and Exacerbation in Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease. *Intern Med.* 2016 ; 55 (3) : 223-

- 26) Okano T, Seike M, Kuribayashi H, Soeno C, Ishi T, Kida K, Gemma A : Identification of haptoglobin peptide as a novel serum biomarker for lung squamous cell carcinoma by serum proteome and peptidome profiling. *Int J Oncol* 2016 ; 48 (3) : 945-952.
- 27) Nishijima N, Seike M, Soeno C, Chiba M, Miyanaga A, Noro R, Sugano T, Matsumoto M, Kubota K, Gemma A : miR-200/ZEB axis regulates sensitivity to nintedanib in non-small cell lung cancer cells. *Int J Oncol* 2016 ; 48 (3) : 937-944.
- 28) Bando M, Yamauchi H, Ogura T, Taniguchi H, Watanabe K, Azuma A, Homma S, Sugiyama Y : Clinical Experience of the Long-term Use of Pirfenidone for Idiopathic Pulmonary Fibrosis. *Intern Med* 2016 ; 55 (5) : 443-448.
- 29) Matsumoto M^{1,2)}, Nakajima W¹⁾, Masahiro S²⁾, Gemma A²⁾, Tanaka N¹⁾ (1) Department of Molecular Oncology, Institute for Advanced Medical Sciences, Nippon Medical School, 2) Department of Pulmonary Medicine and Oncology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Cisplatin-induced apoptosis in non-small-cell lung cancer cells is dependent on Bax- and Bak-induction pathway and synergistically activated by BH3-mimetic ABT-263 in p53 wild-type and mutant cells. *Biochemical and Biophysical Research Communications* 2016 ; 03 (053).
- 30) Kubota Y, Asai K, Murai K, Tsukada Y, Hayashi H, Saito Y, Azuma A, Gemma A, Shimizu W : COPD advances in left ventricular diastolic dysfunction. *Int J Chron Obstruct Pulmon Dis.* 2016 ; 29 (11) : 649-655.
- 31) 柏田 建, 吾妻安良太 : 【間質性肺炎の臨床 up-to-date】 特発性肺線維症 特発性間質性肺炎の定義とその根拠を教えてください. *Modern Physician* 2015 ; 35 (6) : 730-733.
- (2) 総説 :
- 1) Inomata M, Nishioka Y, Azuma A : Nintedanib : evidence for its therapeutic potential in idiopathic pulmonary fibrosis. *Core Evid* 2015 ; 27 (10) : 89-98.
- 2) 清家正博 : EMT による耐性克服と創薬. *呼吸と循環* 2015 ; 63 (6) : 555-560.
- 3) 齋藤好信 : 【いまさら聞けない! 泌尿器がん化学療法の理論と実践】 がん化学療法の副作用対策 肺毒性と他科連携. *臨床泌尿器科* 2015 ; 69 (12) : 1030-1034.
- 4) 久保田馨 : いまさら聞けない! 泌尿器がん化学療法の理論と実践. *臨床泌尿器科* 2015 ; 69 (12) : 997-997.
- 5) 猪俣 稔, 西岡安彦, 吾妻安良太 : 特発性肺線維症における nintedanib. *呼吸と循環* 2016 ; 64 (1) : 83-88.
- (3) 症例報告 :
- 1) Fukuizumi A, Miyanaga A, Seike M, Kato Y, Nakamichi S, Chubachi K, Matsumoto M, Noro R, Minegishi Y, Kunugi S, Kubota K, Gemma A : Effective Crizotinib schedule for an elderly patient with ALK rearranged non-small-cell lung cancer. *BMC Res Notes* 2015 ; 23 (8 (1)) : 165.
- 2) Fukuizumi A, Miyanaga A, Seike M, Kato Y, Nakamichi S, Chubachi K, Matsumoto M, Noro R, Minegishi Y, Kunugi S, Kubota K, Gemma A : Effective Crizotinib schedule for an elderly patient with ALK rearranged non-small-cell lung cancer : a case report. *BMC Res Notes* 2015 ; 8 : 165.
- 3) 渥美健一郎¹⁾, 峯岸裕司¹⁾, 高野夏希¹⁾, 大森美和子¹⁾, 齋藤好信¹⁾, 清家正博¹⁾, 吾妻安良太¹⁾, 弦間昭彦¹⁾ (1) 日本医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学分野) : Crizotinib-induced severe ulcerative esophagitis three years after chemoradiotherapy. *International Cancer Conference Journal* 2015 ; 4 (4) : 221-224.
- 4) Satoh E, Nei T, Kuzu S, Chubachi K, Nojima D, Taniuchi N, Yamano Y, Gemma A : Acute Lung Injury Accompanying Alveolar Hemorrhage Associated with Flu Vaccination in the Elderly. *Intern Med.* 2015 ; 54 (24) : 3193-3196.
- 5) Kuse N, Abe S, Kuribayashi H, Inomata M, Saito H, Fukuda Y, Gemma A : A case of vildagliptin-induced interstitial pneumonia. *Respir Med Case Rep.* 2016 ; (18) : 10-13.
- 6) Hisakane K, Saruwatari K, Fujii S, Kirita K, Umemura S, Matsumoto S, Yoh K, Niho S, Ohmatsu H, Kuwata T, Ochiai A, Gemma A, Tsuboi M, Goto K, Ishii G : Unique intravascular tumor microenvironment predicting recurrence of lung squamous cell carcinoma. *J Cancer Res Clin Oncol.* 2016 ; 142 (3) : 593-600.
- 7) 山口朋禎¹⁾, 嶋原祥太²⁾, 板倉潮人¹⁾, 本郷公英¹⁾, 木下賀央里¹⁾, 春原沙織¹⁾, 佐藤純平¹⁾, 白杵二郎¹⁾, 佐藤直樹²⁾, 弦間昭彦 (1) 武蔵小杉病院呼吸器内科, 2) 武蔵小杉病院循環器内科) : 集団発生したオウム病の1例. *日本内科学会雑誌* 2015 ; 104 (8) : 1639-1645.
- (4) 会議録 :
- 1) 阿曾亮子, 大西弘高, 藤倉輝道, 吾妻安良太 : 参加型臨床実習 (clinical clerkship : CC) 中の医学生は臨床前の SP と医療面接実習をどう振り返るか. *医学教育* 2015 ; 46 (Suppl) : 111.
- (5) 解説/特集 :
- 1) 林 宏紀, 吾妻安良太 : 【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】 (第1章) 呼吸器 特発性間質性肺炎. *内科* 2015 ; 115 (6) : 899-902.
- 2) 武内 進, 吾妻安良太 : 【いま知っておきたい! 内科最新トピックス】 (第1章) 呼吸器 新たな分子標的薬による薬剤性肺障害を知

る. 2015 ; 116 (6) : 975-979.

- 3) 林 宏紀, 吾妻安良太:【ここまで進んだ! びまん性肺疾患の診断と治療】びまん性肺疾患 最近の診断・治療の進歩. 内科 2016 ; 117 (2) : 185-190.

著 書

- 1) 清家正博:〔分担〕扁平上皮癌. 新呼吸器専門医テキスト (日本呼吸器学会), 2015 ; pp448-450, 南江堂.
- 2) 林 宏紀, 吾妻安良太:〔共著〕【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】(第1章)呼吸器 特発性間質性肺炎. 内科, 2015 ; pp899-902.
- 3) 林 宏紀, 吾妻安良太:〔自著〕【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】(第1章)呼吸器 特発性間質性肺炎. 内科, 2015 ; pp899-902.
- 4) 清家正博:〔分担〕CBDCA based regimens. 肺癌化学療法レジメン実践と工夫 第2版 (弦間昭彦), 2015 ; pp43-61, 中外医学社.
- 5) 清家正博:〔分担〕分子生物学的解析のための試料採取上の注意点とは何か?. EBM呼吸器疾患の治療 2016-2017 (永井 厚志), 2015 ; pp377-380, 中外医学社.
- 6) 清家正博:〔分担〕ALK 阻害剤とバイオマーカーの特殊な事情とは何か?. EBM呼吸器疾患の治療 2016-2017 (永井 厚志), 2015 ; pp430-434, 中外医学社.
- 7) 久保田馨, et al. :〔共著〕小細胞肺癌の標準化学療法. 肺癌化学療法レジメン 実践と工夫 第2版 (弦間昭彦), 2015 ; pp14-21, 中外医学社.
- 8) 久保田馨, et al. :〔共著〕肺癌, 悪性胸膜中皮腫. What's New Oncology 3rd Edition, 2015 ; pp310-399, 南山堂.
- 9) 清家正博:〔分担〕肺癌における効果的なEGFR-TKI併用療法. Annual Review 2016 呼吸器 (永井厚志, 巽浩一郎, 桑野和善, 弦間昭彦), 2015 ; pp227-234, 中外医学社.
- 10) 清家正博:〔分担〕microRNA 研究と癌診療. 呼吸器疾患の最新の治療 2016-2018 (杉山幸比古, 門田淳一, 弦間昭彦), 2016 ; pp5-9, 南江堂.
- 11) 久保田馨, et al. :〔共著〕極限型小細胞肺癌に対する恭順治療はシスプラチン+エトポシドと加速過分割胸部放射線治療(AHTRT)か?. EBMがん化学療法・分子標的治療法 2016 - 2017 (西條長宏監修), 2016 ; pp295-299, 中外医学社.
- 12) 柏田 建, 吾妻安良太:〔自著〕【間質性肺炎の臨床 up-to-date】特発性肺線維症 特発性間質性肺炎の定義とその根拠を教えてください (解説/特集). Modern Physician (0913-7963) 35 巻 6 号, 2015 ; pp730-733.
- 13) 藤田和恵¹⁾, 吾妻安良太¹⁾ (1) 日本医科大学 呼吸器内科:〔分担〕慢性気道感染症とマクロライド系薬. びまん性汎細気管支炎におけるマクロライド系薬のエビデンス. マクロライド系薬の新しい使い方 (門田 淳一), 2015 ; pp25-33, 南江堂.
- 14) 武内 進, 弦間昭彦:〔共著〕特集 外来で出会う呼吸器 common 疾患 肺癌:外来化学療法と緩和医療. medicina, 2015 ; pp1579-1583, 医学書院.
- 15) 宮永晃彦, 弦間昭彦:〔自著〕がん分子標的薬の臨床 (5) 血管新生抑制と分子標的治療. 固形がんの分子標的薬, 2015 ; pp1336-1341, 日本臨牀.
- 16) 武内 進, 吾妻安良太:〔共著〕いま知っておきたい! 内科最新トピックス 新たな分子標的薬による薬剤性肺障害を知る. 内科:臨床雑誌, 2015 ; pp975-979, 南江堂.
- 17) 久保田馨, その他 121 名:〔共著〕最近, 小細胞肺癌治療の領域にエビデンスは加わっているか?. EBM呼吸器疾患の治療 (2016-2017) (永井厚志・一ノ瀬正和・井上義一・館田一博・弦間昭彦), 2016 ; pp454-457, 中外医学社.
- 18) 渥美健一郎¹⁾, 吾妻安良太¹⁾ (1) 日本医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学分野:〔分担〕呼吸器疾患 6. 間質性肺炎 (特発性・膠原病性・薬剤性). 日常臨床に活かす診療ガイドライン UP-TO-DATE (門脇孝・小室一成・宮地良樹), 2016 ; pp105-112, メディカルレビュー社.
- 19) 渥美健一郎¹⁾, 吾妻安良太¹⁾ (1) 日本医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学分野:〔分担〕III呼吸器疾患の治療手技 5. 抗炎症・免疫抑制薬 (マクロライドも含む). 呼吸器疾患 最新の治療 2016-2018 (杉山幸比古・門田淳一・弦間昭彦), 2016 ; pp82-87, 南江堂.

学会発表

(1) 特別講演:

- 1) 武内 進: そうだ, がん診療の専門家と会ってみよう 肺がんの概要. 日本肺癌学会学術集会 (第56回) (パシフィコ横浜), 2015. 11.
- 2) 宮永晃彦: そうだ, がん診療の専門家と会ってみよう 薬物療法の副作用対策とケア. 日本肺癌学会学術集会 (第56回) (パシフィコ横浜), 2015. 11.

(2) シンポジウム：

- 1) Azuma A, Johkoh T, Jae-Woo Song : core session5 : Interstitial Lung Disease Lecture Oral Presentation. Moderator. 第1回アジア・オセアニア呼吸機能イメージングワークショップ/第8回呼吸機能イメージング研究会学術集会 (兵庫県立淡路夢舞台国際会議場), 2016. 1.
- 2) 清家正博：EGFR-TKIの併用療法. 日本呼吸器学会学術講演会 (第55回) (東京都), 2015. 4.
- 3) 清家正博：肺癌の遺伝子異常と治療の個別化. 日本呼吸器学会学術講演会 (第55回) (東京都), 2015. 4.
- 4) 清家正博：肺癌におけるMET阻害剤耐性メカニズム. 日本臨床プロテオーム研究会 (第11回) (東京都), 2015. 5.

(3) パネルディスカッション：

- 1) 猪俣 稔¹⁾, 長山美貴恵¹⁾, 渥美健一郎¹⁾, 林 宏紀¹⁾, 峯岸裕司¹⁾, 藤田和恵¹⁾, 齋藤好信¹⁾, 清家正博¹⁾, 弦間昭彦¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学分野) : 悪性リンパ腫の肺病変と化学療法中に合併した肺クリプトコッカス症の診断に気管支鏡検査が有用であった1例. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第38回) (東京), 2015. 6.
- 2) 武内 進, 清家正博, 峯岸裕司, 久保田馨, 弦間昭彦 : 間質性肺疾患を合併したEGFR陽性肺腺癌の1例. 日本肺癌学会学術集会 (第56回) (パシフィコ横浜), 2015. 11.

(4) セミナー：

- 1) 齋藤好信：mTOR阻害剤投与時の間質性肺疾患について. 日本呼吸器学会学術講演会 (第55回) (東京都), 2015. 4.
- 2) 清家正博：個別化治療と検体採取. 気管支鏡セミナー (第27回) (東京都), 2015. 6.

(5) ワークショップ：

- 1) 菅野哲平, 清家正博, 野呂林太郎, 武内 進, 宮永晃彦, 久保田馨, 弦間昭彦 : 非小細胞肺癌のMET阻害剤耐性機序における癌幹細胞とEMT. 日本肺癌学会学術集会 (第56回) (横浜), 2015. 11.
- 2) 渥美健一郎¹⁾, 峯岸裕司¹⁾, 高橋彬彦¹⁾, 佐藤陽三¹⁾, 小林研一¹⁾, 高橋明子¹⁾, 武内 進¹⁾, 宮永晃彦¹⁾, 水谷英明¹⁾, 齋藤好信¹⁾, 清家正博¹⁾, 久保田馨¹⁾, 弦間昭彦¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学分野) : 特発性間質性肺炎合併進行非小細胞肺癌に対するカルボプラチン+パクリタキセル療法の認容性試験. 日本肺癌学会学術集会 (第56回) (横浜), 2015. 11.

(6) ポスター：

- 1) Kurotsu S, Tanaka K, Azuma A, Mizushima T : Protective and Therapeutic Effects of Lecithinized Superoxide Dismutase and/or Pirfenidone Against Bleomycin-Induced Pulmonary Fibrosis and Lung Function in Mice. ATS2015 (Denver), 2015. 5.
- 2) Maher T, Cottin V, Azuma A, Groves L, Hormel P, Sköld M, Tomassetti S, Kosche D : idiopathic pulmonary fibrosis boldly goes where no disease has gone before : P12 Pirfenidone post-authorisation safety registry (PASSPORT) -update and concomitant use of N-acetylcysteine and/or corticosteroids. BTS2015 (London), 2015. 12.

(7) 一般講演：

- 1) Sugano T, Seike M, Noro R, Soeno C, Chiba M, Nakamichi S, Nishijima N, Matsumoto M, Miyanaga A, Kubota K, Gemma A : Inhibition of ABCB1 Overcomes Cancer Stem Cell-like Properties and Acquired Resistance to MET inhibitor in Non-Small Cell Lung Cancer. AACR Annual Meeting 2015 (Philadelphia), 2015. 4.
- 2) Miyanaga A, Seike M, Yamamoto K, Soeno C, Noro R, Kubota K, Gemma A : miR-379/411 cluster regulates IL-18 and contributes to drug resistance in malignant pleural mesothelioma. AACR Annual Meeting 2015 (Philadelphia), 2015. 4.
- 3) Okuda R¹⁾, Mano Y¹⁾, Fujita K²⁾, Takoi H²⁾, Saito Y²⁾, Gemma A²⁾, Furuya N¹⁾ (¹⁾ Bunkyo Gakuin University, ²⁾ Nippon Medical School) : Decontamination of Laundry with Slightly Acidic Electrolyzed (SAE) Water : Simple, Safe, and Effective Bactericidal Medium against Healthcare-associated Pathogens. The 55th Interscience Conference on Antimicrobial Agents and Chemotherapy (San Diego, California, USA), 2015. 9.
- 4) Gorai M¹⁾, Fujita K²⁾, Aoki W¹⁾, Mano Y¹⁾, Hayashi H²⁾, Takoi H²⁾, Saito Y²⁾, Gemma A²⁾, Furuya N¹⁾ (¹⁾ Bunkyo Gakuin University, ²⁾ Nippon Medical School) : Hypervirulent *Klebsiella pneumoniae* May Indicate an Increasing Propensity for the Acquisition of Antimicrobial Resistance. The 55th Interscience Conference on Antimicrobial Agents and Chemotherapy (San Diego, California, Unites States), 2015. 9.
- 5) Fujita K¹⁾, Narita K¹⁾, Hayashi H¹⁾, Saito Y¹⁾, Seike M¹⁾, Azuma A¹⁾, Gemma A¹⁾ (¹⁾ Nippon Medical School) : Potential Impact of 18F-FDG PET/CT on Lung and Extrapulmonary Tuberculosis Diagnosis in Japan, Middle Incidence TB Country. The 55th Interscience Conference on Antimicrobial Agents and Chemotherapy (San Diego, California, Unites States), 2015. 9.
- 6) Cottin V, Maher T, Azuma A, Groves L, Hormel P, Skold M, Tomassetti S, Koschel D : Pirfenidone post-authorization safety registry (PASSPORT) -update and concomitant use of ZAC and/or corticosteroids.. CHEST 2015 (Montréal, Canada), 2015. 10.
- 7) Iwata T, Yoshino I, Yoshida S, Ikeda N, Tsuboi M, Asato Y, Katakami N, Yamashita Y, Sakamoto K, Azuma A, Iwasawa T, Kuwano K, Sakai S, Hiroshima K, Fukuoka J, et al. : Effect of Perioperative Pirfenidone Treatment in Lung Cancer Patients

- With Idiopathic Pulmonary Fibrosis (West Japan Oncology Group 6711L) : A Phase II Study. CHEST 2015 (Montréal, Canada), 2015. 10.
- 8) Tanaka T, Fujita K, Hayashi H, Atumi K, Saito Y, Azuma A, Gemma A : Clinical Impact of Endobronchial Watanabe Spigot (EWS) Treatment for Prolonged Air Leaks of the Severe Lung Diseases. 日本呼吸器学会学術講演会 (第 55 回) (東京), 2015. 4.
 - 9) 清家正博 : 肺癌の薬剤耐性における癌幹細胞と EMT. 戦略的研究基盤形成支援事業シンポジウム (東京都), 2015. 6.
 - 10) 青山純一¹⁾, 藤田和恵¹⁾, 林 宏紀¹⁾, 柏田 建¹⁾, 中道真仁¹⁾, 齋藤好信¹⁾, 清家正博¹⁾, 弦間昭彦¹⁾ (1) 日本医科大学 呼吸器内科) : 肺癌術後の残存肺に肺 Aspergillus 症と非結核性抗酸菌症を合併し, 呼吸器内視鏡が診断に有用であった 1 例. 日本呼吸器内視鏡学会学術総会 (第 38 回) (東京), 2015. 6.
 - 11) 五来美里¹⁾, 藤田和恵²⁾, 眞野容子¹⁾, 齋藤好信²⁾, 弦間昭彦²⁾, 古谷信彦¹⁾ (1) 文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科, 2) 日本医科大学 呼吸器内科) : 過粘稠性肺炎桿菌の治療に関する基礎的検討. 日本化学療法学会学術総会 (第 63 回) (東京), 2015. 6.
 - 12) 野澤洋祐¹⁾, 眞野容子¹⁾, 藤田和恵²⁾, 齋藤好信²⁾, 弦間昭彦²⁾, 古谷信彦¹⁾ (1) 文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科, 2) 日本医科大学 呼吸器内科) : 多剤耐性緑膿菌の Swimming, Swarming および Twitching motility に関する検討. 日本化学療法学会学術総会 (第 62 回) (東京), 2015. 6.
 - 13) 田中 徹, 藤田和恵, 林 宏紀, 国保成暁, 齋藤好信, 弦間昭彦 : 重症肺疾患を背景とした遷延性気漏に対する Endobronchial Watanabe Spigot を用いた気管支充填術の有用性. 日本呼吸器内視鏡学会学術総会 (第 38 回) (東京都), 2015. 6.
 - 14) 高橋彬彦, 峯岸裕司, 小林研一, 渥美健一郎, 弦間昭彦, 清家正博, 吾妻安良太, 久保田馨 : タルクによる胸膜癒着術施行後に肺障害を起こした 2 例. 日本肺癌学会関東支部会 (第 173 回) (東京都), 2015. 7.
 - 15) 藤田和恵¹⁾, 青木 渉²⁾, 三上愛里²⁾, 野澤洋祐²⁾, 眞野容子²⁾, 古谷信彦²⁾, 齋藤好信¹⁾, 弦間昭彦¹⁾, 吾妻安良太¹⁾ (1) 日本医科大学 呼吸器内科, 2) 文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科) : 長期クラリスロマイシン療法中の慢性気道感染症患者から分離された緑膿菌に対するクラリスロマイシンの効果の検討. マクロライド新作用研究会 (第 22 回) (東京), 2015. 7.
 - 16) 高橋彬彦, 峯岸裕司, 小林研一, 渥美健一郎, 弦間昭彦, 吾妻安良太, 久保田馨 : タルクによる胸膜癒着術施行後に肺障害を起こした 2 症例. 日本肺癌学会関東支部会 (第 173 回) (TFT ビル西館 HALL500 (江東区有明)), 2015. 7.
 - 17) 武内 進, 宮 敏路, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : 中等度催吐性抗悪性腫瘍薬投与における Paronosetron+Aprepitant+Dexamethesone 療法. 日本癌治療学会学術集会 (第 53 回) (国立京都国際会館), 2015. 10.
 - 18) 水谷英明, 峯岸裕司, 高橋彬彦, 佐藤陽三, 渥美健一郎, 高橋明子, 武内 進, 宮永晃彦, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : 75 歳以上 EGFR 遺伝子変異陽性患者に対する Afatinib の使用成績. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (横浜), 2015. 11.
 - 19) 中鉢久実, 海原純子, 高橋明子, 中道真仁, 武内 進, 松本 優, 宮永晃彦, 水谷英明, 山本和男, 峯岸裕司, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : がん患者の治療選択における意志決定支援ツールの開発と実施可能性の検討. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (横浜), 2015. 11.
 - 20) 佐藤陽三¹⁾, 峯岸裕司¹⁾, 高橋彬彦¹⁾, 小林研一¹⁾, 高橋明子¹⁾, 渥美健一郎¹⁾, 武内 進¹⁾, 宮永晃彦¹⁾, 水谷英明¹⁾, 山本和男¹⁾, 清家正博¹⁾, 久保田馨¹⁾, 弦間昭彦¹⁾ (1) 日本医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学分野) : 80 歳以上超高齢者肺癌症例の治療方針決定に影響を与える因子の検討. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (横浜), 2015. 11.
 - 21) 小林研一¹⁾, 清家正博¹⁾, 佐藤陽三¹⁾, 高橋明子¹⁾, 渥美健一郎¹⁾, 武内 進¹⁾, 宮永晃彦¹⁾, 水谷英明¹⁾, 峯岸裕司¹⁾, 山本和男¹⁾, 久保田馨¹⁾, 弦間昭彦¹⁾ (1) 日本医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学分野) : 当院における癌性胸膜炎に対する滅菌調整タルクと OK-432 による胸膜癒着術の後方視的検討. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (横浜), 2015. 11.
 - 22) 青山純一¹⁾, 峯岸裕司¹⁾, 佐藤陽三¹⁾, 小林研一¹⁾, 高橋明子¹⁾, 中道真仁¹⁾, 武内 進¹⁾, 宮永晃彦¹⁾, 水谷英明¹⁾, 山本和男¹⁾, 清家正博¹⁾, 久保田馨¹⁾, 吾妻安良太¹⁾, 弦間昭彦¹⁾ (1) 日本医科大学 呼吸器内科) : 間質性肺炎合併非小細胞肺癌に対する nab-Paclitaxel の安全性と有効性の後方視的検討. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (横浜), 2015. 11.
 - 23) 三山江穂, 林 宏紀, 中山幸治, 柏田 建, 國保成暁, 藤田和恵, 齋藤好信, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : 亜急性に進行した呼吸不全を伴うサルコイドーシスの 1 例. 日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 (第 154 回) (東京都), 2015. 12.
 - 24) 後藤 瞳, 水谷英明, 蛸井浩行, 武内 進, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦 : Gefitinib と Warfarin により凝固異常を伴う消化管出血を呈した肺腺癌の 1 例. 日本肺癌学会関東支部会 (第 174 回) (東京都), 2015. 12.
 - 25) 内藤智之¹⁾, 藤田和恵¹⁾, 小林由美子¹⁾, 中道真仁¹⁾, 齋藤好信¹⁾, 清家正博¹⁾, 久保田馨¹⁾, 弦間昭彦¹⁾ (1) 日本医科大学 呼吸器内科) : 膀胱癌に対する BCG 膀胱内注入療法後に播種性 BCG 感染症を発症した 1 例. 日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 (第 155 回) (東京), 2015. 12.
 - 26) 佐藤純平¹⁾, 山口朋禎¹⁾, 岡本淳一²⁾, 春原沙織¹⁾, 西島伸彦¹⁾, 板倉潮人¹⁾, 神尾孝一郎¹⁾, 窪倉浩俊²⁾, 白杵二郎¹⁾, 弦間昭彦 (1) 武蔵小杉病院呼吸器内科, 2) 武蔵小杉病院呼吸器外科) : 胸腔鏡を併用し EWS 挿入に成功した有癭性膿胸の 1 例. 日本呼吸器学会関東地方会 (東京), 2016. 2.

27) 中山幸治, 峯岸裕司, 小林研一, 渥美健一郎, 清家正博, 久保田馨, 弦間昭彦: 2次化学療法としてカルボプラチン+パクリタキセルが有効であった特発性間質性肺炎合併小細胞癌の1例. 日本肺癌学会関東支部会(第175回)(東京都), 2016. 3.

(8) ポスター発表:

- 1) 内藤智之¹⁾, 松田正典²⁾, 酒井 瞳²⁾, 門倉玄武²⁾, 勝俣範之²⁾ (1) 日本医科大学付属病院 呼吸器内科, 2) 日本医科大学 武蔵小杉病院 腫瘍内科: 成人発症の進行期子宮原発横紋筋肉腫の2例. 日本内科学会総会(第112回)(京都), 2015. 4.
- 2) 内藤智之¹⁾, 松田正典²⁾, 酒井 瞳²⁾, 門倉玄武²⁾, 勝俣範之²⁾ (1) 日本医科大学付属病院 呼吸器内科, 2) 日本医科大学 武蔵小杉病院 腫瘍内科: 成人発症の進行期子宮原発横紋筋肉腫の2例. 日本臨床腫瘍学会(第13回)(北海道), 2015. 7.
- 3) 内藤智之¹⁾, 藤田和恵¹⁾, 小林由美子¹⁾, 中道真仁¹⁾, 齋藤好信¹⁾, 清家正博¹⁾, 久保田馨¹⁾, 弦間昭彦¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 呼吸器内科: 膀胱癌に対するBCG膀胱内注入療法後に播種性BCG感染症を発症した1例. 日本呼吸器学会学術講演会(第56回)(東京), 2015. 9.

論 文

[追加分]

追加分原著:

- 1) Kamio K, Usuki J, Azuma A, Matsuda K, Ishii T, Inomata M, Hayashi H, Kokuho N, Fujita K, Saito Y, Miya T, Gemma A: Nintedanib modulates surfactant protein-D expression in A549 human lung epithelial cells via the c-Jun N-terminal kinase-activator protein-1 pathway. *Pulm Pharmacol Ther.* 2015; 32: 29-36.
- 2) Mochimaru H, Fukuda Y, Azuma A, Osanai K, Saito Y, Mochimaru T, Gemma A: Reconsideration of discrepancies between clinical and histopathological features in acute eosinophilic pneumonia. *Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis.* 2015; 31 (4): 325-335.
- 3) Enomoto N, Chida K, Suda T, Kaida Y, Taniguchi M, Azuma A, Hayashi H, Ogura T, Kitamura H, Yamaguchi O, Ando M, Sato A, Kudo S: An exploratory trial of intravenous immunoglobulin therapy for idiopathic pulmonary fibrosis: A preliminary multicenter report. *Clin Respir J.* 2015; Epub ahead of print.
- 4) Noro R, Seike M, Zou F, Soeno C, Matsuda K, Sugano T, Nishijima N, Matsumoto M, Kitamura K, Kosaihiro S, Minegishi Y, Yoshimura A, Kubota K, Gemma A: MET FISH-positive status predicts short progression-free survival and overall survival after gefitinib treatment in lung adenocarcinoma with EGFR mutation. *BMC Cancer.* 2015; 15: 31.
- 5) Bando M, Sugiyama Y, Azuma A, Ebina M, Taniguchi H, Taguchi Y, Takahashi H, Homma S, Nukiwa T, Kudoh S: A prospective survey of idiopathic interstitial pneumonias in a web registry in Japan. *Respir Investig* 2015; 53 (2): 51-59.
- 6) 吾妻安良太, 谷口博之, Xu Z, 井上義一, Li H, 藤本 剛, Bailes Z, Schlenker-Herceg R, Kim Dong S: IPF治療の新時代 特発性肺線維症患者を対象にニンテダニブ投与を行ったINPULSIS試験のアジア人サブグループ解析. 日本呼吸器学会誌 2015; 4 (増刊): 23.

追加分症例報告:

- 1) Onda N, Tanaka Y, Hino M, Gemma A: Bosentan for pulmonary hypertension secondary to idiopathic pulmonary fibrosis. *Respir Med Case Rep.* 2014; 14: 19-23.
- 2) Azuma A: Searching hidden truth behind clinical trials. *Respir Investig.* 2015; 53 (1): 1.
- 3) Okawa S, Sonobe K, Nakamura Y, Nei T, Kamio K, Gemma A: Pulmonary Nocardiosis due to *Nocardia asiatica* in an Immunocompetent Host. *J Nippon Med Sch.* 2015; 82 (3): 159-162.

追加分会議録:

- 1) 井上井義一, 谷口博之, 吾妻安良太: 抗線維化療法 特発性肺線維症患者を対象にニンテダニブ投与を行ったINPULSIS試験の日本人サブグループ解析. 日本呼吸器学会誌 2015; 4 (増刊): 136.
- 2) 吾妻安良太, 峯岸裕司, 弦間昭彦: 間質性肺炎合併肺癌に対する内科・外科の治療戦略 肺癌を合併する間質性肺炎の臨床像. 日本呼吸器学会誌 2015; 4 (増刊): 11.
- 3) 李 英姫, 清水孝子, 滝澤 始, 吾妻安良太, 山本雅之, 川田智之: OVAアレルギー性気道炎症病態のマウス系統差におけるNrf2の役割. 日本衛生学雑誌 2015; 70 (Suppl.): S181.
- 4) 淀川顕司, 清野精彦, 森本泰介, 高橋卓夫, 小原俊彦, 八島正明, 吾妻安良太, 清水 渉: 肺サルコイドーシスにおける心イベントの早期予測 加算平均心電図を用いた検討. 心電図 2015; 35 (Suppl.1): S1-50.

追加分解説/特集:

- 1) 國保成暁, 吾妻安良太: 【間質性肺炎のパラダイムシフト】特発性肺線維症 欧米の治療指針. 呼吸器内科 2015; 27 (2): 77-80.

[武蔵小杉病院呼吸器内科]

研究概要

呼吸器内科では、前年度に比しスタッフ数が増加し、以下のような研究活動を各人が協力しながらより積極的に行うことができた。1. 気管支喘息を対象に、地域の薬局との連携の下、喘息薬に対する吸入指導と患者アドヒアランスに関する臨床研究を開始し、患者登録を始めた。(板倉) 2. 慢性呼吸器疾患を対象に、院内のRSTチームと共同で呼吸ケアに関する研究を実施し、複数の学会発表を行った。3. 付属病院から継続して行っている、文科省科研費による、自家骨髄細胞の肺線維化病態に関する研究、などの基礎研究の一部を当院で開始した。(神尾) 4. 厚生労働科学研究難治性膝疾患に関する調査研究班の研究協力者(白杵)として、cystic fibrosisの新たな診断基準に関する臨床研究に取り組み、診療の手引き、改訂版の作成に関わった。さらに今後の研究テーマとして、間質性肺炎や薬剤性肺障害における血管内皮障害についての臨床研究を行うため、現在準備を行っている。また3人のスタッフ山口、春原、木下が、これまでに行った症例報告をそれぞれ論文化し、掲載することができた。さらに新たな症例報告を学会にて発表した。(佐藤) 肺癌に関しては、主に多施設臨床研究グループによる臨床試験への登録、参加を行うとともに、新たな臨床研究についてIRBへの申請を行い、承認を得た。以上のような研究を推進するため、非常勤だが基礎研究のための実験助手、ならびにデータ入力などを行う研究補助員を新たに雇用し、臨床や教育を行いながら今後も研究が継続できるように態勢を整えている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Kamio K, Usuki J, Azuma A¹⁾, Matsuda K¹⁾, Ishii T¹⁾, Inoue M¹⁾, Hayashi H¹⁾, Kokubo N¹⁾, Fujita K¹⁾, Saito Y¹⁾, Miya T¹⁾, Genma A¹⁾ (1) Department of Pulmonary Medicine and Oncology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Nintedanib modulates surfactant protein-D expression in A549 human lung epithelial cells via the c-Jun N-terminal kinase-activator protein-1 pathway. Pulmonary pharmacology & therapeutics 2015 ; 32 : 29-36.

(2) 症例報告：

- 1) 春原沙織, 山口朋禎, 板倉潮人, 木下賀央里, 佐藤純平, 白杵二郎：結核性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫にエベロリムスが奏功した1例. Therapeutic Research 2015 ; 36 (7) : 699-704.
- 2) 山口朋禎, 嶋原祥太¹⁾, 板倉潮人, 本郷公英, 木下賀央里, 春原沙織, 佐藤純平, 白杵二郎, 佐藤直樹¹⁾, 弦間昭彦²⁾ (1) 武蔵小杉病院循環器内科, 2) 付属病院呼吸器内科) : 集団発生したオウム病の1例. 日本内科学会雑誌 2015 ; 104 (8) : 1639-1644.
- 3) 木下賀央里, 山口朋禎, 春原沙織, 板倉潮人, 本郷公英, 白杵二郎：動悸を契機に診断に至った肺混合型小細胞癌の心臓浸潤の1例. 日本呼吸器学会誌 2015 ; 4 (5) : 352-356.
- 4) 木下賀央里, 石塚淳史¹⁾, 山口朋禎, 山本英世¹⁾, 春原沙織, 板倉潮人, 本郷公英, 佐藤直樹¹⁾, 白杵二郎 (1) 武蔵小杉病院循環器内科) : ECMOで救命し得た重症インフルエンザ肺炎の1例. 日本胸部臨床 2015 ; 74 (9) : 1005-1012.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 三崎貴子¹⁾, 丸山 絢¹⁾, 清水英明¹⁾, 松尾千秋¹⁾, 岩瀬耕一¹⁾, 岡部信彦¹⁾, 山口朋禎, 望月 徹²⁾ (1) 川崎市健康安全研究所, 2) 武蔵小杉病院感染制御部) : 社会福祉施設におけるオウム病の集団発生. 日本感染症学会総会・学術講演 (第89回) (京都), 2015. 4.
- 2) 望月 徹¹⁾, 山口朋禎, 野口周作¹⁾, 上野ひろむ¹⁾, 吉岡美香¹⁾, 三崎貴子²⁾, 丸山 絢²⁾, 清水英明²⁾, 松尾千秋²⁾, 岩瀬耕一²⁾, 岡部信彦 (1) 武蔵小杉病院感染制御部, 2) 川崎市健康安全研究所) : 所轄保健所との連携で迅速な診断治療が出来たオウム病の1例. 日本感染症学会総会・学術講演 (第89回) (京都), 2015. 4.
- 3) 蓮沼文彦¹⁾, 岡本淳一¹⁾, 板倉潮人, 許田典男²⁾, 北山康彦²⁾, 白杵二郎, 窪倉浩俊¹⁾, 白田実男³⁾ (1) 武蔵小杉病院呼吸器外科, 2) 武蔵小杉病院病理診断, 3) 付属病院呼吸器外科) : 顔面皮膚基底細胞癌の経過観察中に極めて稀な肺転移をきたした1症例. 日本肺癌学会関東支部学術集会 (第173回) (東京), 2015. 7.
- 4) 高木 聡¹⁾, 板倉潮人, 月岡悦子¹⁾, 山口貴子¹⁾, 斉藤浩子¹⁾, 中村康一²⁾, 小林和陽³⁾, 加藤和久⁴⁾, 白杵二郎, 宮川哲夫⁵⁾ (1) 武蔵小杉病院看護部, 2) 武蔵小杉病院理学療法室, 3) 武蔵小杉病院栄養科, 4) ME, 5) 昭和大学呼吸器内科) : 慢性呼吸器疾患における嚥下時呼吸相と呼吸数の関係について. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 (第25回) (舞浜), 2015. 10.
- 5) 中村康一¹⁾, 板倉潮人, 月岡悦子²⁾, 山口貴子²⁾, 斉藤浩子²⁾, 高木 聡²⁾, 小林和陽³⁾, 加藤和久⁴⁾, 野口周作⁵⁾, 白杵二郎 (1) 武蔵小杉病院看護部, 2) 武蔵小杉病院理学療法室, 3) 武蔵小杉病院栄養科, 4) 武蔵小杉病院ME部, 5) 武蔵小杉病院薬剤部) : サルコペニアが疑われる呼吸不全例に対して外来でリハビリテーションと栄養療法を実施した1例. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 (第25回) (舞浜), 2015. 10.
- 6) 白杵二郎, 坂井浩佑, 山口朋禎, 板倉潮人, 西島伸彦, 佐藤純平, 春原沙織, 神尾孝一郎, 窪倉浩俊¹⁾, 岡本淳一¹⁾ (1) 武蔵小杉病院

呼吸器外科)：サルコイドーシスと喫煙関連肺疾患を合併し診断に苦慮した肺大細胞癌の1例. 日本肺癌学会学術集会(第56回)(横浜), 2015. 11.

- 7) 佐藤純平, 山口朋禎, 岡本淳一¹⁾, 春原沙織, 西島伸彦, 板倉潮人, 神尾孝一郎, 窪倉浩俊¹⁾, 白杵二郎, 弦間昭彦²⁾ (1) 武蔵小杉病院呼吸器外科, 2) 付属病院呼吸器内科)：胸腔鏡を併用し EWS 挿入に成功した有癭性膿胸の1例. 日本呼吸器学会関東地方会(第218回)(東京), 2016. 2.

[武蔵小杉病院腫瘍内科]

研究概要

2015年度の研究業績概要としては、主要なものとして、子宮頸がんに対するカルボプラチン、パクリタキセルの臨床第三相試験の結果を Journal of Clinical Oncology 誌に発表した (Paclitaxel Plus Carboplatin Versus Paclitaxel Plus Cisplatin in Metastatic or Recurrent Cervical Cancer : The Open-Label Randomized Phase III Trial JCOG0505. J Clin Oncol. 2015 Jul 1; 33 (19) : 2129-35.). この研究は、JCOG で行われた多施設共同臨床試験であり、子宮頸がんの標準治療を変える影響を及ぼす重要な研究結果であった。その他、英文論文8本、和文総説12本を執筆した。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Katsumata N : Dose-dense approaches to ovarian cancer treatment. Curr Treat Options Oncol 2015.
- 2) Sakai H, Katsumata N, Kadokura G : Attitudes and practice patterns for maintaining relative dose intensity of chemotherapy in outpatient clinics : results of a Japanese web-based survey. BMC Cancer 2015.
- 3) Harano K, Yonemori K¹⁾, Hirakawa A¹⁾, Shimizu C¹⁾, Katsumata N, Gemma A, Fujiwara Y¹⁾, Tamura K¹⁾ (1) National Cancer Center Hospital) : The influence of familial factors on the choice of the place of death for terminally ill breast cancer patients : a retrospective single-center study. Breast Cancer. 2015.
- 4) Kuroki M¹⁾, Yoneyama K¹⁾, Watanabe A¹⁾, Fukami T¹⁾, Matsushima T¹⁾, Katsumata N, Takeshita T¹⁾ (1) National Cancer Center Hospital) : Rhabdomyosarcoma of the Uterus. A Case Report. J Nippon Med Sch. 2015.
- 5) Harano K, Hirakawa A¹⁾, Yunokawa M, Nakamura T, Satoh T, Nishikawa T, Aoki D, Ito K, Ito K, Nakanishi T, Susumu N (1) National Cancer Center Hospital) : Prognostic factors in patients with uterine carcinosarcoma : a multi-institutional retrospective study from the Japanese Gynecologic Oncology Group. Int J Clin Oncol 2015.

(2) 総説：

- 1) 松田正典, 勝俣範之：肉腫化学療法のキードラッグを理解する 9. タキサン系, 肉腫化学療法マスタークラス 2015 ; 93-98.
- 2) 勝俣範之：婦人科 1. 子宮がん 2. 卵巣がん. 入門腫瘍内科学改訂第2版 2015 ; 194-201.
- 3) 勝俣範之：緩和医療と化学療法. 臨床泌尿器科 2015 ; 69 (9) : 776-778.
- 4) 勝俣範之：がんサバイバーシップ. 治療 2015 ; 97 (10).
- 5) 勝俣範之：副作用対策 悪心・嘔吐. 臨床婦人科産科 2015 ; 69 (12) : 1118-1123.
- 6) 酒井 瞳, 門倉玄武, 勝俣範之：Dose-Dense 化学療法3サイクル目に急性の高尿酸血症と腎障害を発症しラスブリカーゼ投与により改善した後腹膜原発絨毛がんの1例. 癌と化学療法 2015 ; 43 (2) : 263-266.
- 7) 勝俣範之：近藤理論を放置してはいけない. 日経メディカル Cancer Review 2016 ; (42) : 6-9.
- 8) 高橋佳容子¹⁾, 勝俣範之 (1) 獨協医科大学病院産婦人科)：婦人科がん 標準治療とエビデンス. がん薬物療法アップデート (月刊薬事1月臨時増刊号) 2016 ; 58 (2) : 161-172.
- 9) 藤原佳美¹⁾, 勝俣範之 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 看護部)：化学療法が患者に与える影響 1. 薬物有害反応と支持療法について. 理解が実践につながるステップアップがん化学療法看護 (第2版) 2016 ; 58 (2) : 58-73.
- 10) 勝俣範之：患者とのコミュニケーション. 乳がんレジメン Expert choice 2016 ; 37-41.
- 11) 瀧田美子¹⁾, 高橋佳容子²⁾, 勝俣範之 (1) 愛知県がんセンター中央病院乳腺科, 2) 獨協医科大学病院産婦人科)：適切な治療マネジメントのポイント B. 患者特性 4. 生殖年齢の女性. 乳がんレジメン Expert choice 2016 ; 170-172.
- 12) 高橋佳容子¹⁾, 勝俣範之 (1) 獨協医科大学病院産婦人科)：適切な治療マネジメントのポイント A. 副作用 9. 卵巣機能障害. 乳がんレジメン Expert choice 2016 ; 157-161.

著書

- 1) 松田正典：[分担] 発熱性好中球減少症. 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣範之), 2015 ; pp117-120, メジカルビュー

社.

- 2) 勝俣範之: 科学的裏付け見極めを, 2015; 毎日新聞社.
- 3) 勝俣範之: 再発がんと生きる, 2015; 朝日新聞出版.
- 4) 勝俣範之: 『食べものだけでガンが消えた』 トンデモ本2冊目の女性料理研究家の罪, 2015; pp42-43, 週刊新潮.
- 5) 勝俣範之: [分担] 緩和医療と化学療法. 臨床泌尿器科, 2015; pp776-778, 医学書院.
- 6) 勝俣範之: がんとどう向き合う? 抗がん剤を上手に使う, がんとよりよい共存を目指す, 2015; pp46-48, 清流出版.
- 7) 渡辺 亨¹⁾, 勝俣範之⁽¹⁾ 浜松オンコロジーセンター): [編集] 乳がんレジメン Expert choice, 2015; pp128-129, 先端医学社.
- 8) 勝俣範之: [編集] 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法, 2015; メジカルビュー社.
- 9) 勝俣範之, 足利幸乃¹⁾, 菅野かおり⁽¹⁾ 日本看護協会神戸研修センター): [編集] がん治療薬まるわかり BOOK, 2015; 照林社.
- 10) 勝俣範之: [自著] 医療否定本の嘘, 2015; 扶桑社.
- 11) 勝俣範之: [分担] 64. 発熱性好中球減少症. 標準薬物治療ファイル 日本アプライド・セラピューティクス学会編, 2015; pp128-129, 南山堂.
- 12) 酒井 瞳: [自著] こんなときどうする? トラブルシューティング. 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣範之), 2015; pp101-104, メジカルビュー社.
- 13) 松田正典: [分担] こんなときどうする? トラブルシューティング. 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法, 2015; pp99-100, メジカルビュー社.
- 14) 門倉玄武: [分担] 抗がん剤を『効果的に』使うための7か条. 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣範之), 2015; pp8-11, メジカルビュー社.
- 15) 小野寺恵子¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 看護部): [分担] 末梢神経障害 (主にパクリタキセル) 爪障害 (主にドセタキセル). 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣範之), 2015; pp126-131, メジカルビュー社.
- 16) 此松晶子¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部): [分担] アレルギー (主にカルボプラチン). 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣範之), 2015; pp124-125, メジカルビュー社.
- 17) 此松晶子¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部): [分担] 腎障害 (主にシスプラチンなど). 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣範之), 2015; pp141-142, メジカルビュー社.
- 18) 宮田広樹¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部): [分担] 婦人科がん化学療法時の制吐薬の使い方. 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣範之), 2015; pp121-123, メジカルビュー社.
- 19) 宮田広樹¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部): [分担] 下痢 (主にイリノテカン). 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣範之), 2015; pp136-138, メジカルビュー社.
- 20) 藤原佳美¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 看護部): [分担] 緩和医療を一緒に始めよう!. 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣範之), 2015; pp157-159, メジカルビュー社.
- 21) 勝俣範之: がん情報を見分ける 1 がんと向き合い, 逃げない, 2016; 株式会社東京民報社.
- 22) 勝俣範之: がん情報を見分ける 2 権威者・個人の意見は考慮しない, 2016; 株式会社東京民報社.
- 23) 勝俣範之: がんの薬物療法知ろう 抗がん剤と上手に付き合う, 2016; 岩手日報社.
- 24) 原野謙一, 勝俣範之: [分担] 乳がん・子宮がん. 内科処方実践マニュアル 使い分けとさじ加減, 2016; pp560-563, 日本医学出版.

学会発表

(1) 招待講演:

- 1) Katsumata N: What different control arms could be considered for trials of first-line therapy?. GCIG 5th OVARIAN CANCER CONSENSUS CONFERENCE (THE JIKEI UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE, TOKYO, JAPAN), 2015. 11.

(2) 教育講演:

- 1) 勝俣範之: がんの予防・検診のエビデンスはどれだけあるのでしょうか?. ACP (米国内科学会) 日本支部 年次総会 2015 (京都大学百周年時計台記念館), 2015. 5.

(3) セミナー:

- 1) 勝俣範之: 卵巣がん治療のゲノム個別化を展望する: 卵巣がんの BRACAness と分子標的薬 PARP 阻害剤への期待. 第53回日本癌治療学会学術集会 (国立京都国際会館), 2015. 10.

(4) 一般講演:

- 1) Harano K, Hirakawa A¹⁾, Yunokawa M¹⁾, Nakamura T¹⁾, Satoh T¹⁾, Nishikawa T¹⁾, Aoki D¹⁾, Ito K¹⁾, Ito K¹⁾, Nakanishi T¹⁾ ⁽¹⁾ National Cancer Center Hospital): Optimal debulking surgery in patients with advanced uterinecarcinosarcoma: A multi-institutional retrospective study from the Japanese Gynecologic Oncology Group. 2015 ASCO (American Society of Clinical Oncology) Annual meeting, Gynecologic Cancer, Poster session, 2015. 5.

- 2) 勝俣範之：緩和医療. 第23回日本乳癌学会学術総会（東京国際フォーラム），2015. 6.
- 3) 勝俣範之：婦人科がんの分子標的治療. 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会（ホテル札幌芸文館），2015. 7.
- 4) 勝俣範之：婦人科領域における分子標的薬剤の導入. 第3回未承認薬研究会 学術集会（丸ビルホール&コンダレンススクエア），2015. 5.
- 5) 勝俣範之：若年がん患者への緩和ケアの現状と課題（腫瘍内科医の立場から. 第20回日本緩和医療学会学術大会（パシフィコ横浜），2015. 6.
- 6) 勝俣範之：サバイバーシップ 乳がんの長期フォローアップのありかた. 第23回日本乳癌学会学術総会（東京国際フォーラム），2015. 6.
- 7) 伊藤友希¹⁾，土居大祐²⁾，飯田朝子²⁾，黒木陸実²⁾，川端伊久乃，米山剛一²⁾，松田正典，勝俣範之，許田典男³⁾，北山康彦³⁾，朝倉啓文²⁾，竹下俊行⁴⁾（¹⁾ 日本医科大学 産学教室婦人科教室，²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科，³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院呼吸器外科，⁴⁾ 日本医科大学附属病院 女性診療科・産科）：子宮内膜組織診で疑われた子宮横紋筋肉腫の1例. 日本婦人科腫瘍学会，2015. 6.
- 8) 勝俣範之：卵巣がんに対する新規治療法の展開. 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会（ロイトン札幌），2015. 7.
- 9) 勝俣範之：婦人科がん. 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会（ホテル札幌芸文館），2015. 7.
- 10) 勝俣範之：CA125を用いた卵巣がん化学療法治療効果判定ならびに再発診断・治療への応用. 日本婦人科腫瘍学会（アイーナいわて県民情報交流センター），2015. 8.
- 11) 勝俣範之：再発卵巣がんの治療戦略：当院の工夫と実践. 日本婦人科腫瘍学会モーニング教育セミナー（マリオス盛岡地域交流センター），2015. 8.
- 12) 藤森麻衣子¹⁾，白井由紀，浅井真理子，勝俣範之，久保田馨²⁾，内富庸介³⁾（¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター，²⁾ 日本医科大学付属病院教授，がん診療センター長，³⁾ 国立がん研究センター中央病院）：がん専門医へのコミュニケーションスキルトレーニングの有効性の検討 無作為化比較試験. 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所年報，2015. 8.
- 13) 米山剛一¹⁾，黒木陸実¹⁾，勝俣範之，松島 隆¹⁾，佐藤杏月¹⁾，高屋 茜²⁾，針金幸代¹⁾，伊藤友希¹⁾，土居大祐¹⁾，深見武彦¹⁾，立山尚子¹⁾，酒井 瞳，朝倉啓文¹⁾（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科，²⁾ 日本医科大学千葉北総病院 女性診療科・産科）：タモキシフェンが効果的であると考えられた再発卵巣癌の1症例. 日本癌治療学会，2015. 9.
- 14) 勝俣範之：エビデンスに基づいた発熱性好中球減少症の対応. 第53回日本癌治療学会学術集会 学術セミナー（国立京都国際会館），2015. 10.
- 15) 勝俣範之：化学療法総論. 日本婦人科腫瘍学会，2015. 10.
- 16) 勝俣範之：『抗がん剤は効かない』論を検証しよう. 第56回日本肺癌学会学術集会（パシフィコ横浜），2015. 11.
- 17) 勝俣範之：癌に関する勉強の仕方：情報の出し入れの方法. 第56回日本肺癌学会学術集会（パシフィコ横浜），2015. 11.
- 18) 勝俣範之：がんと言われた日に がんサバイバーシップの始まり 医療はサポーター 正しい医療を選ぶこと. 埼臨技会，2015. 11.
- 19) 勝俣範之：これからのがん医療への課題. がん患者学会2015（国際研究交流会館（国立がん研究センター内）），2015. 12.
 - 1) 酒井 瞳：腫瘍内科のセカンドオピニオン. 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会（札幌市教育文化会館），2015. 7.
 - 2) 門倉玄武：早期乳がん術前術後補助化学療法におけるドセタキセル100mg/m²の安全性の検討. 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会（札幌市教育文化会館），2015. 7.

学会発表

〔追加分〕

追加分教育講演：

- 1) 勝俣範之：がん薬物療法総論. 第10回日本癌治療学会アップデート教育コース（日経ホール），2015. 3.

追加分一般講演：

- 1) 酒井 瞳，門倉玄武，松田正典，勝俣範之：腫瘍内科のセカンドオピニオン. 日本内科学会，2015. 2.

〔千葉北総病院呼吸器内科〕

研究概要

研究概要内科学（呼吸器，感染，腫瘍部門）を担当し大学付属病院として教育，臨床研究を担う以外に地域の中核病院として，以上の三分野について多くの臨床研究実績を持つ。（1）呼吸器病学：特発性間質性肺炎や慢性閉塞性肺疾患にともなう肺高血症も含めた治療法の開発，睡眠時無呼吸症候群の肺循環の超音波評価，気管支拡張症に対する血清診断分類の開発，気管支喘息重責発作時の非侵襲的陽圧換気法の評価，呼吸困難感の評価，咳喘息の治療評価慢性閉塞性肺疾患の地域連携の方法論の確立，新しい呼吸抵抗の評価（RINT，

MOSTGRAPHを用いた) (2) 感染症学：市井肺炎の診断と経口抗生剤治療，病院感染対策，各種院内感染サーベイランス，院内肺炎の予防，特殊感染症診断制御，結核による院内感染制御，肺非定型抗酸菌症の治療，RST：呼吸サポートチームの運営と人工呼吸器肺炎の，評価医療関係者および看護学生に対する麻疹，インフルエンザ，風疹の抗体価測定と予防接種，病院内耐性菌サーベイランス，マクロライドによる各種慢性肺疾患の急性増悪の制御，マクロライド抗菌薬の新作用開発 (3) 臨床腫瘍学：肺癌抗癌剤化学療法と副作用対策，肺癌の分子生物学的治療標的に対する至適治療法の確立，肺癌末期患者に対する緩和治療の提案，肺癌の超音波気管支内視鏡 (EBUS) 診断，抗癌剤による副作用としての薬剤性肺臓炎の診断と治療以上につき臨床研究を継続中である。(4) 呼吸器疾患の地域連携システムの開発かねてより慢性閉塞性肺疾患患者に対する General practitioner との手帳を用いた地域連携を進めてきた。これに加えて吸入指導や服薬指導を地域で行うべく手帳による呼吸器疾患医薬連携システムを構築している。”

研究業績

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) Tanaka Y, Hino M, Kobayashi Y, Kato Y, Onda N, Kosaihiro S, Motohashi N : 2nd Intern report : Effect of tiotropium monotherapy versus tiotropium plus indacaterol in patients with chronic obstructive pulmonary disease-single-centre, randomised, prospective, real-world study. APSR 2015 (Kuala Lumpur), 2015. 12.
- 2) Kato Y, Tanaka Y, Hino M, Kobayashi Y, Onda N, Kosaihiro S, Motohashi N, Gemma A¹⁾ (1) Department of pulmonary Medicine and Oncology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Investigation of utility of EBUS-TBNA in the diagnosis of Sarcoidosis. APSR-2015 (Kuala Lumpur), 2015. 12.
- 3) Hino M, Tanaka Y, Onda N, Kato Y, Kosaihiro S, Motohashi N, Ookubo T¹⁾ (1) Ookubo Memorial hospital) : Influence of influenza virus infection on hospitalization due to pneumonia of very elderly Japanese patients. APSR-2015 (Kuala Lumpur), 2015. 12.
- 4) 加藤泰裕, 田中庸介, 日野光紀, 恩田直美, 蛸井浩行¹⁾, 小齊平聖治, 本橋典久, 弦間昭彦¹⁾ (1) 日本医科大学呼吸器内科学) : サルコイドーシス鑑別診断目的でのEBUS-TBNAの有用性の検討. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第38回) (東京都), 2015. 6.

9. 精神・行動医学分野

[付属病院精神神経科・武蔵小杉病院精神科・千葉北総病院メンタルヘルス科]

研究概要

精神疾患の病態を解明し、より科学的で適切な診断、治療法を開発することを目的に、診療場面で遭遇する症例を対象とする臨床研究を中心に行った。その際に、標準化された精神科診断学、症状評価法とともに各種の画像解析法を駆使し、精神障害の症状や病態を可能な限り科学的に捉えることに心がけた。以下の研究を行った。1. 高齢者のうつ病の分子イメージング研究：高齢者のうつ病は臨床症状や経過、薬剤代謝や治療反応性などの点で若年者うつ病と異なる可能性が高い。加齢とともに罹病率が高くなる神経変性疾患はうつ症状が出現しやすいことが知られているが、高齢者うつ病の病態との関連は明らかではない。そこで、アミロイド蛋白のイメージングバイオマーカーである $[^{18}\text{F}]$ florbetapir、タウ蛋白のイメージングバイオマーカーである $[^{11}\text{C}]$ PBB3、ドパミントランスポーターのイメージングバイオマーカーである $[^{18}\text{F}]$ FE-PE2I を用いた研究を行った。その結果、①患者・健常人を問わず、アミロイド蛋白が有意に高く集積しているものは、集積が低いものと比較して約2年間に認知機能が有意に低下することを明らかにした。②老年期うつ病では、タウ蛋白の集積が高い患者がいることを明らかにした。③老年期うつ病群では、健常対照群と比較して、線条体におけるドパミントランスポーターの密度が低下していることを明らかにした。④うつ病患者では、電気けいれん療法により線条体におけるドパミントランスポーター密度が一時的に低下する可能性を明らかにした。⑤抗うつ薬の作用機序にドパミントランスポーター阻害作用があることを明らかにした。2. 向知性薬によるドーピング効果の検出法の開発研究：PET および fMRI を用いて、ドパミン放出、DAT 阻害作用、セロトニントランスポーター阻害作用、高次脳機能賦活に対する脳血流反応を調べ向知性薬によるドーピング効果の検出法の開発研究を行った。3. 老年期精神障害および認知症に関する臨床研究を行った。4. 高度救命救急センターに搬送された自殺未遂例に対する介入研究を行った。5. 児童思春期の精神障害に関する研究：子どものうつ病に関する研究を行った。さらに、子どもの精神症状および問題行動について質問紙を用い横断的、縦断的な理解を深める研究を行った。6. コンサルテーション・リエゾンや緩和ケアに関する調査や研究を行った。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Shimoda K, Kimura M, Yokota M, Okubo Y : Comparison of regional gray matter volume abnormalities in Alzheimer's disease and late life depression with hippocampal atrophy using VSRAD analysis : a voxel-based morphometry study. *Psychiatry Res.* 2015 ; 232 (1) : 71-75.
- 2) Ueda S, Sakayori T, Okubo Y : Psychotic Depression with Pseudodementia Misdiagnosed as Dementia Remitted with TCA. *The International Journal of Clinical Psychiatry and Mental Health* 2015 ; 3 (1) : 1-3.
- 3) Koeda M¹⁾, Watanabe A^{2,3)}, Tsuda K⁴⁾, Matsumoto M⁴⁾, Ikeda Y⁵⁾, Kim W¹⁾, Than Naing B¹⁾, Karibe H^{2,3)}, Shimada T³⁾, Suzuki H⁶⁾, Matsuura M⁴⁾, Okubo Y¹⁾ (1) Department of Neuropsychiatry, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Division of Personalized Genetic Medicine, Nippon Medical School Hospital, Tokyo, Japan, 3) Department of Biochemistry and Molecular Biology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 4) Department of Biofunctional Informatics, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan, 5) Department of Pediatric Dentistry, Nippon Dental University, Tokyo, Japan, 6) Department of Pharmacology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Interaction effect between handedness and CNTNAP2 polymorphism (rs7794745 genotype) on voice-specific frontotemporal activity in healthy individuals : an fMRI study. *Frontiers in Behavioral Neuroscience* 2015 ; 9 (87) : 1-13.
- 4) Yoshikawa E, Nishi D, Matsuoka Y : Fish consumption and resilience to depression in Japanese company workers : a cross-sectional study. *Lipids in Health and Disease* 2015 ; 14 (1) : 1-8.
- 5) Takano A, Sakayori T, Higuchi M, Suhara T, Ishihara K, Kumita S, Suzuki H, Okubo Y : Amyloid imaging with $[(^{18}\text{F})]$ florbetapir in geriatric depression : early-onset versus late-onset. *Int J Geriatr Psychiatry.* 2015 ; 30 (7) : 720-728.
- 6) Ikoma Y, Sasaki T, Kimura Y, Seki C, Okubo Y, Suhara T, Okubo Y : Evaluation of semi-quantitative method for quantification of dopamine transporter in human PET study with ^{18}F -FE-PE2I. *Ann Nucl Med* 2015 ; (8) : 697-708.
- 7) Hatta K, Kishi Y, Wada K : Ramelteon for Delirium in Hospitalized Patients. *JAMA* 2015 ; 314 (10) : 1071-1072.
- 8) Meller W, Specker S, Shultz P, Kishi Y, Thurber S, Kathol R : Using the INTERMED complexity instrument for a retrospective analysis of patients presenting with medical illness, substance use disorder, and other psychiatric illnesses. *Annals of clinical psychiatry* 2015 ; 27 (1) : 38-43.
- 9) Thurber S, Kishi Y, Trzepacz P, Franco J, Meagher D, Lee Y, Kim J, Furlanetto L, Negreiros D, Huang M, Chen C, Kean

J, Leonard M : Confirmatory Factor Analysis of the Delirium Rating Scale Revised-98 (DRS-R98). J Neuropsychiatry Clin Neurosci 2015 ; 27 (2) : e122-127.

- 10) Ueda S, Omori A, Shioya T, Okubo Y : Antipsychotics can induce pre-shock in very elderly patients : a report of two cases. Psychogeriatrics 2016 ; 16 (1) : 73-75.
 - 11) Ueda S¹⁾, Sakayori T¹⁾, Omori A²⁾, Fukuta H³⁾, Kobayashi T³⁾, Ishizaka K¹⁾, Saijo T⁴⁾, Okubo Y¹⁾ (¹⁾ Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School, ²⁾ Tama Chuo Hospital, ³⁾ Kurumegaoka Hospital, ⁴⁾ Saijo Clinic) : Neuroleptic-induced deficit syndrome in bipolar disorder with psychosis. Neuropsychiatr Dis Treat 2016 ; 12 : 265-268.
 - 12) Okumura Y, Hatta K, Wada K, Takeuchi T, Kishi Y : Expert opinions on the first-line pharmacological treatment for delirium in Japan : a conjoint analysis. nt Psychogeriatr 2016 ; 18 : 1-10.
 - 13) Kishi Y, Hazama Y, Komagata Y, Ishizuka M, Karube M, Takahashi J, Nagasaki C, Thurber S, Kathol R : Validity of the INETEMED complexity assessment with older patients in a Japanese general hospital. Asian Academic Research Journal of Multidisciplinary 2016 ; 3 (1) : 224-234.
 - 14) 成重竜一郎, 川島義高¹⁾, 澤谷 篤, 齊藤卓弥²⁾, 大久保善朗 (¹⁾ 独立行政法人精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部, ²⁾ 北海道大学大学院医学研究科児童思春期精神医学講座) : 【子どもの自殺をめぐる】救命救急センターにおける若年自殺未遂者の特徴. 児童青年精神医学とその近接領域 2015 ; 56 (2) : 179-189.
- (2) 座談会 :
- 1) 豊嶋良一, 加藤忠史, 大久保善朗, 三村 將, 中谷陽二 : 「ありふれた (ような) 症例」から「学べた」こと. 臨床精神医学 2015 ; 44 (9) : 1161-1167.
- (3) 総説 :
- 1) 下田健吾 : 精神医学のトピックス 認知症とアパシー. 認知症の最新医療 2015 ; 5 (4) : 200-2001.
 - 2) 大久保善朗 : PET 検査 アミロイドメーキングとタウイメージン. 精神科 2015 ; 5 (11) : 304-309.
 - 3) 岸 泰宏 : 精神科救急-明日への一歩【精神科救急症例を扱うときに必ず遭遇する法的問題 措置入院 (23 条通報) と医療保護入院. 救急医学 2015 ; 39 (13) : 1809-1815.
 - 4) 成重竜一郎 : 【自殺予防と精神科臨床-臨床に活かす自殺対策-II】自殺未遂者支援のための地域連携 荒川区との連携. 精神科治療学 2015 ; 30 (4) : 465-469.
 - 5) 館野 周, 大久保善朗 : 認知症と関連するうつ病. 臨床精神医学 2015 ; 44 (4) : 561-568.
 - 6) 上田 諭 : 認知症そのままでもいい 2. 医療と介護 Next 2015 ; 1 (2) : 41-44.
 - 7) 上田 諭 : 患者さんのありのままを認め, 自己肯定感を高めるケアをしよう. ナーシングビジネス 2015 ; 9 (5) : 60-63.
 - 8) 上田 諭 : 認知症そのままでもいい 3. 医療と介護 Next 2015 ; 1 (3) : 49-52.
 - 9) 上田 諭 : 認知症を進んで迎える社会に : 否定的な視点を変える. こころの科学増刊 2015 ; 2-5.
 - 10) 上田 諭 : 生活と本人の心情への注目 : 今の認知症診療に足りないこと. こころの科学増刊 2015.
 - 11) 上田 諭 : 認知症そのままでもいい 4. 医療と介護 Next 2015 ; 1 (4) : 51-53.
 - 12) 上田 諭 : うつ病 (精神病性の特徴を伴う) 精神科治療における処方ガイドブック. 精神科治療学 2015 ; 30 (増刊) : 99-101.
 - 13) 上田 諭 : 認知症そのままでもいい 5. 医療と介護 Next 2015 ; 1 (5) : 49-51.
 - 14) 上田 諭 : 認知症 (エビデンスに基づく病態と評価, 対処法). 救急医学 2015 ; 39 (484) : 1794-1800.
 - 15) 上田 諭 : 認知症そのままでもいい 6. 医療と介護 Next 2015 ; 1 (6) : 47-49.
 - 16) 岸 泰宏 : 術後せん妄の診断と対応. Anesthesia Network 2015 ; 19 (3) : 3-8.
 - 17) 岸 泰宏 : 【精神科治療における処方ガイドブック】 (第 17 章) 特別な患者に対する投与の注意点 身体合併症. 精神科治療学 2015 ; 30 (増刊) : 378-382.
 - 18) 上田 諭 : 薬より本人の生活への注目 : 認知症診断後すべきこと. 外来精神医療 2015 ; 15 (1) : 24-26.
 - 19) 成重竜一郎 : 精神科臨床評価マニュアル [2016 年版] (第 3 章) 精神科臨床評価 : 特定の精神障害に関連したもの F9 : 多動性障害 (注意欠如 / 多動性障害 ADHD). 臨床精神医学 2016 ; 44 (増刊) : 567-572.
 - 20) 上田 諭 : 認知症そのままでもいい 7. 医療と介護 Next 2016 ; 2 (1) : 45-47.
 - 21) 岸 泰宏 : アルコール離脱症候群への対応. 医学のあゆみ 2016 ; 256 (11) : 1151-1154.
 - 22) 岸 泰宏 : せん妄の医療経済におけるインパクト. 医学のあゆみ 2016 ; 256 (11) : 1155-1158.
 - 23) 上田 諭 : 認知症に対する精神療法. 精神看護 2016 ; 150-161.
- (4) 症例報告 :
- 1) 下田健吾, 鈴木雅之, 木村真人 : 特集 これでもいいのか うつ病治療 どうしたらいい 良くならない抑うつ症状 I 血管性うつ病にアパシーが合併した老年期うつ病の症例. 精神科臨床サービス 2016 ; 16 (1) : 65-68.
 - 2) 鈴木雅之, 下田健吾, 木村真人 : 特集 これでもいいのか うつ病治療 どうしたらいい 良くならない抑うつ症状 I ディスチミア親

和型うつ病で治療戦略の変更を必要とした症例. 精神科臨床サービス 2016; 16 (1): 58-61.

- 3) 鈴木雅之, 下田健吾, 木村真人: 特集 これでもいいのか うつ病治療 どうしたらいい 良くならない抑うつ症状 I- 抗うつ薬治療に抵抗性を示し ECT 後の増強療法にて改善した老年期うつ病の症例. 精神科臨床サービス 2016; 16 (1): 62-64.
 - 4) 上田 諭: 老年期の焦燥型うつ病に抗うつ薬は有効ではない: ①身体感情中心型. 精神科臨床サービス 2016; 16 (1): 53-55.
 - 5) 上田 諭: 老年期の焦燥型うつ病に抗うつ薬は有効ではない: ②退行期メランコリー. 精神科臨床サービス 2016; 16 (1): 56-57.
- (5)
- 1) 朝山健太郎: 概日リズム睡眠覚醒障害について. 最新医療情報誌 セフィーロ 2015; (21): 23.

著 書

- 1) 渡辺詩織¹⁾, 吉川栄省⁽¹⁾ 群馬県立癌センター精神腫瘍科): [共著] D 気分障害に関連した臨床評価法 POMS. 精神心理 機能評価ハンドブック (山内俊雄 鹿島晴雄), 2015; pp325-326, 中山書店.
- 2) 岸 泰宏: [分担] 精神障害. 救急救命士標準テキスト (救命救急士標準テキスト編集委員会), 2015; pp910-925, へるす出版.
- 3) 岸 泰宏, 一瀬邦弘: [自著] せん妄: DRS と DRS-R-98. 精神・心理機能評価ハンドブック (山内俊雄, 鹿島晴雄), 2015; pp419-421, 中山書店.
- 4) 吉川栄省, 大庭 章: [自著] D 気分障害に関連した臨床評価法 HADS. 精神・心理機能評価ハンドブック (山内俊雄), 2015; pp323-324, 中山書店.
- 5) 上田 諭: [分担] 抑うつの治療 (2): 薬物療法. 暮らしの中に心理臨床 うつ (野村俊明, 青木紀久代), 2015; pp142-149, 福村出版.
- 6) 岸 泰宏: [分担] 重症患者に発症する ICU せん妄は一般病棟で発症するせん妄と同じか?. Surviving ICU シリーズ 重症患者の痛み・不穏・せん妄 実際どうする? (布宮伸), 2015; pp92-98, 羊土社.
- 7) 岸 泰宏: [分担] 認知症. 救急救命士標準テキスト (救命救急士標準テキスト編集委員会), 2015; pp887-889, へるす出版.
- 8) 木村真人: [分担] 脳卒中後うつ病に対する抗うつ薬による治療意義. うつ病における治療ストラテジーを考える: エスシタロプラムを中心に. エスシタロプラムのすべて (監修 小山司, 編集 樋口輝彦/平安良雄), 2016; pp104-109, 先端医学社.
- 9) 岸 泰宏: [分担] 過換気症候群. ジェネラリストのための外来初療・処置ガイド (田島知郎), 2016; p40, 医学書院.

学会発表

(1) 特別講演:

- 1) 大久保善朗: 高齢者の幻覚妄想症状とドパミントランスポーターイメージング. 感情・行動・認知 (ABC 研究会) (第 17 回) (東京), 2015. 10.

(2) 招待講演:

- 1) Koeda M¹⁾ (¹⁾ Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School): Cerebral Responses to Non-verbal Affective Vocalizations and Cross-cultural Differences by Asian and Caucasian Listeners: An fMRI Study. The Royal Australian & New Zealand College of Psychiatrists (RANZCP) 2015 Congress (Brisbane, Australia), 2015. 5.
- 2) Koeda M¹⁾ (¹⁾ Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School): Educational Symposium on Asia Pacific Mental Health: My experience as psychiatry resident in Japan. The Royal Australian & New Zealand College of Psychiatrists (RANZCP) 2015 Congress (Brisbane, Australia), 2015. 5.
- 3) Koeda M¹⁾ (¹⁾ Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School): Cerebral responses to vocal attractiveness and auditory hallucinations in schizophrenia. World Psychiatric Association (WPA) 2015 Bucharest International Congress (Bucharest, Romania), 2015. 6.
- 4) Koeda M¹⁾ (¹⁾ Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School): Effect of CNTNAP2 polymorphisms on voice-specific brain function and handedness in healthy individuals. World Psychiatric Association (WPA) 2015 Bucharest International Congress (Bucharest, Romania), 2015. 6.
- 5) Koeda M¹⁾ (¹⁾ Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School): Cross-cultural differences of cerebral response to affective vocalizations between Caucasian and Asian participants. World Psychiatric Association (WPA) 2015 Bucharest International Congress (Bucharest, Romania), 2015. 6.
- 6) Koeda M¹⁾ (¹⁾ Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School): Cerebral Response to auditory attractiveness and auditory hallucinations in schizophrenia: An f-MRI study for understanding social cognitive function. OMICS International Conference; International Conference on Brain Disorders & Therapeutics (第 346 回) (London, UK), 2015. 8.
- 7) Okubo Y: Molecular imaging of neuropsychiatric symptoms in the elderly. Annual conference of Korean Biological Psychiatry (Seoul), 2015. 9.

- 8) 大久保善朗：分子イメージングによる高齢者精神症状の診断. 奈良県統合失調症フォーラム（第10回）（奈良），2015. 9.
- (3) 教育講演：
- 1) 大久保善朗：分子イメージングによる認知症診断の進歩. 日本精神科診断学会（第36回）（札幌），2015. 7.
 - 2) 上田 諭：認知症に対する精神療法. 日本精神神経学会（第111回）（大阪），2015. 6.
- (4) シンポジウム：
- 1) Kishi Y：Psychosomatic medicine in Japan and South Korea. European Association of Psychosomatic Medicine (Nuremberg, Germany), 2015. 7.
 - 2) 大久保善朗：地下鉄サリン事件から20年 被害は過去のものとなったのか？：被害者フォローの在り方を考える. 第45回日本神経精神薬理学会・第37回日本生物学的精神医学会合同年会（東京），2015. 9.
 - 3) 岸 泰宏：Collaborative Care. 第41回日本認知行動療法学会（仙台），2015. 10.
 - 4) 成重竜一郎，山田光彦¹⁾，稲垣正俊²⁾，河西千秋³⁾，川島義高，大久保善朗（¹⁾ 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所，²⁾ 岡山大学病院精神科神経科，³⁾ 札幌医科大学医学部神経精神医学教室）：これまでの我が国における自殺未遂者ケアと今後の課題（シンポジウム17：救命救急センターにおける自殺予防対策）. 日本精神神経学会学術総会（第111回）（大阪），2015. 6.
 - 5) 上田 諭：薬の前にすべきこと：本人の心情と生活への注目. 日本精神神経学会（第111回）（大阪），2015. 6.
 - 6) 成重竜一郎：3次救急医療施設における 子どもの自殺の危機介入と支援（シンポジウム4：子どもの自殺の危機介入と支援）. 日本児童青年精神医学会総会（第56回）（横浜），2015. 9.
 - 7) 下田健吾：高齢心疾患患者における血管性うつ病 高齢化社会における心疾患患者のメンタルヘルスを考える. 第63回日本心臓病学会学術集会（横浜），2015. 9.
 - 8) 吉川栄省：対応が難しい患者への理解と対応 怒りへの対応. 第28回日本サイコオンコロジー学会総会（広島），2015. 10.
 - 9) 上田 諭：アルツハイマー病の妄想の環境反応性（「アルツハイマー病の妄想は器質因か心因か：病理と治療を問い直す」）. 日本認知症学会（第34回）（青森），2015. 10.
- (5) パネルディスカッション：
- 1) 岸 泰宏：精神疾患合併症例への対応. 第43回日本救急医学会総会（東京），2015. 10.
- (6) セミナー：
- 1) 木村真人：不眠症治療の新しいアプローチ. 第22回日本産業精神保健学会（東京），2015. 6.
 - 2) 木村真人：治療抵抗性うつ病と最新の治療戦略. 第28回日本総合病院精神医学会総会（徳島），2015. 11.
 - 3) 木村真人：不眠症治療の新しいアプローチ. 第8回日本不安症学会学術大会（千葉），2016. 2.
- (7) ワークショップ：
- 1) 岸 泰宏，八田耕太郎，高木俊輔，和田 健，小田原俊成，野田隆政，西村勝治：若手医師・多職種のためのせん妄の予防と治療. 第28回日本総合病院精神医学会（徳島），2015. 11.
 - 2) 三宅康史，大塚耕太郎，岸 泰宏，三上克央，橋本 聡，日野耕介，河嶌 譲，金井貴夫，植田真司，秋山恵子，伊藤 翼，守村洋，成瀬 治，小林いつか：身体科救急スタッフに向けた精神科救急患者の標準的な初期対応 PEEC 公開コース. 第28回日本総合病院精神医学会（徳島），2015. 11.
- (8) 一般講演：
- 1) 大久保善朗：高齢者うつ病のアミロイドおよびタウイメージング. 第56回日本神経学会学術大会（新潟），2015. 5.
 - 2) Koeda M^{1,2)}, Belin P²⁾, Hama T³⁾, Masuda T⁴⁾, Matsuura M³⁾, Okubo Y¹⁾（¹⁾ Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, ²⁾ Voice Neurocognition Laboratory, Institute of Neuroscience and Psychology, College of Medical, Veterinary and Life Sciences, University of Glasgow, UK, ³⁾ Department of Biofunctional Informatics, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan, ⁴⁾ Division of Human Support System, Faculty of Symbiotic Systems Science, Fukushima University, Fukushima, Japan）：Cross-cultural Differences in the Processing of Fearful and Painful Vocalizations by Japanese and Canadian Listeners. The World Congress on Psychosomatic Medicine（第23回）（Glasgow, UK），2015. 8.
 - 3) Shimoda K, Kimura M, Okubo Y¹⁾：White matter abnormality in late-life depression with cognitive impairment and Alzheimer's disease. Joint Meeting of ECNS, ISNIP and ISBET（Munich, Germany），2015. 9.
 - 4) Koeda M, Akiyama T, Nagata E, Uchiyama S, Iwamoto Y, Suzuki M, Ikemori N, Shimoda K, Okubo Y, Kimura M：Frontal wave pattern before and after m-ECT in the patients with mood disorder：A preliminary NIRS study. Joint Meeting of ECNS, ISNIP and ISBET（Munich, Germany），2015. 9.
 - 5) Koeda M¹⁾, Akiyama T¹⁾, Nagata E¹⁾, Uchiyama S¹⁾, Iwamoto Y¹⁾, Suzuki M¹⁾, Ikemori N¹⁾, Shimoda K¹⁾, Okubo Y¹⁾, Kimura M¹⁾（¹⁾Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School）：Frontal wave pattern before and after m-ECT in patients with mood disorder：A preliminary NIRS study. Annual Conference on Clinical Neurophysiology and Neuroimaging 2015 -Joint

- Meeting of ECNS-ISBNIP-ISBET Annual Conference in 2015 (Munich, Germany), 2015. 9.
- 6) Eisho Y, Disuke N, Yutaka M : Associations among fried food consumption, resilience and depression in Japanese company workers. The6th International Conference on Nutrition and Physical Activity (Taipei), 2015. 10.
 - 7) Eisho Y, Disuke N, Yutaka M : Associations among fried food consumption, resilience and depression in Japanese company workers. The6th International Conference on Nutrition and Physical Activity (Taipei), 2015. 10.
 - 8) Daisuke N, Eisho Y, Yutaka M : Fish consumption and resilience to depression in Japanese company workers : a cross-sectional study. The 5th Mind- Body Interface International Symposium (Taichung Taiwan), 2015. 10.
 - 9) Ueda S, Okubo Y : Marked effect of cilostazol on agitation in a dementia patient with deep white matter lesions : etiology-targeted pharmacotherapy for agitation. INTERNATIONAL CONGRESS ON VASCULAR DEMENTIA (The 9th) (リュブリャナ (スロベニア)), 2015. 10.
 - 10) Koeda M¹⁾, Ikeda Y²⁾, Tateno A¹⁾, Suzuki H²⁾, Okubo Y¹⁾ (¹⁾ Department of Neuropsychiatry, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Pharmacology, Nippon Medical School) : Mazindol effect on cerebral response to nonverbal affective vocalization in healthy individuals : An fMRI study. The British Neuropsychiatry Association, the 29th Annual Meeting (第29回) (London, UK), 2016. 2.
 - 11) Ueda S : More attention should be paid to Alzheimer's disease patients'daily living than to their cognitive function : interventions offering a social role, including psychotherapy. International Symposium on Advances in Alzheimer Therapy (The 14th) (アテネ (ギリシャ)), 2016. 3.
 - 12) 山村英治, 松田 潔, 望月 徹, 菊池広子, 石丸直樹, 橋詰哲広, 遠藤広史, 吉野雄大, 岸 泰宏, 伊藤滋朗 : 腹部刺創患者の検討 精神科通院患者は多いのか. 第29回日本外傷学会 (札幌), 2015. 6.
 - 13) 肥田道彦, 秋山友美, 永田恵里香, 太田杏奈, 内山翔太郎, 岩本康夫, 安田 毅, 鈴木清人, 新貝慈利, 池森紀夫, 下田健吾, 木村真人 : 近赤外線スペクトロスコピーを用いた m-ECT 治療前後の気分障害患者の前頭側頭波形パターンに関する予備的検討. 第20回千葉総合病院精神科研究会 (千葉), 2015. 4.
 - 14) 石渡明子¹⁾, 水村 直²⁾, 館野 周, 大久保善朗, 木村和美¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学 神経・血管内科, ²⁾ 東邦大学医療センター大森病院放射線科) : 軽度認知障害における 18F-AV45 (florbetapir) : PET によるアミロイド蓄積評価. 日本神経学会学術大会 (第56回) (新潟), 2015. 5.
 - 15) 三宅康史, 東岡宏明, 岸 泰宏, 橋本 聡, 三上克史, 山田朋樹, 大塚耕太郎, 秋山恵子, 柳澤八重子, 寺地沙緒里 : PEEC 現状と今後. 第18回日本臨床救急医学会 (富山), 2015. 6.
 - 16) 守屋洋紀, 増岡孝浩, 坂寄 健, 金禹瓚, 館野 周, 大久保善朗 : うつ病のドーパミントランスポーターイメージング. 日本精神神経学会 (第111回) (大阪), 2015. 6.
 - 17) 坂寄 健, 館野 周, 大久保善朗 : 薬剤性パーキンソニズムのドーパミン分子イメージング. 日本精神神経学会 (第111回) (大阪), 2015. 6.
 - 18) 山本 憲, 坂寄 健, 館野 周, 大久保善朗 : ベータアミロイドの集積が認知機能に与える影響について : [18F] florbetapir PET による調査. 日本精神神経学会 (第111回) (大阪), 2015. 6.
 - 19) 肥田道彦, 秋山友美, 永田恵里香, 太田杏奈, 安田 毅, 新貝慈利, 鈴木清人, 池森紀夫, 下田健吾, 木村真人 : 近赤外線スペクトロスコピーを用いた気分障害に対する m-ECT 治療前後の脳機能変化に関する予備的検討. 第111回日本精神神経学会学術総会 (大阪), 2015. 6.
 - 20) 金禹瓚, 上田 諭, 大森 中, 石坂公介, 澤谷 篤, 能登雅明, 大久保善朗 : 常駐精神科医が不在の島嶼部における精神科救急医療. 日本精神神経学会 (第111回) (大阪), 2015. 6.
 - 21) 朝山健太郎 : 主観的眠気なく OSAS と診断された職業運転士への強制的 CPAP 治療のアドヒアランスに関する検討. 日本睡眠学会 (第40回) (栃木県宇都宮市), 2015. 7.
 - 22) 朝山健太郎 : 主観的眠気なく OSAS と診断された職業運転士への強制的 CPAP 治療のアドヒアランスに関する検討. 睡眠学会 (第40回) (栃木県宇都宮市), 2015. 7.
 - 23) 金禹瓚, 館野 周, 池田裕美子¹⁾, 坂寄 健, 荒川亮介²⁾, 鈴木秀典¹⁾, 大久保善朗 (¹⁾ 日本医科大学 薬理学教室, ²⁾ カロリンスカ研究所) : プロピオンのドーパミン神経伝達への作用に関する PET 研究. 日本生物学的精神医学会 (第37回)・日本精神神経薬理学会 (第45回) (東京), 2015. 9.
 - 24) 太組一朗, 野崎俊樹, 岸 泰宏, 川上康彦, 饒波正博, 嘉手川淳, 足立好司, 喜多村孝幸, 森田明夫 : 若年性ミオクロニーてんかんの診断動機. 第49回日本てんかん学会 (長崎), 2015. 10.
 - 25) 池森紀夫 : 当院における緩和医療. 第42回北総精神科医会 (千葉), 2015. 10.
 - 26) 二宮美香, 岸 泰宏, 伊藤滋朗 : 日本医科大学武蔵小杉病院における精神科リエゾンチームの現状と課題. 第28回日本総合病院精神医学会 (徳島), 2015. 11.

- 27) 朝山健太郎：総合病院における内科外来患者の睡眠薬使用状況の把握. 日本総合病院精神医学会（第28回）（徳島県徳島市），2015. 11.
- 28) 小林まどか¹⁾，肥田道彦¹⁾，成重竜一郎¹⁾，大久保善朗¹⁾（¹⁾日本医科大学精神医学教室）：アスペルガー障害のケースマネージメント. 東京精神医学会学術総会（第105回）（東京），2015. 11.
- 29) 太田杏奈，大村朋子¹⁾，秋山友美，下田健吾，木村真人（¹⁾千葉北総病院脳神経外科）：急性期病院における脳卒中後うつ病の実態調査. 第127回日本心身医学会関東地方会（東京），2016. 2.
- 30) 館野 周：老年期の精神疾患の画像診断. 関東脳核医学研究会（第8回）（東京），2016. 3.

論文

[追加分]

追加分原著：

- 1) Takano A, Sakayori T, Takizawa Y, Yamamoto K, Minagawa K, Okubo Y : A case of Alzheimer's disease following mild traumatic brain injury. *Gen Hosp Psychiatry*. 2015 ; 37 (1) : e7-9.
- 2) Kurita M, Nishino S, Numata Y, Okubo Y, Sato T : The noradrenaline metabolite MHPG is a candidate biomarker between the depressive, remission, and manic states in bipolar disorder I : two long-term naturalistic case reports. *Neuropsychiatr Dis Treat*. 2015 ; 11 (11) : 353-358.
- 3) Takano A, Sakayori T, Kawashima Y, Higuchi M, Suhara T, Mizumura S, Mintun M, Skovronsky D, Honjo K, Ishihara K, Kumita S, Suzuki H, Okubo Y : Comparison of imaging biomarkers for Alzheimer's disease : amyloid imaging with [18F] florbetapir positron emission tomography and magnetic resonance imaging voxel-based analysis for entorhinal cortex atrophy. *Int J Geriatr Psychiatry*. 2015 ; 30 (5) : 503-13.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) 平澤俊行，金禹瓚，上田 諭，大久保善朗，内山翔太郎，坂寄 健：高齢者の重症うつ病の回復過程にみられた妄想の階層性：電気けいれん療法による治療経過に基づく考察. 東京精神医学会（第106回），2015. 3.

追加分セミナー：

- 1) 大久保善朗：分子イメージングによる高齢者うつ病の診断と治療評価. 理化学研究所セミナー，2015. 1.

10. 小児・思春期医学分野

[付属病院小児科・武蔵小杉病院周産期・小児医療センター（小児科，小児外科，新生児内科）・多摩永山病院小児科・千葉北総病院小児科]

研究概要

小児・思春期医学分野は付属4病院小児科が協力して臨床および基礎研究を行っており，研究業績は一括して報告する．主たる研究内容は，(1) 小児膠原病の病態解明に関する研究，(2) 小児リウマチ性疾患に対する抗サイトカイン療法の検討，(3) 小児期シェーグレン症候群の病態解明と発症予防のための治療法の開発，(4) 自己抗原の抗原性と自己抗体産生機序の解明，(5) 再生医療への造血幹細胞を用いた細胞・遺伝子治療の基礎的研究，(6) 白血病治療後の晩期障害の検討ならびに抗癌剤耐性の機序の解明，(7) 川崎病の冠動脈瘤および血管リモデリングに対する分子生物学的研究，(8) 小児糖尿病児および肥満児の代謝動態の研究，(9) 小児期の腎・尿路疾患の臨床および病理学的検討，(10) 小児呼吸器疾患の臨床的特徴および肺胞音スペクトル解析とKL-6の臨床応用，(11) 新生児・乳児早期の腸内細菌叢とアレルギー疾患発症との検討，(12) 小児慢性疲労症候群の病態の解析，(13) 小児の痙攣およびてんかんの臨床と電気生理学所見・画像所見の検討などである．

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Shigemori T, Sakai A, Takumi T, Itoh Y, Suzuki H¹⁾ (1) RIKEN Brain Science Institute) : Altered Microglia in the Amygdala Are Involved in Anxiety-related behaviors of a Copy Number Variation Mouse Model of Autism. *Journal Of Nippon Medical School* 2015 ; 82 (2) : 92-99.
- 2) Fiocchi A¹⁾, Pawankar R, Cuello-Garcia C²⁾, Ahn K³⁾, Al-Hammadi S⁴⁾, Agarwal A⁵⁾, Beyer K⁶⁾, Burks W⁷⁾, Canonica G⁸⁾, Ebisawa M⁹⁾, et al. (1) Pediatric Hospital Bambino Gesù, (2) Department of Clinical Epidemiology and Biostatistics, McMaster University Health Sciences Centre, (3) Department of Pediatrics, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, (4) Department of Pediatrics, College of Medicine and Health Sciences, United Arab Emirates University, (5) Department of Clinical Epidemiology and Biostatistics, McMaster University Health Sciences Centre, (6) Charite Klinik fur Padiatrie, (7) Department of Pediatrics, University of North Carolina, (8) University of Genoa, (9) Department of Allergy, Clinical Research Center for Allergology and Rheumatology, Sagami National Hospital) : World Allergy Organization-McMaster University Guidelines for Allergic Disease Prevention (GLAD-P) : Probiotics. *World Allergy Organ Journal* 2015 ; 8 (1) : 4-17.
- 3) Braido F¹⁾, Baiardini I¹⁾, Blasi F²⁾, Pawankar R, Canonica G¹⁾ (1) Allergy and Respiratory Diseases, DIMI, University of Genoa, (2) Department of Pathophysiology and Transplantation, Università degli Studi di Milano) : Adherence to asthma treatments : 'we know, we intend, we advocate'. *Curr Opin Allergy Clin Immunol*. 2015 ; 15 (1) : 49-55.
- 4) Pawankar R, Hayashi M, Yamanishi S, Igarashi T : The paradigm of cytokine networks in allergic airway inflammation. *Curr Opin Allergy Clin Immunol*. 2015 ; 15 (1) : 41-48.
- 5) Kawakami Y, Murashima Y¹⁾, Tsukimoto M²⁾, Baba A, Miyake C, Okazaki T, Takagi A, Koizumi S, Kojima S²⁾, Fujino O, Itoh Y (1) Graduate School of Human Health Science, Tokyo Metropolitan University, (2) Department of Radiation Biology, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science) : Significance Of Glutathione-Mediated Scavenger Potency in the Development of Seizure Susceptibility in the EL Mouse Brain. *Journal of Pediatric Epilepsy* 2015 ; 4 (2) : 67-71.
- 6) Tanno L¹⁾, Calderon M²⁾, Goldberg B³⁾, Gayraud J⁴⁾, Bircher A⁵⁾, Casale T⁶⁾, Li J⁷⁾, Sanchez-Borges M⁸⁾, Rosenwasser L⁹⁾, Pawankar R (1) Hospital Sanrio Libanecircs, (2) Section of Allergy and Clinical Immunology, Imperial College London, (3) Kaiser-Permanente Southern California Regional Allergy-Immunology Laboratory, (4) Polyclinique de l'Ormeau, (5) Allergy Unit, Department of Dermatology, University Hospital Basel, (6) Internal Medicine, Morsani College of Medicine, University of South Florida, (7) Division of Allergic Diseases, Mayo Clinic, (8) Allergy and Clinical Immunology Department, Centro Medico Docente La Trinidad, (9) Division of Immunology Research, Department of Pediatrics, Children's Mercy Hospitals & Clinics) : Constructing a classification of hypersensitivity/allergic diseases for ICD-11 by crowdsourcing the allergist community. *Allergy* 2015 ; 70 (6) : 609-615.
- 7) Nobel Y¹⁾, Cox L^{1,2)}, Kirigin F¹⁾, Bokulich N¹⁾, Yamanishi S S¹⁾, Martin B^{1,2)}, et al. (1) Department of Medicine, New York University School of Medicine, (2) Department of Microbiology, New York University School of Medicine) : Metabolic and metagenomic outcomes from early-life pulsed antibiotic treatment. *Nature Communications* 2015 ; 6 : 1-15.
- 8) Kinoshita Y, Mayumi N, Inaba M, Igarashi T, Katagiri I, Kawana S : Elevated levels of antibodies against phosphatidylserine/

prothrombin complex and/or cardiolipin associated with infection and recurrent purpura in a child : a forme fruste of antiphospholipid syndrome?. *Dermatol Online J* 2015 ; 15 : 21-27.

- 9) Imai T, Takase M : Normative Data and Predictive Equation of Interrupter Airway Resistance in Preschool Children in Japan. *Journal Of Nippon Medical School* 2015 ; 82 (4) : 180-185.
- 10) Craig T¹⁾, Bork K²⁾, Bowen T³⁾, Boysen H⁴⁾, Farkas H⁵⁾, Grumach A⁶⁾, Katelaris C⁷⁾, Lockey R⁸⁾, Pawankar R, et al. (1) Department of Medicine, Pediatrics and Graduate Studies, Penn State University, (2) Department of Dermatology, University of Mainz, (3) Wales Kidney Research Unit, School of Medicine, (4) Department fur Geo und Umweltwissenschaften, (5) Hungarian Angioedema Center, 3rd Department of Internal Medicine, Semmelweis University, (6) Faculty of Medicine ABC, and Department of Dermatology, Faculty of Medicine, University of Sao Paulo, (7) Immunology & Allergy, University of Western Sydney and Head of Unit, Campbelltown Hospi, (8) Division of Allergy and Immunology, Department of Internal Medicine, University of South Florida Morsani College of Medicine) : WAO Guideline for the Management of Hereditary Angioedema. *Arerugi* 2015 ; 64 (9) : 1215-1241.
- 11) Bachert C¹⁾, Larche M²⁾, Bonini S³⁾, Canonica G⁴⁾, Kundig T⁵⁾, Larenas-Linnemann D⁶⁾, Ledford D⁷⁾, Neffen H⁸⁾, Pawankar R (1) Upper Airway Research Laboratory, University of Ghent, (2) Firestone Institute for Respiratory Health, Department of Medicine, St. Joseph's Hospital Healthcare, (3) Second University of Naples, (4) Allergy and Respiratory Diseases, DIMI Department of Internal Medicine, University of Genova, (5) Department of Dermatology, University Hospital Zurich, (6) Hospital Medica Sur, Toriello Guerra, (7) Morsani College of Medicine, University of South Florida, (8) Head, Respiratory Medicine Unit, Orlando Alassia Hospital) : Allergen immunotherapy on the way to product-based evaluation-a WAO statement. *World Allergy Organ J.* 2015 ; 8 (1) : 29-33.
- 12) Jutel M¹⁾, Agache I²⁾, Bonini S³⁾, Burks A⁴⁾, Calderon M⁵⁾, Canonica W⁶⁾, Cox L⁷⁾, Demoly P⁸⁾, Frew A⁹⁾, Pawankar R, et al. (1) Department of Clinical Immunology, Wroclaw Medical University, (2) Faculty of Medicine, Transylvania University, (3) Second University of Naples and IFT-CNR, (4) Department of Pediatrics, University of North Carolina, (5) Section of Allergy and Clinical Immunology, Imperial College London, (6) Allergy & Respiratory Diseases Clinic, DIMI University of Genoa, (7) Allergy and Asthma Center, Fort Lauderdale, (8) University Hospital of Montpellier-INSERM U657, (9) Department of Respiratory Medicine, Royal Sussex County Hospital) : International consensus on allergy immunotherapy. *J Allergy Clin Immunol.* 2015 ; 136 (3) : 556-568.
- 13) Kawakami Y, Okazaki T, Takase M, Fujino O, Itoh Y : A Girl with Idiopathic Epilepsy Showing Forced Normalization after Levetiracetam Administration. *Journal Of Nippon Medical School* 2015 ; 82 (5) : 250-253.
- 14) Cuello-Garcia C¹⁾, Brozek J¹⁾, Fiocchi A²⁾, Pawankar R, Yepes-Nunez J¹⁾, Terracciano L¹⁾, Gandhi³⁾ (1) Department of Clinical Epidemiology and Biostatistics, McMaster University, (2) Pediatric Hospital Bambino Gesù, (3) Department of Medicine, McMaster University) : Probiotics for the prevention of allergy : A systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials. *J Allergy Clin Immunology* 2015 ; 136 (4) : 952-961.
- 15) Bousquet J¹⁾, Schunemann H²⁾, Fonseca J³⁾, Samolinski B⁴⁾, Bachert C⁵⁾, Canonica G⁶⁾, Casale T⁷⁾, Cruz A⁸⁾, Demoly P⁹⁾, Pawankar R, et al. (1) Service des Maladies Respiratoires, Hospital Arnaud de Villeneuve, (2) Department of Clinical Epidemiology and Biostatistics & McGRADE center, McMaster University, (3) Departamento de Salud Publica, Facultad de Medicina, Universidad Nacional de Colombia, (4) Department of Prevention of Environmental Hazards and Allergology WUM, (5) Upper Airways Research Laboratory, University of Ghent, (6) Allergy and Respiratory Diseases, Department of Internal Medicine, IRCCS S Martino, IST, University of Genoa, (7) University of Rome La Sapienza, Department of Anatomy, Histology, Medical Legal and the Orthopedics, (8) Department of Ophthalmology, Otorhinolaryngology and Head and Neck Surgery, School of Medicine of Ribeirao Preto, University of Sao Paulo, (9) Division of Allergy, Department of Pulmonology, Hopital Arnaud de Villeneuve, University Hospital of Montpellier) : MACVIA-ARIA Sentinel NetworK for allergic rhinitis (MASK-rhinitis) : the new generation guideline implementation. *Allergy* 2015 ; 70 (11) : 1372-1392.
- 16) Yokota S¹⁾, Itoh Y, Morio T²⁾, Origasa H³⁾, Sumitomo N⁴⁾, Tomobe M⁵⁾, Tanaka K⁵⁾, Minota S⁶⁾ (1) Yokohama City University School of Medicine, (2) Department of Pediatrics and Developmental Biology, Tokyo Medical and Dental University, (3) Division of Biostatistics and Clinical Epidemiology, University of Toyama School of Medicine, (4) Saitama International Medical Center, (5) Chugai Pharmaceutical Co Ltd., (6) Jichi Medical School) : Tocilizumab in systemic juvenile idiopathic arthritis in a real-world clinical setting : results from 1 year of postmarketing surveillance follow-up of 417 patients in Japan. *Ann Rheum Dis* 2015 ; 0 : 1-7.
- 17) Miyamae T, Tanaka E, Kishi T, Matsuyama T, Igarashi T, Fujikawa S, Taniguchi A, Momohara S, Yamanaka T : Long-term outcome of 114 adult JIA patients in a non-pediatric rheumatology institute in Japan. *Mod Rheumatology* 2015 ; 25 : 62-66.

- 18) Httori M, Sako M, Kaneko T, Ashida A, Matsunaga A, Igarashi T, Itami N, Ohta T, Gotoh Y, Satomura K, Honda M, Igarashi T : End-stage renal disease in Japanese children. *Clin Exp Nephrol* 2015 ; 19 : 933-938.
- 19) Igarashi T, Fujita M, Yamada Y, Kobayashi M, Fujimoto C, Takahashi H, Igarashi T, Nakano Y, Suzuki H, Takahashi H : Improvements in Signs and Symptoms of Dry Eye after Instillation of 2% Rebamipide. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 : 229-236.
- 20) Kubota R, Kanamori K, Ohira K, Horiguchi M, Igarashi T, Sakai N, Shiba K : Variation in urinary protein components in individuals with orthostatic proteinuria as detected by lordotic load testing. *Int J Anal Bio-Sci* 2015 ; 3 : 10-16.
- 21) Jutel M¹⁾, Agache I²⁾, Bonini S³⁾, Burks A⁴⁾, Calderon M⁵⁾, Canonica W⁶⁾, Cox L⁷⁾, Demoly P⁸⁾, Frew A⁹⁾, Pawankar R, D, et al. (¹⁾ Department of Clinical Immunology, Wroclaw Medical University, ²⁾ Faculty of Medicine, Transylvania University, ³⁾ Second University of Naples and IFT-CNR, ⁴⁾ Department of Pediatrics, University of North Carolina, ⁵⁾ Section of Allergy and Clinical Immunology, Imperial College London, ⁶⁾ Allergy & Respiratory Diseases Clinic, ⁷⁾ Allergy and Asthma Center, ⁸⁾ University Hospital of Montpellier-INSERM U657, ⁹⁾ Department of Respiratory Medicine, Royal Sussex County Hospital) : International Consensus on Allergen Immunotherapy II : Mechanisms, standardization, and pharmacoconomics. *J Allergy Clin Immunol* 2016 ; 137 (2) : 358-368.
- 22) Ricci G¹⁾, Cipriani F¹⁾, Cuello-Garcia C²⁾, Brozek J²⁾, Fiocchi A³⁾, Pawankar R (¹⁾ Pediatric Unit, Dept. of Medical and Surgical Sciences, University of Bologna, Italy., ²⁾ Department of Clinical Epidemiology & Biostatistics, McMaster University, ³⁾ Pediatric Hospital Bambino Gesù, Rome, Vatican City, Italy) : A clinical reading on “World Allergy Organization-McMaster University Guidelines for Allergic Disease Prevention (GLAD-P) : Probiotics”. *World Allergy Organ J* 2016 ; 10 (9) : 9.
- 23) Tanno L¹⁾, Calderon M²⁾, Papadopoulos N³⁾, Sanchez-Borges M⁴⁾, Rosenwasser L⁵⁾, Bousquet J⁶⁾, Pawankar R, et al. (¹⁾ Hospital Sanrio Libanecircs, Sao Paulo, Brazil ; Division of Allergy, ²⁾ Section of Allergy and Clinical Immunology, Imperial College London, ³⁾ Centre for Paediatrics and Child Health, Institute of Human Development, University of Manchester, ⁴⁾ Allergy and Clinical Immunology Department, Centro Medico Docente La Trinidad, ⁵⁾ Division of Immunology Research, Department of Pediatrics, Children’s Mercy Hospitals and Clinics, ⁶⁾ Division of Allergy, Department of Pulmonology, University Hospital of Montpellier) : Revisiting Desensitization and Allergen Immunotherapy Concepts for the International Classification of Diseases (ICD) -11. *J Allergy Clin Immunol Pract* 2016.
- 24) Cuello-Garcia C¹⁾, Fiocchi A²⁾, Pawankar R, Yepes-Nuñez J¹⁾, Morgano G¹⁾, Zhang Y¹⁾, Ahn K²⁾, Al-Hammadi S³⁾, et al. (¹⁾ Department of Clinical Epidemiology & Biostatistics, McMaster University, ²⁾ Pediatric Hospital Bambino Gesù ; , ³⁾ Department of Pediatrics, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, ⁴⁾ Department of Pediatrics, College of Medicine and Health Sciences, United Arab Emirates University) : World Allergy Organization-McMaster University Guidelines for Allergic Disease Prevention (GLAD-P) : Prebiotics. *World Allergy Organ J* 2016 ; 1 (9) : 10-18.
- 25) Tanno L¹⁾, Darlenski R²⁾, Sannchez-Garcia S³⁾, Bonini M⁴⁾, Vereda A⁵⁾, Kolkhir P⁶⁾, Antolin-Amerigo D⁷⁾, Dimov V⁸⁾, Gallego-Corella C⁹⁾, Pawankar R, et al. (¹⁾ Hospital Sanrio Libanecircs and Post-graduation Program in Health Sciences of IAMSPE, ²⁾ Department of Dermatology and Venereology, Tokuda Hospital, ³⁾ Allergy Department, Hospital Infantil Universitario Nino Jesus, ⁴⁾ Department of Public Health and Infectious Diseases, “Sapienza” University of Rome, ⁵⁾ Allergy Clinic, Paris, ⁶⁾ Department of Dermatology and Venereology, Sechenov First Moscow State Medical University, ⁷⁾ Immune System Diseases and Oncology Service-Allergy Unit, Hospital Universitario Principe de Asturias, ⁸⁾ Department of Allergy and Immunology, Cleveland Clinic Florida, ⁹⁾ Medicine Faculty, Xochicalco University) : International survey on skin patch test procedures, attitudes and interpretation. *World Allergy Organ J.* 2016 ; 4 (9) : 8.
- 26) D’amato G¹⁾, Pawankar R, Vitale C¹⁾, Lanza M¹⁾, Molino A¹⁾, Stanziola A¹⁾, Sanduzzi A¹⁾, Vatrella A²⁾, D’amato M¹⁾ (¹⁾ Division of Pneumology, Department of Respiratory Diseases, High Speciality Hospital “V.Monaldi” Naples and University of Naples Federico II, ²⁾ Department of Medicine and Surgery, University of Salerno) : Climate Change and Air Pollution : Effects on Respiratory Allergy. *Allergy Asthma Immunol Res.* 2016 ; 8 (3) : 21-26.
- 27) 植田高弘 : 小児白血病治療の現状と展望. *日本医科大学医学雑誌* 2015 ; 11 (4) : 181-186.
- 28) 植田高弘 : 無症状のリンパ節腫大の経過はどう観察したらよいでしょうか?. *小児内科* 2015 ; 47 (5) : 716-719.
- (2) 総説 :
- 1) Yanagihara T¹⁾, Hamada R²⁾, Ishikura K²⁾, Uemura O⁵⁾, Matsuyama T³⁾, Takahashi S⁴⁾, Honda M²⁾ (¹⁾ Department of Pediatrics, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Nephrology, Tokyo Metropolitan Children’s Medical Center, ³⁾ Department of Pediatrics, Fussa Hospital, ⁴⁾ Department of Pediatrics and Child Health, Nihon University School of Medicine, Tokyo, ⁵⁾ Department of Pediatric Nephrology, Aichi Children’s Health and Medical Center, Aichi, Japan) : Urinary screening and urinary abnormalities in 3-year-old children in Japan. *Pediatrics Internatinal* 2015 ; 57 (3) : 354-358.
- 2) D’amato G¹⁾, Holgate S²⁾, Pawankar R, Ledford D³⁾, Cecchi L⁴⁾, Al-Ahmad M⁵⁾, Al-Enezi F⁶⁾, Al-Muhsen S⁷⁾, Ansotegui I⁸⁾,

- Baena-Cagnani C⁹⁾, et al. ⁽¹⁾ Department of Respiratory Diseases, Division of Pneumology and Allergology, High Specialty Hospital “A. Cardarelli” Napoli, ⁽²⁾ Southampton General Hospital, ⁽³⁾ Morsani College of Medicine, University of South Florida, ⁽⁴⁾ Interdepartmental Centre of Bioclimatology, University of Florence Allergy and Clinical Immunology Section, ⁽⁵⁾ Department of Allergy, Al-Rashid Center, Ministry of Health, ⁽⁶⁾ Al-Rashid Allergy and Respiratory Center, ⁽⁷⁾ Department of Pediatrics, College of Medicine, King Saud University, ⁽⁸⁾ Department of Allergy and Immunology, Hospital Quiron Bizkaia, ⁽⁹⁾ Centre for Research in Respiratory Medicine, Faculty of Medicine, Catholic University of Cordoba) : Meteorological conditions, climate change, new emerging factors, and asthma and related allergic disorders. A statement of the World Allergy Organization. World Allergy Organ J. 2015 ; 8 (1) : 25-77.
- 3) Metcalfe D¹⁾, Pawankar R, Ackerman S²⁾, Akin C³⁾, Clayton F⁴⁾, Falcone F⁵⁾, Gleich G⁶⁾, Irani A⁷⁾, Johansson M⁸⁾, Klion A⁹⁾, Leiferman K¹⁰⁾, et al. ⁽¹⁾ Laboratory of Allergic Diseases, National Institute of Allergy and Infectious Diseases, National Institutes of Health, ⁽²⁾ Division of Allergy, Department of Pediatrics, Nippon Medical School, ⁽³⁾ Department of Biochemistry and Molecular Genetics, College of Medicine, University of Illinois, ⁽⁴⁾ Harvard Medical School, Brigham and Women’s Hospital, ⁽⁵⁾ Department of Pathology, University of Utah Health Sciences Center, ⁽⁶⁾ The School of Pharmacy, University of Nottingham, ⁽⁷⁾ Department of Dermatology, University of Utah, School of Medicine, ⁽⁸⁾ Virginia Commonwealth University, ⁽⁹⁾ Department of Biomolecular Chemistry, University of Wisconsin, ⁽¹⁰⁾ and others) : Biomarkers of the involvement of mast cells, basophils and eosinophils in asthma and allergic diseases. World Allergy Organ Journal 2016 ; 11 (9) : 7.
- 4) 橋崎秀彦¹⁾, 伊藤保彦¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学小児科) : 【私の処方 2015】 アレルギー・膠原病の処方 リウマチ熱. 小児科臨床 2015 ; 68 (4) : 942-948.
- 5) 前田美穂 : 鉄欠乏性貧血 私の処方 2015. 小児科臨床 2015 ; 68 (4) : 780-784.
- 6) 前田美穂 : 乳児の鉄欠乏性貧血どのような状態から治療が必要なのでしょうか. 小児内科 2015 ; 47 (5) : 713-715.
- 7) 高瀬真人 : 乳幼児喘息のより良い診療を目指して ガイドライン 2016 年改訂に向けて ウイルス性喘鳴と喘息の鑑別. 日本小児呼吸器学会雑誌 2015 ; 26 (1) : 99-103.
- 8) 今井丈英 : 小児気道異物診療をもう一度考える 小児気道異物診療概論 疫学を含めた気道異物ワーキング・グループの活動状況について. 日本小児呼吸器学会雑誌 2015 ; 26 (1) : 129-132.
- 9) 林 美雪, Pawankar R : 日本アレルギー学会「アナフィラキシーガイドライン」の解説. 小児科 2015 ; 56 (7) : 985-994.
- 10) 前田美穂 : 小児がんの晩期合併症. 小児外科 2015 ; 47 (7) : 757-760.
- 11) 五十嵐徹, 伊藤保彦 : 若年性特発性関節炎 (JIA) における新しい生物学的製剤. リウマチ科 2015 ; 54 (1) : 120-124.
- 12) 林 美雪, Pawankar Ruby : 気道アレルギー. 医学と薬学 2015 ; 72 (9) : 1455-1464.
- 13) 深澤隆治¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学小児科) : 【小児疾患診療のための病態生理 2 改訂第 5 版】 リウマチ性疾患とその周辺疾患 川崎病. 小児内科 2015 ; 47 (増刊) : 879-885.
- 14) 山西慎吾¹⁾, 伊藤保彦¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学小児科) : 【小児疾患診療のための病態生理 2 改訂第 5 版】 リウマチ性疾患とその周辺疾患 リウマチ熱と溶連菌感染後関節炎. 小児内科 2015 ; 47 (増刊) : 844-849.
- 15) 山西慎吾¹⁾, 伊藤保彦¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学小児科) : 抗 Ro 抗体と新生児心ブロック. 呼吸と循環 2015 ; 63 (11) : 1057-1062.
- 16) 山西慎吾, 伊藤保彦 : 【膠原病に伴う循環器疾患】 抗 Ro 抗体と新生児心ブロック. 呼吸と巡回 2015 ; 63 (11) : 1057-1062.
- 17) 林 美雪, Pawankar R : 大豆アレルギー. 別冊 免疫症候群 (第 2 版) II 2016 ; 35 (2) : 334-340.
- 18) 林 美雪, Pawankar R : 魚介類アレルギー. 別冊 免疫症候群 (第 2 版) II 2016 ; 35 (2) : 355-361.
- (3) 症例報告 :
- 1) Asano T¹⁾, Narazaki H¹⁾, Kiyohiko K¹⁾, Kuwabara K²⁾, Fujino O¹⁾, Itoh Y²⁾ ⁽¹⁾ Department of Pediatrics, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ⁽²⁾ Department of Pediatrics, Nippon Medical School) : Seronegative Antiphospholipid Syndrome with Anti-phosphatidylethanolamine Antibody in a Boy. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (2) : 117-120.
- 2) Asano T¹⁾, Narazaki H¹⁾, Kaizu K¹⁾, Matsukawa S¹⁾, Takema-Tochikubo Y¹⁾, Fujii S¹⁾, Saitoh N²⁾, Mashiko K²⁾, Fujino O¹⁾ ⁽¹⁾ Department of Pediatrics, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, Inzai City, Chiba, Japan, ⁽²⁾ Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, Inzai City, Chiba, Japan) : Neglect-induced pseudo-thrombotic thrombocytopenic purpura due to vitamin B12 deficiency. Pediatric International 2015 ; 57 (5) : 988-990.
- 3) Miyatake C¹⁾, Koizumi S¹⁾, Narazaki H¹⁾, Asano T¹⁾, Osaka H²⁾, Kurosawa K³⁾, Takanashi J⁴⁾, Fujino O¹⁾ ⁽¹⁾ Department of Pediatrics, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, ⁽²⁾ Department of Pediatrics, Jichi Medical University, ⁽³⁾ Department of Medical Genetics, Kanagawa Children’s Medical Center, ⁽⁴⁾ Department of Pediatrics, Tokyo Women’s Medical University Yachiyo Medical Center) : Clinical pictures in Pelizaeus-Merzbacher disease : a report of a case. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (2) : 74-75.
- 4) 江崎英子¹⁾, 上野 孝¹⁾, 稲葉基之¹⁾, 船坂陽子¹⁾, 伊藤保彦²⁾, 川名誠司¹⁾ ⁽¹⁾ 皮膚科, ⁽²⁾ 小児科) : 外科的切除と水酸化アルミニウ

ム治療が有効であった若年性皮膚筋炎の石灰沈着病変. 皮膚科の臨床 2015 ; 57 (9) : 1435-1438.

(4) 解説 Q & A 特集 :

- 1) 高瀬真人 : 【日常診療 Q&A】ピンポイント小児医療 感染症 上気道感染症時に、鎮咳薬、抗ヒスタミン薬、去痰薬は必要ですか？. 小児内科 2015 ; 47 (5) : 638-640.
- 2) 高瀬真人 : 【小児気管支喘息ガイドライン (JPGL) の再評価と展望】日本小児呼吸器学会からみた JPGL の再評価と展望. アレルギー・免疫 2015 ; 22 (8) : 1064-1070.
- 3) 今井丈英 : 【小児呼吸器疾患をあなどるな !】治療にトライしよう ! 重症心身障害児の在宅支援 重心施設以外での全身管理. 小児科診療 2015 ; 78 (7) : 983-990.
- 4) 高瀬真人 : 【子どもの咳と喘鳴】咳・喘鳴の診察と検査の進め方. 小児科 2015 ; 56 (8) : 1025-1030.
- 5) 高瀬真人 : 【乳幼児の喘鳴を鑑別する】乳幼児の喘鳴を鑑別するために必要な肺聴診の知識. 日本医事新報 2015 ; 4776 : 37-41.

著 書

- 1) Pawankar R : [分担] Mast cells in Rhinitis. Global Atlas in Allergic Rhinitis and Chronic Rhinosinusitis (C. Akdis, P. Hellings and I. Agache), 2015 ; pp11-13, EAACI.
- 2) 高橋 翼¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院小児外科 : [分担] 特集 新生児医療 一再評価されている話題・新しい話題 6 内視鏡による新生児外科治療. 小児科 (福永慶隆・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・高橋孝雄), 2015 ; pp1633-1636, 金原出版株式会社.
- 3) 島 義雄¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院新生児内科 : [分担] 特集 新生児医療 : 再評価されている話題・新しい話題 7 早産児の慢性肺疾患の臨床. 小児科 (福永慶隆・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・高橋孝雄), 2015 ; pp1637-1643, 金原出版株式会社.
- 4) 重盛朋子 : [分担] リウマチ熱. 今日の小児治療指針 (水口雅 市橋光 崎山弘), 2015 ; pp280-281, 医学書院.
- 5) 深澤隆治¹⁾ (1) 日本医科大学小児科 : [共著] 川崎病 (冠動脈病変を除く). 今日の小児治療指針 (水口 雅, 市橋 光, 崎山 弘), 2015 ; pp286-289, 医学書院.
- 6) 高瀬真人 : [分担] 第 1 章 喘鳴を科学する : 病態の正しい理解のために - 第 4 章 Expert Eyes. よくわかる子どもの喘鳴診療ガイド - 喘鳴を科学する - (徳山研一), 2015 ; pp2-7, 診断と治療社.
- 7) 植田高弘 : [分担] 巨赤芽球形貧血. 小児血液・腫瘍学, 2015 ; pp381-384, 診断と治療社.
- 8) 植田高弘 : [分担] 出血性貧血. 小児血液・腫瘍学, 2015 ; pp385-388, 診断と治療社.
- 9) 植田高弘 : [分担] その他の貧血疾患. 小児血液・腫瘍学, 2015 ; pp389-392, 診断と治療社.
- 10) 前田美穂 : [分担] 晚期合併症・心臓. 小児血液・腫瘍学, 2015 ; pp266-268, 診断と治療社.
- 11) 前田美穂 : [分担] 鉄欠乏性貧血慢性疾患に伴う貧血. 小児血液・腫瘍学, 2015 ; pp347-348, 診断と治療社.
- 12) 山西慎吾, 伊藤保彦 : [共著] リウマチ性疾患とその周辺疾患 : リウマチ熱, 溶連菌感染後反応性関節炎. 小児疾患診療のための病態生理 2 改訂第 5 版 (小児内科編集委員会), 2015 ; pp844-849, 東京医学社.
- 13) 伊藤保彦 : [分担] 若年性特発性関節炎におけるステロイドの使い方は ? . ステロイドのエビデンス (川合眞一), 2015 ; pp262-267, 羊土社.
- 14) 前田美穂 : [分担] 鉄欠乏性貧血. 小児血液・腫瘍学, 2015 ; pp343-346, 診断と治療社.
- 15) 高瀬真人 : [分担] 各論③慢性呼吸器疾患. 小児慢性特定疾病 - 診断の手引き - (日本小児科学会, 国立成育医療研究センター小児慢性特定疾病情報室), 2016 ; pp199-226, 診断と治療社.
- 16) 山西慎吾, Pawankar R : [分担] 成長初期における腸内細菌と宿主の代謝相互作用. ヒトマイクロバイオーーム研究最前線 (服部正平), 2016 ; pp149-157, NTS.

学会発表

(1) 特別講演 :

- 1) Pawankar R : Food Allergy and Anaphylaxis : From etiology to management. Sao Paulo University Allergy Seminar (ブラジル, サンパウロ), 2015. 9.
- 2) Pawankar R : Interleukin 13 in allergic disease : Roles and as therapeutic target. Stanford University Immunology and Precision Medicine Seminar (San Francisco, USA), 2015. 11.
- 3) Pawankar R : Allergic Rhinitis and its Impact on Asthma : From evidence to current recommendations. Middle East-Asia Allergy Asthma Immunology Congress (MEAAIC) 2015 (Abu Dhabi, UAE), 2015. 12.
- 4) Pawankar R : Current update on Allergic Rhinitis. St John's Medical College Allergy Seminar (Bangalore, India), 2016. 1.
- 5) 高橋 翼 : 小児外科・新生児外科とは ? . 川崎市外科医会学術講演会 (川崎), 2015. 10.

(2) 教育講演 :

- 1) 勝部康弘, 赤尾見春 : こどものアレルギーとぜんそく : とっさの時に、エピペンは使えますか ? . 平成 27 年度ぜん息児健康回復教

室 (川崎), 2015. 11.

(3) シンポジウム :

- 1) Pawankar R : From current therapies for Rhinitis to immunomodulators and biologicals. 17th Asian Research Symposium in Rhinology (ARSR) (中国, 北京), 2015. 4.
- 2) Pawankar R, Yamanishi S, Watanabe S¹⁾ (¹⁾ Dept. of Otolaryngology, Showa University School of Medicine) : Microbiome and upper airway disease. 17th Asian Research Symposium in Rhinology (ARSR) (中国, 北京), 2015. 4.
- 3) Pawankar R, Yamanishi S, Tajima H, Itoh Y : Impact of biodiversity, environmental factors and the microbiome on allergic diseases. 2015 Korean Academy of Asthma, Allergy and Clinical Immunology & East Asia Allergy Symposium Joint International Congress (韓国, ソウル), 2015. 5.
- 4) Pawankar R : How does the microbiome affect chronic rhinosinusitis and asthma?. The European Academy of Allergy and Clinical Immunology Congress (EAACI) Congress 2015 (スペイン, バルセロナ), 2015. 6.
- 5) Pawankar R : Allergy strategies towards prevention : What do we know? Added values of the GLAD-P project. Expo Milano 2015 (イタリア, ミラノ), 2015. 6.
- 6) Pawankar R : Biodiversity and asthma. European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI) Congress 2015 (スペイン, バルセロナ), 2015. 6.
- 7) Pawankar R : Education and policy activities in low income countries - the WAO White book. Global Alliance against Chronic Respiratory Diseases (GARD) 10th General Meeting (ポルトガル, リスボン), 2015. 7.
- 8) Pawankar R : The Epithelium as a key regulator of barrier defense and immune regulation in allergic airway disease. European Congress of Immunology (ECI) Vienna 2015 (オーストリア, ウィーン), 2015. 9.
- 9) Pawankar R : Animal studies of asthma and other inflammatory conditions. European Respiratory Society (ERS) International Congress 2015 (オランダ, アムステルダム), 2015. 9.
- 10) Pawankar R : Immune mechanisms in the human lung. European Respiratory Society (ERS) International Congress 2015 (オランダ, アムステルダム), 2015. 9.
- 11) Pawankar R : Sublingual Immunotherapy : position paper of the World Allergy Organization. Association of Brazilian Society of Allergy and Immunology (ASBAI) Congress (ブラジル, サンパウロ), 2015. 9.
- 12) Pawankar R, Watanabe S¹⁾, Shingo Y, Itoh Y (¹⁾ Dept. of Otolaryngology, Showa University School of Medicine) : Microbiome and airway inflammatory diseases : potential for therapy. Association of the Brazilian Society of Allergology and Immunology (ASBAI) Congress (ブラジル, サンパウロ), 2015. 9.
- 13) Pawankar R : Involvement of Academies and the Impact on the Allergy Practice. XXIV World Allergy Congress (WAC) 2015 (韓国, ソウル), 2015. 10.
- 14) Pawankar R : Epithelial Cell Derived Cytokines Immune Cell Interactions : Front Line of Allergic Airway Disease. XXIV World Allergy Congress (WAC) 2015 (韓国, ソウル), 2015. 10.
- 15) Pawankar R : The Role of the Airways Microbiome and Early Onset Respiratory Allergy. WAO Symposium on Food Allergy and the Microbiome (Miami, USA), 2015. 12.
- 16) Pawankar R : Rationale for Anti-IgE and Biologics in Allergy. Middle East-Asia Allergy Asthma Immunology Congress (MEAAA-IC) 2015 (Abu Dhabi, UAE), 2015. 12.
- 17) Pawankar R : Guidelines for the Prevention of Atopic Disease (GLAD-P). Middle East-Asia Allergy Asthma Immunology Congress (MEAAAIC) 2015 (Abu Dhabi, UAE), 2015. 12.
- 18) Pawankar R : Biodiversity, The Microbiome and Airway Disease. Middle East-Asia Allergy Asthma Immunology Congress (MEAAAIC) 2015 (Abu Dhabi, UAE), 2015. 12.
- 19) Pawankar R : Role of IL-13 and Anti-IgE as biologics in allergy. Allergy Seminar : Mumbai chapter (Mumbai, India), 2016. 1.
- 20) Pawankar R : Novel immunomodulators and biologics in allergic airway disease. PULMOCRIT Respiratory Update 2016 (New Delhi, India), 2016. 1.
- 21) Pawankar R : Interleukin 13 and its role in allergic inflammation. PULMOCRIT Respiratory Update 2016 (New Delhi, India), 2016. 1.
- 22) Pawankar R : Microbiome and Airways disease. World Congress on Asthma 2016 (Madrid, Spain), 2016. 3.
- 23) Pawankar R : Chronic Rhinosinusitis and Asthma. Does it influence Asthma control and severity?. World Congress on Asthma 2016 (Madrid, Spain), 2016. 3.
- 24) 植田高弘 : 小児白血球病治療の現状. 日本医科大学医学会 (第 25 回) (東京), 2015. 6.
- 25) Pawankar R : WAO-JSA Symposium : WAO Consensus on Molecular-based Allergy Diagnosis. 第 64 日本アレルギー学会学術大

- 会, 2015. 6.
- 26) 今井丈英: 小児呼吸器疾患におけるステロイド薬の使い方 呼吸器感染症におけるステロイド薬の使い方. 日本小児呼吸器学会 (第48回) (岡山県倉敷市), 2015. 10.
- 27) 前田美穂: 医学領域のガラスの天井をすり抜けて: 女性活躍の量的拡大から質的拡大へ. 「女性医研究者支援シンポジウム」パネルディスカッション (順天堂大学), 2016. 1.
- 28) 前田美穂: 麻疹のアウトブレイクと対応. 環境感染学会 (第31回) (京都), 2016. 2.
- (4) パネルディスカッション:
- 1) Shigemori T: Involvement of altered microglia during early development in anxiety-related behaviors of copy number variation mouse model of autism. Congress of Asian Society for Pediatric Research (第11回) (大阪府大阪市), 2015. 4.
 - 2) 重盛朋子: 小児期発症の腸管ペーチェットの1例. 日本臨床リウマチ学会 (第30回) (兵庫県神戸市), 2015. 10.
- (5) ワークショップ:
- 1) Pawankar R: Diet and Lifestyle. World Congress on Asthma 2016 (Madrid, Spain), 2016. 3.
- (6) 一般講演:
- 1) Katsube Y: Effect of endothelin and other medicines for treating pulmonary arterial hypertension on Ca^{2+} current of rat ventricular myocytes. ASPR2015 (大阪), 2015. 4.
 - 2) 竹下 輝¹⁾, 田辺雄次郎¹⁾, 杉野健太¹⁾, 渡邊 誠¹⁾, 山西愼吾¹⁾, 五十嵐徹¹⁾, 伊藤保彦¹⁾ (1) 付属病院小児科): 関節炎が遷延し若年性特発性関節炎との鑑別に苦慮した川崎病の3例. 小児科学会学術集会 (第118回) (大阪), 2015. 4.
 - 3) Zhang L¹⁾, Pawankar R¹⁾, Watanabe S²⁾, Nonaka M³⁾, Hayashi M¹⁾, Yamanishi S¹⁾, Suzaki H⁴⁾, Kobayashi H²⁾, Itoh Y¹⁾ (1) Dept. of Pediatrics, Nippon Medical School, 2) Dept. of Otorhinolaryngology, Showa University School of Medicine, 3) Dept. of Otolaryngology, Tokyo Women's Medical University, 4) Nasal. PNS Disease and Allergy Institute, Tokyo General Hospital): Increased Expression of Filaggrin, TSLP, Periostin, IL13 and IL-33 in Nasal Polyps. XXIV World Allergy Congress (WAC) 2015 (韓国, ソウル), 2015. 10.
 - 4) Watanabe S¹⁾, Soma Y¹⁾, Pawankar R²⁾, Suzaki H¹⁾, Kobayashi H¹⁾ (1) Dept. of Otorhinolaryngology, Showa University School of Medicine, 2) Dept. of Pediatrics, Nippon Medical School): Effect of Administration of Oral Steroids on T-Cells in Patients with Chronic Rhinosinusitis. XXIV World Allergy Congress (WAC) 2015 (韓国, ソウル), 2015. 10.
 - 5) Soma Y¹⁾, Watanabe S¹⁾, Pawankar R²⁾, Suzaki H¹⁾, Kobayashi H¹⁾ (1) Dept. of Otorhinolaryngology, Showa University School of Medicine, 2) Dept. of Pediatrics, Nippon Medical School): Effects of Vitamin D in Patients with Chronic Rhinosinusitis. XXIV World Allergy Congress (WAC) 2015 (韓国, ソウル), 2015. 10.
 - 6) Joseph J¹⁾, M.s S¹⁾, Kumar H¹⁾, Pawankar R²⁾ (1) Dept. of Otorhinolaryngology, HNS, St. John's Medical College Hospital & St. John's Research Institute, 2) Dept. of Pediatrics, Nippon Medical School): Spectrum of Allergens Causing Allergic Rhinitis and Asthma in Urban Bangalore, India, a Study of 120 Patients. XXIV World Allergy Congress (WAC) 2015 (韓国, ソウル), 2015. 10.
 - 7) Kumar H¹⁾, M.s S¹⁾, Joseph J¹⁾, Pawankar R²⁾ (1) Dept. of Otorhinolaryngology, HNS, St. John's Medical College Hospital & St. John's Research Institute, 2) Dept. of Pediatrics, Nippon Medical School): Skin Prick Test Reactivity to Common Pollen Aeroallergens in Patients with Allergic Rhinitis: in Urban Bangalore, India. XXIV World Allergy Congress (WAC) 2015 (韓国, ソウル), 2015. 10.
 - 8) Hayashi M, Pawankar R, Yamanishi S, Igarashi T, Itoh Y: Soybean Storage Proteins As the Main Allergen in a Patient with Food-Dependent Exercise-Induced Anaphylaxis Due to Tofu. XXIV World Allergy Congress (WAC) 2015 (韓国, ソウル), 2015. 10.
 - 9) Chellaa R¹⁾, Inbaraj G¹⁾, M.s S¹⁾, Soumya R (1) Dept. of Otolaryngology, HNS, St. John's Medical College Hospital and St. John's National Academy of Health Sciences): Yoga as a lifestyle modification to improve the Quality of Life in smokers with Allergic Rhinitis. XXIV World Allergy Congress (WAC) 2015 (韓国, ソウル), 2015. 10.
 - 10) Agarwal A¹⁾, Pawankar R, Singh M¹⁾, Kaur J¹⁾, Singh S¹⁾, Pant P¹⁾ (1) Dept. of Pediatrics, Postgraduate Institute of Medical Education and Research): To test use of jet nebulizers NE-C802 as a drug delivery system in the children with asthma. XXIV World Allergy Congress (WAC) 2015 (韓国, ソウル), 2015. 10.
 - 11) M.s S¹⁾, Inbaraj G¹⁾, Chellaa R¹⁾, Pawankar R (1) Dept. of Otorhinolaryngology, HNS, St. John's Medical College Hospital): Alternative Therapy Such As Yoga May be a Low Cost Tool for Improving the Quality of Life of Patient's with Allergic Rhinitis and Asthma. XXIV World Allergy Congress (WAC) 2015 (韓国, ソウル), 2015. 10.
 - 12) 尾崎優介¹⁾, 山西愼吾¹⁾, 田辺雄次郎¹⁾, 藤井秀一²⁾, 五十嵐徹¹⁾, 伊藤保彦¹⁾ (1) 付属病院小児科, 2) 多摩永山病院小児科): mPSL パルス, MTX, IVCY, IVIG で寛解導入した難治性若年性皮膚筋炎の1例. 日本小児リウマチ学会総会・学術集会 (第25回) (金沢), 2015. 10.

- 13) Hayashi M, Yamanishi S, Pawankar R, Ito Y : Food-dependent exercise-induced anaphylaxis due to soy product - a case report. World Allergy Congress (第17回) (Seoul, Korea), 2015. 10.
- 14) 山下 基¹⁾, 今井耕輔¹⁾, 加藤 環⁴⁾, 山西愼吾²⁾, 真弓暢子³⁾, 田中真百合³⁾, 岡野 翼¹⁾, 田中桂輔¹⁾, 葉 姿汶¹⁾, 星野顕宏¹⁾, 金兼弘和¹⁾, 野々山忠章⁴⁾, 森尾友宏¹⁾ (1) 東京医科歯科大学 発生発達病態学分野, 2) 日本医科大学 小児科, 3) 日本医科大学 皮膚科, 4) 防衛医科大学校 小児科) : 汎発性疣贅を呈し, IL2RG の synonymous 変異によりスプライス異常をきたした γ C 欠損症の16歳男児例. 日本免疫不全症研究会学術集会 (第9回) (東京), 2016. 1.
- 15) Itabashi T, Maeda M, Uchimura R, Gotyou Y, Yamanishi M, Kobayashi H, Kaizu K, Hayakawa J, Ueda T, Migita M, Asano T, Ito Y : Eleven cases of therapy-related secondart cancer. 日本血液学会 (第77回) (石川), 2015. 10.
- 16) Itabashi T, Maeda M, Uchimura R, Gotyou Y, Yamanishi M, Kobayashi F, Kaizu K, Hayakawa J, Ueda T, Migita A, Asano T, Ito Y : Eleven cases of therapy-related Secondary Cancer. A single institution experience (金沢), 2015. 10.
- 17) 荒木 尚¹⁾, 横田裕行¹⁾, 布施 明¹⁾, 横堀将司¹⁾, 恩田秀賢¹⁾, 桑本健太郎¹⁾, 安武正弘²⁾, 川井 真²⁾, 伊藤保彦³⁾, 森田明夫⁴⁾ (1) 救命センター, 2) 総合診療科, 3) 小児科, 4) 脳神経外科) : 小児の脳神経外傷 頭蓋内出血を有する小児軽症頭部外傷の診断治療と長期予後. 日本脳神経外傷学会 (第38回),
- 18) 勝部康弘 : 接触者健診で発見された小児肺結核の2例. 川崎市小児科医会症例検討会 (第357回) (川崎), 2015. 4.
- 19) 高橋 翼 : 小児外科 Annual Report 2015 : 症例提示. 川崎市小児科医会症例検討会 (第357回) (川崎), 2015. 4.
- 20) 後藤芳充¹⁾, 柳原 剛²⁾, 本田雅敬³⁾, 村上陸美⁴⁾ (1) 名古屋第二赤十字病院小児腎臓科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院小児科, 3) 都立小児総合医療センター腎臓科, 4) 日本医科大学小児科) : 平成25年度 学校生活における健康管理に関する調査のまとめ 腎臓検診 (教育委員会). 日本小児科学会学術集会 (第118回) (大阪), 2015. 4.
- 21) 柳原 剛¹⁾, 後藤芳充²⁾, 本田雅敬³⁾, 村上陸美⁴⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院小児科, 2) 名古屋第二赤十字病院小児腎臓科, 3) 都立小児総合医療センター腎臓内科, 4) 日本医科大学小児科) : 平成25年度学校生活における健康管理に関する調査のまとめ 腎臓検診 (学校). 日本小児科学会学術集会 (第118回) (大阪), 2015. 4.
- 22) 寒竹由香理¹⁾, 柳原 剛²⁾, 大家絵理²⁾, 徐 東博²⁾, 星野レイ²⁾, 吉崎 薫²⁾, 海津聖彦²⁾, 赤尾見春²⁾, 右田 真²⁾, 勝部康弘²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院看護部, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院小児科) : 新たに開設した準夜間小児急病センターの現状と地域に与えた影響について. 日本小児科学会学術集会 (第118回) (大阪), 2015. 4.
- 23) 藤井秀一, 川上康彦, 牛腸義宏, 竹田幸代, 松本多絵, 橋本佳亮, 高瀬真人 : 軽微な神経症状で経過し, 脳梗塞様のMRI所見を呈した単純ヘルペス脳炎の早期乳児例. 日本小児科学会 (第118回) (大阪府大阪市), 2015. 4.
- 24) 山西愼吾¹⁾, 五十嵐徹¹⁾, 田辺雄次郎¹⁾, 竹下 輝¹⁾, 尾崎優介¹⁾, 伊藤保彦¹⁾ (1) 付属病院小児科) : 乳児期に抗リン脂質抗体症候群を発症した一卵性双生児のサイトカインプロファイル. 日本リウマチ学会総会・学術集会 (第59回) (名古屋), 2015. 4.
- 25) 尾崎優介¹⁾, 山西愼吾¹⁾, 赤尾見春²⁾, 田辺雄次郎¹⁾, 竹下 輝¹⁾, 五十嵐徹¹⁾, 伊藤保彦¹⁾ (1) 付属病院小児科, 2) 武蔵小杉病院周産期・小児医療センター) : 治療に難渋している Overlap 症候群 (混合性結合組織病, 強皮症) の1例. 日本リウマチ学会総会・学術集会 (第59回) (名古屋), 2015. 4.
- 26) 五十嵐徹¹⁾, 松山 毅²⁾, 山西愼吾¹⁾, 田辺雄次郎¹⁾, 竹下 輝¹⁾, 尾崎優介¹⁾, 宮前多佳子²⁾, 伊藤保彦¹⁾ (1) 日本医科大学小児科, 2) 東京女子医科大学付属膠原病リウマチ痛風センター) : 間質性腎炎を合併したシェーグレン症候群に若年性特発性関節炎が発症した女児例. 日本リウマチ学会総会・学術集会 (第59回) (名古屋), 2015. 4.
- 27) 根井貴仁¹⁾, 藤田昌久¹⁾, 山西愼吾²⁾, 中川仁美¹⁾, 前田美穂²⁾ (1) 日本医科大学付属病院感染制御部, 2) 日本医科大学付属病院小児科) : 当院小児科病棟における麻疹アウトブレイクに関しての考察. 日本感染症学会 (京都), 2015. 4.
- 28) 徐 東博¹⁾, 吉崎 薫¹⁾, 柳原 剛¹⁾, 五十嵐徹²⁾, 伊藤保彦²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院小児科, 2) 日本医科大学付属病院小児科) : 当院において入院治療を行った尿路感染症60例における超音波検査所見の検討. 日本小児腎臓病学会学術集会 (第50回) (神戸), 2015. 6.
- 29) 吉崎 薫¹⁾, 柳原 剛¹⁾, 徐 東博¹⁾, 五十嵐徹²⁾, 伊藤保彦²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院小児科, 2) 日本医科大学付属病院小児科) : 当院における小児IgA腎症の治療経過の検討. 日本小児腎臓病学会学術集会 (第50回) (神戸), 2015. 6.
- 30) 林 美雪, Pawankar R, 山西愼吾, 五十嵐徹, 伊藤保彦 : 大豆製品が原因と考えられた食物依存性運動誘発性アナフィラキシー (FDEIA) の1例. 第64日本アレルギー学会学術大会, 2015. 6.
- 31) 楊井瑛美¹⁾, 田辺雄次郎¹⁾, 尾崎優介¹⁾, 竹下 輝¹⁾, 山西愼吾¹⁾, 柳原 剛²⁾, 五十嵐徹¹⁾, 大橋隆治³⁾, 清水 章⁴⁾, 伊藤保彦¹⁾ (1) 付属病院小児科, 2) 武蔵小杉病院周産期・小児医療センター, 3) 付属病院病理診断科, 4) 付属病院病理学教室) : ステロイド治療により寛解した巣状分節性糸球体硬化症 (FSGS) tip variant の15歳男児例. 日本小児腎臓病総会・学術集会 (第50回) (神戸), 2015. 6.
- 32) 前田美穂 : 移行期医療について. 福島小児血液・腫瘍研究会 (第9回) (福島), 2015. 6.
- 33) 松村好克, 松川昇平, 矢代健太郎, 島 義雄, 深見武彦, 松島 隆, 浅倉啓文 : 無呼吸発作を契機に診断された脊椎肋骨異形成症の1例. 日本周産期・新生児医学会学術集会 (第51回) (福岡), 2015. 7.

- 34) 草野泰造¹⁾, 熊坂 栄¹⁾, 横山愛子¹⁾, 寺田有佑¹⁾, 島 義雄²⁾ (1) 葛飾赤十字産院小児科, (2) 日本医科大学武蔵小杉病院新生児内科): 出生前診断された先天性鼻涙管嚢胞の2例. 日本周産期・新生児医学会学術集会 (第51回) (福岡), 2015. 7.
- 35) 寺田有佑¹⁾, 熊坂 栄¹⁾, 横山愛子¹⁾, 島 義雄 (1) 葛飾赤十字産院新生児科): HPA-3a 抗原不適合新生児同種免疫性血小板減少症の1例. 日本周産期・新生児医学会 (第51回) (福岡県福岡市), 2015. 7.
- 36) 深澤隆治¹⁾, 渡邊 誠¹⁾, 橋本佳昭¹⁾, 池上 英¹⁾, 赤尾見春¹⁾, 阿部正徳¹⁾, 上砂光裕¹⁾, 勝部康弘¹⁾, 三浦典子²⁾, 大野尚人²⁾, 小川俊一¹⁾ (1) 日本医科大学小児科, (2) 東京薬科大学薬学部免疫学教室): Candida Albicans Water Soluble Fraction (CAWS) 血管炎川崎病モデルと川崎病との類似点・相違点の検証. 第51回日本小児循環器学会総会・学術集会 (東京), 2015. 7.
- 37) 猪狩直之¹⁾, 田辺雄次郎¹⁾, 山西慎吾¹⁾, 前田美穂¹⁾, 船坂陽子²⁾, 伊藤保彦¹⁾ (1) 付属病院小児科, (2) 付属病院皮膚科): 予防接種を施行しえた皮膚肥満細胞症の1例. 日本小児皮膚科学会学術大会 (第39回) (鹿児島), 2015. 7.
- 38) 猪狩直之, 田辺雄次郎, 山西慎吾, 前田美穂, 船坂陽子, 伊藤保彦: 予防接種を施行した皮膚肥満細胞症の1例. 日本小児皮膚科学会 (第39回) (鹿児島市), 2015. 7.
- 39) 早坂明哲¹⁾, 井上千鹿子¹⁾, 伊藤保彦, 竹下俊行¹⁾, 藤倉輝道¹⁾ (1) 日本医科大学医学教育センター): タブレット端末を利用したOSCE実施支援システムの導入. 日本医学教育学会 (第47回) (新潟), 2015. 7.
- 40) 矢代健太郎, 山西慎吾, 松村好克, 右田 真, 島 義雄, 伊藤保彦: T-RFLP法を用いた腸内細菌叢解析による早産児発育に関する検討. 日本臨床腸内微生物学会 (第18回) (東京), 2015. 8.
- 41) 鈴木たまほ, 板橋寿和, 内村僚一, 早川 潤, 今井丈英, 植田高弘, 高瀬真人, 前田美穂, 伊藤保彦: 肺病変を認めた先天性 Langerhans cell histiocytosis (LCH) の1例. 日本医科大学医学会総会 (第83回) (東京都文京区), 2015. 9.
- 42) 横山愛子¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院新生児内科): 当科で経験した新生児 B 群溶血性連鎖球菌感染症の1例. 川崎市小児科医会研修研修会 (第282回) (川崎), 2015. 10.
- 43) 上田美希¹⁾, 徐 東博¹⁾, 星野レイ¹⁾, 海津聖彦¹⁾, 赤尾見春¹⁾, 柳原 剛¹⁾, 勝部康弘¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院周産期・小児医療センター小児科): 高ガラクトース血症を契機に診断された肝血管内皮種および門脈-肝静脈シャントの1例. 川崎市小児科医会症例検討会 (第362回) (川崎), 2015. 10.
- 44) 星野レイ¹⁾, 上田美希¹⁾, 徐 東博¹⁾, 海津聖彦¹⁾, 赤尾見春¹⁾, 柳原 剛¹⁾, 勝部康弘¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院周産期・小児医療センター小児科): 静脈洞血栓症の1例. 川崎市小児科医会症例検討会 (第362回) (川崎), 2015. 10.
- 45) 松川昇平¹⁾, 横山愛子¹⁾, 松村好克¹⁾, 矢代健太郎¹⁾, 島 義雄¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院周産期・小児医療センター新生児内科): 母体 ARB 内服により骨形成不全腎機能障害を来した新生児の1例. 川崎市小児科医会症例検討会 (第362回) (川崎), 2015. 10.
- 46) 赤尾見春¹⁾, 勝部康弘¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院小児科): 当院における 13,18,21 トリソミーと心疾患への対応. 神奈川小児循環器研究会 (第11回) (横浜), 2015. 10.
- 47) 浅野 健, 上砂光裕, 榑崎彦彦, 藤田敦士, 山西未穂, 宮武千晴, 西郡綾子: 低身長に関する啓発活動の効果についての患者アンケート調査: 何をきっかけに受診したか. 日本小児内分泌学会学術集会 (第49回) (東京), 2015. 10.
- 48) 太組一朗¹⁾, 野崎俊樹²⁾, 岸 泰宏³⁾, 川上康彦⁴⁾, 饒波正博⁴⁾, 嘉手川淳⁵⁾, 足立好司¹⁾, 喜多村孝幸¹⁾, 森田明夫²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科, (2) 日本医科大学脳神経外科, (3) 日本医科大学武蔵小杉病院精神科, (4) 沖縄赤十字病院脳神経外科, (5) 沖縄赤十字病院神経内科): 若年性ミオクロニーてんかんの診断動機. 日本てんかん学会 (第49回) (長崎県長崎市), 2015. 10.
- 49) 西田理子, 楊井瑛美, 橋本佳亮, 今井丈英, 竹田幸代, 高瀬真人: 胎内発症の多臓器型ランゲルハンス細胞組織球症が疑われる1例. 日本小児呼吸器学会 (第48回) (岡山県倉敷市), 2015. 10.
- 50) 今井丈英, 足立雄一¹⁾, 市丸智浩²⁾, 上田康久³⁾, 王 康雅⁴⁾, 樋口昌孝⁵⁾ (1) 富山大学医学部小児科, (2) 佐賀整肢学園からつ医療福祉センター, (3) うえだこどもクリニック, (4) 東海大学小児科, (5) 国立成育医療研究センター呼吸器科): 第2回小児における気管・気管支異物に関する全国調査結果報告: 速報. 日本小児呼吸器学会 (第48回) (岡山県倉敷市), 2015. 10.
- 51) 深澤隆治¹⁾, 渡邊 誠¹⁾, 橋本佳昭¹⁾, 赤尾見春¹⁾, 上砂光裕¹⁾, 勝部康弘¹⁾, 小川俊一¹⁾ (1) 日本医科大学小児科): 光干渉断層報 (OCT) による川崎病冠動脈後遺症例の血管壁の検討. 日本川崎病学会 (第35回) (鹿児島), 2015. 10.
- 52) 田辺雄次郎¹⁾, 竹下 輝¹⁾, 山西慎吾¹⁾, 伊藤保彦¹⁾ (1) 付属病院小児科): 上腸間膜症候群の思春期女性の2例. 日本小児栄養消化器肝臓学会 (第42回) (広島), 2015. 10.
- 53) 五十嵐由美¹⁾, 上田美希¹⁾, 徐 東博¹⁾, 星野レイ¹⁾, 海津聖彦¹⁾, 赤尾見春¹⁾, 柳原 剛¹⁾, 勝部康弘¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院小児科): 高ガラクトース血症を契機に発見された肝内門脈-肝静脈シャント・肝血管内皮種の1例. 日本小児科学会神奈川県地方会 (第337) (横浜), 2015. 11.
- 54) 板橋寿和, 植田高弘, 鈴木たまほ, 内村僚一, 早川 潤, 前田美穂, 伊藤保彦: イマチニブ併用化学療法中に深在性真菌症を合併したフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病の1例. 日本小児血液・がん学会学術集会 (第57回) (甲府), 2015. 11.
- 55) 清谷知賀子¹⁾, 前田美穂²⁾, 加藤陽子³⁾, 後藤晶子⁴⁾, 坂口佐知⁵⁾, 徳山美香⁶⁾, 石井栄三郎⁷⁾, 石田也寸志⁸⁾, 中館尚也¹⁾, 真部 淳⁹⁾, 小原 明¹⁰⁾ (1) 成育医療研究センター, (2) 国立がんセンター中央病院, (3) 東京慈恵会医科大学, (4) 神奈川こども病院, (5) 順天堂大

- 学, 6) 八街病院, 7) 須坂市民病院, 8) 愛媛中央病院, 9) 聖路加国際病院, 10) その他) : TCCSG 施設ならびに TCCSG 医師における小児がん晩期合併症野敬虔に関する調査. 日本小児血液・がん学会学術集会 (第 57 回) (甲府), 2015. 11.
- 56) 前田美穂 : 晩期合併症の概要・現状・治療. 平成 27 年度小児がん相談員専門研修 (国立がん研究センター), 2015. 12.
- 57) 藤井秀一, 川上康彦, 重盛朋子, 今井丈英, 高瀬真人 : ステロイド治療開始早期にクリーゼを発症した全身型重症筋無力症の幼児例. 日本小児神経学会関東地方会 (第 64 回) (東京都品川区), 2016. 3.
- 58) 前田美穂 : 教育講演 小児の貧血 : とくに注意したい離乳後期と思春期女子. 東京小児科医学会学術講演会 (第 101 回) (東京医科大学), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分総説 :

- 1) 早川 潤, 伊藤保彦 : 【一般内科外来でみる出血傾向 「ぶつけてないのにアザ」にあわてない】 出血傾向を生じるその他の疾患の診断と治療 血管性紫斑病. 内科 2014 ; 114 (2) : 271-274.

追加分原著 :

- 1) Akao M, Katsube Y, Kamisago M, Watanabe M, Abe M, Fukazawa R, Ogawa S, Itoh Y : Developmental changes in left and right ventricular function evaluated with color tissue Doppler imaging and strain echocardiography. J Nippon Med Sch 2013 ; 80 (4) : 260-267.
- 2) Ishibashi K¹⁾, Fukazawa R²⁾, Miura-N N¹⁾, Adachi Y¹⁾, Ogawa S²⁾, Ohno N¹⁾ (1) Laboratory for Immunopharmacology of Microbial Products, School of Pharmacy, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences, (2) Department of Pediatrics, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Ishibashi K, Fukazawa R, Miura NN, Adachi Y, Ogawa S, Ohno N. Diagnostic potential of antibody titres against Candida cell wall beta-glucan in Kawasaki disease. Clin Exp Immunol 2014 ; 177 (1) : 161-167.
- 3) Asano T, Hirakawa K, Koike K, Ohno Y, Fujino O : Visualization of different characteristics of cerebrospinal fluid with acute encephalopathy and febrile seizures using pattern recognition analysis of 1H NMR. Pediatr Res 2015 ; 77 (1-1) : 70-74.
- 4) Aho V¹⁾, Pereira P¹⁾, Haahtela T¹⁾, Pawankar R, Auvinen P²⁾, Koskinen K¹⁾ (1) DNA Sequencing and Genomics Laboratory, Institute of Biotechnology, University of Helsinki, (2) Skin and Allergy Hospital, Helsinki University Hospital) : The microbiome of the human lower airways : a next generation sequencing perspective. World Allergy Organ Journal 2015 ; 8 (1) : 23-36.
- 5) Canonica G¹⁾, Valenta R²⁾, Pawankar R (1) Allergy and Respiratory Diseases, Department of Internal Medicine, IRCCS S Martino, IST, University of Genoa, (2) University of Vienna) : In memoriam - a tribute to Carlos E. Baena-Cagnani. Int Arch Allergy Immunol. 2015 ; 165 (4) : 270-272.
- 6) Yamanishi M¹⁾, Narazaki H¹⁾, Asano T¹⁾ (1) Department of Pediatrics, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, Inzai, Japan.) : Melatonin overcomes resistance to clofarabine in two leukemic cell lines by increased expression of deoxycytidine kinase. Experimental Hematology 2015 ; 43 (3) : 207-214.

追加分 :

- 1) 高瀬真人 : 古くて新しい聴診 基礎から最新の肺音研究 肺聴診の基本と小児における実践的活用ビデオを用いた聴診教育プログラム. 日本小児アレルギー学会誌 2015 ; 29 (1) : 54-57.

追加分会議録/症例報告 :

- 1) 梶崎秀彦¹⁾, 寺田有佑¹⁾, 海津聖彦¹⁾, 實川東洋²⁾, 伊藤保彦¹⁾, 浅野 健¹⁾ (1) 日本医科大学小児科, (2) 日本医科大学千葉北総病院薬剤部) : 原発性免疫不全患者の MRSA 敗血症に対し薬物動態シミュレーターが有用だった 1 例 (Usefulness of pharmacokinetics simulator for MRSA sepsis immunodeficient patient) (英語). 日本小児科学会雑誌 2015 ; 119 (2) : 402.

著書

追加分 :

- 1) 柳原 剛, 伊藤保彦 : [共著] リウマチ・膠原病 血管炎症候群 [川崎病, Henoch-Schoenlein 紫斑病 (IgA 血管炎) を除く]. 小児の治療指針 (小児科診療 77 巻増刊) (小児科診療編集委員会), 2014 ; pp316-318, 診断と治療社.
- 2) 山西慎吾, 伊藤保彦 : [分担] 予防接種全般 要注意者への接種 生物学的製剤 若年性特発性関節炎で生物学的製剤の治療を受けていますが, 予防接種は受けられますか. 予防接種 Q&A (小児内科 45 巻増刊) (小児内科編集委員会), 2013 ; pp143-144, 東京医学社.

学会発表

追加分教育講演：

- 1) 伊藤保彦：小児における抗核抗体の意義. 日本小児科学会東京都地方会（第 615 回）（東京），2015. 1.

追加分一般講演：

- 1) Ryuji F¹⁾, Hamaoka K²⁾, Saji T³⁾, Kato H⁴⁾, Suzuki H⁵⁾, Tsuda E⁶⁾, Ayusawa M⁷⁾, Miura M⁸⁾, Kobayashi T⁹⁾, Ogawa S¹⁾ (1) Department of Pediatrics, Nippon Medical School, 2) Kyoto Prefectural University of Medicine, Graduate School of Medical Science, 3) First Department of Pediatrics, Toho University Omori Medical Center, 4) Department of Cardiology, National Center for Child Health and Development, 5) Department of Pediatrics, Wakayama Medical University, 6) Department of Pediatrics Cardiovascular Surgery, National Cardiovascular Center, 7) Department of Pediatrics, Nihon University School of Medicine, 8) Division of Cardiology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, 9) Division of Clinical Pharmacology and Toxicology, the Hospital for Sick Children) : Fate of Kawasaki disease giant coronary aneurysm : Analysis of the last 10 years nationwide survey in Japan. International Kawasaki Symposium (Honolulu, Hawaii, USA), 2015. 2.
- 2) 松村好克：経管栄養で当院 NICU を退院した症例の検討. 川崎市小児科医会症例検討会（第 357 回）（川崎），2015. 4.
- 3) 江崎英子¹⁾, 上野 孝¹⁾, 稲葉基之¹⁾, 船坂陽子¹⁾, 川名誠司¹⁾, 伊藤保彦 (1) 日本医科大学皮膚科) : 石灰沈着を伴った若年性皮膚筋炎の 1 例. 日本皮膚科学会（第 113 回）（京都），2014. 5.
- 4) 榑崎秀彦, 寺田有佑, 海津聖彦, 實川東洋, 伊藤保彦, 浅野 健：原発性免疫不全患者の MRSA 敗血症に対し薬物動態シミュレーターが有効だった 1 例. 第 118 回日本小児科学会総会, 2015. 2.

追加分セミナー：

- 1) 伊藤保彦：小児のシェーグレン症候群の現状と今後. 日本リウマチ学会（第 56 回）（東京），2012. 4.
- 2) 伊藤保彦：小児リウマチ医療のこれから 専門医制度と小慢制度. 日本小児リウマチ学会総会・学術集会（第 23 回）（さいたま），2013. 10.

追加分ワークショップ：

- 1) 藤川 敏¹⁾, 山口賢一¹⁾, 武井修治¹⁾, 根路銘安仁¹⁾, 嶽崎智子¹⁾, 三好麻里¹⁾, 伊藤保彦, 五十嵐徹, 横田俊平¹⁾, 今川智之¹⁾, 稲毛康司¹⁾, 藤田之彦¹⁾, 金城紀子¹⁾, 梅林宏明¹⁾, 西小森隆太¹⁾, その他 2 名 (1) 日本小児リウマチ学会) : 小児期発症ベーチェット病診断基準のためのワーキンググループ報告. 日本小児リウマチ学会総会・学術集会（第 23 回）（さいたま），2013. 10.
- 2) 富板美奈子¹⁾, 小林一郎¹⁾, 野中由希子¹⁾, 原 良紀¹⁾, 伊藤保彦, 岩田直美¹⁾, 村田卓士¹⁾, 梅林宏明¹⁾, 井上祐三朗¹⁾, 有馬孝恭¹⁾, 森田慶紀¹⁾, 森 雅亮¹⁾, 佐藤泰憲¹⁾ (1) 日本小児リウマチ学会) : 小児 Sjogren 症候群診断基準策定のためのワーキンググループ活動報告. 日本小児リウマチ学会総会・学術集会（第 23 回）（さいたま），2013. 10.

11. 臨床放射線医学分野

[付属病院放射線科, 放射線治療科]

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) Murata S, Onozawa S, Mine T, Ueda T, Sugihara F, Yasui D, Kumita S, Satake M²⁾ (1) Department of Diagnostic Radiology, National Cancer Center East) : Retrograde-outflow percutaneous isolated hepatic perfusion using cisplatin : A pilot study on pharmacokinetics and feasibility. *Eur Radiol* 2015 ; 25 (6) : 1631-1638.
- 2) Imura T, Fukushima Y, Kumita S, Ogawa R, Hyakusoku H : Estimating Lymphodynamic Conditions and Lymphovenous Anastomosis Efficacy Using ^{99m}Tc-phytate Lymphoscintigraphy with SPECT-CT in Patients with Lower-limb Lymphedema. *Plast Reconstr Surg Glob Open* 2015 ; 3 (5) : 404.
- 3) Murata S, Onozawa S, Mine T, Ueda T, Sugihara F, Yasui D, Kumita S, Shimizu A²⁾, Satake M³⁾ (1) Department of Analytic Human Pathology, Nippon Medical School, ²⁾Department of Diagnostic Radiology, National Cancer Center East) : Minimizing Systemic Leakage of Cisplatin during Percutaneous Isolated Pancreas Perfusion Chemotherapy : A Pilot Study. *Radiology* 2015 ; 276 (1) : 102-109.
- 4) Sekine T, Buck A, Delso G, Ter Voert E, Huellner M, Veit-Haibach P, Warnock G : Evaluation of atlas-based MR-attenuation correction for integrated PET-MR in human brain by using PET-CT and PET-MR patient data. *J Nucl Med* 2015.
- 5) Amano Y, Kitamura M¹⁾, Yamada F, Aita K, Takayama M²⁾, Tachi M, Kumita S (1) Cardiology, ²⁾ Cardiology, Sakakibara Heart Institute) : Magnetic resonance imaging of microvascular obstruction in hypertrophic obstructive cardiomyopathy after percutaneous transluminal septal myocardial ablation. *Acta Radiol* 2015 ; 56 (11) : 1323-1328.
- 6) Amano Y, Aita K, Yamada F, Kitamura M, Kumita S : Distribution and clinical significance of high signal intensity of the myocardium on T2-weighted images in 2 phenotypes of hypertrophic cardiomyopathy. *J Comput Assist Tomogr* 2015 ; 39 (6) : 951-955.
- 7) Murata S, Onozawa S, Sugihara F, Sakamoto A²⁾, Ueda T, Yamaguchi H, Yasui D, Mine T, Kumita S (1) Department of Anesthesiology, Nippon Medical School) : Feasibility and Safety of Negative-Balance Isolated Pelvic Perfusion in Patients with Pretreated Recurrent or Persistent Uterine Cervical Cancer. *Ann Surg Oncol* 2015 ; 22 (12) : 3981-3989.
- 8) Onozawa S, Murata S, Mine T, Sugihara F, Yasui D, Kumita S : Amplatzer Vascular Plug Anchoring Technique to Stabilize the Delivery System for Microcoil Embolization. *Cardiovasc Intervent Radiol* 2015.
- 9) Sekine T, Takagi R, Amano Y : 4D flow MRI assessment of extracranial-intracranial bypass : qualitative and quantitative evaluation of the hemodynamics. *Neuroradiology* 2015 ; 1-8.
- 10) Amano Y, Yamada F, Kitamura M¹⁾, Tachi M, Mine K, Kumita S, Takayama M²⁾ (1) Cardiology, ²⁾ Cardiology, Sakakibara Heart Institute) : Contrast-enhanced steady-state free precession in the assessment of hypertrophic obstructive cardiomyopathy after alcohol septal ablation. *Magn Reson Med Sci* 2016 ; 15 (1) : 130-136.
- 11) Mine T, Murata S, Yasui D, Yokota H²⁾, Tajima H³⁾, Kumita S (1) Department of Emergency and Critical Care Medicine, ²⁾ Center for Minimally Invasive Treatment, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital) : Glue Embolization of a Blunt Traumatic Hepatic Arteriovenous Fistula under Inflow and Outflow Control. *Journal of Nippon Medical School* 2016 ; 38 (1) : 27-30.
- 12) Fukushima Y, Kumita S, Tokita Y, Sato N : Prognostic value of myocardial perfusion SPECT after intravenous bolus administration of nicorandil in patients with acute ischemic heart failure. *J Nucl Med* 2016 ; 57 (3) : 385-391.
- 13) Takagi G, Miyamoto M, Fukushima Y, Yasutake M, Tara S, Takagi I, Seki N, Kumita S, Shimizu W : Imaging angiogenesis using ^{99m}Tc-macroaggregated albumin scintigraphy in patients with peripheral artery disease. *J Nucl Med* 2016 ; 57 (2) : 192-197.
- 14) 村田 智, 田島廣之, 小野澤志郎, 安井大祐, 上田達夫, 杉原史恵, 三樹いずみ, 山口英紀, 嶺 貴彦, 黄川田弥生, 鈴木健一, 坂本篤裕, 汲田伸一郎 : 「腎泌尿器のインターベンショナル・ラジオロジー」 血管性 治療におけるインターベンショナル・ラジオロジー 閉鎖循環下化学療法. 2015 ; 1 (4) : 363-368.
- 15) 村田 智, 田島廣之, 杉原史恵, 小野澤志郎, 上田達夫, 安井大祐, 三樹いずみ, 内山史生, 山口英宣, 嶺 貴彦, 汲田伸一郎 : 「IVR 治療戦略 : 術前に必要な画像診断はこれだ !」 原発性肝細胞癌に対する TACE に必要な画像診断の実際. *臨床画像* 2015 ; 31

(5) : 567-576.

16) 町田 幹, 林 宏光 : 【Multislice CT 2015 BOOK】臨床 面検出器 CT Revolution CT を用いた腹部術前 3D-CTA (mapping). 映像情報 Medical 2015 ; 47 (11) : 66-69.

17) 大草幹大¹⁾, 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 町田 幹, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学 消化器外科) : 腹腔鏡補助下結腸切除を施行した特発性腸間膜静脈硬化症の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2015 ; 35 (7) : 951-954.

(2) 総説 :

1) Yamashita Y¹⁾, Murayama S²⁾, Okada M²⁾, Watanabe Y³⁾, Kataoka M⁴⁾, Kaji Y⁵⁾, Imamura K⁶⁾, Takehara Y⁷⁾, Hayashi H, et al. (¹⁾ Department of Diagnostic Imaging, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan, ²⁾ Department of Radiology, University of the Ryukyus, Okinawa, Japan, ³⁾ Diagnostic and Interventional Radiology, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan, ⁴⁾ Department of Diagnostic Imaging and Nuclear Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan, ⁵⁾ Department of Radiology, Dokkyo Medical University, Tochigi, Japan, ⁶⁾ Department of Radiology, St. Marianna University School of Medicine, Kanagawa, Japan, ⁷⁾ Department of Radiology, Hamamatsu University Hospital, Hamamatsu, Japan) : The essence of the Japan Radiological Society/Japanese College of Radiology Imaging Guideline. Japanese Journal of Radiology 2015 ; 1-37.

2) 林 宏光, 陣崎雅弘¹⁾, 木原康樹²⁾, 山科 章³⁾, 松永尚文⁴⁾, 近藤 武⁵⁾, 望月輝一⁶⁾, 栗林幸夫¹⁾ (¹⁾ 慶應義塾大学放射線診断科, ²⁾ 広島大学循環器内科, ³⁾ 東京医科大学循環器内科, ⁴⁾ 山口大学放射線科, ⁵⁾ 寿光会中央病院循環器内科, ⁶⁾ 愛媛大学放射線科) : SCCT ガイドラインの紹介とそのポイント. 臨床画像 2015 ; 31 (1) : 116-125.

3) 天野康雄, 城 正樹 : 心臓 MRI の最新動向と臨床における位置づけ. Innervision 2015 ; 30 (5) : 28-29.

4) 汲田伸一郎, 小林靖宏¹⁾ (¹⁾ ミッドタウンクリニック東京ベイ) : CLOSE-UP ミッドタウンクリニック東京ベイ (PETMR 導入施設紹介). 新医療 2015 ; (7) : 72-77.

5) 桑子智之, 林 宏光, 汲田伸一郎 : Budd-Chiari 症候群. 画像診断 2015 ; 35 (9) : 1114-1115.

6) 桑子智之, 林 宏光, 汲田伸一郎 : 重複下大静脈. 画像診断 2015 ; 35 (9) : 1116-1117.

7) 桑子智之, 林 宏光, 汲田伸一郎 : 下大静脈後尿管. 画像診断 2015 ; 35 (9) : 1118-1119.

8) 桑子智之, 林 宏光, 汲田伸一郎 : 下大静脈欠損奇静脈連結. 画像診断 2015 ; 35 (9) : 1120-1121.

9) 桑子智之, 林 宏光, 汲田伸一郎 : 下大静脈フィルター. 画像診断 2015 ; 35 (9) : 1122-1123.

10) 小林靖宏¹⁾ (¹⁾ ミッドタウンクリニック東京ベイ) : 施設紹介. 臨床核医学 2015 ; 48 (5) : 69-71.

11) 大野良治¹⁾, 片田和広²⁾, 高橋 哲¹⁾, 中浦 猛³⁾, 林 宏光, 辻岡勝美²⁾, 宮下宗治⁴⁾ (¹⁾ 神戸大学放射線科, ²⁾ 藤田保健衛生大学放射線科, ³⁾ 熊本大学放射線科, ⁴⁾ 麻生病院放射線科) : CT : その現状と未来. 映像情報 2015 ; 47 (11) : 13-31.

12) 町田 幹, 林 宏光 : Revolution CT を用いた腹部術前 3D-CTA (mapping). 映像情報 2015 ; 47 (11) : 66-69.

13) 高木 亮 : 解剖・正中偏位 : 部位別の画像診断 : 下垂体やその周辺の解剖. 画像診断 2015 ; 35 (10) : 1224-1226.

14) 中尾淳一, 小野真平, 林 宏光 : 画像データの 3 次元ツール「OsiriX」を使いこなす. PEPARS 2015 ; 108 : 56-62.

15) 村上隆介, 林 宏光, 安藤嵩浩, 岩田琴美, 木曾翔平, 濱名輝彦, 山根 彩, 汲田伸一郎 : CT における造影剤使用の安全管理. 臨床画像 2015 ; 31 (12) : 1449-1455.

16) 小林靖宏¹⁾ (¹⁾ ミッドタウンクリニック東京ベイ) : PET/MRI 導入の総合検診施設における乳房専用 PET の意義. 新医療 2015 ; (12) : 96-99.

17) 林 宏光 : 腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン 2012. 日医放関東地方会ニュース 2015 ; 35 : 2.

18) 林 宏光 : 腎障害患者に対するヨード造影剤の使用について. 映像情報 2015 ; 47 : 1202-1206.

19) 林 宏光 : 腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン 2012 : ポイントとその解説. Emergency Imaging 2015 ; 10 : 15-17.

20) 汲田伸一郎, 天野康雄, 桐山智成 : 心疾患の画像進歩. 小児外科 2015 ; 551 (555).

21) 汲田伸一郎, 小林靖宏, 福嶋善光, 石原圭一 : 心臓核医学の現状と展望. PET ジャーナル 2015 ; 30 : 37-38.

22) 小林靖宏 : Mammo-PET : PET/MR 総合検診施設における乳房専用 PET 装置 (Elmammo) の使用経験. Medical Now 2016 ; 79 : 10-14.

(3) 症例報告 :

1) Ueda T, Murata S, Yamamoto A²⁾, Tamai J²⁾, Kobayashi Y²⁾, Hiranuma C²⁾, Yoshida H³⁾, Kumita S (¹⁾ Department of Radiology, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, ²⁾ Department of Surgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital) : Endovascular treatment of post-laparoscopic pancreatectomy splenic arteriovenous fistula with splenic vein aneurysm. World J Gastroenterol 2015 ; 21 (25) : 7907-7910.

(4)

1) 林 宏光, 山本隆一¹⁾, 並木 淳²⁾, 森 知夫³⁾, 黒瀬 巖⁴⁾, 深澤祐之⁴⁾ (¹⁾ 東京大学大学院医療経営政策学講座, ²⁾ 慶應義塾大学

救急医学教室, ³⁾ 河北総合病院バックオフィス統括部, ⁴⁾ 東京都医師会医療情報検討委員会) : 病院-病院ならびに病院-診療所を結ぶ医療ネットワークの構築について (答申). 公益社団法人東京都医師会 地域医療連携システム構築検討委員会 2015.

著書

- 1) 林 宏光 : [分担] 腎機能障害患者に造影 CT を行う際の注意点 : 造影剤腎症に対するリスク・患者評価とその予防. 循環器臨床を変える MDCT (編 : 小山靖史, 伊藤 浩), 2015 ; pp98-99, 文光堂.
- 2) 町田 幹, 秋山一義, 佐藤英尊¹⁾, 吉原尚志²⁾, 椎葉真人³⁾, 箱崎健太, 日高史貴, 桑子智之, 桐山智成, 小林靖宏, 武田美那子, 谷 瞳, 杉原康朗, 今井祥吾, 富山 毅 (¹⁾ 日本赤十字社医療センター放射線科, ²⁾ 新百合ヶ丘総合病院放射線診断科, ³⁾ 虎の門病院画像診断センター) : [監修] リンパ節の解説. 画像診断のためのリンパ節カラーアトラス (汲田伸一郎・町田幹・石原圭一・石原眞木子), 2015 ; pp1-121, 金原出版.
- 3) 織田絵里香, 喜友名一, 黒岩愛里, 齊藤英正, 曾原康二, 西川慈人, 水谷聡子, 山多美美 : [分担] リンパ節の解説. 画像診断のためのリンパ節カラーアトラス (汲田伸一郎・町田幹・石原圭一・石原眞木子), 2015 ; pp1-121, 金原出版.
- 4) 林 宏光 : [分担] 循環器疾患のマルチスライス CT. 臨床検査法提要 (監修 : 金井正光, 編集 : 奥村伸生, 戸塚 実, 矢富 裕), 2015 ; pp1678-1680, 金原出版.
- 5) 林 宏光 : [分担] 循環器疾患の MRI. 臨床検査法提要 (監修 : 金井正光, 編集 : 奥村伸生, 戸塚 実, 矢富 裕), 2015 ; pp1680-1684, 金原出版.
- 6) 林 宏光, 宮田哲郎¹⁾, 重松 宏²⁾ (¹⁾ 国際医療福祉大学, ²⁾ 国際医療福祉大学臨床研修センター) : [分担] 日本脈管学会認定「脈管専門医」制度について. 血管診療テキスト (監修 松尾 汎), 2015 ; pp23-26, メディカ出版.
- 7) 関根鉄朗 : [自著] ネットイー先生のわかる!見逃さない! CT 読影術, 2015 ; ケアネット.
- 8) 今井祥吾, 天野康雄, 城 正樹, 町田 幹, 汲田伸一郎 : [共著] 心アミロイドーシス. 画像診断 2015 年 7 月号 Vol.35 No.8 知っておきたい循環器疾患の CT・MRI (1)―心臓・頸部血管疾患 Case Review― (画像診断実行編集委員会), 2015 ; pp936-937, 学研出版.
- 9) 天野康雄, 山多美美, 武田美那子, 今井祥吾, 汲田伸一郎 : [分担] 高血圧性心筋症. 画像診断, 2015 ; pp938-939, 秀潤社.
- 10) 天野康雄, 城 正樹, 谷 瞳, 山多美美, 汲田伸一郎 : [分担] 好酸球性心筋炎. 画像診断, 2015 ; pp942-943, 学研メディカル秀潤社.
- 11) 天野康雄, 城 正樹, 山多美美, 乾 恵輔¹⁾, 小原 真²⁾ (¹⁾ 日本医科大学 循環器内科, ²⁾ フィリップスエレクトロニクスジャパン) : [分担] 心筋 T1T2 mapping. 画像診断, 2015 ; pp984-987, 秀潤社.
- 12) 村上隆介, 高木 亮, 杉崎健一, 町田 幹, 箱崎健太, 日高史貴, 桐山智成, 今井祥吾, 織田絵里香 : [編集] 現場で使える! 医療スタッフのための画像診断と薬物治療 (汲田伸一郎, 片山志郎), 2015 ; p1, 南江堂.
- 13) 上田達夫, 林 宏光 : [自著] 急性大動脈解離の診断 CT. 大動脈解離 診断と治療の Standard (井元清隆, 上田敏彦, 安達秀雄), 2016 ; pp41-51, 中外医学社.

学会発表

(1) 特別講演 :

- 1) 村田 智 : 肝がん治療の現状とミリプラチンの展望. ミリプラ エリアフォーラム in 青森 (青森), 2015. 11.
- 2) 林 宏光 : 循環器診療を変える冠動脈 CT : その特徴と留意点. 第 9 回御殿山カンファレンス (東京), 2015. 5.
- 3) 高木 亮 : 脳梗塞の画像診断 : これまでとこれから. 第 12 回東北救急カンファレンス (仙台), 2015. 5.
- 4) 林 宏光 : 造影 CT による死亡例の検討 : 判例を検証しそこから学ぶ. 第 5 回茨城 MDCT 研究会 (水戸), 2015. 6.
- 5) 林 宏光 : マルチスライス CT による血管疾患の低侵襲的診断. 第 1 回北東北心臓大血管研究会 (秋田), 2015. 6.
- 6) 汲田伸一郎 : マルチモダリティを駆使した心血管イメージング. 第 8 回 Coronary Academia (東京), 2015. 6.
- 7) 林 宏光 : マルチスライス CT による大動脈疾患の画像診断. 大動脈瘤アンカレッジ 2015 (横浜), 2015. 7.
- 8) 天野康雄 : 心不全を呈する心筋症の MRI 診断. 第 3 回循環器イメージングを学ぶ会 2015 (札幌), 2015. 7.
- 9) 村田 智 : 難治性がんに対する灌流療法 : 基礎から臨床応用へ. 第 24 回茨城画像セミナー (筑波), 2015. 7.
- 10) 林 宏光 : 腎障害患者に対するヨード造影剤の使用について. 第 16 回群馬県 CT・MRI 研究会 (前橋), 2015. 8.
- 11) 林 宏光 : Revolution CT : 現状とその可能性. 第 166 回筑後 CT・MRI 研究会 (久留米), 2015. 9.
- 12) 天野康雄 : 心臓 MRI (CMR) が広げる心病変の診断の可能性 : 心臓核医学の再評価のために. 第 22 回関東甲信越核医学画像処理研究会 (東京), 2015. 9.
- 13) 林 宏光 : 造影検査の副作用とその対策. 自治医科大学リスクマネジメント講演会 (栃木), 2015. 10.
- 14) 天野康雄 : “LGE だけではない” 肥大型心筋症の造影 CMR. 東京 HOCM フォーラム 2015 (東京), 2015. 10.
- 15) 汲田伸一郎 : 心臓核医学の現状と将来展望. 第 10 回 熊本核医学フォーラム (熊本), 2015. 11.

- 16) 村田 智：TACEの現状と今後の展望. Liver Forum in Yamaguchi (山口), 2016. 1.
- 17) 村田 智：肝がん治療の現状と今後の展望. ミリプラ エリアフォーラム in つくば (茨城), 2016. 2.
- (2) 招待講演：
- 1) Murata S, Onozawa S, Yasui D, Ueda T, Sakamoto A, Yamaguchi H, Sugihara F, Miki I, Suzuki K, Mine T, Kumita S : Interventional Radiology in non-cirrhotic patients with advanced liver tumors : Phase I/II trial of retrograde-outflow percutaneous isolated hepatic perfusion. 24th IASGO 2015 Fuzhou (China), 2015. 9.
 - 2) Murata S, Onozawa S, Yasui D, Ueda T, Yamaguchi H, Sugihara F, Miki I, Kumita S : Transcatheter arterial chemoembolization for unresectable hepatocellular carcinoma with marked arterioportal shunts. 24th IASGO 2015 Fuzhou (China), 2015. 9.
 - 3) 小林靖宏：サルコイドーシス診療におけるPET/MRの期待. 第889回放射線診療研究会 (東京), 2015. 5.
 - 4) 小林靖宏：PET/MRI装置の臨床へのインパクト. 第83回 日本核医学会関東甲信越地方会 (東京), 2015. 7.
 - 5) 小林靖宏：MR-PET装置「Biograph mMR」の臨床へのインパクト. PETサマーセミナー2015 (舞浜), 2015. 9.
 - 6) 小林靖宏：悪性リンパ腫・血液腫瘍治療へPETMRをいかに活用するか？：FDG-PETMR総合検診事業の経験から. 第6回 Hematological PET Club 総会 (大阪), 2015. 10.
 - 7) 小林靖宏：乳房専用PET装置Elmammo：総合健診施設の導入経験. 第55回日本核医学会学術総会 (東京), 2015. 11.
 - 8) 小林靖宏：PETMR総合検診施設における乳房専用PET装置 (Elmammo) の使用経験. 第55回日本核医学会学術総会 (東京), 2015. 11.
 - 9) 小林靖宏：PET/MRI一体型撮像装置のインパクト：会員制検診事業における運用経験. 第3回クリニカルPETフォーラム (東京), 2015. 12.
 - 10) 小林靖宏：PET診断のフロントライン. PET/MRI ミッドウィンターセミナー2016 (福岡), 2016. 1.
 - 11) 小林靖宏：心筋症を極める SPECT/PETの立場から 生理的心筋集積抑制FDG-PET, PETMR (心臓領域における展望). 第23回 New Horizon for Cardiology (東京), 2016. 3.
- (3) 教育講演：
- 1) Murata S, Onozawa S, Mine T, Ueda T, Yasui D, Sugihara F, Yamaguchi H, Miki I, Kumita S : A review of the AMPLATZER™ Vascular Plug and its clinical applications. The 12th APCCVIR (Miyazaki), 2015. 5.
 - 2) 林 宏光：医療安全・放射線防護：腎障害患者に対するヨード造影剤の使用について. 第74回日本医学放射線学会 (横浜), 2015. 4.
 - 3) 天野康雄：LGEの定まった評価と定まりつつある知見. AIMS-Cardiac Imaging 2015 (東京), 2015. 5.
 - 4) 高木 亮：脳卒中の画像診断. 第5回救急放射線セミナープレミア (東京), 2015. 5.
 - 5) 天野康雄：臨床情報に近づくMRI (頭部). 第14回豊島健康診査センターMRI/CT症例検討会 (東京), 2015. 6.
 - 6) 高木 亮：頭部外傷. 救急放射線ベーシックセミナー (東京), 2015. 7.
 - 7) 林 宏光：マルチスライスCTによる大動脈疾患の画像診断. 第7回吉祥寺画像診断セミナー (吉祥寺), 2015. 8.
 - 8) 天野康雄：非虚血性心疾患のCMRの基礎. SCMR Japan Working Group 2015 (東京), 2015. 8.
 - 9) 林 宏光：冠動脈 (心臓) CTの読影および報告のためSCCTガイドライン. 第9回SCCT研究会 (品川), 2015. 9.
 - 10) 上田達夫, 林 宏光：頸部動脈疾患の画像診断 (内頸動脈狭窄症の画像診断). 第56回日本脈管学会総会 (東京), 2015. 10.
 - 11) 天野康雄：臨床情報に近づくMRI (体幹部). 第15回豊島健康診査センターMRI/CT症例検討会 (東京), 2015. 11.
 - 12) 村田 智：肝細胞癌の治療. 第35回日本画像医学会 (東京), 2016. 2.
- (4) シンポジウム：
- 1) 林 宏光, 対馬義人¹⁾ (1) 群馬大学放射線科)：シンポジウム 造影剤のリスクマネジメント. 第74回日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
 - 2) 三樹いずみ, 田島廣之¹⁾, 小野澤志郎, 金城忠志¹⁾, 竹之下尚子¹⁾, 上田達夫, 杉原史恵, 安井大祐, 村田 智, 中澤 賢²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 血管内・低侵襲治療センター, 2) 埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科)：急性肺血栓栓症におけるハイブリッドIVRの実際とその治療成績. 第35回日本静脈学会総会 (奈良), 2015. 7.
 - 3) 林 宏光：急性胸痛で救急部門を受診した患者に対する冠動脈CTAの施行に関するSCCTガイドライン. 第9回SCCT研究会 (品川), 2015. 9.
 - 4) 林 宏光：Revolution CT：進化とその進化. 第10回中部マルチスライスCTシンポジウム (名古屋), 2015. 10.
 - 5) 上田達夫, 林 宏光, 斉藤英正, 汲田伸一郎：頸動脈狭窄の画像診断：その進歩と役割を考える. 第56回日本脈管学会総会 (東京), 2015. 10.
 - 6) 林 宏光：CTの最新技術. 第80回日本心臓血管放射線研究会 (東京), 2016. 1.
 - 7) 林 宏光, 藤本進一郎¹⁾ (1) 順天堂大学循環器内科)：CT. 第25回日本心臓血管画像動態学会 (東京), 2016. 1.
 - 8) 杉原史恵, 村田 智, 上田達夫, 山口英宣, 安井大祐, 三樹いずみ, 斉藤正英, 横田裕行, 汲田伸一郎：腹腔内出血を伴う重症肝損

傷および脾損傷に対する IVR. 第 52 回腹部救急医学会総会 (東京), 2016. 3.

(5) パネルディスカッション :

- 1) Miki I, Onozawa S, Tajima H, Murata S, Kiyuna H, Makita K¹⁾, Takase K²⁾, Osuga K³⁾, Nishida N⁴⁾, Kumita S (¹⁾ Nerima Hikarigaoka Hospital, ²⁾ Tohoku University Hospital, ³⁾ Academic board of science and education, ⁴⁾ Committee of technical education seminars) : Present status of adrenal venous sampling in Japan, 2014. 第 44 回 日本 IVR 学会総会 (宮崎), 2015. 5.
- 2) 福嶋善光, 汲田伸一郎 : 肺血栓塞栓症患者における深吸気位呼吸停止肺血流 SPECT-CT の有用性. 第 35 回日本静脈学会総会 (奈良), 2015. 7.

(6) セミナー :

- 1) 林 宏光 : 循環器領域への応用. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
- 2) 高木 亮 : 脳神経領域への応用. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
- 3) 林 宏光 : Revolution CT : 新たな装置への期待と可能性 : 4 循環器領域への応用. 第 74 回日本医学放射線学会 (横浜), 2015. 4.
- 4) 林 宏光 : 造影 CT による死亡例の検討 : 判例を検証しそこから学ぶ. 第 74 回日本医学放射線学会 (横浜), 2015. 4.
- 5) 林 宏光 : 高齢化社会を支える CT の役割 : 新たな 64 列 CT のもたらすもの. 第 74 回日本医学放射線学会 (横浜), 2015. 4.
- 6) 小林靖宏 : PET と PET/CT のキホン, PET/MR の将来性. 研修医画像診断セミナー (東京), 2015. 5.
- 7) 村田 智 : 難治性がんに対する灌流療法 : 基礎から臨床応用へ. 第 24 回茨城画像診断セミナー (つくば), 2015. 7.
- 8) 林 宏光 : 腎機能障害と造影検査. 第 3 回泌尿器画像診断・治療技術研究会 (京都), 2015. 9.
- 9) 汲田伸一郎 : マルチモダリティを駆使した心筋虚血評価. 第 63 回日本心臓病学会 (東京), 2015. 9.
- 10) 関根鉄朗 : どこまで分かる! 画像診断. 市民公開講座 (Switzerland), 2015. 10.
- 11) 汲田伸一郎 : マルチモダリティを用いた心臓画像診断の現状と将来展望. 第 6 回 Sendai/ New Tokyo Live (箱根), 2015. 11.
- 12) 汲田伸一郎 : マルチモダリティを用いた心筋虚血評価 : 将来展望を含めて. FRIENDS Live 2016 (東京), 2016. 3.

(7) ワークショップ :

- 1) 上田達夫, 村田 智, 小野澤志郎, 杉原史恵, 安井大祐, 三樹いずみ, 山口英宣²⁾, 田島廣之³⁾, 増野智彦⁴⁾, 横田裕行⁴⁾, 内田英二⁵⁾, 汲田伸一郎 (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院放射線科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, ³⁾ 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, ⁴⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科) : 腹部救急医療に対する IVR 医の役割. 第 40 回日本外科学系連合学会学術集会 (東京), 2015. 6.

(8) ポスター :

- 1) Fukushima Y, Kumita S, Hashimoto H, Sugihara Y : Prognostic impact of deep-inspiratory breath-hold pulmonary perfusion SPECT-CT in patients with pulmonary thromboembolism. The 27th Annual EANM Congress (Hamburg), 2015. 10.
- 2) Hashimoto H, Fukushima Y, Kumita S, Kuwako T, Kiriya T, Kobayashi Y, Sugihara Y, Tomiyama T, Sohara K : Prognostic value of lower-limb perfusion SPECT-CT in patients with arteriosclerosis obliterans. The 27th Annual EANM Congress (Hamburg), 2015. 10.
- 3) Sugihara Y, Fukushima Y, Kumita S : Diagnostic accuracy of 123I-MIBG SPECT-CT using semi-quantitative analysis in patients with adrenal pheochromocytoma. The 27th Annual EANM Congress (Hamburg), 2015. 10.

(9) 一般講演 :

- 1) Ueda T, Murata S, Onozawa S, Mine T, Sugihara F, Yasui D, Miki I, Saitou H, Yamamoto A²⁾, Yoshida H³⁾, Kumita S (¹⁾ Department of Radiology, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, ²⁾ Department of Surgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital) : Interventional Treatment of a Post-Laparoscopic Pancreatectomy Splenic Arteriovenous Fistula with Splenic Vein Aneurysm. JSIR, ISIR & APCIO 2015 (宮崎), 2015. 5.
- 2) Ueda T, Murata S, Onozawa S, Mine T, Sugihara F, Yasui D, Miki I, Saitou H, Yamamoto A²⁾, Moroe Y³⁾, Kumita S (¹⁾ Department of Radiology, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, ²⁾ Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital) : Case of Successful Glue Embolization of a Remnant Internal Iliac Artery Aneurysm after Proximal Ligation for the Internal Iliac Artery Aneurysm Rupture. JSIR, ISIR & APCIO 2015 (宮崎), 2015. 5.
- 3) Sekine T, Buck A, Delso G, Ter Voert E, Huellner M, Veit-Haibach P, Warnock G : Evaluation of atlas-based MR-attenuation correction for integrated PET-MR in human brain by using PET-CT and PET-MR patient data. 2015th annual meeting of SNMMI (USA), 2015. 6.
- 4) Sekine T, Barbosa F, Burger I, Kuhn F, Veit-Haibach P, Schulthess G, Huellner M : Staging of head and neck cancer with PET/MR and PET/CT -initial results. 2015th annual meeting of SNMMI (USA), 2015. 6.
- 5) Amano Y, Tachi M, Inui K, Yamada F, Obara M, Imai S, Kumita S : Effect of blood T1 value on extracellular volume fraction in dilated cardiomyopathy with septal scarring. 23rd annual meeting of ISMRM (Toronto), 2015. 6.

- 6) Amano Y, Mine K, Yamada F, Kumita S : Distribution and significance of myocardial hyperintensity on T2-weighted MRI of hypertrophic cardiomyopathy. 23rd annual meeting of ISMRM (Toronto), 2015. 6.
- 7) 谷 瞳, 村上隆介, 桑子智之, 吉田民子, 山根 彩, 汲田伸一郎, 内山菜智子, 岩崎美樹, 柳原恵子, 飯田信也, 山下浩二, 武井寛幸, 浅川英輝, 二宮 淳 : マンモグラフィにおける 4k 高精細モニタと 5MP 液晶モニタの診断能の評価. 第 24 回日本乳癌学会学術総会 (東京), 2015. 7.
- 8) Murata S, Onozawa S, Yasui D, Ueda T, Sugihara F, Suzuki K, Kumita S, Satake M : Feasibility of percutaneous isolated pancreatic perfusion chemotherapy : evaluated by CT during isolated celiac arteriography. CIRSE 2015 (Portugal), 2015. 9.
- 9) Yasui D, Murata S, Onozawa S, Ueda T, Sugihara F, Kumita S : Transcatheter arterial chemoembolization for advanced stage hepatocellular carcinoma with portal venous invasion. IASGO (中国), 2015. 9.
- 10) Sekine T, Barbosa F, Burger I, Kuhn F, Veit-Haibach P, Schulthess G, Huellner M : PET/MR versus PET/CT in the Initial Staging of Head and Neck Cancer. 2015th annual meeting of EANM (Hamburg), 2015. 10.
- 11) Sugihara Y, Fukushima Y, Kumita S : Clinical application of 123I-MIBG SPECT-CT with quantitative analysis in patients with adrenal pheochromocytoma. European association of Nuclear Medicine conges 2015 (Hamburg), 2015. 10.
- 12) Imai S, Amano Y, Yamada F, Mine K, Tachi M, Obara M¹⁾, Kumita S⁽¹⁾ Philips Healthcare Asia-Pacific) : Myocardial Hyperintensity on T2-weighted MRI of Hypertrophic Cardiomyopathy : Distribution and Clinical Significance related to Phenotypes. 101st annual meeting of RSNA (Chicago), 2015. 11.
- 13) Sekine T, Barbosa F, Burger I, Kuhn F, Veit-Haibach P, Schulthess G, Huellner M : Staging of head and neck cancer with PET/MR and PET/CT -initial results. 101th annual meeting of RSNA (USA), 2015. 12.
- 14) Amano Y, Yamada F, Kitamura M, Imai S, Tachi M, Takayama M, Kumita S : Association between late gadolinium enhancement and three types of ventricular tachyarrhythmia in patients with hypertrophic cardiomyopathy. 101st annual meeting of RSNA (Chicago), 2015. 12.
- 15) Tachi M, Amano Y, Imai S, Yamada F, Kumita S, Obara M, Inui K : Myocardial T1 and extracellular volume fraction related to cardiac functional parameters in dilated cardiomyopathy : modified Look-Locker imaging study. RSNA2015 (Chicago), 2015. 12.
- 16) Murata S, Onozawa S, Yasui D, Ueda T, Sugihara F, Kumita S : Quantitative analysis of the flow dynamics in percutaneous isolated pancreatic perfusion therapy using CT during arteriography. RSNA 2015 (Chicago), 2015. 12.
- 17) 齊藤英正, 村田 智, 小野澤志郎, 嶺 貴彦, 上田達夫, 杉原史恵, 安井大祐, 三樹いずみ, 汲田伸一郎 : Successful coil embolization for superior mesenteric artery huge pseudoaneurysm due to acute pancreatitis. 第 45 回日本 IVR 学会総会 (宮崎), 2015. 5.
- 18) 齊藤英正, 石原圭一, 山根 彩, 濱名輝彦, 今井祥吾, 織田絵里香, 富山 毅, 杉原康朗, 小林靖宏, 箱崎謙太, 福嶋善光, 秋山一義, 汲田伸一郎 : Diagnostic performance of time-of-flight system to detect neck small lymph node using 18F-FDG PET/CT. ヨーロッパ核医学会 (ドイツ), 2015. 10.
- 19) Fukushima Y, Kumita S, Kuwako T, Kiriyama T, Kobayashi Y, Sugihara Y, Tomiyama T, Sohara K : Prognostic value of myocardial perfusion SPECT following intravenous bolus administration of nicorandil in patients with acute ischemic heart failure. The 74th Annual Meeting of the Japan Radiology Society (Yokohama), 2015. 4.
- 20) Hashimoto H, Fukushima Y, Kumita S, Kuwako T, Kiriyama T, Kobayashi Y, Sugihara Y, Tomiyama T, Sohara K : Prediction of prognosis using lower-limb perfusion SPECT-CT in patients with arteriosclerosis obliterans. The 79th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (Osaka), 2015. 4.
- 21) Fukushima Y, Kumita S, Hashimoto H, Sugihara Y : Prognostic impact of DIBH pulmonary perfusion SPECT-CT in patients with pulmonary thromboembolism. The 55th Annual Scientific Meeting of the Japanese Society of Nuclear Medicine (Tokyo), 2015. 11.
- 22) Hashimoto H, Fukushima Y, Kumita S, Ishihara K, Tomiyama T, Kiriyama T, Imai S, Kobayashi Y, Sugihara Y, Sohara K : Feasibility of myocardial-flow-reserve estimation using static image of 13N-ammonia myocardial perfusion PET. The 55th Annual Scientific Meeting of the Japanese Society of Nuclear Medicine (Tokyo), 2015. 11.
- 23) Fukushima Y, Kumita S, Hashimoto H, Sugihara Y : Prognostic impact of deep-inspiratory breath-hold pulmonary perfusion SPECT-CT in patients with pulmonary thromboembolism. The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (Sendai), 2016. 3.
- 24) Hashimoto H, Fukushima Y, Kumita S, Ishihara K, Tomiyama T, Kiriyama T, Imai S, Kobayashi Y, Sugihara Y, Sohara K : Feasibility of myocardial-flow-reserve estimation using static image of 13N-ammonia myocardial perfusion PET. The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (Sendai), 2016. 3.
- 25) 今井祥吾, 高木 亮, 村井保夫¹⁾, 日高史貴, 町田 幹, 富山 毅, 天野康雄, 林 宏光, 森田明夫¹⁾, 汲田伸一郎⁽¹⁾ 日本医科大

- 学付属病院 脳神経外科) : EC/IC bypass 術後の評価における 320 列 Area Detector CT を用いた dynamic CTA/CTP : 3T-MRA との比較. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
- 26) 安井大祐, 村田 智, 小野澤志郎, 上田達夫, 山口英宣, 杉原史恵, 三樹いずみ, 齋藤英正, 嶺 貴彦, 汲田伸一郎 : 門脈浸潤を伴う進行肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
- 27) 杉原史恵, 村田 智, 小野澤志郎, 上田達夫, 山口英宣, 安井大祐, 三樹いずみ, 嶺 貴彦, 坂本篤裕, 汲田伸一郎 : 子宮体癌における閉鎖循環下骨盤内灌流化学療法 (NIPP) 治療成績. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
- 28) 三樹いずみ, 小野澤志郎, 村田 智, 嶺 貴彦, 上田達夫, 山口英宣, 杉原史恵, 安井大祐, 横田裕行¹⁾, 汲田伸一郎 ⁽¹⁾ 日本医科大学 救急医学科) : 当院における重症急性膵炎に対する持続動注療法の効果と合併症. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
- 29) 喜友名一, 町田 幹, 西川慈人, 日高史貴, 高木 亮, 林 宏光, 汲田伸一郎 : Dual Energy CT を使用した胆嚢陰性結石の検出の可能性. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
- 30) 村上隆介, 谷 瞳, 吉田民子, 桑子智之, 箱崎謙太, 武田美那子, 汲田伸一郎, 武井寛幸, 柳原恵子, 内山菜智子 : マンモグラフィにおける 4K 高精細モニタと 5M 液晶モニタの診断能の評価. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
- 31) 吉田民子, 村上隆介, 谷 瞳, 汲田伸一郎, 秋葉絢子, 吉原尚志, 山口敏雄, 内山菜智子, 戸崎光宏 : トモシンセシス併用乳癌検診の初期経験. Initial experience with Full Field Digital Mammography combined with Digital Breast Tomosynthesis in the screening environment. 第 74 回日本医学放射線学会学術集会 (横浜), 2015. 4.
- 32) 高木 亮 : 悪性リンパ腫. 第 36 回救急放射線画像研究会 (東京), 2015. 5.
- 33) Sugihara F, Murata S, Onozawa S, Mine T, Ueda T, Yamaguchi H, Yasui D, Miki I, Saito H, Sakamoto A¹⁾, Kumita S ⁽¹⁾ Department of Anesthesiology, Nippon Medical School) : Negative-balance isolated pelvic perfusion treatment for endometrial cancer. 第 44 回 IVR 学会総会 (宮崎), 2015. 5.
- 34) Yasui D, Murata S, Onozawa S, Ueda T, Yamaguchi H, Sugihara F, Miki I, Saitou H, Kumita S : Treatment strategy for advanced hepatocellular carcinoma with portal vein invasion. 第 44 回日本 IVR 学会総会 (宮崎), 2015. 5.
- 35) 吉田民子, 村上隆介, 谷 瞳, 山根 彩, 桑子智之, 汲田伸一郎, 武井寛幸, 柳原恵子, 秋葉絢子, 吉原尚志, 山口敏雄, 内山菜智子, 戸崎光宏 : トモシンセシス併用乳癌検診の初期経験. 第 24 回日本乳癌学会学術総会 (東京), 2015. 7.
- 36) 桑子智之, 村上隆介, 谷 瞳, 吉田民子, 山根 彩, 福嶋善光, 汲田伸一郎, 柳原恵子, 岩本美樹, 山下浩二, 二宮 淳, 浅川英輝, 武井寛幸 : SPECT-CT における乳癌センチネルリンパ節の局在と個数についての検討. 第 24 回日本乳癌学会学術総会 (東京), 2015. 7.
- 37) 村上隆介, 谷 瞳, 桑子智之, 吉田民子, 山根 彩, 汲田伸一郎, 岩崎美樹, 浅川英輝, 二宮 淳, 柳原恵子, 飯田信也, 山下浩二, 武井寛幸 : 胸部単純 CT における乳癌描出能の検討 早期の乳癌は描出可能か?. 第 24 回日本乳癌学会学術総会 (東京), 2015. 7.
- 38) 柳原恵子, 岩崎美樹, 栗田智子, 鈴木えりか, 金谷洋平, 浅川英樹, 二宮 淳, 関 奈紀, 谷 瞳, 村上隆介, 大橋隆治, 土屋眞一, 山下浩二, 武井寛幸 : 転移性乳癌に対するエリブリンの有用性と安全性の検討. 第 24 回日本乳癌学会学術総会 (東京), 2015. 7.
- 39) 桐木園子, 宮本正章, 高木 元, 久保田芳明, 手塚晶人, 福嶋善光, 杉原康朗, 汲田伸一郎, 清水 渉 : ⁶⁷Ga-citrate -SPECT-CT 融合画像評価による骨髄炎の診断および評価法の検討. 第 83 回日本核医学会関東甲信越地方会 (東京), 2015. 7.
- 40) 飯村剛史, 福嶋善光, 汲田伸一郎, 百束比古, 小川 令 : 下肢リンパ浮腫に対する ^{99m}Tc-phytate を用いた two-phase lymphoscintigraphy と SPECT-CT によるリンパ動態評価とリンパ管静脈吻合術の適応決定および効果判定. 第 83 回日本核医学会関東甲信越地方会 (東京), 2015. 7.
- 41) 高木 亮 : 下垂体卒中. 第 37 回救急放射線画像研究会 (東京), 2015. 9.
- 42) 佐野仁美, 町田 幹, 汲田伸一郎, 小川 令¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学 形成外科・美容外科) : 乳房再生に向けた乳房形態の左右差に関する検討. 日本医科大学医学会総会 (東京), 2015. 9.
- 43) 上田達夫, 武田美那子, 林 宏光, 齋藤英正, 嶺 貴彦²⁾, 三樹いずみ, 安井大祐, 杉原史恵, 小野澤志郎, 高木 亮, 村田 智, 横田裕行²⁾, 汲田伸一郎 ⁽¹⁾ 東海大学医学部付属八王子病院画像診断科, ²⁾ 日本医科大学付属病院高度救命救急センター) : 外傷性胸部大動脈損傷により動脈管索内に血流を認めた 1 例. 第 51 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 (盛岡), 2015. 10.
- 44) 大島有希, 古崎治子, 小林宏之, 村上隆介 : デジタルマンモグラフィにおける異なる X 線管ターゲットが及ぼす効果の検証. 第 43 回日本放射線技術学会秋季学術大会 (金沢), 2015. 10.
- 45) 齋藤英正, 林 宏光, 上田達夫, 汲田伸一郎 : 大動脈解離発症に関する画像的予測因子の検討 : 大動脈壁厚は解離発症予測因子となるか?. 第 56 回日本脈管学会総会 (東京), 2015. 10.
- 46) 濱名輝彦, 福嶋善光, 汲田伸一郎, 橋本英伸, 杉原康朗 : Prognostic Impact of Deep-Inspiratory Breath-Hold Pulmonary Perfusion SPECT-CT in Patients with Pulmonary Emphysema. 第 55 回日本核医学会学術総会 (東京), 2015. 11.

- 47) 高木 亮：後腹膜気腫症. 第 39 回救急放射線画像研究会 (東京), 2015. 11.
- 48) 栗林茂彦, 宮下次廣, 汲田伸一郎, 佐藤吉隆¹⁾ (¹⁾ 海老名総合病院放射線科)：限局型小細胞肺癌に対する IFRT における治療成績と再燃形式の検討. 日本放射線腫瘍学会 第 28 回学術大会 (群馬), 2015. 11.
- 49) 高木 亮：脳膿瘍. 第 40 回救急放射線画像研究会 (東京), 2016. 1.
- 50) Ueda T, Murata S, Saitou H, Miki I, Yasui D, Sugihara F, Morota T²⁾, Kumita S (¹⁾ Department of Cardiovascular Surgery, Nippon Medical School Hospital)：Endovascular treatment results for acute limb ischemia. Japan Endovascular Treatment Conference 2016 (福岡), 2016. 2.
- 51) 町田 幹：急性腹症の画像解剖. Medical Imaging Conference Shizuoka (静岡), 2016. 3.
- 52) 安井大祐, 村田 智, 上田達夫, 杉原史恵, 谷谷信彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 汲田伸一郎 (¹⁾ 日本医科大学消化器外科)：術後出血に対する固有・総肝動脈の Isolation の有効性と安全性に関する検討. 第 51 回日本腹部救急医学会総会 (東京), 2016. 3.
- (10) 座長：
- 1) 林 宏光：血管内視鏡で診断する大動脈粥状硬化症の新知見大動脈内視鏡に期待するもの. 第 9 回 TCIF (大阪), 2015. 5.
 - 2) 林 宏光, 陣崎雅弘¹⁾ (¹⁾ 慶應義塾大学放射線診断科)：シンポジウム 7. 脈管疾患の画像診断の進歩. 第 56 回日本脈管学会総会 (東京), 2015. 10.
 - 3) 林 宏光, 田中良一¹⁾ (¹⁾ 岩手医科大学放射線科)：シンポジウム 2. 大血管の画像診断とカテーテル治療. 第 51 回日本医学放射線学会秋季大会 (盛岡), 2015. 10.
- (11) 電子ポスター：
- 1) 織田絵里香, 石原圭一, 富山 毅, 武井めぐみ, 桜井 実, 杉原康朗, 小林靖宏, 箱崎謙太, 秋山一義, 汲田伸一郎：oncology FDG-PET における高分解能収集を用いた病変検出能の向上. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
 - 2) 富山 毅, 汲田伸一郎, 石原圭一, すだまさよ, 箱崎謙太, 橋本英伸, 小林靖宏, 桐山智成, 福嶋善光, たかはしなおと：アデノシン負荷で心拍数が上昇しない症例は, 負荷により心筋血流が上昇しない. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
 - 3) 桑子智之, 谷 瞳, 村上隆介, 吉田民子, 山多美美, 今井祥吾, 天野康雄, 汲田伸一郎, 武井寛幸, 柳原恵子：乳癌における術前内分泌療法後の MRI 評価. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.
 - 4) 上田達夫, 林 宏光, 村田 智, 小野澤志郎, 嶺 貴彦, 山口英宣, 杉原史恵, 安井大祐, 齋藤英正, 汲田伸一郎：動脈硬化性大動脈破裂における HAC sign の有用性に関する検討. 第 74 回 日本医学放射線学会総会 (横浜), 2015. 4.

論文

[追加分]

追加分総説：

- 1) 桑子智之, 林 宏光, 汲田伸一郎：高解像 isovoxel 3D-CT の骨・間接領域への応用と限界. 映像情報メディカル 2015；47：6-10.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) 高木 亮：髄膜腫の腫瘍出血. 第 38 回救急放射線画像研究会 (東京), 2016. 9.

追加分シンポジウム：

- 1) 林 宏光：大動脈解離診断のトピックス：CT 診断. 第 3 回大動脈解離シンポジウム (横浜), 2015. 3.

追加分セミナー：

- 1) 林 宏光：ちょっと役立つ造影検査に関する話題：CT 検査に関連して. 第 34 回日本画像医学会 (東京), 2015. 2.

追加分特別講演：

- 1) 林 宏光：Revolution CT：新たな装置の可能性. 25 回日本心血管画像動態学会 (東京), 2015. 1.
- 2) 林 宏光：ちょっと役立つ造影検査に関する話題：CT 検査に関連して. 画像診断 Web カンファレンス (東京), 2015. 3.
- 3) 林 宏光：心血管領域の CT 診断：現状と求められるもの. 第 32 回せとうち CT・MRI 勉強会 (松山), 2015. 3.

[武蔵小杉病院放射線科]

研究概要

放射線診断学：1) 呼吸器疾患に対して呼吸器内科・外科と協同し画像と診療の質向上を図っている。2) 消化器疾患に対して、新しい MRI を導入し有用性を検討しており、また多検出器型 CT との対比の上で肝腫瘍の質的診断能向上に取り組んでいる。3) 地域の肺がん・胃がん検診に協力している。4) 乳がん検診に取り組んでおり、マンモトームを使って最終診断をつける様務めている。Interventional Radiology：血管内・低侵襲治療センターと協力し、肝細胞癌をはじめ各腫瘍性病変の治療、大動脈瘤など血管性病変の治療、外傷性疾患

への緊急対応などを行っている。核医学：1) 各種放射性医薬品を用いて虚血性心疾患の評価に取り組んでいる。2) 脳腫瘍 SPECT を用いて腫瘍の局在などの検出率の評価に取り組んでいる。

研究業績

論文

(1) 総説：

- 1) Isshiki S, Tajima H¹⁾, Wakayama N²⁾, Tateyama K³⁾ (1) Musashikosugi Hospital Center For Minimally Invasive Treatment, 2) Otolaryngology, Musashikosugi Hospital, 3) Neurosurgery, Musashikosugi Hospital) : Idiopathic intracranial hypertension : The “Moth-eaten” skull base and encephaloceles. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (4) : 168-169.
- 2) 田島廣之¹⁾, 金城忠志¹⁾, 竹ノ下尚子¹⁾, 市川太郎, 一色彩子, 中摩健二²⁾, 菊池有史²⁾, 村田 智³⁾, 小野澤志郎³⁾, 三樹いずみ³⁾, 山本 剛⁴⁾, 中澤 賢⁵⁾ (1) 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, 2) 武蔵小杉病院循環器内科, 3) 付属病院放射線科, 4) 付属病院心臓血管集中治療科, 5) 埼玉医大国際医療センター画像診断科) : 肺血栓塞栓症に対する Interventional Radiology の実際. 臨床放射線 2016 ; 61 (1) : 177-184.
- 3) 田島廣之¹⁾, 金城忠志¹⁾, 竹ノ下尚子¹⁾, 市川太郎, 中摩健二²⁾, 菊池有史²⁾, 佐藤直樹²⁾, 松田 潔³⁾ (1) 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, 2) 武蔵小杉病院循環器内科, 3) 武蔵小杉病院救命救急センター) : 急性肺血栓塞栓症の IVR. 救急医学 2016 ; 40 (2) : 194-200.

著書

- 1) 一色彩子 : [分担] 腸回転異常の CT 診断. わかる！役立つ！消化管の画像診断. 画像診断 別冊 (編著：山下康行), 2015 ; pp232-237, 学研メディカル秀潤社.
- 2) 一色彩子 : [分担] 腸回転異常に関連する代表的な病態 (有症例). わかる！役立つ！消化管の画像診断. 画像診断 別冊 (編著：山下康行), 2015 ; pp238-239, 学研メディカル秀潤社.
- 3) 一色彩子, 田島廣之¹⁾ (1) 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター) : [分担] 造影 CT : 肺塞栓症. 臨床医のための静脈血栓塞栓症診断・治療マニュアル (編集：福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015 ; pp173-181, 医薬ジャーナル.
- 4) 一色彩子, 田島廣之¹⁾ (1) 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター) : [分担] 造影 CT : 深部静脈血栓塞栓症. 臨床医のための静脈血栓塞栓症診断・治療マニュアル (編集：福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015 ; pp182-188, 医薬ジャーナル.
- 5) 橋和聡文, 田島廣之¹⁾ (1) 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター) : [分担] 核医学検査 (肺血流シンチグラフィ). 臨床医のための静脈血栓塞栓症診断・治療マニュアル (編集：福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015 ; pp189-192, 医薬ジャーナル.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 一色彩子 : 胸部単純写真の読影：気が散る集中講座. 耳学問の会 (第 38 回) (東京), 2015. 4.
- 2) 一色彩子 : 腸閉塞の画像診断. 西濃画像診断研究会 (岐阜), 2015. 6.
- 3) 一色彩子 : 腸回転異常の CT 画像診断. 播淡画像診断研究会 (第 33 回) (兵庫県), 2015. 7.
- 4) 一色彩子 : 胸部単純写真の読影：サインとその背景を楽しみながら学ぶ病態と解剖. 岡山胸部画像病理カンファレンス (第 36 回) (岡山), 2015. 9.
- 5) 一色彩子 : 腸回転異常と CT 画像診断. 新潟画像医学研究会 (第 70 回) (新潟), 2015. 11.
- 6) 一色彩子 : 胸部単純写真の読影：サインで読み解く解剖. 呼吸器疾患連携セミナー (第 6 回) (川崎), 2015. 11.

(2) 教育講演：

- 1) 一色彩子 : 感染症の画像診断. Future of Radiology (第 26 回) (東京), 2015. 5.
- 2) 一色彩子 : 腸閉塞 CT 画像診断の基礎. 画像診断の基礎と臨床学術講演会 (第 37 回) (鴨川), 2015. 9.
- 3) 一色彩子 : 胸部単純 X 線・CT の代表的サイン その成り立ちと関連する解剖. 日本医学放射線学会秋季臨床大会 (第 51 回) (岩手), 2015. 10.
- 4) 一色彩子 : 急性腹症の画像診断. 大阪画像診断 IVR セミナー (第 20 回) (大阪), 2016. 1.

(3) シンポジウム：

- 1) 田島廣之¹⁾, 金城忠志¹⁾, 竹ノ下尚子¹⁾, 一色彩子, 市川太郎, 菊池有史²⁾, 佐藤直樹²⁾, 村田 智³⁾, 小野澤志郎³⁾ (1) 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, 2) 武蔵小杉病院循環器内科, 3) 付属病院放射線科) : 下大静脈フィルター除去困難例に対する Sling technique. 日本静脈学会総会 (第 35 回) (奈良), 2015. 7.

(4) 一般講演：

- 1) Isshiki S, Tajima H¹⁾, Ichikawa T (1) Center For Minimally Invasive Treatment, Musashikosugi Hospital) : CT signs of the

bowel, the mesentery, and the omentum-A practical approach with visual aids for better understanding of pathophysiology. ES-GAR2015 (Paris), 2015. 6.

- 2) Kaneshiro T¹⁾, Tajima H¹⁾, Takenoshita N¹⁾, Ichikawa T, Ando J, Shimizu Y, Isshiki S, Yamaguchi K, Kitsuwaga A (1) Musashikosugi Hospital, Center For Minimally Invasive Treatment) : Initial experience of the Amplatzer Vascular Plug. The 74th Annual Meeting of the Japan Radiological Society (Yokohama), 2015. 4.
- 3) Takenoshita N¹⁾, Tajima H¹⁾, Kaneshiro T¹⁾, Ichikawa T, Ando J, Shimizu Y, Isshiki S, Kitsuwaga A, Kikuchi A²⁾, Sato N²⁾ (1) Center For Minimally Invasive Treatment, Musashikosugi Hospital, 2) Center For Minimally Invasive Treatment, Musashikosugi Hospital, 3) Center For Minimally Invasive Treatment, Musashikosugi Hospital, 4) Internal Medicine, Musashikosugi Hospital) : Initial and mid-term clinical experience of silver PTX for superficial femoral arteries. The 74th Annual Meeting of the Japan Radiological Society (Yokohama), 2015. 4.
- 4) Kitsuwaga A, Takahashi N¹⁾, Tajima H²⁾, Ichikawa T, Shimizu Y, Ando J, Kumita S³⁾, Hanaoka D¹⁾, Ishikawa M¹⁾, Sato N¹⁾ (1) Internal Medicine, Musashikosugi Hospital, 2) Center for Minimally invasive Treatment, Musashikosugi Hospital, 3) Radiology, Nippon Medical school) : Impact of body habitus on epi-cardial fat volume assessed by MDCT. The 74 Annual Meeting of the Japan Radiological Society (Yokohama), 2015. 4.
- 5) 竹ノ下尚子¹⁾, 田島廣之¹⁾, 金城忠志¹⁾, 市川太郎, 安藤 順, 清水康弘, 一色彩子, 山口香織, 橋和聡文, 大塚智之²⁾ (1) 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, 2) 武蔵小杉病院腎臓内科) : ADPKD に合併し多発性肝嚢胞による圧迫症状に対し Foam sclerotherapy にて症状改善を得た 1 例. 日本関東 IVR 研究会 (第 27 回) (品川), 2015. 7.
- 6) 橋和聡文, 市川太郎, 高橋直人¹⁾, 花岡大資¹⁾, 石川昌弘¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 田島廣之²⁾, 清水 渉³⁾, 汲田伸一郎⁴⁾ (1) 武蔵小杉病院循環器内科, 2) 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, 3) 付属病院循環器内科, 4) 付属病院放射線科) : 糖尿病における HRR と左室同期不全の関連性. 日本核医学会関東甲信越地方会 (第 83 回) (東京), 2015. 7.
- 7) 池田龍紀¹⁾, 船橋考齊¹⁾, 秋本 浩¹⁾, 高橋照夫¹⁾, 蘭牟田治¹⁾, 高橋直人²⁾, 花岡大資²⁾, 石川昌弘²⁾, 佐藤直樹²⁾, 橋和聡文, 市川太郎, 田島廣之³⁾, 汲田伸一郎⁴⁾ (1) 武蔵小杉病院放射線部, 2) 武蔵小杉病院循環器内科, 3) 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, 4) 付属病院放射線科) : 負荷心筋シンチ検査におけるアーチファクトに影響する因子の検討. 日本核医学会関東甲信越地方会 (第 83 回) (東京), 2015. 7.
- 8) 石川昌弘¹⁾, 高橋直人¹⁾, 花岡大資¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 橋和聡文, 市川太郎, 田島廣之²⁾, 汲田伸一郎³⁾, 清水 渉⁴⁾ (1) 武蔵小杉病院循環器内科, 2) 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, 3) 付属病院放射線科, 4) 付属病院循環器内科) : 透析未導入の重症 CKD 患者における左室同期不全の検討. 日本核医学会関東甲信越地方会 (第 83 回) (東京), 2015. 7.

[武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター]

研究概要

臨床・基礎各科との協調・連携の下、血管内・低侵襲治療に関する広範な領域の臨床研究を展開しており、「救急疾患の血管内治療」と「全身血管性病変の血管内治療」をメインテーマとしている。前者に関しては、「静脈血栓塞栓症」と「外傷」を 2 本の研究の柱としており、文部科学省の科学研究費を獲得し、国際学会のシンポジウムに採択されるなど、国内外で高い評価を得ている。咯血・消化管出血・後腹膜出血などの「出血」に関する研究も進んでいる。後者に関しては、胸部・腹部・腹部大動脈瘤／解離のステントグラフト、閉塞性動脈硬化症のステント、膝下動脈狭窄・閉塞のバルン PTA、腎動脈狭窄のステントなど低侵襲血行再建や動静脈奇形の血管塞栓術などに関する研究を行っているが、その良好な治療成績が注目されている。一方、非血管低侵襲治療については、肺癌の CT ガイド下生検・ラジオ波焼灼治療、術後トラブルに対する CT ガイド下ドレナージ、乳癌のステレオタクティック・マンモトーム生検などを中心とした臨床研究を行っている。血管内・低侵襲治療をより安全に効果的に施行する目的で、先端画像診断に関する解析や新規デバイスの開発もっており、「東京アンギオ・IVR 会」の事務局を担当している。2018 年日本 IVR 学会 (国際) を主催することも決定した。なお、これらと平行して、以前より肺癌・乳癌・胃癌などの癌検診や造影剤に関する研究も継続している。

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) Mine T¹⁾, Murata S¹⁾, Yasui D¹⁾, Yokota H²⁾, Tajima H, Kumita S¹⁾ (1) Radiology, Nippon Medical School, 2) Emergency Medicine, Nippon Medical School) : Glue Embolization of a Blunt Traumatic Hepatic Arteriovenous Fistula under Inflow and Outflow Control. J Nippon Med Sch 2016 ; 83 (1) : 27-30.

(2) 総説 :

- 1) Isshiki S¹⁾, Tajima H, Wakayama N²⁾, Tateyama K³⁾ (1) Radiology, Musashikosugi Hospital, 2) Otolaryngology, Musashikosugi

- Hospital, ³⁾ Neurosurgery, Musashikosugi Hospital) : Idiopathic intracranial hypertension : The “ Moth-eaten ” skull base and encephaloceles. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (4) : 168-169.
- 2) 小野澤志郎¹⁾, 村田 智¹⁾, 嶺 貴彦¹⁾, 上田達夫¹⁾, 杉原史恵¹⁾, 安井大祐¹⁾, 三樹いずみ¹⁾, 金城忠志, 杉原 仁²⁾, 田島廣之⁽¹⁾ 付属病院放射線科, ²⁾ 付属病院内分泌) : 診断におけるインターベンショナル・ラジオロジー. サンプルング. 腎臓内科・泌尿器科 2015 ; 1 (4) : 318-322.
 - 3) 村田 智¹⁾, 田島廣之, 小野澤志郎¹⁾, 安井大祐¹⁾, 上田達夫¹⁾, 杉原史恵¹⁾, 三樹いずみ¹⁾, 山口英宣¹⁾, 嶺 貴彦¹⁾, 黄川田弥生²⁾, 鈴木健一²⁾, 坂本篤宏²⁾, 汲田伸一郎¹⁾ (¹⁾ 付属放射線科, ²⁾ 付属 ME) : 治療におけるインターベンショナル・ラジオロジー. 閉鎖循環下化学療法. 腎臓内科・泌尿器科 2015 ; 1 (4) : 363-368.
 - 4) 田島廣之, 松永尚文¹⁾ (¹⁾ 山口大学) : IVR 治療戦略. 術前に必要な画像診断はこれだ ! 序説. 臨床画像 2015 ; 31 (5) : 547-547.
 - 5) 村田 智¹⁾, 田島廣之, 杉原史恵¹⁾, 小野澤志郎¹⁾, 上田達夫¹⁾, 安井大祐¹⁾, 三樹いずみ¹⁾, 内山史生²⁾, 山口英宣¹⁾, 嶺 貴彦¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾ (¹⁾ 付属病院放射線科, ²⁾ 海老名総合病院) : IVR 治療戦略. 術前に必要な画像診断はこれだ ! 原発性肝細胞癌に対する TACE に必要な画像診断の実際. 臨床画像 2015 ; 31 (5) : 567-576.
 - 6) 川俣博史¹⁾, 村田恵美¹⁾, 古川一博¹⁾, 中條秀信¹⁾, 岡田 進¹⁾, 田島廣之⁽¹⁾ 千葉北総病院放射線科) : PAD の診断. TASK II の解説. 臨床透析 2015 ; 31 (7) : 829-838.
 - 7) 竹ノ下尚子, 田島廣之 : 特集. アドバンストコース. IVR 治療戦略. 術前に必要な画像診断はこれだ ! . 臨床画像 2015 ; 31 (9) : 1146-1149.
 - 8) 田島廣之 : リンパ管の IVR. 最前線を切り開くエキスパートの流儀. 臨床画像 2016 ; 32 (1) : 99-99.
 - 9) 田島廣之, 金城忠志, 竹ノ下尚子, 市川太郎¹⁾, 一色彩子¹⁾, 中摩健二²⁾, 菊池有史²⁾, 村田 智³⁾, 小野澤志郎³⁾, 三樹いずみ³⁾, 山本 剛⁴⁾, 中澤 賢⁵⁾ (¹⁾ 武蔵小杉病院放射線科, ²⁾ 武蔵小杉病院循環器内科, ³⁾ 付属病院放射線科, ⁴⁾ 付属病院心臓血管集中治療科, ⁵⁾ 埼玉医大国際医療センター画像診断科) : 肺血栓塞栓症に対する Interventional Radiology の実際. 臨床放射線 2016 ; 61 (1) : 177-184.
 - 10) 田島廣之, 金城忠志, 竹ノ下尚子, 市川太郎¹⁾, 中摩健二²⁾, 菊池有史²⁾, 佐藤直樹²⁾, 松田 潔³⁾ (¹⁾ 武蔵小杉病院放射線科, ²⁾ 武蔵小杉病院循環器内科, ³⁾ 武蔵小杉病院救命救急センター) : 急性肺血栓塞栓症の IVR. 救急医学 2016 ; 40 (2) : 194-200.
 - 11) 田島廣之, 金城忠志, 竹ノ下尚子, 小野澤志郎¹⁾ (¹⁾ 大洗海岸病院放射線科) : 下肢静脈瘤血管内焼灼術にいかにか超音波を用いるか. 臨床画像 2016 ; 32 (3) : 334-341.
 - 12) 田島廣之 : IVR 実践講座 : どう使う ? プロに学ぶ超音波ガイド活用術. 序説. 臨床画像 2016 ; 32 (3) : 259-259.

著 書

- 1) 田島廣之 : [分担] シミター症候群. 南山堂医学大辞典, 第 20 版 (秋澤忠男 他), 2015 ; pp1072-1073, 南山堂.
- 2) 田島廣之 : [分担] 肺梗塞. 南山堂医学大辞典, 第 20 版 (秋澤忠男 他), 2015 ; pp1925-1925, 南山堂.
- 3) 田島廣之 : [分担] 肺塞栓症. 南山堂医学大辞典, 第 20 版 (秋澤忠男 他), 2015 ; pp1930-1930, 南山堂.
- 4) 田島廣之 : [分担] 肺血栓塞栓症. 南山堂医学大辞典, 第 20 版 (秋澤忠男 他), 2015 ; pp1924-1924, 南山堂.
- 5) 田島廣之 : [分担] 気管支動脈塞栓術. 南山堂医学大辞典, 第 20 版 (秋澤忠男 他), 2015 ; pp498-498, 南山堂.
- 6) 金城忠志, 田島廣之, 竹ノ下尚子 : [分担] 肺血栓塞栓症. どのようなときにどこまでやるか. 当直・救急外来で役立つ画像診断のコツ (中島康雄, 松本純一), 2015 ; pp107-112, 文光堂.
- 7) 一色彩子¹⁾, 田島廣之⁽¹⁾ 武蔵小杉病院放射線科) : [分担] 造影 CT : 肺塞栓症. 臨床医のための静脈血栓塞栓症診断・治療マニュアル (福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015 ; pp173-181, 医薬ジャーナル.
- 8) 一色彩子¹⁾, 田島廣之⁽¹⁾ 武蔵小杉病院放射線科) : [分担] 造影 CT : 深部静脈血栓症. 臨床医のための静脈血栓塞栓症診断・治療マニュアル (福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015 ; pp182-188, 医薬ジャーナル.
- 9) 橋和聡文¹⁾, 田島廣之⁽¹⁾ 武蔵小杉病院放射線科) : [分担] 核医学検査 (肺血流シンチグラフィ). 臨床医のための静脈血栓塞栓症診断・治療マニュアル (福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015 ; pp189-192, 医薬ジャーナル.
- 10) 田島廣之, 竹ノ下尚子 : [分担] 肺動脈造影法. 臨床医のための静脈血栓塞栓症診断・治療マニュアル (福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015 ; pp193-197, 医薬ジャーナル.
- 11) 金城忠志, 田島廣之 : [分担] 静脈造影法. 臨床医のための静脈血栓塞栓症診断・治療マニュアル (福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015 ; pp198-203, 医薬ジャーナル.
- 12) 田島廣之, 金城忠志 : [分担] カテーテル治療. 臨床医のための静脈血栓塞栓症診断・治療マニュアル (福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015 ; pp288-295, 医薬ジャーナル.

学会発表

(1) 教育講演：

- 1) Tajima H : Interventional Radiology for the Treatment of Pulmonary Thromboembolism. The 74th annual Meeting of the Japan Radiological Society (Yokohama), 2015. 4.
- 2) 田島廣之：体に優しい治療が「血管内・低侵襲治療」です。日本医科大学武蔵小杉病院医学講座（川崎），2015. 8.
- 3) 田島廣之：静脈血栓塞栓症のIVR（画像下治療）。日本脈管学会総会（第56回）（東京），2015. 10.
- 4) 竹ノ下尚子，金城忠志，田島廣之：超音波誘導下のCVライン挿入。腹部救急医学会総会（第52回）（東京），2016. 3.

(2) シンポジウム：

- 1) 田島廣之，金城忠志，竹ノ下尚子，一色彩子¹⁾，市川太郎¹⁾，菊池有史²⁾，佐藤直樹²⁾，村田 智³⁾，小野澤志郎³⁾（¹⁾ 武蔵小杉病院放射線科，²⁾ 武蔵小杉病院循環器内科，³⁾ 付属病院放射線科）：下大静脈フィルター抜去困難例に対する sling technique. 日本静脈学会総会（第35回）（奈良），2015. 7.
- 2) 三樹いずみ¹⁾，田島廣之，小野澤志郎¹⁾，金城忠志，竹ノ下尚子，上田達夫¹⁾，杉原史恵¹⁾，安井大祐¹⁾，中澤 賢²⁾，村田 智¹⁾（¹⁾ 付属病院放射線科，²⁾ 埼玉医大画診）：急性肺血栓塞栓症におけるハイブリッドIVRの実際とその治療成績。日本静脈学会総会（第35回）（奈良），2015. 7.
- 3) 小野澤志郎¹⁾，田島廣之，上田達夫¹⁾，杉原史恵¹⁾，安井大祐¹⁾，三樹いずみ¹⁾，杉原 仁²⁾，村田 智¹⁾（¹⁾ 付属病院放射線科，²⁾ 付属病院内分泌）：副腎静脈サンプリング前の thin slice CT の右副腎静脈描出能と有用性に関する検討。日本静脈学会総会（第35回）（奈良），2015. 7.
- 4) 小野澤志郎¹⁾，村田 智¹⁾，田島廣之，上田達夫¹⁾，杉原史恵¹⁾，安井大祐¹⁾，三樹いずみ¹⁾，師田哲郎²⁾，芝田匡史²⁾，汲田伸一郎¹⁾（¹⁾ 付属病院放射線科，²⁾ 付属病院心臓血管外科）：孤立性内腸骨動脈瘤治療時における Amplatzer Vascular Plug の使用。日本血管内治療学会総会（第21回）（名古屋），2015. 7.
- 5) 田島廣之：急性肺塞栓症。Open かカテーテルか。Catheter intervention. 日本胸部外科学会定期学術集会（第68回）（神戸），2015. 10.

(3) 一般講演：

- 1) Isshiki S¹⁾，Tajima H，Ichikawa T¹⁾（¹⁾ Radiology, Musashikosugi Hospital）：CT signs of the bowel, the mesentery, and the omentum-A practical approach with visual aids for better understanding of pathophysiology. ESGAR (2015) (Paris), 2015. 6.
- 2) Kaneshiro T，Tajima H，Takenoshita N，Ichikawa T¹⁾，Ando J¹⁾，Shimizu Y¹⁾，Isshiki S¹⁾，Yamaguchi K¹⁾，Kitsuwa A¹⁾（¹⁾ Radiology, Musashikosugi Hospital）：Initial experience of the Amplatzer Vascular Plug. The 74th Annual Meeting of the Japan Radiological Society (Yokohama), 2015. 4.
- 3) Takenoshita N，Tajima H，Kaneshiro T，Ichikawa T¹⁾，Ando J¹⁾，Shimizu Y¹⁾，Isshiki S¹⁾，Kitsuwa A¹⁾，Kikuchi A²⁾，Sato N²⁾（¹⁾ Radiology, Musashikosugi Hospital，²⁾ Internal Medicine, Musashikosugi Hospital）：Initial and mid-term clinical experience of Zilver PTX for superficial femoral arteries. The 74th Annual Meeting of the Japan Radiological Society (Yokohama), 2015. 4.
- 4) Kitsuwa A¹⁾，Takahashi N²⁾，Tajima H，Ichikawa T¹⁾，Shimizu Y¹⁾，Ando J¹⁾，Kumita S³⁾，Hanaoka D²⁾，Ishikawa M²⁾，Sato N²⁾（¹⁾ Radiology, Musashikosugi Hospital，²⁾ Internal Medicine, Musashikosugi Hospital，³⁾ radiology, Nippon Medical school）：Impact of body habitus on epi-cardial fat volume assessed by MDCT. The 74th Annual Meeting of the Japan Radiological Society (Yokohama), 2015. 4.
- 5) Miki I¹⁾，Onozawa S¹⁾，Tajima H，Murata S¹⁾，Kiyuna H¹⁾，Makita K²⁾，Takase K³⁾，Osuga K⁴⁾，Nishida N⁴⁾，Kumita S¹⁾（¹⁾ Radiology, Nippon Medical School，²⁾ Nerima Hikarigaoka Hospital，³⁾ Tohoku University Hospital，⁴⁾ JSIR）：Present status of adrenal venous sampling in Japan 2014. JSIR, ISIR & APCIO 2015 (Miyazaki), 2015. 5.
- 6) 芝田匡史¹⁾，小野澤志郎²⁾，嶺 貴彦²⁾，村田 智²⁾，田島廣之（¹⁾ 付属病院心臓血管外科，²⁾ 付属病院放射線科）：Case Based Discussion. 感染性総腸骨動脈瘤。日本 Metallic Stents & Grafts 研究会（第33回）（宮崎），2015. 5.
- 7) 金城忠志，田島廣之，竹ノ下尚子，井村 肇¹⁾，丸山雄二¹⁾，高橋賢一郎¹⁾，上田仁美¹⁾（¹⁾ 武蔵小杉病院心臓血管外科）：Touch up により大動脈破裂を生じた EVAR の1例。川崎大動脈ステントグラフト研究会（第8回）（川崎），2015. 6.
- 8) 竹ノ下尚子，田島廣之，金城忠志，市川太郎¹⁾，安藤 順¹⁾，清水康弘¹⁾，一色彩子¹⁾，山口香織¹⁾，橋和聡文¹⁾，大塚智之²⁾（¹⁾ 武蔵小杉病院放射線科，²⁾ 武蔵小杉病院・腎臓内科）：ADPKD に合併した多発性肝嚢胞による圧迫症状に対し Foam sclero-therapy にて症状改善を得た1例。日本関東IVR研究会（第27回）（品川），2015. 7.
- 9) 池田龍紀¹⁾，船橋考斉¹⁾，秋本 浩¹⁾，高橋照夫¹⁾，蘭牟田治¹⁾，高橋直人²⁾，花岡大資²⁾，石川昌弘²⁾，佐藤直樹²⁾，橋和聡文³⁾，市川太郎³⁾，田島廣之，汲田伸一郎⁴⁾（¹⁾ 武蔵小杉病院放射線科，²⁾ 武蔵小杉病院循環器内科，³⁾ 武蔵小杉病院放射線科，⁴⁾ 付属病院放射線科）：負荷心筋シンチ検査におけるアーチファクトに影響する因子の検討。日本核医学会関東甲信越地方会（第83回）（東京），2015. 7.

- 10) 石川昌弘¹⁾, 高橋直人¹⁾, 花岡大資¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 橘和聡文²⁾, 市川太郎²⁾, 田島廣之, 汲田伸一郎³⁾, 清水 渉⁴⁾ (1) 武蔵小杉病院循環器内科, 2) 武蔵小杉病院放射線科, 3) 付属病院放射線科, 4) 付属病院循環器内科): 透析未導入の重症CKD患者における左室同期不全の検討. 日本核医学会関東甲信越地方会 (第83回) (東京), 2015. 7.
- 11) 橘和聡文¹⁾, 市川太郎¹⁾, 高橋直人²⁾, 花岡大資²⁾, 石川昌弘²⁾, 佐藤直樹²⁾, 田島廣之, 清水 渉³⁾, 汲田伸一郎⁴⁾ (1) 武蔵小杉病院放射線科, 2) 武蔵小杉病院循環器内科, 3) 付属病院循環器内科, 4) 付属病院放射線科): 糖尿病におけるHRRと左室同期不全の関連性. 日本核医学会関東甲信越地方会 (第83回) (東京), 2015. 7.
- 12) 菊池広子¹⁾, 松田 潔¹⁾, 石丸直樹¹⁾, 遠藤広史¹⁾, 山村英治¹⁾, 渡邊顕弘¹⁾, 長谷川智宏¹⁾, 望月 徹¹⁾, 黒川 顕¹⁾, 田島廣之, 深見武彦²⁾ (1) 武蔵小杉病院救命救急センター, 2) 武蔵小杉病院女性診療科・産科): 産科危機的出血に対して救急医が関与し, 経カテーテル動脈塞栓術を施行した2例. 日本救急医学会総会 (第43回) (東京), 2015. 10.
- 13) 大槻昌子¹⁾, 八木 孝¹⁾, 南 史朗¹⁾, 石川真由美¹⁾, 金城忠志, 田島廣之, 山崎有人²⁾, 笹野公伸²⁾ (1) 武蔵小杉病院内分泌・糖尿病・動脈硬化内科, 2) 東北大学医学系研究科医科学専攻病理病態学講座病理診断学分野): サブクリニカルクッシング症候群に合併した原発アルドステロン症の1例. 臨床内分泌代謝 Update (第25回) (東京), 2015. 11.
- 14) 田島廣之, 竹ノ下尚子, 金城忠志, 井村 肇¹⁾, 丸山雄二¹⁾, 高橋賢一郎¹⁾, 上田仁美¹⁾, 徳山榮男²⁾, 佐藤直樹²⁾ (1) 武蔵小杉病院心臓血管外科, 2) 武蔵小杉病院循環器内科): 三年経過観察しえた感染性総腸骨動脈瘤に対するステンドグラフト内挿術の1例. 川崎大動脈ステントグラフト研究会 (第9回) (川崎), 2015. 11.

論文

[追加分]

追加分原著:

- 1) Sekine K¹⁾, Matsune S¹⁾, Shiiba K¹⁾, Kimura M¹⁾, Okubo K²⁾, Kaneshiro T, Tajima H, Murakami M³⁾, Kurokawa A⁴⁾ (1) Otolaryngology, Musashikosugi Hospital, 2) Otolaryngology, Nippon Medical School, 3) Plastic Surgery, Musashikosugi Hospital, 4) Musashikosugi Hospital): Treatment of nostril and nasal stenosis due to facial burn using a self-expandable metallic esophageal stent. *Auris Nasus Larynx* 2015; 42 (4): 348-352.
- 2) 杉原史恵¹⁾, 小野澤志郎¹⁾, 村田 智¹⁾, 田島廣之, 嶺 貴彦¹⁾, 山口英宜¹⁾, 上田達夫¹⁾, 安井大祐¹⁾, 木村隆誉¹⁾, 三樹いずみ¹⁾, 杉原 仁²⁾, 汲田伸一郎¹⁾ (1) 付属病院放射線科, 2) 付属病院内分泌): 血管造影に基づく副腎静脈吻合の解剖学的特徴. *臨床放射線* 2015; 60 (3): 420-427.

[多摩永山病院放射線科]

研究概要

現在CTでは肺疾患の画像の検討を続けております。MRIでは悪性腫瘍の診断における拡散強調画像の有用性の検討とともに骨盤内疾患の画像診断の検討を行っております。核医学では認知症の脳血流とともに新規薬剤の有用性の検討を行っております。また、虚血性心疾患における壁運動の同期性について複数の解析プログラムを使った検討を行っております。他、核医学と他のモダリティとの統合画像を作成し、その臨床的な有用性を検討しております。IVRでは悪性腫瘍の血管内治療の検討を続けております。

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Murata S¹⁾, Onozawa S¹⁾, Sugihara F¹⁾, Sakamoto A²⁾, Ueda T¹⁾, Yamaguchi H, Yasui D¹⁾, Mine T¹⁾, Kumita S¹⁾ (1) Department of Radiology, Nippon Medical School, 2) Department of Anesthesiology, Nippon Medical School): Feasibility and Safety of Negative-Balance Isolated Pelvic Perfusion in Patients with Pretreated Recurrent or Persistent Uterine Cervical Cancer. *Ann Surg Oncol* 2015; 22 (12): 3981-3989.
- 2) 村田 智¹⁾, 田島廣之²⁾, 杉原史恵¹⁾, 小野澤志郎¹⁾, 上田達夫¹⁾, 安井大祐¹⁾, 三樹いずみ¹⁾, 内山史生³⁾, 山口英宜, 嶺 貴彦¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院放射線医学, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, 3) 海老名総合病院放射線科): 原発性肝細胞癌に対するTACEに必要な画像診断の実際. *臨床画像* 2015; 31 (5): 567-576.

(2) 症例報告:

- 1) Ueda T¹⁾, Murata S¹⁾, Yamamoto A, Tamai J, Kobayashi Y, Hiranuma C, Yoshida H²⁾, Kumita S¹⁾ (1) Nippon Medical School Hospital, 2) Nippon Medical School Hospital Tama Nagayama Branch Digestive Surgery): Endovascular treatment of post-laparoscopic pancreatectomy splenic arteriovenous fistula with splenic vein aneurysm. *World Journal of Gastroenterology* 2015; 21 (25): 7907-7910.

著 書

- 1) 小林由子, 田島廣之¹⁾, 中井章人²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院女性診療科) : [共著] 良性疾患(子宮筋腫・腺筋症)に対する IVR : IVR 術前画像診断の意義. 一步先行く産科・婦人科領域の IVR, 2016 ; pp98-104, メジカルビュー社.
- 2) 小林由子, 田島廣之¹⁾, 中井章人²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院女性診療科) : [共著] 悪性疾患に対する IVR : IVR 術前画像診断の意義. 一步先行く産科・婦人科領域の IVR, 2016 ; pp156-165, メジカルビュー社.

学会発表

(1) 一般講演 :

- 1) Yamamoto A, Tamai J, Kobayashi Y, Yamaguchi H, Kumita S¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院放射線科) : Difference of wall motion synchrony after exercise and pharmacological stress in patients with normal stress perfusion and normal ejection fraction. 日本医学放射線学会総会 (第 74 回) (横浜), 2015. 4.

論 文

[追加分]

追加分原著 :

- 1) 杉原史恵¹⁾, 小野澤志郎¹⁾, 村田 智¹⁾, 田島廣之²⁾, 嶺 貴彦¹⁾, 山口英宣, 上田達夫¹⁾, 安井大祐¹⁾, 木村隆誉, 三樹いずみ¹⁾, 杉原 仁¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院) : 血管造影に基づく副腎静脈吻合の解剖学的特徴. 臨床放射線 2015 ; 60 (3) : 420-427.

[多摩永山病院放射線治療科]

研究概要

3次元治療計画を全症例に適用している。研究、業績の両者に利用できるよう受付、医師、技師間のイントラネットデータベースを構築し運用している。体幹部定位照射を施行し、最適な照射方向の組み合わせを解析している。前立腺癌の照射時に超音波装置を使い、尿量を確認し、有害事象との関連を解析している。

研究業績

論 文

(1) 原著 :

- 1) Otani Y¹⁾, Nose T, Dokiya T²⁾, Saeki T³⁾, Kumazaki Y⁴⁾, Asahi S⁵⁾, Tsukiyama I⁶⁾, Fukuda I⁷⁾, Sekine H⁸⁾, Shikama T⁴⁾, Takahashi T³⁾, Yoshida K⁹⁾, Kotsuma T¹⁰⁾, Masuda N¹⁰⁾, et al. (1) Department of Radiation Oncology, Osaka University Graduate School of Medicine, ²⁾ Department of Radiation Oncology, Kyoundo Hospital, ³⁾ Department of Breast Oncology, Saitama Medical University, International Medical Center, ⁴⁾ Department of Radiation Oncology, Saitama Medical University, ⁵⁾ Department of Surgery, Aidu Chuo Hospital, ⁶⁾ Head of Research institute for radiotherapy Southern TOHOKU Research Institute for Neuroscience Southern TOHOKU General Hospital, ⁷⁾ Department of Radiation Oncology, National Hospital Organization Disaster Medical Center, ⁸⁾ Department of Radiology & Radiotherapy, The Jikei University, Daisan Hospital, ⁹⁾ Department of Radiation Oncology, Osaka Medical College, ¹⁰⁾ and others) : A Japanese prospective multi-institutional feasibility study on accelerated partial breast irradiation using interstitial brachytherapy : treatment planning and quality assurance. Radiation Oncology 2015 ; 10 (126).
- 2) Nose T, Otani Y¹⁾, Asahi S²⁾, Tsukiyama I³⁾, Dokiya T⁴⁾, Saeki T⁵⁾, Fukuda I⁴⁾, Sekine H⁴⁾, Shikama N⁴⁾, Kumazaki Y⁴⁾, Takahashi T⁵⁾, Yoshida K⁶⁾, Kotsuma T⁶⁾, Masuda N⁷⁾, Yoden E⁸⁾, et al. (1) Department of Radiology, Kaizuka City Hospital, ²⁾ Departments of Surgery, Aidu City Hosupital, ³⁾ Department of Radiology, Aidu City Hosupital, ⁴⁾ Departments of Radiation Oncology, International Medical Center, ⁵⁾ Department of Breast Oncology, International Medical Center, ⁶⁾ Departments of Radiation Oncology, National Hospital Organization Osaka National Hospital, ⁷⁾ Departments of Surgery, Breast Oncology, National Hospital Organization Osaka National Hospital, ⁸⁾ Departments of Radiation Oncology, Kawasaki Medial School) : A Japanese prospective multi-institutional feasibility study on accelerated partial breast irradiation using interstitial brachytherapy : clinical results with a median follow-up of 26 months. Breast Cancer 2015 ; 1-8.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) Nose T : A Japanese multi-institutional prospective feasibility study of accelerated partial breast irradiation using interstitial brachytherapy. 日本放射線腫瘍学会 (第 28 回) 日中韓シンポジウム (前橋), 2015. 11.

(2) 一般講演：

- 1) 余田栄作¹⁾, 築山 巖^{2, 7)}, 旭 修司²⁾, 鹿間直人³⁾, 佐伯俊昭³⁾, 土器屋卓志³⁾, 松村泰成⁴⁾, 中川志乃⁴⁾, 立入誠司⁵⁾, 森口喜生⁵⁾, 吉田 謙^{6, 8)}, 古妻理之⁶⁾, 増田慎三⁶⁾, 中島一毅¹⁾, 能勢隆之, その他 2 名 (¹⁾ 川崎医科大学, ²⁾ 会津中央病院, ³⁾ 埼玉医科大学, ⁴⁾ 国立病院機構九州医療センター, ⁵⁾ 京都市立病院, ⁶⁾ 国立病院機構大阪医療センター, ⁷⁾ 南東北がん陽子線治療センター, ⁸⁾ 大阪医科大学) : 組織内照射による APBI 多施設共同試験 : 臨床結果の経時的変化 (中央 49 ヶ月, 最短 36 ヶ月). 日本放射線腫瘍学会小線源治療部会研究会 (第 17 回) (さいたま市), 2015. 6.
- 2) 能勢隆之 : A Japanese multi-institutional prospective feasibility study of accelerated partial breast irradiation using interstitial brachytherapy. 日本放射線腫瘍学会 (第 28 回) (前橋), 2015. 11.
- 3) 吉田 謙^{1, 7)}, 築山 巖^{2, 8)}, 旭 修司²⁾, 鹿間直人³⁾, 佐伯俊昭³⁾, 土器屋卓志³⁾, 松村泰成⁴⁾, 中川志乃⁴⁾, 立入誠司⁵⁾, 森口喜生⁵⁾, 古妻理之¹⁾, 増田慎三¹⁾, 余田栄作⁶⁾, 中島一毅⁶⁾, 能勢隆之, その他 2 名 (¹⁾ 国立病院機構大阪医療センター, ²⁾ 会津中央病院, ³⁾ 埼玉医科大学, ⁴⁾ 国立病院機構九州医療センター, ⁵⁾ 京都市立病院, ⁶⁾ 川崎医科大学, ⁷⁾ 大阪医科大学, ⁸⁾ 南東北がん陽子線治療センター) : 組織内照射による APBI 多施設共同試験 : 臨床結果 (中央 55 ヶ月, 最短 42 ヶ月). 日本放射線腫瘍学会学術大会 (第 28 回) (前橋), 2015. 11.

著 書

[追加分]

追加分：

- 1) 能勢隆之, 大谷侑輝¹⁾, 小口正彦²⁾ (¹⁾ 大阪市立貝塚病院, ²⁾ がん研究会有明病院) : [共著] 組織内照射を使った乳房加速部分照射 APBI の現状. 乳癌の臨床, 2015 ; pp199-205, 篠原出版社.

[千葉北総病院放射線科]

研究概要

胃の LADG 術後のピーターセン・ヘルニアにつき、臨床情報・手術所見と CT 画像の比較検討を行い、興味深い結果を得た。今後発表の予定である。婦人科系の腫瘍について、女性診療科および病理部とのカンファランスを通じて、画像と臨床所見や病理像との比較検討を行っており、子宮や卵巣の稀な腫瘍や炎症性疾患などについて、症例を重ねて検討している。WHO の腫瘍の新しい組織分類について、検討を行っており、画像所見と新しい分類との関係を検討している。心臓 CT から得られたデータを用いて、心表面での血管支配のマッピングを行い、画像表示する研究を引き続き行っている。良好な画像が得られており、今後、他のモダリティや臨床所見との比較検討を予定している。救命救急分野において、救命救急部とのカンファランスを毎週行い、臨床像と画像との対比検討を行っている。緊急 IVR の症例などについて、臨床像とあわせて検討している。消化器疾患については、外科と合同で、術前症例および術後症例についてのカンファランスを行っている。画像と手術所見などについて、病理所見とあわせて比較検討を行っている。MRI 領域では、シークエンスについての基礎的検討などを行っている。3 テスラ装置にあわせた条件の検討を行っている。IVR 領域においては、外傷症例、悪性腫瘍、ASO、深部静脈血栓症、大動脈ステント、透析シャントトラブルなどの多くの症例に対して治療を行い、良好な成績を得ている。大動脈ステントについては、引き続き症例が増加し、いずれも良好な成績を得ている。この分野での、千葉県域でのリーダー的な施設となっている。放射線治療については、新たな治療装置を十分に活用し、呼吸同期などの高度な治療を行っている。放射線治療の症例は増加している。

研究業績

学会発表

(1) ポスター：

- 1) Murata E, Kawamata H, Nakagawa T, Hurukawa K, Nakajou H, Okada S, Kamoi S¹⁾ (¹⁾ Department of Obstetrics and Gynecology) : A case with spontaneous rupture of ovarian varices successfully treated with balloon occluded hystoacryl embolization. JSIR, ISIR & APCIO 2015 (Miyazaki), 2015. 5.
- 2) 黒岩愛里, 岡田 進, 羽鳥 努¹⁾, 鴨井青龍²⁾, 村田恵美, 森田布季子, 檜村剛司, 古川一博, 貝津俊英, 中條秀信, 川俣博志, 汲田伸一郎³⁾ (¹⁾ 病理診断科, ²⁾ 女性診療科・産科, ³⁾ 付属病院) : 興味ある画像所見を呈した、右卵巣の粘液性腺癌に伴う腹膜播腫の 1 例. 日本医学放射線学会秋季臨床大会 (第 51 回) (盛岡), 2015. 10.

(2) 一般講演：

- 1) 村田恵美, 川俣博志, 中山文彦¹⁾, 古川一博, 岡田 進 (¹⁾ 救命救急科) : 巨大な大腿深動脈仮性瘤に対しバルーン閉塞血流コントロール下のコイル塞栓術にて治療した1症例. 関東IVR研究会 (第27回) (東京), 2015. 7.
- 2) 川俣博志, 村田恵美, 古川一博, 森田布季子, 櫻村剛司, 中條秀信, 貝津俊英, 黒岩愛里, 岡田 進 : 腎機能不良例に対するCO₂-DSAを併用したIVR. 末梢血管・血管内画像研究会 (第22回) (東京), 2015. 10.
- 3) 村田恵美 : 外傷性心嚢ヘルニアの1症例. 日本救急放射線研究会 (第25回) (盛岡), 2015. 10.

追加分ポスター：

- 1) Kaizu K¹⁾, Uchiyama R²⁾, Terada Y³⁾, Asano T²⁾, Maeda M³⁾, Itoh Y³⁾, Oomura T⁴⁾, Kobayashi S⁴⁾, Yanagisawa T⁵⁾, Kaizu T, Okada S (¹⁾ Medical Center for Maternal and Child Health, Musashi-Kosugi Hospital, ²⁾ Department of Pediatrics, ³⁾ Department of Pediatrics, Nippon Medical School, ⁴⁾ Department of Neurosurgery, ⁵⁾ Department of Neuro-Oncology/Neurosurgery, Saitama Medical University International Medical Center) : A case of recurrent medulloblastoma with TMZ salvage therapy. SIOP Asia Congress (8th) (Seoul), 2014. 4.

12. 皮膚粘膜病態学分野

[付属病院皮膚科]

研究概要

1. アトピー性皮膚炎および乾癬の遺伝子要因の解析.
2. アトピー性皮膚炎診療ガイドラインの作成.
3. 皮膚免疫システムにおける Langerhans 細胞の機能解析.
4. レーザ光および可視光線近赤外線によるアンチエイジングおよび抗腫瘍効果の解析.
5. メラノーマ発生機序に関する分子生物学的解析.
6. 皮膚上皮性腫瘍の新規診断マーカーに関する研究.
7. 薬剤アレルギーの抗原解析.
8. 難治性皮膚疾患への神経内分泌・免疫学的アプローチ.
9. 病理検体から細菌と真菌を網羅的に検出する real-time PCR 法の開発.

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) Fukumoto H, Li T¹⁾, Kataoka M²⁾, Hasegawa H²⁾, Wakita T¹⁾, Saeki H, Suzuki T³⁾, Katano H²⁾ (¹⁾ Department of Virology II, National Institute of Infectious Diseases, ²⁾ Department of Pathology, National Institute of Infectious Diseases, ³⁾ Department of Infectious Disease, Hamamatsu University School of Medicine) : Seroprevalence of trichodysplasia spinulosa-associated polyomavirus in Japan. *J Clin Virol* 2015 ; 65 : 76-82.
- 2) Yano C¹⁾, Saeki H, Komine M²⁾, Kagami S³⁾, Tsunemi Y⁴⁾, Ohtsuki M²⁾, Nakagawa H¹⁾ (¹⁾ Department of Dermatology, The Jikei University School of Medicine, ²⁾ Department of Dermatology, Jichi Medical University, ³⁾ Department of Dermatology, Kanto Central Hospital, ⁴⁾ Department of Dermatology, Tokyo Women's Medical University) : Mechanism of Macrophage-Derived Chemokine/CCL22 Production by HaCaT Keratinocytes. *Ann Dermatol* 2015 ; 27 (2) : 152-156.
- 3) Saeki H, Imafuku S¹⁾, Abe M²⁾, Shintani Y³⁾, Onozuka D⁴⁾, Hagihara A⁵⁾, Kato N⁵⁾, Murota H⁶⁾, Takeuchi S⁷⁾, Sugaya M⁸⁾, Tanioka M⁹⁾, Kaneko S¹⁰⁾, et al. (¹⁾ Department of Dermatology, Faculty of Medicine, Fukuoka University, ²⁾ Sapporo, ³⁾ Department of Geriatric and Environmental Dermatology, Nagoya City University, ⁴⁾ Department of Health Services Management and Policy, Kyushu University, ⁵⁾ Department of Dermatology, Kyoto Prefectural University of Medicine Graduate School of Medical Science, ⁶⁾ Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, Osaka University, ⁷⁾ Department of Dermatology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations, Hamanomachi Hospital, ⁸⁾ Department of Dermatology, Faculty of Medicine, University of Tokyo, ⁹⁾ Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, ¹⁰⁾ and others) : Poor adherence to medication as assessed by the Morisky Medication Adherence Scale-8 and low satisfaction with treatment in 237 psoriasis patients. *J Dermatol* 2015 ; 42 (4) : 367-372.
- 4) Ozaki S, Funasaka Y, Takubo M, Matayoshi T, Ueno T, Asayama S, Saeki H : Granulocyte colony-stimulating factor induced granulomatous dermatitis with enlarged histiocytes clinically manifesting painful edematous nodules with high fever like Sweet's syndrome. *J Dermatol* 2015 ; 42 (4) : 414-417.
- 5) Okazaki S, Funasaka Y, Wakamatsu K¹⁾, Kawana S, Saeki H (¹⁾ Fujita health University School of Health Sciences) : Effect of infrared radiation A on photoaged hairless mice harboring eumelanin and pheomelanin in the epidermis. *J Dermatol* 2015 ; 42 (4) : 382-390.
- 6) Oyama S, Funasaka Y, Watanabe A¹⁾, Takizawa T²⁾, Kawana S, Saeki H (¹⁾ Department of Molecular and Genetics, Craduate School of Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Molecular Medicine and Anatomy, Craduate School of Medicine, Nippon Medical School) : BRAF, KIT and NRAS mutations and expression of c-KIT, phosphorylated extracellular signal-regulated kinase and phosphorylated AKT in Japanese melanoma patients. *J Dermatol* 2015 ; 42 (5) : 477-484.
- 7) Saeki H, Nakagawa H¹⁾, Ishii T²⁾, Morisaki Y²⁾, Aoki T²⁾, Berclaz P³⁾, Heffernan M³⁾ (¹⁾ Department of Dermatology, The Jikei University School of Medicine, ²⁾ Lilly Research Laboratories, Eli Lilly Japan K.K, ³⁾ Lilly Research Laboratories, Eli Lilly and Company) : Efficacy and safety of open-label ixekizumab treatment in Japanese patients with moderate-to-severe plaque psoriasis, erythrodermic psoriasis and geneJ Eur realized pustular psoriasis. *J Eur Acad Dermatol Venereol* 2015 ; 29 (6) : 1148-1155.

- 8) Umezawa Y¹⁾, Hayashi M¹⁾, Kikuchi S¹⁾, Fukuchi O¹⁾, Yanaba K¹⁾, Ito T¹⁾, Asahina A¹⁾, Saeki H, Nakagawa H¹⁾ (¹⁾ Department of Dermatology, The Jikei University School of Medicine) : Ustekinumab treatment in patients with psoriasis undergoing hemodialysis. *J Dermatol* 2015 ; 42 (7) : 731-734.
- 9) Okamura K¹⁾, Abe Y²⁾, Fukai K³⁾, Tsuruta D³⁾, Suga Y⁴⁾, Nakamura M⁵⁾, Funasaka Y, Oka M⁶⁾, Suzuki N⁷⁾, Wataya-Kaneda M⁸⁾, Seishima M⁹⁾, Hozumi Y²⁾, Kawaguchi M²⁾, Suzuki T²⁾ (¹⁾ Department of Dermatology, Yamagata University Faculty of Medicine, ²⁾ Department of Dermatology, Osaka City University Graduate School of Medicine, ³⁾ Department of Dermatology, Juntendo University Urayasu Hospital, ⁴⁾ Department of Dermatology, University of Occupational and Environmental Health, ⁵⁾ Division of Dermatology, Kobe University Graduate School of Medicine, ⁶⁾ Department of Dermatology, Toyohashi Municipal Hospital, ⁷⁾ Department of Dermatology, Osaka University Graduate School of Medicine, ⁸⁾ Department of Dermatology, Gifu University Graduate School of Medicine) : Mutation analyses of patients with dyschromatosis symmetrica hereditaria : Ten novel mutations of the ADAR1 gene. *J Dermatol Sci* 2015 ; 79 (1) : 88-90.
- 10) Kinoshita Y, Mayumi N, Igarashi T¹⁾, Inaba M, Katagiri I²⁾, Kawana S (¹⁾ Department of Pediatrics, Nippon Medical School, ²⁾ Department of dermatology, Dokkyo Medical University, Koshigaya Hospital) : Elevated levels of antibodies against phosphatidylserine/prothrombin complex and/or cardiolipin associated with infection and recurrent purpura in a child : a forme fruste of antiphospholipid syndrome?. *Dermatol Online J* 2015 ; 21 (7) .
- 11) Yanaba K¹⁾, Umezawa Y¹⁾, Sakakihara R¹⁾, Chiba M¹⁾, Asahina A¹⁾, Saeki H¹⁾, Nakagawa H (¹⁾ Department of Dermatology, The Jikei University School of Medicine) : Infliximab and adalimumab, unlike ustekinumab, increase serum KL-6 levels in Japanese patients with psoriasis. *J Dermatol* 2015 ; 42 (8) : 828-829.
- 12) Saeki H, Ito T¹⁾, Hayashi M¹⁾, Fukuchi O¹⁾, Umezawa Y¹⁾, Nobeyama Y¹⁾, Teruya K²⁾, Nakagawa H¹⁾ (¹⁾ Department of Dermatology, The Jikei University School of Medicine, ²⁾ AIDS Clinical Center, National Center for Global Health) : Teruya K, Nakagawa H : Successful treatment of ustekinumab in a severe psoriasis patient with human immunodeficiency virus infection. *J Eur Acad dermatol Venereol* 2015 ; 29 (8) : 1653-1655.
- 13) Murota H¹⁾, Takeuchi S²⁾, Sugaya M³⁾, Tanioka M⁴⁾, Onozuka D⁵⁾, Hagihara A⁵⁾, Saeki H, Imafuku S⁶⁾, Abe M⁷⁾, Shintani Y⁸⁾, Kaneko S⁹⁾, Masuda K¹⁰⁾, et al. (¹⁾ Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, ²⁾ Department of Dermatology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations, Hamanomachi Hospital, ³⁾ Department of Dermatology, Faculty of Medicine, University of Tokyo, ⁴⁾ Kyoto, ⁵⁾ Department of Health Care Administration and Management, Kyushu University Graduate School of Medical Sciences, ⁶⁾ Department of Dermatology, Faculty of Medicine, Fukuoka University, ⁷⁾ Sapporo, ⁸⁾ Department of Geriatric and Environmental Dermatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, ⁹⁾ Department of Dermatology, Shimane University Faculty of Medicine, ¹⁰⁾ and others) : Characterization of socioeconomic status of Japanese patients with atopic dermatitis showing poor medical adherence and reasons for drug discontinuation. *J Dermatol Sci* 2015 ; 79 (3) : 279-287.
- 14) Shinohara R, Ansai S, Ogita A, Matsuda H, Saeki H, Tanaka M¹⁾ (¹⁾ Department of Dermatology, Tokyo Womens Medical University, School of Medicine) : Dermoscopic findings of microcystic adnexal carcinoma. *Eur J Dermatol* 2015 ; 25 (5) : 516-518.
- 15) Ozaki S, Funasaka Y, Tsuruta K, Kubota T, Matayoshi T, Ueno T, Saeki H : Extranodal natural killer/T-cell lymphoma, nasal type, presenting with altered CD56 expression : A case report. *J Dermatol* 2015 ; 42 (10) : 1022-1023.
- 16) Yamashita H, Ansai S, Ueno T, Osada S, Kawana S, Koga H¹⁾, Ishii N¹⁾, Hashimoto T¹⁾ (¹⁾ Department of Dermatology, Kurume University School of Medicine) : Bullous pemphigoid with IgG autoantibodies to BP180C-terminal domain and desmocollin 3 associated with transverse colon cancer. *Eur J Dermatol* 2015 ; 25 (5) : 515-516.
- 17) Nishioka M¹⁾, Kunisada M¹⁾, Fujiwara N¹⁾, Oka M¹⁾, Funasaka Y, Nishigori C¹⁾ (¹⁾ Department of Dermatology, Kobe University, Graduate School of Medicine) : Multipleapocrine poromas : a new case report. *J Citan Pathol* 2015 ; 42 (11) : 894-896.
- 18) Fukumoto H, Sato Y¹⁾, Hasegawa H¹⁾, Saeki H, Katano H¹⁾ (¹⁾ Department of Pathology, National Institute of Infectious Diseases) : Development of a new real-time PCR system for simultaneous detection of bacteria and fungi in pathological samples. *Int J Clin Exp Pathol* 2015 ; 8 (11) : 15479-15488.
- 19) Matsuoka Y, Ansai S, Ogita A, Shinohara R, Nako T, Matsuda H, Tanaka M¹⁾ (¹⁾ Department of Dermatology, Tokyo Womens Medical University, School of Medicine) : Case of basosquamous carcinoma : Dermoscopic and immunohistochemical findings. *J Dermatol* 2015 ; 42 (11) : 1102-1103.
- 20) Saeki H : THE Brief Commentary on Guidelines for the Management of Atopic Dermatitis 2015. *Arerugi* 2015 ; 64 (10) : 1306-1312.
- 21) Ogita A, Funasaka Y, Ansai S, Kawana S, Saeki H : Melasma in a Male patient due to Estrogen Therapy for prostate Cancer.

- Ann Dermatol 2015 ; 27 (6) : 763-764.
- 22) Ansai S, Ogita A, Matsuda H, Saeki H, Tanaka M¹⁾ (1) Department of Dermatology, Tokyo Womens Medical University Medical Center East) : Collision of basal cell carcinoma and melanocytic nevus with unique dermoscopic findings. J Dermatol 2015.
- 23) Kikuchi S¹⁾, Umezawa Y¹⁾, Hayashi M¹⁾, Yanaba K¹⁾, Fukuchi O¹⁾, Ito T¹⁾, Asahina A¹⁾, Saeki H, Nakagawa H (1) Department of Dermatology, The Jikei University School of Medicine) : Interstitial pneumonia in two patients with psoriasis during ustekinumab treatment. J Dermatol 2015.
- 24) Matsuda H, Ogita A, Ansai S, Saeki H : Case of siringomatous carcinoma with unique clinical presentation. J Dermatol 2015.
- 25) Yanaba K¹⁾, Sadaoka A²⁾, Yonenaga T²⁾, Saeki H, Umezawa Y¹⁾, Tojo S²⁾, Kikuchi S¹⁾, Fukuda K²⁾, Nakagawa H¹⁾ (1) Department of Dermatology, The Jikei University School of Medicine, 2) Department of Radiology, The Jikei University School of Medicine) : Adalimumab markedly improves enthesitis in patients with psoriatic arthritis : Evaluation with a magnetic resonance imaging scoring system. J Dermatol 2015 ; 42 (12) : 1153-1159.
- 26) Takayama R, Ueno T, Hutagami A, Ansai S, Fukumoto T¹⁾, Saeki H (1) Sapporo Institute for Dermatopathology) : Hobnail hemangioma : A case report. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (3) : 151-155.
- 27) Tsunemi Y¹⁾, Abe S²⁾, Kobayashi M³⁾, Kitami Y⁴⁾, Onozuka D⁵⁾, Hagihara A⁵⁾, Takeuchi S⁶⁾, Murota H⁷⁾, Sugaya M⁸⁾, Masuda K⁹⁾, Hiragun T¹⁰⁾, Saeki H, et al. (1) Department of Dermatology, Tokyo Women's Medical University, 2) Department of Dermatology, Kanazawa Medical University, 3) Department of Dermatology, University of Occupational and Environmental Health, 4) Department of Dermatology, Showa University School of Medicine, 5) Department of Health Communication, Kyushu University Graduate School of Medical Sciences, 6) Department of Dermatology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations, Hamanomachi Hospital, 7) Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, Osaka University, 8) Department of Dermatology, Faculty of Medicine, University of Tokyo, 9) Department of Dermatology, Kyoto Prefectural University of Medicine, 10) and others) : Adherence to oral and topical medication in 445 patients with tinea pedis as assessed by the Morisky Medication Adherence Scale-8. Eur J Dermatol 2015 ; 25 (6) : 570-577.
- 28) Kaneko S¹⁾, Masuda K²⁾, Hiragun T³⁾, Inomata N⁴⁾, Furue M⁵⁾, Onozuka D⁶⁾, Takeuchi S⁷⁾, Murota H⁸⁾, Sugaya M⁹⁾, Saeki H, Shintani Y¹⁰⁾, et al. (1) Department of Dermatology, Shimane University Faculty of Medicine, 2) Department of Dermatology, Kyoto Prefectural University of Medicine Graduate School of Medical Science, 3) Department of Dermatology, Integrated Health Sciences, Institute of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University, 4) Department of Environmental Immuno-Dermatology, Yokohama City University Graduate School of Medicine, 5) Department of Dermatology, Kyushu University Graduate School of Medical Sciences, 6) Department of Health Care Administration and Management, Kyushu University Graduate School of Medical Sciences, 7) Department of Dermatology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations, Hamanomachi Hospital, 8) Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, Osaka University, 9) Department of Dermatology, Faculty of Medicine, University of Tokyo, 10) and others) : Transient improvement of urticaria induces poor adherence as assessed by Morisky Medication Adherence Scale-8. J Dermatol 2015 ; 42 (12) : 1153-1159.
- 29) 伊藤明子¹⁾, 青山裕美²⁾, 鈴木加余子³⁾, 鈴木民夫⁴⁾, 種村 篤⁵⁾, 錦織千佳子⁶⁾, 伊藤雅章⁷⁾, 片山一朗⁵⁾, 伊藤洋輔⁸⁾, 大磯直毅⁹⁾, 深井和吉¹⁰⁾, 船坂陽子, et al. (1) 新潟大学皮膚科, 2) 川崎医科大学皮膚科, 3) 刈谷豊田総合病院皮膚科, 4) 山形大学皮膚科学講座, 5) 大阪大学皮膚科学講座, 6) 神戸大学皮膚科学分野, 7) 新潟大学細胞機能講座, 8) 藤田保健衛生大学医療科学部, 9) 近畿大学皮膚科学教室, 10) その他) : 8. 日本皮膚科学会 ロドデノール含有化粧品に関する特別委員会. 日皮会誌 2015 ; 125 (13) : 2401-2414.
- 30) Оми Т, Нумано К : использование CO2- лазерных технологий в дерматологии. Аппаратная косметология 2015 ; (1) : 76-89.
- 31) Hayashi M¹⁾, Yanaba K¹⁾, Umezawa Y¹⁾, Yoshihara Y¹⁾, Kikuchi S¹⁾, Ishiui Y¹⁾, Saeki H, Nakagawa H¹⁾ (1) Department of Dermatology, The Jikei University School of Medicine) : IL-10-producing regulatory B cells are decreased in patients with psoriasis. J Dermatol Sci 2016 ; 81 (2) : 93-100.
- 32) Kanzaki A, Kudo M¹⁾, Ansai S, Peng W¹⁾, Ishino K¹⁾, Yamamoto T²⁾, Wada R¹⁾, Fujii T¹⁾, Teduka K¹⁾, Kawahara K¹⁾, Kawamoto Y¹⁾, Kitamura T¹⁾, Kawana S, Saeki H, Naito Z¹⁾ (1) Department of Integrated Diagnostic Pathology, Nippon Medical School, 2) Faculty of Pharmacy, Kinki University) : Insulin-like growth factor 2 mRNA-binding protein-3 as a marker for distinguishing between cutaneous squamous cell carcinoma and keratoacanthoma. Int J Oncol 2016 ; 48 (3) : 1007-1015.
- 33) Takahashi N¹⁾, Hirabayashi M¹⁾, Hoashi T (1) Department of Dermatology, Sanraku Hospital) : Double extramammary Paget Disease of both the umbilicus and scrotum. Dermatol Surg 2016 ; 42 (3) : 436-438.
- 34) 藤井ひかり¹⁾, 久保正英¹⁾, 帆足俊彦 (1) JCHO 東京新宿メディカルセンター皮膚科) : 腹直筋前鞘まで切除した腹部隆起性皮膚線維肉腫の1例. 皮臨 2015 ; 57 (4) : 432-435.

- 35) 朝山祥子：皮膚科学から考えるスキンケア。皮膚と美容 2015；47（1）：15-18.
- 36) 朝山祥子：スキンケア - 予防から治療まで - . 日本美容皮膚研究会雑誌 2015；8（1）：6-10.
- 37) 大塚流音, 船坂陽子, 川原崎麻以, 田村奈渚, 山下裕子, 佐伯秀久：強い眼症状を伴ったStevevs-Johnson 症候群の1例. 皮膚 2015；57（5）：520-525.
- 38) 鶴田恭子, 船坂陽子, 金子朋広¹⁾, 鶴岡秀一¹⁾, 清水 章²⁾, 川名誠司, 佐伯秀久（¹⁾ 付属病院腎臓内科, ²⁾ 日本医科大学大学院解析人体病理学）：膜性増殖性糸球体腎炎を呈したII型クリオグロブリン血症性血管炎の2例. 皮膚 2015；57（8）：1249-1253.
- 39) 山下純史¹⁾, 池田哲哉¹⁾, 坂口正展¹⁾, 岡 昌宏¹⁾, 船坂陽子, 錦織千佳子¹⁾（¹⁾ 神戸大学大学院医学研究科内科系講座皮膚科学教室）：Henoch-Schönlein 紫斑病の経過中に肺塞栓を合併した1例. 皮膚 2015；57（8）：1241-1244.
- 40) 忍田陽香¹⁾, 片山宏賢²⁾, 佐伯秀久, 本田まりこ³⁾（¹⁾ 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター, ²⁾ 相模大野市, ³⁾ 横浜市）：アダリムマブ投与中の尋常性乾癬患者に出現した薬剤性誘発性ループスの1例. 皮膚 2015；69（9）：638-642.
- 41) 佐伯秀久：アトピー性皮膚炎に関する最新の病態－皮膚バリア機能異常を中心に. アレルギーの臨床 2015；35（10）：926.
- 42) 尾見徳弥：皮膚科における“ガイドラインによらない”ざ瘡の治療. 皮膚と美容 2015；47（3）：85-89.
- 43) 白川典子, 上野 孝, 本木智輝, 安齋眞一, 川名誠司, 佐伯秀久：Primary Mucinous Carcinoma of the skin の1例. 皮膚 2015；57（11）：1806-1807.
- 44) 清水 愛, 高山良子, 上野 孝, 安齋眞一, 福本隆也¹⁾, 船坂陽子, 佐伯秀久（¹⁾ 札幌皮膚病理診断科）：右前腕に生じた筋線維腫の1例. 皮膚 2015；57（12）：1866-1869.
- 45) 朝山祥子：美容皮膚科医療の最前線. 日本美容皮膚研究会雑誌 2015；8（2）：7-11.
- 46) 市山 進, 上野 孝, 高山良子, 稲葉基之, 秋山美知子, 藤本和久, 安齋眞一, 船坂陽子, 佐伯秀久：Sclerotic fibroma of the skin の2例. 皮膚 2016；70（1）：47-50.
- 47) 白川典子, 船坂陽子, 菊地伊豆実, 大塚流音, 橋本 隆¹⁾, 川名誠司, 佐伯秀久（¹⁾ 久留米大学皮膚科）：原発性マクログロブリン血症に合併した腫瘍随伴性天疱瘡の1例. 皮膚 2016；58（1）：9-13.
- (2) 総説：
- 1) 船坂陽子：顔面のシミの病態と鑑別診断. ラジオ NIKKEI マルホ皮膚科セミナー 2015；236：23-27.
- 2) 荻田あづさ, 安齋眞一：IgA 血管炎 (Henoch-Schonlein 紫斑病), 結節性紅斑. 小児皮膚科 2015；78（11）：1489-1491.
- 3) 帆足俊彦：耳鼻咽喉科&皮膚科の手術ナビ. オペナーシング 2016；31（1）：7-12.
- 4) 藤本和久：大学病院皮膚科のアレルギー外来における検査と対応. 東京都医師会雑誌 2016；69（1）：17-25.
- 5) 加藤則人¹⁾, 佐伯秀久, 中原剛士²⁾, 田中暁生³⁾, 梶島健治⁴⁾, 菅谷 誠⁵⁾, 室田浩之⁶⁾, 海老原全⁷⁾, 片岡葉子⁸⁾, 相原道子⁹⁾, 江藤隆史¹⁰⁾（¹⁾ 京都府立医科大学皮膚科学, ²⁾ 九州大学体表感知学講座, ³⁾ 広島大学皮膚科学, ⁴⁾ 京都大学皮膚生命科学講座, ⁵⁾ 東京大学皮膚科学, ⁶⁾ 大阪大学皮膚科学教室, ⁷⁾ 慶應義塾大学皮膚科, ⁸⁾ 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科, ⁹⁾ 横浜市立皮膚科学, ¹⁰⁾ その他）：アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2016年版. 日皮会誌 2016；126（2）：121-155.
- 6) 船坂陽子：肝斑の病態と鑑別疾患 - シミ・肝斑治療マニュアル. PEPARS 2016；110：13-17.
- (3) 解説：
- 1) 佐伯秀久：アトピー性皮膚炎の克服－よくわかる最新動向：ステロイド外用薬・タクロリムス軟膏効果的な使い方. 小児科 2015；56（7）：929-936.
- 2) 江畑俊哉¹⁾, 石氏陽三²⁾, 佐伯秀久¹⁾, 中川秀己（¹⁾ 東京慈恵会医科大学皮膚科学講座, ²⁾ 世田谷区）：5D itch scale 日本語版の作成. 日皮会誌 2015；125（5）：1035-1040.
- 3) 佐伯秀久：アレルギー疾患と依存症：アトピー性皮膚炎. アレルギー 2015；43：23-25.
- 4) 帆足俊彦¹⁾：小児皮膚アトラス 陰茎縫線維嚢腫：小児を診る！皮膚科医の心得. 皮膚 2015；57（6）：832-833.
- 5) 帆足俊彦¹⁾, 大原國章：小児皮膚アトラス 気管支原性膿疱・鱗性膿疱：小児を診る！皮膚科医の心得. 皮膚 2015；57（6）：830-831.
- 6) 帆足俊彦¹⁾：小児皮膚アトラス 副耳：小児を診る！皮膚科医の心得. 皮膚 2015；57（6）：828-829.
- 7) 帆足俊彦¹⁾：小児皮膚アトラス 先天性皮膚欠損症：小児を診る！皮膚科医の心得. 皮膚 2015；57（6）：824-826.
- 8) 船坂陽子：サンスクリーン剤による紫外線防御の有用性. 日本化粧品学会雑誌 2015；39（臨時増刊）：86-87.
- 9) 佐伯秀久：アレルギー用語解説シリーズ：ケモカインレセプター. アレルギー 2015；64（8）：1178-1179.
- 10) 佐伯秀久：皮膚は内臓の鏡. 皮膚病診療 2015；37（9）：914.
- 11) 船坂陽子：紫外線とがん. 成人病と生活習慣病 2015；45（10）：1211-1214.
- 12) 佐伯秀久：疾患レビュー：アトピー性皮膚炎. Suzuken Medical 2015；18（6）：4-6.
- 13) 佐伯秀久：疾患 SUMMARY：アトピー性皮膚炎. Suzuken Medical 2015；18（5）：6.
- 14) 佐伯秀久：ガイドラインのワンポイント解説：アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2015：薬物療法のポイント. アレルギー 2015；64（10）：1306-1312.

- 15) 佐伯秀久：アトピー性皮膚炎 Update：診断・治療：アトピー性皮膚炎のガイドライン．医学のあゆみ 2016；43 (8)：1178-48.
- 16) 佐伯秀久：季節性アレルギー性鼻炎と周辺疾患：皮膚症状へのアプローチ．アレルギー・免疫 2016；23 (1)：86-90.

(4) 症例報告：

- 1) Ichiyama S, Funasaka Y, Otsuka Y, Takayama R, Kawana S, Saeki H, Kubo A¹⁾ (1) Department of Dermatology, Keio University School of Medicine)：Effective treatment by glycolic acid peeling for cutaneous manifestation of familial generalized acanthosis nigricans caused by FGFR3 mutation. J Eur Acad Dermatol Venereol 2016；30 (3)：442-445.
- 2) 新井悠江：右大腿に生じた glomus tumor の 1 例．日皮会誌 2015；125 (5)：1056.
- 3) 鶴田恭子, 船坂陽子, 藤本和久, 高山良子, 酒巻雅典¹⁾, 川名誠司 (1) 付属病院腎臓内科)：末梢神経症状に対し免疫グロブリン大量静注療法が有効であった Eosinophilic Granulomatosis with Polyangitis (Churg-Strauss) の 1 例．皮臨 2015；57 (8)：1274-1278.
- 4) 江崎英子, 上野 孝, 稲葉基之, 船坂陽子, 伊藤保彦¹⁾, 川名誠司 (1) 付属病院小児科)：外科的切除と水酸化アルミニウム治療が有効であった若年性皮膚筋炎の石灰沈着病変．皮膚臨床 2015；57 (9)：1435-1438.
- 5) 井川徹也, 伊藤路子, 大塚洋平, 久保田智樹, 小坂素子, 上野 孝, 船坂陽子, 川名誠司：関節リウマチへのトシリズマブ投与後に出現した持久性隆起性紅斑の 1 例．皮膚臨床 2015；57 (12)：1899-1903.

著 書

- 1) 尾見徳弥, 沼野香世子：〔共著〕セルライト．皮膚科医のための臨床トピックス．最近のトピックス 2015．臨床皮膚科, 2015；pp148-150, 医学書院.
- 2) 佐伯秀久：〔分担〕アレルギー疾患：アトピー性皮膚炎．移行期医療 (田原卓宏), 2015；pp65-72, 中山書店.
- 3) 尾見徳弥：〔分担〕機能化粧品にはどのようなものがありますか？．コスメマイスター スキンケアマイスター．検定試験参考図書．一般社団法人日本コスメティック協会 (川島眞, 宮地良樹), 2015；pp132-133, メディカルレビュー社.
- 4) 尾見徳弥：〔分担〕メイクアップ化粧品にはどのようなものがありますか？役割についても教えてください．コスメマイスター スキンケアマイスター．検定試験参考図書．一般社団法人日本コスメティック協会 (川島眞, 宮地良樹), 2015；pp136-137, メディカルレビュー社.
- 5) 尾見徳弥, 朝山祥子：〔分担〕むだ毛の処理ってどれがいいの？．コスメマイスター スキンケアマイスター．検定試験参考図書．一般社団法人日本コスメティック協会 (川島眞, 宮地良樹), 2015；pp144-145, メディカルレビュー社.
- 6) 朝山祥子, 尾見徳弥：〔分担〕クレンジングと洗顔方法について教えてください．また, 洗顔後のスキンケアのポイントはなんですか？．コスメマイスター スキンケアマイスター．検定試験参考図書．一般社団法人日本コスメティック協会 (川島眞, 宮地良樹), 2015；pp90-91, メディカルレビュー社.
- 7) 朝山祥子, 尾見徳弥：〔分担〕ネイルケアの方法について教えてください．また, 正しいネイルケアがなされなかったときに起こる病気は何ですか？．コスメマイスター スキンケアマイスター．検定試験参考図書．一般社団法人日本コスメティック協会 (川島眞, 宮地良樹), 2015；pp92-93, メディカルレビュー社.
- 8) 船坂陽子, 錦織千佳子¹⁾ (1) 神戸大学皮膚科)：〔分担〕メラノサイトの機能制御と美白．色素細胞-基礎から臨床へー第 2 版 (伊藤洋輔・柴原茂樹・錦織千佳子), 2015；pp249-251, 慶應義塾大学出版会.
- 9) 船坂陽子：〔分担〕ヒトメラノサイトの tyrosinase 活性抑制．化粧品技術者のための素材開発実験プロトコール (正木 仁・岩淵徳郎・平尾哲二), 2015；pp84-86, シーエムシー出版社.
- 10) 新村真人¹⁾, 佐伯秀久 (1) 中央区)：〔分担〕皮膚疾患とその診療：皮膚 眼．成人看護学 (新村真人), 2015；pp11-113, メジカルフレンド社.
- 11) 川崎裕史, 藤本和久, 川名誠司：〔分担〕Cogan 症候群．免疫症候群 (第 2 版) (I)：別冊 日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.34 (宮坂信之), 2015；pp809-812, 日本臨牀社.
- 12) 佐伯秀久：〔分担〕アトピー性皮膚炎の増悪と鑑別が難しい酒さ様皮膚炎．アトピー性皮膚炎治療のためのステロイド外用薬パーフェクトブック (塩原哲夫), 2015；pp155-160, 南山堂.
- 13) 佐伯秀久：〔分担〕皮膚痒痒症．今日の治療指針 (山口 徹), 2016；pp1238-1239, 医学書院.
- 14) 佐伯秀久：〔分担〕免疫調整薬：タクロリムスによる発がんのリスクは？．皮膚科頻用薬のコツと落とし穴 (宮地良樹), 2016；pp57-59, 文光堂.
- 15) 佐伯秀久：〔分担〕免疫調整薬：痒みに直接奏効するのか？．皮膚科頻用薬のコツと落とし穴 (宮地良樹), 2016；pp60-62, 文光堂.
- 16) 佐伯秀久：〔分担〕アトピー性皮膚炎．診療ガイドライン UP-TO DATE (門脇 孝他), 2016；pp19-24, メディカルレビュー社.
- 17) 船坂陽子：〔分担〕光老化．光と生命の事典 (真嶋哲朗・飯野盛利・七田芳則・藤堂 剛), 2016；pp320-321, 朝倉出版.
- 18) 尾見徳弥：〔分担〕美容皮膚科．皮膚疾患ベスト治療 (宮地良樹), 2016；pp275-278, 学研メディカル秀潤社.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 船坂陽子：色素斑の治療 update. 城北地区皮膚科懇話会（第12回）（東京），2015. 4.
- 2) 佐伯秀久：アトピー性皮膚炎診療ガイドライン. 日本アレルギー学会総合アレルギー講習会（第2回）（横浜），2015. 12.

(2) 招待講演：

- 1) 船坂陽子：メラニンをめぐる最近の話題. 藤田保健衛生大学医学部皮膚科セミナー（名古屋），2016. 2.
- 2) 船坂陽子：悪性黒色腫の分子標的治療. 駄木感染免疫アレルギー研究会（第26回）（東京），2016. 3.

(3) 教育講演：

- 1) Asayama S, Funasaka Y：Laser treatment for melasma：update. IMCAS Asia2016 (Bali, Indonesia), 2015. 7.
- 2) Funasaka Y：Whitening agents：basics and therapeutics. IMCAS ASIA 2016 (Bali, Indonesia), 2015. 7.
- 3) 赤須玲子¹⁾, 浅井 純²⁾, 阿南 隆³⁾, 安齋眞一, 石河 晃⁴⁾, 大迫順子⁵⁾, 清原隆宏⁶⁾, 清島真理子⁷⁾, 高井利宏⁸⁾, 田中 勝⁹⁾, 土田 哲也¹⁰⁾, 福本隆也³⁾, 二神綾子, その他5名（¹⁾ 東京都, ²⁾ 京都府立医大, ³⁾ 札幌皮膚病理解断科, ⁴⁾ 東邦大, ⁵⁾ 大阪市大, ⁶⁾ 関西医大滝井, ⁷⁾ 岐阜大, ⁸⁾ 兵庫県立がんセンター, ⁹⁾ 東京女子医大東, ¹⁰⁾ その他）：実践！皮膚病理道場. 日皮会総会（第114回）（横浜），2015. 5.

(4) シンポジウム：

- 1) Omi T：Fractional therapy：what's the best indication?. IMCAS ASIA (BALI), 2015. 7.
- 2) Omi T：Laser therapy for pigmented lesions：a histological point of view. IMCAS ASIA (BALI), 2015. 8.
- 3) Omi T：Laser therapy for pigmented lesions -Japanese skin. IMCAS 18th Annual World Congress (PARIS), 2016. 1.
- 4) 尾崎紗恵子, 船坂陽子, 川名誠司, 佐伯秀久：Enhancement of UVB-induced apoptosis and elimination of DNA damages by pre-irradiation of IRA does not depend on the repair of DNA damages. 日本研究皮膚科学会学術大会（第40回）（岡山），2015. 12.
- 5) 船坂陽子：顔面のしみ－発症機序と鑑別. 日皮会東京・東部支部合同学術大会（第79回）（東京），2016. 2.

(5) パネルディスカッション：

- 1) 佐伯秀久：アトピー性皮膚炎患者の外用療法. 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会（第45回）（島根県），2015. 11.

(6) セミナー：

- 1) 船坂陽子：フラクショナルレーザー治療による skin rejuvenation. 日皮会総会（第114回）（横浜），2015. 5.
- 2) 尾見徳弥：ニキビの治療：新しく発売されるBPOとは. 第8回エステティックダーマトロジー教育セミナー（東京），2015. 5.
- 3) 佐伯秀久：新たな乾癬治療－クリアスキンを目指した治療戦略. 日本乾癬学会学術大会（第30回）（名古屋），2015. 9.
- 4) 佐伯秀久：皮膚バリア障害から考えるアトピー性皮膚炎－改訂ガイドラインの概説を含めて. 日皮会中部支部学術大会（第66回）（神戸），2015. 10.
- 5) 佐伯秀久：アトピー性皮膚炎の治療：臨床から－改訂ガイドラインの内容を含めて. 日皮会中部支部学術大会（第66回）（神戸），2015. 10.
- 6) 尾見徳弥：脱毛の理論と実践：安全な脱毛を行うために. 第9回エステティックダーマトロジー教育セミナー（東京），2015. 11.
- 7) 尾見徳弥：脱毛の理論と実践：安全な脱毛を行うために. 第9回エステティックダーマトロジー教育セミナー（東京），2015. 12.
- 8) 佐伯秀久：乾癬の新しい病態と治療－関節症性乾癬のMRI画像所見を含めて. 日皮会島根地方会（第26回）（出雲），2016. 2.

(7) ワークショップ：

- 1) 船坂陽子, 佐伯秀久：フルエンスQスイッチNd：YAGレーザーによる pigment incontinentia の治療. 日本レーザー医学会総会（第36回）（栃木県），2015. 10.

(8) ポスター：

- 1) 江畑俊哉¹⁾, 石氏陽三¹⁾, 佐伯秀久, 中川秀己¹⁾（¹⁾ 東京慈恵会医科大学皮膚科学講座）：5D Itch Scale 日本語版の作成とアトピー性皮膚炎患者におけるかゆみ評価の試み（アレルギー・色素異常）. 日皮会総会（第114回）（横浜），2015. 5.
- 2) 市山 進, 船坂陽子, 大塚洋平, 高山良子, 川名誠司, 佐伯秀久, 久保亮治¹⁾（¹⁾ 慶應義塾大学病院皮膚科）：ケミカルピーリングにより皮膚症状が改善したFGFR3変異による家族性全身性黒色表皮腫の母娘例. 日皮会総会（第114回）（横浜），2015. 5.
- 3) 尾崎紗恵子, 船坂陽子, 大塚洋平, 伊藤路子, 長田眞一¹⁾, 上野 孝, 岡村 賢²⁾, 穂積 豊²⁾, 鈴木民夫²⁾, 佐伯秀久（¹⁾ 秋田大学大学院医学系研究科皮膚科学・形成外科講座, ²⁾ 山形大学医学部皮膚科学講座）：有色素性悪性黒色腫を生じた眼皮膚白皮症4型. 日皮会総会（第114回）（横浜），2015. 5.
- 4) 神崎亜希子, 安齋眞一, 上野 孝, 川名誠司, 佐伯秀久：肺及びリンパ節転移にCA療法を施行した巨大基底細胞癌の1例. 日皮会総会（第114回）（横浜），2015. 5.
- 5) 福本 瞳, 李 天成¹⁾, 長谷川秀樹²⁾, 脇田隆字¹⁾, 佐伯秀久, 鈴木哲朗³⁾, 片野晴隆²⁾（¹⁾ 国立感染症研究所ウイルス2部, ²⁾ 国立感染症研究所感染病理部, ³⁾ 浜松医科大学医学部医学科感染症学講座ウイルス学・寄生虫学分野）：日本における Trichodysplasia-spinulosa associated polyomavirus の血清抗体保有率. 日皮会総会（第114回）（横浜），2015. 5.

(9) 一般講演：

- 1) Asayama S : Photodynamic therapy for acne and rosacea. IMCAS Asia2016 (Bali, Indonesia), 2015. 7.
- 2) Asayama S : Scar treatment by fractional lasers. IMCAS Asia2016 (Bali, Indonesia), 2015. 7.
- 3) Hoashi T, Hirabayashi M¹⁾, Takahashi N¹⁾, Nakajima R¹⁾, Saeki H (¹⁾ Department of Dermatology, Sanraku Hospital) : Attempts of dermatologic surgery in the urban medium-sized hospital. East Asian Dermatologic Surgery Meeting in Seoul (3rd) (ソウル), 2015. 10.
- 4) 嵩 夕輝¹⁾, 富田あさひ¹⁾, 久保正英¹⁾, 矢部裕一郎²⁾, 帆足俊彦 (¹⁾ JCHO 東京新宿メディカルセンター皮膚科, ²⁾ 同リウマチ科) : リウマトイド結節が診断の端緒となった関節リウマチの1例. 日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 (第31回) (網走市), 2015. 6.
- 5) 帆足俊彦, 平林 恵¹⁾, 高橋菜穂美¹⁾, 中島理奈¹⁾, 佐伯秀久 (¹⁾ 三楽病院皮膚科) : 都心の中規模病院における皮膚外科手術の工夫. 日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 (第31回) (網走市), 2015. 6.
- 6) 嵩 夕輝¹⁾, 富田あさひ¹⁾, 久保正英¹⁾, 帆足俊彦 (¹⁾ JCHO 東京新宿メディカルセンター皮膚科) : 有棘細胞癌との鑑別を要した外陰部基底細胞癌の1例. 日本皮膚悪性腫瘍学会総会・学術大会 (第31回) (大阪), 2015. 7.
- 7) 岡崎 静, 船坂陽子, 川名誠司, 佐伯秀久 : Enhancement of UVB-induced apoptosis and elimination of DNA damages by pre-irradiation of IRA does not depend on the repair of DNA damages. 日本研究皮膚科学会学術大会 (第40回) (岡山県), 2015. 12.
- 8) 奈古利恵, 秋山美知子, 福永景子¹⁾, 川名誠司, 船坂陽子, 佐伯秀久 (¹⁾ 付属病院血液内科) : 成人 T 細胞白血病の1例. 日皮会東京地方会 (第860回) (東京), 2015. 4.
- 9) 新井悠江, 秋山美知子, 市山 進, 船坂陽子, 佐伯秀久 : 両下腿の紫斑を治療中に足背に Flegel 病を認めた1例. 日皮会東京地方会 (第860回) (東京), 2015. 4.
- 10) 田中真百合, 鶴田恭子, 船坂陽子, 佐伯秀久 : リウマチ性脈管内組織球症の1例. 日皮会東京地方会 (第860回) (東京), 2015. 4.
- 11) 新井悠江, 秋山美知子, 市山 進, 船坂陽子, 佐伯秀久 : 家族内発症を伴う HLP の1例. 日皮会東京地方会 (第860回) (東京), 2015. 4.
- 12) 江畑俊哉¹⁾, 石氏陽三¹⁾, 佐伯秀久, 中川秀己¹⁾ (¹⁾ 東京慈恵会医科大学皮膚科学講座) : 5D Itch Scale 日本語版の作成とアトピー性皮膚炎患者におけるかゆみ評価の試み (アレルギー・色素異常). 日皮会総会 (第114回) (横浜), 2015. 5.
- 13) 秋山美知子, 船坂陽子, 清水 愛, 神崎亜希子, 佐伯秀久 : ダーモスコピー所見が診断に役立った多発 BCC の1例. 皮膚かたち研究学会学術大会 (第42回) (東京), 2015. 6.
- 14) 中島里奈¹⁾, 帆足俊彦 (¹⁾ 三楽病院皮膚科) : Sweet 病の2例. 日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 (第31回) (網走市), 2015. 6.
- 15) 荻田あづさ, 安齋眞一, 三砂範幸¹⁾, 阿南 隆²⁾, 福本隆也²⁾, 木村鉄宣²⁾, 佐伯秀久 (¹⁾ 佐賀大学皮膚科学講座, ²⁾ 札幌皮膚病理診断科) : Histopathological diagnoses of epithelial crateriform tumors. 日本病理組織学会 (第31回) (東京), 2015. 6.
- 16) 高山良子, 上野 孝, 二神綾子, 船坂陽子, 安齋眞一, 福本隆也¹⁾, 廣瀬隆則²⁾, 佐伯秀久 (¹⁾ 札幌皮膚診断科, ²⁾ 神戸大学病理学) : 右下腿の皮下結節. 日本皮膚病理組織学会 (第31回) (東京), 2015. 6.
- 17) 帆足俊彦, 平林 恵¹⁾, 高橋奈穂美¹⁾, 田中隆光²⁾, 福安厚子²⁾, 渡辺晋一²⁾, 菊池かな子³⁾, 佐伯秀久 (¹⁾ 三楽病院皮膚科, ²⁾ 帝京大学皮膚科, ³⁾ 三井記念病院皮膚科) : 後頭部 DFSP の1例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (第31回) (大阪), 2015. 7.
- 18) 三神絵里奈, 神崎亜希子, 安齋眞一, 大山聡美, 二神綾子, 帆足俊彦, 伊藤慶悟¹⁾, 佐伯秀久 (¹⁾ 東京慈恵会医科大学皮膚科学講座) : Spitz 母斑と悪性黒色腫の鑑別に苦慮した右第5足趾色素斑の1例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (第31回) (大阪), 2015. 7.
- 19) 尾崎紗恵子, 船坂陽子, 新井悠江, 清水 愛, 川原崎麻以, 神崎亜希子, 亦野蓉子, 秋山美知子, 二神綾子, 佐伯秀久 : 皮膚に毛孔一一致性丘疹を呈した濾胞性リンパ腫. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (第31回) (大阪), 2015. 7.
- 20) 松田秀則, 安齋眞一, 荻田あづさ, 佐伯秀久 : 手背に生じた汗管腫瘍の1例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (第31回) (大阪), 2015. 7.
- 21) 新井悠江, 神崎亜希子, 菅野仁士¹⁾, 佐伯秀久 (¹⁾ 付属病院消化器外科) : TS-1 によるエリテマトーデス型薬疹. 日皮会東京地方会・合同臨床地方会 (第861回) (東京), 2015. 7.
- 22) 岡崎 静, 船坂陽子, 木下雅登¹⁾, 岡本弓月¹⁾, 川名誠司, 佐伯秀久 (¹⁾ パナソニック株式会社アプライアンス社) : メラニン含有光老化マウスへの Intense Pulsed Light の繰り返し照射の効果. 日本美容皮膚科学会総会・学術大会 (第33回) (大阪), 2015. 7.
- 23) 猪狩直之¹⁾, 田辺雄次郎¹⁾, 山西慎吾¹⁾, 前田美保¹⁾, 船坂陽子, 伊藤保彦¹⁾ (¹⁾ 付属病院小児科) : 外来経過観察中に予防接種を実施したびまん性皮膚マストサイトーシスの1例. 日本皮膚科学会学術大会 (第39回) (鹿児島), 2015. 7.
- 24) 船坂陽子, 峰松尚子, 小田文乃, 武智貴之¹⁾, 土江久美子¹⁾, 小山撰司¹⁾, 森高直樹¹⁾, 佐伯秀久 (¹⁾ 株式会社ちふれ化粧品) : UVB 照射ケラチノサイトにおけるレスベラトロールの効果. 光老化研究会 (第16回) (神戸), 2015. 8.
- 25) 林 光葉¹⁾, 築場広一¹⁾, 梅澤慶紀¹⁾, 佐藤玲子¹⁾, 千葉美紀¹⁾, 伊藤寿啓¹⁾, 菊池荘太¹⁾, 福地 修¹⁾, 朝比奈昭彦¹⁾, 佐伯秀久, 中川

- 秀己¹⁾ (1) 東京慈恵会医科大学皮膚科)：乾癬患者における生物学的製剤投与による血清中 KL-6 値の上昇について。日本乾癬学会学術大会 (第 30 回) (名古屋), 2015. 9.
- 26) 林 玲華¹⁾, 築場広一¹⁾, 梅澤慶紀¹⁾, 菊池荘太¹⁾, 伊藤寿啓¹⁾, 貞岡亜加里²⁾, 福田国彦²⁾, 佐伯秀久, 中川秀己¹⁾ (1) 東京慈恵会医科大学皮膚科学講座, ²⁾ 東京慈恵会医科大学放射線学講座)：関節症乾癬に対するアダリムマブの有効性の評価, MRI スコアリングシステムを用いた検討。日本乾癬学会学術大会 (第 30 回) (名古屋), 2015. 9.
- 27) 菊池荘太¹⁾, 林 光葉¹⁾, 福地 修¹⁾, 伊藤寿啓¹⁾, 梅澤慶喜¹⁾, 朝比奈昭彦¹⁾, 佐伯秀久, 中川秀己¹⁾ (1) 東京慈恵会医科大学皮膚科)：ウステキスマブ投与中に間質性肺炎を生じた尋常性乾癬の 2 例。日本乾癬学会学術大会 (第 30 回) (名古屋), 2015. 9.
- 28) 秋山美知子, 上野 孝, 神崎亜希子, 桑名正隆¹⁾, 長尾元嗣²⁾, 佐伯秀久 (1) 付属病院アレルギー膠原病内科, ²⁾ 同糖尿病内分泌代謝内科)：橋本病と皮膚筋炎とシェーグレン症候群を合併した尋常性乾癬の 1 例。日本乾癬学会学術大会 (第 30 回) (名古屋), 2015. 9.
- 29) 佐伯秀久, 中川秀己¹⁾, 中條 航²⁾, 森崎洋二²⁾, 石井泰子²⁾, 青木健洋²⁾, O O³⁾ (1) 東京慈恵会医科大学皮膚科学講座, ²⁾ 日本イーライリリー株式会社, ³⁾ イーライリリー・アンド・カンパニー)：イクセキズマブの第 3 相試験 (UNCOVER-J)：日本人乾癬患者における有効性及び安全性評価。日本乾癬学会学術大会 (第 30 回) (名古屋), 2015. 9.
- 30) 山瀬 綾, 幸野 健, 土屋 麗, 川崎裕史, 秋山美知子, 二宮里紗, 久保田智樹, 佐伯秀久：生物学的製剤により社会復帰した慢性腎不全を伴う難治性膿疱性乾癬の 1 例。日本乾癬学会学術大会 (第 30 回) (名古屋), 2015. 9.
- 31) 岡部杏慈, 帆足俊彦, 芹澤直隆, 真弓暢子, 船坂陽子, 佐伯秀久, 安齋眞一：若年女性外陰部の色素性母斑の 1 例。日皮会東京地方会 (第 862 回) (東京), 2015. 9.
- 32) 芹澤直隆, 帆足俊彦, 水野真希, 保利朝子, 清水 愛, 白川典子, 亦野蓉子, 山下裕子, 鶴田恭子, 船坂陽子, 佐伯秀久：外陰部脂肪腫の 2 例。日皮会東京地方会 (第 862 回) (東京), 2015. 9.
- 33) 水野真希, 帆足俊彦, 保利朝子, 白川典子, 亦野蓉子, 船坂陽子, 佐伯秀久：Double extramammary Paget's disease の 1 例。日皮会東京地方会 (第 862 回) (東京), 2015. 9.
- 34) 岨 慶子, 船坂陽子, 神崎亜希子, 山下裕子, 帆足俊彦, 佐伯秀久：頭部に生じた悪性黒子型黒色腫の 1 例。日皮会東京地方会 (第 862 回) (東京), 2015. 9.
- 35) 奈古利恵, 船坂陽子, 神崎亜希子, 小川俊一¹⁾, 佐伯秀久 (1) 付属病院小児科)：大動脈炎症症候群に伴った結節性紅斑の 1 例。日皮会東京地方会 (第 862 回) (東京), 2015. 9.
- 36) 後藤 瞳, 船坂陽子, 高野靖子¹⁾, 佐伯秀久 (1) 千葉北総病院眼科)：しわ改善目的で施行した多血小板血漿療法注入部位にサルコイド肉芽腫が多発したサルコイドーシスの 1 例。日皮会中部支部学術大会 (第 66 回) (神戸), 2015. 10.
- 37) 船坂陽子：悪性黒色腫の増殖生存制御分子の解明 新規標的治療開発に向けて。日本医科大学 (東京), 2015. 10.
- 38) 中島里奈¹⁾, 帆足俊彦, 川嶋智彦¹⁾ (1) 三楽病院皮膚科)：慢性放射線皮膚障害に対して外科的切除を行った 1 例。日皮会中部支部学術大会 (第 66 回) (神戸), 2015. 10.
- 39) 尾見徳弥：エキシマレーザー。第 36 回日本レーザー医学会総会 (宇都宮), 2015. 10.
- 40) 帆足俊彦, 船坂陽子, 保利朝子, 白川典子, 亦野蓉子, 安齋眞一, 佐伯秀久, 小川 令¹⁾ (1) 付属病院形成外科)：早期爪部悪性黒色腫の 1 例。日本色素細胞学会学術大会 (第 26 回) (札幌), 2015. 11.
- 41) 片岡佳憧, 亦野蓉子, 水野真希, 白川典子, 神崎亜希子, 二神綾子, 帆足俊彦, 安齋眞一, 船坂陽子, 佐伯秀久：足背に生じた石灰化を伴う巨大血管平滑筋腫の 1 例。日皮会東京地方会 (第 863 回) (東京), 2015. 11.
- 42) 奈古利恵, 船坂陽子, 山下裕子, 佐伯秀久：外傷を契機に発症した Morbihan 病の 1 例。日皮会東京地方会 (第 863 回) (東京), 2015. 11.
- 43) 白川典子, 藤本和久, 佐伯秀久, 小林征洋¹⁾ (1) 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科)：ウナギ目の魚類によるアナフィラキシーの 1 例。日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会 (第 45 回) (島根県), 2015. 11.
- 44) 奈古利恵, 帆足俊彦, 芹澤直隆, 船坂陽子, 佐伯秀久：遅発性両側性太田母斑様色素斑に合併した下眼瞼の青色母斑の 1 例。日皮会東京地方会 (第 864 回) (東京), 2015. 12.
- 45) 清水 愛, 藤本和久, 新井悠江, 亦野蓉子, 秋山美知子, 脇田美紗¹⁾, 船坂陽子, 佐伯秀久 (1) 付属病院女性診療科)：リトドリン塩酸塩による膿疱型薬疹の 1 例。日皮会東京地方会 (第 864 回) (東京), 2015. 12.
- 46) 片岡佳憧, 帆足俊彦, 芹澤直隆, 船坂陽子, 佐伯秀久：頸部に発症した毛巣洞の 1 例。日皮会東京地方会 (第 864 回) (東京), 2015. 12.
- 47) 劉 陽¹⁾, 石川武子¹⁾, 田中隆光¹⁾, 多田弥生¹⁾, 大西誉光¹⁾, 渡辺晋一¹⁾, 帆足俊彦 (1) 帝京大学皮膚科)：Solitary fibrous tumor の 1 例。日皮会東京地方会 (第 865 回) (東京), 2016. 1.
- 48) 市山 進, 船坂陽子, 山下裕子, 田村秀人¹⁾, 猪口孝一¹⁾, 佐伯秀久 (1) 付属病院血液内科)：多発性骨髄腫に対するサリドマイドによる好酸球浸潤を伴った白血球破砕性血管炎の 1 例。日皮会東京・東部支部合同学術大会 (第 79 回) (東京), 2016. 2.
- 49) 水野真希, 秋山美知子, 岡部杏慈, 市山 進, 山瀬 綾, 真弓暢子, 森本健介, 幸野 健, 佐伯秀久：バセドウ病に伴う脛骨前粘液

- 水腫を背景に右下肢蜂窩織炎を3度発症した1例. 日皮会東京・東部支部合同学術大会(第79回)(東京), 2016. 2.
- 50) 松田秀則, 安齋眞一, 荻田あづさ, 篠原理恵, 大橋実奈, 佐伯秀久: 妊娠中, 急速に増大した左下腿汗腺腫の1例. 日皮会東京・東部支部合同学術大会(第79回)(東京), 2016. 2.
- 51) 奈古利恵, 船坂陽子, 青山純一¹⁾, 福本裕子²⁾, 由井智子³⁾, 佐伯秀久¹⁾ 付属病院呼吸器内科, ²⁾ 同循環器内科, ³⁾ 同眼科): アー
トメイク部の皮膚が隆起し皮膚サルコイド反応が見られた1例. 日皮会東京・東部支部合同学術大会(第79回)(東京), 2016. 2.
- 52) 浅原真理子, 帆足俊彦, 亦野蓉子, 白川典子, 後藤 瞳, 船坂陽子, 佐伯秀久, 高山泰広¹⁾ (1) 北区): 全身の関節に多数の無痛性の
巨大痛風結節を生じた1例. 日皮会東京・東部支部合同学術大会(第79回)(東京), 2016. 2.

[武蔵小杉病院皮膚科]

研究概要

皮膚上皮腫瘍の病理診断 皮膚付属器腫瘍(とくに汗腺及び脂腺腫瘍)について免疫組織化学的検討によってその診断精度を上げるために必要な方法を見出す さらにケラトアカントーマ Keratoacanthoma についてその病理診断基準を確立し類似の悪性腫瘍との鑑別について検討する

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Goto K, Takai T, Fukumoto T, Anan T, Kimura T, Ansai S, Oshitani Y, Murata Y, Sakuma T, Hirose T: CD117 (KIT) is a useful immunohistochemical marker for differentiating porocarcinoma from squamous cell carcinoma. J Cutan Pathol Equib ahead of print 2015.
- 2) Kanzaki A, Kudo M, Ansai S, Peng W, Ishino K, Yamamoto T, Wada R, Fujii T, Teduka K, Kawahara K, Kawamoto Y, Kitamura T, Kawana S, Saeki H, Naito Z: Insulin-like growth factor 2 mRNA-binding protein-3 as a marker for distinguishing between cutaneous squamous cell carcinoma and keratoacanthoma. Int J Oncol 2016 Epub ahead of print 2016.

(2) 総説:

- 1) 安齋眞一: 酒さ. 皮膚疾患最新の治療 2015-2016 渡辺晋一・古川福美編 2015; 250.
- 2) 土田哲也, 古賀弘志, 宇原 久, 清原隆宏, 竹之内辰也, 安齋眞一, 梅林芳弘, 門野岳史, 神谷秀喜, 幸野 健, 鹿間直人, 堤田新, 中村泰大, 並川健二郎, 八田尚人, その他3名: 皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン第2版. 日本皮膚科学会雑誌 2015; (125): 5-75.
- 3) 安齋眞一: Kaposi 肉腫: Kaposi's sarcoma. 病理と臨床 2015; (33): 306.
- 4) 安齋眞一: 青色母斑: Blue nevus. 病理と臨床 2015; (33): 307.
- 5) 安齋眞一: 外毛根鞘嚢腫: Trichilemmal cyst. 病理と臨床 2015; (33): 308.
- 6) 安齋眞一: CPC Brooke-Spiegler 症候群. Visual Dermatology 2015; (14): 746-748.
- 7) 安齋眞一: 皮膚の病理診断. 皮膚と美容 2015; (47): 51-54.
- 8) 荻田あづさ, 安齋眞一: 小児によく見る皮膚疾患 IgA 血管炎 結節性紅斑. 小児皮膚科 2015; 78 (11): 1489-1491.

(3) 症例報告:

- 1) Takayama R, Ueno T, Futagami A, Ansai S, Fukumoto T, Saeki H: Hobnail hemangioma: A case report. J Nippon Med Sch 2015; (82): 151-155.
- 2) Matsuoka Y, Ansai S, Ogita A, Shinohara R, Nako T, Matsuda H, Tanaka M: Case of basosquamous carcinoma: Dermoscopic and immunohistochemical findings. J Dermatol 2015; (42): 1102-1103.
- 3) Ogita A, Funasaka Y, Ansai S, Kawana S, Saeki H: Male melasma due to estrogen therapy for prostate cancer: case report with literature review. Ann Dermatol 2015; 27: 763-764.
- 4) Yamasahita H, Ansai S, Ueno T, Osada S, Kawana S, Koga H, Ishii N, Hashimoto T: Bullous pemphigoid with IgG autoantibodies to BP180 C-terminal domain and desmocollin 3 associated with transverse colon cancer. Eur J Dermatol 2015; 25: 515-516.
- 5) Ansai S, Ogita A, Matsuda H, Saeki H, Tanaka M: Collision of basal cell carcinoma and melanocytic nevus with unique dermoscopic findings. J Dermatol Equib ahead of print 2015.
- 6) Matsuda H, Ogita A, Ansai S, Saeki H: Case of syringomatous carcinoma with unique clinical presentation. J Dermatol Equib ahead of print 2015.
- 7) Shinohara R, Ansai S, Ogita A, Matsuda H, Saeki H, Tanaka M: Dermoscopic finding of microcystic adnexal carcinoma. Eur

J Dermatol 2015 ; 25 : 516-518.

- 8) 新井悠江, 高山良子, 田中真百合, 長田真一, 上野 孝, 二神綾子, 船坂陽子, 佐伯秀久, 安齋眞一: 右大腿に生じた glomus tumor の1例. 日本皮膚科学会雑誌 2015 ; 125 (5) : 1056.
- 9) 新井悠江, 秋山美智子, 市山 進, 船坂陽子, 佐伯秀久: 家族内発症を伴う hyperkeratosis lenticularis perstans の1例. 日本皮膚科学会誌 2015 ; 125 (7) : 1455.
- 10) 新井悠江, 船坂陽子, 神崎亜希子, 佐伯秀久, 菅野仁士¹⁾ (1) 付属消化器外科): TS-1 による DLE 型薬疹. 日本皮膚科学会誌 2015 ; 125 (10) : 1931.
- 11) 亦野蓉子, 上野 孝, 高山良子, 二神綾子, 安齋眞一, 廣瀬隆則, 福本隆也, 川名誠司: 低悪性度粘液線維肉腫の1例. 皮膚科の臨床 2015 ; (57) : 354-355.
- 12) 松岡保子, 安齋眞一, 川名誠司: 移動性神経鞘腫の1例. 皮膚科の臨床 2015 ; (57) : 476-477.
- 13) 松岡保子, 安齋眞一, 川名誠司, 堺 則康: 両側腋窩乳房外 Paget 病の1例. 皮膚科の臨床 2015 ; 57 : 1142-1145.
- 14) 大橋実奈, 安齋眞一, 松田秀則, 川名誠司: Folliculo-sebaceous cystic hamartoma の1例. 皮膚科の臨床 2015 ; 57 : 1486-1487.
- 15) 白川典子, 上野 孝, 本木智輝, 安齋眞一, 川名誠司, 佐伯秀久: Primary mucinous carcinoma of the skin の1例. 皮膚科の臨床 2015 ; 57 : 1806-1807.
- 16) 円山尚子¹⁾, 石河軌久¹⁾, 能登 舞¹⁾, 加藤真紀¹⁾, 赤間智範¹⁾, 真鍋 求¹⁾, 安齋眞一, 梅林芳弘¹⁾ (1) 秋田大学皮膚科・形成外科学講座): 幼少期に発症した Bednar 腫瘍の1例. 皮膚科の臨床 2015 ; 57 : 1842-1845.
- 17) 清水 愛, 高山良子, 上野 孝, 安齋眞一, 福本隆也, 船坂陽子, 佐伯秀久: 右前腕に生じた筋繊維腫の1例. 皮膚科の臨床 2015 ; 57 : 1866-1869.
- 18) 市山 進, 上野 孝, 高山良子, 稲葉基之, 秋山美知子, 藤本和久, 安齋眞一, 船坂陽子, 佐伯秀久: Sclerotic fibroma of skin の2例. 臨床皮膚科 2016 ; 70 : 47-50.

著 書

- 1) 安齋眞一: [分担] 実践! 皮膚病理道場: バーチャルスライドでみる皮膚腫瘍. (土田哲也・山元修・安齋眞一編), 2015 ; 医学書院.
- 2) 安齋眞一: [分担] イミキモド: どんな皮膚がんどこまで効く?. 皮膚科頻用薬のコツと落とし穴 (宮地良樹編), 2016 ; pp116-118, 文光堂.

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) 新井悠江, 秋山美智子, 市山 進, 船坂陽子, 佐伯秀久: 家族内発症を伴う hyperkeratosis lenticularis perstans の1例. 日本皮膚科学会東京支部, 2015. 4.
- 2) 荻田あづさ, 安齋眞一, 三砂範幸¹⁾, 阿南 隆²⁾, 福本隆也²⁾, 木村鉄宣²⁾, 佐伯秀久 (1) 佐賀大学医学部皮膚科学講座, 2) 札幌皮膚病理診断科): Histopathological diagnoses of epithelial crateriform tumors. 日本皮膚病理組織学会 (第31回), 2015. 6.
- 3) 新井悠江, 船坂陽子, 神崎亜希子, 佐伯秀久, 菅野仁士: TS-1 による DLE 型薬疹. 日本皮膚科学会東京支部, 2015. 6.
- 4) 松田秀則, 安齋眞一, 荻田あづさ, 佐伯秀久: 手背に生じた汗管腫瘍の1例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (第31回), 2015. 7.
- 5) 松田秀則, 安齋眞一, 荻田あづさ, 佐伯秀久, 篠原理恵, 大橋実奈: 妊娠中, 急速に増大した汗管腫の1例. 日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会 (第79回), 2016. 2.

論 文

[追加分]

追加分症例報告:

- 1) 荻田あづさ, 安齋眞一, 紺野亜希子, 川名誠司: 成人 Still 病における血清 IL-6, IL-18 値の検討. 皮膚科の臨床 2015 ; 57 (1) : 67-71.

学会発表

追加分一般講演:

- 1) 新井悠江, 高山良子, 田中真百合, 長田真一, 上野 孝, 二神綾子, 船坂陽子, 佐伯秀久, 安齋眞一: 右大腿に生じた glomus tumor の1例. 日本皮膚科学会東京支部, 2015. 1.

[多摩永山病院皮膚科]

研究概要

1. アトピー性皮膚炎の病態におけるケモカイン, サイトカインの発現解析と治療戦略 2. アトピー性皮膚炎の病態における抗核抗体, 抗DFS70抗体の発現解析 3. 乳児期湿疹の統計的観察 4. アナフィラクトイド紫斑, 掌蹠膿疱症, 自己免疫水疱症の病態におけるケモカイン, サイトカインの発現解析 5. 薬疹, 接触皮膚炎, 食物アレルギー, 全身性金属アレルギー: 皮膚テストによる原因物質の確認, 血清中抗原の解析, DLST検査 6. 皮膚腫瘍, 皮膚悪性腫瘍の病理学的診断と研究 7. アミノ酸の経皮吸収, HLB数

研究業績

論文

(1) 総説:

1) 東 直行¹⁾ (1) 多摩永山 皮膚科): 褥瘡の撮り方. WOC Nursing 2016; 4 (3): 26-29.

(2) 症例報告:

1) Li M¹⁾, Morimoto K¹⁾, Hashimoto T²⁾, Higashi N¹⁾ (1) Dept. of Dermatology, Nippon Medical School, Tama-Nagayama Hospital, 2) Dept. of Dermatology, Kurume University School of Medicine): Epidermolysis bullosa acquisita in a patient with psoriasis vulgaris. Eur J Dermatol 2015; 25 (5): 499-500.

2) Ichiyama S¹⁾, Funasaka Y¹⁾, Otsuka Y¹⁾, Takayama R^{1,2)}, Kawana S¹⁾, Saeki H¹⁾, Kubo A³⁾ (1) Dept. of Dermatology, Nippon Medical School, 2) Dept. of Dermatology, Nippon Medical School, Tama-Nagayama Hospital, 3) Dept. of Dermatology, Keio University School of Medicine): Effective treatment by glycolic acid peeling for cutaneous manifestation of familial generalized acanthosis nigricans caused by FGFR3 mutation. J Eur Acad Dermatol Venereol. 2016; 30 (3): 442-445.

3) Takayama R^{1,2)}, Ueno T¹⁾, Futagami A¹⁾, Ansai S³⁾, Fukumoto T⁴⁾, Saeki H¹⁾ (1) Dept. of Dermatology, Nippon Medical School, 2) Dept. of Dermatology, Nippon Medical School, Tama-Nagayama Hospital, 3) Dept. of Dermatology, Nippon Medical School, Musashikosugi Hospital, 4) Sapporo Institute for Dermatopathology): Hobnail Hemangioma: A Case Report. J Nippon Med Sch 2015; 82 (3): 151-155.

4) 鶴田恭子¹⁾, 船坂陽子¹⁾, 藤本和久¹⁾, 高山良子^{1,2)}, 坂巻雅典³⁾, 川名誠司¹⁾ (1) 付属皮膚科, 2) 多摩永山皮膚科, 3) 付属神経内科): 末梢神経症状に対し免疫グロブリン大量静注療法が有効であった Eosinophilic Granulomatosis with Polyangiitis (Churg-Strauss) の1例. 皮膚臨床 2015; 57 (8): 1274-1278.

5) 清水 愛¹⁾, 高山良子^{1,2)}, 上野 孝¹⁾, 安齋眞一³⁾, 福本隆也⁴⁾, 船坂陽子¹⁾, 佐伯秀久¹⁾ (1) 付属皮膚科, 2) 多摩永山皮膚科, 3) 武蔵小杉皮膚科, 4) 札幌皮膚病理診断科): 右前腕に生じた筋線維腫の1例. 皮膚臨床 2015; 57 (12): 1866-1869.

6) 市山 進¹⁾, 上野 孝¹⁾, 高山良子^{1,2)}, 稲葉基之¹⁾, 秋山美知子¹⁾, 藤本和久¹⁾, 安齋眞一³⁾, 船坂陽子¹⁾, 佐伯秀久¹⁾ (1) 付属皮膚科, 2) 多摩永山皮膚科, 3) 武蔵小杉皮膚科): Sclerotic fibroma of the skin の2例. 臨床皮膚科 2016; 70 (1): 47-50.

学会発表

(1) パネルディスカッション:

1) Watanabe Y¹⁾, Higashi N²⁾, Ueda T¹⁾, Shioya K¹⁾, Matsumoto M¹⁾, Suzuki H³⁾ (1) School of Life Science and Chemistry, Faculty of Science and Engineering, Univ. of Meisei, 2) Dept. of Dermatology, Nippon Medical School, Tama-Nagayama Hospital, 3) Suzuki Plastic Surgery): Correlation between hydrophile lipophile balance number and percutaneous permeation of optically active amino acid ions into horny intercellular fat of skin. The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (PACIFICHEM 2015) (Hawaii/USA), 2015. 11.

2) 李 民¹⁾, 東 直行¹⁾ (1) 多摩永山皮膚科): Thymoma-associated multiorgan autoimmunity の1例. 日本皮膚科学会総会 (第114回) (横浜), 2015. 5.

3) 渡邊幸夫¹⁾, 東 直行²⁾, 上田豊甫¹⁾, 塩谷和音¹⁾, 松本 恵¹⁾, 鈴木晴恵³⁾ (1) 明星大理工生命科学, 2) 多摩永山皮膚科, 3) 京都市): アミノ酸キラリティとHLB数依存性への検討. 日本皮膚科学会総会 (第114回) (横浜), 2015. 5.

4) 東 直行¹⁾, 吉川雅智²⁾, 前田晃宏³⁾, 高橋享子³⁾ (1) 多摩永山皮膚科, 2) 付属循環器内科, 3) 武庫川女子大生活環境学部): ピーターンによる即時型アレルギーの抗原解析. 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会 (第45回) (松江), 2015. 11.

(2) 一般講演:

1) 高山良子^{1,2)}, 上野 孝¹⁾, 二神綾子¹⁾, 船坂陽子¹⁾, 安齋眞一³⁾, 福本隆也⁴⁾, 廣瀬隆則⁵⁾, 佐伯秀久¹⁾ (1) 付属皮膚科, 2) 多摩永山皮膚科, 3) 武蔵小杉皮膚科, 4) 札幌皮膚病理診断科, 5) 神戸大学医学部地域連携病理学): 右下腿の皮下結節. 日本皮膚病理組織学会 (第31回) (東京), 2015. 6.

2) 琴 基天¹⁾, 高山良子¹⁾, 李 民¹⁾, 東 直行¹⁾ (1) 多摩永山皮膚科): 手掌に生じた基底細胞癌の1例. 日本皮膚科学会東京地方会

(第 863 回) (東京), 2015. 11.

- 3) 渡邊幸夫¹⁾, 水越 駿¹⁾, 上田豊甫¹⁾, 塩谷和音¹⁾, 松本 恵¹⁾, 東 直行²⁾, 秋本眞喜雄³⁾, 前田憲寿³⁾, 鈴木晴恵⁴⁾ (1) 明星大理工生命科学, 2) 多摩永山皮膚科, 3) 東京工科大, 4) 京都市): アミノ酸の in vitro 経皮吸収と HLB 数依存性への検証. 自動制御連合講演会 (第 58 回) (神戸), 2015. 11.
- 4) 東 直行¹⁾, 吉川雅智²⁾, 前田晃宏³⁾, 高橋享子³⁾ (1) 多摩永山皮膚科, 2) 付属循環器内科, 3) 武庫川女子大生活環境学部): ピータンによる即時型アレルギーの抗原解析. 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会 (第 45 回) (松江), 2015. 11.
- 5) 立見聡美¹⁾, 李 民¹⁾, 東 直行¹⁾, 松根彰志²⁾, 土佐眞美子³⁾ (1) 多摩永山皮膚科, 2) 武蔵小杉耳鼻咽喉科, 3) 武蔵小杉形成外科): Pott's puffy tumor の 1 例. 日本皮膚科学会東京地方会 (第 864 回) (東京), 2015. 12.
- 6) 堺 則康^{1, 2)}, 山田宗治²⁾, 尾田高志²⁾, 東 直行³⁾, 川名誠司⁴⁾, 坪井良治¹⁾, 吉田雅治²⁾ (1) 東京医科大学皮膚科, 2) 東京医科大学八王子腎臓内科, 3) 多摩永山皮膚科, 4) 付属皮膚科): MPO-ANCA 関連血管炎患者 55 例における皮膚症状の臨床病理学的検討: 第 2 報. 日本皮膚科学会東京支部学術大会 (第 79 回) (東京), 2016. 2.
- 7) 東 直行¹⁾, 松本 勉²⁾, 小澤雅邦³⁾ (1) 多摩永山皮膚科, 2) 八王子市, 3) 多摩市): セルフモニタリングと自己暗示で軽快した小児のアトピー性皮膚炎の 2 例. アトピー性皮膚炎治療研究会 (第 21 回) (大宮), 2016. 2.

13. 消化器外科学分野

[付属病院消化器外科・一般外科・移植外科]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Yamada T¹⁾, Kanazawa Y¹⁾, Aoki Y¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Nippon Medical School) : Incidence of Nausea and Vomiting Induced by Oxycodone Administered with Prochlorperazine in Japanese Cancer Patients. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (2) : 100-105.
- 2) Mizuguchi Y¹⁾, Takizawa T²⁾, Uchida E¹⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Hospital, (2) Department of Anatomy, Nippon Medical School) : Host cellular microRNA involvement in the control of hepatitis B virus gene expression and replication. World Journal of Hepatology 2015 ; 7 (4) : 696-702.
- 3) Takahara T¹⁾, Wakabayashi G, Beppu T, Hasegawa K, Gotohda N, Hatano E, Tanahashi Y, Mizuguchi T, Kamiyama T, Ikeda T, Tanaka S, Tani ai N²⁾, Baba H, Tanabe M, Uchida E²⁾, et al. (1) Department of Surgery, Iwate Medical, (2) Nippon Medical School Digestive Surgery) : Long-term and perioperative outcomes of laparoscopic versus open liver resection for hepatocellular carcinoma with propensity score matching : a multi-institutional Japanese study. J Hepatobiliary Pancreat Sci 2015 ; 22 (10) : 721-717.
- 4) Beppu T¹⁾, Wakabayashi G, Hasegawa K, Gotohda N, Mizuguchi T, Takahashi Y, Hirokawa F, Tani ai N²⁾, Watanabe M, Katou M, Nagano H, Honda G, Baba H, Kokudo N, Uchida E²⁾, et al. (1) Department of Gastroenterological Surgery, Graduate School, (2) Nippon Medical School Digestive Surgery) : Long-term and perioperative outcomes of laparoscopic versus open liver resection for colorectal liver metastases with propensity score matching : a multi-institutional Japanese study. J Hepatobiliary Pancreat Sci 2015 ; 22 (10) : 711-720.
- 5) Makino H¹⁾, Yoshida H¹⁾, Uchida E : Endoscopy for Diseases with Esophageal Dysphagia. Seminars in Dysphagia 2015 ; 91-104.
- 6) Nakamura K¹⁾, Matsushita A¹⁾, Katsuno A¹⁾, Yamahatsu K¹⁾, Sumiyoshi H¹⁾, Mizuguchi Y¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Nippon Medical School) : Clinical outcomes for 14 consecutive patients with solid pseudopapillary neoplasms who underwent laparoscopic distal pancreatectomy. Asian Journal of Endoscopic Surgery 2016 ; 9 (1) : 32-36.
- 7) 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 牧野浩司²⁾, 丸山 弘²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, (2) 日本医科大学多摩永山病院外科, (3) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 特集 : 食道破裂, 穿孔の診断と治療における戦略と工夫 食道破裂・穿孔の検討. 日本腹部救急医学会雑誌 2015 ; 35 (1) : 61-65.
- 8) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 横山康行¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, (2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 報告「術後回復促進のための ESSENSE」ESSENSE の基本理念に基づく大腸癌周術期管理. 外科と代謝・栄養 2015 ; 49 (2) : 105-108.
- 9) 谷合信彦¹⁾, 吉田 寛²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, (2) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 特集 超高齢者の消化器疾患 : その特徴と治療上の注意 11 超高齢者に対する消化器外科治療上の問題点. 臨牀 消化器内科 2015 ; 30 (4) : 481-486.
- 10) Matsuda A¹⁾, Miyashita M¹⁾, Matsumoto S¹⁾, Sakurazawa N¹⁾, Takahashi G¹⁾, Yamada M¹⁾, Uchida E²⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, (2) Department of Surgery, Nippon Medical School) : Isoperistaltic versus antiperistaltic stapled side-to-side anastomosis for colon cancer surgery : a randomized controlled trial. JOURNAL OF SURGICAL RESEARCH 2015 ; 196 (1) : 107-112.
- 11) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 特集 消化器内視鏡治療・腹腔鏡下手術をめぐって 膵臓に対する腹腔鏡下手術. 日本医師会雑誌 2015 ; 144 (4) : 739-742.
- 12) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 水口義昭¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, (2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 膵臓の外科治療 : 腹腔鏡下切除術. 消化器外科 2015 ; 38 (10) : 1437-1443.
- 13) 高橋吾郎^{1,2)}, 松田明久¹⁾, 山田岳史²⁾, 櫻澤信行¹⁾, 菅 隼人²⁾, 松谷 毅²⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, (2) 日本医科大学消化器外科) : 閉塞性大腸癌における術前減圧処置の長期予後に与える影響. 日本腹部救急医学会雑誌 2015 ; 35 (6) : 729-735.

- 14) 高橋吾郎¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 特別寄稿 胃癌・大腸癌終末期における全身骨格筋量の減少は予後不良因子である 最大大腰筋断面積を用いた検討. 癌と化学療法 2015 ; 42 (10) : 1234-1236.
- 15) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 特集 Reduced port surgery の最新手技 回盲部切除術における Reduced port surgery. 手術 2015 ; 69 (12) : 1667-1672.
- 16) 太田恵一朗¹⁾, 松崎圭祐²⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 要町病院腹水治療センター) : 特集 外科医に求められる積極的緩和医療ー 延命と症状緩和の狭間で 知っておきたい緩和医療の積極的介入法 癌性腹水に対する CART と薬物療法. 臨床外科 2015 ; 10 (13) : 1487-1492.
- 17) 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 真々田裕宏²⁾, 谷合信彦²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 特集 腹部良性疾患に対する外科治療の最前線 3. 食道・胃静脈瘤. 外科 2016 ; 78 (1) : 15-18.
- 18) 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 金子恵子²⁾, 川野陽一¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 中村慶春¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 横室茂樹³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器内科, 3) 日本医科大学千葉北総病院消化器外科) : 特集 : ERCP のトラブルシューティング ERCP に起因した後腹膜穿孔の原因と対応. 日本腹部救急医学会雑誌 2016 ; 36 (1) : 79-85.

(2) 総説 :

- 1) Yoshimura H^{1,2)}, Matsuda Y³⁾, Matsuhita A⁴⁾, Nakamura Y⁴⁾, Uchida E⁴⁾, Ishiwata T²⁾ (1) Division of Physiological Pathology, Department of Applied Science, School of Veterinary Nursing and Technology, Nippon Veterinary and Life Science, 2) Department of Integrated Diagnostic Pathology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 3) Department of Pathology, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital and Institute of Gerontology, 4) Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Multispectral Imaging of Pancreatic Mixed Acinar-neuroendocrine-ductal Carcinoma with Triple-immunoenzyme Staining. Journal of Nippon Medical School 2015 ; 82 (3) : 122-123.
- 2) Yoshida H¹⁾, Mamada H²⁾, Tani ai N²⁾, Uchida E²⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, 2) Department of Surgery, Nippon Medical School) : Spontaneous ruptured hepatocellular carcinoma. Hepatology Research 2016 ; 46 (1) : 13-21.
- 3) 中村慶春¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 腹腔鏡下膀胱切除術の標準化に向けた取り組み. 日本医科大学医学会雑誌 2015 ; 11 (2) : 93-101.
- 4) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 特集 慢性膵炎・急性膵炎に対する外科的アプローチ I. 慢性膵炎 6. 慢性膵炎による膵仮性嚢胞に対する腹腔鏡下手術. 手術 2015 ; 69 (9) : 1327-1329.
- 5) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 消化器・一般外科手術の Pearls&Tips : ワンランク上の手術を達成する技と知恵 ⑪ヘルニア 鼠径ヘルニア・大腿ヘルニア修復術〈前方アプローチ法〉. 臨床外科 2015 ; 70 (11) : 266-271.
- 6) 水口義昭¹⁾, 水瀬 学²⁾, 中村慶春¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院中央検査室) : 膵臓の超音波検査を極める 膵超音波スクリーニング検査のポイントと描出のコツー特に膵尾部の描出法. 臨床検査 2015 ; 59 (12) : 1416-1420.
- 7) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 特集 腹腔鏡下大腸手術ー トラブルの予防と対処法 III. 合併症 3. 腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術における合併症予防のための工夫. 手術 2015 ; 69 (13) : 1799-1804.
- 8) 谷合信彦¹⁾, 吉田 寛²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 超高齢者に対する消化器外科治療上の問題点. 臨床消化器内科 2015 ; 30 (4) : 481-486.

(3) 症例報告 :

- 1) Hotta M¹⁾, Yoshida H¹⁾, Makino H¹⁾, Yokoyama T¹⁾, Maruyama H¹⁾, Uchida E²⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, 2) Department of Surgery, Nippon Medical School) : Spontaneous Rupture of a Simple Hepatic Cyst : Report of a Case. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (2) : 113-116.
- 2) Hagiwara N¹⁾, Matsutani T¹⁾, Nomura T¹⁾, Shinozuka E¹⁾, Aida J¹⁾, Takubo K¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Nippon Medical School) : Gastric metastasis from esophageal squamous cell carcinoma producing granulocyte colony-stimulating factor : report of a case. Int Canc Conf J 2015 ; 4 : 229-235.
- 3) Yamada T¹⁾, Kan H¹⁾, Matsumoto S²⁾, Machida T³⁾, Koizumi M¹⁾, Shinji S¹⁾, Matsuda A²⁾, Yamagishi A¹⁾, Yokoyama Y¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Nippon Medical School, 2) Department of Surgery, Nippon Medical School CHiba Hokusoh Hospital, 3) Department of Radiology, Nippon Medical School) : A Case of Portal

Venous Gas after Rectal Surgery without Anastomotic Leakage or Bowel Necrosis. Journal of Nippon Medical School 2015 ; 82 (4) : 202-205.

- 4) Matsutani T¹⁾, Nomura T¹⁾, Hagiwara N¹⁾, Fujita I¹⁾, Kanazawa Y¹⁾, Kakinuma D¹⁾, Kannno H¹⁾, Matsuda A¹⁾, Uchida E¹⁾ (¹⁾ Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Nippon Medical School) : Laparoscopic Diagnosis for Spermatic Cord Metastasis from Esophageal Squamous Cell Carcinoma : Report of a Case. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (6) : 304-307.
 - 5) Mizuguchi Y¹⁾, Nakamura Y¹⁾, Uchida E¹⁾ (¹⁾ Nippon Medical School Hospital, Department of Surgery) : Modified laparoscopic biliary enteric anastomosis procedure using handmade double-armed needles. Asian Journal of Endoscopic Surgery 2016 ; 9 (1) : 93-96.
 - 6) 張 一光^{1,2)}, 島貫公義¹⁾, 秋丸琥甫^{1,2)}, 内田英二²⁾ (¹⁾ 会津中央病院外科, ²⁾ 日本医科大学外科学 (消化器外科)) : 臍腫瘍との鑑別が困難であった後腹膜 Castleman 病の 1 例. 日本医科大学医学雑誌 2015 ; 11 (2) : 105-109.
 - 7) 増田寛喜¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科) : 腹腔鏡下修復術を行った upside down stomach を伴う食道裂孔ヘルニアの 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2015 ; 76 (5) : 998-1003.
 - 8) 眞鍋恵理子¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科) : 食道癌術後の難治性乳糜漏に対し開腹下リンパ管結紮を施行した 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2015 ; 35 (5) : 623-627.
 - 9) 古木裕康¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科) : 頸胸部に発生した食道平滑筋肉腫の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2015 ; 76 (7) : 1656-1661.
 - 10) 武田幸樹^{1,3)}, 島貫公義¹⁾, 旭 修司¹⁾, 赤城一郎^{1,3)}, 秋丸琥甫³⁾, 川口隆憲²⁾, 内田英二³⁾ (¹⁾ 会津中央病院外科, ²⁾ 会津中央病院病理科, ³⁾ 日本医科大学消化器外科) : 栄養状態並びに甲状腺機能を 16 年間観察した Peutz-Jeghers 症候群の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2015 ; 76 (5) : 1053-1058.
 - 11) 眞鍋恵理子¹⁾, 進士誠一¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 高田英志¹⁾, 松田陽子²⁾, 内藤善哉³⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 東京都健康長寿医療センター病理診断科, ³⁾ 日本医科大学病理学 (統御機構・腫瘍学)) : 憩室炎との鑑別が困難であった 4 方大腸癌 (inflammatory type) の 1 例. 日本消化器外科学会雑誌 2015 ; 48 (9) : 789-797.
 - 12) 張 一光¹⁾, 高尾嘉宗¹⁾, 原田潤一郎¹⁾, 堀田正啓¹⁾, 福岡 猛¹⁾, 山本一仁¹⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 北村山公立病院外科, ²⁾ 日本医科大学消化器外科) : 虫垂切除後に虫垂杯細胞カルチノイドと診断された 2 例. 日本外科系連合学会誌 2015 ; 40 (5) : 910-915.
 - 13) 古木裕康¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科) : 左上大静脈遺残と右上静脈欠損を伴った食道癌の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 2015 ; 76 (10) : 2422-2426.
 - 14) 大草幹大¹⁾, 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 町田 幹²⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 日本医科大学放射線科) : 腹腔鏡補助下結腸切除を施行した特発性腸間膜静脈硬化症の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2015 ; 35 (7) : 951-954.
 - 15) 高尾嘉宗¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 片山博徳²⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院病理部) : 食道類基底細胞癌の 1 例. 外科 2015 ; 77 (13) : 1561-1564.
 - 1) 谷合信彦¹⁾, 國分茂博²⁾, 中村健治³⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科学, ²⁾ 新百合ヶ丘総合病院, ³⁾ 大東中央病院放射線科・IVR センター) : 特集 門脈圧亢進症の制御一病態研究と治療の進展 座談会. 肝胆膵 2016 ; 72 (2) : 349-361.
- (4) 臨床経験 :
- 1) 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 山下直行²⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 坪井病院外科) : 内視鏡下食道癌手術における後縦隔経路胃管挙上法の工夫とその有用性一従来法との比較検討において. 日本外科系連合学会誌 2016 ; 41 (1) : 8-14.
- (5) 臨床報告 :
- 1) 赤間悠一¹⁾, 川野陽一¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 高田英志¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科) : 破裂巨大肝嚢胞に対し腹腔鏡下肝嚢胞天蓋切除術を施行した 1 例. 臨床外科 2015 ; 70 (9) : 1172-1176.

著 書

- 1) 山田岳史¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科) : [自著] 特集がん疼痛緩和の新薬はこう使う 緩和ケア領域の気になるトピックス がん悪液質と疼痛治療. 月刊 薬事 (武田正一郎), 2015 ; pp583-586, 株式会社じほう.
- 2) 谷合信彦¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科) : [自著] 4. 門脈・脾 1. 門脈圧亢進症・脾機能亢進症. 消化器外科学レビュー 2015-2016 (渡邊昌彦・國土典宏・土岐祐一郎), 2015 ; pp103-107, 総合医学社.
- 3) 吉田 寛¹⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科, ²⁾ 日本医科大学消化器外科) : [自著] 第 II 章門脈圧亢進症の治療手技 2.PTO, TIO. 門脈圧亢進症診療マニュアル (日本門脈圧亢進症学会), 2015 ; pp102-104, 南江堂.
- 4) 吉田 寛¹⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科, ²⁾ 日本医科大学消化器外科) : [自著] 第 II 章門脈圧亢進症の治療手技

- 4.PSE. 門脈圧亢進症診療マニュアル (亢進症), 2015; pp112-114, 南江堂.
- 5) 中村慶春¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): [自著] 14章 肝・膵の手術 B. 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術. クリックしながら身に付く内視鏡下手術マスターガイド, 2015; pp181-187, 南江堂.
- 6) 清水哲也¹⁾, 中村慶春¹⁾, 水口義昭¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): [自著] 特集 内視鏡外科手術の現状と問題点 肝胆膵内視鏡外科手術. Pharma Medica, 2016; pp23-26, (株) メディカルレビュー社.

学会発表

(1) 会長講演:

- 1) 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 腹部救急と教室のあゆみ, 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.

(2) 特別講演:

- 1) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 「膵切除術において腹腔鏡を使用する」: その意義を考え, その strategy をチーム単位で作りたい. 肝胆膵内視鏡下手術勉強会 (第 12 回) (東京都), 2015. 8.
- 2) 中村慶春¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下膵切除術の標準化に向けた取り組みについて. AMG 内視鏡外科フォーラム (第 24 回) (東京都), 2015. 5.
- 3) 中村慶春¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下膵切除術の標準化に向けた取り組みについて. 福岡内視鏡外科研究会 (第 16 回) (福岡県), 2015. 6.
- 4) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 高難度膵臓・胆道腹腔鏡手術の効果的トレーニングのために; Swine 腹腔鏡下膵切除・胆管吻合モデルの構築. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 5) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 古木裕康¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 清水哲也¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): Revive “ラパ膵” from Ishigaki: 本術式の意義を再考し, チーム単位で理解を深め合う. 平成次世代外科医療研究会 (第 1 回) (沖縄県), 2015. 10.
- 6) 中村慶春¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下膵切除術の標準化に向けた取り組み. 岐阜膵臓外科研究会 (第 14 回) (岐阜県), 2016. 1.
- 7) 中村慶春¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): JSES 技術認定取得に向けた Lap-DP の手術手技について ・ 評価基準の解説. 肝胆膵内視鏡下手術勉強会 (第 13 回) (静岡県), 2016. 2.
- 8) 松下 晃¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): JSES 技術認定取得に向けた Lap-DP の手術手技について ・ 技術認定取得ビデオの供覧と free discussion. 肝胆膵内視鏡下手術勉強会 (第 13 回) (静岡県), 2016. 2.

(3) 教育講演:

- 1) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 山初和也¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下膵切除術の安全性と確実性を向上させるための取り組み. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.

(4) シンポジウム:

- 1) Nakamura Y¹⁾ (1) Nippon Medical School): LAPAROSCOPIC PANCREATECTOMY FOR PANCREATIC MALIGNANCY. The 12th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (Korea), 2015. 9.
- 2) Nakamura Y¹⁾, Tajiri T¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School): Should WE Opt Laparoscopic Spleen-preserving DP for a Patient with a Low Grade Malignant Tumor Located in the Distal Pancreas?. The 42nd Congress of The Korean Association of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery (Korea), 2015. 5.
- 3) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 横山 正¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 清水哲也¹⁾, 山初和也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下膵体尾部切除術の安全な継承について. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 4) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 横山 正¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): Laparoscopic pancreatectomy; How far it has been standardized?. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 5) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 牧野浩司²⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 中村慶春¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科): 当施設における腹腔鏡下逆流防止術の治療成績および今後の展望: とくに通常の GERD とは異なる特殊な症例に関して. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 6) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): Liquid biopsy を用いた抗 EGFR 抗体の効果予測と耐性化の早期予測. 日本消化器病学会総会 (第 101 回) (宮城県), 2015. 4.

- 7) 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター): 腹部手術歴のある腹腔鏡下ヘルニア修復術 (TAPP) の適応. 日本ヘルニア学会学術集会 (第 13 回) (愛知県), 2015. 5.
- 8) 黒田誠司¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 野村 務¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 三島圭介¹⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, ²⁾ 日本医科大学外科): 当センターで経験した腹腔鏡下ヘルニア修復術 (TAPP) の pitfall. 日本ヘルニア学会学術集会 (第 13 回) (愛知県), 2015. 5.
- 9) 山下直行¹⁾, 湖山信篤¹⁾, 安藤文彦¹⁾, 下田朋宏¹⁾, 藤田逸郎²⁾, 金沢義一²⁾, 柿沼大輔²⁾, 菅野仁士²⁾, 萩原信敏²⁾, 櫻澤信行²⁾, 宮下正夫²⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 坪井病院外科, ²⁾ 日本医科大学消化器外科): 外科初期研修者を対象とした胃癌手術を中心とした quality, safety&education. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 10) 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科, ²⁾ 日本医科大学消化器外科): 当科における外科医師育成の工夫. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 11) 柳原恵子¹⁾, 武井寛幸¹⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院乳腺外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科): 女性外科医のワークライフバランスと外科医全体の労働環境改善についての提案. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 12) 横山 正¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科, ²⁾ 日本医科大学消化器外科): 膵消化管吻合における我々の工夫—確実に混乱の無い膵腸吻合を目指して—. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 13) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸^{1, 2)}, 山岸征嗣¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 村木 輝¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二³⁾ (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, ²⁾ 正風会小林病院外科, ³⁾ 日本医科大学外科): 背景膵や術野にかかわらず画一的に行える簡便・確実な膵管空腸粘膜吻合手順. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 14) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科): 大腸癌治療における Circulating cell free DNA の臨床応用. 日本癌病態治療研究会 (第 24 回) (栃木県), 2015. 6.
- 15) 谷合信彦¹⁾, 吉田 寛²⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科): 肝切除周術期における BCAA 製剤の効果. 日本外科代謝栄養学会学術集会 (第 52 回) (東京都), 2015. 7.
- 16) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科): 高齢者における結腸癌手術が骨格筋量に与える影響. 日本外科代謝栄養学会学術集会 (第 52 回) (東京都), 2015. 7.
- 17) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 金沢義一¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院): Circulating cell free DNA を用いた大腸癌集学的治療: Multi-biopsy による Real time personalized therapy Multidisciplinary therapy of colorectal cancer by using circulating cell free DNA: Multi-biopsy enables real time personalized therapy. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (愛知県), 2015. 11.
- 18) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 横山正¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科): 胆膵内視鏡外科手術の標準化に向けた取り組み; 安全性に対する再考察. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 19) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 水口義昭¹⁾, 山初和也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 古木裕康¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡手術時代の膵頭部解剖について: 膵頭神経叢を適切に把握するために Laparoscopic dissection to the pancreatic nerve plexuses. 臨床解剖研究会 (第 19 回) (東京都), 2015. 11.
- 20) 山田岳史¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 横山康行¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科): 抗 EGFR 抗体投与により KRAS 変異が誘導される. 日本消化器癌発生学会総会 (第 26 回) (鳥取県), 2015. 11.
- 21) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科): 直腸癌に Polyethylene glycol による機械的腸管洗浄は必要か?. 日本外科感染症学会総会 (第 28 回) (愛知県), 2015. 12.
- 22) 丸山 弘¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 吉岡将史^{1, 2)}, 内田英二²⁾ (¹⁾ 日本医大多摩永山病院外科, ²⁾ 日本医大付属病院消化器外科): 大腸手術における手術時手袋表面の汚染度調査. 日本外科感染症学会総会 (第 28 回) (愛知県), 2015. 12.
- 23) 新井洋紀¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 高田英志¹⁾, 向後英樹¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 下田朋宏¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 菊池友太¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下ヘルニア修復術 (TAPP) 後の再発症例から学ぶ手技の再定型化. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 24) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 横山正¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科): 安全な腹腔鏡下膵体尾部切除術の定型化とその継承について. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.

- 25) 山田岳史¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 吉澤一巳²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 東京理科大学薬学部: 胃癌手術における骨格筋減少と EPA の効果. 日本静脈経腸栄養学会学術集会 (第 31 回) (福岡県), 2016. 2.
- 26) 吉澤一巳¹⁾, 田代真弓¹⁾, 手塚 栞¹⁾, 山田岳史²⁾, 高橋吾郎²⁾, 岩井拓磨²⁾, 藤田逸郎²⁾, 金沢義一²⁾, 柿沼大輔²⁾, 菅野仁士²⁾, 横山康行²⁾, 内田英二²⁾ (1) 東京理科大学薬学部疾患薬理学研究室, 2) 日本医科大学消化器外科: EPA および BCAA は抗がん剤による骨格筋量減少を予防する. 日本静脈経腸栄養学会学術集会 (第 31 回) (福岡県), 2016. 2.
- 27) 青木悠人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 町田 幹²⁾, 安藤文彦³⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学放射線科, 3) 坪井病院外科: 今日の腸閉塞診療一絞扼診断におけるスタンダードはどこにあるのか?. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 28) 菊池友太^{1) 2)}, 兵働英也¹⁾, 古木裕康¹⁾, 安武正弘¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学総合診療科, 2) 日本医科大学消化器外科: 急性腹症における, 大学病院総合診療科の役割. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- (5) パネルディスカッション:
- 1) 三島圭介¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 野村 聡¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 八木亜記¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 和田由大¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院, 2) 日本医科大学付属病院外科: 当院における嵌頓ヘルニアに対する治療法と成績. 日本ヘルニア学会学術集会 (第 13 回) (愛知県), 2015. 5.
- 2) 栗山 翔¹⁾, 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 山初和也¹⁾, 菊池友太¹⁾, 金谷洋平¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科: 鼠径部ヘルニア嵌頓に対して腹腔鏡下ヘルニア修復術を行った 6 例の検討. 日本ヘルニア学会学術集会 (第 13 回) (愛知県), 2015. 5.
- 3) 上田純志¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科: 肝細胞癌に対する肝切除におけるドレーン留置の有用性—外科感染症の立場から—. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 4) 渡辺昌則¹⁾, 野村 聡¹⁾, 埴 秀暁¹⁾, 三島圭介¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科: 定時大腸手術における適正な予防的抗菌薬の使用は周術期感染予防に貢献する. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 5) 古木裕康¹⁾, 山田岳史¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科: 総合診療における消化器一般外科医の役割と今後の課題について. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 6) 原田潤一郎¹⁾, 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 栗山 翔¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科: 当科における TAPP 手術の位置づけ: 若手外科医の腹腔鏡手術スキルアップ. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 7) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 横山 正³⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科: 嚢胞性疾患に対する鏡視下膝切除術の有用性. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 8) 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科: 直腸腫瘍に対する単孔式経肛門の内視鏡的腫瘍切除術 (TANKO-TEM) の有用性. 日本癌病態治療研究会 (第 24 回) (栃木県), 2015. 6.
- 9) 谷合信彦¹⁾, 吉田 寛²⁾, 真々田裕宏¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 上田純志¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科: 門脈圧亢進症に対する部分的脾動脈塞栓術 (PSE) の現状と展望. 日本門脈圧亢進症学会総会 (第 22 回) (神奈川県), 2015. 9.
- 10) 高田英志¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 上田純志²⁾, 近藤亮太¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 吉田 寛²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科: 当科における難治性腹水に対する腹腔-静脈シャント術の有用性の検討. 日本門脈圧亢進症学会総会 (第 22 回) (神奈川県), 2015. 9.
- 11) 三島圭介¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 八木亜記¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 和田由大¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科: 当院における小腸イレウスに対する鏡視下手術の検討. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 12) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也¹⁾, 横山 正¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 腹腔鏡下膝切除術の標準化に向けた取り組み. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 13) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科: 結腸癌 ERAS: 早期消化管運動早期回復には何が重要か?. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.

- 14) 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院, 2) 日本医科大学消化器外科): 腹部手術歴のある鼠径部ヘルニアに対する TAPP の挑戦: 術前 TAUmapping の活用. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 15) 水口義昭¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 川野陽一¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 高田英志¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 古木裕康¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 急性胆嚢炎に対する早期・緊急 Lap-C: 術前全身状態 (ASA-PS) からみた周術期手術成績の検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 16) 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 食道切除術後の腹腔鏡下胃管作成と胸骨後/後縦隔経路での挙上. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 17) 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 萩原信敏²⁾, 松谷 毅²⁾, 野村 務²⁾, 櫻澤信行³⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科): 腹腔鏡下胃切離後, 胃内の鏡視下にステープルライン内翻する胃管作成の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 18) 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 術前シュミレーションに沿った腹腔鏡下肝部分切除. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 19) 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 山田岳史²⁾, 高橋吾郎²⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 閉塞性大腸癌治療に対する大腸ステントの病理学的影響. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 20) 新井洋紀¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 下田朋宏¹⁾, 菊池友太¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 当科における胃十二指腸潰瘍穿孔の検討. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- (6) セミナー:
- 1) 中村慶春¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下膵切除術の標準化に向けた取り組みについて. 日本消化器病学会甲信越支部例会 (第 56 回) (長野県), 2015. 6.
- 2) 谷合信彦¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 誰にでもできる医学雑誌への論文投稿. 日本手術医学会総会 (第 37 回) (大阪府), 2015. 10.
- (7) ワークショップ:
- 1) 上田康二¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学付属病院): 当院における膵頭十二指腸切除術の手術手技: 若手医師実践のための統一手順. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 2) Kougo H^{1, 2)}, Shimizu M¹⁾, Yonekawa M¹⁾, Tomita Y¹⁾, Uchida E²⁾, Takahashi H¹⁾ (1) Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, 2) Surgery for Organ and Biological Regulation, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School): Suppression of a Tumor Growing through Activated CD8+ CTLs Primed by Administration of α -galactosylceramide. 日本免疫学会総会 (第 44 回) (北海道), 2015. 11.
- 3) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 中村慶春¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 高田英志¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 赤間悠一¹⁾, 増田寛喜¹⁾, 高野竜太郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 腹壁瘻痕ヘルニアに対する治療: VENTRALIGHT ST Mesh を用いた腹腔鏡下手術. 日本ヘルニア学会学術集会 (第 13 回) (愛知県), 2015. 5.
- 4) 谷合信彦¹⁾, 吉田 寛²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科): 腹腔鏡下肝切除における術前シュミレーションの有用性. 日本肝臓学会総会 (第 51 回) (熊本県), 2015. 5.
- 5) 岩井拓磨¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学付属千葉北総病院外科): 大腸癌術後補助化学療法としての mFOLFOX6 による脾臓容積の変化. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 6) 関 奈紀¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 柳原恵子²⁾, 丸山 弘¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 内田英二^{1, 2)}, 武井寛幸²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器・一般・乳腺外科, 2) 日本医科大学付属病院): 乳癌化学療法における支持療法としての漢方製剤の有用性についての検討. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 7) 野村 聡¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 塙 秀暁¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 三島圭介¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 村木 輝¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): 食道癌に対する胸腔鏡下食道切除術習得のための step by step. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 8) 近藤亮太¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 平方敦史¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上

- 田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): エネルギーデバイスを用いた系統的肝切除. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 9) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 横山 正³⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科): 腹腔鏡下膵切除術における剥離困難な症例に対するソフト凝固システムの使用法. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 10) 高橋吾郎¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 水口義昭¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 急性虫垂炎術後合併症に関する術前予後予測因子の検討. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 11) 大山莉奈¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 渡辺善正¹⁾, 小峯 修¹⁾, 渋谷 肇¹⁾, 山田太郎¹⁾ (1) さいたま市民医療センター外科): 若手外科医による腹腔鏡下ヘルニア修復術. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 12) 原 敬介^{1,2)}, 島貫公義¹⁾, 旭 修司¹⁾, 坂本 渉¹⁾, 高 和英^{1,2)}, 武田幸樹^{1,2)} (1) 会津中央病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下ヘルニア修復術導入において当施設の対応について. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 13) 黒田誠司¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 助川 誠¹⁾, 山際 亮¹⁾, 三島圭介¹⁾, 八木亜記¹⁾, 和田由大¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科): 当センターにおける若手外科医の腹腔鏡下ヘルニア修復術 (TAPP). 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 14) 山岸杏彌¹⁾, 山田岳史¹⁾, 松本智司²⁾, 菅 隼人¹⁾, 金沢義一¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 松下 晃¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 進士誠一¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 教育機関で行う Hybrid 単孔式虫垂切除術. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 15) 村木 輝¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 助川 誠¹⁾, 八木亜記¹⁾, 三島圭介¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 豊田哲鎬¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 千原直人¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下虫垂切除術における虫垂根部処理の工夫—体内結紮と Roeder's knot について—. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 16) 小峯 修¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 大山莉奈¹⁾, 渋谷 肇¹⁾, 范姜明志¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 端山 軍¹⁾, 渡辺善正¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 山田太郎¹⁾ (1) さいたま市民医療センター): 細径鉗子を併用した単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の手技定型化. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 17) 神田知洋¹⁾, 水口義昭¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 清水哲也¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 高田英志¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 当院における単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出の手術手技. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 18) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也^{1,2)}, 住吉宏樹¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 横山 正^{1,3)}, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科): 当科における腹腔鏡下尾側膵切除術の手術成績. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第27回) (東京都), 2015. 6.
- 19) 谷合信彦¹⁾, 吉田 寛²⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 上田純志¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 中村慶春¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科): 肝切除術後におけるノードレーン法に向けた試み. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第27回) (東京都), 2015. 6.
- 20) 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 当科における腹腔鏡下肝切除術の Reduced port surgery と工夫. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第27回) (東京都), 2015. 6.
- 21) 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 食道癌術後縫合不全時の低侵襲な内視鏡的治療の工夫. 日本食道学会学術集会 (第69回) (神奈川県), 2015. 7.
- 22) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): RPS で行う回盲部切除術における術野展開と視野確保のための工夫. Needlescopic Surgery Meeting (第13回)・単孔式内視鏡手術研究会 (第9回) (秋田県), 2015. 7.
- 23) 山田岳史^{1,2)}, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) J ProVal Study Group): 消化器外科医が主導する Evidenced Based Supportive Oncology. 日本消化器外科学会総会 (第70回) (静岡県), 2015. 7.
- 24) 谷合信彦¹⁾, 吉田 寛²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科, 2) 日本医大多摩永山病院外科): 門脈圧亢進症に対する部分的脾動脈塞栓術 (PSE). 日本肝臓学会大会 (第19回) (東京都), 2015. 10.
- 25) 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 吉田寛²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科): 超高齢者 (80歳以上) 肝細胞癌患者における肝

- 細胞癌切除術の意義. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 26) 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科: 当院における嵌頓ヘルニアに対する緊急腹腔鏡下手術 (TAPP, TEP) の標準化への取り組み. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 27) 青木悠人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 安藤文彦²⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司³⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久³⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 坪井病院外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科: 当科のイレウス治療方針—造影 CT を用いた絞扼性イレウスの客観的早期診断を核として… 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 28) 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 飯野雅子²⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院看護部, 3) 日本医科大学消化器外科: 癌チーム医療におけるナースプラクティショナー (NP) の役割と課題. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 29) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 清水哲也¹⁾, 松本智司¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学医学部消化器外科: 臍臓の内視鏡外科手術におけるチーム内で統一された出血時の strategy. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 30) 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 中村慶春¹⁾, 高田英志¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア修復術における術中偶発症回避のための要点と工夫. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 31) 平方敦史¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 上田純志¹⁾, 横山 正¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 浅見敬一¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科: Vessel sealing system, バイポーラ鑷子を用いた肝切除. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 32) 川野陽一¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 青木悠人¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 当科 Orijinal な手術器具を使用した腹腔鏡下肝切除術の安全な手術手技. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 33) 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 萩原信敏²⁾, 松谷 毅²⁾, 野村 務²⁾, 櫻澤信行³⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科: 食道癌術後の縫合不全, 食道穿孔後の瘻孔に対する低侵襲的治療. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 34) 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 神田知洋¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科: 当科における腹腔鏡下肝切除術の Reduced port surgery 導入と工夫. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 35) 黒田誠司¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 針金幸平¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター: バリテックス・ラップログリップの使用経験. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 36) 清水哲也¹⁾, 中村慶春¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 肝胆膵内視鏡外科手術におけるチーム内で統一された出血時の strategy. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 37) 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科: 腹腔鏡下肝部分切除と外側区域切除のピットフォールおよび我々の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 38) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 神田知洋¹⁾, 横山正¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 水口義昭¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 腹腔鏡下膵切除術の標準化に向けた取り組み: pitfall とその対策について. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 39) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 中村慶春¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 牧野浩司²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科: III 型食道裂孔ヘルニアに対する内視鏡外科手術のポイントと治療成績. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 40) 住吉宏樹¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 横山正¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 腹腔鏡下膵切除術における術中出血における止血手技の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 41) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也¹⁾, 横山 正¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 腹腔鏡下膵切除術の安全な普及をめざした膵切離・膵消化管吻合の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 42) 水口義昭¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 神田知洋¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 古木裕康¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 鏡視下胆道消化管連続一層吻合術: 豚モデルによるトレーニングと結果. 腹腔鏡下胆道手術研究会 (第 5 回) (福井県), 2016. 2.

- 43) 山初和也¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 川野陽一¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 急性胆嚢炎ガイドライン重症度分類評価と当科における手術成績の検討. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 44) 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 木山輝郎²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 朝霞台中央総合病院外科): 腹部救急疾患術後における栄養管理の検討. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 45) 山田岳史¹⁾, 青木悠人¹⁾, 安藤文彦¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 急性腹症ガイドラインの検証: 腸閉塞における造影 CT の適応. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 46) 安藤文彦¹⁾, 山田岳史²⁾, 青木悠人²⁾, 菅 隼人²⁾, 小泉岐博²⁾, 進士誠一²⁾, 横山康行²⁾, 高橋吾郎²⁾, 岩井拓磨²⁾, 湖山信篤¹⁾, 山下直行¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 坪井病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 絞扼性腸閉塞で早期より現れる画像所見は?. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 47) 増田有香¹⁾, 山田岳史¹⁾, 青木悠人¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 自然解除された絞扼性腸閉塞の 5 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 48) 保田智彦¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 松本智司¹⁾, 川野陽一¹⁾, 松田明久¹⁾, 山初和也¹⁾, 関口久美子¹⁾, 原田潤一郎¹⁾, 栗山 翔¹⁾, 赤間悠一¹⁾, 増田寛喜¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 当科における腹腔鏡補助下胃切除後の Petersen's hernia の経験とその対処. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 49) 古木裕康¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 清水哲也¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 抗血栓薬内服中の早期・緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術の周術期成績. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 50) 横山康行¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 急性虫垂炎に対する緊急手術と待機手術における術後感染の現状と課題. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 51) 上田康二¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 当科における急性虫垂炎手術における術後合併症の検討. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 52) 渡辺昌則¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 三島圭介¹⁾, 野村 聡¹⁾, 塙 秀暁¹⁾, 千原直人¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科): 大腸穿孔手術における SSI 発生率から検討した腹壁閉鎖法の選択. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 53) 高橋吾郎¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 合併症発生率より考える虫垂炎治療戦略. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 54) 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 中村慶春¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): ERCP に関連した後腹膜穿孔の原因, 診断とその対応. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 55) 川島万平¹⁾, 山田岳史¹⁾, 松本智司²⁾, 菅 隼人¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院消化器外科): 単孔式腹腔鏡手術で行う Interval Appendectomy. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 56) 三島圭介¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 豊田哲鎬¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 村木 輝¹⁾, 助川 誠¹⁾, 針金幸平¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科): 当科での嵌頓ヘルニアに対する緊急腹腔鏡下手術. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.

(8) 一般講演:

- 1) Kawano Y¹⁾, Tani ai N¹⁾, Nakamura Y¹⁾, Yoshioka M¹⁾, Matsushita A¹⁾, Mizuguchi Y¹⁾, Shimizu T¹⁾, Kanda T¹⁾, Takata H¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School): OUR VARIOUS ARTIFICES FOR IMPROVEMENT OF SAFETY AND RELIABILITY DURING LAPAROSCOPIC LIVER RESECTION. The 12th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (Korea), 2015. 9.
- 2) Takano R¹⁾ (1) Nippon Medical School): LONG-TERM OUTCOMES OF LAPAROSCOPIC SPLEEN PRESERVING DISTAL PANCREATECTOMY. The 12th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (Korea), 2015. 9.
- 3) Nakamura Y¹⁾, Matsushita A¹⁾, Katsuno A¹⁾, Yamahatsu K¹⁾, Sumiyoshi H¹⁾, Mizuguchi Y¹⁾, Kanda T¹⁾, Yokoyama T¹⁾, Tajiri T¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School): LAPAROSCOPIC PANCREATECTOMY FOR PANCREATIC MALIGNANCY. The 12th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (Korea), 2015. 9.

- 4) Mizuguchi Y¹⁾ (1) Nippon Medical School Hospital) : MODIFIED PROCEDURE FOR THE LAPAROSCOPIC BILIARY ENTERIC ANASTOMOSIS USING HANDMADE BOTH-ENDS NEEDLES. The 12th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (Korea), 2015. 9.
- 5) Yamahatsu K¹⁾ (1) Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Nippon Medical School) : PANCREATICOENTERIC ANASTOMOSIS WITH CLOSURE OF THE PANCREATIC STUMP BY ENDOSCOPIC LINEAR STAPLER IN LAPAROSCOPIC PANCREATICODUODENECTOMY -RELIABLETECHNIQUE AND BENEFITS FOR PANCREATIC RESECTION-. The 12th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (Korea), 2015. 9.
- 6) Matsuhita A¹⁾, Nakamura Y¹⁾, Sumiyoshi H¹⁾, Yamahatsu K¹⁾, Katsuno A¹⁾, Shimizu T¹⁾, Mizuguchi Y¹⁾, Yoshioka M¹⁾, Taniai N¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School) : THE ONCOLOGIC AND LONG-TERM OUTCOMES OF LAPAROSCOPIC PANCREATICODUODENECTOMY FOR PANCREAS CANCER USING TRANSMESOCOLONIC APPROACH. The 12th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (Korea), 2015. 9.
- 7) Muraki A¹⁾, Suzuki H¹⁾, Mizutani S¹⁾, Yamagishi S¹⁾, Toyoda T¹⁾, Nomura S¹⁾, Hanawa H¹⁾, Matsunobu T¹⁾, Chihara N¹⁾, Yoshino M¹⁾, Watanabe M¹⁾, Uchida E²⁾ (1)Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, 2)Nippon Medical School) : REDUCED PORT SURGERY IN LAPAROSCOPIC APPENDECTOMY : A RETROSPECTIVE COMPARATIVE STUDY<WHICH IS THE BEST WAY WITH 3 OR 2 OR SINGLE PORT?>. The 12th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (Korea), 2015. 9.
- 8) Sumiyoshi H¹⁾ (1) Nippon Medical School) : CLINICAL OUTCOMES FOR 15 CONSECUTIVE PATIENTS UNDERGOING LAPAROSCOPIC INSULINOMA RESECTION : A ROLE FOR INTRAOPERATIVE BLOOD INSULIN MONITORING IN LAPAROSCOPIC PANCREATECTOMY. The 12th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (Korea), 2015. 9.
- 9) Iwai T¹⁾, Yamada T¹⁾, Kan H¹⁾, Matsumoto S²⁾, Koizumi M¹⁾, Shinji S¹⁾, Matsuda A²⁾, Yokoyama Y¹⁾, Takahashi G¹⁾, Watanabe A³⁾, Nakayama M⁴⁾, Shiro K⁴⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School Hospital, Surgery, 2) Nippon Medical School Chiba-Hokusou Hospital, Surgery, 3) Nippon Medical School, Biochemistry and Molecular Biology, 4) TOPPAN Printeing Co.Ltd, TOPPAN Technical Institute) : Follow-up after resection of metastatic liver tumor from colorectal cancer using circulating cell-free DNA. ESMO (Austria), 2015. 9.
- 10) Takahashi G¹⁾, Yamada T¹⁾, Kan H¹⁾, Matsumoto S²⁾, Koizumi M¹⁾, Shinji S¹⁾, Matsuda A²⁾, Yokoyama Y¹⁾, Iwai T¹⁾, Watanabe A³⁾, Nakayama M⁴⁾, Kitano S⁴⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School Digestive Surgery, 2) Nippon Medical School Chiba Hokusou Hospital, Surgery, 3) Nippon Medical School, Biochemistry and Molecular Biology, 4) TOPPAN Printeing Co.Ltd, TOPPAN Technical Institute) : Self-expandable colonic stent increases plasma level of circulating cell free DNA significantly in patients with obstructive colorectal cancer. ESMO (Austria), 2015. 9.
- 11) Masuda Y¹⁾, Yamada T¹⁾, Takahashi G¹⁾, Iwai T¹⁾, Kan H¹⁾, Koizumi M¹⁾, Shinji S¹⁾, Yokoyama Y¹⁾, Watanabe A²⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School Hospital, Surgery, 2) Nippon Medical School, Biochemistry and Molecular Biology) : Anti-EGFR antibody re-challenge in patients with metastatic colorectal cancer : Usefulness of liquid biopsy to detect KRAS mutation. ESMO ASIA (Singapore), 2015. 12.
- 12) Yamada T¹⁾, Koda K, Ishibashi K, Kato H, Nishimura G, Ooki S, Yoshimatsu K, Uchida E¹⁾, Kan H¹⁾, Kosugi C, Tanaka S, Kato R, Kouketsu S, Nakajima H, Maekawa H, et al. (1) Nippon Medical School Hospital, Surgery) : Phase II clinical trial of adjuvant chemotherapy with mFOLFOX6/XELOX for stage III colon cancer in Japanese subjects. ESMO ASIA (Singapore), 2015. 12.
- 13) Takahashi G¹⁾, Yamada T¹⁾, Kan H¹⁾, Matsumoto S²⁾, Koizumi M¹⁾, Shinji S¹⁾, Matsuda A²⁾, Yokoyama Y¹⁾, Iwai T¹⁾, Watanabe A³⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School Digestive Surgery, 2) Nippon Medical School Chiba Hokusou Hospital, Surgery, 3) Nippon Medical School, Biochemistry and Molecular Biology) : Novel, highly sensitive molecular biomarkers for metastatic colorectal cancer. ESMO ASIA (Singapore), 2015. 12.
- 14) 水口義昭¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 中村慶春¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 松下 晃¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 清水哲也¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 確実な腹腔鏡下胆道小腸吻合術習得のための Learning strategy. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 15) Matsushita A¹⁾, Nakamura Y¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Department of Gastrointestinal and Hepato-Pancreatic Surgery, Nippon Medical School) : The Oncologic and Long-term Outcomes of Laparoscopic Pancreaticoduodenectomy for Pancreatic Cancer. SUMMER SEMINAR (第 4 回) (沖縄県), 2015. 7.
- 16) 上田純志¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦²⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 吉岡正人²⁾, 平方敦史¹⁾, 水口義昭²⁾, 清水哲也²⁾, 神田知洋²⁾, 高田英志²⁾, 近藤亮太²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院, 2) 日本医科大学附属病院) : 胆嚢癌と鑑別が困難であった黄色肉芽腫性胆嚢炎の検討. 日本胆道学会学術集会 (第 51 回) (栃木県), 2015. 9.

- 17) 住吉宏樹¹⁾, 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 水口義昭¹⁾, 進士誠一¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 石渡俊行²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科, 2) 日本医大統御機構診断病理学) : 腺癌における STAT5a/5b の発現および増殖, 抗癌剤感受性, 細胞接着, 浸潤への関与. 日本癌学会学術総会 (第 74 回) (愛知県), 2015. 10.
- 18) 山下直行¹⁾, 湖山信篤¹⁾, 保田智彦¹⁾, 安藤文彦¹⁾, 萩原信敏²⁾, 櫻澤信行³⁾, 藤田逸郎²⁾, 金沢義一²⁾, 菅野仁士²⁾, 小野寺浩之²⁾, 宮下正夫³⁾, 吉田初男⁴⁾, 内田英二²⁾ (1) 坪井病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科, 4) 今泉西病院外科) : 噴門側胃切除は胃全摘より体重減少と長期予後を改善する可能性がある. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 19) 赤城一郎¹⁾, 松谷 毅²⁾, 石橋 宰³⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 野村 務²⁾, 萩原信敏²⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下正夫⁴⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科, 3) 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命, 4) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 食道扁平上皮癌における PI3K-Akt-mTOR 経路の網羅的解析. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 20) 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 胸部食道癌 T3,T4 症例に対する術前化学療法後の外科治療. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 21) 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小野寺浩之¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 櫻澤信行²⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 牧野浩司³⁾, 山下直行⁴⁾, 木山輝郎⁵⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科, 4) 坪井病院外科, 5) 朝霞台中央総合病院外科) : 胃癌手術における予後予測因子としての術前 modified Glasgow Prognostic Score (mGPS) の意義. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 22) 水口義昭¹⁾, 中村慶春¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 腹腔鏡下胆管空腸吻合の効果的習得システム : プタ胆管空腸吻合・胆管空腸吻合モデル. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 23) 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 船橋公彦²⁾, 小池淳一²⁾, 吉松和彦²⁾, 横溝 肇²⁾, 石田秀行²⁾, 石橋敬一郎²⁾, 斉田芳久²⁾, 榎本利行²⁾, 勝又健次²⁾, 長谷川博俊²⁾, 幸田圭史²⁾, 小泉岐博¹⁾, 内田英二¹⁾, その他 5 名 (1) 日本医科大学消化器外科, 2) FACT Trial 研究グループ) : T3 または T4 の StageII/III 直腸癌に対する術前化学療法としての mFOLFOX6 療法の有効性および安全性の検討. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 24) 松本智司¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 菅 隼人²⁾, 山田岳史²⁾, 小泉岐博²⁾, 松田明久¹⁾, 進士誠一²⁾, 高橋吾郎²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 腹腔鏡下右側結腸手術における頭側アプローチによる CME と腹腔内腸管切離. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 25) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 松本智司²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 右側結腸癌に対する頭側アプローチ先行による腹腔鏡下手術と周囲臓器浸潤症例への対策. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 26) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 横山 正³⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 腹腔鏡下尾側膝切除術 (Lap-DP) における手術部位感染と臍液瘻との関連について. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 27) 青木悠人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 安藤文彦²⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司³⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 坪井病院外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 造影 CT を用いた絞扼性イレウスでの腸管壊死の予測. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 28) 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小野寺浩之¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 安全性, 確実性を考慮し侵襲低減を目指した鏡視下食道癌手術における当科の取り組み. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 29) 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 当科の腹腔鏡下肝切除術の手技と工夫. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 30) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 松田明久²⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 周期期の病態生理学に基づいた大腸癌 Fast track surgery : 早期回復に本当に重要な介入は?. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 31) 谷 杏彌¹⁾, 内田英二²⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 大草幹大¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 閉塞性大腸癌手術症例の検討. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 32) 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 高橋吾郎²⁾, 山田岳史²⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 閉塞性大腸癌治療における大腸ステントによる BTS (bridge to surgery) の意義 : 経肛門減圧管との比較.

- 日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 33) 神田知洋¹，水口義昭¹，真々田裕宏¹，谷合信彦¹，中村慶春¹，吉岡正人¹，松下 晃¹，川野陽一¹，清水哲也¹，勝野 暁¹，高田英志¹，住吉宏樹¹，近藤亮太¹，内田英二¹（¹日本医科大学消化器外科）：当院における単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の工夫。日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 34) 松下 晃¹，中村慶春¹，住吉宏樹¹，山初和也²，勝野 暁¹，神田知洋¹，清水哲也¹，水口義昭¹，吉岡正人¹，横山 正³，谷合信彦¹，真々田裕宏¹，内田英二¹（¹日本医科大学消化器外科，²日本医科大学千葉北総病院外科，³日本医科大学多摩永山病院外科）：腹腔鏡下膝頭十二指腸切除術における endoscopic linear stapler (ELS) を用いた脘切離と脘消化管吻合の工夫。日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 35) 山初和也¹，中村慶春²，松下 晃²，勝野 暁²，住吉宏樹²，横山 正³，松本智司¹，宮下正夫¹，内田英二²（¹日本医科大学千葉北総病院外科，²日本医科大学消化器外科，³日本医科大学多摩永山病院外科）：遺残なく脘インスリノーマを切除するための当科の取り組みについて。日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 36) 清水哲也¹，谷合信彦¹，吉岡正人¹，高田英志¹，近藤亮太¹，水口義昭¹，神田知洋¹，松下 晃¹，中村慶春¹，真々田裕宏¹，内田英二¹（¹日本医科大学消化器外科）：腹腔鏡下肝外側区域切除術の定型化を目標に一安全に行うための当科の工夫。日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 37) 眞鍋忠理子¹，進士誠一¹，菅 隼人¹，松本智司²，山田岳史¹，小泉岐博¹，山岸杏彌¹，横山康行¹，高橋吾郎¹，岩井拓磨¹，内田英二¹（¹日本医科大学消化器外科，²日本医科大学千葉北総病院外科）：85歳以上の超高齢者の大腸癌手術症例の検討。日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 38) 吉岡将史¹，中村慶春¹，勝野 暁¹，住吉宏樹¹，松下 晃¹，山初和也¹，吉岡正人¹，水口義昭¹，清水哲也¹，神田知洋¹，谷合信彦¹，内田英二¹（¹日本医科大学消化器外科）：遺残なくインスリノーマ手術を終える為に：術中の経時的 IRI モニタリングが腫瘍の完全摘除に有用であった1例。日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 39) 進士誠一¹，菅 隼人¹，松本智司²，山田岳史¹，小泉岐博¹，山岸杏彌¹，横山康行¹，高橋吾郎¹，岩井拓磨¹，大草幹大¹，内田英二¹（¹日本医科大学消化器外科，²日本医科大学千葉北総病院外科）：Marionette Technique を用いた大腸癌に対する reduced port surgery。日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 40) 木山輝郎¹，菅野仁士¹，藤田逸郎¹，小野寺浩之¹，金沢義一¹，加藤俊二¹，内田英二¹，村田 順²（¹日本医科大学消化器外科，²朝霞台中央総合病院外科）：リニアステープラーを用いたオーバーラップ端側吻合と機能的端々吻合の比較。日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 41) 大草幹大¹，進士誠一¹，菅 隼人¹，松本智司¹，山田岳史¹，小泉岐博¹，山岸杏彌¹，横山康行¹，岩井拓磨¹，高橋吾郎¹，内田英二¹（¹日本医科大学消化器外科）：高齢者における腹腔鏡補助下大腸癌手術での皮下気腫発生のリスク因子の検討。日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 42) 岩井拓磨¹，山田岳史¹，菅 隼人¹，松本智司²，小泉岐博¹，進士誠一¹，松田明久²，山岸杏彌¹，横山康行¹，高橋吾郎¹，内田英二¹（¹日本医科大学外科，²日本医科大学千葉北総病院外科）：Circulating cell free DNA を用いた治療効果予測と効果判定。日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 43) 高橋吾郎¹，山田岳史¹，菅 隼人¹，松本智司²，小泉岐博¹，松田明久²，進士誠一¹，山岸杏彌¹，横山康行¹，岩井拓磨¹，内田英二¹（¹日本医科大学消化器外科，²日本医科大学千葉北総病院外科）：結腸癌 StageIII における 5-FU および葉酸関連代謝酵素活性と予後との検討。日本外科学会定期学術集会（第115回）（愛知県），2015. 4.
- 44) 原 敬介¹，島貫公義¹，旭 修司¹，坂本 渉¹，武田幸樹¹，内田英二²（¹会津中央病院外科，²日本医科大学消化器外科）：大腸癌術後経過中早期に急性食道粘膜病変（AEML）を来した1例。日本消化器病学会総会（第101回）（宮城県），2015. 4.
- 45) 新井洋紀¹，和田龍一¹，石野孔祐¹，工藤光洋¹，内藤善哉¹（¹日本医科大学大学院医学研究科統御機構診断病理学）：食道胃接合部と前庭部に発生した2つの腺癌のプロテオーム解析。日本病理学会総会（第104回）（愛知県），2015. 4.
- 46) 高橋吾郎¹，山田岳史¹，菅 隼人¹，金沢義一¹，小泉岐博¹，水口義昭¹，進士誠一¹，山岸杏彌¹，岩井拓磨¹，内田英二¹（¹日本医科大学消化器外科）：胃癌・大腸癌終末期における骨格筋量の減少は予後不良因子である：最大大腰筋断面積を用いた検討。癌免疫外科研究会（第36回）（鹿児島県），2015. 5.
- 47) 小泉岐博¹，山田岳史¹，菅 隼人¹，進士誠一¹，山岸杏彌¹，横山康行¹，高橋吾郎¹，岩井拓磨¹，内田英二¹（¹日本医科大学付属病院消化器外科）：circulating cell free DNA による直腸癌術前化学療法効果判定の可能性。癌免疫外科研究会（第36回）（鹿児島県），2015. 5.
- 48) 新井洋紀¹，松谷 毅¹，萩原信敏¹，山岸杏彌¹，高田英志¹，向後英樹¹，横山康行¹，高橋吾郎¹，岩井拓磨¹，野村 務¹，内田英二¹（¹日本医科大学消化器外科）：成人鼠径ヘルニアに対する手術手技の変遷と成績。日本ヘルニア学会学術集会（第13回）（愛知県），2015. 5.
- 49) 松田明久¹，松本智司¹，櫻澤信行¹，金谷洋平¹，栗山 翔¹，宮下正夫¹，内田英二²（¹日本医科大学千葉北総病院外科，²日本医科大学消化器外科）：腹腔鏡下に修復し得た腸骨採取後下腰ヘルニアの1例。日本ヘルニア学会学術集会（第13回）（愛知県），

2015. 5.

- 50) 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 野村 務²⁾, 栗山 翔¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 食道癌術後の食道裂孔絞扼性ヘルニアに対して腹腔鏡下に修復した1例. 日本ヘルニア学会学術集会 (第13回) (愛知県), 2015. 5.
- 51) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸²⁾, 谷合信彦³⁾, 吉田 寛⁴⁾, 山岸征嗣¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 村木 輝¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 大山莉奈¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 正風会小林病院外科, 3) 日本医科大学外科, 4) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 狭視野における胆管空腸・膵管空腸吻合の工夫. 手術手技研究会 (第69回) (群馬県), 2015. 5.
- 52) 岩井拓磨¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 末梢血 ccfDNA を用いた直腸癌術前化学療法の効果予測. 日本消化器内視鏡学会総会 (第89回) (愛知県), 2015. 5.
- 53) 湖山信篤¹⁾, 山下直行¹⁾, 安藤文彦¹⁾, 下田朋宏¹⁾, 岡田勝治²⁾ (1) 坪井病院外科, 2) 坪井病院消化器内科) : ビスホスホネート製剤 (sodium risedronate) による食道潰瘍の1例—腰椎圧迫骨折, 食道裂孔ヘルニアと本疾患の関連について—. 日本消化器内視鏡学会総会 (第89回) (愛知県), 2015. 5.
- 54) 日下部誠¹⁾, 神田知洋¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 水口義昭¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 清水哲也¹⁾, 内田英二¹⁾, 小野澤志郎²⁾, 村田 智²⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学付属病院放射線科) : 球状塞栓物質 (ディーシービーズ) による肝動脈化学塞栓術後に発症した壊疽性胆嚢炎の1例. 日本消化器病学会関東支部例会 (第334回) (東京都), 2015. 5.
- 55) 宮坂俊光¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 真々田裕宏²⁾, 谷合信彦²⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 有症状多嚢胞性肝疾患に対する治療法の検討. 日本肝臓学会総会 (第51回) (熊本県), 2015. 5.
- 56) 近藤亮太¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 平方敦史²⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 上田純志²⁾, 高田英志¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 吉田 寛²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 巨大肝嚢胞に対する腹腔鏡下肝嚢胞開窓術. 日本肝臓学会総会 (第51回) (熊本県), 2015. 5.
- 57) 高田英志¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 上田純志²⁾, 近藤亮太²⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 吉田 寛²⁾, 内藤善哉³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科, 3) 日本医科大学統御機構診断病理学) : 肝細胞癌における GRP78 の発現と臨床病理学的検討. 日本肝臓学会総会 (第51回) (熊本県), 2015. 5.
- 58) 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 当科における腹腔鏡下再肝切除の手技の工夫と有用性. 日本肝臓学会総会 (第51回) (熊本県), 2015. 5.
- 59) 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 高田英志¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 腹腔鏡下外側区域切除の定型化を目標とした工夫. 日本肝臓学会総会 (第51回) (熊本県), 2015. 5.
- 60) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 三島圭介¹⁾, 村木 輝¹⁾, 中田亮輔¹⁾, 谷合信彦²⁾, 吉田 寛³⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 星野有哉¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 肝門部領域癌術前ドレナージに対する当院の方針と成績. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 61) 三島圭介¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 助川 誠¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 大山莉奈¹⁾, 山際 亮¹⁾, 谷合信彦²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科) : Intraductal Papillary Neoplasma of Bile Duct (IPNB) の手術3症例. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 62) 篠塚恵理子¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 虫垂炎術後に腸管皮膚瘻を形成し, 腹腔鏡を併用し瘻孔切除を行った1例. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 63) 助川 誠¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科) : 消化器疾患における急性期 DIC へのリコンビナントトロンボモジュリン (rTM) 有用性の検討. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 64) 宮坂俊光¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 肩関節滑膜肉腫の腹腔内転移を認めた1例. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 65) 安藤文彦^{1,3)}, 山下直行¹⁾, 湖山信篤¹⁾, 櫻澤信行^{1,3)}, 下田朋宏^{1,3)}, 上田康二^{1,3)}, 和知栄子²⁾, 小倉 豪⁴⁾, 内田英二³⁾ (1) 慈山会医学研究所付属坪井病院外科, 2) 慈山会医学研究所付属坪井病院病理診断科, 3) 日本医科大学消化器外科, 4) 東海大学医学部病理診断科) : 胃癌と鑑別が問題となった胃 MALT リンパ腫の1切除例. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 6.
- 66) 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 塙 秀暁¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 千原直人¹⁾, 野村 聡¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科) : 腹腔鏡下胃全摘術における開腹術手順と同じ再建法の

- 工夫. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 67) 高野竜太郎¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 古木裕康¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 増田有香¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 上行結腸癌術後の腸管気腫および門脈気腫が自然に消滅した 1 例. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 68) 山初和也¹⁾, 中村慶春²⁾, 松下 晃²⁾, 勝野 暁²⁾, 住吉宏樹²⁾, 横山 正³⁾, 谷合信彦²⁾, 吉岡正人²⁾, 水口義昭²⁾, 清水哲也²⁾, 神田知洋²⁾, 真々田裕宏²⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科: 当科における腹腔鏡下尾側膝切除術の手術手技. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 69) 川野陽一¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 当科における腹腔鏡下肝切除術の普及に向けた適応と様々な工夫を凝らした安全な手術手技. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 70) 高田英志¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 再発肝癌症例に対する腹腔鏡下再肝切除術の適応. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 71) 近藤亮太¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学付属病院: 肝細胞癌による膵頭後部孤立性リンパ節転移に対して, 肝膵同時切除術を行い完全切除が得られた 1 症例. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 72) 助川 誠¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸^{1, 2)}, 山岸征嗣¹⁾, 三島圭介¹⁾, 埜 秀暁¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 正風会小林病院外科, 3) 日本医科大学付属病院消化器外科: 膵頭十二指腸切除術を施行した十二指腸 Brunner 腺癌の 1 例. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 73) 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 高田英志¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: 安全な腹腔鏡下肝部分切除, 肝外側区域切除術の定型化を目標とした当科の工夫. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 74) 上田純志¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 真々田裕宏²⁾, 谷合信彦¹⁾, 横山 正¹⁾, 吉岡正人²⁾, 平方敦史¹⁾, 川野陽一²⁾, 水口義昭²⁾, 清水哲也²⁾, 神田知洋²⁾, 高田英志²⁾, 近藤亮太¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科: 肝切除における肝血流遮断解除後の肝十二指腸間膜用手マッサージ法の有用性. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 75) 平方敦史¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 横山 正¹⁾, 上田純志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学付属病院外科: 巨大肝腫瘍に対する肝切除術注意点. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 76) 住吉宏樹¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 高田英志¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 横山正^{1, 2)}, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科: PNET に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績およびインスリンノーマを遺残無く切除するための取り組み. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 77) 村木 輝¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 松信哲朗¹⁾, 相本隆幸^{1, 2)}, 山岸征嗣¹⁾, 中田亮輔¹⁾, 三島圭介¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 正風会小林病院, 3) 日本医科大学消化器外科: 4 年間に膵頭十二指腸切除を含む 5 回の手術を施行した脱分化型脂肪肉腫の 1 例. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 78) 三島圭介¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 助川 誠¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 大山莉奈¹⁾, 谷合信彦²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科: 当院で手術を行った Intraductal Papillary Neoplasma of Bile Duct (IPNB) の検討. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 79) 山岸征嗣¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 村木 輝¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学付属病院外科: 当院での肝切除後の術後経過の検討—クリニカルパス導入に際して. 日本肝胆膵外科学会学術集会 (第 27 回) (東京都), 2015. 6.
- 80) 岩井拓磨¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科: Circulating cell free DNA を用いた大腸癌肝転移術後の再発予測. 日本癌病態治療研究会 (第 24 回) (栃木県), 2015. 6.
- 81) 高野竜太郎¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小野寺浩之¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 赤間悠一¹⁾, 増田寛喜¹⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 内田英二¹⁾, 坂本長逸²⁾, 田中 周²⁾, その他 2 名 (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学消化器内科: 内視鏡的に整復し得た胃軸捻転症の 1 例. 日本消化器内視鏡学会関東地方会 (第 100 回) (東京都), 2015. 6.
- 82) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸^{1, 2)}, 山岸征嗣¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 村木 輝¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 大山莉奈¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 正風会小林病院外科, 3) 日本医科大学外科: SMA 神経叢浸潤陰性膵頭部癌に対する左方アプローチ膵頭十二指腸切除. 日本膵臓学会大会 (第 46 回) (愛知県), 2015. 6.
- 83) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 横山 正³⁾, 水口義昭¹⁾, 石渡俊行⁴⁾, 内藤善哉⁴⁾, 田尻 孝¹⁾, 内田

- 英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ³⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科, ⁴⁾ 日本医科大学病理診断部)：膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績. 日本膵臓学会大会 (第46回) (愛知県), 2015. 6.
- 84) 山初和也¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 原絵津子¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, ²⁾ 日本医科大学消化器外科)：膵管内乳頭粘液腫瘍由来膵腺扁平上皮癌の1切除例. 日本膵臓学会大会 (第46回) (愛知県), 2015. 6.
- 85) 山岸征嗣¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 三島圭介¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, ²⁾ 日本医科大学付属病院外科)：当院でDP-CARを施行した腹腔動脈浸潤膵体尾部癌の検討. 日本膵臓学会大会 (第46回) (愛知県), 2015. 6.
- 86) 日下部誠¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 金沢義一¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科)：術前に小腸内視鏡にて小腸憩室出血と診断し, 腹腔鏡下に切除しえた消化管重複症の1例. 外科集談会 (第837回) (東京都), 2015. 6.
- 87) 飯田信也¹⁾, 金谷洋平²⁾, 羽鳥 務³⁾, 柳原恵子⁴⁾, 宮下正夫²⁾, 内田英二⁵⁾, 武井寛幸⁴⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院乳腺科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ³⁾ 日本医科大学千葉北総病院病理部, ⁴⁾ 日本医科大学乳腺科, ⁵⁾ 日本医科大学消化器外科)：潜在性乳癌と副乳癌の鑑別と対処法. 日本乳癌学会学術総会 (第23回) (東京都), 2015. 7.
- 88) 水口義昭¹⁾, 中村慶春¹⁾, 清水哲也¹⁾, 谷谷信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 川野陽一¹⁾, 神田知洋¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 高田英志¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：肝膵腹腔鏡手術の効果的トレーニング：Swine (ブタ) 肝膵手術モデルの構築. SUMMER SEMINAR (第4回) (沖縄県), 2015. 7.
- 89) 清水哲也¹⁾, 谷谷信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：腹腔鏡下外側区域切除の定型化を目標とした当科の工夫. SUMMER SEMINAR (第4回) (沖縄県), 2015. 7.
- 90) 川野陽一¹⁾, 谷谷信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 吉田寛¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科)：当科における鏡視下肝切除術の安全性と確実性の向上を目的とした様々な工夫と取り組み. SUMMER SEMINAR (第4回) (沖縄県), 2015. 7.
- 91) 吉岡正人¹⁾, 谷谷信彦¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科)：当科における腹腔鏡下再肝切除術の有用性. SUMMER SEMINAR (第4回) (沖縄県), 2015. 7.
- 92) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 中村慶春¹⁾, 川見典之²⁾, 岩切勝彦²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学医学部消化器外科, ²⁾ 日本医科大学医学部消化器内科, ³⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科)：III型 (巨大) 食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡手術：当手術における治療成績. 日本食道学会学術集会 (第69回) (神奈川県), 2015. 7.
- 93) 野村 聡¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 塙 秀暁¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 千原直人¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, ²⁾ 日本医科大学外科)：当科における腹臥位胸腔鏡下食道切除術習得のための手術手順, 手技の定型化. 日本食道学会学術集会 (第69回) (神奈川県), 2015. 7.
- 94) 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：上部内視鏡を用いた吻合部・胃管の縫合不全・血流障害の評価と合併症予防新たな試み. 日本食道学会学術集会 (第69回) (神奈川県), 2015. 7.
- 95) 渡辺昌則¹⁾, 野村 聡¹⁾, 塙 秀暁¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 三島圭介¹⁾, 村木 輝¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, ²⁾ 日本医科大学消化器外科)：E-PASS scoring systemによる食道癌術後短期および長期成績の検討. 日本食道学会学術集会 (第69回) (神奈川県), 2015. 7.
- 96) 三島圭介¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 野村 聡¹⁾, 塙 秀暁¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 千原直人¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 許田典夫²⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院病理, ³⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科)：4型胃癌様の胃壁内転移をきたした食道扁平上皮癌の1例. 日本食道学会学術集会 (第69回) (神奈川県), 2015. 7.
- 97) 篠塚恵理子¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 若林幸幸¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, ²⁾ 日本医科大学消化器外科)：Trousseau 症候群を呈した食道腺癌の1例. 日本食道学会学術集会 (第69回) (神奈川県), 2015. 7.
- 98) 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 牧野浩司²⁾, 丸山 弘²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科)：高度局所進行食道癌に対する腹腔鏡補助下食道バイパス術とステント留置術. 日本食道学会学術集会 (第69回) (神奈川県), 2015. 7.
- 99) 塙 秀暁¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 野村 聡¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 三島圭介¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, ²⁾ 日本医科大学外科)：術前化学療法により組織学的CRが得られたcStageII食道癌の1例. 日本食道学会学術集会 (第69回) (神奈川県), 2015. 7.
- 100) 黒田誠司¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 千原直人¹⁾, 野村 聡¹⁾, 塙 秀暁¹⁾, 三島圭介¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 内田英二²⁾ (1)

- 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, ²⁾ 日本医科大学外科): 壁外発育型食道 GIST の 1 例. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (神奈川県), 2015. 7.
- 101) 赤城一郎¹⁾, 松谷 毅²⁾, 石橋 宰⁴⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 野村 務²⁾, 萩原信敏²⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科, ²⁾ 日本医科大学消化器外科, ³⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ⁴⁾ 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学): 食道癌細胞における PI3K-Akt-mTOR 経路関連遺伝子の網羅的解析. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (神奈川県), 2015. 7.
- 102) 堀場光二¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 山田真吏奈²⁾, 櫻澤信行¹⁾, 牧野浩司³⁾, 野村 務⁴⁾, 内田英二⁴⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, ³⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科, ⁴⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科): 食道扁平上皮癌での CD147, MCT-1, MMP-9 の発現意義. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (神奈川県), 2015. 7.
- 103) 上田康二¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院, ³⁾ 日本医科大学千葉北総病院): 経食道心エコーによる食道穿孔及び後縦隔膿瘍に対して穿刺ドレナージを施行した 1 例. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (神奈川県), 2015. 7.
- 104) 山田岳史¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科): 循環 DNA を用いた大腸癌転移巣の分子診断. 日本がん転移学会学術集会・総会 (第 24 回) (大阪府), 2015. 7.
- 105) 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 野村 務¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科): 食道癌化学放射線療法後の再発に対するアルゴンプラズマ凝固療法. 日本癌局所療法研究会 (第 37 回) (千葉県), 2015. 7.
- 106) 高野竜太郎¹⁾, 清水哲也¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科, ²⁾ 日本医科大学消化器外科): 下大静脈, 左腎静脈, 左卵巣静脈血栓を合併した臍粘性嚢胞腺腫の 1 例. 日本消化器病学会関東支部例会 (第 335 回) (東京都), 2015. 7.
- 107) 神田知洋¹⁾, 水口義昭¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科): 単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の工夫. Needlescopic Surgery Meeting (第 13 回)・単孔式内視鏡手術研究会 (第 9 回) (秋田県), 2015. 7.
- 108) 水口義昭¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 川野陽一¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科): 当院における整容性を踏まえた 3mm Needle scopic Lap-C の工夫. Needlescopic Surgery Meeting (第 13 回)・単孔式内視鏡手術研究会 (第 9 回) (秋田県), 2015. 7.
- 109) 進士誠一¹⁾, 松田陽子²⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司³⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 新井富生²⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 東京都健康長寿医療センター, ³⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科): 低分化胞巣を有する大腸癌における hMLH1 発現と SSA/P との関連. 大腸癌研究会 (第 83 回) (福岡県), 2015. 7.
- 110) 岩井拓磨¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科): 大腸癌肝転移切除例に対する周術期化学療法の検討. 大腸癌研究会 (第 83 回) (福岡県), 2015. 7.
- 111) 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 櫻澤信行²⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 牧野浩司³⁾, 山下直行⁴⁾, 木山輝郎⁵⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ³⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科, ⁴⁾ 坪井病院外科, ⁵⁾ 朝霞台中央総合病院外科): 胃癌におけるサルコペニア評価と予後との関連. 日本外科代謝栄養学会学術集会 (第 52 回) (東京都), 2015. 7.
- 112) 山下直行¹⁾, 湖山信篤¹⁾, 安藤文彦¹⁾, 下田朋宏¹⁾, 萩原信敏²⁾, 櫻澤信行²⁾, 菅野仁士²⁾, 柿沼大輔²⁾, 金沢義一²⁾, 藤田逸郎²⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 坪井病院外科, ²⁾ 日本医科大学消化器外科): 空腸瘻による消化管栄養の確保は在宅日数, 化療継続率, 予後を改善する可能性がある. 日本外科代謝栄養学会学術集会 (第 52 回) (東京都), 2015. 7.
- 113) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 勝野 暁¹⁾, 清水哲也¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科): 腹腔鏡下臍切除術における安全性を重視した術野展開法と臍切離・臍消化管吻合法の工夫について. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 114) 松本智司¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 松田明久¹⁾, 菅 隼人²⁾, 山田岳史²⁾, 小泉岐博²⁾, 進士誠一²⁾, 山岸杏彌²⁾, 高橋吾郎²⁾, 内田英二²⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科): 鏡視下結腸手術における頭側アプローチによる CME 手技. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 115) 横山康行¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科): 頭側尾側アプローチによる腹腔鏡下中結腸動脈根部リンパ節郭清の手技. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 116) 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 上田純志¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 吉田 寛²⁾, 内田英二¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科): 肝細胞癌切除例に対する BCCA 製剤の及ぼす

- 影響に関する RCT. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 117) 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下正夫^{1,3)}, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科): ストリッピングによる 106recL 郭清とアンビル先行装着後, 残食道を縫合する頸部吻合で合併症を減らす工夫. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 118) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 直腸癌に対する術前化学療法 (mFOLFOX6 療法) の検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 119) 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 鏡視下手術操作による合併症を予防した食道再建経路. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 120) 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 埴 秀暁¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 千原直人¹⁾, 野村 聡¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): 腹腔鏡下胃全摘術における再建法の工夫: 最大限に開腹術に近づけるために. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 121) 中田亮輔^{1,2)}, 萩原英之¹⁾, 小泉正樹¹⁾, 加納恒久¹⁾, 内山喜一郎¹⁾, 鈴木英之²⁾ (1) 海老名病院外科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター): 腸閉塞症に対する腹腔鏡手術の安全性と有用性. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 122) 高橋吾郎¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 水口義昭¹⁾, 進士誠一¹⁾, 高田英志¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 保存的治療奏功後の虫垂切除の必要性: Interval appendectomy 症例の病理所見の検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 123) 栗山 翔¹⁾, 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): 虫垂炎術後腹腔内腫瘍の危険因子に関する検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 124) 山岸征嗣¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 三島圭介¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 丸山雄二³⁾, 井村 肇³⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科, 3) 日本医科大学武蔵小杉病院心臓血管外科): 感染性大動脈瘤による腹部大動脈十二指腸瘻に対する腸管先行処理の有用性. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 125) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 腹腔鏡下大腸癌手術における開腹移行例の検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 126) 青木悠人¹⁾, 奈良 聡¹⁾, 須藤広誠¹⁾, 巖 康仁¹⁾, 岸 庸仁¹⁾, 江崎 稔¹⁾, 島田和明¹⁾, 小菅智男¹⁾ (1) 国立がん研究センター中央病院肝胆膵外科): 膵頭部癌術後の補助化学療法の開始時期が, 予後に及ぼす影響についての検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 127) 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小野寺浩之¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 木山輝郎²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 朝霞台中央総合病院外科): 胃癌手術症例における術後サルコペニアと予後への影響. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 128) 埴 秀暁¹⁾, 野村 聡¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): 早期胃癌に対する開腹手術と腹腔鏡補助下手術の E-PASS スコアリングシステムを用いた比較. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 129) 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 山下直行²⁾, 金沢義一¹⁾, 小野寺浩之¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 坪井病院外科): 噴門側胃切除症例の胃癌の臨床病理学的特徴. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 130) 谷 杏彌¹⁾, 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 松本智司²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 当科における閉塞性大腸癌手術症例の検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 131) 岩井拓磨¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 大腸癌術後補助化学療法としての mFOLFOX6 による脾臓容積の変化. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 132) 高田英志¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 再発肝癌症例に対する腹腔鏡下再肝切除術の有用性. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 133) 上田康二¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 平方敦史¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): 当科における急性虫垂炎の検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.

- 134) 上田純志¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 真々田裕宏²⁾, 谷合信彦²⁾, 吉岡正人²⁾, 平方敦史¹⁾, 水口義昭²⁾, 神田知洋²⁾, 高田英志²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): 肝細胞癌における AFP-L3 分画と臨床病理学的因子および予後との関連. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 135) 平方敦史¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 横山 正¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 上田純志¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): バイポーラ鑷子を利用した肝切除術のポイント. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 136) 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 高田英志¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 術中術後合併症のない腹腔鏡下肝部分切除, 外側区域切除術を安全に行うための工夫. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 137) 村木 輝¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 助川 誠¹⁾, 大山莉奈¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 中田亮輔¹⁾, 千原直人¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): 腹腔鏡下虫垂切除術における Reduced port surgery-Which is the best way with 3 or 2 or Single port?. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 138) 菅 隼人¹⁾, 内田英二¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸孝彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 原 敬介¹⁾, 岩井拓磨¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 結腸膀胱瘻症例の検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 139) 赤城一郎¹⁾, 松谷 毅²⁾, 石橋 宰⁴⁾, 小川陽大⁴⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 野村 務²⁾, 萩原信敏²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科, 4) 大阪市立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学): 食道扁平上皮癌における PI3K-Akt-mTOR 経路の網羅的解析. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 140) 神田知洋¹⁾, 水口義昭¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 清水哲也¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢重全摘出術の安全性と周術期成績. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 141) 横山 正¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 平方敦史¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): 臍頭十二指腸切除術における我々の臍消化管吻合の工夫—臍管後壁先行運針による確実な臍腸吻合. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 142) 藤田逸郎¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 金沢義一¹⁾, 山下直行²⁾, 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 坪井病院外科): ”郭清の受け”を意識した臍前面先行アプローチによる 6 番郭清. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 143) 柿沼大輔¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小野寺浩之¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 当科における腹腔鏡下幽門側胃切除における臍上縁 D2 リンパ節郭清. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 144) 川野陽一¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 当科における鏡視下肝切除術の安全性と確実性の向上を目的とした様々な工夫. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 145) 山初和也¹⁾, 中村慶春²⁾, 松下 晃²⁾, 勝野 暁²⁾, 住吉宏樹²⁾, 横山 正³⁾, 松本智司¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科): 臍嚢胞性疾患に対する腹腔鏡下臍切除術の有用性. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 146) 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 当科における腹腔鏡下肝切除術の定型化と Reduced port surgery. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 147) 住吉宏樹¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 横山 正²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科): 臍神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下臍切除術の手術成績. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 148) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 中村慶春¹⁾, 赤間悠一¹⁾, 増田寛喜¹⁾, 進士誠一¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 腹壁癒痕ヘルニアに対するメッシュを用いた腹腔鏡下手術: 当施設における VENTRALIGHT ST Mesh の使用経験. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 149) 木山輝郎¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 小野寺浩之¹⁾, 金沢義一¹⁾, 加藤俊二¹⁾, 内田英二¹⁾, 村田 順²⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 朝霞台中央総合病院外科): 腹腔鏡下胃上部切除後のオーバーラップ再建の臨床的基礎的検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡県), 2015. 7.
- 150) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸^{1,2)}, 山岸征嗣¹⁾, 村木 輝¹⁾, 三島圭介¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 正風会小林病院外科, 3) 日本医科大学付属病院消化器外科): 臍管径や視野にとら

われない簡便かつ画一的に行える膵管空腸粘膜吻合手順. 日本消化器外科学会総会 (第70回) (静岡県), 2015. 7.

- 151) 小峯 修¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 大山莉奈¹⁾, 澁谷 肇¹⁾, 渡邊善正¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 山田太郎¹⁾ (1) さいたま市民医療センター外科): 食道癌に対する腹臥位胸腔鏡下食道切除術: 上縦隔 en bloc リンパ節郭清の定型化を目指して. 日本消化器外科学会総会 (第70回) (静岡県), 2015. 7.
- 152) 岩井拓磨¹⁾, 山田岳史¹⁾, 吉田 寛²⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科): 大腸癌術後補助化学療法による膵臓容積の変化の検討. 脾臓研究会 (第4回) (神奈川県), 2015. 9.
- 153) 宮坂俊光¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 谷合信彦²⁾, 真々田裕宏²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): Hassab 手術後の広範囲門脈血栓により小腸静脈瘤出血を認めた特発性門脈圧亢進症の1例. 脾臓研究会 (第4回) (神奈川県), 2015. 9.
- 154) 近藤亮太¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 吉田 寛²⁾, 松谷 毅¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科): 空腸間置術を加えた胃管再建による食道胃静脈瘤合併の食道癌手術の1例. 日本門脈圧亢進症学会総会 (第22回) (神奈川県), 2015. 9.
- 155) 吉岡将史¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科): 十二指腸静脈瘤に対して開腹静脈瘤血行遮断術を施行した1例. 日本門脈圧亢進症学会総会 (第22回) (神奈川県), 2015. 9.
- 156) 神田知洋¹⁾, 水口義昭¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 中村慶春¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 腹腔鏡下胆嚢摘出術における医療用スポンジスペースーの用法. 日本胆道学会学術集会 (第51回) (栃木県), 2015. 9.
- 157) 水口義昭¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 高田英志¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 古木裕康¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 当科における総胆管十二指腸吻合術も含めた総胆管結石症治療方針. 日本胆道学会学術集会 (第51回) (栃木県), 2015. 9.
- 158) 栗山 翔¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 松田明久¹⁾, 原田潤一郎¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 術前診断に難渋した胆嚢捻転症とMorgagni孔ヘルニア併発の1例. 日本胆道学会学術集会 (第51回) (栃木県), 2015. 9.
- 159) 日下部誠¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 胆管内腫瘍栓による閉塞性黄疸で発症した再発肝癌の1切除例. 外科集談会 (第838回) (東京都), 2015. 9.
- 160) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 横山 正¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 切除可能, borderline resectable 膵癌に対する術前GS療法の有効性. 膵癌術前治療研究会 (第10回) (埼玉県), 2015. 9.
- 161) 川島万平¹⁾, 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 大草幹大¹⁾, 内田英二¹⁾, 赤間悠一²⁾, 眞鍋恵理子²⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 腸重積で発症し腹腔鏡補助下回盲部切除術を施行した盲腸癌の1例. 日本消化器病学会関東支部例会 (第336回) (東京都), 2015. 9.
- 162) 萩原信敏¹⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 川見典之²⁾, 岩切勝彦²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学消化器内科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科): PPI 倍量投与抵抗性 NERD に対する外科治療: 当施設の成績. 消化器疾患病態治療研究会 (第24回) (東京都), 2015. 9.
- 163) 新井洋紀¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 下田朋宏¹⁾, 菊池友太¹⁾, 加藤俊二¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 消化器外科領域における上部消化管潰瘍穿孔例の時代による変遷とその背景. 消化器疾患病態治療研究会 (第24回) (東京都), 2015. 9.
- 164) 増田寛喜¹⁾, 山初和也¹⁾, 赤間悠一¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 保田智彦¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): 十二指腸憩室により輸入脚症候群をきたした1例. 消化器疾患病態治療研究会 (第24回) (東京都), 2015. 9.
- 165) 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下肝外側区域切除における肝静脈, グリソン切離方法の術前シミュレーションの有用性. 肝癌治療シミュレーション研究会 (第10回) (東京都), 2015. 9.
- 166) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 横山 正¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績. 日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会 (第3回) (宮城県), 2015. 9.
- 167) 山田岳史¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科): 胃癌大腸癌治療による骨格筋量の低下とBCAA, EPAによる骨格筋減少予防. 日本消化器病学会大会 (第57回) (東京都), 2015. 10.

- 168) 赤城一郎¹⁾, 松谷 毅²⁾, 石橋 宰³⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下正夫⁴⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医大多摩永山病院外科, 2) 日本医大付属病院消化器外科, 3) 大阪府立大大学院・生命環境科学研究科応用生命科学, 4) 日本医大千葉北総病院外科): 食道扁平上皮癌細胞における PI3K-Akt-mTOR 経路関連遺伝子およびマイクロ RNA の網羅的発現解析. 日本消化器病学会大会 (第 57 回) (東京都), 2015. 10.
- 169) 住吉宏樹¹⁾, 松下 晃¹⁾, Jiong J¹⁾, 中村慶春¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 水口義昭¹⁾, 谷谷信彦¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大付属病院消化器外科): 膵癌における STAT5 の発現および生物学的役割. 日本消化器病学会大会 (第 57 回) (東京都), 2015. 10.
- 170) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科): 膵頭十二指腸切除術における SMA 周囲の間膜・神経叢の解剖を簡便かつ確実に視覚認知できる術野展開法について. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 171) 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 横山茂樹¹⁾, 松本智司¹⁾, 松田明久¹⁾, 勝田美和子¹⁾, 山初和也¹⁾, 菊池友太¹⁾, 金谷洋平¹⁾, 原絵津子¹⁾, 原田潤一郎¹⁾, 保田智彦¹⁾, 栗山 翔¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医大千葉北総病院外科, 2) 日本医大付属病院消化器外科): 腔鏡手術時におけるガーゼ付肝臓圧排鉤の有用性の検討. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 172) 清水哲也¹⁾, 谷谷信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 高田英志¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科): 腹腔鏡下肝部分切除, 外側区域切除を安全に行うための工夫. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 173) 高橋吾郎¹⁾, 山田岳史¹⁾, 谷谷信彦¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科): 大腸癌肝転移症例に対する肝切除における術後胆汁漏の危険因子の検討. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 174) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸^{1, 2)}, 山岸征嗣¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 村木 輝¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 星野有哉¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 北山康彦³⁾, 内田英二⁴⁾ (1) 日本医大武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 小林病院外科, 3) 日本医大武蔵小杉病院病理部, 4) 日本医大外科): 切除可能膵頭部癌に対する上腸間膜動脈神経叢全周温存膵頭十二指腸切除術の妥当性. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 175) 高田英志¹⁾, 谷谷信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大付属病院消化器外科): 当科における混合型肝癌切除例の検討. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 176) 水口義昭¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 谷谷信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 高田英志¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科): 胆道癌における Breast Tumor Kinase/Protein Tyrosine Kinase 6 の発現形式と Tyrosine kinase receptor を介した増殖メカニズム. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 177) 谷谷信彦¹⁾, 吉田 寛²⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 上田純志¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科, 2) 日本医大多摩永山病院外科): 肝細胞癌に対する肝切除周術期における BCAA 製剤の効果 (第 2 報). 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 178) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 横山 正³⁾, 谷谷信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大付属病院消化器外科, 2) 日本医大千葉北総病院外科, 3) 日本医大多摩永山病院外科): 腹腔鏡下尾側膵切除術 (Lap-DP) における手術部位感染と膵液瘻との関連について. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 179) 鈴木英之¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 三浦克洋¹⁾, 豊田哲鎬¹⁾, 八木重紀¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医大武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医大消化器外科): 進行再発大腸癌後期化学療法における経口化学療法の効果とマネージメント. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 180) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科, 2) 日本医大千葉北総病院外科): Circulating tumor DNA を用いた大腸癌個別化治療. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 181) 渡辺昌則¹⁾, 野村 聡¹⁾, 埜 秀暁¹⁾, 三島圭介¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医大武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医大消化器外科): 大腸穿孔手術の創汚染度細分類による腹壁閉鎖法の選択. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 182) 坊 英樹¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医大武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医大消化器外科): 消化器癌手術における SSI 防止をめざした閉創. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 183) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 大草幹大¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科, 2) 日本医大千葉北総病院外科): 大腸癌に対する Reduced port surgery の低侵襲性に関する検討. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 184) 大草幹大¹⁾, 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田

- 英二¹⁾ (1) 日本医大附属病院消化器外科, ²⁾ 日本医大千葉北総病院外科): 大腸癌緊急手術症例における E-PASS, POSSUM を用いた周術期スコアリングの有用性の検討. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 185) 横山康行¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大附属病院消化器外科, ²⁾ 日本医大千葉北総病院外科): 当科における直腸手術後縫合不全の治療に関する検討. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 186) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 中村慶春¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 川見典之²⁾, 牧野浩司³⁾, 丸山弘³⁾, 岩切勝彦²⁾, 宮下正夫⁴⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科, ²⁾ 日本医大消化器肝臓内科, ³⁾ 日本医大多摩永山病院外科, ⁴⁾ 日本医大千葉北総病院外科): III 型食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡手術のポイント. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 187) 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科): 食道癌術後の乳糜瘻に対して ICG 蛍光法にて胸管損傷部位同定が可能となった 2 例. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 188) 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 藤田逸郎²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医大多摩永山病院外科, ²⁾ 日本医大附属病院消化器外科, ³⁾ 日本医大千葉北総病院外科): 食道胃接合部癌に対する胸腔鏡下部食道切除術と胸腔鏡吻合のコツとピットフォール. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 189) 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科): 治療切除を選択しなかった食道癌に対する年代別の治療戦略. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 190) 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 櫻澤信行²⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 牧野浩司³⁾, 山下直行⁴⁾, 木山輝郎⁵⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科, ²⁾ 日本医大千葉北総病院外科, ³⁾ 日本医大多摩永山病院外科, ⁴⁾ 坪井病院外科, ⁵⁾ 朝霞台中央総合病院外科): 胃癌患者におけるサルコペニアの意義. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 191) 山下直行¹⁾, 湖山信篤¹⁾, 安藤文彦¹⁾, 下田朋宏¹⁾, 藤田逸郎²⁾, 金沢義一²⁾, 菅野仁士²⁾, 柿沼大輔²⁾, 萩原信敏²⁾, 櫻澤信行²⁾, 宮下正夫²⁾, 内田英二²⁾ (1) 坪井病院外科, ²⁾ 日本医大附属病院消化器外科): 空腸瘻による消化管栄養の確保が在宅, 化学療法, 予後に対する効果. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 192) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大附属病院消化器外科, ²⁾ 日本医大千葉北総病院外科): 直腸手術時に造設した一時的回腸人工肛門による outlet obstruction の検討. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (東京都), 2015. 10.
- 193) 吉田 寛¹⁾, 平方敦史¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 上田純志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 谷合信行²⁾, 真々田裕宏²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医大多摩永山病院外科, ²⁾ 日本医大附属病院消化器外科): CT volumetry と Tc-99mGSA scintigraphy の fusion imaging によつて Functional volumetry の検討. 日本肝臓学会大会 (第 19 回) (東京都), 2015. 10.
- 194) 赤城一郎¹⁾, 松谷 毅²⁾, 石橋 宰³⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下正夫⁴⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医大多摩永山病院外科, ²⁾ 日本医大附属病院消化器外科, ³⁾ 大阪府立大大学院生命環境科研究科応用生命科学, ⁴⁾ 日本医大千葉北総病院外科): 食道扁平上皮癌細胞における PI3K-Akt-mTOR 経路関連遺伝子およびマイクロ RNA の網羅的発現解析. 日本消化器病学会大会 (第 57 回) (東京都), 2015. 10.
- 195) 山田岳史¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医大消化器外科): 胃癌大腸癌治療による骨格筋量の低下と BCAA, EPA による骨格筋減少予防. 日本消化器病学会大会 (第 57 回) (東京都), 2015. 10.
- 196) 山下直行¹⁾, 湖山信篤¹⁾, 安藤文彦¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 萩原信敏²⁾, 櫻澤信行²⁾, 藤田逸郎²⁾, 金沢義一²⁾, 菅野仁士²⁾, 柿沼大輔²⁾, 内田英二²⁾ (1) 財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院外科, ²⁾ 日本医科大学附属病院消化器外科): 空腸瘻による消化管栄養の確保による在宅日数, 化学療法, 予後の改善. 日本癌治療学会学術集会 (第 53 回) (京都府), 2015. 10.
- 197) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 北野史朗²⁾, 中山雅人²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 凸版印刷総合研究所): Circulating cell free DNA を用いた癌研究における問題点. 日本癌治療学会学術集会 (第 53 回) (京都府), 2015. 10.
- 198) 金沢義一¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 加藤俊二¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 輪湖哲也²⁾, 岸田悦子²⁾, 河越哲郎³⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学附属病院外科, ²⁾ 日本医科大学附属病院薬剤科, ³⁾ 日本医科大学附属病院消化器内科): 進行・再発胃癌に対する nab-Paclitaxel の臨床効果. 日本癌治療学会学術集会 (第 53 回) (京都府), 2015. 10.
- 199) 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 櫻澤信行²⁾, 牧野浩司³⁾, 山下直行⁴⁾, 木山輝郎⁵⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ³⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科, ⁴⁾ 財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院外科, ⁵⁾ 医療法人社団武蔵野会朝霞台中央総合病院外科): 胃癌における術前サルコペニアと予後との関連. 日本癌治療学会学術集会 (第 53 回) (京都府), 2015. 10.

- 200) 河原香織¹⁾, 鈴木健一¹⁾, 大石沙織¹⁾, 八重田知見¹⁾, 倉藤晶子²⁾, 上村明子²⁾, 谷合信彦³⁾, 坂本篤裕⁴⁾ (1) 日本医科大学付属病院 ME 部, 2) 日本医科大学付属病院看護部, 3) 日本医科大学付属病院消化器・乳腺外科, 4) 日本医科大学付属病院麻酔科) : 臨床工学技士による手術室新人看護師教育の在り方. 日本手術医学会総会 (第 37 回) (大阪府), 2015. 10.
- 201) 中川まどか¹⁾, 望月裕代¹⁾, 倉藤晶子¹⁾, 谷合信彦²⁾ (1) 日本医科大学付属病院中央手術室, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科・乳腺外科) : 看護師サイドからみた腹腔鏡肝切除術の問題点. 日本手術医学会総会 (第 37 回) (大阪府), 2015. 10.
- 202) 大石沙織¹⁾, 鈴木健一¹⁾, 八重田知見¹⁾, 河原香織¹⁾, 倉藤晶子¹⁾, 上村明子²⁾, 谷合信彦³⁾, 坂本篤裕⁴⁾ (1) 日本医科大学付属病院 ME 部, 2) 日本医科大学付属病院看護部, 3) 日本医科大学付属病院消化器・乳腺外科, 4) 日本医科大学付属病院麻酔科) : 手術室における人工心肺カート運用の検討. 日本手術医学会総会 (第 37 回) (大阪府), 2015. 10.
- 203) 松本智司¹⁾, 内田英二²⁾, 瀬谷知子¹⁾, 菅 隼人²⁾, 山田岳史²⁾, 小泉岐博²⁾, 松田明久²⁾, 進士誠一²⁾, 宮下正夫¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 横行結腸癌に対する鏡視下頭側アプローチによる CME 手技. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (愛知県), 2015. 11.
- 204) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 金沢義一¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 大腸癌に対する Reduced port surgery の手技と工夫. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (愛知県), 2015. 11.
- 205) 菅 隼人¹⁾, 内田英二¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 原 敬介¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 金沢義一¹⁾, 松本智司²⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : cT3N1 下部直腸癌に対する手術施行例の検討. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (愛知県), 2015. 11.
- 206) 鈴木英之¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 三浦克洋¹⁾, 豊田哲鎬¹⁾, 八木亜紀¹⁾, 菅 隼人²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科) : 進行再発大腸癌サルベージラインにおける経口化学療法の効果とマネージメントの検討. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (愛知県), 2015. 11.
- 207) 岩井拓磨¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学付属千葉北総病院外科) : circulating cell-free DNA を用いた大腸癌肝転移の早期再発予測. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (愛知県), 2015. 11.
- 208) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学附属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 腹腔鏡下直腸切断術における傍ストーマヘルニアの検討 - 腹膜外経路と腹膜内経路の比較 -. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (愛知県), 2015. 11.
- 209) 山岸杏彌¹⁾, 湖山信篤¹⁾ (1) 一般財団法人慈山会医学研究所付属坪井病院) : 原発切除 7 年後に皮膚転移を来した直腸癌の 1 例. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (愛知県), 2015. 11.
- 210) 高橋吾郎¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 金沢義一¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : Circulating cell free DNA を用いた, 閉塞性大腸癌における各減圧デバイスの物理的影響の評価. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (愛知県), 2015. 11.
- 211) 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 腹腔鏡下肝切除術における出血コントロールと胆管損傷時の修復. 肝臓内視鏡外科研究会 (第 9 回) (福岡県), 2015. 11.
- 212) 川野陽一¹⁾, 谷合信彦²⁾, 中村慶春²⁾, 松本智司¹⁾, 吉岡正人²⁾, 高田英志²⁾, 吉田 寛³⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 当科で考察した腹腔鏡下シート状器材挿入・貼付法 : コークスクリュー挿入法. 肝臓内視鏡外科研究会 (第 9 回) (福岡県), 2015. 11.
- 213) 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 腹腔鏡下肝外側区域切除術を安全に行うための工夫. 肝臓内視鏡外科研究会 (第 9 回) (福岡県), 2015. 11.
- 214) 横山康行¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内藤善哉²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学大学院統御機構診断病理学) : 粘膜下腫瘍様の形態を呈した壁外発育型横行結腸癌の 1 例. 日本外科学会学術集会 (第 20 回) (和歌山県), 2015. 11.
- 215) 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 牧野浩司²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 当科で行っている頸胸境界部食道悪性腫瘍切除・再建術の工夫と成績. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 216) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 松田明久²⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : circulating cell free DNA を利用した再発大腸癌の個別化治療. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 217) 横山 正¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 浅見敬一¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器外科, 2) 日本医科大学消化器外科学) : 臍頭十二指腸切除術における臍消化管吻合の工夫 - 臍管先行運針による確実な臍腸吻合. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福

- 岡県), 2015. 11.
- 218) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸^{1, 2)}, 山岸征嗣¹⁾, 村木 輝¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 山際 亮¹⁾, 助川 誠¹⁾, 針金幸平¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 正風会小林病院外科, 3) 日本医科大学外科): 残瘻の確実な保持を目的とした膵管空腸粘膜吻合手順. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 219) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 中村慶春¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 牧野浩司²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科): 高齢者の食道裂孔ヘルニアに対する外科治療. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 220) 菅 隼人¹⁾, 内田英二¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): cT3N1-3 下部直腸癌に対する手術施行例の検討. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 221) 上田純志¹⁾, 横山 正¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 教育機関としての亜全胃温存頸頭十二指腸切除術の工夫と成績. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 222) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学柴北総病院外科): 腹腔鏡下横行結腸癌手術における中結腸動脈根部郭清手技. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 223) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 高齢者大腸癌に対する外科治療. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 224) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 横山正¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 高難度膵臓・胆道内視鏡外科手術の教育: Swine 腹腔鏡下膵切除・胆管吻合モデルの構築と定型化した腹腔鏡下膵側膵切除術の継承について. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 225) 上田康二¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 浅見敬一¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学外科): 腹腔鏡ポート孔で, スマートアンカーを用いた簡単な腸瘻造設法. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 226) 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 山下直行²⁾, 牧野浩司³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 坪井病院外科, 3) 日本医科大学付属多摩永山病院外科): 鏡視下食道癌手術における後縦隔経路胃管挙上の偶発症低減のための工夫. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 227) 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 神田知洋¹⁾, 水口義昭¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 松下晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 安全な腹腔鏡下外側区域切除を定型化するために. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 228) 住吉宏樹¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 横山正¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下膵切除術における術中出血における止血手技の工夫. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 229) 原田潤一郎¹⁾, 松田明久¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 山初和也¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院消化器外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): 経鼻的 W-ED チューブによる胃癌周術期の胃内減圧および経腸栄養. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 230) 小峯 修¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 范姜明志¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 澁谷 肇¹⁾, 端山 軍¹⁾, 渡邊善正¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 山田太郎¹⁾, 内間久隆²⁾ (1) さいたま市民医療センター外科, 2) さいたま市民医療センター病理診断科): 当科における胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡下手術の Strategy. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 231) 吉野雅則¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 豊田哲鎬¹⁾, 八木亜記¹⁾, 和田由大¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 針金幸平¹⁾, 千原直人¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科): 当センターにおける大腸癌イレウスの治療戦略. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 232) 高田英志¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 混合型肝癌切除例の検討. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 233) 村木 輝¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸^{1, 2)}, 山岸征嗣¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 正風会小林病院, 3) 日本医科大学消化器外科): 自動縫合器を用いた尾側膵切除における膵液瘻発生リスクとしての膵離断面の厚みの検討. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- 234) 埜 秀暁¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 三島圭介¹⁾, 野村 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学外科): 噴霧式ニトログリセリン製剤を用いた気管支動脈 3D 血管構築の有用性. 日本臨床外科学会総会 (第

- 77回) (福岡県), 2015. 11.
- 235) 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 櫻澤信行²⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 牧野浩司³⁾, 山下直行⁴⁾, 木山輝郎⁵⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科, 4) 坪井病院 外科, 5) 朝霞中央総合病院外科) : 胃癌患者における術前サルコペニア評価. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 236) 新井洋紀¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 高田英志¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 下田朋宏¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 菊池友太¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 野村務¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 成人鼠径ヘルニアに対する手術手技の変遷と術後疼痛・違和感. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 237) 高野竜太郎¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 野村 務¹⁾, 横山康行¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 食道粘膜下腫瘍様病変で発見した気管支動脈蔓状血管腫の1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 238) 神田知洋¹⁾, 水口義昭¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 清水哲也¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 高田英志¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 胃癌術後の左側胆嚢胆石症に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 239) 日下部誠¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 野村 務¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 食道小細胞型内分泌細胞癌の1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 240) 赤間悠一¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 高野竜太郎¹⁾, 横山康行¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 金沢義一¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 食道癌術後に発症した化膿性脊椎炎の1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 241) 丸山 弘¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 浅見敬一¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医大附属病院消化器外科) : 子宮体癌術後局所再発術後に発症した転移性大腸癌の1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 242) 増田有香¹⁾, 清水哲也¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 青木悠人¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 急性腎不全を伴う門脈ガス症例に対し, 造影CTにより保存的加療を選択しえた症例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 243) 下田朋宏¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 増田有香¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 高田英志¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 胆嚢穿孔を伴う出血性胆嚢炎に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した症例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 244) 眞鍋恵理子¹⁾, 金沢義一¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 宮下正夫²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 大網原発 Castleman 病に対して腹腔鏡下手術を施行した1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 245) 大草幹大¹⁾, 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 上行結腸癌術後に右外腸骨リンパ節再発をきたした1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 246) 川島万平¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 胆管腫瘍栓を伴った肝原発性癌肉腫の1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 247) 近藤亮太¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 切除肝細胞癌におけるリンパ節転移の検討. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 248) 若林秀幸¹⁾, 横山 正¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 磐井佑輔²⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, 3) 日本医科大学消化器外科) : 重症急性膵炎後の難治性膵仮性嚢胞十二指腸瘻に対して膵嚢胞胃吻合術が有効であった1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 249) 吉岡将史¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 横山 正¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医大多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科) : エベロリムスが長期奏功を示している膵神経内分泌癌切除の1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 250) 谷 憲一¹⁾, 栗山 翔¹⁾, 山初和也¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : Zenker 憩室に対して手術療法を施行した1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 251) 月崎 裕¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 門脈血栓を発症した直腸癌術後イレウスの1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.

- 252) 銭 真臣¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 川島万平¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術後に小腸捻転症を生じた1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 253) 野原 剛¹⁾, 村木 輝¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 三島圭介¹⁾, 八木亜記¹⁾, 千原直人¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 鈴木英之¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター) : 研修医の技量に配慮した腹腔鏡下虫垂切除術 (LA) の検討. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 254) 野村 聡¹⁾, 福田 俊¹⁾, 岡 大嗣¹⁾, 神尾幸則¹⁾, 中村 聡¹⁾, 石川英樹¹⁾, 高橋 遍¹⁾, 江原一尚¹⁾, 西澤雄介¹⁾, 山田達也¹⁾, 網倉克己¹⁾, 西村洋治¹⁾, 川島吉之¹⁾, 田中洋一¹⁾, 坂本裕彦¹⁾ (1) 埼玉県立がんセンター消化器外科) : 75歳以上の高齢者における食道癌手術症例の検討. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 255) 春名孝洋¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院研修医) : 腹腔鏡下幽門側胃切除術 (LADG) 施行し Roux-en-Y 法再建後に Petersen hernia を発症した2例の検討. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 256) 谷合信彦¹⁾, 内田英二¹⁾, 古川清憲¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 入門講座6 創閉鎖の基本知識. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知県), 2015. 12.
- 257) 丸山 弘¹⁾ (1) 日本医大多摩永山病院外科講師・感染制御部部长) : 入門講座11 MRSA の特徴と治療. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知県), 2015. 12.
- 258) 赤城一郎¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 腹臥位胸腔鏡補助下食道切除再建術の術後合併症の検討. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知県), 2015. 12.
- 259) 上田純志¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学外科) : 肝細胞癌に対する肝切除におけるドレーン培養の有用性の検討. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知県), 2015. 12.
- 260) 篠塚恵理子¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 上田康二¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 磐井佑輔²⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医大多摩永山病院外科, 2) 日本医大多摩永山病院救急救命センター, 3) 日本医大附属病院消化器外科) : 消化器外科における Candida 族の検出状況と薬剤感受性. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知県), 2015. 12.
- 261) 吉岡将史¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医大多摩永山病院消化器外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 腹腔鏡補助下大腸切除術における SSI の検討. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知県), 2015. 12.
- 262) 高橋吾郎¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 水口義昭¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 保存的治療が奏効しなかった急性虫垂炎手術の術後合併症. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知県), 2015. 12.
- 263) 上田康二¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 急性虫垂炎手術における術後合併症の検討. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知県), 2015. 12.
- 264) 増田有香¹⁾, 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 江原彰仁²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学消化器肝臓内科) : カプセル内視鏡にて診断し, 門脈内ステント留置術を施行した膵頭十二指腸切除後の門脈再建部狭窄による門脈圧亢進症性小腸症の1例. 日本消化器病学会関東支部例会 (第337回) (東京都), 2015. 12.
- 265) 入江利幸¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 三井啓吾²⁾, 岩切勝彦²⁾, 久保田至³⁾, 大塚新一³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器・肝臓内科, 3) 西新井大腸肛門科) : 低位前方切除術施行1年後に発見された早期下行結腸癌に対しESDを施行した1例. 日本消化器内視鏡学会関東支部例会 (第101回) (東京都), 2015. 12.
- 266) 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 浅見敬一¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 経鼻内視鏡の上部消化管手術中使用の有効性. 日本消化器内視鏡学会関東支部例会 (第101回) (東京都), 2015. 12.
- 267) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 横山 正³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科) : チーム内で統一された腹腔鏡下右側膵切除術 (Lap-DP) におけるドレーン管理法. 膵臓内視鏡外科研究会 (第7回) (京都府), 2015. 12.
- 268) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 術中他臓器浸潤大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術の検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第28回) (大阪府), 2015. 12.

- 269) 栗山 翔¹⁾, 松田明久¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 鼠径部ヘルニア再発に対する TAPP 法の検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 270) 関 奈紀¹⁾, 横山 正¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 武井寛幸²⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器・一般・乳腺外科, 2) 日本医科大学付属病院乳腺科, 3) 日本医科大学付属病院消化器外科): 女性化乳房症に対して傍乳輪切開アプローチによる内視鏡補助下乳腺切除術が有用であった 1 例. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 271) 近藤亮太¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 吉田 寛²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院): 当院における巨大肝嚢胞に対する腹腔鏡下肝嚢胞開窓術の治療成績. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 272) 黒田誠司¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 針金幸平¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科): 尿管遺残症に対する腹腔鏡下手術の当センターでの工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 273) 原田潤一郎¹⁾, 松本智司¹⁾, 松田明久¹⁾, 保田智彦¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 整容性にこだわった単孔式腹腔鏡下尿管管切除術. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 274) 鈴木英之¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 豊田哲鎬¹⁾, 三浦克洋¹⁾, 八木亜紀¹⁾, 菅 隼人²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科): 腔鏡下手術における超音波凝固切開装置 (UAS) の特性と上手な使い方. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 275) 埴 秀暁¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 三島圭介¹⁾, 野村 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学外科): 食道癌手術における噴霧式ニトログリセリン製剤を用いた術前気管支動脈造影 CT. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 276) 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 牧野浩司²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学付属多摩永山病院外科): 鏡視下補助にて食道切除・有茎空腸再建を行った肺感染症治療後の食道癌の 1 例. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 277) 日下部誠¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 古木裕康¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科): 左上大静脈遺残と右上大静脈欠損を伴った食道癌に対し胸腔鏡下食道切除術を施行した 1 例. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 278) 山下直行¹⁾, 松谷 毅²⁾, 萩原信敏²⁾, 安藤文彦¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 湖山信篤¹⁾, 宮下正夫²⁾, 内田英二²⁾ (1) 坪井病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 術前化学療法にて 3mm の上皮内癌となった cT3 食道癌の 1 例. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 279) 木山輝郎¹⁾, 菅野仁士²⁾, 内田英二²⁾, 村田 順¹⁾ (1) 朝霞台中央総合病院, 2) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下胃切除術後のオーバーラップ再建の臨床的基礎的検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 280) 関口久美子¹⁾, 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院消化器外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科): 術中内視鏡観察が有用であった内視鏡的切除困難な盲腸腫瘍に対する単孔式腹腔鏡下手術. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 281) 川野陽一¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 高田英志¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 青木悠人¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 当科 Original の Device を駆使した腹腔鏡下肝切除における止血法の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 282) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 鈴木英之²⁾, 松本智司³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科): 腹腔鏡下大腸癌手術における小開腹創の腹壁癒着ヘルニア下腹部正中切開と臍部切開の比較. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 283) 藤田逸郎¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 菊池友太¹⁾, 櫻澤信行²⁾, 金沢義一¹⁾, 山下直行⁴⁾, 菅野仁士¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 牧野浩司³⁾, 野村 務¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科, 4) 坪井病院外科): 臍頭前面先行剥離による鏡視下 6 番郭清. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 284) 小峯 修¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 范姜明志¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 澁谷 肇¹⁾, 端山 軍¹⁾, 渡邊善正¹⁾, 南部弘太郎¹⁾ (1) さいたま市民医療センター外科): 腹腔鏡下胃切除術における針糸を用いた肝外側区域挙上法の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 285) 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 松本智司¹⁾, 松田明久¹⁾, 山初和也¹⁾, 関口久美子¹⁾, 原田潤一郎¹⁾, 保田智彦¹⁾, 栗山 翔¹⁾, 赤間悠一¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 増田寛喜¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医大千葉北総病院, 2) 日本医大附属病院): 当院における腹腔鏡補助下幽門側胃切除での reduced port surgery 導入の検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 286) 柿沼大輔¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付

- 属病院消化器外科)：腹腔鏡補助下に切除した腹腔内出血をきたした胃 GIST の 1 例. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 287) 安藤文彦¹⁾, 山下直行¹⁾, 湖山信篤¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 下田朋宏^{1,3)}, 上田康二^{1,3)}, 和知栄子²⁾, 小倉 豪⁴⁾ (1) 坪井病院, 2) 坪井病院病理診断科, 3) 日本医科大学消化器外科, 4) 東海大学病理診断科)：胃癌との鑑別が問題となった胃 MALT リンパ腫の 1 切除例. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 288) 大山莉奈¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 渡邊善正¹⁾, 小峯 修¹⁾, 渋谷 肇¹⁾, 端山 軍¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 范姜明志¹⁾ (1) さいたま市民医療センター外科)：術前診断し腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した胆嚢捻転症の 1 例. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 289) 高田英志¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：腹腔鏡下再肝切除術の有用性. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 290) 入江利幸¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 水口義昭¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：膵インスリノーマに対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 291) 増田有香¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 横山康行¹⁾, 川島万平¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：両側閉鎖孔ヘルニア, 左大腿ヘルニアの併発症例に対し腹腔鏡下修復術を施行した 1 例. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 292) 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科消化器外科, 2) 日本医科大学消化器外科)：腹腔鏡下大腸手術におけるフック鉗子を多用した左結腸動脈温存 #253 リンパ節郭清手技. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 293) 松本智司¹⁾, 松田明久¹⁾, 原田潤一郎¹⁾, 菅 隼人²⁾, 山田岳史²⁾, 小泉岐博²⁾, 進士誠一²⁾, 内田英二²⁾, 宮下正夫¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科)：網嚢腔非解放, 頭側アプローチによる右側結腸癌に対する CME 手技. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 294) 菅 隼人¹⁾, 内田英二¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：腹腔鏡下 R0 手術を行った cT3N1-3 下部直腸癌症例の検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.
- 295) 浅見敬一¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 内田英二²⁾, その他 1 名 (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科)：メッケル憩室穿孔に対して腹腔鏡補助下小腸部分切除術を施行した 1 例. 日本消化器病学会関東支部例会 (第 338 回) (東京都), 2016. 2.
- 296) 吉田圭志¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 古木裕康¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 清水哲也¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：総胆管内へ流出・貯留した石灰乳胆汁症の 1 例. 日本消化器病学会関東支部例会 (第 338 回) (東京都), 2016. 2.
- 297) 水口義昭¹⁾, 中村慶春¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：【要点とコツ】 Swine 鏡視下膵切. 肝胆膵内視鏡下手術勉強会 (第 13 回) (静岡県), 2016. 2.
- 298) 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 下田朋宏¹⁾, 菊池友太¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 櫻澤信行²⁾, 牧野浩司³⁾, 山下直行⁴⁾, 木山輝郎⁵⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科, 4) 坪井病院外科, 5) 朝霞台中央総合病院外科)：胃癌患者における術前サルコペニアと予後との関連. 日本静脈経腸栄養学会学術集会 (第 31 回) (福岡県), 2016. 2.
- 299) 神田知洋¹⁾, 水口義昭¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 松下 晃¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 古木裕康¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科)：スポンジスペイサーを利用した単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術. 腹腔鏡下胆道手術研究会 (第 5 回) (福井県), 2016. 2.
- 300) 栗山 翔¹⁾, 山初和也¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科, 2) 日本医科大学消化器外科)：6cm の義歯による食道穿孔の 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 301) 赤城一郎¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 松谷 毅²⁾, 野村 務²⁾, 萩原信敏²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科)：保存的に治療しえた胸腔内穿孔型の特発性食道破裂の 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 302) 山岸征嗣¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 針金幸平¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 丸山雄二^{1,2)}, 井村 肇²⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院心臓血管外科, 3) 日本医科大学外科)：一次性腹部大動脈十二指腸瘻に対する腸管先行処理の有用性. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 303) 川野陽一¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 青木悠人¹⁾, 吉田寛¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科)：右下横隔動脈温存左三区区域切除後出血に対し固有肝動脈塞栓術が可能であっ

- た 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 304) 山本一仁¹⁾, 張 一光¹⁾, 高尾嘉宗¹⁾, 堀田正啓¹⁾, 福岡 猛¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 北村山公立病院外科, 2) 日本医科大学臓器病態制御外科) : Mallory-Weiss 症候群, DAVE, 小腸 AVM による消化管出血を呈し, 治療に難渋した透析患者の 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 305) 柿沼大輔¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 菊池友太¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 消化管出血をきたした胃 GIST に対し内視鏡的止血術施行後切除しえた 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 306) 山岸杏彌^{1, 2)}, 湖山信篤¹⁾, 山下直行¹⁾, 安藤文彦^{1, 2)} (1) 坪井病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 放射線照射における腸管障害への外科的対応. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 307) 篠塚恵理子¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 吉岡将史¹⁾, 内田英二²⁾, その他 1 名 (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 出血性肝嚢胞に感染を生じ敗血症・DIC をきたした 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 308) 武田幸樹^{1, 2)}, 原田潤一郎^{1, 2)}, 沖野哲也¹⁾, 吉村和泰¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 博慈会記念総合病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 腸回転異常に伴う十二指腸狭窄に対して腹腔鏡下 Ladd 手術を施行した高齢男性の 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 309) 入江利幸¹⁾, 進士誠一¹⁾, 野村 務¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 大草幹大¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : Meckel 憩室内にポリープを伴った 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 310) 向後英樹¹⁾, 水口義昭¹⁾, 金 史英²⁾, 萩原 純²⁾, 松居亮平²⁾, 横田裕行²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学救命救急科) : 閉腹困難な腹膜炎手術症例に対し, VAC 及び mesh traction の併用にて閉腹し得た 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 311) 大草幹大¹⁾, 山田岳史¹⁾, 青木悠人¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 虫垂炎と様々な気象要素に関する検討. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 312) 関口久美子¹⁾, 松田明久¹⁾, 松谷 毅²⁾, 野村 務²⁾, 萩原信敏²⁾, 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 食道癌術後の食道裂孔絞扼性ヘルニアに対して腹腔鏡下に修復しえた 2 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 313) 吉岡将史¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 上田康二¹⁾, 宮下哲平¹⁾, 宮坂俊光¹⁾, 関 奈紀¹⁾, 内田英二²⁾, その他 1 名 (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 肥満患者の成人臍ヘルニア嵌頓の 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 314) 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 山下直行⁴⁾, 櫻澤信行³⁾, 菅野仁士²⁾, 柿沼大輔²⁾, 金沢義一²⁾, 藤田逸郎²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科, 4) 坪井病院外科) : 右側胸腔鏡下操作による安全で低侵襲な食道胃接合部腺癌の下縦隔リンパ節郭清. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (大分県), 2016. 3.
- 315) 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 千原直人¹⁾, 三島圭介¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 高齢者 (80 歳以上) 胃癌手術における術後合併症と縮小手術の予後に与える影響. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (大分県), 2016. 3.
- 316) 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 上田純志¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 内藤善哉¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 臍転移を認めた胃消化管間質腫瘍の 1 例 : 第 2 報. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (大分県), 2016. 3.
- 317) 三島圭介¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 千原直人¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 村木 輝¹⁾, 奥畑好章¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学外科) : 当科における胃 GIST 手術症例の検討. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (大分県), 2016. 3.
- 318) 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 三島圭介¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 進行再発胃癌に対する SP 療法の有害事象対策と外来化学療法. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (大分県), 2016. 3.
- 319) 坊 英樹¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 三島圭介¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 佐藤悦基²⁾, 福田直人²⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 川崎協同病院, 3) 日本医科大学外科) : HER2 陽性切除不能・再発胃癌に対する S-1+CDDP+Trastuzumab 療法の検討. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (大分県), 2016. 3.
- 320) 金沢義一¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 山田岳史¹⁾, 野村 務¹⁾, 木山輝郎¹⁾, 牧野浩司²⁾, 山下直行³⁾, 加藤俊二¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科, 3) 坪井病院

- 外科)：切除不能進行胃癌に対する化学療法後，臨床的根治切除例の検討．日本胃癌学会総会（第88回）（大分県），2016．3．
- 321) 山下直行¹⁾，湖山信篤¹⁾，山岸杏彌¹⁾，安藤文彦¹⁾，藤田逸郎²⁾，金沢義一²⁾，菅野仁士²⁾，柿沼大輔²⁾，新井洋紀²⁾，萩原信敏²⁾，櫻澤信行²⁾，宮下正夫²⁾，牧野浩司²⁾，内田英二²⁾ (1) 坪井病院外科，(2) 日本医科大学消化器外科)：上部限局胃癌に対する切除術式を長期予後と栄養評価から再考する．日本胃癌学会総会（第88回）（大分県），2016．3．
- 322) 菅野仁士¹⁾，藤田逸郎¹⁾，金沢義一¹⁾，柿沼大輔¹⁾，新井洋紀¹⁾，萩原信敏¹⁾，松谷 毅¹⁾，野村 務¹⁾，山下直行²⁾，木山輝郎³⁾，内田英二²⁾ (1) 日本医科大学消化器外科，(2) 坪井病院外科，(3) 朝霞台中央総合病院外科)：胃癌術前サルコペニアと予後への影響．日本胃癌学会総会（第88回）（大分県），2016．3．
- 323) 若林秀幸¹⁾，牧野浩司¹⁾，吉田 寛¹⁾，赤城一郎¹⁾，篠塚恵理子¹⁾，上田康二¹⁾，宮坂俊光¹⁾，藤田逸郎²⁾，金沢義一²⁾，柿沼大輔²⁾，内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科，(2) 日本医科大学消化器外科)：前庭部に多発したEBV関連胃癌の1例．日本胃癌学会総会（第88回）（大分県），2016．3．
- 324) 三島圭介¹⁾，坊 英樹¹⁾，鈴木英之¹⁾，渡辺昌則¹⁾，吉野雅則¹⁾，水谷 聡¹⁾，千原直人¹⁾，前島顕太郎¹⁾，村木 輝¹⁾，奥畑好章¹⁾，内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター，(2) 日本医科大学外科)：早期胃癌に対する開腹手術と腹腔鏡補助下手術の比較．日本胃癌学会総会（第88回）（大分県），2016．3．
- (9) アニマルラボ実習：
- 1) 水口義昭¹⁾，中村慶春¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：【要点とコツ】Swine 鏡視下臍切．肝胆膵内視鏡下手術勉強会（第12回）（東京都），2015．8．
- (10) セッション：
- 1) 中村慶春¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科)：腹腔鏡下臍切除術の標準化について再考しました．Winter Seminar（北海道），2016．3．
- (11) デイバートセッション：
- 1) 松下 晃¹⁾，中村慶春¹⁾，勝野 暁¹⁾，山初和也¹⁾，住吉宏樹¹⁾，吉岡正人¹⁾，清水哲也¹⁾，水口義昭¹⁾，神田知洋¹⁾，古木裕康¹⁾，内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：腹腔鏡下臍体尾部切除術（Lap-DP）における脾動脈に対する腹側アプローチ．膵臓内視鏡外科研究会（第7回）（京都府），2015．12．
- (12) ビデオポスター：
- 1) 藤田逸郎¹⁾，柿沼大輔¹⁾，新井洋紀¹⁾，菊池友太¹⁾，早川朋宏¹⁾，金沢義一¹⁾，萩原信敏¹⁾，櫻澤信行²⁾，松谷 毅¹⁾，山下直行⁴⁾，野村務¹⁾，牧野浩司³⁾，木山輝郎¹⁾，内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科，(2) 日本医科大学千葉北総病院外科，(3) 日本医科大学多摩永山病院外科，(4) 坪井病院外科)：内側アプローチの概念を用いた臍前面先行アプローチによる6番郭清．日本胃癌学会総会（第88回）（大分県），2016．3．
- 2) 柿沼大輔¹⁾，藤田逸郎¹⁾，金沢義一¹⁾，菅野仁士¹⁾，新井洋紀¹⁾，菊池友太¹⁾，櫻澤信行¹⁾，萩原信敏¹⁾，松谷 毅¹⁾，牧野浩司¹⁾，野村務¹⁾，内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科)：腹腔鏡下胃切除における臍上縁リンパ節郭清の手法と工夫-11p 郭清を中心に．日本胃癌学会総会（第88回）（大分県），2016．3．
- 3) 木山輝郎¹⁾，菅野仁士²⁾，内田英二²⁾，村田 順¹⁾ (1) 朝霞台中央総合病院外科，(2) 日本医科大学消化器外科)：腹腔鏡下幽門側胃切除後Roux-Y 再建における順蠕動側々吻合法．日本胃癌学会総会（第88回）（大分県），2016．3．
- 4) 櫻澤信行¹⁾，宮下正夫¹⁾，保田智彦¹⁾，原田潤一郎¹⁾，藤田逸郎²⁾，金沢義一²⁾，山下直行³⁾，牧野浩司⁴⁾，内田英二²⁾ (1) 日本医大千葉北総病院外科，(2) 日本医大消化器外科，(3) 坪井病院，(4) 日本医大多摩永山病院)：ガーゼ付2枚羽臓器圧排鉤（ピース型圧排鉤）の腹腔鏡補助下胃切除での有用性．日本胃癌学会総会（第88回）（大分県），2016．3．
- (13) ビデオワークショップ：
- 1) 上田純志¹⁾，吉田 寛¹⁾，牧野浩司¹⁾，横山 正¹⁾，丸山 弘¹⁾，平方敦史¹⁾，赤城一郎¹⁾，関 奈紀¹⁾，若林秀幸¹⁾，篠塚恵理子¹⁾，上田康二¹⁾，宮下哲平¹⁾，宮坂俊光¹⁾，吉岡将史¹⁾，内田英二²⁾，その他1名 (1) 日本医科大学多摩永山病院外科，(2) 日本医科大学消化器外科)：総胆管結石症に対する腹腔鏡手術の検討．日本腹部救急医学会総会（第52回）（東京都），2016．3．
- 2) 神田知洋¹⁾，水口義昭¹⁾，真々田裕宏¹⁾，谷合信彦¹⁾，中村慶春¹⁾，松下 晃¹⁾，吉岡正人¹⁾，清水哲也¹⁾，高田英志¹⁾，住吉宏樹¹⁾，近藤亮太¹⁾，内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢全摘術の有用性．日本腹部救急医学会総会（第52回）（東京都），2016．3．
- (14) 研修医・医学生セッション：
- 1) 玉井秀明¹⁾，小泉岐博¹⁾，菅 隼人¹⁾，山田岳史¹⁾，進士誠一¹⁾，横山康行¹⁾，高橋吾郎¹⁾，岩井拓磨¹⁾，高野竜太郎¹⁾，内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：直腸癌術後の骨盤内リンパ嚢腫により腎後性腎不全を生じた1例．日本腹部救急医学会総会（第52回）（東京都），2016．3．
- (15) 特別企画：
- 1) 水口義昭¹⁾，真々田裕宏¹⁾，清水哲也¹⁾，神田知洋¹⁾，中村慶春¹⁾，谷合信彦¹⁾，吉岡正人¹⁾，松下 晃¹⁾，川野陽一¹⁾，勝野 暁¹⁾，高田英志¹⁾，住吉宏樹¹⁾，近藤亮太¹⁾，古木裕康¹⁾，内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：腹腔鏡胆嚢摘出術（LC）難易度評価と周

術期治療の成績. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.

(16) 要望演題:

- 1) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸^{1, 2)}, 山岸征嗣¹⁾, 針金幸平¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 小林病院, 3) 日本医科大学外科): 臍頭十二指腸切除における閉鎖式持続吸引ドレーン管理について膿瘍腔を形成させないための対策. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 2) 高橋 健¹⁾, 岩村太郎¹⁾, 星野弘樹¹⁾, 川東 豊¹⁾, 杉浦 篤¹⁾, 長谷川修¹⁾, 猪口正孝¹⁾ (1) 平成立石病院): 病院救急車を利用した高齢者搬送システム. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 3) 吉田 寛¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 上田純志¹⁾, 谷合信彦²⁾, 真々田裕宏²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 当科における肝細胞癌破裂に対するマネージメント. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.
- 4) 増田寛喜¹⁾, 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 赤間悠一¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 非閉塞性腸管虚血症 (NOMI) 7 例の臨床的検討. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京都), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分原著:

- 1) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 中村慶春¹⁾, 進士誠一¹⁾, 古木裕康¹⁾, 増田寛喜¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科学): 腹壁癒痕ヘルニアに対するメッシュを用いた腹腔鏡下手術. 日本医科大学医学会雑誌 2015; 11 (1): 16-19.
- 2) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸孝彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 青木悠人¹⁾, 町田 幹³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学放射線科): 特集: 絞扼性腸閉塞の診断と治療 病態に基づいた造影 CT による絞扼性イレウスの早期診断. 日本腹部救急医学会雑誌 2015; 35 (4): 403-407.
- 3) 青木悠人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 原絵津子²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 造影効果の客観的評価による絞扼性イレウスの診断. 日本腹部救急医学会雑誌 2015; 35 (3): 201-206.

追加分症例報告:

- 1) Komine O¹⁾, Suzuki H¹⁾, Watanabe M¹⁾, Nomura S¹⁾, Mizutani S¹⁾, Yoshino M¹⁾, Chihara N¹⁾, Mishima K¹⁾, Oyama R¹⁾, Uchida E²⁾ (1) Institute of Gastroenterology, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, 2) Department of Surgery, Nippon medical School): Single-incision Laparoscopic Cholecystectomy with an Additional Needle Grasper: A Novel Technique. Journal of Nippon Medical School 2015; 82 (1): 43-49.
- 2) 新井洋紀¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 松田明久¹⁾, 丸山 弘²⁾, 吉田 寛²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科): 自作器具が原因と考えられた双孔式回腸人工肛門脱出・嵌頓の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2015; 35 (3): 351-354.
- 3) 吉岡将史¹⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 誤嚥性肺炎改善後に腹腔鏡下逆流防止術を施行した高齢者 III 型食道裂孔ヘルニアの 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2015; 35 (3): 275-278.

追加分研究報告書:

- 1) Akiba A¹⁾, Murata S¹⁾, Mine T¹⁾, Onozawa S¹⁾, Sekine T¹⁾, Amano Y¹⁾, Kawano Y²⁾, Uchida E²⁾, Kumita S¹⁾ (1) Department of Radiology, Center for Advanced Medical Technology, Nippon Medical School, 2) Department of Surgery for Organ Function and Biological Regulation, Nippon Medical School): Volume Change and Liver Parenchymal Signal Intensity in Gd-EOB-DTPA-Enhanced Magnetic Resonance Imaging after Portal Vein Embolization prior to Hepatectomy. Hindawi 2014.

[多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科]

研究概要

「研究体制とその現状」研究目的臨床上の疑問点をテーマとし臨床研究で得られた結果をフィードバックさせ、治療成績の向上を目指す。研究体制消化器系臓器別に上部消化管、下部消化管、肝胆膵の 3 領域における病態生理、臨床病理的研究を行う体制をとっている。研究課題は癌に関連するものが多い。手術手技、腹腔鏡下手術など外科特有のものもある。研究者は自分の診療における専門領域に関する研究課題を見出しテーマとしている。研究材料、方法診療業務から得た臨床データ、血液、組織、臓器等を材料としている。病理組織

学的方法を用いる場合には、当院病理部との共同研究となる。分子生物学的手法を用いる場合は、武蔵小杉病院老人病研究所と協力している。文部科学省、厚生労働省の科学研究補助金による研究、多施設共同研究、日本がん臨床試験推進機構主導の臨床試験にも参画している。研究結果の公表各医学会、多摩地域の研究会等で発表する。さらに原著、症例報告、著書等に論文として公表する。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Ueda T, Murata S, Yamamoto A, Tamai J, Kobayashi Y, Hiranuma C, Yoshida H, Kumita S : Endovascular treatment of post-laparoscopic pancreatectomy splenic arteriovenous fistula with splenic vein aneurysm. World Journal of Gastroenterology 2015 ; 21 (25) : 7907-7910.
- 2) 磐井佑輔, 諸江雄太, 福田令雄, 田上 隆, 富永直樹, 谷 将星, 金子純也, 北橋章子, 小柳正雄, 石之神小織, 久野将宗, 畝本恭子, 横山 正, 吉田 寛 : 主膵管損傷を伴う膵損傷に対する治療方針についての自験例の検討. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015 ; 76 : 743-743.
- 3) 野村 務, 松谷 毅, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 中村慶春, 柿沼大輔, 菅野仁士, 新井洋紀, 牧野浩司, 宮下正夫, 内田英二 : 高齢者の食道裂孔ヘルニアに対する外科治療. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015 ; 76 : 521-521.
- 4) Hotta M, Yoshida H, Makino H, Yokoyama T, Maruyama H, Uchida E : Spontaneous rupture of a simple hepatic cyst : Report of a case. Journal of Nippon Medical School 2015 ; 82 (2) : 113-116.
- 5) Yoshida H, Mamada Y, Taniai N, Uchida E : Spontaneous ruptured hepatocellular carcinoma. Hepatology Research 2016 ; 46 (1) : 13-21.
- 6) Takata H, Yoshida H, Hirakata A, Watanabe M, Uchida E, Uchida E : Recurrent gallstone ileus successfully treated with conservative therapy. Journal of Nippon Medical School 2016 ; 82 (6) : 300-303.
- 7) 谷合信彦, 吉田 寛, 内田英二 : 腹腔鏡下肝切除における術前シミュレーションの有用性. 肝臓 (0451-4203) 2015 ; 56 (1) : A276-A276.
- 8) 近藤亮太, 谷合信彦, 吉岡正人, 平方敦史, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 上田純志, 高田英志, 真々田裕宏, 吉田 寛, 内田英二 : 巨大肝嚢胞に対する腹腔鏡下肝嚢胞開窓術. 肝臓 (0451-4203) 2015 ; 56 (1) : A229-A229.
- 9) 宮坂俊光, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 上田純志, 近藤亮太, 内田英二 : 有症状多嚢胞性肝疾患に対する治療法の検討. 肝臓 (0451-4203) 2015 ; 56 (1) : A227-A227.
- 10) 水谷 聡, 鈴木英之, 山岸征嗣, 三島圭介, 村木 輝, 中田亮輔, 谷合信彦, 吉田 寛, 前島顕太郎, 吉野雅則, 星野有哉, 渡辺昌則, 内田英二 : 肝門部領域癌術前ドレナージに対する当院の方針と成績. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 2015 ; 40 (3) : 586-586.
- 11) 谷合信彦, 吉田 寛, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 高田英志, 内田英二 : 肝胆膵外科領域における周術期栄養管理 肝切除周術期におけるBCAA 製剤の効果. 外科と代謝・栄養 (0389-5564) 2015 ; 49 (3) : 118-118.
- 12) 赤城一郎, 松谷 毅, 石橋 宰, 牧野浩司, 吉田 寛, 野村 務, 萩原信敏, 篠塚恵理子, 宮下正夫, 内田英二 : 食道癌細胞におけるPI3K-Akt-mTOR 経路関連遺伝子の網羅的解析. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 69 回 2015 ; 176-176.
- 13) 松谷 毅, 野村 務, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 菅野仁士, 牧野浩司, 丸山 弘, 内田英二 : 高度局所進行食道癌に対する腹腔鏡補助下食道バイパス術とステント留置術. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 69 回 2015 ; 134-134.
- 14) 吉岡将史, 吉田 寛, 横山 正, 牧野浩司, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二 : エベロリムスが長期奏功を示している膵神経内分泌癌切除の1例. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015 ; 76 : 1079-1079.
- 15) 若林秀幸, 横山 正, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 平方敦史, 上田純志, 赤城一郎, 関 奈紀, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 磐井佑輔, 内田英二 : 重症急性膵炎後の難治性膵仮性嚢胞十二指腸瘻に対して膵嚢胞胃吻合術が有効であった1例. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015 ; 76 : 1074-1074.
- 16) 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮坂俊光, 吉岡将史, 浅見敬一, 内田英二 : 子宮体癌術後局所再発術後に発症した転移性大腸癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015 ; 76 : 846-846.
- 17) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 新井洋紀, 萩原信敏, 櫻澤信行, 野村 務, 松谷 毅, 牧野浩司, 山下直行, 木山輝郎, 内田英二 : 胃癌患者における術前サルコペニア評価. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 2015 ; 76 : 777-777.
- 18) 住吉宏樹, 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 山初和也, 神田知洋, 清水哲也, 川野陽一, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 内田英二 : 腹腔鏡下膵切除術における術中出血における止血手技の工夫. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015 ; 76 : 681-681.

- 19) 萩原信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 菅野仁士, 新井洋紀, 山下直行, 牧野浩司, 内田英二: 鏡視下食道癌手術における後縦隔経路胃管挙上の偶発症低減のための工夫. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 2015; 76: 668-668.
- 20) 上田康二, 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 宮下哲平, 宮坂俊光, 吉岡将史, 浅見敬一, 内田英二: 腹腔鏡ポート孔で, スマートアンカーを用いた簡単な腸瘻造設法. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 2015; 76 (増刊): 663-663.
- 21) 松下 晃, 中村慶春, 住吉宏樹, 勝野 暁, 山初和也, 神田知洋, 清水哲也, 川野陽一, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 高難度膵臓・胆道内視鏡外科手術の教育 Swine 腹腔鏡下膵切除・胆管吻合モデルの構築と定型化した腹腔鏡下膵尾側膵切除術の継承について. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015; 76: 599-599.
- 22) 上田純志, 横山 正, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 吉岡将史, 内田英二: 教育機関としての亜全胃温存膵頭十二指腸切除術の工夫と成績. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015; 76: 559-559.
- 23) 横山 正, 吉田 寛, 平方敦史, 上田純志, 牧野浩司, 丸山 弘, 赤城一郎, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮坂俊光, 吉岡将史, 浅見敬一, 内田英二: 膵頭十二指腸切除術における膵消化管吻合の工夫 膵管先行運針による確実な膵腸吻合. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 2015; 76 (増刊): 514-514.
- 24) 松谷 毅, 野村 務, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 菅野仁士, 新井洋紀, 牧野浩司, 内田英二: 当科で行っている頸胸境界部食道悪性腫瘍切除・再建術の工夫と成績. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015; 76: 504-504.
- 25) 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 萩原信敏, 松谷 毅, 野村務, 櫻澤信行, 宮下正夫, 内田英二: 食道疾患手術後の吻合・修復部における縫合不全対策 食道癌術後の縫合不全, 食道穿孔後の瘻孔に対する低侵襲的治療. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015; 76: 489-489.
- 26) 川野陽一, 谷合信彦, 中村慶春, 吉岡正人, 松下 晃, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 住吉宏樹, 青木悠人, 吉田 寛, 内田英二: 内視鏡外科手技と器具の工夫 (肝, 胆, 膵, 脾) 当科 Original な手術器具を使用した腹腔鏡下肝切除術の安全な手術手技. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015; 76: 486-486.
- 27) 平方敦史, 吉田 寛, 上田純志, 横山 正, 牧野浩司, 丸山 弘, 赤城一郎, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 吉岡将史, 浅見敬一, 内田英二: 各種エネルギーデバイスのピットフォールと適切な使用方法 Vessel sealing system, パイポーラ鑷子を用いた肝切除術. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 2015; 76 (増刊): 485-485.
- 28) 谷合信彦, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 高田英志, 近藤亮太, 水口義昭, 神田知洋, 中村慶春, 松下 晃, 吉田 寛, 内田英二: 超高齢者 (80 歳以上) に対する外科治療 超高齢者 (80 歳以上) 肝細胞癌患者における肝細胞癌切除術の意義. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 2015; 76 (増刊): 436-436.
- 29) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 神田知洋, 清水哲也, 川野陽一, 水口義昭, 吉岡正人, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 内視鏡外科手術の現状と将来 (肝, 胆, 膵) 腹腔鏡下膵切除術の標準化に向けた取り組み. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 76 巻増刊 2015; 76: 417-417.
- 30) 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 住吉宏樹, 山初和也, 水口義昭, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 谷合信彦, 横山 正, 内田英二: 胆道・膵臓疾患に対する内視鏡外科手術手技 胆膵内視鏡外科手術の標準化に向けた取り組み 安全性に対する再考察. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 2015; 76 (増刊): 386-386.
- 31) 上田康二, 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 宮下哲平, 吉岡将史, 宮坂俊光, 内田英二: 急性虫垂炎手術における術後合併症の検討. 日本外科感染症学会雑誌 (1349-5755) 12 巻 5 号 2015; 12 (5): 622-622.
- 32) 吉岡将史, 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮坂俊光, 内田英二: 腹腔鏡補助下大腸切除術における SSI の検討. 日本外科感染症学会雑誌 (1349-5755) 2015; 12 (5): 615-615.
- 33) 篠塚恵理子, 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 上田康二, 吉岡将史, 宮坂俊光, 磐井佑輔, 内田英二: 消化器外科における Candida 属の検出状況と薬剤感受性. 日本外科感染症学会雑誌 (1349-5755) 12 巻 5 号 2015; 12 (5): 609-609.
- 34) 上田純志, 吉田 寛, 丸山 弘, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 吉岡将史, 内田英二: 肝細胞癌に対する肝切除におけるドレーン培養の有用性の検討. 日本外科感染症学会雑誌 (1349-5755) 2015; 12 (5): 573-573.
- 35) 磐井佑輔, 諸江雄太, 福田令雄, 田上 隆, 谷 将星, 金子純也, 北橋章子, 小柳正雄, 石之神小織, 久野将宗, 畝本恭子, 丸山 弘, 田中 愛, 山本 愛, 鈴木美子: 当センターにおける壊死性軟部組織感染症についての臨床的検討. 日本外科感染症学会雑誌 (1349-5755) 12 巻 5 号 2015; 12 (5): 571-571.
- 36) 赤城一郎, 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮坂俊

- 光, 吉岡将史, 内田英二: 腹臥位胸腔鏡補助下食道切除再建術の術後合併症の検討. 日本外科感染症学会雑誌 (1349-5755) 12 卷 5 号 2015; 12 (5): 567-567.
- 37) 丸山 弘: MRSA の特徴と治療. 日本外科感染症学会雑誌 (1349-5755) 12 卷 5 号 2015; 12 (5): 514-514.
- 38) 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮坂俊光, 吉岡将史, 内田英二: 術中から始まる周術期感染対策 大腸手術における手術時手袋表面の汚染度調査. 日本外科感染症学会雑誌 (1349-5755) 12 卷 5 号 2015; 12 (5): 480-480.
- 39) 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 浅見敬一, 関 奈紀, 内田英二: 経鼻内視鏡の上部消化管手術中使用の有効性. Progress of Digestive Endoscopy (1348-9844) 88 卷 Suppl. 2015; 88 (1): s138-s138.
- 40) 谷合信彦, 吉田 寛, 内田英二: 長高齢者に対する消化器外科治療上の問題点. 臨牀消化器内科 2015; 30 (4): 481-486.
- 41) 真々田裕宏, 吉田 寛, 谷合信彦, 内田英二: 腹腔-静脈シャント術. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 21 卷 2 号 2015; 21 (2): 155-157.
- 42) 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 真々田裕宏, 谷合信彦, 内田英二: 食道・胃静脈瘤. 臨床雑誌「外科」 2016; 78 (1): 15-18.
- 43) 吉田 寛: 門脈圧亢進症. 今日の治療指針 私はこう治療している 2016 2016; 58: 569-570.
- 44) 吉田 寛: 脾臓および門脈. 標準外科学 2016; 626-640.
- (2) 総説:
- 1) 谷合信彦, 吉田 寛, 内田英二: 超高齢者に対する消化器外科治療上の問題点. 臨牀消化器内科 2015; 30: 481-486.
- 2) 真々田裕宏, 吉田 寛, 谷合信彦, 内田英二: 腹腔-静脈シャント. 日本門脈圧亢進症雑誌 2015; 21: 155-157.
- (3) その他:
- 1) 高田英志, 谷合信彦, 真々田裕宏, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 上田純志, 近藤亮太, 水口義昭, 神田知洋, 吉田 寛, 内藤善哉, 内田英二: 肝細胞癌における GRP78 の発現と臨床病理学的検討. 肝臓 (0451-4203) 56 卷 Suppl.1 2015; 56 (1): A382-A382.
- 2) 上田康二, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 近藤亮太, 篠塚恵理子, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: 若手外科医による手術手技 膵臓 当院における膵頭十二指腸切除術の手術手技 若手医師実践のための統一手順. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 2015; 40 (3): 573-573.
- 3) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 各領域におけるエネルギーデバイス使用の工夫 切離・剥離・止血 腹腔鏡下膵切除術における剥離困難な症例に対するソフト凝固システムの使用法. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 2015; 40 (3): 555-555.
- 4) 近藤亮太, 吉田 寛, 平方敦史, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: 各領域におけるエネルギーデバイス使用の工夫 切離・剥離・止血 エネルギーデバイスを用いた系統的肝切除. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 2015; 40 (3): 554-554.
- 5) 青木利恵, 滝澤聖子, 矢萩英子, 横山 正, 関 奈紀, 吉田 寛: 化学療法における副作用対策 それぞれの立場から 当院における化学療法副作用対策 半夏瀉心湯によるうがいのリーフレット作成と指導. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 2015; 40 (3): 545-545.
- 6) 高仰雅子, 矢萩英子, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 吉田 寛: 外科系領域における専門看護師の役割 消化器外科におけるがん看護専門看護師の役割. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 40 卷 3 号 2015; 40 (3): 489-489.
- 7) 上田純志, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 関 奈紀, 若林秀幸, 近藤亮太, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: どうしたら周術期感染症をなくせるか 肝細胞癌に対する肝切除におけるドレーン留置の有用性 外科感染症の立場から. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 2015; 40 (3): 474-474.
- 8) 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 近藤亮太, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: 外科系診療科における医師の育成, 確保 当科における外科医師育成の工夫. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 40 卷 3 号 2015; 40 (3): 428-428.
- 9) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 水口義昭, 石渡俊行, 内藤善哉, 田尻 孝, 内田英二: 膵神経内分分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績. 膵臓 (0913-0071) 2015; 30 (3): 428-428.
- 10) 真々田裕宏, 吉田 寛, 谷合信彦, 内田英二: 腹腔-静脈シャント術. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 (1344-8447) 2015; 21 (2): 155-157.
- 11) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 新井洋紀, 萩原信敏, 櫻澤信行, 野村 務, 松谷 毅, 牧野浩司, 山下直行, 木山輝郎, 内田英二: 胃痛におけるサルコペニア評価と予後との関連. 外科と代謝・栄養 (0389-5564) 49 卷 3 号 2015; 49 (3): 179-179.
- 12) 住吉宏樹, 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 山初和也, 高田英志, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: PNET に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績およびインスリノーマを遺残無く切除するための取り組み

- み、日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集（第27回）2015；620-620.
- 13) 平方敦史, 吉田 寛, 横山 正, 上田純志, 近藤亮太, 牧野浩司, 丸山 弘, 赤城一郎, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二：巨大肝腫瘍に対する肝切除術の注意点. 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集（第27回）2015；596-596.
 - 14) 川野陽一, 谷合信彦, 中村慶春, 吉岡正人, 松下 晃, 水口義昭, 清水哲也, 勝野 暁, 神田知洋, 高田英志, 近藤亮太, 吉田 寛, 内田英二：当科における腹腔鏡下肝切除術の普及に向けた適応と様々な工夫を凝らした安全な手術手技. 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集（第27回）2015；468-468.
 - 15) 山初和也, 中村慶春, 松下あきら, 勝野 暁, 住吉宏樹, 横山 正, 谷合信彦, 吉岡正人, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 真々田裕宏, 宮下正夫, 内田英二：当科における腹腔鏡下尾側膵切除術の手術手技. 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集（第27回）2015；463-463.
 - 16) 谷合信彦, 吉田 寛, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 上田純志, 高田英志, 近藤亮太, 中村慶春, 内田英二：肝胆膵外科周術期のドレーン管理の理想と現実 肝切除術後におけるノードレーン法に向けた試み. 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集（第27回）2015；396-396.
 - 17) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二：膵嚢胞性疾患の治療方針 膵嚢胞性疾患に対する鏡視下膵切除術の有用性. 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集（第27回）2015；387-387.
 - 18) 横山 正, 吉田 寛, 平方敦史, 上田純志, 近藤亮太, 内田英二：迷わない確実な膵吻合術を目指して 膵消化管吻合における我々の工夫 確実に混乱の無い膵腸吻合を目指して. 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集（第27回）2015；369-369.
 - 19) 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 住吉宏樹, 横山 正, 水口義昭, 吉岡正人, 清水哲也, 山初和也, 神田知洋, 谷合信彦, 真々田裕宏, 田尻 孝, 内田英二：Front line in open and endoscopic pancreatic surgery 腹腔鏡下膵体尾部切除術の安全な継承について (Front line in open and endoscopic pancreatic surgery Laparoscopic distal pancreatectomy : Educating surgeons about advanced laparoscopic surgery) (英語). 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集 27回 2015；353-353.
 - 20) 関 奈紀, 横山 正, 牧野浩司, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 飯田信也, 吉田 寛, 柳原恵子, 武井寛幸：当院におけるフルベストラント使用症例について. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 23回 2015；632-632.
 - 21) 柳原恵子, 岩崎美樹, 栗田智子, 鈴木えりか, 金谷洋平, 浅川英樹, 二宮 淳, 関 奈紀, 谷 瞳, 村上隆介, 大橋隆治, 土屋真一, 山下浩二, 武井寛幸：転移性乳癌に対するエリプリンの有用性と安全性の検討. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 23回 2015；566-566.
 - 22) 堀場光二, 宮下正夫, 山田真吏奈, 櫻澤信行, 牧野浩司, 野村 務, 内田英二：食道扁平上皮癌でのCD147, MCT-1, MMP-9の発現意義. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 69回 2015；181-181.
 - 23) 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 内田英二：食道癌術後合併症の診断と治療 新しい工夫 食道癌術後縫合不全時の低侵襲内視鏡的治療の工夫. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 69回 2015；46-46.
 - 24) 上田純志, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 吉岡正人, 平方敦史, 水口義明, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 近藤亮太, 内田英二：胆嚢癌と鑑別が困難であった黄色肉芽腫性胆嚢炎の検討. 胆道 (0914-0077) 2015；29 (3)：603-603.
 - 25) 岩井拓磨, 山田岳史, 吉田 寛, 菅 隼人, 小泉岐博, 進士誠一, 横山康行, 高橋吾郎, 真々田裕宏, 内田英二：大腸癌術後補助化学療法による脾臓容積の変化の検討. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 (1344-8447) 2015；21 (3)：183-183.
 - 26) 高田英志, 谷合信彦, 吉岡正人, 川野陽一, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 上田純志, 近藤亮太, 真々田裕宏, 吉田 寛, 内田英二：難治性胸・腹水の治療法とその適応 当科における難治性腹水に対する腹腔-静脈シャント術の有用性の検討. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 (1344-8447) 21巻3号 2015；21 (3)：89-89.
 - 27) 谷合信彦, 吉田 寛, 真々田裕宏, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 上田純志, 高田英志, 近藤亮太, 内田英二：門脈圧亢進症に対するIVR治療の現状と今後の展望 門脈圧亢進症に対する部分的脾動脈塞栓術(PSE)の現状と展望. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 (1344-8447) 2015；21 (3)：78-78.
 - 28) 赤城一郎, 松谷 毅, 石橋 宰, 牧野浩司, 吉田 寛, 野村 務, 萩原信敏, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 上田純志, 篠塚恵理子, 宮下正夫, 内田英二：食道扁平上皮癌細胞におけるPI3K-Akt-mTOR経路関連遺伝子およびマイクロRNAの網羅的発現解析. 日本消化器病学会雑誌 (0446-6586) 2015；112：822-822.
 - 29) 吉田 寛, 平方敦史, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 上田純志, 近藤亮太, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二：CT volumetryとTc-99mGSA scintigraphyのfusion imagingによるFunctional volumetryの検討. 肝臓 (0451-4203) 2015；56 (2)：787-787.
 - 30) 谷合信彦, 吉田 寛, 内田英二：門脈圧亢進症 診断・治療の今後の展開 門脈圧亢進症に対する部分的脾動脈塞栓術(PSE). 肝臓 (0451-4203) 2015；56 (2)：677-677.

31) 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 真々田裕宏, 谷合信彦, 内田英二:【腹部良性疾患に対する外科治療の最前線】食道・胃静脈瘤. 外科 (0016-593X) 2016; 78 (1): 15-18.

(4) 症例報告:

- 1) 高野竜太郎, 小泉岐博, 菅 隼人, 山田岳史, 進士誠一, 山岸杏彌, 横山康行, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 古木裕康, 吉岡将史, 増田有香, 内田英二: 上行結腸癌術後の腸管気腫および門脈気腫が自然に消失した1例. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 2015; 40 (3): 632-632.
- 2) 宮坂俊光, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 近藤亮太, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 内田英二: 肩関節滑膜肉腫の腹腔内転移を認めた1例. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 2015; 40 (3): 613-613.
- 3) 篠塚恵理子, 平方敦史, 上田純志, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 横山 正, 赤城一郎, 関 奈紀, 若林秀幸, 近藤亮太, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: 虫垂炎術後に腸管皮膚瘻を形成し, 腹腔鏡を併用し瘻孔切除を行った1例. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 40 卷 3 号 2015; 40 (3): 591-591.
- 4) 近藤亮太, 吉田 寛, 横山 正, 平方敦史, 上田純志, 内田英二: 肝細胞癌による臍頭後部孤立性リンパ節転移に対して, 肝臍同時切除術を行い完全切除が得られた1症例. 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集 27 回 2015; 515-515.
- 5) 金谷洋平, 飯田信也, 山下浩二, 横山 正, 柳原恵子, 栗田智子, 岩崎美樹, 関 奈紀, 保科淑子, 鈴木えりか, 二宮 淳, 浅川英輝, 谷 瞳, 武井寛幸: エストロゲンレセプター陽性転移再発乳癌に対するフルベストラント, カベシタピンの併用療法の有効性. 日本乳癌学会総会プログラム抄録集 23 回 2015; 639-639.
- 6) 上田康二, 赤城一郎, 牧野浩司, 吉田 寛, 横山 正, 丸山 弘, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 宮下正夫, 内田英二: 経食道心エコーによる食道穿孔及び後縦隔膿瘍に対して穿刺ドレナージを施行した1例. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 69 回 2015; 202-202.
- 7) 篠塚恵理子, 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 内田英二: Trousseau 症候群を呈した食道腺癌の1例. 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 69 回 2015; 132-132.
- 8) 宮坂俊光, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: Hassab 手術後の広範囲門脈血栓により小腸静脈瘤出血を認めた特発性門脈圧亢進症の1例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 (1344-8447) 2015; 21 (3): 184-184.
- 9) 近藤亮太, 谷合信彦, 吉岡正人, 川野陽一, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 真々田裕宏, 吉田 寛, 松谷 毅, 内田英二: 空腸置置術を加えた胃管再建による食道胃静脈瘤合併の食道癌手術の1例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 (1344-8447) 2015; 21 (3): 148-148.
- 10) 吉岡将史, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志: 十二指腸静脈瘤に対して開腹静脈瘤血行遮断術を施行した1例. 日本門脈圧亢進症学会雑誌 (1344-8447) 2015; 21 (3): 130-130.

(5)

- 1) Hotta M, Yoshida H, Makino H, Yokoyama T, Maruyama H, Hirakata A, Uchida E: Spontaneous rupture of a simple hepatic cyst; Report of a case. J Nippon Med Sch 2015; 82 (2): 113-116.
- 2) 関 奈紀, 横山 正, 平方敦史, 柳原恵子, 丸山 弘, 牧野浩司, 吉田 寛, 内田英二, 武井寛幸: 化学療法における副作用対策それぞれの立場から 乳癌化学療法における支持療法としての漢方製剤の有用性についての検討. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 2015; 40 (3): 544-544.
- 3) 上田純志, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 横山 正, 吉岡正人, 平方敦史, 川野陽一, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 近藤亮太, 内田英二: 肝切除における肝血流遮断解除後の肝十二指腸間膜用手マッサージ法の有用性. 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集 (第 27 回) 2015; 593-593.
- 4) 松下 晃, 中村慶春, 勝野 暁, 山初和也, 住吉宏樹, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 遠位臍切除の術式と成績 当科における腹腔鏡下尾側臍切除術の手術成績. 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集 (第 27 回) 2015; 395-395.

学会発表

(1) シンポジウム:

- 1) 野村 務, 松谷 毅, 萩原信敏, 牧野浩司, 藤田逸郎, 金沢義一, 中村慶春, 柿沼大輔, 菅野仁士, 宮下正夫, 内田英二: 当施設における腹腔鏡下逆流防止術の治療成績および今後の展望: とくに通常の GERD とは異なる特殊な症例に関して. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
- 2) 横山 正, 吉田 寛, 平方敦史, 上田純志, 近藤亮太, 内田英二: 臍消化管吻合における我々の工夫 - 確実に混乱の無い臍腸吻合を目指して. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.

- 3) 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 住吉宏樹, 横山 正, 水口義昭, 吉岡正人, 清水哲也, 山初和也, 神田知洋, 谷合信彦, 真々田裕宏, 田尻 孝, 内田英二: 腹腔鏡下脛体尾部切除術の安全な継承について. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.
 - 4) 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 近藤亮太, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: 当科における外科医師育成の工夫. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
 - 5) 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮坂俊光, 吉岡将史, 内田英二: 大腸手術における手術時手袋表面の汚染度調査. 日本外科感染症学会総会 (第 28 回) (愛知), 2015. 12.
 - 6) 松下 晃, 中村慶春, 住吉宏樹, 勝野 暁, 山初和也, 神田知洋, 清水哲也, 川野陽一, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 安全な腹腔鏡下脛体尾部切除術の定形化とその継承について. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- (2) パネルディスカッション:
- 1) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 膵嚢胞性疾患に対する鏡視下膵切除術の有用性. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.
 - 2) 高仲雅子, 矢萩英子, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 吉田 寛: 消化器外科におけるがん看護専門看護師の役割. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
 - 3) 上田純志, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 関 奈紀, 若林秀幸, 近藤亮太, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: 肝細胞癌に対する肝切除におけるドレーン留置の有用性 - 外科感染症の立場から -. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
 - 4) 谷合信彦, 吉田 寛, 真々田裕宏, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 上田純志, 高田英志, 近藤亮太, 内田英二: 門脈圧亢進症に対する部分的脾動脈塞栓術 (PSE) の現状と展望. 日本門脈圧亢進症学会総会 (第 22 回) (神奈川), 2015. 9.
 - 5) 高田英志, 谷合信彦, 吉岡正人, 川野陽一, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 上田純志, 近藤亮太, 真々田裕宏, 吉田 寛, 内田英二: 当科における難治性腹水に対する腹腔 - 静脈シャント術の有用性の検討. 日本門脈圧亢進症学会総会 (第 22 回) (神奈川), 2015. 9.
 - 6) 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 萩原信敏, 松谷 毅, 野村務, 桜澤信行, 宮下正夫, 内田英二: 腹腔鏡下胃切離後, 胃内の鏡視下にステープルライン内翻する胃管作成の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- (3) ワークショップ:
- 1) 松下 晃, 中村慶春, 勝野 暁, 山初和也, 住吉宏樹, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 当科における腹腔鏡下尾側膵切除術の手術成績. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.
 - 2) 谷合信彦, 吉田 寛, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 上田純志, 高田英志, 近藤亮太, 中村慶春, 内田英二: 肝切除術後におけるノードレーン法に向けた試み. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.
 - 3) 関 奈紀, 横山 正, 平方敦史, 柳原恵子, 丸山 弘, 牧野浩司, 吉田 寛, 内田英二, 武井寛幸: 乳癌化学療法における支持療法としての漢方製剤の有用性についての検討. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
 - 4) 近藤亮太, 吉田 寛, 平方敦史, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: エネルギーデバイスを用いた系統的肝切除. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
 - 5) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 腹腔鏡下膵切除術における剥離困難な症例に対するソフト凝固システムの使用法. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
 - 6) 青木利恵, 滝澤聖子, 矢萩英子, 横山 正, 関 奈紀, 吉田 寛: 当院における化学療法副作用対策: 半夏瀉心湯によるうがいのリーフレット作成と指導. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 課) (東京), 2015. 6.
 - 7) 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 内田英二: 食道癌術後縫合不全時の低侵襲な内視鏡的治療の工夫. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (神奈川), 2015. 7.
 - 8) 谷合信彦, 吉田 寛, 内田英二: 門脈圧亢進症に対する部分的脾動脈塞栓術 (PSE). 日本肝臓学会大会 (JDDW2015) (第 19 回) (東京), 2015. 10.
 - 9) 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 山初和也, 住吉宏樹, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 谷合信彦, 神田知洋, 横山 正, 田尻 孝, 水口義昭, 内田英二: 腹腔鏡下膵切除術の標準化に向けた取り組み; pitfall とその対策について. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
 - 10) 野村 務, 松谷 毅, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 中村慶春, 柿沼大輔, 菅野仁士, 新井洋紀, 牧野浩司, 宮下正夫, 内田英二: III 型食道裂孔ヘルニアに対する内視鏡外科手術のポイントと治療成績. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.

- 11) 住吉宏樹, 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 山初和也, 神田知洋, 清水哲也, 川野陽一, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 内田英二: 腹腔鏡下臍切除における術中出血における止血手技の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
 - 12) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 神田知洋, 清水哲也, 川野陽一, 水口義昭, 吉岡正人, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 腹腔鏡下臍切除術の安全な普及をめざした臍切離・臍消化管吻合の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- (4) 一般講演:
- 1) Makino H, Miyasaka T, Yoshida H, Yokoyama T, Maruyama H, Ueda K, Yoshioka M, Miyashita T, Asami K, Uchida E: Endoscopic application of trans-nasal tube, clipping and over-the-scope (OTS) clip for an esophago-mediastinal fistula and anastomotic leakage. journal of Gastroenterology and Hepatology ASIAN PACIFIC DIGESTIVE WEEK (Taipei, Taiwan), 2015. 12.
 - 2) 赤城一郎: 腹腔鏡下ヘルニアにおける再発予防と合併症対策. 橋樑消化器外科研究会~1st Announcement~(第6回)(東京), 2015. 4.
 - 3) 赤城一郎, 松谷 毅, 石橋 宰, 牧野浩司, 吉田 寛, 野村 務, 萩原信敏, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 上田純志, 篠塚恵理子, 宮下正夫, 内田英二: 食道扁平上皮癌における PI3K-Akt-mTOR 経路の網羅的解析. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 4) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金沢義一, 小野寺浩之, 柿沼大輔, 新井洋紀, 萩原信敏, 櫻澤信行, 野々村務, 松谷 毅, 牧野浩司, 山下直行, 木下輝郎, 内田英二: 胃癌手術における予後予測因子としての術前 modified Glasgow Prognostic Score (mGPS) の意義. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 5) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 谷合信彦, 内田英二: 腹腔鏡下尾側臍切除術 (Lap-DP) における手術部位感染と臍液瘻との関連について. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 6) 松下 晃, 中村慶春, 住吉宏樹, 山初和也, 勝野 暁, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 腹腔鏡下臍頭十二指腸切除術における endoscopic linear stapler (ELS) を用いた臍切離と臍消化管吻合の工夫. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 7) 山初和也, 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 住吉宏樹, 横山 正, 松本智司, 宮下正夫, 内田英二: 残遺なく臍インスリノーマを切除するための当科の取り組みについて. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 8) 吉岡将史, 中村慶春, 勝野 暁, 住吉宏樹, 松下 晃, 山初和也, 吉岡正人, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 谷合信彦, 内田英二: 残遺なくインスリノーマ手術を終える為に: 術中の経時的 IRI モニタリングが腫瘍の完全摘術に有用であった 1 例. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 9) 近藤亮太, 吉田 寛, 横山 正, 平方敦史, 上田純志, 内田英二: 肝細胞癌による臍頭後部孤立性リンパ節転移に対して, 肝臍同時切除術を行い完全切除が得られた 1 症例. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.
 - 10) 住吉宏樹, 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 山初和也, 高田英志, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: PNET に対する腹腔鏡下臍切除術の手術成績およびインスリノーマを遺残無く切除するための取り組み. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.
 - 11) 上田純志, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 横山 正, 吉岡正人, 平方敦史, 川野陽一, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 近藤亮太, 内田英二: 肝切除における肝血流遮断解除後の肝十二指腸間膜用手マッサージ法の有用性. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.
 - 12) 平方敦史, 吉田 寛, 横山 正, 上田純志, 近藤亮太, 牧野浩司, 丸山 弘, 赤城一郎, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: 巨大肝腫瘍に対する肝切除術の注意点. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.
 - 13) 篠塚恵理子, 平方敦史, 上田純志, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 横山 正, 赤城一郎, 関 奈紀, 若林秀幸, 近藤亮太, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: 虫垂炎術後に腸管皮膚瘻を形成し, 腹腔鏡を併用し瘻孔切除術を行った 1 例. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
 - 14) 水谷 聡, 鈴木英之, 山岸征嗣, 三島圭介, 村木 輝, 中田亮輔, 谷合信彦, 吉田 寛, 前島顕太郎, 吉野雅則, 星野有哉, 渡辺昌則, 内田英二: 肝門部領域癌術前ドレナージに対する当院の方針と成績. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
 - 15) 安藤文彦, 山下直行, 湖山信篤, 櫻澤信行, 下田朋宏, 上田康二, 和知栄子, 小倉 豪, 内田英二: 胃癌との鑑別が問題となった胃 MALT リンパ腫の 1 切除例. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
 - 16) 宮坂俊光, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 近藤亮太, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 内田英二: 肩関節滑膜肉腫の腹腔内転移を認めた 1 例. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
 - 17) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 水口義昭, 石渡俊行, 内藤善哉, 田尻 孝, 内田英二: 臍神経内

- 分泌腫瘍に対する腹腔鏡下瘻切除術の手術成績. 日本膵臓学会大会 (第 46 回) (名古屋), 2015. 6.
- 18) 篠塚恵理子, 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 内田英二: Trousseau 症候群を呈した食道腺癌の 1 例. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (神奈川), 2015. 7.
 - 19) 松谷 毅, 野村 務, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 菅野仁士, 牧野浩司, 丸山 弘, 内田英二: 高度局所進行食道癌に対する腹腔鏡補助下食道バイパス術とステント留置術. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (神奈川), 2015. 7.
 - 20) 上田康二, 赤城一郎, 牧野浩司, 吉田 寛, 横山 正, 丸山 弘, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 宮下正夫, 内田英二: 経食道心エコーによる食道穿孔及び後縦隔膿瘍に対して穿刺ドレナージを施行した 1 例. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (神奈川), 2015. 7.
 - 21) 赤城一郎, 松谷 毅, 石橋 宰, 牧野浩司, 吉田 寛, 野村 務, 萩原信敏, 篠塚恵理子, 宮下正夫, 内田英二: 食道癌細胞における PI3K-Akt-mTOR 経路関連遺伝子の網羅的解析. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (神奈川), 2015. 7.
 - 22) 堀場光二, 宮下正夫, 山田真吏奈, 櫻澤信行, 牧野浩司, 野村 務, 内田英二: 食道扁平上皮癌での CD147, MCT-1, MMP-9 の発現意義. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (神奈川), 2015. 7.
 - 23) 柳原恵子, 岩崎美樹, 栗田智子, 鈴木えりか, 金谷洋平, 浅川英樹, 二宮 淳, 関 奈紀, 谷 瞳, 村上隆介, 大橋隆治, 土屋眞一, 山下浩二, 武井寛幸: 転移性乳癌に対するエリプリンの有用性と安全性の検討. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (東京), 2015. 7.
 - 24) 関 奈紀, 横山 正, 牧野浩司, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 飯田信也, 吉田 寛, 柳原恵子, 武井寛幸: 当院におけるフルベストラント使用症例について. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (東京), 2015. 7.
 - 25) 金谷洋平, 飯田信也, 山下浩二, 横山 正, 柳原恵子, 栗田智子, 岩崎美樹, 関 奈紀, 保科淑子, 鈴木えりか, 二宮 淳, 浅川英輝, 谷 瞳, 武井寛幸: エストロゲンレセプター陽性転移再発乳癌に対するフルベストラント, カペシタビンの併用療法の有用性. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (東京), 2015. 7.
 - 26) 上田康二, 赤城一郎, 吉田 寛, 平方敦史, 若林秀幸, 近藤亮太, 篠塚恵理子, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: 当科における急性虫垂炎の検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡), 2015. 7.
 - 27) 上田純志, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 吉岡正人, 平方敦史, 水口義昭, 神田知洋, 高田英志, 内田英二: 肝細胞癌における AFP-L3 分画と臨床病理学的因子及び予後との関連. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡), 2015. 7.
 - 28) 平方敦史, 吉田 寛, 横山 正, 牧野浩司, 丸山 弘, 上田純志, 赤城一郎, 若林秀幸, 近藤亮太, 内田英二: バイポーラ鑷子を利用した肝切除術のポイント. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡), 2015. 7.
 - 29) 赤城一郎, 松谷 毅, 石橋 宰, 小川陽大, 牧野浩司, 吉田 寛, 野村 務, 萩原信敏, 宮下正夫, 内田英二: 食道扁平上皮癌における PI3K-Akt-mTOR 経路の網羅的解析. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (静岡), 2015. 7.
 - 30) 丸山 弘: 「切除不能進行再発大腸癌化学療法 XELIRI+BV の検討」. 多摩消化器がん化学療法シンポジウム (第 9 回) (東京), 2015. 7.
 - 31) 近藤亮太, 谷合信彦, 吉岡正人, 川野陽一, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 真々田裕宏, 吉田 寛, 松谷 毅, 内田英二: 空腸間置術を加えた胃管再建による食道胃静脈瘤合併の食道癌手術の 1 例. 日本門脈圧亢進症学会総会 (第 22 回) (神奈川), 2015. 9.
 - 32) 岩井拓磨, 山田岳史, 吉田 寛, 菅 隼人, 小泉岐博, 進士誠一, 横山康行, 高橋吾郎, 真々田裕宏, 内田英二: 大腸癌術後補助化学療法による脾臓容積の変化の検討. 脾臓研究会 (第 4 回) (神奈川), 2015. 9.
 - 33) 宮坂俊光, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: Hassab 手術後の広範囲門脈血栓により小腸静脈瘤出血を認めた特発性門脈圧亢進症の 1 例. 脾臓研究会 (第 4 回) (神奈川), 2015. 9.
 - 34) 上田純志, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 吉岡正人, 平方敦史, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 近藤亮太, 内田英二: 胆嚢癌と鑑別が困難であった黄色肉芽腫性胆嚢炎の検討. 日本胆道学会学術集会 (第 51 回) (栃木), 2015. 9.
 - 35) 宮坂俊光, 赤城一郎, 横山 正, 丸山 弘, 牧野浩司, 吉田 寛: 巨大後腹膜脂肪肉腫の 1 例. 城西外科研究会 (第 91 回) (東京), 2015. 9.
 - 36) 関 奈紀: 「ラパチニブにて長期間の奏効性と認容性が得られている転移性乳癌の 1 例」. Heisei-Breast cancer Active Symposium of Tama (第 8 回) (東京), 2015. 10.
 - 37) 田杭直哉, 近藤匡慶, 菅谷量俊, 村田和也, 上原隆志, 丸山 弘: プロンプト法における MIC = 1 μ g/mL および 2 μ g/mL の MRSA 株に対する VCM の有効性. 日本化学療法学会東日本支部総会 (第 64 回日本感染症学会東日本地方会学術集会合同学会) (第 62 回) (北海道), 2015. 10.
 - 38) 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 磐井佑輔, 上原隆志, 田杭直哉, 鈴木美子, 田中 愛, 山本 愛, 内田英二: 消化器外科における Candida 属の検出状況と薬剤感受性. 日本化学療法学会東日本支部総会 (第 64 回日本感染症学会東日本地方会学術集会合同学会) (第 62 回) (北海道), 2015. 10.

- 39) 佐藤貴弘, 原田佳明, 原田雅義, 長田俊一, 吉田 寛: 肝障害のため経口抗がん剤中止し, 再発大腸癌に対し経静脈的に再導入可能となった1例. 日本癌治療学会学術集会 (第53回) (京都), 2015. 10.
- 40) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 新井洋紀, 萩原信敏, 松谷 毅, 野村 務, 櫻澤信行, 牧野浩司, 山下直行, 木山輝郎, 内田英二: 胃癌における術前サルコペニアと予後との関連. 日本癌治療学会学術集会 (第53回) (京都), 2015. 10.
- 41) 磐井佑輔, 諸江雄太, 福田令雄, 田上 隆, 富永直樹, 谷 将星, 金子純也, 北橋章子, 小柳正雄, 石之神小織, 久野将宗, 畝本恭子, 横山 正, 吉田 寛: 主膵管損傷を伴う膵損傷に対する治療方針についての自験例の検討. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡), 2015. 11.
- 42) 若林秀幸, 横山 正, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 平方敦史, 上田純志, 赤城一郎, 関 奈紀, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 磐井佑輔, 内田英二: 重症急性膵炎後の難治性膵仮性嚢胞十二指腸瘻に対して膵嚢胞胃吻合術が有効であった1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡), 2015. 11.
- 43) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 新井洋紀, 萩原信敏, 櫻澤信行, 野村 務, 松谷 毅, 牧野浩司, 山下直行, 木山輝郎, 内田英二: 胃癌患者における術前サルコペニア評価. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡), 2015. 11.
- 44) 上田純志, 吉田 寛, 丸山 弘, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 吉岡将史, 内田英二: 肝細胞癌に対する肝切除におけるドレーン培養の有用性の検討. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知), 2015. 12.
- 45) 赤城一郎, 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮坂俊光, 吉岡将史, 内田英二: 腹臥位胸腔鏡補助下食道切除再建術の術後合併症の検討. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知), 2015. 12.
- 46) 磐井佑輔, 諸江雄太, 福田令雄, 田上 隆, 谷 将星, 金子純也, 北橋章子, 小柳正雄, 石之神小織, 久野将宗, 畝本恭子, 丸山弘, 田中 愛, 山本 愛, 鈴木美子: 当センターにおける壊死性軟部組織感染症についての臨床的検討. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知), 2015. 12.
- 47) 吉岡将史, 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮坂俊光, 内田英二: 腹腔鏡補助下大腸切除術における SSI の検討. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知), 2015. 12.
- 48) 篠塚恵理子, 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 上田康二, 吉岡将史, 宮坂俊光, 磐井佑輔, 内田英二: 消化器外科における Candida 族の検出状況と薬剤感受性. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知), 2015. 12.
- 49) 上田康二, 丸山 弘, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 宮下哲平, 吉岡将史, 宮坂俊光, 内田英二: 急性虫垂炎手術における術後合併症の検討. 日本外科感染症学会総会 (第28回) (愛知), 2015. 12.
- 50) 関 奈紀, 横山 正, 牧野浩司, 金谷洋平, 鈴木えりか, 岩崎美樹, 中井麻木, 柳原恵子, 吉田 寛, 武井寛幸: 転移性病変の切除治療追加により良好な経過が得られている乳腺粘液癌の2例. 日本乳癌学会関東地方会 (第12回) (埼玉), 2015. 12.
- 51) 横山 正: アフィニトールで長期奏効がみられた P-NET 症例: 長期治療におけるマネジメントの注意点. 多摩神経内分泌腫瘍講演会: TAMA NET WORK (東京), 2015. 12.
- 52) 関 奈紀, 横山 正, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 武井寛幸, 内田英二: 女性化乳房症に対して傍乳輪切開アプローチによる内視鏡補助下乳腺切除術が有用であった1例. 日本内視鏡外科学会総会 (第28回) (大阪), 2015. 12.
- 53) 萩原信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 菅野仁士, 牧野浩司, 内田英二: 鏡視下補助にて食道切除・有茎空腸再建を行った肺感染症治療後の食道癌の1例. 日本内視鏡外科学会総会 (第28回) (大阪), 2015. 12.
- 54) 近藤亮太, 谷合信彦, 吉岡正人, 川野陽一, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 真々田裕宏, 吉田 寛, 内田英二: 当院における巨大肝嚢胞に対する腹腔鏡下肝嚢胞開窓術の治療成績. 日本内視鏡外科学会総会 (第28回) (大阪), 2015. 12.
- 55) 安藤文彦, 山下直行, 湖山信篤, 櫻澤信行, 下田朋宏, 上田康二, 和知栄子, 小倉 豪: 胃癌との鑑別が問題となった胃 MALT リンパ腫の1切除例. 日本内視鏡外科学会総会 (第28回) (大阪), 2015. 12.
- 56) 川野陽一, 谷合信彦, 中村慶春, 吉岡正人, 松下 晃, 水口義昭, 清水哲也, 勝野 暁, 高田英志, 住吉宏樹, 近藤亮太, 青木悠人, 吉田 寛, 内田英二: 当科 Original の Device を駆使した腹腔鏡下肝切除術における止血法の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第28回) (大阪), 2015. 12.
- 57) 藤田逸郎, 柿沼大輔, 新井洋紀, 菊池友太, 桜澤信行, 金沢義一, 山下直行, 菅野仁士, 萩原信敏, 松谷 毅, 牧野浩司, 野村 務, 木山輝郎, 内田英二: 膵頭前面先行剥離による鏡視下6番郭清. 日本内視鏡外科学会総会 (第28回) (大阪), 2015. 12.
- 58) 吉田 寛: 日本消化器内視鏡学会関東支部例会 (第101回) (東京), 2015. 12.
- 59) 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 浅見敬一, 関 奈紀, 内田英二: 経鼻内視鏡の上部消化管手術中使用の有用性. 日本消化器内視鏡学会関東支部例会 (第101回) (東京), 2015. 12.

- 60) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 内田英二: チーム内で統一された腹腔鏡下尾側膵切除術 (Lap-DP) におけるドレーン管理法. 膵臓内視鏡外科研究会 (第7回) (京都), 2015. 12.
- (5) 座長:
- 1) 吉田 寛: 大腸癌化学療法の現状と未来: 分子標的治療薬の位置づけ. 南多摩がんチーム医療講習会~消化器がんを中心に~1st announce (第2回) (神奈川), 2015. 10.
- (6) Free Paper:
- 1) Makino H, Yoshida H, Maruyama H, Yokoyama T, Hirakata A, Akagi I, Ueda J, Wakabayashi H, Nomura T, Uchida E: Lymph node dissection (Ln) along the left recurrent laryngeal nerve after esophageal stripping and safe anastomosis in vata-e (video-assisted thoracoscopic surgery of esophagus. journal of Gastroenterology and Hepatology ASIAN PACIFIC DIGESTIVE WEEK (Taipei, Taiwan), 2015. 12.
- (7) International Video Symposium:
- 1) 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 山初和也, 住吉宏樹, 横山 正, 田尻 孝, 内田英二: Laparoscopic pancreatectomy: How far it has been standardized?. 日本消化器外科学会総会 (第70回) (静岡), 2015. 7.
- (8) セッション:
- 1) 谷合信彦, 吉田 寛, 内田英二: 腹腔鏡下肝切除における術前シュミレーションの有用性. 日本肝臓学会総会 (第51回) (熊本), 2015. 5.
 - 2) 高田英志, 谷合信彦, 真々田裕宏, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 上田純志, 近藤亮太, 水口義昭, 神田知洋, 吉田 寛, 内藤善哉, 内田英二: 肝細胞癌における GRP78 の発現と臨床病理学的検討. 日本肝臓学会総会 (第51回) (熊本), 2015. 5.
- (9) ディスカッション:
- 1) 横山 正: 多摩膵がん化学療法セミナー () (東京), 2015. 10.
- (10) ディベート:
- 1) 武井寛幸, 柳原恵子, 栗田智子, 岩本美樹, 関 奈紀, 保科淑子, 二宮 淳, 浅川英輝, 横山 正, 山下浩二, 飯田信也: "ACOSOG-Z0011" 試験適格例に対する腋窩郭清: 省略 vs 実施. 日本外科学会定期学術集会 (第115回) (名古屋), 2015. 4.
- (11) デジタルポスター:
- 1) 吉田 寛, 平方敦史, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 上田純志, 近藤亮太, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: CT volumetry と Tc-99mGSA scintigraphy の fusion imaging による Functional volumetry の検討. 日本肝臓学会大会 (JDDW2015) (第19回) (東京), 2015. 10.
 - 2) 赤城一郎, 松谷 毅, 石橋 宰, 牧野浩司, 吉田 寛, 野村 務, 萩原信敏, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 上田純志, 篠塚恵理子, 宮下正夫, 内田英二: 食道扁平上皮癌細胞における PI3K-Akt-mTOR 経路関連遺伝子およびマイクロ RNA の網羅的発現解析. 日本消化器病学会大会 (JDDW2015) (第57回) (東京), 2015. 10.
 - 3) 佐藤貴弘, 原田雅義, 長田俊一, 山口茂樹, 吉田 寛: 大腸癌遠隔リンパ節転移に対する積極的集学的治療. 日本消化器外科学会総会 (JDDW2015) (第13回) (東京), 2015. 10.
 - 4) 谷合信彦, 吉田 寛, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 上田純志, 高田英志, 近藤亮太, 内田英二: 肝細胞癌に対する肝切除周術期における BCAA 製剤の効果 (第2報). 日本消化器外科学会総会 (JDDW2015) (第13回) (東京), 2015. 10.
 - 5) 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 藤田逸郎, 宮下正夫, 内田英二: 食道胃接合部癌に対する胸腔鏡下食道切除術と胸腔鏡下吻合のコツとピットフォール. 日本消化器外科学会総会 (JDDW2015) (第13回) (東京), 2015. 10.
 - 6) 野村 務, 松谷 毅, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 中村慶春, 柿沼大輔, 菅野仁士, 川見典之, 牧野浩司, 丸山 弘, 岩切勝彦, 宮下正夫, 内田英二: III型食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡手術のポイント. 日本消化器外科学会総会 (JDDW2015) (第13回) (東京), 2015. 10.
 - 7) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 新井洋紀, 萩原信敏, 櫻澤信行, 野村 務, 松谷 毅, 牧野浩司, 山下直行, 木下輝郎, 内田英二: 胃癌患者におけるサルコペニアの意義. 日本消化器外科学会総会 (JDDW2015) (第13回) (東京), 2015. 10.
 - 8) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二: 腹腔鏡下尾側膵切除術 (Lap-DP) における手術部位感染と膵液瘻との関連について. 日本消化器外科学会総会 (JDDW2015) (第13回) (東京), 2015. 10.
- (12) ビデオワークショップ:
- 1) 上田康二, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 若林秀幸, 近藤亮太, 篠塚恵理子, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: 当院における膵頭十二指腸切除術の手術手技: 若手医師実践のための統一手順. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京), 2015. 6.

(13) 外科感染症入門：

- 1) 丸山 弘：MRSA の特徴と治療. 日本外科感染症学会総会（第 28 回）（愛知），2015. 12.

(14) 企画関連口演：

- 1) 谷合信彦, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 上田純志, 高田英志, 近藤亮太, 吉田 寛, 内田英二：肝細胞癌切除例に対する BCAA 製剤の及ぼす影響に関する RCT. 日本消化器外科学会総会（第 70 回）（静岡），2015. 7.
- 2) 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 宮下正夫, 内田英二：ストリッピングによる 106recL 郭清とアンビル先行装着後, 残食道を縫合する頸部吻合で合併症を減らす工夫. 日本消化器外科学会総会（第 70 回）（静岡），2015. 7.

(15) 主題ポスター：

- 1) 宮坂俊光, 吉田 寛, 真々田裕宏, 谷合信彦, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 上田純志, 近藤亮太, 内田英二：有症状多嚢胞性肝疾患に対する治療法の検討. 日本肝臓学会総会（第 51 回）（熊本），2015. 5.
- 2) 近藤亮太, 谷合信彦, 吉岡正人, 平方敦史, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 上田純志, 高田英志, 真々田裕宏, 吉田 寛, 内田英二：巨大肝嚢胞に対する腹腔鏡下肝嚢胞開窓術. 日本肝臓学会総会（第 51 回）（熊本），2015. 5.

(16) 主題関連演題：

- 1) 横山 正, 吉田 寛, 平方敦史, 上田純志, 牧野浩司, 丸山 弘, 赤城一郎, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮坂俊光, 吉岡将史, 浅見敬一, 内田英二：臍頭十二指腸切除術における臍消化管吻合の工夫：臍管先行運針による確実な臍腸吻合. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.
- 2) 松谷 毅, 野村 務, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 菅野仁士, 新井洋紀, 牧野浩司, 内田英二：当科で行っている頸胸境界部食道悪性腫瘍切除・再建術の工夫と成績. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.
- 3) 野村 務, 松谷 毅, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 中村慶春, 柿沼大輔, 菅野仁士, 新井洋紀, 牧野浩司, 宮下正夫, 内田英二：高齢者の食道裂孔ヘルニアに対する外科治療. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.
- 4) 上田純志, 横山 正, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 関 奈紀, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 吉岡将史, 内田英二：教育機関としての重全胃温存臍頭十二指腸切除術の工夫と成績. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.
- 5) 松下 晃, 中村慶春, 住吉宏樹, 勝野 暁, 山初和也, 神田知洋, 清水哲也, 川野陽一, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二：高難度臍臓・胆道内視鏡外科手術の教育：Swine 腹腔鏡下臍切除・胆管吻合モデルの構築と定型化した腹腔鏡下臍尾側臍切除術の継承について. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.

(17) 症例供覧：

- 1) 横山 正：『当院の臍癌症例における GEM/アブラキサンの著効経験』. 多摩臍がん化学療法セミナー（東京），2015. 10.

(18) 特別プログラムパネルディスカッション：

- 1) 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二：医学生, 研修医に対する超音波実習の試み：「超音波道場」開設 8 年の報告. 日本超音波医学会第 88 回学術集会（第 88 回）（東京），2015. 5.

(19) 特別演題：

- 1) 谷合信彦, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 高田英志, 近藤亮太, 水口義昭, 神田知洋, 中村慶春, 松下 晃, 吉田 寛, 内田英二：超高齢者（80 歳以上）肝細胞癌患者における肝細胞癌切除術の意義. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.
- 2) 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 住吉宏樹, 山初和也, 水口義昭, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 谷合信彦, 横山 正, 内田英二：胆膵内視鏡外科手術の標準化に向けた取り組み：安全性に対する再考察. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.
- 3) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 神田知洋, 清水哲也, 川野陽一, 水口義昭, 吉岡正人, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二：腹腔鏡下臍切除術の標準化に向けた取り組み. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.
- 4) 川野陽一, 谷合信彦, 中村慶春, 吉岡正人, 松下 晃, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 住吉宏樹, 青木悠人, 吉田 寛, 内田英二：当科 Original な手術器具を使用した腹腔鏡下肝切除術の安全な手術手技. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.
- 5) 平方敦史, 吉田 寛, 上田純志, 横山 正, 牧野浩司, 丸山 弘, 赤城一郎, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 吉岡将史, 浅見敬一, 内田英二：Vessel sealing system, バイポーラ鑷子を用いた肝切除術. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.
- 6) 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 萩原信敏, 松谷 毅, 野村 務, 桜澤信行, 宮下正夫, 内田英二：食道癌術後の縫合不全, 食道穿孔後の瘻孔に対する低侵襲的治療. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.

(20) 要望演題：

- 1) 川野陽一, 谷合信彦, 中村慶春, 吉岡正人, 松下 晃, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 吉田 寛, 内田英二：当科における鏡視下

肝切除術の安全性と確実性の向上を目的とした様々な工夫. 日本消化器外科学会総会 (第70回) (静岡), 2015. 7.

- 2) 山初和也, 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 住吉宏樹, 横山 正, 松本智司, 宮下正夫, 内田英二: 膵嚢胞性疾患に対する腹腔鏡下膵切除術の有用性. 日本消化器外科学会総会 (第70回) (静岡), 2015. 7.
 - 3) 吉岡将史, 吉田 寛, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志: 十二指腸静脈瘤に対して開腹静脈瘤血行遮断術を施行した1例. 日本門脈圧亢進症学会総会 (第22回) (神奈川), 2015. 9.
- (21) 要望演題:
- 1) 住吉宏樹, 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 山初和也, 水口義昭, 谷合信彦, 真々田裕宏, 横山 正, 内田英二: 膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績. 日本消化器外科学会総会 (第70回) (静岡), 2015. 7.
- (22) 要望演題 (口演):
- 1) 山初和也, 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 住吉宏樹, 横山 正, 谷合信彦, 吉岡正人, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 真々田裕宏, 宮下正夫, 内田英二: 当科における腹腔鏡下尾側膵切除術の手術手技. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第27回) (東京), 2015. 6.
 - 2) 川野陽一, 谷合信彦, 中村慶春, 吉岡正人, 松下 晃, 水口義昭, 清水哲也, 勝野 暁, 神田知洋, 高田英志, 近藤亮太, 吉田 寛, 内田英二: 当科における腹腔鏡下肝切除術の普及に向けた適応と様々な工夫を凝らした安全な手術手技. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第27回) (東京), 2015. 6.
- (23) 要望演題ビデオ:
- 1) 横山 正, 吉田 寛, 平方敦史, 牧野浩司, 丸山 弘, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 近藤亮太, 内田英二: 膵頭十二指腸切除術における我々の膵消化管吻合の工夫 - 膵管後壁先行運針による確実な膵腸吻合. 日本消化器外科学会総会 (第70回) (静岡), 2015. 7.
 - 2) 上田康二, 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 若林秀幸, 篠塚恵理子, 宮下哲平, 宮坂俊光, 吉岡将史, 浅見敬一, 内田英二: 腹腔鏡ポート孔で, スマートアンカーを用いた簡単な腸瘻造設法. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡), 2015. 11.
 - 3) 萩原信敏, 松谷 毅, 野村 務, 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 菅野仁士, 新井洋紀, 山下直行, 牧野浩司, 内田英二: 鏡視下食道癌手術における後縦隔経路胃管挙上の偶発症低減のための工夫. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡), 2015. 11.
 - 4) 住吉宏樹, 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 山初和也, 神田知洋, 清水哲也, 川野陽一, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 内田英二: 腹腔鏡下膵切除術における術中出血における止血手技の工夫. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡), 2015. 11.

論文

[追加分]

追加分原著:

- 1) Nakaminami H, Noguchi N, Ito A, Ikeda M, Utsumi K, Maruyama H, Sakamoto H, Senoo M, Takasato Y, Nishinarita S: Characterization of methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* isolated from tertiary care hospitals in Tokyo, Japan. *Infection and Chemotherapy* 2014; 20 (7-8): 512-515.
- 2) Sugimoto K, Kondo F, Furuichi Y, Oshiro H, Nagao T, Saito K, Yoshida H, Imai Y, Fukusato Y, Moriyasu F: Focal nodular hyperplasia-like lesion of the liver with focal adenoma features associated with idiopathic portal hypertension. *Hepatology Research* 2014; 44 (10): E309-315.
- 3) Shimizu T, Taniai N, Yoshioka M, Takata H, Kanda T, Mizuguchi Y, Mamada Y, Yoshida H, Uchida E: Preoperative Three-dimensional Virtual Simulation for Safe Liver Surgery. *J Nippon Med Sch* 2014; 81 (6): 354-355.
- 4) Miyasaka T, Yoshida H, Makino H, Watanabe M, Uchida E, Uchida E: Response of gallstone ileus to conservative therapy. *J Nippon Med Sch* 2014; 81 (6): 388-391.
- 5) Matsutani T, Nomura T, Hagiwara N, Yoshida H, Yokoyama T, Katayama H, Hosone M, Matsuda A, Uchida E: A case of carcinosarcoma of the esophagus detected on fluorodeoxyglucose positron emission tomography. *J Nippon Med Sch* 2014; 81 (6): 401-405.
- 6) Kondo R, Yoshida H, Hirakata A, Makino H, Yokoyama T, Maruyama H, Hotta M, Ueda J, Mamada Y, Taniai N, Uchida E: An asymptomatic hemorrhagic hepatic cyst with solid contents. *International Journal of Gastroenterology Disorders and Therapy* 2014; 1: 110.
- 7) Kawano Y, Mizuta K, Sanada Y, Urahashi T, Ihara Y, Okada N, Yamada N, Sasanuma H, Sakuma Y, Taniai N, Yoshida H, Kawarasaki H, Yasuda Y, Uchida E: Risk factors of cytomegalovirus infection after pediatric liver transplantation. *Transplantation Proceedings* 2014; 46 (10): 3543-3547.
- 8) 川野陽一, 谷合信彦, 中村慶春, 吉岡正人, 吉田 寛, 内田英二: 私の工夫 腹腔鏡下肝切除術におけるネラトン付き ENDO MINI-

RETRACT を使用した脈管処理法. 日本内視鏡外科学会雑誌 2014 ; 19 : 677-681.

- 9) 松谷 毅, 野村 務, 萩原信敏, 牧野浩司, 丸山 弘, 宮下正夫, 内田英二:【食道破裂, 穿孔の診断と治療における戦略と工夫】食道破裂・穿孔の検討. 日本腹部救急医学会雑誌 (1340-2242) 35 巻 1 号 2015 ; 35 (1) : 61-65.
- 10) 丸山 弘, 田中 愛, 山本 愛, 磐井佑輔, 角田 隆, 菅谷量俊, 鈴木美子:救命センターにおける MRSA 積極的監視培養. 日本環境感染学会誌 (1882-532X) 30 巻 Suppl. 2015 ; 30 (1) : 227-227.
- 11) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金沢義一, 小野寺浩之, 柿沼大輔, 新井洋紀, 萩原信敏, 櫻澤信行, 野村 務, 松谷 毅, 牧野浩司, 木山輝郎, 内田英二: 胃癌手術における術前予後予測因子としての modified Glasgow Prognostic Score (mGPS) の意義. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 (2189-0161) 2015 ; 30 (1) : 329-329.
- 12) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金沢義一, 小野寺浩之, 柿沼大輔, 新井洋紀, 萩原信敏, 櫻澤信行, 野村 務, 松谷 毅, 牧野浩司, 山下直行, 木山輝郎, 内田英二: ESD 非治療切除後追加外科切除症例の検討. 日本胃癌学会総会記事 87 回 2015 ; 413-413.
- 13) 藤田逸郎, 金沢義一, 木山輝郎, 小野寺浩之, 柿沼大輔, 菅野仁士, 牧野浩司, 櫻澤信行, 松谷 毅, 野村 務, 内田英二: 鏡視下胃全摘術 (LTG) における RY 再建. 日本胃癌学会総会記事 87 回 2015 ; 322-322.
- 14) 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 赤城一郎, 山下直行, 藤田逸郎, 金沢義一, 内田英二: 食道胃接合部癌に対する下縦隔郭清のコツとピットフォール 体腔鏡手術の立場から 安全で低侵襲な食道胃接合部癌の胸腔鏡下縦隔リンパ節郭清のコツ. 日本胃癌学会総会記事 87 回 2015 ; 209-209.
- 15) 藤田逸郎, 金沢義一, 柿沼大輔, 山田岳士, 櫻澤信行, 菅野仁士, 小野寺浩之, 萩原信敏, 松谷 毅, 牧野浩司, 野村 務, 山下直行, 木山輝郎, 加藤俊二, 内田英二: 高齢化社会に向けたこれからの胃癌治療戦略 治療すべきか経過観察か 寝たきりを作らない外科治療. 日本胃癌学会総会記事 87 回 2015 ; 175-175.
- 16) 平方敦史, 吉田 寛: 慢性ウイルス性肝炎の病態把握. 平成 26 年度委託業務成果報告書 2015 ; 46-46.

追加分症例報告:

- 1) 浅見敬一, 吉田 寛, 平方敦史, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 赤城一郎, 上田純志, 金丸里奈, 内田英二: 腹腔内出血に対し Segmental arterial mediolysis (SAM) と診断し保存的に軽快した 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 (1340-2242) 2015 ; 35 (2) : 371-371.
- 2) 浅見敬一, 吉田 寛, 平方敦史, 牧野浩司, 中井章人, 内田英二: 腹腔鏡下脾臓摘出術を施行した卵巣癌術後孤立性脾転移の 1 例. 日本医科大学医学会雑誌 (1349-8975) 11 巻 1 号 2015 ; 11 (1) : 25-28.
- 3) 新井洋紀, 松谷 毅, 松田明久, 丸山 弘, 吉田 寛, 内田英二: 自作器具が原因と考えられた双孔式回腸人工肛門脱出・嵌頓の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 2015 ; 35 (3) : 351-354.
- 4) 新井洋紀, 松谷 毅, 松田明久, 丸山 弘, 吉田 寛, 内田英二: 自作器具が原因と考えられた双孔式回腸人工肛門脱出・嵌頓の 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 (1340-2242) 35 巻 3 号 2015 ; 35 (3) : 351-354.
- 5) 吉岡将史, 野村 務, 松谷 毅, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 眞鍋恵理子, 内田英二: 誤嚥性肺炎改善後に腹腔鏡下逆流防止術を施行した高齢者 III 型食道裂孔ヘルニアの 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌 (1340-2242) 2015 ; 35 (3) : 275-278.
- 6) 川見典之, 齋藤明彦, 植木信江, 小杉友紀, 大森 順, 丸木雄太, 吉田 寛, 後藤 稔, 津久井拓, 坂本長逸: 水痘帯状疱疹ウイルスによる食道潰瘍, 反回神経麻痺を認め嚥下困難となった 1 例. 日本内科学会関東東地方会 613 回 2015 ; 35-35.
- 7) 若林秀幸, 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 金丸里奈, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光, 内田英二: 無治療にて 14 年間の長期生存が得られている胃癌の 1 例. 日本胃癌学会総会記事 87 回 2015 ; 299-299.

追加分研究報告書:

- 1) 吉田 寛: 厚生労働科学研究委託費(難治性疾患等克服研究事業) 委託業務成果報告(業務項目) IPH に対する Hassab 手術後に小腸静脈瘤出血を認めた 1 例. 厚生労働省特定疾患 門脈血行異常症調査研究班 平成 25 年度研究報告書(研究代表者 鹿毛正義) 2015 ; 37-39.

追加分:

- 1) Matsutani T, Hirakata A, Nomura T, Hagiwara N, Matsuda A, Yoshida H, Uchida E: Transabdominal Approach for chylorrhea after esophagectomy by using fluorescence navigation with indocyanine green. Case reports in Surgery 2014 ; 2014 doi.
- 2) Akagi I, Ishibashi O, Matsutani T, Hagiwara N, Matsuda A, Nomura T, Makino H, Yoshida H, Miyashita M, Uchida E: Comprehensive analysis of microRNA and mRNA expression in normal and tumorous human esophageal squamous cell lines using microarray datasets. Dataset Papers in Science 2014 ; 2014 doi.
- 3) 谷合信彦, 吉田 寛, 内田英二:【超高齢者の消化器疾患 - その特徴と治療上の注意】超高齢者に対する消化器外科治療上の問題点. 臨床消化器内科 (0911-601X) 2015 ; 30 (4) : 481-486.

学会発表

追加分症例報告：

- 1) 近藤亮太：転移性横隔膜腫瘍に対して胸腔鏡下にて肺横隔膜を合併切除した1例. 南多摩内視鏡外科研究会（第1回）（東京），2014. 2.

追加分一般講演：

- 1) Takata H, Mamada Y, Tani N, Yoshioka M, Kawano Y, Shimizu T, Ueda J, Uchida E : A CASE OF HEPATIC BILOMA AFTER LAPAROSCOPIC PARTIAL HEPATIC RESECTION FOR HEPATOCELLULAR CARCINOMA USING MICROWAVE PRE-COAGULATION TECHNIQUE. “11th World Congress of the International Hepato-Biliary Association”（第11回）（Seoul, Korea），2014. 3.
- 2) Makino H, Yoshida H, Maruyama H, Matsutani T, Hagiwara N, Yokoyama T, Hirakata A, Akagi I, Ueda J, Wakabayashi H, Shinozuka E, Ueda K, Seki N, Miyashita T, Miyasaka T, et al. : Lymph-Node Dissection along the Left Recurrent Laryngeal Nerve after Stripping and Esophagectomy in Prone Position Video-Assisted Thoracoscopic Surgery of Esophagus. International Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia (ELSA) 2014 (Indonesia, Bali), 2014. 10.
- 3) 丸山 弘, 田中 愛, 山本 愛, 鈴木美子：大腸手術における手術時手袋表面の汚染度調査. 日本環境感染学会総会・学術集会（第29回）（東京），2014. 2.
- 4) 滝澤聖子, 椿原（兼重）久美子, 横山 正：乳がん患者におけるCVポート挿入により感じる変化. 日本乳癌学会学術総会（第22回）（大阪），2014. 7.
- 5) 山本 愛, 丸山 弘, 田中 愛, 鈴木美子, 磐井祐輔：MRSA 保菌高リスク患者の早期隔離効果の検討. 日本環境感染学会総会・学術集会（第29回）（東京），2014. 2.
- 6) 篠塚恵理子, 吉田 寛, 牧野浩司, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 関 奈紀, 岩井拓磨：腹腔鏡補助下肝外側区域切除後に横隔膜ヘルニアをきたした1例. 多摩市消化器疾患懇話会（第18回）（東京），2014. 3.
- 7) 松谷 毅, 藤田逸郎, 金沢義一, 萩原信敏, 野村 務, 小野寺浩之, 若林秀幸, 牧野浩司, 高尾嘉宗, 加藤俊二, 内田英二：高齢者胃癌に対する腹腔鏡補助下胃切除術のリスク評価. 日本胃癌学会総会（第86回）（神奈川），2014. 3.
- 8) 藤田逸郎, 金沢義一, 小野寺浩之, 菅野仁士, 萩原敏信, 桜澤信行, 松谷 毅, 山下直行, 牧野浩司, 野々村務, 木山輝郎, 加藤俊二, 内田英二：長期成績からみた腹腔鏡下胃切除適応拡大の可能性. 日本胃癌学会総会（第86回）（神奈川），2014. 3.
- 9) 松谷 毅, 野村 務, 萩原信敏, 若林秀幸, 藤田逸郎, 金沢義一, 牧野浩司, 丸山 弘, 松田明久, 宮下正夫, 内田英二：腹臥位胸腔鏡下食道切除術における手技の工夫と成績. 日本外科学会定期学術集会（第114回）（京都），2014. 4.
- 10) 若林秀幸, 松谷 毅, 松田明久, 萩原信敏, 松下 晃, 水口義昭, 篠塚恵理子, 野村 務, 内田英二：マウス盲腸穿刺結紮術により誘導される脂肪および肺組織炎症に対するピオグリタゾン前投与の効果. 日本外科学会定期学術集会（第114回）（京都），2014. 4.
- 11) 上田純志, 松田陽子, 石渡俊行, 山初和也, 内藤善也, 内田英二：Epithelial splicing regulatory protein 1による膵癌の転移制御および予後との関連. 日本外科学会定期学術集会（第114回）（京都），2014. 4.
- 12) 岩井拓磨：『永山病院における腹腔鏡補助下胃切除術の現状』. 橋桜消化器外科研究会（第4回）（東京），2014. 4.
- 13) 横山 正：演題未定. 西東京胆膵懇話会（第7回）（東京），2014. 4.
- 14) 松谷 毅, 野村 務, 萩原信敏, 若林秀幸, 藤田逸郎, 金沢義一, 丸山 弘, 牧野浩司, 内田英二：胸部食道癌に対する腹臥位胸腔鏡下食道切除術. 腹腔鏡補助下胃管作製術. 日本消化器病学会総会（第100回）（東京），2014. 4.
- 15) 萩原信敏, 松谷 毅, 野村 務, 牧野浩司, 若林秀幸, 藤田逸郎, 桜澤信行, 小野寺浩之, 宮下正夫, 内田英二：当科における食道癌術後胃管痛および本邦報告症例の臨床病理学的検討. 日本消化器病学会総会（第100回）（東京），2014. 4.
- 16) 若林秀幸, 松谷 毅, 野村 務, 萩原信敏, 藤田逸郎, 金沢義一, 眞鍋恵理子, 河越哲郎, 川見典之, 内田英二：食道粘表皮癌の2切除例. 日本消化器病学会総会（第100回）（東京），2014. 4.
- 17) 杉田久記, 松谷 毅, 萩原敏信, 野村 務, 若林秀幸, 藤田逸郎, 金沢義一, 篠塚恵理子, 内田英二：全身性アミロイドーシス治療中に食道狭窄をきたしたサイトメガロウイルス食道炎の1例. 日本食道学会学術集会（第68回）（東京），2014. 7.
- 18) 篠塚恵理子, 松谷 毅, 野村 務, 萩原敏信, 若林秀幸, 上田康二, 内田英二：同時に食道癌と胃癌, 異時に悪性リンパ腫と膀胱癌を認めた4重複癌の1例. 日本食道学会学術集会（第68回）（東京），2014. 7.
- 19) 若林秀幸, 松谷 毅, 野村 務, 萩原敏信, 栗山 翔, 藤田逸郎, 金沢義一, 内田英二：シリコン製栓型気管支充填剤が奏効した食道癌術後後遺性膿胸の1例. 日本食道学会学術集会（第68回）（東京），2014. 7.
- 20) 松谷 毅, 野村 務, 萩原敏信, 若林秀幸, 藤田逸郎, 金沢義一, 篠塚恵理子, 杉田久記, 内田英二：切除不能食道癌に対する治療戦略：胸腔鏡補助下食道バイパス術の導入による新たな試み. 日本食道学会学術集会（第68回）（東京），2014. 7.
- 21) 萩原敏信, 松谷 毅, 野村 務, 若林秀幸, 中溝宗永, 横島一彦, 稲井俊太, 酒主敦子, 梅澤裕巳, 内田英二：当院におけるチーム医療による食道再建術の工夫. 日本食道学会学術集会（第68回）（東京），2014. 7.
- 22) 関 奈紀, 横山 正, 細根 勝, 片山博徳, 武井寛幸：当院乳癌患者におけるTC療法（ドセタキセル＋シクロフォスファミド）の

- 支持療法の有用性に関する検討. 日本乳癌学会学術総会 (第 22 回) (大阪), 2014. 7.
- 23) 山下直行, 湖山信篤, 保田智彦, 上田康二, 萩原信敏, 櫻澤信行, 藤田逸郎, 金沢義一, 宮下正夫, 内田英二: 播腫を中心とした Stage IV 胃癌の治療戦略の変遷と現状: TS-1+PTX (iv, ip) の導入. 日本癌治療学会学術集会 (第 52 回) (神奈川), 2014. 8.
- 24) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金沢義一, 小野寺浩之, 柿沼大輔, 萩原信敏, 櫻澤信行, 野村 務, 松谷 毅, 牧野浩司, 山下直行, 木山輝郎, 内田英二: 心肺疾患を併存する胃癌疾患に対する腹腔鏡下胃切除術の検討. 日本癌治療学会学術集会 (第 52 回) (神奈川), 2014. 8.
- 25) 吉岡正人, 谷合信彦, 川野陽一, 清水哲也, 上田純志, 高田英志, 近藤亮太, 水口義昭, 神田知洋, 松下 晃, 勝野 暁, 住吉宏樹, 真々田裕宏, 内田英二: 当科における腹腔鏡下肝切除術の現状. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (山形), 2014. 10.
- 26) 近藤亮太, 谷合信彦, 吉岡正人, 川野陽一, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 松下 晃, 勝野 暁, 住吉宏樹, 中村慶春, 真々田裕宏, 内田英二: 巨大肝嚢胞に対する腹腔鏡下肝嚢胞開窓術. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (山形), 2014. 10.
- 27) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金沢義一, 小野寺浩之, 柿沼大輔, 新井洋紀, 萩原信敏, 櫻澤信行, 野村 務, 松谷 毅, 牧野浩司, 山下直行, 木山輝郎, 内田英二: 噴門近傍胃粘膜下腫瘍に対する超音波凝固切開装置を用いた腹腔鏡下胃局所切除. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (山形), 2014. 10.
- 28) 藤田逸郎, 金沢義一, 小野寺浩之, 櫻澤信行, 菅野仁士, 新井洋紀, 柿沼大輔, 萩原信敏, 松谷 毅, 牧野浩司, 野村 務, 山下直行, 木山輝郎, 内田英二: 指導的助手による 6 番郭清における術野展開の考え方. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (山形), 2014. 10.
- 29) 萩原信敏, 松谷 毅, 野村 務, 篠塚恵理子, 藤田逸郎, 金沢義一, 小野寺浩之, 内田英二: 臍部単孔式腹腔鏡補助下遊離空腸採取手技および開腹法と比較検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (山形), 2014. 10.
- 30) 神田知洋, 水口義昭, 真々田裕宏, 谷合信彦, 中村慶春, 吉岡正人, 松下 晃, 川野陽一, 清水哲也, 勝野 暁, 高田英志, 住吉宏樹, 近藤亮太, 内田英二: 当院における後期高齢者に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (山形), 2014. 10.
- 31) 川島万平, 中村慶春, 住吉宏樹, 松下 晃, 勝野 暁, 横山 正, 山初和也, 吉岡正人, 水口義昭, 清水哲也, 谷合信彦, 野村 務, 牧野浩司, 内田英二: 腹腔鏡下インスリノーマ手術における, 遺残無き腫瘍切除術のための当科の取り組み. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (山形), 2014. 10.
- 32) 高田英志, 谷合信彦, 吉岡正人, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 近藤亮太, 真々田裕宏, 内田英二: 当院での再発肝癌症例に対する鏡視下再肝切除術. 肝臓内視鏡外科研究会 (第 8 回) (福島), 2014. 11.
- 33) 近藤亮太, 谷合信彦, 藤田逸郎, 吉岡正人, 清水哲也, 高田英志, 金沢義一, 水口義昭, 柿沼大輔, 神田知洋, 赤間悠一, 高野竜太郎, 真々田裕宏, 内田英二: 巨大胃 GIST と巨大肝転移巣に対する同時切除した 1 例. 日本臨床外科学会総会 (第 76 回) (福島), 2014. 11.
- 34) 高田英志, 谷合信彦, 真々田裕宏, 中村慶春, 吉岡正人, 松下 晃, 水口義昭, 清水哲也, 勝野 暁, 神田知洋, 住吉宏樹, 近藤亮太, 内田英二: 当科における肝切除後性の遅発性胆汁漏症例. 日本臨床外科学会総会 (第 76 回) (福島), 2014. 11.
- 35) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金沢義一, 小野寺浩之, 柿沼大輔, 新井洋紀, 萩原信敏, 櫻澤信行, 野村 務, 松谷 毅, 牧野浩司, 山下直行, 木山輝郎, 内田英二: 胃癌手術における modified Glasgow Prognostic Score (mGPS) の意義. 日本臨床外科学会総会 (第 76 回) (福島), 2014. 11.
- 36) 川島万平, 中村慶春, 松下 晃, 勝野 暁, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 谷合信彦, 内田英二: 臍頭十二指腸切除術を施行後, 内ヘルニアを生じた 1 例. 日本臨床外科学会総会 (第 76 回) (福島), 2014. 11.
- 37) 近藤亮太, 谷合信彦, 真々田裕宏, 吉岡正人, 水口義昭, 清水哲也, 神田知洋, 高田英志, 内田英二: 「肝門部胆管癌の術前に胆汁より検出されたメタローβ-ラクタマーゼ産生 Klebsiellapneumoniae の 1 例」. 日本外科感染症学会総会 (第 27 回) (東京), 2014. 12.
- 38) 大草幹大, 柳原恵子, 栗田智子, 岩本美樹, 関 奈紀, 横山 正, 山下浩二, 飯田信也, 大橋隆治, 土屋眞一, 武井寛幸: 破骨細胞類似の多核巨細胞を伴った浸潤性乳管癌と乳頭腺管癌の多発癌の 1 例. 日本乳癌学会 関東地方会 (第 11 回) (埼玉), 2014. 12.
- 39) 横山 正, 関 奈紀, 武井寛幸, 内田英二: ラパチニブで長期間の奏効性が得られている転移性乳癌の 1 例: 分子標的治療戦略における興味ある考察. 日本乳癌学会 関東地方会 (第 11 回) (埼玉), 2014. 12.
- 40) 丸山 弘: 「グラム染色とアンチバイオグラムを利用して抗菌薬の deescalation を行い救命しえた S 状結腸癌腹壁穿通の 1 例」. 南多摩外科感染症研究会 (第 1 回) (東京), 2015. 1.
- 41) 平方敦史, 宮下哲平, 上田康二, 近藤亮太, 篠塚恵理子, 若林秀幸, 関 奈紀, 上田純志, 赤城一郎, 横山 正, 丸山 弘, 牧野浩司, 吉田 寛: 食道胃静脈瘤に対する当科における Hassab 手術. 多摩消化器シンポジウム (第 34 回) (東京), 2015. 1.
- 42) 丸山 弘, 田中 愛, 山本 愛, 磐井佑輔, 角田 隆, 菅谷量俊, 鈴木美子: 救命センターにおける MRSA 積極的監視培養. 日本環境感染学会総会・学術集会 (第 30 回) (神戸), 2015. 2.
- 43) 赤城一郎: 「食道胃接合部癌に対する胸腔鏡下食道切除術と再建」. 多摩消化器手術手技研究会 (第 15 回) (東京), 2015. 2.

- 44) 若林秀幸, 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 横山 正, 平方敦史, 赤城一郎, 上田純志, 関 奈紀, 金丸里奈, 篠塚恵理子, 上田康二, 宮下哲平, 宮坂俊光: 無治療にて14年間の長期生存が得られた胃癌の1例. 日本胃癌学会総会(第87回)(広島), 2015. 3.
- 45) 藤田逸郎, 金澤義一, 木山輝郎, 小野寺浩之, 柿沼大輔, 菅野仁士, 牧野浩司, 櫻澤信行, 松谷 毅, 野村 務, 内田英二: 鏡視下胃全摘術(LTG)におけるRY再建. 日本胃癌学会総会(第87回)(広島), 2015. 3.
- 46) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金澤義一, 小野寺浩之, 柿沼大輔, 新井洋紀, 萩原信敏, 櫻澤信行, 野村 務, 松谷 毅, 牧野浩司, 山下直行, 木下輝郎, 内田英二: ESD非治療切除後追加外科切除症例の検討. 日本胃癌学会総会(第87回)(広島), 2015. 3.
- 47) 浅見敬一, 吉田 寛, 平方敦史, 牧野浩司, 横山 正, 丸山 弘, 赤城一郎, 上田純志, 金丸里奈, 内田英二: 腹腔内出血に対しsegmental arterial mediolysis(SAN)と診断し保存的に軽快した1例. 日本腹部救急医学会総会(第51回)(京都), 2015. 3.

追加分 Oral Presenta :

- 1) Akagi I, Makino H, Yoshida H, Matsutani T, Nomura T, Maruyama H, Yokoyama T, Hirakata A, Miyashita M, Uchida E : The Outcome of Surgical Procedure For Esophagogastric Junctional Cancer : The Experience Of Nippon Medical School Hospital. International Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia (ELSA) 2014 (Indonesia, Bali), 2014. 10.

追加分シンポジウム :

- 1) 高田英志, 谷合信彦, 真々田裕宏, 吉岡正人, 水口義昭, 清水哲也, 近藤亮太, 内田英二: 「肝切除後に遅発性胆汁漏を認めた3症例」. 日本外科感染症学会総会(第27回)(東京), 2014. 12.
- 2) 藤田逸郎, 金澤義一, 柿沼大輔, 山田岳史, 櫻澤信行, 菅野仁士, 小野寺浩之, 萩原信行, 松谷 毅, 牧野浩司, 野村 務, 山下直行, 木下輝郎, 加藤俊二, 内田英二: 寝たきりを作らない外科治療. 日本胃癌学会総会(第87回)(広島), 2015. 3.

追加分セッション :

- 1) 牧野浩司: 『術前化学(放射線)治療後のVATS-E(胸腔鏡下食道切除術)のポイントとピットホール』. 多摩消化器手術手技研究会(第14回)(東京), 2014. 3.

追加分ディスカッション :

- 1) 丸山 弘: 『チーム医療に対する治療方針決定のプロセス』. 南多摩がんチーム医療講習演習会~消化器がんを中心に~(神奈川), 2014. 10.

追加分デジタルポスターセッション :

- 1) 名見耶浩幸, 二神生彌, 新福摩弓, 辰口篤志, 佐藤ひとみ, 丸木雄太, 山脇博士, 小高康裕, 川見典之, 河越哲郎, 牧野浩司, 三宅一昌, 岩切勝彦, 星野芳雄, 大橋隆治, その他2名: 食道癌組織におけるApurinic/aprimidinic endonuclease-1(APE-1)発現の解析: STAT3を介したVEGF産生. 日本消化器病学会大会(JDDW)(第56回)(神戸), 2014. 10.
- 2) 野村 務, 松谷 毅, 萩原敏信, 若林秀幸, 藤田逸郎, 金澤義一, 中村慶春, 小野寺浩之, 岩切勝彦, 宮下正夫, 内田英二: ADL低下症例における胸腔鏡下逆流防止術: 胸腔鏡下胃瘻造設術付加の有用性. 日本消化器外科学会大会(JDDW)(第12回)(神戸), 2014. 10.
- 3) 松谷 毅, 野村 務, 萩原敏信, 若林秀幸, 藤田逸郎, 金澤義一, 内田英二: 切除不能食道癌治療の新たな試み: 胸腔鏡下食道バイパス術の早期施行からの化学放射線療法へ. 日本消化器外科学会大会(JDDW)(第12回)(神戸), 2014. 10.
- 4) 菅野仁士, 藤田逸郎, 金澤義一, 小野寺浩之, 柿沼大輔, 萩原敏信, 櫻澤信行, 野村 務, 松谷 毅, 牧野浩司, 山下直行, 木山輝郎, 内田英二: 胃癌手術におけるmodified Glasgow Prognostic Score(mGPS)の意義. 日本消化器外科学会大会(JDDW)(第12回)(神戸), 2014. 10.

追加分パネルディスカッション :

- 1) 水口義昭, 真々田裕宏, 中村慶春, 清水哲也, 神田知洋, 谷合信彦, 松下 晃, 吉岡正人, 勝野 暁, 高田英志, 住吉宏樹, 近藤亮太, 内田英二: 総胆管結石症再発例, 超高齢者に対する鏡視下総胆管十二指腸側々吻合術. 日本内視鏡外科学会総会(第27回)(山形), 2014. 10.

追加分ビデオワークショップ :

- 1) 牧野浩司, 吉田 寛, 丸山 弘, 赤城一郎, 山下直行, 藤田逸郎, 金澤義一, 内田英二: 安全で低侵襲な食道胃接合部癌の胸腔鏡下縦隔リンパ節郭清のコツ. 日本胃癌学会総会(第87回)(広島), 2015. 3.

追加分ミニオーラル :

- 1) 松谷 毅, 野村 務, 萩原敏信, 藤田逸郎, 金澤義一, 若林秀幸, 内田英二: 胸腔鏡下食道切除術導入後の再建・吻合法. 日本消化器外科学会総会(第69回)(福島), 2014. 7.
- 2) 赤城一郎, 鳥貫公義, 松谷 毅, 萩原敏信, 岩尾年康, 住吉宏樹, 牧野浩司, 野村 務, 宮下正夫, 内田英二: EUSガイド下経胃管的ドレナージによる食道癌術後乳び胸に対する新しい治療法. 日本消化器外科学会総会(第69回)(福島), 2014. 7.
- 3) 吉岡正人, 谷合信彦, 川野陽一, 清水哲也, 神田知洋, 上田純志, 高田英志, 松下 晃, 中村慶春, 内田英二: 当科における胸腔鏡下肝切除術の適応拡大と手技の工夫. 日本消化器外科学会総会(第69回)(福島), 2014. 7.

追加分ミニレクチャー：

- 1) 吉田 寛：『門脈圧亢進症に対する手術療法』。多摩消化器シンポジウム（第34回）（東京），2015. 1.

追加分ワークショップ：

- 1) 勝野 暁，中村慶春，松下 晃，住吉宏樹，横山 正，山初和也，清水哲也，神田知洋，水口義昭，吉岡正人，谷合信彦，牧野浩司，野村 務，内田英二：腹腔鏡下臍切除術における随伴性膀胱炎を伴った剥離困難な症例に対するソフト凝固システムの使用法。日本内視鏡外科学会総会（第27回）（山形），2014. 10.
- 2) 中村慶春，松下 晃，勝野 暁，住吉宏樹，横山 正，山初和也，吉岡正人，水口義昭，神田知洋，清水哲也，谷合信彦，野村 務，牧野浩司，内田英二：腹腔鏡下臍切除術の定型化と次世代への継承について。日本内視鏡外科学会総会（第27回）（山形），2014. 10.
- 3) 清水哲也，谷合信彦，吉岡正人，高田英志，近藤亮太，水口義昭，神田知洋，真々田裕宏，内田英二：腹腔鏡下肝外側区域切除術をより安全に行うための当科における工夫。肝臓内視鏡外科研究会（第8回）（福島），2014. 11.

追加分一般セッション：

- 1) 吉田 寛：門脈圧亢進症に対する集学的治療。The Liver Meeting in 城西（東京），2015. 2.

追加分一般示説：

- 1) 新井洋紀，栗山 翔，近藤亮太，高田英志，小野寺浩之，内田英二：腸管穿孔にて緊急手術を要した多発小腸憩室の1例。日本臨床外科学会総会（第76回）（福島），2014. 11.

追加分開会の挨拶：

- 1) 吉田 寛：南多摩内視鏡外科研究会（第1回）（東京），2014. 2.

追加分企画関連口演：

- 1) 山下直行，湖山信篤，上田康二，保田智彦，櫻澤信行，萩原信敏，藤田逸郎，金沢義一，宮下正夫，内田英二：地域癌拠点病院での胃癌D2手術の quality, safety & education. 日本消化器外科学会総会（第69回）（福島），2014. 7.
- 2) 野村 務，松谷 毅，萩原信敏，若林秀幸，藤田逸郎，中村慶春，金沢義一，真々田裕宏，宮下正夫，内田英二：内視鏡外科手術の今後のさらなる発展のために：現状の問題点と具体的な方策。日本消化器外科学会総会（第69回）（福島），2014. 7.

追加分研修生演題：

- 1) 大野 崇，吉田 寛，牧野浩司，横山 正，丸山 弘，平方敦史，赤城一郎，上田純志，関 奈紀，若林秀幸，近藤亮太，篠塚恵理子，上田康二，宮下哲平，内田英一，その他1名：ヘルニア内容に子宮を認めた成人ヘルニアの1例。外科集談会（第836回）（東京），2015. 3.

追加分座長：

- 1) 関 奈紀：城西外科研究会（第88回）（東京），2014. 3.
- 2) 堀田正啓：城西外科研究会（第88回）（東京），2014. 3.
- 3) 平方敦史：城西外科研究会（第88回）（東京），2014. 3.
- 4) 平方敦史：「大腸癌肝転移に対する化学療法の意義と効果判定の新しい考え方」。大腸がん肝転移セミナー in 南多摩（東京），2014. 6.
- 5) 吉田 寛：教育・医療連携。日本消化器外科学会総会（第69回）（福島），2014. 7.
- 6) 吉田 寛：「敗血症における臓器障害の病態解明に迫る！ -Extravasated Platelet Aggregation (EPA) 症候群という新しい概念の提唱と革新的な新規治療戦略を探る-」。多摩消化器外科セミナー（第2回）（東京），2014. 8.
- 7) 吉田 寛：「移植および小児・妊婦・高齢者と門脈圧亢進症」。日本門脈圧亢進症学会総会（第21回）（東京），2014. 9.
- 8) 丸山 弘：『ALL RAS 測定時代の大腸癌治療戦略』。多摩完結型がん医療講習会（第2回）（東京），2014. 9.
- 9) 吉田 寛：多摩肝腫瘍フォーラム（第7回）（東京），2014. 11.
- 10) 牧野浩司：腹臥位胸腔鏡下食道癌手術における上縦隔リンパ節郭清について。南多摩内視鏡外科研究会（第2回）（東京），2015. 2.
- 11) 吉田 寛：大腸肛門外科領域における術後創傷管理に関する症例報告。多摩大腸肛門外科術後管理研究会（準備会）（東京），2015. 2.
- 12) 牧野浩司：「内視鏡外科手術の工夫」。多摩消化器手術手技研究会（15回）（東京），2015. 2.

追加分司会：

- 1) 吉田 寛：肝硬変・臨床1。日本肝臓学会総会（第50回）（東京），2014. 5.
- 2) 吉田 寛：肝臓 画像支援2。日本内視鏡外科学会総会（第27回）（山形），2014. 10.
- 3) 牧野浩司：食道癌 治療成績1。日本内視鏡外科学会総会（第27回）（山形），2014. 10.

追加分次回当番世話人挨拶：

- 1) 吉田 寛：多摩消化器手術手技研究会（第14回）（東京），2014. 3.

追加分主題関連演題：

- 1) 神田知洋, 水口義昭, 真々田裕宏, 清水哲也, 谷合信彦, 中村慶春, 松下 晃, 吉岡正人, 川野陽一, 高田英志, 住吉宏樹, 近藤亮太, 内田英二：当科における単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の検討. 日本臨床外科学会総会（第76回）（福島）, 2014. 11.
- 2) 水口義昭, 真々田裕宏, 中村慶春, 清水哲也, 神田知洋, 谷合信彦, 吉岡正人, 松下 晃, 勝野 暁, 高田英志, 住吉宏樹, 近藤亮太, 内田英二：80歳以上の高齢者に対する早期緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術の安全性に関する検討. 日本腹部救急医学会総会（第51回）（京都）, 2015. 3.

追加分専修医セッション：

- 1) 高野竜太郎, 谷合信彦, 吉岡正人, 川野陽一, 清水哲也, 高田英志, 近藤亮太, 水口義昭, 神田知洋, 勝野 皓, 住吉宏樹, 松下 晃, 中村慶春, 内田英二：肝細胞癌心転移に対して腫瘍摘出術を施行した1例. 日本消化病学会関東支部例会（第330回）（東京）, 2014. 7.

追加分当番幹事：

- 1) 吉田 寛：城西外科研究会（第88回）（東京）, 2014. 3.

追加分特別講演：

- 1) 松下 晃, 中村慶春, 勝野 暁, 山初和也, 住吉宏樹, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 横山 正, 谷合信彦, 真々田裕宏, 内田英二：膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績. 日本臨床外科学会総会（第76回）（福島）, 2014. 11.

追加分特別講演ビデオワークショップ：

- 1) 勝野 暁, 中村慶春, 松下 晃, 住吉宏樹, 山初和也, 横山 正, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 谷合信彦, 内田英二：腹腔鏡下膵切除術における随伴性膵炎を伴った剥離困難な症例に対するソフト凝固システムの使用法. 日本臨床外科学会総会（第76回）（福島）, 2014. 11.

追加分特別提言：

- 1) 吉田 寛：多摩完結型がん医療講習会（第2回）（東京）, 2014. 9.

追加分要望ビデオ：

- 1) 谷 杏彌, 野村 務, 松谷 毅, 萩原信敏, 上田純志, 向後英樹, 住吉宏樹, 高田英志, 若林秀幸, 内田英二：当施設における腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP法）の導入. 日本消化器外科学会総会（第69回）（福島）, 2014. 7.
- 2) 若林秀幸, 野村 務, 松谷 毅, 萩原信敏, 住吉宏樹, 青木悠人, 藤田逸郎, 金沢義一, 中村慶春, 内田英二：誤嚥性肺炎を繰り返す胃食道逆流症に対する腹腔鏡下胃瘻造設を併施した腹腔鏡下逆流防止術. 日本消化器外科学会総会（第69回）（福島）, 2014. 7.

追加分要望演題：

- 1) 島貫公義, 赤城一郎, 佐竹秀一, 武田幸樹, 勝野 暁, 高橋吾郎, 神田知洋：腹部CT検査で得られる大腰筋・脊柱起立筋肉断面積, 皮下脂肪組織断面積の経時的評価による術後の予後評価. 日本消化器外科学会総会（第69回）（福島）, 2014. 7.
- 2) 上田康二, 山下直行, 湖山信篤, 保田智彦, 金沢義一, 藤田逸郎, 小野寺浩之, 菅野仁士, 萩原信敏, 内田英二：疾患構造, 初回手術法の変化に対応した残胃癌に対する strategy. 日本消化器外科学会総会（第69回）（福島）, 2014. 7.
- 3) 萩原信敏, 松谷 毅, 野村 務, 若林秀幸, 藤田逸郎, 金沢義一, 小野寺浩之, 内田英二：当科における食道癌術後の胸腔ドレーン管理の工夫. 日本消化器外科学会総会（第69回）（福島）, 2014. 7.
- 4) 保田智彦, 山下直行, 湖山信篤, 上田康二, 萩原信敏, 櫻澤信行, 藤田逸郎, 金沢義一, 宮下正夫, 内田英二：上部限局胃癌に対する噴切の適応拡大：迷走神経温存胃前壁漿膜筋層縦切開噴門形成と胃全摘の長期予後から. 日本消化器外科学会総会（第69回）（福島）, 2014. 7.
- 5) 松下 晃, 中村慶春, 横山 正, 山初和也, 勝野 暁, 住吉宏樹, 神田知洋, 清水哲也, 水口義昭, 吉岡正人, 内田英二：当科における膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術. 日本膵切研究会（第41回）（東京）, 2014. 8.

追加分要望演題ビデオ：

- 1) 清水哲也, 谷合信彦, 吉岡正人, 川野陽一, 高田英志, 近藤亮太, 住吉宏樹, 神田知洋, 勝野 暁, 水口義昭, 松下 晃, 中村慶春, 真々田裕宏, 内田英二：腹腔鏡下肝外側区域切除術を用いた安全に行うための当科の工夫. 日本臨床外科学会総会（第76回）（福島）, 2014. 11.
- 2) 吉岡正人, 谷合信彦, 清水哲也, 高田英志, 近藤亮太, 松下 晃, 水口義昭, 勝野 暁, 神田知洋, 住吉宏樹, 中村慶春, 真々田裕宏, 内田英二：当科における腹腔鏡下肝切除術の手技・工夫. 日本臨床外科学会総会（第76回）（福島）, 2014. 11.

[千葉北総病院外科・消化器外科]

研究概要

消化器外科, 一般外科領域における基礎的, 臨床的研究を行い, その成果を学会や学会誌等で報告している. 活動内容は以下の通り.

- 1) 消化器疾患に対する内視鏡治療, 特に早期胃癌に対するESD, 早期大腸癌に対するEMR, 胆道疾患に対する内視鏡治療, 閉塞性黄疸

やがんによる消化管狭窄に対する内視鏡的ステント挿入等を行い臨床成績を集計している。2) 腹腔鏡手術は胆石症、胃癌、大腸癌・肝臓癌の他、ヘルニア、虫垂切除などで行い成績を評価している。3) 各種の癌に対して癌化学（放射線）療法の効果と予後に対する治療成績を検討している。4) 基礎研究としては、各種がんバイオマーカー、がんの悪性度にかかわる研究ならびに臨床病態に応じた手術侵襲と生体反応などの研究を行っている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Yodying H^{1, 2)}, Matsuda A¹⁾, Miyashita M¹⁾, Matsumoto S¹⁾, Sakurazawa N¹⁾, Yamada M¹⁾, Uchida E³⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, Chiba, Japan, 2) Department of Surgery, Faculty of Medicine, Srinakharinwirot University, Bangkok, Thailand, 3) Department of Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Prognostic Significance of Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio and Platelet-to-Lymphocyte Ratio in Oncologic Outcomes of Esophageal Cancer : A Systematic Review and Meta-analysis. *Ann Surg Oncol.* 2016 ; 23 (2) : 646-654.

(2) 研究報告書：

- 1) Yamada T¹⁾, Kan H¹⁾, Matsumoto S²⁾, Machida T³⁾, Koizumi M¹⁾, Shinji S¹⁾, Matsuda A²⁾, Yamagishi A¹⁾, Yokoyama Y¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Nippon Medical School, 2) Department of Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 3) Department of Radiology, Nippon Medical School) : A Case of Portal Venous Gas after Rectal Surgery without Anastomotic Leakage or Bowel Necrosis. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (4) : 202-205.
- 2) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 横山康行¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学 千葉北総病院外科) : 「術後回復促進のための ESSENSE」ESSENSE の基本理念に基づく大腸癌周術期管理. *外科と代謝・栄養* 2015 ; 49 (2) : 105-108.
- 3) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 青木悠人¹⁾, 町田 幹³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 付属病院 消化器外科, 2) 日本医科大学 千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学 付属病院 放射線科) : 病態に基づいた造影 CT による絞扼性イレウスの早期診断. *日本腹部救急医学会雑誌* 2015 ; 35 (4) : 403-407.

(3) 症例報告：

- 1) Nomura T¹⁾, Iwakiri K²⁾, Matsutani T¹⁾, Hagiwara N¹⁾, Fujita I¹⁾, Nakamura Y¹⁾, Kawami N¹⁾, Miyashita M³⁾, Uchida E¹⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Department of, 3) Department of Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, Chiba, Japan) : Thoracoscopic Long Myotomy in the Prone Position to Treat Rapid Esophageal Contractions With Normal Latency. *Journal of clinical Gastroenterol* 2015 ; 49 (4) : 320-322.
- 2) Sekiguchi K¹⁾, Mizuguchi Y²⁾, Mamada Y²⁾, Koizumi M²⁾, Uchida E²⁾ (1) Department of Surgery, Kamisu Saiseikai Hospital, 2) Department of Surgery, Nippon Medical School) : Intraperitoneal Migration of a Mesh Plug from a Hernioplasty Forming a Colocutaneous Fistula with the Cecum : Report of a Case. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (5) : 246-249.
- 3) 増田寛喜¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 野村 務¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 腹腔鏡下修復術を行った upside down stomach を伴う食道裂孔ヘルニアの 1 例. *日本臨床外科学会雑誌* 2015 ; 76 (5) : 998-1003.
- 4) 赤間悠一¹⁾, 川野陽一¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 高田英志¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 破裂巨大肝嚢胞に対し腹腔鏡下肝嚢胞天蓋切除術を施行した 1 例. *臨床外科* 2015 ; 70 (9) : 1172-1176.
- 5) 眞鍋恵理子¹⁾, 加藤俊二¹⁾, 安東克征²⁾, 松本智司³⁾, 樋口勝美²⁾, 高田英志¹⁾, 内藤善哉⁴⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 安東病院, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科, 4) 日本医科大学統御機構病理学) : 壁外性発育による皮下膿瘍を初発症状とした S 状結腸癌の 1 例. *日外科系連合誌* 2015 ; 40 (1) : 85-90.
- 6) 眞鍋恵理子¹⁾, 進士誠一¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 高田英志¹⁾, 松田陽子²⁾, 内藤善哉³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 東京都健康長寿医療センター病理診断科, 3) 日本医科大学病理学 (統御機構・腫瘍学)) : 憩室炎との鑑別が困難であった 4 型大腸癌 (inflammatory type) の 1 例. *日本消化器外科学会雑誌* 2015 ; 48 (9) : 789-797.
- 7) 眞鍋恵理子¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 食道癌術後の難治性乳糜漏に対し開腹下リンパ管結紮を施行した 1 例. *日本腹部救急医学会雑誌* 2015 ; 35 (5) : 623-627.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 横山正¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科) : 胆膵内視鏡外科手術の標準化に向けた取り組み ; 安全性に対する再考察. *日本臨*

床外科学会総会（第77回）（福岡），2015. 11.

- 2) 中村慶春¹⁾，松下 晃¹⁾，水口義昭¹⁾，勝野 暁¹⁾，山初和也¹⁾，住吉宏樹¹⁾，清水哲也¹⁾，松本智司¹⁾，内田英二¹⁾（¹⁾ 日本医科大学 医学部 消化器外科）：膵臓の内視鏡外科手術におけるチーム内で統一された出血時の strategy. 日本臨床外科学会総会（第77回）（福岡），2015. 11.
 - 3) 川野陽一¹⁾，谷合信彦¹⁾，中村慶春¹⁾，吉岡正人¹⁾，松下 晃¹⁾，水口義昭¹⁾，清水哲也¹⁾，神田知洋¹⁾，高田英志¹⁾，住吉宏樹¹⁾，青木悠人¹⁾，吉田 寛¹⁾，内田英二¹⁾（¹⁾ 日本医科大学消化器外科）：当科 Original な手術器具を使用した腹腔鏡下肝切除術の安全な手術手技. 日本臨床外科学会総会（第77回）（福岡），2015. 11.
 - 4) 牧野浩司¹⁾，吉田 寛¹⁾，丸山 弘¹⁾，横山 正¹⁾，平方敦史¹⁾，赤城一郎¹⁾，上田純志¹⁾，若林秀幸¹⁾，篠塚恵理子¹⁾，萩原信敏²⁾，松谷 毅²⁾，野村 務²⁾，櫻澤信行³⁾，宮下正夫³⁾，内田英二²⁾（¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科，²⁾ 日本医科大学消化器外科，³⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科）：食道癌術後の縫合不全，食道穿孔後の瘻孔に対する低侵襲的治療. 日本臨床外科学会総会（第77回）（福岡），2015. 11.
 - 5) 吉岡正人¹⁾，谷合信彦¹⁾，川野陽一¹⁾，清水哲也¹⁾，高田英志¹⁾，近藤亮太¹⁾，松下 晃¹⁾，水口義昭¹⁾，勝野 暁¹⁾，神田知洋¹⁾，住吉宏樹¹⁾，中村慶春¹⁾，真々田裕宏¹⁾，内田英二¹⁾（¹⁾ 日本医科大学付属病院 消化器外科）：当科における腹腔鏡下肝切除術の Reduced port surgery 導入と工夫. 日本臨床外科学会総会（第77回）（福岡），2015. 11.
- (2) シンポジウム：
- 1) 山田岳史¹⁾，菅 隼人¹⁾，松本智司²⁾，小泉岐博¹⁾，進士誠一¹⁾，松田明久²⁾，横山康行¹⁾，高橋吾郎¹⁾，岩井拓磨¹⁾，金沢義一¹⁾，内田英二¹⁾（¹⁾ 日本医科大学消化器外科，²⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科）：Circulating cell free DNA を用いた大腸癌集学的治療：Multi-biopsy による Real time personalized therapy Multidisciplinary therapy of colorectal cancer by using circulating cell free DNA：Multi-biopsy enables real time personalized therapy. 日本大腸肛門病学会学術集会（第70回）（名古屋），2015. 11.
 - 2) 野村 務¹⁾，松谷 毅¹⁾，萩原信敏¹⁾，牧野浩司²⁾，藤田逸郎¹⁾，金沢義一¹⁾，中村慶春¹⁾，柿沼大輔¹⁾，菅野仁士¹⁾，宮下正夫³⁾，内田英二¹⁾（¹⁾ 日本医科大学消化器外科，²⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科，³⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科）：当施設における腹腔鏡下逆流防止術の治療成績および今後の展望：とくに通常の GERD とは異なる特殊な症例に関して. 日本外科学会定期学術集会（第115回）（名古屋），2015. 4.
 - 3) 山下直行¹⁾，湖山信篤¹⁾，安藤文彦¹⁾，下田朋宏¹⁾，藤田逸郎²⁾，金沢義一²⁾，柿沼大輔²⁾，菅野仁士²⁾，萩原信敏²⁾，櫻澤信行²⁾，宮下正夫²⁾，内田英二²⁾（¹⁾ 坪井病院 外科，²⁾ 日本医科大学 消化器外科）：外科初期研修者を対象とした胃癌手術を中心とした quality, safety & education. 日本外科系連合学会学術集会（第40回）（東京），2015. 6.
 - 4) 水口義昭¹⁾，真々田裕宏¹⁾，清水哲也¹⁾，神田知洋¹⁾，中村慶春¹⁾，谷合信彦¹⁾，吉岡正人¹⁾，松下 晃¹⁾，川野陽一¹⁾，勝野 暁¹⁾，高田英志¹⁾，住吉宏樹¹⁾，近藤亮太¹⁾，古木裕康¹⁾，内田英二¹⁾（¹⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科）：腹腔鏡胆嚢摘出術（LC）難易度評価と周術期治療成績の検討. 日本腹部救急医学会総会（第52回）（東京），2016. 3.
- (3) パネルディスカッション：
- 1) 栗山 翔¹⁾，松田明久¹⁾，松本智司¹⁾，櫻澤信行¹⁾，山初和也¹⁾，菊池友太¹⁾，金谷洋平¹⁾，宮下正夫¹⁾，内田英二²⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科，²⁾ 日本医科大学消化器外科）：鼠径部ヘルニア嵌頓に対して腹腔鏡下ヘルニア修復術を行った6例の検討. 日本ヘルニア学会学術集会（第13回）（愛知），2015. 5.
 - 2) 松田明久¹⁾，松本智司¹⁾，横室茂樹¹⁾，櫻澤信行¹⁾，宮下正夫¹⁾，内田英二²⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科，²⁾ 日本医科大学消化器外科）：直腸腫瘍に対する単孔式経肛門的内視鏡的腫瘍切除術（TANKO-TEM）の有用性. 日本癌病態治療研究会（第24回）（日光），2015. 6.
 - 3) 原田潤一郎¹⁾，松田明久¹⁾，松本智司¹⁾，栗山 翔¹⁾，宮下正夫¹⁾，内田英二²⁾（¹⁾ 日本医科大学 千葉北総病院 外科，²⁾ 日本医科大学 消化器外科）：当科における TAPP 手術の位置づけ：若手外科医の腹腔鏡手術スキルアップ. 日本外科系連合学会学術集会（東京），2015. 6.
 - 4) 勝野 暁¹⁾，中村慶春¹⁾，松下 晃¹⁾，住吉宏樹¹⁾，山初和也¹⁾，横山 正¹⁾，神田知洋¹⁾，清水哲也¹⁾，川野陽一¹⁾，水口義昭¹⁾，吉岡正人¹⁾，谷合信彦¹⁾，真々田裕宏¹⁾，内田英二¹⁾（¹⁾ 日本医科大学 消化器外科）：腹腔鏡下膵切除術の標準化に向けた取り組み. 日本臨床外科学会総会（第77回）（福岡），2015. 11.
 - 5) 山田岳史¹⁾，菅 隼人¹⁾，松本智司²⁾，小泉智彦¹⁾，進士誠一¹⁾，松田明久²⁾，横山康行¹⁾，高橋吾郎¹⁾，岩井拓磨¹⁾，内田英二¹⁾（¹⁾ 日本医科大学 消化器外科，²⁾ 日本医科大学千葉北総病院 外科）：結腸癌 ERAS：早期消化管運動早期回復には何が重要か？. 日本内視鏡外科学会総会（第28回）（大阪），2015. 12.
 - 6) 水口義昭¹⁾，真々田裕宏¹⁾，清水哲也¹⁾，神田知洋¹⁾，中村慶春¹⁾，谷合信彦¹⁾，吉岡正人¹⁾，松下 晃¹⁾，川野陽一¹⁾，勝野 暁¹⁾，高田英志¹⁾，住吉宏樹¹⁾，近藤亮太¹⁾，古木裕康¹⁾，内田英二¹⁾（¹⁾ 日本医科大学 消化器外科）：急性胆嚢炎に対する早期・緊急 Lap-C：術前全身状態（ASA-PS）からみた周術期手術成績の検討. 日本内視鏡外科学会総会（第28回）（大阪），2015. 12.
 - 7) 松田明久¹⁾，松本智司¹⁾，櫻澤信行¹⁾，山田岳史²⁾，高橋吾郎²⁾，宮下正夫¹⁾，内田英二²⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科，²⁾ 日本医科大学 消化器外科）：閉塞性大腸癌治療に対する大腸ステントの病理学的影響. 日本腹部救急医学会総会（第52回）

(東京), 2016. 3.

(4) ワークショップ:

- 1) 岩井拓磨¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 消化器外科, 2) 日本医科大学 千葉北総病院 外科): 大腸癌術後補助化学療法としての mFOLF-
OX6 による脾臓容積の変化. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- 2) 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 高田英志¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 吉田
寛²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学 多摩永山病院外科): 超高齢者 (80 歳以上) 肝細胞癌患者におけ
る肝細胞癌切除術の意義. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 3) 青木悠人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 安藤文彦²⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司³⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久³⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 高橋
吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 坪井病院 外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 当科のイレウス治療
方針—造影 CT を用いた絞扼性イレウスの客観的早期診断を核として・・・. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 4) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也¹⁾, 横山 正¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡
正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科): 腹腔鏡下痔切除術の安全な普及をめざした痔切離・
隣消化管吻合の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 5) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 神田知洋¹⁾, 横山
正¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 水口義昭¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科): 腹腔鏡下痔切除術の標準化に向けた取り組み: pitfall と
その対策について. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 6) 山初和也¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 川野陽一¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学 消化器外科):
急性胆嚢炎ガイドライン重症度分類評価と当科における手術成績の検討. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
- 7) 保田智彦¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 松本智司¹⁾, 川野陽一¹⁾, 松田明久¹⁾, 山初和也¹⁾, 関口久美子¹⁾, 原田潤一郎¹⁾, 栗山 翔¹⁾,
赤岡悠一¹⁾, 増田廣喜¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科・消化器外科, 2) 日本医科大
学 消化器外科): 当科における腹腔鏡補助下胃切除後の Petersen's hernia の経験とその対処. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回)
(東京), 2016. 3.
- 8) 横山康行¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田
英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 急性虫垂炎に対する緊急手術と待機手術における術後
感染の現状と課題. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
- 9) 高橋吾郎¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田
英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 合併症発生率より考える虫垂炎治療戦略. 日本腹部救急
医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
- 10) 川島万平¹⁾, 山田岳史¹⁾, 松本智司²⁾, 菅 隼人¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋
吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科): 単孔式腹腔鏡手
術で行う Interval Appendectomy. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.

(5) 一般講演:

- 1) Kawano Y¹⁾, Mizuta K²⁾, Uchida E¹⁾, Yasuda Y³⁾, Sanada Y³⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, 2)
Department of Transplant surgery, 3) Department of Surgery, Jichi University, Tochigi, Japan): HEPATIC VEIN STENOSIS
AFTER PEDIATRIC LIVING DONOR LIVER TRANSPLANTATION. Congress of the Asian Society of Transplantation (14th) (シ
ンガポール), 2015. 8.
- 2) Kawano Y¹⁾, Ishikawa N²⁾, Aida J²⁾, Sanada Y³⁾, Izumiya-Shimomura N²⁾, Nakamura K²⁾, Steven S⁴⁾, Matsumoto K⁵⁾,
Mizuta K³⁾, Yasuda Y⁶⁾, Uchida E⁷⁾, Takubo K⁸⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School, 2) Research Team for Ge
riatric Pathology, Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology, Tokyo, 3) Department of Transplant surgery, Jichi University,
Tochigi, Japan, 4) Terry Fox Laboratory, British Columbia Cancer Research Centre, Vancouver, Canada, 5) Department of Clinical
Pathology, Ebina General Hospital, Kanagawa, 6) Department of Surgery, Jichi University, Tochigi, 7) Department of Surgery,
Nippon Medical School, 8) Department of Clinical Pathology, Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology, Tokyo, Japan): Q-FISH
MEASUREMENT OF HEPATOCYTE TELOMERE LENGTHS IN DONOR AND GRAFT AFTER PEDIATRIC LIVING-DONOR
LIVER TRANSPLANTATION. Congress of the Asian Society of Transplantation (14th) (シンガポール), 2015. 8.
- 3) Kawano Y¹⁾, Tanihara N¹⁾, Nakamura Y¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School): Our various artifices
for improvement of safety and reliability during Laparoscopic liver resection. Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparo
scopic Surgery (The 12th) (Korea), 2015. 9.
- 4) Nakamura Y¹⁾, Matsushita A¹⁾, Katsuno A¹⁾, Yamahatsu K¹⁾, Sumiyoshi H¹⁾, Mizuguchi Y¹⁾, Kanda T¹⁾, Yokoyama T¹⁾,
Tajiri T¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School, Japan): LAPAROSCOPIC PANCREATECTOMY FOR PANCREATIC MALIG-

- NANCY. Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (The 12th) (Korea), 2015. 9.
- 5) Yamahatsu K¹⁾ (1) Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Nippon Medical School, Japan) : PANCREATICOENTERIC ANASTOMOSIS WITH CLOSURE OF THE PANCREATIC STUMP BY ENDOSCOPIC LINEAR STAPLER IN LAPAROSCOPIC PANCREATICODUODENECTOMY -RELIABLETECHNIQUE AND BENEFITS FOR PANCREATIC RESECTION-. Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (The 12th) (Korea), 2015. 9.
 - 6) Maysushita A¹⁾, Nakamura Y¹⁾, Sumiyoshi H¹⁾, Yamahatsu K¹⁾, Katsuno A¹⁾, Shimizu T¹⁾, Mizuguchi Y¹⁾, Yoshioka M¹⁾, Tani ai N¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School, Japan) : THE ONCOLOGIC AND LONG-TERM OUTCOMES OF LAPAROSCOPIC PANCREATICODUODENECTOMY FOR PANCREAS CANCER USING TRANSMESOCOLONIC APPROACH. Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgery (The12) (Korea), 2015. 9.
 - 7) Kawano Y¹⁾, Tani ai N¹⁾, Nakamura Y¹⁾, Yoshioka M¹⁾, Matsushita A¹⁾, Mizuguchi Y¹⁾, Shimizu T¹⁾, Kanda T¹⁾, Takada H¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School, Japan) : Our various artifices for improvement of safety and reliability during Laparoscopic liver resection. International Postgraduate Course of Laparoscopic Surgery (the 10th) (seou), 2015. 10.
 - 8) Kawano Y¹⁾, Tani ai N¹⁾, Nakamura Y¹⁾, Matsumoto S¹⁾, Yoshioka M¹⁾, Matsushita A¹⁾, Mizuguchi Y¹⁾, Shimizu T¹⁾, Kanda T¹⁾, Takada H¹⁾, Uchida E¹⁾ (1) Nippon Medical School, Japan) : Our novel way to insert sheet type materials at laparoscopic hepatectomy : Corkscrew insertion method. アジア太平洋肝臓病学会議年次総会 (第 25 回) (東京), 2016. 2.
 - 9) Sakurazawa N¹⁾, Miyashita M¹⁾, Yokomuro S¹⁾, Matsumoto S¹⁾, Matsuda A¹⁾, Yamahatsu K¹⁾, Harada J¹⁾, Yasuda T¹⁾, Uchida E²⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 2) Department of Digestive Surgery, Nippon Medical School Hospital) : Study of the usefulness of a gauze-rolled liver retractor in laparoscopic surgery. Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons (18th) (Boston), 2016. 3.
 - 10) Yamahatsu K¹⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, Chiba, Japan) : Our procedure for laparoscopic distal pancreatectomy. 日本肝胆膵外科学会・学術集会 (第 27 回) (台場), 2015. 6.
 - 11) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 横山 正¹⁾, 田尻 孝¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科) : Laparoscopic pancreatectomy : How far it has been standardize. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (浜松), 2015. 7.
 - 12) 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 高橋吾郎²⁾, 山田岳史²⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 閉塞性大腸癌治療における大腸ステントによる BTS (bridge to surgery) の意義 : 経肛門減圧管との比較. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 13) 松本智司¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 管 隼人²⁾, 山田岳史²⁾, 小泉岐博²⁾, 松田明久¹⁾, 進士誠一²⁾, 高橋吾郎²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 腹腔鏡下右側結腸手術における頭側アプローチによる CME と腹腔内腸管切離. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 14) 高橋吾郎¹⁾, 山田岳史¹⁾, 管 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 松田明久²⁾, 進士誠一²⁾, 山岸杏彌²⁾, 横山康行²⁾, 岩井拓磨²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 結腸癌 Stage III における 5-FU および葉酸関連代謝酵素活性と予後との検討. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 15) 山田岳史¹⁾, 管 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 松田明久²⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 周術期の病態生理学に基づいた大腸癌 Fast track surgery : 早期回復に本当に重要な介入は?. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 16) 岩井拓磨¹⁾, 山田岳史¹⁾, 管 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : Circulating cell free DNA を用いた治療効果予測と効果判定. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 17) 山初和也¹⁾, 中村慶春²⁾, 松下 晃²⁾, 勝野 暁²⁾, 住吉宏樹²⁾, 横山 正³⁾, 松本智司¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 遺残なく膵インスリノーマを切除するための当科の取り組みについて. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 18) 赤城一郎¹⁾, 松谷 毅²⁾, 石橋 幸³⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 野村 務²⁾, 萩原信敏²⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下正夫⁴⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科, 3) 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命, 4) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 食道扁平上皮癌における P13K-Akt-mTOR 経路の網羅的解析. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 19) 山下直行¹⁾, 湖山信篤¹⁾, 保田智彦¹⁾, 安藤文彦¹⁾, 萩原信敏²⁾, 櫻澤信行³⁾, 藤田逸郎²⁾, 金沢義一²⁾, 菅野仁士²⁾, 小野寺浩之²⁾, 宮下正夫³⁾, 吉田初男⁴⁾, 内田英二²⁾ (1) 坪井病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科, 4) 今泉西病院外科) : 噴門側胃切除は胃全摘より体重減少と長期予後を改善する可能性がある. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 20) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 勝野 暁¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 横山 正³⁾, 谷合

- 信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 腹腔鏡下痔頭十二指腸切除術における endoscopic linear stapler (ELS) を用いた痔切離と痔消化管吻合の工夫. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
- 21) 青木悠人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 安藤文彦²⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司³⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 坪井病院外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 造影 CT を用いた絞扼性イレウスでの腸管壊死の予測. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
- 22) 大草幹大¹⁾, 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 高齢者における腹腔鏡補助下大腸癌手術での皮下気腫発生のリスク因子の検討. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
- 23) 谷 杏彌¹⁾, 内田英二¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 大草幹大¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 閉塞性大腸癌手術症例の検討. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
- 24) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 横山 正³⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷谷信彦¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 腹腔鏡下尾側痔切除術 (Lap-DP) における手術部位感染と痔液瘻との関連について. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
- 25) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 大草幹大¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : Marionette Technique を用いた大腸癌に対する reduced port surgery. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
- 26) 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小野寺浩之¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 櫻澤信行²⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 牧野浩司³⁾, 山下直行⁴⁾, 木山輝郎⁵⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科, 4) 坪井病院外科, 5) 朝霞台中央総合病院外科) : 胃癌手術における予後予測因子としての術前 modified Glasgow Prognostic Score (mGPS) の意義. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
- 27) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 松本智司²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 右側結腸癌に対する頭側アプローチ先行による腹腔鏡下手術と周囲臓器浸潤症例への対策. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
- 28) 松田明久¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 山田真吏奈¹⁾, 松谷 毅²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 消化器外科術後合併症における血中リゾフォスファチジルコリン (LPC) の関与. 日本 Shock 学会総会 (第 30 回) (八王子), 2015. 5.
- 29) 山田真吏奈^{1,4)}, 松田明久²⁾, 千葉知宏³⁾, 相磯貞和⁴⁾, 増野智彦⁵⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行⁵⁾, 宮下正夫²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 杏林大学医学部病理学教室, 4) 慶應義塾大学医学部解剖学教室, 5) 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野 (同高度救命救急センター)) : 重症敗血症後の脳機能障害に対する Humanin G の治療効果. 日本 Shock 学会総会 (第 30 回) (八王子), 2015. 5.
- 30) 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 野村 務²⁾, 栗山 翔¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 食道癌術後の食堂裂孔絞扼性ヘルニアに対して腹腔鏡下に修復しえた 1 例. 日本ヘルニア学会学術集会 (第 13 回) (愛知), 2015. 5.
- 31) 栗山 翔¹⁾, 松田明久¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 松本智司¹⁾, 宮下正夫¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 胃癌, 大腸癌同時手術後腸閉塞を契機に敗血症性ショックに陥った 1 例. 千葉重症感染症研究会 (第 11 回) (幕張), 2015. 6.
- 32) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 横山 正³⁾, 水口義昭¹⁾, 石渡俊行⁴⁾, 内藤善哉⁴⁾, 田尻 孝¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科, 4) 日本医科大学病理診断部) : 膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下痔切除術の手術成績. 日本膵臓学会大会 (第 46 回) (名古屋), 2015. 6.
- 33) 山初和也¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 原絵津子¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学消化器外科) : 膵管内乳頭粘液腫瘍由来膵腺扁平上皮癌の 1 切除例. 日本膵臓学会大会 (第 46 回) (名古屋), 2015. 6.
- 34) 平野知子¹⁾, 松本智司¹⁾, 池森紀夫¹⁾, 肥田道彦¹⁾, 伏屋洋志¹⁾, 小泉はるか¹⁾, 下川陽子¹⁾, 古山めぐみ¹⁾, 三浦剛史¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 緩和ケアチーム) : 患者自記式 STAS-J 症状版を用いた, 苦痛のスクリーニングの導入. 日本緩和医療学会学術大会 (第 20 回) (横浜), 2015. 6.
- 35) 飯田信也¹⁾, 金谷洋平²⁾, 羽鳥 努³⁾, 柳原恵子⁴⁾, 宮下正夫²⁾, 内田英二⁵⁾, 武井寛幸⁴⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院乳腺科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院病理部, 4) 日本医科大学乳腺外科, 5) 日本医科大学消化器外科) : 潜在性乳癌と副乳癌の鑑別と対処法. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (丸の内), 2015. 7.
- 36) 谷 瞳¹⁾, 村上隆介¹⁾, 桑子智之¹⁾, 吉田民子¹⁾, 山根 彩¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾, 内山菜智子²⁾, 岩崎美樹³⁾, 柳原恵子³⁾, 飯田信也³⁾,

- 山下浩二³⁾, 武井寛幸³⁾, 浅川英輝⁴⁾, 二宮 淳⁵⁾ (1) 日本医科大学放射線医学, 2) 国立がんセンター中央病院放射線診断科, 3) 日本医科大学付属病院乳腺科, 4) 新東京病院外科, 5) 二宮病院) : マンモグラフィにおける 4k 高精細モニタと 5MP 液晶モニタの診断能の評価. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (丸の内), 2015. 7.
- 37) 金谷洋平¹⁾, 飯田信也²⁾, 山下浩二¹⁾, 横山 正³⁾, 柳原恵子¹⁾, 栗田智子¹⁾, 岩崎美樹¹⁾, 関 奈紀³⁾, 保科淑子⁴⁾, 鈴木えりか¹⁾, 二宮 淳¹⁾, 浅川英輝¹⁾, 谷 瞳⁵⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学乳腺外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院乳腺科, 3) 日本医科大学多摩永山病院乳腺外科, 4) 日本医科大学武蔵小杉病院乳腺外科, 5) 日本医科大学放射線科) : エストロゲンレセプター陽性転移再発乳癌に対するフルベストラント, カペシタビンの併用療法の有効性. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (丸の内), 2015. 7.
- 38) 関 奈紀¹⁾, 横山 正¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 飯田信也³⁾, 吉田 寛¹⁾, 柳原恵子²⁾, 武井寛幸²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器・一般・乳腺外科, 2) 日本医科大学付属病院乳腺科, 3) 日本医科大学千葉北総病院乳腺科) : 当院におけるフルベストラント使用症例について. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (丸の内), 2015. 7.
- 39) 関口久美子¹⁾, 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 野村 務¹⁾, 宮下正夫¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科消化器外科) : 食道癌術後の食道裂孔絞扼性ヘルニアに対して腹腔鏡下に修復しえた 1 例. 千葉県外科医会 (第 74 回) (千葉), 2015. 7.
- 40) 松本智司¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 松田明久¹⁾, 菅 隼人²⁾, 山田岳史²⁾, 小泉岐博²⁾, 進士誠一²⁾, 山岸杏彌²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 鏡視下結腸手術における頭側アプローチによる CME 手技. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (浜松), 2015. 7.
- 41) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 腹腔鏡下大腸癌手術における開腹移行例の検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (浜松), 2015. 7.
- 42) 谷 杏彌¹⁾, 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 当科における閉塞性大腸癌手術症例の検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (浜松), 2015. 7.
- 43) 横山康行¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 頭側尾側アプローチによる腹腔鏡下中結腸動脈根部リンパ節郭清の手技. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (浜松), 2015. 7.
- 44) 山初和也¹⁾, 中村慶春²⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁²⁾, 住吉宏樹²⁾, 横山 正³⁾, 松本智司¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院外科・一般外科) : 臍嚢胞性疾患に対する腹腔鏡下臍切除術の有用性. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (浜松), 2015. 7.
- 45) 栗山 翔¹⁾, 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 虫垂炎術後腹腔内膿瘍の危険因子に関する検討. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (浜松), 2015. 7.
- 46) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 山初和也²⁾, 勝野 暁¹⁾, 清水哲也¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科) : 腹腔鏡下臍切除術における安全性を重視した術野展開法と臍分離・臍消化について. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (浜松), 2015. 7.
- 47) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 水口義昭¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 高難度臍臓・胆道腹腔鏡手術の効果的トレーニングのために ; Swine 腹腔鏡. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (浜松), 2015. 7.
- 48) 住吉宏樹¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科) : 臍神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下臍切除術の手術成績. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (浜松), 2015. 7.
- 49) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 中村慶春¹⁾, 川見典之²⁾, 岩切勝彦²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 医学部 消化器外科, 2) 日本医科大学 医学部 消化器内科, 3) 日本医科大学 千葉北総病院外科) : III 型 (巨大) 食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡手術 : 当手術における治療成績. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (横浜), 2015. 7.
- 50) 堀場光二¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 山田真吏奈²⁾, 櫻澤信行¹⁾, 牧野浩司³⁾, 野村 務⁴⁾, 内田英二⁴⁾ (1) 日本医科大学 千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学 千葉北総病院救命救急センター, 3) 日本医科大学 多摩永山病院 外科, 4) 日本医科大学 付属病院 消化器外科) : 食道扁平上皮癌での CD147, MCT-1, MMP-9 の発現意義. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (横浜), 2015. 7.
- 51) 上田康二¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 横山 正¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学 多摩永山病院外科, 2) 日本医科大学 付属病院 消化器外科, 3) 日本医科大学 千葉北総病院外科) : 経食道心エコーによる食道穿孔及び後縦膈膿瘍に対して穿刺ドレナージを施行した 1 例. 日本食道学会学術集会 (第 69 回) (横浜), 2015. 7.
- 52) 赤城一郎¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 石橋 宰⁴⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 野村 務²⁾, 萩原信敏²⁾, 篠塚恵理子¹⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学 多摩永山病院 外科, 2) 日本医科大学 消化器外科, 3) 日本医科大学 千葉北総病院 外科, 4) 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究所 応用生命学) : 食道癌細胞における PI3K-Akt-mTOR 経路関連遺伝子の網羅的解析. 日本食道学会学術集会 (第

- 69回) (横浜), 2015. 7.
- 53) 山田真吏奈^{1,4,5)}, 松田明久²⁾, 千葉知宏³⁾, 相磯貞和⁴⁾, 増野智彦⁵⁾, 松本 尚¹⁾, 宮下正夫²⁾, 横田裕行⁵⁾ (1) 日本医科大学 千葉北総病院 救命救急センター, 2) 日本医科大学 千葉北総病院 外科, 3) 杏林大学 医学部 病理学教室, 4) 慶應義塾大学 医学部解剖学教室, 5) 日本医科大学 大学院医学研究科 救急医学分野 (同高度救命救急センター): 脳神経障害に対する S14G-Humanin の効果. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会 (第 28 回) (名古屋), 2015. 7.
- 54) 増田寛喜¹⁾, 山初和也¹⁾, 赤間悠一¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 保田智彦¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学 千葉北総病院 外科, 2) 日本医科大学 附属病院 消化器外科): 十二指腸憩室により輸入脚症候群をきたした 1 例. 消化器疾患病態治療研究会 (第 24 回) (東京), 2015. 9.
- 55) 萩原信敏¹⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 川見典之²⁾, 岩切勝彦²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 附属病院 消化器外科, 2) 日本医科大学 附属病院 消化器内科, 3) 日本医科大学 千葉北総病院外科): PPI 倍量投与抵抗性 NERD に対する外科治療: 当施設の成績. 消化器疾患病態治療研究会 (第 24 回) (東京), 2015. 9.
- 56) 松本智司¹⁾, 内田英二²⁾, 瀬谷知子¹⁾, 菅 隼人²⁾, 山田岳史²⁾, 小泉岐博²⁾, 松田明久¹⁾, 進士誠一²⁾, 宮下正夫¹⁾ (1) 日本医科大学 千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学附属病院消化器外科): 横行結腸癌に対する鏡視下頭側アプローチによる CME 手技. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (名古屋), 2015. 11.
- 57) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 金沢義一¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 大腸癌に対する Reduced port surgery の手技と工夫. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (名古屋), 2015. 11.
- 58) 菅 隼人¹⁾, 内田英二¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 原 敬介¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 金沢義一¹⁾, 松本智司²⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): cT3N1 下部直腸癌に対する手術施行例の検討. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (名古屋), 2015. 11.
- 59) 岩井拓磨¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): circulating cell-free DNA を用いた大腸癌肝転移の早期再発予測. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (名古屋), 2015. 11.
- 60) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学附属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 腹腔鏡下直腸切断術における傍ストーマヘルニアの検討ー 腹膜外経路と腹腔内経路の比較ー. 日本大腸肛門病学会学術集会 (名古屋), 2015. 11.
- 61) 高橋吾郎¹⁾, 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 金沢義一¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): Circulating cell free DNA を用いた, 閉塞性大腸癌における各減圧デバイスの物理的影響の評価. 日本大腸肛門病学会学術集会 (第 70 回) (名古屋), 2015. 11.
- 62) 望月千暁¹⁾, 渡辺光子¹⁾, 白井 舞¹⁾, 松本智司²⁾, 松田明久²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 看護部, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科): ストーマ粘膜皮膚接合部の不良肉芽に対する液体塗素の有効性の評価. 東関東ストーマ・排泄リハビリテーション研究会 (第 18 回) (水戸), 2015. 11.
- 63) 松本智司¹⁾, 松田明久¹⁾, 菅 隼人²⁾, 山田岳史²⁾, 小泉岐博²⁾, 進士誠一²⁾, 高橋吾郎²⁾, 宮下正夫¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科, 2) 日本医科大学附属病院 消化器外科): セクレアを用いた止血手技とアリスト AH の使用経験. 東京大腸手術手技研究会学術集会 (第 29 回) (東京), 2015. 11.
- 64) 山田岳史¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 松田明久²⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学 千葉北総病院外科): circulating cell free DNA を利用した再発大腸癌の個別化治療. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 65) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 中村慶春¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 牧野浩司²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学 多摩永山病院外科, 3) 日本医科大学 千葉北総病院外科): 高齢者の食道裂孔ヘルニアに対する外科治療. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 66) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学附属病院 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 腹腔鏡下横行結腸癌手術における中結腸動脈根部郭清手技. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 67) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学 千葉北総病院 外科): 高齢者大腸癌に対する外科治療. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 68) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 横山正¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科): 高難度膀胱・胆道内視鏡外科手術の教育: Swine 腹腔鏡下膀胱切除・胆管吻合モデルの構築と定型化した腹腔鏡下膀胱側膀胱切除術の継承について. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福

- 岡), 2015. 11.
- 69) 原田潤一郎¹⁾, 松田明久¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 山初和也¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 消化器外科, 2) 日本医科大学付属病院 消化器外科): 経鼻的 W-ED チューブによる胃癌周術期の胃内減圧および経腸栄養. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 70) 高田英志¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 近藤亮太¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 中村慶春¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科): 混合型肝癌切除例の検討. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 71) 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 櫻澤信行²⁾, 野村 務²⁾, 松谷 毅¹⁾, 牧野浩司³⁾, 山下直行⁴⁾, 木山輝郎⁵⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院 外科, 4) 坪井病院 外科, 5) 朝霞中央総合病院 外科): 胃癌患者における術前サルコペニア評価. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 72) 赤間悠一¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 高野竜太郎¹⁾, 横山康行¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 金沢義一¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 消化器外科): 食道癌術後に発症した化膿性脊椎炎の 1 例. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 73) 下田朋宏¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 増田有香¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 中村慶春¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 松下 晃¹⁾, 川野陽一¹⁾, 清水哲也¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 高田英志¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科): 胆嚢穿孔を伴う出血性胆嚢炎に対して腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した症例. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 74) 眞鍋恵理子¹⁾, 金沢義一¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 宮下正夫²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 大網原発 Castleman 病に対して腹腔鏡下手術を施行した 1 例. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 75) 近藤亮太¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 消化器外科): 切除肝細胞癌におけるリンパ節転移の検討. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 76) 栗山 翔¹⁾, 松田明久¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科, 2) 日本医科大学 消化器外科): 単径部ヘルニア再発に対する TAPP 法の検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 77) 関口久美子¹⁾, 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 消化器外科, 2) 日本医科大学付属病院 消化器外科): 術中内視鏡観察が有用であった内視鏡的切除困難な盲腸腫瘍に対する単孔式腹腔鏡下手術. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 78) 川野陽一, 谷合信彦, 中村慶春, 吉岡正人, 松下 晃, 水口義昭, 清水哲也, 勝野 暁, 高田英志, 住吉宏樹, 近藤亮太, 青木悠人, 吉田 寛, 内田英二: 当科 Original の Device を駆使した腹腔鏡下肝切除における止血法の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 79) 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 松本智司¹⁾, 松田明久¹⁾, 山初和也¹⁾, 関口久美子¹⁾, 原田潤一郎¹⁾, 保田智彦¹⁾, 栗山 翔¹⁾, 赤間悠一¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 増田寛喜¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学 千葉北総病院, 2) 日本医科大学 付属病院消化器外科): 当院における腹腔鏡補助下幽門側胃切除での reduced port surgery 導入の検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 80) 松田明久¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科消化器外科, 2) 日本医科大学 消化器外科): 腹腔鏡下大腸手術におけるフック鉗子を多用した左結腸動脈温 #253 リンパ節郭清手技. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 81) 松本智司¹⁾, 松田明久¹⁾, 原田潤一郎¹⁾, 菅 隼人²⁾, 山田岳史²⁾, 小泉岐博²⁾, 進士誠一²⁾, 内田英二²⁾, 宮下正夫¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科, 2) 日本医科大学 付属病院 消化器外科): 網嚢腔非解放, 頭側アプローチによる右側結腸癌に対する CME 手技. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 82) 安藤文彦¹⁾, 山下直行¹⁾, 湖山信篤¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 下田朋宏^{1, 3)}, 上田康二^{1, 3)}, 和知栄子²⁾, 小倉 豪⁴⁾ (1) 坪井病院, 2) 坪井病院病理診断科, 3) 日本医科大学 消化器外科, 4) 東海大学 病理診断科): 胃癌との鑑別が問題となった胃 MALT リンパ腫の 1 切除例. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 83) 進士誠一¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 術中他臓器浸潤大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術の検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 84) 近藤亮太¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 川野陽一¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 高田英志¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 吉田 寛²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 消化器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院): 当院における巨大肝嚢胞に対する腹腔鏡下肝嚢胞開窓術の治療成績. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 85) 原田潤一郎¹⁾, 松本智司¹⁾, 松田明久¹⁾, 保田智彦¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科, 2) 日本医科大学消化器外科): 整容性にこだわった単孔式腹腔鏡下尿管切除術. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.

- 86) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 横山康行¹⁾, 高橋吾郎¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 鈴木英之²⁾, 松本智司³⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 消化器外科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 3) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 腹腔鏡下大腸癌手術における小開腹創の腹壁癒着ヘルニア: 下腹部正中切開と臍部切開の比較. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 87) 山田真吏奈^{1, 3)}, 松田明久²⁾, 増野智彦³⁾, 松本 高¹⁾, 横田裕行³⁾, 宮下正夫²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野 (同高度救命救急センター)): 重症敗血症後の脳機能障害モデルの確立. 外科侵襲とサイトカイン研究会 (第 22 回) (京都), 2015. 12.
- 88) 望月千暁¹⁾, 渡辺光子¹⁾, 白井 舞¹⁾, 松本智司²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 看護部, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科): ストーマ粘膜皮膚接合部に発生する不良肉芽に対する対処法の検討. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 (第 33 回) (山梨), 2016. 2.
- 89) 白井 舞¹⁾, 渡辺光子¹⁾, 松本智司²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 看護部, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 新たな柔らかい凸面装具の有用性の検討. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 (第 33 回) (山梨), 2016. 2.
- 90) 関口久美子¹⁾, 松本智司¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 松田明久¹⁾, 山初和也¹⁾, 保田智彦¹⁾, 栗山 翔¹⁾, 赤間悠一¹⁾, 眞鍋恵理子¹⁾, 増田寛喜¹⁾, 宮下正夫¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 教育的観点から考慮した当院での腹腔鏡下虫垂切除術における工夫. 千葉内視鏡外科研究会 (第 21 回) (千葉), 2016. 2.
- 91) 山川一馬, 西田 修, 小倉裕司, 江木盛時, 松嶋麻子, 井上茂亮, 角 由佳, 林田 敬, 福田龍将, 安田英人, 原 嘉孝, 松田明久, 矢田部智昭, 山下和人, 坂本 壮, その他 18 名: 日本版重症敗血症診療ガイドライン 2016 における推奨設定方法. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 92) 垣花泰之, 松嶋麻子, 久志木成樹, 松田明久, 神應知通, 井手健太郎, 安田英人, 櫻谷正明, 松田直之, 西田 修, 小倉裕司, 井上茂亮, 射場敏明, 今泉 均, 江木盛時, その他 11 名: 日本版重症敗血症診療ガイドライン 2016: 初期蘇生領域の CQ とガイドラインの方向性. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 93) 川野陽一¹⁾, 谷合信彦²⁾, 中村慶春²⁾, 吉岡正人²⁾, 松下 晃²⁾, 水口義昭²⁾, 清水哲也²⁾, 高田英志²⁾, 近藤良太²⁾, 青木悠人²⁾, 吉田寛³⁾, 内田英二 (1) 日本医科大学 千葉北総病院 外科, 2) 日本医科大学 消化器外科, 3) 日本医科大学 多摩永山病院 外科): 右下横隔動脈温存左三区域切除後出血に対し固有肝動脈塞栓術が可能であった 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
- 94) 赤城一郎¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 横山 正¹⁾, 平方敦史¹⁾, 上田純志¹⁾, 松谷 毅²⁾, 野村 務²⁾, 萩原信敏²⁾, 宮下正夫³⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学 多摩永山病院 外科, 2) 日本医科大学 消化器外科, 3) 日本医科大学 千葉北総病院 外科): 保存的に治療しえた胸腔ない穿孔型の特発性食道破裂の 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
- 95) 関口久美子¹⁾, 松田明久¹⁾, 松谷 毅²⁾, 野村 務²⁾, 萩原信敏²⁾, 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科・消化器外科, 2) 日本医科大学 消化器外科): 食道癌術後の食道裂孔絞扼性ヘルニアに対して腹腔鏡下に修復しえた 2 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
- 96) 眞鍋恵理子¹⁾, 川野陽一¹⁾, 栗山 翔¹⁾, 松本智司¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 松田明久¹⁾, 横室茂樹¹⁾, 宮下正夫¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 感染性出血性肝嚢胞に対して開腹止血術を施行した 1 例. 千葉県外科医会 (第 76 回) (千葉), 2016. 3.
- 97) 牧野浩司¹⁾, 吉田 寛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 若林秀幸¹⁾, 山下直行⁴⁾, 櫻澤信行³⁾, 菅野仁士²⁾, 柿沼大輔²⁾, 金沢義一²⁾, 藤田逸郎²⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院 外科, 2) 日本医科大学付属病院 消化器外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院外科, 4) 坪井病院 外科): 右側胸腔鏡下操作による安全で低侵襲な食道胃接合部腺癌の下縦隔リンパ節郭清と吻合. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (別府), 2016. 3.
- 98) 山下直行¹⁾, 湖山信篤¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 安藤文彦¹⁾, 藤田逸郎²⁾, 金沢義一¹⁾, 菅野仁士²⁾, 柿沼大輔²⁾, 新井洋紀²⁾, 萩原信敏²⁾, 櫻澤信行²⁾, 宮下正夫²⁾, 牧野浩司²⁾, 内田英二²⁾ (1) 坪井病院 外科, 2) 日本医科大学 消化器外科): 上部限局胃癌に対する切除術式を長期予後と栄養評価から再考する. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (別府), 2016. 3.
- (6) ビデオポスター:
- 1) 藤田逸郎¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 菊池友太¹⁾, 早川朋宏¹⁾, 金沢義一¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 櫻澤信行²⁾, 松谷 毅¹⁾, 山下直行⁴⁾, 野村務⁴⁾, 牧野浩司³⁾, 木山輝郎¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院 外科, 4) 坪井病院 外科): 内側アプローチの概念を用いた臍全面先行アプローチによる 6 番郭清. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (別府), 2016. 3.
- 2) 柿沼大輔¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 菊池友太¹⁾, 櫻澤信行¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 野村務¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 消化器外科): 腹腔鏡下胃切除における臍上縁リンパ節郭清の手法と工夫 -11p 郭清を中心に. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (別府), 2016. 3.
- 3) 櫻澤信行¹⁾, 宮下正夫¹⁾, 保田智彦¹⁾, 原田潤一郎¹⁾, 藤田逸郎²⁾, 金沢義一²⁾, 山下直行³⁾, 牧野浩司⁴⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科, 2) 日本医科大学付属病院 消化器外科, 3) 坪井病院, 4) 日本医科大学多摩永山病院 外科): ガーゼ付 2 枚羽

臓器圧排鉤（ピース型圧排鉤）の腹腔鏡補助下胃切除の有用性. 日本胃癌学会総会（第 88 回）（別府），2016. 3.

(7) 研修医：

- 1) 谷 憲一¹⁾，栗山 翔¹⁾，山初和也¹⁾，眞鍋恵理子¹⁾，櫻澤信行¹⁾，宮下正夫¹⁾，内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科，2) 日本医科大学 消化器外科)：Zenker 憩室に対して手術療法を施行した 1 例. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.
- 2) 春名孝洋¹⁾，横室茂樹¹⁾，瀬谷知子¹⁾，堀場光二¹⁾，松本智司¹⁾，櫻澤信行¹⁾，松田明久¹⁾，山初和也¹⁾，関口久美子¹⁾，原田潤一郎¹⁾，保田智彦¹⁾，栗山 翔¹⁾，赤間悠一¹⁾，宮下正夫¹⁾，内田英二²⁾，その他 2 名 (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科，2) 日本医科大学 附属病院 消化器外科)：腹腔鏡下幽門側胃切除術（LADG）施行し Roux-en-Y 法再建後に Petersen hernia を発症した 2 例の検討. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.

(8) 研修医・医学生ポスターセッション：

- 1) 眞鍋恵理子¹⁾，進士誠一¹⁾，菅 隼人¹⁾，松本智司²⁾，山田岳史¹⁾，小泉岐博¹⁾，山岸杏彌¹⁾，横山康行¹⁾，高橋吾郎¹⁾，岩井拓磨¹⁾，内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科，2) 日本医科大学千葉北総病院外科)：85 歳以上の超高齢者の大腸癌手術症例の検討. 日本外科学会定期学術集会（第 115 回）（名古屋），2015. 4.
- 2) 吉岡将史¹⁾，中村慶春¹⁾，勝野 暁¹⁾，住吉宏樹¹⁾，松下 晃¹⁾，山初和也¹⁾，吉岡正人¹⁾，水口義昭¹⁾，清水哲也¹⁾，神田知洋¹⁾，谷合信彦¹⁾，内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科)：遺残なくインスリノーマ手術を終える為に；術中の経時的 IRI モニタリングが腫瘍の完全摘除に有用であった 1 例. 日本外科学会定期学術集会（第 115 回）（名古屋），2015. 4.

(9) 生涯忘れられないこの一例：

- 1) 栗山 翔¹⁾，山初和也¹⁾，櫻澤信行¹⁾，宮下正夫¹⁾，内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科，2) 日本医科大学 消化器外科)：6cm の義歯による食道穿孔の 1 例. 日本腹部救急医学会総会（第 52 回）（東京），2016. 3.

(10) 要望演題：

- 1) 増田寛喜¹⁾，松田明久¹⁾，松本智司¹⁾，櫻澤信行¹⁾，赤間悠一¹⁾，眞鍋恵理子¹⁾，宮下正夫¹⁾，内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科，2) 日本医科大学 消化器外科)：非閉塞性腸管虚血症（NOMI）7 例の臨床的検討. 日本腹部救急医学会総会（第 52 回）（東京），2016. 3.

(11) 要望演題ビデオ：

- 1) 清水哲也¹⁾，谷合信彦¹⁾，吉岡正人¹⁾，川野陽一¹⁾，高田英志¹⁾，近藤亮太¹⁾，神田知洋¹⁾，水口義昭¹⁾，住吉宏樹¹⁾，勝野 暁¹⁾，松下晃¹⁾，中村慶春¹⁾，真々田裕宏¹⁾，内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科)：安全な腹腔鏡下外側区域切除を定型化するために. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.
- 2) 住吉宏樹¹⁾，中村慶春¹⁾，松下 晃¹⁾，勝野 暁¹⁾，山初和也¹⁾，神田知洋¹⁾，清水哲也¹⁾，川野陽一¹⁾，水口義昭¹⁾，吉岡正人¹⁾，横山正¹⁾，谷合信彦¹⁾，内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科)：腹腔鏡下臍切除術における術中出血における止血手技の工夫. 日本臨床外科学会総会（第 77 回）（福岡），2015. 11.

論文

{追加分}

追加分原著：

- 1) Matsuda A¹⁾，Miyashita M¹⁾，Matsumoto S¹⁾，Sakurazawa N¹⁾，Takahashi G²⁾，Yamada M¹⁾，Uchida E²⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, Inzai, Japan, 2) Department of Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan)：Isoperistaltic versus antiperistaltic stapled side-to-side anastomosis for colon cancer surgery：a randomized controlled trial. *Journal of Surgical Research* 2015；196 (1)：107-112.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) 藤田逸郎¹⁾，金沢義一¹⁾，小野寺浩之¹⁾，櫻澤信行²⁾，菅野仁士¹⁾，新井洋紀¹⁾，柿沼大輔¹⁾，萩原信敏¹⁾，松谷 毅¹⁾，牧野浩司³⁾，野村 務¹⁾，山下直行⁴⁾，木山輝郎⁵⁾，内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学附属病院消化器外科，2) 日本医科大学千葉北総病院外科，3) 日本医科大学多摩永山病院外科，4) 坪井病院 外科，5) 東大宮総合病院外科)：指導の助手による 6 番郭清における術野展開の考え方. 日本内視鏡外科学会総会（第 27 回）（盛岡），2014. 10.
- 2) 松田明久¹⁾，松本智司¹⁾，横室茂樹¹⁾，櫻澤信行¹⁾，山初和也¹⁾，高橋吾郎¹⁾，宮下正夫¹⁾，内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院外科，2) 日本医科大学 消化器外科)：閉塞性大腸癌に対する大腸ステントによる減圧後の腹腔鏡手術. 日本内視鏡学会総会（第 27 回）（盛岡），2014. 10.
- 3) 松本智司¹⁾，宮下正夫¹⁾，横室茂樹¹⁾，菅 隼人²⁾，鶴田宏之¹⁾，山田岳史²⁾，櫻澤信行¹⁾，小泉岐博²⁾，松田明久¹⁾，進士誠一²⁾，内田英二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科，2) 日本医科大学附属病院 消化器外科)：鏡視下大腸手術における頭側アプローチによる精緻な肝・脾彎曲部の脱転と D3 郭清. 日本内視鏡外科学会総会（第 27 回）（盛岡），2014. 10.

- 4) 山田岳史¹⁾, 佐々木順平¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 松田明久²⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 直腸癌腹腔鏡手術では小腸運動が早期に回復する. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.
- 5) 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 中村慶春¹⁾, 小野寺浩之¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 菅野仁士¹⁾, 宮下正夫²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 当施設における腹腔鏡下逆流防止術: 緊急性のある症例に対応した術式と手技の工夫. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.
- 6) 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 横山 正¹⁾, 山初和也¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 水口義昭¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 野村 務¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科): 腹腔鏡下膵切除術の定型化と次世代への継承について. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.
- 7) 松下 晃¹⁾, 中村慶春¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 清水哲也¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 真々田裕宏¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科): 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術 (Lap-PD) を安全な術式とするための当科の取り組み. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.
- 8) 勝野 暁¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 横山 正¹⁾, 山初和也³⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 水口義昭¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 牧野浩司²⁾, 野村 務¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院 外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 腹腔鏡下膵切除術における随伴性膵炎を伴った剥離困難な症例に対するソフト凝固システムの使用法. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.
- 9) 住吉宏樹¹⁾, 中村慶春¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 山初和也¹⁾, 吉岡正人¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 神田知洋¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科): 術前鑑別診断が困難であり, 腹腔鏡下膵中央切除術を施行した膵体部膵内副脾の 1 例. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.
- 10) 菅野仁士¹⁾, 藤田逸郎¹⁾, 金沢義一¹⁾, 小野寺浩之¹⁾, 柿沼大輔¹⁾, 新井洋紀¹⁾, 萩原信敏¹⁾, 櫻澤信行²⁾, 野村 務¹⁾, 松谷 毅¹⁾, 牧野浩司³⁾, 山下直行⁴⁾, 木山輝郎⁵⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科, 3) 日本医科大学多摩永山病院 外科, 4) 坪井病院 外科, 5) 東大宮総合病院 外科): 噴門近傍胃粘膜下腫瘍に対する超音波凝固切開装置噴門近傍胃粘膜下腫瘍に対する超音波凝固切開装置を用いた腹腔鏡下胃局所切除. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.
- 11) 川島万平¹⁾, 中村慶春¹⁾, 住吉宏樹¹⁾, 松下 晃¹⁾, 勝野 暁¹⁾, 横山 正²⁾, 山初和也³⁾, 吉岡正人¹⁾, 水口義昭¹⁾, 清水哲也¹⁾, 谷合信彦¹⁾, 野村 務¹⁾, 牧野浩司²⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院 外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 腹腔鏡下インスリノーマ手術における, 遺残無き腫瘍切除のための当科の取り組み. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.
- 12) 進士誠一¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 大草幹大¹⁾, 日下部誠¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 右側結腸癌に対する単孔式腹腔鏡補助下回盲部切除術. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.
- 13) 横山康行¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 大草幹大¹⁾, 日下部誠¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 当科における腹腔鏡下直腸切除術後の縫合不全の現状. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.
- 14) 菅 隼人¹⁾, 内田英二¹⁾, 山田岳史¹⁾, 小泉岐博¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 原 敬介¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 松本智司²⁾ (1) 日本医科大学消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科): 減圧管留置後に待機的に腹腔鏡補助下手術を行った閉塞性大腸癌症例の検討. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.
- 15) 小泉岐博¹⁾, 菅 隼人¹⁾, 松本智司²⁾, 山田岳史¹⁾, 進士誠一¹⁾, 山岸杏彌¹⁾, 横山康行¹⁾, 岩井拓磨¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 外科): 腹腔鏡下直腸癌手術における腹膜外経路によるストマ造設の有用性. 日本内視鏡外科学会総会 (第 27 回) (盛岡), 2014. 10.

14. 乳腺外科学分野

[付属病院乳腺科]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Ohashi R¹⁾, Matsubara M¹⁾, Watarai Y¹⁾, Yanagihara K²⁾, Yamashita K²⁾, Tsuchiya S^{1,3)}, Takei H²⁾, Naito Z^{1,4)} (1) Department of Diagnostic Pathology, Nippon Medical School Hospital, 2) Department of Breast Surgery, Nippon Medical School Hospital, 3) Department of Diagnostic Pathology, Iida Hospital, 4) Departments of Pathology and Integrative Oncological Pathology, Nippon Medical School) : Cytological features of complex type fibroadenoma in comparison with noncomplex type fibroadenoma. *Breast Cancer* 2015 ; August (Online).
- 2) Ohashi R¹⁾, Matsubara M¹⁾, Watarai Y¹⁾, Yanagihara K²⁾, Yamashita K²⁾, Tsuchiya S^{1,3)}, Takei H²⁾, Naito Z^{1,4)} (1) Department of Diagnostic Pathology, Nippon Medical School Hospital, 2) Department of Breast Surgery, Nippon Medical School Hospital, 3) Department of Diagnostic Pathology, Iida Hospital, 4) Department of Pathology and Integrative Oncological Pathology) : Diagnostic value of fine needle aspiration and core needle biopsy in special types of breast cancer. *Breast Cancer* 2015 ; 23 : 675-683.
- 3) Kurozumi S¹⁾, Inoue K²⁾, Takei H¹⁾, Matsumoto H¹⁾, Kurozumi M³⁾, Horiguchi J⁴⁾, Takeyoshi I⁴⁾, Oyama T⁵⁾ (1) Division of Breast Surgery, Saitama Cancer Center, 2) Division of Breast Oncology, Saitama Cancer Center, 3) Department of Pathology, Saitama Cancer Center, 4) Department of Thoracic and Visceral Organ Surgery, Gunma University Graduate School of Medicine, 5) Department of Diagnostic Pathology, Gunma University Graduate School of Medicine) : ER, PgR, Ki67,p27 (Kip1), and histological grade as predictors of pathological complete response in patients with HER2-positive breast cancer receiving neoadjuvant chemotherapy using taxanes followed by fluorouracil, epirubicin, and cyclophosphamide concomitant with trastuzumab. *BMC Cancer* 2015 ; 15 : 622.
- 4) Hamahata A¹⁾, Kubo K²⁾, Takei H²⁾, Saitou T¹⁾, Hayashi Y²⁾, Matsumoto H²⁾, Nagai S³⁾, Inoue K³⁾, Kurozumi M⁴⁾, Yamaki T⁵⁾, Sakurai H⁵⁾ (1) Division of Plastic and Reconstructive Surgery, Saitama Cancer Center, 2) Division of Breast Surgery, Saitama Cancer Center, 3) Division of Breast Oncology, Saitama Cancer Center, 4) Division of Pathology Saitama Cancer Center, 5) Department of Plastic and Reconstructive Surgery Tokyo Women's Medical University) : Impact of immediate breast reconstruction on postoperative adjuvant chemotherapy : a single center study. *Breast Cancer* 2015 ; 22 : 287-291.
- 5) Ohashi R¹⁾, Sakatani T^{1,2)}, Matsubara M¹⁾, Watarai Y¹⁾, Yanagihara K³⁾, Yamashita K³⁾, Tsuchiya S^{1,4)}, Takei H³⁾, Naito Z^{1,2)} (1) Department of Diagnostic Pathology, Nippon Medical School Hospital, 2) Departments of Pathology and Integrative Oncological Pathology, Nippon Medical School, 3) Department of Breast Surgery, Nippon Medical School Hospital, 4) Department of Diagnostic Pathology, Iida Hospital) : Mucinous carcinoma of the breast : a comparative study on cytohistological findings associated with neuroendocrine differentiation. *Cytopathology* 2016 ; 27 : 193-200.
- 6) Yagata H¹⁾, Ohtsu H²⁾, Komoike Y³⁾, Saji S⁴⁾, Takei H⁵⁾, Nakamura T⁶⁾, Ohashi Y⁷⁾, Iwase T⁸⁾, Shimozuma K⁹⁾ (1) Department of Breast Care, Saitama Medical Center, Saitama Medical University, 2) Leading Center for the Development and Research of Cancer Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine, 3) Department of Surgery, Kinki University Faculty of Medicine, 4) Department of Medical Oncology, Fukushima Medical University, 5) Department of Breast Surgery, Nippon Medical School Hospital, 6) National Center for Global Health and Medicine Center Hospital, 7) Department of Integrated Science and Engineering for Sustainable Society, Chuo University, 8) Department of Breast Surgery, Cancer Institute Hospital, 9) Department of Biomedical Sciences, College of Life Sciences, Ritsumeikan University) : Joint symptoms and health-related quality of life in postmenopausal women with breast cancer who completed 5 years of anastrozole. *Support Care Cancer* 2016 ; 24 : 683-689.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 武井寛幸¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 栗田智子¹⁾, 岩本美樹¹⁾, 関 奈紀²⁾, 保科淑子³⁾, 二宮 淳¹⁾, 浅川英輝¹⁾, 横山 正²⁾, 山下浩二¹⁾, 飯田信也⁴⁾ (1) 日本医科大学乳腺外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院外科, 3) 日本医科大学武蔵小杉病院外科, 4) 日本医科大学千葉北総病院外科) : “ACOSOG-Z0011” 試験適格例に対する腋窩郭清：省略 vs 実施 省略. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.

- 2) 中井麻木¹⁾, 鈴木えりか¹⁾, 金谷洋平¹⁾, 岩崎美樹¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 山下浩二¹⁾, 武井寛幸¹⁾, 渡辺 淳²⁾ (1) 日本医科大学付属病院乳腺科, 2) 日本医科大学付属病院遺伝診療科): BRCA1 陽性と診断された若年性乳癌の 1 例. 日本乳癌学会関東地方会 (第 12 回) (埼玉県), 2015. 12.
- (2) シンポジウム:
- 1) Yamashita K: VIRTUAL ENDOSCOPIC MODE OF 3D-CT IS PROJECTED ON VISION OF ENDOSCOPIC BREAST SURGERY. Technology Symposium, 23rd International Congress of European Association of Endoscopic Surgery (第 23 回) (Bucharest, Romania), 2015. 6.
- (3) パネルディスカッション:
- 1) 山下浩二¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学外科乳腺外科): 3D-CT リンパ管造影の第 2 センチネルリンパ節生検の有効性. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 2) 鈴木真彦¹⁾, 武井寛幸²⁾ (1) 北村山公立病院乳腺外科, 2) 日本医科大学医学部乳腺科): 乳癌の転移センチネルリンパ節 OSNA コピー数総和の検討. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 7.
- (4) ワークショップ:
- 1) 山下浩二¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学乳腺科): 乳腺内視鏡手術の工夫による乳腺切離断端の縮小と整容性の向上. 日本癌治療学会学術集会 (第 53 回) (京都府), 2015. 10.
- 2) 山下浩二¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学乳腺外科): 乳腺内視鏡手術における腋窩単孔法の有用性. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県), 2015. 11.
- (5) 一般講演:
- 1) Yamashita K, Takei H: Long-term results over 10 years after video-assisted breast surgery are evaluated for early breast cancer. 16th Annual Meeting of the American Society of Breast Surgeons (第 16 回) (Orlando, USA), 2015. 4.
- 2) Yamashita K, Takei H: VIRTUAL ENDOSCOPIC MODE OF 3D-CT NAVIGATION FOR VIDEO-ASSISTED BREAST SURGERY. 23rd International Congress of European Association of Endoscopic Surgery (第 23 回) (Bucharest, Romania), 2015. 6.
- 3) 大橋隆治¹⁾, 坂谷貴司¹⁾, 松原美幸¹⁾, 柳原恵子²⁾, 山下浩二²⁾, 土屋眞一^{1,3)}, 武井寛幸²⁾, 内藤善哉^{1,4)} (1) 日本医科大学付属病院病理診断科, 2) 日本医科大学付属病院乳腺外科, 3) 飯田病院病理診断科, 4) 日本医科大学統御機構診断病理学): 神経内分泌分化を伴う乳腺粘液癌の細胞像と臨床組織像との比較. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (東京都), 2015. 7.
- 4) Yamashita K, Takei H: VIRTUAL ENDOSCOPIC MODE OF 3D-CT CAN NAVIGATE VIDEO-ASSISTED BREAST SURGERY. 46th World Congress of Surgery (第 46 回) (Bangkok, Thailand), 2015. 8.
- 5) Yamashita K, Takei H: Virtual endoscopic mode of 3D-CT assists sentinel nodes biopsy and breast tumor excision. 18th European Cancer Congress - 40th Congress of European Society for Medical Oncology (ESMO) 2015 (第 18 回, 第 40 回) (Vienna, Austria), 2015. 9.
- 6) 山下浩二¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学乳腺科): Long-term results over 10 years after video-assisted breast surgery are evaluated for early breast cancer. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋, 愛知県), 2015. 4.
- 7) 山下浩二, 柳原恵子, 武井寛幸: VIRTUAL ENDOSCOPIC MODE OF 3D-CT WILL NAVIGATE VIDEO-ASSISTED BREAST SURGERY. 3D-CT 内視鏡モードによる乳腺内視鏡手術ナビゲーション. 日本臨床腫瘍学会学術集会 (第 13 回) (札幌), 2015. 7.
- 8) 前佛 均¹⁾, 中村清吾²⁾, 明石定子²⁾, 桑山 篤²⁾, 渡邊知映²⁾, 武井寛幸³⁾, 石川 孝⁴⁾, 長谷川善枝⁵⁾, Lee S⁶⁾, 松方純美⁶⁾, 松本広志⁶⁾, 九富五郎⁶⁾, 中村祐輔⁷⁾ (1) 国立がん研究センター・研・遺伝医学, 2) 昭和大・医・乳外, 3) 日本医大・医・乳腺科, 4) 東京医大・医・乳腺科, 5) 弘前市立病院・乳腺科, 6) C-GENT 共同研究グループ, 7) シカゴ大・内科・外科): CYP2D6 遺伝型とタモキシフェン治療効果の関係の解明する多施設共同前向き研究. 日本癌学会学術総会 (第 74 回) (愛知県), 2015. 10.
- 9) 戸塚勝理¹⁾, 松本広志¹⁾, 林 祐二¹⁾, 黒住 献¹⁾, 小松 恵¹⁾, 大庭華子²⁾, 永井成勲³⁾, 井上賢一³⁾, 武井寛幸⁴⁾, 黒住昌史²⁾, 堀口淳⁵⁾, 竹吉 泉⁵⁾ (1) 埼玉県立がんセンター乳腺科, 2) 埼玉県立がんセンター病理診断科, 3) 埼玉県立がんセンター乳腺腫瘍内科, 4) 日本医科大学乳腺科, 5) 群馬大学臓器病態外科): 腋窩リンパ節転移陽性乳癌における術前化学療法後のセンチネルリンパ生検についての検討. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (愛知県), 2015. 4.
- 10) 近藤優香¹⁾, 増田有香³⁾, 柳原恵子²⁾, 山下浩二²⁾, 土屋眞一⁴⁾, 武井寛幸²⁾ (1) 日本医科大学付属病院研修医, 2) 日本医科大学付属病院乳腺外科, 3) 日本医科大学付属病院消化器外科, 4) 日本医科大学付属病院病理部): 男性乳房に生じた梗塞壊死を伴う乳頭腫の 1 例. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都), 2015. 6.
- 11) 山下浩二¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学外科乳腺外科): 仮想内視鏡モード 3D-CT による乳腺内視鏡手術ナビゲーション. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (東京都), 2015. 7.
- 12) 村上隆介¹⁾, 谷 瞳¹⁾, 桑子智之¹⁾, 吉田民子¹⁾, 山根 彩¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾, 岩崎美樹²⁾, 浅川英輝²⁾, 二宮 淳²⁾, 柳原恵子²⁾, 飯田信也²⁾, 山下浩二²⁾, 武井寛幸²⁾ (1) 日本医科大学放射線医学, 2) 日本医科大学付属病院乳腺科): 胸部単純 CT における乳癌描出能の検討: 早期の乳癌は描出可能か?. 日本乳癌学会学術総会 (第 23 回) (東京都), 2015. 7.

- 13) 桑子智之¹⁾, 村上隆介¹⁾, 谷 瞳¹⁾, 吉田民子²⁾, 山根 彩¹⁾, 福嶋善光¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾, 柳原恵子³⁾, 岩本美樹³⁾, 山下浩二³⁾, 二宮 淳⁴⁾, 浅川英輝⁵⁾, 武井寛幸³⁾ (1) 日本医科大学付属病院放射線医学, 2) 亀田京橋クリニック放射線科, 3) 日本医科大学付属病院乳腺科, 4) 二宮病院, 5) 新東京病院外科: SPECT-CTにおける乳癌センチネルリンパ節の局在と個数についての検討. 日本乳癌学会学術総会 (第23回) (東京都), 2015. 7.
- 14) 柳原恵子¹⁾, 岩崎美樹¹⁾, 栗田智子¹⁾, 鈴木えりか¹⁾, 金谷洋平¹⁾, 浅川英輝⁵⁾, 二宮 淳⁴⁾, 関 奈紀³⁾, 谷 瞳²⁾, 村上隆介²⁾, 大橋隆治⁶⁾, 土屋眞一⁶⁾, 山下浩二¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院乳腺外科, 2) 日本医大放射線科, 3) 日本医大多摩永山病院, 4) 二宮病院, 5) 新東京病院, 6) 日本医大病理部: 転移性乳癌に対するエリプリンの有用性を安全性の検討. 日本乳癌学会学術総会 (第23回) (東京都), 2015. 7.
- 15) 吉田民子^{1, 2)}, 村上隆介²⁾, 谷 瞳²⁾, 山根 彩²⁾, 桑子智之²⁾, 汲田伸一郎²⁾, 武井寛幸³⁾, 柳原恵子³⁾, 秋葉絢子⁴⁾, 吉原尚志⁴⁾, 山口敏雄⁴⁾, 内山菜智子⁵⁾, 戸崎光宏¹⁾ (1) 亀田京橋クリニック放射線科, 2) 日本医科大学放射線医学, 3) 日本医科大学付属病院乳腺科, 4) 新百合ヶ丘総合病院放射線科, 5) 国立がん研究センター中央病院放射線診断科: トモシンセシス併用乳癌検診の初期経験. 日本乳癌学会学術総会 (第23回) (東京都), 2015. 7.
- 16) 関 奈紀¹⁾, 横山 正¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 平方敦史¹⁾, 赤城一郎¹⁾, 飯田信也³⁾, 吉田 寛¹⁾, 柳原恵子²⁾, 武井寛幸²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器・一般・乳腺外科, 2) 日本医科大学付属病院乳腺科, 3) 日本医科大学千葉北総病院乳腺科: 当院におけるフルベストラント使用症例について. 日本乳癌学会学術総会 (第23回) (東京都), 2015. 7.
- 17) 金谷洋平¹⁾, 飯田信也²⁾, 山下浩二¹⁾, 横山 正³⁾, 柳原恵子¹⁾, 栗田智子¹⁾, 岩崎美樹¹⁾, 関 奈紀³⁾, 保科淑子⁴⁾, 鈴木えりか¹⁾, 二宮 淳¹⁾, 浅川英輝¹⁾, 谷 瞳⁵⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学乳腺科, 2) 日本医科大学千葉北総病院乳腺科, 3) 日本医大永山病院乳腺外科, 4) 日本医科大学武蔵小杉病院乳腺外科, 5) 日本医科大学放射線科: エストロゲンレセプター陽性転移再発乳癌に対するフルベストラント, カペシタビンの併用療法の有効性. 日本乳癌学会学術総会 (第23回) (東京都), 2015. 7.
- 18) 谷 瞳¹⁾, 村上隆介¹⁾, 桑子智之¹⁾, 吉田民子¹⁾, 山根 彩¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾, 内山菜智子²⁾, 岩崎美樹³⁾, 柳原恵子³⁾, 飯田信也³⁾, 山下浩二³⁾, 武井寛幸³⁾, 浅川英輝⁴⁾, 二宮 淳⁵⁾ (1) 日本医科大学放射線医学, 2) 国立がんセンター中央病院放射線診断科, 3) 日本医科大学付属病院乳腺科, 4) 新東京病院外科, 5) 二宮病院: マンモグラフィにおける4k高精細モニタと5MP液晶モニタの診断能の評価. 日本乳癌学会学術総会 (第23回) (東京都), 2015. 7.
- 19) 鈴木真彦¹⁾, 南條 博²⁾, 杉山達朗³⁾, 武井寛幸⁴⁾ (1) 北村山公立病院乳腺外科, 2) 秋田大学付属病院病理部, 3) 秋田病理組織細胞診研究センター, 4) 日本医科大学乳腺科: OncotypeDXと臨床病理学的因子の検討. 日本乳癌学会学術総会 (第23回) (東京都), 2015. 7.
- 20) 二宮 淳^{1, 2)}, 柳原恵子¹⁾, 岩本美樹¹⁾, 鈴木えりか¹⁾, 金谷洋平¹⁾, 浅川英輝¹⁾, 山下浩二¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院乳腺科, 2) 二宮病院乳腺外科: Exemestane術前ホルモン療法耐性後, high dose toremifen術前療法が著効した乳癌の1例. 日本外科学系連合学会学術集会 (第40回) (東京都), 2015. 7.
- 21) 山下浩二¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学乳腺科: 乳腺内視鏡手術は, 小切開手術でもあり, 内視鏡補助下の手技が有用である. 日本小切開・鏡視外科学会 (第28回) (福岡県), 2015. 9.
- 22) 山下浩二, 柳原恵子, 武井寛幸: 乳房オンコプラスティックサージャリーを考慮した乳腺内視鏡手術の工夫. 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会 (第3回) (札幌), 2015. 9.
- 23) 金子安比古¹⁾, 高田 譲¹⁾, 永井成勲²⁾, 春田雅之¹⁾, 戸塚勝理³⁾, 武井寛幸³⁾, 井上賢一²⁾, 黒住昌史⁴⁾, 宮崎 勝⁵⁾, 佐藤悠佑⁶⁾, 小川誠司⁶⁾ (1) 埼玉がんセンター・臨床腫瘍研・癌診断, 2) 埼玉がんセンター・乳腺腫瘍内科, 3) 埼玉がんセンター・乳腺外科, 4) 埼玉がんセンター・病理, 5) 千葉医大外科, 6) 京医大外科・病理・腫瘍生物: 術前化学療法を受けたtriple-negative乳癌患者の予後はBRCA1ゲノム・エピゲノム異常の有無に左右される. 日本癌学会学術総会 (第74回) (愛知県), 2015. 10.
- 24) 中井麻木¹⁾, 鈴木えりか¹⁾, 金谷洋平¹⁾, 岩崎美樹¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 山下浩二¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院: 当院における80歳以上の高齢乳癌患者の治療に関する検討. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 25) 岩崎美樹¹⁾, 鈴木えりか¹⁾, 金谷洋平¹⁾, 中井麻木¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 山下浩二¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院乳腺科: 女性が外科医であり続けるために: 母であり乳腺外科医であるということ. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 26) 金谷洋平¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 中井麻木¹⁾, 岩崎美樹¹⁾, 鈴木えりか¹⁾, 山下浩二¹⁾, 二宮 淳¹⁾, 浅川英輝¹⁾, 栗田智子¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学乳腺科: 当科における組織拡張器 (Tissue Expander: TE) 挿入時における乳頭乳輪温存乳房切除術 (Nipple Sparing Mastectomy: NSM) と皮膚温存乳房切除術 (Skin Sparing Mastectomy: SSM) 53例の検討. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 27) 鈴木えりか¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 金谷洋平¹⁾, 岩崎美樹¹⁾, 中井麻木¹⁾, 山下浩二¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院乳腺科: 乳腺管状腺腫の1例. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡県), 2015. 11.
- 28) 日下部守昭^{1, 3)}, 塩澤幹雄²⁾, 大久保哲¹⁾, 中川貴之¹⁾, 佐伯亘平¹⁾, 武井寛幸⁴⁾, 中村清吾⁵⁾, 関野正樹¹⁾ (1) 東京大学, 2) 茨城県立中央病院, 3) 株式会社マトリックス細胞研究所, 4) 日本医科大学, 5) 昭和大学: 磁性粒子の医療への応用: 新規磁気プローブ開発と磁性体を用いた乳癌センチネルリンパ節生検への応用. SNNS研究会学術集会 (第17回) (神奈川県), 2015. 11.

- 29) 日下部守昭^{1,3)}, 塩澤幹雄²⁾, 大久保哲¹⁾, 中川貴之¹⁾, 佐伯亘平¹⁾, 武井寛幸⁴⁾, 中村清吾⁵⁾, 関野正樹¹⁾ (1) 東京大学, 2) 茨城県立中央病院, 3) 株式会社マトリックス細胞研究所, 4) 日本医科大学, 5) 昭和大学): 磁性粒子の医療への応用: 新規磁気プローブ開発と磁性体を用いた乳癌センチネルリンパ節生検への応用. SNNS 研究会学術集会 (第 17 回) (神奈川県), 2015. 11.
- 30) 眞鍋恵理子^{1,2)}, 飯田信也^{1,5)}, 柳原恵子^{1,5)}, 中井麻木^{1,5)}, 岩崎美樹^{1,5)}, 鈴木えりか^{1,5)}, 金谷洋平^{1,5)}, 関口久美子^{1,2)}, 宮下正夫²⁾, 羽鳥 務³⁾, 馬場俊吉⁴⁾, 武井寛幸⁵⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院乳腺科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院病理部, 4) 日本医科大学千葉北総病院耳鼻咽喉科, 5) 日本医科大学乳腺外科): ペバシズマブによる鼻出血に対する鼻粘膜焼灼術後も治療継続にて長期部分奏功を得ている局所進行乳癌の 1 例. 日本乳癌学会関東地方会 (第 12 回) (埼玉県), 2015. 12.
- 31) 関口久美子^{1,2)}, 飯田信也^{1,4)}, 柳原恵子^{1,4)}, 中井麻木^{1,4)}, 岩崎美樹^{1,4)}, 鈴木えりか^{1,4)}, 金谷洋平^{1,4)}, 眞鍋恵理子^{1,2)}, 宮下正夫²⁾, 羽鳥 務³⁾, 武井寛幸⁴⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院乳腺科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院病理部, 4) 日本医科大学乳腺外科): 意識障害を伴う高カルシウム血症で発症するもデノスマブ及び内分泌療法にて社会復帰し得た乳癌骨転移の 1 例. 日本乳癌学会関東地方会 (第 12 回) (埼玉県), 2015. 12.
- 32) 鈴木えりか¹⁾, 金谷洋平¹⁾, 岩崎美樹¹⁾, 中井麻木¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 山下浩二¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院乳腺科): 梗塞壊死をきたした 1 例. 日本乳癌学会関東地方会 (第 12 回) (埼玉県), 2015. 12.
- 33) 関 奈紀¹⁾, 横山 正¹⁾, 牧野浩司¹⁾, 金谷洋平²⁾, 鈴木えりか²⁾, 岩崎美樹²⁾, 中井麻木²⁾, 柳原恵子²⁾, 吉田 寛¹⁾, 武井寛幸²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器・一般・乳腺科, 2) 日本医科大学付属病院乳腺科): 転移性病変の切除治療追加により良好な経過が得られている乳腺粘液癌の 2 例. 日本乳癌学会関東地方会 (第 12 回) (埼玉県), 2015. 12.
- 34) 金谷洋平¹⁾, 中井麻木¹⁾, 鈴木えりか¹⁾, 岩崎美樹¹⁾, 柳原恵子¹⁾, 山下浩二¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学乳腺科): 乳癌と診断された 15 年経過後に切除した巨大葉状腫瘍の 1 切除例. 日本乳癌学会関東地方会 (第 12 回) (埼玉県), 2015. 12.
- 35) 山下浩二¹⁾, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学乳腺外科): 乳腺内視鏡手術における 3D-CT ナビゲーション. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪府), 2015. 12.

[武蔵小杉病院乳腺外科]

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Makita M, Sakai T, Kataoka A, Kitagawa D, Ogiya A, Morizono H, Miyagi Y, Iijima K, Kobayashi K, Kobayashi T, Fukuda I, Araki K, Takahashi S, Ito Y, Gomi N, et al. : Decreased hormonal sensitivity after childbirth rather than the tumor size influences the prognosis of very young breast cancer patients. Springer Plus 2015 ; 4 : 365.

学会発表

(1) ポスター:

- 1) 蒔田益次郎, 坂井威彦, 片岡明美, 北川 大, 荻谷朗子, 森園英智, 飯島耕太郎, 宮城由美, 小林 心, 小林隆之, 深田一平, 荒木和浩, 高橋俊二, 伊藤良則, 五味直哉, その他 5 名: 最終出産からの年数が浅いことがホルモン感受性を低下させて若年者 (30 歳未満) 乳癌の予後に影響する. 日本乳癌学会総会 (第 23 回) (東京), 2015. 7.

(2) 口演:

- 1) 蒔田益次郎, 赤須東樹, 渡邊真泉, 金子蘭子, 村上正洋: 当院における乳頭温存乳房切除術に関する工夫. 神奈川県乳腺甲状腺外科研究会 (第 32 回) (横浜), 2016. 3.

15. 内分泌外科学分野

[付属病院内分泌外科]

研究概要

主な研究テーマは甲状腺癌についての臨床および基礎研究です。

個々の患者さんのリスク（癌死 再発 QOL）に応じた診療方針確立のためのエビデンス形成が主なテーマで以下のような研究を行っています。

- ①微小乳頭癌の非手術経過観察
- ②乳頭癌のリスク分類とそれに基づく診療方針の前向き検討
- ③濾胞性腫瘍の術前リスク診断（microRNA の発現解析など分子診断を含む）
- ④未分化癌の多施設共同研究（甲状腺未分化癌研究コンソーシアム）
- ⑤甲状腺癌の分子標的薬治療（数々の治験や臨床試験に参加）
- ⑥頸部内視鏡手術の術式改善，適応拡大とデバイス開発
- ⑦副甲状腺の手術中における新たな同定法の開発（5-aminolevulinic acid による）
- ⑧副腎内視鏡手術の新たな術式開発

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Onoda N¹⁾, Sugitani I, Higashiyama T¹⁾, Hara H¹⁾, Ito K¹⁾, Kammori M¹⁾, Sugino K¹⁾, Suzuki S¹⁾, Toda K¹⁾, Yoshida A¹⁾, Miyauchi A¹⁾ (1) Anaplastic Thyroid Carcinoma Research Consortium of Japan) : Concept and design of a nationwide prospective feasibility/efficacy/safety study of weekly paclitaxel for patients with pathologically confirmed anaplastic thyroid cancer (ATCCJ-PTX-P2). BMC Cancer 2015 ; 15 : 475.
- 2) Ebina A¹⁾, Sugitani I, Orita Y¹⁾, Takao S¹⁾, Tsukahara K¹⁾, Yamada K¹⁾, Kawabata K¹⁾ (1) Cancer Institute Hospital) : Indication and validity of ultrasonographic evaluation for assessment of vocal fold mobility before and after thyroid surgery. Int J Diagnostic Imaging 2016 ; 3 (1) : 26-33.
- 3) Fukuoka O¹⁾, Sugitani I, Ebina A¹⁾, Toda K¹⁾, Kawabata K¹⁾, Yamada K¹⁾ (1) Cancer Institute Hospital) : Natural history of asymptomatic papillary thyroid microcarcinoma : Time-dependent changes in calcification and vascularity during active surveillance. World J Surg 2016 ; 40 (3) : 529-537.
- 4) 五十嵐健人, 岡村律子, 杉谷 巖 : 【家族性腫瘍学：家族性腫瘍の最新研究動向】臓器・領域別家族性腫瘍の臨床 副腎腫瘍. 日本臨床 2015 ; 73 (増刊6) : 471-475.

(2) 総説：

- 1) 杉谷 巖 : 甲状腺未分化癌の病態と治療. CLINICIAN 2015 ; 62 (8) : 75-81.
- 2) 長岡竜太, 杉谷 巖 : 甲状腺癌に対する分子標的薬：ソラフェニブ，レンパチニブ，バンデタニブ. カレントセラピー 2015 ; 33 (11) : 1123.
- 3) 長岡竜太 : 内分泌外科の手術ナビ. Ope Nursing 2016 ; 31 (2).
- 4) 蛭名 彩, 杉谷 巖 : 甲状腺癌の最新の治療. 日本薬剤師雑誌 2016 ; 68 (2) : 219-224.

(3) 症例報告：

- 1) Yamada K¹⁾, Toda K¹⁾, Ebina A¹⁾, Motoi N¹⁾, Sugitani I (1) Cancer Institute Hospital) : Ultrasonographic and non-enhanced CT features of acute transient thyroid swelling following fine-needle aspiration biopsy : report of four cases. J Med Ultrasonics 2015 ; 42 (3) : 417-425.

著書

- 1) 岡村律子, 杉谷 巖 : [共著] V. 頸部の手術 甲状腺全摘出術. こんなときの対応法がわかる 耳鼻咽喉科手術ガイド (耳鼻咽喉科・頭頸部外科), 2015 ; pp259-263, 医学書院.
- 2) 蛭名 彩, 杉谷 巖 : [分担] 甲状腺乳頭癌に対する甲状腺全摘, 放射性ヨウ素内用療法, TSH 抑制療法のエビデンスは?. EBM 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の治療 2015-2016 版 (池田勝久 武田憲昭 香取幸夫 原渕保明 丹生健一), 2015 ; pp623-628, 中外出版社.

- 3) 岡村律子, 杉谷 巖, 齊藤牧子: [分担] 甲状腺手術後ドレナージ. ドレーンカテーテルチューブ管理 完全ガイド (窪田敬一), 2015; pp110-115, 照林社.
- 4) 杉谷 巖: [分担] 甲状腺腫瘍. 今日の治療指針 2016 私はこう治療している (山口 徹 北原光夫 監修, 福井次矢 高木誠 小室一成 総編集), 2016; pp793-794, 医学書院.

学会発表

(1) 特別講演:

- 1) 小野田尚佳¹⁾, 杉谷 巖, 吉田 明¹⁾, 鈴木眞一¹⁾, 杉野公則¹⁾, 東山卓也¹⁾, 神森 眞¹⁾, 伊藤研一¹⁾, 原 尚人¹⁾, 戸田和寿¹⁾, 宮内昭¹⁾ (1) 甲状腺未分化癌研究コンソーシアム: 甲状腺未分化癌に対する医師主導前向き臨床試験 (アタック J) の進捗状況. 第 27 回日本内分泌外科学会総会 (福島), 2015. 5.
- 2) 杉谷 巖: 甲状腺難治癌への挑戦: これまでとこれから. Thyroid Cancer Seminar in Hiroshima (広島), 2015. 7.
- 3) 杉谷 巖: 甲状腺癌の最新の治療戦略: 日本からの発信が世界を変えた話. 第 24 回川崎内分泌の会 (川崎), 2016. 3.

(2) 招待講演:

- 1) Sugitani I: Surgical management of locally advanced thyroid carcinoma with IONM. 2015 Annual Symposium of Korean Intraoperative Neural Monitoring Society (Seoul, Korea), 2015. 11.

(3) 教育講演:

- 1) 杉谷 巖: 甲状腺癌治療の Up to date. 第 4 回日本頭頸部外科学会教育セミナー (東京), 2015. 9.

(4) シンポジウム:

- 1) 五十嵐健人: Recent progress in Multiple Endocrine Neoplasia Type 2. International society of oncoplastic endocrine surgeons (3rd) (Hong Kong), 2015. 10.
- 2) 岡村律子, 五十嵐健人, 軸菌智雄, 清水一雄, 杉谷 巖: 日本医大における甲状腺内視鏡下手術 VANS 法の現状. 日本内分泌外科学会総会 (第 27 回) (福島県福島市), 2015. 5.
- 3) 杉谷 巖: 甲状腺分化癌ハイリスク群に対する治療法の新展開. 第 27 回日本内分泌外科学会総会 (福島), 2015. 5.
- 4) 戸田和寿¹⁾, 杉谷 巖 (1) がん研究会有明病院: 微小乳頭癌の非手術経過観察 (石灰化や血流の経時的変化からみた微小癌の自然史). 第 40 回日本外科系連合学会学術集会 (東京), 2015. 6.
- 5) 五十嵐健人, 岡村律子, 赤須東樹, 杉谷 巖: 甲状腺疾患治療の最前線 内視鏡下甲状腺手術の保険収載へ向けての試み. 日本外科系連合学会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- 6) 杉谷 巖: 甲状腺無症候性微小乳頭癌の Active Surveillance は標準治療となりうるか. 第 48 回日本甲状腺外科学会学術集会 (東京), 2015. 10.
- 7) 杉谷 巖: 甲状腺未分化癌研究コンソーシアム (ATCCJ) の成果と今後の展望. 第 77 回日本臨床外科学会総会 (福岡), 2015. 11.

(5) セミナー:

- 1) 杉谷 巖: 甲状腺難治癌への挑戦. 第 116 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 (東京), 2015. 5.
- 2) 杉谷 巖, 内野慶太¹⁾ (1) 九州医療センター: 外科医と腫瘍内科医: 薬物療法を通じて. 第 27 回日本内分泌外科学会総会 (福島), 2015. 5.
- 3) 五十嵐健人: 内視鏡下甲状腺手術の現状と保険収載への取り組み. 日本内分泌外科学会 (第 27 回) (福島県福島市), 2015. 5.
- 4) 南 博信¹⁾, 今井常夫²⁾, 田原 信³⁾, 杉谷 巖, 伊藤康弘⁴⁾ (1) 神戸大学, 2) 愛知医科大学, 3) 国立がん研究センター東病院, 4) 隈病院: 甲状腺癌に対するソラフェニブ 今後の展望. 第 13 回日本臨床腫瘍学会学術集会 (札幌), 2015. 7.
- 5) 杉谷 巖: 甲状腺癌における治療マネジメントの変化. 第 67 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会 (福島), 2015. 11.
- 6) 杉谷 巖: 甲状腺分化癌における治療戦略の変化. 第 26 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会 (名古屋), 2016. 1.

(6) ワークショップ:

- 1) 伊藤康弘¹⁾, 田原 信²⁾, 杉谷 巖, 南 博信³⁾, 今井常夫⁴⁾ (1) 隈病院, 2) 国立がん研究センター東病院, 3) 神戸大学, 4) 愛知医科大学: 根治切除不能な分化型甲状腺癌患者を対象としたソラフェニブ (ネクサバル®錠) の製造販売後調査 (全例調査): 中間報告. 第 27 回日本内分泌外科学会総会 (福島), 2015. 5.
- 2) 岡村律子, 清水一雄¹⁾, 五十嵐健人, 赤須東樹²⁾, 軸菌智雄³⁾, 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 杉谷 巖 (1) 金地病院外科, 2) 日本医科大学付属武蔵小杉病院内分泌外科, 3) 小山記念病院甲状腺科: VANS 法 (内視鏡下頸部手術) の工夫. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡県福岡市), 2015. 11.
- 3) 五十嵐健人, 岡村律子, 赤須東樹, 清水一雄, 杉谷 巖: 整容性と安全性を探究した甲状腺内視鏡手術の手技変遷と治療成績. 日本臨床外科学会 (第 77 回) (福岡県博多市), 2015. 11.

(7) 一般講演:

- 1) Sugitani I, Fukuoka O¹⁾, Ebina A, Toda K¹⁾, Kawabata K¹⁾, Yamada K¹⁾ (1) Cancer Institute Hospital: Natural history of

- asymptomatic papillary thyroid microcarcinoma : Time-dependent changes in calcification and blood flow during active surveillance. 46th World Congress of Surgery, International Association of Endocrine Surgeons 2015 (Bangkok, Thailand), 2015. 8.
- 2) 眞田麻梨恵, 長岡竜太, 岡村律子, 軸菌智雄, 赤須東樹, 五十嵐健人, 杉谷 巖, 清水一雄, 彭 為霞¹⁾, 大橋隆治¹⁾, 内藤善哉¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学病理診断科) : 内視鏡補助下手術で治療した若年性甲状腺濾胞癌の1例. 日本甲状腺外科学会 (第48回) (東京), 2015. 10.
 - 3) Onoda N¹⁾, Ito Y²⁾, Ito K³⁾, Sugitani I, Takahashi S⁴⁾, Yamaguchi I⁵⁾, Kawakami Y⁵⁾, Tsukada K⁵⁾ (¹⁾ 大阪市立大学, ²⁾ 隈病院, ³⁾ 信州大学, ⁴⁾ がん研究会有明病院, ⁵⁾ バイエル) : Phase II clinical trial of sorafenib in Japanese patients with anaplastic thyroid carcinoma (ATC) and locally advanced or metastatic medullary thyroid carcinoma (MTC). 15th International Thyroid Congress (Orlando, USA), 2015. 10.
 - 4) Brose M¹⁾, Smit J¹⁾, Lin C¹⁾, Pitoia F¹⁾, Fellos M¹⁾, Sculumberger M¹⁾, Sugitani I (¹⁾ RIFTOS steering committee) : Optimal timing of multikinase inhibitor initiation in radioactive iodine refractory asymptomatic patients with differentiated thyroid cancer- A global non-interventional study (RIFTOS MKI). 15th International Thyroid Congress (Orlando, USA), 2015. 10.
 - 5) Onoda N¹⁾, Sugino K¹⁾, Higashiyama T¹⁾, Kammori M¹⁾, Ito K¹⁾, Yoshida A¹⁾, Suzuki S¹⁾, Hara H¹⁾, Miyauchi A¹⁾, Sugitani I (¹⁾ Anaplastic thyroid carcinoma research consortium of Japan) : Weekly paclitaxel administration in patients with anaplastic thyroid carcinoma. A nationwide prospective clinical study. 15th International Thyroid Congress (Orlando, USA), 2015. 10.
 - 6) 眞田麻梨恵, 長岡竜太, 岡村律子, 軸菌智雄, 赤須東樹, 五十嵐健人, 杉谷 巖, 清水一雄 : Thyroid Storm with Turner Syndrome. Annual Meeting of Asia-Pacific Endocrine Conference (27th) (Honolulu, Hawaii, USA), 2016. 2.
 - 7) Obata K¹⁾, Ebina A, Sugitani I, Sugiura Y¹⁾, Toda K¹⁾, Takahashi S¹⁾, Kawabata K¹⁾ (¹⁾ Cancer Institute Hospital) : COMMON CAROTID ARTERY RUPTURE DURING TREATMENT WITH LENVATINIB FOR ANAPLASTIC CANCER. 27th Annual Meeting of the Asia-Pacific Endocrine Conference (Honolulu, Hawaii), 2016. 2.
 - 8) 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 軸菌智雄, 岡村律子, 五十嵐健人, 杉谷 巖, 大橋隆治¹⁾, 清水一雄 (¹⁾ 日本医科大学付属病院病理部) : Severe Hypercalcemic Crisis Due to Parathyroid Carcinoma. アジア太平洋内分泌会議 (第27回) Annual Meeting of Asia-Pacific Endocrine Conference (27th) (Hawaii (USA)), 2016. 2.
 - 9) 松尾知平¹⁾, 原 尚人²⁾, 杉谷 巖, 筒井英光²⁾, 伊藤研一²⁾, 杉野公則²⁾, 北野博也²⁾, 今井常夫²⁾, 吉田 明²⁾, 清水一雄, 鈴木眞一²⁾ (¹⁾ 筑波大学, ²⁾ 甲状腺癌薬物療法委員会) : 他に代替療法のない放射性ヨウ素治療 (RAI) 不適応の分化型甲状腺癌患者を対象としたソラフェニブの有効性・安全性・QOLに関する臨床研究. 第27回日本内分泌外科学会総会 (福島), 2015. 5.
 - 10) 福岡 修¹⁾, 杉谷 巖, 蛭名 彩, 戸田和寿¹⁾, 川端一嘉¹⁾, 山田恵子¹⁾ (¹⁾ がん研究会有明病院) : 甲状腺無症候性微小乳頭癌の自然経過 : 超音波検査で評価した石灰化と血流の経時的変化. 第27回日本内分泌外科学会総会 (福島), 2015. 5.
 - 11) 戸田和寿¹⁾, 杉谷 巖 (¹⁾ がん研究会有明病院) : 術中神経モニタリングのコツと正常値・異常値. 第1回甲状腺副甲状腺術中神経モニタリング研究会 (福島), 2015. 5.
 - 12) 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 岡村律子, 五十嵐健人, 杉谷 巖, 清水一雄 : 頸部手術後の出血に難渋した2症例. 大江戸内分泌手術手技懇話会 (第10回) (東京), 2015. 5.
 - 13) 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 岡村律子, 五十嵐健人, 横島一彦¹⁾, 大橋隆治²⁾, 杉谷 巖, 清水一雄 (¹⁾ 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院病理診断科) : 下咽頭粘膜に静脈瘤をともなった巨大甲状腺低分化癌の1例. 日本内分泌外科学会 (第27回) (福島), 2015. 5.
 - 14) 眞田麻梨恵, 長岡竜太, 岡村律子, 軸菌智雄, 赤須東樹, 五十嵐健人, 大橋隆治¹⁾, 内藤善哉¹⁾, 清水一雄, 杉谷 巖 (¹⁾ 日本医科大学病理診断科) : 若年性濾胞癌の1例. 外科集談会 (第837回) (東京大学山下会館), 2015. 6.
 - 15) 岡村律子, 清水一雄, 五十嵐健人, 赤須東樹¹⁾, 軸菌智雄²⁾, 眞田麻梨恵, 長岡竜太, 杉谷 巖 (¹⁾ 日本医科大学付属武蔵小杉病院内分泌外科, ²⁾ 小山記念病院甲状腺科) : 日本医大における VANS 法の現状, 保険収載を目指した内視鏡ワーキンググループ評価項目の集計. 日本甲状腺外科学会学術集会 (第48回) (東京都渋谷区), 2015. 10.
 - 16) 蛭名 彩¹⁾, 杉谷 巖, 戸田和寿¹⁾, 川端一嘉¹⁾ (¹⁾ がん研究会有明病院) : 遠隔転移を有しない甲状腺乳頭癌高危険度群の治療成績と予後予測因子の検討. 第48回日本甲状腺外科学会学術集会 (東京), 2015. 10.
 - 17) 小野田尚佳¹⁾, 杉谷 巖, 杉野公則¹⁾, 東山卓也¹⁾, 神森 眞¹⁾, 戸田和寿¹⁾, 伊藤研一¹⁾, 吉田 明¹⁾, 菅沼伸康¹⁾, 中島範昭¹⁾, 鈴木眞一¹⁾, 塚原清彰¹⁾, 野口仁志¹⁾, 小泉雅典¹⁾, 根本俊光¹⁾, その他2名 (¹⁾ 甲状腺未分化癌研究コンソーシアム) : 甲状腺未分化癌に対する weekly paclitaxel による化学療法の認容性, 安全性に関する前向き研究. 第48回日本甲状腺外科学会学術集会 (東京), 2015. 10.
 - 18) 松尾知平¹⁾, 原 尚人²⁾, 杉谷 巖, 筒井英光²⁾, 伊藤研一²⁾, 杉野公則²⁾, 北野博也²⁾, 今井常夫²⁾, 吉田 明²⁾, 清水一雄, 鈴木眞一²⁾ (¹⁾ 筑波大学, ²⁾ 甲状腺癌薬物療法委員会) : RAI skip study. 第48回日本甲状腺外科学会学術集会 (東京), 2015. 10.
 - 19) 服部雅優¹⁾, 蛭名 彩, 杉谷 巖, 川端一嘉¹⁾, 戸田和寿¹⁾, 元井紀子¹⁾ (¹⁾ がん研究会有明病院) : 当科で経験した副甲状腺癌の4例. 第48回日本甲状腺外科学会学術集会 (東京), 2015. 10.

- 20) 日野るみ¹⁾, 元井紀子¹⁾, 蛭名 彩, 杉谷 巖, 石川雄一¹⁾ (¹⁾ がん研究会有明病院) : 臨床的低危険度甲状腺乳頭癌における予後不良例の病理組織学的特徴. 第 48 回日本甲状腺外科学会学術集会 (東京), 2015. 10.
- 21) 小幡和史¹⁾, 蛭名 彩, 戸田和寿, 元井紀子¹⁾, 川端一嘉¹⁾ (¹⁾ がん研究会有明病院) : Lenvatinib 著効により総頸動脈露出後出血を起こした甲状腺未分化癌の 1 例. 第 48 回日本甲状腺外科学会学術集会 (東京), 2015. 10.
- 22) 長岡竜太, 眞田麻梨恵, 軸菌智雄, 岡村律子, 五十嵐健人, 赤須東樹, 杉谷 巖, 清水一雄 : 術後脳梗塞に対する血栓溶解療法により, 著明な術後出血を来した原発性副甲状腺機能亢進症の 1 例. 日本甲状腺外科学会 (第 48 回) (東京), 2015. 10.
- 23) Ishibashi O¹⁾, Jikuzono T²⁾, Hirokawa M³⁾, Inui T³⁾, Sugitani I (¹⁾ 大阪府立医大, ²⁾ 小山記念病院, ³⁾ 隈病院) : Improvement of recovery and RNA extraction from thyroid cell specimens processed liquid-based cytology (甲状腺細胞診液状検体からの細胞回収と RNA 抽出の改善). 第 88 回生化学会大会 (神戸), 2015. 12.
- 24) 五十嵐健人 : 甲状腺・内分泌外科医が行う内視鏡補助下手術の意義. 日本内視鏡外科学会 (第 28 回) (大阪市), 2015. 12.

論 文

[追加分]

追加分総説 :

- 1) 伊藤研一¹⁾, 清水一雄, 吉田 明¹⁾, 鈴木眞一¹⁾, 今井常夫¹⁾, 岡本高宏¹⁾, 原 尚人¹⁾, 筒井英光¹⁾, 杉谷 巖, 杉野公則¹⁾, 絹谷清剛²⁾, 中駄邦博²⁾, 東 達也²⁾, 野口靖志²⁾, 阿部光一郎²⁾, その他 2 名 (¹⁾ 甲状腺癌薬物療法委員会, ²⁾ 日本核医学会) : 放射性ヨウ素治療抵抗性の局所進行性, 再発・転移性分化型甲状腺癌に対する分子標的薬治療の適応患者選択の指針. 日本内分泌甲状腺外科学会雑誌 2014 ; 31 (4) : 310-313.

追加分症例報告 :

- 1) Seto A¹⁾, Sugitani I, Toda K¹⁾, Kawabata K¹⁾, Takahashi S¹⁾, Saotome T¹⁾ (¹⁾ Cancer Institute Hospital) : Chemotherapy for anaplastic thyroid cancer using docetaxel and cisplatin : report of eight cases. Surg Today 2015 ; 45 (2) : 221-226.

著 書

追加分 :

- 1) 杉谷 巖 : [分担] 多発性内分泌腫瘍症 2 型 (MEN2) と遺伝性甲状腺髄様癌. 癌の遺伝医療 (新井正美), 2015 ; pp125-131, 南江堂.

[武蔵小杉病院内分泌外科]

研究業績

著 書

- 1) 赤須東樹 : [共著] 17 副甲状腺の同定診断. 現代科学 増刊 455-アミノレブリン酸の科学と医学応用-がんの診断・治療を中心に- (ポルフィリン ALA 学会), 2015 ; pp93-96, 株式会社 東京化学同人.
- 2) 赤須東樹 : [共著] D 内分泌・代謝・栄養疾患 甲状腺腫瘍. year note TOPICS 2016-2017 内科・外科疾患 6th edition (医療情報科学研究所), 2016 ; pp170-172, 株式会社メディックメディア.

16. 心臓血管外科学分野

[付属病院心臓血管外科・千葉北総病院胸部・心臓血管外科]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Tanoue M, Sakamoto S, Miyauchi Y, Usuda J, Nitta T : Treatment of Wolff-Parkinson-White syndrome with a thoracoscopic surgical procedure. *Annals of thoracic surgery* 2015 ; 100 : e11-e13.
- 2) Soejima K¹⁾, Nogami K²⁾, Sekiguchi Y²⁾, Harada T³⁾, Satomi K⁴⁾, Hirose T⁵⁾, Ueda A¹⁾, Miwa Y¹⁾, Sato T¹⁾, Nishio S³⁾, Shirai Y⁶⁾, Kowase S⁷⁾, Murakoshi N²⁾, Kunugi S, Nitta T, et al. (¹⁾ Department of Cardiology, Kyorin University Hospital, ²⁾ Cardiovascular Division, University of Tsukuba, Tsukuba, ³⁾ Department of Cardiology, St. Marianna University School of Medicine Hospital, Kanagawa, ⁴⁾ Department of Cardiology, Tokyo Medical University Hachioji Medical Center, Hachioji, ⁵⁾ Department of Cardiology, Gifu Prefectural General Medical Center, Gifu, ⁶⁾ Tokyo Medical and Dental University Hospital, Tokyo, ⁷⁾ Department of Cardiovascular Medicine, Yokohama Rosai Hospital, Yokohama) : Epicardial catheter ablation of ventricular tachycardia in no entry left ventricle : mechanical aortic and mitral valves. *Circ Arrhythm Electrophysiol* 2015 ; 8 : 381-389.

(2) 総説：

- 1) 坂本俊一郎：冠動脈手術における心房細動治療：治療の意義と術式の選択. *日本冠疾患学会雑誌* 2015 ; 21 (3) : 246-252.

(3) 巻頭言：

- 1) 新田 隆：Open Heart：英語セッションに思う. *心臓* 2015 ; 47 : 941.

著書

- 1) 石井庸介：〔共著〕心房細動手術は、手術リスクを増加させるのか？. *Evidence-based Cardiology* (小室 一成), 2015 ; pp349-352, 中外医学社.
- 2) Nitta T, Sakamoto S : 〔分担〕 Intraoperative Mapping During Surgical Ablation Procedures. *Interventional Cardiac Electrophysiology : A Multidisciplinary Approach* (Sanjeev Saksena, Francis E. Marchlinsk, Ralph J. Damiano, Jr., N. A. Mark Estes), 2015 ; pp417-430, Cardiotext Publishing.
- 3) 石井庸介：〔共著〕メイズ手術. *Intensivist*, 2015 ; pp755-764.
- 4) 坂本俊一郎, 新田 隆：〔共著〕不整脈の外科治療. *循環器疾患最新の治療2016-2017*, 2016 ; pp383-387, 南江堂.
- 5) 石井庸介：〔共著〕メイズ手術. *ハートナーシング*, 2016 ; pp38-42, メディカ出版.
- 6) 新田 隆：〔分担〕心臓外科医の視点から見た心房細動. *心房細動異文化交流：多面的アプローチのための対談集* (山下武志), 2015 ; pp139-156, 医薬ジャーナル社.
- 7) 川瀬康裕, 坂本俊一郎：〔共著〕心房細動手術の変遷と最近の進歩. *Heart View* 2015年10月号 (國原 孝), 2015 ; pp56-61, メジカルビュー社.
- 8) 師田哲郎, 小野 稔¹⁾ (¹⁾ 東京大学医学部 心臓外科) : 〔分担〕 connective tissue disease に対する弁形成術 : vs. 弁置換, 基部置換. *大動脈弁形成術のすべて* (國原孝, 高梨秀一郎), 2015 ; pp83-86, 文光堂.
- 9) 別所竜蔵, 古梶清和¹⁾, 笹山幸治²⁾, 澤 芳樹³⁾, 清野雄介⁴⁾, 瀬在 明⁵⁾, 田ノ上禎久⁶⁾, 福田幾夫⁷⁾, 松居善郎⁸⁾, 皆川正仁³⁾, 宮川繁⁹⁾, 森田紀代造¹⁰⁾, 山本浩史, 横山 齊, 西村元延, その他4名 (¹⁾ 馬車道慶友クリニック, ²⁾ 医療法人3重ハートセンター, ³⁾ 大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科学, ⁴⁾ 東京女子医科大学麻酔科, ⁵⁾ 日本大学医学部外科系心臓血管外科学分野, ⁶⁾ 九州大学病院心臓血管外科, ⁷⁾ 弘前大学大学院医学研究科胸部心臓血管外科学講座, ⁸⁾ 北海道大学大学院医学研究科循環器・呼吸器外科分野, ⁹⁾ 大阪大学大学院医学研究科免疫再生制御学講座, ¹⁰⁾ その他) : 〔編集・執筆〕心筋保護法標準テキストブック (日本心臓血管外科学会), 2016 ; pp1-223, 株式会社 文光堂.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 石井庸介：Maze 手術について. 千葉心臓外科手術手技検討会 (第21回) (千葉), 2015. 8.
- 2) 新田 隆：心房細動の外科治療：Box-lesion vs. U-lesion set. 日本心臓弁膜症学会 (第6回) (東京都), 2015. 12.
- 3) 新田 隆：不整脈の外科治療とデバイス治療の最近の動向. *Seminar : Cardiology* 2015 (25th), 2015. 12.

(2) 招待講演：

- 1) Nitta T : AF surgery, who should you sent to the OR. APHRS Summit 2015 (Bankok, Thailand), 2015. 4.
- 2) 師田哲郎：動脈瘤治療の今昔，そしてこれから：Are surgeons in fact being exterminated?. 十勝生活習慣病心疾患講演会（北海道帯広市），2015. 9.

(3) 教育講演：

- 1) 新田 隆：心房細動の外科治療. 埼玉ハートリズムカンファレンス（第2回）（埼玉県），2015. 5.
- 2) 新田 隆：Maze手術の基本と最近の知見. Meet the Expert in Kagoshima 2015（鹿児島県），2015. 5.
- 3) 新田 隆：心臓血管手術における遮断薬の役割：薬理と電気生理から実臨床まで. 茨城県周術期循環管理セミナー（第7回）（つくば市），2015. 7.
- 4) 新田 隆：心房細動の最近の話題：抗凝固療法と外科治療について. 不整脈治療勉強会（伊豆の国市長岡），2015. 7.
- 5) 新田 隆：心臓血管手術における遮断薬の役割：薬理と電気生理から実臨床まで. 周術期循環管理セミナー in 七隈（福岡県），2015. 8.
- 6) 新田 隆：PGC Advanced Course：心室頻拍. 日本胸部外科学会総会（第68回）（神戸市），2015. 10.
- 7) 新田 隆：「心房細動治療の目的を考える」心房細動回避率と遠隔期脳梗塞発生の回避. 福島不整脈研究会（福島県郡山市），2015. 11.
- 8) 大森裕也，宮城泰雄，坂本俊一郎，新田 隆：開胸/開心リード拔去手術. リード・マネジメント研究会（第1回），2016. 1.

(4) シンポジウム：

- 1) Nitta T : JHRS Joint Session : New Insight in Mapping and Ablation of AF : Surgical Mapping and Ablation of AF. Heart Rhythm Society (36th) (Boston, MA), 2015. 5.
- 2) Nitta T : Surgical VT Ablation in Non-ischemic Cardiomyopathy : Why, When and How. APHRS (8th) (Melbourne, Australia), 2015. 11.
- 3) Nitta T : Restoration of SR and LA Transport Function : Box-lesion vs. U-lesion set. APHRS (8th) (Melbourne, AU), 2015. 11.
- 4) 新田 隆，石井庸介，坂本俊一郎，宮城泰雄，藤井正大：術後心調律と左房機能の回復：Box-lesion vs. U-lesion set. 関西胸部外科学会学術集会（第58回）（岡山県），2015. 6.
- 5) 新田 隆：成人心房中隔欠損症に合併する心房細動. 日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会（第18回）（大阪府大阪市），2016. 1.
- 6) 新田 隆，坂本俊一郎，宮城泰雄，藤井正大，石井庸介：成人心房中隔欠損症に合併する心房細動：術中マッピング所見からみた術式の検討. 日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会（第18回）（大阪），2016. 1.

(5) セミナー：

- 1) 石井庸介：弁膜症/非弁膜症性心房細動における新しい経口抗凝固剤（NOAC）の使用法. 日本血管外科学会関東甲信越地方会（第23回）（東京都），2015. 10.

(6) 一般講演：

- 1) Nitta T, Ishii Y, Fujii M, Miyagi Y, Sakamoto S : Restoration of Sinus Rhythm and Atrial Transport Function after the Maze Procedure : Box-lesion versus U-lesion Set. American Association for Thoracic Surgery (95th) (Seattle, WA, USA), 2015. 4.
- 2) Nitta T : Restoration of sinus rhythm atrial transport function : Box-lesion vs. U-lesion set. Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Sessions (8th) (Melbourne, Australia), 2015. 11.
- 3) 佐々木孝，麻生俊英¹⁾，白川 真，高橋賢一郎，新田 隆¹⁾ 神奈川県立こども医療センター 心臓血管外科：Transmitral myectomy and mitral valve replacement in a pediatric patient with hypertrophic obstructive cardiomyopathy and degenerative mitral. World Society for Pediatric and Congenital Heart Surgery Regional Meeting KYOTO SYMPOSIUM (Kyoto), 2015. 11.
- 4) 鈴木敬士，坪 宏一，山本 剛，古瀬領人，黄 俊憲，三軒豪仁，林 洋史，細川雄亮，清水 渉，宮城泰雄，石井庸介，新田 隆：外科的治療に先行する心嚢穿刺の適応判断に苦慮した心タンポナーデの3例. 日本循環器学会関東甲信越地方会（第238回）（東京都），2015. 12.
- 5) Ishii Y, Sakamoto S, Miyagi Y, Kawase Y, Ohmori H, Shirakawa M, Tanoue M, Suzuki D, Morota T, Nitta T : Optimal Preoperative Left Atrial Diameter for Atrial Fibrillation Surgery in Patients With Mitral Valve Disease and Atrial Fibrillation. The Society of Thoracic Surgeons Annual Meeting (52nd) (Phoenix, Arizona), 2016. 1.
- 6) Shibata M : Successful treatment for late-onset juxtarenal type Ia endoleak using scalloped body extension and N-butyl cyanoacrylate embolization. LEIPZIG INTERVENTIONAL COURSE 2016 (Leipzig, Germany), 2016. 1.
- 7) Ishii Y, Sakamoto S, Kawase Y, Hiromoto A, Miyagi Y, Ohmori H, Sasaki T, Shirakawa M, Tanoue M, Shibata M, Aoyama J, Nitta T : Prevention of stroke during 2 decades after AF surgery. 日本不整脈学会学術集会（第30回）日本心電学会学術集会（第32回）（京都市），2015. 7.

- 8) Sasaki T : Transmitral myectomy and mitral valve replacement in a pediatric patient with hypertrophic obstructive cardiomyopathy and degenerative mitral valve. World Society for Pediatric and Congenital Heart Surgery Regional Meeting KYOTO SYMPOSIUM (京都), 2015. 11.
- 9) Ishii Y : AF after Maze Procedure : Track or Treat : Track (observe). Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Sessions (8th), 2015. 11.
- 10) Akutsu K¹⁾, Ko T¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Hosokawa Y¹⁾, Miyachi H¹⁾, Murata H¹⁾, Hayashi H¹⁾, Sangen H¹⁾, Suzuki K¹⁾, Furuse E¹⁾, Morota T¹⁾, Nitta T, Shimizu W (¹ Division of Cardiovascular Intensive Care, Nippon Medical School Hospital, Tokyo) : Outcome of Initial Medical Management for Non-communicating Acute Type A Aortic Dissection : Is All Necessary for Surgical Repair?. 日本循環器学会学術集会 (第 80 回) (仙台), 2016. 3.
- 11) 新田 隆 : 心房細動への多角的アプローチ. 十勝生活習慣病心疾患講演会 (帯広), 2015. 5.
- 12) 網谷亮輔, 仁科 大, 廣本敦之, 藤井正大, 別所竜蔵 : 大動脈弁置換術後に発症したサルモネラ縦隔炎の 1 例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会 (第 168 回) (都市センターホテル), 2015. 6.
- 13) 石井庸介, 坂本俊一郎, 宮城泰雄, 大森裕也, 白川 真, 廣本敦之, 田上素子, 師田哲郎, 新田 隆 : 冠動脈バイパス術に併施する心房細動手術は Full-Maze か肺静脈隔離か?. 日本冠動脈外科学会学術大会 (第 20 回) (京都), 2015. 7.
- 14) 芝田匡史¹⁾, 小野澤志郎¹⁾, 師田哲郎, 坪 宏一²⁾, 上田達夫¹⁾, 村田 智, 宮城泰雄, 新田 隆 (¹ 日本医科大学付属病院 放射線医学, ² 日本医科大学付属病院 循環器内科) : 遅発性 type Ia endoleak に対して瘤内塞栓術を併用した scalloped body extension を施行した 1 例. 大動脈ステントグラフト研究会 (第 19 回) (愛知県名古屋市), 2015. 7.
- 15) 藤井正大, 網谷亮輔, 廣本敦之, 仁科 大, 別所竜蔵 : 緊急冠動脈バイパス術の近接期および遠隔期成績の検討. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回) (神戸), 2015. 10.
- 16) 藤井正大, 網谷亮輔, 廣本敦之, 仁科 大, 別所竜蔵 : 当科における生体弁を用いた大動脈弁置換術の中期遠隔成績の検討. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回) (神戸), 2015. 10.
- 17) 坂本俊一郎, 川瀬康裕, 青山純也, 芝田匡史, 鈴木大悟, 森嶋素子, 白川 真, 佐々木孝, 大森裕也, 宮城泰雄, 石井庸介, 師田哲郎, 新田 隆 : 心房細動手術における GP アブレーション効果の検討. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回) (神戸), 2015. 10.
- 18) 佐々木孝 : Debate (先天性 4) 体肺 shunt へのアプローチ, median or thoractomy. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回) (兵庫県神戸市), 2015. 10.
- 19) 佐々木孝¹⁾, 武田裕子¹⁾, 大中臣康子¹⁾, 出淵 亮¹⁾, 麻生俊英¹⁾ (¹ 神奈川県立子ども医療センター 心臓血管外科) : 機能的単心室に対する新生児体肺シャントへのアプローチ : 胸骨正中切開と側開胸の比較. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回) (兵庫県神戸市), 2015. 10.
- 20) 鈴木大悟¹⁾, 本田二郎¹⁾ (¹ 中頭病院 心臓血管外科) : 心臓・大血管手術における術前口腔ケアの効果についての検討. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回) (兵庫県神戸市), 2015. 10.
- 21) 坂本俊一郎, 川瀬康裕, 青山純也, 芝田匡史, 鈴木大悟, 田上素子, 白川 真, 佐々木孝, 大森裕也, 宮城泰雄, 石井庸介, 師田哲郎, 新田 隆 : 心房細動手術における GP アブレーション効果の検討. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回) (兵庫県神戸市), 2015. 10.
- 22) 坂本俊一郎, 川瀬康裕, 青山純也, 芝田匡史, 鈴木大悟, 森嶋素子, 白川 真, 佐々木孝, 大森裕也, 宮城泰雄, 石井庸介, 師田哲郎, 新田 隆 : 心房細動手術における GP アブレーション効果の検討. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回) (神戸), 2015. 10.
- 23) 石井庸介¹⁾, 坂本俊一郎, 川瀬康裕, 宮城泰雄, 大森裕也, 佐々木孝, 白川 真, 田上素子, 芝田匡史, 青山純也, 師田哲郎, 新田 隆 : 僧帽弁疾患における心房細動手術の治療戦略. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回) (神戸市), 2015. 10.
- 24) 高橋賢一朗¹⁾, 杉田慎二¹⁾, 小林克也¹⁾, 田上素子, 廣本敦之, 白川 真, 佐々木孝, 坂本俊一郎, 大森裕也, 宮城泰雄, 石井庸介, 師田哲郎, 竹田晋浩¹⁾, 新田 隆 (¹ 日本医科大学 外科系集中治療科) : 心臓・大血管手術後急性期における ROTAFLOW 遠心ポンプを用いた ECMO システムの有用性. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回) (神戸市), 2015. 10.
- 25) 芝田匡史, 師田哲郎, 石井庸介, 宮城泰雄, 大森裕也, 坂本俊一郎, 佐々木孝, 川瀬康裕, 白川 真, 森嶋素子, 鈴木大悟, 青山純也, 新田 隆 : 当院における腹部分枝 debranching TEVAR の治療成績. 日本脈管学会総会 (第 56 回) (東京都), 2015. 10.
- 26) 藤井正大, 網谷亮輔, 廣本敦之, 仁科 大, 別所竜蔵 : 当科における生体弁を用いた大動脈弁置換術の中期遠隔成績の検討. 日本人工臓器学会大会 (第 53 回) (東京), 2015. 11.
- 27) 網谷亮輔, 廣本敦之, 仁科 大, 藤井正大, 別所竜蔵 : 高エネルギー外傷による心合併症の一治験例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会 (第 169 回) (東京ファッションタウンビル), 2015. 11.
- 28) 前田基博, 田上素子, 白川 真, 川瀬康裕, 石井庸介, 師田哲郎, 新田 隆 : CABG, 右下葉切除術後のためアプローチ法を工夫した左房粘液腫の 1 例. 日本胸部外科学会 関東甲信越地方会 (第 169 回) (東京都), 2015. 11.

- 29) Kurita T¹⁾, Nitta T, Furushima H²⁾, Matsumoto N³⁾, Toyoshima T⁴⁾, Shimizu A⁵⁾, Mitamura H⁶⁾, Ohe T⁷⁾, Aizawa Y⁸⁾ (1) Department of Medicine, Faculty of Medicine, Kinki University, Sayama, (2) The First Department of Internal Medicine, Niigata University School of Medicine, Niigata, (3) Department of Pharmacology, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki, (4) Faculty of Health and Medical Care, Saitama Medical University, Saitama, (5) Faculty of Health Sciences, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, (6) Tachikawa Hospital, Tachikawa, (7) The Sakakibara Heart Institute of Okayama, Okayama, (8) Department of Research and Development, Tachikawa Medical Center, Nagaoka) : Malignant Type of Electrical Storm in Patients With an Implantable Cardiac Shock Device : Results From the Nippon Storm Study. American Heart Association (Orlando, FL), 2015. 11.
- 30) 笹本 希, 坂本俊一郎, 川瀬康裕, 佐々木孝, 新田 隆 : VSD 術後遠隔期に VT を発症し, マッピングガイド下 VT 手術にて根治し得た 1 例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会 (第 169 回) (東京都), 2015. 11.
- 31) 古瀬領人¹⁾, 細川雄亮¹⁾, 山本 剛¹⁾, 鈴木啓士¹⁾, 黄 俊憲¹⁾, 三軒豪仁¹⁾, 林 洋史¹⁾, 坪 宏一¹⁾, 青山里恵¹⁾, 時田祐吉¹⁾, 高野仁司¹⁾, 清水 渉¹⁾, 川瀬康裕, 石井庸介, 新田 隆 (1) 日本医科大学付属病院 循環器内科) : 初療の経胸壁心エコーにて早期診断し得た, 前乳頭筋固れるを合併した後壁梗塞に伴う心原性ショックの 1 例. 日本冠疾患学会学術集会 (第 29 回) (札幌市), 2015. 11.
- 32) 鈴木大悟, 石井庸介, 宮城泰雄, 新田 隆 : 膝窩動脈高度石灰化病変に対し内膜摘除後, 大伏在静脈パッチ形成術を施行し下肢虚血を改善し得た 1 例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第 238 回) (東京都), 2015. 12.
- 33) 芝田匡史, 石井庸介, 宮城泰雄, 大森裕也, 坂本俊一郎, 川瀬康裕, 白川 真, 森嶋素子, 鈴木大悟, 青山純也, 師田哲郎, 新田隆 : CRT 依存の低左心機能症例に対し感染リード抜去後に開胸下心外膜リード縫着を施行した 1 例. リード・マネージメント研究会 (第 1 回) (東京都), 2016. 1.
- 34) 青山純也, 石井庸介, 宮城泰雄, 坂本俊一郎, 川瀬康裕, 白川 真, 森嶋素子, 鈴木大悟, 師田哲郎, 新田 隆, 田原重志¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 脳神経外科) : 多発性心室期外収縮に対する胸腔鏡心拍動下心外膜焼灼の 1 例. 日本循環器学会 関東甲信越地方会 (第 239 回) (東京), 2016. 2.
- 35) 佐々木孝 : 最重症先天性心疾患に対するハイブリッド治療の成績. 日本心臓血管外科学会学術総会 (第 46 回) (愛知県名古屋市), 2016. 2.
- (7) Keynote lecture :
- 1) 新田 隆 : Keynote lecture : 不整脈. 日本胸部外科学会総会 (第 68 回) (神戸市), 2015. 10.
- (8) ミートジェキスパート :
- 1) Noda T¹⁾, Kurita T²⁾, Nitta T, Matsumoto N³⁾, Toyoshima T⁴⁾, Shimizu A⁵⁾, Mitamura H⁶⁾, Ohe T⁷⁾, Aizawa Y⁸⁾ (1) Department Cardiology, National Cerebral and Cardiovascular Center Hospital, (2) Department of Medicine, Faculty of Medicine, Kinki University, Sayama, (3) Department of Pharmacology, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki, (4) Faculty of Health and Medical Care, Saitama Medical University, Saitama, (5) Faculty of Health Sciences, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, (6) Tachikawa Hospital, Tachikawa, (7) The Sakakibara Heart Institute of Okayama, Okayama, (8) Department of Research and Development, Tachikawa Medical Center, Nagaoka) : Electrical Storm in Patients with an Implantable Cardiac Shock Device. 日本循環器学会学術集会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- (9) ラウンドテーブル :
- 1) Kurita T¹⁾, Nitta T, Furushima H²⁾, Matsumoto N³⁾, Toyoshima T⁴⁾, Shimizu A⁵⁾, Mitamura H⁶⁾, Ohe T⁷⁾, Aizawa Y⁸⁾ (1) Department of Medicine, Faculty of Medicine, Kinki University, Sayama, (2) The First Department of Internal Medicine, Niigata University School of Medicine, Niigata, (3) Department of Pharmacology, St. Marianna University School of Medicine, Kawasaki, (4) Faculty of Health and Medical Care, Saitama Medical University, Saitama, (5) Faculty of Health Sciences, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, (6) Tachikawa Hospital, Tachikawa, (7) The Sakakibara Heart Institute of Okayama, Okayama, (8) Department of Research and Development, Tachikawa Medical Center, Nagaoka) : Current Status and Unsolved Matters of an Implantable Cardiac Shock Device for Primary Prevention : Insights from the Nippon Storm Study. 日本循環器学会学術集会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.
- 2) Mitsuhashi T¹⁾, Shimizu A²⁾, Sekiguchi Y³⁾, Nishii N⁴⁾, Furushima H⁵⁾, Manaka T⁶⁾, Yokoshiki H⁷⁾, Kamiyama T⁸⁾, Nitta T, Okumura K⁸⁾ (1) Saitama Medical Center, Jichi Medical University, (2) Yamaguchi University, Ube, (3) Tsukuba University, Tsukuba, (4) Okayama University, Okayama, (5) Niigata University, Niigata, (6) Tokyo Women's Medical University, Shinjuku, (7) Hokkaido University, Sapporo, (8) Hirosaki University, Hirosaki) : From JCDTR Data to JID-CAD StudyStudy. 日本循環器学会学術集会 (第 80 回) (仙台市), 2016. 3.

学会発表

[追加分]

追加分一般講演：

- 1) 芝田匡史¹⁾, 師田哲郎, 青山純也, 高橋賢一朗, 田上素子, 廣本敦之, 佐々木孝, 大森裕也, 宮城泰雄, 坂本俊一郎, 石井庸介, 小野澤志郎¹⁾, 村田 智¹⁾, 坪 宏一²⁾, 新田 隆¹⁾ (1) 日本医科大学 放射線医学, 2) 日本医科大学 循環器内科)：咯血を伴った胸部大動脈瘤破裂症例に対する TEVAR は安全か. 日本血管外科学会学術総会 (第 43 回) (横浜市), 2015. 6.

[武蔵小杉病院心臓血管外科]

研究業績

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 高橋賢一朗, 上田仁美, 丸山雄二, 岡本淳一, 窪倉浩俊, 井村 肇：冠動脈 3 枝病変・腹部大動脈瘤・進行性肺癌を併発し治療方針に苦慮した 1 例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会 (第 170 回) (横浜市), 2016. 3.
- 2) 上田仁美, 丸山雄二, 高橋賢一朗, 井村 肇：好酸球増多症を伴う血栓弁による人工弁機能不全を繰り返した 1 例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会 (第 170 回) (横浜市), 2016. 3.

17. 呼吸器外科学分野

[付属病院呼吸器外科・千葉北総病院呼吸器外科]

研究概要

1. 付属病院

競争的公的研究費の獲得にむけ積極的に取り組み、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）より1件（研究代表）、2件の科学研究補助金（基盤研究C）を得た。AMEDより「医療機器開発推進事業」として「末梢型肺癌に対する新しい低侵襲内視鏡治療の開発」（白田班）を4月よりスタートした。小型肺癌に対する新しい低侵襲治療の開発を目的として、当院が研究代表として、国立がんセンター中央病院や他2大学との多施設共同の臨床研究を行った。また、日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）肺癌外科グループに加入し、肺癌外科臨床研究に積極的に取り組み、高いエビデンスレベルの研究成果のために積極的に取り組んできた。企業との医工連携として、Medtronics社と新しい肺癌診断技術の向上のためのグローバルな臨床研究を、富士フィルムメディカル社と共同で新しい気管支ナビゲーション、手術シミュレーション装置の開発を行った。また、慶應義塾大学理工学の荒井教授と共同で、触知不能な腫瘍に対する光による術中同定法の研究を行い、次世代の新しい胸腔鏡手術に向けた研究を行った。

2. 多摩永山病院

1. 胸腔鏡による手術手技の向上と技術開発、2. 間質性肺炎合併肺癌の転移の特徴について、3. ドライバー遺伝子と肺癌手術症例の予後について、4. 肺癌および悪性胸膜中皮腫におけるホメオボックス遺伝子の異常について、5. 肺癌術後補助化学療法について、6. 胸膜中皮腫の予後と治療選択について、7. 末梢小腫瘍病変に対する検出機器の開発などに取り組んだ。

3. 千葉北総病院

呼吸器外科領域における低侵襲外科治療の追求が第一に挙げられます。本邦で肺癌や縦隔腫瘍に対して単孔式胸腔鏡手術を行う施設として知られており、その詳細はいくつかの医療メディアから取り上げられ注目されました。研究ならびに臨床治験に関しては単孔式胸腔鏡手術の安全性と有用性の検討、呼吸器外科手術後の開胸術後症候群の発症抑制の工夫の試み、病期III期浸潤性胸腺腫への胸腔鏡下手術の適応拡大の試み、術後補助化学療法の臨床治験、電動式低吸気器の安全性の検証などをテーマに掲げて行った。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Hirai K, Kawashima T, Takeuchi S, Usuda J : Covering the staple line with a polyglycolic acid sheet after bullectomy for primary spontaneous pneumothorax prevents postoperative recurrent pneumothorax. *Journal of Thoracic Disease* 2015 ; 7 (11) : 1978-1985.
- 2) Hirai K¹⁾, Takeuchi S¹⁾, Usuda J²⁾ (1) Division of thoracic surgery, Nippon Medical School, Chiba Hokusoh Hospital, 2) Division of thoracic surgery, Nippon Medical School) : Single incision thoracoscopic surgery and conventional video-assisted thoracoscopic surgery : a retrospective comparative study of perioperative clinical outcomes. *European Journal of cardio-thoracic Surgery* 2016 ; 49 : i37-i47.
- 3) Hirai K, Takeuchi S, Usuda J : Single-port video-assisted thoracic surgery for early lung cancer : initial experience in Japan. *Journal of Thoracic Disease* 2016 ; 8 (3) : s344-s350.
- 4) Hirai K, Takeuchi S, Usuda J : Prevention and management of postoperative Wound Pain after Thoracic Surgery. *Journal of Pain & Relief* 2016 ; 5 (2).
- 5) Hirai K : Surgical strategy and treatment for the prevalence of the post thoracotomy pain syndrome. *Biochem Anal Biochem* 2016 ; 5 (1).
- 6) 平井恭二, 竹内千枝, 揖斐孝之, 白田実男 : 術後創部痛に対するプレガバリン併用療法の有効性の検討. *日本呼吸器外科学会* 2015 ; 29 (4) : 8 (428) -14 (434).

(2) 総説：

- 1) 白田実男 : 医工連携の進め方・・・「患者さんに新しい医療を提供するために」. *呼吸* 2015 ; 34 (12) : 1133-1134.

(3) 症例報告：

- 1) Yoshino N¹⁾, Hirata T¹⁾, Takeuchi C¹⁾, Usuda J²⁾, Hosone M³⁾ (1) Department of Thoracic Surgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, 2) Department of Thoracic Surgery, Nippon Medical School, 3) Department of Pathology, Nippon Medical School Tamanagayama Hospital) : A Case of Primary Pulmonary Diffuse Large B-cell Lymphoma Diagnosed by Transbronchial Biopsy. *Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery* 2015 ; 21 (4) : 396-398.

- 1) Hirai K, Takeuchi S, Usuda J : Covering the staple line with a polyglycolic acid sheet after bullectomy for primary spontaneous pneumothorax prevents postoperative recurrent pneumothorax. J Thorac Dis 2015 ; 7 (11) : 1978-1985.
- 2) Hirai K, Takeuchi S, Usuda J : Single-incision Thoracoscopic surgery and conventional video-assisted Thoracoscopic surgery : a retrospective comparative study of perioperative clinical outcomes. Eur J Cardio Thrac Surg 2015.
- 3) Hirai K, Takeuchi S, Usuda J : Prevention and management of postoperative wound pain after thoracic surgery. 2016 ; 5 (2).
- 4) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男 : 術後創部痛に対するプレガバリン併用療法の有効性の検討. 日本呼吸器外科学会誌 2015 ; 29 (4) : 8 (428) -14 (434).
- 5) Hirai K, Takeuchi S, Usuda J : Surgical strategy and treatment for the prevalence of the postthoracotomy pain syndrome. 2016 ; 5 (1).

著 書

- 1) 白田実男 : [共著] IV 腫瘍 A. 診断 小さなすりガラス陰影が見つかった場合, 診断と治療をどうするか?. EBM 呼吸器疾患の治療 (監修) 永井厚志 (編集) 一ノ瀬正和, 井上義一, 館田一博, 弦間昭彦, 2016 ; pp354-358, 中外医学社.
- 2) 井上達哉, 白田実男 : [分担] III 呼吸器疾患の治療手技 7. 気道狭窄治療 : レーザー治療とステント治療. 呼吸器疾患最新の治療 2016-2018 (杉山幸比古・門田淳一・弦間昭彦), 2016 ; pp129-131, 南江堂.

学会発表

(1) 招待講演 :

- 1) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男 : 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術 (single-port VATS : SPVATS) の治療成績について. 千葉手術手技研究会 (第9回) (千葉), 2016. 2.
- 2) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男 : 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術 (single-port VATS : SPVATS) の治療成績について. 千葉手術手技研究会 (第9回) (千葉), 2016. 2.

(2) シンポジウム :

- 1) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男 : 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術 (Single-Incision Thoracoscopic Surgery : SITS) の有用性の検討. 日本外科学会定期学術集会名古屋 (第115回) (名古屋), 2015. 4.
- 2) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男 : 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術 (Single-Incision Thoracoscopic Surgery : SITS) の有用性の検討. 日本外科学会定期学術集会 (第115回) (名古屋), 2015. 4.
- 3) 白田実男, 石角太郎, 井上達哉, 揖斐孝之, 蓮実健太, 岡 潔¹⁾ (1) OK ファイバーテクノロジー : 新しい機器開発と薬事承認に向けた取組み. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第38回) (東京都新宿区), 2015. 6.
- 4) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田 : 当科での胸腔鏡下手術における術中トラブルへの対処法とその対策について. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都新宿区), 2015. 6.
- 5) 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 白田実男 (1) 日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科 : CO2 insufflation port access VATS の特徴と肺動脈出血対処法. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都新宿区), 2015. 6.
- 6) 岡本淳一¹⁾, 窪倉浩俊¹⁾, 白田実男 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 呼吸器外科 : 当科におけるステープリング・デバイス挿入の工夫 : 安全な処理のために. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京都新宿区), 2015. 6.
- 7) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男 : 当科での胸腔鏡下手術における術中トラブルへの対処法とその対策について. 日本外科系連合学会学術集会 (第30回) (東京), 2015. 6.
- 8) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男 : 当科での胸腔鏡下手術における術中トラブルへの対処法とその対策について. 日本外科系連合学会学術集会 (第30回) (東京), 2015. 6.
- 9) 白田実男 : 高齢化社会における肺癌治療の新しい展開. 日本光線力学学会学術学術講演会 (第25回) (東京都新宿区), 2015. 7.
- 10) 白田実男, 石角太郎, 井上達哉, 揖斐孝之, 佐藤 明, 竹ヶ原京志郎, 岡 潔¹⁾ (1) (独) 日本原子力研究開発機構 : 肺末梢病変に対する PDT の試み. 日本レーザー医学会総会 (第36回) (栃木県宇都宮市), 2015. 10.
- 11) 井上達哉 : 呼吸器疾患におけるシミュレーションとナビゲーション (富士フィルムメディカル株式会社). 日本肺癌学会学術集会 (第56回) (神奈川県横浜市), 2015. 11.

(3) パネルディスカッション :

- 1) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男 : I期肺癌における single port VATS (SPVATS) の治療成績. 日本内視鏡外科学会 (第28回) (大阪府), 2015. 12.
- 2) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男 : I期肺癌における single-port VATS (SPVATS) の治療成績. 日本内視鏡外科学会総会 (第28回) (大阪), 2015. 12.
- 3) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男 : I期肺癌における single-port VATS (SPVATS) の治療成績. 日本内視鏡外科学会総会 (第28回)

(大阪), 2015. 12.

(4) セミナー :

- 1) 石角太一郎: 肺癌低侵襲手術: 私たちのアプローチと取り組み. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (神奈川県横浜市), 2015. 11.
- 2) 白田実男: 高齢者に対する肺癌治療. 日本肺癌学会関東支部会学術集会 (第 175 回) (東京都新宿区), 2016. 3.

(5) ワークショップ :

- 1) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男: 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術 (Single-Incision Thoracoscopic Surgery : SITS) の治療成績について. 日本呼吸器内視鏡学会総会 (第 38 回) (東京), 2015. 5.
- 2) 石角太一郎, 揖斐孝之, 蓮実健太, 佐藤 明, 井上達哉, 白田実男: 胸腔鏡下解剖学的肺区域切除術における当科の方針と工夫. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 38 回) (東京都新宿区), 2015. 6.
- 3) 石角太一郎, 揖斐孝之, 蓮実健太, 佐藤 明, 井上達哉, 白田実男: 胸腔鏡下解剖学的肺区域切除術における当科の方針と工夫. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 38 回) (東京都新宿区), 2015. 6.
- 4) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男: 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術 (single incision thoracoscopic surgery : SITS) の治療成績について. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 38 回) (東京都新宿区), 2015. 6.
- 5) 井上達哉, 竹ヶ原京志郎, 鳥山紗由子, 佐藤 明, 揖斐孝之, 石角太一郎¹⁾ (1) (独) 日本原子力研究開発機構: 中心型早期肺癌に対する PDT の当科における工夫. 日本レーザー医学会総会 (第 36 回) (栃木県宇都宮市), 2015. 10.
- 6) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男: 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術 (single-port VATS : SPVATS) の治療成績. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.

(6) ポスター :

- 1) Hirai K, Takeuchi S, Iijima Y, Usuda J : Treatment outcomes of single port VATS (SPVATS) for stage I lung cancer. Asia pacific congress of endoscopic and laparoscopic surgery (12th) (Daegu), 2015. 9.
- 2) Hirai K, Takeuchi S, Iijima Y, Usuda J : Therapeutic efficacy of Single-Incision Thoracoscopic Surgery for stage I lung cancer. International society for minimally invasive cardiothoracic surgery (Berlin), 2015. 6.
- 3) Hirai K, Takeuchi S, Iijima Y, Usuda J : Therapeutic efficacy of Single-Incision Thoracoscopic Surgery for stage I lung cancer. International society for minimally invasive cardiothoracic surgery (Berlin), 2015. 6.
- 4) Ibi T, Ishizumi T, Inoue T, Sato A, Takegahara K, Toriyama T, Usuda J : Perioperative Cardiac Events in Patients with Coronary Artery Stent Undergoing Lung Resection for Lung Cancer. WORLD CONFERENCE ON LUNG CANCER (16th) (アメリカ (コロラド州デンバー)), 2015. 9.
- 5) Ishizumi T, Usuda J, Inoue T, Ibi T, Sato A : Bronchoscopic Therapy for Centrally-Located Early Cancers. WORLD CONFERENCE ON LUNG CANCER (16th) (アメリカ (コロラド州デンバー)), 2015. 9.
- 6) Usuda J : The New Interventional Technique by Photodynamic Therapy Using Composite-Type Optical Fiberscope of 1.0 mm in Diameter. WORLD CONFERENCE ON LUNG CANCER (16th) (アメリカ (コロラド州デンバー)), 2015. 9.
- 7) Okamoto J, Kubokura H, Usuda J : How Should We Handle Elderly Patients of the Non-Small Cell Lung Cancer?. WORLD CONFERENCE ON LUNG CANCER (16th) (アメリカ (コロラド州デンバー)), 2015. 9.
- 8) 榎本 豊¹⁾, 宮本哲也¹⁾, 揖斐孝之, 白田実男 (1) 東京臨海病院 呼吸器外科: 肺癌再発または 2 次性肺癌が疑われた非定型抗酸菌症の 1 例. 日本呼吸器外科学会総会 (第 32 回) (香川県高松市), 2015. 5.
- 9) 井上達哉, 蓮実健太, 佐藤 明, 堀内 翔, 揖斐孝之, 石角太一郎, 白田実男: 当院における間質性肺炎合併肺癌患者手術症例のリスク因子の検討. 日本呼吸器外科学会総会 (第 32 回) (香川県高松市), 2015. 5.
- 10) 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 平田知己¹⁾, 白田実男, 細根 勝²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院 病理診断科: 当科における ALK 肺癌の検討. 日本呼吸器外科学会総会 (第 32 回) (香川県高松市), 2015. 5.
- 11) 揖斐孝之, 功刀しのぶ¹⁾, 蓮実健太, 佐藤 明, 堀内 翔, 井上達哉, 白田実男, 石角太一郎, 白田実男 (1) 日本医科大学付属病院 病理診断科: 肺大細胞神経内分泌癌手術例の臨床的検討. 日本呼吸器外科学会総会 (第 32 回) (香川県高松市), 2015. 5.
- 12) 竹内千枝¹⁾, 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 宮 敏路²⁾, 神尾孝一郎²⁾, 葛 伸一²⁾, 大森美和子²⁾, 高野夏希²⁾, 細根 勝²⁾, 荒井 悟²⁾, 白田実男 (1) 日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院 病理診断科: 経時増大傾向を示し画像上悪性腫瘍が疑われたが, 術中迅速診断にて良性と診断された一経験例. 日本呼吸器外科学会総会 (第 32 回) (香川県高松市), 2015. 5.
- 13) 山岸茂樹¹⁾, 小泉 潔¹⁾, 花田和正¹⁾, 飯島慶仁¹⁾, 白田実男 (1) 温知会会津中央病院 呼吸器科: 肺癌と鑑別困難であり胸腔鏡下に切除した臓側胸膜中皮のう胞の 1 例. 日本呼吸器外科学会総会 (第 32 回) (香川県高松市), 2015. 5.
- 14) 竹内千枝¹⁾, 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 原 鶴子²⁾, 細根 勝²⁾, 荒井 悟²⁾, 白田実男 (1) 日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院 病理診断部: 胸腔鏡下に切除した心外膜発生の気管支原生嚢胞の一手術例. 日本呼吸器外科学会総会 (第 32 回) (香川県高松市), 2015. 5.

- 15) 竹内千枝¹⁾, 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 原 鶴子²⁾, 細根 勝²⁾, 荒井 悟²⁾, 白田実男 (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院 病理診断部): 胸腔鏡下に切除した心外膜発生の気管支原生嚢胞の一手術例. 日本呼吸器外科学会総会 (第 32 回) (香川県高松市), 2015. 5.
 - 16) 揖斐孝之, 石角太一郎, 蓮実健太, 堀内 翔, 佐藤 明, 井上達哉, 白田実男: 外科的切除後に PDT を行った原発性同時多発肺癌の 1 例. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 38 回) (東京都新宿区), 2015. 6.
 - 17) 山岸茂樹¹⁾, 小泉 潔¹⁾, 花田和正¹⁾, 飯島慶仁¹⁾, 白田実男¹⁾ (¹⁾ 会津中央病院 呼吸器科): 軟性気管支鏡で摘出した大きな気道異物 (金属片) の経験. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 38 回) (東京都新宿区), 2015. 6.
 - 18) 竹内真吾, 平井恭二, 飯島慶仁, 白田実男: 単孔式胸腔鏡下手術で確定診断を得た肺原発 MALT リンパ腫の 1 例. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 38 回) (東京都新宿区), 2015. 6.
 - 19) 岡本淳一¹⁾, 窪倉浩俊¹⁾, 白田実男 (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 呼吸器外科): PET で直腸癌縦隔リンパ節転移を疑われた異所性続発性副甲状腺機能亢進症の 1 例. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (第 38 回) (東京都新宿区), 2015. 6.
 - 20) 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 白田実男 (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科): 肺癌術後再発と EGFR 遺伝子変異の関係からみた術後補助化学療法の方角性の検討. 日本胸部外科学会学術集会 (第 68 回) (兵庫県神戸市), 2015. 10.
 - 21) 白田実男, 石角太一郎, 井上達哉, 揖斐孝之, 佐藤 明, 竹ヶ原京志郎, 鳥山紗由子: COPD 合併肺癌切除例における合併症予防対策. 日本胸部外科学会学術集会 (第 68 回) (兵庫県神戸市), 2015. 10.
 - 22) 平井恭二¹⁾, 竹内真吾¹⁾, 飯島慶仁¹⁾, 白田実男²⁾ (¹⁾ 千葉北総病院呼吸器外科, ²⁾ 付属病院呼吸器外科): 早期肺癌におけつ単孔式胸腔鏡手術 (single port VATS) の治療成績. 日本胸部外科学会学術集会 (第 68 回) (兵庫県神戸市), 2015. 10.
 - 23) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男: 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術 (single port VATS) の治療成績. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回) (神戸), 2015. 10.
 - 24) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男: 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術 (single port VATS) の治療成績. 日本胸部外科学会定期学術集会 (第 68 回), 2015. 10.
 - 25) 竹ヶ原京志郎, 鳥山紗由子, 佐藤 明, 揖斐孝之, 井上達哉, 石角太一郎, 渥美健一郎¹⁾, 森本泰介¹⁾, 弦間昭彦¹⁾, 白田実男 (¹⁾ 日本医科大学附属病院 呼吸器内科): 当院における肺原発 MALT lymphoma 二切除例の検討. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (神奈川県横浜市), 2015. 11.
 - 26) 揖斐孝之¹⁾, 佐藤 明¹⁾, 鳥山紗由子¹⁾, 竹ヶ原京志郎¹⁾, 井上達哉¹⁾, 石角太一郎¹⁾, 白田実男¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学附属病院 呼吸器外科): 肺癌術後に発症した術後心房細動に対する臨床的検討. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (神奈川県横浜市), 2015. 11.
 - 27) 岡本淳一¹⁾, 許田典男²⁾, 北山康彦²⁾, 窪倉浩俊¹⁾, 白田実男 (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 呼吸器外科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 病理診断科): 術中異常高血圧を伴った左後縦隔発生傍神経節腫瘍の 2 症例. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (神奈川県横浜市), 2015. 11.
 - 28) 井上達哉, 佐藤 明, 揖斐孝之, 竹ヶ原京志郎, 鳥山紗由子, 石角太一郎, 白田実男: 当科における高齢者肺癌患者の手術症例の検討. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (神奈川県横浜市), 2015. 11.
 - 29) 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 前田昭太郎¹⁾, 林久美子²⁾, 青木 隆²⁾, 細根 勝³⁾, 荒井 悟³⁾, 片山博徳³⁾, 白田実男 (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科, ²⁾ LSI メディエンス, ³⁾ 日本医科大学多摩永山病院 病理部): 早期胸膜中皮腫が考慮される 1 例. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (神奈川県横浜市), 2015. 11.
 - 30) 佐藤 明, 竹ヶ原京志郎, 鳥山紗由子, 揖斐孝之, 井上達哉, 石角太一郎, 白田実男: 高カルシウム血症を機に発見された胸腺カルチノイドの 1 手術症例. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (神奈川県横浜市), 2015. 11.
 - 31) 竹内真吾, 平井恭二, 飯島慶仁, 長谷川知花子¹⁾, 白田実男 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 病理部): 術中に胸腺腫との鑑別に苦慮し胸腔鏡補助下に切除した前縦隔発生の mediastinal large B-cell lymphoma の 1 例. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (神奈川県横浜市), 2015. 11.
 - 32) 山岸茂樹¹⁾, 小泉 潔¹⁾, 光井 卓¹⁾, 飯島慶仁¹⁾, 白田実男 (¹⁾ 温知会会津中央病院呼吸器科): 特徴的な手術所見を呈したびまん性突発性肺神経内分泌細胞過形成 (DIPNECH) の一切除例. 日本肺癌学会学術集会 (第 56 回) (神奈川県横浜市), 2015. 11.
- (7) 一般講演:
- 1) Ishizumi T: "SURGICAL OUTCOMES OF VIDEO-ASSISTED THORACIC SURGERY (VATS) VERSUS OPEN THORACOTOMY FOR LUNG CANCER IN PATIENTS AGED 80 OR OVER". International Congress of the EAES (23th) (ブカレスト (ルーマニア)), 2015. 6.
 - 2) 佐藤 明, 蓮実健太, 堀内 翔, 揖斐孝之, 井上達哉, 石角太一郎, 白田実男: 胸骨正中切開右第 4 肋間開胸で右肺全摘を施行した肺癌の 1 例. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京都新宿区), 2015. 6.
 - 3) Hirai K, Takeuchi S, Iijima Y, Usuda J: Treatment outcomes of single port VATS (SPVATS) for stage I lung cancer. Asia pacific congress of endoscopic and laparoscopic surgery (12th) (Daegu), 2015. 9.
 - 4) Hirai K, Takeuchi S, Iijima Y, Usuda J: Efficacy of single incision thpracosopic surgery (SITS) for stage I lung cancer. 日本

呼吸器外科学会総会（第32回）（香川），2015. 5.

- 5) Hirai K, Takeuchi S, Iijima Y, Usuda J : Treatment outcomes of anatomical lung resection in single port VATS (SPVATS) for stage I lung cancer. 単孔式胸腔鏡手術ワークショップ（第1回）（東京），2015. 9.
 - 6) Hirai K, Takeuchi S, Usuda J : Short-term outcomes of anatomical lung resection in single port VATS (SPVATS) for stage I lung cancer. 単孔式胸腔鏡手術ワークショップ（第2回）（東京），2016. 2.
 - 7) Hirai K, Takeuchi S, Usuda J : Short-term outcomes of anatomical lung resection in single port VATS (SPVATS) for stage I lung cancer. 単孔式胸腔鏡手術ワークショップ（第2回）（東京），2016. 2.
 - 8) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男 : 早期肺癌への単孔式胸腔鏡手術（single incision thoracoscopic surgery : SITS）の有効性の検討. 日本呼吸器外科学会総会（第32回）（香川県高松市），2015. 5.
 - 9) 竹内真吾, 平井恭二, 飯島慶仁, 揖斐孝之, 竹内千枝, 白田実男 : 当施設における75歳以上高齢者肺癌手術症例の検討. 日本呼吸器外科学会総会（第32回）（香川県高松市），2015. 5.
 - 10) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男 : II期/III期に対する浸潤型胸腺腫への側方開胸併用の胸腔鏡補助下手胸腺摘除手術の有効性について. 日本呼吸器外科学会総会（第32回）（香川），2015. 5.
 - 11) 鳥山紗由子 : 二期的にPDTを施行し、寛解を得られている早期中心型肺癌の1例. 日本光線力学学会学術講演会（第25回）（東京都新宿区），2015. 7.
 - 12) 蓮沼文彦¹⁾, 岡本淳一²⁾, 板倉潮人³⁾, 許田典男, 北山康彦, 白杵二郎³⁾, 窪倉浩俊²⁾, 白田実男（¹⁾日本医科大学武蔵小杉病院 呼吸器外科, ²⁾日本医科大学武蔵小杉病院 呼吸器内科, ³⁾日本医科大学武蔵小杉病院 病理診断科）: 顔面皮膚基底細胞癌の経過観察中に極めて稀な肺転移をきたした1症例. 日本肺癌学会関東支部学術集会（第173回）（東京江東区），2015. 7.
 - 13) 竹ヶ原京志郎, 井上達哉, 鳥山紗由子, 佐藤 明, 揖斐孝之, 石角太一郎, 渥美健一郎¹⁾, 弦間昭彦¹⁾, 白田実男（¹⁾日本医科大学付属病院 呼吸器内科）: 中葉症候群と鑑別を要した肺原発 MALT lymphoma の一切除例. 日本肺癌学会関東支部学術集会（第173回）（東京江東区），2015. 7.
 - 14) 井上達哉, 竹ヶ原京志郎, 佐藤 明, 揖斐孝之, 石角太一郎, 白田実男 : 二期的に光線力学的治療を施工し、完全奏功を得た早期中心型肺癌の1例. 日本呼吸器内視鏡学会関東支部会（第154回）（東京都新宿区），2015. 9.
 - 15) 竹ヶ原京志郎, 佐藤 明, 揖斐孝之, 井上達哉, 石角太一郎, 平田知己¹⁾, 白田実男（¹⁾日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科）: 硬性鏡下腫瘍摘出後に二期的に手術を施行した atypical carcinoid の1例. 第27回文京区呼吸器外科研究会（東京都文京区），2015. 10.
 - 16) 竹ヶ原京志郎, 鳥山紗由子, 佐藤 明, 揖斐孝之, 井上達哉, 石角太一郎, 白田実男 : 外科的切除で MALT リンパ腫と診断した sarcoidosis-lymphoma syndrome の1例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会（第169回）（東京都江東区），2015. 11.
 - 17) 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 平田知己¹⁾, 白田実男（¹⁾日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科）: 当科における肺癌手術症例の遺伝子変異検査の現状と治療への影響. 日本肺癌学会学術集会（第56回）（神奈川県横浜市），2015. 11.
 - 18) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男 : 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術（single port VATS : SPVATS）の治療成績. 日本肺癌学会学術集会（第56回）（神奈川県横浜市），2015. 11.
 - 19) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男 : 臓器不全を有する原発性肺癌への単孔式胸腔鏡手術症例の経験. 臓器不全患者に対する外科・管理研究会（第12回）（東京），2015. 11.
 - 20) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男 : 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術（single port VATS）の治療成績. 日本肺癌学会総会（第56回）（横浜），2015. 11.
 - 21) 佐藤 明, 竹ヶ原京志郎, 揖斐孝之, 井上達哉, 石角太一郎, 白田実男 : 術前3D-CTシミュレーションを用いた右肺癌に対する完全鏡視下右S7+8区域切除の1例. 日本呼吸器内視鏡学会関東支部会（第155回）（東京都新宿区），2015. 12.
 - 22) 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 白田実男（¹⁾日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科）: 原発性肺癌に対するCDI-VATSの有効性と問題点. 日本内視鏡外科学会（第28回）（大阪府），2015. 12.
 - 23) 竹ヶ原京志郎, 佐藤 明, 揖斐孝之, 井上達哉, 石角太一郎, 白田実男 : 肺尖部胸壁浸潤癌に対する治療戦略: 化学放射線療法後に完全切除を施行した肺尖部胸壁浸潤癌の2例. 日本呼吸器外科医会冬季学術集会（第25回）（北海道川上郡），2016. 2.
 - 24) 井上達哉, 竹ヶ原京志郎, 佐藤 明, 揖斐孝之, 石角太一郎, 白田実男 : 炎症性リンパ節の固着により血管形成を施行した左上葉切除術の1例. 日本呼吸器外科医会冬季学術集会（第25回）（北海道川上郡），2016. 2.
 - 25) 佐藤 明, 石角太一郎, 竹ヶ原京志郎, 揖斐孝之, 井上達哉, 白田実男 : 肺癌術後14年目に脳転移で発見された晩期再発の1例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会（第170回）（神奈川県横浜市），2016. 3.
 - 26) 久能木俊之介¹⁾, 岡本淳一¹⁾, 窪倉浩俊¹⁾, 白田実男（¹⁾日本医科大学武蔵小杉病院 呼吸器外科）: 両側同時自然気胸で両側同時手術を行った1症例. 日本胸部外科学会関東甲信越地方会（第170回）（神奈川県横浜市），2016. 3.
- (8) オーラルセッション :
- 1) 井上達哉, 揖斐孝之, 佐藤 明, 蓮実健太, 石角太一郎, 白田実男 : 気管内腫瘍のマネジメント. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会

(第38回)(東京都新宿区), 2015. 6.

(9) セッション:

- 1) Usuda J: A new strategy for preoperative-management of patient with lung cancer with chronic obstructive pulmonary disease (COPD). TAIWAN ASSOCIATION OF THORACIC & CARDIOVASCULAR SURGERY (8th) (台湾(台北)), 2015. 10.
- 2) 石角太一郎: 両側肺門縦隔リンパ節腫大を伴う肺腺癌の1例. 日本肺癌学会学術集会(第56回)(神奈川県横浜市), 2015. 11.

(10) ディベート:

- 1) 平田知己¹⁾, Qingfeng Z²⁾, Zhao C²⁾, 木下裕康³⁾, 岡本淳一³⁾, Johannes K²⁾, 小泉 潔³⁾, 清水一雄³⁾, 白田実男, Hai-Meng S⁴⁾, David J²⁾, He B²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科, 2) Thoracic Oncology Program, Department of Surgery, University of California, 3) 日本医科大学 呼吸器外科, 4) School of Life Sciences, Tsinghua University): 悪性胸膜中皮腫における Wnt7A の発現と予後予測因子および化学療法感受性予測因子としての可能性. 日本胸部外科学会学術集会(第68回)(兵庫県神戸市), 2015. 10.

(11) ビデオ:

- 1) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男: 呼吸器外科領域での Endo GIA Radial Reload (Covidien) の有用性について. 日本呼吸器外科学会総会(第32回)(香川), 2015. 5.

(12) ビデオセッション:

- 1) 吉野直之¹⁾, 平田知己¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 白田実男 (1) 日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科): 当科における人工気胸下(CO₂胸腔内陽圧法)3ポート完全鏡視下胸腺摘出術. 日本呼吸器内視鏡学会学術集会(第38回)(東京都新宿区), 2015. 6.

(13) ビデオワークショップ:

- 1) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男: 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術(Single-Incision Thoracoscopic Surgery: SITS)の治療成績について. 日本呼吸器内視鏡学会総会(第38回)(東京), 2015. 5.

(14) ワークショップ(招待講演):

- 1) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男: 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術(single-port VATS: SPVATS)の治療成績. 日本臨床外科学会総会: ワークショップ(第77回)(福岡), 2015. 11.

(15) 一般ビデオ:

- 1) 窪倉浩俊¹⁾, 岡本淳一¹⁾, 白田実男 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 呼吸器外科): 胸膜透析による横隔膜交通症に対する胸腔鏡下横隔膜修復術の工夫. 日本呼吸器外科学会総会(第32回)(香川県高松市), 2015. 5.
- 2) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男: 呼吸器外科領域での EndoGIA™ Radial Reload (Covidien) の有用性について. 日本呼吸器外科学会総会(第32回)(香川県高松市), 2015. 5.
- 3) 石角太一郎, 揖斐孝之, 堀内 翔, 蓮実健太, 佐藤 明, 井上達哉, 白田実男: 開胸下触知困難 GGO 病変に対する区域切除ならびに完全鏡視下区域切除における切除マージン確保の工夫. 日本呼吸器外科学会総会(第32回)(香川県高松市), 2015. 5.
- 4) 岡本淳一¹⁾, 窪倉浩俊¹⁾, 佐藤純平²⁾, 板倉潮人²⁾, 山口朋禎²⁾, 白根二郎²⁾, 白田実男 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 呼吸器外科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院 呼吸器内科): 当院における急性膿胸に対する治療指針と症例への応用: 呼吸器内科との連携. 日本呼吸器外科学会総会(第32回)(香川県高松市), 2015. 5.
- 5) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男: 呼吸器外科領域での Endo GIA Radial Reload (Covidien) の有用性について. 日本呼吸器外科学会総会(第32回)(香川), 2015. 5.

(16) 後期研修医セッション:

- 1) 竹ヶ原京志郎, 鳥山紗由子, 佐藤 明, 揖斐孝之, 井上達哉, 石角太一郎, 白田実男: 術前呼吸器症状を有する肺癌切除症例における周術期管理. 日本胸部外科学会学術集会(第68回)(兵庫県神戸市), 2015. 10.

(17) 口演:

- 1) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男: Efficacy of single incision thpracoscopic surgery (SITS) for stage I lung cancer. 日本呼吸器外科学会総会(第32回)(香川), 2015. 5.
- 2) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男: II期/III期に対する浸潤型胸腺腫への側方開胸併用の胸腔鏡補助下手胸腺摘除手術の有用性について. 日本呼吸器外科学会総会(第32回)(香川), 2015. 5.
- 3) Hirai K, Takeuchi S, Iijima Y, Usuda J: Treatment outcomes of anatomical lung resection in single port VATS (SPVATS) for stage I lung cancer. 単孔式胸腔鏡手術ワークショップ(第1回)(東京), 2015. 9.
- 4) 平井恭二, 竹内真吾, 白田実男: 臓器不全を有する原発性肺癌への単孔式胸腔鏡手術症例の経験. 臓器不全患者に対する外科・管理研究会(第12回)(東京), 2015. 11.
- 5) 平井恭二, 竹内真吾, 飯島慶仁, 白田実男: 早期肺癌における単孔式胸腔鏡手術(single port VATS)の治療成績. 日本肺癌学会総会(第56回)(横浜), 2015. 11.

論文

[追加分]

追加分：

- 1) Hirai K, Takeuchi S, Usuda J : Single-port video-assisted thoracic surgery for early lung cancer : initial experience in Japan. 2016 ; 3 : S344-S350.

[武蔵小杉病院呼吸器外科]

研究業績

著書

- 1) 窪倉浩俊 : [分担] Cancer Board Conference Case1 「左肺癌術後に高 CEA 血症が持続したが局所診断がつかず、10 年後に胸壁再発として確定診断に至った 1 例」. Cancer Board Square (日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科 勝俣範之他), 2015 : pp5-13, 医学書院.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 窪倉浩俊, 岡本淳一, 白田実男¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院呼吸器外科) : 腹膜透析による横隔膜交通症に対する胸腔鏡下横隔膜修復術の工夫. 日本呼吸器外科学会総会 (第 32 回) (香川県高松), 2015. 5.
- 2) 窪倉浩俊, 岡本淳一, 白田実男¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院呼吸器外科) : 当院におけるハイリスク症例に対する治療方針とその検討. 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会 (第 19 回) (東京都有明), 2015. 9.
- 3) 佐藤純平¹⁾, 山口朋禎¹⁾, 岡本淳一, 春原沙織¹⁾, 西島伸彦¹⁾, 板倉潮人¹⁾, 神尾孝一郎¹⁾, 窪倉浩俊, 白杵二郎¹⁾, 弦間昭彦¹⁾ : 胸腔鏡を併用し EWS 挿入に成功した有癭性膿胸の 1 例. 日本結核病学会関東支部学会 (169) 日本呼吸器学会関東地方会 (218) 合同学会 (東京 日本教育会館), 2016. 2.

[多摩永山病院呼吸器外科]

研究概要

研究テーマ間質性肺炎合併肺癌の予後不良因子の抽出 特に VEGF の関与 Homeobox 遺伝子と肺癌. 悪性胸膜中皮腫の抗がん剤感受性の検討炭酸ガスを使用した完全鏡視下肺葉切除の有用性の検討微小肺病変に対する術中超音波の有用性 WNT7A の発現と化学療法感受性の関係について EGFR 遺伝子異常と予後に関する研究

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Hirata T^{2, 1)}, Zheng Q¹⁾, Chen Z¹⁾, Kinoshita H^{2, 1)}, Okamoto J^{2, 1)}, Kratz J¹⁾, Kiyoshi K²⁾, Kazuo S²⁾, David J¹⁾, Biao H¹⁾ (1) Thoracic Oncology Program, Department of Surgery, University of California, San Francisco, CA, USA, 2) Department of Surgery, Division of Thoracic Surgery, Nippon Medical School) : Wnt7A is a putative prognostic and chemosensitivity marker in human malignant pleural mesothelioma. Oncol Rep. 2015 ; 33 (4) : 2052-2060.
- 2) Hirata T^{1, 2)}, Qingfeng Z^{1, 3)}, Zhao C³⁾, Kinoshita H^{1, 2)}, Okamoto J^{1, 2)}, Kratz J¹⁾, Li H¹⁾, Do H¹⁾, Cheng T¹⁾, Tseng-Katty H¹⁾, Koizumi K²⁾, Shimizu K²⁾, Zhou H³⁾, Jablons D¹⁾, He B¹⁾ (1) Thoracic Oncology Program, Department of Surgery, University of California, San Francisco, CA, USA, 2) Department of Surgery, Division of Thoracic Surgery, Nippon Medical School, 3) School of Life Sciences, Tsinghua University, Beijing, P.R. China) : Wnt7A is a putative prognostic and chemosensitivity marker in human malignant pleural mesothelioma. Oncology reports 2015 ; 33 (4) : 2052-2060.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 白田実男²⁾ (1) 日本医科大学 多摩永山病院 呼吸器外科, 2) 日本医科大学 付属病院 呼吸器外科) : CO2 insufflation port access VATS の特徴と肺動脈出血対処法. 第 40 回 日本外科系連合学会学術集会 (東京), 2015. 6.

- 2) 平田知己^{1, 2)}, Zhen Q²⁾, 木下裕康³⁾, 岡本淳一³⁾, Kratz J²⁾, 小泉 潔³⁾, 清水一雄³⁾, 白田実男³⁾, Zhou H⁴⁾, Jablons D²⁾, Biao H²⁾ (1) 日本医科大学 多摩永山病院 呼吸器外科, 2) Thoracic Oncology Program, Department of Surgery, University of California, San Francisco, 3) 日本医科大学 呼吸器外科, 4) School of Life Sciences, Tsinghua University) : 悪性胸膜中皮腫における Wnt7A の発現と予後予測因子および化学療法感受性予測因子としての可能性 (Debate : 胸膜中皮腫に対する治療法). 日本胸部外科学会総会 (第 68 回) (神戸), 2015.
- 3) 竹内千枝¹⁾, 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 宮 敏路¹⁾, 神尾孝一郎¹⁾, 葛 伸一¹⁾, 大森美和子¹⁾, 高野夏希¹⁾, 細根 勝¹⁾, 新井 悟²⁾, 白田実男³⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院呼吸器センター, 2) 日本医科大学多摩永山病院病理部, 3) 日本医科大学付属病院呼吸器外科) : 経時的増大傾向を示し画像上悪性腫瘍が疑われたが, 術中迅速診断にて良性腫瘍と診断された一経験例. 日本呼吸器外科学会総会 (第 32 回) (高松), 2015. 5.
- 4) 竹内千枝¹⁾, 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 原千鶴子²⁾, 細根 勝³⁾, 新井 悟³⁾, 白田実男⁴⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院呼吸器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科, 3) 日本医科大学多摩永山病院病理部, 4) 日本医科大学付属病院呼吸器外科) : 胸腔鏡下に切除した心外膜発生の気管支原性嚢胞の一手術例. 日本呼吸器外科学会総会 (第 32 回) (高松), 2015. 5.
- 5) 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 白田実男²⁾ (1) 日本医科大学 多摩永山病院 呼吸器外科, 2) 日本医科大学 呼吸器外科) : 肺癌術後再発と EGFR 遺伝子変異の関係からみた術後補助化学療法の方向性の検討. 日本胸部外科学会総会 (第 68 回) (神戸), 2015. 10.
- 6) 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 前田昭太郎^{2, 3)}, 林久美子³⁾, 青木 隆³⁾, 細根 勝²⁾, 新井 悟²⁾, 片山博徳²⁾, 白田実男⁴⁾ (1) 日本医科大学 多摩永山病院 呼吸器外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院 病理部, 3) LSI メディエンス, 4) 日本医科大学 呼吸器外科) : 早期中皮腫が考慮される 1 例. 肺癌学会総会 (第 56 回) (東京), 2015. 11.
- 7) 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 宮 敏路²⁾, 上原隆志²⁾, 細根 勝³⁾, 新井 悟³⁾, 片山博徳³⁾, 前田昭太郎⁴⁾, 林久美子⁴⁾ : 悪性胸膜中皮腫 (上皮型/二相型) における p16 FISH の遺伝子異常の検討. Japan Mesothelioma Interest Group (JMIG) 研究会 (第 6 回) (北九州市), 2015. 11.
- 8) 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 白田実男²⁾ (1) 日本医科大学 多摩永山病院 呼吸器外科, 2) 日本医科大学 呼吸器外科) : 原発性肺癌に対する CDI-VATS の有用性と問題点. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 9) 竹内千枝¹⁾, 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院呼吸器外科) : 術後管理に難渋した膿胸開窓術後の胸郭成形術症例 (2 症例). 多摩呼吸器外科医会 (第 1 回) (立川市), 2016. 1.

論文

[追加分]

追加分原著 :

- 1) Etienne-Leprieux G^{2, 1)}, Hirata T^{3, 1)}, Minli M¹⁾, Zhao C¹⁾, Junichi O, Genevieve C (1) Thoracic Oncology Program, Department of Surgery, University of California, San Francisco, CA, USA, 2) Sorbonne Universities, UPMC Paris 6 University, GRC04 Therascan, Paris, France, 3) Department of Surgery, Division of Thoracic Surgery, Nippon Medical School) : The homeobox gene EMX2 is a prognostic and predictive marker in malignant pleural mesothelioma. Lung Cancer 2014 ; 85 (3) : 465-471.

学会発表

追加分一般講演 :

- 1) 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 白田実男²⁾ (1) 日本医科大学 多摩永山病院 呼吸器外科, 2) 日本医科大学 付属病院 呼吸器外科) : EGFR 遺伝子変異は術後リスク因子か? . 日本外科学会定期学術集会 (第 116 回) (大阪), 2016. 4.

18. 脳神経外科学分野

[付属病院脳神経外科]

研究概要

平成 27 年度付属病院脳神経外科における論文業績は英文 28 編 (原著 23, 症例報告 5), 和文 12 編の計 42 編であった。これに分担著書として 14 編が加わる。学会発表は 113 回あり, 内国際学会は 14 回であった。一方, 研究補助金に関しては, 文部科学省科学研究費を 2 件, その他研究費を 2 件取得している。1 名が学術集会から受賞をうけた。当教室の基礎臨床研究グループは, 下垂体, 悪性脳腫瘍, 血管障害, 脊椎脊髄, 機能外科の 5 つに分かれている。また, 治療を主体とした横断的なグループとしては, 頭蓋底外科治療, 血管内治療, 神経内視鏡, バイパス手術のグループが活動している。また視機能再建をめざす機能再建の基礎動物研究をシステム生理学金田教授グループと開始している。多くの多施設共同研究にも参画している。また脳腫瘍分野では基礎研究も行っており, 海外からの研究者の学位論文もだすことができた。脳神経外科という極めて多忙な診療活動をかかえながらも, 教室員には年 1 編以上の論文投稿 (審査有のもの) と助教以上には科研費応募を義務としている。海外への論文投稿, 学会報告を奨励し, 多くの欧米誌への掲載がなされた。当科はすでに国内では脳腫瘍や血管障害, 脊髄の領域における全国的にも有名な医師が在籍しているが, さらに臨床・研究活動を広げ, 一人でも多くの科学的思考力を有する臨床力をもった脳神経外科医を教室一丸となって輩出し, 日本の脳神経外科学の土台を担える教室として発展したい。

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Murai Y, Matano F, Toda S, Kobayashi S, Morita A : An Irrigation Suction System Using a Pressurized Fluid High-Flow Pump System in Comparison with a Standard Cuff Pressure System : Technical Note. *J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg* 2015.
- 2) Tominari S, Morita A, Ishibashi T, Yamazaki T, Takao H, Murayama Y, Sonobe M, Yonekura M, Saito N, Shiokawa Y, Date I, Tominaga T, Nozaki K, Houkin K, Miyamoto S, et al. : Prediction model for three-year rupture risk of unruptured cerebral aneurysms in Japanese patients. *Ann Neurol* 2015 ; 77 (6) : 1050-1059.
- 3) Umeoka K, Takusakawa Y, Kominami S, Kobayashi S, Morita A : The meningeal branches of the superior cerebellar artery : a surgical observation study. *J Neurosurg* 2015 ; 124 (1) : 1-4.
- 4) Hironaka K, Yamazaki Y, Hirai Y, Yamamoto M, Miyake N, Miyake K, Okada T, Morita A, Shimada T : Enzyme replacement in the CSF to treat metachromatic leukodystrophy in mouse model using single intracerebroventricular injection of self-complementary AAV1 vector. *Sci Rep* 2015 ; 18 (5) : 13104.
- 5) Etmnan N, Brown R, Beseoglu K, Juvela S, Raymond J, Morita A, et al. : The unruptured intracranial aneurysm treatment score : A multidisciplinary consensus. *Neurology* 2015 ; 85 (10) : 881-889.
- 6) Harada K, Morita A, Minakawa Y, Baek Y, Sora S, Sugita N, Kimura T, Tanikawa R, Ishikawa T, Mitsuishi M : Assessing microneurosurgical skill with medico-engineering technology. *World Neurosurg* 2015 ; 84 (4) : 964-971.
- 7) Hattori Y, Ishii H, Morita A, Sakuma Y, Ozawa H : Characterization of the fundamental properties of the N-terminal truncation (Delta exon 1) variant of estrogen receptor alpha in the rat. *Gene* 2015 ; 571 (1) : 117-125.
- 8) Hishikawa T, Date I, Tokunaga K, Tominari S, Nozaki K, Shiokawa Y, Houkin K, Murayama Y, Ishibashi T, Takao H, Kimura T, Nakayama T, Morita A, For Ucas Japan And Ucas Ii Investigators : Risk of rupture of unruptured cerebral aneurysms in elderly patients. *Neurology* 2015 ; 85 (21) : 1879-1885.
- 9) Su Y, Ishii Y, Lin C, Tahara S, Teramoto A, Morita A : Endoscopic Transsphenoidal Cisternostomy for Nonneoplastic Sellar Cysts. *BioMed Research International*. 2015.
- 10) Koketsu K, Yoshida D, Kim K, Ishii Y, Tahara S, Teramoto A, Morita A : Gremlin, a Bone Morphogenetic Protein Antagonist, Is a Crucial Angiogenic Factor in Pituitary Adenoma. *International Journal of Endocrinology* 2015.
- 11) Morimoto D, Isu T, Kim K, Sugawara A, Yamazaki K, Chiba Y, Iwamoto N, Isobe M, Morita A : Microsurgical Decompression for Peroneal Nerve Entrapment Neuropathy. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 2015 ; 55 (8) : 669-673.
- 12) Takumi I, Mishina M, Kominami S, Mizunari T, Kobayashi S, Teramoto A, Morita A : Ambient Temperature Change Increases in Stroke Onset : Analyses Based on the Japanese Regional Metrological Measurements. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (6) : 281-286.
- 13) Kim K, Isu T, Chiba Y, Iwamoto N, Yamazaki K, Morimoto D, Isobe M, Inoue K : Treatment of low back pain in patients

- with vertebral compression fractures and superior cluneal nerve entrapment neuropathies. *Surg Neurol Int* 2015; 25 : S619-S621.
- 14) Iwamoto N, Kim K, Isu T, Chiba Y, Morimoto D, Isobe M : Repetitive plantar flexion test as an adjunct tool for the diagnosis of common peroneal nerve entrapment neuropathy. *World Neurosurg* 2015 ; (15) : 1248-1256.
 - 15) Iwamoto N, Isu T, Kim K, Chiba Y, Kokubo R, Morimoto D, Shirai S, Yamazaki K, Isobe M : Low back pain due to superior cluneal nerve entrapment neuropathy in patients with Parkinson's disease. *World Neurosurg* 2015 ; (15) : 1644-1647.
 - 16) Matano F, Murai Y, Nakagawa S, Wada T, Kitamura T, Teramoto A : Spontaneous angiographic regression of cerebral arteriovenous malformations : angiographic disappearance is not the real cure. *Turk Neurosurg* 2015 ; 25 (1) : 168-173.
 - 17) Nakagawa S, Murai Y, Wada T, Tateyama K : 4D flow preliminary investigation of a direct carotid cavernous fistula due to a ruptured intracavernous aneurysm. *BMJ Case Rep* 2015.
 - 18) Kim K, Isu T, Kokubo R, Morimoto D, Kobayashi S, Morita A : Repetitive plantar flexion (provocation) test for the diagnosis of intermittent claudication due to peroneal nerve entrapment neuropathy. *NMC Case Report Journal* 2015 ; 2 (4) : 140-142.
 - 19) Matano F, Murai Y, Mizunari T, Tateyama K, Kobayashi S, Adachi K, Kamiyama H, Morita A, Teramoto A : Olfactory preservation during anterior interhemispheric approach for anterior skull base lesions : technical note. *Neurosurg Rev* 2016 ; 39 (1) : 63-69.
 - 20) Matano F, Tanikawa R, Kamiyama H, Ota N, Tsuboi T, Noda K, Miyata S, Matsukawa H, Murai Y, Morita A : Surgical treatment of 127 paraclinoid aneurysms with multifarious strategy : Factors related with outcome. *World Neurosurg* 2016 ; 85 : 169-176.
 - 21) Ju D^{1,2)}, Yamaguchi F²⁾, Zhan G²⁾, Higuchi T²⁾, Asakura T²⁾, Morita A²⁾, Orimo H³⁾, Hu S¹⁾ (¹⁾ Department of Neurosurgery, The Second Affiliated Hospital of Harbin Medical University, ²⁾ Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, ³⁾ Division of Metabolism and Nutrition, Department of Biochemistry and Molecular Biology, Nippon Medical School) : Hyperthermotherapy enhances antitumor effect of 5-aminolevulinic acid-mediated sonodynamic therapy with activation of caspase-dependent apoptotic pathway in human glioma. *Tumour Biol.* 2016.
 - 22) 森田明夫, Ucas Japan 事務局 : UCAS Japan からわかったこと : 未破裂脳動脈瘤の自然歴. *脳卒中の外科* 2015 ; 43 (2) : 110-117.
 - 23) 玉置智規, 山崎道生, 野手洋治, 齋藤寛浩, 梅岡克哉, 鈴木雅規, 水成隆之, 森田明夫 : 頸動脈内膜摘出術を必要とした頸動脈狭窄症とがんの関連性. *脳卒中の外科* 2015 ; 42 : 188-192.
 - 24) 亦野文宏, 谷川緑野¹⁾, 上山博康¹⁾, 野田公寿茂¹⁾, 坪井俊之¹⁾, 太田伸郎¹⁾, 松川東俊¹⁾, 小田淳平¹⁾, 宮田至朗¹⁾, 鈴木 剛¹⁾, 柳澤毅¹⁾, 宮崎貴則¹⁾, 江田大武¹⁾, 村井保夫, 森田明夫, その他1名 (¹⁾ Department of Neurological Surgery, Teishinkai Hospital) : 急性期脳梗塞に対する外科的塞栓除去術の文献 Review : 禎心会病院における治療適応の現状. *Neurosurg Emerg* 2015 ; 20 (2) : 165-168.
 - 25) 森田明夫, 中富浩文, 熊川孝三, 加我君孝 : 脳幹インプラント : 有用性と課題 特集3 電気信号を用いた神経機能再建. *脳21* 2015 ; 18 (1) : 76-83.
 - 26) 森田明夫 : 夢を求めて 扉. *脳神経外科* 2015 ; 43 (6) : 491-492.
 - 27) 森田明夫 : 未破裂脳動脈瘤とくも膜下出血 : 予防と治療の科学的根拠. *脳21* 2015 ; 18 (3) : 157-164.
 - 28) 金 景成, 國保倫子, 井須豊彦, 森本大二郎, 小林士郎 : 上殿皮神経障害の外科治療に関する検討. *脊髄障害医学会雑誌* 2015 ; 28 (1) : 154-155.
 - 29) 森本大二郎, 山口 智, 大隣辰哉, 関 俊隆, 高橋敏行 : 脊柱管内狭窄・椎間孔狭窄を合併し, 下肢痛を呈する症例の治療方針. *脊髄外科* 2015 ; 29 (1) : 32-41.
 - 30) 國保倫子, 金 景成, 井須豊彦, 小林士郎, 森田明夫 : 足根管症候群の治療経験. *Peripheral nerve* 2015 ; 25 (2) : 376.
 - 31) 田原重志 : 下垂体腫瘍の内視鏡下手術. *日本医師会雑誌* 2016 ; 144 (10) : 2102-2103.
 - 32) 石井雄道¹⁾, 勝野 亮¹⁾, 村井保夫, 田原重志, 山田昌興²⁾, 保谷克巳³⁾, 森田明夫, 寺本 明⁴⁾, 松野 彰¹⁾ (¹⁾ 帝京大学医学部脳神経外科/下垂体・内視鏡手術センター, ²⁾ 帝京大学溝口病院脳神経外科, ³⁾ 帝京大学ちば総合医療センター脳神経外科, ⁴⁾ 独立行政法人労働者健康福祉機構 東京労災病院) : 動脈瘤を合併した下垂体腺腫の治療戦略. *日本内分泌学会雑誌* 2016 ; 91 (Suppl) : 26-28.
 - 33) 大山健一^{1,2)}, 田原重志¹⁾, 喜多村孝幸¹⁾, Daniel M Prebedello³⁾, Ricard L Carrau⁴⁾, 森田明夫¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学脳神経外科, ²⁾ 帝京大学医学部脳神経外科, ³⁾ オハイオ州立大学脳神経外科, ⁴⁾ オハイオ州立大学頭蓋部外科) : 視交差後部頭蓋咽頭腫に対する経錐体法および内視鏡下経鼻手術法に関する解剖学的検討. *日本内分泌学会雑誌* 2016 ; 91 (Suppl) : 35-37.
- (2) 症例報告 :
- 1) Kimura T, Kin T, Shojima M, Morita A : Clip reconstruction of giant vertebral artery aneurysm after failed flow reduction therapy. *Neurosurg Focus* 2015 ; 39 (Video Suppl 1) : V5.
 - 2) Murai Y, Ishisaka E, Tsukiyama A, Matano F, Morita A : Internal Carotid Artery Aneurysm Anomalously Originating from the Posterior Communicating Artery. *World Neurosurg* 2015 ; 84 (6) : 2078.

- 3) Kidani N, Kimura T, Ichikawa Y, Usuki K, Morita A : Steroids and Immunosuppressant Agents Do Not Affect Indirect Revascularization in Quasi-Moyamoya Disease Associated with Pure Red Cell Aplasia : A Case Report. NMC Case Report Journal 2015 ; 1 : 12-15.
- 4) Hattori Y, Tahara S, Nakakuki T, Takei M, Ishii Y, Teramoto A, Morita A : Sellar Chondroma with Endocrine Dysfunction that Resolved after Surgery : Case Report. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (3) : 146-150.
- 5) Morimoto D, Isu T, Kim K, Sugawara A, Isobe M, Morita A : Proximal Entrapment Neuropathy of the Median Nerve above the Elbow-Case Report. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (6) : 287-289.

著 書

- 1) Yoshida D, Teramoto A, Morita A : [分担] Chapter 6 Gender Difference in Prolactinomas : A Comparative Clinicopathologic Study. PITUITARY ADENOMA : PATHOPHYSIOLOGY, DIAGNOSIS AND TREATMENT OPTIONS, 2015 ; pp267-274, Nova Publishers.
- 2) 森本大二郎 : [分担] 仙腸関節障害について. 触れてわかる腰痛診療, 2015 ; 中外医学社.
- 3) 森田明夫 : [編集] 未破裂脳動脈瘤 Japan standard (監修 : 嘉山孝正, 編著者 : 井川房夫, 森田明夫), 2015 ; 株式会社中外医学社.
- 4) 森田明夫 : [分担] 未破裂脳動脈瘤の疫学と自然歴. 未破裂脳動脈瘤 Japan standard (監修 : 嘉山孝正, 編著者 : 井川房夫, 森田明夫), 2015 ; pp47-57, 株式会社中外医学社.
- 5) 森田明夫 : [編集] 新 NS NOW No.4 脳・脊髄腫瘍摘出のための引き出し : 腫瘍摘出のコツとピットフォール (編集委員 : 森田明夫, 伊達 勲, 菊田健一郎. 担当編集委員 : 森田明夫), 2015 ; 株式会社メジカルビュー社.
- 6) 森田明夫 : [分担] I 総論 腫瘍摘出のコンセプト. 新 NS NOW No.4 脳・脊髄腫瘍摘出のための引き出し : 腫瘍摘出のコツとピットフォール (編集委員 : 森田明夫, 伊達 勲, 菊田健一郎. 担当編集委員 : 森田明夫), 2015 ; pp8-27, 株式会社メジカルビュー社.
- 7) 山口文雄 : [分担] II 各論 Tract に留意したグリオーマ摘出 NY Tract Finder を用いた錘体路同定法. 新 NS NOW No.4 脳・脊髄腫瘍摘出のための引き出し : 腫瘍摘出のコツとピットフォール (編集委員 : 森田明夫, 伊達 勲, 菊田健一郎. 担当編集委員 : 森田明夫), 2015 ; pp74-83, 株式会社メジカルビュー社.
- 8) 田原重志, 森田明夫 : [分担] II 各論 下垂体腺腫の被膜外摘出. 新 NS NOW No.4 脳・脊髄腫瘍摘出のための引き出し : 腫瘍摘出のコツとピットフォール (編集委員 : 森田明夫, 伊達 勲, 菊田健一郎. 担当編集委員 : 森田明夫), 2015 ; pp136-145, 株式会社メジカルビュー社.
- 9) 森田明夫 : [分担] シリーズ わたしの手術記載 ②腫瘍手術. 新 NS NOW No.4 脳・脊髄腫瘍摘出のための引き出し : 腫瘍摘出のコツとピットフォール (編集委員 : 森田明夫, 伊達 勲, 菊田健一郎. 担当編集委員 : 森田明夫), 2015 ; pp218-221, 株式会社メジカルビュー社.
- 10) 森田明夫 : [分担] 脳ドックと未破裂脳動脈瘤 - 脳ドックにおける脳動脈瘤の検知, 予後, 受診者への説明. 日本脳ドック学会報, 2016 ; pp13-18, 日本脳ドック学会.
- 11) 森田明夫 : [分担] 第 25 回日本脳ドック学会総会の開催にあたり. 日本脳ドック学会報, 2016 ; p24, 日本脳ドック学会.
- 12) 山口文雄¹⁾ (1) 日本医科大学 脳神経外科) : [分担] 転移性脳腫瘍 (肺癌から) VOL20 特集脳腫瘍. 「ライフライン 21 がんの先進医療」VOL20 (編集・発行人 : 基佐江里), 2016 ; pp34-37, 株式会社路書房.

学会発表

(1) 特別講演 :

- 1) Yamaguchi F¹⁾, Ten H¹⁾, Higuchi T¹⁾, Omura T²⁾, Adachi K³⁾, Kitamura T³⁾, Kobayashi S²⁾, Morita A¹⁾ (1) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, Main Hospital, 2) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, Chiba-hokuso Hospital, 3) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, Musashikosugi Hospital) : Intraoperative identification of Motor and Language function by a simple method "Pile Driving Technique" : For saving time, money and patients'life. Annual Congress of the Taiwan Neurosurgical Society (2015) (Tamsui, Taiwan), 2015. 12.
- 2) 樋口直司, 山口文雄, 足立好司, 喜多村孝幸, 森田明夫 : 脳腫瘍の集学的治療. 第 3 回 I-BT 研究会, 2015. 6.
- 3) 森田明夫 : 「クモ膜下出血の予防と治療 Update」 : 糖尿病のリスクを含めて. 越谷市医師会学術講演会 (越谷市), 2015. 7.
- 4) 森田明夫 : 料理と脳神経外科「好きこそものの上手なれ」. 城南開成会 (東京), 2015. 11.
- 5) 森田明夫 : 一脳神経外科医の夢. 旭川脳神経外科カンファレンス (旭川), 2015. 11.

(2) 教育講演 :

- 1) 森田明夫 : 聴神経腫瘍の手術 : 聴覚温存と聴覚再建. 山梨脳神経外科ビデオカンファレンス (第 12 回) (山梨), 2015. 6.
- 2) 森田明夫 : 脳動脈瘤の最近の話題. (社) 日本脳神経外科学会東北支部会 (第 52 回) (福島), 2015. 9.

(3) 基調講演：

- 1) 村井保夫：大型動脈瘤. 第3回 Hybrid Neurosurgery 研究会, 2016. 3.

(4) シンポジウム：

- 1) Morita A : Management strategy and treatment outcomes of unruptured intracranial aneurysms according to the natural course : Implications from UCAS Japan. European Stroke Conference (24th) (Vienna, Austria), 2015. 5.
- 2) 亦野文宏, 村井保夫, 谷川緑野, 上山博康, 立山幸次郎, 玉置智規, 水成隆之, 水村 直, 小林士郎, 寺本 明, 森田明夫：動脈硬化性病変に対する STA-MCA bypass 術後過灌流症候群の危険因子の解析 - 術中大脳動脈圧測定の有用性. 第24回日本脳神経外科手術と機器学会, 2015. 4.
- 3) 玉置智規, 野手洋治, 森田明夫：日本医科大学多摩永山病院における院内発生脳卒中. 第2回日本心血管脳卒中学会学術集会, 2015. 6.
- 4) 亦野文宏, 谷川緑野, 上山博康, 野田公寿茂, 坪井俊之, 太田仲郎, 松川東俊, 小田淳平, 宮田至朗, 鈴木 剛, 柳澤 毅, 江田大武, 松本 崇, 村井保夫, 森田明夫：未破裂傍前床突起内頸動脈瘤 127 症例の手術成績. 第27回日本頭蓋底外科学会, 2015. 7.
- 5) 村井保夫¹⁾, 水成隆之²⁾, 梅岡克哉²⁾, 立山幸次郎³⁾, 額野健太²⁾, 亦野文宏²⁾, 白銀一貴⁴⁾, 石坂栄太郎¹⁾, 築山 敦¹⁾, 井手口稔¹⁾, 小林士郎²⁾, 寺本 明⁵⁾, 森田明夫¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター, ³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科, ⁴⁾ 関東労災病院脳神経外科, ⁵⁾ 東京労災病院脳神経外科) : Flow alteration による治療困難な脳動脈瘤に対する戦略. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会 (第74回) (札幌), 2015. 10.
- 6) 森田明夫：未破裂脳動脈瘤への対応：大規模データからわかったこととわからないこと. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会 (第74回) (札幌), 2015. 10.
- 7) 水成隆之, 久保田麻紗美, 亦野文宏, 藤木 悠, 額野健太, 山田敏雅, 玉置智規, 村井保夫, 立山幸次郎, 小林士郎, 森田明夫：RA グラフト術中トラブルに対する処置. 一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会, 2015. 10.
- 8) 白銀一貴, 村井保夫, 喜多村孝雄, 立山幸次郎, 水成隆之, 森田明夫：術中クリップの飛び出しによる未破裂脳動脈瘤の破裂. 一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会, 2015. 10.
- 9) 喜多村孝幸¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科) : 脳脊髄液減少症. 日本頭痛学会総会 (第43回) (東京), 2015. 11.
- 10) 田原重志, 大山健一, 服部裕次郎, 瓜生康浩¹⁾, 石井雄道²⁾, 寺本 明³⁾, 喜多村孝幸, 森田明夫 (¹⁾ 横浜医療センター脳神経外科, ²⁾ 帝京大学医学部脳神経外科, ³⁾ 東京労災病院脳神経外科) : ハイビジョンエンドアームを用いた内視鏡下経鼻の下垂体腫瘍摘出術の治療. 日本神経内視鏡学会 (第22回) (松島), 2015. 11.
- 11) 石井雄道¹⁾, 廣畑倫生¹⁾, 渡邊丈博¹⁾, 勝野 亮¹⁾, 田原重志, 大山健一, 森田明夫, 寺本 明²⁾, 松野 彰¹⁾ (¹⁾ 帝京大学医学部脳神経外科/ 下垂体・内視鏡手術センター, ²⁾ 独立行政法人労働者健康福祉機構東京労災病院) : 内視鏡手術を主軸とした頭蓋咽頭腫の治療戦略. 日本神経内視鏡学会 (第22回) (松島), 2015. 11.
- 12) 太組一朗, 野崎俊樹, 森田明夫：ニューロモデュレーションがもたらした新知見と新たな展開 - VNS (迷走神経刺激) 療法. 第45回日本臨床神経生理学会, 2015. 11.
- 13) 村井保夫, 森田明夫, 水成隆之：血管吻合以外で脳血行再建で注意すること - 虚血性合併症を回避するために -. 第25回脳神経外科手術と機器学会, 2016. 3.
- 14) 水成隆之, 亦野文宏, 久保田麻紗美, 玉置智規, 村井保夫, 立山幸次郎, 額野健太, 山田敏雅, 小林士郎, 森田明夫：RA グラフト術を安全確実に行うための種々のチェックポイント. 第25回脳神経外科手術と機器学会, 2016. 3.

(5) パネルディスカッション：

- 1) 石坂栄太郎, 村井保夫, 馬場栄一, 白銀一貴, 森田明夫：慢性硬膜下血腫における推定血腫量測定法の比較検討. 日本脳神経外科学会学術総会 (第74回) (北海道札幌), 2015. 10.
- 2) 石坂栄太郎, 村井保夫, 馬場栄一, 服部裕次郎, 白銀一貴, 森田明夫：箸による経眼窩頭蓋内穿通外傷の小児の1例【木製箸による穿通外傷の診断と治療上の注意点】. 日本脳神経外傷学会 (第39回) (宮城), 2016. 2.

(6) 一般講演：

- 1) Morita A : Management strategy and treatment outcomes of unruptured intracranial aneurysms : Implications from UCAS Japan cohort. The SUN (Society of University Neurosurgeons) Meeting 2015 (Shanghai, China), 2015. 7.
- 2) Morita A : Prediction Model for Three-Year Rupture Risk of Unruptured Cerebral Aneurysms created from a Japanese Cohort. Interim Meeting of the World Federation of Neurosurgical Societies (15th) (Rome, Italy), 2015. 9.
- 3) Morita A : Risks associated with the Management of Unruptured Intracranial Aneurysm in Japan and development of Risk Prediction Model : UCAS Treat Result. Interim Meeting of the World Federation of Neurosurgical Societies (15th) (Rome, Italy), 2015. 9.
- 4) Yamaguchi F : Recognition of Neural Tracts in Brain Tumor Surgery for Patients'Quality of Life and Medical Safety. Congress of Neurological Surgeons 2015 Annual Meeting (米国ルイジアナ州ニューオーリンズ), 2015. 9.

- 5) Higuchi T, Yamaguchi F, Asakura T, Donghui J, Adachi K, Kitamura T, Morita A : Effect of sonodynamic therapy with 5-aminolevulinic acid on malignant gliomas. 20th Annual Scientific Meeting and Education Day of the Society for Neuro-Oncology (San Antonio, Texas), 2015. 11.
- 6) Yamaguchi F¹⁾, Ten H¹⁾, Higuchi T¹⁾, Omura T²⁾, Adachi K³⁾, Morita A¹⁾ (¹⁾ Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, Main Hospital, ²⁾ Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, Chiba-hokuso Hospital, ³⁾ Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, Musashikosugi Hospital) : Recognition of Neural Tracts for Patient Safety. Harbin International Neurosurgery Summit (2016) (Harbin, China), 2016. 1.
- 7) 金 景成, 井須豊彦, 岩本直高, 千葉泰弘, 國保倫子, 森本大二郎, 小林士郎, 森田明夫 : 試験的負荷試験を診断の補助として用いた腓骨神経障害の1例. 第26回日本末梢神経学会学術総会, 2015. 9.
- 8) 足立好司, 喜多村孝幸, 森田明夫, 高橋 弘 : 1H-MRS で lipid peak を認めた van der Knaap 病. 第43回日本小児神経外科学会, 2015. 10.
- 9) 足立好司, 崎村耕二, Deshpande G, 藤倉輝道, 安武正弘, 伊藤保彦, 森田明夫 : 医学生に対する英語による OSCE 医療面接のアンケート調査 - 邦人教員と外国人 SP による試み -. 一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会, 2015. 10.
- 10) 太組一朗, 野崎俊樹, 岸 泰広, 川上康彦, 饒波正博, 嘉手川淳, 足立好司, 喜多村孝幸, 森田明夫 : JME の診断動機. 第49回日本てんかん学会学術集会, 2015. 10.
- 11) 大山健一¹⁾, 田原重志¹⁾, 服部裕次郎¹⁾, 石井雄道²⁾, 喜多村孝幸¹⁾, 寺本 明³⁾, 森田明夫¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 脳神経外科, ²⁾ 帝京大学医学部附属病院 脳神経外科, ³⁾ 独立行政法人労働者健康福祉機構 東京労災病院) : 高齢者非機能性下垂体腺腫に対する内視鏡下経鼻手術. 日本老年脳神経外科学会 (第28回) (米子), 2015. 4.
- 12) 築山 敦, 大山健一, 田原重志, 森田明夫 : 中枢性呼吸不全を呈した第4脳室に主座する副神経由来の神経鞘腫の1例. 日本老年脳神経外科学会 (第28回) (米子), 2015. 4.
- 13) 大山健一, 田原重志, 喜多村孝幸, 森田明夫 : 翼口蓋窩経由法による側方病変への内視鏡下経鼻頭蓋底手術. 第29回日本微小脳神経外科解剖研究会, 2015. 4.
- 14) 大山健一, 田原重志, 喜多村孝幸, 森田明夫 : 視交叉後方部頭蓋咽頭腫に対する頸椎体法および内視鏡下経鼻手術法に関する解剖学的検討. 第29回日本微小脳神経外科解剖研究会, 2015. 4.
- 15) 水成隆之, 瀨瀬健太, 野崎俊樹, 藤木 悠, 山田敏雅, 小林士郎, 森田明夫 : 前交通動脈瘤手術における前頭側頭開頭の修飾. 第24回日本脳神経外科手術と機器学会, 2015. 4.
- 16) 梅岡克哉¹⁾, 田草川豊²⁾, 久保田麻紗美¹⁾, 藤木 悠, 亦野文宏, 國保倫子, 大村朋子, 鈴木雅規, 金 景成, 小南修史, 水成隆之, 小林士郎, 森田明夫 : 責任血管が VII/VIII を貫通していた顔面痙攣の手術工夫. 第126回社団法人日本脳神経外科学会関東支部学術集会, 2015. 4.
- 17) 樋口直司, 山口文雄, 展 広智, 大村朋子, 森本大二郎, 足立好司, 森田明夫 : 膠芽腫患者の機能温存を重視したベバシズマブ使用2自験例. 第126回社団法人日本脳神経外科学会関東支部学術集会, 2015. 4.
- 18) 樋口直司, 山口文雄, 展 広智, 大村朋子, 足立好司, 喜多村孝幸, 森田明夫 : グリオーマと超音波治療. 第5回千駄木脳腫瘍研究会, 2015. 4.
- 19) 服部裕次郎, 石井寛高, 森田明夫, 小澤一史 : 新規ヒトエストロゲン受容体 α 変異体の同定と転写活性化機構の解明. 第88回日本内分泌学会学術総会, 2015. 4.
- 20) 大村朋子¹⁾, 長谷川千花子¹⁾, 羽鳥 務¹⁾, 小林士郎²⁾, 森田明夫³⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科, ³⁾ 日本医科大学脳神経外科) : 診断に苦慮している脳実質内間葉性腫瘍の1例 : undifferentiated pleomorphic sarcoma (UPS) の疑い. 第33回日本脳腫瘍病理学会, 2015. 5.
- 21) 山口文雄¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学 附属病院 脳神経外科) : ラモトリギンのグリオーマ細胞への影響についての検討. 千駄木脳腫瘍研究会 (第5回) (日本医科大学橘桜会館 2F 橘桜ホール), 2015. 6.
- 22) 金 景成, 井須豊彦, 岩本直高, 千葉泰弘, 國保倫子, 森本大二郎, 菅原 淳, 小林士郎, 森田明夫 : 腰椎変性すべりを伴う腰下肢痛への新たな治療戦略. 第30回日本脊髄外科学会, 2015. 6.
- 23) 金 景成, 國保倫子, 鈴木雅規, 小南修史, 小林士郎, 森田明夫 : 頭蓋頸椎移行部の硬膜動静脈瘻 + α の1例. Summer Forum for Practical Spinal Surgery 2015, 2015. 6.
- 24) 森本大二郎, 井須豊彦, 金 景成, 千葉泰弘, 岩本直高, 山崎和義, 磯部正則, 森田明夫 : 上殿皮神経障害の外科的治療成績. 第30回日本脊髄外科学会, 2015. 6.
- 25) 森本大二郎, 金 景成, 井須豊彦, 喜多村孝幸, 森田明夫 : ドラム演奏が誘因であった腓骨神経の絞扼性神経障害の1例. 第30回日本脊髄外科学会, 2015. 6.
- 26) 國保倫子, 金 景成, 井須豊彦, 森本大二郎, 小林士郎, 森田明夫 : 手根管内で感覚枝の分岐を認めた手根管症候群の1例. 第30回日本脊髄外科学会, 2015. 6.

- 27) 森田明夫：くも膜下出血の予防。国際治療談話会（第420回）（東京），2015. 7.
- 28) 梅岡克哉¹⁾，田草川豊²⁾，小林士郎¹⁾，森田明夫（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経外科，²⁾ 東京医科大学脳神経外科）：蛇行した椎骨・脳底動脈による三叉神経痛の手術工夫。第27回日本頭蓋底外科学会，2015. 7.
- 29) 樋口直司，山口文雄，展 広智，大村朋子¹⁾，足立好司²⁾，喜多村孝幸²⁾，森田明夫（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター，²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科）：悪性グリオーマ細胞に対する5-ALAを用いた音響化学療法の可能性。第11回日本脳神経光線力学学会，2015. 7.
- 30) 馬場栄一，足立好司，立山幸次郎，太組一朗，喜多村孝幸，森田明夫：TMZ治療終了後に腫瘍再増大を来した症例の検討。第49回ニューロオンコロジーの会，2015. 8.
- 31) 山田敏雅¹⁾，村井保夫²⁾，石坂栄太郎²⁾，中川俊祐³⁾，佐藤 俊¹⁾，亦野文宏⁴⁾，森田明夫²⁾（¹⁾ 博慈会記念総合病院脳神経外科，²⁾ 日本医科大学脳神経外科，³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科，⁴⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター）：椎骨動脈巨大血栓化動脈瘤の1例。第8回南十字星脳神経外科手術研究会，2015. 8.
- 32) 鈴木雅規，小南修史，井手口稔，藤木 悠，森田明夫：Acute tandem lesion に対する Penumbra 5MAX ACE を用いた急性期血行再建。第34回 The Mt.Fuji Workshop on CVD，2015. 8.
- 33) 久保田麻紗美，藤木 悠，亦野文宏，國保倫子，大村朋子，鈴木雅規，梅岡克哉，金 景成，小南修史，水成隆之，小林士郎，森田明夫：後下小脳動脈遠位部動脈瘤の1例。第127回社団法人日本脳神経外科学会関東支部学術集会，2015. 9.
- 34) 服部裕次郎，石井寛高，森田明夫，小澤一史：ラットエストロゲン受容体 α 遺伝子の Δ exon 1変異体の機能解析。第42回日本神経内分泌学会・第23回日本行動神経内分泌研究会・合同学術集会，2015. 9.
- 35) 國保倫子，金 景成，井須豊彦，森本大二郎，小林士郎，森田明夫：手根管内で感覚枝の分岐を認めた手根管症候群の1例。第26回日本末梢神経学会学術集会，2015. 9.
- 36) 喜多村孝雄，土屋雅人¹⁾，展 広智，森田明夫（¹⁾ 医療法人社団悦伝会目白第二病院脳神経外科）：繰り返すTIAを契機に左房粘液腫を診断し得た1例。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 37) 吉田大蔵，田原重志，森田明夫：Prolactinoma 男性例に対する治療戦略に対する統計学的解析。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 38) 玉置智規¹⁾，齋藤寛浩²⁾，山崎道生¹⁾，野手洋治¹⁾，鈴木雅規³⁾，梅岡克哉³⁾，水成隆之³⁾，森田明夫⁴⁾（¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科，²⁾ 社会医療法人禎心会病院脳神経外科，³⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター，⁴⁾ 日本医科大学脳神経外科）：頸動脈内膜摘出術を必要とした頸動脈狭窄症とがんの関連性。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 39) 金 景成¹⁾，井須豊彦²⁾，岩本直高²⁾，山内朋裕²⁾，千葉泰弘³⁾，森本大二郎⁴⁾，國保倫子¹⁾，小林士郎¹⁾，森田明夫⁴⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター，²⁾ 釧路労災病院脳神経外科，³⁾ 北海道脳神経外科記念病院，⁴⁾ 日本医科大学脳神経外科）：難治性殿部痛に対する中殿筋除圧術。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 40) 山口文雄¹⁾，樋口直司¹⁾，展 広智¹⁾，野崎俊樹¹⁾，森本大二郎¹⁾，大村朋子²⁾，玉置智規³⁾，足立好司⁴⁾，喜多村孝幸⁴⁾，野手洋治³⁾，小林士郎²⁾，森田明夫¹⁾（¹⁾ 日本医科大学脳神経外科，²⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター，³⁾ 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科，⁴⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科）：安全な脳腫瘍手術をめざした白質機能局在把握。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 41) 山田敏雅¹⁾，村井保夫²⁾，石坂栄太郎²⁾，中川俊祐³⁾，佐藤 俊¹⁾，亦野文宏⁴⁾，森田明夫²⁾（¹⁾ 博慈会記念総合病院脳神経外科，²⁾ 日本医科大学脳神経外科，³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科，⁴⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター）：椎骨動脈の巨大血栓化動脈瘤に対し「両側」後頭下開頭にてトラッピングを行った1例。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 42) 小南修史¹⁾，鈴木雅規¹⁾，小林士郎¹⁾，森田明夫²⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター，²⁾ 日本医科大学脳神経外科）：脳動脈静脈奇形に対するNBCAを用いた塞栓術の適応判断。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 43) 大山健一，田原重志，石井雄道，喜多村孝幸，Sebastien F¹⁾，森田明夫（¹⁾ パリ VII 大学付属ラリボワジュール病院 脳神経外科）：腹側部頭蓋底病変に対する内視鏡下経鼻手術の適応と限界。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 44) 亦野文宏¹⁾，水成隆之¹⁾，村井保夫²⁾，谷川緑野³⁾，上山博康³⁾，立山幸次郎⁴⁾，玉置智規⁵⁾，小南修史¹⁾，梅岡克哉¹⁾，鈴木雅規¹⁾，藤木 悠¹⁾，久保田麻紗美¹⁾，小林士郎¹⁾，森田明夫²⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター，²⁾ 日本医科大学脳神経外科，³⁾ 社会医療法人禎心会病院脳神経外科，⁴⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科，⁵⁾ 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科）：動脈硬化性病変に対するSTA-MCA bypass 術後過灌流症候群の危険因子の解析術中大脳動脈圧モニタリングの有用性。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 45) 大村朋子¹⁾，水成隆之¹⁾，小林士郎¹⁾，木村真人²⁾，森田明夫³⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター，²⁾ 日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科，³⁾ 日本医科大学脳神経外科）：脳卒中急性期における脳卒中うつ病の現状。一般社団法人日本脳神経外科

- 学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 46) 展 広智，大山健一，田原重志，森田明夫：視交叉部出血にて発症した成人視神経膠腫の1例。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 47) 樋口直司，山口文雄，展 広智，大村朋子¹⁾，足立好司²⁾，喜多村孝幸²⁾，森田明夫（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター，²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科）：悪性グリオーマ細胞に対する5-ALA 併用音響化学療法の効果。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 48) 木暮一成¹⁾，山崎道生¹⁾，玉置智規¹⁾，野手洋治¹⁾，井須豊彦²⁾，森田明夫（¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科，²⁾ 釧路労災病院脳神経外科）：Basket plate を用いた縦割式頸椎椎弓形成術の有用性と留意点。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 49) 中川俊祐¹⁾，立山幸次郎¹⁾，額額健太²⁾，鈴木雅規²⁾，水成隆之²⁾，小南修史²⁾，喜多村孝幸¹⁾，小林士郎²⁾，森田明夫³⁾（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科，²⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター，³⁾ 日本医科大学脳神経外科）：特発性頭蓋外内頸動脈解離における治療法の検討。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 50) 森本大二郎，井須豊彦，金 景成，千葉泰弘，岩本直高，山崎和義，磯部正則，森田明夫：上殿皮神経障害の外科的治療成績。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 51) 廣中浩平^{1,2)}，山崎吉之¹⁾，平井幸彦¹⁾，山本基子¹⁾，三宅紀子¹⁾，三宅弘一¹⁾，森田明夫²⁾，島田 隆¹⁾，岡田尚巳¹⁾（¹⁾ 日本医科大学生化学・分子生物学，²⁾ 日本医科大学脳神経外科）：アデノ随伴ウイルスベクターの脳室内注入による異染性白質ジストロフィーモデルマウスの遺伝子治療。日本ライソゾーム病研究会（第20回）（東京慈恵会医科大学），2015. 10.
- 52) 田原重志，大山健一，服部裕次郎，野村竜太郎¹⁾，山王直子²⁾，石井雄道³⁾，瓜生康浩⁴⁾，竹井麻生⁵⁾，杉山 誠⁶⁾，寺本 明⁷⁾，森田明夫（¹⁾ 日本赤十字社医療センター脳神経外科，²⁾ 山王クリニック，³⁾ 帝京大学医学部脳神経外科，⁴⁾ 横浜医療センター脳神経外科，⁵⁾ 林脳神経外科メディカルクリニック，⁶⁾ 関東労災病院脳神経外科，⁷⁾ 東京労災病院脳神経外科）：ACTH 産生下垂体腺腫に対する内視鏡下経鼻的手術の手術成績。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 53) 井手口稔，佐藤 徹¹⁾，高田茂樹²⁾，濱野栄佳¹⁾，丸山大輔¹⁾，菅田真生¹⁾，片岡大治¹⁾，森田明夫，高橋 淳¹⁾（¹⁾ 国立循環器病研究センター，²⁾ 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座脳神経外科学）：未破裂脳動脈瘤コイル塞栓術周術期におけるvWFの上昇と塞栓性合併症との関連。第74回 脳神経外科学会総会（札幌），2015. 10.
- 54) 馬場栄一，足立好司，立山幸次郎，太組一朗，喜多村孝幸，森田明夫：退形成性星細胞腫の摘出範囲に比して重篤な症状を呈したBUNU wafer 留置症例。第30回神奈川脳腫瘍フォーラム，2015. 10.
- 55) 馬場栄一，足立好司，立山幸次郎，太組一朗，喜多村孝幸，森田明夫：MRA-BeamSat 法による頸部内頸動脈狭窄症例の検討：術前にシャント必要例を診断できるか？。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会，2015. 10.
- 56) 久保田麻紗美，水成隆之，亦野文宏，藤木 悠，國保倫子，大村朋子，鈴木雅規，梅岡克哉，金 景成，小南修史，小林士郎，村井保夫，森田明夫：術中 ICG と Fluorescein の輝度定量化による比較と有用性の検討。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会，2015. 10.
- 57) 玉置智規¹⁾，齋藤寛浩²⁾，山崎道生¹⁾，野手洋治¹⁾，鈴木雅規³⁾，梅岡克哉³⁾，水成隆之³⁾，森田明夫⁴⁾（¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科，²⁾ 社会医療法人禎心会病院脳神経外科，³⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター，⁴⁾ 日本医科大学脳神経外科）：頸動脈内膜摘出術を必要とした頸動脈狭窄症とがんの関連性。第12回脳神経外科手術夜話，2015. 10.
- 58) 小南修史¹⁾，鈴木雅規¹⁾，小林士郎¹⁾，森田明夫²⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター，²⁾ 日本医科大学脳神経外科）：脳動脈静脈奇形に対するNBCA を用いた塞栓術の適応判断。第31回NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会，2015. 10.
- 59) 太組一朗，饒波正博，野崎俊樹，足立好司，喜多村孝幸，渡辺英寿，森田明夫：経シルヴィウス裂到達法による選択的海馬扁桃体摘出術を安全確実にを行うための我々の工夫。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会，2015. 10.
- 60) 築山 敦，村井保夫，中川俊祐，石坂栄太郎，亦野文宏，森田明夫：蛍光輝度解析による術中血流評価における高輝度組織の周辺組織輝度への影響：FLOW800 を用いた検討。一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会（第74回）（札幌），2015. 10.
- 61) 梅岡克哉¹⁾，田草川豊²⁾，小林士郎¹⁾，森田明夫（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経外科，²⁾ 東京医科大学脳神経外科）：責任血管がVII/VIII を貫通していた顔面痙攣の手術工夫。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会，2015. 10.
- 62) 野崎俊樹，太組一朗，立山幸次郎，足立好司，喜多村孝幸，森田明夫：地域医療におけるてんかん外科医療の現状。第49回日本てんかん学会学術総会，2015. 10.
- 63) 鈴木雅規，小南修史，井手口稔，藤木 悠，森田明夫：新規デバイス導入後の急性期血栓回収術治療成績に関する検討。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会，2015. 10.
- 64) 國保倫子，金 景成，井須豊彦，森本大二郎，小林士郎，森田明夫：中心性脊髄損傷に合併した小脳梗塞の1例。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会，2015. 10.
- 65) 國保倫子，金 景成，井須豊彦，森本大二郎，小林士郎，森田明夫：腰椎周辺疾患の治療が有用であった超高齢者難治性腰痛患者の2例。第10回東京脊髄倶楽部，2015. 10.

- 66) 瀧藤健太, 坪井俊之¹⁾, 谷川緑野¹⁾, 上山博康¹⁾, 野田公寿茂¹⁾, 太田伸郎¹⁾, 宮田至郎¹⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 禎心会病院脳卒中センター 脳神経外科) : 後大脳動脈瘤の治療経験 Aneurysms of the Posterior Cerebral Artery : Retrospective Review. 一般社団法人日本脳神経外科学会 (第 74 回学術総会) (札幌), 2015. 10.
- 67) 佐藤 俊, 喜多村孝幸¹⁾, 森田明夫 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科) : 中硬膜動脈塞栓術からみた片頭痛病態生理の解明. 日本頭痛学会総会 (第 43 回) (東京), 2015. 11.
- 68) 梅岡克哉¹⁾, 田草川豊²⁾, 小林士郎¹⁾, 森田明夫 (1) 日本医科大学千葉北総病院脳神経外科, 2) 東京医科大学脳神経外科) : 椎骨脳底動脈が圧迫した三叉神経痛の手術工夫. 日本頭痛学会総会 (第 43 回) (東京), 2015. 11.
- 69) 喜多村孝雄, 田原重志, 大山健一, 展 広智, 森田明夫 : 術前の画像診断に苦慮し, 内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術を施行した pituitaryoma の 1 症例. 日本神経内視鏡学会 (第 22 回) (松島), 2015. 11.
- 70) 大山健一, 田原重志, 喜多村孝幸, 森田明夫 : 3D 内視鏡による経鼻頭蓋底手術. 日本神経内視鏡学会 (第 22 回) (松島), 2015. 11.
- 71) 井手口稔, 鈴木雅規¹⁾, 森田明夫 (1) 日本医科大学千葉北総病院 脳神経外科) : Distal PCA aneurysm に対する母血管閉塞術前の Balloon test occlusion の有用性とその pitfall. 第 31 回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (岡山), 2015. 11.
- 72) 鈴木雅規, 小南修史, 井手口稔, 藤木 悠, 小林士郎, 森田明夫 : 新規デバイス導入後の急性期血栓回収術治療成績に関する検討. 第 31 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2015. 11.
- 73) 佐藤 俊, 喜多村孝幸¹⁾, 森田明夫 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科) : 脳血管塞栓術からみる片頭痛病態生理 基礎研究から臨床応用へ. 第 43 回日本頭痛学会総会 (東京), 2015. 11.
- 74) 足立好司, 太組一朗, 日高可奈子, 馬場栄一, 立山幸次郎, 喜多村孝幸 : 海馬神経膠腫の手術症例. 第 29 回神奈川脳腫瘍フォーラム, 2015. 12.
- 75) 築山 敦, 村井保夫, 石坂栄太郎, 喜多村孝雄, 中川俊祐, 白銀一貴, 増野 聡, 青木秀治, 森田明夫 : 前頭側頭開頭術後に合併した鼓室内血腫による伝音性難聴. 第 128 回社団法人日本脳神経外科学会関東支部学術集会, 2015. 12.
- 76) 白銀一貴, 立澤孝幸, 服部裕次郎, 杉山 誠, 森田明夫 : 静脈性血管腫に合併した海面状血管腫からの小脳出血の 1 例. 第 128 回社団法人日本脳神経外科学会関東支部学術集会, 2015. 12.
- 77) 樋口直司, 山口文雄, 展 広智, 大村朋子¹⁾, 足立好司²⁾, 喜多村孝幸²⁾, 森田明夫 (1) 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科) : 悪性グリオーマ細胞に対する 5-ALA 併用音響化学療法の効果. 第 33 回日本脳腫瘍学会, 2015. 12.
- 78) 國保倫子, 金 景成, 森本大二郎, 小林士郎, 森田明夫 : 腰椎周辺疾患の治療が有用であった超高齢者難治性腰痛患者の 2 例. 第 128 回社団法人日本脳神経外科学会関東支部学術集会, 2015. 12.
- 79) 喜多村孝雄, 田原重志, 大山健一¹⁾, 展 広智, 森田明夫 (1) 帝京大学医学部 附属病院 脳神経外科) : 術前の画像所見で特徴的な所見を呈した pituitaryoma の 3 症例. 日本間脳下垂体腫瘍学会 (第 26 回) (福島), 2016. 2.
- 80) 山口文雄¹⁾, 展 広智¹⁾, 樋口直司¹⁾, 大村朋子²⁾, 足立好司³⁾, 喜多村孝幸³⁾, 小林士郎²⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学 附属病院 脳神経外科, 2) 日本医科大学 千葉北総病院 脳神経外科, 3) 日本医科大学 武蔵小杉病院 脳神経外科) : 覚醒下脳腫瘍摘出術における腫瘍摘出前言語関連線維同定の試み. ニューロオンコロジーの会 (第 50 回) (東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医学研究教育施設 (TWIns) 2 階ラウンジ), 2016. 3.
- 81) 服部裕次郎 : C 末端欠損型エストロゲン受容体 α 変異体の恒常的活性化機構の解析. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2016. 3.
- 82) 大山健一, 田原重志, 石井雄道, 渡邊丈博, 廣畑倫生, 勝野 亮, 喜多村孝幸, 松野 彰, 森田明夫 : 3D 内視鏡システムを用いた経鼻頭蓋底手術. 第 25 回脳神経外科手術と機器学会, 2016. 3.
- (7) エキスパートによる VIDEO セミナー :
- 1) 村井保夫 : ハイフローバイパスと Blister IC 動脈瘤への応用. 第 3 回 Hybrid Neurosurgery 研究会, 2016. 3.
- (8) 医師会・講習会講演他 :
- 1) 田原重志 : ソマトスタチンアナログの術前投与レビュー. 第 11 回アクロメガリーフォーラム, 2015. 10.
- 2) 田原重志 : AGHD の治療について. ノボノルディスクファーマ (株) 社内講演会, 2015. 12.
- (9) 教育セミナー :
- 1) 森田明夫, 梅岡克哉¹⁾, 田草川豊¹⁾ (1) 千葉北総病院脳神経外科) : Microvascular decompression の基本と合併症の回避. 日本脳神経減圧学会 (第 18 回) (仙台), 2016. 1.
- (10) 特別企画 :
- 1) 森田明夫 : 医工学の Micro-Neurosurgery への応用と展望. 一般社団法人日本脳神経外科学会学術総会 (第 74 回) (札幌), 2015. 10.

論文

[追加分]

追加分原著：

- 1) Kogure K, Isu T, Node Y, Tamaki T, Kim K, Morimoto D, Morita A : Technical arrangement of the Williams-Isu method for anterior cervical discectomy and fusion. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (1) : 50-53.
- 2) Kogure K, Node Y, Tamaki T, Yamazaki M, Takumi I, Morita A : Indwelling Drains Are Not Necessary for Patients Undergoing One-level Anterior Cervical Fixation Surgery. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (3) : 124-129.

著書

追加分：

- 1) 森田明夫：[分担]【1章 内頸動脈瘤概論】<4>内頸動脈瘤の疫学と特徴 (B) 未破裂. 内頸動脈瘤 (ICA Aneurysm) のすべて - 近位部 (cavernous-paraclinoid) : シミュレーションで経験する手術・IVR (宝金清博 (監修) 井川房夫 宮地茂 (編)), 2015 ; pppp23-27, メディカ出版.

学会発表

追加分シンポジウム：

- 1) 吉田大蔵, 田原重志, 石井雄道, 森田明夫 : prolactinoma 男性例に対する治療戦略. 日本間脳下垂体腫瘍学会 (第25回) (京都), 2015. 2.

追加分招待講演：

- 1) Yamaguchi F¹⁾, Ten H¹⁾, Higuchi T¹⁾, Omura T²⁾, Adachi K³⁾, Kitamura T³⁾, Morita A¹⁾ (1) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, Main Hospital, 2) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, Chiba-hokuso Hospital, 3) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, Musashikosugi Hospital) : Recognition of Neural Tracts in Brain Tumor Surgery for Patients'Quality of Life and Medical Safety. The 2nd International Neurosurgery Summit Forum (台北, 台湾), 2015. 3.

[武蔵小杉病院脳神経外科]

研究概要

武蔵小杉病院脳神経外科は、脳神経外科各分野における国内有数のエキスパートからなるスタッフで構成されており、川崎市および神奈川県東部の中核の大学付属病院としての地域からの信頼を得て診療を行ってきた。各スタッフの専門領域は、神経内視鏡手術（脳腫瘍（脳室内腫瘍）、水頭症、嚢胞性疾患、脳内出血）、特発性正常圧水頭症・脳脊髄液減少症の病態解析と診断・治療法の確立、難治性頭痛および中枢性疼痛の病態解析と診断・治療（喜多村孝幸病院教授、部長）、「悪性脳腫瘍の集学的治療（足立好司准教授）」、「機能的脳神経外科（てんかん・パーキンソン病の外科治療）（太組一朗講師、医長）」、「治療困難な脳血管障害（未破裂/破裂脳動脈瘤、閉塞性脳血管障害）・頭蓋底良性腫瘍（聴神経腫瘍、髄膜腫等）の外科治療（立山幸次郎病院講師、医局長）」であり、各々の分野で臨床研究の中核施設となっている。現在の研究課題として、1) 内視鏡下脳内血腫除去の有用性の確立、2) 脳脊髄液減少症の診断と治療法の確立（厚生労働省研究班分担研究者）、3) 分子生物学的手法を用いた脳腫瘍のサイトカインによる治療機構の解析、4) 神経疾患に対する免疫療法の臨床応用、5) ビデオ脳波モニタリングを用いたてんかん発症様式の解析、6) 片頭痛治療の新薬開発を進めている。なお、喜多村孝幸病院教授は、平成28年11月17、18日に、第23回日本神経内視鏡学会（会員数 約2000名、参加予定者数 約1000名）を主催することが決まっている。

研究業績

[多摩永山病院脳神経外科]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Kazunari K^{1,2)}, Yoji N^{1,2)}, Tomonori T^{1,2)}, Michio Y^{1,2)}, Ichiro T^{1,3)}, Akio M^{1,4)} (1) Department of Neurosurgery, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital,

³⁾ Department of Neurosurgery, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, ⁴⁾ Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Indwelling Drains are not Necessary for Patients Undergoing One-level Anterior Cervical Fixation Surgery. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (3) : 124-129.

- 2) 玉置智規, 山崎 道生, 野手洋治, 齋藤寛浩¹⁾, 梅岡克也²⁾, 鈴木雅規²⁾, 水成隆之²⁾, 森田明夫²⁾ (¹⁾ 禎心会病院 脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科) : 頸動脈内膜摘出術を必要とした頸動脈狭窄症とがんの関連性. 脳卒中の外科 2015 ; 43 (3) : 188-192.

学会発表

(1) シンポジウム :

- 1) 木暮一成¹⁾, 井須豊彦²⁾, 野手洋治¹⁾, 玉置智規¹⁾, 森田明夫³⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科, ²⁾ 釧路労災病院 脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学 脳神経外科) : 頸椎前方固定術の安全性と低侵襲化の可能性 (脊椎脊髓手術). 脳神経外科手術と機器学会 (第24回) (大阪府大阪市), 2015. 4.

- 2) 玉置智規¹⁾, 野手洋治¹⁾, 森田明夫²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科) : 日本医科大学多摩永山病院における院内発生脳卒中 (院内発症心血管脳卒中). 日本心血管脳卒中学会学術集会 (第2回) (徳島県徳島市), 2015. 6.

(2) 一般講演 :

- 1) Tamaki T¹⁾, Yoji N¹⁾, Norihiro S²⁾, Hideto S³⁾, Akio M⁴⁾ (¹⁾ Department of Neurosurgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, ²⁾ Department of Neurosurgery, Teishinkai Hospital, ³⁾ Department of Otolaryngology, Nippon Medical School, ⁴⁾ Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Hoarseness after carotid endarterectomy-The technique for preventing hoarseness. European Stroke Conference (24th) (Vienna, Austria), 2015. 5.

- 2) 木暮一成¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科) : 縦割法にてバスケットプレートを使用した際の特性と工夫. Basket Users Meeting (第3回) (東京都港区), 2015. 4.

- 3) 木暮一成¹⁾, 井須豊彦²⁾, 森田明夫³⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科, ²⁾ 釧路労災病院 脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学脳神経外科) : OPLL に対する両開き椎弓形成術における BASKET PLATE の有用性と留意点. 日本脊椎外科学会 (第30回) (北海道札幌市), 2015. 6.

- 4) 木暮一成¹⁾, 井須豊彦²⁾, 森田明夫³⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科, ²⁾ 釧路労災病院 脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学脳神経外科) : 重症圧迫 OPLL に後方除圧はどこまで通用するのか. 日本脊椎外科学会 (第30回) (北海道札幌市), 2015. 6.

- 5) 木暮一成¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科) : 特異な経過の脊髓空洞症. Summer Forum for Practical Spinal Surgery (2015) (北海道札幌市), 2015. 8.

- 6) 玉置智規¹⁾, 野手洋治¹⁾, 梅岡克哉²⁾, 水成隆之²⁾, 森田明夫³⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院 脳神経センター, ³⁾ 日本医科大学脳神経外科) : 頸動脈内膜摘出術を必要とした頸動脈狭窄症とがんの関連性. 日本脳神経外科学会 (第74回学術総会) (北海道札幌市), 2015. 10.

- 7) 玉置智規¹⁾, 齋藤寛浩²⁾, 山崎道生¹⁾, 野手洋治¹⁾, 鈴木雅規³⁾, 梅岡克哉³⁾, 水成隆之³⁾, 森田明夫⁴⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科, ²⁾ 社会医療法人禎心会病院脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経センター, ⁴⁾ 日本医科大学脳神経外科) : 頸動脈内膜摘出術を必要とした頸動脈狭窄症とがんの関連性. 脳神経外科手術夜話 (第12回) (東京都武蔵野市), 2015. 10.

- 8) 玉置智規¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科) : 脳梗塞の外科治療. 南多摩地域脳卒中連携協議会公開講座 (第六回) (東京都多摩市), 2015. 10.

- 9) 木暮一成¹⁾, 玉置智規¹⁾, 山崎道生¹⁾, 野手洋治¹⁾, 森田明夫²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科) : Basket plate を用いた縦割式頸椎椎弓形成術の有用性と留意点. 日本脳神経外科学会 (第74回学術総会) (北海道札幌市), 2015. 10.

- 10) 玉置智規¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科) : 脳卒中ってどんな病気? : 正しい理解と予防について. ベネッセスタイルケア市民講座 (2015年度) (東京都多摩市), 2016. 1.

- 11) 木暮一成¹⁾, 井須豊彦²⁾, 野手洋治¹⁾, 玉置智規¹⁾, 森田明夫³⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 脳神経外科, ²⁾ 釧路労災病院 脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学 脳神経外科) : 頸椎症に対する手術手技の基本 : 最新の Basket plate を用いた縦割式椎弓形成術を中心に. 脳神経外科手術と機器学会 (第25回) (新潟県新潟市), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分総説 :

- 1) Kazunari K¹⁾, Toyohiko I²⁾ (¹⁾ Department of Neurosurgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, ²⁾ Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital) : Complications of spinal surgery and the importance of collaboration between facilities - a focus on second opinions. JJASCoL 2015 ; 28 (1) : 170-172.

追加分原著：

- 1) Kazunari K^{1,2)}, Toyohiko I³⁾, Yoji N^{1,2)}, Tomonori T^{1,2)}, Kyongsong K^{1,4)}, Daijiro M⁵⁾, Akio M⁵⁾ (1) Department of Neurosurgery, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, 3) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 4) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School, Chiba Hokusou Hospital, 5) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Technical Arrangement of the Williams-Isu Method for Anterior Cervical Discectomy and Fusion. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (1) : 50-53.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) Tamaki T¹⁾, Minoru K²⁾, Yoji N¹⁾, Norihiro S³⁾, Hideto S⁴⁾, Akio M⁵⁾ (1) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, 2) Central clinical laboratory, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, 3) Department of Neurosurgery, Teishinkai Hospital, 4) Department of Otolaryngology, Nippon Medical School, 5) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Vagal monitoring during carotid endarterectomy. European Stroke Conference (23th) (Nice, France), 2014. 5.
- 2) Tamaki T¹⁾, Yoji N¹⁾, Norihiro S²⁾, Hideto S³⁾, Akio M⁴⁾ (1) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, 2) Department of Neurosurgery, Teishinkai Hospital, 3) Department of Otolaryngology, Nippon Medical School, 4) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Vernet's Syndrome After Carotid Endarterectomy. European Stroke Conference (23th) (Nice, France), 2014. 5.

[千葉北総病院脳神経外科]

研究概要

開院 22 年目を迎えた千葉北総病院脳神経外科は、付属病院脳神経外科と綿密な関係を保ちながら脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍、ガンマナイフ、脳血管内手術、脊髄脊椎外科、機能的脳神経外科を中心とした臨床・基礎的研究を行った。①脳血管障害：後下小脳動脈瘤の治療経験、未破裂傍前床突起内頸動脈瘤の手術成績、種々の内頸動脈病変に対する high flow bypass の術中トラブルに対する処置、千葉における脳卒中地域連携の取組を報告した。②頭部外傷：中心性脊髄損傷に合併した小脳梗塞、NOAC 内服中の外傷性頭蓋内出血、頭部顔面外傷患者に合併した CCF を報告した。③脳腫瘍：undifferentiated pleomorphic sarcoma (UPS)、下垂体腫瘍手術における神経内視鏡手術の有効性を報告した。④ガンマナイフ：ARUBA 適格基準を満たす未破裂脳動静脈奇形に対するガンマナイフ治療成績を発表した。⑤脳血管内治療：脳動静脈奇形に対する NBCA を用いた塞栓術の適応判断の総説を行い、新規デバイス導入後の急性期血栓回収術治療成績に関する検討を行った。⑥脊髄脊椎外科：腰椎変性すべり症を伴う腰下肢痛への新たな治療戦略、難治性殿部痛に対する中殿筋除圧術を報告した。⑦機能的脳神経外科：蛇行した椎骨・脳底動脈による三叉神経痛の手術工夫を報告し、てんかんの実験的研究を断続した。⑧日本脳卒中協会千葉県支部：脳卒中急性期の stroke bypass を構築する目的で、脳卒中急性期病院・行政・救急隊員に呼びかけ設立した千葉県脳卒中急性期医療協議会を継続運営した。一般病院にて rt-PA の静注を行いながら当院へ患者を搬送する drip and ship 事業を継続し、Chiba drip and heli system 構築準備を開始した。千葉各地で脳卒中市民公開講座を開講した。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Morimoto D²⁾, Isu T²⁾, Kim K, Sugawara A³⁾, Yamazaki K²⁾, Chiba Y²⁾, Iwamoto N²⁾, Isobe M²⁾, Morita A¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School, 2) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 3) Department of Neurosurgery, Iwate Medical University) : Microsurgical Decompression for Peroneal Nerve Entrapment Neuropathy. Neurologia medico-chirurgica 2015 ; 55 (8) : 669-673.
- 2) Chiba Y¹⁾, Isu T¹⁾, Kim K, Iwamoto N¹⁾, Morimoto D²⁾, Yamazaki K¹⁾, Hokari M¹⁾, Isobe M¹⁾, Kusano M³⁾ (1) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School, 3) Department of Surgery, Kushiro Rosai Hospital) : Association between intermittent low-back pain and superior cluneal nerve entrapment neuropathy. J Neurosurg Spine 2015 ; 13 (10) : 1-5.
- 3) Chiba Y¹⁾, Isu T¹⁾, Kim K, Iwamoto N¹⁾, Morimoto D²⁾, Yamazaki K¹⁾, Hokari M¹⁾, Isobe M¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School, 3) Department of Surgery, Kushiro Rosai Hospital) : Association between intermittent low-back pain and superior cluneal nerve entrapment neuropathy. International Journal of Endocrinology, in press 2015 ; 13 (10) : 1-5.

- 4) Kim K, Isu T¹⁾, Chiba Y¹⁾, Iwamoto N¹⁾, Yamazaki K¹⁾, Morimoto D²⁾, Isobe M¹⁾, Inoue K³⁾ (1) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School, 3) Department of Neurosurgery, Sapporo Yamano Hospital) : Treatment of low back pain in patients with vertebral compression fractures and superior cluneal nerve entrapment neuropathies. *Surg Neurol Int* 2015 ; 25 (6) : 619-621.
- 5) Iwamoto N¹⁾, Isu T¹⁾, Chiba Y¹⁾, Kokubo R, Morimoto D²⁾, Shirai S³⁾, Yamazaki K¹⁾, Isobe M¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School, 3) Department of Neurology, Kushiro Rosai Hospital) : Low back pain due to superior cluneal nerve entrapment neuropathy in patients with Parkinson's disease. *World Neurosurg* 2015 ; 87 (12) : 250-254.
- 6) Matano F^{1,2)}, Tanikawa R¹⁾, Kamiyama H¹⁾, Ota N¹⁾, Tsuboi T¹⁾, Noda K¹⁾, Miyata S¹⁾, Matsukawa H¹⁾, Murai Y²⁾, Morita A²⁾ (1) Department of Neurological Surgery, Teishinkai Hospital, 2) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School) : Surgical treatment of 127 paraclinoid aneurysms with multifarious strategy : Factors related with outcome. *World Neurosurg* 2016 ; 85 (1) : 169-176.
- 7) Matano F¹⁾, Murai Y¹⁾, Adachi K¹⁾, Mizumari T, Tateyama K¹⁾, Kobayashi S, Kamiyama H²⁾, Teramoto A¹⁾, Morita A¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School, 2) Department of Neurosurgery, Teishinkai Hospital) : Olfactory preservation during anterior interhemispheric approach for anterior skull base lesions : technical note. *Neurosurg Rev* 2016 ; 39 (1) : 63-68.
- 8) Iwamoto N¹⁾, Kim K, Isu T¹⁾, Chiba Y¹⁾, Morimoto D²⁾, Isobe M¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Repetitive plantar flexion test as an adjunct tool for the diagnosis of common peroneal nerve entrapment neuropathy. *World Neurosurg* 2016 ; 86 (10) : 484-489.
- 9) Matano F¹⁾, Murai Y¹⁾, Tanikawa R²⁾, Kamiyama K¹⁾, Tateyama K¹⁾, Tamaki T¹⁾, Mizunari T¹⁾, Mizumura S³⁾, Kobayashi S¹⁾, Teramoto A¹⁾, Morita A¹⁾ (1) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, 2) Department of Neurosurgery, Teishinkai Hospital, Sapporo, Japan, 3) Department of Radiology, Toho University Omori Medical Center) : Intraoperative middle cerebral artery pressure measurements during superficial temporal artery to middle cerebral artery bypass procedures in patients with cerebral atherosclerotic disease. *J Neurosurg* 2016 ; 4 (3) : 1-7.
- 10) 金 景成, 國保倫子, 井須豊彦¹⁾, 森本大二郎²⁾, 小林士郎 (1) 釧路労災病院 脳神経外科, 2) 日本医科大学脳神経外科) : 上殿皮神経障害の外科治療に関する検討. *脊髄障害医学会雑誌* 2015 ; 28 (1) : 154-155.
- (2) 総説 :
- 1) Takumi I¹⁾, Mishina M²⁾, Kominami S, Mizunari T, Kobayashi S, Teramoto A^{3,4)}, Morita A⁴⁾ (1) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, 2) Department of Neuro-pathophysiological Imaging, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 3) Tokyo Rosai Hospital, 4) Department of Neurosurgery, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Ambient Temperature Change Increases in Stroke Onset : Analyses Based on the Japanese Regional Metrological Measurements. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (6) : 281-286.
- 2) Iwamoto N¹⁾, Kim K, Isu T¹⁾, Chiba Y¹⁾, Morimoto D²⁾, Isobe M¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Repetitive Plantar Flexion Test as an Adjunct Tool for the Diagnosis of Common Peroneal Nerve Entrapment Neuropathy. *World Neurosurg* 2016 ; 86 (2) : 484-489.
- 3) Iwamoto N, Isu T¹⁾, Kim K¹⁾, Chiba Y¹⁾, Kokubo R, Morimoto D²⁾, Shirai S¹⁾, Yamazaki K¹⁾, Isobe M¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Low back pain due to superior cluneal nerve entrapment neuropathy in patients with Parkinson's disease. *World Neurosurg* 2016 ; 87 (3) : 250-254.
- 4) Kitamura T¹⁾, Morimoto D¹⁾, Kim K, Morita A¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Peroneal nerve entrapment neuropathy induced by playing the drum. *Acta Neurochir* 2016 ; 158 (5) : 967-968.
- 5) 金 景成, 井須豊彦¹⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科) : 脊髄外科研究に用いられるスコアリングシステムおよびその特徴② 腰椎疾患の評価システム. *脊髄外科* 2015 ; 29 (1) : 18-25.
- 6) 金 景成, 井須豊彦¹⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科) : 脳神経外科医として知っておきたい絞扼性末梢神経障害 : 診断から治療まで. *脳神経外科* 2015 ; 43 (5) : 387-397.
- 7) 森本大二郎¹⁾, 井須豊彦²⁾, 金 景成, 山崎和義²⁾, 岩本直高²⁾, 磯辺正則²⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科, 2) 釧路労災病院 脳神経外科) : 非特異的腰痛に対して上殿皮神経の神経離断術が有効であった1症例. *脳神経外科* 2016 ; 44 (2) : 155-160.
- 8) 金 景成, 井須豊彦¹⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科) : 若手脳神経外科医が知っておきたい下肢のしびれ, 痛み診断の最新知見. 末梢神経障害に主眼を置いて. *脳神経外科速報* 2016 ; 26 (3) : 264-270.
- (3) 症例報告 :
- 1) Kim K, Isu T¹⁾, Kokubo R, Morimoto D²⁾, Kobayashi S, Morita A²⁾ (1) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital,

- 2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Repetitive Plantar Flexion (Provocation) Test for the Diagnosis of Intermittent Claudication due to Peroneal Nerve Entrapment Neuropathy : Case Report. NMC Case Report Journal 2015 ; 2 (4) : 140-142.
- 2) Morimoto D²⁾, Isu T¹⁾, Kim K, Sugawara A¹⁾, Isobe M¹⁾, Morita A²⁾ (1) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Proximal entrapment neuropathy of the median nerve above the elbow ? Case report. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 (6) : 287-289.

著書

- 1) 井須豊彦¹⁾, 金 景成 (1) 釧路労災病院 脳神経外科) : [分担] Posterior approach to cervical spine. 新 NS Now No.2, 2015 ; pp150-159, メジカルビュー.
- 2) 井須豊彦¹⁾, 金 景成 (1) 釧路労災病院 脳神経外科) : [共著] 触れてわかる腰痛診療. 触れてわかる腰痛診療, 2015 ; 中外医学社.
- 3) 井須豊彦¹⁾, 金 景成 (1) 釧路労災病院 脳神経外科) : [分担] 脊椎症 (椎間板ヘルニアを含む). 神経疾患の最新の治療 2015-2017, 2015 ; pp177-180, 南江堂.
- 4) 井須豊彦¹⁾, 金 景成 (1) 釧路労災病院 脳神経外科) : [分担] 腰痛治療の現状, 問題点. 触れてわかる腰痛診療 (井須豊彦, 金景成, 編著), 2015 ; pp2-5, 中外医学社.
- 5) 井須豊彦¹⁾, 金 景成 (1) 釧路労災病院 脳神経外科) : [分担] 上殿皮神経障害. 触れてわかる腰痛診療 (井須豊彦, 金景成, 編著), 2015 ; pp2-5, 中外医学社.
- 6) 井須豊彦¹⁾, 金 景成 (1) 釧路労災病院 脳神経外科) : [分担] 絞扼性腓骨神経障害ならびに足根管症候群. 触れてわかる腰痛診療 (井須豊彦, 金景成, 編著), 2015 ; pp2-5, 中外医学社.
- 7) 井須豊彦¹⁾, 金 景成 (1) 釧路労災病院 脳神経外科) : [分担] 手で身体に触れてわかる腰痛における神経学的検査の意義. 触れてわかる腰痛診療 (井須豊彦, 金景成, 編著), 2015 ; pp2-5, 中外医学社.
- 8) 井須豊彦¹⁾, 金 景成 (1) 釧路労災病院 脳神経外科) : [分担] 梨状筋症候群. 触れてわかる腰痛診療 (井須豊彦, 金景成, 編著), 2015 ; pp2-5, 中外医学社.

学会発表

(1) 特別講演 :

- 1) 小林士郎 : 脳卒中にならないために : ACT FAST が重要. 印西市立滝野中学校健康教育講演会 (千葉), 2015. 7.
- 2) 鈴木雅規 : 海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻に対する治療戦略. Cerebral Cardiac Disease Seminar (第2回) (東京), 2015. 9.
- 3) 水成隆之 : 日本医科大学千葉北総病院脳神経センターにおける NST 活動. 脳卒中と栄養セミナー (千葉), 2015. 10.
- 4) 金 景成 : 手足のしびれと腰痛. かかりつけ医のための神経障害性疼痛セミナー (千葉), 2015. 10.
- 5) 小林士郎 : 脳卒中にならないために. 日本医科大学千葉北総病院第30回タウン講座 (千葉), 2015. 11.
- 6) 金 景成 : 脳神経外科からみた腰下肢痛. Chronic Pain Seminar (千葉), 2016. 2.
- 7) 金 景成 : 手足のしびれと腰痛 プライマリケアにおける対応のポイント. かかりつけ医のための神経障害性疼痛セミナー (千葉), 2016. 3.

(2) 教育講演 :

- 1) 小林士郎 : 脳卒中にならないために : ACT FAST が重要. 印西市立本塾中学校健康教育講演会 (千葉), 2015. 11.
- 2) 小林士郎 : 脳卒中にならないために : ACT FAST が重要. 印西市立西の原中学校健康教育講演会 (千葉), 2015. 11.
- 3) 金 景成 : 頸椎手術の留意点, 合併症 (金属固定を含む) 腰椎後方固定術実技指導. AOSpine Operating Room Personnel Course 横浜教育講演 (千葉), 2016. 3.

(3) 基調講演 :

- 1) 大村朋子 : 急性期病院における小児脳腫瘍の実際. 第1回千葉小児脳腫瘍研究会 (千葉), 2016. 2.

(4) シンポジウム :

- 1) 國保倫子 : 上殿皮神経障害治療の未来. 手で身体に触れてわかる腰痛を考える - 上殿皮神経障害の病態に迫る - in 札幌 (札幌), 2015. 6.
- 2) 赤野文宏^{1, 2)}, 谷川緑野¹⁾, 上山博康¹⁾, 野田公寿茂¹⁾, 坪井俊之¹⁾, 太田伸郎¹⁾, 松川東俊¹⁾, 小田淳平¹⁾, 宮田至朗¹⁾, 鈴木 剛¹⁾, 柳澤 毅¹⁾, 宮崎貴則¹⁾, 江田大武¹⁾, 村井保夫²⁾, 森田明夫²⁾, その他1名 (1) 榎心会病院 脳神経外科, 2) 日本医科大学 脳神経外科) : 未破裂傍前床突起内頸動脈瘤 127 症例の手術成績. 日本頭蓋底外科学会 (第27回) (名古屋), 2015. 7.
- 3) 水成隆之, 久保田麻紗美, 赤野文宏, 藤木 悠, 額綱健太, 山田敏雅¹⁾, 玉置智規²⁾, 村井保夫³⁾, 立山幸次郎⁴⁾, 小林士郎, 森田明夫³⁾ (1) 博慈会記念総合病院脳神経外科, 2) 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科, 3) 日本医科大学脳神経外科, 4) 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科) : RA グラフト術中トラブルに対する処置. 一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会 (札幌), 2015.

10.

- 4) 水成隆之, 亦野文宏, 久保田麻紗美, 玉置智規¹⁾, 村井保夫¹⁾, 立山幸次郎¹⁾, 額瀨健太¹⁾, 山田敏雅¹⁾, 小林士郎, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科) : RA グラフト術を安全確実にを行うための種々のチェックポイント. 脳神経外科手術と機器学会 (第 25 回) (新潟), 2016. 3.
- (5) 一般講演 :
 - 1) Kim K, Isu T¹⁾, Kokubo R, Morimoto D²⁾, Kobayashi S, Morita A²⁾ (1) Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 2) Neurosurgery, Nippon Medical School) : The treatment of peripheral nerve neuropathy contributes to the clinical result of the lumbar surgery. 14th Asian Australasian Congress of Neurological Surgeons 2015 (14th AACNS) (South Korea), 2015. 4.
 - 2) Kokubo R, Kim K, Isu T¹⁾, Morimoto D²⁾, Chiba Y¹⁾, Kobayashi S, Morita A²⁾ (1) Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 2) Neurosurgery, Nippon Medical School) : Surgical treatment of superior cluneal nerve entrapment neuropathy. 14th Asian Australasian Congress of Neurological Surgeons 2015 (14th AACNS) (South Korea), 2015. 4.
 - 3) Kominami S, Suzuki M, Kobayashi S, Morita A¹⁾ (1) Neurosurgery, Nippon Medical School) : Arteriovenous shunt of the trigeminal nerve root. 38th ESNR Annual Meeting (Naples), 2015. 9.
 - 4) Suzuki M, Kominami S, Kobayashi S, Morita A¹⁾ (1) Neurosurgery, Nippon Medical School) : Transarterial embolization using n-butyl cyanoacrylate from tentorial artery for dural arteriovenous fistulae. 38th ESNR Annual Meeting (Naples), 2015. 9.
 - 5) Matani F, Mizunari T, Suzuki M, Kominami S, Kubota A, Fujiki Y, Koketsu K, Kobayashi S, Morita A¹⁾ (1) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School) : Strategies for prevention of cerebral ischemia due to vasospasm in the Chiba Hokuso Hospital. Vasospasm 2015 13th International conference on neurovascular events after subarachnoid hemorrhage (Karuzawa), 2015. 9.
 - 6) Matano F^{1, 2)}, Tanikawa R^{1, 2)}, Kamiyama H¹⁾, Ota N¹⁾, Tuboi T¹⁾, Noda K¹⁾, Miyata S¹⁾, Matsukawa H¹⁾, Murai Y²⁾, Morita A²⁾ (1) Department of Neurological Surgery, Teishinkai Hospital, 2) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School) : Surgical Treatment of 127 Paraclinoid Aneurysms with Multifarious Strategy : Factors Related with Outcome. Congress of Neurological Surgeons Annual Meeting 2015 (New Orleans), 2015. 9.
 - 7) Kim K, Isu T¹⁾, Morimoto D²⁾, Kokubo R, Iwamoto N¹⁾, Kobayashi S, Morita A²⁾ (1) Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital, 2) Neurosurgery, Nippon Medical School) : Small but important basic tips for treatment of degenerative spinal disease. 3rd NESON & 4th NJNC Combined Meeting (Nepal (Kathmandu)), 2015. 10.
 - 8) Mishina M^{1, 3)}, Suzuki M^{3, 4)}, Ishii K³⁾, Kimura Y^{3, 5)}, Ishibashi K³⁾, Sakata M³⁾, Oda K^{3, 6)}, Toyohara J³⁾, Kobayashi S, Nagayama H²⁾, Kitamura S⁷⁾, Kimura K²⁾, Ishiwata K³⁾ (1) Department of Neuro-pathophysiological imaging, Grad. Sch. of Med., 2) Department of Neurolog. Science, Grad. Sch. of Med., Nippon Med. Sch., 3) Diagnos. Neuroimaging Res., Tokyo Metropolitan Inst. of Gerontology, 4) Department of of Neurol., Katsushika Med. Center, The Jikei Univ. Sch. of Med, 5) Department of of Computat. Systems Biology, Fac. of Biology-Oriented Sci. & Technol., Kinki Univ., 6) Department of of Radiological Technology, Fac. of Hlth. Sci., Hokkaido Univ. of Sci., 7) Med. Ctr. for Dementia, Nippon Med. Sch. Musashi Kosugi Hosp.) : Striatal density of adenosine A1 receptors in early Parkinson's disease measured with [C-11] MPDX PET. Society for Neuroscience 45th annual meeting (Chicago), 2015. 10.
 - 9) 藤木 悠, 小南修史, 鈴木雅規, 久保田麻紗美, 亦野文宏, 大村朋子, 水成隆之, 横田裕行¹⁾, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 日本医科大学救急医学教室, 2) 日本医科大学脳神経外科) : 外傷性偽性脳動脈瘤を伴った外傷性内頸動脈海綿静脈洞瘻の 2 例. 日本脳外科救急学会 (第 21 回) (東京), 2016. 1.
 - 10) 藤木 悠, 小南修史, 鈴木雅規, 久保田麻紗美, 亦野文宏, 大村朋子, 水成隆之, 横田裕行¹⁾, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 日本医科大学救急医学教室, 2) 日本医科大学脳神経外科) : 外傷性偽性脳動脈瘤を伴った外傷性内頸動脈海綿静脈洞瘻の 2 例. 日本脳神経外傷学会 (第 39 回) (仙台), 2016. 1.
 - 11) Kominami S : Dural Arteriovenous Fistula Between Middle Meningeal Artery and Diploic Vein Presenting With Cortical Venous Congestion -Case Report-. Asian Australasian Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology (AAFITN 016) (Bali Indonesia), 2016. 3.
 - 12) 水成隆之, 額瀨健太, 野崎俊樹, 藤木 悠, 山田敏雅¹⁾, 小林士郎, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科) : 前交通動脈瘤手術における前頭側頭開頭の修飾. 日本脳神経外科手術と機器学会 (第 24 回) (大阪), 2015. 4.
 - 13) 亦野文宏¹⁾, 村井保夫¹⁾, 谷川緑野²⁾, 上山博康²⁾, 立山幸次郎¹⁾, 玉置智規¹⁾, 水成隆之, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科, 2) 榎心会病院脳神経外科) : 動脈硬化性病変に対する STA-MCA bypass 術後過灌流症候群の危険因子の解析 - 術中中大脳動脈圧測定の有効性. 日本脳神経外科手術と機器学会 (第 24 回) (大阪), 2015. 4.
 - 14) 川上洋子¹⁾, 出穂麻智子¹⁾, 松枝里沙¹⁾, 横井亜耶¹⁾, 山代伸一¹⁾, 藤田愛美¹⁾, 梅岡克哉, 小林士郎 (1) 日本医科大学千葉北総病院手術室) : 術中皮膚障害予防を目的とした側臥位胎位固定方法のピュアフィックス® とピュアフィックス IIR を併用して. 日本脳神経

- 外科手術と機器学会（第24回）（大阪），2015. 4.
- 15) 梅岡克哉, 田草川豊¹⁾, 久保田麻紗美, 藤木 悠, 亦野文宏, 國保倫子, 大村朋子, 鈴木雅規, 金 景成, 小南修史, 水成隆之, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 東京医科大学脳神経外科, 2) 日本医科大学脳神経外科)：責任血管がVII/VIIIを貫通していた顔面痙攣の手術工夫. 社団法人日本脳神経外科学会関東支部学術集会（第126回）（東京），2015. 4.
 - 16) 小林士郎：脳卒中治療の変遷と地域連携パス. 日本集中治療医学会東北地方会（第24回）（福島），2015. 5.
 - 17) 大村朋子, 長谷川千花子¹⁾, 羽島 務¹⁾, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 病理部, 2) 日本医科大学脳神経外科)：診断に苦慮している脳実質内間葉性腫瘍の1例 undifferentiated pleomorphic sarcoma (UPS) の疑い. 日本脊椎外科学会（第30回）（高松），2015. 5.
 - 18) 國保倫子, 金 景成, 井須豊彦¹⁾, 森本大二郎²⁾, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科, 2) 日本医科大学脳神経外科)：手根管内で感覚枝の分岐を認めた手根管症候群の1例. 日本脊椎外科学会（第30回）（札幌），2015. 6.
 - 19) 森本大二郎¹⁾, 井須豊彦²⁾, 金 景成, 千葉泰弘²⁾, 岩本直高²⁾, 山崎和義²⁾, 磯部正則²⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科, 2) 釧路労災病院脳神経外科)：ドラム演奏が誘因であった腓骨神経の絞扼性障害の1例. 日本脊椎外科学会（第30回）（札幌），2015. 6.
 - 20) 森本大二郎¹⁾, 井須豊彦²⁾, 金 景成, 千葉泰弘²⁾, 岩本直高²⁾, 山崎和義²⁾, 磯部正則²⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科, 2) 釧路労災病院脳神経外科)：上殿皮神経障害の外科的治療成績. 日本脊椎外科学会（第30回）（札幌），2015. 6.
 - 21) 千葉泰弘¹⁾, 井須豊彦¹⁾, 金 景成, 岩本直高¹⁾, 森本大二郎²⁾, 山崎和義¹⁾, 池田琢磨¹⁾, 磯部正則¹⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科, 2) 日本医科大学脳神経外科)：腰痛性間欠跛行を呈する上殿皮神経障害の治療経験. 日本脊椎外科学会（第30回）（札幌），2015. 6.
 - 22) 岩本直高¹⁾, 井須豊彦¹⁾, 千葉泰弘¹⁾, 金 景成, 森本大二郎²⁾, 池田琢磨¹⁾, 山崎和義¹⁾, 磯部正則¹⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科, 2) 日本医科大学脳神経外科)：腸骨稜近傍に圧痛を認めた腰下肢痛患者に関する研究. 日本脊椎外科学会（第30回）（札幌），2015. 6.
 - 23) 金 景成, 井須豊彦¹⁾, 岩本直高¹⁾, 千葉泰弘¹⁾, 國保倫子, 森本大二郎²⁾, 菅原 淳³⁾, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科, 2) 日本医科大学脳神経外科)：腰椎変性すべりを伴う腰下肢痛への新たな治療戦略. 日本脊椎外科学会（第30回）（札幌），2015. 6.
 - 24) 古口徳雄¹⁾, 卜部貴夫²⁾, 烏谷博英³⁾, 小林士郎 (1) 千葉県救急医療センター神経内科, 2) 順天堂大学医学部附属浦安病院 脳神経内科, 3) 松戸市立病院 脳神経外科)：これからの脳卒中診療に求められるのは地域の総合力：千葉県における脳卒中地域連携の取り組み. 日本神経救急学会学術集会（第29回）（秋田），2015. 6.
 - 25) 金 景成：上殿皮神経障害による腰痛のレビュー. 手で身体に触れてわかる腰痛を考える - 上殿皮神経障害の病態に迫る - in 札幌 (札幌), 2015. 6.
 - 26) 金 景成：上殿皮神経障害の手術成績. 手で身体に触れてわかる腰痛を考える - 上殿皮神経障害の病態に迫る - in 札幌 (札幌), 2015. 6.
 - 27) 梅岡克哉, 田草川豊¹⁾, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 東京医科大学脳神経外科, 2) 日本医科大学脳神経外科)：蛇行した椎骨・脳底動脈による三叉神経痛の手術工夫. 日本頭蓋底外科学会（第27回）（名古屋），2015. 7.
 - 28) 山田佳子¹⁾, 牧山瑞希¹⁾, 根本雅隆¹⁾, 鈴木しほり¹⁾, 植木大輔¹⁾, 二瓶美穂¹⁾, 安藤俊哉¹⁾, 大森ゆかり¹⁾, 関口靖子¹⁾, 水成隆之 (1) 日本医科大学千葉北総病院 脳神経センター)：生活リズム確立によるせん妄の予防効果とせん妄発生リスクの検討. 日本意識障害学会（第24回）（浜松），2015. 7.
 - 29) 金 景成, 國保倫子, 鈴木雅規, 小南修史, 小林士郎, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科)：頭蓋頸椎移行部の硬膜動静脈瘻 + a の1例. Sumer Forum for Practical Spinal Surgery 2015 in SAPPORO (札幌), 2015. 8.
 - 30) 鈴木雅規, 小南修史, 井手口稔¹⁾, 藤木 悠, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科)：Acute tandem lesion に対する Penumbra 5MAX ACE を用いた急性期血行再建. The Mt.Fuji Workshop on CVD (第34回) (神戸), 2015. 8.
 - 31) 金 景成, 國保倫子, 井須豊彦¹⁾, 森本大二郎²⁾, 岩本直高¹⁾, 千葉泰弘³⁾, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科, 2) 日本医科大学脳神経外科, 3) 北海道脳神経外科記念病院脳神経外科)：試験的負荷試験を診断の補助として用いた腓骨神経障害の1例. 日本末梢神経学会学術集会（第26回）（長野），2015. 9.
 - 32) 岩本直高¹⁾, 金 景成, 井須豊彦¹⁾, 千葉泰弘^{1,2)}, 森本大二郎³⁾, 山内朋裕¹⁾, 山崎和義¹⁾, 磯部正則¹⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科, 2) 北海道脳神経外科記念病院脳神経外科, 3) 日本医科大学脳神経外科)：絞扼性腓骨神経障害診断に対する誘発テストの前向き研究. 日本末梢神経学会学術集会（第26回）（長野），2015. 9.
 - 33) 國保倫子, 金 景成, 井須豊彦¹⁾, 森本大二郎²⁾, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科, 2) 日本医科大学脳神経外科)：手根管内で感覚枝の分岐を有した手根管症候群の1例. 日本末梢神経学会学術集会（第26回）（長野），2015. 9.
 - 34) 久保田麻紗美, 藤木 悠, 亦野文宏, 國保倫子, 大村朋子, 鈴木雅規, 梅岡克哉, 金 景成, 小南修史, 水成隆之, 小林士郎, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科)：後下小脳動脈遠位部動脈瘤の1例. 社団法人日本脳神経外科学会関東支部学術集会 (127回) (東京), 2015. 9.

- 35) 小南修史, 鈴木雅規, 小林士郎, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科): 脳動静脈奇形に対する NBCA を用いた塞栓術の適応判断. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 36) 金 景成, 井須豊彦¹⁾, 岩本直高¹⁾, 山内朋裕¹⁾, 千葉泰弘²⁾, 森本大二郎³⁾, 國保倫子, 小林士郎, 森田明夫³⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科, ²⁾ 北海道脳神経外科記念病院, ³⁾ 日本医科大学脳神経外科): 難治性殿部痛に対する中殿筋除圧術. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 37) 梅岡克哉, 田草川豊¹⁾, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 東京医科大学脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科): 責任血管が VII/VIII を貫通していた顔面痙攣の手術工夫. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 38) 鈴木雅規, 小南修史, 井手口稔¹⁾, 藤木 悠, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科): 新規デバイス導入後の急性期血栓回収術治療成績に関する検討. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 39) 大村朋子, 水成隆之, 小林士郎, 木村真人¹⁾, 森田明夫²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科): 脳卒中急性期における脳卒中うつ病の現状. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 40) 國保倫子, 金 景成, 井須豊彦¹⁾, 森本大二郎²⁾, 千葉士郎, 森田明夫²⁾ (1) 釧路労災病院脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科): 中心性脊髄損傷に合併した小脳梗塞の 1 例. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 41) 亦野文宏¹⁾, 水成隆之, 村井保夫¹⁾, 谷川緑野²⁾, 上山博康²⁾, 立山幸次郎³⁾, 玉置智規⁴⁾, 小南修史, 梅岡克哉, 鈴木雅規, 久保田麻紗美, 小林士郎, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科, ²⁾ 社会医療法人禎心会病院脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科, ⁴⁾ 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科): 動脈硬化性病変に対する STA-MCA bypass 術後過灌流症候群の危険因子の解析 術中大脳動脈圧モニタリングの有用性. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 42) 藤木 悠, 水成隆之, 亦野文宏, 久保田麻紗美, 額綱健太, 山田敏雅¹⁾, 玉置智規²⁾, 村井保夫³⁾, 立山幸次郎⁴⁾, 小林士郎, 横田裕行³⁾, 森田明夫³⁾ (1) 博慈会記念総合病院脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学脳神経外科, ⁴⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科): 内頸動脈 bloodblisterlikeaneurysm の画像診断と治療方針の検討. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 43) 久保田麻紗美, 水成隆之, 亦野文宏, 藤木 悠, 國保倫子, 大村朋子, 鈴木雅規, 梅岡克哉, 金 景成, 小南修史, 小林士郎, 村井保夫¹⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科): 術中 ICG と Fluorescein の輝度定量化による比較と有用性の検討. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 44) 村井保夫¹⁾, 水成隆之, 梅岡克哉, 立山幸次郎²⁾, 額綱健太, 亦野文宏, 白銀一貴³⁾, 石坂栄太郎¹⁾, 築山 敦¹⁾, 井手口稔¹⁾, 小林士郎, 寺本 明⁴⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科, ³⁾ 関東労災病院脳神経外科, ⁴⁾ 札幌労災病院脳神経外科): Flowalteration による治療困難な脳動脈瘤に対する戦略. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 45) 山口文雄¹⁾, 樋口直司¹⁾, 展 広智¹⁾, 野崎俊樹¹⁾, 森本大二郎¹⁾, 大村朋子, 玉置智規²⁾, 足立好司³⁾, 喜多村孝幸³⁾, 野手洋治²⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科): 安全な脳腫瘍手術をめざした白質機能局在把握. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 46) 玉置智規¹⁾, 齋藤寛浩²⁾, 山崎道生¹⁾, 野手洋治¹⁾, 鈴木雅規, 梅岡克哉, 水成隆之, 森田明夫³⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院脳神経外科, ²⁾ 社会医療法人禎心会病院脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学脳神経外科): 頸動脈内膜摘出術を必要とした頸動脈狭窄症とがんの関連性. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 47) 立山幸次郎¹⁾, 馬場栄一¹⁾, 太組一朗¹⁾, 足立好司¹⁾, 村井保夫²⁾, 水成隆之, 喜多村孝幸¹⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科): Transcondylarapproach による椎骨動脈瘤手術, OA-PICA 吻合術の基本術式とピットフォール. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 48) 森本大二郎¹⁾, 井須豊彦²⁾, 金 景成, 千葉泰弘³⁾, 岩本直高²⁾, 山崎和義²⁾, 磯部正則²⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科, ²⁾ 釧路労災病院脳神経外科, ³⁾ 北海道脳神経外科記念病院): 上殿皮神経障害の外科的治療成績. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 49) 額綱健太, 坪井俊之¹⁾, 谷川緑野¹⁾, 上山博康¹⁾, 野田公寿茂¹⁾, 太田伸郎¹⁾, 宮田至朗¹⁾, 松川東俊¹⁾, 木下由宇¹⁾, 齋藤寛浩¹⁾, 榎原史啓¹⁾, 高野一成¹⁾, 宮崎貴則¹⁾, 美山真崇¹⁾, 徳田禎久¹⁾, その他 1 名 (1) 社会医療法人禎心会病院脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科): 後大脳動脈瘤の治療経験. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 50) 樋口直司¹⁾, 山口文雄¹⁾, 展 広智¹⁾, 大村朋子, 足立好司²⁾, 喜多村孝幸²⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科): 悪性グリオーマ細胞に対する 5-ALA 併用音響化学療法の効果. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 51) 山田敏雅¹⁾, 村井保夫²⁾, 石坂栄太郎²⁾, 中川俊祐³⁾, 佐藤 俊¹⁾, 亦野文宏, 森田明夫¹⁾ (1) 博慈会記念総合病院脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科): 椎骨動脈の巨大血栓化動脈瘤に対し「両側」後頭下開頭にてトラッピングを行った 1 例. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 (札幌), 2015. 10.
- 52) 築山 敦¹⁾, 村井保夫¹⁾, 中川俊祐¹⁾, 石坂栄太郎¹⁾, 亦野文宏, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科): 蛍光輝度解析による術中

- 血流評価における高輝度組織の周辺組織輝度への影響：FLOW800を用いた検討。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会（札幌），2015. 10.
- 53) 中川俊祐¹⁾，立山幸次郎¹⁾，瀧澤健太，鈴木雅規，水成隆之，小南修史，喜多村孝幸¹⁾，小林士郎，森田明夫²⁾（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科，²⁾ 日本医科大学脳神経外科）：特発性頭蓋外内頸動脈解離における治療法の検討。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会（札幌），2015. 10.
- 54) 山内朋裕¹⁾，金 景成，井須豊彦¹⁾，岩本直高¹⁾，齋藤拓実¹⁾，山崎和義¹⁾，磯部正則¹⁾（¹⁾ 釧路労災病院脳神経外科）：腰痛に対する上殿皮神経ブロックが及ぼす脊柱骨盤矢状面アライメントへの影響について。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会（札幌），2015. 10.
- 55) 山崎和義¹⁾，森本大二郎²⁾，井須豊彦¹⁾，金 景成，磯部正則¹⁾，千葉泰弘³⁾，岩本直高¹⁾，飛騨一利⁴⁾（¹⁾ 釧路労災病院脳神経外科，²⁾ 日本医科大学脳神経外科，³⁾ 北海道脳神経外科記念病院，⁴⁾ 札幌麻生脳神経外科病院）：軸椎歯突起後方偽腫瘍に対する外科的治療成績。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会（札幌），2015. 10.
- 56) 岩本直高¹⁾，井須豊彦¹⁾，金 景成，千葉泰弘³⁾，山内朋裕¹⁾，森本大二郎³⁾，齋藤拓実²⁾，山崎和義¹⁾，磯部正則¹⁾（¹⁾ 釧路労災病院脳神経外科，²⁾ 北海道脳神経外科記念病院，³⁾ 日本医科大学脳神経外科）：腸骨稜近傍に圧痛を認めた腰下肢痛患者に関する研究。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会（札幌），2015. 10.
- 57) 芹澤 徹¹⁾，樋口佳則²⁾，永野 修³⁾，青柳京子³⁾，平井達夫⁴⁾，小野純一³⁾，佐伯直勝²⁾，小南修史（¹⁾ 築地神経科クリニック／札幌ガンマユニットセンター，²⁾ 千葉大学医学部脳神経外科，³⁾ 千葉県循環器病センター脳神経外科，⁴⁾ 医療法人社団平成会藤枝平成記念病院）：ARUBA 適格基準を満たす未破裂脳動静脈奇形に対するガンマナイフ治療成績。一般社団法人日本脳神経外科学会第74回学術総会（札幌），2015. 10.
- 58) 藤木 悠，鈴木雅規，亦野文宏，國保倫子，大村朋子，梅岡克哉，金 景成，小南修史，水成隆之，横田裕行¹⁾，小林士郎（¹⁾ 日本医科大学救急医学教室）：急性期血栓回収療法施行例における治療時間の検討。日本救急医学会総会・学術集会（第43回）（東京），2015. 10.
- 59) 梅岡克哉，田草川豊¹⁾，小林士郎，森田明夫²⁾（¹⁾ 東京医科大学脳神経外科，²⁾ 日本医科大学脳神経外科）：椎骨脳底動脈が圧迫した三叉神経痛の手術工夫。日本頭痛学会総会（第43回）（札幌），2015. 11.
- 60) 小南修史：tys4 脊髄動静脈奇形と動静脈瘻の血管内治療。NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会（第31回）（岡山），2015. 11.
- 61) 小南修史，鈴木雅規，小林士郎，森田明夫¹⁾（¹⁾ 日本医科大学脳神経外科）：脳動静脈奇形に対する NBCA を用いた塞栓術の治療成績。NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会（第31回）（岡山），2015. 11.
- 62) 鈴木雅規，小南修史，井手口稔¹⁾，藤木 悠，小林士郎，森田明夫¹⁾（¹⁾ 日本医科大学脳神経外科）：新規デバイス導入後の急性期血栓回収術治療成績に関する検討。NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会（第31回）（岡山），2015. 11.
- 63) 藤木 悠，小南修史，鈴木雅規，小林士郎，横田裕行¹⁾，森田明夫²⁾（¹⁾ 日本医科大学救急医学教室，²⁾ 日本医科大学脳神経外科）：Acute ischemic tandem lesion に対する Penumbra 5MAX ACE を用いた急性期血行再建。NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会（第31回）（岡山），2015. 11.
- 64) 井手口稔¹⁾，鈴木雅規，森田明夫¹⁾：Distal PCA aneurysm に対する母血管閉塞術前の Balloon test occlusion の有用性とその pitfall。NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会（第31回）（岡山），2015. 11.
- 65) 阿部晃大¹⁾，阿部雅志¹⁾，富田尚樹¹⁾，池亀 敏¹⁾，小南修史，小林士郎，有井美佳²⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院放射線センター，²⁾ 日本医科大学千葉北総病院看護部）：3D-RA における血管の偽狭窄アーチファクト低減の試み。NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会（第31回）（岡山），2015. 11.
- 66) 阿部雅志¹⁾，池亀 敏¹⁾，加藤文司¹⁾，菊池陽子²⁾，小南修史，小林士郎，森田明夫³⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院放射線センター，²⁾ 日本医科大学千葉北総病院看護部，³⁾ 日本医科大学脳神経外科）：緊急 MRI 検査に対する当院教育プログラム。NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会（第31回）（岡山），2015. 11.
- 67) 國保倫子，金 景成，森本大二郎²⁾，井須豊彦¹⁾，小林士郎，森田明夫²⁾（¹⁾ 釧路労災病院脳神経外科，²⁾ 日本医科大学脳神経外科）：腰椎周辺疾患の治療が有用であった超高齢者難治性腰痛患者の2例。東京脊髄倶楽部（第10回）（東京），2015. 11.
- 68) 國保倫子，金 景成，井須豊彦¹⁾（¹⁾ 釧路労災病院脳神経外科）：私の生きる道。脊髄 VTR 技術研究会（第26回）（滋賀），2015. 11.
- 69) 國保倫子，金 景成，森本大二郎¹⁾，小林士郎，森田明夫¹⁾（¹⁾ 日本医科大学脳神経外科）：腰椎周辺疾患の治療が有用であった超高齢者難治性腰痛患者の2例。社団法人日本脳神経外科学会 関東支部会（第128回）（東京），2015. 11.
- 70) 金 景成：クイズで学ぼう手のしびれ。第14回市民公開講座記念講演会（千葉），2015. 11.
- 71) 大村朋子：脳卒中急性期病院における PSD の実態：当院での傾向と対策より。第2回 Chiba Post-Stroke Depression（千葉），2015. 11.
- 72) 亦野文宏，水成隆之，久保田麻紗美，藤木 悠，小林士郎，村井保夫¹⁾，森田明夫¹⁾（¹⁾ 日本医科大学 脳神経外科）：Concomitant

- vein を用いた Radial artery の再建術の工夫. 第 3 回手技にこだわる脳神経外科ビデオカンファランス (東京), 2016. 1.
- 73) 梅岡克哉, 田草川豊¹⁾, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 東京医科大学 脳神経外科, (2) 日本医科大学脳神経外科) : 舌咽神経痛と三叉神経痛の診断に苦慮した症例の手術方法. 日本脳神経減圧術学会 (第 18 回) (仙台), 2016. 1.
- 74) 阿部雅志¹⁾, 池亀 敏¹⁾, 加藤丈司¹⁾, 金 景成, 國保倫子, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院放射線センター, (2) 日本医科大学脳神経外科) : 拡散テンソルを用いた腓骨神経描出の試み. 日本脳神経 CI 学会総会 (第 39 回) (東京), 2016. 1.
- 75) 富田尚樹¹⁾, 阿部雅志¹⁾, 丸山智之¹⁾, 金 景成, 中嶋隆夫¹⁾, 國保倫子, 小林士郎 (1) 日本医科大学千葉北総病院放射線センター) : Myelo-Tomosynthesis における被ばく線量と画像処理の検討. 日本脳神経 CI 学会総会 (第 39 回) (東京), 2016. 1.
- 76) 久保田麻紗美, 水成隆之, 亦野文宏, 藤木 悠, 野崎俊樹, 大村朋子, 國保倫子, 鈴木雅規, 梅岡克哉, 金 景成, 小南修史, 小林士郎 : 出血源の診断が困難であったくも膜下出血の 1 例. 東葛脳神経外科手術手技研究会 (第 13 回) (千葉), 2016. 2.
- 77) 村井保夫¹⁾, 森田明夫¹⁾, 水成隆之 (1) 日本医科大学脳神経外科) : 血管縫合以外で脳血行再建で注意すること : 虚血性合併症を回避するために. 脳神経外科手術と機器学会 (第 25 回) (新潟), 2016. 3.
- 78) 梅岡克哉, 田草川豊¹⁾, 小林士郎, 森田明夫²⁾ (1) 厚生中央病院脳神経外科, (2) 日本医科大学脳神経外科) : 蛇行した椎骨・脳底動脈による三叉神経痛の手術工夫. 脳神経外科手術と機器学会 (第 25 回) (新潟), 2016. 3.
- 79) 亦野文宏, 水成隆之, 村井保夫¹⁾, 谷川緑野²⁾, 上山博康²⁾, 玉置智規¹⁾, 立山幸次郎¹⁾, 小林士郎, 寺本 明¹⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科, (2) 禎心会病院脳神経外科) : 動脈硬化性病変に対する STA-MCA bypass 術後過環流症候群の危険因子 術中中大脳動脈圧モニタリングの有用性. 脳神経外科手術と機器学会 (第 25 回) (新潟), 2016. 3.
- 80) 久保田麻紗美, 水成隆之, 亦野文宏, 藤木 悠, 小林士郎, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科) : Orbito-cranial approach の有用性とその適応. 脳神経外科手術と機器学会 (第 25 回) (新潟), 2016. 3.
- 81) 小南修史 : DSA 装置における表示遅延の検討. The 24th Intravascular Nertosurgery Winter seminar (新潟), 2016. 3.
- (6) WFNS Young Neurosurgeons Awardees Session :
- 1) Matani F¹⁾, Murai Y¹⁾, Tanikawa R²⁾, Kamiyama H²⁾, Takeyama K¹⁾, Tamaki T¹⁾, Mizunari T¹⁾, Mizumura S³⁾, Kobayashi S¹⁾, Teramoto A¹⁾, Morita A¹⁾ (1) Department of Neurological Surgery, Nippon Medical School, (2) Department of Neurosurgery, Teishinkai Hospital, (3) Department of Radiology, Toho University Omori Medical Center) : Intraoperative Middle Cerebral Artery Pressure Measurements during Superficial temporal artery to Middle cerebral artery bypass procedure in Patients with Cerebral Atherosclerotic Disease. 15th Interim Meeting of the World Federation of Neurosurgical Societies (Rome), 2015. 9.
- (7) ポスター発表 :
- 1) 野崎俊樹¹⁾, 太組一朗²⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 脳神経外科, (2) 日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科) : 地域医療におけるてんかん外科医療の現状. 日本てんかん学会学術総会 (第 49 回) (長崎), 2015. 10.
- 2) 野崎俊樹¹⁾, 太組一朗²⁾, 饒波正博³⁾, 喜多村孝幸²⁾, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 脳神経外科, (2) 日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科, (3) 沖繩赤十字病院 脳神経外科) : 迷走神経刺激装置植え込み術の工夫. 日本てんかん外科学会 (第 39 回) (仙台), 2016. 1.

論文

[追加分]

追加分総説 :

- 1) Kogure K^{1, 2)}, Isu T⁴⁾, Node Y^{1, 2)}, Tamaki T^{1, 2)}, Kim K, Morimoto D^{1, 3)}, Morita A^{1, 3)} (1) Department of Neurosurgery, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, (2) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School Tama Nagaysma Hospital, (3) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School, (4) Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital) : Technical arrangement of the Williams-Isu method for anterior cervical discectomy and fusion. J Nippon Med Sch 2015; 82 (1) : 50-53.
- 2) 金 景成, 井須豊彦¹⁾, 江本直哉 (1) 釧路労災病院脳神経外科) : 糖尿病患者にみられたしびれの原因に関する前向き検討. 脳神経外科 in press 2016; 44 (4) : 297-303.

追加分原著 :

- 1) Matano F, Murai Y¹⁾, Nakagawa S¹⁾, Wada T¹⁾, Kitamura T¹⁾, Teramoto A¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Spontaneous angiographic regression of cerebral arteriovenous malformations.-Angiographical disappearance is not the real cure. Turk Neurosurg. 2015 2015; 25 (1) : 168-173.
- 2) Koketsu K¹⁾, Yoshida D¹⁾, Kim K, Ishii Y¹⁾, Tahara S¹⁾, Teramoto A¹⁾, Morita A¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Gremlin, a Bone Morphogenetic Protein Antagonist, Is a Crucial Angiogenic Factor in Pituitary Adenoma. International Journal of Endocrinology 2015.
- 3) Kogure K^{1, 2)}, Isu T⁴⁾, Node Y¹⁾, Tamaki T^{1, 2)}, Kim K, Morimoto D^{1, 3)}, Morita A^{1, 3)} (1) Department of Neurosurgery, Gradu-

ate School of Medicine, Nippon Medical School, ²⁾Department of Neurosurgery, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, ³⁾ Department of Neurosurgery, Nippon Medical School, ⁴⁾ Department of Neurosurgery, Kushiro Rosai Hospital) : Technical Arrangement of the Williams-Isu Method for Anterior Cervical Discectomy and Fusion. J Nippon Medical School 2015 ; 82 (1) : 50-53.

- 4) 亦野文宏^{1, 2)}, 谷川緑野¹⁾, 上山博康¹⁾, 野田公寿茂¹⁾, 坪井俊之¹⁾, 太田伸郎¹⁾, 松川東俊¹⁾, 小田淳平¹⁾, 宮田至朗¹⁾, 鈴木 剛¹⁾, 柳澤 毅¹⁾, 宮崎貴則¹⁾, 江田大武¹⁾, 村井保夫²⁾, 森田明夫²⁾, その他1名 (¹⁾ 禎心会病院 脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学 脳神経外科) : 急性期脳塞栓症に対する外科的塞栓除去術の文献 Review : 禎心会病院における治療適応の現状. Neurosurg Emerg 2015 ; 20 (2) : 165-168.

追加分研究報告書 :

- 1) 木村真人¹⁾, 小林士郎, 水成隆之, 駒場祐一²⁾, 下田健吾¹⁾, 大村朋子, 秋山友美¹⁾, 鈴木順一³⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院神経内科, ³⁾ 日本医科大学千葉北総病院医療連携支援センター) : 脳卒中患者におけるうつ病・うつ状態の評価と地域医療連携パスの開発. 厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 (精神障害分野) 「身体疾患を合併する精神疾患患者の診療の質の向上に資する研究」 2014.

19. 整形外科学分野

[付属病院整形外科・リウマチ外科, 武蔵小杉病院整形外科, 多摩永山病院整形外科, 千葉北総病院整形外科]

研究概要

整形外科教室の平成27年度の研究は、臨床研究において脊椎部、肩、肘、股、膝関節部、手の外科、足の外科、骨軟部腫瘍などを対象にした疾患ならびに外傷に対する手術数が劇的に増加したことを背景に、臨床研究報告や講演を行った。部位別にみると、脊椎疾患の診断、治療、手術手技、手の外科では手関節周辺骨折、末梢神経、腱の障害に対する治療法および手術法の開発、肩関節障害に対する手術的治療の新知見などを発表した。人工膝関節に関しては日常生活機能向上を目指した新しい手術手技を報告した。基礎研究においては自己免疫性関節炎に対する治療薬の開発に関する基礎研究成果および、軟骨変性に関する基礎研究成果を報告した。学会発表は量、質ともに向上し、国際学会の発表も増え、教育研修講演、シンポジウム、招待講演、一般講演などが積極的に行われた。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Nanno M, Sawaizumi T, Kodera N, Tomori Y, Takai S : Three-dimensional analysis of the attachment and path of the transverse carpal ligament. *Journal of Nippon Medical School* 2015 ; 82 (3) : 130-135.
- 2) Hashiguchi H, Iwashita S, Ohkubo A, Takai S : The outcome of hemiarthroplasty for proximal humeral fractures is dependent on the status of the rotator cuff. *International Orthopaedics* 2015 ; 39 (6) : 1115-1119.
- 3) Nanno M, Sawaizumi T, Kodera N, Tomori Y, Takai S : Transverse ultrasound evaluation of the median nerve movement in the carpal tunnel during wrist and finger motion in patients with carpal tunnel syndrome. *The Tohoku Journal of Experimental Medicine* 2015 ; 236 (3) : 233-240.
- 4) Nanno M, Sawaizumi T, Kodera N, Tomori Y, Takai S : Transverse ultrasound assessment of the displacement of the median nerve in the carpal tunnel during wrist and finger motion in healthy volunteers. *Journal of Nippon Medical School* 2015 ; 82 (4) : 170-179.
- 5) Nanno M, Sawaizumi T, Kodera N, Tomori Y, Takai S : Transverse ultrasound assessment of the flexor pollicis longus tendon movement on the distal radius during wrist and finger motion in distal radius fracture patients with volar plating. *The Journal of Medical Ultrasonics* 2015 ; 43 (1) : 29-36.
- 6) Nanno M, Sawaizumi T, Kodera N, Tomori Y, Takai S : Ultrasound evaluation of the transverse movement of the flexor pollicis longus tendon on the distal radius during wrist and finger motion in healthy volunteers. *Journal of Nippon Medical School* 2015 ; 82 (5) : 220-228.
- 7) Oshima Y, Joseph FF¹⁾ (1) NYU Langone Medical Center) : Pendulum Test : A Highly Accurate and Simple Physical Examination Maneuver to Identify Hip Pathology. *Reconstructive Review* 2015 ; 5 (3) : 45-49.
- 8) Oshima Y, Joseph FF¹⁾ (1) NYU Langone Medical Center) : Multimodal Venous Thromboembolism Prophylaxis with Preoperative Thrombophilia Screening Examinations for Total Hip and Knee Arthroplasties. *Reconstructive Review* 2015 ; 5 (4) : 13-18.
- 9) Hashiguchi H, Iwashita S, Ohkubo A, Takai S : SLAP repair with arthroscopic decompression of the spinoglenoid cyst. *SICOT-J* 2016.
- 10) Hattori Y^{1, 2)}, Ishii H¹⁾, Munetomo A³⁾, Watanabe H^{1, 4)}, Morita A²⁾, Sakuma Y^{1, 5)}, Ozawa H¹⁾ (1) Department of Anatomy and Neurobiology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 2) Department of Neurosurgery, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 3) Laboratory of Behavior Neuroscience, Faculty of Science, Japan Women's University, 4) Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 5) University of Tokyo Health Sciences) : Human C-terminally truncated ER α variants resulting from the use of alternative exons in the ligand-binding domain. *Molecular and Cellular Endocrinology* 2016.
- 11) Kataoka T, Iizawa N, Takai S : Superior Dislocation of the Patella in a Young Women without Osteophytes : A Case Report. *Journal of Nippon Medical School* 2016 ; 83 (1) : 24-26.
- 12) Kawaji H, Uematsu T, Oba R, Takai S : Conservative Treatment for Fracture of the Proximal Femur with Complications. *Journal of Nippon Medical School* 2016 ; 83 (1) : 2-5.
- 13) Iizawa N, Mori A, Majima T, Kawaji H, Matsui S, Takai S : Influence of the medial knee structures on valgus and rotatory

stability in total knee arthroplasty. The Journal of Arthroplasty 2016 ; 31 (3) : 688-693.

- 14) 南野光彦, 澤泉卓哉, 小寺訓江, 友利裕二, 高井信朗: 超音波による橈骨遠位端部における長母指屈筋の腱滑動の検討: 掌側プレート固定除去前後の変化について. 骨折 2015 ; 37 (2) : 292-296.
- 15) 佐竹美彦, 飯澤典茂, 小寺訓江, 橋口 宏, 岩下 哲, 高井信朗: 上腕骨近位端骨折の矯正損失および機能の比較 All-in-one nail と NCB plate の術後成績の比較. 骨折 2015 ; 37 (2) : 316-319.
- 16) 高橋謙治: 運動器の要 軟骨疾患の病態と治療. Clinical Calcium 2015 ; 25 (8) : 92-98.
- 17) 南野光彦, 澤泉卓哉, 小寺訓江, 友利裕二, 高井信朗: 重度手根管症候群に対する母指対立再建術-小皮切による Camitz 変法の経験. 整形外科 2015 ; 66 (10) : 1076-1079.
- 18) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保敦, 星川直哉, 高井信朗: 透視画像による腱板断裂例における肩甲上腕リズムの検討. 肩関節 2015 ; 39 (2) : 388-391.
- 19) 佐竹美彦, 南野光彦, 澤泉卓哉: 手根背屈変形を有する舟状骨偽関節に対する血管柄付き第2中手骨基部骨移植術. 別冊整形外科 2015 ; (68) : 120-124.
- 20) 友利裕二, 澤泉卓哉: 【保存療法でなおす運動器疾患-OAから外傷まで】小児 小児上腕骨顆上骨折. Orthopaedics 2015 ; 28 (10) : 78-86.
- 21) 南野光彦, 澤泉卓哉, 小寺訓江, 友利裕二, 高井信朗: 超音波短軸像による正中神経の手根管内での移動の検討: 手根管開放術前後の比較. 日本手外科学会雑誌 2015 ; 32 (2) : 52-54.
- 22) 大久保敦, 橋口 宏, 岩下 哲, 高井信朗: 鏡視下腱板断裂修復術の治療成績に対する上腕二頭筋長頭腱損傷の影響. 肩関節 2015 ; 39 (3) : 773-776.
- 23) 佐藤章子, 中村 洋, 高橋謙治, 竹之内研二, 高井信朗: 関節リウマチ肘に対する Coonrad-Morrey 型人工肘関節置換術の治療成績. 日本人工関節学会誌 2015 ; 45 : 115-116.

(2) 総説:

- 1) 橋口 宏: 頸肩腕症候群・肩関節周囲炎-特集: 整形外科漢方処方マニュアル. Monthly Book Orthopaedics 2015 ; 28 (5) : 51-56.

(3) 症例報告:

- 1) Hashiguchi H, Iwashita S, Ohkubo A, Sawaizumi T, Takai S : Stress fracture of the radial styloid process in a judo player. Journal of Nippon Medical School 2015 ; 82 (2) : 109-112.
- 2) Watanabe H, Takahashi K, Takenouchi K, Sato A, Kawaji H, Nakamura H¹⁾, Takai S ⁽¹⁾ SANNÔ HOSPITAL) : Pseudotumor and deep venous thrombosis due to crevice corrosion of the head-neck junction in metal-on-polyethylene total hip arthroplasty. Journal of Orthopaedic Science 2015 ; 20 (6) : 1142-1147.
- 3) Watanabe H, Majima T, Takahashi K, Kawaji H, Takai S : Split Fracture of the Posteromedial Tubercle of the Talus : Case Report and Proposed Classification System. Journal of Foot and Ankle Surgery 2016.

著 書

- 1) 高橋謙治, 新藤康弘¹⁾, 加藤和夫¹⁾ (1) 明治大学理工学部): [共著] 変形性膝関節症の診断と治療 III 保存的治療 2. 理学療法 1) 物理療法 変形性膝関節症に対する深部温熱療法. 別冊整形外科 67 (越智光夫 編集), 2015 ; pp98-102, 南江堂.
- 2) 佐竹美彦, 澤泉卓哉: [分担] 小児上腕骨顆上骨折. 肘関節手術のすべて (今谷 潤也), 2015 ; pp338-353, メジカルビュー社.
- 3) 河路秀巳, 植松卓哉: [分担] 大腿骨頸部骨折・人工骨頭に対する進入法の使い分け. 股関節周囲の骨折・外傷の手術 (中村 茂), 2015 ; pp24-39, メジカルビュー社.
- 4) 佐竹美彦, 澤泉卓哉: [分担] 外反母趾. ジェネラリストのための外来初療・処置ガイド (田島 知郎), 2016 ; pp251-252, 医学書院.

学会発表

(1) 特別講演:

- 1) 南野光彦: 手根管症候群に対する母指対立再建術: 小皮切による Camitz 変法. 薬師寺会研修会 (さいたま市), 2015. 9.
- 2) 米田 稔: 鏡視下バンカート法としての Footprint Fixation 法と人工骨を用いた関節窩骨補填術. 日本最小侵襲整形外科学会 (第21回) (東京), 2015. 11.

(2) 招待講演:

- 1) 米田 稔: Reverse Shoulder Clinical Guideline. ZB Reverse Shoulder Course (第5回) (東京), 2015. 12.
- 2) 米田 稔: JOA Guidelines for RSA. J&J Reverse Shoulder Training (第4回) (福岡市), 2016. 1.
- 3) 米田 稔: JOA Guidelines for RSA. J&J Reverse Shoulder Training (第6回) (名古屋市), 2016. 2.
- 4) 米田 稔: JOA Guidelines for RSA. J&J Reverse Shoulder Training (第8回) (大阪市), 2016. 3.

(3) 教育講演：

- 1) 橋口 宏：リバー型人工肩関節：適応と手術手技. 日本整形外科学会学術総会（第 88 回）（神戸），2015. 5.
- 2) 高井信朗：人工膝関節における内側軟部組織の回旋安定性に与える影響. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（第 7 回）（札幌市），2015. 6.
- 3) 高井信朗：人工膝関節置換術のコツと落とし穴. 人工関節学術講演会（愛媛），2015. 6.
- 4) 高井信朗：人工膝関節の現状と展望. 立山セミナー（第 32 回），2015. 7.
- 5) 橋口 宏：リウマチ肩に対する外科的治療. リウマチの外科研究会（第 44 回）（東京），2015. 8.
- 6) 橋口 宏：解剖学的人工肩関節とリバー型人工肩関節の適応および注意点. 日本肩関節学会（第 42 回）（仙台），2015. 10.
- 7) 北川泰之：骨転移は見逃されている. 西東京整形外科懇話会（東京），2016. 2.

(4) シンポジウム：

- 1) 南野光彦, 澤泉卓哉, 高井信朗：橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート：使用されているプレートの現況. 日本整形外科学会学術総会（第 88 回）（神戸），2015. 5.
- 2) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保敦, 高井信朗：腱板断裂に対するスーチャーブリッジ法. 日本最小侵襲整形外科学会（第 21 回）（東京），2015. 11.
- 3) 米田 稔, 山田真一¹⁾, 佐原 亘²⁾, 五藤和樹³⁾（¹⁾ JCHO 星ヶ丘医療センター, ²⁾ 大阪大学整形外科, ³⁾ JCHO 大阪病院）：Net-like ARCR とその術後成績（主題：鏡視下腱板修復術 - 修復方法別治療成績 -）. 日本最小侵襲整形外科学会（第 21 回）（東京），2015. 11.
- 4) 中嶋隆夫, 大久保敦, 岩下 哲, 萩原祐介, 橋口 宏, 金 竜, 須藤悦宏, 宮本雅史, 高井信朗：XLIF を用いた腰椎前方固定術の問題点. 日本最小侵襲整形外科学会（第 21 回）（東京），2015. 11.

(5) パネルディスカッション：

- 1) 南野光彦, 澤泉卓哉, 小寺訓江, 友利裕二, 高井信朗：超音波短軸像による正中神経の手根管内での移動の検討：手根管開放術前後の比較. 日本手外科学会学術集会（第 58 回）（東京），2015. 4.
- 2) 南野光彦, 澤泉卓哉, 小寺訓江, 友利裕二, 宮本 暖：超音波による橈骨遠位端部における長母指屈筋の腱滑動の検討 - 掌側プレート固定除去前後の変化について -. 日本整形外科学会学術総会（第 88 回）（神戸），2015. 5.
- 3) 南野光彦, 小寺訓江, 友利裕二, 萩原祐介, 佐竹美彦, 高井信朗：肘関節 Terrible Triad 損傷の治療成績. 日本肘関節学会（第 28 回）（岡山），2016. 2.
- 4) 小寺訓江, 南野光彦, 友利裕二, 高井信朗：成人橈骨頭頸部骨折に対する手術治療の成績. 関東整形災害外科学会（第 56 回）（東京），2016. 3.

(6) ポスター：

- 1) Kataoka T, Iizawa N, Mori A, Oshima Y, Matsui S, Takai S : Influence of the individual components in the main medial knee structures on valgus and rotational stability in total knee arthroplasty. 28th International Society for Technology in Arthroplasty (ISTA) (Austria), 2015. 9.
- 2) 萩原祐介, 高井信朗：骨折部安定性が骨折治療過程に及ぼす影響の組織評価 -TRIPLE COLOR GFP マウスと新規考案創外固定モデルを用いた研究. 日本手外科学会学術集会（第 58 回）（東京），2015. 4.
- 3) 萩原祐介, 橋口 宏, 岩下 哲, 原田和弘, 大久保敦, 中嶋隆夫, 高井信朗：整形外科手術モデルマウスの開発：遺伝子導入マウスを用いた創外固定・ACL 再建モデルの詳細組織観察. 日本整形外科学会学術総会（第 88 回）（神戸），2015. 5.
- 4) 片岡達紀, 飯澤典茂, 大島康史, 阿部一雅, 高井信朗：脛骨後傾角と関節包後傾角の検討. 日本人工関節学会（第 46 回）（大阪），2016. 2.

(7) 一般講演：

- 1) Kim Y¹⁾, Tracey PB¹⁾, Carrie EB¹⁾, Fredrick GR¹⁾, Burt Y¹⁾, Peter ON¹⁾（¹⁾ Rady Children's Hospital, San Diego, CA）：A Three-Dimensional Analysis of Apical Lordosis Correction-The Role of the Ponte Osteotomy. Pediatric Orthopaedic Society of North America (POSNA) (Atlanta), 2015. 4.
- 2) Hashiguchi H, Iwashita S, Ohkubo A, Takai S : Prognostic factors in postoperative retear of repaired large and massive rotator cuff tears. APKASS 2015 Congress (Taipei, Taiwan), 2015. 5.
- 3) Iwashita S, Hashiguchi H, Ohkubo A, Takai S : Factors related to delamination in full-thickness rotator cuff tears. 11th ASIA Pacific of Shoulder & Elbow Surgery, 2015. 5.
- 4) Okubo A, Hashiguchi H, Iwashita S, Takai S : Outcomes of arthroscopic rotator cuff repair combined with capsular release for partial-thickness tears with shoulder stiffness. APKASS (Taipei, Taiwan), 2015. 5.
- 5) Nakajima T, Kim Y, Miyamoto M, Takai S : Neurologic deficit and muscle weakness of lower extremity following XLIF. 13th congress of Association France Japon d'Orthopédie (Saint-Malo), 2015. 6.

- 6) Hashiguchi H, Iwashita S, Ohkubo A, Takai S : Hemiarthroplasty for comminuted proximal humeral fractures : comparison between clinical outcomes and radiological evaluation. 36th SICOT Orthopaedic World Congress (China), 2015. 9.
- 7) Iwashita S, Hashiguchi H, Ohkubo A, Takai S : Clinical features of rotator cuff tear with night pain. 36th SICOT Orthopaedic World Congress (Italy), 2015. 9.
- 8) Okubo A, Hashiguchi H, Iwashita S, Takai S : The characteristics of the rotator cuff tears in patients over 70 years old. 36th SICOT Orthopaedic World Congress (China), 2015. 9.
- 9) Oshima Y, Shinro T, Joseph FF¹⁾ (1) NYU Langone Medical Center) : A surgical technique to facilitate CR TKA and preserve PCL function. 28th International Society for Technology in Arthroplasty (ISTA) (Austria), 2015. 9.
- 10) Oshima Y, Joseph FF¹⁾ (1) NYU Langone Medical Center) : THR With the "Lateral Flare" Stem : Minimum 15 Year Prospective Follow Up in 62 Hips. 28th International Society for Technology in Arthroplasty (ISTA) (Austria), 2015. 9.
- 11) Oshima Y, Mori A, Iizawa N, Matsui S, Kataoka, T, Takai S : Influence of the Individual Components of the Main Medial Knee Structures on Medial Pivot in Total Knee Arthroplasty. 28th International Society for Technology in Arthroplasty (ISTA) (Austria), 2015. 9.
- 12) Nakajima T, Kim Y, Miyamoto M : Learning Curve of the Surgical Technique of XLIF. EUROSPINE 2015 (Copenhagen), 2015. 9.
- 13) Nakajima T, Kim Y, Miyamoto M : A Measure to Avoid Pleura Injuries in XLIF at Upper Lumbar Levels. EUROSPINE 2015 (Copenhagen), 2015. 9.
- 14) Iizawa N, Mori A, Majima T, Kawaji H, Matsui S, Takai S : Influence of the individual components of the main medial knee structures on valgus and rotatory stability in total knee arthroplasty. 28th International Society for Technology in Arthroplasty (ISTA) (Austria), 2015. 9.
- 15) Iizawa N, Mori A, Oshima Y, Matsui S, Kataoka T, Takai S : Influence of the individual components of the main medial knee structures on medial pivot in total knee arthroplasty. 28th International Society for Technology in Arthroplasty (ISTA) (Austria), 2015. 9.
- 16) Matsui S, Majima T¹⁾, Mominoki K¹⁾, Koizumi R¹⁾, Kawaji H, Takahashi K, Takai S (1) IUHW HOSPITAL) : Effect of Ceramic Head of Endoprosthesis on Acetabular Cartilage Metabolism : Animal Study Using Crossbred Pig. 28th International Society for Technology in Arthroplasty (ISTA) (Austria), 2015. 9.
- 17) Kataoka T, Takai S : Influence of the individual components in the main medial knee structures on valgus and rotational stability in total knee arthroplasty. APOKA (福岡), 2015. 11.
- 18) Hagiwara Y, Nanno M, Take M, Hashiguchi H, Takai S : Surgical Treatment of Monteggia Fracture with Use of Ilizarov External Fixator. The 28th Annual Meeting of the Japan Elbow Society (Okayama), 2016. 2.
- 19) Watanabe H, Takahashi K, Ishii H, Iizawa N, Kawaji H, Majima T¹⁾, Ozawa H, Takai S (1) International University of Health and Welfare) : Steroid Receptors In The Synovial Membranes Of The Human Knee Osteoarthritis : Expression Profiles And Correlations. ORS 2016 Annual Meeting (Orlando), 2016. 3.
- 20) 高橋謙治, 佐藤章子, 橋本三四郎¹⁾, 鎌田利一²⁾, 小岩政仁³⁾, 高井信朗, 中村 洋 (1) 南新宿整形外科リハビリテーションクリニック, 2) 原整形外科病院, 3) 秀和総合病院整形外科・リウマチ科) : 生物学的製剤効果不十分礼に対するタクロリムス追加併用の効果. 日本リウマチ学会総会・学術集会 (第 59 回) (名古屋), 2015. 4.
- 21) 中村 洋, 鎌田利一¹⁾, 小岩政仁²⁾, 高橋謙治, 佐藤章子, 河路秀巳, 高井信朗 (1) 原整形外科病院, 2) 秀和総合病院整形外科) : Hy-Flex II TKA の 10 年以上長期成績. 日本リウマチ学会総会・学術集会 (第 59 回) (名古屋), 2015. 4.
- 22) 佐竹美彦, 河路秀巳, 大場良輔, 植松卓哉, 片岡達紀, 小原良規¹⁾, 高井信朗 (1) 日本医科大学 救急医学) : 多発性外傷に伴う外傷性股関節脱臼後の異所性骨化により易脱臼性が自然消滅した 1 例. 救急外来シンポジウム (第 21 回) (台湾), 2015. 4.
- 23) 中嶋隆夫, 金 竜, 宮本雅史, 高井信朗 : XLIF 手術手技のラーニングカーブに関する検討. 日本脊椎脊髄病学会学術集会 (第 44 回) (福岡), 2015. 4.
- 24) 佐藤章子, 中村 洋, 高橋謙治, 竹之内研二, 河路秀巳, 高井信朗 : 関節リウマチにおける生物学的製剤 switch の検討. 日本リウマチ学会総会・学術集会 (第 59 回) (名古屋), 2015. 4.
- 25) 友利裕二, 澤泉卓哉, 南野光彦, 小寺訓江, 堀口 元, 宮本 暖 : Volkmann 阻血性拘縮様の屈曲拘縮を生じた類上皮肉腫の 1 例. 日本手外科学会学術集会 (第 58 回) (東京), 2015. 4.
- 26) 友利裕二, 澤泉卓哉, 南野光彦, 小寺訓江, 堀口 元 : 橈骨遠位端 (関節外) 骨折変形治療に対する LCP を用いた橈骨矯正延長術. 日本手外科学会学術集会 (第 58 回) (東京), 2015. 4.
- 27) 友利裕二, 澤泉卓哉, 南野光彦, 小寺訓江, 高井信朗 : イリザロフ・ミニ創外固定器を用いた母指中手骨底部骨折の治療成績. 日本手外科学会学術集会 (第 58 回) (東京), 2015. 4.

- 28) 友利裕二, 澤泉卓哉, 南野光彦, 小寺訓江, 高井信朗: DVR 掌側ロッキングプレートを用いた橈骨遠位端骨折の治療成績. 日本手外科学会学術集会 (第 58 回) (東京), 2015. 4.
- 29) 友利裕二, 澤泉卓哉, 南野光彦, 小寺訓江, 高井信朗: 小児上腕骨外顆骨折の治療経験 後外側 vs 前外側進入法. 日本手外科学会学術集会 (第 58 回) (東京), 2015. 4.
- 30) 原田和弘, 澤泉卓哉, 小寺訓江, 武 雅樹, 高井信朗: 石灰沈着による手根管症候群の治療経験. 日本手外科学会学術集会 (第 58 回) (東京), 2015. 4.
- 31) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保敦, 星川直哉, 高井信朗: 鏡視下腱板修復術 (ARCR) における斜角筋ブロックおよび肩甲上神経ブロックの除痛効果および合併症に関する検討. 日本整形外科学会学術総会 (第 88 回) (神戸), 2015. 5.
- 32) 高橋謙治, 中村 洋, 橋本三四郎¹⁾, 森 淳, 佐藤章子, 飯澤典茂, 望月祐輔, 渡部 寛, 高井信朗 ⁽¹⁾ 南新宿整形外科・リハビリテーションクリニック: 内側半月板後節後角損傷と関節軟骨 T1 ρ 値の関連. 日本整形外科学会学術総会 (第 88 回) (神戸), 2015. 5.
- 33) 中嶋隆夫, 大久保敦, 原田和弘, 岩下 哲, 橋口 宏, 宮本雅史, 高井信朗: XLIF 初期 50 症例の臨床経過および合併症の検討. 日本整形外科学会学術総会 (第 88 回) (神戸), 2015. 5.
- 34) 佐藤章子, 高橋謙治, 橋本三四郎¹⁾, 森 淳, 中村 洋, 高井信朗 ⁽¹⁾ 南新宿整形外科リハビリテーションクリニック: 3 テスラ MRI T2 mapping による軟骨変性と半月板損傷との関連. 日本整形外科学会学術総会 (第 88 回) (神戸), 2015. 5.
- 35) 友利裕二, 澤泉卓哉, 南野光彦, 高井信朗: 小児上腕骨外顆骨折の治療成績 後外側 vs. 前外側進入法. 日本整形外科学会学術総会 (第 88 回) (神戸), 2015. 5.
- 36) 原田和弘, 橋口 宏, 岩下 哲, 大久保敦, 萩原祐介, 中嶋隆夫, 高井信朗: 上腕骨近位部骨折に対する人工骨頭置換術後成績不良因子の検討. 日本整形外科学会学術総会 (第 88 回) (神戸), 2015. 5.
- 37) 岩下 哲, 橋口 宏, 星川直哉, 大久保敦, 高井信朗: 腱板断裂における脂肪変性の臨床的特徴に関する検討. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (第 7 回) (札幌), 2015. 6.
- 38) 岩下 哲, 橋口 宏, 星川直哉, 大久保敦, 高井信朗: 鏡視下腱板修復術 (ARCR) における術後疼痛コントロールに関する検討. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (第 7 回) (札幌), 2015. 6.
- 39) 大久保敦, 橋口 宏, 岩下 哲, 高井信朗: 高齢者 (70 歳以上) における腱板断裂例の特徴. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (第 7 回) (札幌), 2015. 6.
- 40) 佐竹美彦, 友利裕二, 澤泉卓哉, 小寺訓江, 南野光彦, 園木謙太郎, 高井信朗: 内側上顆骨片の関節内嵌入により徒手整復が不能であった小児上腕骨内側上顆骨折の 1 例. 日本骨折治療学会 (第 41 回) (奈良), 2015. 6.
- 41) 友利裕二, 澤泉卓哉, 南野光彦, 高井信朗: 小児上腕骨外顆骨折の治療成績 後外側 vs 前外側進入法. 日本骨折治療学会 (第 41 回) (奈良), 2015. 6.
- 42) 友利裕二, 澤泉卓哉, 南野光彦, 高井信朗: 骨折部の転位が軽度な高齢者上腕骨通顆骨折 3 例に対する保存治療. 日本骨折治療学会 (第 41 回) (奈良), 2015. 6.
- 43) 園木謙太郎, 友利裕二, 小原良規, 澤泉卓哉, 南野光彦, 小寺訓江, 佐竹美彦, 高井信朗: LT 靭帯修復を行い良好な成績が得られた経舟状骨月状骨周囲脱臼の 1 例. 日本骨折治療学会 (第 41 回) (奈良), 2015. 6.
- 44) 松井秀平, 眞島任史¹⁾, 久光 愛¹⁾, 杉原俊弘¹⁾, 高井信朗 ⁽¹⁾ 国際医療福祉大学病院 整形外科: 当院における TKA 術後の VTE 発生率の検討. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (第 7 回) (札幌), 2015. 6.
- 45) 北川泰之, 角田 隆¹⁾, 宮本雅史, 高井信朗 ⁽¹⁾ 金町中央病院整形外科: 初診時原発不明がん骨転移の診断. 日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学会 (第 48 回) (香川), 2015. 7.
- 46) 北川泰之, 角田 隆¹⁾, 宮本雅史, 玉井 仁²⁾, 高井信朗 ⁽¹⁾ 金町中央病院整形外科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院放射線科: 肩甲骨頸部に発生した Intraosseous pneumatocyst の 2 例. 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 (第 48 回) (香川), 2015. 7.
- 47) 丸山 剛, 高井信朗, 宮本雅史, 北川泰之, 南野光彦, 角田 隆: 多発性腱鞘巨細胞腫の 2 症例. 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 (第 48 回) (香川), 2015. 7.
- 48) 家田俊也: 腓骨の整復. 茨城足の外科研究会 (第 5 回) (茨城), 2015. 8.
- 49) 家田俊也: 内反型変形性足関節症と外反型変形性足関節症に遠位脛骨斜め骨切り術 (DToo) を行った 2 例. 茨城足の外科研究会 (第 5 回) (茨城), 2015. 8.
- 50) 岩下 哲, 橋口 宏, 星川直哉, 大久保敦, 高井信朗: Cuff Tear Arthropathy (CTA) に対する CTA head 人工骨頭置換術後の臨床成績の検討. 東日本整形災害外科学会 (第 63 回) (東京), 2015. 9.
- 51) 家田俊也: 変形性足関節の 2 例. 関東足の外科研究会 (第 15 回) (東京), 2015. 9.
- 52) 石井寛高¹⁾, 服部裕次郎¹⁾, 渡部 寛, 小澤一史¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学大学院医学研究科解剖学・神経生物学: C 末端欠損型エストロゲン受容体 α 変異体の恒常的活性化機構の解明. 日本神経内分泌学会 (第 42 回) (仙台), 2015. 9.
- 53) 大久保敦, 橋口 宏, 岩下 哲, 高井信朗: テニスによる陳旧性上腕骨小結節剥離骨折の 1 例. 日本整形外科学会スポーツ医学会学術集

- 会（第41回）（京都），2015. 9.
- 54) 植松卓哉, 河路秀巳, 大場良輔, 佐竹美彦, 渡部 寛, 星川直哉, 岡崎愛未, 高井信朗: 大腿骨近位部骨折術後の大腿骨インプラント周囲骨折に対して大腿骨用NCB人工関節周囲プレートシステムを使用した治療経験. 日本股関節学会学術集会（第42回）（大阪），2015. 10.
 - 55) 岩下 哲, 橋口 宏, 大久保敦, 星川直哉, 高井信朗: 腱板断裂例における肩甲上腕リズムの検討. 日本肩関節学会（第42回）（仙台），2015. 10.
 - 56) 家田俊也: 腓骨の整復. 茨城県整形外科集談会（第120回）（茨城），2015. 10.
 - 57) 家田俊也, 川口宏志, 寺本 司: 変形性足関節症に対する脛骨斜め骨切り術（DToo）の臨床成績. 日本足の外科学会（第40回）（千葉），2015. 10.
 - 58) 渡部 寛, 河路秀巳, 高橋謙治, 植松卓哉, 大場良輔, 佐竹美彦, 星川直哉, 岡崎愛未, 高井信朗: 近位固定型セメントレスシステムの設置アライメントの影響について. 日本股関節学会学術集会（第42回）（大阪），2015. 10.
 - 59) 岡崎愛未, 河路秀巳, 高橋謙治, 植松卓哉, 大場良輔, 佐竹美彦, 星川直哉, 渡部 寛, 小林俊之¹⁾, 高井信朗¹⁾ 奥多摩病院: 著明な骨棘形成による関節可動域制限を呈した3例の治療経験. 日本股関節学会学術集会（第42回）（大阪），2015. 10.
 - 60) 大久保敦, 橋口 宏, 岩下 哲, 高井信朗: リバース型人工肩関節置換術を施行した肩関節脱臼骨折の3例. 日本肩関節学会（第42回）（仙台），2015. 10.
 - 61) 大島康史, Joseph FF¹⁾ ¹⁾ NYU Langone Medical Center: “Lateral Flare” 大腿骨ステムを用いたセメントレス人工股関節全置換術: 平均14年間の使用経験. 日本股関節学会学術集会（第42回）（大阪），2015. 10.
 - 62) 望月祐輔¹⁾, 山下 聡¹⁾, 千葉朋希¹⁾, 高橋謙治, 高井信朗, 浅原弘嗣¹⁾ ¹⁾ 東京医科歯科大学 大学院システム発生再生医学分野: CRISPR/Cas system を用いた Sox9 enhancer の同定（会議録）. 日本整形外科学会基礎学術集会（第30回）（富山），2015. 10.
 - 63) 武 雅樹, 澤泉卓哉, 友利裕二, 原田和弘, 高井信朗: 小児モンテジア脱臼骨折に対してイリザロフ創外固定器を用いた手術的治療. 日本股関節学会学術集会（第42回）（大阪），2015. 10.
 - 64) 大場良輔, 河路秀巳, 高橋謙治, 植松卓哉, 佐竹美彦, 岡崎愛未, 星川直哉, 渡部 寛, 高井信朗: 当科における人工骨頭置換術後脱臼症例の検討. 日本股関節学会学術集会（第42回）（大阪），2015. 10.
 - 65) 家田俊也, 川口宏志, 高井信朗: 手根骨に対する Ilizarov Mini Fixator の使用経験. 日本最小侵襲整形外科学会（第21回）（東京），2015. 11.
 - 66) 片岡達紀, 飯澤典茂, 大島康史, 阿部一雅, 高井信朗: 脛骨後傾角と関節包後傾角の検討. 日本関節病学会（第43回）（札幌），2015. 11.
 - 67) 片岡達紀, 小寺訓江, 高井信朗: 第1中足骨関節内骨折に対してイリザロフミニ創外固定器を用いて加療した1例. 日本最小侵襲整形外科学会（第21回）（東京），2015. 11.
 - 68) 萩原祐介, 南野光彦, 橋口 宏, 中嶋隆夫, 岩下 哲, 大久保敦, 高井信朗: 母指CM関節症に対する3ヶ所の小皮切を用いた関節形成術. 日本最小侵襲整形外科学会（第21回）（東京），2015. 11.
 - 69) 萩原祐介, 南野光彦, 高井信朗: レーザードップラー血流計を用いて術中血流量変化を測定したレイノー病の1例. 日本マイクロサージャリー学会学術集会（第42回）（埼玉），2015. 11.
 - 70) 大島康史, 飯澤典茂, 松井秀平, 片岡達紀, 高林直也, 高井信朗: 人工関節置換術における大腿骨回旋軸決定のための superimposed template について. 関東膝を語る会（第42回）（東京），2015. 11.
 - 71) 星川直哉, 植松卓哉, 河路秀巳, 友利裕二, 阿部一雅, 片岡達紀, 南野光彦, 玉井健介¹⁾, 高井信朗¹⁾ 花と森の東京病院: ステム周囲骨折に対するNCB@Periprosthetic Femur System の使用経験. 日本最小侵襲整形外科学会（第21回）（東京），2015. 11.
 - 72) 佐竹美彦^{1,2)}, 河路秀巳²⁾, 南 和文^{2,4)}, 玉井健介^{1,2)}, 植松卓哉²⁾, 大場良輔²⁾, 小林俊之^{2,3)}, 星川直哉²⁾, 岡崎愛未²⁾, 高井信朗²⁾ ¹⁾ 花と森の東京病院 整形外科, ²⁾ 日本医科大学 整形外科, ³⁾ 奥多摩病院, ⁴⁾ 山王病院 整形外科: セラミックオンセラミック人工股関節置換術の術後10年成績. 日本股関節学会学術集会（第42回）（東京），2015. 11.
 - 73) 中嶋隆夫, 金 竜, 須藤悦宏, 宮本雅史, 高井信朗: XLIF 特有な侵入側大腿周囲症状の検討. 日本脊椎インストゥルメンテーション学会（第24回）（新潟），2015. 11.
 - 74) 佐竹美彦, 南野光彦, 小寺訓江, 友利裕二, 堀口 元, 萩原祐介, 園木謙太郎, 高井信朗: 不安定型PIP関節脱臼骨折に対する Pins and rubbers traction system の治療成績. 日本最小侵襲整形外科学会（第21回）（東京），2015. 11.
 - 75) 佐藤章子¹⁾, 中村 洋²⁾, 高橋謙治, 高井信朗¹⁾ 国立国際医療研究センター国府台病院, ²⁾ 医療法人財団順和会山王病院: 関節リウマチ肘に対する人工肘関節再置換術の治療成績. 日本関節病学会（第43回）（札幌），2015. 11.
 - 76) 堀口 元, 澤泉卓哉, 南野光彦, 小寺訓江, 友利裕二, 竹之内研二, 萩原祐介, 伊藤寿彦, 高井信朗: 小児上腕骨顆上骨折に対する梃子を利用した経皮的ピンニング（澤泉法）の経験. 日本最小侵襲整形外科学会（第21回）（東京），2015. 11.
 - 77) 小寺訓江, 南野光彦, 堀口 元, 友利裕二, 萩原祐介, 高井信朗: 手指に対する Ilizarov minifixator を用いた仮骨延長術の治療成績. 日本最小侵襲整形外科学会（第21回）（東京），2015. 11.

- 78) 武 雅樹, 友利裕二, 南野光彦, 小寺訓江, 高井信朗: 小児モンテジア脱臼骨折変形治療例に対するイリザロフ・ミニ創外固定器を用いた治療. 日本最小侵襲整形外科学会 (第 21 回) (東京), 2015. 11.
- 79) 片岡達紀, 森 淳, 飯澤典茂, 大島康史, 園木謙太郎, 高井信朗: 前十字靭帯再建術後治療に難渋した化膿性膝関節炎の 1 例. お茶の水膝・スポーツ懇話会 (第 25 回) (東京), 2015. 12.
- 80) 大島康史, 片岡達紀, 森 淳, 飯澤典茂, 園木謙太郎, 高井信朗: 前十字靭帯再建術後治療に難渋した化膿性膝関節炎の 1 例. お茶の水膝・スポーツ懇話会 (第 25 回) (東京), 2015. 12.
- 81) 家田俊也: 大塚法を要した足関節果部骨折. 関東足の外科研究会 (第 16 回) (東京), 2016. 1.
- 82) 萩原祐介, 南野光彦, 橋口 宏, 高井信朗: 重度肘部管症候群に対して一次的治療を行った 2 例. 東日本手外科研究会 (第 30 回) (横浜), 2016. 1.
- 83) 佐竹美彦, 南野光彦, 小寺訓江, 友利裕二, 園木謙太郎, 高井信朗: 環指 PIP 関節開放骨折に対して肋骨助軟骨移植を行った 1 例. 東日本手外科研究会 (第 30 回) (横浜), 2016. 1.
- 84) 家田俊也: 踵骨骨折の 1 例. 茨城足の外科研究会 (第 6 回) (茨城), 2016. 2.
- 85) 渡部 寛, 高橋謙治, 石井寛高¹⁾, 小澤一史¹⁾, 高井信朗 (¹⁾ 日本医科大学大学院医学研究科解剖学・神経生物学): 変形性膝関節症の滑膜ステロイド受容体発現量は BMI と逆相関する. 日本軟骨代謝学会 (第 29 回) (広島), 2016. 2.
- 86) 岡崎愛未, 河路秀巳, 植松卓哉, 佐竹美彦, 星川直哉, 渡部 寛, 高井信朗: 股関節脱臼骨折を伴った多発外傷の 1 例. 関東股関節懇話会 (第 44 回) (東京), 2016. 2.
- 87) 大島康史, Joseph FF¹⁾, 高井信朗 (¹⁾ NYU Langone Medical Center): 後十字靭帯完全剥離 CR TKA による後方制動性の変化. 日本人工関節学会 (第 46 回) (大阪), 2016. 2.
- 88) 大島康史, 飯澤典茂, 松井秀平, 片岡達紀, 篠塚洋祐, 高井信朗: 人工関節置換術における大腿骨回旋軸決定のための superimposed template について. 日本人工関節学会 (第 46 回) (大阪), 2016. 2.
- 89) 大島康史, 片岡達紀, 飯澤典茂, 阿部一雅, 高井信朗: 脛骨後傾角と関節包後傾角の検討. 日本人工関節学会 (第 46 回) (大阪), 2016. 2.
- 90) 佐竹美彦¹⁾, 友利裕二, 南野光彦, 小寺訓江, 萩原祐介, 高井信朗 (¹⁾ 花と森の東京病院 整形外科): 小児上腕骨内側上顆骨折に対する手術治療の治療成績. 日本肘関節学会学術集会 (第 28 回) (岡山), 2016. 2.
- 91) 飯澤典茂, 大島康史, 松井秀平, 片岡達紀, 篠塚洋祐, 高井信朗: 人工関節置換術における大腿骨回旋軸決定のための superimposed template について. 日本人工関節学会 (第 46 回) (大阪), 2016. 2.
- 92) 水野祥寛, 北川泰之, 宮本 暖, 今野俊介, 高井信朗: 両足に発生した tumoral calcinosis の 1 例. 関東整形災害外科学会 (第 680 回) (埼玉), 2016. 2.
- 93) 園木謙太郎: 遠位 1/3 が欠損した小指基節骨開放骨折の 1 例. 東京手・肘の外科研究会 (第 53 回) (東京), 2016. 2.
- 94) 家田俊也, 川口宏志: 変形性膝関節症に対する脛骨斜め骨切り術 (Tibial Condylar Valgus Osteotomy) の臨床成績. 日本創外固定骨延長学会 (第 29 回) (金沢), 2016. 3.

論 文

[追加分]

追加分原著:

- 1) Oshima Y, Joseph FF¹⁾ (¹⁾ NYU Langone Medical Center): Mechanical failure of metal-polyethylene sandwich liner in metal-on-metal total hip replacement. *Journal of materials science* 2015; 26 (1): 5383-5383.
- 2) 大久保敦, 橋口 宏, 岩下 哲, 高井信朗: 肩関節拘縮における上肢拳上時の体幹重心移動に関する検討. *東日本整形災害外科学会雑誌* 2015; 27 (1): 66-70.

追加分その他:

- 1) 南野光彦, 澤泉卓哉, 小寺訓江, 友利裕二, 高井信朗: Q&A 小児肘関節横分散脱臼. *整形外科* 2015; 66 (3): 253-254.

著 書

追加分:

- 1) 北川泰之: [分担] 総論 A. 軟部骨腫瘍の病理と臨床像. *細胞診ガイドライン. 2 乳腺・皮膚・軟部骨* (公益社団法人 日本臨床細胞学会), 2015; pp200-201, 金原出版株式会社.
- 2) 北川泰之: [分担] 総論 B. 軟部骨腫瘍細胞診の手技, 臨床意義 (診断精度). *細胞診ガイドライン. 2 乳腺・皮膚・軟部骨* (公益社団法人 日本臨床細胞学会), 2015; pp202-202, 金原出版株式会社.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) 星川直哉, 河路秀巳, 小林俊之¹⁾, 植松卓哉, 大場良輔, 佐竹美彦, 渡邊 寛, 岡崎愛未, 高井信朗 (1) 奥多摩町国民健康保険 奥多摩病院 整形外科)：人工股関節置換術における術中自己血回収効率に与える因子の検討：単施設コホート研究. 日本股関節学会学術集会 (第 40 回) (広島), 2013. 11.
- 2) 友利裕二, 澤泉卓哉, 南野光彦, 高井信朗：前外側進入法を用いた小児上腕骨外顆骨折の治療成績. 日本肘関節学会学術集会 (第 27 回) (沖縄), 2015. 2.
- 3) 岩下 哲, 橋口 宏, 原田和弘, 萩原祐介, 大久保敦, 星川直哉, 高井信朗：腱板断裂例における肩甲骨異常運動の検討. 関東整形災害外科学会 (第 55 回) (埼玉), 2015. 3.
- 4) 原田和弘, 橋口 宏, 岩下 哲, 大久保敦, 高井信朗：リバース型人工肩関節置換術を施行した陳旧性肩関節脱臼骨折の 2 例. 関東整形災害外科学会 (第 55 回) (埼玉), 2015. 3.

追加分シンポジウム：

- 1) 宮本雅史：腰痛症に対する運動療法の効果. 日本運動器科学会 (第 27 回) (宮崎), 2014. 7.

20. 女性生殖発達病態学分野

[付属病院女性診療科・産科]

研究概要

周産期部門、婦人科腫瘍部門、生殖内分泌部門、女性ヘルスケア部門、低侵襲手術部門の各部門でそれぞれ精力的に研究が行われた。周産期部門では、多くの不育症治療症例における周産期管理に関して、詳細な解析を行った。また、子宮頸部円錐切除後の新たな子宮頸管縫縮術について報告した。婦人科腫瘍部門では、手術においては腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術や広汎子宮全摘術における神経温存術式の詳細な検討を行い、化学療法においては、分子標的薬やカルボプラチンの脱感作療法について症例を蓄積して報告した。生殖内分泌部門では、不育症症例における各種自己抗体、凝固因子などを検討し予後との関連を解析し報告した。女性ヘルスケア部門、低侵襲手術部門では、当院から先進医療に申請していた骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨腔固定術が、保険収載されることになった。また、子宮体癌に対してはすでに腹腔鏡下手術を施行しており、今後は子宮頸癌に対しても腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術の導入を検討している。以上、各部門において活発に研究活動が行われており、その成果については、本邦および海外の学術集会および論文にて報告を行った。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Kuroki M, Yoneyama K, Watanabe A, Fukami T, Matsushima T, Katsumata N, Takeshita T : Rhabdomyosarcoma of the Uterus : A Case Report. Journal of Nippon Medical School 2015 ; 82 (5) : 218-219.
- 2) 桑原慶充, 竹下俊行 : 早産の予知・予防の新たな展開 : 子宮頸部円錐切除後の早産発症と予防. 臨床婦人科産科 2015 ; 69 (3) : 327-333.
- 3) 内山美穂子, 桑原慶充, 白井有香, 中尾仁彦, 米澤美令, 大内 望, 澤倫太郎, 竹下俊行 : 非定型的な子宮筋層切開を行った, 前壁付着の低置胎盤の1例. 東京産科婦人科学会誌 2015 ; 64 (2) : 224-228.
- 4) 小野修一, 竹下俊行 : Stop the 流産子宮奇形と不育症. 産婦人科の実際 2015 ; 64 (6) : 783-789.
- 5) 神戸沙織, 中井章人 : 周産期救急の初期対応 : そのポイントとピットフォール 産科編疾患 : いかにも的確に対応するか子宮破裂 : 娩出までのコツと落とし穴. 周産期医学 2015 ; 45 (6) : 771-775.
- 6) 齋藤桃子, 黒瀬圭輔, 山本晃人, 川瀬里衣子, 杉田洋佑, 米山剛一, 竹下俊行 : 直接トロンピン阻害剤内服中に大量性器出血をきたし緊急手術を要した子宮体癌の1例. 東京産科婦人科学会誌 2015 ; 64 (3) : 447-450.
- 7) 中尾仁彦, 明楽重夫, 関根仁樹, 小野修一, 大内 望, 峯 克也, 市川雅男, 竹下俊行 : 卵巣チョコレート嚢胞術後再発予防におけるジェノゲスト長期投与の有効性の検討. 日本エンドメトリオーシス学会誌 2015 ; 36 (7) : 101-103.
- 8) 関根仁樹, 明楽重夫, 可世木華子, 小野修一, 峯 克也, 市川雅男, 竹下俊行 : 当院での膣子宮内膜症に対する手術療法について. 日本エンドメトリオーシス学会誌 2015 ; 36 (7) : 180-183.
- 9) 明楽重夫 : 産科手術 実地臨床のコツ妊娠中 卵管妊娠手術 : 妊孕性を考慮して. 周産期医学 2015 ; 45 (8) : 1051-1055.
- 10) 竹下俊行, 小野修一 : いま, 性分化とその異常を考える性器奇形の分類と診断・治療. 産婦人科の実際 2015 ; 64 (10) : 1275-1281.
- 11) 坂田明子, 桑原慶充, 米澤美令, 内山美穂子, 中尾仁彦, 白井有香, 大内 望, 黒瀬圭輔, 澤倫太郎, 竹下俊行 : 妊娠第2三半期に発症した卵管捻転の1例. 東京産科婦人科学会誌 2015 ; 64 (4) : 576-580.
- 12) 関根仁樹, 市川雅男, 可世木華子, 小野修一, 峯 克也, 明楽重夫 : 婦人科腹腔鏡手術の最前線骨盤臓器脱に対する腹腔鏡手術 : 今注目されている腹腔鏡下仙骨腔固定術. 産科と婦人科 2015 ; 82 (11) : 1235-1241.
- 13) 明楽重夫 : 腹腔鏡下仙骨腔固定術 (Laparoscopic sacrocolpopexy, LSC) の新展開. 日本女性骨盤底医学会誌 2015 ; 12 (12) : 9-12.
- 14) 黒瀬圭輔, 竹下俊行 : 第2章 婦人科腫瘍分野 D. 胚細胞腫瘍, 性索間質性腫瘍 2. 性索間質性腫瘍 (悪性). 産科と婦人科 2016 ; 83 (増刊号) : 171-173.
- 15) 大内 望, 竹下俊行 : 周産期と死亡を考える流産・習慣流産の疫学. 周産期医学 2016 ; 46 (3) : 257-260.

(2) 総説：

- 1) 市川雅男, 明楽重夫, 関根仁樹, 小野修一, 峯 克也, 竹下俊行 : 深部子宮内膜症の手術療法 深部子宮内膜症 術前診断の夜明け. 日本エンドメトリオーシス学会誌 2015 ; 36 (7) : 77-81.
- 2) 明楽重夫 : 卵管妊娠手術 妊孕性を考慮して. 周産期医学 2015 ; 45 (8) : 1051-1055.
- 3) 齋藤英和¹⁾, 石原 理²⁾, 久具宏司³⁾, 久保田俊郎⁴⁾, 桑原 章⁵⁾, 澤倫太郎, 阪埜浩司⁶⁾ (1) 国立成育医療研究センター, 2) 埼玉医科大学, 3) 東京都立墨東病院, 4) 東京医科歯科大学, 5) 徳島大学, 6) 慶應義塾大学) : 平成26年度倫理委員会 登録・調査委員会報告 (2013年度分の体外受精・胚移植等の臨床実施成績および2015年7月における登録施設名). 日本産科婦人科学会誌 2015 ; 67

(9) : 2077-2121.

4) 明楽重夫 : 重度子宮内膜症. 臨床婦人科産科 2016 ; 70 (2) : 198-204.

(3) 研究報告書 :

- 1) 今村 聡, 澤倫太郎, 水谷 渉 : 平成 26 年度総括研究報告書. 高齢化社会における死因究明の在り方に関する研究. 厚生労働化学研究費補助金 (厚生労働科学特別研究事業) 2015.
- 2) 松山晃文, 石井正三, 澤倫太郎, 王子野麻代 : 難病指定医研修プログラムの作成に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患等克服研究事業 難治性疾患等政策研究事業) 分担研究報告書 2015.

著 書

- 1) 明楽重夫 : [分担] 腹腔鏡手術の意義と必要物品. 動画で見る骨盤臓器脱の腹腔鏡手術 - 仙骨腔固定術を中心に - (明楽重夫), 2015 ; pp2-11, メジカルビュー社.
- 2) 明楽重夫, 市川雅男 : [分担] LSC の歴史と適応. 動画で見る骨盤臓器脱の腹腔鏡手術 - 仙骨腔固定術を中心に - (明楽重夫), 2015 ; pp38-45, メジカルビュー社.
- 3) 市川雅男 : [分担] LSC の基本手技② 病態に応じた術式最適化 プロトコル : LSC-Fit. 動画で見る骨盤臓器脱の腹腔鏡手術 - 仙骨腔固定術を中心に - (明楽重夫), 2015 ; pp66-93, メジカルビュー社.
- 4) 竹下俊行 : [分担] 性成熟期の不正性器出血, 機能性子宮出血. 今日の治療指針 - 私はこう治療している (山口 徹, 北原光夫), 2016 ; pp1299-1300, 医学書院.
- 5) 明楽重夫 : [分担] 良性の卵巣腫瘍・類腫瘍. 産科婦人科疾患最新の治療 2016-2018, 2016 ; pp299-301, 南江堂.
- 6) 大内 望, 竹下俊行 : [分担] 流産・習慣流産の疫学. 周産期医学, 2016 ; pp257-260, 東京医学社.

学会発表

(1) シンポジウム :

- 1) 明楽重夫 : 深部子宮内膜症に対する系統的機能温存手術 - 安全性と根治性の両立をめざして -. 日本産科婦人科内視鏡学会 (第 55 回) (横浜), 2015. 9.
- 2) 黒瀬圭輔 : 技術認定制度 : 審査員はここをみる. 日本産科婦人科内視鏡学会 (第 55 回) (横浜), 2015. 9.
- 3) 明楽重夫 : 認定施設におけるトレーニングが必要という立場から. 日本内視鏡外科学会 (第 28 回), 2015. 12.

(2) ワークショップ :

- 1) 山本晃人, 明楽重夫, 黒瀬圭輔, 米山剛一, 川瀬里衣子, 井ノ上逸朗¹⁾, 竹下俊行 (¹⁾ 国立遺伝学研究所人類遺伝研究部門) : 卵巣チョコレート嚢胞における遺伝子異常の解析. 日本産科婦人科学会 (第 67 回) (横浜), 2015. 4.
- 2) 桑原慶充, 杉田洋佑, 内山美穂子, 白井有香, 中尾仁彦, 米澤美令, 大内 望, 澤倫太郎, 中井章人, 竹下俊行 : 培養ヒト子宮頸部腺維芽細胞における LPS 誘導性分子動態に対するプロゲステロンの効果. 日本産科婦人科学会 (第 67 回) (横浜), 2015. 4.
- 3) 市川雅男 : ダブルメッシュ腹腔鏡下仙骨腔固定術はゴールドスタンダード? : 後壁メッシュの是非について. 日本女性骨盤底医学会 (第 17 回) (東京), 2015. 8.
- 4) 市川雅男, 明楽重夫, 関根仁樹, 可世木華子, 小野修一, 峯 克也, 竹下俊行 : 骨盤臓器脱戦国時代をスマートに生きる方法 : LSC-fit とは?. 日本産科婦人科内視鏡学会 (第 55 回) (横浜), 2015. 9.
- 5) 倉品隆平, 神戸沙織, 間瀬有里, 石川 源, 瀧澤俊広¹⁾, 竹下俊行 (¹⁾ 日本医大分子解剖学) : 19 染色体上にクラスターを形成する胎盤特異的 miRNA について. 日本胎盤学会 (第 23 回)・日本絨毛性疾患研究会 (第 33 回) (東京), 2015. 11.

(3) 一般講演 :

- 1) 深見武彦, 立山尚子, 針金幸代, 佐藤杏月, 間瀬有里, 松村好克, 伊藤友希, 松島 隆, 朝倉啓文, 竹下俊行 : 妊娠中後期における子宮下節開大時期と頸管長の変化 : 正期産例と早産例の比較. 日本産科婦人科学会 (第 67 回), 2015. 4.
- 2) 伊藤友希, 土居大祐, 飯田朝子, 黒木陸実, 川端伊久乃, 米山剛一, 松田正典¹⁾, 勝俣範之¹⁾, 許田典男²⁾, 北山康彦²⁾, 朝倉啓文, 竹下俊行 (¹⁾ 日本医大腫瘍内科学教室, ²⁾ 日本医大病理学教室) : 子宮内膜組織診で疑われた子宮横紋筋肉腫の 1 例. 日本婦人科腫瘍学会 (第 57 回) (盛岡), 2015. 8.
- 3) 脇田美紗, 桑原慶充, 白井有香, 中尾仁彦, 吉川沙織, 米澤美令, 大内 望, 倉品隆平, 澤倫太郎, 竹下俊行 : 疱疹状膿痂疹との鑑別を要した, リトドリン塩酸塩による膿疱型薬疹の 1 例. 関東連合産科婦人科学会 (第 130 回) (幕張), 2015. 10.
- 4) 深見武彦, 米山剛一, 竹下俊行 : 妊娠中期中絶後に大量出血を来した穿通胎盤の 1 例. 日本胎盤学会 (第 23 回)・日本絨毛性疾患研究会 (第 33 回) (東京), 2015. 11.
- 5) Ichikawa M, Sekine M, Ono S, Mine K, Akira S, Takeshita T : Outcomes of Hybrid Laparoscopic Sacrocolpopexy for Pelvic Organ Prolapse With Severe Cystocele. American Association of Gynecologic Laparoscopists 2015 (Las Vegas), 2015. 11.
- 6) Ono S, Mine K, Kuwabara Y, Akira S, Takeshita T : Surgical Treatment Outcomes in Patients With Recurrent Pregnancy Loss

- Attributed to Septate Uterus. American Association of Gynecologic Laparoscopists2015 (Lasvegas), 2015. 11.
- 7) Mine K, Ichikawa M, Sekine M, Kaseki H, Ono S, Akira S, Takeshita T : An Easy and Safe Approach to the Minimally Invasive Laparoscopic Treatment to Dermoid Cysts : The Mimic Laparoscopic Surgery With Bathtub Method. American Association of Gynecologic Laparoscopists2015 (Lasvegas), 2015. 11.
 - 8) Ichikawa M, Sekine M, Ono S, Mine K, Akira S, Takeshita T : Hybrid Laparoscopic Sacrocolpopexy for Pelvic Organ Prolapse With Severe Cystocele. American Association of Gynecologic Laparoscopists2015 (Lasvegas), 2015. 11.
 - 9) Sekine M, Ichikawa M, Wada H, Ono S, Mine K, Akira S, Takeshita T : Device for Safely Removing a Placed Mesh for Pelvic Organ Prolapse. American Association of Gynecologic Laparoscopists2015 (Lasvegas), 2015. 11.
 - 10) 大内 望, 桑原慶充, 内山美穂子, 杉田洋佑, 白井有香, 米澤美令, 澤倫太郎, 竹下俊行 : 経腹的アプローチにて子宮頸管縫縮術を施行した2例. 日本周産期・新生児医学会 (第51回) (福岡), 2015. 7.
 - 11) 佐野めぐみ, 可世木華子, 関根仁樹, 渡邊建一郎, 小野修一, 市川雅男, 明楽重夫, 竹下俊行 : 急性腹症を来す卵巣チョコレート嚢胞治療決定要因の検討. 東京産科婦人科学会 (第377回) (東京), 2016. 2.
 - 12) Yoneyama K, Sekiguchi A, Matsushima T, Kawase R, Nakai A, Asakura H, Takeshita T : Clinical characteristics of maternal deaths : An experience of 30 years. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 13) 浜野愛理, 明楽重夫, 小野修一, 大内 望, 峯 克也, 市川雅男, 竹下俊行 : 子宮腺筋症へのレボノルゲストレル徐放型子宮内避妊システムのフォローアップ. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜),
 - 14) 高屋 茜, 米山剛一, 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 内藤善哉¹⁾, 竹下俊行 (¹⁾ 日本医大統御機構診断病理学) : 卵巣癌プロテオーム解析による新規バイオマーカーの探索. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 15) 関根仁樹, 市川雅男, 可世木華子, 小野修一, 峯 克也, 明楽重夫, 竹下俊行 : 当院における TVM 手術 274 例の検討. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 16) 柿栖睦実, 飯田朝子, 稲垣知子, 川端英恵, 山口道子, 興石太郎, 西田直子, 川端伊久乃, 土居大祐, 朝倉啓文, 竹下俊行 : 子宮頸管腺領域の超音波訴権による自然陣痛発来日の予測. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 17) 道 東威²⁾, 稲田貢三子¹⁾, 島 友子¹⁾, 竹下俊行, 齋藤 滋¹⁾, 瀧澤俊広²⁾ (¹⁾ 富山大, ²⁾ 日本医大分子解剖) : 妊娠初期脱落膜 NK 細胞の miRNA-mRNA 発現に関する統合解析 (第2報). 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 18) 峯 克也, 吉田 淳¹⁾, 白井有香, 米澤美令, 小野修一, 富山僚子, 桑原慶充, 明楽重夫, 竹下俊行 (¹⁾ 木場公園クリニック) : 抗フォスファチジルエタノールアミン IgG 抗体の胚発生に対する影響. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 19) 林 昌子, 富山遼子, 大内 望, 峯 克也, 桑原慶充, 関口敦子, 中井章人, 竹下俊行, 苛原 稔¹⁾ (¹⁾ 厚労科学研究「生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術の標準化に関する研究」班) : ART データベースと周産期登録の連携 : ART 症例の周産期予後の解析に向けて. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 20) 村川裕子, 岩田衣世¹⁾, 小澤一史¹⁾, 竹下俊行 (¹⁾ 日本医大解剖学・神経生物学) : 雌ラット視床下部 KNDy ニューロンにおける Kisspeptin, NKB, DynA の局在に関する免疫電子顕微鏡観察. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 21) 山田 隆, 島津絢美¹⁾, 松橋智彦, 山本晃人, 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 土居大祐, 米山剛一, 鴨井青龍, 平野孝幸¹⁾, 小黒辰夫¹⁾, 竹下俊行 (¹⁾ 日本医大千葉北総病院病理) : 複雑型子宮内膜異型増殖症の高用量黄体ホルモン療法における組織像の電子顕微鏡的アプローチの試み. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 22) 黒瀬圭輔, 山本晃人, 川瀬里衣子, 関根仁樹, 小野修一, 峯 克也, 市川雅男, 米山剛一, 明楽重夫, 竹下俊行 : 当院における腹腔鏡下子宮体がん根治手術症例の検討. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 23) 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 杉田洋佑, 内山美穂子, 齋藤桃子, 山本晃人, 米山剛一, 竹下俊行 : 進行・再発卵巣癌に対するベバシズアプの使用経験. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 24) 中尾仁彦, 明楽重夫, 関根仁樹, 小野修一, 大内 望, 峯 克也, 市川雅男, 竹下俊行 : ジェスノゲストは卵巣チョコレート嚢胞術後再発予防に有用か?. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 25) 根岸靖幸¹⁾, 島 義雄²⁾, 西田直子³⁾, 朝倉啓文³⁾, 高橋秀実¹⁾, 竹下俊行 (¹⁾ 日本医大微生物学免疫学教室, ²⁾ 日本医大武蔵小杉病院新生児内科, ³⁾ 日本医大武蔵小杉病院) : 早産発来機転における DEC-205 陽性樹状細胞の役割. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 26) 米澤美令, 桑原慶充, 内山美穂子, 白井有香, 中尾仁彦, 大内 望, 澤倫太郎, 竹下俊行 : 切迫早産に対するリトドリン長期投与後の転帰と臨床背景の相関について. 日本産科婦人科学会 (第67回) (横浜), 2015. 4.
 - 27) 坂田明子, 米澤美令, 内山美穂子, 中尾仁彦, 白井有香, 大内 望, 桑原慶充, 黒瀬圭輔, 澤倫太郎, 竹下俊行 : 妊娠第2三半期に発症した卵管捻転の1例. 東京産科婦人科学会例会 (第374回) (東京), 2015. 5.
 - 28) 米山剛一, 寺崎美佳, 川瀬里衣子, 山本晃人, 黒瀬圭輔 : 破骨細胞様巨細胞を伴った子宮平滑筋肉腫の1例. 日本臨床細胞学会 (春期大会) (第56回) (松江), 2015. 6.
 - 29) 米澤美令, 桑原慶充, 新妻美紗, 杉田洋佑, 内山美穂子, 白井有香, 大内 望, 澤倫太郎, 竹下俊行 : 妊娠糖尿病における 75g 糖負

- 荷試験の一点異常，二点以上の異常の病態意義について，日本周産期・新生児医学会（第51回）（福岡），2015. 7.
- 30) 竹下俊行，藤倉暉道¹⁾，早坂明哲¹⁾，井上千鹿子¹⁾（¹⁾医学教育センター）：日本医科大学におけるFDワークショップ20年間の歩みと今後の展望．日本医学教育学会（第47回）（新潟），2015. 7.
- 31) 市川雅男，関根仁樹，小野修一，峯 克也，明楽重夫，竹下俊行：ハイブリッドLSCは安全か？．日本女性骨盤底医学会（第17回）（東京），2015. 8.
- 32) 今道小百合，山田 隆，齋藤桃子，重見大介，池田真利子，森 瑛子，中田真理世，松橋智彦，山本晃人，羽鳥 努¹⁾，渡辺美千明，鴨井青龍，竹下俊行（¹⁾日本医大千葉北総病院病理部）：術前診断が困難であった子宮体癌小腸転移の1例．日本婦人科腫瘍学会（第57回）（盛岡），2015. 8.
- 33) 森 瑛子，今道小百合，齋藤桃子，重見大介，浜野愛理，中田真理世，松橋智彦，山田 隆，渡辺美千明，鴨井青龍，羽鳥 努¹⁾，竹下俊行（¹⁾日本医大千葉北総病院病理）：当院で経験した子宮体癌腺肉腫の4例．日本婦人科腫瘍学会（第57回）（盛岡），2015. 8.
- 34) 山本晃人，黒瀬圭輔，川瀬里衣子，関根仁樹，市川雅男，米山剛一，明楽重夫，鴨井青龍，竹下俊行：腹腔鏡下子宮体がん根治手術におけるクリニカルパスの導入．日本婦人科腫瘍学会（第57回）（盛岡），2015. 8.
- 35) 高屋 茜，佐藤杏月，山本晃人，川瀬里衣子，黒瀬圭輔，米山剛一，内藤善哉¹⁾，竹下俊行（¹⁾日本医大統御機構病理診断学）：卵巣明細胞腺癌の診断バイオマーカーとしてのCystatinBの可能性．日本婦人科腫瘍学会（第57回）（盛岡），2015. 8.
- 36) 米山剛一，山本晃人，寺崎美佳¹⁾，川瀬里衣子，黒瀬圭輔，土居大祐，長濱清隆²⁾，大橋隆治²⁾，内藤善哉²⁾，竹下俊行（¹⁾日本医大解析人体病理，²⁾日本医大統御機構・腫瘍学）：組織所見が非定型的な子宮頸部肉腫．日本婦人科腫瘍学会（第57回）（盛岡），2015. 8.
- 37) 市川雅男，明楽重夫，関根仁樹，可世木華子，小野修一，峯 克也，竹下俊行：子宮内膜症治療の新たな羅針盤：NMS-E (Numerical Multi-scoring System of Endometriosis) は，我々をどこに導くのか？．日本産科婦人科内視鏡学会（第55回）（横浜），2015. 9.
- 38) 庄田有里，黒瀬圭輔，白井有香，関根仁樹，小野修一，山本晃人，川瀬里衣子，明楽重夫，竹下俊行：腹腔鏡下子宮筋腫核出術後に子宮平滑筋肉腫の腹腔内播種がみられた1例．東京産科婦人科学会（第375回）（東京），2015. 9.
- 39) 庄田有里，関根仁樹，白井有香，小野修一，山本晃人，川瀬里衣子，黒瀬圭輔，明楽重夫，竹下俊行：腹腔鏡下子宮筋腫核出後に生じた子宮平滑筋肉腫の1例．日本医大医学会（第83回）（東京），2015. 9.
- 40) 杉田洋佑，印出佑介，川端英恵，寺田佳世子，原田寛子，尾崎景子，山岸絵美，林 昌子，奥田直貴，石川 源，関口敦子，中井章人：救命し得た子宮型羊水塞栓症の3例．東京産科婦人科学会（第375回）（東京），2015. 9.
- 41) 山本晃人，川瀬里衣子，黒瀬圭輔，杉田洋佑，大和田桃子，米山剛一，竹下俊行：カルボプラチン脱感作投与法を施行した卵巣癌の1例．日本癌治療学会（第53回）（京都），2015. 10.
- 42) 川瀬里衣子，黒瀬圭輔，山本晃人，米山剛一，竹下俊行：進行・再発卵巣癌におけるペバシズマブの使用経験．日本癌治療学会（第53回）（京都），2015. 10.
- 43) 黒瀬圭輔，山本晃人，川瀬里衣子，米山剛一，竹下俊行：子宮体癌肺転移に対してMPA療法が著効した1例．日本癌治療学会（第53回）（京都），2015. 10.
- 44) 三浦 愛，関根仁樹，佐野めぐみ，可世木華子，渡邊建一郎，小野修一，峯 克也，市川雅男，明楽重夫，竹下俊行：全腹腔鏡下子宮全摘出術中に判明した両側重複腎盂尿管の1例．関東連合産科婦人科学会（第130回）（千葉），2015. 10.
- 45) 米山剛一，川瀬里衣子，峯 克也，山本晃人，黒瀬圭輔，寺崎美佳¹⁾，竹下俊行（¹⁾日本医大解析人体病理）：不正子宮出血を契機に診断されたplacental site noduleの1例．日本胎盤学会（第23回）・日本絨毛性疾患研究会（第33回）（東京），2015. 11.
- 46) 根岸靖幸¹⁾，島 義雄²⁾，高橋秀実¹⁾，竹下俊行（¹⁾日本医大微生物学免疫学教室，²⁾日本医大武蔵小杉病院新生児内科）：中期～後期早産発来機転における樹状細胞の役割．日本胎盤学会（第23回）・日本絨毛性疾患研究会（第33回）（東京），2015. 11.
- 47) 根岸靖幸¹⁾，市川智子，竹下俊行，高橋秀実¹⁾（¹⁾日本医大微生物学免疫学教室）：DEC-205陽性樹状細胞移入によって誘導されるマウス流産とiNKT細胞の関与．日本生殖免疫学会（第30回）（熊本），2015. 11.
- 48) 桑原慶充，片山 映¹⁾，米澤美令，大内 望，澤倫太郎，中井章人，竹下俊行（¹⁾日本医大分子生物学・生化学教室）：培養子宮頸部線維芽細胞におけるLPS誘導性早産病態関連分子の発現動態：諸条件下におけるプロゲステロン効果の検証．日本生殖免疫学会（第30回）（熊本），2015. 11.
- 49) 根岸靖幸¹⁾，市川智子，竹下俊行，高橋秀実¹⁾（¹⁾日本医大微生物学免疫学教室）：DEC-205陽性樹状細胞移入によって誘導されるマウス流産とiNKT細胞の関与．日本生殖免疫学会（第30回）（熊本），2015. 11.
- 50) 可世木華子，関根仁樹，渡邊建一郎，小野修一，市川雅男，鴨井青龍，明楽重夫，中井章人，竹下俊行：深部子宮内膜症の手術にあたって：当院における他科連携について．四水会（第374回）（東京），2015. 12.
- 51) 米山剛一，川瀬里衣子，山本晃人，黒瀬圭輔，寺崎美佳¹⁾，明楽重夫，竹下俊行（¹⁾日本医大解析人体病理）：polypoid endometriosis様の組織所見を呈した子宮頸部および直腸子宮内膜症の1例．日本エンドメトリオーシス学会（第37回）（熊本），2016. 1.
- 52) 可世木華子，明楽重夫，関根仁樹，渡邊建一郎，小野修一，峯 克也，市川雅男，竹下俊行：子宮内膜症性卵巣嚢胞術後のAMH推

- 移について. 日本エンドメトリオーシス学会 (第 37 回) (熊本), 2016. 1.
- 53) 関根仁樹, 市川雅男, 和田華子, 渡邊建一郎, 小野修一, 峯 克也, 明楽重夫, 竹下俊行: 子宮内膜症に対する新たな術前評価法 NMS-E の癒着評価は検者間で差はない. 日本エンドメトリオーシス学会 (第 37 回) (熊本), 2016. 1.
- 54) 市川雅男, 明楽重夫, 関根仁樹, 可世木華子, 渡邊建一郎, 小野修一, 竹下俊行: 深部子宮内膜症への外科的アプローチは TPO に気をつけて! 新しい術前診断のマナー NMS-E. 日本エンドメトリオーシス学会 (第 37 回) (熊本), 2016. 1.
- 55) 清田裕美, 庄田有里, 白井有香, 山本晃人, 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 竹下俊行: 両側水腎症を契機に発見された子宮頸部小細胞癌の 1 例. 東京産科婦人科学会 (第 376), 2016. 2.

学会発表

[追加分]

追加分一般講演:

- 1) 市川雅男, 明楽重夫, 関根仁樹, 小野修一, 峯 克也, 竹下俊行: ハイブリッド腹腔鏡下仙骨腔固定術の成績. 日本産科婦人科学会 (第 67 回) (横浜), 2014. 4.
- 2) 内山美穂子, 桑原慶充, 白井有香, 中尾仁彦, 米澤美令, 大内 望, 澤倫太郎, 竹下俊行: 非定型的な子宮筋層切開を行った, 前壁付着の低置胎盤の 1 例. 東京産科婦人科学会 (第 372 回) (東京), 2016. 12.
- 3) 庄田有里, 関根仁樹, 白井有香, 山本晃人, 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 明楽重夫, 中井章人, 竹下俊行: 腹腔鏡下筋腫核出術におけるモルセレーター使用の潜在性リスク. 四水会 (第 373 回) (東京), 2015. 7.

[武蔵小杉病院女性診療科・産科]

研究概要

本教室では周産期領域, 婦人科腫瘍領域を中心とした臨床的研究を行っている. 1) 従来から継続している子宮頸管腺領域像と妊娠予後関連について: 切迫早産例を対象とした頸管腺領域像消失所見とヒアルロン酸および妊娠予後との関連について新たな知見をえることができた. 2) 経膈超音波により内子宮口付近の羊水中に観察される「sludge」に着目した. この「sludge」と流早産のリスクの上昇について報告した. 3) 近年増加傾向にあるやせ妊婦と FGR との関連について: 特に痩せ妊婦が妊娠中に体重増加不良の場合 FGR のリスクが高いことを報告した. 4) 帝王切開術後の子宮瘢痕部薄非薄化を予防するための新しい術中の試みを実施中で良好な成果が集積されつつある. 5) 日本医科大学各附属病院における過去 31 年間 26 例の妊産婦死亡例を解析し, 羊水塞栓症が 7 例 (27. 0%) と最多であったことを明らかにした. また, 頭蓋内出血にて死亡した 2 例において 2 例とも脳動脈瘤の家族歴を有していたことも明らかとなった. 6) 子宮体癌におけるマイクロ RNA の役割について研究を継続し, miR-200a, miR-200b and miR-429 が onco-miRs として類内膜腺癌において *PTEN* gene を標的としていることを明らかにした. 7) 北里大学薬学部, BML 先端研究所との共同研究にて卵巣癌患者において特異な自己抗体を産生していることを明らかにした. これらは卵巣がん診断のバイオマーカーとして応用できると思われる.

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Takaya A^{1, 2)}, Peng W¹⁾, Ishino K¹⁾, Mitsuhiro K¹⁾, Yamamoto T³⁾, Wada R¹⁾, Takeshita T²⁾, Naito Z¹⁾ (1) Department of Integrated Diagnostic Pathology, (2) Division of Reproductive Medicine, Perinatology and Gynecologic Oncology, Graduate School of Medicine, (3) School of Pharmacy, Kinki University): Cystatin B as a potential diagnostic biomarker in ovarian clear cell carcinoma. *Int J Oncol.* 2015; 46 (4): 1573-1581.
- 2) Terasaki M¹⁾, Terasaki Y¹⁾, Yoneyama K²⁾, Kuwahara N¹⁾, Wakamatsu K¹⁾, Nagahama K¹⁾, Kunugi S¹⁾, Toshiyuki T²⁾, Shimizu A¹⁾ (1) Department of Analytic Human Pathology, (2) Department of Obstetrics and Gynecology): Uterine leiomyosarcoma with osteoclast-like giant cells associated with high expression of receptor activator of nuclear factor κ B ligand. *Hum Pathol.* 2015; 46 (11): 1679-1684.
- 3) Yoneyama K¹⁾, Sekiguchi A²⁾, Matsushima T¹⁾, Kawase R³⁾, Nakai A²⁾, Asakura H¹⁾, Takeshita T³⁾ (1) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, (2) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, (3) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School Hospital): Pregnancy-associated Deaths : 31-year Experience. *J Nippon Med Sch* 2016; 83 (1): 6-14.
- 4) Matsushima T, Asakura H: Huge ovarian endometrioma that grew after menopause: Case report. *J Obstet Gynaecol Res.* 2016; 42 (3): 350-352.
- 5) 深見武彦: 子宮峡部・頸部の超音波検査: 1st trimester における早産予測. *産婦人科の実際* 2015; 64 (12): 1879-1885.

(2) 総説：

- 1) 川端伊久乃：疾患：いかに明確に対応するか前置胎盤：診断を確実に。周産期医学 2015；45（6）：763-767.
- 2) 川端伊久乃：早産と黄体ホルモン。産科と婦人科別刷 2015；82（7）：759-764.

(3) 症例報告：

- 1) Peng-Xia W¹⁾, Kure S¹⁾, Ishino K¹⁾, Kurose K²⁾, Yoneyama K²⁾, Ryuichi W¹⁾, Zenya N¹⁾ (1) Department of Integrated Diagnostic Pathology, 2) Department of Obstetrics and Gynecology) : P16-positive continuous minimal deviation adenocarcinoma and gastric type adenocarcinoma in a patient with Peutz-Jeghers syndrome. Int J Clin Exp Pathol. 2015；8（5）：5877-5882.
- 2) Kuroki M¹⁾, Yoneyama K¹⁾, Watanabe A¹⁾, Fukami T¹⁾, Matsushima T¹⁾, Katsumata N²⁾, Takeshita T³⁾ (1) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, 2) Department of Medical Oncology, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, 3) Department of Obstetrics and Gynecology Nippon Medical school Hospital) : Rhabdomyosarcoma of the Uterus : A Case Report. J Nippon Med Sch 2015；82（5）：218-219.
- 3) 齋藤桃子¹⁾, 黒瀬圭輔¹⁾, 山本晃人¹⁾, 川瀬里衣子¹⁾, 杉田洋祐¹⁾, 米山剛一¹⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学附属病院 女性診療科・産科) : 直接トロンビン阻害剤内服中に大量性器出血をきたし緊急手術を要した子宮体癌の1例. 東京産科婦人科学会誌 2015；64（3）：447-450.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 黒瀬圭輔, 山本晃人, 川瀬里衣子, 米山剛一, 竹下俊行：子宮体癌肺転移に対してMPA療法が著効した1例. 第53回日本癌治療学会学術集会（京都府），2015. 10.
- 2) Yoneyama K, Sekiguchi A, Matsushima T, Kawase R, Nakai A, Asakura H, Takeshita T : Clinical characteristics of maternal deaths : An experience of 30 years. 日本産科婦人科学会学術講演会（第67回）（神奈川県），2015. 4.
- 3) 深見武彦, 立山尚子, 針金幸代, 佐藤杏月, 間瀬有里, 松村好克, 伊藤友希, 松島 隆, 朝倉啓文, 竹下俊行：妊娠中後期における子宮下筋開大時期と頸管長の変化：正期産例と早産例の比較. 日本産科婦人科学会学術講演会（第67回）（神奈川県），2015. 4.
- 4) 柿栖睦実, 飯田朝子, 稲垣知子, 川端英恵, 山口道子, 輿石太郎, 西田直子, 川端伊久乃, 土居大祐, 朝倉啓文, 竹下俊行：子宮頸管腺領域の超音波所見による自然陣痛発来日の予測. 日本産科婦人科学会学術講演会（第67回）（神奈川県），2015. 4.
- 5) 高屋 茜¹⁾, 米山剛一¹⁾, 川瀬里衣子¹⁾, 黒瀬圭輔¹⁾, 内藤善哉²⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学女性診療科・産科, 2) 日本医科大学統御機構診断病理学) : 卵巣癌プロテオーム解析による新規バイオマーカーの探索. 日本産科婦人科学会学術講演会（第67回）（神奈川県），2015. 4.
- 6) 長谷川潤一¹⁾, 中井章人¹⁾, 川端伊久乃¹⁾, 竹田善治¹⁾, 青木宏明¹⁾, 深見武彦¹⁾, 田嶋 敦¹⁾, 宮越 敬¹⁾, 大槻克文¹⁾, 篠塚憲男¹⁾, 松田義雄¹⁾, 岩下光利¹⁾, 岡井 崇¹⁾, 大井理恵¹⁾, 牧野真太郎¹⁾, その他3名 (1) 日本早産予防研究会) : 妊娠中期の前置胎盤の超音波診断率の向上をめざした前方視的多施設観察研究. 日本産科婦人科学会学術講演会（第67回）（神奈川県），2015. 4.
- 7) 山本晃人¹⁾, 明楽重夫¹⁾, 黒瀬圭輔¹⁾, 米山剛一¹⁾, 川瀬里衣子¹⁾, 井ノ上逸朗²⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学女性診療科・産科, 2) 国立遺伝学研究所人類遺伝研究部門) : 卵巣チョコレート嚢胞における遺伝子変異の解析. 日本産科婦人科学会学術講演会（第67回）（神奈川県），2015. 4.
- 8) 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 杉田洋祐, 内山美穂子, 齋藤桃子, 山本晃人, 米山剛一, 竹下俊行：進行・再発卵巣癌に対するペバシズマブの使用経験. 日本産科婦人科学会学術講演会（第67回）（神奈川県），2015. 4.
- 9) 山田 隆¹⁾, 島津絢美²⁾, 松橋智彦¹⁾, 山本晃人¹⁾, 川瀬里衣子¹⁾, 黒瀬圭輔¹⁾, 土居大祐¹⁾, 米山剛一¹⁾, 鴨井青龍¹⁾, 平野孝幸²⁾, 小黒辰夫²⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学女性診療科・産科婦人科, 2) 日本医科大学千葉北総病院病理) : 複雑型子宮内膜異型増殖症の高用量黄体ホルモン療法における組織像の電子顕微鏡的アプローチの試み. 日本産科婦人科学会学術講演会（第67回）（神奈川県），2015. 4.
- 10) 黒瀬圭輔, 山本晃人, 川瀬里衣子, 関根仁樹, 小野修一, 峯 克也, 市川雅男, 米山剛一, 明楽重夫, 竹下俊行：当院における腹腔鏡下子宮体がん根治手術症例の検討. 日本産科婦人科学会学術講演会（第67回）（神奈川県），2015. 4.
- 11) 寺崎美佳¹⁾, 寺崎泰弘¹⁾, 米山剛一²⁾, 長濱清隆¹⁾, 若松恭子¹⁾, 桑原尚美¹⁾, 功刀しのぶ¹⁾, 梶本雄介¹⁾, 漆山博和¹⁾, 國保成暁¹⁾, 竹下俊行²⁾, 清水 章¹⁾ (1) 日本医科大学 解析人体病理, 2) 日本医科大学女性診療科・産科) : 破骨細胞様巨細胞を伴う子宮平滑筋肉腫の1例. 第104回日本病理学会総会（名古屋），2015. 4.
- 12) 伊藤友希, 佐藤杏月, 飯田朝子, 針金幸代, 川端英恵, 高屋 茜, 黒木睦実, 川端伊久乃, 深見武彦, 松島 隆, 米山剛一, 朝倉啓文：分娩後急性心不全をきたした洞不全症候群合併妊娠の1例. 関東連合産科婦人科学会総会・学術集会（第129回）（東京），2015. 6.
- 13) 米山剛一¹⁾, 寺崎美佳²⁾, 川瀬里衣子¹⁾, 山本彰人¹⁾, 黒瀬圭輔¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院女性診療科・産科, 2) 日本医科大学解析人体病理) : 破骨細胞様巨細胞を伴った子宮平滑筋肉腫の1例. 日本臨床細胞学会総会（春期大会）（鳥取県），2015. 6.

- 14) 伊藤友希, 米山剛一, 佐藤杏月, 高屋 茜, 土居大祐: 子宮ポリープ状異型腺筋腫から発症した leiomyosarcoma の 1 例. 日本臨床細胞学会総会 (春期大会) (第 56 回) (鳥取県), 2015. 6.
- 15) 川瀬里衣子¹⁾, 山本彰人¹⁾, 黒瀬圭輔¹⁾, 米山剛一¹⁾, 松原美幸²⁾, 彭 為震²⁾, 和田龍一²⁾, 内藤善哉²⁾ (1) 日本医科大学女性診療科・産科, 2) 日本医科大学病理学教室): 傍大動脈リンパ節転移を認めた dysgerminoma の 1 例. 日本臨床細胞学会総会 (春期大会) (第 56 回) (鳥取県), 2015. 6.
- 16) 伊藤友希, 米山剛一, 深見武彦, 高屋 茜, 針金幸代, 黒木陸実, 佐藤杏月, 輿石太郎, 川端伊久乃, 松島 隆, 朝倉啓文: 妊娠 21 週に流産後大量子宮出血を呈した穿通胎盤の 1 例. 神奈川産科婦人科学会学術講演会 (第 410 回) (神奈川県), 2015. 7.
- 17) 沼崎令子¹⁾, 仲沢経夫¹⁾, 杉浦 賢¹⁾, 雨宮 清¹⁾, 米山剛一¹⁾, 木挽貢慈¹⁾, 小山秀樹¹⁾, 近藤春裕¹⁾, 佐々木康¹⁾, 茂田博行¹⁾, 新井努¹⁾, 土居大祐¹⁾, 村上 優¹⁾, 林 康子¹⁾, 平澤 猛¹⁾, その他 6 名 (1) 神奈川産科婦人科学会婦人科悪性腫瘍対策部): 平成 26 年度神奈川産科婦人科学会婦人科悪性腫瘍登録集計報告. 神奈川産科婦人科学会学術講演会 (第 410 回) (神奈川県), 2015. 7.
- 18) 柿栖睦実, 佐藤杏月, 松村好克, 古市直子, 深見武彦, 松島 隆, 米山剛一, 朝倉啓文, 竹下俊行: 経陰超音波子宮頸管所見を用いた term の自然陣発日の予測. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会 (第 51 回) (福岡県), 2015. 7.
- 19) 米山剛一, 関口敦子, 松島 隆, 深見武彦, 中井章人, 朝倉啓文, 竹下俊行: 過去 30 年の経験から得られた妊産婦死亡症例の臨床的検討. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会 (第 51 回) (福岡県), 2015. 7.
- 20) 川端伊久乃, 深見武彦, 伊藤友希, 柿栖睦実, 佐藤杏月, 松島 隆, 朝倉啓文, 米山剛一, 竹下俊行: 高齢妊婦の分娩転帰に関する検討. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会 (第 51 回) (福岡県), 2015. 7.
- 21) 伊藤友希, 山口道子, 川端伊久乃, 柿栖睦実, 佐藤杏月, 間瀬有里, 松村好克, 深見武彦, 松島 隆, 米山剛一, 朝倉啓文, 竹下俊行: 妊婦管理に苦慮した巨大子宮腺筋症合併妊娠の 1 例. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会 (第 51 回) (福岡県), 2015. 7.
- 22) 松村好克¹⁾, 松川昇平¹⁾, 矢代健太郎¹⁾, 島 義雄¹⁾, 深見武彦¹⁾, 松島 隆¹⁾, 朝倉啓文¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院周産期小児医療センター): 無呼吸発作を契機に診断された脊椎肋骨異形成症の 1 例. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会 (第 51 回) (福岡県), 2015. 7.
- 23) 米山剛一¹⁾, 山本晃人²⁾, 寺崎美佳³⁾, 川瀬里衣子²⁾, 黒瀬圭輔²⁾, 土居大祐¹⁾, 長濱清隆³⁾, 大橋隆治⁴⁾, 内藤善哉⁴⁾, 竹下俊行²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉女性診療科・産科, 2) 日本医科大学付属病院女性診療科・産科, 3) 日本医科大学解析人体病理, 4) 日本医科大学統御機構・腫瘍学): 組織所見が非定型的な子宮頸部肉腫. 日本婦人科腫瘍学会学術講演会 (第 57 回) (岩手県), 2015. 8.
- 24) 高屋 茜¹⁾, 佐藤杏月¹⁾, 山本晃人¹⁾, 川瀬里衣子¹⁾, 黒瀬圭輔¹⁾, 米山剛一¹⁾, 内藤善哉²⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学女性診療科・産科, 2) 日本医科大学統御機構病理診断学科): 卵巣明細胞腺癌の診断バイオマーカーとしての CystatinB の可能性. 日本婦人科腫瘍学会学術講演会 (第 57 回) (岩手県), 2015. 8.
- 25) 山本晃人, 黒瀬圭輔, 川瀬里衣子, 関根仁樹, 市川雅男, 米山剛一, 明楽重夫, 鴨井青龍, 竹下俊行: 腹腔鏡下子宮体癌根治手術におけるクリニカルパスの導入. 日本婦人科腫瘍学会学術講演会 (第 57 回) (岩手県), 2015. 8.
- 26) 伊藤友希¹⁾, 土居大祐¹⁾, 飯田朝子¹⁾, 黒木陸実¹⁾, 川端伊久乃¹⁾, 米山剛一¹⁾, 松田正典²⁾, 勝俣範之²⁾, 許田典男³⁾, 北山康彦³⁾, 朝倉啓文¹⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学産婦人科科学教室, 2) 日本医科大学腫瘍内科学教室, 3) 日本医科大学病理学教室): 子宮内膜組織診で疑われた子宮横紋筋肉腫の 1 例. 日本婦人科腫瘍学会学術講演会 (第 57 回) (岩手県), 2015. 8.
- 27) 松村好克¹⁾, 伊藤友希¹⁾, 角田陽平¹⁾, 針金幸代¹⁾, 稲垣知子¹⁾, 高屋 茜¹⁾, 黒木陸実¹⁾, 佐藤杏月¹⁾, 間瀬有里¹⁾, 古市直子¹⁾, 深見武彦¹⁾, 松島 隆¹⁾, 米山剛一¹⁾, 竹下俊行¹⁾, 島 義雄²⁾, その他 3 名 (1) 日本医科大学女性診療科・産科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院新生児内科): 当院での品胎管理における産科と新生児科の連携. 神奈川産科婦人科学会学術講演会 (第 411 回) (神奈川県), 2015. 9.
- 28) 佐々木晶子, 角田陽平, 間瀬有里, 稲垣知子, 黒木陸実, 古市直子, 針金幸代, 高屋 茜, 佐藤杏月, 立山尚子, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一: 術前診断に苦慮した妊娠黄体腫の 1 例. 神奈川産科婦人科学会学術講演会 (第 411 回) (神奈川県), 2015. 9.
- 29) 針金幸代, 松島 隆, 伊藤有希, 飯田朝子, 川端英恵, 稲垣知子, 黒木陸実, 佐藤杏月, 山口道子, 間瀬有里, 古市直子, 深見武彦, 米山剛一, 竹下俊行: 産褥出血をきたした胎盤ポリープに対し VAZ 後に血流低下を確認し TCR を行った 1 例. 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 (第 55 回), 2015. 9.
- 30) 角田陽平, 飯田朝子, 針金幸代, 稲垣知子, 高屋 茜, 黒木陸美, 佐藤杏月, 間瀬有里, 深見武彦, 松島 隆, 米山剛一: 超音波断層法が虫垂炎の診断に有用であった妊娠 8 週妊婦の 1 例. 第 83 回日本医科大学医学会総会 (東京), 2015. 9.
- 31) 稲垣知子, 黒木陸実, 飯田朝子, 角田陽平, 針金幸代, 高屋 茜, 佐藤杏月, 間瀬有里, 古市直子, 深見武彦, 松島 隆, 米山剛一: 術前診断に難渋した卵巣成熟嚢胞性奇形腫破裂の 1 症例. 関東連合産科婦人科学会総会・学術集会 (第 130 回) (千葉県), 2015. 10.
- 32) 角田陽平, 飯田朝子, 稲垣知子, 高屋 茜, 黒木陸実, 佐藤杏月, 間瀬有里, 針金幸代, 古市直子, 深見武彦, 松島 隆, 米山剛一: 帝王切開後に急性心不全を発症した二絨毛膜二羊膜性双胎の 1 例. 関東連合産科婦人科学会総会・学術集会 (第 130 回) (千葉県), 2015. 10.

- 33) 米山剛一¹⁾, 黒木陸実¹⁾, 勝俣範之²⁾, 松島 隆¹⁾, 佐藤杏月¹⁾, 高屋 茜¹⁾, 針金幸代¹⁾, 伊藤有希¹⁾, 土居大祐¹⁾, 深見武彦¹⁾, 立山尚子¹⁾, 酒井 瞳²⁾, 朝倉啓文¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科, (2) 日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科): タモキシフェンが効果的であると考えられた再発卵巣癌の1症例. 日本癌治療学会学術集会 (第53回) (京都府), 2015. 10.
- 34) 山本晃人, 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 杉田洋佑, 大和田桃子, 米山剛一, 竹下俊行: カルボプラチン脱感作投与法を施行した卵巣癌の1例. 日本癌治療学会学術集会 (第53回) (京都府), 2015. 10.
- 35) 川瀬里衣子, 黒瀬圭輔, 山本晃人, 米山剛一, 竹下俊行: 進行・再発卵巣癌におけるペバシズマブの使用経験. 日本癌治療学会学術集会 (第53回) (京都府), 2015. 10.
- 36) 深見武彦, 米山剛一, 竹下俊行: 妊娠中期中絶後に大量出血を来した穿通胎盤の1例. 日本胎盤学会学術集会 (第23回) 日本絨毛性疾患研究会 (第33回) (東京都), 2015. 11.
- 37) 米山剛一¹⁾, 川瀬里衣子²⁾, 峯 克也²⁾, 山本晃人²⁾, 黒瀬圭輔²⁾, 寺崎美佳³⁾, 竹下俊行²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科, (2) 日本医科大学付属病院女性診療科・産科, (3) 日本医科解析人体病理): 不正子宮出血を契機に診断された placental site nodule の1例. 日本絨毛性疾患研究会 (第33回) (東京都), 2015. 11.
- 38) 倉品隆平¹⁾, 神戸沙織¹⁾, 間瀬有里¹⁾, 石川 源¹⁾, 瀧澤俊広²⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学産婦人科, (2) 日本医科大学大学院分子解剖学): 19染色体上にクラスターを形成する胎盤特異的 miRNA について. 日本胎盤学会学術集会 (第23回) 日本絨毛性疾患研究会 (第33回) (東京都), 2015. 11.
- 39) 針金永佳, 間瀬有里, 古市直子, 松村好克, 伊藤友希, 角田陽平, 針金幸代, 稲垣知子, 高屋 茜, 黒木陸実, 佐藤杏月, 深見武彦, 松島 隆, 島 義雄, 米山剛一: 羊水過多と acceleration の減少を認めた1症例. 神奈川産科婦人科学会学術講演会 (第412回) (神奈川県), 2015. 11.
- 40) 福永ヒトミ¹⁾, 望月瑠美¹⁾, 金子佳世¹⁾, 大槻昌子⁴⁾, 八木 孝⁴⁾, 石川真由美⁴⁾, 南 志朗²⁾, 立山尚子³⁾, 米山剛一³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院看護部, (2) 日本医科大学先端医学研究所生体機能制御学, (3) 日本医科大学武蔵小杉女性診療科・産科, (4) 日本医科大学武蔵小杉病院内分泌・糖尿病・動脈硬化内科): 妊娠糖尿病の反復例における患者の意識についての検討. 日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会 (第31回) (東京都), 2015. 11.
- 41) 佐々木晶子, 角田陽平, 間瀬有里, 稲垣知子, 黒木陸実, 古市直子, 針金幸代, 高屋 茜, 佐藤杏月, 立山尚子, 深見武彦, 松島隆, 米山剛一: 診断に難渋した pregnancy luteoma の1例. 平成27年度日本医科大学産婦人科学教室同窓会臨床研究会 (東京都), 2015. 12.
- 42) 松村好克¹⁾, 伊藤友希²⁾, 角田陽平²⁾, 針金幸代²⁾, 稲垣知子²⁾, 高屋 茜²⁾, 黒木陸実²⁾, 佐藤杏月²⁾, 間瀬有里²⁾, 古市直子²⁾, 深見武彦²⁾, 松島 隆²⁾, 米山剛一²⁾, 竹下俊行²⁾, 島 義雄¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院新生児内科, (2) 日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科): 武蔵小杉病院における品胎4症例の経験と管理の実績. 平成27年度日本医科大学産婦人科学教室同窓会臨床研究会 (東京都), 2015. 12.
- 43) 奥田直史, 針金幸代, 高屋 茜, 佐藤杏月, 松村好克, 角田陽平, 稲垣知子, 黒木陸実, 間瀬有里, 古市直子, 立山尚子, 深見武彦, 松島 隆, 米山剛一: ACE阻害薬にて妊娠30週に羊水過小が顕在化した1例. 平成27年度日本医科大学産婦人科学教室同窓会臨床研究会 (東京都), 2015. 12.

論文

[追加分]

追加分症例報告:

- 1) 内山美穂子¹⁾, 米山剛一, 川瀬里衣子, 加藤雅彦, 黒瀬圭輔, 竹下俊行 (1) 日本医科大学 産婦人科教室): 子宮内膜異型増殖症を併発した漿液性卵巣境界悪性腫瘍の1例. 東京産科婦人科学会誌 2015; 64 (1): 38-41.

追加分研究報告書:

- 1) 沼崎令子¹⁾, 仲沢経夫¹⁾, 杉浦 賢¹⁾, 雨宮 清¹⁾, 米山剛一¹⁾, 木挽貢慈¹⁾, 小山秀樹¹⁾, 近藤晴裕¹⁾, 佐々木康¹⁾, 茂田博行¹⁾, 新井努¹⁾, 土居大祐¹⁾, 村上 優¹⁾, 林 康子¹⁾, 平澤 猛¹⁾, et al. (1) 神奈川産科婦人科学会婦人科悪性腫瘍対策部): 平成26年度神奈川産科婦人科学会婦人科悪性腫瘍登録集計報告. 神奈川産科婦人科学会誌 2015; 52 (2): 20-26.

学会発表

追加分一般講演:

- 1) 米山剛一¹⁾, 川瀬里衣子²⁾, 山本晃人²⁾, 黒瀬圭輔²⁾, 寺崎美佳³⁾, 明楽重夫²⁾, 竹下俊行²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科, (2) 日本医科大学付属病院女性診療科・産科, (3) 日本医科大学解析人体病理): polypoid endometriosis 様の組織所見を呈した子宮頸部および直腸子宮内膜症の1例. 日本エンドメトリオーシス学会学術講演会 (第37回) (熊本県), 2015. 1.
- 2) 針金幸代, 高屋 茜, 伊藤友希, 角田陽平, 稲垣知子, 黒木陸実, 山口道子, 間瀬有里, 深見武彦, 松島 隆, 米山剛一: 妊娠20週に出血性ショックをきたした嵌入胎盤の1例. 神奈川産科婦人科学会学術講演会 (第413回) (神奈川県), 2015. 3.

- 3) 小川 淳, 深見武彦, 針金永佳, 山口道子, 池田真利子, 松島 隆, 米山剛一: 妊娠 17 週に人工妊娠中絶術を施行した辺縁前置胎盤の 1 例. 神奈川産科婦人科学会学術講演会 (第 413 回) (神奈川県), 2015. 3.

[多摩永山病院女性診療科・産科]

研究概要

本年度の当教室の研究内容は以下の如くである。(1) 妊婦とスポーツ: 妊婦スポーツの安全性や効果について, 身体的及び精神的側面から幅広く研究を行っている。身体面では, 活性酸素や抗酸化物質の測定によるトレーニング効果の評価や超音波パルスドプラ, 脈波伝導速度を用いた運動中の母児の血行動態変化, 心機能評価をはじめ, スポーツが妊娠, 分娩に与える影響・予後を広く調査している。産褥期の子宮復古, 母乳栄養確立母体の睡眠障害や妊娠中のマイナートラブルに与える影響などについて, 興味深い成績をあげている。(2) 周産期領域: 臨床面では, 妊娠高血圧症候群・子宮内胎児発育不全に対し, 超音波断層法・生化学検査などを用いその病態生理の解明を行っている。超音波断層法による母体腎・肝臓の観察では新たな視点から, 妊娠高血圧症候群, 胎児心拍数図の解析に対し有益なデータが集積しつつある。切迫早産に腔内洗浄治療・黄体ホルモン投与などの治療を行い早産の予防効果を上げている。また, 胎児・新生児低酸素脳症に関する動物実験を行い, 脳内エネルギー代謝やミトコンドリア機能と虚血灌流傷害の関係を検討している。

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Sekiguchi A, Ikeda T, Okamura K, Nakai A: Safety of induced abortions at less than 12 weeks of pregnancy in Japan. *Int J Gynaecol Obstet.* 2015; 129 (1): 54-57.
- 2) Matsuda Y, Ogawa M, Nakai A, Tagawa M, Ohwada M, Ikenoue T: Severe fetal acidemia in cases of clinical chorioamnionitis in which the infant later developed cerebral palsy. *BMC Pregnancy Childbirth* 2015; 27 (15): 124-124.
- 3) Matsuda Y, Ogawa M, Nakai A, Hayashi M, Satoh S, Matsubara S: Fetal/Placental weight ratio in term Japanese pregnancy: its difference among gender, parity, and infant growth. *Int J Med Sci.* 2015; 25 (12 4): 301-305.
- 4) Suzuki S, Tanaka M, Matsuda H, Tsukahara Y, Kuribayashi Y, Nakai A, Miyazaki R, Kamiya N, Sekizawa A, Mizutani N, Kinoshita K: Prevalence of human T-cell leukemia virus type 1 carrier in Japanese pregnant women in 2013. *J Clin Med Res.* 2015; 7 (6): 499-500.
- 5) Suzuki S, Tanaka M, Matsuda H, Tsukahara Y, Kuribayashi Y, Sekizawa A, Miyazaki R, Nishii O, Nakai A, Mizutani N, Kumamoto Y, Kinoshita K: Current Status of the Screening of Chlamydia trachomatis Infection Among Japanese Pregnant Women. *J Clin Med Res.* 2015; 7 (7): 582-584.
- 6) Baba Y, Yamada T, Obata-Yasuoka M, Yasuda S, Ohno Y, Kawabata K, Minakawa S, Hirai C, Kusaka H, Murabayashi N, Inde Y, Nagura M, Hamada H, Itakura A, Nakai A, et al: Urinary protein-to-creatinine ratio in pregnant women after dipstick testing: prospective observational study. *BMC Pregnancy Childbirth* 2015; 14 (15 (1)): 331-331.
- 7) Hasegawa J¹⁾, Toyokawa S¹⁾, Ikenoue T¹⁾, Asano Y¹⁾, Satoh S¹⁾, Ikeda T¹⁾, Ichizuka K¹⁾, Tamiya N¹⁾, Nakai A, Fujimori K¹⁾, Maeda T¹⁾, Masuzaki H¹⁾, Suzuki H¹⁾, Ueda S¹⁾ Prevention Recurrence Committee, Japan Obstetric Compensation System For Cerebral Palsy.: Relevant Obstetric Factors for Cerebral Palsy: From the Nationwide Obstetric Compensation System in Japan. *PLoS One.* 2016; 28 (11 (1)): e0148122.
- 8) Otsuki K, Nakai A, Matsuda Y, Shinozuka N, Kawabata I, Makino Y, Kamei Y, Iwashita M, Okai T: Randomized trial of ultrasound-indicated cerclage in singleton women without lower genital tract inflammation. *J Obstet Gynaecol Res.* 2016; 42(2): 148-157.
- 9) Yoneyama K¹⁾, Sekiguchi A²⁾, Matsushima T¹⁾, Kawase R³⁾, Nakai A²⁾, Asakura H¹⁾, Takeshita T³⁾ (1) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, (2) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, (3) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School Hospital): Pregnancy-associated Deaths: 31-year Experience. *J Nippon Med Sch.* 2016; 83 (1): 6-14.
- 10) 葛西圭子¹⁾, 中井章人²⁾ (1) 公益社団法人日本助産師会, (2) 日本医科大学): 座長のまとめ: 助産業務ガイドライン 2014: 早期母子接触の注意点も含めて: ワークショップ 3. 周産期新生児誌 2015; 51 (1): 163-163.

(2) 総説:

- 1) 川端伊久乃¹⁾, 中井章人 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科診療科): 再確認! 子宮頸管長の正しい測定方法と臨床的意義: 早産の予知: 予防の新たな展開: 特集 早産の予知. *臨床婦人科産科* 2015; 69 (3): 280-287.
- 2) 寺田佳世子, 中井章人: 多胎妊娠の診断: 診断と外来対応: 妊娠 11 週まで: I. 妊娠週数ごとの検診の実際: 週数別・大事なことを見

- 逃さないためのチェックポイント：特集 妊婦健診のすべて. 臨床婦人科産科 2015；69 (4 増刊)：040-045.
- 3) 印出佑介：B 群レンサ球菌 (GBS)：診断と外来対応：妊娠 22 から 36 週まで：I. 妊娠週数ごとの検診の実際：週数別・大事なことを見逃さないためのチェックポイント：特集 妊婦健診のすべて. 臨床婦人科産科 2015；69 (4 増刊)：163-167.
 - 4) 関口敦子, 中井章人：人工妊娠中絶 我が国の動向：特集 出生前診断と生命倫理-染色体異常を中心として. 周産期医学 2015；45 (5)：613-618.
 - 5) 川端伊久乃¹⁾：診断を確実に：前置胎盤：疾患 いかにも的確に対応するか：そのポイントとピットフォール産科編：特集：周産期救急の初期対応. 周産期医学 2015；45 (6)：763-767.
 - 6) 川端伊久乃¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科)：7. 早産と黄体ホルモン：特集 黄体ホルモンの基礎から臨床まで. 産科と婦人科 2015；82 (7)：759-764.
 - 7) 中井章人：遅発一過性徐脈と変動一過性徐脈をどう見極めるか？：CTG を読み解く第 2 回：特集 分娩時の出血. 助産師 (公益社団法人日本助産師会機関紙) 2015；69 (3)：28-31.
 - 8) 関口敦子：副損傷防止のコツ：子宮内容除去術：妊娠中：特集 産科手術実施臨床のコツ. 周産期医学 2015；45 (8)：1061-1065.
 - 9) 奥田直貴, 林 昌子, 寺田佳世子, 原田寛子, 川端英恵, 井口輝彦¹⁾, 中井章人 (1) 日本医科大学多摩永山病院中央検査室)：ヒト癌胎児性フィブロネクチン検出試薬「イムノテスト (R) fFN」の基礎的検討. 医学と薬学 2015；72 (9)：1591-1594.
 - 10) 中井章人：母体搬送：搬送システム：特集 周産期救急システム - 現状とその対応. 周産期医学 2015；72 (9)：1199-1202.
 - 11) 山岸絵美, 新井隆成¹⁾ (1) 恵寿総合病院みんなの医療センター センター長, 産婦人科科長, 臨床研修センター副センター長)：その現状と今後：周産期救急教育：産科救急：特集 女性の救急 - 診断, 判断, 決断. 救急医学 2015；39 (9)：1073-1078.
 - 12) 中井章人：8. 産科危機的出血の治療：特集 妊娠・分娩と血液異常. 血液フロンティア 2015；25 (10)：1483-1488.
 - 13) 中井章人：胎児心拍数基線細変動を読む. 助産師 (公益社団法人日本助産師会機関紙) 2015；69 (4)：39-43.
 - 14) 川端伊久乃：子宮頸管をめぐる感染と早産：特集 子宮頸部と峽部 - 妊娠・分娩期の生理と病理. 産婦人科の実際 2015；64 (12)：1919-1925.
 - 15) 尾崎景子, 中井章人：風邪をひいたのですが：産科編 妊娠 12 週未満：特集 周産期の電話相談：テレフォントリアージ. 周産期医学 2015；45 (11)：1527-1528.
 - 16) 寺田佳世子, 中井章人：お腹が痛いのですが：産科編 37 週以降：特集 周産期の電話相談：テレフォントリアージ. 周産期医学 2015；45 (11)：1558-1559.
 - 17) 林 昌子：1. 胎児心拍数陣痛図の波形分類を用いた分娩管理：特集 分娩管理の新機軸. 産科と婦人科 2015；82 (12)：1339-1343.
 - 18) 寺田佳世子, 中井章人：070. 子宮破裂の微候を見落とすべからず：産科合併症：妊娠中・後期：母体胎児編：特集 周産期診療べからず集. 周産期医学 2015；45 (増刊)：226-228.
 - 19) 尾崎景子, 中井章人：054. 子宮頸管長のチェックを怠ってはならない：産科合併症：妊娠中・後期：母体・胎児編：特集 周産期診療べからず集. 周産期医学 2015；45 (増刊)：174-178.
 - 20) 原田寛子, 中井章人：②プロゲステロン療法：既往早産妊婦の管理：反復 後期流・早産の治療：難治性の周産期 common diseaseへの挑戦：今月の臨床. 臨床婦人科産科 2016；70 (1 (2016 年 1 月合併増大号))：12-18.
 - 21) 中井章人：低酸素への対応と胎児心拍数波形レベル分類の意義：CTG を読み解く第 4 回：特集 医療事故調査制度スタート. 助産師 (公益社団法人日本助産師会機関紙) 2016；70 (1)：36-40.
 - 22) 中井章人：周産期死亡率-地域格差, 諸外国との比較：特集：周産期と死亡を考える. 周産期医学 2016；46 (3)：261-266.
- (3) 症例報告：
- 1) 小笠原純子, 印出佑介, 島田 学, 原田寛子, 吉川沙織, 山岸絵美, 菊地恵理子, 林 昌子, 奥田直貴, 石川 源, 関口敦子, 中井章人：切迫早産治療中に急激に発症した母体セラチア菌敗血症の 1 例. 東京産婦会誌 2015；64 (2)：229-234.
 - 2) 寺田佳世子, 原田寛子, 林 昌子, 島田 学, 神戸沙織, 山岸絵美, 橋本恵理子, 印出佑介, 奥田直貴, 石川 源, 関口敦子, 中井章人：子宮内膜ポリープの感染に起因する SIRS と高容量ビルによる DVT を併発し治療に苦慮した 1 例. 東京産婦会誌 2015；64 (3)：414-419.
 - 3) 印出佑介, 杉田洋祐, 寺田佳世子, 原田寛子, 尾崎景子, 山岸絵美, 菊地恵理子, 林 昌子, 奥田直貴, 石川 源, 関口敦子, 中井章人：重症妊娠高血圧腎症を合併した Freeman-Sheldon 症候群合併妊娠の 1 例. 東京産婦会誌 2015；64 (4)：645-652.
 - 4) 杉田洋祐, 印出佑介, 川端英恵, 寺田佳世子, 原田寛子, 尾崎景子, 山岸絵美, 菊地恵理子, 林 昌子, 奥田直貴, 石川 源, 関口敦子, 中井章人：救命し得た子宮型羊水塞栓症の 3 例. 東京産科婦人科学会誌 2016；65 (1)：63-69.

著書

- 1) 山岸絵美, 中井章人：〔分担〕 Q48 もやもや病の妊婦が受診しました 妊娠管理上の注意点を教えてください：F. 合併妊娠. 産科診療 Q & A 一つ上を行く診療の実際 (板倉敦夫 順天堂大学医学部・大学院医学研究科産婦人科学講座教授), 2015；pp215-219, 中外医学社.

- 2) 中井章人：〔分担〕 e. 異所性妊娠：第 3 章 異常妊娠の診断と治療. 改訂 3 版 MFICU 母体・胎児 ICU マニュアル (全国周産期医療 (MFICU) 連絡協議会 編著), 2015；pp177-181, メディカ出版.
- 3) 中井章人：〔自著〕 助産実践能力習熟段階 (クリニカルラダー)：レベル III 認証必須研修 CTG 対応テキスト. 図説 CTG テキスト (中井章人), 2016；pp1-175, メジカルビュー社.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 中井章人：産婦人科医療従事者が知っておきたい少子化対策. 南多摩エリア周産期医療ネットワークグループ検討会 (第 10 回) および多摩産婦人科病診連携懇話会 (第 48 回) (東京都多摩市),
- 2) 中井章人：母体大量出血時の対応と CTG 判読のポイント. 一般社団法人滋賀県助産師会定時社員総会・研修会 (平成 27 年度) (滋賀県大津市), 2015. 5.
- 3) 中井章人：子宮収縮薬を用いた陣痛誘発と陣痛促進の注意点. 江東豊洲産婦人科懇話会 (第 4 回) (東京都), 2015. 6.
- 4) 中井章人：子宮収縮薬を用いた陣痛誘発と陣痛促進の注意点. 相模原市産婦人科医会学術講演会 (神奈川県相模原市), 2015. 6.
- 5) 中井章人：子宮収縮薬を用いた陣痛誘発と陣痛促進の注意点. ICM アジア太平洋地域会議・助産術集会 (横浜市), 2015. 7.
- 6) 中井章人：産婦人科医師の就労環境と女性医師の今後. 福岡県産婦人科医会臨時研修会 (平成 27 年度) (福岡市), 2015. 7.
- 7) 中井章人：子宮収縮薬を用いた陣痛誘発と陣痛促進の注意点. 母子愛育会周産期医療研修会 2.「医師 A コース：産科編」(東京都), 2015. 8.
- 8) 中井章人：子宮収縮薬を用いた陣痛誘発と陣痛促進の注意点. TOG 創立 63 周年記念総会 (東京都), 2015. 8.
- 9) 中井章人：輸液管理：子宮収縮薬を用いた陣痛誘発と陣痛促進の注意点. 東京都助産師会主催「クリニカルラダー III 認定講習会」(東京都), 2015. 8.
- 10) 中井章人：胎児心拍モニターのみかた. 平成 27 年度 公益社団法人日本助産師会 助産実践能力 (クリニカルラダー) レベル III (平成 27 年度) (東京都), 2015. 9.
- 11) 中井章人：チーム医療を成功させる 5 つの秘訣. 一般社団法人 埼玉県助産師会 医療安全研修会 (埼玉県), 2015. 9.
- 12) 中井章人：子宮収縮薬の使い方. 一般社団法人 埼玉県助産師会 医療安全研修会 (埼玉県), 2015. 9.
- 13) 中井章人：胎児心拍モニタリングのみかた. 産科救急対応強化のための研修会 (東京都), 2015. 11.
- 14) 中井章人：少子化を考える - 女性の正しいライフスタイルとは?. 市川市医師会 月例学術講演会 (市川市), 2015. 12.
- 15) 中井章人：「産科医の就労状態, その地域格差」：産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就労環境に関するアンケート調査報告. 記者懇談会と意見交換会 (第 94 回) (東京都), 2016. 1.
- 16) 中井章人：胎児モニタリングの判読と対応ポイント. 助産師のちからアップ研修 (2015 年度) (兵庫県神戸市), 2016. 2.
- 17) 中井章人：CTG の判読 - 脳性麻痺の事例検討から. 大阪産婦人科医会平成 27 年度第 2 回研修会 (大阪市), 2016. 2.

(2) 基調講演：

- 1) 中井章人：産婦人科医療の現状と課題 - 医師不足と地域偏在を中心に. 公的病院長ならびに産婦人科部と本会役員との懇談会 (平成 27 年度) (愛知県名古屋市), 2015. 11.

(3) セミナー：

- 1) 中井章人：CTG の判断力を磨く：チーム医療を極める (I). 産婦人科臨床セミナー (神奈川県横浜市), 2015. 4.
- 2) 中井章人：子宮収縮薬を用いた陣痛誘発と陣痛促進の注意点. ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会 (第 11 回) (神奈川県横浜市), 2015. 6.
- 3) 中井章人：CTG を読み解く - 脳性麻痺の事例検討から -. 日本母性衛生学会総会・学術集会 (第 56 回) (岩手県盛岡市), 2015. 10.
- 4) 中井章人：- 勤務環境改善と地域医療の標準化 - セミオープンシステムが周産期医療を変える. 医療勤務環境改善マネジメント普及セミナー (東京都), 2016. 1.
- 5) 中井章人：産後出血への初期対応. SS ニューイヤーセミナー (東京都), 2016. 1.

(4) ワークショップ：

- 1) 桑原慶充¹⁾, 杉田洋祐¹⁾, 内山美穂子¹⁾, 白井有香¹⁾, 中尾仁彦¹⁾, 米澤美令¹⁾, 大内 望¹⁾, 澤倫太郎¹⁾, 中井章人, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学)：培養ヒト子宮頸部繊維芽細胞における LPS 誘導性分子動態に対するプロゲステロンの効果：感染と早産. 公益社団法人日本産科婦人科学会臨時総会・学術講演会 (第 67 回) (神奈川県横浜市), 2015. 4.
- 2) 中井章人：プロゲステロンの有用性：4. 早産の予防戦略. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会 (第 51 回) (福岡市), 2015. 7.

(5) 一般講演：

- 1) 小川正樹¹⁾, 松田義雄²⁾, 中井章人³⁾, 林 昌子³⁾, 佐藤昌司⁴⁾, 松原茂樹⁵⁾ (1) 東京女子医科大学, 2) 国際医療福祉大病院, 3) 日本医

- 科大学多摩永山病院, 4) 大分県立病院, 5) 自治医科大学): 在胎週数別曲線の作成: 胎盤重量比に関する研究: 出生児体重. 公益社団法人日本産科婦人科学会臨時総会・学術講演会(第67回)(神奈川県横浜市), 2015. 4.
- 2) 林 昌子¹⁾, 富山僚子¹⁾, 大内 望¹⁾, 峯 克也¹⁾, 桑原慶充¹⁾, 関口敦子¹⁾, 中井章人¹⁾, 竹下俊行¹⁾, 苛原 稔²⁾ (1) 日本医科大学, 2) 厚労化学研究「生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術の標準化に関する研究」班): ART 症例の周産期予後の解析に向けて: ART データベースと周産期登録の連結. 公益社団法人日本産科婦人科学会臨時総会・学術講演会(第67回)(神奈川県横浜市), 2015. 4.
- 3) 長谷川潤一¹⁾, 中井章人¹⁾, 川端伊久乃¹⁾, 竹田善治¹⁾, 青木宏明¹⁾, 深見武彦¹⁾, 田嶋 敦¹⁾, 宮越 敬¹⁾, 大槻克文¹⁾, 篠塚憲男¹⁾, 松田義雄¹⁾, 岩下光利¹⁾, 岡井 崇¹⁾, 大井理恵¹⁾, 牧野真太郎¹⁾, その他3名 (1) 日本早産予防研究会): 妊娠中期の前置胎盤の超音波診断率の向上をめざした前方視的多施設観察研究. 公益社団法人日本産科婦人科学会臨時総会・学術講演会(第67回)(神奈川県横浜市), 2015. 4.
- 4) 関口敦子¹⁾, 池田智明²⁾, 岡村州博³⁾, 中井章人¹⁾ (1) 日本医科大学, 2) 3重大学, 3) 東北公済病院): 我が国における妊娠初期の人工中絶の方法と安全性に関する検討. 公益社団法人日本産科婦人科学会臨時総会・学術講演会(第67回)(神奈川県横浜市), 2015. 4.
- 5) 田川実紀¹⁾, 松田義雄¹⁾, 吉田智香子¹⁾, 野中宏亮¹⁾, 梅崎 光¹⁾, 厚木右介¹⁾, 大和田倫孝¹⁾, 中井章人²⁾, 小川正樹³⁾ (1) 国際医療福祉大病院, 2) 日本医科大学多摩永山病院, 3) 東京女子医科大学): 脳性麻痺となった絨毛膜羊膜炎における臍帯動脈血 pH. 公益社団法人日本産科婦人科学会臨時総会・学術講演会(第67回)(神奈川県横浜市), 2015. 4.
- 6) 川瀬里衣子¹⁾, 黒瀬圭輔¹⁾, 杉田洋祐¹⁾, 内山美穂子¹⁾, 齊藤桃子¹⁾, 山本晃人¹⁾, 米山剛一¹⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学): 進行・再発卵巣癌に対するペバシズマブの使用経験. 公益社団法人日本産科婦人科学会臨時総会・学術講演会(第67回)(神奈川県横浜市), 2015. 4.
- 7) 柿栖睦実¹⁾, 飯田朝子¹⁾, 稲垣知子¹⁾, 川端英恵¹⁾, 山口道子¹⁾, 興石太郎¹⁾, 西田直子¹⁾, 川端伊久乃¹⁾, 土居大祐¹⁾, 朝倉啓文¹⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学): 子宮頸管腺領域の超音波所見による自然陣痛発来日の予測. 公益社団法人日本産科婦人科学会臨時総会・学術講演会(第67回)(神奈川県横浜市), 2015. 4.
- 8) 印出佑介, 杉田洋祐, 寺田佳世子, 原田寛子, 尾崎景子, 山岸絵美, 菊地恵理子, 林 昌子, 奥田直貴, 石川 源, 関口敦子, 中井章人: 重症妊娠高血圧腎症を発症 Freeman-Sheldon 症候群合併妊娠の1例. 東京産科婦人科医学会・東京産科婦人科学会合同研修会(第29回)並びに東京産科婦人科学会例会(第374回)(東京都), 2015. 5.
- 9) 原田寛子, 林 昌子, 寺田佳世子, 神戸沙織, 山岸絵美, 倉品隆平, 印出佑介, 奥田直貴, 石川 源, 関口敦子, 中井章人: 分娩後の子宮内容除去術1ヶ月後に子宮穿孔と大網の子宮内への嵌入を診断し得た1例: 周産期2: 若手ポスターセッション2. 関東連合産科婦人科学会総会・学術集会(第129回)(東京都), 2015. 6.
- 10) 伊藤友希¹⁾, 佐藤杏月¹⁾, 飯田朝子¹⁾, 針金幸代¹⁾, 川端英恵¹⁾, 高屋 茜¹⁾, 黒木睦実¹⁾, 川端伊久乃¹⁾, 深見武彦¹⁾, 松島 隆¹⁾, 米山剛一¹⁾, 朝倉啓文¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 産婦人科): 分娩後急性心不全をきたした洞不全症候群合併妊娠の1例: 合併症妊娠2. 関東連合産科婦人科学会総会・学術集会(第129回)(東京都), 2015. 6.
- 11) 尾崎景子¹⁾, 今道小百合¹⁾, 重見大介¹⁾, 浜野愛理¹⁾, 森 瑛子¹⁾, 中田真理世¹⁾, 松橋智彦¹⁾, 山田 隆¹⁾, 渡辺三千明¹⁾, 鴨井青龍¹⁾: 子宮頸癌術後の陰核転移に対して陰核全摘出術を行った1例: 子宮腫瘍. 関東連合産科婦人科学会総会・学術集会(第129回)(東京都), 2015. 6.
- 12) 大内 望¹⁾, 桑原慶充¹⁾, 内山美穂子¹⁾, 杉田洋祐¹⁾, 白井有香¹⁾, 米澤美令¹⁾, 澤倫太郎¹⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学産婦人科): 経腹的アプローチにて子宮頸管縫縮術を施行した2例. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会(第51回)(福岡市), 2015. 7.
- 13) 伊藤友希¹⁾, 山口道子¹⁾, 川端伊久乃¹⁾, 柿栖睦実¹⁾, 佐藤杏月¹⁾, 間瀬有里¹⁾, 松村好克¹⁾, 深見武彦¹⁾, 松島 隆¹⁾, 米山剛一¹⁾, 朝倉啓文¹⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学産婦人科学教室): 妊娠管理に苦慮した巨大子宮腺筋症合併妊娠の1例. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会(第51回)(福岡市), 2015. 7.
- 14) 米澤美令¹⁾, 桑原慶充¹⁾, 新妻美沙¹⁾, 杉田洋祐¹⁾, 内山美穂子¹⁾, 白井有香¹⁾, 大内 望¹⁾, 澤倫太郎¹⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学産婦人科): 妊娠糖尿病における75g糖負荷試験の一点異常, 二点以上の以上の病態意義. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会(第51回)(福岡市), 2015. 7.
- 15) 里見大介¹⁾, 今道小百合¹⁾, 大和田桃子¹⁾, 尾崎景子¹⁾, 中田直理世¹⁾, 村川裕子¹⁾, 永野玲子¹⁾, 鴨井青龍¹⁾, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学産婦人科): 憎悪を繰り返し管理に難渋した仙骨前部嚢胞性腫瘍合併妊娠の1例. 日本周産期・新生児医学会総会および学術集会(第51回)(福岡市), 2015. 7.
- 16) 川端英恵, 杉田洋祐, 原田寛子, 寺田佳世子, 尾崎景子, 山岸絵美, 菊地恵理子, 印出佑介, 林 昌子, 奥田直貴, 石川 源, 関口敦子, 中井章人: 子宮後壁切開となった妊娠子宮捻転の1例. 日本医科大学医学会総会(第83回)(東京都), 2015. 9.
- 17) 杉田洋祐, 印出佑介, 川端英恵, 寺田佳世子, 原田寛子, 尾崎景子, 山岸絵美, 林 昌子, 奥田直貴, 石川 源, 関口敦子, 中井章人: 救命し得た子宮型羊水塞栓症の3例. 東京産科婦人科学会例会(第375回)(東京都), 2015. 9.

- 18) 川端英恵, 関口敦子, 菊地恵理子, 杉田洋祐, 寺田佳世子, 原田寛子, 山岸絵美, 印出佑介, 林 昌子, 奥田直貴, 石川 源, 中井章人: 無症候性の妊娠子宮捻転の1例. 関東連合産科婦人科学会総会・学術集会(第130回)(千葉県千葉市), 2015. 10.
- 19) 石原彩子¹⁾, 村川裕子¹⁾, 島田 学¹⁾, 渡邊健一郎¹⁾, 河合尚基¹⁾ (1) 東京臨海病院): 妊娠中に発症した敗血症の検討. 関東連合産科婦人科学会総会・学術集会(第130回)(千葉県千葉市), 2015. 10.
- 20) 印出佑介, 杉田洋祐, 川端英恵, 寺田佳世子, 原田寛子, 山岸絵美, 尾崎景子, 菊地恵理子, 林 昌子, 奥田直貴, 石川 源, 関口敦子, 中井章人: 胎児高輝度腎を契機に診断した多嚢胞腎合併妊娠の1例. 日本医科大学産婦人科学教室同窓会臨床研究会(平成27年度)(東京都), 2015. 11.
- 21) 可世木華子¹⁾, 関根仁樹¹⁾, 渡邊健一郎¹⁾, 小野修一¹⁾, 市川雅男¹⁾, 鴨井青龍¹⁾, 明楽重夫¹⁾, 中井章人, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学産婦人科): 深部子宮内膜症の手術にあたって: 当院における他科連携について. 四水会(第374回)(東京都), 2015. 12.
- 22) 奥田直貴, 原田寛子, 寺田佳世子, 山岸絵美, 印出佑介, 林 昌子, 石川 源, 関口敦子, 中井章人: 帝王切開術後の腹腔内出血のため搬送後緊急異型適合血輸血を行い救命しえた1例. 東京産婦人科医会・東京産科婦人科学会合同研修会(第30回)並びに東京産科婦人科学会例会(第376回)(東京都), 2015. 12.
- 23) 尾崎景子, 山岸絵美, 原田寛子, 杉田洋祐, 川端英恵, 寺田佳世子, 印出佑介, 林 昌子, 奥田直貴, 石川 源, 関口敦子, 中井章人: 緩徐に進行した臨床的急性妊娠脂肪肝の1例. 東京産科婦人科学会例会(第377回)(東京都), 2016. 2.
- 24) 山岸絵美¹⁾, 石川 源¹⁾, 吉田穂波²⁾, 中井章人¹⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院 女性診療科・産科, 2) 国立保健医療科学院生涯健康研究部): 災害時妊産婦救護のための地域連携システム構築を目指し: 南多摩医療圏にみる現状と対策案. 日本集団災害医学会総会・学術集会(第21回)(山形県山形市), 2016. 2.
- 25) 杉田洋祐: 産科危機的出血への対応: 異型輸血症例の経験をふまえて. 南多摩エリア周産期医療ネットワークグループ検討会(第10回)および多摩産婦人科病診連携懇話会(第48回)(東京都多摩市), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分総説:

- 1) 林 昌子: 2. 常位胎盤早期剥離のリスク因子: 特集 常位胎盤早期剥離: 発症予知と対策. 産婦人科の実際 2014; 63 (12): 1899-1904.
- 2) 印出佑介, 中井章人: 胎児超音波検査のルーチン: 産科医が何をしているのか: 新生児室のルーチンとトピックス. 小児科診療 2015; 78 (1): 33-39.

追加分原著:

- 1) Yusuke I¹⁾, Emi Y¹⁾, Ikuno K¹⁾, Atsuko S¹⁾, Akihito N¹⁾, Tshiyuki T²⁾ (1) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital, 2) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School): Morphological changes observed via fetal ultrasound in prenatally diagnosed and isolated congenital lymphangiomas: three case reports. Journal of Medical Ultrasonics 2013; 40: 265-269.
- 2) Hayashi M¹⁾, Satoh S²⁾, Matsuda Y³⁾, Nakai A¹⁾ (1) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Maternal and Perinatal Care Center, Oita Prefectural Hospital, Oita, Japan, 3) Department of Obstetrics and Gynecology, International University of Health and Welfare, Tochigi, Japan): The Effect of Single Embryo Transfer on Perinatal Outcomes in Japan. Int J Med Sci 2015; 12 (1): 57-62.
- 3) Sekiguchi A, Nakai A, Okuda N, Inde Y, Takeshita T: Consecutive cervical length measurements as a predictor of preterm cesarean section in complete placenta previa. Journal of Clinical Ultrasound 2015; 43 (1): 17-22.
- 4) Hayashi M¹⁾, Satoh S²⁾, Matsuda Y³⁾, Nakai A¹⁾ (1) Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 2) Maternal and Perinatal Care Center, Oita Prefectural Hospital, Oita, Japan, 3) Department of Obstetrics and Gynecology, International University of Health and Welfare, Tochigi, Japan): The Effect of Single Embryo Transfer on Perinatal Outcomes in Japan. Int J Med Sci 2015; 12 (1): 57-62.
- 5) Yamada T¹⁾, Abe K, Baba Y, Inubashiri E, Kawabata K, Kubo T, Maegawa Y, Fuchi N, Nomizo M, Shimada M, Shiozaki A, Hamada H, Matsubara S, Akutagawa N, Nakai A, et al. (1) Department of Obstetrics and Gynecology, Hokkaido University Graduate School of Medicine): Vaccination during the 2013-2014 influenza season in pregnant Japanese women. Eur J Clin Microbiol Infect Dis 2015; 34 (3): 543-548.
- 6) Yamada T¹⁾, Abe K, Baba Y, Inubashiri E, Kawabata K, Kubo T, Maegawa Y, Fuchi N, Nomizo M, Shimada M, Hamada H, Matsubara S, Akutagawa N, Kataoka S, Nakai A, et al. (1) Department of Obstetrics and Gynecology, Hokkaido University Graduate School of Medicine): Vaccination during the 2013-2014 influenza season in pregnant Japanese women. Eur J Clin Microbiol Infect Dis 2015; 34 (3): 543-548.

- 7) Yamada T, Kawakami S, Yoshida Y, Kawamura H, Ohta S, Abe K, Hamada H, Dohi S, Ichizuka K, Takita H, Baba Y, Matsubara S, Mochizuki J, Unno N, Nakai A, et al. : Influenza 2014-2015 among pregnant Japanese women : primiparous vs multiparous women. Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 2016 ; 35 (4) : 665-671.
- 8) 中井章人 : 「母体搬送」か「新生児搬送」か : 常位胎盤早期剥離の臨床的諸問題の解決に向けて : シンポジウム 6. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2013 ; 49 (1) : 71-73.
- 9) 林 昌子¹⁾, 松田義雄²⁾, 佐藤晶司³⁾, 中井章人¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学産婦人科, ²⁾ 東京女子医科大学産婦人科, ³⁾ 大分県立病院総合周産期母子医療センター) : 周産期登録データベースからみた生殖補助医療の現状とリスク : 「生殖補助医療と周産期・小児医療」 : シンポジウム 9. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2014 ; 50 (1) : 97-101.

著書

追加分 :

- 1) 中井章人 : [追加分担当著書] 妊娠高血圧症候群 : 21. 妊産婦・女性性器疾患. 今日の診断指針第7版 (総編集 : 金澤一郎, 永井良三, 責任編集 : 水沼英樹), 2015 ; pp1840-1842. 医学書院.

学会発表

追加分シンポジウム :

- 1) 林 昌子 : 周産期登録データベースからみた常位胎盤早期剥離. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (第23回) 新しいチーム・コンセプトと心血管集中治療 (東京都), 2014. 8.

[千葉北総病院女性診療科・産科]

研究概要

当教室では婦人科腫瘍学部門, 手術学部門, 周産期学部門のそれぞれにおいて, 主として臨床研究を行っている. 婦人科腫瘍学部門では, 若年者子宮体癌患者に対して, 子宮を温存するために, 高用量の黄体ホルモンを投与しているが, 投与中の治療効果, すなわち, 形態学的な組織の変化については, あまり知られていない. 今回は, 若年者子宮体癌患者の電子顕微鏡を使用して, 治療中の超微形態の変化について研究を始めた. 手術学部門では, 子宮頸癌に対する自律神経温存広汎性子宮全摘術の術式について研究し, その成果を学会に発表した. また, 婦人科周術期の深部静脈血栓症 - 肺動脈塞栓症の発見や発症予知について研究中である. 周産期部門では, 成和会山口病院との共同で以下の研究を行った. 1つは, 周産期管理が向上した現代における一般分娩施設での産褥熱の動向について調査した. また, 近年, 本邦妊婦におけるサイトメガロウイルス (CMV) の保有率低下に伴い, 重症の胎内感染症の増加が危惧されている. そこで, 妊婦 CMV スクリーニング検査をおこなった. それぞれの成果につき, 学会及び誌面にて発表した.

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) Shigemi D, Yamaguchi S¹⁾, Otsuka T²⁾, Kamoi S, Takeshita T³⁾ (¹⁾ Yamaguchi Women's Hospital, ²⁾ Department of Hygiene and Public Health, Nippon Medical School, ³⁾ Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School) : Seroprevalence of cytomegalovirus IgG antibodies among pregnant women in Japan from 2009-2014. Am J Infect Control 2015 ; 1 (43) : 1218-1221.

学会発表

(1) シンポジウム :

- 1) 重見大介, 赤坂珠理晃¹⁾, 川端公輔²⁾, 脇本 哲³⁾, 成瀬勝彦¹⁾, 川端伊久乃⁴⁾ (¹⁾ 奈良県立医科大学, ²⁾ 北海道大学, ³⁾ 大阪府立急性期・総合医療センター, ⁴⁾ 日本医科大学付属病院) : 「妊娠高血圧症候群妊婦における妊娠継続目的でのアンチトロンビン製剤の補充」. 日本妊娠高血圧学会 (第36回) (北海道), 2015. 9.

(2) 一般講演 :

- 1) 浜野愛理, 明樂重夫¹⁾, 小野修一¹⁾, 大内 望¹⁾, 峯 克也¹⁾, 市川雅男¹⁾, 竹下俊行¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 女性診療科・産科) : 子宮腺筋症へのレボノルゲストレル徐放型子宮内避妊システムのフォローアップ. 日本産科婦人科学会 (第67回) (神奈川県), 2015. 4.
- 2) 山田 隆, 島津絢美¹⁾, 松橋智彦, 山本晃人²⁾, 川瀬里衣子²⁾, 黒瀬圭輔²⁾, 土居大祐²⁾, 米山剛一³⁾, 鴨井青龍, 平野孝幸¹⁾, 小黒辰夫¹⁾, 竹下俊行²⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 病理診断科, ²⁾ 日本医科大学付属病院 女性診療科・産科, ³⁾ 日本医科大学武蔵

- 小杉病院 女性診療科・産科)：複雑型子宮内膜異型増殖症の高用量黄体ホルモン療法における組織像の電子顕微鏡的アプローチの試み. 日本産科婦人科学会 (第 67 回) (神奈川県), 2015. 4.
- 3) 森 瑛子, 今道小百合, 重見大介, 浜野愛理, 尾崎景子¹⁾, 中田真理世, 松橋智彦, 山田 隆, 渡辺美千明, 鴨井青龍, 竹下俊行²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 女性診療科・産科, ²⁾ 日本医科大学付属病院 女性診療科・産科)：子宮体部原発の悪性リンパ腫の 1 例. 日本産科婦人科学会 (第 67 回) (神奈川県), 2015. 4.
- 4) 尾崎景子, 今道小百合, 重見大介, 浜野愛理, 森 瑛子, 中田真理世, 松橋智彦, 山田 隆, 渡辺美千明, 鴨井青龍：子宮頸癌術後の陰核転移に対して陰核全摘出術を行った 1 例. 関東連合産科婦人科学会 (第 129 回) (東京都), 2015. 6.
- 5) 重見大介, 今道小百合, 大和田桃子, 尾崎景子, 中田真理世, 村川裕子, 永野玲子, 鴨井青龍, 竹下俊行¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 女性診療科・産科)：増悪を繰り返し管理に難渋した仙骨前部嚢胞性腫瘍合併妊娠の 1 例. 日本周産期・新生児学会 (第 51 回) (福岡県), 2015. 7.
- 6) 森 瑛子, 今道小百合, 齋藤桃子, 重見大介, 浜野愛理, 中田真理世, 松橋智彦, 山田 隆, 渡辺美千明, 鴨井青龍, 羽鳥 努¹⁾, 竹下俊行²⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 病理診断科, ²⁾ 日本医科大学付属病院 女性診療科・産科)：当院で経験した子宮癌腺肉腫の 4 例. 日本婦人科腫瘍学会 (第 57 回) (岩手県), 2015. 8.
- 7) 今道小百合, 山田 隆, 齋藤桃子, 重見大介, 池田真利子¹⁾, 森 瑛子, 中田真理世, 松橋智彦, 山本晃人¹⁾, 羽鳥 努²⁾, 渡辺美千明, 鴨井青龍, 竹下俊行¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 女性診療科・産科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院 病理診断科)：術前診断が困難であった子宮体癌小腸転移の 1 例. 日本婦人科腫瘍学会 (第 57 回) (岩手県), 2015. 8.
- 8) 浜野愛理, 今道小百合, 大和田桃子, 松井遼子, 重見大介, 森 瑛子, 中田真理世, 松橋智彦, 山田 隆, 鴨井青龍：臍部腫瘍に多量の乳糜腹水を合併し, 婦人科悪性腫瘍と鑑別を要した硬化性腸間膜炎の 1 例. 日本医科大学医学会 (第 83 回) (東京都), 2015. 9.
- 9) 山田 隆, 島津絢美¹⁾, 松橋智彦, 森 瑛子, 小黒辰夫¹⁾, 鴨井青龍, 竹下俊行²⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 病理診断科, ²⁾ 日本医科大学付属病院 女性診療科・産科)：高用量黄体ホルモン療法を施行した早期子宮体癌症例の超微形態学的検討. 日本臨床分子形態学会 (第 47 回) (長崎県), 2015. 9.
- 10) 松橋智彦, 浜野愛理, 大和田桃子, 松井遼子, 重見大介, 森 瑛子, 中田真理世, 山田 隆, 鴨井青龍：腹腔鏡補助下に核出術を行った子宮体部 adenomatoid tumor の 1 例. 千葉県産科婦人科医学会 (千葉県), 2016. 2.

21. 頭頸部・感覚器科学分野

[付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科・武蔵小杉病院耳鼻咽喉科・多摩永山病院耳鼻咽喉科・千葉北総病院耳鼻咽喉科]

研究概要

分野の主たる研究領域は現状、鼻科学、免疫アレルギー学、耳科学、めまい平衡医学、頭頸部外科学に関するものである。生理学的、形態学的、免疫学的、分子生物的研究方法を駆使して、質の高い基礎的臨床的研究成果を目指している。この入力された業績の英文、和文論文、学会発表で示されている通り、様々な研究が症例報告を含めて、質の高い成果として国内国外に示されている。2015年度に発表された英文原著は昨年度より若干であるが増加し9であった(論文合計29;和文原著5,和文総説15,厚労省研究報告1)。尚2014年度の英文論文の追加も3編あった。これらの数は国内外の耳鼻咽喉科学教室の上位である。また分野主任が編集主幹した日本のアレルギー性鼻炎ガイドライン2016年度版が公開され、改定第8版まで至っている。これらの活動を援助するための外部からの競争的研究補助金獲得も積極的に行われ、若手研究者の文部科学省研究費補助金やスタッフの厚生労働省科学研究費をはじめとした研究補助金を獲得している。分野教授自身は厚生労働省科学研究費補助金事業の2つの組織の分担研究者も行き、2015年継続中である。またアレルギー性鼻炎の舌下免疫療法の研究は継続して行っており、スギ花粉以外にもダニ抗原が実際に国内の薬剤製造承認を受けた。他の分野においても積極的に分野全員で国際学会や国内学会への参加、そして発表も行い、着実な成果を上げている。次年度も同じように質の高い、患者のためになる基礎的臨床的研究を行っていききたい。

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Sekine K, Matsune S, Shiiba K¹⁾, Kimura M, Okubo K²⁾, Kaneshiro T³⁾, Tajima H³⁾, Murakami M⁴⁾, Kurokawa A⁵⁾ (1) Nozawa Otolaryngology Clinic, Tokyo, Japan, 2) Department of Head & Neck and Sensory Organ Science, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan, 3) Center for Minimally Invasive Treatment, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, Kanagawa, Japan, 4) Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, Kanagawa, Japan, 5) Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, Kanagawa, Japan): Treatment of nostril and nasal stenosis due to facial burn using a self-expandable metallic esophageal stent. *Auris Nasus Larynx* 2015; 42: 348-352.
- 2) Okamoto Y¹⁾, Okubo K, Yonekura S¹⁾, Hashiguchi K²⁾, Goto M, Otsuka T³⁾, Murata T⁴⁾, Nakao Y⁵⁾, Kanazawa C⁶⁾, Nagakura H⁷⁾, Okawa T⁸⁾, Nakano K⁹⁾, Hisamitsu M¹⁰⁾, Kaneko S, Konno A (1) Chiba Univ, 2) Futaba Clin, 3) Tokorozawa ENT Clin, 4) Morishita ENT Clin, 5) Ogikubo Nakao ENT Clin, 6) Kanazawa Clin ENT, 7) Nagakura ENT Allergy Clin, 8) Okawa ENT Clin, 9) Nakano ENT Clin, 10) and others): Efficacy and safety of sublingual immunotherapy for two seasons in patients with Japanese cedar pollinosis. *Int Arch Allergy Immunol* 2015; 166 (4): 177-188.
- 3) Okubo K, Ichimura M¹⁾, Koyama T¹⁾, Susuta Y¹⁾, Izaki H¹⁾ (1) Tanabe Mitsubishi Pharma Com): Double blind placebo-controlled study of bepotastine besilate in pediatric patients with perennial allergic rhinitis. *Expert Opin Pharmacother* 2015; 16 (4): 1-14.
- 4) Takai T¹⁾, Okamoto Y²⁾, Okubo K, Nagata M³⁾, Sakaguchi M⁴⁾, Fukutomi Y⁵⁾, Saito A⁵⁾, Yasueda H⁵⁾, Masuyama K⁶⁾ (1) Juntendo Univ, 2) Chiba Univ, 3) Saitama Med Sch, 4) Azabu Univ, 5) Sagami-hara HOsp, 6) Yamanashi Univ): Japanese Society of Allergology task force report on standardization of house dust mite allergen vaccines-secondary publication. *Allergology International* 2015; 64 (3): 181-186.
- 5) Miwa M, Shiozawa A¹⁾, Ono N¹⁾, Homma H¹⁾, Hirotsu M¹⁾, Ikeda K¹⁾ (1) Dept of Otorhinolaryngology, Faculty of Medicine, Juntendo University): Comparative analysis of cytokine release from epithelial cell culture of upper airway. *Rhinology* 2015; 53 (2): 135-41.
- 6) Bousquet J¹⁾, Shunemann H²⁾, Fonseca J³⁾, Samolinski B⁴⁾, Bachert C⁵⁾, Canonica G⁶⁾, Casale T⁷⁾, Cruz A⁸⁾, Demoly P⁹⁾, Hellings P¹⁰⁾, Valiulis A, Wickman M, Zuberbier T, Bosnic-Anticevitch S, Okubo K, et al. (1) MACVIA-LR, France, 2) INSREM, Furence, 3) Unv do Porto, Portugal, 4) Med Univ Warsaw, Russia, 5) Ghent Unv, Belgium, 6) Univ Genoa, Italy, 7) Univ South Florida, USA, 8) Fed Unv Bahia, Brasil, 9) Montepalliar Univ, France, 10) and others): MACVA-ARIA Sentinel Network for allergic rhinitis (MASK-rhinitis): the new generation guideline implementation. *Allergy* 2015; 70 (6): 1372-1392.
- 7) Masuyama K¹⁾, Gotoh M²⁾, Takeno S³⁾, Ohta N⁴⁾, Okano M⁵⁾, Kamijo A⁶⁾, Suzuki M⁷⁾, Terada T⁸⁾, Sukurai D⁹⁾, Horiguchi S¹⁰⁾, Honda K, Mastune S, Yamada T, Sakashita M, Yuta A, et al. (1) Department of Otorhinolaryngology, University of Yamanashi, 2) Department of Otorhinolaryngology -Head and Neck Surgery, Nippon Medical School, 3) Department of Otolaryn-

- gology -Head and Neck Surgery, Hiroshima University, ⁴⁾ Department of Otolaryngology -Head and Neck Surgery, Yamagata University, ⁵⁾ Department of Otolaryngology -Head and Neck Surgery, Okayama University, Okayama, ⁶⁾ Otorhinolaryngology/Allergy Center, Saitama Medical University, ⁷⁾ Department of Otolaryngology -Head and Neck Surgery, Nagoya City University, ⁸⁾ Department of Otorhinolaryngology, Osaka Medical University, ⁹⁾ Department of Otolaryngology -Head and Neck Surgery, Chiba University, ¹⁰⁾ and others) : Guiding principles of sublingual immunotherapy for allergic rhinitis in Japanese patients. *Auris Nasus Larynx* 2016 ; 43 (1) : 1-9.
- 8) 村上亮介^{1,2)}, 中川洋子²⁾, 清水真澄²⁾, 若林あや子²⁾, 根岸靖幸²⁾, 廣井隆親³⁾, 大久保公裕¹⁾, 高橋秀実²⁾ (¹⁾ 日本医科大学 耳鼻咽喉科学, ²⁾ 日本医科大学 微生物学免疫学, ³⁾ 東京都医学総合研究所 ゲノム医科学研究分野・花粉症プロジェクト) : Effects of Dendritic Cell Subset Manipulation on Airway Allergy in a Mouse Model. *International Archives of Allergy and Immunology* 2016 ; 168 (4) : 219-232.
- 9) Otsuka H¹⁾, Takenaka I²⁾, Tokunou S³⁾, Endo S³⁾, Okubo K (¹⁾ Otsuka Clin, ²⁾ Kanagawa General High Sch, ³⁾ Kihin Medical Lab) : Involvement of Staphylococcus aureus and Moraxella catarrhalis in Japanese cedar pollinosis. *AM J Rhinology* 2016 ; 30 (2) : 99-106.
- 10) Mochizuki N¹⁾, Hayamawa N¹⁾, Minowa F²⁾, Saito A³⁾, Ishioka K¹⁾, Ueda F¹⁾, Okubo K, Tazaki H¹⁾ (¹⁾ Nippon Veterinary and Life Science, ²⁾ Minowa Horse Clin, ³⁾ Shizuoka Institute of Science and Thechology) : The concentration of iodine in horse serum and its relationship with thyroxin concentration by geological difference. *Environ Monit Assess* 2016 ; 188 (3) : 1-6.
- 11) 横島一彦, 中溝宗永 : 高齢頭頸部癌患者の診療に関するアンケート調査 : 頭頸部がん専門医の意識. *日耳鼻* 2015 ; 118 : 1053-1057.
- 12) 神沼 修¹⁾, 後藤 穰²⁾, 中谷明弘³⁾, 大久保公裕²⁾, 廣井隆親¹⁾ (¹⁾ 東京都医学総合研究所花粉症プロジェクト, ²⁾ 日本医科大学耳鼻咽喉科, ³⁾ 大阪大学) : アンサンブル学習によるスギ花粉症の治療効果を判定する血清バイオマーカーセットの同定. *日本薬理学雑誌* 2015 ; 46 (5) : 259-262.
- 13) 松根彰志, 猿谷昌司¹⁾, 澤木誠司²⁾, 大塚博邦³⁾, 大山義雄⁴⁾, 蓑輪 仁⁵⁾, 小山 守⁶⁾, 生井明宏⁷⁾, 吉岡友真, 若山 望, 石田麻里子, 関根久遠, 山口 智, 大久保公裕⁸⁾ (¹⁾ 猿谷耳鼻咽喉科医院, ²⁾ 菊名耳鼻咽喉科医院, ³⁾ 大塚耳鼻咽喉科医院, ⁴⁾ 大山耳鼻咽喉科診療所, ⁵⁾ みのわ耳鼻咽喉科医院, ⁶⁾ こやま耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック, ⁷⁾ はくらく耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック, ⁸⁾ 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科) : 小児スギ花粉症初期療法におけるロイコトリエン受容拮抗薬の有効性の検討. *アレルギー* 2016 ; 65 (1) : 57-65.
- 14) 石田麻里子, 中溝宗永, 稲井俊太, 酒主敦子, 横島一彦, 田中 健¹⁾, 神尾友信¹⁾, 松根彰志, 大久保公裕 (¹⁾ 神尾記念病院) : ガマ腫に対する舌下腺全摘出術の有用性. *頭頸部外科* 2016 ; 25 (3) : 409-413.
- (2) 総説 :
- 1) 後藤 穰 : スギ花粉症に対する舌下免疫療法. *日本職業・環境アレルギー学会雑誌* 2015 ; 22 (2) : 1-5.
- 2) 後藤 穰 : アレルギー性鼻炎治療の新展開. *アレルギー・免疫* 2015 ; 64 (5) : 693-698.
- 3) 後藤 穰 : 【アレルギー性鼻炎の診断と治療 Update】アレルギー性鼻炎の診断と治療. *小児科臨床* 2015 ; 68 (5) : 973-981.
- 4) 横島一彦 : 耳鼻咽喉科手術ガイド 顎下腺全摘出術. *耳鼻喉頭頸* 2015 ; 87 (5) : 140-142.
- 5) 松根彰志 : 上気道炎と Overlap syndrome : 特に治療の側面から. *ENTONI* 2015 ; 184 : 58-62.
- 6) 後藤 穰 : ガイドラインのワンポイント解説 舌下免疫療法 舌下免疫療法を開始するためのポイント. *アレルギー* 2015 ; 64 (8) : 1136-1140.
- 7) 後藤 穰 : アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法. *日本医科大学医学会雑誌* 2015 ; 11 (4) : 203-204.
- 8) 後藤 穰 : アレルゲン免疫療法の実際 舌下免疫療法を中心に. *日本小児アレルギー学会誌* 2015 ; 29 (4) : 494-494.
- 9) 後藤 穰 : 治療薬を使いこなす 舌下免疫療法. *Medicina* 2015 ; 52 (11) : 1909-1911.
- 10) 松根彰志, 石田麻里子 : Local allergic rhinitis : 下鼻甲介粘膜局所での抗原特異的 IgE 産生に基づく疾患概念. *臨床免疫・アレルギー科* 2015 ; 64 (5) : 454-458.
- 11) 松根彰志 : アレルギー性鼻炎と生活習慣病. *アレルギーの臨床* 2015 ; 35 (480) : 34-36.
- 12) 松根彰志, 大久保公裕¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学医学研究科頭頸部・感覚器科学) : 鼻副鼻腔炎 : 総論 - 副鼻腔炎から鼻副鼻腔炎へ. *神経内科* 2015 ; 83 (6) : 485-490.
- 13) 関根久遠, 松根彰志 : 耳鼻咽喉科で主に用いられる治療薬とその使い方 去痰薬, 鎮咳薬. *JOHNS* 2015 ; 31 (9) : 1132-1136.
- 14) 横島一彦, 中溝宗永, 稲井俊太, 酒主敦子 : 耳下腺深葉良性腫瘍の手術. *耳鼻臨床* 2015 ; 108 : 92-93.
- 15) 中溝宗永 : 選択的頸部郭清術. *頭頸部外科* 2016 ; 25 (3) : 283-286.

著 書

- 1) 細矢 慶 : [編集] イネ科花粉免疫療法がアレルゲン鼻誘発に対する臨床および局所免疫反応に及ぼす影響 Effect of grass pollen immunotherapy on clinical and local immune response to nasal allergen challenge. *Allergy 日本語版 Vol.1 No.3* (大久保公裕), 2015 ;

Wiley blackwell.

- 2) 大久保公裕：〔分担〕鼻アレルギー。南山堂医学大辞典（秋澤忠男ほか），2015；pp2013-2013，南山堂。
- 3) 大久保公裕：〔分担〕花粉症。ガイドライン外来診療 2015（泉孝英），2015；pp404-406，日経メディカル開発。
- 4) 大久保公裕：〔分担〕学童期 花粉症。年代別アレルギー疾患への対応，2015；pp174-176，中山書店。
- 5) 海老澤元宏¹⁾，大久保公裕²⁾，松根彰志，その他 55 名（¹⁾ 国立病院機構相模原病院臨床研究センター アレルギー性疾患研究部，²⁾ 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科）：〔共著〕アレルギー性鼻炎（成人期への移行）。小児科臨床ピクシス（5）年代別アレルギー疾患への対応（五十嵐 隆，海老澤元宏），2015；pp198-203，中山書店。
- 6) 中溝宗永，横島一彦：〔分担〕V 頭頸部腫瘍領域 B. 治療各論 2) 下咽頭癌 3 同時重複癌のエビデンスは？。EBM 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の治療 2015 - 2016（池田勝久，武田憲昭，香取幸夫，原測保明，丹生健一），2015；pp569-573，中外医学社。
- 7) 三輪正人：〔分担〕II 鼻副鼻腔領域 A アレルギー性鼻炎・花粉症 健康食品の有効性のエビデンスは？。EBM 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の治療 2015-2016（池田勝久，武田憲昭，香取幸夫，原測保明，丹生健一編集），2015；pp166-169，中外医学社。
- 8) 松根彰志，その他 25 名：〔分担〕滲出性中耳炎にマクロライド系薬は有効か。マクロライド系薬の新しい使い方（門田純一），2015；p127。
- 9) 大久保公裕：〔共著〕花粉症。日経実力病院調査（日本経済新聞社），2015；pp110-111，日本経済新聞社。
- 10) 村上亮介¹⁾（¹⁾ 日本医科大学 耳鼻咽喉科学）：通年性アレルギー性鼻炎における薬物療法のポイントと注意点を教えてください。鼻アレルギーフロンティア（奥田稔，宮本昭正），2015；pp39-39，メディカルレビュー社。
- 11) 中溝宗永：〔分担〕第 10 章 腫瘍 II 舌良性腫瘍。口腔咽頭の臨床 第 3 版（日本口腔・咽頭科学会），2015；pp148-149，医学書院。
- 12) 松根彰志，その他 45 名：〔分担〕舌下免疫療法 アレルギー治療の new comer。眼科開業のための診療・連携ポイント（松元 俊，吉川啓司），2015；pp45-45，診断と治療社。
- 13) 大久保公裕：〔分担〕花粉症。名医の最新治療 2016（週刊朝日 MOOK），2015；pp144-147，週刊朝日 MOOK。
- 14) 大久保公裕：〔分担〕12 耳鼻咽喉科用薬。治療薬ハンドブック 2016（高久文麿），2015；pp239-253，じほう。
- 15) 大久保公裕：〔分担〕30. 鼻アレルギー診療ガイドライン：通年性鼻炎と花粉症：2013 年版（改定第 7 版）。今日の治療指針 206（山口徹，北原光夫），2015；pp2020-2018，医学書院。
- 16) 大久保公裕：〔編集〕II 治療。4 アレルゲン免疫療法。鼻アレルギー診療ガイドライン—通年性鼻炎と花粉症—2016 年版（改定第 8 版）（鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会），2015；pp57-64，ライフサイエンス。
- 17) 大久保公裕：〔編集〕II 治療。5 手術。鼻アレルギー診療ガイドライン—通年性鼻炎と花粉症—2016 年版（改定第 8 版）（鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会），2015；pp65-66，ライフサイエンス。
- 18) 大久保公裕：〔編集〕III 治療法の選択。2 花粉症。鼻アレルギー診療ガイドライン—通年性鼻炎と花粉症—2016 年版（改定第 8 版）（鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会），2015；pp68-70，ライフサイエンス。
- 19) 大久保公裕：〔編集〕鼻アレルギー診療ガイドライン 2016 番ダイジェスト。鼻アレルギー診療ガイドライン 2016 番ダイジェスト（鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会），2015；pp1-32，ライフサイエンス。
- 20) 大久保公裕：〔自著〕アレルギー性鼻炎ガイド 2016 年版。アレルギー性鼻炎ガイド 2016 年版（鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会），2015；pp1-19，ライフサイエンス。

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 松根彰志：鼻副鼻腔炎の診断と治療における今日的課題とチャレンジ。日本医科大学医学会総会（第 83 回）（東京都），2015. 9.
- 2) 三輪正人：上皮バリア機能の包括的評価システムの構築。第 83 回日本医科大学医学会総会（東京），2015. 9.

(2) 招待講演：

- 1) 三輪正人：ドライノーズの先制医療：タフノーズへの展開。第 54 回日本鼻科学会（広島市），2015. 9.

(3) 教育講演：

- 1) 横島一彦：高齢者の頭頸部癌への対応。日本耳鼻咽喉科学会（第 116 回）（東京），2015. 5.

(4) シンポジウム：

- 1) 後藤 稔：アレルギー性鼻炎に対するダニ皮下免疫療法の実践（ダニアレルギーにおけるアレルゲン免疫療法の実践）。日本アレルギー学会（第 64 回）（東京），2015. 5.
- 2) 後藤 稔：結膜炎を合併したアレルギー性鼻炎の治療（花粉症）（アレルギー性鼻結膜炎の最新治療（免疫療法以外））。日本アレルギー学会（第 64 回）（東京），2015. 5.
- 3) 後藤 稔：免疫療法 Up to date スギ花粉症の舌下免疫療法。日本アレルギー学会（第 64 回）（東京），2015. 5.
- 4) 大久保公裕，後藤 稔：スギ花粉症に対する舌下免疫療法の効果と機序。日本アレルギー学会（第 64 回）（東京），2015. 5.
- 5) 三輪正人，大久保公裕，廣瀬 壮¹⁾，中島規幸²⁾，三輪真由美³⁾，小野倫嗣⁴⁾，佐々木大輔⁵⁾，塩沢晃人⁶⁾，廣津幹男⁶⁾，中村真浩⁶⁾，

池田勝久⁶⁾ (1) 三鷹台ヒルズクリニック, 2) なかじまクリニック, 3) はりま坂クリニック, 4) 順天堂大学医学部附属練馬病院耳鼻咽喉科, 5) 多摩南部病院耳鼻咽喉科, 6) 順天堂大学医学部附属順天堂医院耳鼻咽喉科) : 抗原鼻誘発後の鼻粘膜上皮バリア機能の低下と鼻噴霧用ステロイドによる回復. 第34回気道分泌研究会 (札幌市), 2015. 7.

(5) パネルディスカッション :

- 1) 後藤 穰 : アレルギー性鼻炎 (免疫療法). 総合アレルギー講習会 (第2回) (横浜), 2015. 12.

(6) セミナー :

- 1) 後藤 穰 : 成人アレルギー性鼻炎 (アレルギー性鼻炎). 日本アレルギー学会 (第64回) (東京), 2015. 5.
- 2) 大久保公裕, 増野 聡, 細矢 慶, 橋口一弘¹⁾ (1) 双葉クリニック) : スギ花粉症におけるロイコトリエン受容体拮抗薬のエビデンス. 日本アレルギー学会 (第64回) (東京), 2015. 5.
- 3) 中溝宗永 : 頭頸部悪性腫瘍全国登録の現状と課題. 頭頸部がん専門医制度教育セミナー (東京), 2015. 9.
- 4) 後藤 穰 : アレルギー性鼻炎に対するアレルゲン免疫療法 (アレルギー性鼻炎の病態機序に基づいた新たな治療戦略). 日本鼻科学会 (第54回) (広島), 2015. 10.
- 5) 中溝宗永 : 垂直部分切除術を行った若年喉頭癌の1例. 千駄木耳鼻咽喉科セミナー (2) (東京), 2015. 11.
- 6) 大久保公裕 : ダニアレルギーに対する舌下免疫療法. 日本アレルギー学会総合アレルギー講習会 (第2回) (横浜), 2015. 12.

(7) 一般講演 :

- 1) Yokoshima K, Nakamizo M, Sakanushi A, Inai S, Umezawa H¹⁾, Hosoya K, Kato T, Nakao J¹⁾, Okubo K (1) Department of Plastic and Reconstructive Surgery) : Diagnostic Procedure and Prediction of Prognosis for Postoperative Asymmetry of the Lip. Congress of Asian Society of Head and Neck Oncology (4th.) (Kobe), 2015. 6.
- 2) Nakamizo M, Yokoshima K, Inai S, Sakanushi A, Kato T, Okubo K, Ryuji O¹⁾ (1) Department of Pathology, Nippon Medical School) : Strategy for the management of advanced hypopharyngeal carcinoma with pathological metastasis in the lateral retropharyngeal node. Congress of asian society of head and neck oncology (4) (Kobe), 2015. 6.
- 3) Okubo K, Okamoto Y¹⁾, Gotoh M, Kaneko S²⁾, Konno A¹⁾ (1) Chiba Univ, 2) Torii Pharm) : Efficacy and safety of consesutive sublingual immunotherapy with droplet of Japanese cedar pollen extract in patients with Japanese cedar pollinosis. European Academy of Allergy and Clinical Immunology Congress 2015 (Barcelona), 2015. 6.
- 4) Okamoto Y¹⁾, Sakurai T¹⁾, Inuma T¹⁾, Sakurai D¹⁾, Yonekura S¹⁾, Okubo K, Kaneko S²⁾, Konno A¹⁾ (1) Chiba Univ, 2) Torii Pharm) : Relationship between pollen dispersal and the severity of allergic symptoms and immunotherapy : allergen immunotherapy regulates symptoms at the peak, but not in the early period, of pollen dispersal. European Academy of Allergy and Clinical Immunology 2015 (Barcelona), 2015. 6.
- 5) Michel O¹⁾, Kowalewski M²⁾, Watanabe K³⁾ (1) UZB dienst KNO, Vrije Universiteit Brussels VUB, Belgium, 2) Dept. of ENT, University of Cologne, 3) Dept. of ENT, Nippon Medical School) : Experimental patterns in animal studies encompassing cisplatin induced hearing loss. Polizer Society meeting (30th) (Niigata, Japan), 2015. 6.
- 6) Watanabe K¹⁾, Ohta S²⁾, Ohkubo K¹⁾, Michel O³⁾ (1) Dept. of ENT, Nippon Medical School, 2) Dept. of Biochemistry and Cell Biology, Institute of Development and Aging Science, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, 3) UZB dienst KNO, Vrije Universiteit Brussels VUB, Belgium) : Ototoxicity of cisplatin and trials of its reduction, experiments of our laboratory. Polizer Society meeting (30th) (Niigata, Japan), 2015. 6.
- 7) Miwa M, Hasan MS¹⁾, Miwa M²⁾, Okubo K (1) Atopy Research Center, Juntendo University, 2) Harimazaka Clinic) : Filaggrin in nose. American Rhinologic Society Annual Meeting (Dallas, USA), 2015. 9.
- 8) Yokoshima K, Nakamizo M : Survey on the Choice of the Treatment in Elderly Patients with Head and Neck Cancer. Japan and Korea Joint Meeting in Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery (16th.) (Tokyo), 2016. 3.
- 9) Nakamizo M, Yokoshima K, Inai S, Sakanushi A, Kato T, Okubo K : Local recurrence after partial laryngo-pharyngectomy for hypopharyngeal cancer. Japan-Korea ORL-HNS meeting (15) (Tokyo), 2016. 3.
- 10) Matsune S, Ishida M, Wakayama N, Yoshioka Y, Yamaguchi S, Sekine K, Okubo K¹⁾ (1) Nippon Medical School Hospital) : Is Local Allergic Rhinitis (LAR) eosinophilic rhinitis in Guideline?. Japan-Korea Joint Meeting of Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery (16th) (Tokyo), 2016. 3.
- 11) Okubo K : Evidence for efficacy of antihistamine agents against pollen allergy. Japan Korea joint meeting of Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery (Tokyo), 2016. 3.
- 12) Watanabe K^{1,2)}, Bloch W²⁾ (1) Dept. of ENT, Nippon Medical School, 2) Institute für Kreislaufforschung und Sportmedizin, Deutsche Sporthochschule Köln) : Different expression of histone modification in the spiral ganglion cells of manganese super oxide dismutase knock out mice - 2nd report. Japan - Korea Joint Meeting of Otorhinolaryngology - Head and Neck Surgery (16th) (Tokyo, Japan), 2016. 3.

- 13) 石田麻里子, 若山 望, 関根久遠, 山口 智, 松根彰志, 大久保公裕¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科): アレルギー性鼻炎の診断と下鼻甲介粘膜局所での抗原特異的 IgE 抗体産生. 日本耳鼻咽喉科学会総会 (第 116 回) (東京都), 2015. 5.
- 14) 稲井俊太¹⁾, 中溝宗永¹⁾, 横島一彦¹⁾, 酒主敦子¹⁾, 加藤大星¹⁾, 大久保公裕¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科): 頭頸部に発生した結節性筋膜炎の 2 例. 日本頭頸部外科学会 (第 26 回) (名古屋), 2016. 1.
- 15) 吉岡友真, 山口 智, 石田麻里子, 若山 望, 関根久遠, 松根彰志, 大久保公裕¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科): OSA-18 質問紙と簡易モニターを用いた小児の睡眠時無呼吸症候群の検討. 日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 (第 10 回) (軽井沢), 2015. 5.
- 16) 横島一彦¹⁾, 中溝宗永¹⁾, 稲井俊太¹⁾, 酒主敦子¹⁾, 加藤大星¹⁾, 粉川隆行¹⁾, 大久保公裕¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科): 75 歳以上の頭頸部癌患者に対する遊離組織移植を含む根治手術の成績. 日本耳鼻咽喉科学会 (第 116 回) (東京), 2015. 5.
- 17) 長岡竜太¹⁾, 杉谷 巖¹⁾, 真田麻梨恵¹⁾, 岡村律子¹⁾, 赤須東樹¹⁾, 五十嵐健人¹⁾, 横島一彦, 大橋隆治²⁾ (1) 内分泌外科, 2) 病理診断科): 下咽頭に静脈瘤をともなった巨大甲状腺低分化癌の 1 例. 日本内分泌外科学会 (第 27 回) (福島), 2015. 5.
- 18) 村上亮介^{1,2)}, 中川洋子²⁾, 清水真澄²⁾, 若林あや子²⁾, 根岸靖幸²⁾, 大久保公裕¹⁾, 高橋秀実²⁾ (1) 日本医科大学耳鼻咽喉科学, 2) 日本医科大学微生物学免疫学): アレルギー性鼻炎マウスモデルにおける DEC-205 陽性樹状細胞亜群の選択的活性化. 日本アレルギー学会学術大会 (第 64 回) (東京), 2015. 5.
- 19) 中溝宗永, 横島一彦, 稲井俊太, 酒主敦子, 粉川隆行, 加藤大星, 大久保公裕: 下咽頭痛での喉頭温存下咽頭部分切除後の再燃. 日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 (116 回) (東京), 2015. 5.
- 20) 大塚博邦, 塚原博之¹⁾, 木村博一²⁾, 大久保公裕 (1) 群馬衛生環境研, 2) 国立感染研): スギ花粉症にウイルスの関与はあるか. 日本アレルギー学会 (第 64 回) (東京), 2015. 5.
- 21) 大久保公裕, 金子真也¹⁾ (1) 鳥居薬品): スギ花粉症に対する舌下免疫療法 QOL 改善効果の検討, 標準化スギ花粉舌下液 (TO-194SL) 第 III 相試験サブ解析. 日本アレルギー学会 (第 64 回) (東京), 2015. 5.
- 22) 佐藤一樹, 吉岡友真, 若山 望, 石田麻里子, 関根久遠, 山口 智, 松根彰志: 世代別, 男女別の吸入抗原に対する血中特異的抗体価の現況. 日本耳鼻咽喉科神奈川県地方会耳鼻咽喉科・頭頸部外科学術講演会 (第 171 回) (横浜市), 2015. 7.
- 23) 吉岡友真, 山口 智, 若山 望, 石田麻里子, 関根久遠, 勝部康弘¹⁾, 松根彰志, 大久保公裕²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院小児科, 2) 日本医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科): 小児睡眠時無呼吸症候群と成長障害について: OSA-18 質問紙と身長・体重の関連性. 日本口腔・咽頭科学会 (第 28 回) (大阪市), 2015. 9.
- 24) 若山 望, 立山幸次郎¹⁾, 関根久遠, 佐藤一樹, 喜多村孝幸¹⁾, 松根彰志, 大久保公裕²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科, 2) 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科): 突発性頭蓋内亢進症から髄液鼻漏を呈し当科受診した症例. 日本鼻科学会総会・学術講演会 (第 54 回) (広島市), 2015. 10.
- 25) 加藤大星, 細矢 慶, 小町太郎, 村上亮介, 若山 望, 吉野綾穂, 鈴木宏隆, 大久保公裕: 鼻中隔から発生した鼻ポリープの 1 例. 日本鼻科学会 (第 54 回) (広島国際会議場), 2015. 10.
- 26) 大久保公裕, 黒野祐一¹⁾, 奥泉 薫²⁾, 鈴木勝久²⁾, 川内秀之³⁾ (1) 鹿児島大, 2) サノフィ, 3) 鳥根大): デイレグラ配合錠使用成績踏査の使用事態下における安全性および有効性の検討. 日本鼻科学会 (第 54 回) (広島), 2015. 10.
- 27) 加藤大星¹⁾, 細矢 慶¹⁾, 小町太郎²⁾, 鈴木宏隆¹⁾, 若山 望³⁾, 村上亮介¹⁾, 大久保公裕¹⁾ (1) 付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2) 千葉北総病院耳鼻咽喉科, 3) 武蔵小杉病院耳鼻咽喉科): 鼻中隔から発生した鼻ポリープの 1 例. 日本鼻科学会 (54) (広島), 2015. 11.
- 28) 鈴木 (付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科) 宏隆, 細矢 (付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科) 慶, 小町 (千葉北総病院耳鼻咽喉科) 太郎, 吉岡 (武蔵小杉病院耳鼻咽喉科) 友真, 大久保 (付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科) 公裕: 眼窩底骨折を伴う急性副鼻腔炎により眼窩内膿瘍をきたした小児の 1 例. 日本鼻科学会 (54) (広島), 2015. 11.
- 29) 大久保公裕: 小児スギ花粉症に対するロイコトリエン受容体拮抗薬の可能性. 日本小児アレルギー学会 (第 52 回) (奈良), 2015. 11.
- 30) 佐藤一樹, 吉岡友真, 若山 望, 石田麻里子, 関根久遠, 山口 智, 松根彰志: 慢性副鼻腔炎における嗅覚障害に対する内視鏡下副鼻腔手術の治療効果. 日本耳鼻咽喉科学会神奈川地方会耳鼻咽喉科・頭頸部外科学術講演会 (第 173 回) (横浜市), 2015. 12.
- 31) 横島一彦¹⁾, 中溝宗永¹⁾, 稲井俊太¹⁾, 酒主敦子¹⁾, 加藤大星¹⁾, 大久保公裕¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科): 耳下腺手術後の口唇運動麻痺の多様性について. 日本頭頸部外科学会 (第 26 回) (名古屋), 2016. 1.
- 32) 吉岡友真¹⁾, 稲井俊太²⁾, 酒主敦子²⁾, 横島一彦²⁾, 中溝宗永²⁾, 大久保公裕²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院耳鼻咽喉科, 2) 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科): 悪性腫瘍との鑑別が必要であった耳下腺 Intraductal Papilloma の 1 例. 日本頭頸部外科学会 (第 26 回) (名古屋), 2016. 1.
- 33) 細矢 慶¹⁾, 小町太郎²⁾, 村上亮介¹⁾, 増野 聡³⁾, 大久保公裕¹⁾ (1) 付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2) 千葉北総病院耳鼻咽喉科, 3) 千葉北総病院耳鼻咽喉科): 慢性副鼻腔炎による嗅覚障害に対する内視鏡下副鼻腔手術の検討: 鼻中隔粘膜と嗅覚障害の関連性.

- 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 (33) (東京), 2016. 1.
- 34) 加藤大星, 中溝宗永, 横島一彦, 稲井俊太, 酒主敦子, 大久保公裕: 腹部大動脈瘤を合併した非外傷性浅側頭動脈瘤の1例. 日本頭頸部外科学会 (第26回) (広島国際会議場), 2016. 1.
- 35) 若山 望, 松根彰志, 山口 智, 関根久遠, 石田麻里子, 吉岡友真, 大久保公裕¹⁾ (1) 日本医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科教室): 好酸球性副鼻腔炎に対するカンジダ抗原4型アレルギー反応の影響について. 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 (第34回) (三重県鳥羽市), 2016. 2.
- 36) 大久保公裕, 山本屋肇¹⁾ (1) 小野薬品): 新規 DPI 拮抗薬 ONO-4053 の季節性アレルギー性鼻炎を対象とし, プラセボ, プランルカストを比較対照した第II相試験. 第34回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 (鳥羽), 2016. 2.

論文

[追加分]

追加分原著:

- 1) Fujikura T, Okubo K: Effectiveness of second-generation antihistamine for the treatment of morning symptoms observed in patients with perennial allergic rhinitis: Comparison study of bepotastine besilate versus olopatadine hydrochloride. *Otolaryngology Open Access* 2015; 5 (2): e185: 1-5.
- 2) Miwa M, Sasaki D¹⁾, Hirotsu M¹⁾, Shiozawa A¹⁾, Miwa M¹⁾, Ikeda K¹⁾ (1) Dept of Otorhinolaryngology, Faculty of Medicine, Juntendo University): Changes in contents of arachidonic acid metabolites in nasal lavage and mucosal tissues in response to allergen challenge in patients with allergic rhinitis. *J Otol Rhinol* 2015; 1: 20-25.
- 3) Miwa M, Sasaki D¹⁾, Hirotsu M¹⁾, Shiozawa A¹⁾, Miwa M¹⁾, Ikeda K¹⁾ (1) Dept of Otorhinolaryngology, Faculty of Medicine, Juntendo University): Peroxide tone in human inferior nasal turbinate with allergy. *J Otol Rhinol* 2015; 1: 15-19.

22. 男性生殖器・泌尿器科学分野

[付属病院泌尿器科]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Eto M¹⁾, Kwano Y¹⁾, Hirao Y²⁾, Mita K³⁾, Arai Y⁴⁾, Tsukamoto T⁵⁾, Hashine K⁶⁾, Matsubara A⁷⁾, Fujioka T⁸⁾, Kimura G, Shinohara N⁹⁾, Tatsugami K¹⁰⁾, Hinotsu S, Naito S¹⁰⁾, Japan Rcc Trialist Collaborative Group (1) Department of Urology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, 2) Department of Urology, Nara Medical University, 3) Department of Urology, Hiroshima City Asa Hospital, 4) Department of Urology, Tohoku University Graduate School of Medicine, 5) Department of Urology, Sapporo Medical University, 6) Department of Urology, National Hospital Organization Shikoku Cancer Center, 7) Department of Urology, Institute of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima University, 8) Department of Urology, Iwate Medical University School of Medicine, 9) Department of Urology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, 10) and others) : Phase II clinical trial of sorafenib plus interferon-alpha treatment for patients with metastatic renal cell carcinoma in Japan. BMC Cancer 2015.
- 2) 深貝隆志¹⁾, 山中英壽²⁾, 赤倉功一郎³⁾, 木村 剛, 門間哲雄⁴⁾, 中島洋介⁵⁾, 森山正敏⁶⁾, 柏原 剛⁷⁾, 執印太郎⁸⁾ (1) 昭和大学江東豊洲病院泌尿器科, 2) 黒沢病院泌尿器科, 3) JCHO 東京新宿メディカルセンター泌尿器科, 4) 国立病院機構埼玉病院泌尿器科, 5) 済生会横浜市東部病院泌尿器科, 6) 横浜市立市民病院泌尿器科, 7) 佐久総合病院泌尿器科, 8) 高知大学医学部泌尿器科) : 日本における前立腺癌の啓発と前立腺がん検診の普及を目的として施行した「前立腺がん啓発週間」の役割に関する検討. 腎臓病 2015 ; 23 : 65-66.
- 3) Hayashi T¹⁾, Yuasa T¹⁾, Uehara S¹⁾, Inoue Y²⁾, Yamamoto S¹⁾, Masuda H¹⁾, Fujii Y³⁾, Fukui I¹⁾, Yonese J¹⁾ (1) がん研有明病院 泌尿器科, 2) 日本医科大学 泌尿器科, 3) 東京医科歯科大学 泌尿器科) : Clinical outcome of urachal cancer in Japanese patients. International Journal of Clinical Oncology 2016 ; 21 (1) : 133-138.
- 4) 稲津宏紀, 近藤幸尋, 村田太郎, 徳永まゆ子, 富田京一 : 右水腎症を伴った卵巣静脈原発平滑筋肉腫の1例. 日本泌尿器科学会雑誌 2015 ; 106 (3) : 211-215.
- 5) 赤塚 純¹⁾, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院泌尿器科) : 腎臓領域における IgG4 関連疾患に対する外科的治療介入について. 腎臓病 2015 ; 2 (3) : 335-338.
- 6) 稲津宏紀, 根本 勺, 飯ヶ谷重来, 塩路 豪, 三浦剛史, 坪井成美 : 子宮・陰転移を認めた尿路上皮癌の1例. 泌尿器外科 2015 ; 28 (11) : 1845-1851.
- 7) 遠藤勇気¹⁾, 木村 剛¹⁾, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院泌尿器科) : 特集 いまさら聞けない! 泌尿器がん化学療法の理論と実践 IV. 疾患別がん化学療法の理論と実践 膀胱癌. 臨床泌尿器科 2015 ; 69 (12 別冊) : 1041-1050.

(2) 総説：

- 1) 木村 剛 : 転移性前立腺癌治療における費用対効果とドセタキセル. Current Organ Topics : 泌尿器系 腫瘍 - 泌尿器癌. 癌と化学療法 2016 ; 43 (1) : 45-49.
- 2) 木村 剛 : 04. 前立腺がんの発見のポイントは? 特集 まるごと前立腺がん. 泌尿器 Care & Cure Uro-Lo 2016 ; 21 (1) : 23-25.
- 3) 木村 剛 : 去勢抵抗性前立腺癌に対する新規ホルモン療法薬. 東京医師会雑誌 2015 ; 68 : 33-39.
- 4) 木村 剛 : 2. 至適前立腺生検の手技の確立. III. 最新の臨床研究. 前立腺癌 : 基礎・臨床研究の最新知見. 日本臨牀 2016 ; 74 (1) : 79-84.

著書

- 1) 木村 剛 : [分担] 腎癌転移巣に対する外科的治療の意義は?. EBM 泌尿器科疾患の治療 2015-2016 (後藤百万, 小川 修, 寛 善行, 出口 隆, 宮沢克人), 2015 ; pp191-200, 中外医学社.
- 2) 木村 剛 : [分担] 膀胱・前立腺の超音波診断, 腎臓病の症候. 今日の診断指針 第7版 (金澤一郎, 永井良三), 2015 ; pp435-441, 医学書院.
- 3) 木村 剛 : [分担] succinate dehydrogenase-deficient renal cell carcinoma (SDH-deficient RCC). 第7章. その他の疾患. Tumor syndromes, 2015 ; pp240-241, メジカルビュー社.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 川端 岳¹⁾, 近藤幸尋²⁾ (1) 関西労災病院 泌尿器科, 2) 日本医科大学 泌尿器科)：腹腔鏡下前立腺全摘除術 長期成績. 日本泌尿器内視鏡学会総会 (第 29 回) (東京), 2015. 11.

(2) パネルディスカッション：

- 1) 新藤貴雄¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科)：完全鑄型結石に対する TUL 単独治療の治療経験. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (石川県 金沢), 2015. 4.
- 2) 岩村正嗣¹⁾, 近藤幸尋²⁾ (1) 北里大学医学部泌尿器科学, 2) 日本医科大学泌尿器科学)：3D 内視鏡を用いた腹腔鏡手術. 日本泌尿器内視鏡学会総会 (第 29 回) (東京), 2015. 11.

(3) ワークショップ：

- 1) 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学 泌尿器科)：医療安全と情報共有. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (石川県 金沢), 2015. 4.
- 2) 近藤幸尋¹⁾, 三股浩光²⁾ (1) 日本医科大学泌尿器科, 2) 大分大学医学部泌尿器科)：ロボット支援/腹腔鏡下膀胱全摘除術における問題点と対策. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.

(4) 一般講演：

- 1) Kim C¹⁾, Choi Y²⁾, Lee S³⁾, Lee H⁴⁾, Ueda T⁵⁾, Yonese J⁶⁾, Fukagai T⁷⁾, Mansbach H⁸⁾, Theeuwes A⁹⁾, Beer T¹⁰⁾, Tombal B, Kimura G (1) Asan Medical Center, 2) Severance Hospital, 3) Seoul National University Bundang Hospital, 4) Samsung Medical Center, 5) Chiba Cancer Center, 6) Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 7) Showa University Koto Toyosu Hospital, 8) Medivation Inc., 9) Astellas Pharma Leiden, 10) and others)：The PREVAIL trial of enzalutamide (ENZA) in men with chemotherapy-naïve, metastatic castration-resistant prostate cancer (mCRPC)：Subgroup analysis of Asian patients (pts). AUA (New Orleans), 2015. 5.
- 2) Eto M¹⁾, Kawano Y¹⁾, Hirao Y²⁾, Mita K³⁾, Arai Y⁴⁾, Tsukamoto T⁵⁾, Hashine K⁶⁾, Matsubara A⁷⁾, Fujioka T⁸⁾, Kimura G, Shinohara N⁹⁾, Tatsugami K¹⁰⁾, Hinotsu S, Naito S¹⁰⁾ (1) Department of Urology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, 2) Department of Urology, Nara Medical University, 3) Department of Urology, Hiroshima City Asa Hospital, 4) Department of Urology, Tohoku University Graduate School of Medicine, 5) Department of Urology, Sapporo Medical University, 6) Department of Urology, National Hospital Organization Shikoku Cancer Center, 7) Department of Urology, Institute of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima University, 8) Department of Urology, Iwate Medical University School of Medicine, 9) Department of Urology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, 10) and others)：Phase II clinical trial of sorafenib plus interferon-alpha treatment for patients with metastatic renal cell carcinoma in Japan. AUA (New Orleans), 2015. 5.
- 3) Hayashi T¹⁾, Yuasa T¹⁾, Sano M²⁾, Uehara S¹⁾, Yamasaki M¹⁾, Hagiwara K¹⁾, Sakura M¹⁾, Masuda H¹⁾, Yamamoto S¹⁾, Urakami S³⁾, Fukui I¹⁾, Yonese J¹⁾ (1) がん研有明病院, 2) 日本医科大学, 3) 虎の門病院)：A Prospective Randomized Trial of Intravesical Bacillus Calmette-Guerin Therapy with the Tokyo172 versus Connaught Strain for Non-muscle Invasive Bladder Cancer. 2015 Annual Meeting of the American Urological Association (New Orleans, Louisiana), 2015. 5.
- 4) Kuniaki T¹⁾, Yasuhiro M¹⁾, Kyoko K¹⁾, Hirohito K¹⁾, Takashi A²⁾, Yukihiro K³⁾, Tomotaka H¹⁾, Naoki K¹⁾ (1) Ebina General Hospital Urology, 2) Kita-kyushu-shi Hospital Urology, 3) Nippon Medical School Department Urology)：THE ANTITHROMBOTIC AGENTS DO NOT NEED TO DISCONTINUE PRIOR TRANSRECTAL ULTRASOUND-GUIDED PROSTATE BIOPSY：A SINGLE CENTER EXPERIENCE. American Urological Association 2015 (New Orleans, LA, USA), 2015. 5.
- 5) Jun A¹⁾, Yasutomo S¹⁾, Tsutomu H¹⁾, Takao S¹⁾, Masato Y¹⁾, Go K¹⁾, Yukihiro K¹⁾ (1) Department of Urology, Nippon Medical School)：A Case of Inferior Vena Cava Tumor Thrombus after Partial Nephrectomy for Renal Cell Carcinoma. The International Section of Taiwan Urological Association Conference 2015 (Hualian, Taiwan), 2015. 8.
- 6) Yuki E¹⁾, Yasutomo S¹⁾, Koutaro O¹⁾, Hikaru M¹⁾, Hiroki I¹⁾, Go K¹⁾, Yukihiro K¹⁾ (1) department of Urology, Nippon Medical School)：A Case of Primary Signet-Cell Bladder Cancer Presenting with Epigastralgia. The International Section of Taiwan Urological Association Conference 2015 (Hualian, Taiwan), 2015. 8.
- 7) Hiroki I¹⁾, Shuichi O¹⁾, Taro M³⁾, Kyoichi T³⁾, Yukihiro K²⁾ (1) Department of Urology, Heiseiteishi Hospital, 2) Department of Urology, Nippon Medical School, 3) Department of Urology, Japanese Red Cross Medical)：Leiomyosarcoma Arising from Ovarian Vein with Right Hydronephrosis：a Case Report. The International Section of Taiwan Urological Association Conference 2015 (Hualian, Taiwan), 2015. 8.
- 8) Yasushi I¹⁾, Takeshi Y²⁾, Junji Y²⁾, Yukihiro K¹⁾ (1) Department of Urology, Nippon Medical School, 2) Department of Urology, Cancer Institute Hospital, Japanese Foundation of Cancer Research, Tokyo, Japan)：First-Line Chemotherapy with Gemcitabine and Carboplatin for Patients Unfit for Cisplatin Based Chemotherapy with Unresectable Metastatic Urothelial Carcinoma. The International Section of Taiwan Urological Association Conference 2015 (Hualian, Taiwan), 2015. 8.

- 9) Stenzl A, Tombal B, Iversen P, Kim C, Kimura G, Saad F, Tammela T, Borre M, Mulders P, Bjartell A, Kliment J, Ramon J, Evans C, Parli T, Bhattacharya S, et al. : Enzalutamide in Men with Chemotherapy-Naïve Metastatic Castration-Resistant Prostate Cancer : Extended Analysis of the Phase 3 PREVAIL Study. 67th Annual Congress of the German Society of Urology (DGU) (Hamburg), 2015. 9.
- 10) Akatsuka J, Kimura G, Iigaya S, Kondo Y : Perflubutane-enhanced transrectal ultrasonography in the objective diagnosis of prostate cancer. ESMO Asia (Singapore), 2015. 12.
- 11) Kimura G, Yonese J¹⁾, Fukagai T²⁾, Kamba T³⁾, Nishimura K⁴⁾, Nozawa M⁵⁾, Parli T⁶⁾, Theeuwes A⁷⁾, Beer T⁸⁾, Tombal B⁹⁾, Ueda T¹⁰⁾ (1) Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 2) Showa University Koto Toyosu Hospital, 3) Kyoto University Hospital, 4) Osaka Medical Center for Cancer and Cardiovascular Diseases, 5) Kinki University Faculty of Medicine, 6) Medivation, Inc., 7) Astellas Pharma Global Development, Inc., 8) OHSU Knight Cancer Institute, Oregon Health and Science University, 9) Cliniques Universitaires Saint-Luc, 10) and others) : Subgroup analysis of Japanese men in the PREVAIL trial of enzalutamide (ENZA) in men with chemotherapy-naïve, metastatic castration-resistant prostate cancer (mCRPC). ESMO Asia (Singapore), 2015. 12.
- 12) Kim C¹⁾, Choi Y²⁾, Lee S³⁾, Lee H⁴⁾, Ueda T⁵⁾, Yonese J⁶⁾, Fukagai T⁷⁾, Chiong E⁸⁾, Lau W⁹⁾, Abhyankar S¹⁰⁾, Theeuwes A, Tombal B, Beer T, Kimura G (1) Asan Medical Center, 2) Severance Hospital, 3) Seoul National University Bundang Hospital, 4) Samsung Medical Center, 5) Chiba Cancer Center, 6) Cancer Institute Hospital of Japanese Foundation for Cancer Research, 7) Showa University Koto Toyosu Hospital, 8) Singapore National University Hospital, 9) Singapore General Hospital, 10) and others) : Subgroup analysis of Asian men in the PREVAIL trial of enzalutamide (ENZA) in men with chemotherapy-naïve, metastatic castration-resistant prostate cancer (mCRPC). ESMO Asia (Singapore), 2015. 12.
- 13) Kimura G, Takeda T, Akatsuka J, Endo Y, Kondo Y : Histological architectures of clear cell carcinoma and their correlation to clinicopathologic features. ASCO-GU (San Francisco), 2016. 1.
- 14) Uemura H¹⁾, Nagamori S²⁾, Wakumoto Y³⁾, Uemura H⁴⁾, Kimura G, Yokomizo A⁵⁾, Kikukawa H⁶⁾, Mizokami A⁷⁾, Kosaka T⁸⁾, Masumori N⁹⁾, Kawasaki Y¹⁰⁾, Yonese J, Nasu Y, Fukasawa S, Sugiyama T, et al. (1) Yokohama City University Medical Center, 2) National Hospital Organization Hokkaido Cancer Center, 3) Juntendo University, 4) Kinki University Faculty of Medicine, 5) Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, 6) National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, 7) Kanazawa University Hospital, 8) Keio University School of Medicine, 9) Sapporo Medical University School of Medicine, 10) and others) : Phase II Clinical Study of Radium-223 dichloride (BAY 88-8223) in Japanese patients with symptomatic castration-resistant prostate cancer (CRPC) with bone metastases. ASCO GU (San Francisco), 2016. 1.
- 15) Hayashi T¹⁾, Yuasa T¹⁾, Hagiwara K¹⁾, Sano M²⁾, Uehara S¹⁾, Ogawa M¹⁾, Yamasaki M¹⁾, Sakura M¹⁾, Masuda H¹⁾, Yamamoto S¹⁾, Fukui I¹⁾, Yonese J¹⁾ (1) がん研有明病院, 2) 日本医科大学) : Second-Line Combination Chemotherapy with Cisplatin, Gemcitabine and Paclitaxel for the Treatment of Advanced Germ Cell Tumors. 31st Annual EAU Congress (Munich), 2016. 3.
- 16) 木村 剛, 米瀬淳二¹⁾, 深貝隆志²⁾, 神波大己³⁾, 西村和郎⁴⁾, 野澤昌弘⁵⁾, Mansbach H⁶⁾, Theeuwes A⁷⁾, Beer T⁸⁾, Tombal B⁹⁾, 植田 健¹⁰⁾ (1) がん研有明病院, 2) 昭和大学江東豊洲病院, 3) 京都大学医学部附属病院, 4) 大阪府立成人病センター, 5) 近畿大学医学部附属病院, 6) Medivation Inc, 7) Astellas Pharma, 8) OHSU Knight Cancer Institute, Oregon Health and Science University, 9) Cliniques Universitaires Saint-Luc, 10) その他) : 化学療法未施行の転移性去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの国際共同第III相2重盲検試験 (PREVAIL) における日本人サブグループ解析. 日本泌尿器科学会総会 (第103回) (金沢市), 2015. 4.
- 17) 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学 泌尿器科) : 副腎腫瘍・腎腫瘍 : マーカー, 臨床3. 日本泌尿器科学会総会 (第103回) (石川県 金沢), 2015. 4.
- 18) 戸山友香¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科) : 系統的系18カ所経直腸的前立腺生検における合併症の検討. 日本泌尿器科学会総会 (第103回) (石川県 金沢), 2015. 4.
- 19) 佐野雅之¹⁾ (1) がん研有明病院 泌尿器科) : 転移性腎細胞癌に対する2nd line アキシチニブの治療成績. 日本泌尿器科学会総会 (第103回) (石川県 金沢), 2015. 4.
- 20) 林 達郎¹⁾ (1) がん研有明病院 泌尿器科) : 筋層非浸潤性膀胱癌に対するBCG膀胱内注入療法の東京172株とコンノート (株) の前向き比較試験. 日本泌尿器科学会総会 (第103回) (石川県 金沢), 2015. 4.
- 21) 遠藤勇気¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科) : 上部腹部痛にて発見された膀胱癌腹膜播種の1例. 日本泌尿器科学会総会 (第103回) (石川県 金沢), 2015. 4.
- 22) 大林康太郎¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科) : 腎盂尿管癌に対する鏡下腎尿管全摘除術後における膀胱再発の検討. 日本泌尿器科学会総会 (第103回) (石川県 金沢), 2015. 4.
- 23) 武田隼人¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院泌尿器科) : 生検病理と摘出病理GS 8-10の臨床的検討. 日本泌尿器科学会総会 (第103回) (金沢), 2015. 4.

- 24) 大澤秀一¹⁾ (1) 平成立石病院) : ハイリスク LUTS 患者に対する尿道ステント「メモカス」の有用. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (金沢), 2015. 4.
- 25) 濱崎 務¹⁾ (1) 日本医科大学 泌尿器科) : ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術の初期経験. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (金沢), 2015. 4.
- 26) 松澤一郎¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科) : 局所進行性前立腺癌に対する腹腔鏡下前立腺全摘術の検討. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (金沢), 2015. 4.
- 27) 程塚直人¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科) : 当院で経験した神経節細胞腫の 4 例. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (金沢), 2015. 4.
- 28) 香山重軌¹⁾, 武田隼人¹⁾, 新藤貴雄¹⁾, 中山聡子¹⁾, 戸山友香¹⁾, 近藤幸尋¹⁾, 木村 剛¹⁾, 濱崎 務¹⁾, 松澤一郎¹⁾, 木全亮二²⁾ (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科, 2) 日本医科大学 武蔵小杉病院) : 術前画像診断にて Epidermoid cyst と診断し核出術にて精巣温存できた 1 例. 日本泌尿器科学会東京地方会 (第 618 回) (東京), 2015. 6.
- 29) 西村泰司¹⁾, 野崎哲夫¹⁾ (1) 美幌町立国民健康保険病院泌尿器科) : 単一施設における泌尿器科経験平均 3 年の術者が施行した開腹前立腺全摘術の検討. 日本泌尿器科学会北海道地方会 (第 396 回) (札幌 (北大医学部学友会館)), 2015. 10.
- 30) 西村泰司¹⁾, 野崎哲夫¹⁾ (1) 美幌町立国民健康保険病院泌尿器科) : 平均年齢 90 歳の超高齢者に対する経尿道的前立腺切除術の検討. 日本泌尿器科学会北海道地方会 (第 396 回) (札幌 (北大医学部学友会館)), 2015. 10.
- 31) 稲津宏紀¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科) : Sunitinib に起因する血小板減少症にて早期に血小板輸血不応状態を示した転移性腎癌 2 例. 日本癌治療学会学術集会 (第 53 回) (京都), 2015. 10.
- 32) 武田隼人¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科) : 腹腔鏡下尿管腫瘍切除術を施行し, 腎温存し得た片腎の尿管癌の 1 例. 日本癌治療学会学術集会 (第 53 回) (京都), 2015. 10.
- 33) 松澤一郎¹⁾, 濱崎 務¹⁾, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学 泌尿器科) : 腹腔鏡下前立腺全摘除術に於ける長期治療成績. 日本泌尿器内視鏡学会総会 (第 29 回) (東京), 2015. 11.
- 34) 濱崎 務¹⁾, 鈴木康友²⁾, 木全亮二³⁾, 松澤一郎¹⁾, 木村 剛¹⁾, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科, 2) 日本医科大学 千葉北総病院, 3) 日本医科大学 武蔵小杉病院) : 腎細胞癌に対する鏡視下腎摘除術 HALS から PureLapa へ. 日本泌尿器内視鏡学会総会 (第 29 回) (東京), 2015. 11.
- 35) 柴山慶太¹⁾, 武田隼人¹⁾, 近藤幸尋¹⁾, 木村 剛¹⁾, 濱崎 務¹⁾, 松澤一郎¹⁾, 中山聡子¹⁾, 赤塚 純¹⁾, 遠藤勇気¹⁾, 飯ヶ谷重来¹⁾, 新藤貴雄¹⁾, 野村俊一郎¹⁾, 大林康太郎¹⁾, 天河 亮¹⁾, 香山重軌¹⁾, その他 1 名 (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科) : 外傷性副腎出血の 1 例. 日本泌尿器科学会東京地方会 (第 619 回) (東京), 2015. 12.
- 36) 天河 亮¹⁾, 赤塚 純¹⁾, 松澤一郎¹⁾, 濱崎 務¹⁾, 木村 剛¹⁾, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 泌尿器科) : 腎盂腫瘍との鑑別を要した IgG4 関連疾患の 1 例. 日本泌尿器科学会東京地方会 (第 620 回) (東京), 2016. 2.

論文

[追加分]

追加分原著 :

- 1) Yoshinobu S¹⁾, Shinobu K²⁾, Yasutomo S³⁾, Kousuke N¹⁾, Yukiko M¹⁾, Yuji M¹⁾, Go K³⁾, Yukihiro K³⁾, Arata A¹⁾, Yuh F²⁾, Akihiko G¹⁾ (1) Department of Pulmonary Medicine and Oncology, Nippon Medical School, 2) Department of Analytic Human Pathology, Nippon Medical School, 3) Department of Urology, Nippon Medical School) : Granuloma-forming Interstitial Pneumonia Occurring One Year the Start of Everolimus Therapy. INTERNAL MEDICINE 2013 ; 52 (2) : 263-267.
- 2) Ryo T¹⁾, Ryoji K¹⁾, Shunichiro N¹⁾, Ichiro M¹⁾, Yasutomo S¹⁾, Tsutomu H¹⁾, Yukihiro K¹⁾ (1) Department of Urology, Nippon Medical School) : The Role of Serum Cytokeratin 19 Fragment in Transarterial Infusion against Invasive Bladder Cancer. Open Journal of Urology 2013 ; 3 : 160-164.
- 3) Takahashi R¹⁾, Kimata R¹⁾, Hamasaki T¹⁾, Kawarasaki Y¹⁾, Kondo Y¹⁾ (1) Department of Urology, Nippon Medical School) : Memokath (TM) urethral stents induce incontinence in patients with urethral balloon catheters. J Nippon Med Sch 2013 ; 80 (6) : 433-437.
- 4) Ueno S, Mizukami A, Fukagai T, Fujimoto N, Oh-Oka H, Kondo Y¹⁾, Arai G, Ide H, Horie S, Ueki O, Kawaguchi K, Shimamura M, Orito M, Ishida T, Ikeda D, et al. (1) Department of Urology, Nippon Medical School) : Efficacy of combined androgen blockade with zoledronic acid treatment in prostate cancer with bone metastasis : the ZABTON-PC (zoledronic acid/ androgen blockade trial on prostate cancer) study. Anticancer Res. 2013 ; 33 (9) : 3837-3844.
- 5) Yanagi M¹⁾, Kondo Y¹⁾, Nishimura T¹⁾, Mizumura K, Arai M, Yokota M, Nakazawa K, Murata S, Kumita S (1) Department of Urology, Nippon Medical School) : Role of transcatheter arterial embolization (TAE) for deep renal injury. Nihon Hinyokika

Gakkai Zasshi 2013 ; 104 (6) : 688-696.

- 6) Nomura S, Suzuki Y, Takahashi R, Terasaki M, Kimata R, Hamasaki T, Kimura G, Shimizu A, Kondo Y : Snail expression and outcome in T1 high-grade and T2 bladder cancer : a retrospective immunohistochemical analysis. BMC Urol. 2013 ; 19 (13) : 73.
- 7) Jun A¹⁾, Yasutomo S¹⁾, Tsutomu H¹⁾, Takao S¹⁾, Masato Y¹⁾, Go K¹⁾, Yukihiro Y²⁾, Yukihiro K¹⁾ (1) Department of Urology, Nippon Medical School) : Inferior vena cava tumor thrombus after partial nephrectomy for renal cell carcinoma. BMC Research Notes 2014 ; 29 (7 (1)) : 198-202.

追加症例報告 :

- 1) Jun A¹⁾, Yasutomo S¹⁾, Tsutomu H¹⁾, Takao S¹⁾, Masato Y¹⁾, Go K¹⁾, Yoichiro Y²⁾, Yukihiro K¹⁾ (1) Department of Urology, Nippon Medical School) : Inferior vena cava tumor thrombus after partial nephrectomy for renal cell carcinoma. Bio Medical Central 2014 ; 7 (198).

学会発表

追加一般講演 :

- 1) Mizuno R¹⁾, Kimura G, Kondo T²⁾, Ueda T³⁾, Hara H⁴⁾, Kishida T⁵⁾, Kume H⁶⁾, Sohji S⁷⁾, Hatano T⁸⁾, Morita J⁹⁾, Kawata N¹⁰⁾, Matsumoto K, Ishida M, Takahashi S, Tanabe K²⁾ (1) Keio University School of Medicine, 2) Tokyo Women's Medical University, 3) Chiba Cancer Center, 4) Kyorin University, 5) Kanagawa Cancer Center, 6) The University of Tokyo, 7) Tokai University Hachioji Hospital, 8) Jikei University Affiliated Kashiwa Hospital, 9) Showa University School of Medicine, 10) and others) : Baseline high-sensitivity C-reactive protein to predict progression-free survival in metastatic renal cell carcinoma patients treated with first-line sunitinib. ASCO (Chicago), 2013. 6.

[武蔵小杉病院泌尿器科]

研究概要

当科では現在、尿路生殖器腫瘍疾患をはじめ尿路結石、尿路感染症、前立腺肥大症などの排尿障害を中心に診療および臨床的研究を行っている。特筆すべきものを以下に示す。1) 前立腺癌に対しては、現在、局所麻酔下での前立腺生検を行っている。局所麻酔下でも患者さんの苦痛の軽減がはかれるよう鎮静薬剤の導入を含め検討を行っている。2) 筋層浸潤性膀胱癌に関しては、術前動注化学療法を導入することにより、その治療の安全性および効果、膀胱温存の可能性についても検討している。3) 尿管結石の保存的治療についてはα1ブロッカーを併用した治療を行い、自然排石向上の可能性を調査している。また、Ho-YAGレーザーを用いた内視鏡下結石破碎術を積極的に行っている。4) 下部尿路症状(LUTS)や過活動膀胱(OAB)に対して、国際前立腺症状スコア(IPSS)や過活動膀胱症状スコア(OABSS)および尿流動態検査を実施して各種内服における治療効果を判定している。5) 性感染症に関しては、当院における、地域的特性について調査している。6) その他、稀な症例については適宜症例報告をすることに努めている。

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) Kimata R, Nemoto K¹⁾, Tomita Y, Takahashi R²⁾, Hamasaki T²⁾, Kondo Y²⁾ (1) Department of Urology, Nippon Medical School, Chiba Hokusoh Hospital, 2) Department of Urology, Nippon Medical School) : Efficacy of a thermoexpandable metallic prostate stent (Memokath) in elderly patients with urethral obstruction requiring long-term management with urethral Foley catheters. Geriatr Gerontol Int 2015 ; 15 (5) : 553-558.
- 2) Nomura S¹⁾, Suzuki Y¹⁾, Takahashi R¹⁾, Terasaki M¹⁾, Kimata R, Terasaki Y¹⁾, Hamasaki T¹⁾, Kimura G¹⁾, Shimizu A¹⁾, Kondo Y¹⁾ (1) Department of Urology, Nippon Medical School) : Dual-specificity tyrosine phosphorylation-regulated kinase 2 (DYRK2) as a novel marker in T1 high-grade and T2 bladder cancer patients receiving neoadjuvant chemotherapy. BMC Urology 2015.
- 3) 富田祐司, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院泌尿器科) : 尿路・性器の感染症 性感染症 非淋菌性尿道炎 : クラミジア性尿道炎. 臨床泌尿器科 2015 ; 69 (4) : 82-84.
- 4) 富田祐司, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院泌尿器科) : 尿路・性器の感染症 性感染症 淋菌性尿道炎. 臨床泌尿器科 2015 ; 69 (4) : 78-81.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 堀内和孝, 河原崎由里子, 富田祐司, 木全亮二, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学)：過活動膀胱に対するミラベグロンの有用性の前向き検討. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (石川県金沢市), 2015. 4.
- 2) 木全亮二, 根本 勺¹⁾, 富田祐司, 河原崎由里子, 高橋 亮²⁾, 濱崎 務³⁾, 堀内和孝, 近藤幸尋³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院, 2) 博慈会記念病院, 3) 日本医科大学)：尿閉に起因した高齢者の長期尿道バルーンカテーテル管理患者に対する尿道ステント (Memokath) の有効性の検討. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (石川県金沢市), 2015. 4.
- 3) 大澤秀一¹⁾, 新藤貴雄²⁾, 武田隼人²⁾, 赤塚 純²⁾, 木全亮二, 近藤幸尋²⁾ (1) 平成立石病院, 2) 日本医科大学)：ハイリスク LUTS 患者に対する尿道ステント「メモカス」の有用性. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (石川県金沢市), 2015. 4.
- 4) 富田祐司, 木全亮二, 河原崎由里子, 堀内和孝, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学)：当院における f-TUL の治療成績. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (石川県金沢市), 2015. 4.
- 5) 新藤貴雄²⁾, 大澤秀一²⁾, 武田隼人¹⁾, 木全亮二, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学, 2) 平成立石病院)：完全鋳型結石に対する TUL 単独治療の治療経験. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (石川県金沢市), 2015. 4.
- 6) 河原崎由里子, 木全亮二, 富田祐司, 堀内和孝, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学)：経直腸的前立腺針生検時におけるデクスメドミジン塩酸塩の使用経験. 日本泌尿器科学会総会 (第 103 回) (石川県 金沢市), 2015. 4.
- 7) 戸山友香¹⁾, 鈴木康友¹⁾, 中山聡子¹⁾, 佐々木崇¹⁾, 河原崎由里子 (1) 日本医科大学付属病院泌尿器科)：骨盤臓器脱に起因する腎不全を認めた 3 例. 日本泌尿器科学会東部総会 (第 79 回) (神奈川県横浜市), 2015. 10.
- 8) 濱崎 務¹⁾, 鈴木康友²⁾, 木全亮二, 松沢一郎¹⁾, 木村 剛¹⁾, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院泌尿器科, 2) 日本医科大学千葉北総病院泌尿器科)：腎細胞癌に対する鏡視下腎摘除術 HALS から PureLapa へ. 日本泌尿器内視鏡学会総会 (第 29 回) (東京), 2015. 11.

[多摩永山病院泌尿器科]

研究概要

当科では感染症、結石から神経疾患、腫瘍を中心に診察、研究を行っているが、特筆すべき点を列記する。1) 尿路感染症：扱う感染症は急性単純性膀胱炎から閉塞性腎盂腎炎まで重症度は多岐に亘る一方、起炎症菌側の問題として抗生剤に対する耐性化がある。耐性化傾向の検討も含め最適な治療法を研究している。2) 尿路結石：軟性内視鏡を用いた手術の他、体外衝撃波結石粉碎術も行い臨床的検討を行っている。3) 排尿障害：施設入所中の全介助を要する排尿障害を伴った症例への対応として尿道ステントを積極的に用い、その有用性を検討している。4) 前立腺癌：放射線による治療の他に局所進行性のハイリスク前立腺癌に対して拡大前立腺全摘術、拡大リンパ節郭清術を行いその有効性をみている。内分泌治療法の適応となった症例に対してはその副作用、特に糖・脂質代謝異常、骨密度の減少については検討を行い合併症の予防に役立てている。5) 膀胱癌：浸潤性膀胱癌に対しては化学療法と放射線照射の併用治療にて膀胱温存を図っている。6) 腹腔鏡手術：低侵襲性と整容性追求の為、単孔式手術適応を検討している。

研究業績

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 井上 泰, 近藤幸尋¹⁾, 湯浅 健²⁾, 米瀬淳二²⁾ (1) 日本医科大学付属病院泌尿器科, 2) がん研有明病院泌尿器科)：First-line Chemotherapy with Gemcitabine and Carboplatin for Patients unfit for cisplatin based chemotherapy with Unresectable Metastatic Urothelial Carcinoma. The International Section of Taiwan Urological Association (第 37 回) (Taiwan), 2015. 8.
- 2) 井上 泰, 尾形吉彦, 塩路 豪, 佐藤三洋：陰嚢内脂肪肉腫の 1 例. 多摩泌尿器科医会 (129 回) (武蔵野市吉祥寺), 2015. 6.
- 3) 井上 泰, 尾形吉彦, 塩路 豪, 佐藤三洋：胆道再建した腎細胞癌胆嚢管転移. 多摩泌尿器科医会 (第 132 回) (武蔵野市吉祥寺), 2016. 3.
- 4) 尾形吉彦, 濱崎 務¹⁾, 井上 泰, 塩路 豪, 佐藤三洋, 木村 剛¹⁾, 近藤幸尋¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院泌尿器科)：当科における尿管膿瘍に対する手袋を使用した単孔式腹腔鏡下尿管摘除術の経験. 泌尿器単孔式・Reduced port 腹腔鏡手術ワークショップ (第 5 回) (東京都), 2016. 3.

[千葉北総病院泌尿器科]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) 稲津宏紀^{1,2)}, 根本 勺¹⁾, 飯ヶ谷重来¹⁾, 塩路 豪¹⁾, 三浦剛史¹⁾, 山田 隆³⁾, 坪井成美¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院泌尿器科, 2) 平成立石病院泌尿器科, 3) 日本医科大学千葉北総病院女性診療科・産科)：子宮・膣転移を認めた尿路上皮癌の1例. 泌尿器外科 2015；第11：1845-1848.
- 1) Kimata R, Nemoto K, Tomita Y, Takahashi R, Hamasaki T, Kondo Y：Efficacy of a thermoexpandable metallic prostate stent (Memokath) in elderly patients with urethral obstruction requiring long-term management with urethral Foley catheters. Geriatrics & gerontology international 2015；15.
- 2) 根本 勺：泌尿器科外来パーフェクトガイド 誰にでもすぐに使える！ 1. 尿路・性器の感染症 <その他の疾患> 14. 精巣炎. 臨床泌尿器科 2015；69 (増刊号).
- 3) 根本 勺：泌尿器科外来パーフェクトガイド 誰にでもすぐに使える！ 1. 尿路・性器の感染症 <その他の疾患> 15. 亀頭包皮炎. 臨床泌尿器科 2015；69 (増刊号).
- 4) 根本 勺, 稲津宏紀, 飯ヶ谷重来, 塩路 豪, 三浦剛史, 山田 隆, 坪井成美：子宮・膣転移を認めた尿路上皮癌の1例. 泌尿器外科 2015；28 (11).

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 鈴木康友¹⁾, 戸山友香²⁾, 中山聡子²⁾, 赤塚 純²⁾, 野村俊一郎²⁾, 近藤幸尋²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 泌尿器科, 2) 日本医科大学付属病院 泌尿器科)：前立腺全摘術後尿失禁に対する恥骨固定式尿道スリング術の改良. 日本排尿機能学会 (第22回) (札幌), 2015. 9.
- 2) 塚塚直人, 柳 雅人, 佐野雅之, 箕輪忠明, 塩路 豪, 三浦剛史, 根本 勺, 坪井成美：当院で経験した神経節細胞腫の4例. 第103回日本泌尿器科学会総会, 2015. 4.
- 3) 鈴木康友：前立腺手術後の尿失禁に対する恥骨固定式尿道スリング術の治療. 日本泌尿器科学会総会 (第103回), 2015. 4.
- 4) 中森央貴, 根本 勺, 川俣博志, 岡田 進, 鈴木康友, 近藤幸尋：当院における腎細胞癌に対する腎動脈塞栓術の治療効果の検討. 日本泌尿器科学会中部総会 (第65回), 2015. 4.
- 5) 鈴木康友：医療安全と情報共有. 日本泌尿器科学会総会 (第103回), 2015. 4.
- 6) 箕輪忠明¹⁾, 根本 勺¹⁾, 柳 雅人¹⁾, 三浦剛史²⁾, 坪井成美¹⁾, 近藤幸尋²⁾, 鈴木康友¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院泌尿器科, 2) 日本医科大学付属病院泌尿器科)：保存的に治療し得た急性前立腺炎を伴う淋菌性骨盤内膿. 千葉泌尿器科集談会 (第103回) (千葉市), 2015. 6.
- 7) 箕輪忠明, 根本 勺, 柳 雅人, 三浦剛史, 坪井成美, 近藤幸尋, 鈴木康友：保存的に治療し得た急性前立腺炎を伴う淋菌性骨盤内膿. 千葉泌尿器科集談会 (第103回), 2015. 6.
- 8) 鈴木康友, 戸山友香, 中山聡子, 赤塚 純, 野村俊一郎, 近藤幸尋：前立腺全摘術後尿失禁に対する恥骨固定式尿道スリング術の改良. 日本排尿機能学会 (第22回), 2015. 9.
- 9) 中森央貴¹⁾, 根本 勺¹⁾, 川俣博志²⁾, 岡田 進²⁾, 鈴木康友¹⁾, 近藤幸尋³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 泌尿器科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 放射線科, 3) 日本医科大学付属病院 泌尿器科)：当院における腎細胞癌に対する腎動脈塞栓術の治療効果. 第65回 日本泌尿器科学会 中部総会 (岐阜), 2015. 10.
- 10) 柳 雅人¹⁾, 根本 勺¹⁾, 曾ヶ端克哉²⁾, 三神 晃¹⁾, 中森央貴¹⁾, 箕輪忠明¹⁾, 鈴木健太¹⁾, 鈴木康友¹⁾, 近藤幸尋³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院泌尿器科, 2) 広域紋別病院 外科, 3) 日本医科大学付属病院泌尿器科)：去勢抵抗性前立腺癌に対する低容量ドセタキセルの有用性：予備調査報告. 日本癌治療学会学術集会 (第53回) (京都), 2015. 10.
- 11) 三神 晃¹⁾, 柳 雅人¹⁾, 中森央貴¹⁾, 箕輪忠明¹⁾, 鈴木健太¹⁾, 根本 勺¹⁾, 鈴木康友¹⁾, 近藤幸尋²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院泌尿器科, 2) 日本医科大学付属病院泌尿器科)：当院におけるCRPC患者に対するエンザルタミドの初期投与経験. 日本癌治療学会学術集会 (第53回) (京都), 2015. 10.
- 12) 柳 雅人, 根本 勺, 曾ヶ端克也, 三神 晃, 中森央貴, 箕輪忠明, 鈴木健太, 鈴木康友, 近藤幸尋：去勢抵抗性前立腺癌に対する低容量ドセタキセルの有用性：予備調査報告. 日本癌治療学会学術集会 (第53回), 2015. 10.
- 13) 鈴木健太¹⁾, 根本 勺¹⁾, 箕輪忠明¹⁾, 柳 雅人¹⁾, 鈴木康友¹⁾, 平井恭二²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院泌尿器科, 2) 日本医科大学千葉北総病院呼吸器外科)：腎摘除術後に肺転移が自然退縮した1例. 千葉泌尿器科集談会 (第104回) (千葉), 2015. 11.

- 14) 鈴木健太, 鈴木康友, 根本 勺, 柳 雅人, 簗輪忠明, 中森央貴, 三神 晃, 平井恭二: 腎摘除術後に肺転移が自然退縮した1例.
千葉泌尿器科集談会 (第 104 回), 2015. 11.

23. 眼科学分野

[付属病院眼科・武蔵小杉病院眼科・多摩永山病院眼科・千葉北総病院眼科]

研究概要

網膜関連では、遺伝子治療研究として神経保護因子であるBDNFを発現させるAAVベクターを作製し、マウスモデルにおいてその神経保護効果を確認した。霊長類センターにてカニクイザルを用いAAVベクターと手術を組み合わせることで飛躍的に遺伝子導入効率を上昇させることができた。X連鎖性網膜分離症の症例の遺伝子解析と補償光学眼底カメラを用いた高解像度視細胞解析を行った。これまでに報告されている車軸状黄斑変性について高解像度画像を用いて考察する論文を報告した。また、常染色体劣性バストロフィノパチーの症例について遺伝子変異を確定し、本邦では2報目となる報告を日本臨床視覚電気生理学会でおこなった。ぶどう膜炎分野では、臨床研究としてぶどう膜炎を対象とした生物学的製剤とステロイド剤の治験を行った。基礎研究として「新規の免疫制御分子による眼炎症抑制」および「関節リウマチに随伴する強膜炎と角膜炎のモデル作成」を継続した。緑内障関連では、日本医科大学付属病院緑内障外来における紹介患者の実態について調べ発表した。他施設共同試験としてタフルプロストからラタノプロスト/チモロール配合剤への切り替えについて検討し報告した。白内障関連では、白内障手術における侵襲評価とそれに付随した低侵襲白内障手術の術式の確立を中心に研究を行った。白内障手術に用いる超音波乳化装置から発する熱から角膜内皮細胞を守るために粘弾性物質が有効であることを実験的に証明した。また、3重焦点眼内レンズの臨床評価を行った。さらに、眼内灌流液に水素を溶解することによる角膜内皮保護効果を確認した。不定愁訴研究としてfNIRS（機能的近赤外線分光法）を用い羞明感の他覚的計測と精度向上のための検出probeの改良を開始した。また国立研究開発法人科学技術振興機構の「汎用型脳計測応用」とへ移行し自覚症状の他覚的評価を開始した。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Ito N, Kameya S, Gocho K, Hayashi T, Kikuchi S, Katagiri S, Gekka T, Yamaki K, Takahashi H, Tsuneoka H : Multimodal imaging of a case of peripheral cone dystrophy. *Doc Ophthalmol* 2015 ; 130 (3) : 241-251.
- 2) Akeo K, Kameya S, Gocho K, Kubota D, Yamaki K, Takahashi H : Detailed Morphological Changes of Foveoschisis in Patient with X-Linked Retinoschisis Detected by SD-OCT and Adaptive Optics Fundus Camera. *Case Rep Ophthalmol Med* 2015 ; 2015 (2015) : 1-8.
- 3) Igarashi T, Ono M, Fujimoto C, Suzuki H, Takahashi H : The conjunctival sensitivity in soft contact lens wearers. *International ophthalmology* 2015 ; 35 (4) : 569-573.
- 4) Yokota T, Kamimura N, Igarashi T, Takahashi H, Ohta S, Oharazawa H : Protective effect of molecular hydrogen against oxidative stress caused by peroxynitrite derived from nitric oxide in rat retina. *Clinical & Experimental Ophthalmology* 2015 ; 43 (6) : 568-577.
- 5) Igarashi T, Fujita M, Yamada Y, Kobayashi M, Fujimoto C, Takahashi H, Igarashi T, Nakano Y, Suzuki H, Takahashi H : Improvements in subjective symptoms/objective signs of dry eye after 2% rebamipide instillation. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (5) : 229-236.
- 6) Igarashi T, Fujita M, Yamada Y, Kobayashi M, Fujimoto C, Takahashi H, Igarashi T, Nakano Y, Suzuki H, Takahashi H : Improvements in subjective symptoms/objective signs of dry eye after 2% rebamipide instillation. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (5) : 229-236.
- 7) Iijima O, Miyake K, Watanabe A, Miyake N, Igarashi T, Kanokoda C, Nakamura-Takahashi A, Kinoshita H, Noguchi T, Abe S, Narisawa S, Millán J, Okada T, Shimada T : Prevention of Lethal Murine Hypophosphatasia by Neonatal Ex Vivo Gene Therapy Using Lentivirally Transduced Bone Marrow Cells. *Human Gene Therapy* 2015 ; 26 (12) : 801-812.
- 8) Nakajima N, Igarashi T, Yaguchi C, Ueda M : Ophthalmoplegia without severe painful eyelid swelling in acute dacryoadenitis : a case report. *Rinsho Shinkeigaku* 2016 ; 56 (1) : 23-26.
- 9) 久保田大紀, 國重智之, 芹澤元子, 山口文雄, 濱田泰子, 福永景子, 山口博樹, 堀 純子 : 眼内浸潤と脳播種を生じた眼窩先端部原発多クローン性リンパ増殖性腫瘍の1例. *あたらしい眼科* 2015 ; 32 (5) : 733-737.
- 10) 芹澤元子, 國重智之, 伊藤由紀子, 塚田玲子, 堀 純子 : 日本医科大学付属病院眼科における8年間の内眼炎患者の統計的観察. *日本眼科学会雑誌* 2015 ; 119 (5) : 347-355.
- 11) 福原葉子¹⁾, 松本 直¹⁾, 岡島行伸¹⁾, 小早川信一郎¹⁾ 東邦大学医療センター 大森病院 眼科) : 先天性無虹彩症に人工虹彩および眼内レンズ挿入した1例. *眼科手術* 2015 ; 28 (3) : 433-436.

- 12) 鈴木久晴：難渋症例にチャレンジ！ 眼科診断トレーニング. 眼科グラフィック 2015；4（3）：302-304.
 - 13) Igarashi T, Ono M, Fujimoto C, Suzuki H, Takahashi H：The conjunctival sensitivity in soft contact lens wearers. International ophthalmology 2015；35（4）：569-573.
 - 14) 薫 一帆, 北原由紀, 中山滋章, 秋庭幹生, 小早川信一郎, 高橋 浩：Unilateral acute idiopathic maculopathy の1例. 臨床眼科 2015；69（9）：1357-1362.
 - 15) 由井智子, 伊東和香子, 志和利彦, 堀 純子：中心窩脈絡膜新生血管に対しラニビズマブが著効した Vogt-小柳-原田病の1例（原著論文/症例報告）. 臨床眼科 2015；69（10）：1527-1530.
 - 16) 鈴木久晴：学会へ行こう International 第2回. IOL & RS 2015；129（2）：270-271.
 - 17) 鈴木久晴：特集：眼内レンズ検証と近未来：インジェクター. IOL & RS 2015；29（4）：481-485.
 - 18) 鈴木久晴：トピックス 3重焦点眼内レンズ. IOL & RS 2015；29（4）：524-527.
 - 19) 仲野裕一郎, 鈴木久晴, 芹澤元子, 佐藤景子, 伊藤由紀子, 高橋 浩：白内障手術中に発症した水晶体嚢真性落屑の2例. 眼科 2015；57（12）：1611-1616.
 - 20) 有馬武志, 鈴木久晴, 岩間真由美, 國重智之, 志和利彦, 高橋 浩：半円式 CCC マーカーの教育的効果の検討. IOL & RS 2015；29（4）：533-538.
 - 21) 高野靖子, 鈴木久晴, 志和利彦, 高橋 浩：超音波白内障手術における超音波チップのベベルの向きと粘弾性物質残存時間の検討. IOL & RS 2015；29（4）：239-544.
- (2) 総説：
- 1) 小野真史：頭痛とドライアイは関係があるのか？. 神経眼科 2015；32（4）：349-357.
 - 2) 高野靖子, 中元兼二：【正常眼圧緑内障のリスクファクター】正常眼圧緑内障の眼圧と関連するリスクファクターと治療戦略. 日本の眼科 2015；4：865-869.
 - 3) 堀 純子, 片上千加子：（角膜感染症のアップデート - 正確な初期診断と適切な治療 -）わかりやすい臨床講座 感染症との鑑別を要する炎症性角膜疾患（解説/特集）. 日本の眼科 2015；86（5）：589-593.
 - 4) 小早川信一郎：【強膜内固定術のすべて】歴史と概念（初期導入含む）. IOL & RS 2015；29（2）：158-161.
 - 5) 後町清子, 亀谷修平：シリーズ 第174回 眼科医のための最先端医療補償光学（AO）技術と眼科領域での展望. あたらしい眼科 2015；32（6）：843-845.
 - 6) 高橋 浩：アトピー性角結膜炎. 別刷 Bio Clinica 慢性炎症と疾患・眼疾患と炎症 2015；4（3）：38-42.
 - 7) 高橋 浩：オルソケラトロジー・適応と検査. 眼科 2015；57（8）：997-1002.
 - 8) 小早川信一郎：眼感染症 View Point Toxic Anterior Segment Syndrome（TASS）と Late-onset TASS. Core-Network of Ocular Infection 2015；17：6-6.
 - 9) 堀 純子：特集 緑内障手術の現状と将来 ぶどう膜炎続発緑内障に対するリンベタ PF 眼耳鼻科用液 0.1% の治療症例. NANO Ophthalmology 2015；48：23-24.
 - 10) 小早川信一郎：白内障・屈折手術の論点 Nd-YAG レーザーによる後嚢切開は円形切開か十字切開か？ 円形切開を推奨する. IOL&RS 2015；29（3）：398-399.
 - 11) 由井智子, 堀 純子：強膜炎治療. 日本の眼科 2015；86（9）：1276-1277.
 - 12) 高野靖子：ASCRS 印象記. 日本白内障屈折矯正手術学会雑誌 2015；29（3）：446-447.
 - 13) 小野真史：羞明とドライアイ. OCULISTA 2015；31（10）：35-42.
 - 14) 小早川信一郎：前嚢収縮と後発白内障. IOL & RS 2015；29（4）：486-489.
 - 15) 小早川信一郎：議論の多い眼治療（建前と本音）水晶体（亜）脱臼 - 全摘 + 縫着 vs. CTR - . 眼科 2016；58（1）：9-13.
 - 16) 堀 純子：眼の免疫学. 医学のあゆみ 2016；256（13）：1254-1254.
 - 17) 國重智之, 堀 純子：角膜移植後免疫応答にみる眼内微小環境の特殊性. 医学のあゆみ 2016；256（13）：1259-1261.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 鈴木久晴：中高年の目の病気・トラブル：白内障・緑内障・加齢性黄斑変性など, 老人研究会公開講座. 健康の集い（第25回）（川崎）, 2015. 11.
- 2) 中元兼二：眼圧日内変動 理想と現実. ブームの会（第6回広島眼科セミナー（広島）, 2015. 11.
- 3) 高橋 浩：第22回難儀な手術シリーズ. 千駄木眼科フォーラム（第23回）（東京）, 2015. 12.
- 4) 高橋 浩：Corneal endothelium and Phacoemulsification, Keynote Lecture. 京都コルネアクラブ（第21回）（京都）, 2015. 11.
- 5) Hori J, Taniguchi H, Azuma M, Abe R, Yagita H：Molecular mechanisms of immune privilege of the cornea - as a potential of Immune Checkpoint therapy. Tokyo Ocular immunology meeting（東京）, 2016. 2.

- 6) 鈴木久晴：超音波と OVD の科学的検証. Cataract update seminar (東京), 2015. 4.
 - 7) 鈴木久晴：超音波白内障手術における最善の角膜内皮保護とは？. β の会 (横浜), 2015. 5.
 - 8) 高橋 浩：炎症が関与するオキュラーサーフェス疾患の治療戦略. OASIS 講演会 (第 21 回) (宇和島), 2015. 5.
 - 9) 高橋 浩：オキュラーサーフェス疾患と炎症. 静岡県東部眼科フォーラム (第 12 回) (沼津), 2015. 5.
 - 10) 堀 純子：強膜炎診療の現状と展望. 愛知眼科アカデミー (第 16 回) (名古屋), 2015. 5.
 - 11) 後町清子：補償光学眼底カメラの臨床応用について. 神戸市民病院眼科&先端医療センター 眼科勉強会 (神戸), 2015. 5.
 - 12) 中元兼二：緑内障における点眼アドヒアランスの現状と対策. 城北眼科フォーラム (第 3 回) (東京), 2015. 5.
 - 13) 鈴木久晴：最新白内障手術機器の臨床経験と実験的検証. Cataract update seminar (広島), 2015. 6.
 - 14) 鈴木久晴：低侵襲白内障手術とアップデート 2015. 神奈川東部エリア学術講演会 (横浜), 2015. 6.
 - 15) 高橋 浩：第 21 回難儀な手術シリーズ. 千駄木眼科フォーラム (第 22 回) (東京), 2015. 6.
 - 16) 國重智之, 堀 純子：角膜移植免疫と V-domain Ig suppressor of T cell activation (VISTA). 眼免疫研究会 (東京), 2015. 6.
 - 17) 高橋 浩：炎症が関与するオキュラーサーフェス疾患の治療戦略. 福島県北眼科医会学術講演会 (福島), 2015. 7.
 - 18) 高橋 浩：オキュラーサーフェス疾患と炎症. 茨城眼科セミナー (第 10 回) (筑波), 2015. 7.
 - 19) 高橋 浩：炎症が関与するオキュラーサーフェス疾患の治療戦略. Ocular Surface Therapy Conference (第 2 回) (横浜), 2015. 7.
 - 20) 高橋 浩：結膜疾患の基本と診断. 平成 27 年度東京都眼科医会卒後研修会 (東京), 2015. 8.
 - 21) 中元兼二：病態を考慮した緑内障薬物治療戦略. ALL Glaucoma Seminar in 山形 (山形), 2015. 8.
 - 22) 高橋 浩：炎症が関与するオキュラーサーフェスの治療戦略. ドライアイと緑内障学術講演会 (札幌), 2015. 9.
 - 23) 堀 純子：一卵性双生児に同時発症し診断に苦慮するぶどう膜炎. ぶどう膜炎カンファレンス (東京), 2015. 9.
 - 24) 國重智之：角膜移植の生着における免疫と V-domain Igsuppressor of T cell activation (VISTA) の役割. 平成 26 年度丸山記念研究助成金受賞記念講演 (東京), 2015. 9.
 - 25) Kunishige T, Hori J：マウス角膜移植における ICOS/ICOS-L の役割. Tokyo Ocular immunology meeting (東京), 2015. 9.
 - 26) 小早川信一郎：そこはかたなく難症例 @ 白内障手術. 多摩イブニングアイカンファレンス (東京), 2015. 9.
 - 27) 鈴木久晴：眼に優しい超音波白内障手術装置の使い方. 教育フォーラム (第 17 回) (福岡), 2015. 10.
 - 28) 高橋 浩：周術期ドライアイレビュー. Ocular Surface Symposium 2015 (東京), 2015. 10.
 - 29) 高橋 浩：炎症が関与するオキュラーサーフェスの治療戦略. Machida Ophthalmology Club 2015 (高知), 2015. 10.
 - 30) 高橋 浩：炎症が関与するオキュラーサーフェスの治療戦略. ドライアイシンポジウムイン信州 (長野), 2015. 10.
 - 31) 高橋 浩：オキュラーサーフェス疾患と炎症. 石川オキュラーサーフェス研究会 (第 4 回) (金沢), 2015. 11.
 - 32) 高橋 浩：ドライアイと炎症・知覚. 愛媛県眼科学術講演会 (松山), 2015. 11.
 - 33) 後町清子：補償光学眼底カメラの臨床応用. 福島眼科フォーラム (第 2 回) (福島), 2015. 11.
 - 34) 中元兼二：病態を考慮した緑内障薬物治療戦略. 広島臨床眼科セミナー (第 8 回) (広島), 2015. 11.
 - 35) 堀 純子：強膜炎診療の現状と展望. 青森市眼科懇話会 (第 12 回) (青森), 2015. 12.
 - 36) Kobayakawa S: Session 9: Cataract Surgery; Tass and infectious endophthalmitis. The 3rd International Conference on the Lens 2015 (Kona, Hawaii), 2015. 12.
 - 37) 高橋 浩：白内障手術侵襲を科学する. 日本眼科手術学会総会 (第 39 回) (福岡), 2016. 1.
 - 38) 堀 純子：強膜炎の臨床：疾病の背景を考える. East Tokyo Ophthalmic Seminar (東京), 2016. 1.
 - 39) 高橋 浩：白内障手術をめぐる現在の環境. 日本眼科医会記者懇談会 (東京), 2016. 2.
 - 40) 中元兼二：グラナテックの夜間眼圧下降の可能性. NEW STAGE OF GLAUCOMA2016- The ROCK up to date (東京), 2016. 2.
- (2) 教育講演：
- 1) 鈴木久晴：みんなで考える白内障手術「何故上手くないかないのか、どう教えれば良いのか」：気になるポイントの理論を考える. JSCRS (第 30 回) (東京), 2015. 6.
 - 2) 鈴木久晴：経験 100 眼までの白内障手術 大学病院における白内障手術教育と指導者の悩み, プラクティス 1. JSCRS (第 30 回) (東京), 2015. 6.
 - 3) 小野真史：ドライアイ (DE) とは シルマーテスト (涙液量検査) の実際：シェーグレン (SS) の診断と治療. ドライマウス講習会 (第 25 回) (東京), 2015. 6.
 - 4) 小野真史：ドライアイ (DE) とは シルマーテスト (涙液量検査) の実際：シェーグレン (SS) の診断と治療. ドライマウス講習会 (第 26 回) (東京), 2015. 9.
 - 5) 鈴木久晴：核分割・処理徹底解説：理論・セッティングについて. 日本臨床眼科学会 (第 69 回) (名古屋), 2015. 10.
 - 6) 小野真史：気づきと繋がり技法 コーチング：医療安全への応用. 医療マネジメント学会 2015 年度 医療安全分科会 (第 3 回) (東京), 2015. 11.

- 7) 小野眞史：コーチングの基本：パート1 傾聴. リハビリテーションに活かす医療コーチング研修会（東京），2016. 1.
 - 8) 小野眞史：コーチングの基本：パート2 実践. リハビリテーションに活かす医療コーチング研修会（東京），2016. 1.
 - 9) 小野眞史：ロービジョンケアへの実践. リハビリテーションに活かす医療コーチング研修会（東京），2016. 1.
- (3) シンポジウム：
- 1) Hori J, Taniguchi H, Azuma M, Abe R, Yagita H : Corneal Cell-Mediated Immune Regulation and Immune Privilege. Harvard Medical School Cornea Center of Excellence international Workshop (Boston, MA, USA), 2015. 10.
 - 2) 堀 純子：Checkpoint Inhibitors : A Potential Treatment in Uveal Melanoma?. The 31st Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress ; APAO (台湾), 2016. 3.
 - 3) 小早川信一郎：シンポジウム -4 [ハイリスク眼への白内障手術] 高齢患者の白内障手術. JSCRS 学術総会（第30回）（東京），2015. 6.
 - 4) 小早川信一郎, 堀本 宰, 二宮欣彦, 森山 涼：インストラクション コース5 [みんなで考える白内障手術] 実例から考える眼内レンズ縫着・強膜内固定：術式選択と術中の工夫. JSCRS 学術総会（第30回）（東京），2015. 6.
 - 5) 小早川信一郎：シンポジウム [コンタクトレンズによる個別化医療] 抗菌薬を徐放するコンタクトレンズの開発と有効性. 日本コンタクトレンズ学会総会（第58回）（大阪），2015. 7.
 - 6) 高橋 浩：これからのドライアイ治療戦略眼, 表面炎症によるドライアイの治療戦略. 日本眼薬理学会（第35回）（東京），2015. 9.
 - 7) 中元兼二：日内変動と薬物療法. 日本緑内障学会（第26回）（愛知），2015. 9.
 - 8) 鈴木久晴：PEA 装置（1）原理と歴史. 日本臨床眼科学会（第69回）（名古屋），2015. 10.
 - 9) 小早川信一郎, 太田俊彦, 松崎有修, 井上 康：インストラクションコース29, 白内障術者のためのIOL 強膜内固定術. 日本臨床眼科学会（第69回）（愛知（名古屋）），2015. 10.
 - 10) 小早川信一郎：シンポジウム -14 [厚生労働省ヒアリングの成果] 日本眼科手術学会の主張. 日本臨床眼科学会（第69回）（愛知（名古屋）），2015. 10.
 - 11) 小早川信一郎：シンポジウム -14 [厚生労働省ヒアリングの成果] JSCRS の要望. 日本臨床眼科学会（第69回）（愛知（名古屋）），2015. 10.
 - 12) 堀 純子：眼内の免疫抑制性微小環境の維持における Galectine-9/Tim-3 の役割. 日本医科大学・東京理科大学合同シンポジウム（第2回）（東京），2015. 12.
 - 13) 谷口ヒロ子, 北原由紀, 八木田秀雄, 東みゆき, 堀 純子：角膜移植後の拒絶制御機構における B7-H3 の役割. 日本医科大学・東京理科大学合同シンポジウム（第2回）（東京），2015. 12.
- (4) セミナー：
- 1) Suzuki H : 緑内障手術・マルチフォーカル IOL, 2015 ASCRS レビューセミナー. The 40th ASCRS (アメリカ, サンディアゴ), 2015. 4.
 - 2) 小早川信一郎：ランチョンセミナー1, うつくしき日本の白内障手術 白内障手術の論点 現状 IOL が有する課題と対策. 日本眼科手術学会（第39回）（福岡），2015. 4.
 - 3) 鈴木久晴：ステラリスの「水の流れ」を検証する ランチョンセミナー6. JSCRS（第30回）（東京），2015. 6.
 - 4) 鈴木久晴：白内障手術を夢中にさせる贅沢な Phaco マシン：「角膜にやさしい Phaco マシンとは？」ランチョンセミナー11. JSCRS（第30回）（東京），2015. 6.
 - 5) 鈴木久晴：大学病院における3重焦点眼内レンズの導入, イブニングセミナー3. JSCRS（第30回）（東京），2015. 6.
 - 6) 中元兼二：緑内障治療の進歩：標準化と個別化「薬物治療の“標準化”と“個別化”」. 日本緑内障学会（第26回）（愛知），2015. 9.
 - 7) 鈴木久晴：大学病院勤務医としてステラリスの優位性を探る 二刀流；白内障から硝子体まで イブニングセミナー3. 日本臨床眼科学会（第69回）（名古屋），2015. 10.
 - 8) 中元兼二：「緑内障治療薬の使い分けを教えてください！」. 日本臨床眼科学会（第69回）（名古屋），2015. 10.
 - 9) 鈴木久晴：基本が大事！合併症・難治症例対策. 若手眼科医スキルアップセミナー（長野），2015. 11.
 - 10) 高橋 浩：周術期ドライアイレビュー. 日本眼科手術学会総会（第39回）（福岡），2016. 1.
- (5) 一般講演：
- 1) Suzuki H, Igarashi T, Shiwa T, Takahashi H : Effectiveness of the Crescent Shaped Medical Quick Absorber. 33st Film Festival, The 40th ASCRS (アメリカ, サンディアゴ), 2015. 4.
 - 2) Nakano Y, Suzuki H, Ito Y, Satou K, Serizawa M, Takahashi H : Comparison of the remaining time of OVD during phaco-emulsification in the two PEA machines. The 40th ASCRS (アメリカ, サンディアゴ), 2015. 4.
 - 3) Takano Y, Suzuki H, Shiwa T, Takahashi H : Temperature alteration in the aqueous humor by using Balanced Tip during

- phacoemulsification. The 40th ASCRS (アメリカ, サンディエゴ), 2015. 4.
- 4) Kunishige T, Taniguchi H, Ohno T, Azuma M, Hori J : Mechanisms of V-domain Ig suppressor of T cell activation (VISTA) -mediated acceptance of corneal allografts. ARVO (The Association for Research in Vision and Ophthalmology) (Denver, CO, USA), 2015. 5.
 - 5) Taniguchi H, Kitahara Y, Hori J : Long-term Ocular Analysis in Murine Model of Anterior Scleritis. ARVO (The Association for Research in Vision and Ophthalmology) (Denver, CO, USA), 2015. 5.
 - 6) Gocho K, Kubota D, Akeo K, Shuhei K, Yamaki K, Takahashi H : Early detection of specific proliferative sign in Type2 diabetic retinopathy using adaptive optics. ARVO (The Association for Research in Vision and Ophthalmology) (Denver, CO, USA), 2015. 5.
 - 7) Kameya S, Gocho K, Kikuchi S, Yoshino K, Miura M, Yamazaki H, Shinoda K, Mizota A, Yamaki K, Takahashi H : OPA1 sequencing analysis and detailed ophthalmic examinations including the investigation of microcystic macular edema in 18 patients with bilateral optic atrophy. ARVO (The Association for Research in Vision and Ophthalmology) (Denver, CO, USA), 2015. 5.
 - 8) Kameya S, Ito N, Gocho K, Hayashi T, Kikuchi S, Katagiri S, Gekka T, Yamaki K, Takahashi H, Tsuneoka H : Multimodal imaging of a case of peripheral cone dystrophy. 53rd ISCEV (リュブリャナ, スロベニア), 2015. 6.
 - 9) Gocho K, Kameya S, Akeo K, Kikuchi S, Usui A, Yamaki K, Hayashi T, Tsuneoka H, Mizota A, Takahashi H : High-resolution imaging of patients with Bietti crystalline dystrophy with CYP4V2 mutation. 53rd ISCEV (Ljubljana スロバキア), 2015. 6.
 - 10) 堀 純子 : 近年のぶどう膜炎と強膜炎の治療アップデート. フォーサム 2015 大阪 ランチョンセミナー (大阪), 2015. 7.
 - 11) Suzuki H, Igarashi T, Shiwa T, Takahashi H : Effectiveness of the Crescent Shaped Medical Quick Absorber. 28th APACRS (マレーシア, クアラルンプール), 2015. 8.
 - 12) Suzuki H, Igarashi T, Shiwa T, Takahashi H : Effectiveness of the Crescent Shaped Medical Quick Absorber. XXXIII Congress of the ESCRS (スペイン, バルセロナ), 2015. 9.
 - 13) Gocho K, Kameya S, Kikuchi S, Yoshino K, Miura M, Yamazaki H, Shinoda K, Mizota A, Yamaki K, Takahashi H : OPA1 sequencing analysis and detailed ophthalmic examinations in 18 patients with bilateral optic atrophy. 15th EURETINA Congress - Nice 2015 (Nice, France), 2015. 9.
 - 14) Gocho K, Akeo K, Kameya S, Kubota D, Yamaki K, Takahashi H : The improvement of Spoke-Wheel Pattern Foveoschisis in a patient with X-linked Retinoschisis treated with Topical Dorzolamide observed by high-resolution Adaptive Optics fundus camera. EVER 2015 Congress (Nice, France), 2015. 10.
 - 15) 石原麻美, 目黒 明, 南場研一, 大野重昭, 蕪城俊克, 高瀬 博, 望月 學, 後藤 浩, 竹内 大, 堀 純子, 北市伸義, 水木信久 : 日本人における新規サルコイドーシス関連候補遺伝子. 日本眼科学会総会 (第 119 回) (札幌), 2015. 4.
 - 16) 宮里佑未, 國重智之, 小野眞史, 堀 純子 : デング熱に伴ったぶどう膜炎の 1 例. 日本眼科学会総会 (第 119 回) (札幌), 2015. 4.
 - 17) 柏瀨恭子, 由井智子, 高橋永幸, 桑名正隆, 堀 純子 : アレルギー性肉芽腫性血管炎に伴った虚血性視神経症と網膜中心動脈閉塞症の 1 例. 日本眼科学会総会 (第 119 回) (札幌), 2015. 4.
 - 18) 亀谷修平, 後町清子, 菊地佐知子, 吉野健一, 三浦雅博, 山崎広子, 篠田 啓, 溝田 淳, 山木邦比古, 高橋 浩 : 常染色体優性視神経萎縮を疑い OPA1 遺伝子解析を行った 18 例の遺伝子解析結果と臨床像. 日本眼科学会総会 (第 119 回) (札幌), 2015. 4.
 - 19) 小野眞史, 鈴木雅也, 熊谷直也, 高橋 浩 : 羞明を伴う眼瞼痙攣患者における色調変化による前頭葉賦活. 日本眼科学会総会 (第 119 回) (札幌), 2015. 4.
 - 20) 中元兼二, 高橋 浩 : 正常眼圧緑内障の腋窩温の臨床的検討. 日本眼科学会総会 (第 119 回) (札幌), 2015. 4.
 - 21) 鈴木久晴, 大木孝太郎, 志和利彦, 高橋 浩 : 超音波乳化吸引装置におけるポンプの違いによる吸引チューブ内の圧力変動. JSCRS (第 30 回) (東京), 2015. 6.
 - 22) 宮里佑未, 鈴木久晴, 志和利彦, 高橋 浩 : 超音波チップを抜く際の前房内圧維持における日医大式 MQA の有用性. JSCRS (第 30 回) (東京), 2015. 6.
 - 23) 有馬武志, 鈴木久晴, 志和利彦, 高橋 浩 : Balanced Tip® における灌流口の向きと粘弾性物質残存状況に関する検討. JSCRS (第 30 回) (東京), 2015. 6.
 - 24) 小早川信一郎, 高橋 浩 : CALLISTO eye 及び術者による基準線マーキングの一致性. JSCRS 学術総会 (第 30 回) (東京), 2015. 6.
 - 25) 秋庭幹生, 小早川信一郎, 薫 一帆, 北原由紀, 小澤啓子, 高橋 浩 : 新しく開発した軸マーキング用リングの手術成績. JSCRS 学術総会 (第 30 回) (東京), 2015. 6.
 - 26) 白鳥 宙, 國重智之, 堀 純子 : 日本医科大学付属病院眼科における Vogt-小柳-原田病の再発に関する統計的観察. 日本眼炎症学

- 会（第49回）（大阪），2015. 7.
- 27) 由井智子, 高橋和久, 若山久仁子, 高橋永幸, 堀 純子: 日本医科大学付属病院眼科における強膜炎の臨床像と治療成績に関する統計的観察. 日本眼炎症学会（第49回）（大阪），2015. 7.
 - 28) 長峰美枝, 深谷志帆, 小野眞史, 齊藤恵子: 視覚障害者の積極的社会参加の1例: JBCA 認定コーチによる社会貢献への挑戦. 視覚障害リハビリテーション研究発表大会（第24回）（福島），2015. 7.
 - 29) 熊谷直也, 鈴木雅也, 小野眞史: 羞明による前頭葉賦活時の循環器系の解析. 日本光脳機能イメージング学会 学術集会（第18回）（東京），2015. 7.
 - 30) 堀 純子: 強膜炎診療の現状と展望. 熊本眼疾患研究会（第46回），熊本県眼科医会研修会（第357），熊本眼科女性医師の会講演会（第6回）（熊本），2015. 8.
 - 31) 久保田大紀, 明尾慶一郎, 後町清子, 亀谷修平, 山木邦比古, 菅原道孝, 篠田 啓, 高橋 浩: Autosomal Recessive Bestrophinopathy の1例. 日本臨床視覚電気生理学学会（第63回）（名古屋），2015. 8.
 - 32) 高野靖子, 中元兼二, 高橋 浩: 日本医科大学付属病院緑内障外来における紹介患者の実態. 日本緑内障学会（第26回）（愛知），2015. 9.
 - 33) 横 千里, 伊藤義徳, 中野 匡, 井上賢治, 中元兼二, 芝 大介, 木暮俊介: タフルプロストからラタノプロスト/チモロール配合剤への切り替え. 日本緑内障学会（第26回）（愛知），2015. 9.
 - 34) 鈴木久晴, 志和利彦, 高橋 浩: Balanced Tip (Alcon) による前房と切開創温度の検討. 日本臨床眼科学会（第69回）（名古屋），2015. 10.
 - 35) 片山千加子, 高村悦子, 堀 純子, 外園千恵, 佐々木香る, 篠崎和美, 加藤直子: インストラクションコース47 やさしい角結膜感染症クリニック: 迷うとき, 困るときの対策. 日本臨床眼科学会（第69回）（名古屋），2015. 10.
 - 36) 小野眞史, 鈴木雅也, 熊谷直也, 高橋 浩: 四種の疾患における色調変化による羞明時前頭葉賦活. 日本臨床眼科学会（第69回）（名古屋），2015. 10.
 - 37) 小野眞史: 眼科診療医の視点. 患者・家族メンタル支援学会学術総会（第1回）（東京），2015. 10.
 - 38) 鈴木久晴, 大木孝太郎, 増田洋一郎¹⁾, 高橋 浩¹⁾ 東京慈恵会医科大学 眼科): ワンポートスリーブにおける前房内粘弾性物質残存率の検討. 日本眼科手術学会学術総会（第39回）（福岡），2016. 1.
 - 39) 有馬武志, 鈴木久晴, 志和利彦, 高橋 浩: 超音波チップにおけるベベルと灌流口の向きによる粘弾性物質残存率の検討. 日本眼科手術学会学術総会（第39回）（福岡），2016. 1.
 - 40) 仲野裕一郎, 鈴木久晴, 志和利彦, 高橋 浩: 超音波パルスモードの違いによる前房内温度の比較検討. 日本眼科手術学会学術総会（第39回）（福岡），2016. 1.
 - 41) 宮里佑未, 鈴木久晴, 芹澤元子, 伊東和香子, 由井智子, Takahashi 浩: 小切開から極小切開白内障手術への移行における侵襲評価. 日本眼科手術学会学術総会（第39回）（福岡），2016. 1.
 - 42) 小早川信一郎, 北原由紀, 薫 一帆, 秋庭幹生: 硝子体手術後に自然閉鎖が得られた特発性黄斑円孔の1例. 日本眼科手術学会（第39回）（福岡），2016. 1.
 - 43) 高野靖子, 中元兼二, 白鳥 宙, 高橋 浩: 緑内障濾過手術施行眼における水晶体再建術の視力および眼圧への短期的影響. 日本眼科手術学会学術総会（第39回）（福岡），2016. 1.
 - 44) 高橋永幸, 由井智子, 中元兼二, 小野眞史, 高橋 浩: 有水晶体眼における外傷性虹彩離断に対し経胸膜虹彩縫合術を行った1例. 日本眼科手術学会学術総会（第39回）（福岡），2016. 1.
 - 45) 國重智之, 伊藤利彦, 高橋 浩¹⁾: 白内障手術後に, 眼内レンズ前方偏位・近視化を生じた偽落屑症候群の1例. 日本眼科手術学会学術総会（第39回）（福岡），2016. 1.
 - 46) 高橋和久, 芹澤元子, 高橋永幸, 高橋 浩: 網膜復位術後に虚血性視神経症を発症した1例. 日本眼科手術学会学術総会（第39回）（福岡），2016. 1.
 - 47) 南 想, 國重智之, 五十嵐勉, 小野眞史, 高橋 浩: レバミピド点眼による急性涙嚢炎と考えられた2次性シェーグレン症候群の2例. 角膜カンファランス（第40回）（軽井沢），2016. 2.
 - 48) 小野眞史, 鈴木雅也, 熊谷直也, 高橋 浩: 健康人羞明発生時前頭葉賦活計測における皮膚血流外乱におよぼす循環器系の影響. 角膜カンファランス（第40回）（軽井沢），2016. 2.
 - 49) 中島大司, 一戸 唱, 國重智之, 五十嵐勉, 小野眞史, 高橋 浩: ドライアイにおける愁訴と性格診断. 角膜カンファランス（第40回）（軽井沢），2016. 2.
 - 50) 中元兼二: 24時間眼圧コントロールの重要性. 沖縄緑内障眼底読影勉強会（第9回）（沖縄），2016. 2.

論文

[追加分]

追加分原著：

- 1) 一戸 唱, 鈴木久晴, 志和利彦, 高橋 浩：超音波乳化吸引における各種粘弾性物質と前房温度変化. 眼科手術 2015；28 (2)：269-274.
- 2) 鈴木久晴, 飯田嘉彦¹⁾, 小早川信一郎, 埜本 宰²⁾, 山根 真³⁾ (1) 北里大学病院, 2) 小沢眼科内科病院, 3) 横浜大学附属市民総合医療センター)：コンサルテーションコーナー 眼内レンズ (以下 IOL) 脱臼症例について. IOL & RS 2015；29 (1)：130-135.

著書

追加分：

- 1) 後町清子, 亀谷修平：[共著] “検査” 補償光学 (Adaptive optics：AO) 眼底カメラ. 眼科 硝子体・網膜病変の診かた ―私はこう診る― (三村 治, 岸 章治, 飯島 裕幸, 富田剛司, 坪田一男, 後藤 浩, 雑賀司珠也), 2015；pp377-383, 金原出版.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) Gocho K, Akeo K, Kameya S, Yamaki K, Mizota A, Takahashi H：The improvement of spoke-wheel pattern foveoschisis in a patient with X-linked retinoschisis treated with topical dorzolamide observed by high-resolution adaptive optics fundus camera. Asia-ARVO 2015 (横浜), 2015. 2.

追加分特別講演：

- 1) 後町清子：糖尿病性網膜症の話題. 山武糖尿病眼合併症を考える会, 2015. 3.

24. 疼痛制御麻酔科学分野

[付属病院麻酔科・ペインクリニック]

研究概要

本教室の研究の基盤となるテーマは、全身麻酔の機序解明と新たな麻酔薬・麻酔法の開発、外科系集中治療管理と患者重症化阻止、ならびに神経障害性疼痛解明と慢性痛の一掃対策であり、本年も大学院生を中心に多くの臨床および基礎的研究が行われた。基礎研究の一部は、薬理学鈴木教授、解剖学小澤教授の指導下で行われ、神経障害性疼痛における機序解明、麻酔による日内変動遺伝子変化の研究、麻酔と臓器 microRNA 変動につき、その成果が報告された。また、手術侵襲制御、周術期体液・代謝管理、人工呼吸管理、術後疼痛管理、緩和ケア、ペインクリニック等従来の臨床研究テーマについても幅広く研究が行われた。集中治療領域における ECMO に関しては、臨床運用とともにさらに一層の飛躍を遂げた。以下に主な内容を示す。基礎研究：マイクロアレイ、realtime RT-PCR、細胞培養装置、パッチクランプ等を用いて、1) 麻酔による体内重要臓器における遺伝子発現への影響、2) 全身炎症反応・組織障害に対する麻酔薬の臓器保護効果と microRNA の関連、3) 全身麻酔にともなう日内変動の変化とその機序の解明、4) 神経障害性疼痛の機序と治療効果等。臨床研究：臨床麻酔、外科系集中治療、ペインクリニック、緩和医療領域において、1) 周術期 β 遮断薬の効果、2) 周術期心イベントの発生要因解明、3) 新たな輸液製剤の臨床的效果、4) 外科侵襲による生体反応、5) 非侵襲的人工呼吸管理、6) ECMO、7) 新たな疼痛管理法等。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Morita T, Ishikawa M, Sakamoto A : Identical microRNAs regulate liver protection during anaesthetic and ischemic preconditioning in rats : An animal study. *PLoS One* 2015 ; 10 (5) : e0125866.
- 2) Otsuki T, Ishikawa M, Hori Y, Goto G, Sakamoto A : Volatile anesthetic sevoflurane ameliorates endotoxin-induced acute lung injury via microRNA modulation in rats. *Biomedical Reports* 2015 ; 3 (3) : 408-412.
- 3) 赤柴恒人¹⁾, 竹田晋浩²⁾, et al. ¹⁾ 日本大学 医学部睡眠学・呼吸器内科学, ²⁾ 日本医科大学外科系集中治療科) : 日本呼吸器学会 NPPV (非侵襲的陽圧換気療法) ガイドライン (改訂第2版). *日本呼吸器学会誌* 2015 ; 4 (3) : 262-271.
- 4) Murata S¹⁾, Onozawa S¹⁾, Sugihara F¹⁾, Sakamoto A, Ueda T¹⁾, Yamaguchi H¹⁾, Yasui D¹⁾, Mine T¹⁾, Kumita S¹⁾ ¹⁾ Department of Radiology, Nippon Medical School) : Feasibility and safety of negative-blance isolated pelvic perfusion in patients with pretreated recurrent or persistent uterine cervical cancer. *Annals of Surgical Oncology* 2015 ; 22 (12) : 3981-3989.
- 5) Kimura Y, Ishikawa M, Hori Y, Okabe T, Sakamoto A : Effect of electroconvulsive stimulation on messenger RNA expression in the prefrontal cortex in a rat pain model. *Biomedical Reports* 2015 ; 3 (6) : 802-806.
- 6) Fujimoto S, Ishikawa M, Nagano M¹⁾, Sakamoto A ¹⁾ Department of Pharmacology, Nippon Medical School) : Influence of neonatal sevoflurane exposure on nerve development-related microRNAs and behavior of rats. *Biomedical Research* 2015 ; 36 (6) : 347-355.
- 7) Matsuo I¹⁾, Iijima N¹⁾, Takumi K¹⁾, Higo S¹⁾, Aikawa S¹⁾, Anzai M, Ishii H¹⁾, Sakamoto A, Ozawa H¹⁾ ¹⁾ Department of Anatomy and Neurobiology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Characterization of sevoflurane effects on Per2 expression using ex vivo bioluminescence imaging of the suprachiasmatic nucleus in transgenic rats. *Neurosci Res* 2015.
- 8) 梅井菜央¹⁾, 竹田晋浩¹⁾ ¹⁾ 日本医科大学外科系集中治療科) : 急性重症呼吸不全における ECMO 管理の実際. *Respiratory Medical Research* 2015 ; 3 (4) : 270-272.

(2) 総説：

- 1) Iwasaki M, Edmondson M¹⁾, Sakamoto A, Ma D¹⁾ ¹⁾ Dept. of Surgery and Cancer, Imperial College London) : Anesthesia, surgical stress, and “long-term” outcomes. *Acta Anaesthesiologica Taiwanica* 2015 ; 53 (3) : 99-104.

(3) 解説：

- 1) 松浦加恵¹⁾, 小林克也²⁾, 竹田晋浩²⁾, 坂本篤裕¹⁾ ¹⁾ 日本医科大学麻酔科学教室, ²⁾ 日本医科大学外科系集中治療科) : 重症肺炎に対する高度な救命治療. *日本胸部臨床* 2015 ; 74 (5) : 543-552.
- 2) 市場晋吾¹⁾ ¹⁾ 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科) : ARDS における ECMO 現状と将来. *呼吸器内科* 2015 ; 28 (2) : 148-154.
- 3) 長谷川隆一¹⁾, 木下慎一郎²⁾, 櫻谷正明³⁾, 関口幸男⁴⁾, 中川 聡⁵⁾, 中根正樹⁶⁾, 長野 修⁷⁾, 檜垣 聡⁸⁾, 竹田晋浩⁹⁾, 尾形佳子¹⁰⁾, その他2名 ¹⁾ 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター総合病院水戸協同病院 救急・集中治療科, ²⁾ 広島大学大学院救急医学,

3) JA 広島総合病院救急・集中治療科, 4) 篠ノ井総合病院救命センター, 5) 国立成育医療研究センター教育研修部, 6) 山形大学医学部附属病院高度集中治療センター, 7) 高知大学医学部災害・救急医療学講座, 8) 京都第二赤十字病院救急部, 9) 日本医科大学付属病院外科系集中治療科, 10) その他) : 成人症例のための高頻度振動換気療法 (HFOV) プロトコル. 人工呼吸 2015 ; 32 (2) : 223-234.

(4) 症例報告 :

- 1) Hori Y, Kana T, Tadashi O¹⁾, Atsuhiko S (¹⁾ Hitachinaka general hospital) : A case of unexpectedly difficult intubation caused by a large asymptomatic choanal polyp. JA Clinical Reports 2016 ; 2 : 2.
- 2) 中川真志, 岡部 格, 坂本篤裕 : 喉頭横隔膜症に対する肺手術の麻酔経験. 麻酔 2015 ; 64 (11) : 1175-1177.

(5) Q&A :

- 1) 市場晋吾¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科) : 【重症病態を診る! モニタリングの魅力 -ER, ICU, OPE 室での症例から学ぶ-】 熱傷・外傷・体外循環 重症呼吸不全に対する ECMO 患者のモニタリング. 救急・集中治療 2015 ; 27 (5-6) : 444-453.

(6) Q&A/特集 :

- 1) 鈴木啓士¹⁾, 山本 剛¹⁾, 岩永 航¹⁾, 清水 渉¹⁾, 竹田晋浩²⁾ (¹⁾ 日本医科大学心臓血管集中治療科, ²⁾ 日本医科大学外科系集中治療科) : 【重症病態を診る! モニタリングの魅力 -ER, ICU, OPE 室での症例から学ぶ-】 循環不全 心筋梗塞. 救急・集中治療 2015 ; 27 (5-6) : 409-416.

(7) 解説・特集 :

- 1) 鈴木規仁 : フェンタニル速効性製剤 (舌下錠) の使い方. 薬事 2015 ; 57 (4) : 525-529.

(8) 解説/特集 :

- 1) 市場晋吾¹⁾, 梅井菜央¹⁾, 杉田慎二¹⁾, 青景聡之²⁾, 竹田晋浩²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科, ²⁾ 日本医科大学集中治療室) : 【ARDS-『七転び八起き』最新事情】 ARDS に対する ECMO. 救急医学 2015 ; 39 (6) : 679-687.
- 2) 村田 智¹⁾, 田島廣之¹⁾, 小野澤志郎¹⁾, 安井大輔¹⁾, 上田達矢¹⁾, 杉原史恵¹⁾, 三樹いずみ¹⁾, 山口英紀¹⁾, 峯 貴彦¹⁾, 黄川田弥生²⁾, 鈴木健一²⁾, 坂本篤裕, 汲田伸一郎¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 放射線医学, ²⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部) : 【腎泌尿器のインターベンショナル・ラジオロジー】 血管性 治療におけるインターベンショナル・ラジオロジー 閉鎖循環下化学療法. 腎臓内科・泌尿器科 2015 ; 1 (4) : 363-8.
- 3) 市場晋吾¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科) : 【ECMO を用いた呼吸不全の治療戦略】 ECMO の歴史的な背景. 人工呼吸 2015 ; 32 (2) : 2-7.
- 4) 岩永 航¹⁾, 中村幸子¹⁾, 平田晶子¹⁾, 竹田晋浩¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学外科系集中治療科) : 【ECMO を用いた呼吸不全の治療戦略】 ECMO 中のリハビリテーション. 人工呼吸 2015 ; 32 (1) : 33-36.
- 5) 平田晶子¹⁾, 岩永 航¹⁾, 竹田晋浩¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学外科系集中治療科) : 【TRALI と TACO- 重篤輸血副作用とその関連病態】 急性重症呼吸不全に対する治療の進歩 ECMO を含めて. 医学のあゆみ 2015 ; 253 (8) : 633-636.
- 6) 市場晋吾¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科) : 【身につけておきたい人工呼吸管理の基本】 酸素療法と人工呼吸管理 特殊な人工呼吸 ECMO. 月刊レジデント 2015 ; 8 (10) : 59-67.

(9) 短報 :

- 1) 古市結富子, 中里桂子, 鈴木規仁, 坂本篤裕 : 軟骨無形成症患者に対する大後頭孔拡大術の麻酔経験. 麻酔 2015 ; 64 (12) : 1254-1257.
- 2) 古市結富子, 坂本篤裕 : 手術室入室後, 手術開始前に手術延期が決定された症例の検討. 臨床麻酔 2016 ; 40 (1) : 87-89.

著 書

- 1) Ishikawa M, Sakamoto A : [分担] Chapter27 : Fluid management. Neuroanesthesia and Cerebro-Spinal Protection (Hiroyuki Uchino, Kazuo Ushijima, Yukio Ikeda), 2015 ; pp291-299, Springer Japan.
- 2) 坂本篤裕 : [分担] 14. 心血管作動薬. 麻酔科学レビュー 2016 (澄川耕二, 岩崎寛), 2016 ; pp82-88, 総合医学社.

学会発表

(1) シンポジウム :

- 1) 岩崎雅江, 坂本篤裕 : 高齢者手術の麻酔管理—麻酔科医の立場から (高齢者手術の周術期管理の工夫). 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- 2) 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 当院手術室における安全に関する取り組み (手術室における安全管理). 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- 3) 古市結富子, 坂本篤裕 : 産んでもやめない女医を増やす (外科系女性医師のキャリアパス). 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- 4) 梅井菜央 : ECMO (Extracorporeal membrane oxygenation) の simulation 教育の必要性. 呼吸療法医学会 (第 37 回) (京都), 2015.

7.

- 5) 坂本篤裕：集中治療における短時間作用型 β 遮断薬の使い方. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会（第24回）（新宿），2015. 8.
 - 6) 鈴木健一¹⁾，竹田晋浩²⁾，濱田ゆう子¹⁾，大石紗織¹⁾，黄川田弥生¹⁾，内田千草¹⁾，美野輪恵子¹⁾，八重田知見¹⁾，少前貴康¹⁾，市場晋吾²⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 ME部，²⁾日本医科大学付属病院 外科系集中治療科）：「臨床工学技士から見たICUにおけるピットホール」：長期循環補助. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会（第24回）（新宿），2015. 8.
 - 7) 竹田晋浩¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院外科系集中治療科）：呼吸管理（NPPB，人工呼吸）と呼吸管理中の鎮静. 日本心臓病学会学術集会（第63回）（横浜），2015. 9.
 - 8) 坂本篤裕：病院長からみた病院経営と麻酔科医. 日本臨床麻酔学会大会（第35回）（横浜），2015. 10.
 - 9) 石川真士，坂本篤裕：麻酔外来の効率化. 日本臨床麻酔学会大会（第35回）（横浜），2015. 10.
 - 10) 岸川洋昭，坂本篤裕：大学病院の麻酔科医応募状況. 日本臨床麻酔学会大会（第35回）（横浜），2015. 10.
 - 11) 杉田慎二¹⁾，梅井菜央¹⁾，市場晋吾¹⁾，竹田晋浩¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 外科系集中治療科）：最新のECMO療法 ECMOプロジェクト発足後における当院での心臓血管手術に対するECMO療法. 日本臨床麻酔学会（第35回）（横浜），2015. 10.
 - 12) 市場晋吾¹⁾，梅井菜央，杉田慎二（¹⁾日本医科大学付属病院外科系集中治療科）：ECMOによる肺保護戦略. 日本集中治療医学会学術集会（第43回）（神戸），2016. 2.
 - 13) 梅井菜央¹⁾，Benjamin B²⁾，市場晋吾¹⁾，竹田晋浩¹⁾，杉田慎二¹⁾，坂本篤裕¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院外科系集中治療科，²⁾University of Hawaii）：集中治療のシミュレーショントレーニングコースの必要性に関するアンケート調査. 日本集中治療医学会学術集会（第43回）（神戸），2016. 2.
- (2) パネルディスカッション：
- 1) 石川真士，坂本篤裕：呼吸数モニタリング：術後低酸素血症を早期発見するには？（周術期モニタリング）. 日本外科系連合学会学術集会（第40回）（東京），2015. 6.
 - 2) 小磯那津美¹⁾，鈴木健一¹⁾，竹田晋浩²⁾（¹⁾日本医科大学 ME部，²⁾日本医科大学外科系集中治療科）：周術期モニタリング・ME機器管理の進歩と安全管理：ME目線から. 日本連合外科学会（第40回）（東京），2015. 6.
- (3) ワークショップ：
- 1) 鈴木規仁：緩和ケアチーム介入により全人的な痛みに対応できた3症例（外科系診療における早期緩和医療）. 日本外科系連合学会学術集会（第40回）（東京），2015. 6.
 - 2) 市場晋吾¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 外科系集中治療科）：中・長期使用可能なECMOの現状と課題 呼吸ECMOの臨床的な課題. 日本人工臓器学会（東京），2015. 11.
- (4) 一般講演：
- 1) 鈴木健一¹⁾，竹田晋浩²⁾，倉藤晶子³⁾，坂本篤裕（¹⁾日本医科大学 ME部，²⁾日本医科大学外科系集中治療科，³⁾日本医科大学看護部）：「チームで行う安全管理」：臨床工学技士の目線から. 日本外科系連合学会（第40回）（東京），2015. 6.
 - 2) Fujimoto S, Nagano M¹⁾, Ishikawa M, Sakamoto A（¹⁾Department of Pharmacology, Nippon Medical School）：Influence of neonatal sevoflurane exposure on nerve development-related microRNAs and behavior of rats. American Society of Anesthesiologists 2015 Annual meeting (San Diego), 2015. 10.
 - 3) Nagata S, Sugita S¹⁾, Kobayashi K¹⁾, Takeda S¹⁾, Sakamoto A（¹⁾Surgical Intensive Care Unit, Nippon Medical School Hospital）：Intraoperative max lactate level and severe emergency abdominal surgery. American Society of Anesthesiologists 2015 Annual Meeting (San Diego), 2015. 10.
 - 4) 森田智教，石川真士，坂本篤裕：悪性関節リウマチ患者の上腕骨骨折手術に対し末梢神経ブロックとデクスメドミジン投与で管理しえた1例. 日本区域麻酔学会（第2回）（高崎），2015. 4.
 - 5) 石川真士，杉田慎二，坂本篤裕：周術期乳酸値の推移は心拍動下冠動脈バイパス術の術後急性腎障害を予期しない. 日本麻酔科学学会学術集会（第62回）（神戸），2015. 5.
 - 6) 佐藤真美子，杉田慎二，石川真士，岸川洋昭，坂本篤裕：オフポンプCABG手術におけるcarperitide（カルペリチド）の術中持続投与の効果の検討. 日本麻酔科学学会学術集会（第62回）（神戸），2015. 5.
 - 7) 杉田慎二，石川真士，小林克也，岸川洋昭，坂本篤裕：腹部敗血症手術に対する赤血球輸血投与量と術後予後の関係. 日本麻酔科学学会学術集会（第62回）（神戸），2015. 5.
 - 8) 木村祐輔，保利陽子，石川真士，坂本篤裕：神経因性障害モデルラットに対するElectroconvulsive stimulationによる前頭野のmessengerRNA変化の検討. 日本麻酔科学学会学術集会（第62回）（神戸），2015. 5.
 - 9) 保利陽子，藤本彩子，岡部 格¹⁾，坂本篤裕（¹⁾ひたちなか総合病院麻酔科）：消化器外科腹腔鏡下手術におけるアンダーボディプランケットによる温風式加温システムの効果の検討. 日本麻酔科学学会学術集会（第62回）（神戸），2015. 5.
 - 10) 藤本彩子，永野昌俊¹⁾，石川真士，坂本篤裕（¹⁾日本医科大学薬理学教室）：ラット幼若期セボフルラン暴露が発達段階の海馬microRNA発現変化へ及ぼす影響. 日本麻酔科学学会学術集会（第62回）（神戸），2015. 5.

- 11) 菊入麻紀子, 赤田信二¹⁾, 篠浦 央¹⁾, 守 真輝¹⁾, 佐藤千代¹⁾, 坂本篤裕 (¹⁾ 東京臨海病院麻酔科) : 脊髄くも膜下麻酔下の鎮静におけるデクスメトミジンとミダゾラムの比較. 日本麻酔科学会学術集会 (第 62 回) (神戸), 2015. 5.
- 12) 伊藤直美, 坂井 敦¹⁾, 鈴木秀典¹⁾, 坂本篤裕 (¹⁾ 日本医科大学大学院薬理学分野) : オキサリプラチン誘発性神経障害性疼痛における後根神経節でのマイクロ RNA の発現変化. 日本麻酔科学会学術集会 (第 62 回) (神戸), 2015. 5.
- 13) 永田紗弥子, 杉田慎二, 坂本篤裕 : 重症緊急開腹手術における術中乳酸値は予後規定因子となるか. 日本麻酔科学会学術集会 (第 62 回) (神戸), 2015. 5.
- 14) 岡部 格¹⁾, 寺島秀夫²⁾, 田中俊輔¹⁾, 坂本篤裕 (¹⁾ ひたちなか総合病院麻酔科, ²⁾ 筑波大学付属病院ひたちなか社会連携教育センター) : 飲料物の摂取量の差が胃内よりの排泄速度に及ぼす影響 : 健常ボランティアによる比較検討. 日本麻酔科学会学術集会 (第 62 回) (神戸), 2015. 5.
- 15) 森田智教, 石川真士, 坂本篤裕 : 肝臓虚血再灌流モデルにおけるセボフルランプレコンディショニングと虚血プレコンディショニングの microRNA 発現変化の比較. 日本麻酔科学会学術集会 (第 62 回) (神戸), 2015. 5.
- 16) 古市結富子, 濱田純華, 小林克也¹⁾, 本郷 卓, 竹田晋浩¹⁾, 坂本篤裕 (¹⁾ 日本医科大学 集中治療室) : 麻酔導入前に心停止となり, 蘇生後にたこつば型心筋症を発症した 1 症例. 日本循環制御医学会総会 (第 36 回) (名古屋), 2015. 6.
- 17) 鈴木規仁, 源田雄紀, 保利陽子, 岸川洋昭, 後藤玄太郎, 深田陽子¹⁾, 岡村由美子¹⁾, 池田征史¹⁾, 加藤あゆみ²⁾, 中村博子²⁾, 鈴木藍²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院看護部, ²⁾ 日本医科大学付属病院薬剤部) : 緩和ケアチームによるアプストラル舌下錠適正使用への取り組み. 日本緩和医療学会学術集会 (第 20 回) (横浜), 2015. 6.
- 18) 鈴木規仁, 源田雄紀, 保利陽子, 後藤玄太郎, 岸川洋昭, 坂本篤裕 : 突出痛に対する速効性フェンタニルクエン酸塩舌下錠の治療効果. 日本ペインクリニック学会 (第 49 回) (大阪), 2015. 7.
- 19) 保利陽子, 源田雄紀, 後藤玄太郎, 岸川洋昭, 鈴木規仁, 坂本篤裕 : 神経線維腫 2 型に続発した水頭症により難治性の左下肢痛を来した 1 例. 日本ペインクリニック学会 (第 49 回) (大阪), 2015. 7.
- 20) 坂本篤裕, 田上 恵¹⁾, 坊垣昌彦²⁾, 鈴木利保³⁾, 花岡一雄⁴⁾, 大久保明弘⁵⁾ (¹⁾ 東邦大学医療センター佐倉病院麻酔科, ²⁾ 東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター, ³⁾ 東海大学医学部付属病院麻酔科, ⁴⁾ JR 東京総合病院, ⁵⁾ 佐藤製薬株式会社医薬臨床開発部) : 動脈穿刺予定患者を対象としたエムラクリートの第 3 相試験における有効性および安全性の検討. 日本ペインクリニック学会 (第 49 回) (大阪), 2015. 7.
- 21) 佐藤千代¹⁾, 篠浦 央¹⁾, 守 真輝¹⁾, 赤田信二¹⁾ (¹⁾ 東京臨海病院 麻酔科) : がん疼痛に対しアセトアミノフェン静注薬を長期投与した症例. 日本ペインクリニック学会 (第 49 回) (大阪), 2015. 7.
- 22) 坂井 敦¹⁾, 武藤友美²⁾, 木村茉莉子²⁾, 丸山基代³⁾, 坂本篤裕²⁾, 鈴木秀典¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学大学院 薬理学分野, ²⁾ 日本医科大学大学院 疼痛制御麻酔科学分野, ³⁾ 日本医科大学 実験動物管理室) : 下行性ノルアドレナリン神経伝達の増強を指向した神経障害性疼痛治療の検討. 日本疼痛学会 (第 37 回) (熊本), 2015. 7.
- 23) 古市結富子, 杉田慎二¹⁾, 竹田晋浩¹⁾, 坂本篤裕 (¹⁾ 日本医科大学外科系集中治療室) : 手術室入室後, 手術開始前に中止となった症例の検討. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (第 24 回) (新宿), 2015. 8.
- 24) 橋本美紀¹⁾, 鈴木健一¹⁾, 梅井菜央, 杉田慎二, 市場晋吾, 竹田晋浩 (¹⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部) : 人工肺を並列で 2 個使用した ECMO 症例. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (第 24 回) (新宿), 2015. 8.
- 25) 藤本彩子, 石川真士, 坂本篤裕 : 自発呼吸維持下での硬性気管支鏡下気管支ステント留置において radical-7 による RRA モニターが有用であった 1 例. 日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部合同学術集会 (第 55 回) (横浜), 2015. 9.
- 26) 谷口佳奈, 岡部 格, 仲野耕平, 保利陽子, 古市結富子, 坂本篤裕 : 挿管困難を景気に発見された巨大後鼻孔ポリープの 1 症例. 日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部合同学術集会 (第 55 回) (横浜), 2015. 9.
- 27) 福岡俊宗¹⁾, 横塚 基²⁾, 寺嶋克幸²⁾, 坂本篤裕 (¹⁾ 所沢病院 麻酔科, ²⁾ 三井記念病院麻酔科) : 重度僧帽弁閉鎖不全, 中等度大動脈弁閉鎖不全, 重度肺高血圧症を合併した透析中患者の婦人科手術の麻酔経験. 日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部合同学術集会 (第 55 回) (横浜), 2015. 9.
- 28) 三澤真梨恵, 源田雄紀, 菊入麻紀子, 後藤玄太郎, 坂本篤裕 : 分子標的薬アキシチニブにより急性心不全を呈した両側腎がんの周術期管理 手術延期のメリット VS デメリットを判断せよ. 日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部合同学術集会 (第 55 回) (横浜), 2015. 9.
- 29) 濱崎義成, 保利陽子, 坂本篤裕 : 腹腔鏡下 S 状結腸切除術直後に縫合不全による敗血症性ショックとなった 1 症例. 日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部合同学術集会 (第 55 回) (横浜), 2015. 9.
- 30) 木村嵩之, 岩崎雅江, 古市結富子, 坂本篤裕 : 超高齢者手術の麻酔・周術期管理についての考察. 日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部合同学術集会 (第 55 回) (横浜), 2015. 9.
- 31) 宗友あゆみ, 源田雄紀, 谷口佳奈, 坂本篤裕 : エコーガイド下の中心静脈カテーテル挿入術のピットフォール : 針先が見えているからと言って安全に挿入できるわけではない !! : 右内頸 - 腕頭静脈合流部の血管内血栓により CV カテーテルが反転した症例. 日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部合同学術集会 (第 55 回) (横浜), 2015. 9.

- 32) 永本盛嗣, 石川真士, 大槻達郎¹⁾, 坂本篤裕⁽¹⁾ 榊原記念病院 麻酔科): 周術期の血漿交換にて管理しえた甲状腺機能亢進症の1症例. 日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部合同学術集会 (第55回) (横浜), 2015. 9.
- 33) 寺川依里, 古市結富子, 岩崎宏俊, 石川真士, 武藤友美¹⁾, 坂本篤裕⁽¹⁾ 恵愛病院): アキレス腱縫合術前に肺動脈血栓症を発症した症例に対し, 超音波エコーガイド下坐骨神経ブロックで麻酔管理をおこなった経験. 日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部合同学術集会 (第55回) (横浜), 2015. 9.
- 34) 山下 碧, 鈴木規仁, 岩崎雅江, 保利陽子, 源田雄紀, 坂本篤裕: 甲状腺癌術後神経障害性疼痛に対して行った疼痛緩和の1症例. 日本麻酔科学会 関東甲信越・東京支部合同学術集会 (第55回) (横浜), 2015. 9.
- 35) 石川真士, 並里 大, 森田智教, 木村祐輔, 後藤玄太郎, 坂本篤裕: 心拍動下冠動脈バイパス術: 術後急性腎障害と炎症, 心筋マーカーの関連性. 日本心臓血管麻酔学会学術集会 (第20回) (福岡), 2015. 10.
- 36) 横塚 基¹⁾, 清水 淳²⁾, 大野長良³⁾, 寺嶋克幸¹⁾, 坂本篤裕⁽¹⁾ 三井記念病院麻酔科, ²⁾ 榊原記念病院麻酔科, ³⁾ 三井記念病院集中治療センター): 経カテーテル大動脈弁留置術 (TAVI) の麻酔導入時の心拍数/血圧の変化 - デスフルランとセボフルランの比較検討. 日本心臓血管麻酔学会学術集会 (第20回) (福岡), 2015. 10.
- 37) 後藤玄太郎, 大森知恵, 佐藤真美子, 森田智教, 並里 大, 保利陽子, 坂本篤裕: 送血管の一部であるシリコンリングが血管内へ迷入し経食道心エコーと大動脈造影にて発見することができた1例. 日本心臓血管麻酔学会学術集会 (第20回) (福岡), 2015. 10.
- 38) 大森知恵, 保利陽子, 佐藤真美子, 後藤玄太郎, 坂本篤裕: 息切れを契機に発見された成人の三心房手術の麻酔経験. 日本心臓血管麻酔学会学術集会 (第20回) (福岡), 2015. 10.
- 39) 古市結富子, 清水 淳¹⁾, 坂本篤裕⁽¹⁾ 榊原記念病院麻酔科): 冠動脈バイパス術におけるIVPCA (intravenous patient-controlled analgesia) の効果. 日本心臓血管麻酔学会学術集会 (第20回) (福岡), 2015. 10.
- 40) 並里 大, 石川真士, 森田智教, 坂本篤裕: Noonan 症候群男児への異常筋束切除・僧帽弁置換術の麻酔経験. 日本心臓血管麻酔学会学術集会 (第20回) (福岡), 2015. 10.
- 41) 竹内純平¹⁾, 清水 淳¹⁾, 森 啓介¹⁾, 高橋祐生¹⁾, 大槻達郎¹⁾, 坂本篤裕⁽¹⁾ 榊原記念病院麻酔科): 当院で過去5年間に施行された下行大動脈置換, 胸腹部大動脈置換122例における対麻痺発症症例の検討. 日本心臓血管麻酔学会学術集会 (第20回) (福岡), 2015. 10.
- 42) 並里 大, 坂本篤裕: 経鼻挿管に難渋した環椎後頭骨癒合の1例. 日本臨床麻酔学会大会 (第35回) (横浜), 2015. 10.
- 43) 近藤優香, 岩崎雅江, 古市結富子, 坂本篤裕: 複数回の電気痙攣療法で入眠せず麻酔管理に注意を要した1例. 日本臨床麻酔学会大会 (第35回) (横浜), 2015. 10.
- 44) 後藤玄太郎, 保利陽子, 坂本篤裕: 内視鏡下経鼻の下垂体腫瘍摘出術の周術期にたこつぼ型心筋症を発症した1症例. 日本臨床麻酔学会大会 (第35回) (横浜), 2015. 10.
- 45) 古市結富子, 本郷 卓, 坂本篤裕: 気道確保困難症例に対してどのような準備をすべきか. 日本臨床麻酔学会大会 (第35回) (横浜), 2015. 10.
- 46) 中川真志, 石川真士, 坂本篤裕: 巨大甲状腺腫により気道圧排と下咽頭の巨大静脈瘤を合併し気道確保困難が予想された1症例. 日本臨床麻酔学会大会 (第35回) (横浜), 2015. 10.
- 47) 森田智教, 安斎めぐみ, 坂本篤裕: ロクロニウムのアレルギー反応にスガマデクスが著効した1例. 日本臨床麻酔学会大会 (第35回) (横浜), 2015. 10.
- 48) 八木 馨, 後藤玄太郎, 白田実男¹⁾, 坂本篤裕⁽¹⁾ 日本医科大学呼吸器外科): 肺切除後の心房細動に対するランジオロール塩酸塩の予防投与について. 日本臨床麻酔学会大会 (第35回) (横浜), 2015. 10.
- 49) 保利陽子, 陶 莉沙, 寺川依里, 松尾いづみ, 坂本篤裕: 特発性食道破裂の呼吸不全に対し, V-V ECMO を導入し手術を行った1症例. 日本臨床麻酔学会大会 (第35回) (横浜), 2015. 10.
- 50) 花井紗弥子¹⁾, 金 徹¹⁾, 神谷一郎¹⁾, 設楽敏朗²⁾, 坂本篤裕⁽¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院麻酔科, ²⁾ 聖隷佐倉市民病院麻酔科): プレガバリンが奏功した眼瞼・顔面痙攣の1症例. 日本臨床麻酔学会大会 (第35回) (横浜), 2015. 10.
- 51) 仲野耕平, 佐藤真美子, 松尾いづみ, 中里桂子¹⁾, 古市結富子, 岸川洋昭, 坂本篤裕⁽¹⁾ 東京ベイ・浦安市川医療センター麻酔科): 下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎摘出術の麻酔管理. 日本臨床麻酔学会大会 (第35回) (横浜), 2015. 10.
- 52) 永本盛嗣, 石川真士, 大森知恵, 保利陽子, 坂本篤裕: 腹腔鏡下肝臓切除術において炭酸ガス塞栓症が疑われた2症例. 日本臨床麻酔学会大会 (第35回) (横浜), 2015. 10.
- 53) 中山拓也¹⁾, 鈴木健一¹⁾, 橋本美紀¹⁾, 佐藤 望¹⁾, 竹田晋浩²⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部, ²⁾ 日本医科大学外科系集中治療科): エアフリー圧力チャンバによるアラーム発生不良. 日本急性血液浄化学会 (第26回) (東京), 2015. 10.
- 54) 河原香織¹⁾, 鈴木健一¹⁾, 八重田知見¹⁾, 倉藤晶子²⁾, 上村明子²⁾, 谷合信彦³⁾, 坂本篤裕⁽¹⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部, ²⁾ 日本医科大学付属病院 看護部, ³⁾ 日本医科大学付属病院 消化器・乳腺外科): 臨床工学技士による手術室新人看護師教育の在り方. 日本手術医学会 (第37回) (大阪), 2015. 10.
- 55) 八重田知見¹⁾, 鈴木健一¹⁾, 河原香織¹⁾, 倉藤晶子²⁾, 上村明子²⁾, 谷合信彦³⁾, 坂本篤裕⁽¹⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部, ²⁾ 日本

- 医科大学付属病院 看護部, ³⁾ 日本医科大学付属病院 消化器・乳腺外科): 手術室担当 ME 適正配置人数の検討. 日本手術医学会 (第 37 回) (大阪), 2015. 10.
- 56) 大石沙織¹⁾, 鈴木健一¹⁾, 八重田知見¹⁾, 河原香織¹⁾, 倉藤晶子²⁾, 上村明子²⁾, 谷谷信彦³⁾, 坂本篤裕¹⁾ (日本医科大学付属病院 ME 部, ²⁾ 日本医科大学付属病院 看護部, ³⁾ 日本医科大学付属病院 消化器・乳腺外科): 手術室における人工心肺カート運用の検討. 日本手術医学会 (第 37 回) (大阪), 2015. 10.
- 57) 内田千草¹⁾, 鈴木健一¹⁾, 梅井菜央²⁾, 杉田慎二²⁾, 市場晋吾²⁾, 竹田晋浩²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部, ²⁾ 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科): ECMO 治療における人工肺の種類による管理方法の違いについての検討. 日本人工臓器学会 (第 53 回) (東京), 2015. 11.
- 58) 鈴木健一¹⁾, 竹田晋浩²⁾, 市場晋吾²⁾, 大石沙織¹⁾, 黄川田弥生¹⁾, 内田千草¹⁾, 美野輪恵子¹⁾, 橋本美紀¹⁾, 豊富達智¹⁾, 八重田知見¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部, ²⁾ 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科): CARDIOHELP Longrun の臨床使用経験. 日本人工臓器学会 (第 53 回) (東京), 2015. 11.
- 59) 永本盛嗣¹⁾, 梅井菜央¹⁾, 市場晋吾¹⁾, 杉田慎二¹⁾, 竹田晋浩¹⁾, 坂本篤裕¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院外科系集中治療科): 致命的気道閉塞の治療に Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation (VV-ECMO) を使用し救命した 1 例. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 60) 杉田慎二¹⁾, 竹田晋浩¹⁾, 梅井菜央¹⁾, 市場晋吾¹⁾, 坂本篤裕¹⁾ (日本医科大学付属病院外科系集中治療科): 当院で経験した呼吸不全に対する長期 VV-ECMO 患者の胚移植登録についての検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 61) 黄 俊憲¹⁾, 林 洋史¹⁾, 坏 宏一¹⁾, 山本 剛¹⁾, 岡本彬美³⁾, 杉原 仁³⁾, 五十嵐健人⁴⁾, 市場晋吾⁵⁾, 萩原かな子²⁾, 清水 渉²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科, ²⁾ 日本医科大学付属病院循環器内科, ³⁾ 日本医科大学付属病院内分泌代謝内科, ⁴⁾ 日本医科大学付属病院内分泌外科, ⁵⁾ 日本医科大学付属病院外科系集中治療科): 褐色細胞腫破裂による急激な血行動態悪化に対し, 集中管理により緊急手術を回避し, 待機手術に成功した 1 例. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 62) 中山誠一¹⁾, 大野綾子¹⁾, 足立 圭¹⁾, 亀ヶ谷泰匡¹⁾, 細萱順一¹⁾, 背戸陽子¹⁾, 鈴木健一¹⁾, 杉田慎二¹⁾, 市場晋吾¹⁾, 竹田晋浩¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院): 肺移植の bridge として ECMO 管理を行った患者における看護実践の経験. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 63) 大森知恵, 杉田慎二, 竹田晋浩, 坂本篤裕: 心臓手術後の ECMO 管理における病院間連携についての検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 64) 三軒豪仁¹⁾, 鈴木啓士¹⁾, 古瀬領人¹⁾, 林 洋史¹⁾, 細川雄亮¹⁾, 坏 宏一¹⁾, 山本 剛¹⁾, 杉田慎二³⁾, 竹田晋浩³⁾, 清水 渉^{1, 2)} (¹⁾ 日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科, ²⁾ 日本医科大学付属病院外科系集中治療科, ³⁾ 日本医科大学付属病院循環器内科): CCU における Cardiac ECMO 長期サポート例の最近の成績. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 65) 森田智教, 杉田慎二, 竹田晋浩, 坂本篤裕: 血液悪性腫瘍患者の重症呼吸不全 3 症例に対しての ECMO 使用の検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.

論文

[追加分]

追加分短報:

- 1) Inagi T¹⁾, Hoshina H²⁾, Suzuki M¹⁾, Wada M¹⁾, Bito H¹⁾, Sakamoto A (¹⁾ Department of Anesthesiology, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, ²⁾ Department of Breast Surgery, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital): Remifentanyl-induced alterations in neutrophil numbers after surgery. JA Clinical Reports 2016; 2: 5.

学会発表

追加分一般講演:

- 1) 伊藤直美^{1, 2)}, 坂井 敦¹⁾, 三宅紀子³⁾, 三宅弘一³⁾, 岡田尚巳³⁾, 坂本篤裕²⁾, 鈴木秀典¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学薬理学教室, ²⁾ 日本医科大学疼痛制御麻酔科学, ³⁾ 日本医科大学生化学・分子生物学分野): Involvement of miR-15b in oxaliplatin-induced neuropathic pain. 日本薬理学会年会 (第 88 回) (名古屋), 2015. 3.

[武蔵小杉病院麻酔科]

研究概要

武蔵小杉病院麻酔科では主に臨床に即した研究をおこなっている。医局員が日常の麻酔ペイン業務で遭遇する種々の問題疑問より発生起案したテーマをもとにチームを編成し研究を進めている。従って臨床にすぐ反映され、有益となる研究テーマであるという特徴を有している。食道がん、肺がん等の開胸手術における侵襲防御、産科領域の麻酔管理法、気道管理方は当科の長年のテーマであり継続的な研

究を行っている。

研究業績

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 大角 真¹⁾，赤羽日出男¹⁾，岩瀬友里¹⁾，田中裕一²⁾，門倉ゆみ子¹⁾，尾藤博保¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院麻酔科，2) 国立循環器病センター麻酔科)：当院初診患者におけるトラマドール塩酸塩／アセトアミフェン配合錠の効果。日本麻酔科学会第62回学術集会(神戸)，2015. 5.
- 2) 岩瀬友里¹⁾，鳥海博司¹⁾，門倉ゆみ子¹⁾，大角 真¹⁾，尾藤博保¹⁾，菊谷健彦²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 麻酔科，2) 東戸塚記念病院)：腹腔鏡手術は大腸 直腸がん手術後の縫合不全に関するリスク因子である。日本麻酔科学会第62回学術集会(神戸)，2015. 5.
- 3) 堂本修平¹⁾，岩瀬友里¹⁾，坂本光太郎¹⁾，鈴木万三¹⁾，尾藤博保¹⁾，伊藤友希²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院麻酔科，2) 日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科)：硬膜外併用脊髄くも膜下麻酔(CSE)を用いた緊急帝王切開における血圧低下の予測因子。日本麻酔科学会第62回学術集会(神戸)，2015. 5.
- 4) 赤羽日出男¹⁾，大角 真¹⁾，鳥海博司¹⁾，門倉ゆみ子¹⁾，田中裕一¹⁾，稲木敏一郎²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 麻酔科，2) 横浜旭中央総合病院 麻酔科)：慢性痛に対する精神医学的評価の検討。日本ペインクリニック学会(第49回)(大阪)，2015. 7.

(2) 座長：

- 1) 尾藤博保¹⁾：術中管理2。日本臨床麻酔科学会(第35回)(パシフィコ横浜)，2015. 10.
- 2) 鈴木万三¹⁾ (1) 武蔵小杉病院 麻酔科)：コース11 声門上デバイス。日本臨床麻酔科学会(第35回)(パシフィコ横浜)，2015. 10.

(3) 談話会：

- 1) 長江泰孝¹⁾，福島悠基¹⁾，長田洋平¹⁾，堂本修平¹⁾，稲木敏一郎²⁾，赤羽日出男¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 麻酔科，2) 横浜旭中央総合病院 麻酔科)：化学療法後抹消神経障害に対する抗うつ薬の治療経験。東京・南関東疼痛懇談会 諸会議(第30回)(神奈川県総合医療会館)，2016. 2.

追加分懇話会：

- 1) 岩瀬友里¹⁾，堂本修平¹⁾，門倉ゆみ子¹⁾，鳥海博司¹⁾，大角 真¹⁾，赤羽日出男¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院麻酔科)：難治性筋緊張性疼痛に対しランダムアクセス波低周波療法が著効した1例。第29回東京・南関東疼痛懇話会(川崎)，2015. 2.

[多摩永山病院麻酔科]

研究概要

当科では周術期管理及びペインクリニックに関する臨床的研究を継続的に行っている。近年では超高齢者や重篤な全身合併症を持つ患者に侵襲の高い手術を行うことが増加している。このような症例の周術期管理には厳格な麻酔管理，輸液管理及び疼痛管理が要求される。従来の方法にとらわれず，どんな症例にも対応でき単純で安全な麻酔法の研究を行っている。ペインクリニックでは，難治性の痛みに対する侵襲的治療を積極的に行っている。脊柱管狭窄症の病態と痛みの関係，椎間孔の解剖に基づいた経椎間孔的硬膜外穿刺法，神経根形成術などの臨床研究を中心に行い，また他施設への普及も務めた。今後とも新たに開発されていく治療法を積極的に取り入れて臨床活動を行う。

研究業績

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 内木亮介¹⁾，水野幸一¹⁾，清水祐一郎¹⁾，米内大輔¹⁾，幸田真理子¹⁾，杖下隆哉¹⁾，坂本篤裕²⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院麻酔科，2) 日本医科大学麻酔科学教室)：Racz カテーテル Up to date. 第16回エピソードラスコピー研究会(第16回)(横浜市)，2015. 10.

(2) 一般講演：

- 1) 西櫻 量¹⁾，水野幸一¹⁾，米内大輔¹⁾，西川晃司²⁾，杖下隆哉¹⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院麻酔科，2) 総合相模更生病院)：挿管困難の情報が伝達されなかった経験からリスクマネージメントの検討。日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部合同学術集会(第55回)(横浜市)，2015. 9.

[千葉北総病院麻酔科]

研究業績

著書

- 1) 辻本芳孝, 金 徹: [自著] 麻酔手技に伴う合併症とその対処麻酔覚醒時に患者が大暴れして歯が抜けてしまった. ぐらつきがなくても出っ歯は危険!. LiSA 麻酔を核とした総合誌 [リサ] Vol.23 No.2 2016 (稲田 英一), 2016; ppP128-P131, メディカル・サイエンス・インターナショナル.
- 2) 坪光祥晃, 竹田晋浩¹⁾ (1) かわぐち心臓呼吸器病院): [分担] II. 術後患者の全身管理 3 呼吸器系の管理 A 呼吸系モニタリング・検査 B 酸素療法 C 気道確保 D 人工呼吸 E 呼吸理学療法 F 口腔ケア. 麻酔・手術後の患者管理 (澄川耕二 原哲也), 2016; ppP53-P82, 克誠堂.

学会発表

(1) 教育講演:

- 1) 金 徹: 新しいデータから術前絶飲食ガイドラインを検証する. 日本臨床麻酔学会 (第 35 回) (横浜), 2015. 10.

(2) パネルディスカッション:

- 1) Nagata S, Sugita S¹⁾, Kobayashi K¹⁾, Takeda S¹⁾, Sakamoto A¹⁾ (1) Department of Anesthesiology, Nippon Medical School, Tokyo, Japan): intraoperative max lactate level and severe emergency abdominal surgery. the ANESTHESIOLOGY 2015 annual meeting (in San Diego, California), 2015. 10.
- 2) 永田紗弥子, 杉田慎二¹⁾, 小林克也¹⁾, 竹田晋浩¹⁾, 坂本篤裕¹⁾ (1) 日本医科大学麻酔科学教室): 重症緊急開腹手術における術中乳酸値は予後規定因子となるか. 日本麻酔科学会 (第 62 回) (兵庫県神戸市), 2015. 5.

(3) 一般講演:

- 1) 花井紗弥子, 金 徹, 辻本芳孝, 神谷一郎, 設楽敏郎¹⁾, 坂本篤裕²⁾ (1) 聖隷佐倉市民病院麻酔科, 2) 日本医科大学麻酔科学教室): プレガバリンが奏功した眼瞼・顔面痙攣の 1 症例. 日本臨床麻酔学会 (第 35 回) (横浜), 2015. 10.

25. 救急医学分野

[付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター]

研究概要

救急医学分野では研究テーマを「ショック・虚血再灌流に続発する臓器障害発生の機序解明」と設定し、外科、脳外科、整形外科、集中治療、熱傷、中毒、災害医学をサブスペシャリティーに持つ各グループが、幅広い学術研究・学会・論文発表を行った。

・外傷外科領域：IABOを使用した止血、staged laparotomy や open abdominal management など、重症外傷患者に対する戦略的治療手法に関する研究を進め報告を行った。

・脳神経外科領域：文部科学省や厚生労働省からの科学研究費等の複数の助成を受け、重症脳血管障害、頭部外傷、蘇生後脳症および脳死や終末期医療に関して臨床的、基礎的研究を行ない、多くの成果を学会で発表した。特に、重症頭部外傷研究では、早期低温療法導入の効果に関する国内外の多施設共同研究を当講座主導で開始するなど、頭蓋内病態把握および予後改善を目指した研究を推進している。

・集中治療領域：重症病態に併発する呼吸不全、循環動態に関するモニタリングおよび管理指標に関する研究・発表を行った。また、熱中症の発生状況の分析や対策に関する報告など、熱中症全国調査に基づく研究発表や社会に対する啓発活動を行った。

・災害医療領域：ドクターカー運用データベース作成や多数傷病者対応・テロ・事態対応など、本学が推進する積極的な病院前救急医療を行うためのシステム構築に関する研究から実際の活動まで、幅広い研究発表を行った。

・基礎研究領域：文部科学省科学研究費を受け研究を行った。全身性炎症反応・臓器障害を引き起こすメディエータを運ぶ腸管リンパ液中のマイクロRNA中の役割に関する研究にて、また、新たに作成した電磁波による実験頭部外傷モデルを使用した研究にて当分野大学院生が学位論文を作成した。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Gajavelli S¹⁾, Shimoda S¹⁾, Diaz J¹⁾, Yokobori S, Spurlock M¹⁾, Diaz D¹⁾, Jackson C¹⁾, Wick A¹⁾, Zhao W¹⁾, Leung L¹⁾, Shear D¹⁾, Tortella F¹⁾, Bullock M¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, University of Miami Miller School of Medicine, Miami, FL, USA) : Glucose and oxygen metabolism after penetrating ballistic-like brain injury. *J Cereb Blood Flow Metab.* 2015 ; 35 (5) : 773-80.
- 2) Igarashi Y, Matsuda Y, Fuse A, Ishiwata T, Naito Z, Yokota H : Pathophysiology of microwave-induced traumatic brain injury. *Biomed Rep.* 2015 ; 3 (4) : 468-472.
- 3) Yamaguchi M, Okamoto K, Kusano T, Matsuda Y, Suzuki G, Fuse A, Yokota H : The Effects of Xanthine Oxidoreductase Inhibitors on Oxidative Stress Markers following Global Brain Ischemia Reperfusion Injury in C57BL/6 Mice. *Plos one* 2015.
- 4) 荒木 尚¹⁾, 横田裕行, 市川光太郎¹⁾ (1) 日本小児救急医学会脳死問題検討委員会) : Simulation-based training for determination of brain death by pediatric healthcare providers. *Springerplus* 2015 ; 4 (412).
- 5) Yokobori S, Yamaguchi M, Igarashi Y, Hironaka K, Onda H, Kuwamoto K, Araki T, Fuse A, Yokota H : Outcome and Refractory Factor of Intensive Treatment for Geriatric Traumatic Brain Injury : Analysis of 1,165 cases registered in the Japan Neurotrauma Data Bank. *World Neurosurg.* 2016 ; 86 : 127-133.
- 6) 横堀将司, Shyam G¹⁾, Ross B¹⁾, 山口昌紘, 五十嵐豊, 橋詰哲広, 井上泰豪, 恩田秀賢, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行 (1) Department of Neurosurgery, University of Miami Miller School of Medicine, FL, USA) : 重症頭部外傷におけるPerfluorocarbonを用いた脳蘇生の有効性と限界. *脳死・脳蘇生* 2015 ; 27 (2) : 63-70.
- 7) 檀 直彰¹⁾, 小島原典子¹⁾, 赤羽晃寿¹⁾, 大久保ゆかり¹⁾, 横田裕行¹⁾, 猪狩和子¹⁾, 稲葉貴子¹⁾, 福下公子¹⁾, 大澤秀一¹⁾, 鄭 東孝¹⁾, 山田千津子¹⁾, 山口いづみ²⁾ (1) 東京都医師会次世代医師育成委員会, 2) 東京都医師会理事) : 若手医師のキャリア形成の障壁と支援. *日本医師会雑誌* 2015 ; 144 (7) : 1466-1470.

(2) 総説：

- 1) Gajavelli S¹⁾, Sinha V¹⁾, Mazzeo A¹⁾, Spurlock M¹⁾, Lee S¹⁾, Ahmed A¹⁾, Yokobori S, Bullock R¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, University of Miami Miller School of Medicine, Miami, FL, USA) : Evidence to support Mitochondrial Neuroprotection, in severe Traumatic Brain Injury. *Journal of Bioenergetics and Biomembranes.* *J Bioenerg Biomembr* 2015 ; 47 (1-2) : 133-48.
- 2) Yokobori S, Zhang Z¹⁾, Moghieb A¹⁾, Mondello S¹⁾, Gajavelli S¹⁾, Dietrich W¹⁾, Bramlett H¹⁾, Hayes R¹⁾, Wang K¹⁾, Bullock R¹⁾ (1) Department of Neurosurgery, University of Miami Miller School of Medicine, Miami, FL, USA) : Acute diagnostic biomarkers

- for spinal cord injury : review of the literature and preliminary research report. *World Neurosurg.* 2015 ; 83 (5) : 867-78.
- 3) Araki T, Yokota H, Fuse A : Brain Death in Pediatric Patients in Japan : Diagnosis and Unresolved Issues. *Neurologia medico-chirurgica* 2016 ; 56 (1) : 1-8.
 - 4) 横田裕行 : 脳の検査. *NHK テレビテキストきょうの健康* 5月号 2015 ; (326) : 78-81.
 - 5) 荒木 尚, 横田裕行 : 小児救急と脳死. *小児科* 2015 ; 56 (4) : 405-412.
 - 6) 荒木 尚, 横田裕行 : 小児の脳死 : 重篤な意識障害の子どもたちを支える脳死学の在り方を求めて. *脳死・脳蘇生* 2015 ; 27 (2) : 55-62.
 - 7) 横田裕行 : 重症化を防ぐ! 熱中症対策. *NHK テレビテキストきょうの健康* 8月号 2015 ; (329) : 102-105.
 - 8) 横田裕行 : 知っておきたい熱中症対策. *読売家庭版* 8月号 2015 ; (608) : 18-19.
 - 9) 五十嵐豊 : 頭部外傷の輸液管理 その常識は正しいか? 急性脳浮腫を含む (Q&A/特集). *救急・集中治療 [病態ごとの輸液管理 : その常識は正しいか?]* 2015 ; 27 (9-10) : 812-818.
 - 10) 高山守正^{1, 2)}, 下川智樹³⁾, 横田裕行, 吉野秀朗⁴⁾ ⁽¹⁾ 東京都 CCU 連絡協議会, ⁽²⁾ 榊原記念病院循環器内科, ⁽³⁾ 帝京大学附属病院心臓血管外科, ⁽⁴⁾ 杏林大学病院循環器内科 : 急性大動脈スーパーネットワーク平成 25 年 (2013) の集計. *ICU と CCU* 2015 ; 39 (別冊号) : 8-14.
 - 11) 横堀将司 : 脳酸素代謝モニター, マイクロダイアリシス. *救急医学* 2016 ; 40 (1) : 57-64.
 - 12) 桑本健太郎, 横田裕行 : Onset to Door 時間短縮に向けて : プレホスピタルの課題. *分子脳血管病* 2016 ; 15 (1) : 43-47.
 - 13) 横田裕行 : 救急・集中治療の終末期 : 3学会合同ガイドライン. *日本臨床* 2016 ; 74 (2) : 345-351.
 - 14) 横田裕行 : 救急・集中治療の終末期医療に関するガイドライン : 3学会合同ガイドラインからの提言. *エマージェンシー・ケア* 2016 ; 29 (2) : 34-40.
 - 15) 荒木 尚, 横田裕行 : わが国の脳死判定と最新事情. *脳神経外科速報* 2016 ; 26 (3) : 271-278.
 - 16) 横堀将司, 山口昌紘, 五十嵐豊, 亦野文宏¹⁾, 廣中浩平¹⁾, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 荒木 尚, 布施 明, 森田明夫¹⁾, 横田裕行 ⁽¹⁾ 日本医科大学付属病院脳神経外科) : Neurological emergency におけるモニタリングと急性期治療戦略. *脳神経外科ジャーナル* 2016 ; 25 (3) : 220-228.
- (3) 症例報告 :
- 1) Araki T, Miyauchi M, Suzaki M, Wakakuri H, Kirinoki S, Onodera N, Saigusa T, Tanaka A, Hyodo H, Ohara T, Kawai M, Yasutake M, Yokota H : Gymnastic Formation-related Injury to Children in Physical Education. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (6) : 295-299.
 - 2) Mine T¹⁾, Murata S¹⁾, Yasui D¹⁾, Yokota H, Tajima H²⁾, Kumita S¹⁾ ⁽¹⁾ Department of Radiology, Nippon Medical School, ⁽²⁾ Center for Minimally Invasive Treatment, Nippon Medical School) : Glue Embolization of a Blunt Traumatic Hepatic Arteriovenous Fistula under Inflow and Outflow Control. *Journal of Nippon Medical School* 2016 ; 83 (1) : 27-30.
 - 3) 木村徳宏, 井上泰豪, 金谷貴大, 中尾淳一, 萩原 純, 小原良規, 横堀将司, 金 史英, 増野智彦, 横田裕行 : Edwardsiella tarda による重症軟部組織感染から敗血症性ショックを呈した 1 例. *エンドトキシン血症救命治療研究会誌* 2015 ; 19 (1) : 98-105.
 - 4) 吉田文哉, 五十嵐豊, 廣瀬和俊, 松本典子, 松居亮平, 吉田良太郎, 桑本健太郎, 塚本剛志, 増野智彦, 辻井厚子, 新井正徳, 横田裕行 : 気腫性腎盂腎炎に対して高気圧酸素療法を施行した 1 例. *日本救急医学会関東地方会雑誌* 2015 ; 36 (2) : 400-403.
 - 5) 萩原 純, 金 史英, 井上泰豪, 石井浩統, 横堀将司, 増野智彦, 宮内雅人, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行 : 著明な高トリグリセリド血症を伴った重症急性膵炎の 1 例. *日本救急医学会関東地方会雑誌* 2015 ; 36 (2) : 371-374.
 - 6) 寺岡晋太郎, 恩田秀賢, 吉野雄大, 池田慎平, 笠井華子, 白銀一貴, 石井浩統, 片桐美和, 増野智彦, 宮内雅人, 横田裕行 : 経過中にたこつぽ型心筋症を発症した熱中症の 1 例. *日本救急医学会関東地方会雑誌* 2015 ; 36 (2) : 287-289.
 - 7) 池田慎平, 吉野雄大, 笠井華子, 松居亮平, 吉田良太郎, 萩原 純, 石井浩統, 片桐美和, 増野智彦, 金 史英, 新井正徳, 坪 宏一¹⁾, 横田裕行 ⁽¹⁾ 日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) : 外傷性胸部大動脈損傷に対して保存的治療を選択した 1 例. *日本救急医学会関東地方会雑誌* 2015 ; 36 (2) : 259-261.

著 書

- 1) 横田裕行 : [編集] 臓器移植とそのコーディネーション基礎から応用まで一. 臓器移植とそのコーディネーション基礎から応用まで一 (監修 : 寺岡慧. 編集 : 高原史郎, 福嶋教偉, 横田裕行, 芦刈淳太郎, 小中節子), 2015 ; 日本医学館.
- 2) 金 史英, 横田裕行 : [分担] 手術関連薬. *Pocket Drugs 2016*, 2016 ; pp815-816. 医学書院.
- 3) 横田裕行 : [分担] 法的脳死判定. *公衆衛生がみえる 2016-2017*, 2016 ; pp105-105, メディックメディア.
- 4) 荒木 尚 : [分担] 頭部外傷. *内科・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン改訂第 3 版 (市川光太郎)*, 2015 ; pp384-394. 診断と治療社.
- 5) 横田裕行 : [分担] 救急医療における終末期医療. *臓器移植とそのコーディネーション : 基礎から応用まで* (監修 : 寺岡 慧. 編集 :

- 高原史郎, 福寫教偉, 横田裕行, 芦刈淳太郎, 小中節子), 2015; pp348-353, 日本医学館.
- 6) 横田裕行: [分担] 脳死. 臓器移植とそのコーディネーション: 基礎から応用まで (監修: 寺岡 慧, 編集: 高原史郎, 福寫教偉, 横田裕行, 芦刈淳太郎, 小中節子), 2015; pp354-361, 日本医学館.
 - 7) 増野智彦: [翻訳] 事態対処医療要員の安全と健康. 事態対処医療 Tactical Medicine Essential (布施明, 齋藤大蔵), 2015; pp16-27, へるす出版.
 - 8) 増野智彦: [翻訳] ショックの管理. 事態対処医療 Tactical Medicine Essential (布施明, 齋藤大蔵), 2015; pp195-202, へるす出版.
 - 9) 荒木 尚, 横田裕行: [分担] 小児の脳死: 現状と課題. 小児脳神経外科学 改訂第2版 (坂本博昭, 山崎麻美), 2015; pp1058-1064, 金芳堂.
 - 10) 荒木 尚: [分担] 熱中症. 今日の小児診療指針第16版 (水口雅, 市橋光, 崎山弘), 2015; pp23-24, 医学書院.
 - 11) 横田裕行: [分担] 意識障害の病態. PCECガイドブック2016 (【監修】日本臨床救急医学会 【編集協力】日本救急医学会・日本神経救急学会 【編集】PCEC・PSLS改訂小委員会), 2015; pp11-15, へるす出版.
 - 12) 横堀将司, 横田裕行: [分担] 重症頭部外傷と血液凝固異常. Annual Review 2016 神経 (【編集】鈴木則宏, 祖父江元, 荒木信夫, 宇川義一, 川原信隆), 2016; pp158-164, 中外医学社.
 - 13) 辻井厚子: [分担] 失神患者の指針. 救急・集中治療最新ガイドライン (【編集】岡元和文), 2016; pp58-64, 総合医学社.
 - 14) 金 史英, 横田裕行: [分担] 止血薬. Pocket Drugs 2016, 2016; pp823-824, 医学書院.
 - 15) 横堀将司, 横田裕行: [分担] 頭頸部外傷. 救急・集中治療医学レビュー2016-17 (【監修】島崎修次, 前川剛志 【編集】岡元和文, 横田裕行), 2016; pp174-181, 総合医学社.
 - 16) 荒木 尚: [分担] 小児救急疾患・外傷: 小児頭部外傷患者におけるCT撮影の適応—NICE2014とバイオマーカーの応用—. 救急・集中治療医学レビュー2016-17 (【監修】島崎修次, 前川剛志 【編集】岡元和文, 横田裕行), 2016; pp235-242, 総合医学社.
 - 17) 恩田秀賢: [分担] ICP+脳低温療法の術後の管理. 外傷の術後管理のスタンダードはこれだ!, 2016; pp21-29, 羊土社.
 - 18) 横田裕行: [分担] 臓器移植法. 公衆衛生がみえる2016-2017, 2016; pp106-108, メディックメディア.

学会発表

(1) 特別講演:

- 1) 横田裕行: 地域救急医療における大学病院のあり方: 搬送先選定困難事例への対応から. 奈良県立医科大学講演会 (奈良), 2015. 4.
- 2) 田上 隆¹⁾, 久志本成樹²⁾, 横田裕行, 畝本恭子¹⁾, 北橋章子¹⁾, 金子純也¹⁾, 福田令雄¹⁾, 磐井佑輔¹⁾, 谷 将星¹⁾, 富永直樹¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, ²⁾ 東北大学病院高度救命救急センター): 肺水腫の鑑別および重症度評価法: 経肺熱希釈法によるアプローチ. 日本救急医学会総会・学術集会 (第43回) (東京), 2015. 10.
- 3) 布施 明: 我が国における事態対処医療の現状. 病院前救急診療学会総会学術集会 (第10回) (大阪), 2015. 11.
- 4) 荒木 尚: 小児の脳死診断と諸問題について: 日本・カナダの比較から. 東京大学大学院人文社会系研究科臨床死生学・倫理学研究会 (東京), 2015. 11.
- 5) 横田裕行: 移植医療における救急・脳外科施設の課題. 肝移植医療フォーラム (第15回) (東京), 2016. 2.

(2) 招待講演:

- 1) Araki T: Determination of Brain Death: Global Variations and JapanTh. The 12th Symposium International Society of Neurotrauma (Cape Town (RSA)), 2016. 2.
- 2) 荒木 尚: 小児頭部外傷の診断と治療: 脳振盪から AHT まで. 第10回小児救急医療ワークショップ in 北九州 (北九州), 2015. 7.

(3) 教育講演:

- 1) 横田裕行: 救急・集中治療の終末期における倫理的対応を再考する. 筑波大学附属病院倫理講演会 (つくば), 2016. 2.

(4) 基調講演:

- 1) 来栖 薫¹⁾, 横田裕行, 荒木 尚 (¹⁾ 広島大学医学部脳神経外科): 臓器提供と脳神経外科医. 日本脳神経外科救急学会 (第21回) (東京), 2016. 1.

(5) シンポジウム:

- 1) 横堀将司, 山口昌紘, 五十嵐豊, 亦野文宏, 井上泰豪, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行: 重症頭部外傷における脳室内出血の臨床的意義 - 積極的治療抵抗因子の病態は何か. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第18回) (富山), 2015. 6.
- 2) 荒木 尚, 横田裕行: 脳神経機能予後を見据えた小児頭部外傷の急性期対応. 日本小児神経学会学術集会 (第57回) (大阪), 2015. 5.
- 3) 井上潤一¹⁾, 岩瀬史明¹⁾, 布施 明, 横田裕行 (¹⁾ 山梨県立中央病院救命救急センター): 災害医療における外科系医師のこれからの役割. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京), 2015. 6.
- 4) 小田泰崇¹⁾, 鶴田良介¹⁾, 三宅康史²⁾, 奥寺 敬³⁾, 中村俊介²⁾, 白石振一郎⁴⁾, 若杉雅浩⁵⁾, 清水敬樹⁶⁾, 登内道彦⁷⁾, 横田裕行 (¹⁾ 山

- 口大学大学院医学研究科救急・総合診療医学分野,²⁾ 昭和大学医学部救急医学講座,³⁾ 富山大学大学院医学薬学教育部危機管理医学,⁴⁾ 会津中央病院救命救急センター,⁵⁾ 富山大学附属病院災害・救命センター,⁶⁾ 東京都立多摩総合医療センター救命救急センター,⁷⁾ 気象業務支援センター)：熱中症発症の危険因子と新しい冷却方法. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第18回) (富山), 2015. 6.
- 5) 中村俊介¹⁾, 三宅康史¹⁾, 小田泰崇²⁾, 奥寺 敬²⁾, 北原孝雄²⁾, 清水敬樹²⁾, 白石振一郎²⁾, 若杉雅浩²⁾, 横田裕行²⁾, 有賀 徹¹⁾ (¹⁾ 昭和大学医学部救急医学講座, ²⁾ 日本救急医学会熱中症に関する委員会)：熱中症における後遺障害および冷却目標温度, 冷却時間に関する検討. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第18回) (富山), 2015. 6.
- 6) 三宅康史¹⁾, 中村俊介¹⁾, 横田裕行²⁾, 奥寺 敬²⁾, 若杉雅浩²⁾, 北原孝雄²⁾, 坪倉正治²⁾, 小田泰崇²⁾, 清水敬樹²⁾, 白石振一郎²⁾ (¹⁾ 昭和大学医学部救急医学, ²⁾ 日本救急医学会熱中症に関する委員会)：熱中症ガイドラインの策定経過と発生頻度, DIC 治療. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第18回) (富山), 2015. 6.
- 7) 布施 明, 五十嵐豊, 萩原 純, 若井聡智¹⁾, 大西光雄²⁾, 齋藤大蔵³⁾, 横田裕行 (¹⁾ 国立病院機構大阪医療センター救命救急センター, ²⁾ 大阪大学医学部付属病院高度救命救急センター, ³⁾ 防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門)：本邦の現行システムでは東京オリンピックでテロ事案に対応できない. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第18回) (富山), 2015. 6.
- 8) 横堀将司, 山口昌紘, 五十嵐豊, 井上泰豪, 亦野文宏, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行：神経救急患者における瞳孔計を用いた対光反射測定 of 臨床的意義. 日本脳神経モニタリング学会 (第21回) (東京), 2015. 6.
- 9) 横田裕行：3学会合同ガイドライン作成の経緯と意義, そして課題. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会 (第28回) (名古屋), 2015. 7.
- 10) 荒木 尚, 市川光太郎¹⁾, 長村敏生¹⁾, 鶴 智光¹⁾, 梅原 実¹⁾, 西山和孝¹⁾, 新津健裕¹⁾, 山本剛史¹⁾, 種市尋宙¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本小児救急医学会脳死問題検討委員会)：小児の脳死判定と諸問題についていかに研修するか. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会 (第28回) (名古屋), 2015. 7.
- 11) 横堀将司, 山口昌紘, 五十嵐豊, 井上泰豪, 廣中浩平, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行：重症頭部外傷における急性期脳蘇生一臨床研究の現状と将来. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会 (第28回) (名古屋), 2015. 7.
- 12) 横堀将司, 横山瑞恵¹⁾, 山崎直人¹⁾, 斉藤徳子¹⁾, 山口昌紘, 亦野文宏, 五十嵐豊, 井上泰豪, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 荒木 尚, 増野智彦, 布施 明, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学付属病院看護部)：血管内冷却法を用いた TTM に影響を及ぼす因子分析とチームアプローチ. 日本脳低温療法学会 (第18回) (香川), 2015. 7.
- 13) 横堀将司, 山口昌紘, 五十嵐豊, 金子純也, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 荒木 尚, 畝本恭子, 布施 明, 横田裕行：重症頭部外傷における脳保護と脳蘇生 臨床研究の過去・現在・未来. 日本救急医学会総会・学術集会 (第43回) (東京), 2015. 10.
- 14) 齋藤伸行¹⁾, 八木貴典¹⁾, 益子一樹¹⁾, 本村友一¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター)：ICUにおけるチーム診療体制が人工呼吸離脱プロセスに与える影響. 日本救急医学会総会・学術集会 (第43回) (東京), 2015. 10.
- 15) 安部智一¹⁾, 小倉裕司¹⁾, 齋藤大蔵¹⁾, 久志本成樹¹⁾, 白石 淳¹⁾, 藤島清太郎¹⁾, 荒木恒敏¹⁾, 池田弘人¹⁾, 射場敏明¹⁾, 上山昌史¹⁾, 岡本好司¹⁾, 小谷穰治¹⁾, 阪本雄一郎¹⁾, 白石振一郎¹⁾, 増野智彦¹⁾, その他14名 (¹⁾ 日本救急医学会他施設協同試験特別委員会)：Sepsis registry：敗血症診断の国際標準化の現状と展望. 日本救急医学会総会・学術集会 (第43回) (東京), 2015. 10.
- 16) 齋藤大蔵¹⁾, 丸藤 哲¹⁾, 佐々木淳一¹⁾, 池田弘人¹⁾, 上山昌史¹⁾, 田熊清継¹⁾, 荒木恒敏¹⁾, 小倉裕司¹⁾, 藤島清太郎¹⁾, 阿部智一¹⁾, 白石 淳¹⁾, 久志本成樹¹⁾, 真弓俊彦¹⁾, 白石振一郎¹⁾, 増野智彦¹⁾, その他14名 (¹⁾ 日本救急医学会他施設共同試験特別委員会)：広範囲熱傷の初期輸液に関する他施設今日郎前向き無作為比較対照試験の計画. 日本救急医学会総会・学術集会 (第43回) (東京), 2015. 10.
- 17) 小倉裕司¹⁾, 丸藤 哲¹⁾, 阿部智一¹⁾, 荒木恒敏¹⁾, 池田弘人¹⁾, 射場敏明¹⁾, 上山昌史¹⁾, 岡本好司¹⁾, 久志本成樹¹⁾, 小谷穰治¹⁾, 齋藤大蔵¹⁾, 阪本雄一郎¹⁾, 佐々木淳一¹⁾, 白石振一郎¹⁾, 増野智彦¹⁾, その他14名 (¹⁾ 日本救急医学会他施設共同試験特別委員会)：日本救急医学会：学会主導他施設研究の発展とその経緯. 日本救急医学会総会・学術集会 (第43回) (東京), 2015. 10.
- 18) 藤江 聡¹⁾, 宮城夏子¹⁾, 落合香苗¹⁾, 世良俊樹¹⁾, 白石 淳¹⁾, 五十嵐豊, 布施 明, 横堀将司, 久野政宗²⁾, 小笠原智子³⁾, 小井土雄一³⁾, 織田 順⁴⁾, 大友康裕¹⁾ (¹⁾ 東京医科歯科大学医学部付属病院救命救急センター, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院, ³⁾ 独立行政法人国立病院機構災害医療センター, ⁴⁾ 東京医科大学救命救急センター)：東京ドクターカーレジストリ, 病院前救急診療学会総会学術集会 (第10回) (大阪), 2015. 11.
- 19) 荒木 尚^{1, 2)}, 市川光太郎¹⁾, 西山和孝¹⁾, 新津健裕¹⁾, 種市尋宙¹⁾, 山本剛史¹⁾, 長村敏生¹⁾, 鶴 智光¹⁾, 里見 昭¹⁾, 梅原 実¹⁾, 横田裕行²⁾ (¹⁾ 日本小児救急医学学会脳死問題検討委員会, ²⁾ 日本医科大学付属病院救命救急科)：小児の脳死に関する off-the-job training：日本小児救急医学学会脳死判定セミナーの5年. 日本脳神経外科救急学会 (第21回) (東京), 2016. 1.
- 20) 横堀将司, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 金子純也¹⁾, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 畝本恭子¹⁾, 布施 明, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター)：重症頭部外傷における急性期治療：臨床研究の現在から未来へ. 日本脳神経外科救急学会 (第21回) (東京), 2016. 1.

- 21) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 横堀将司, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 額瀨健太¹⁾, 金谷貴大, 森田明夫¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学脳神経外科) : 小児のスポーツ頭部外傷 : 何が新しい知見なのか. 日本脳神経外科救急学会 (第 21 回) (東京), 2016. 1.
 - 22) 横堀将司, 山口昌紘, 五十嵐豊, 廣中浩平¹⁾, 中江竜太²⁾, 鈴木 剛, 金子純也³⁾, 恩田秀賢, 高山泰広⁴⁾, 桑本健太郎, 荒木 尚, 直江康孝²⁾, 畝本恭子³⁾, 布施 明, 横田裕行, その他 1 名 (¹⁾ 日本医科大学付属病院脳神経外科, ²⁾ 川口市立医療センター救命救急科, ³⁾ 日本医科大学多摩永山病院救命救急科, ⁴⁾ 花と森東京病院救命救急科) : 治療標準化は Preventable Trauma Death を減らせたのか?. 日本脳神経外傷学会 (第 39 回) (仙台), 2016. 2.
 - 23) 中江竜太¹⁾, 高山泰広, 横堀将司, 桑本健太郎, 直江康孝¹⁾, 佐藤秀貴, 横田裕行 (¹⁾ 川口市立医療センター救命救急センター) : 重症頭部外傷患者における凝固線溶系マーカーの経時変化と予後予測. 日本脳神経外傷学会 (第 39 回) (仙台), 2016. 2.
 - 24) 谷 将星¹⁾, 金子純也¹⁾, 北橋章子¹⁾, 工藤小織¹⁾, 畝本恭子¹⁾, 桑本健太郎, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター) : 頭部外傷における脳室ドレナージが有効な病態について. 日本脳神経外傷学会 (第 39 回) (仙台), 2016. 2.
 - 25) 田上 隆 : Assessment Guidelines (G2000 versus G2020) Group. 日本救急医学会関東地方会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
 - 26) 安松比呂志¹⁾, 益子一樹¹⁾, 服部 陽¹⁾, 阪本太吾¹⁾, 中山文彦¹⁾, 本村友一¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 千葉北総病院 救命救急センター) : 重症腹部外傷に対する治療戦略. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
 - 27) 杉原史恵¹⁾, 村田 智¹⁾, 上田達夫¹⁾, 安井大祐¹⁾, 三樹いづみ¹⁾, 齊藤正英¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 付属病院 放射線医学) : 腹腔内出血を伴う重症肝損傷および脾損傷に対する IVR. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
- (6) パネルディスカッション :
- 1) 飯田浩章¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 八木貴典¹⁾, 近田祐介¹⁾, 平林篤志¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 杉中宏司¹⁾, 瀬尾卓生¹⁾, 横田裕行, 岡田一宏¹⁾, 中山文彦¹⁾, 本村友一¹⁾, 益子一樹¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 不安定型骨盤骨折 (unstable pelvic fracture : UPF) に対する IABO 治療戦略. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 29 回) (札幌), 2015. 6.
 - 2) 田邊晴山¹⁾, 丸川征四郎²⁾, 横田裕行, 山本保博³⁾ (¹⁾ 救急救命東京研修所, ²⁾ 医誠会病院, ³⁾ 財団法人救急振興財団) : 病院前において蘇生を希望しない意思を示した心肺停止事例への対応の現状について. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.
 - 3) 増野智彦, 吉野美緒¹⁾, 重村朋子, 稲本絵里²⁾, 高田治樹³⁾, 市村美帆⁴⁾, 松井 豊³⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学付属病院小児科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, ³⁾ 筑波大学大学院人間総合科学研究科, ⁴⁾ 目白大学) : 病院前救急診療を行う看護師の心理状態とその特徴. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.
 - 4) 横田裕行^{1,3)}, 三宅康史^{2,3)} (¹⁾ 日本医科大学救急医学, ²⁾ 昭和大学医学部救急医学, ³⁾ 日本救急医学会「熱中症に関する委員会」) : 熱中症全国調査からみた高齢社会の影 : 日本救急医学会による全国調査から. 日本交通科学学会総会・学術講演会 (第 51 回) (秋田), 2015. 7.
 - 5) 遠藤広史¹⁾, 松田 潔¹⁾, 横田裕行¹⁾, 田上 隆¹⁾, 中田孝明¹⁾, 田原良雄¹⁾, 櫻井 淳¹⁾, 米本直裕¹⁾, 長尾 建¹⁾, 矢口有乃¹⁾, 森村尚登¹⁾ (¹⁾ SOS-KANTO study group) : 2002 年から 2012 年の高齢者院外心停止患者に対する治療と結果の変化. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.
 - 6) 八木貴典¹⁾, 平林篤志¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 阪本太吾¹⁾, 本村友一¹⁾, 益子一樹¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 千葉県における覚知要請前後の比較検討. 日本航空医療学会総会 (第 22 回) (前橋), 2015. 11.
 - 7) 横田裕行 : 脳死下臓器提供の課題 : 救急医の視点から. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
 - 8) 金 史英, 吉野雄大, 松居亮平, 石井浩統, 萩原 純, 萩原令彦, 増野智彦, 宮内雅人, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行 : 当院における Actue Care Surgeon 育成のための non-technical skills (NTS) training. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
- (7) セミナー :
- 1) 荒木 尚, 横田裕行 : 外傷専門医が知っておくべき頭部外傷診療の要点 : 頭部外傷. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 29 回) (札幌), 2015. 6.
 - 2) 横堀将司 : 神経集中治療における鎮静と鎮痛 : Analgo-light sedation の可能性と問題点. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.
 - 3) 荒木 尚 : 小児頭部外傷の診断と治療 : 不安と苦手意識をどう克服してきたか. 小児神経学セミナー (第 45 回) (大阪), 2015. 11.
- (8) ランチョンセミナー :
- 1) 恩田秀賢 : 救急初療室における抗けいれん薬の使い方 今そしてこれから. 日本救急医学会関東地方会学術集会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- (9) ワークショップ :
- 1) 上田達夫¹⁾, 村田 智¹⁾, 小野澤志郎¹⁾, 杉原史恵¹⁾, 安井大祐¹⁾, 三樹いづみ¹⁾, 山口英宣²⁾, 田島廣之³⁾, 増野智彦, 横田裕行, 内田英二⁴⁾, 汲田伸一郎¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院放射線医学, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院放射線科, ³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, ⁴⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科) : 腹部救急医療に対する IVR 医の役割. 日本外科系連合学会

学術集会（第40回）（東京），2015. 6.

- 2) 安松比呂志¹⁾，益子一樹¹⁾，服部 陽¹⁾，坂本太吾¹⁾，中山文彦¹⁾，本村友一¹⁾，林田和之¹⁾，松本 尚¹⁾，横田裕行（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）：重症腹部外傷に対する Damage Control Resuscitation と Damage Control Surgery. 日本外科系連合学会学術集会（第40回）（東京），2015. 6.
 - 3) 五十嵐豊，吉野雄大²⁾，萩原 純，石井浩統，片桐美和，横堀将司，増野智彦，宮内雅人，布施 明，横田裕行（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター）：食物による窒息館じゃに対する初期対応の重要性. 日本臨床救急医学会総会・学術集会（第18回）（富山県富山市），2015. 6.
 - 4) 近田祐介¹⁾，八木貴典¹⁾，齋藤伸行¹⁾，柴田あみ¹⁾，市川頼子¹⁾，大西志麻¹⁾，原 義明¹⁾，松本 尚¹⁾，横田裕行（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）：救命救急センターを主軸とした包括的小児外傷診療体制について. 日本救急医学会総会・学術集会（第43回）（東京），2015. 10.
- (10) ポスター：
- 1) 蔭山慎平，景山敦子，南波久貴，渡辺真美，足立国大，山名英俊，廣中浩平，萩原令彦，石井浩統，恩田秀賢，新井正徳，横田裕行：左右計21本の重症多発肋骨骨折の1例. 日本医科大学医学会総会（第83回）（東京），2015. 9.
 - 2) 吉田圭志，河野惟道，錢 真臣，師田瑞樹，吉田文哉，岩井健司，秋山真之，松居亮平，塚本剛志，桑本健太郎，横田裕行：難治性血栓性血小板減少性紫斑病の1例. 日本医科大学医学会総会（第83回）（東京），2015. 9.
 - 3) 河野惟道，桑本健太郎，金子純也，松本 学，山口昌紘，五十嵐豊，廣中浩平，恩田秀賢，横堀将司，荒木 尚，布施 明，横田裕行：脳室内出血で発症した小児脳動静脈奇形の1例. 日本医科大学医学会総会（第83回）（東京），2015. 9.
 - 4) 足立国大，山名英俊，廣中浩平，萩原令彦，石井浩統，恩田秀賢，金 史英，辻井厚子，布施 明，横田裕行：Video-assisted thoracoscopic surgery による骨片摘出を行ったのち，肋骨プレート固定術を施行した外傷性肋骨骨折の1例. 日本医科大学医学会総会（第83回）（東京），2015. 9.
 - 5) 岩井健司，錢 真臣，河野惟道，吉田圭志，師田瑞樹，吉田文哉，秋山真之，松居亮平，塚本剛志，桑本健太郎，宮内雅人，横田裕行：致死的な鈍的損傷の検索における FAST の重要性が確認された2例. 日本医科大学医学会総会（第83回）（東京），2015. 9.
 - 6) 陣内 鑑，萩原 純，萩原令彦，岡本浩和，吉野雄大，山口昌紘，藪野雄大，横堀将司，小原良規，増野智彦，金 史英，横田裕行：呼吸不全を伴った特発性食道破裂に対し ECMO を導入して緊急手術を行った1例. 日本医科大学医学会総会（第83回）（東京），2015. 9.
 - 7) 萩原 純，松居亮平，石井浩統，萩原令彦，金 史英，新井正徳，増野智彦，辻井厚子，宮内雅人，横田裕行：上部消化管出血が疑われ当科に搬送された症例の検討. 日本医科大学医学会総会（第83回）（東京），2015. 9.
 - 8) 藤木 悠¹⁾，小南修史¹⁾，鈴木雅規¹⁾，久保田麻紗美¹⁾，亦野文宏¹⁾，大村朋子¹⁾，水成隆之¹⁾，横田裕行，小林士郎¹⁾，森田明夫²⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経外科，²⁾ 日本医科大学脳神経外科）：外傷性偽性脳動脈瘤を伴った外傷性内頸動脈海綿静脈洞瘻の2例. 日本脳神経外傷学会（第39回）（仙台），2016. 2.
- (11) 一般講演：
- 1) Gajavelli S¹⁾，Spurlock M¹⁾，Ahmed A¹⁾，Rivera K¹⁾，Yokobori S²⁾，Leung L¹⁾，Shear D¹⁾，Tortella F¹⁾，Hazel T¹⁾，Bullock R（¹⁾ Department of Neurosurgery, University of Miami Miller School Of Medicine, Miami FL USA, ²⁾ Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan）：Survival and Biodistribution of human fetal neural stem cell transplantation in penetrating ballistic brain injury (PBBi).. National Neurotrauma Symposium 2015 (Santa Fe, USA.)，2015. 6.
 - 2) 大西志麻¹⁾，齋藤伸行¹⁾，八木貴典¹⁾，近田祐介¹⁾，原 義明¹⁾，松本 尚¹⁾，横田裕行（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）：小児における外傷重症度と養育状況の関連性についての検討. 日本救急医学会総会・学術集会（第43回）（東京），2015. 10.
 - 3) Araki T, Yokota H：Simulation-based training in determination of brain death for organ donation in children. The 57th Annual meeting of the Japanese Society of Child Neurology (Osaka), 2015. 5.
 - 4) 横堀将司，山口昌紘，五十嵐豊，亦野文宏，井上泰豪，恩田秀賢，桑本健太郎，荒木 尚，布施 明：Neurological Emergency におけるモニタリングと急性期治療戦略. 日本脳神経外科コンgres総会（第35回）（横浜），2015. 5.
 - 5) 坂本和嘉子，増野智彦，塚本剛志，朝倉隆之，趙 東威，パニャータンナイン，瀧澤俊広，横田裕行：正常ラット腸間膜リンパ液中の miRNA の網羅的発現解析. 日本 Shock 学会総会（第30回）（東京），2015. 5.
 - 6) 恩田秀賢，山口昌紘，五十嵐豊，井上泰豪，廣中浩平，横堀将司，桑本健太郎，荒木 尚，布施 明，横田裕行：当施設における静注用抗けいれん薬使用経験. 日本神経救急学会学術集会（第29回）（秋田），2015. 6.
 - 7) 片桐美和，石井浩統，萩原 純，萩原令彦，吉田良太郎，松居亮平，池田慎平，増野智彦，金 史英，辻井厚子，新井正徳，横田裕行：治療に難渋したバイク事故による主幹管断裂の1例. 日本交通科学学会総会・学術講演会（第51回）（秋田），2015. 6.
 - 8) 塚本剛志，吉田文哉，川井 真，横田裕行：棟施設における頸椎 SCIWORA 症例の検討. 日本外傷学会総会・学術集会（第29回）（札幌），2015. 6.

- 9) 中江竜太¹⁾, 高山泰広, 榎本健太郎, 直江康孝¹⁾, 佐藤秀貴, 横田裕行⁽¹⁾ 川口市立医療センター救命救急センター): Talk and Deteriorateの経過を呈した頭部外傷患者におけるD-dimerの検討. 日本外傷学会総会・学術集会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- 10) 服部 陽¹⁾, 本村友一¹⁾, 平林篤志¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 益子一樹¹⁾, 林田和之¹⁾, 八木貴典¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行, 富永 茂²⁾, 西本哲也³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2) 日本大学理工学部, 3) 日本大学工学部): 交通事故実態調査に基づいたシートベルト損傷の予測因子に関する検討. 日本外傷学会総会・学術集会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- 11) 平林篤志¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 瀬尾卓生¹⁾, 本村友一¹⁾, 益子一樹¹⁾, 八木貴典¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行⁽¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): 不安定型骨盤輪骨折の病院前診断の必要性について. 日本外傷学会総会・学術集会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- 12) 苛原隆之, 佐藤格夫¹⁾, 諸江雄太²⁾, 福田令雄²⁾, 磐井佑輔²⁾, 畝本恭子²⁾, 横田裕行⁽¹⁾ 京都大学大学院医学研究科初期診療・救急医学分野, 2) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター): 外傷診療におけるIABOの有用性: 自験例と文献レビュー. 日本外傷学会総会・学術集会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- 13) 横堀将司, 横山瑞恵¹⁾, 山崎直人¹⁾, 斉藤徳子¹⁾, 池田慎平, 山口昌紘, 五十嵐豊, 亦野文宏, 井上泰豪, 恩田秀賢, 榎本健太郎, 荒木 尚, 増野智彦, 布施 明, 横田裕行⁽¹⁾ 日本医科大学付属病院看護部): 重症脳損傷に対する温度管理: Management Failure解析とチームアプローチの試み. 日本外傷学会総会・学術集会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- 14) 榎本健太郎, 金子純也¹⁾, 武原章子¹⁾, 谷 将星¹⁾, 畝本恭子¹⁾, 横田裕行, 横堀将司, 恩田秀賢, 荒木 尚⁽¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター): 多発外傷に対する前頭蓋底骨折の手術治療の検討. 日本外傷学会総会・学術集会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- 15) 片桐美和, 石井浩統, 萩原 純, 吉田良太郎, 松居亮平, 辻井厚子, 増野智彦, 新井正徳, 金 史英, 横田裕行: 当院における外傷性脾損傷例の検討. 日本外傷学会総会・学術集会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- 16) 松居亮平, 金 史英, 吉野雄大, 池田慎平, 石井浩統, 片桐美和, 横田裕行: Primary surveyで早期発見し得た腹部外傷の1例. 日本外傷学会総会・学術集会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- 17) 吉田良太郎, 吉野雄大, 吉田文哉, 山村英治¹⁾, 遠藤広史¹⁾, 菊池広子¹⁾, 榎本健太郎, 塚本剛志, 金 史英, 松田 潔¹⁾, 横田裕行⁽¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター): FAST, CTでの診断が困難であった致死的な鈍的心損傷の1例. 日本外傷学会総会・学術集会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- 18) 安松比呂志¹⁾, 益子一樹¹⁾, 服部 陽¹⁾, 瀬尾卓生¹⁾, 阪本太悟¹⁾, 岡田宏一¹⁾, 中山文彦¹⁾, 本村友一¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 林田和之¹⁾, 八木貴典¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行⁽¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): 重症胸部外傷に合併した心ヘルニアの1症例. 日本外傷学会総会・学術集会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- 19) 稲毛俊介¹⁾, 岡田 慧¹⁾, 小松友梨香¹⁾, 杉山未緒¹⁾, 恩田秀賢, 横堀将司, 榎本健太郎, 布施 明, 片山志郎¹⁾, 横田裕行⁽¹⁾ 日本医科大学付属病院薬剤部): 3次救急医療施設に搬送された抗血小板薬および抗凝固薬に関連した脳出血患者に関する検討. 日本臨床救急医学会総会・学術集会(第18回)(富山), 2015. 6.
- 20) 山田真吏奈^{1,4)}, 松田明久²⁾, 千葉知宏³⁾, 相磯貞和⁴⁾, 増野智彦, 松本 尚¹⁾, 宮下正夫²⁾, 横田裕行⁽¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 杏林大学医学部病理学教室, 4) 慶應義塾大学医学部解剖学教室): 脳神経障害に対するS14G-Humaninの効果. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会(第28回)(名古屋), 2015. 7.
- 21) 谷 将星¹⁾, 金子純也²⁾, 武原章子²⁾, 石ノ神小織²⁾, 畝本恭子²⁾, 荒木 尚, 横田裕行⁽¹⁾ 会津中央病院救命救急センター, 2) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター): 比較的良好な予後を得ることができた小児の窒息による心肺停止の1例. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会(第28回)(名古屋), 2015. 7.
- 22) 吉田文哉, 陰山慎平, 足立国大, 廣瀬和俊, 山口昌紘, 松本典子, 山名英俊, 五十嵐豊, 松居亮平, 萩原令彦, 吉田良太郎, 浩中浩平, 石井浩統, 恩田秀賢, 榎本健太郎, その他5名: 高気圧酸素治療が有効であった気腫性感染症の2症例. 日本臨床高気圧酸素・潜水医学会学術集会・総会(第12回)(東京), 2015. 7.
- 23) 柴田あみ¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行⁽¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): 頭部外傷におけるrepeatCT及びMRI検査の意義. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会(第24回)(東京), 2015. 8.
- 24) 新井正徳, 金 史英, 萩原 純, 石井浩統, 松居亮平, 萩原令彦, 吉野雄大, 増野智彦, 辻井厚子, 横田裕行: 閉腹困難なAbdominal sepsisに対する閉腹法の検討. 日本Acute Care Surgery学会学術集会(第7回)(福岡), 2015. 10.
- 25) 横堀将司, 横山瑞恵¹⁾, 山崎直人¹⁾, 斉藤徳子¹⁾, 北村さやか¹⁾, 山口昌紘, 五十嵐豊, 廣中浩平, 恩田秀賢, 榎本健太郎, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行⁽¹⁾ 日本医科大学付属病院看護部): 重症脳損傷に対するTargeted Temperature Management: チームアプローチの重要性. 日本脳神経外科学会第74回学術総会(札幌), 2015. 10.
- 26) 藤木 悠¹⁾, 鈴木雅規¹⁾, 亦野文宏¹⁾, 國保倫子¹⁾, 大村朋子¹⁾, 梅岡克哉¹⁾, 金 景成¹⁾, 小南修史¹⁾, 水成隆之¹⁾, 横田裕行, 小林士郎¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院脳神経外科): 急性期血栓回収療法施行例における治療時間の検討. 日本救急医学会総会・学術集会(第43回)(東京), 2015. 10.

- 27) 新井正徳, 金 史英, 萩原 純, 石井浩統, 松居亮平, 萩原令彦, 田山英樹, 増野智彦, 小山 敦¹⁾, 土佐亮一²⁾, 横田裕行 (¹⁾ いわき市立総合磐城共立病院, ²⁾ 会津中央病院) : Open abdomen を要した破裂性腹部大動脈瘤に対する両側腹直筋鞘前葉反転法の長期合併症の検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.
- 28) 布施 明, 坂 慎弥¹⁾, 布施理美, 立澤裕樹¹⁾, 小川理郎²⁾, 田山英樹, 荒木 尚, 金 史英, 宮内雅人, 横田裕行 (¹⁾ 株式会社プラスアルファ・コンサルティング, ²⁾ 日本体育大学保健医療学部救急医療学科) : SNS における熱中症の共起ワードと熱中症搬送者数との関係性についての検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.
- 29) 柴田あみ¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行, 市川頼子¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : ACCP ガイドラインに準拠した静脈血栓塞栓症 (VTE) 予防プロトコルの有効性. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.
- 30) 荒木 尚, 市川光太郎¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本小児救急医学会脳死問題検討委員会) : 小児医療従事者に対する脳死判定教育の試み. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.
- 31) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 横堀将司, 桑本健太郎, 恩田秀賢, 五十嵐豊, 山口昌紘, 高山泰広²⁾, 佐藤秀貴³⁾, 北菌雅敏³⁾, 森田明夫¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学脳神経外科, ²⁾ 花と森の東京病院脳神経外科, ³⁾ 東京臨海病院脳神経外科) : 小児重症頭部外傷による頭蓋内圧亢進の治療選択と減圧開頭術の適応. 日本脳神経外科学会総会 (第 74 回) (札幌), 2015. 10.
- 32) 片桐美和, 石井浩統, 萩原 純, 萩原令彦, 吉田良太郎, 松居亮平, 増野智彦, 金 史英, 辻井厚子, 新井正徳, 横田裕行 : 術中大腸内視鏡にて切除範囲を決定した NOMI の 1 例. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 33) 藤木 悠¹⁾, 小南修史¹⁾, 鈴木雅規¹⁾, 久保田麻紗美¹⁾, 亦野文宏¹⁾, 大村朋子¹⁾, 水成隆之¹⁾, 横田裕行, 小林士郎¹⁾, 森田明夫²⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院脳神経外科, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科) : 外傷性偽性脳動脈瘤を伴った外傷性内頸動脈海綿静脈洞瘻の 2 例. 日本脳神経外科救急学会 (第 21 回) (東京), 2016. 1.
- 34) 山名英俊, 石井浩統, 廣中浩平, 萩原令彦, 恩田秀賢, 増野智彦, 横田裕行, 根井貴仁¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院感染制御部) : 高エンドトキシン血症を呈したレジオネラ肺炎の 1 例. エンドトキシン血症救命治療研究会 (第 20 回) (東京), 2016. 1.
- 35) 山田真吏奈^{1,4)}, 松田明久²⁾, 千葉知宏³⁾, 相磯貞和⁴⁾, 増野智彦, 松本 尚¹⁾, 宮下正夫²⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ³⁾ 杏林大学医学部病理学教室, ⁴⁾ 慶應義塾大学医学部解剖学教室) : 重症敗血症モデルマウスにおける SI4G-Humanin の効果. エンドトキシン血症救命治療研究会 (第 20 回) (東京), 2016. 1.
- 36) 宮内雅人, 増野智彦, 横田裕行 : 塩素ガス中毒の 1 例. 日本中毒学会東日本地方会第 30 回学術集会 (東京), 2016. 1.
- 37) 増野智彦, 山名英俊, 内海清乃, 藤本将友, 緒方翔一, 五十嵐豊, 萩原 純, 横堀将司, 布施 明, 横田裕行 : 鬼怒川堤防決壊に伴う洪水災害に対する現場救護所活動. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第 21 回) (山形), 2016. 2.
- 38) 平林篤志¹⁾, 本村友一¹⁾, 益子一樹¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 千葉北総病院 救命救急センター) : 成田国際空港における航空機事故緊急活動計画の妥当性について. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第 21 回) (山形), 2016. 2.
- 39) 山名英俊, 増野智彦, 内海清乃, 藤本将友, 緒方翔一, 五十嵐豊, 萩原 純, 横堀将司, 布施 明, 横田裕行 : 鬼怒川堤防決壊に伴う病院避難時に発生した軽症者バス搬送中の患者急変. 日本救急医学会関東地方会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- 40) 金谷貴大, 桑原広輔, 萩原 純, 横堀将司, 吉田文哉, 塚本剛志, 増野智彦, 金 史英, 辻井厚子, 横田裕行 : 肝硬変に起因した十二指腸静脈瘤破裂の 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- 41) 吉野雄大, 岩井健司, 松居亮平, 石井浩統, 萩原令彦, 萩原 純, 増野智彦, 金 史英, 新井正徳, 横田裕行 : V-V ECMO を導入し緊急手術を行った低酸素血症を伴う食道破裂の 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- 42) 吉野雄大, 山名英俊, 萩原 純, 横堀将司, 布施 明, 白石 淳¹⁾, 村田希吉¹⁾, 光銭大裕¹⁾, 井上信明²⁾, 久野将宗³⁾, 小笠原智子⁴⁾, 小井土雄一⁴⁾, 織田 順⁵⁾, 大友康裕¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 東京医科歯科大学付属病院 救命救急センター, ²⁾ 東京都立小児総合医療センター 救命救急科, ³⁾ 多摩永山病院 救命救急センター, ⁴⁾ 国立病院機構災害医療センター 救命救急センター, ⁵⁾ 東京医科大学 救命救急センター) : ドクターカーレジストリの作成, およびその検討. 日本救急医学会関東地方会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- 43) 杉中宏司¹⁾, 中山文彦¹⁾, 本村友一¹⁾, 益子一樹¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 千葉北総病院 救命救急センター) : CT で同定できなかった大腿骨複合骨折の 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- 44) 寺岡晋太郎, 石井浩統, 恩田秀賢, 萩原令彦, 額健太, 山名英俊, 吉野雄大, 荒木 尚, 宮内雅人, 横田裕行 : 小児のアルコール誤飲によるアナフィラキシーが疑われた 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- 45) 金谷貴大, 五十嵐豊, 額健太, 恩田秀賢, 横堀将司, 桑本健太郎, 荒木 尚, 坂本和嘉子, 布施 明, 横田裕行 : HELLIP 症候群に合併した帝王切開直後における尾状核出血の 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- 46) 阿部浩征¹⁾, 中江竜太¹⁾, 藤木 悠¹⁾, 鈴木 剛¹⁾, 直江康孝¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 川口市医療センター救命救急センター) : 大動脈狭窄症に合併したくも膜下出血の 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- 47) 岩井健司, 桑本健太郎, 塚本剛志, 松居亮平, 吉田文哉, 坂本和嘉子, 宮内雅人, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行 : 難治性気胸を合併した気道熱傷の 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- 48) 緒方翔一¹⁾, 小塚隆司¹⁾, 増野智彦, 横堀将司, 萩原 純, 吉野雄大, 吉田文哉, 蔭山慎平, 横田裕行 (¹⁾ 東京消防庁) : 静脈路確保

における血管触知感覚誤差縮小のための教育法開発と静脈路確保成功率に対する教育効果. 日本救急医学会関東地方会救急隊員学術研究会 (第 53 回) (東京), 2016. 2.

- 49) 木村和巳¹⁾, 横地雄介¹⁾, 佐々木亮¹⁾, 池田慎平, 増野智彦, 横田裕行 (1) 東京消防庁: 3 度熱中症が疑われた出血性ショック症例. 日本救急医学会関東地方会救急隊員学術研究会 (第 53 回) (東京), 2016. 2.
- 50) 奥寺 敬^{1,5)}, 永山正雄^{2,5)}, 荒木 尚^{3,6)}, 畝本恭子^{4,6)}, 若杉雅浩^{1,6)}, 高橋 恵¹⁾, 坂元美重¹⁾ (1) 富山大学大学院危機管理医学 (救急・災害医学), 2) 国際医療福祉大学熱海病院脳神経内科/脳卒中・神経センター, 3) 日本医科大学付属病院救命救急科, 4) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, 5) JRC ガイドライン・脳神経蘇生共同座長, 6) JRC ガイドライン・脳神経蘇生作業部会員): JRC 救急蘇生ガイドライン 2015 の脳神経蘇生と脳神経外傷. 日本脳神経外傷学会 (第 39 回) (仙台), 2016. 2.
- 51) 畝本恭子^{1,5)}, 奥寺 敬^{2,5)}, 永山正雄^{3,5)}, 谷 将星¹⁾, 金子純也¹⁾, 北橋章子¹⁾, 小柳正雄¹⁾, 工藤小織¹⁾, 荒木 尚^{4,5)}, 横田裕行^{4,5)} (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, 2) 富山大学大学院危機管理医学 (救急・災害医学), 3) 国際医療福祉大学熱海病院脳神経内科/脳卒中・神経センター, 4) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, 5) JRC ガイドライン 2015・脳神経蘇生ガイドライン合同委員会): 脳神経蘇生の観点からみた脊髄損傷急性期治療ー蘇生ガイドライン 2015 記載のエビデンスとその後. 日本脳神経外傷学会 (第 39 回) (仙台), 2016. 2.
- 52) 中山文彦¹⁾, 益子一樹¹⁾, 本村友一¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 服部 陽¹⁾, 阪本太吾¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行, 飯田浩章¹⁾, 瀬尾卓生¹⁾, 近田祐介¹⁾, 後藤美咲¹⁾, 市川頼子¹⁾, 柴田あみ¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): 2 か所の胸部大動脈損傷を伴う多発外傷の 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- 53) 榊原庸貴¹⁾, 布施 明, 成田徳雄²⁾ (1) 株式会社パスコ研究開発本部開発センター空間情報技術部, 2) 気仙沼市立病院脳神経外科): 大規模災害超急性期におけるヘリ空撮による被害調査手法の開発. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第 21 回) (山形), 2016. 2.
- 54) 成田徳雄¹⁾, 布施 明, 榊原庸貴²⁾ (1) 気仙沼市立病院脳神経外科, 2) 株式会社パスコ研究開発本部開発センター空間情報技術部): 大規模災害時施設情報伝達のための SOS シートの開発. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第 21 回) (山形), 2016. 2.
- 55) 石井浩統, 松居亮平, 萩原 純, 坂本和嘉子, 増野智彦, 金 史英, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行: 自殺企図による腹部刺創: 当施設における 8 年間の検討. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
- 56) 向後英樹¹⁾, 水口義昭¹⁾, 金 史英, 萩原 純, 松居亮平, 横田裕行, 内田英二¹⁾ (1) 付属病院 消化器外科): 閉腹困難な腹膜炎手術症例に対し, VAC 及び mesh traction の併用にて閉腹し得た 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
- 57) 松居亮平, 金 史英, 吉野雄大, 岩井健司, 石井浩統, 萩原令彦, 萩原 純, 増野智彦, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行: 治療に難渋し, 経過中に横隔膜交通症が疑われた門脈・上腸間膜静脈血栓症の 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.
- (12) 研修会:
1) 横田裕行: 救急における死体検案. 平成 27 年度死体検案研修会 (基礎) (東京), 2016. 1.
- (13) Cross Fire Session:
1) 金 史英, 横田裕行: Trauma pan-scan: 光とその陰. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 29 回) (札幌), 2015. 6.
- (14) English Session:
1) Yokobori S, Suehiro E¹⁾, Kuroda Y²⁾, Kobata H³⁾, Kawakita K²⁾, Oda Y¹⁾, Yatsushige H⁴⁾, Hirao T⁵⁾, Nakamura Y⁶⁾, Kaneko J, Kyoko U, Hiroyuki Y (1) 山口大学, 2) 香川大学, 3) 大阪三島救命センター, 4) 東京災害医療センター, 5) 長崎大学, 6) 久留米大学): HOPES Trial: The randomized multicenter controlled trial for preoperative early-induced hypothermia and its scientific rationale. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.
2) 苛原隆之^{1, 2)}, 渡部明人²⁾, 浅井 悌²⁾, 稲葉基高²⁾, 富野敦稔²⁾, 小谷さとし²⁾, 甲斐総一郎²⁾, 夏川知輝²⁾, 鈴木健介²⁾, 石井美恵子²⁾, 前川和彦²⁾ (1) 日本医科大学救急医学教室, 2) 認定特定非営利活動法人災害人道医療支援会 (HuMA)): Medical assistance and public health promotion in Vanuatu for post-cyclone Pam disaster relief mission by Humanitarian Medical Assistance (HuMA). 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.
3) 田上 隆^{1,2)}, 康永秀生²⁾, 畝本恭子¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, 2) 東京大学臨床疫学・経済学): Prophylactic antibiotics for sever burns patients. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.
- (15) デイベート Con:
1) 宮内雅人, 増野智彦, 横田裕行: 胃洗浄は服毒後 3 時間以内でないと意味が無いとはいえない. 日本中毒学会総会・学術集会 (第 37 回) (和歌山), 2015. 7.
- (16) 会長賞選考演題:
1) 山田真吏奈^{1,4)}, 松田明久²⁾, 千葉知宏³⁾, 相磯貞和⁴⁾, 増野智彦, 松本 尚¹⁾, 横田裕行, 宮下正夫²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 杏林大学医学部病理学教室, 4) 慶應義塾大学医学部解剖学教室): 重症敗血症後の脳機能障害に対する Humanin G の治療効果. 日本 Shock 学会総会 (第 30 回) (東京), 2015. 5.

(17) 緊急提言：

- 1) 横田裕行：3学会合同ガイドライン作成の経緯と意義，そして課題．日本医学会総会 2015 関西（第 29 回）（京都），2015. 4.

(18) 揭示演題：

- 1) 佐々木亮¹⁾，横地雄介¹⁾，増野智彦，田山英樹，池田慎平，五十嵐豊，吉田良太郎，萩原 純，塚本剛志，横田裕行（¹⁾ 東京消防庁）：血管触知感覚と静脈路確保成功率の比較からみえる静脈確保教育．日本臨床救急医学会総会・学術集会（第 18 回）（富山），2015. 6.
- 2) 石井浩統，金 史英，松居亮平，吉田良太郎，萩原 純，片桐美和，増野智彦，新井正徳，辻井厚子，横田裕行：両側多発肋骨骨折に対し方側の肋骨固定術を行った 1 症例．日本臨床救急医学会総会・学術集会（第 18 回）（富山），2015. 6.
- 3) 直江康孝¹⁾，小川太志¹⁾，中野公介¹⁾，横田裕行（¹⁾ 川口市立医療センター救命救急センター）：PRES（可逆性後頭葉白質脳症）の 4 症例．日本臨床救急医学会総会・学術集会（第 18 回）（富山），2015. 6.
- 4) 新井正徳，金 史英，石井浩統，萩原 純，増野智彦，小山 敦¹⁾，土佐亮一²⁾，横田裕行（¹⁾ いわき市立総合磐城共立病院救命救急センター，²⁾ 会津中央病院救命救急センター）：メッシュ牽引と両側腹直筋鞘前葉反転法が有用と考えられた破裂性腹部大動脈瘤の 1 例．日本臨床救急医学会総会・学術集会（第 18 回）（富山県富山市），2015. 6.
- 5) 横地雄介¹⁾，佐々木亮¹⁾，増野智彦，横堀将司，金 史英，宮内雅人，辻井厚子，新井正徳，布施 明，横田裕行（¹⁾ 東京消防庁）：静脈路評価分類を活用した穿刺時間・現場滞在時間の検討（第 5 報）．日本臨床救急医学会総会・学術集会（第 18 回）（富山），2015. 6.

(19) 市民公開講座：

- 1) 横田裕行：脳蘇生の有効性と限界．日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会（第 28 回）（名古屋），2015. 7.

(20) 主題関連セッション：

- 1) 田上 隆¹⁾，康永秀生²⁾，畝本恭子¹⁾，諸江雄太¹⁾，久野将宗¹⁾，石之神小織¹⁾，小柳正雄¹⁾（¹⁾ 日本医科大学救急医学教室，²⁾ 東京大学大学院臨床疫学経済学教室）：重症救急疾患 big data・データベース構築と臨床研究への活用：新研究の御提案．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.
- 2) 渥美生弘¹⁾，²⁾，坂本哲也²⁾，森村尚登²⁾，長尾 建²⁾，横田裕行²⁾，田原良雄²⁾，長谷 守²⁾，酒井未知²⁾，浅香葉子³⁾，田中 茂¹⁾（¹⁾ 聖隷浜松病院救命救急センター，²⁾ SAVE-J 研究班，³⁾ 神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター）：ECPR 施行症例における長期予後．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.
- 3) 岡田一宏¹⁾，齋藤伸行¹⁾，八木貴典¹⁾，原 義明¹⁾，松本 尚¹⁾，横田裕行（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）：重症外傷における persistent inflammation, immunosuppression, and catabolism syndrome (PICS) の新診断基準についての提言．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.
- 4) 萩原 純，田山英樹，五十嵐豊，横堀将司，小川理郎¹⁾，布施 明，横田裕行（¹⁾ 日本体育大学保健医療学部救急医療学科）：局地災害における関係各機関との信頼構築：都市部における事例．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.
- 5) 平林篤志¹⁾，本村友一¹⁾，益子一樹¹⁾，八木貴典¹⁾，原 義明¹⁾，松本 尚¹⁾，横田裕行（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）：成田空港における航空機災害対応．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.
- 6) 市川頼子¹⁾，大西志麻¹⁾，近田祐介¹⁾，齋藤伸行¹⁾，八木貴典¹⁾，原 義明¹⁾，松本 尚¹⁾，横田裕行（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター）：自動虐待防止法に基づく児童相談所通告の現状．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.
- 7) 中尾博之¹⁾，横田裕行，山本保博²⁾（¹⁾ 兵庫医科大学救急・災害医学講座，²⁾ 一般財団法人救急振興財団）：高齢者施設からの搬送手順マニュアルの作成．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.
- 8) 恩田秀賢，萩原 純，石井浩統，横堀将司，塚本剛志，栗本健太郎，増野智彦，辻井厚子，布施 明，横田裕行：当施設における高齢者医療の現状：今後を見据えて．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.
- 9) 田邊晴山¹⁾，横田裕行，山本保博²⁾（¹⁾ 救急救命東京研修所，²⁾ 財団法人救急振興財団）：救急車で搬送される重症患者数の推移と救命救急センターの整備について．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.
- 10) 荒木 尚¹⁾，²⁾，横田裕行¹⁾，布施 明¹⁾，²⁾，西山和孝²⁾，市川光太郎²⁾（¹⁾ 日本医科大学付属病院高度救命救急センター，²⁾ 日本小児救急医学会脳死問題検討委員会）：小児脳死判定セミナーの実践を通じた教育効果と意義の考察．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.

(21) 特別セッション：

- 1) 横堀将司，山口昌紘，五十嵐豊，金子純也¹⁾，恩田秀賢，栗本健太郎，荒木 尚，畝本恭子¹⁾，布施 明，横田裕行（¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター）：重症頭部外傷における脳保護と脳蘇生—臨床研究の過去・現在・未来．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.
- 2) 丸藤 哲¹⁾，久志本成樹¹⁾，浅利 靖¹⁾，小倉裕司¹⁾，織田 順¹⁾，梶野健太郎¹⁾，齋藤大蔵¹⁾，坂本哲也¹⁾，嶋津岳士¹⁾，白石 淳¹⁾，田上 隆¹⁾，田邊晴山¹⁾，辻 友篤¹⁾，藤島清太郎¹⁾，溝端康光¹⁾，その他 3 名（¹⁾ 救急統合データベース活用管理委員会）：日本救急医学会学会主導研究評価特別委員会の役割と海外の学会主導研究．日本救急医学会総会・学術集会（第 43 回）（東京），2015. 10.

- 3) 齋藤大蔵¹⁾, 久志本成樹¹⁾, 浅利 靖¹⁾, 小倉裕司¹⁾, 梶野健太郎¹⁾, 丸藤 哲¹⁾, 坂本哲也¹⁾, 嶋津岳士¹⁾, 白石 淳¹⁾, 辻 友篤¹⁾, 田上 隆¹⁾, 田邊晴山¹⁾, 藤島清太郎¹⁾, 松田晋哉¹⁾, 溝端康光¹⁾, その他3名⁽¹⁾ 日本救急医学会救急統合データベース活用管理委員会): 救急統合データベース整備とトラウマレジストリー. 日本救急医学会総会・学術集会(第43回)(東京), 2015. 10.
- (22) 特別企画:
- 1) 横堀将司, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行: 我が国における高齢者重症頭部外傷診療の現在と未来. 日本脳神経外科救急学会(第21回)(東京), 2016. 1.
- 2) 横田裕行: 救急医療施設における脳死よ臓器提供. 日本臨床腎移植学会(第49回)(鳥取), 2016. 3.
- (23) 優秀演題セッション:
- 1) 荒木 尚¹⁾, 横田裕行¹⁾, 布施 明¹⁾, 横堀将司¹⁾, 恩田秀賢¹⁾, 高山泰広^{1, 4)}, 桑本健太郎¹⁾, 井上泰豪¹⁾, 五十嵐豊¹⁾, 山口昌紘¹⁾, 亦野文宏²⁾, 森田明夫²⁾, 北蘭雅敏^{1, 3)}, 佐藤秀貴^{1, 3)} (1) 日本医科大学救急医学教室, 2) 日本医科大学付属病院脳神経外科, 3) 東京臨海病院救命救急科, 4) 花と森の東京病院脳神経外科): 小児重症頭部外傷による頭蓋内圧亢進に対する治療選択と減圧回答術の適応. 日本外傷学会総会・学術集会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- (24) 要望演題:
- 1) 苛原隆之^{1, 2)}, 沢本圭悟²⁾, 山口直樹²⁾, 谷 暢子²⁾, 杉田 学²⁾ (1) 日本医科大学救急医学教室, 2) 国際緊急援助隊救助チーム医療班): ネパール大地震災害に対する国際緊急援助隊救助チーム医療班の活動. 日本集団災害医学会総会・学術集会(第21回)(山形), 2016. 2.
- 2) 新井正徳, 金 史英, 萩原 純, 石井浩統, 松居亮平, 萩原令彦, 吉田直人¹⁾, 足立国大¹⁾, 吉野雄大, 小山 敦²⁾, 増野智彦, 辻井厚子, 横田裕行 (1) 足利赤十字病院 救命救急センター, 2) いわき市立総合磐城共立病院 救命救急センター): 閉腹困難となった Open Abdomen の新たな治療戦略. 日本腹部救急医学会総会(第52回)(東京), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分総説:

- 1) 増野智彦: ECMO トランスポート. 救急・集中治療 2014; 26 (11.12): 1472-1477.
- 2) 荒木 尚: Abusive Head Trauma; 虐待による頭部外傷. 小児看護 2015; 38 (5): 555-560.

著書

追加分:

- 1) 横田裕行: [編集] ナースのための救急・集中治療医学レビュー 2014・15: 看護の現場でどう活かすか. ナースのための救急・集中治療医学レビュー 2014・15: 看護の現場でどう活かすか (看護監修: 道又元裕. 医学監修: 島崎修次・前川剛志. 医学編集: 岡元和文・横田裕行), 2015; 総合医学社.
- 2) 横堀将司, 横田裕行: [分担] 頭部外傷. ナースのための救急・集中治療医学レビュー 2014・15: 看護の現場でどう活かすか (看護監修: 道又元裕. 医学監修: 島崎修次, 前川剛志. 医学編集: 岡元和文, 横田裕行), 2015; pp137-143, 総合医学社.

[武蔵小杉病院救命救急センター]

研究概要

3冊の分担著作本発刊, 10本の論文執筆(1本の欧文原著論文, 3本の和文原著論文, 5本の和文総説, 1本の和文症例報告), 37回の学会発表(3回の国際学会, 6回のシンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ, 17回の一般口演, 11回のポスター発表)は, 当科としては近年まれに見る業績に恵まれた1年であった. 特に, 世界的に蘇生学をリードする「Resuscitation」誌に遠藤が投稿した論文が掲載されたことは, 当科としては特筆すべき出来事であった. 医局員個々の活動業績を振り返ると, 松田は標準的救急医療教育, 望月は感染制御, 遠藤は高齢者救急についての研究を主体にしながら, 研修医も含めて各員が症例報告を重ねた. 海外の国際学会での発表の機会を得られたことも, 当科としては意義深いことであった. 国内のいくつかの他施設研究に参画しており, 継続的な臨床研究を行うことにより, 症例報告にとどまらない学会発表, 論文執筆を国内外で行っていきいたいと考えている.

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Endo H, Matsuda K, Yokota H¹⁾, Tagami T²⁾, Nakada T³⁾, Tahara Y³⁾, Sakurai A³⁾, Yoneyama N³⁾, Nagao K³⁾, Yaguchi A³⁾, Morimura N³⁾ (1) NIPPON MEDICAL SCHOOL HOSPITAL, 2) NIPPON MEDICAL SCHOOL TAMA NAGAYAMA HOS-

PITAL, ³⁾ SOS-KANTO) : Changes in treatment and outcomes among elderly patients with out-of-hospital cardiac arrest between 2002 and 2012 : A Post hoc analysis of the SOS-KANTO 2002 and 2012. Resuscitation 2015 ; 97 : 76-82.

- 2) 吉田文哉, 松田 潔, 山村英治, 五十嵐由美, 佐藤直樹¹⁾, 菊池有史¹⁾, 黒川 顕 ^{(1) 日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科} : 院外心臓停止症例にたいする当院における体外循環式心肺蘇生の導入実績とその短期的予後. 日本救命医療学会雑誌 2015 ; 29 (1) : 13-18.
 - 3) 岩瀬史明¹⁾, 松田 潔, 岡本優司²⁾, 石原武司³⁾, 宮崎善史¹⁾, 小林辰輔¹⁾, 松本 学¹⁾, 大嶽康介¹⁾, 加藤頼子¹⁾, 井上潤一¹⁾ ^{(1) 山梨県立中央病院救命救急センター, ²⁾ 山梨県消防学校, ³⁾ 甲府地区消防本部} : 山梨県における JPTEC 普及の取り組みと消防職員における JPTEC プロバイダー資格取得の現状. 日本臨床救急医学会雑誌 2015 ; 18 (5) : 664-668.
 - 4) 山村英治, 大住幸司¹⁾, 徳山 丞¹⁾, 浦上秀次郎¹⁾, 尾本健一郎²⁾, 石志 紘¹⁾, 島田 敦¹⁾, 大石 崇¹⁾, 磯部 陽¹⁾ ^{(1) 国立病院機構東京医療センター外科, ²⁾ 国立病院機構東京医療センター救命救急センター} : 虫垂憩室症例の検討. 日本腹部救急医学会雑誌 2015 ; 35 (7) : 849-853.
- (2) 総説 :
- 1) 遠藤広史, 菊池広子, 松田 潔 : CO 中毒. 呼吸器内科 2015 ; 27 (5) : 434-437.
 - 2) 菊池広子, 松田 潔, 石丸直樹, 遠藤広史, 山村英治, 渡邊顕弘, 長谷川智宏, 望月 徹, 黒川 顕 : エチレングリコール・メタノール中毒のトピックス. 救急医学 2015 ; 39 (7) : 797-801.
 - 3) 田島廣之¹⁾, 竹ノ下尚子¹⁾, 金城忠志¹⁾, 市川太郎²⁾, 中摩健二³⁾, 菊池有史³⁾, 佐藤直樹³⁾, 松田 潔 ^{(1) 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院放射線科, ³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科} : 急性肺血栓塞栓症の IVR. 救急医学 2016 ; 40 (2) : 194-200.
 - 4) 菊池広子, 松田 潔 : 災害マニュアル. 救急医学 2016 ; 40 (3) : 269-272.
 - 5) 山村英治, 大住幸司¹⁾ ^{(1) 国立病院機構東京医療センター} : 虫垂憩室の診断と治療. 臨牀消化器内科 2016 ; 31 (4) : 417-420.
- (3) 症例報告 :
- 1) 山村英治, 松田 潔, 望月 徹, 菊池広子, 石丸直樹, 橋詰哲広, 遠藤広史, 笠井華子, 黒川 顕 : 手術が必要となった腹膜外膀胱破裂の 1 例. 日本外傷学会雑誌 2015 ; 29 (3) : 368-371.

著 書

- 1) 松田 潔 : [分担] PSLs と PCEC, JPTEC. PSLs ガイドブック 2015. PCEC・PSLS 改訂小委員会編, 2015 ; pp28-29, へるす出版社.
- 2) 松田 潔 : [分担] 呼吸循環障害. PCEC ガイドブック 2016. PCEC・PSLS 改訂小委員会編, 2015 ; pp85-86, へるす出版社.
- 3) 松田 潔 : [分担] ナルコーシス. PCEC ガイドブック 2016. PCEC・PSLS 改訂小委員会編, 2015 ; pp175-178, へるす出版社.
- 4) 松田 潔 : [分担] 低酸素血症. PCEC ガイドブック 2016. PCEC・PSLS 改訂小委員会編, 2015 ; pp241-244, へるす出版社.
- 5) 松田 潔 : [分担] 高齢者の外傷. JPTEC ガイドブック, 2016 ; pp190-194, へるす出版.

学会発表

(1) シンポジウム :

- 1) 松田 潔, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 山村英治, 渡邊顕弘, 長谷川智宏, 吉野雄大, 黒川 顕 : PBEC のコース展開の展望と熱傷地方会の活性化. 日本熱傷学会 (第 41 回) (名古屋), 2015. 6.
- 2) 松田 潔, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 山村英治, 渡邊顕弘, 長谷川智宏, 笠原英城¹⁾, 野口周作¹⁾, 小林正人¹⁾ ^{(1) 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部} : 救命救急センターにおける薬剤師業務の現状と展望. 日本アプライドセラピューティクス学会 (第 6 回) (東京), 2015. 8.
- 3) 森村尚登¹⁾, 問田千晶¹⁾, 高橋耕平²⁾, 内山宗人³⁾, 本多英喜⁴⁾, 服部響子⁵⁾, 服部 潤⁶⁾, 竹内一郎⁶⁾, 安部 猛¹⁾, 松田 潔, 中川儀英⁷⁾, 浅利 靖⁶⁾ ^{(1) 横浜市立大学大学院医学研究科救急医学, ²⁾ 横浜南共済病院救急科, ³⁾ 横須賀共済病院救命救急センター, ⁴⁾ 横須賀市立うまち病院, ⁵⁾ 北里大学医学部産婦人科学産科学, ⁶⁾ 北里大学医学部救命救急医学, ⁷⁾ 東海大学医学部専門診療学系救命医学} : 被災地域内災害拠点病院の医療需給均衡の定量化指標に基づく支援必要量の算出と支援優先度の類型化. 日本集団災害医学会 (第 21 回) (山形), 2016. 2.

(2) パネルディスカッション :

- 1) 遠藤広史, 松田 潔, 横田裕行¹⁾, 田上 隆²⁾, 中田孝明²⁾, 田原良雄²⁾, 櫻井 淳²⁾, 米本直裕²⁾, 長尾 建²⁾, 矢口有乃²⁾, 森村尚登²⁾ ^{(1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, ²⁾ SOS-KANTO study group} : 2002 年から 2012 年の高齢者院外心停止患者に対する治療と結果の変化. 日本救急医学会総会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.

(3) ワークショップ :

- 1) 遠藤広史, 松田 潔, 望月 徹, 菊池広子, 石丸直樹, 橋詰哲広, 山村英治 : 老人施設で救急科専門医がリビングウィルを確認したら. 日本臨床救急医学会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.

- 2) 望月 徹：救急外来部門における感染症対策：感染制御医の立場. 日本救急医学会関東地方会（第66回）（東京），2016. 2.
- (4) ポスター：
- 1) Endo H, Yamamura E, Matsuda K, Ishimaru N, Kikuchi H, Mochizuki T：Two cases of bladder rupture；the usefulness of CT cystography. World Congress of Surgery (46th) (Bangkok), 2015. 8.
 - 2) Ishimaru N, Matsuda K, Kikuchi H, Endo H, Yamamura E：Abdominal compartment syndrome prevention with a little ingenuity. World Congress of Surgery (46th) (Bangkok), 2015. 8.
 - 3) Endo H, Matsuda K, Mochizuki T, Kikuchi H, Ishimaru N, Yamamura E, Watanabe A, Hasegawa T, Takagi K¹⁾（¹⁾ Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, department of cardiology）：Legionella pneumonia was cured after using veno-venous extracorporeal membrane oxygenation during 66 days；a case report. Asian Conference for Emergency Medicine (8th) (Taipei), 2015. 11.
 - 4) 高橋耕平¹⁾, 森村尚登²⁾, 問田千晶²⁾, 安部 猛²⁾, 浅利浅靖³⁾, 竹内一郎³⁾, 服部 潤³⁾, 服部響子⁴⁾, 本多英喜⁵⁾, 内山宗人⁶⁾, 松田 潔, 中川儀英⁷⁾（¹⁾ 横浜南共済病院救急科, ²⁾ 横浜市立大学大学院医学研究科救急医学, ³⁾ 北里大学医学部救命救急医学, ⁴⁾ 北里大学医学部産婦人科学産科学, ⁵⁾ 横須賀市立うわまち病院救命救急センター, ⁶⁾ 横須賀共済病院救命救急センター, ⁷⁾ 東海大学医学部専門診療学系救命医学）：クラッシュ症候群に対する災害拠点病院ごとの災害医療リスクリソース比. 日本集団災害医学会（第21回）（山形），2016. 2.
 - 5) 石丸直樹, 吉野雄大, 山村英治, 遠藤広史, 橋詰哲広, 菊池広子, 松田 潔, 黒川 顕, 望月 徹, 田島廣之¹⁾（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター）：外傷性右胃大網動脈損傷に対してTAEを選択した1例. 日本外傷学会総会・学術集会（第29回）（札幌），2015. 6.
 - 6) 吉田良太郎¹⁾, 吉野雄大, 吉田文哉¹⁾, 山村英治, 遠藤広史, 菊池広子, 桑本健太郎¹⁾, 塚本剛志¹⁾, 金 史英¹⁾, 松田 潔, 横田裕行¹⁾（¹⁾ 日本医科大学付属病院高度救命救急センター）：FAST, CTでの診断が困難であった致死的な鈍的心損傷の1例. 日本外傷学会総会・学術集会（第29回）（札幌），2015. 6.
 - 7) 江川絵里香, 渡邊顕弘, 松田 潔, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 山村英治, 長谷川 智宏, 黒川 顕：ジャンガリアンハムスターの咬傷によって惹起されたアナフィラキシーショックの1例. 日本救命医療学会（第30回）（神戸），2015. 9.
 - 8) 菊池広子, 松田 潔, 石丸直樹, 遠藤広史, 山村英治, 渡邊顕弘, 長谷川智宏, 望月 徹, 黒川 顕, 田島廣之¹⁾, 深見武彦²⁾（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科）：産科危機的出血に対して救急医が関与し, 経カテーテルの動脈塞栓術（TAE）を施行した2例. 日本救急医学会総会（第43回）（東京），2015. 10.
 - 9) 石丸直樹, 松田 潔, 菊池広子, 遠藤広史, 山村英治, 渡邊顕弘, 長谷川智宏, 黒川 顕：脳室腹腔内シャント留置例に壊疽性胆嚢炎を合併し, 髄膜炎・シャント感染に難渋した1例. 日本臨床外科学会総会（第77回）（福岡），2015. 11.
 - 10) 遠藤広史, 松田 潔, 菊池広子, 長谷川智宏, 石丸直樹, 山村英治, 渡邊顕弘, 黒川 顕：王水蒸気吸入による肺障害の1例. 日本集中治療医学会学術集会（第43回）（神戸），2016. 2.
 - 11) 長谷川智宏, 松田 潔, 菊池広子, 遠藤広史, 石丸直樹, 山村英治, 渡邊顕弘, 黒川 顕：遅発性血胸と静脈血栓症を合併し血栓予防に難渋した胸部外傷の1例. 日本集中治療医学会（第43回）（神戸），2016. 2.
 - 12) 渡邊顕弘, 松田 潔, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 山村英治, 長谷川智宏, 黒川 顕, 大城健一¹⁾（¹⁾ 川崎市立川崎病院救命救急センター）：夜間多数熱傷傷病者に対する現場トリアージの経験. 日本集団災害医学会（第21回）（山形），2016. 2.
 - 13) 問田千晶¹⁾, 服部響子²⁾, 服部 潤³⁾, 高橋耕平⁴⁾, 本多英喜⁵⁾, 内山宗人⁶⁾, 松田 潔, 竹内一郎³⁾, 中川儀英⁷⁾, 浅利 靖³⁾, 安部 猛¹⁾, 森村尚登¹⁾（¹⁾ 横浜市立大学大学院医学研究科救急医学, ²⁾ 北里大学医学部産婦人科学産科学, ³⁾ 北里大学医学部救命救急医学, ⁴⁾ 横浜南共済病院救急科, ⁵⁾ 横須賀市立うわまち病院救命救急センター, ⁶⁾ 横須賀共済病院救命救急センター, ⁷⁾ 東海大学医学部専門診療学系救命医学）：神奈川県における小児災害医療のリスクとリソースに係わる学術的検討. 日本集団災害医学会（第21回）（山形），2016. 2.
 - 14) 服部 潤¹⁾, 服部響子²⁾, 問田千晶³⁾, 竹内一郎¹⁾, 高橋耕平⁴⁾, 安部 猛³⁾, 松田 潔, 中川儀英⁵⁾, 森村尚登³⁾, 浅利 靖¹⁾（¹⁾ 北里大学医学部救命救急医学, ²⁾ 北里大学医学部産婦人科学産科学, ³⁾ 横浜市立大学大学院医学研究科救急医学, ⁴⁾ 横浜南共済病院救急科, ⁵⁾ 東海大学医学部専門診療学系救命医学）：災害医療リスクリソース比を用いた首都直下地震で想定される熱傷患者の検討. 日本集団災害医学会（第21回）（山形），2016. 2.
- (5) 一般講演：
- 1) 望月 徹, 山口朋禎¹⁾, 野口周作²⁾, 上野ひろむ³⁾, 小林綾乃³⁾, 吉岡美香³⁾, 三崎貴子⁴⁾, 丸山 絢⁴⁾, 清水英明⁴⁾, 松尾千秋⁴⁾, 岩瀬耕一⁴⁾, 岡部信彦⁴⁾（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院内科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部, ³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部, ⁴⁾ 川崎市健康安全研究所）：所轄保健所との連携で迅速な診断治療が出来たオウム病の1例. 日本感染症学会（第89回）（京都），2015. 4.
 - 2) 大野 章¹⁾, 望月 徹, 真野容子¹⁾, 館田一博¹⁾, 薄井 貢¹⁾（¹⁾ 東邦大学医学部微生物・感染症学講座）：クマザサエキスの褥瘡対策への応用に向けて. 日本科学療法学会（第63回）（東京），2015. 6.

- 3) 山村英治, 松田 潔, 望月 徹, 菊池広子, 石丸直樹, 橋詰哲広, 遠藤広史, 吉野雄大, 岸 泰宏, 伊藤滋朗¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院精神科) : 腹部刺創患者の検討 : 精神科通院患者は多いのか. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 29 回) (札幌), 2015. 6.
- 4) 遠藤広史, 松田 潔, 望月 徹, 菊池広子, 石丸直樹, 橋詰哲広, 山村英治 : 老人保健施設の救急対応はいかにあるべきか : 老人施設で救急科専門医がリビングウィルを確認したら. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.
- 5) 上山昌史¹⁾, 田中秀治¹⁾, 齋藤大蔵¹⁾, 織田 順¹⁾, 松田 潔, 春成伸之¹⁾, 関根和弘¹⁾ (1) 日本熱傷学会プレホスピタル委員会) : PBEC のコースの概要. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.
- 6) 春成伸之¹⁾, 田中秀治¹⁾, 上山昌史¹⁾, 織田 順¹⁾, 松田 潔, 関根和弘¹⁾, 矢島 務¹⁾, 齋藤大蔵¹⁾ (1) 日本熱傷学会プレホスピタル特別委員会) : PBEC のコース展開の展望と熱傷医療標準化の試み. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.
- 7) 関根和弘¹⁾, 田中秀治^{2,8)}, 齋藤大蔵^{3,8)}, 上山雅史^{4,8)}, 織田 順^{5,8)}, 松田 潔^{6,8)}, 春成伸之^{7,8)} (1) 京都橋大学, 2) 国士舘大学体育学部スポーツ医科学科, 3) 防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門, 4) 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院, 5) 東京医科大学救急災害医学分野, 6) 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, 7) 公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター, 8) 日本熱傷学会プレホスピタル委員会) : PBEC 施行コースの受講状況と期待される効果. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.
- 8) 杠 俊介¹⁾, 大谷津恭之¹⁾, 高橋信行¹⁾, 岩澤幹直¹⁾, 阿部直樹¹⁾, 岩瀬史明¹⁾, 松田 潔 (1) 日本熱傷学会プレホスピタル委員会) : 熱傷学会甲信地方会の特色と当地域の熱傷入院患者の傾向から考える今後の課題. 日本熱傷学会 (第 41 回) (名古屋), 2015. 6.
- 9) 山村英治, 松田 潔, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 黒川 顕, 岸 泰宏¹⁾, 小林正人²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院精神科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部) : ヘリウムガス中毒により自殺した 1 例. 日本中毒学会 (第 37 回) (和歌山), 2015. 7.
- 10) 松田 潔, 木内賢一¹⁾, 田中秀治¹⁾ (1) 日本熱傷学会プレホスピタル委員会) : 甲信地方における熱傷プレホスピタルケアの未来 : PBEC の紹介と今後の展望. 日本熱傷学会甲信地方会 (第 28 回) (長野), 2015. 9.
- 11) 望月 徹, 松田 潔, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 山村英治 : 海外からの転院で多剤耐性菌対策を徹底できた広範囲熱傷の 1 例. 日本救急医学会総会・学術総会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.
- 12) 望月 徹 : 人工呼吸器関連肺炎を予防するための口腔ケアの重要性. 日本薬剤疫学会学術総会 (第 21 回) (埼玉), 2015. 11.
- 13) 山村英治, 松田 潔, 望月 徹, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 黒川 顕 : 両側内胸動脈損傷に対して動脈塞栓術を施行した 1 例. 日本救急医学会関東地方会学術集会 (第 66 回) (東京), 2016. 2.
- 14) 望月 徹 : 感染防止対策地域連携における KAWASAKI 地域感染制御協議会の役割 (続報). 日本環境感染学会総会・学術集会 (第 31 回) (京都), 2016. 2.
- 15) 大城健一¹⁾, 鈴木貴博²⁾, 渡邊顕弘, 松田 潔 (1) 川崎市立川崎病院救命救急センター, 2) 川崎市立井田病院) : 大規模火災での多数傷病者事例における現場医療活動 : 医療マネージメントの観点から. 日本集団災害医学会 (第 21 回) (山形), 2016. 2.
- 16) 山村英治, 松田 潔, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 三石達也¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 石原嗣郎¹⁾, 中摩健二¹⁾, 徳山榮男¹⁾, 田島廣之²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター) : 心肺停止症例に対する胸骨圧迫が原因と考えられた肝損傷の 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 52 回) (東京), 2016. 3.

追加分ポスター :

- 1) 高木宏治¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 曾根教子¹⁾, 徳山榮男¹⁾, 菊池有史¹⁾, 石川昌弘¹⁾, 松田 潔, 竹田晋浩²⁾, 清水 渉³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科, 2) 日本医科大学附属病院外科系集中治療室, 3) 日本医科大学附属病院循環器内科) : ECMO 管理中の理学療法が有効であった重症レジオネラ肺炎の 1 例. 日本集中治療医学会 (第 42 回) (東京), 2015. 2.
- 2) 野原 剛, 山村英治, 遠藤広史, 石丸直樹, 橋詰哲広, 菊池広子, 松田 潔, 黒川 顕 : 観血的修復により良好な経過を得た腹膜外膀胱破裂の 1 例. 日本腹部救急医学会 (第 51 回) (京都), 2015. 3.

追加分一般講演 :

- 1) 久野木俊之介, 遠藤広史, 松田 潔, 菊池広子, 石丸直樹, 橋詰哲広, 山村英治, 笠井華子, 竹之下尚子¹⁾, 望月 徹, 黒川 顕, 田島廣之¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター) : 多発外傷に胆嚢動脈損傷をともなった 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.

追加分シンポジウム :

- 1) 田中秀治¹⁾, 齋藤大蔵¹⁾, 織田 順¹⁾, 上山昌史¹⁾, 松田 潔, 春成伸之¹⁾, 矢島 務¹⁾, 関根和弘¹⁾ (1) 日本熱傷学会プレホスピタル委員会) : 日本におけるプレホスピタルの熱傷観察・処置・判断の改善のために. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
- 2) 松田 潔, 田中秀治¹⁾, 上山昌史¹⁾, 織田 順¹⁾, 関根和弘¹⁾, 春成伸之¹⁾, 齋藤大蔵 (1) 日本熱傷学会プレホスピタル委員会) : 日本熱傷学会 PBEC コースの概要とコースカリキュラム. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.

追加分ワークショップ :

- 1) 石丸直樹, 笠井華子, 山村英治, 遠藤広史, 橋詰哲広, 菊池広子, 黒川 顕, 松田 潔 : 外傷性腹部救急疾患に対するプライマリケ

- アでの JATEC の重要性と応用. 日本腹部救急医学会 (第 51 回) (京都), 2015. 3.
- 2) 松田 潔: 救急腹部疾患における初期対応: その問題点と対策. 日本腹部救急医学会 (第 51 回) (京都), 2015. 3.

[多摩永山病院救命救急センター]

研究概要

当施設の臨床研究は, 3 次救急医療施設として, 多発外傷のダメージコントロール, 重症頭部外傷に対する脳保護療法, 脳卒中急性期治療 (血管内治療, 手術), 中毒, 災害医療の各テーマにわたり取り組んでいる. 集中治療領域として, 循環動態モニタリング, 脳低温療法, 神経生理学的モニタリングについて研究発表を行い, 病院前診療としてドクターアンビュランスや, 救急救命士教育の検討も行っている. さらに, 今年度から, DPC データと病院前情報を統合したビッグデータの解析を開始した.

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Tagami T: Changes pre-and in-hospital management and outcomes for out-of-hospital cardiac arrest between 2020 and 2012 in Kanto, Japan: the SOS-KANTO 2015 Study. *Acute Medicine & Surgery* 2015; 2 (4): 225-233.
- 2) Tagami T, Matui H, Fushimi K, Yasunaga H: Changes in Therapeutic Hypothermia and Coronary Intervention Provision and In-Hospital Mortality of Patients With Out-of-Hospital Cardiac Arrest: A nationwide Database Study. *Critical care medicine* 2016; 44 (3): 488-495.
- 3) 苛原隆之, 諸江雄太, 磐井佑輔: 大動脈閉塞バルーン併用下の手術が有効であった腹部外傷の 3 例. *日本臨床外科学会誌* 2015; 76 (5): 989-993.

(2) 総説:

- 1) Tagami T, Matui H, Fushimi K, Yasunaga H: Prophylactic Antibiotics May Improve Outcome in Patients With Severe Burns Requiring Mechanical Ventilation: Propensity Score Analysis of a Japanese Nationwide Database. *Clinical Infectious Diseases* 2016; 62 (1): 60-66.

(3) 研究報告書:

- 1) Tanaka C, Kuno M, Yokota H, Tagami T, Nakada T, Kitamura N: Changes in atropine use for out-of-hospital cardiac arrest patients with non-shockable rhythm between 2002 and 2012. *Resuscitation* 2016; 101: 5-6.

(4) 症例報告:

- 1) 諸江雄太, 畝本恭子, 福田令雄, 磐井佑輔, 小柳正雄, 富永直樹, 金子純也, 武原章子, 石之神小織, 久野将宗: 出血性ショックを伴った外傷性肺内血腫の 1 手術例. *救急医学* 2015; 39 (6): 759-764.

著書

- 1) Tagami T, Yasunaga H, Yokota H: [分担] Final link in the “chain of survival” concept for out-of-hospital cardiac arrest: Recent evidence for providing regional system of care. *Annual Update in Intensive Care and Emergency Medicine 2016* (Vincent, Jean-Louis), 2016; pp231-240, Springer.
- 2) 田上 隆: [分担] 血行動態モニタリングによる ARDS の病態把握. *救急医学* (長谷川恒夫), 2015; pp661-668, へるす出版.
- 3) 田上 隆: [分担] 海外文献紹介 データベース研究が救急医学・集中治療の未来を切り開く. *救急医学* (長谷川恒夫), 2015; pp990-992, へるす出版.
- 4) 田上 隆: [分担] 血行動態モニター①: PiCCO. *レジデントノート Vol.17 No.7 ICU のモニターで呼吸・循環を診る! 基本的な画面の見方と病態把握, 異常時の対応* (清水敬樹), 2015; 羊土社.
- 5) 久野将宗: [分担] 世界見聞録 私が見た医療. *月間新医療*, 2015; pp22-22, エム・イー振興協会.
- 6) 久野将宗, 畝本恭子, 諸江雄太, 鈴木健介¹⁾, 二宮宣文²⁾ (1) 日本体育大学保健医療学部救急医療学科, 2) 塩田記念病院): [分担] 病院外でのモニタリング: 病院外での医療へも質が求められている現在, 何を頼りに活動するのか?. *救急医学*, 2016; pp107-113, へるす出版.
- 7) 畝本恭子: [分担] 脳低温療法・脳保護療法. *救急・集中治療医学レビュー* (監修/島崎修次 前川剛志 編集/岡元和文 横田裕行), 2016; pp94-101, 総合医学社.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 田上 隆, 久志本成樹¹⁾, 横田裕行, 畝本恭子, 北橋章子, 金子純也, 福田令雄, 磐井佑輔, 谷 将星, 富永直樹 (¹⁾ 東北大学病院 高度救命救急センター)：肺水腫の鑑別および重症度評価法：経肺熱希釈法によるアプローチ. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京都), 2015. 10.

(2) 招待講演：

- 1) Tagami T：The fifth Link in the 'Chain of Survival' Concept after Cardiac Arrest. 12th Congress of the World Federation of Societies of Intensive and Critical Care Medicine (第 12 回) (韓国 (ソウル)), 2015. 8.

(3) 教育講演：

- 1) 田上 隆：血行動態モニタリング：心拍出量・心拍出量変動率・心臓拡張末期容量・肺血管外水分量・肺血管透過性係数. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.

(4) シンポジウム：

- 1) 田上 隆：東日本大震災と「会津地域透析連携協力ネットワーク」：職種の枠を超えたネットワーク. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- 2) 谷 将星, 金子純也, 北橋章子, 工藤小織, 畝本恭子, 栗本健太郎, 横田裕行：頭部外傷における脳室ドレナージが有効な病態について. 日本脳神経外傷学会 (第 39 回) (仙台), 2016. 2.
- 3) 田上 隆：敗血症 DIC における抗凝固療法の位置付け. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.

(5) パネルディスカッション：

- 1) 遠藤広史¹⁾, 松田 潔¹⁾, 横田裕行¹⁾, 田上 隆¹⁾, 中田孝明¹⁾, 田原良雄¹⁾, 櫻井 淳¹⁾, 米本直裕¹⁾, 長尾 建¹⁾, 矢口有乃¹⁾, 森村 尚人¹⁾ (¹⁾ SOS-KANTO study group)：2002 年から 2012 年の高齢者院外心停止患者に対する治療と結果の変化. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京), 2015. 10.

(6) セミナー：

- 1) 富永直樹：当救命センターでの敗血症治療成績. 多摩敗血症集中治療セミナー (立川 (東京)), 2015. 4.
- 2) 畝本恭子, 久野将宗, 田上 隆, 諸江雄太, 福田令雄, 金子純也, 磐井佑輔, 田中知恵：神経集中治療の基礎知識. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 3) 田上 隆：Usefulness of transpulmonary thermodilution systems in ICU patients 循環動態モニターの基礎パラメータ. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.

(7) ワークショップ：

- 1) 鈴木健介, 荒井永地¹⁾, 秋田久美¹⁾, 山本裕行¹⁾, 石ヶ森重之¹⁾, 久野将宗, 畝本恭子, 二宮宣文 (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院看護部)：ドクターカーの事後検証を基にしたシミュレーション教育：緊急走行と現場活動のシミュレーションの効果. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.
- 2) 石之神小織, 畝本恭子, 久野将宗, 諸江雄太, 小柳正雄, 北橋章子, 福田令雄, 金子純也, 磐井佑輔, 鈴木健介：救急救命士の処置拡大と現在の救急活動状況とその問題点. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.
- 3) 本多ゆみえ¹⁾, 角 由佳²⁾, 岡田昌彦³⁾, 木田真紀⁴⁾, 木村昭夫⁵⁾, 長谷敦子⁶⁾, 並木 淳⁷⁾, 並木みずほ⁸⁾, 阿南英明⁹⁾, 矢口有乃⁸⁾, 畝本恭子 (¹⁾ 東海大学医学部救命救急医学, ²⁾ 順天堂大学浦安病院救急診療科, ³⁾ 墨東病院救急診療科, ⁴⁾ 和歌山医科大学救急科, ⁵⁾ 国立国際医療研究センター病院救急科, ⁶⁾ 長崎大学病院救命救急センター, ⁷⁾ 慶応義塾大学病院救急科, ⁸⁾ 東京女子医大病院救命救急センター, ⁹⁾ 藤沢市民病院救命救急センター)：一生救急医を続けられないと思うわけ (若手医師アンケート結果から). 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京都), 2015. 10.

(8) 一般講演：

- 1) 田上 隆, 康永英生¹⁾, 畝本恭子, 横田裕行 (¹⁾ 東京大学臨床疫学・経済学)：Prophylactic antibiotics for severe burns patients. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 43 回) (東京都), 2015. 10.
- 2) 金子純也：ドクターカーのドライブレコーダーと事後検証を基にしたシミュレーション教育の効果. 日本交通科学学会総会・学術講演会 (51 回) (秋田), 2015. 6.
- 3) 諸江雄太, 畝本恭子, 久野将宗, 小柳正雄, 石之神小織, 福田令雄, 金子純也, 北橋章子, 磐井佑輔, 鈴木健介：最近 4 年間に当院へ搬送された外傷症例では 30 例が Under triage. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.
- 4) 富永直樹, 金子純也, 磐井佑輔, 福田令雄, 北橋章子, 小柳正雄, 久野将宗, 諸江雄太, 石之神小織, 畝本恭子：意識障害を主訴とした副腎クリーゼの 2 例. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.
- 5) 諸江雄太, 畝本恭子, 久野将宗, 小柳正雄, 福田令雄, 北橋章子, 金子純也, 磐井佑輔, 富永直樹, 石之神小織：当院における Ps<0.5 外傷症例の検討・予測外生患者の救命と予後改善への問題点. 日本外傷学会 (第 29 回) (札幌), 2015. 6.
- 6) 磐井佑輔, 諸江雄太, 福田令雄, 富永直樹, 金子純也, 北橋章子, 小柳正雄, 石之神小織, 久野将宗, 畝本恭子：画像所見と手術所

- 見が一致しなかった心刺創による成傷器遺残の1例. 日本外傷学会(第29回)(札幌), 2015. 6.
- 7) 諸江雄太, 畝本恭子, 福田令雄, 磐井佑輔, 富永直樹, 北橋章子, 金子純也, 小柳正雄, 久野将宗, 石之神小織: 当院熱傷症例での便宜上の「予測外熱傷生存」と「予測外熱傷死亡」. 日本熱傷学会総会・学術集会(第41回)(名古屋), 2015. 6.
 - 8) 金子純也, 谷 将星, 磐井佑輔, 福田令雄, 北橋章子, 工藤小織, 小柳正雄, 久野将宗, 諸江雄太, 畝本恭子: 初診時頭部CTで異常なく, 帰宅後にくも膜下出血を発症した2症例. 日本神経救急学会学術集会(第29回)(秋田), 2015. 6.
 - 9) 畝本恭子, 谷 将星, 金子純也, 北橋章子, 石之神小織: 特異な発症機転と術中所見を呈した硬膜下膿瘍の1例. 日本神経救急学会学術集会(第29回)(秋田), 2015. 6.
 - 10) 谷 将星: 比較的良好な予後を得た小児の窒息による肺停止の1例. 多摩救命救急カンファレンス(第6回)(東京都), 2015. 6.
 - 11) 谷 将星, 金子純也, 武原章子, 石之神小織, 畝本恭子, 荒木 尚, 横田裕行: 比較的良好な予後を得る事ができた小児の窒息による心肺停止の1例. 日本脳死・脳蘇生学会学術集会(第28回)(名古屋), 2015. 7.
 - 12) 鈴木健介¹⁾, 畝本恭子, 久野将宗⁽¹⁾ 日本体育大学保健医療学部救急医療学科): ドクターカー運行における救急救命士の役割. 日本臨床脳神経外科学会(第18回)(神戸), 2015. 7.
 - 13) 田上 隆, 康永秀生¹⁾, 畝本恭子, 諸江雄太, 久野将宗, 石之神小織, 小柳正雄, 横田裕行⁽¹⁾ 東京大学大学院臨床疫学経済学教室): 重症救急疾患 big data・データベース構築と臨床研究への活用: 新研究の御提案. 日本救急医学会総会・学術集会(第43回)(東京都), 2015. 10.
 - 14) 畝本恭子: 18年を経た脳室腹腔シャントチューブ腹壁穿通脱出の1例. 日本脳神経外科学会第74回学術総会(第74回)(札幌), 2015. 10.
 - 15) 富永直樹, 鈴木健介¹⁾, 谷 将星, 磐井佑輔, 金子純也, 福田令雄, 小柳正雄, 工藤小織, 久野将宗, 諸江雄太, 畝本恭子⁽¹⁾ 日本体育大学保健医療学部): ドクターカーの質向上のための取り組み. 日本救急医学会総会・学術集会(第43回)(東京都), 2015. 10.
 - 16) 丸藤 哲¹⁾, 久志本秀樹¹⁾, 浅利 靖¹⁾, 小倉裕司¹⁾, 織田 順¹⁾, 梶野健太郎¹⁾, 斎藤大蔵¹⁾, 坂本哲也¹⁾, 島津岳士¹⁾, 白石 淳¹⁾, 田上 隆¹⁾, 田邊晴山¹⁾, 辻 友篤¹⁾, 藤島清太郎¹⁾, 溝端康光¹⁾, その他3名⁽¹⁾ 救急統合データベース活用管理委員会): 日本救急医学会主導研究評価特別委員会の役割と海外の学会主導研究. 日本救急医学会総会・学術集会(第43回)(東京都), 2015. 10.
 - 17) 斎藤大蔵¹⁾, 久志本秀樹¹⁾, 浅利 靖¹⁾, 小倉裕司¹⁾, 織田 順¹⁾, 梶野健太郎¹⁾, 丸藤 哲¹⁾, 坂本哲也¹⁾, 島津岳士¹⁾, 白石 淳¹⁾, 辻 友篤¹⁾, 田上 隆¹⁾ ⁽¹⁾ 救急統合データベース活用管理委員会): 救急統合データベース整備とトラウマレジストリー. 日本救急医学会総会・学術集会(第43回)(東京都), 2015. 10.
 - 18) 小倉裕裕司¹⁾, 久志本秀樹¹⁾, 丸藤 哲¹⁾, 浅利 靖¹⁾, 織田 順¹⁾, 梶野健太郎¹⁾, 斎藤大蔵¹⁾, 坂本哲也¹⁾, 島津岳士¹⁾, 白石 淳¹⁾, 辻 友篤¹⁾, 田上 隆¹⁾, 田邊晴山¹⁾, 藤島清太郎¹⁾ ⁽¹⁾ 救急統合データベース活用管理委員会): 学会主導多施設研究と救急統合データベースシステム. 日本救急医学会総会・学術集会(第43回)(東京都), 2015. 10.
 - 19) 後藤 奏¹⁾, 鈴木健介, 畝本恭子, 久野将宗, 田中秀治¹⁾, 高橋宏幸²⁾, 喜熨斗智也²⁾, 曾根悦子¹⁾, 原 貴大¹⁾, 東村めい¹⁾, 島崎修次¹⁾ ⁽¹⁾ 国士舘大学大学院救急システム研究科, ⁽²⁾ 国士舘大学体育学部): 非消防組織に属する救急救命士の臨床経験の維持方策. 日本救急医学会総会・学術集会(第43回)(東京), 2015. 10.
 - 20) 久野将宗²⁾, 尾北賢治^{1,2)}, 成田桜子²⁾, 飯塚繁法²⁾, 井上由美子^{1,2)} ⁽¹⁾ 認定特定非営利活動法人災害医療支援会, ⁽²⁾ 大阪府済生会千里病院千里救命救急センター, ⁽³⁾ 東邦大学羽田空港空港クリニック): ネパール地震に対するNGO HuMAとしての医療支援について. 日本国際保健医療学会学術大会(第30回)(金沢), 2015. 11.
 - 21) 久野将宗, 鈴木健介, 畝本恭子, 諸江雄太, 磐井佑輔, 谷 将星, 福田令雄, 金子純也, 小柳正雄, 田上 隆, 工藤小織, 北橋章子: ドクターカーによる病院外活動を安全に行うための取り組みについて. 日本病院前救急診療医学会総会・学術集会(第10回)(大阪府), 2015. 11.
 - 22) 磐井佑輔, 諸江雄太, 福田令雄, 田上 隆, 富永直樹, 谷 将星, 金子純也, 北橋章子, 小柳正雄, 石之神小織, 久野将宗, 畝本恭子, 横山 正¹⁾, 吉田 寛¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・乳腺外科・一般外科): 主腸管損傷を伴う腸損傷に対する治療方針についての自験例の検討. 日本臨床外科学会総会(第77回)(福岡県), 2015. 11.
 - 23) 田上 隆: 心停止レジストリの成果と展望. 病院外心停止記録活用研究会(第7回)(京都), 2015. 12.
 - 24) 磐井佑輔, 諸江雄太, 福田令雄, 田上 隆, 谷 将星, 金子純也, 北橋章子, 小柳正雄, 工藤小織, 久野将宗, 畝本恭子, 丸山 弘¹⁾, 山本 愛¹⁾, 田中 愛¹⁾, 鈴木美子¹⁾ ⁽¹⁾ Infection Control Team Nippon Medical School Tama Nagayama Hospital): 当センターにおける壊死性軟部組織感染症についての臨床的検討. 日本外科感染症学会総会学術集会(第28回)(名古屋), 2015. 12.
 - 25) 久野将宗, 畝本恭子, 谷 将星, 磐井佑輔, 金子純也, 田上 隆, 福田令雄, 北橋章子, 小柳正雄, 諸江雄太, 工藤小織, 田中知恵: 治療に難渋した虚血性心疾患による高齢者心肺停止蘇生後の1症例. 日本救急医学会関東地方会学術集会(第66回)(東京都), 2016. 2.
 - 26) 久野将宗, 金子純也, 磐井佑輔, 田上 隆, 諸江雄太, 谷 将星, 富永直樹, 福田令雄, 畝本恭子, 横田裕行: 心肺停止蘇生後にSSEP N-20陰性から意識が回復した2症例. 日本集中治療医学会学術集会(第43回)(神戸), 2016. 2.
 - 27) 金子純也, 谷 将星, 磐井佑輔, 福田令雄, 北橋章子, 田上 隆, 小柳正雄, 工藤小織, 久野将宗, 諸江雄太, 畝本恭子: 重症頭部

- 外傷に伴う脳血管攣縮の1例. 日本脳神経外傷学会 (第39回) (仙台), 2016. 2.
- 28) 畝本恭子, 奥寺 敬¹⁾, 永山正雄²⁾, 谷 将星, 金子純也, 北橋章子, 小柳正雄, 工藤小織, 荒木 尚³⁾, 横田裕行³⁾ (1) 富山大学大学院危機管理医学 (救急・災害医学) JRC ガイドライン 2015・脳神経蘇生ガイドライン合同委員会, 2) 国際医療福祉大学熱海病院神経内科/脳卒中・神経センター JRC ガイドライン 2015・脳神経蘇生ガイドライン合同委員会, 3) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター JRC ガイドライン 2015・脳神経蘇生ガイドライン合同委員会): 脳神経蘇生の観点からみた脊髄損傷急性期治療: 蘇生ガイドライン 2015 掲載のエビデンスとその後. 日本脳神経外傷学会 (第39回) (仙台), 2016. 2.
- 29) 久野将宗, 東岡宏明¹⁾, 高桑大介²⁾, 白倉透規³⁾, 竹山徹郎⁴⁾, 吉岡留美⁵⁾, 川井和枝⁶⁾, 鈴木健介⁷⁾, 金子秀夫⁸⁾ (1) ひがしおかメディケアクリニック 日本集団災害医学会セミナー委員会, 2) 伊豆赤十字病院 日本集団災害医学会セミナー委員会, 3) 立川総合病院 日本集団災害医学会セミナー委員会, 4) 京都第一赤十字病院 日本集団災害医学会セミナー委員会, 5) 朝霞地区看護専門学校 日本集団災害医学会セミナー委員会, 6) 静岡済生会病院 日本集団災害医学会セミナー委員会, 7) 日本体育大学保健医療学部 日本集団災害医学会セミナー委員会, 8) 相澤病院 日本集団災害医学会セミナー委員会): 2015年度の日本集団災害医学会セミナー (JADMS) のトリアージ教育プログラムについて. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第21回) (山形県), 2016. 2.
- 30) 久野将宗, 尾北賢治¹⁾, 夏川知輝¹⁾, 石原 論²⁾, 黒住健人³⁾, 大山慶介¹⁾, 上野 力⁴⁾, サッキヤイソラマン⁵⁾, 鶴飼 卓⁶⁾, 前川和彦⁷⁾ (1) 大阪府済生会千里病院千里救命救急センター NPO 法人 HuMA, 2) 兵庫県災害医療センター救命救急センター NPO 法人 HuMA, 3) 帝京大学医学部附属病院外傷センター NPO 法人 HuMA, 4) 春山外科病院外科・消化器科 NPO 法人 HuMA, 5) 会津中央病院 NPO 法人 HuMA, 6) 兵庫県災害医療センター救命救急センター NPO 法人 HuMA, 7) ツル虎ノ門病院・リハビリテーション病院 NPO 法人 HuMA): ネパール大地震に対する NPO 法人災害人道医療支援会 (HuMA) としての医療支援を通して考える国際災害時の医療支援に対する安全管理. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第21回) (山形県), 2016. 2.
- 31) 鈴木健介, 及川真奈¹⁾, 門馬 治¹⁾, 石ヶ森重之¹⁾, 久保田稔²⁾, 諸江雄太, 久野将宗, 畝本恭子 (1) 日本医科大学多摩永山病院看護部, 2) 日本医科大学多摩永山病院臨床検査部): 後方支援を行う DMAT のあり方の検討. 日本集団災害医学会・学術集会 (第21回) (山形県), 2016. 2.
- 32) 磐井佑輔: 当院救命救急センターにおける中心ライン関連血流感染サーベイランスの結果. 日本環境感染学会総会・学術集会 (第31回) (京都), 2016. 2.
- 33) 磐井佑輔: 当センターにおける大腸穿孔による糞便性腹膜炎症例の検討. 日本腹部救急医学会総会 (第52回) (東京), 2016. 3.

著 書

[追加分]

追加分:

- 1) 畝本恭子: [分担] 7. 頭部外傷 (2) 8. Spinal emergency. JRC 蘇生ガイドライン 2015 (日本蘇生協議会), 2015; pp382-385, 医学書院.
- 2) 畝本恭子: [分担] 海外文献紹介 入院中の静脈血栓塞栓症に係る病棟医の呻吟; 本日天気ナレドモ波タカシ. 救急医学 (長谷川恒夫), 2015; pp370-372, へるす出版.

[千葉北総病院救命救急センター]

研究業績

論 文

(1) 原著:

- 1) Saito N, Matsumoto H, Yagi T, Hara Y, Hayashida K, Motomura T, Mashiko K, Iida H, Yokota H¹⁾, Wagatsuma Y²⁾ (1) Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, 2) Department of Clinical Trial and Clinical Epidemiology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba): Evaluation of the safety and feasibility of resuscitative endovascular balloon occlusion of the aorta. Journal of Trauma and Acute Care Surgery 2015; 78 (5): 897-904.
- 2) Hihumi T, Motomura T (1) Emergency Medical Center, Kagawa University Hospital): Effect of Admission Glasgow Coma Scale Motor Score on Neurological Outcome in Out-of-Hospital Cardiac Arrest Patients Receiving Therapeutic Hypothermia. Circulation Journal 2015; 79 (10): 2201-2208.
- 3) 本村友一: 今日もヘリ日和 第6回: 梅雨空の臨機応変. Emergency care 2015; 28 (6): 82-87.
- 4) 本村友一: 医工学連携で挑む新たな救命の可能性 ドクターヘリと救急医療スマートフォン動画伝送システム (REMOTE). 月刊新医療 2015; 42 (7): 109-113.
- 5) 本村友一: 今日もヘリ日和 第7回: 今日は熱中症日和. Emergency care 2015; 28 (7): 66-71.

- 6) 本村友一：今日もヘリ日和 第8回：黒衣の天使誕生！. Emergency care 2015；28（8）：76-81.
 - 7) 向川康介¹⁾, 本村友一, 服部 陽, 松本 尚 ^{(1) 日本大学大学院}：交通事故実態調査に基づく外傷センターへの搬送判断の解析. 日本機械学会 2015 年度年次大会論文集 2015.
 - 8) 本村友一, 大西志麻：今日もヘリ日和 第9回：時間との闘い. Emergency Care 2015；28（9）：82-88.
 - 9) 本村友一：今日もヘリ日和 第10回：戦慄の団体戦！複数ドクターヘリ VS 多数傷病者：ハンバーグには御用心. Emergency care 2015；28（10）：82-90.
 - 10) 本村友一：今日もヘリ日和 第11回：決断力！ A or B?. Emergency care 2015；28（11）：90-99.
 - 11) 富永 茂¹⁾, 西本哲也²⁾, 本村友一, 松本 尚 ^{(1) 日本大学理工学部, 2) 日本大学工学部}：日本の交通事故実態を反映した AACN 傷害予測アルゴリズムの研究. 自動車技術会論文集 2015；46（5）：925-930.
 - 12) 益子一樹, 安松比呂志, 本村友一, 林田和之, 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚：病院前救急医療における蘇生的開胸術：当センターでの経験から. 日本病院前救急診療医学会誌 2015；9（2）：7-12.
 - 13) 本村友一：今日もヘリ日和 第12回サンタクロースの舞台裏. Emergency care 2015；28（12）：82-88.
- (2) 総説：
- 1) 本村友一, 安松洋子¹⁾ ^{(1) 日本医科大学千葉北総病院看護部}：今日もヘリ日和 第4回：ウソつきっ！！. Emergency Care 2015；28（4）：62-67.
 - 2) 松本 尚：重症外傷診療 ” 外傷センター ” への名乗り. 千葉県医師会雑誌 2015；67（4）：185-185.
 - 3) 本村友一, 松本 勉¹⁾ ^{(1) 栄町消防本部}：今日もヘリ日和 第5回：多職種協働で救え！挟まれミッション！. Emergency Care 2015；28（5）：90-94.
 - 4) 本村友一：災害時の医療活動 広域医療搬送, ドクターヘリ. 救急医学 2016；40（3）：302-307.
- (3) 症例報告：
- 1) 杉中宏司, 岡田一宏, 中山文彦, 本村友一, 益子一樹, 林田和之, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ ^{(1) 日本医科大学救急医学}：フライトドクターが行う advanced field triage についての検討. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2015；36（2）：238-240.
- (4) 臨床研究：
- 1) Matsumoto H, Mshiko K, Hara Y, Yagi T, Hayashida K, Mashiko K, Saito N, Iida H, Motomura T, Yasumatsu H, Kamayama D, Hirabayashi A, Yokota H¹⁾, Ishikawa H²⁾, Kunimatsu T²⁾ ^{(1) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, 2) Nonprofit Organization of Emergency Medical Network of Helicopter and Hospital}：Dispatch of helicopter emergency medical services via advanced automatic collision notification. The Journal of Emergency Medicine 2015；50（3）：437-443.
 - 2) Izawa Y¹⁾, Mizobata Y²⁾, Fujita T³⁾, Matsumoto H, Hata M⁴⁾, Yonekawa C¹⁾, Nagata T⁵⁾, Hishikawa S⁶⁾, Makimura Y⁷⁾, Kunita S⁷⁾, Yamashita K¹⁾, Suzukawa M¹⁾, Alan-Lefor K⁶⁾ ^{(1) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Jichi Medical University, 2) Department of Trauma and Critical Care Medicine, Graduate School of Medicine, Osaka City University, 3) School of Medicine, Department of Emergency Medicine, Trauma and Resuscitation Center, Teikyo University, 4) Acute Care Surgery Unit, Department of Emergency Medicine, Yonemori Hospital, 5) Department of Advanced Medical Initiatives, Faculty of Medical Sciences, Kyushu University, 6) Department of Surgery, Jichi Medical University, 7) Center for Development of Advanced Medical Technology, Jichi Medical University}：Live trauma surgery demonstration with a porcine model is valuable training for physicians and nurses. Live trauma surgery demonstration 2015；46（6）：497-502.

著 書

- 1) 八木貴典：〔分担〕 1. 救急医療：治療 消化管異物. 今日の治療指針 2016 年版（山口 徹・北原光夫），2016；pp37-38, 株式会社 医学書院.
- 2) 杉中宏司：〔分担〕 1. 救急医療：治療 脊髄損傷. 今日の治療指針 2016 年版（山口 徹・北原光夫），2016；pp48-49, 株式会社 医学書院.
- 3) 八木貴典：〔分担〕 1. 救急医療：治療 消化管異物. 今日の治療指針 2016 年版（ポケット版）（山口 徹・北原光夫），2016；pp37-38, 株式会社 医学書院.
- 4) 杉中宏司：〔分担〕 1. 救急医療：治療 脊髄損傷. 今日の治療指針 2016 年版（ポケット版）（山口 徹・北原光夫），2016；pp48-49, 株式会社 医学書院.
- 5) 服部 陽, 齋藤伸行, 松本 尚：〔分担〕 肺挫傷の治療指針. 救急・集中治療最新ガイドライン 2016-17（岡本 和文），2016；pp112-114, 総合医学社.
- 6) 岡田一宏, 松本 尚：〔分担〕 IV 呼吸器系の救急治療 9. 溺水. 呼吸器疾患最新の治療 2016-2019（杉山幸比古, 門田淳一, 弦間昭彦），2016；pp176-178, 株式会社 南江堂.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚：大量輸血プロトコルの運用と課題. 日本外傷学会（第 29 回）（北海道, 札幌市）, 2015. 6.
- 2) 岡田一宏, 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾（¹⁾ 日本医科大学救急医学）：重症外傷における persistent inflammation immunosuppression, and catabolism syndrome (PICS) の新診断基準についての提言. 日本救急医学会（第 43 回）（東京）, 2015. 10.
- 3) 齋藤伸行, 八木貴典, 益子一樹, 本村友一, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾（¹⁾ 日本医科大学救急医学）：ICU におけるチーム診療体制が人工呼吸離脱プロセスに与える影響. 日本救急医学会（第 43 回）（東京）, 2015. 10.
- 4) 益子一樹, 松本 尚, 本村友一, 平林篤志, 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明：成田空港における災害医療体制の再構築. 日本航空医療学会（第 22 回）（群馬県前橋市）, 2015. 11.
- 5) 久城正紀, 益子一樹, 本村友一, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚：ラピッドレスポンスカー運用についての検討（ドクターカーの現状と課題）. 日本病院前救急診療医学会総会・学術集会（第 10 回）（大阪府豊中市）, 2015. 11.
- 6) 阪本太吾, 齋藤伸行, 近田祐介, 八木貴典, 益子一樹, 飯田浩章, 本村友一, 中山文彦, 岡田一宏, 瀬尾卓生, 安松比呂志, 原 義明, 松本 尚, 横堀将司¹⁾, 横田裕行¹⁾, その他 6 名（¹⁾ 日本医科大学救急医学）：外傷医と脳外科医の連携に関する北総モデルの提案（日本外傷学会・日本脳神経外傷学会ジョイントシンポジウム脳外科医と外傷医の効率的連携を考える Beyond the standard）. 日本脳神経外傷学会（第 39 回）（宮城県仙台市）, 2016. 2.
- 7) 安松比呂志, 益子一樹, 服部 陽, 阪本太吾, 中山文彦, 本村友一, 松本 尚, 横田裕行¹⁾（¹⁾ 日本医科大学救急医学）：重症腹部外傷に対する治療戦略（腹部外傷における腹腔内出血コントロール -Interventional Radiology vs Damage Control Surgery）. 腹部救急医学会総会（第 52 回）（東京都）, 2016. 3.

(2) パネルディスカッション：

- 1) Matsumoto H：Setting Up A Pre hospital Trauma Care System in Japan. Ajou International Trauma Conference (Korea), 2015. 11.
- 2) 飯田浩章, 原 義明, 松本 尚, 齋藤伸行, 八木貴典, 近田祐介, 平林篤志, 安松比呂志, 杉中宏司, 瀬尾卓生, 横田裕行¹⁾, 岡田一宏, 中山文彦, 本村友一, 益子一樹（¹⁾ 日本医科大学救急医学）：不安定型骨盤骨折 (unstable pelvic fracture：UPF) に対する IABO 治療戦略. 日本外傷学会（第 29 回）（北海道, 札幌市）, 2015. 6.
- 3) 益子一樹, 平林篤志, 安松比呂志, 本村友一, 飯田浩章, 林田和之, 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚：消防共同指令化に伴うドクターヘリ運用の変化. 日本臨床救急医学会総会・学術集会（第 18 回）（富山県, 富山市）, 2015. 6.
- 4) 平林篤志, 本村友一, 益子一樹, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾（¹⁾ 日本医科大学救急医学）：成田空港における航空機災害対応. 日本救急医学会（第 43 回）（東京）, 2015. 10.
- 5) 益子一樹, 安松比呂志, 平林篤志, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 細谷誠史¹⁾, 大森章代¹⁾, 増渕美恵子¹⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 看護部）：初療室手術体制向上を目指した看護師対象の外傷手術勉強会. 日本 Acute Care Surgery 学会（第 7 回）（福岡県）, 2015. 10.
- 6) 本村友一：ドクターヘリの連携・他機関との連携. 日本航空医療学会（第 22 回）（群馬県前橋市）, 2015. 11.
- 7) 八木貴典, 平林篤志, 安松比呂志, 阪本太吾, 本村友一, 益子一樹, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾（¹⁾ 日本医科大学救急医学）：千葉県における覚知要請前後の比較検討. 日本航空医療学会（第 22 回）（群馬県前橋市）, 2015. 11.

(3) ワークショップ：

- 1) 安松比呂志, 益子一樹, 服部 陽, 阪本太吾, 中山文彦, 本村友一, 松本 尚, 横田裕行¹⁾（¹⁾ 日本医科大学救急医学）：重症腹部外傷に対する Damage Control Resuscitation と Damage Control Surgery. 第 40 回日本外科系連合学会学術集会（東京）, 2015. 6.
- 2) 本村あゆみ¹⁾, 本村友一, 岩瀬博太郎²⁾（¹⁾ 千葉大学大学院医学研究院法医学, ²⁾ 東京大学大学院医学系研究科法医学）：その死体, 異常につき. 日本救急医学会（第 43 回）（東京）, 2015. 10.
- 3) 本村友一, 服部 陽, 平林篤志, 齋藤伸行, 益子一樹, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 西本哲也¹⁾, 石川博敏²⁾, 益子邦洋²⁾（¹⁾ 日本大学, ²⁾ 救急ヘリ病院ネットワーク (HEM-Net)）：先進事故自動通報システム (AACN) によるドクターヘリ実動訓練. 日本救急医学会（第 43 回）（東京）, 2015. 10.
- 4) 近田祐介, 八木貴典, 齋藤伸行, 柴田あゆみ, 市川頼子, 大西志麻, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾（¹⁾ 日本医科大学救急医学）：救命救急センターを主軸とした包括的小児外傷診療体制について. 日本救急医学会（第 43 回）（東京）, 2015. 10.
- 5) 市川頼子, 大西志麻, 近田祐介, 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾（¹⁾ 日本医科大学救急医学）：児童虐待防止法に基づく児童相談所通告の現状. 日本救急医学会（第 43 回）（東京）, 2015. 10.
- 6) 近田祐介, 八木貴典, 齋藤伸行, 柴田あみ, 市川頼子, 大西志麻, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾（¹⁾ 日本医科大学救急医学）：救命救急センターを主軸とした包括的小児外傷診療体制について. 日本救急医学会（第 43 回）（東京）, 2015. 10.

(4) ポスター :

- 1) Hattori Y, Motomura T, Saito N, Yagi T, Hara Y, Matsumoto H, Tominaga S¹⁾, Nishimoto T²⁾ (1) Nihon University, Tokyo, 2) Nihon University, Fukushima) : Clinical indicators of Bowel and/or Mesenteric injury due to seatbelt injury revealed by in-depth accident investigations through medicine-engineering collaboration. European Congress of Trauma & Emergency Surgery (Amsterdam, The Netherlands), 2015. 5.
- 2) Hirabayashi A, Iida H, Yagi T, Hara Y, Matsumoto H, Yokota H¹⁾ (1) Department Of Emergency And Clitical Care Medicicne, Nippon Medical School) : Why does pelvic ring fractures in the elderly patients reveal the high mortality?. European Congress of Trauma & Emergency Surgery (Amsterdam, The Netherlands), 2015. 5.
- 3) Mashiko K, Hirabayashi A, Yasumatsu H, Motomura T, Iida H, Hayashida K, Saito N, Yagi T, Hara Y, Matsumoto H : Evaluation of prehospital resuscitative thoracotomy in japanese doctor delivery system. European Congress of Trauma & Emergency Surgery (Amsterdam, The Netherlands), 2015. 5.
- 4) Hattori Y, Motomura T, Saito N, Yagi T, Hara Y, Matsumoto H, Tominaga S¹⁾, Nishimoto T²⁾ (1) College of Science and Technology, Nihon University, 2) Nippon University Biomechanics Research Unit) : Seat belt sign on computed tomography is associated with intra-abdominal organ injury in head-on collision. Annual Meeting of The American Association for the Surgery of trauma (74th) (Las Vegas, USA), 2015. 9.
- 5) Okada K, Saito N, Matsumoto H, Yagi T, Hara Y, Mashiko K¹⁾, Yokota H²⁾ (1) Minamitama Hospital, 2) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School) : Simplified approach for diagnosis of persistent inflammation, immunosuppression, and catabolism syndrome in severe trauma patients and its clinical outcome. Annual Meeting of The American Association for the Surgery of trauma (74th) (Las Vegas, USA), 2015. 9.
- 6) Okada K, Saito N, Matsumoto H, Kim C¹⁾, Hato N²⁾ (1) Nippon Medical School, Department of Anesthesiology, 2) Nippon Medical School, Division of Intensive Care Unit) : Prevalence and associated factors of developing venous thromboembolism in the perioperative period. Euopean Society of Intensive Care Medicine (Berlin, Germany), 2015. 10.
- 7) 安松比呂志, 益子一樹, 服部 陽, 瀬尾卓生, 阪本太吾, 岡田一宏, 中山文彦, 本村友一, 飯田浩章, 林田和之, 八木貴典, 齋藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田浩章¹⁾ (1) 日本医科大学救急医学) : 重症胸部外傷の合併した心ヘルニアの1症例. 日本外傷学会 (第29回) (北海道, 札幌市), 2015. 6.
- 8) 大西志麻, 齋藤伸行, 八木貴典, 近田祐介, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学救急医学) : 小児における外傷重症度と養育状況の関連性についての検討. 日本救急医学会 (第43回) (東京), 2015. 10.
- 9) 柴田あみ, 益子一樹 : AB型RhD陰性体幹部外傷の1手術例. 日本 Acute Care Surgery 学会学術集会 (第7回) (福岡), 2015. 10.
- 10) 齋藤伸行, 八木貴典, 岡田一宏, 阪本太吾, 本村友一, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学救急医学) : 早期離床のための人工呼吸器離脱過程に関する検討. 日本集中治療医学会 (第43回) (兵庫県, 神戸市), 2016. 2.

(5) 一般講演 :

- 1) Matsumoto H, Hara Y, Yagi T, Saito N, Hayashida K, Mashiko K, Iida H, Motomura T, Nakamaya F, Okada K, Sakamoto T, Seo T, Suginaka K, Hirabayashi A, Yasumatsu H : An impact of comprehensive trauma care approach for severe torso injury. European Congress of Trauma & Emergency Surgery (Amsterdam, The Netherlands), 2015. 5.
- 2) Motomura T, Hirabayashi A, Hattori Y, Matsumoto H, Mashiko K¹⁾, Tominaga S²⁾, Nishimoto T³⁾ (1) Minamitama Hospital, 2) Nihon University, Chiba, 3) Nihon University, Fukushima) : Threshold setting for the Advanced Automatic Collision Notification algorithm that activates the HEMS system. European Congress of Trauma & Emergency Surgery (Amsterdam, The Netherlands), 2015. 5.
- 3) Okada K, Yagi T, Saito N, Hara Y, Matsumoto H, Yokota H¹⁾, Matsushita M²⁾, Tsurumi M³⁾, Bessyo R⁴⁾, Hata N³⁾ (1) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, 2) Department of Cardiology, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 3) Department of Intensive Care Unit, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 4) Department of Cardiothoracic Surgency, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital) : Use of veno-venous extracorporeal membrane oxygenation (VV-ECMO) for multiple trauma patients with respiratory insufficiency : A case series. Asia-Pacific Chapter of Extracorporeal Life Support Organaization (Kyoto, Japan), 2015. 7.
- 4) Motomura T, Matsumoto H, Mashiko K : Development of a medical information transmission system using smartphones to hasten hemostatic treatment. 米国外傷外科学会 The American Association for the Surgery of Trauma (第74回) (ラスベガス, 米国), 2015. 9.
- 5) 柴田あみ, 齋藤伸行, 八木貴典 : 頭部外傷における repeat-CT 及び MRI 検査の意義. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (第24回) (東京), 2015. 8.
- 6) 五味基央, 原 義明, 飯田浩章, 瀬尾卓生, 杉中宏司, 後藤美咲, 市川頼子, 安松比呂志, 本村友一, 益子一樹, 齋藤伸行, 八木貴

- 典, 松本 尚: 腰椎破裂骨折に合併していた頸髄の急性硬膜外血腫の1例. 日本救急医学会関東地方会(第66回)(東京), 2016. 2.
- 7) 阪本太吾, 八木貴典, 高山晋一¹⁾, 林田和之, 益子一樹, 飯田浩章, 本村友一, 中山文彦, 岡田一宏, 瀬尾卓生, 杉中宏司, 平林篤志, 齋藤伸行, 原 義明, 松本 尚, その他7名⁽¹⁾ 一般財団法人 日本自動車研究所: 事故現場で軽微な外傷と判断された頸椎脱臼・頸髄損傷の1例. 千葉県救急医療研究会(第18回)(千葉市美浜区), 2015. 4.
- 8) 齋藤伸行, 志馬伸朗^{1, 2)}, 小林敦子²⁾, 井口直也²⁾, 阪口雅洋²⁾, 杉山和宏¹⁾, 石井賢造¹⁾, 平湯恒久¹⁾ ⁽¹⁾ VAP clinical research Network Japanese Critical Care Medical Center, ⁽²⁾ Kansai-ICU VAP network: JRS 院内肺炎診療ガイドラインの人工呼吸器関連肺炎に関する外的妥当性の検討: 多施設観察研究. 日本感染症学会学術講演会(第89回)(京都府京都市), 2015. 4.
- 9) 原 義明, 飯田浩章, 瀬尾卓生, 平林篤志, 杉中宏司, 後藤美咲, 市川頼子, 川井 真⁽¹⁾ 日本医科大学救急医学: 重症骨盤骨折に対する急性期治療は特定の施設に集約化するべきである. 日本整形外科学会学術総会(第88回)(兵庫県, 神戸市), 2015. 5.
- 10) 本村友一, 松本 尚, 西本哲也¹⁾, 高木由紀子²⁾, 齋藤信夫³⁾, 木内 透⁴⁾, 石川博敏⁵⁾, 益子邦洋⁵⁾ ⁽¹⁾ 日本大学工学部, ⁽²⁾ KDDI 株式会社, ⁽³⁾ 株式会社 日本緊急通報サービス (HELPNET), ⁽⁴⁾ トヨタ自動車株式会社, ⁽⁵⁾ 救急ヘリ病院ネットワーク (HEM-Net): 先進事故自動通報システム (AACN) 千葉県通報・実働訓練. 自動車技術会 2015 年春季フォーラム(東京都千代田区), 2015. 5.
- 11) 山田真吏奈, 松田明久¹⁾, 千葉知宏²⁾, 相磯貞和³⁾, 増野智彦⁴⁾, 松本 尚, 横田裕行⁴⁾, 宮下正夫¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ⁽²⁾ 杏林大学医学部病理学教室, ⁽³⁾ 慶応義塾大学医学部解剖学教室, ⁽⁴⁾ 日本医科大学救急医学: 重症敗血症後の脳機能障害に対する Humanin G (HNG) の治療効果. 日本 Shock 学会総会(第30回)(東京都八王子市), 2015. 5.
- 12) 服部 陽, 本村友一, 平林篤志, 安松比呂志, 飯田浩章, 益子一樹, 林田和之, 八木貴典, 齋藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾, 富永 茂²⁾, 西本哲也³⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学救急医学, ⁽²⁾ 日本大学理工学部, ⁽³⁾ 日本大学工学部: 交通事故実態調査に基づいたシートベルト損傷の予測因子に関する検討. 日本外傷学会(第29回)(北海道, 札幌市), 2015. 6.
- 13) 平林篤志, 飯田浩章, 瀬尾卓生, 本村友一, 益子一樹, 八木貴典, 齋藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学救急医学: 不安定型骨盤輪骨折の病院前診断の必要性について. 日本外傷学会(第29回)(北海道, 札幌市), 2015. 6.
- 14) 飯田浩章, 原 義明, 市川頼子, 後藤美咲, 杉中宏司, 平林篤志, 瀬尾卓生, 松本 尚, 川井 真¹⁾, 横田裕行¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学救急医学: 高エネルギー外傷に合併した肩関節上方脱臼の1例. 日本骨折治療学会(第41回)(奈良県奈良市), 2015. 6.
- 15) 山田真吏奈, 松田明久¹⁾, 千葉知宏²⁾, 相磯貞和³⁾, 増野智彦⁴⁾, 松本 尚, 宮下正夫¹⁾, 横田裕行⁴⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ⁽²⁾ 杏林大学医学部病理学教室, ⁽³⁾ 慶応義塾大学医学部解剖学教室, ⁽⁴⁾ 日本医科大学救急医学: 脳神経障害に対する Humanin G (HNG) の治療効果. 日本脳死・脳蘇生学会総会(第28回)(愛知県名古屋), 2015. 7.
- 16) 向川康介¹⁾, 西本哲也¹⁾, 富永 茂²⁾, 服部 陽, 本村友一, 松本 尚, 木内 透³⁾ ⁽¹⁾ 日本大学工学部, ⁽²⁾ 日本大学理工学部, ⁽³⁾ トヨタ自動車: 傷害予測アルゴリズムの3次救急指標に基づく検証. 自動車技術会 2015 年秋季大会学術講演会(福岡), 2015. 10.
- 17) 木内 透¹⁾, 本村友一, 松本 尚⁽¹⁾ トヨタ自動車: ドクターヘリを起動する先進交通事故自動通報システムのパイロットスタディ. 自動車技術会(2015 年秋季大会)(北九州市), 2015. 10.
- 18) 柴田あみ, 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾, 市川頼子, 岡田一宏⁽¹⁾ 日本医科大学救急医学: ACCP ガイドラインに準拠した静脈血栓塞栓症 (VTE) 予防プロトコルの有効性. 日本救急医学会(第43回)(東京), 2015. 10.
- 19) 重山香織, 本村友一, 松本 尚: スマートフォン動画伝送システムにおける看護の有用性(第2報). 日本航空医療学会(第22回)(群馬県前橋市), 2015. 11.
- 20) 松本 勉¹⁾, 本村友一, 松本 尚⁽¹⁾ 栄町消防本部: メディカルコントロール (MC) へのスマートフォン動画伝送システムの有用性. 全国救急隊シンポジウム(札幌), 2015. 12.
- 21) 山田真吏奈, 松田明久¹⁾, 増野智彦²⁾, 松本 尚, 横田裕行²⁾, 宮下正夫¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ⁽²⁾ 日本医科大学救急医学: 重症敗血症後の脳機能障害モデルの確立. 外科侵襲とサイトカイン研究会(第22回)(京都府京都市), 2015. 12.
- 22) 山田真吏奈, 松田明久¹⁾, 千葉知宏²⁾, 相磯貞和³⁾, 増野智彦⁴⁾, 松本 尚, 宮下正夫¹⁾, 横田裕行⁴⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院外科, ⁽²⁾ 杏林大学医学部病理学教室, ⁽³⁾ 慶応義塾大学医学部解剖学教室, ⁽⁴⁾ 日本医科大学救急医学: 重症敗血症モデルマウスにおける S14G-Humanin の効果. エンドトキシン決勝救命治療研究会(第20回)(東京都中央区), 2016. 1.
- 23) 齋藤伸行, 讚井将満¹⁾ ⁽¹⁾ 自治医科大学さいたま医療センター集中治療部: 人工呼吸療法に関する疫学研究. 日本集中治療医学会(第43回)(兵庫県, 神戸市), 2016. 2.
- 24) 岡田一宏, 齋藤伸行, 柴田あみ, 久城正紀, 阪本太吾, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学救急医学: Persistent inflammation immunosuppression and catabolism syndrome (PICS) 発症の関連因子についての検討. 日本集中治療医学会(第43回)(兵庫県, 神戸市), 2016. 2.
- 25) 阪本太吾, 齋藤伸行, 柴田あみ, 岡田一宏, 益子一樹, 本村友一, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ ⁽¹⁾ 日本医科大学救急医学: ICU 再入室例の原因に関する検討. 日本集中治療医学会(第43回)(兵庫県, 神戸市), 2016. 2.
- 26) 中山文彦, 益子一樹, 本村友一, 安松比呂志, 服部 陽, 阪本太吾, 松本 尚, 横田裕行¹⁾, 飯田浩章, 瀬尾卓生, 近田祐介, 後藤美咲, 市川頼子, 柴田あみ⁽¹⁾ 日本医科大学救急医学: 2か所の胸部大動脈損傷を伴う多発外傷の1例. 日本救急医学会関東地方会

(第66回)(東京), 2016. 2.

- 27) 杉中宏司, 中山文彦, 本村友一, 益子一樹, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学救急医学): CT で同定できなかった大腿骨複合骨折の1例. 日本救急医学会関東地方会(第66回)(東京), 2016. 2.
 - 28) 久城正紀, 岡田一宏, 齋藤伸行, 近田祐介, 安松比呂志, 杉中宏司, 瀬尾卓生, 阪本太吾, 中山文彦, 本村友一, 飯田浩章, 益子一樹, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚: VV-ECMO 導入により救命しえた重症胸部外傷の1例. 日本救急医学会関東地方会(第66回)(東京), 2016. 2.
 - 29) 益子一樹, 平林篤志, 本村友一, 八木貴典, 松本 尚, 新井晶子¹⁾, 上野幸廣¹⁾, 阿竹 茂¹⁾, 河野元嗣¹⁾ (1) 筑波メディカルセンター病院救急診療科): 茨城県常総市水害に対するドクターヘリ活動の統制と課題. 日本集団災害医学会総会・学術集会(第21回)(山形県山形市), 2016. 2.
 - 30) 平林篤志, 本村友一, 益子一樹, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学救急医学): 成田国際空港における航空機事故緊急活動計画の妥当性について. 日本集団災害医学会総会・学術集会(第21回)(山形県, 山形市), 2016. 2.
 - 31) 中山文彦, 益子一樹, 安松比呂志, 阪本太吾, 服部 陽, 松本 尚: 上腸間膜動静脈損傷治療における課題. 日本腹部救急医学会(第52回)(東京), 2016. 3.
 - 32) 益子一樹, 服部 陽, 安松比呂志, 松本 尚: 外科専門領域としての救急・外傷外科医育成. 日本腹部救急医学会(第52回)(東京都新宿区), 2016. 3.
- (6) デジタルポスター:
- 1) 久城正紀, 齋藤伸行, 八木貴典, 阪本太吾, 岡田一宏, 中山文彦, 本村友一, 益子一樹, 原 義明, 松本 尚: 当院救命救急センターにおける遅発性気管切開術後気道狭窄に関する検討. 日本集中治療医学会(第43回)(兵庫県, 神戸市), 2016. 2.
- (7) ビデオワークショップ:
- 1) 益子一樹, 服部 陽, 安松比呂志, 松本 尚: 当センターにおける初療室のDCSの”ルーティン”. 日本腹部救急医学会(第52回)(東京都新宿区), 2016. 3.
- (8) 優秀演題:
- 1) 本村友一, 齋藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 富永 茂¹⁾, 西本哲也²⁾ (1) 日本大学理工学部, 2) 日本大学工学部): 日本とドイツの交通事故調査データを使用したAACNアルゴリズム閾値決定と精度検証. 日本外傷学会(第29回)(北海道, 札幌市), 2015. 6.

学会発表

[追加分]

追加分ポスター:

- 1) 柴田あみ, 齋藤伸行: カテーテル関連血流感染症後に発症した非典型溶血性尿毒症症候群(atypical HUS:aHUS)の1例. 日本救急医学会総会・学術集会(第42回)(福岡), 2014. 10.

追加分一般講演:

- 1) 柴田あみ, 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学救急医学): Klebsiella pneumoniaeによる敗血症性血栓塞栓症候群の1例. 日本救急医学会関東地方会(第65回)(神奈川県横浜市), 2015. 2.
- 2) 後藤美咲, 大西志麻, 齋藤伸行, 杉中宏司, 瀬尾卓生, 阪本太吾, 岡田一宏, 中山文彦, 本村友一, 飯田浩章, 益子一樹, 林田和之, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚: 当センターにおける縦隔気腫14例についての検討. 日本救急医学会関東地方会(第65回)(神奈川県横浜市), 2015. 2.
- 3) 市川頼子, 近田祐介, 杉中宏司, 瀬尾卓生, 阪本太吾, 岡田一宏, 中山文彦, 本村友一, 飯田浩章, 益子一樹, 林田和之, 八木貴典, 齋藤伸行, 原 義明, 松本 尚: オオスズメバチ刺症後に横紋筋融解症を合併した1例. 日本救急医学会関東地方会(第65回)(神奈川県横浜市), 2015. 2.
- 4) 杉中宏司, 平林篤志, 瀬尾卓生, 阪本太吾, 岡田一宏, 中山文彦, 本村友一, 飯田浩章, 益子一樹, 林田和之, 八木貴典, 齋藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学救急医学): フライトドクターが行うadvanced field triageについての検討. 日本救急医学会関東地方会(第65回)(神奈川県横浜市), 2015. 2.

26. 形成再建再生医学分野

[付属病院形成外科・美容外科]

研究概要

形成外科・再建外科・美容外科に関係する臨床医学研究や創傷治癒学・再生医学などの基礎医学研究、またこれらのトランスレーショナルリサーチを行っている。多くの業績となったのはケロイドの発症機序の解明に関する研究である。現在ケロイドは遺伝因子、全身の因子、また局所因子が関与する複雑な発症機序を有していると考えられる。これらの因子を一つ一つ研究しているが、われわれの基礎および臨床研究の成果から、ケロイドの原因として血管系の異常が示唆されており、これに関する学会発表・論文発表が多くあった。またメカノバイオロジーとメカノセラピーに関するトランスレーショナルリサーチも進んでいる。メカノバイオロジーとは、重力や張力、せん断応力、静水圧や浸透圧といった物理的的刺激が、細胞や組織、臓器にどのような影響を与えるかを解析する物理生物学の研究分野である。物理的的刺激は組織から細胞、細胞膜から核内へ、さまざまな構造；接着分子やイオンチャネル、細胞骨格などのメカノセンサー；を通じて感受され、物理化学的信号に変換されながらシグナル伝達系路；メカノシグナル伝達経路；に影響を与えることがわかってきた。われわれはメカノバイオロジー、すなわち細胞の物理的環境を考える研究領域を、臨床に応用することを「メカノセラピー」と命名し、多くの研究発表を行った。またリンパ浮腫の評価・治療方法、爪疾患の病態解明や新規治療方法に関する報告など革新的な研究成果があった。また皮弁の血行動態の評価や新しい皮弁の開発も昨年度に引き続き行っている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Arima J¹⁾, Huang C²⁾, Rosner B³⁾, Akaishi S¹⁾, Ogawa R¹⁾ (¹⁾ Department of Plastic, Reconstructive, and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Beijing Tsinghua Changgung Hospital ; Medical Center, Tsinghua University, ³⁾ Channing Laboratory, Harvard Medical School, Boston, Massachusetts) : Hypertension : a systemic key to understanding local keloid severity. *Wound Repair Regeneration* 2015 ; 23 (2) : 213-221.
- 2) Iimura T¹⁾, Fukushima Y²⁾, Kumita S²⁾, Ogawa R¹⁾, Hyakusoku H¹⁾ (¹⁾ Department of Plastic Reconstructive and Regenerative Surgery Nippon Medical School, ²⁾ Department of Radiology, Nippon Medical School) : Estimating Lymphodynamic Conditions and Lymphovenous Anastomosis Efficacy Using (99m) Tc-phytate Lymphoscintigraphy with SPECT-CT in Patients with Lower-limb Lymphedema. *Plast Reconstr Surg Glob Open* 2015 ; 3 (5) : e404.
- 3) Sano H¹⁾, Ichioka S²⁾ (¹⁾ Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Saitama Medical University Hospital) : Influence of oxygen on wound healing dynamics in healing-impaired diabetic mice. *Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery* 2015 ; 49 (3) : 135-140.
- 4) Sano H¹⁾, Ichioka S²⁾ (¹⁾ Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Saitama Medical University) : Topical wound oxygen therapy for chronic diabetic lower limb ulcers and sacral pressure ulcers in Japan. *Wounds International* 2015 ; 6 (1) : 24-29.
- 5) Sano H¹⁾, Kouraba S²⁾, Ogawa R¹⁾ (¹⁾ Department of Plastic, Reconstructive, and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School, ²⁾ Sapporo Wound Care and Anti-Aging Laboratory) : Wound care matrices for chronic leg ulcers : comparative effectiveness and role in therapy. *Chronic Wound Care Management and Research*. 2015 ; 2 : 113-118.
- 6) Sano H¹⁾, Shionoya K²⁾, Ogawa R¹⁾ (¹⁾ Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School, ²⁾ Shionoya Orthopedic Clinic) : Foot loading is different in people with and without pincer nails : a case control study. *Journal of Foot and Ankle Research* 2015 ; 8 : e43.
- 7) Dohi T¹⁾, Miyake K²⁾, Aoki M¹⁾, Ogawa R¹⁾, Akaishi S¹⁾, Shimada T²⁾, Okada T²⁾, Hyakusoku H¹⁾ (¹⁾ Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Biochemistry and Molecular Biology, Division of Gene Therapy, Research Center for Advanced Medical Technology, Nippon Medical School) : Tissue Inhibitor of Metalloproteinase-2 Suppresses Collagen Synthesis in Cultured Keloid Fibroblasts. *Plast Reconstr Surg Glob Open* 2015 ; 3 (9) : e520.
- 8) Koyama T¹⁾, Kobayashi K¹⁾, Hama T²⁾, Murakami K²⁾, Ogawa R³⁾ (¹⁾ Men's Health Clinic Tokyo, ²⁾ ANGFA Co, Ltd, Tokyo, ³⁾ Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School) : Standardized Scalp Massage Results in Increased Hair Thickness by Inducing Stretching Forces to Dermal Papilla Cells in the Subcutaneous Tissue. *ePlasty* 2016 ; 16 (e8) : 53-64.
- 9) Kuwahara H¹⁾, Ogawa R²⁾ (¹⁾ Department of Plastic and Reconstructive Surgery Aizu-Chuo Hospital, ²⁾ Department of Plastic,

Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School Hospital) : Using a Vibration Device To Ease Pain during Facial Needling and Injection. ePlasty 2016 ; 16 (e9) : 65-72.

(2) 総説 :

- 1) Stekelenburg C¹⁾, Marck R¹⁾, Tuinebreijer W¹⁾, De Vet H¹⁾, Ogawa R²⁾, Van Zuijlen P¹⁾ (¹⁾ Department of Plastic, Reconstructive and Hand Surgery, MOVE Research Institute, VU University Medical Centre, Amsterdam, The Netherlands, ²⁾ Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : A systematic review on burn scar contracture treatment : searching for evidence. Journal of Burn Care & Research 2015 ; 36 (3) : e153-e161.
- 2) Yuan Y¹⁾, Gao J¹⁾, Ogawa R²⁾ (¹⁾ Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Nanfang Hospital, Southern Medical University, ²⁾ Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School) : Mechanobiology and Mechano-therapy of Adipose Tissue-Effect of Mechanical Force on Fat Tissue Engineering. Plastic and Reconstructive Surgery - Global Open 2015 ; 3 (12) : e578.
- 3) 小川 令¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 瘢痕のレーザー治療. 日本レーザー医学会誌 2015 ; 36 (1) : 63-67.
- 4) 小川 令¹⁾, 魯 峰²⁾, 百束比古¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 中国南方病院形成外科) : エステティックユニットを重視したエキスパンションによる顔面再建. 形成外科 2015 ; 58 (5) : 507-513.
- 5) 小野真平¹⁾, 小川 令¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 大腿部から採取できる皮弁による再建 : プロペラ皮弁. PEPARS 2015 ; 101 : 52-64.
- 6) 百束比古¹⁾, 小野真平¹⁾, 岩切 致²⁾, 王 春梅³⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院形成外科, ³⁾ 東莞康華医院形成外科) : 顔面母斑の各種再建術. PEPARS 2015 ; 102 : 36-40.
- 7) 百束比古¹⁾, 小野真平¹⁾, Vuquang V²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ ベトナム国立熱傷研究所病院形成外科) : 超薄皮弁の理論と実際. PEPARS 2015 ; 106 : 1-8.
- 8) 小川 令¹⁾, Vuquang V²⁾, 百束比古¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ ベトナム国立熱傷研究所病院形成外科) : thin flap による顔面・頸部の整容的再建. PEPARS 2015 ; 106 : 18-23.
- 9) 小野真平¹⁾, 百束比古¹⁾, 小川 令¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : Thin flap による上肢露出部の整容的再建 - 穿通枝プロペラ皮弁を中心に -. PEPARS 2015 ; 106 : 35-43.
- 10) 小野真平¹⁾, Chung K²⁾, 小川 令¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ Department of Plastic Surgery, University of Michigan, USA) : Keynote によるメディカルイラストレーション : 見せる論文から, 魅せる論文へ. PEPARS 2015 ; 108 : 10-20.
- 11) 梅澤裕己¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 手術記録と PC 利用. PEPARS 2015 ; 108 : 21-25.
- 12) 朝日林太郎¹⁾, 小川 令¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 簡易で効率的な手術記録の電子化 : ペンタブレットの有用性. PEPARS 2015 ; 108 : 26-30.
- 13) 中尾淳一¹⁾, 小野真平¹⁾, 林 宏光²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院放射線科) : 画像データの3次元化ツール「OsiriX」を使いこなす. PEPARS 2015 ; 108 : 56-62.
- 14) 小川 令¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 四肢における創閉鎖の工夫 : 基本的な縫合法. Monthly Book Orthopaedics 2016 ; 29 (2) : 1-8.
- 15) 小野真平¹⁾, 中尾淳一¹⁾, 小川 令¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 四肢における創閉鎖の工夫 : 穿通枝皮弁による創閉鎖 - 下肢 -. Monthly Book Orthopaedics 2016 ; 29 (2) : 83-96.
- 16) 小川 令¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 肥厚性瘢痕のレーザー治療. PEPARS 2016 ; 111 : 100-105.

(3) 症例報告 :

- 1) Vinh V¹⁾, Van Anh T¹⁾, Tien N¹⁾, Hyakusoku H²⁾, Ogawa R²⁾ (¹⁾ Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Vietnam National Institute of Burn, Hanoi, ²⁾ Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School Hospital) : Bipedicled "Superthin" Free Perforator Flaps for Facial Burn Scar Reconstruction : Expanded Scope of Superthin Flaps : A Case Series. Plast Reconstr Surg Glob Open 2015 ; 3 (8) : e493.
- 2) 朝日林太郎¹⁾, 小川 令²⁾, 百束比古²⁾ (¹⁾ 会津中央病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 顔面の広範な外傷性刺青にハイドロサージェリーシステムが有用であった1例. 創傷 2015 ; 6 (2) : 59-62.
- 3) 朝日林太郎¹⁾, 小川 令²⁾, 百束比古²⁾ (¹⁾ 会津中央病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 広範囲下腿皮膚組織欠損創の閉鎖にドレーン孔タイプ真皮欠損用グラフトおよび陰圧閉鎖療法の併用が有用であった1例. 創傷 2015 ; 6 (2) : 68-71.
- 4) 渋谷偉織¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 石井暢明¹⁾, 太組一朗²⁾, 小川 令³⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院形成外科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 内視鏡下に前額部小切開と CPP により治療を行った前頭骨陥没骨折の治療経験. 日本頭蓋顎顔面外科学会誌 2015 ; 31 (2) : 66-71.
- 5) 朝日林太郎¹⁾, 桑原大彰²⁾, 小川 令²⁾, 百束比古²⁾ (¹⁾ 会津中央病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容

外科)：高齢者の弁状創に対する PICO® 創傷治療システムの使用経験. 創傷 2015；6 (3)：103-107.

- 6) 朝日林太郎¹⁾, 桑原大彰¹⁾, 小川 令¹⁾, 百束比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：手背部の深達性 II 度熱傷治療におけるハイドロサージェリーシステム「バーサジェット (R)」の使用経験. 熱傷 2015；41 (2)：70-75.
 - 7) 小野真平¹⁾, 小川 令¹⁾, 藪野雄大¹⁾, 百束比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：非吸収性ファイラー注入後の異物肉芽腫治療に難渋している 1 例. 形成外科 2015；58 (9)：972-974.
- (4)
- 1) Ogawa R¹⁾ (1) Department of Plastic, Reconstructive, and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School)：Reply：Analysis of the Surgical Treatments of 63 Keloids on the Cartilaginous Part of the Auricle：Effectiveness of the Core Excision Method. Plastic Reconstructive Surgery 2015；136 (4)：569e.
 - 2) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：ケロイド手術および術後放射線治療の手技とポイント. PRS Today 2015；11：4-5.
 - 3) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：形成外科の枠を超える. 形成外科 2015；58 (8)：904-905.
 - 4) 赤石諭史¹⁾, 土肥輝之¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：ケロイドにおける血管に関する電顕像の再確認. 瘢痕・ケロイド治療ジャーナル 2015；9：45-47.
 - 5) 小川 令¹⁾, Lukas C²⁾, 赤石諭史¹⁾, 百束比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ チェコ共和国リベツ工科大学機械工学科)：前胸部ケロイド手術における大胸筋筋膜縫合の真皮に対する減張効果の計測. 瘢痕・ケロイド治療ジャーナル 2015；9：65-68.

著書

- 1) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School)：[分担] Scar Management for Asian Cosmetic Surgery Patients. Aesthetic Plastic Surgery in Asians (監修：Lee Pu), 2015；pp31-43, Quality Medical Publishing.
- 2) Sano H¹⁾, Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School)：[分担] Morphological Changes of Toenails in Hemiplegia：Toenail Configuration is Determined by the Mechanical Forces on the Foot. Paraplegia：Clinical characteristics Prevalence and Treatment Outcomes.(Agnes A. Holloway), 2015；pp71-82, Nova biomedical.
- 3) Har-Shai Y¹⁾, Zilinsky I¹⁾, Ogawa R²⁾, Huang C³⁾ (1) Division of Plastic Surgery, The Ruth and Bruce Rappaport Faculty of Medicine, Israel Institute of Technology, Israel, ²⁾ Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School, ³⁾ Department of Plastic Surgery, Meitan General Hospital, Beijing)：[分担] Bio-Mechanical Stimulation of Skin Fibroblasts. Mesenchymal Cell Activation by Biomechanical Stimulation and its Clinical Prospects (Edited by Nahum Rosenberg), 2016；pp35-48, Bentham e books.
- 4) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：[分担] 第 6 章 瘢痕拘縮・肥厚性瘢痕・ケロイド 2. 肥厚性瘢痕・ケロイド. 形成外科治療手技全書 III 創傷外科 (監修：波利井 清紀, 野崎 幹弘, 総編集：平林 慎一, 川上 重彦, 編集：楠本 健司, 館 正洋), 2015；pp336-346, 克誠堂出版.
- 5) 小川 令¹⁾, 林 利彦²⁾, 山脇聖子³⁾, 内田源太郎⁴⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 北海道大学病院形成外科, ³⁾ 京都大学医学部附属病院形成外科, ⁴⁾ 東京大学医学部附属病院形成外科・美容外科)：[分担] ケロイド・肥厚性瘢痕ガイドライン 1 章 ケロイド. 形成外科診療ガイドライン 急性創傷/瘢痕ケロイド (編集：日本形成外科学会・日本創傷外科学会・日本頭蓋顎顔面外科学会), 2015；pp129-148, 金原出版.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School)：Surgical Approaches in Scar Management. Scar Club Meeting (The 6th) (Montpellier), 2015. 9.
- 2) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School)：Energy-based Technology for Scar Management. Scar Club Meeting (The 6th) (Montpellier), 2015. 9.
- 3) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：形成外科の未来と世界的趨勢. 谷根千形成懇話会 (第 14 回) (東京), 2015. 7.
- 4) 大久保正智¹⁾ (1) 等々力皮膚科・形成外科)：自己紹介しながら少しでも形成外科のことを. 谷根千形成懇話会 (第 14 回) (東京), 2015. 7.
- 5) 松本典子¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：病理学教室の紹介とケロイドの組織学的研究. 谷根千形成懇話会 (第 14 回) (東京), 2015. 7.
- 6) 土肥輝之¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：分子遺伝学教室の紹介とケロイドにおける TIMP の研究. 谷根千形成懇

話会（第14回）（東京），2015. 7.

- 7) 奥田貴久¹⁾ (1) 日本医科大学法医学教室)：形成外科医のアメリカ法医留学. 谷根千形成懇話会（第14回）（東京），2015. 7.
- 8) 梅澤裕己¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：A comparison of microsurgical anastomosis Techniqu. 谷根千形成懇話会（第14回）（東京），2015. 7.
- 9) 飯村剛史¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：Estimating lymphodynamic conditions and lymphvenous anastomosis efficacy using 99m Tc-phytate lymphoscintigraphy with SPECT-CT in patients with lower-limb lymphedema. 谷根千形成懇話会（第14回）（東京），2015. 7.
- 10) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：平成26年度優秀論文賞受賞記念講演：Clinical applications of basic reserach that shows reducing skin tesnsion could prevent and treat abnormal scarring：the importance of fascial/subcutaneous tensile reduction sutures and flap surgery for keloid and hypertrophic scar reconstruction. 日本医科大学医学会総会（第83回）（東京），2015. 9.
- 11) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：新任教授特別講演：細胞はどのように力を感じているか？：メカノバイオロジーとメカノセラピー. 日本医科大学医学会総会（第83回）（東京），2015. 9.
- 12) 百東比古¹⁾ (1) 日本医科大学名誉教授・前形成外科教授)：癬痕・ケロイド治療研究会10周年を振り返って. 癬痕・ケロイド治療研究会（第10回）（岩手），2015. 10.
- 13) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：こどもきずやけがはここまで治る！：熱傷，外傷から先天異常，血管腫の最新理論と治療の実践. 北区医師会学術講演会（東京），2015. 10.
- 14) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：創傷治療の革新の時代をメンリッケヘルスケア社と共に歩む：未来のInnovationに向けて. Mölnlycke Health Care 創傷治癒セミナー（N/A）（東京），2015. 11.
- 15) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：ケロイド・肥厚性癬痕・癬痕治療が変わった！－発症機序から最新治療まで－. 城東皮膚科女医会（第20回）（東京），2016. 1.
- 16) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：ケロイド・肥厚性癬痕は完治する！：発症機序から，柴苓湯を含めた最新治療まで. クラシエ大阪漢方セミナー（N/A）（大阪），2016. 1.
- 17) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：細胞はどのように力を感じているか？：メカノバイオロジーとメカノセラピー. Allergic Night（第6回）（東京），2016. 2.
- 18) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：ケロイド・肥厚性癬痕・癬痕治療が変わった！：発症機序から最新治療まで. 東京都皮膚科医学会学術集会（第75回）（東京），2016. 3.
- 19) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：形成外科の夢を追い求めて：留学や研究が臨床を豊かにする！. 徳島整形外科登竜門医会（第3回）（徳島），2016. 3.
- 20) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：幹細胞から人体が再生できる！？：形成外科と再生医療. 日本医大同窓会群馬県支部総会（N/A）（高崎），2016. 3.

(2) 招待講演：

- 1) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School)：Challenge of Treating Heavy Scars -Multimodal Approach for Keloids and Hypertrophic Scars-. 2015 Global Prospect and New Innovations for Best Wound Care and Scar Management Conference (N/A) (Kaohsiung), 2015. 6.
- 2) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School)：The Most Current Algorithm of Total Scar Management. 2015 Global Prospect and New Innovations for Best Wound Care and Scar Management Conference (N/A) (Kaohsiung), 2015. 6.
- 3) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School)：Surgical vs Non-Surgical Scar Therapies. 2015 Global Prospect and New Innovations for Best Wound Care and Scar Management Conference (N/A) (Kaohsiung), 2015. 6.
- 4) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School)：Recent Advancement of Clinical and Basic Researches about “Scar”. Menarini Scar Meeting (Taipei), 2015. 6.
- 5) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School)：Burn scar and contracture：current management. Asian Pacific Burn Congress (The 10th) (Bali), 2015. 8.
- 6) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, NipponMedical School)：Non-surgical treatment for scar. Asian Pacific Burn Congress (The 10th) (Bali), 2015. 8.
- 7) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School)：Recent Advancement of Clinical and Basic Researches about “Scar”. Ng Teng Fong Hospital Lunch Seminar (N/A) (Singapore), 2015. 9.
- 8) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School)：Recent Advancement of Clinical and Basic Researches about “Scar”. Dinner Symposium of Singapore College of Surgeons (N/A) (Singapore), 2015. 9.

- 9) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : Surgery for Achieving Less-Scars. Annual Meeting of International Society for Dermatologic Surgery (The 36th) (Seoul), 2015. 10.
 - 10) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : Recent Advancement of Total Scar Management. East-Asian Dermatologic Society (The 3rd) (Seoul), 2015. 10.
 - 11) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : Recent Advancement of Wound Healing, Scarring and Tissue Engineering in Plastic Surgery. National Institute of Burns meeting (N/A) (Hanoi), 2015. 10.
 - 12) Hyakusoku H¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : My 40 years on burn reconstructive. National Institute of Burns meeting (N/A) (Hanoi), 2015. 10.
 - 13) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : Recent Advancement of Clinical and Basic Researches about "Scar". Scar Management Symposium at Mackay Memorial Hospital (N/A) (Taipei), 2016. 3.
 - 14) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : Recent Advancement of Clinical and Basic Researches about "Scar". Scar Symposium in Taiwan (N/A) (Taipei), 2016. 3.
 - 15) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : The Latest in Keloid and Hypertrophic Scar Pathophysiology and Treatment Strategies : Pathologic Scar Can Be Treated by Employing Up-To-Date Surgical Management. Annual Meeting of The Korean Society for investigative Dermatology (The 26th) (Seoul), 2016. 3.
 - 16) Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : The Mechanisms of Scar Formation. 2015 Global Prospect and New Innovations for Best Wound Care and Scar Management Conference (N/A) (Kaohsiung), 2015. 6.
 - 17) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 目からウロコの形成外科 : 常識を疑うことで形成外科が発展する ! . 京都大学形成外科集談会 (2015 年度) (京都), 2015. 8.
 - 18) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : いま, 形成外科に求められること - 留学や研究が臨床を豊かにする ! . 横浜形成外科フォーラム (第 22 回) (横浜), 2015. 11.
- (3) 教育講演 :
- 1) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 慣習からの脱却 : Science of Tissue Management が創縫合のスタンダードを変える. 日本外科学会定期学術集会 (第 115 回) (名古屋), 2015. 4.
 - 2) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 「形成外科」ががん治療に携わる意味. 日本医科大学付属病院カンサードミーティング (東京), 2015. 5.
 - 3) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 形成外科と再生医学—人体はどこまで再生できる?—. 日本医科大学バドミントン部主催医学生・研修医のための講演会 (東京), 2015. 10.
 - 4) 百束比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 私の皮弁外科での挑戦 - 探す皮弁から創る皮弁への転換. 手外科・超微小外科研究会 (第 3 回) (東京), 2015. 11.
- (4) シンポジウム :
- 1) 小川 令¹⁾, 赤石論史¹⁾, 土肥輝之¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 小児のケロイド・肥厚性瘢痕に対する治療戦略 : フルドロキシコルチド (ドレニゾン®) テープの有用性. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
 - 2) 桐木園子¹⁾, 宮本正章¹⁾, 高木 元¹⁾, 久保田芳明¹⁾, 手塚晶人¹⁾, 飯村剛史²⁾, 小川 令²⁾, 清水 渉¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院循環器内科, ²⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : マゴットセラピー 180 例から考える難治性慢性下肢潰瘍のシームレス治療. 日本下肢救済・足病学会学術集会 (第 7 回) (横浜), 2015. 7.
 - 3) 小川 令¹⁾, 黄 晨昱¹⁾, 佐野仁美¹⁾ (1) 日本医科大学形成外科) : 物理的刺激による骨・軟骨再生の促進 : 骨・軟骨のメカノバイオロジー. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 24 回) (岩手), 2015. 10.
 - 4) 小川 令¹⁾, Yi Y²⁾, 魯 峰²⁾, 佐野仁美¹⁾ (1) 日本医科大学形成外科, ²⁾ 中国南方病院形成外科) : 脂肪組織の再生を目指して—脂肪組織再生に幹細胞は必要?—. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 24 回) (岩手), 2015. 10.
 - 5) 佐野仁美¹⁾, 市岡 滋²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学形成外科, ²⁾ 埼玉医科大学形成外科) : 創傷治癒における酸素の役割の再考 : 酸素を上手く利用して下肢を救済する ! . 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 24 回) (岩手), 2015. 10.
 - 6) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : メカノバイオロジーから考えた気道の再生医学. 日本気管食道科学会総会・学術講演会 (第 67 回) (福島), 2015. 11.
 - 7) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : レックリングハウゼン病で傷が綺麗に治る理由. 日本レックリングハウゼン病学会学術大会 (第 7 回) (東京), 2015. 11.
 - 8) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : メカノバイオロジー・メカノセラピーに関する医工・医薬連携. 東京理科大学・日本医科大学合同シンポジウム (第 2 回) (東京), 2015. 11.
 - 9) 小野真平¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 有茎穿通枝皮弁は遊離穿通枝皮弁以上に緻密な治療が求められる. 日本形成外科手術手技学会 (第 21 回) (埼玉), 2016. 2.

(5) パネルディスカッション：

- 1) 小野真平¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：穿通枝皮弁を駆使した美しい再建は手指の機能アウトカムを高めるのか？. 日本手外科学会 (第 58 回) (東京), 2015. 4.
 - 2) 佐野仁美¹⁾, 本田 梓¹⁾, 野守美千子¹⁾, 安武正弘²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学形成外科, 2) 日本医科大学総合診療科)：外科医師の総合診療科における役割. 日本外科系連合学会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
 - 3) 小川 令¹⁾, 赤石論史¹⁾, 土肥輝之¹⁾, 栗林茂彦²⁾, 宮下次廣²⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学付属病院放射線治療科)：重症ケロイド症例の治療戦略. 日本創傷外科学会 (第 7 回) (東京), 2015. 7.
 - 4) 百束比古¹⁾, 小川 令¹⁾, 江浦重義¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 小野真平¹⁾, Vinh V²⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) ベトナム国立熱傷研究所病院形成外科)：Microvascular augmented flap. 日本創傷外科学会 (第 7 回) (東京), 2015. 7.
 - 5) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：異物による後遺症. 日本美容外科学会 (第 38 回) (横浜), 2015. 9.
 - 6) 野本俊一¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：成長因子による後遺症. 日本美容外科学会 (第 38 回) (横浜), 2015. 9.
 - 7) 小川 令¹⁾, 赤石論史¹⁾, 佐野仁美¹⁾, 土肥輝之¹⁾, 有馬樹里¹⁾, 野一色千景¹⁾ (1) 日本医科大学形成外科)：創傷治療におけるメカノバイオロジー最前線. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 24 回) (岩手), 2015. 10.
 - 8) 小野真平¹⁾, 林 宏光²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学付属病院放射線科)：血管解剖学的研究の安全・確実な皮弁デザインへの応用：皮膚穿通枝は関節から離れる方向に向かう！. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 24 回) (岩手), 2015. 10.
 - 9) 栢植琢哉¹⁾, 佐野仁美¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：メカニカルフォースに対するリンパ管内皮細胞応答：リンパ浮腫の病態解明と新しい治療開発を目指して. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 24 回) (岩手), 2015. 10.
 - 10) 小川 令¹⁾, 秋田定伯²⁾, 赤石論史¹⁾, 岡部圭介³⁾, 清水史明⁴⁾, 須永 中⁵⁾, 土佐泰祥⁶⁾, 長尾宗朝⁷⁾, 村尾尚規⁸⁾, 山脇聖子⁹⁾ (1) 日本医科大学形成外科, 2) 長崎大学形成外科, 3) 慶応義塾大学形成外科, 4) 大分大学形成外科, 5) 自治医科大学形成外科, 6) 昭和大学形成外科, 7) 岩手医科大学形成外科, 8) 北海道大学形成外科, 9) 医仁会武田総合病院形成外科)：JSW scar scale の改訂：治療ガイドライン作成に向けて 第 2 回. 癬痕・ケロイド治療研究会 (第 10 回) (岩手), 2015. 10.
 - 11) 小野真平¹⁾, 大井宏之²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 聖隷浜松病院手外科・マイクロサージャリーセンター)：受傷早期の皮弁再建は良好な治療アウトカムに直結する. 日本マイクロサージャリー学会 (第 42 回) (埼玉), 2015. 11.
- (6) セミナー：
- 1) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：ケロイド治療の新展開！：血管系の関与を考える. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
 - 2) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：効果的で痛みの少ない創傷治療を目指して：Less pain. Less trauma. Safetac True Story. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
 - 3) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：「NPWT up to date」世界の動向, 最前線. 日本創傷外科学会 (第 7 回) (東京), 2015. 7.
 - 4) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：外科的疾患と高気圧酸素治療. 高気圧酸素治療関連指定講習会 (第 3 回) (東京), 2015. 11.
 - 5) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：創傷治療を考えた手技の実際：癬痕を最小限にするための術中・術後管理法. 日本創傷治療学会 (第 45 回) (東京), 2015. 11.
 - 6) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：癬痕を最小限にするための術中・術後管理法. 日本創傷治療学会 (第 45 回) (東京), 2015. 11.
 - 7) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：知っておくと今後の臨床が変わる！：Z 形成術, W 形成術から局所皮弁のコツ. 日本形成外科手術手技学会 (第 21 回) (埼玉), 2016. 2.
 - 8) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：熱傷癬痕の最新理論と治療の実践. 日本熱傷学会関東地方会 (第 24 回) (東京), 2016. 2.
 - 9) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：ケロイド・肥厚性癬痕は治療できる！：癬痕形成の最新理論から最先端の治療まで. 日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会 (第 79 回) (東京), 2016. 2.
 - 10) 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科)：細胞はどのように力を感じているか？：メカノバイオロジーとメカノセラピー. 先端医学研究所公開セミナー (N/A) (神奈川), 2016. 2.
- (7) ワークショップ：
- 1) 梅澤裕己¹⁾, 中尾淳一¹⁾, 松谷 毅²⁾, 野村 務²⁾, 中溝宗永³⁾, 横島一彦³⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科, 3) 日本医科大学付属病院耳鼻科・頭頸部外科)：頸胸境界部食道癌切除後の再建術における形成外科医の心構え. 日本外科系連合学会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.

- 2) 内海真紀¹⁾, 松代美希¹⁾, 柳原恵子²⁾, 梅澤裕己³⁾, 中尾淳一³⁾, 武井寛幸²⁾ (1) 日本医科大学付属病院看護部, 2) 日本医科大学付属病院乳腺科, 3) 日本医科大学付属病院形成外科) : 乳房再建術に伴う看護師の戸惑いとクリニカルパス作成の取り組み. 日本外科系連合学会 (第40回) (東京), 2015. 6.
- 3) 中尾淳一¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 山岸杏彌²⁾, 進士誠一²⁾, 管隼人²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学付属病院消化器外科) : 当院における直腸癌腔壁合併切除に対する治療戦略. 日本外科系連合学会 (第40回) (東京), 2015. 6.
- (8) 一般講演 :
- 1) Dohi T^{1,2)}, Miyake K²⁾, Aoki M¹⁾, Ogawa R¹⁾, Akaishi S¹⁾, Okada T²⁾, Hyakusoku H¹⁾ (1) Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School, 2) Department of Biochemistry and Molecular Biology, Division of Gene Therapy, Center for Advanced Medical Technology, Nippon Medical School) : Tissue inhibitor of metalloproteinase-2 (TIMP-2) suppresses collagen synthesis within keloids. Annual Meeting of Plastic Surgery Research Council (The 60th) (Seattle), 2015. 5.
- 2) Tsuge T¹⁾, Sano H²⁾, Mitsuwa H²⁾, Honda A¹⁾, Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School, 2) Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Aizu Chuo Hospital) : Algorithms of axillary scar contracture reconstruction. Asian Pacific Burn Congress (The 10th) (Bali), 2015. 8.
- 3) Mitsuwa H¹⁾, Sano H¹⁾, Honda A²⁾, Tsuge T²⁾, Ogawa R²⁾ (1) Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Aizu Chuo Hospital, 2) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : Tips and pitfalls of burn reconstruction using local flaps. Asian Pacific Burn Congress (The 10th) (Bali), 2015. 8.
- 4) Honda A¹⁾, Asahi R²⁾, Ono S¹⁾, Mitsuwa H³⁾, Tsuge T¹⁾, Sano H³⁾, Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School, 2) Plastic surgery, Jichi Medical University Hospital, 3) Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Aizu Chuo Hospital) : An external wire frame fixation method of skin grafting for burn reconstruction. Asian Pacific Burn Congress (The 10th) (Bali), 2015. 8.
- 5) Ueda H¹⁾, Dohi T¹⁾, Iimura T¹⁾, Ono S¹⁾, Akaishi S¹⁾, Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : Reconstruction of An Anterior Chest Wall Keloid Using Internal Mammary Artery Perforator Flaps. Scar Club Meeting (The 6th) (Montpellier), 2015. 9.
- 6) Matsumoto N¹⁾, Akaishi S¹⁾, Dohi T¹⁾, Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : Analysis of The Surgical Treatments of Ear Keloids. Scar Club Meeting (The 6th) (Montpellier), 2015. 9.
- 7) Taga M¹⁾, Huang C²⁾, Matsumoto N¹⁾, Akaishi S¹⁾, Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School, 2) Department of Plastic Surgery, Meitan General Hospital, Beijing) : Pathological Analysis of Keloids and Hypertrophic Scars. Scar Club Meeting (The 6th) (Montpellier), 2015. 9.
- 8) Nakamura K¹⁾, Koike S²⁾, Dohi T¹⁾, Nagashima Y¹⁾, Akaishi S¹⁾, Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School, 2) Sachi Skin Clinic) : Indication and Limitations of Nd : YAG Laser Treatment for Keloids and Hypertrophic Scars. Scar Club Meeting (The 6th) (Montpellier), 2015. 9.
- 9) Noishiki C¹⁾, Kubota Y²⁾, Takagi G²⁾, Ogawa R¹⁾ (1) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School, 2) Department of cardiovascular medicine, Nippon Medical School) : Statistical Analysis of The Relationship Between Keloids and Peripheral Endothelial Function. Scar Club Meeting (The 6th) (Montpellier), 2015. 9.
- 10) 中尾淳一¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 小原良規²⁾, 松本典子¹⁾, 青木宏信²⁾, 藪野雄大²⁾, 小川 令¹⁾, 百東比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター) : 当施設における Fix and flap 成功の工夫. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第58回) (京都), 2015. 4.
- 11) 佐野仁美¹⁾, 大木更一郎¹⁾, 小川 令¹⁾, 十川秀夫²⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) そがわ医院) : 巻き爪・陥入爪に対する十川式爪矯正術の経験. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第58回) (京都), 2015. 4.
- 12) かづきれいこ¹⁾, 青木 律²⁾, 小川 令³⁾, 百東比古³⁾ (1) REIKOKAZKI, 2) グリーンウッドスキンクリニック立川, 3) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : リハビリメイクとカムフラージュメイクの比較に関する検討. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第58回) (京都), 2015. 4.
- 13) 桑原大彰¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 江浦重義¹⁾, ビュービン²⁾, 小川 令¹⁾, 百東比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) ベトナム国立熱傷研究所) : 広範囲皮膚再建における双茎遊離皮弁の有用性の検討. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第58回) (京都), 2015. 4.
- 14) 飯村剛史¹⁾, 小川 令¹⁾, 福嶋善光²⁾, 汲田伸一郎²⁾, 百東比古¹⁾ (1) 日本医科大学形成外科, 2) 日本医科大学放射線科) : リンパ浮腫におけるフチン酸を用いた two-phase lymphoscintigraphy および SPECT-CT の有用性と手術適応判断. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第58回) (京都), 2015. 4.

- 15) 外菌 優¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 中尾淳一¹⁾, 野一色千景¹⁾, 小川 令¹⁾, 百束比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 頸胸部境界領域の難治性瘻孔に対する形成外科的アプローチ. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
- 16) 石井暢明¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 渋谷偉織¹⁾, 有馬樹里²⁾, 百束比古²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, 2) 日本医科大学付属病院形成外科) : 上口唇全層植皮時における幾何学的ワイヤーフレーム外固定法第 2 報 : 有限要素法による解析. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
- 17) 野一色千景¹⁾, 小川 令¹⁾, 久保田芳明²⁾, 高木 元²⁾, 有馬樹里¹⁾, 赤石諭史¹⁾, 百束比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学付属病院循環器内科) : ケロイドの若年発症における血管内皮機能の検討. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
- 18) 飯村剛史¹⁾, 福嶋善光²⁾, 汲田伸一郎²⁾, 百束比古¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学形成外科学, 2) 日本医科大学放射線医学) : リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術とフチン酸による Lymphoscintigraphy・SPECT-CT. 日本外科系連合学会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- 19) 小野真平¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 肘部の皮膚軟部組織再建における上腕の穿通枝プロペラ皮弁の有用性. 北日本形成外科学会 (第 31 回) (仙台), 2015. 6.
- 20) 本田 梓¹⁾, 有馬樹里¹⁾, 柘植琢哉¹⁾, 石角太一郎²⁾, 江浦重義¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学付属病院呼吸器外科) : 気管支断端瘻の 1 例. 谷根千形成懇話会 (第 14 回) (東京), 2015. 7.
- 21) 野守美千子¹⁾, 中尾淳一¹⁾, 梅澤裕己¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 当院における人工物を用いた乳房再建の工夫. 谷根千形成懇話会 (第 14 回) (東京), 2015. 7.
- 22) 柳田邦昭¹⁾, 若林奈緒¹⁾, 野本俊一¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 顔面神経麻痺患者の下眼瞼外反および顔面非対称に対するフェイスリフトの応用. 谷根千形成懇話会 (第 14 回) (東京), 2015. 7.
- 23) 中村加奈恵¹⁾, 大木更一郎¹⁾, 小川 令¹⁾, 佐野仁美¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 巻き爪矯正器具の矯正力特性の比較検討. 谷根千形成懇話会 (第 14 回) (東京), 2015. 7.
- 24) 柘植琢哉¹⁾, 有馬樹里¹⁾, 江浦重義¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 3D 画像撮影装置 (VECTRA®) が術前のシミュレーションを簡便化した前頭骨陥凹骨折の 1 例. 谷根千形成懇話会 (第 14 回) (東京), 2015. 7.
- 25) 多賀麻里絵¹⁾, 赤石諭史¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : ケロイド内の血管に関する電子顕微鏡による解析. 谷根千形成懇話会 (第 14 回) (東京), 2015. 7.
- 26) 上田百蔵¹⁾, 桑原大彰¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 顔面部への穿刺・注入に対する振動デバイスを用いた疼痛緩和に関する研究. 谷根千形成懇話会 (第 14 回) (東京), 2015. 7.
- 27) 上田百蔵¹⁾, 桑原大彰¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 顔面部への穿刺・注入に対する振動デバイスを用いた疼痛緩和に関する研究. 関東形成外科学会東京地方会 (第 282 回) (東京), 2015. 7.
- 28) 朝日林太郎¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 高齢者の顔面皮膚悪性腫瘍切除後皮膚欠損創に対する治療 : ドレーン孔タイプ真皮欠損用グラフトを用いた再建. 日本創傷外科学会 (第 7 回) (東京), 2015. 7.
- 29) 佐野仁美¹⁾, 大木更一郎¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 第 2-5 足趾巻き爪に対するそがわ式爪矯正法の即時的効果の検討. 日本下肢救済・足病学会学術集会 (第 7 回) (横浜), 2015. 7.
- 30) 飯村剛史¹⁾, 福嶋善光²⁾, 汲田伸一郎³⁾, 百束比古¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学付属病院放射線科, 3) 日本医科大学付属病院放射線科) : 下肢リンパ浮腫に対する lymphoscintigraphy と SPECT-CT による評価とリンパ管静脈吻合術への応用. 日本下肢救済・足病学会学術集会 (第 7 回) (横浜), 2015. 7.
- 31) 石井暢明¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 渡辺光子²⁾, 白井 舞²⁾, 小川 令³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院看護部, 3) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 外果部褥瘡に対するハイドロコロイド収縮固定法. 日本褥瘡学会学術集会 (第 17 回) (仙台), 2015. 8.
- 32) 藪野雄大¹⁾, 小川 令¹⁾, 岩切 致²⁾, 村上正洋²⁾, 秋元正宇³⁾, 百束比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院形成外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院形成外科) : 皮膚トレパンを用いた全層植皮術に局所陰圧閉鎖療法を併用した難治性褥瘡に対する治療経験. 日本褥瘡学会学術集会 (第 17 回) (仙台), 2015. 8.
- 33) かづきれいこ¹⁾, 青木 律²⁾, 小川 令³⁾ (1) REIKOKAZKI, 2) グリーンウッドスキンクリニック立川, 3) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 眼瞼および眼瞼周囲の機能的・美容的問題に対する極薄粘着テープの効果. 日本美容外科学会 (第 38 回) (横浜), 2015. 9.
- 34) 飯村剛史¹⁾, 福嶋善光²⁾, 汲田伸一郎²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学付属病院放射線科) : 下肢リンパ浮腫に対する lymphoscintigraphy と SPECT-CT による評価とリンパ管静脈吻合術への応用. 末梢循環カンファレンス (第 1 回) (東京), 2015. 9.
- 35) 中村加奈恵¹⁾, 大木更一郎²⁾, 小川 令¹⁾, 佐野仁美¹⁾ (1) 日本医科大学形成外科, 2) 大木皮膚科) : 巻き爪矯正器具の矯正力特性の比較検討. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 24 回) (岩手), 2015. 10.

- 36) 多賀麻里絵¹⁾, 赤石論史¹⁾, 奈良慎平¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学形成外科): ケロイド内の血管に関する電子顕微鏡による解析. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 24 回) (岩手), 2015. 10.
- 37) 松本典子¹⁾, 佐野仁美¹⁾, 彭 為霞²⁾, 大橋隆治²⁾, 内藤善哉²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院病理診断科): 耳垂ケロイドの臨床症状と組織型の検討. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 24 回) (岩手), 2015. 10.
- 38) 赤石論史¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): ケロイド発生に関する血管の関与の可能性. 癬痕・ケロイド治療研究会 (第 10 回) (岩手), 2015. 10.
- 39) 小川 令¹⁾, 赤石論史¹⁾, 栗林茂彦²⁾, 宮下次廣²⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院放射線治療科): われわれの施設におけるケロイドに対する放射線治療の工夫. 癬痕・ケロイド治療研究会 (第 10 回) (岩手), 2015. 10.
- 40) 小川 令¹⁾, 赤石論史¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): ケロイド・肥厚性癬痕に対する副腎皮質ホルモン剤含有テープの有用性—フルドロキシコルチド製剤とデプロドンプロピオン酸エステル製剤の比較検討. 癬痕・ケロイド治療研究会 (第 10 回) (岩手), 2015. 10.
- 41) 小川 令¹⁾, 赤石論史¹⁾, 土肥輝之¹⁾, 栗林茂彦²⁾, 宮下次廣²⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院放射線治療科): 治療に難渋したケロイド症例の検討. 癬痕・ケロイド治療研究会 (第 10 回) (岩手), 2015. 10.
- 42) 秋元正宇¹⁾, 石井暢明¹⁾, 香西達一¹⁾, 渋谷偉織¹⁾, 小川 令²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 貼付材の創傷に対する力学的効果の検討. 日本シミュレーション外科学会 (第 25 回) (東京), 2015. 10.
- 43) 小川 令¹⁾, 小野真平¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 手・上肢の癬痕拘縮・癬痕治療の考え方: デュブイトラン拘縮に対する新たな治療法の可能性も含めて. 手外科・超微小外科研究会 (第 3 回) (東京), 2015. 11.
- 44) 小野真平¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 上肢再建における穿通枝皮弁の有用性と今後の可能性. 手外科・超微小外科研究会 (第 3 回) (東京), 2015. 11.
- 45) 小野真平¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): Perforator-based bilobed flap 穿通枝双葉皮弁の有用性. 日本マイクロサージャリー学会 (第 42 回) (埼玉), 2015. 11.
- 46) 佐野仁美¹⁾, 桑原広輔¹⁾, 赤石論史¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 爪周囲組織炎症・爪変形性疾患における創傷治療と病態解明. 日本創傷治療学会 (第 45 回) (東京), 2015. 11.
- 47) 小野真平¹⁾, 青木宏信¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 100 円ショップで購入した泡石鹸ポンプボトルで安価に病院内のスキンケアの質を向上させる. 日本創傷治療学会 (第 45 回) (東京), 2015. 11.
- 48) 有馬樹里¹⁾, 本田 梓¹⁾, 柘植琢哉¹⁾, 江浦重義¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 3D 画像撮影装置 (VECTRA) が術前のシミュレーションを簡便化した前頭骨陥凹骨折の 1 例. 日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会 (第 33 回) (兵庫), 2015. 11.
- 49) 櫻井 透¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 太組一朗²⁾, 石井暢明¹⁾, 小川 令³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): Catcher's mask cranioplasty を用いた巨大骨欠損に対する小児頭蓋形成術 2 例と術後 10 年の経過. 日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会 (兵庫), 2015. 11.
- 50) 中尾淳一¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 鬱血した皮弁内の穿通枝をグラフトとし皮弁を救済した 1 例. TEARS (第 4 回) (東京), 2016. 1.
- 51) 佐野仁美¹⁾, 赤石論史¹⁾, 桑原広輔¹⁾, 秋元正宇²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院形成外科): 爪変形性疾患の病態解明と治療への応用. TEARS (第 4 回) (東京), 2016. 1.
- 52) 小野真平¹⁾, 青木宏信¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 炎症性粉瘤の切開排膿における観音開き法 (double door method) の有用性. 日本形成外科手術手技学会 (第 21 回) (埼玉), 2016. 2.
- 53) 石井暢明¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 香西達一¹⁾, 渋谷偉織¹⁾, 櫻井 透¹⁾, 野一色千景¹⁾, 江浦重義²⁾, 小川 令²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): プロペラ皮弁のハイブリッドな進化. 日本形成外科手術手技学会 (第 21 回) (埼玉), 2016. 2.
- 54) 小野真平¹⁾, 青木宏信¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 肩甲部の熱傷潰瘍を上腕動脈穿通枝皮弁で再建した 1 例. 日本熱傷学会関東地方会 (第 24 回) (東京), 2016. 2.
- 55) 桑原広輔¹⁾, Vuquang V²⁾, 梅澤裕己¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ ベトナム国立熱傷研究所病院形成外科): 熱傷再建における鎖骨上皮弁 (Supraclavicular Flap) の有用性. 日本熱傷学会関東地方会 (第 24 回) (東京), 2016. 2.
- 56) Tien L^{1,2)}, 小野真平²⁾, 飯村剛史²⁾, 小川 令²⁾ (1) ベトナム国立熱傷研究所病院, ²⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): MDCT によるケロイド周囲の血管構造の解析. 日本医科大学外国人留学者研究会 (第 26 回) (東京), 2016. 2.
- 57) 石井暢明¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 渡辺光子²⁾, 白井 舞²⁾, 小川 令³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院看護部, ³⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): ハイドロコロイド収縮固定法—Shrink Fix Method—による足部褥瘡の治療. 日本フットケア学会年次学術集会 (第 14 回) (神戸), 2016. 2.

- 58) 外蘭 優¹⁾, 小野真平¹⁾, 上田百蔵¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 股関節周囲筋膿瘍が発症要因と考えられた Burger 病の 1 例. 関東形成外科学会東京地方会 (第 284 回) (東京), 2016. 3.
- (9)
- 1) Sano H¹⁾, Mitsuwa H¹⁾, Honda A²⁾, Tsuge T²⁾, Ogawa R²⁾ (1) Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Aidu Chuo Hospital, 2) Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School) : Importance of steroid tape for the treatment of burn scars, particularly those in pediatric patients. Asian Pacific Burn Congress (The 10th) (Bali), 2015. 8.
 - 2) Koyama T¹⁾, Kobayashi K¹⁾, Hama T²⁾, Murakami K²⁾, Ogawa R³⁾ (1) Men's Health Clinic Tokyo, 2) ANGFA Co, Ltd, Tokyo, 3) Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School) : Standardized scalp massage results in increased hair thickness. World Congress of Hair Reserach (The 9th) (Miami), 2015. 11.
 - 3) 野本俊一¹⁾, 大木更一郎¹⁾, 小野真平¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 野守美千子¹⁾, 百東比古¹⁾ (1) 日本医科大学形成外科) : 顔面神経麻痺患者の下限瞼外反および顔面非対称に対するフェイスリフトの応用. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
 - 4) 若林奈緒¹⁾, 村上正洋²⁾, 安藤玲奈²⁾, 岩切 致²⁾, 土佐眞美子²⁾, 百東比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院形成外科) : 慢性特発性好中球減少症に合併した下腿膿皮症の治療経験. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
 - 5) 杉本貴子¹⁾, 青木宏信²⁾, 櫻井 透¹⁾, 渋谷偉織¹⁾, 石井暢明¹⁾, 百東比古³⁾, 秋元正宇¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, 2) 日本医科大学付属病院救命救急科, 3) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 当院皮膚悪性腫瘍外来における基底細胞癌の 3 年間の臨床統計. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
 - 6) 藪野雄大¹⁾, 小川 令¹⁾, 外蘭 優¹⁾, 百東比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 両下肢に多発したケロイド様外観を呈した持久性隆起性紅斑の 1 例. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
 - 7) 渋谷偉織¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 石井暢明¹⁾, 百東比古²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, 2) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : Trans position flap の有限要素法による術前後評価. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
 - 8) 青木宏信¹⁾, 小川 令¹⁾, 中尾淳一¹⁾, 藪野雄大¹⁾, 横田裕行²⁾, 百東比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター) : 指間への厚め分層植皮術に陰圧閉鎖療法を用いた 1 例. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
 - 9) 有馬樹里^{1,2)}, 赤石諭史^{1,2)}, 小池幸子³⁾, 坂本篤弘⁴⁾, 青木 律¹⁾ (1) グリーンウッドスキンクリニック立川, 2) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 3) さちスキンクリニック, 4) 日本医科大学付属病院麻酔科) : 小児レーザー治療における日帰り麻酔の有用性. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
 - 10) 有馬樹里⁴⁾, 桑原大彰^{1,2)}, 久保一人²⁾, 秋山 豪³⁾, 小川 令¹⁾, 百東比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 会津中央病院形成外科, 3) 会津中央病院救命救急センター, 4) 日本医科大学形成外科・美容外科) : 重症呼吸不全患者に対する腹壁形成術の有用性. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 58 回) (京都), 2015. 4.
 - 11) 小野真平¹⁾, 小川 令²⁾ (1) 会津中央病院形成外科, 2) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : きれいな手指は患者 QOL を向上する -ヘバーデン結節の整容再建-. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
 - 12) 野守美千子¹⁾, 佐野仁美¹⁾, 本田 梓¹⁾, 安武正弘²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学付属病院総合診療センター) : 外科医師の総合診療センターにおける役割. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
 - 13) 桑原大彰¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 腹壁再建における形成外科の役割 -診療科連携の架け橋-. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
 - 14) 奈良慎平¹⁾, 赤石諭史¹⁾, 桐生有紀¹⁾, 多賀麻里絵¹⁾, 西川みどり¹⁾, 赤塚 純¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 膀胱悪性腫瘍摘出後, 腹部正中創離開に対して携帯用陰圧閉鎖システムが有用であった 1 例の検討. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
 - 15) 野一色千景¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 石井暢明¹⁾, 渋谷偉織¹⁾, 松本智司²⁾, 小川 令³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科・消化器外科, 3) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 直腸隆腫の de-nuded local flap による治療. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
 - 16) 三羽英之¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 石井暢明¹⁾, 渋谷偉織¹⁾, 櫻井 透¹⁾, 野一色千景¹⁾, 杉本貴子²⁾, 幸野 健³⁾, 小川 令⁴⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, 2) 北村山公立病院形成外科, 3) 日本医科大学千葉北総病院皮膚科, 4) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 千葉北総病院における皮膚腫瘍外来の運営と現状. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
 - 17) 多賀麻里絵¹⁾, 赤石諭史¹⁾, 土肥輝之¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : ケロイド内血管の多角的検討. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
 - 18) 土肥輝之¹⁾, 青木雅代¹⁾, 赤石諭史¹⁾, 百東比古¹⁾, 小川 令¹⁾, 三宅弘一²⁾, 島田 隆²⁾, 岡田尚巳²⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 日本医科大学学生化学・分子生物学 (分子遺伝学)) : ケロイド線維芽細胞細胞への TIMP2 投与によるコラーゲン生成抑制効果の検討. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.

- 19) 有馬樹里¹⁾, 野一色千景¹⁾, 赤石諭史¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): ケロイドと高血圧の関連性についての追跡調査. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 20) 小川 令¹⁾, 赤石諭史¹⁾, 土肥輝之¹⁾, 栗林茂彦²⁾, 宮下次廣²⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院放射線治療科): 重症ケロイド症例の治療戦略. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 21) 中尾淳一¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 野守美千子¹⁾, 柳原恵子²⁾, 武井寛幸²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院乳腺科): 当院における人工物を用いた乳房再建の工夫. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 22) 佐野仁美¹⁾, 町田 幹¹⁾, 汲田伸一郎²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院放射線科): 乳房再生に向けた乳房形態の左右差に関する検討. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 23) 秋元正宇¹⁾, 石井暢明¹⁾, 渋谷偉織¹⁾, 櫻井 透¹⁾, 野一色千景¹⁾, 三羽英之¹⁾, 小川 令²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 唇裂手術の有限要素法によるシミュレーション. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 24) 石井暢明¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 渋谷偉織¹⁾, 櫻井透 ¹⁾, 野一色千景¹⁾, 三羽英之¹⁾, 小川令 ²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 上口唇全層植皮時における幾何学的ワイヤーフレーム外固定法の力学的意義. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 25) 桑原広輔¹⁾, 佐野仁美¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 足趾把持能力と巻き爪との関係. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 26) 中村加奈恵¹⁾, 佐野仁美¹⁾, 大木更一郎¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 巻き爪矯正器具の矯正力特性の比較検討. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 27) 柘植琢哉¹⁾, 有馬樹里¹⁾, 本田 梓¹⁾, 江浦重義¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 3D 画像撮影装置が術前のシミュレーションを簡便化した前頭骨陥凹骨折の 1 例. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 28) 江浦重義¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 術前に 3D 模型を用いて頭血腫を再建した 1 例: 再建における術前シミュレーションの重要性. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 29) 渋谷偉織¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 石井暢明¹⁾, 太組一朗²⁾, 小川 令³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 前額部内視鏡操作における視野確保の工夫. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 30) 上田百蔵¹⁾, 桑原大彰¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): バイブレーションデバイス今後の展望. 診療科認知率 100% を目指して -. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 31) 青木宏信¹⁾, 小野真平²⁾, 小川 令²⁾ (1) 会津中央病院形成外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 糸やステイプラーを使用しないコットンファイバー植皮法. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 32) 梅澤裕己¹⁾, 中尾淳一¹⁾, 梅澤まり子²⁾, 中溝宗永³⁾, 横島一彦³⁾, 松谷 毅⁴⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院消化器内科, ³⁾ 日本医科大学付属病院耳鼻科・頭頸部外科, ⁴⁾ 日本医科大学付属病院消化器外科): 下咽頭・頸部食道再建が嚥下圧あるいは食道内圧に与える影響. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 33) 本田 梓¹⁾, 有馬樹里¹⁾, 江浦重義¹⁾, 石角太一郎²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院呼吸器外科): 広背筋皮弁による機関誌断端瘻再建の 1 例. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 34) 野本俊一¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): フェイスリフト技術を応用した“再建美容外科”の試み. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 35) 柳田邦昭¹⁾, 野本俊一¹⁾, 若林奈緒¹⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 全身に多発する巨大獣毛性母斑の切除および再建計画に対する考察. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 36) 櫻井 透¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 石井暢明¹⁾, 太組一朗²⁾, 小川 令³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科, ³⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科): 巨大骨欠損に対する split rib graft と calvarial graft を組み合わせた小児頭蓋形成術と術後 10 年の経過. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 37) 若林奈緒¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 柳田邦昭¹⁾, 野本俊一¹⁾, 松本典子²⁾, 内藤善哉²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学病理学 (統御機構・腫瘍学)): 良悪性の診断に非常に苦慮した耳下腺腫瘍の 1 例. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 38) 野守美千子¹⁾, 中尾淳一¹⁾, 梅澤裕己¹⁾, 柳原恵子²⁾, 武井寛幸²⁾, 小川 令¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院乳腺科): ティッシュエキスパンダーの拡張終了後に破損を認めた 2 例. 日本乳房オンコプラステックサージャリー学会総会 (第 3 回) (札幌), 2015. 9.
- 39) 石井暢明¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 小川 令²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院形成外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院形成外科): 幾何学的ワイヤーフレーム外固定法の力学的検討: 有限要素法によるシミュレーションから. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第 24 回) (岩手), 2015. 10.

- 40) 小山太郎¹⁾, 小林一広¹⁾, 小川 令²⁾, 村上佳澄³⁾, 波間隆則³⁾ (1) 医療法人社団ウエルエイジングメンズヘルスクリニック東京, 2) 日本医科大学形成外科, 3) アンファー株式会社開発部) : 頭皮マッサージが毛髪に及ぼす影響の検討. 日本形成外科学会基礎学術集会 (第24回) (岩手), 2015. 10.

論文

[追加分]

追加分総説 :

- 1) Sano H¹⁾, Ogawa R¹⁾ (1) Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School,) : Clinical evidence for the relationship between nail configuration and mechanical forces. *Plastic and Reconstructive Surgery - Global Open*. 2014 ; 7 (2 (3)) : e115.
- 2) 朝日林太郎¹⁾, 大木更一郎¹⁾, 百束比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 顔面熱傷治療における初期治療のコツ. *PEPARS* 2014 ; 90 : 1-7.
- 3) 小野真平¹⁾, 百束比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 大腿前面の有茎穿通枝皮弁 (Pedicled perforator flaps on anterior thigh). *PEPARS* 2014 ; 95 : 83-95.
- 4) 野本俊一¹⁾, 百束比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 顔面美容の合併症・後遺症と処置 : 特に非吸収性 filler 注入の後遺症について. *PEPARS* 2015 ; 99 : 147-153.

追加分原著 :

- 1) Sano H¹⁾, Ichioka S²⁾ (1) Department of Surgical Science, Graduate School of Medicine, University of Tokyo, 2) Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Saitama Medical University Hospital) : Great Toe Necrosis Predicts an Unfavorable Limb Salvage Prognosis. *Plastic and Reconstructive Surgery - Global Open*. 2014 ; 2 (9) : e216.

追加分症例報告 :

- 1) Sano H¹⁾, Ogawa R¹⁾ (1) Department of Plastic, Reconstructive, and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School) : A Novel Non-surgical Treatment for Pincer Nail that Involves Mechanical Force Control : A Case Report. *Plastic and Reconstructive Surgery - Global Open*. 2015 ; 3 (2) : e311.
- 2) Kuwahara H¹⁾, Kubo K¹⁾, Akiyama G²⁾, Takayama Y²⁾, Tosa R²⁾, Hyakusoku H³⁾ (1) Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Aidu Chuo Hospital, 2) Department of Emergency Medicine and Critical Care, Aidu Chuo Hospital, 3) Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School Hospital) : A Case of Obesity Hypoventilation Syndrome (OHS) with Respiratory Failure that Improved with Abdominoplasty. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (1) : 39-42.
- 3) Yabuno Y¹⁾, Tosa M¹⁾, Iwakiri I¹⁾, Nomoto S¹⁾, Kaneko K¹⁾, Kuwahara K¹⁾, Hyakusoku H²⁾, Murakam M¹⁾ (1) Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, 2) Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School) : Refractory leg ulcers associated with Klinefelter syndrome. *J Nippon Med Sch* 2015 ; 82 (1) : 64-67.

学会発表

追加分一般講演 :

- 1) 小野真平¹⁾, 久保一人²⁾, 小川 令¹⁾, 百束比古¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, 2) 東京血管外科クリニック) : ヘバーデン結節の新しい治療戦略 : 残存する関節可動域を温存した整容再建. 日本形成外科学会東京地方会 (第281回) (東京), 2015. 3.

[武蔵小杉病院形成外科]

研究業績

論文

(1) 総説 :

- 1) 百束比古¹⁾, 小野真平¹⁾, 王 春梅²⁾, 岩切 致 (1) 付属病院形成外科, 2) 東莞康華病院形成外科) : 顔面母斑の各種再建術. *PEPARS* 2015 ; 102 : 36-40.

著書

- 1) 村上正洋 : [分担] 第3章 電撃傷・凍傷 3. 電撃傷・凍傷 診断のポイント/治療法の選択. 形成外科治療手技全書 III 創傷外科 (監

修：波利井清紀，野崎幹弘．総編集：平林慎一，川上重彦．編集：楠本健司，館 正弘)，2015；pp237-241，克誠堂出版．

- 2) 村上正洋：〔分担〕下顎骨骨折．形成外科診療ガイドライン5 頭蓋顔面疾患（主に後天性）（編集：日本形成外科学会，日本創傷外科学会，日本頭蓋顔面外科学会），2015；pp28-30，金原出版株式会社．

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 土佐眞美子，村上正洋：年代別のケロイド治療戦略．日本形成外科学会総会・学術集会（第58回）（京都），2015．4．
- 2) 志村知子¹⁾，野口裕幸²⁾，村上正洋（¹⁾ 日本医科大学付属病院高度救命救急センター，²⁾ 北里大学保健衛生専門学院臨床工学学科）：Medical Device Related Pressure Ulcer 予防・管理に関する対策指針策定に向けて．日本褥瘡学会学術集会（第17回）（仙台），2015．8．

(2) パネルディスカッション：

- 1) 村上正洋：下眼瞼疾患（眼瞼内反症，睫毛内反症）治療における私の考え．日本美容外科学会学術集会（第123回）（東京），2015．7．

(3) セミナー：

- 1) 土佐眞美子：帝王切開術における最新知見：子宮筋層縫合と術後癒痕予測．日本産科婦人科学会学術講演会（第67回）（横浜），2015．4．
- 2) 村上正洋：眉毛下皮膚切除（ライブサージェリー）．福岡眼形成ライブサージェリーセミナー（福岡），2015．10．

(4) ポスター：

- 1) 若林奈緒¹⁾，村上正洋，安藤玲奈，岩切 致，土佐眞美子，百束比古¹⁾（¹⁾ 付属病院形成外科）：慢性突発性好中球減少症に合併した下腿膿皮症の治療経験．日本形成外科学会・学術集会（第58回）（京都），2015．4．
- 2) 安藤玲奈，岩切 致，土佐眞美子，村上正洋：高齢者の皮膚剥離創に対するPICO®創傷治療システムの使用経験．日本創傷外科学会総会・学術集会（第7回）（東京），2015．7．
- 3) 伊吾田慎一¹⁾，土佐眞美子，岩切 致，村上正洋（¹⁾ 東戸塚記念病院形成外科）：壊死性筋膜炎に対して，MPWT+ 低侵襲手術で治療した1例．日本創傷外科学会総会・学術集会（第7回）（東京），2015．7．
- 4) 安藤玲奈，庄司真美，金子繭子，渡邊真泉，岩切 致，土佐眞美子，村上正洋：高齢者の皮膚剥離創におけるPICO®創傷治療システムの有用性．日本医科大学医学会総会（第83回）（東京），2015．9．

(5) 一般講演：

- 1) 庄司真美，安藤玲奈，渡邊真泉，岩切 致，土佐眞美子，村上正洋：前胸部皮下皮様囊腫の3例．谷根千形成懇話会（第14回）（東京），2015．7．
- 2) 土佐眞美子，岩切 致，村上正洋：ピアス孔再作成を希望した耳垂ピアスケロイド患者の検討：電子線治療から5年後のケロイド再発率．日本創傷外科学会総会・学術集会（第7回）（東京），2015．7．
- 3) 大木琴美^{1,2)}（¹⁾ 博慈会記念総合病院形成外科，²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院形成外科）：持続洗浄，局所陰圧閉鎖療法のうち腹直筋弁で治癒しえた稀な恥骨骨髓炎の1症例．日本創傷外科学会総会・学術集会（第7回）（東京），2015．7．
- 4) 藪野雄大¹⁾，小川 令¹⁾，岩切 致，村上正洋，秋元正宇²⁾，百束比古¹⁾（¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科，²⁾ 日本医科大学千葉北総病院形成外科）：皮膚トレパンを用いた全層植皮術に局所陰圧閉鎖療法を併用した難治性褥瘡に対する治療経験．日本褥瘡学会学術集会（第17回）（仙台），2015．8．
- 5) 土佐眞美子，安齋眞一¹⁾，枝川聖子²⁾，村上正洋（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院皮膚科，²⁾ 日本医科大学先端医学研究所）：ケロイド病変内にみられた異所性骨化の臨床的・病理学的検討．日本形成外科学会基礎学術集会（第24回）（盛岡），2015．10．

論文

〔追加分〕

追加分原著：

- 1) Yabuno Y, Tosa M, Iwakiri I, Nomoto S, Kaneko M, Kuwahara K, Hyakusoku H¹⁾, Murakami M（¹⁾ Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School）：Refractory Leg Ulcers Associated with Klinefelter Syndrome. Journal of Nippon Medical School 2015；82（1）：64-67.

著書

追加分：

- 1) 土佐眞美子：〔分担〕11. ケロイド治療の標的としてのIL-6シグナルとWntシグナル・基礎編．癒痕・ケロイドはここまで治せる Less-Scar Wound Healing のための形成外科（小川令），2015；pp69-74，克誠堂出版．

学会発表

追加分一般講演：

- 1) 庄司真美, 村上正洋, 中尾淳一¹⁾, 奈良慎平¹⁾, 桑原大彰²⁾, 百束比古¹⁾ (¹⁾ 付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 会津中央病院形成外科)：母指多指症 Wassel 分類 4 型に対する最終的な癒痕の検討. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 57 回) (長崎), 2014. 4.
- 2) 石井暢明¹⁾, 秋元正宇¹⁾, 村上正洋, 百束比古²⁾ (¹⁾ 千葉北総病院形成外科, ²⁾ 付属病院形成外科)：埋没耳における猫耳法と正方弁のデザインに関する考察：有限要素法による解析から. 日本形成外科学会総会・学術集会 (第 57 回) (長崎), 2014. 4.

[千葉北総病院形成外科]

研究概要

コンピュータ・シミュレーションによる臨床上のさまざまな現象の解明をテーマに研究をおこなっている。ケロイドの進展機序に関するコンピューターシミュレーションの研究、頭蓋顔面外科領域とくに脳神経外科との境界領域における頭蓋再建術の研究に成果があった。皮膚手術シミュレーションの研究は、様々な皮膚形成術をモデル化し、手術シミュレーションを行うものである。皮膚形成術により発生する皮膚の進展、圧縮変形、応力、ひずみなどを解析しその構造力学的挙動を解明した。褥瘡発生機序の研究は褥瘡モデルを作成し様々な力学的条件からその発生機序を解明するものである。これらの結果から褥瘡発生予防効果の高いシートの形状を考察した。今後褥瘡発生予防のための新しい器具の開発、褥瘡再発防止効果の高い新しい手術法の開発等が期待できる。ケロイドの進展機序に関する研究はケロイドをモデル化し応力集中の状況からその進展機序を解明しようとするものである。従来のモデルでは説明のできなかった様々ケロイドの特性について構造力学的に解析した。さらにケロイドの進展予防のためのシリコンシートの作用機序について解明を試みた。

研究業績

論文

(1) 総説：

- 1) 秋元正宇¹⁾：Z 形成術の延長率のシミュレーション. 形成外科 2015；58 (4)：343-349.
- 2) 秋元正宇：有限要素法によるシミュレーション入門. PEPARS 2015；108 (1)：42-47.
- 3) 中尾淳一¹⁾, 小野真平¹⁾, 林 宏光²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学付属病院 放射線科)：画像データの 3 次元化ツール「OsiriX」を使いこなす. PEPARS 2015；108 (1)：56-62.
- 4) 秋元正宇：形成外科医のためのエクセルの使い方. PEPARS 2015；108 (1)：83-89.
- 5) 秋元正宇：PC の情報セキュリティ：情報事故を起こさないために：PC とわたしの 10 の約束. PEPARS 2015；108 (1)：102-105.

(2) 症例報告：

- 1) 渋谷偉織, 秋元正宇, 石井暢明, 太組一朗²⁾, 小川 令¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科)：内視鏡下に前額部小切開と CPP により治療を行った前頭骨陥没骨折の治療経験. 頭蓋顔面外科学会誌 2015；31 (2)：66-71.
- 2) 香西達一, 秋元正宇, 小川 令¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科)：耳瘻孔様外観を呈し、眉毛外側から頭蓋骨内にまで及んだ頬皮嚢腫の 1 例. 頭蓋顔面外科学会誌 2015；31 (4)：292-297.

著書

- 1) 秋元正宇：〔分担〕ケロイド・肥厚性癒痕ガイドライン 第 2 編第 3 章 壊死性軟部組織感染症. 形成外科診療ガイドライン 急性創傷/癒痕ケロイド (編集：日本形成外科学会・日本創傷外科学会・日本頭蓋顔面外科学会), 2015；pp87-87, 金原出版.
- 2) 秋元正宇：〔分担〕皮膚切開・縫合における形成外科的留意点. 新 NSNOW No.3 基本開頭術と頭蓋底開頭術 (編集：森田明夫・伊藤勲・菊田健一郎), 2015；pp16-25, メジカルビュー.
- 3) 秋元正宇：〔編集〕外科系における PC 活用術. PEPARS (編集：秋元 正宇), 2015；pp1-106, 全日本病院出版会.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) Akimoto M, Ishii N：Computer analysis of cleft-lip surgery. Congress of international society of craniofacial surgery (Tokyo), 2015. 9.
- 2) 石井暢明, 秋元正宇, 渋谷偉織, 有馬樹里¹⁾, 百束比古¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科)：上口唇全層植皮時における幾何学的ワイヤーフレーム外固定法第 2 報—有限要素法による解析. 日本形成外科学会総会・学術集会 (京都), 2015. 4.
- 3) 野一色千景, 小川 令²⁾, 久保田芳明¹⁾, 高木 元¹⁾, 有馬樹里²⁾, 赤石諭史²⁾, 百束比古²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 循環器内科, ²⁾ 日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科)：ケロイドの若年発症における血管内皮機能の検討. 日本形成外科学会総会・学術集会 (長崎), 2015. 4.

- 集会（京都），2015. 4.
- 4) 杉本貴子¹⁾，青木宏信²⁾，櫻井 透，渋谷偉織，石井暢明，百束比古²⁾，秋元正宇（¹⁾北村山公立病院 形成外科，²⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科）：当院皮膚悪性腫瘍外来における基底細胞癌の3年間の臨床統計. 日本形成外科学会総会・学術集会（京都），2015. 4.
 - 5) 渋谷偉織，秋元正宇，石井暢明，百束比古¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科）：Trans position flap の有限要素法による術前術後評価. 日本形成外科学会総会・学術集会（京都），2015. 4.
 - 6) 杉本貴子¹⁾，青木宏信²⁾，櫻井 透，渋谷偉織，石井暢明，秋元正宇（¹⁾北村山公立病院 形成外科，²⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科）：皮膚腫瘍外来の3年半の臨床統計. 山形形成外科懇話会（山形），2015. 6.
 - 7) 石井暢明，秋元正宇，渡辺光子，白井 舞，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科）：外果部褥瘡に対するハイドロコロイド収縮固定法. 日本褥瘡学会学術集会（仙台），2015. 8.
 - 8) 白井 舞，渡辺光子，石井暢明：用手形成皮膚保護材を用いた褥瘡の排泄物汚染に対する予防ケア. 日本褥瘡学会学術集会（仙台），2015. 8.
 - 9) 藪野雄大¹⁾，小川 令¹⁾，岩切 致²⁾，村上正洋²⁾，秋元正宇，百束比古¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科，²⁾日本医科大学武蔵小杉病院 形成外科）：皮膚トレパンを用いた全層植皮術に局所陰圧閉鎖療法を併用した難治性褥瘡に対する治療経験. 日本褥瘡学会学術集会（仙台），2015. 8.
 - 10) 野一色千景，秋元正宇，石井暢明，渋谷偉織，松本智司²⁾，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科，²⁾日本医科大学千葉北総病院 消化器外科）：直腸腔瘻の de-nuded local flap による治療. 日本医科大学医学会総会（東京），2015. 9.
 - 11) 三羽英之，秋元正宇，石井暢明，渋谷偉織，櫻井 透，野一色千景，杉本貴子³⁾，幸野 健²⁾，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科，²⁾日本医科大学千葉北総病院 皮膚科，³⁾北村山公立病院 形成外科）：千葉北総病院における皮膚腫瘍外来の運営と現状. 日本医科大学医学会総会（東京），2015. 9.
 - 12) 秋元正宇，石井暢明，渋谷偉織，櫻井 透，野一色千景，三羽英之，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科）：唇裂手術の有限要素法によるシミュレーション. 日本医科大学医学会総会（東京），2015. 9.
 - 13) 石井暢明，秋元正宇，渋谷偉織，櫻井 透，野一色千景，三羽英之，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科）：上口唇全層植皮時における幾何学的ワイヤーフレーム外固定法の力学的意義. 日本医科大学医学会総会（東京），2015. 9.
 - 14) 渋谷偉織，秋元正宇，石井暢明，太組一朗²⁾，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科，²⁾日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科）：前額部内視鏡操作における視野確保の工夫. 日本医科大学医学会総会（東京），2015. 9.
 - 15) 秋元正宇：創傷被覆材9種の力学的検討（有限要素法によるシミュレーションから）. 日本形成外科学会基礎学術集会（岩手），2015. 10.
 - 16) 石井暢明，秋元正宇，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科）：幾何学的ワイヤーフレーム外固定法の力学的検討 - 有限要素法によるシミュレーションから. 日本形成外科学会基礎学術集会（岩手），2015. 10.
 - 17) 秋元正宇，石井暢明，香西達一，渋谷偉織，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科）：貼付材の創傷に対する力学的効果の検討. 日本シミュレーション外科学会（東京），2015. 10.
 - 18) 櫻井 透，秋元正宇，太組一朗²⁾，石井暢明，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科，²⁾日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科）：Catcher's mask cranioplasty を用いた巨大骨欠損に対する小児頭蓋形成術2例と術後10年の経過. 日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会（兵庫），2015. 11.
 - 19) 佐野仁美¹⁾，赤石論史¹⁾，桑原広輔¹⁾，秋元正宇，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科）：爪変形性疾患の病態解明と治療への応用. TEARS（東京），2016. 1.
 - 20) 石井暢明，秋元正宇，香西達一，渋谷偉織，櫻井 透，野一色千景，江浦重義¹⁾，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科）：プロペラ皮弁のハイブリッドな進化. 日本形成外科手術手技学会（埼玉），2016. 2.
 - 21) 石井暢明，秋元正宇，渡辺光子，白井 舞，小川 令¹⁾（¹⁾日本医科大学付属病院 形成外科・美容外科）：ハイドロコロイド収縮固定法 - Shrink Fix Method - による足部褥瘡の治療. 日本フットケア学会年次学術集会（神戸），2016. 2.

27. リハビリテーション学分野

[付属病院リハビリテーション科]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Tsuchiya M¹⁾, Morita A²⁾, Hara Y¹⁾ (1) 日本医科大学リハビリテーション科, 2) 日本医科大学脳神経外科) : Effect of dual therapy with botulinum toxin A injection and electromyography-controlled functional electrical stimulation on active function in the spastic paretic hand. J Nippon Med Sch 2016 ; 83 : 15-23.

(2) 総説：

- 1) Hara Y : Brain plasticity and rehabilitation in stroke patients. J Nippon Med Sch 2015 ; 82 : 4-13.
- 2) 原 行弘 : 運動誘発型機能的電気刺激 (IVES) と脳神経機能的再構築. Jpn J Rehabil Med 2015 ; 52 : 323-326.

著書

- 1) : パワーアシスト機能的電気刺激によるニューロリハビリテーション. パワーアシスト, ロボット分野における部材技術, 今後の展望, 参入の狙いどころ, 2015 ; pp376-391, 技術情報協会.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) Hara Y, Obayashi S, Tsujiuchi K, Muraoka Y (1) The Department of Rehabilitation Medicine, Nippon Medical School, 2) The Faculties of Human Sciences, Waseda University) : Brain plasticity induced by the electromyography-controlled functional electrical stimulation : Near-infrared spectroscopy (NIRS) study. International Society of Physical medicine & Rehabilitation (9th) (Berlin), 2015. 6.

[千葉北総病院リハビリテーション科]

研究業績

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) Obayashi S¹⁾, Hara Y¹⁾, Tsuchiya M¹⁾, Fuseya H¹⁾, Kobayashi S²⁾ (1) Department of Rehabilitation medicine, Chiba-Hokusoh Hospital, Nippon medical school, 2) Department of Neurosurgery, Chiba-Hokusoh Hospital, Nippon medical school) : Hypo-frontal activity in the patients with pontine infarcts during word retrieval : a near-infrared spectroscopy study. European Brain and Behavior society 2015 (Gran Guardia Palace-Verona, Italy), 2015. 9.

28. 付属病院付置施設等

[付属病院遺伝診療科]

研究概要

新しい時代の遺伝子医学に対応するため、遺伝子医療部門が大学病院を中心に全国的に立ち上がり、日本医科大学付属病院では平成15年5月から独立した遺伝診療科として遺伝診療外来（遺伝カウンセリング）を行っている。年々来談者数は増加し、新患者数は27年度199名、平成28年3月までにのべ約1200件となった。遺伝診療外来は臨床遺伝専門医、看護師、認定遺伝カウンセラーによるチームで担当している。個々の症例の診療方針や倫理的問題点は、外来担当者以外に基礎医学研究者、臨床医、臨床心理士などの各職種が参加する月1回定例の遺伝診療カンファレンスで検討している。遺伝子検査はハイテクリサーチセンターと共同で低ホスファターゼ症、血管型エーラスダンロス症候群などについて遺伝子診断法を独自に確立し、他施設からの依頼にも応じている。高度の倫理的な検討が必要な出生前遺伝子診断、発症前診断は倫理委員会との連携をとり施行した。特に、「無侵襲的出生前遺伝学的検査である母体血中 cell free DNA 胎児染色体検査 (NIPT) の遺伝カウンセリングに関する研究」に関する臨床研究実施施設として日本医学会の認定および登録を受け、平成25年10月より開始した。遺伝診療外来の対象疾患は、小児・生殖領域だけでなく、家族性腫瘍や成人疾患へと幅が広がってきている。また、診断として行われる遺伝学的検査は保険収載される疾患数が増え、日常診療においても遺伝情報が活用できる場も増えてきている。遺伝学的リテラシーを向上するために、卒前（臨床遺伝コース）、卒後（臨床遺伝専門医制度認定施設）の臨床遺伝教育に力を入れ、学外からも高い評価を受けている。今後も我が国の遺伝医療の一角を担うと共に、日本医科大学を代表する診療科として発展させていきたい。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Sago H^{1,2)}, Sekizawa A^{1,3)}, Watanabe A¹⁾ Japan NIPT consortium, Tokyo, Japan, ²⁾ Center of Maternal-Fetal, Neonatal and Reproductive Medicine, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan, ³⁾ Department of Obstetrics and Gynecology, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan) : Nationwide demonstration project of next-generation sequencing of cell-free DNA in maternal plasma in Japan : 1-year experience. *Prenatal Diagnosis* 2015 ; 35 (4) : 331-336.
- 2) Koeda M¹⁾, Watanabe A, Tsuda K⁴⁾, Matsumoto M⁵⁾, Ikeda Y⁵⁾, Kim W¹⁾, Tateno A¹⁾, Naing TB^{2,3)}, Karibe H⁵⁾, Shimada T³⁾, Suzuki H⁶⁾, Matsuura M⁴⁾, Okubo Y¹⁾ (¹⁾ Department of Neuropsychiatry, ²⁾ Division of Personalized Genetic Medicine, ³⁾ Department of Biochemistry and Molecular Biology, ⁴⁾ Department of Biofunctional Informatics, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan, ⁵⁾ Department of Pediatric Dentistry, Nippon Dental University, Tokyo, Japan, ⁶⁾ Department of Pharmacology) : Interaction effect between handedness and CNTNAP2 polymorphism (rs7794745 genotype) on voice-specific fronto-temporal activity in healthy individuals : an fMRI study. *Frontiers in Behavioral Neuroscience* 2015 ; 9 (87).
- 3) 渡邊 淳, 武田 (岡崎) 恵利^{1,2)}, 佐々木元子 (¹⁾ 名古屋市立大学病院産科婦人科, ²⁾ お茶の水女子大学大学院) : ますま臨床利用が進む遺伝子検査 : その現状と今後の展望そして課題—第4章遺伝カウンセリングとその周辺 1. 遺伝学的検査を扱う際に知っておくべきガイドラインの概要. *遺伝子医学 MOOK* 2015 ; 28 : 222-227.
- 4) Oyama S¹⁾, Funasaka Y¹⁾, Watanabe A, Takizawa T²⁾, Kawana S¹⁾, Saeki H¹⁾ (¹⁾ Departments of Dermatology, ²⁾ Molecular Medicine and Anatomy) : BRAF, KIT, and NRAS mutations and expression of c-KIT, pERK and pAKT in Japanese melanoma patients. *The Journal of Dermatology* 2015 ; 42 (5) : 477-484.
- 5) Hara K¹⁾, Watanabe A, Matsumoto S¹⁾, Matsuda Y³⁾, Kuwata T⁴⁾, Kan H¹⁾, Yamada T¹⁾, Koizumi M¹⁾, Shinji S¹⁾, Yamagishi A¹⁾, Ishiwata T³⁾, Naito Z³⁾, Shimada T²⁾, Uchida E¹⁾ (¹⁾ Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, ²⁾ Department of Biochemistry and Molecular Biology, ³⁾ Department of Pathology and Integrative Oncological Pathology, ⁴⁾ National Cancer Center Hospital East, Kashiwa, Japan) : Surgical Specimens of Colorectal Cancer Fixed with PAXgene Tissue System Preserve High-Quality RNA. *Biopreservation and Biobanking* 2015 ; 13 (5) : 325-334.
- 6) 渡邊 淳 : 固形腫瘍におけるコンパニオン診断と利用のポイント. *臨床病理* 2015 ; 63 (11) : 1310-1315.
- 7) Iijima O¹⁾, Miyake K¹⁾, Watanabe A, Miyake N¹⁾, Igarashi T^{1,2)}, Kanokoda C¹⁾, Nakamura-Takahashi A¹⁾, Kinoshita H³⁾, Noguchi T⁴⁾, Abe S⁴⁾, Narisawa S⁵⁾, Millán LJ⁵⁾, Okada T¹⁾, Shimada T¹⁾ (¹⁾ Division of Gene Therapy, Department of Biochemistry and Molecular Biology, Research Center for Advanced Medical Technology, ²⁾ Department of Ophthalmology, ³⁾ Department of Dental Materials Science, Tokyo Dental College, Tokyo, Japan, ⁴⁾ Department of Anatomy, Tokyo Dental College, Tokyo, Japan, ⁵⁾ Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham Medical Research Institute, La Jolla, California) : Prevention of Lethal Murine Hypophosphatasia by Neonatal Ex Vivo Gene Therapy Using Lentivirally Transduced Bone Marrow

Cells. Human Gene Therapy 2015 ; 26 (12) : 801-812.

- 8) Tosa M¹, Watanabe A, Ghazizadeh M¹ (¹ Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, Kawasaki, Japan) : IL-6 Polymorphism and Susceptibility to Keloid Formation in a Japanese Population. Journal of Investigative Dermatology 2016 ; 136 : 1069-1072.
- 9) Yaoita M¹, Niihori T¹, Mizuno S², Okamoto N³, Hayashi S⁴, Watanabe A, Yokozawa M⁵, Suzumur H⁶, Nakahara A⁷, Nakano Y⁸, Hokosaki T⁹, Ohmori A¹⁰, Sawada H¹⁰, Migita O, Mima A, et al. (¹ Department of Medical Genetics, Tohoku University School of Medicine, Sendai, Japan, ² Department of Pediatrics, Central Hospital, Aichi Human Service Center, Kasugai, Japan, ³ Department of Medical Genetics, Osaka Medical Center, Research Institute for Maternal and Child Health, Izumi, Japan, ⁴ Department of Neonatology, The Jikei University Hospital, Tokyo, Japan, ⁵ Department of Pediatric Cardiology, Hokkaido Medical Center for Child Health and Rehabilitation, Sapporo, Japan, ⁶ Department of Pediatrics, Dokkyo Medical University, Tochigi, Japan, ⁷ Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, University of Miyazaki, Miyazaki, Japan, ⁸ Department of Cardiology, Nagano Children's Hospital, Nagano, Japan, ⁹ Department of Pediatrics, Yokohama City University Hospital, Yokohama, Japan, ¹⁰ and others) : Spectrum of mutations and genotype-phenotype analysis in Noonan syndrome patients with RIT1 mutations. Human Genetics 2016 ; 135 (2) : 209-222.
- 10) Watanabe A, Satoh K¹, Maniwa T¹, Matsumoto K¹ (¹ Department of Biosignaling and Radioisotope Experiment, Interdisciplinary Center for Science Research, Organization for Research, Shimane University) : Proteomic analysis for the identification of serum diagnostic markers for joint hypermobility syndrome. International Journal of Molecular Medicine 2016 ; 37 (2) : 461-467.
- 11) Nakamura-Takahashi A¹, Miyake K¹, Watanabe A, Hirai Y¹, Iijima O¹, Miyake N¹, Adachi K¹, Nitahara-Kasahara Y¹, Kinoshita H², Noguchi T³, Abe S³, Narisawa S⁴, Millan LJ⁴ (¹ Department of Biochemistry and Molecular Biology, ² Department of Dental Materials Science, Tokyo Dental College, Tokyo, Japan, ³ Department of Anatomy, Tokyo Dental College, Tokyo, Japan, ⁴ Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham Prebys Medical Discovery Institute, La Jolla, California, USA) : Treatment of hypophosphatasia by muscle-directed expression of bone-targeted alkaline phosphatase via self-complementary AAV8 vector. Molecular Therapy -Methods & Clinical Development 2016 ; 3 : 15059.

(2) 総説 :

- 1) 糸賀 栄¹, 渡邊 淳, 野村文夫¹ (¹ 千葉大学医学部附属病院) : 「ますます臨床利用が進む遺伝子検査: その現状と今後の展望そして課題」第1章 実用化に向かう次世代シーケンサーとその周辺7. 全自動遺伝子解析装置の最新情報. 遺伝子医学MOOK 2015 ; 28 : 54-61.

著 書

- 1) 渡邊 淳 : [分担] 11. 遺伝子関連検査 14. 結合織疾患. 日常診療のための検査値のみかた (野村文夫, 村上正巳, 和田隆志, 末岡榮三郎編集), 2015 ; pp697-702, 中外医学社.

学会発表

(1) 特別講演 :

- 1) 渡邊 淳 : 医療現場でPGx検査を実施する有用性: 現状と課題「医療現場におけるPGxの実際と展望—TDMとPGxとの協働を目指して」. 日本TDM学会・学術大会 (第32回) (松本市), 2015. 5.
- 2) 渡邊 淳 : ファーマコゲノミクス (PGx) 検査. 遺伝カウンセリング研修会 (第6回) (松本市), 2015. 7.
- 3) 渡邊 淳 : PGx情報の活用に向けた現状と課題「遺伝情報の取り扱いについて」. 日本遺伝子診療学会大会 (第22回) (横浜市), 2015. 7.

(2) シンポジウム :

- 1) 渡邊 淳 : 中等教育担当者との協働活動の取り組み. 遺伝関連学会合同シンポジウム「ヒトの遺伝教育の充実に向けて」. 日本人類遺伝学会大会 (第60回) (東京), 2015. 10.

(3) 一般講演 :

- 1) 金子朋広¹, 新井桃子¹, 森田めぐみ¹, 渡辺容子¹, 平間章郎¹, 藤田恵美子¹, 清水 章², 渡邊 淳, 鶴岡秀一¹ (¹ 日本医科大学付属病院 腎臓内科, ² 日本医科大学付属病院 解析人体病理学) : 遺伝子型測定によるタクロリムス治療効果判定の有用性. 日本腎臓学会学術総会 (第58回) (名古屋), 2015. 6.
- 2) 佐々木元子, 松本健一¹, 島田 隆, 岡田尚巳², 渡邊 淳 (¹ 島根大学総合研究支援センター, ² 日本医科大学大学院 分子遺伝学) : えん下困難, 早期満腹を伴う関節可動亢進型エーラスダンロス症候群. 日本人類遺伝学会大会 (第60回) (東京), 2015. 10.
- 3) 田嶋華子¹, 渡邊 淳, 根本晴子², 佐々木元子, 伊藤保彦¹ (¹ 日本医科大学 小児科, ² 日本大学松戸歯学部 小児歯科学講座) : 乳歯早期脱落を機に受診し, 低ホスファターゼ症 (歯限局型) と診断した1例. 日本小児科学会 東京都地方会講話会 (第626回)

(東京), 2016. 3.

[付属病院心臓血管集中治療科]

研究概要

学会活動では、急性心筋梗塞、大動脈解離、肺塞栓症、重症緊急不整脈など循環器救急・集中治療に関する幅広いテーマで、日本集中治療医学会、循環器学会、心臓病学会と関連主要学会にて報告した。集中治療医学会では循環器内科エコー班メンバーと共に、ベッドサイド心エコー「FOCUSを使いこなす」のハンズオンセミナーを開催した。また、論文発表では、静注アミオダロン抵抗性 electrical storm の特徴を検討した “Clinical and Electrocardiographic Characteristics of Electrical Storms Due to Monomorphic Ventricular Tachycardia Refractory to Intravenous Amiodarone” をはじめ、原著ならびに症例報告を行った。総説では、「JRC 蘇生ガイドライン 2015」の ACS 作業部会員に加わった。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Inoue Arita Y¹⁾, Akutsu K¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Kawanaka H¹⁾, Kitamura M¹⁾, Murata H¹⁾, Miyachi H¹⁾, Hosokawa Y¹⁾, Tanaka K¹⁾, Shimizu W¹⁾ (1) Division of Cardiovascular Intensive Care) : Fever in acute aortic dissection is caused by endogenous mediators that influence the extrinsic coagulation pathway and do not elevate procalcitonin. Intern Med 2015 ; in press.
- 2) Murata H¹⁾, Miyauchi Y¹⁾, Hayashi M¹⁾, Iwasaki Y¹⁾, Yodogawa K¹⁾, Ueno A¹⁾, Hayashi H¹⁾, Tsuboi I¹⁾, Uetake S¹⁾, Takahashi K¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Maruyama M¹⁾, Akutsu K¹⁾, Yamamoto T¹⁾, Kobayashi-T Y¹⁾, et al. (1) Division of Cardiovascular Intensive Care) : Clinical and Electrocardiographic Characteristics of Electrical Storms Due to Monomorphic Ventricular Tachycardia Refractory to Intravenous Amiodarone. Circ J. 2015 ; 79 (10) : 2130-2137.
- 3) Sangen H, Tanabe J¹⁾, Takano H²⁾, Shimizu W²⁾ (1) Department of Cardiovascular Medicine, Shizuoka Medical Center) : Successful early diagnosis and treatment in a case of Toxocara canis-induced eosinophilic myocarditis with eosinophil-rich pericardial effusion. BMJ Case Rep. 2015.

(2) 総説：

- 1) 山本 剛, 高山守正¹⁾ (1) 日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院) : わが国の急性冠症候群レジストリの現状と今後の展望について : 東京都 CCU ネットワーク. 冠疾患誌 2015 ; 21 (2) : 132-136.
- 2) 山本 剛 : 患者管理「救命救急と集中治療」. 教育セミナーテキスト 2015 ; (31) : 42-46.
- 3) 鈴木啓士, 山本 剛, 岩永 航¹⁾, 清水 渉, 竹田晋浩¹⁾ (1) 外科系集中治療科) : 重症病態を診る! モニタリングの魅力 -ER, ICU, OPE 室での症例から学ぶ: 循環不全, 心筋梗塞. 救急・集中治療 2015 ; 27 (5/6) : 409-416.
- 4) 三軒豪仁, 山本 剛 : 心原性ショックの輸液療法. 救急・集中治療 2015 ; 27 (91) : 711-717.
- 5) 黄 俊憲, 山本 剛 : 肺血拴塞栓症. EMERGENCY CARE 2015 ; 28 (11) : 1100-1106.
- 6) 田島廣之¹⁾, 金城忠志¹⁾, 竹ノ下尚子¹⁾, 市川太郎²⁾, 一色彩子²⁾, 中摩健二³⁾, 佐藤直樹³⁾, 村田 智⁴⁾, 小野澤志郎⁴⁾, 三樹いずみ⁴⁾, 山本 剛, 中沢 賢 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 血管内・低侵襲治療センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院 放射線科, 3) 日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科, 4) 放射線科, 5) 埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科) : 肺血拴塞栓症に対する Interventional Radiology の実際. 臨床放射線 2016 ; 61 (1) : 177-184.
- 7) 山本 剛 : 急性肺塞栓症の管理方針 : 早期の予後予測に基づいて. 血液フロンティア 2016 ; 26 (3) : 45-50.

著書

- 1) 古瀬領人, 山本 剛, 清水 渉, 竹田晋浩¹⁾ (1) 外科系集中治療科) : [分担] Part 1 急性心不全 重症管理 15章 呼吸管理 : NIV. 循環器急性期診療 (香坂 俊), 2015 ; pp161-172, メディカルサイエンスインターナショナル.
- 2) 鈴木啓士, 山本 剛, 岩永 航¹⁾, 清水 渉, 竹田晋浩¹⁾ (1) 外科系集中治療科) : [分担] 心筋梗塞. 重症病態を診る! モニタリングの魅力 (川前金幸), 2015 ; pp409-416, 総合医学社.
- 3) 坏 宏一 : [分担] 大動脈疾患. 循環器診療のエビデンスを使いこなす (清水渉), 2015 ; pp146-153, 秀潤社.
- 4) 山本 剛 : [分担] 肺高血圧症. 循環器診療の最新エビデンスを使いこなす (清水 渉), 2015 ; pp132-145, 学研メディカル秀潤社.
- 5) 山本 剛 : [分担] 症状・徴候から見た静脈血拴塞栓症診断の鑑別手順 1) 呼吸困難・胸痛へのアプローチ. 臨床医のための静脈血拴塞栓症 (深部静脈血拴症・急性肺塞栓症) 診断・治療マニュアル (福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015 ; pp122-125, 医薬ジャーナル社.
- 6) 山本 剛 : [分担] 1. 症状・徴候から見た静脈血拴塞栓症診断の鑑別手順 2) ショック, 心停止へのアプローチ. 臨床医のための静

脈血栓塞症〈深部静脈血栓症・急性肺塞栓症〉診断・治療マニュアル(福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015; pp126-129, 医薬ジャーナル社.

- 7) 山本 剛:[分担] 症状・徴候から見た静脈血栓塞症診断の鑑別手順 3) 低酸素血症へのアプローチ. 臨床医のための静脈血栓塞症〈深部静脈血栓症・急性肺塞栓症〉診断・治療マニュアル(福田幾夫, 田島廣之, 中村真潮, 保田知生), 2015; pp130-133, 医薬ジャーナル社.
- 8) 山本 剛, 宮本正章¹⁾ (1) 循環器内科): [分担] 深部静脈血栓症/肺血栓塞症. ER・ICUでの薬の使い方 Q & A 2016'17 (岡元和文), 2015; pp209-216, 総合医学社.
- 9) 鈴木啓士, 山本 剛:[分担] 緊急病態 急性心不全/心原性ショック. ER・ICUでの薬の使い方 Q & A 2016'17 (岡元和文), 2015; pp15-21, 総合医学社.
- 10) 坏 宏一:[分担] 大動脈解離の原因はどのように考えられているか?. 大動脈解離診断と治療の Standard (井元清隆, 上田敏彦, 安達秀雄編集), 2016; pp1-12, 中外医学社.
- 11) 山本 剛:[分担] 急性冠症候群の治療指針. 救急・集中治療最新ガイドライン 2016'17 (岡元和文), 2016; pp278-280, 総合医学社.
- 12) 小島 淳¹⁾, 朔啓二郎¹⁾, 白井伸一¹⁾, 瀬尾宏美¹⁾, 友測佳明¹⁾, 中島啓裕¹⁾, 羽柴克孝¹⁾, 花田裕之¹⁾, 的場哲哉¹⁾, 真野俊昭¹⁾, 山本 剛, 横山広行¹⁾ (1) ACS 作業部会員): [分担] 急性冠症候群. JRC 蘇生ガイドライン 2015 (一般社団法人 日本蘇生協議会), 2016; pp292-344, 医学書院.

学会発表

(1) 特別講演:

- 1) 山本 剛: 患者管理「救命救急と集中治療」. 日本体外循環技術医学会教育セミナー(東京), 2015. 6.
- 2) 山本 剛: 心エコーを用いた輸液循環管理. 体液・代謝管理研究会年次学術集会(第31回)(東京), 2016. 1.

(2) シンポジウム:

- 1) 山本 剛: 東京都CCUネットワークの構築と循環器救急体制における役割. 心筋梗塞研究会(第35回)(東京), 2015. 7.
- 2) 林 洋史, 古瀬領人, 鈴木啓士, 黄 俊憲, 三軒豪仁, 細川雄亮, 坏 宏一, 山本 剛: 集中治療領域で遭遇する不整脈に対する薬物療法について. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会(第24回)(東京), 2015. 8.
- 3) 山本 剛, 高山守正¹⁾ (1) 日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院): ネットワーキングが患者予後改善にもたらした効果: 東京都CCUネットワーク. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会(第24回)(東京), 2015. 8.
- 4) 林 洋史, 古瀬領人, 鈴木啓士, 黄 俊憲, 三軒豪仁, 細川雄亮, 坏 宏一, 山本 剛: 頻脈性心房細動・心房頻拍に対するアミオダロン静注薬の有効性と安全性. アミオダロン研究会(第20回)(東京), 2015. 10.
- 5) 山本 剛: 広範型肺血栓塞症への治療戦略. 集中治療学会(第43回)(神戸), 2016. 2.
- 6) 山本 剛, 鈴木啓士, 高木郁代¹⁾, 古瀬領人, 黄 俊憲, 三軒豪仁, 林 洋史, 細川雄亮, 坏 宏一, 清水 渉¹⁾ (1) 循環器内科): A New Paradigm Shift in Antithrombotic Therapy for VTE. 日本循環器学会(第80回)(仙台), 2016. 3.

(3) パネルディスカッション:

- 1) 山本 剛¹⁾: NOAC in the treatment of venous thromboembolism. 日本循環器学会(第80回)(仙台), 2016. 3.

(4) 一般講演:

- 1) Sengen H, Takano H, Tara S, Asai K, Tanaka T, Tanaka K, Shimizu W: Culotte Stenting for Jailed Common Iliac Artery Stenosis. LINC Asia-Pacific2016 (香港), 2016. 3.
- 2) 三軒豪仁, 中村俊一, 中村有希, 久保田芳明, 乾 恵輔, 青山里恵, 細川雄亮, 村井綱見, 太良修平, 時田祐吉, 坏 宏一, 山本 剛, 浅井邦也, 高野仁司, 清水 渉: Relationship between twenty-four Hour Ambulatory Blood Pressure Monitoring Pattern and Plaque Characteristics in Patients with Coronary Artery Disease. 日本循環器学会(第79回)(大阪), 2015. 4.
- 3) 三軒豪仁, 中村俊一, 中村有希, 久保田芳明, 乾 恵輔, 青山里恵, 細川雄亮, 村井綱見, 太良修平, 時田祐吉, 坏 宏一, 山本 剛, 浅井邦也, 高野仁司, 清水 渉: Relationship between angiographic findings and periprocedural myocardial necrosis in patients with coronary artery disease. CVIT(第24回)(福岡), 2015. 7.
- 4) 細川雄亮, 山本 剛, 古瀬領人, 鈴木啓士, 中村有希¹⁾, 三軒豪仁, 乾 恵輔¹⁾, 久保田芳明¹⁾, 吉真 孝, 北村光信, 中村俊一¹⁾, 宮地秀樹, 吉川雅智¹⁾, 加藤浩司¹⁾, 坏 宏一, その他4名(1) 循環器内科): The risk of bleeding in acute phase of ACS by Upfront prasugrel regimen. CVIT(第24回)(福岡), 2015. 7.
- 5) 黄 俊憲, 坏 宏一, 細川雄亮, 古瀬領人, 西郡 卓, 山本 剛, 萩原かな子¹⁾, 村井綱見¹⁾, 小野澤志郎²⁾, 清水 渉(1) 循環器内科, 2) 放射線科): 急性B型大動脈解離に合併した腸管虚血及び虚血解除が腸管浮腫の出現と消退として明瞭に観察し得た1例. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会(第24回)(東京), 2015. 8.
- 6) 坏 宏一, 山本 剛, 清水 渉, 師田哲朗, 小野澤志郎: 孤立性腹部内臓動脈解離の8例に関する臨床的特徴の検討. 第63回日本心臓病学会学術集会(第63回)(横浜), 2015. 9.

- 7) 三軒豪仁, 中村俊一, 中村有希, 久保田芳明, 乾 恵輔, 青山里恵, 細川雄亮, 村井綱兄, 太良修平, 時田祐吉, 坪 宏一, 山本剛, 浅井邦也, 高野仁司, 清水 渉 : PCI 周術期心筋ダメージとアンギオ所見の関連. 日本心臓病学会 (第 63 回) (横浜), 2015. 9.
- 8) 鈴木啓士, 山本 剛, 西郡 卓, 大山 亮, 岡英一郎, 古瀬領人, 三軒豪仁, 林 洋史, 細川雄亮, 坪 宏一, 谷田篤史¹⁾, 高木郁代¹⁾, 清水 渉 (¹⁾ 循環器内科) : NOAC 登場後の急性静脈血栓塞栓症に対する抗凝固療法. 日本心臓病学会 (第 63 回) (横浜), 2015. 9.
- 9) 細川雄亮, 山本 剛, 古瀬領人, 鈴木啓士, 三軒豪仁, 吉眞 孝, 北村光信, 宮地秀樹, 坪 宏一, 高野仁司¹⁾, 浅井邦也¹⁾, 清水渉¹⁾ (¹⁾ 循環器内科) : 急性冠症候群へのプラスグレレル冠動脈造影前投与が急性期出血に与える影響. 日本心臓病学会 (第 63 回) (横浜) 細川雄亮, 山本剛, 古瀬領人, 鈴木啓士, 三軒豪仁, 吉眞孝, 北村光信, 宮地秀樹坪宏一高野仁司, 浅井邦也, 清水渉), 2015. 9.
- 10) 坪 宏一, 山本 剛, 細川雄亮, 宮地秀樹, 村田広茂, 北村光信, 林 洋史, 黄 俊憲, 三軒豪仁, 鈴木啓士, 古瀬領人, 師田哲朗, 清水 渉 : 急性大動脈解離における血圧の左右差は何を反映しているか?. 日本脈管学会総会 (第 56 回) (東京), 2015. 10.
- 11) 三軒豪仁, 高野仁司, 小野寺健太, 中村有希, 乾 恵輔, 青山里恵, 太良修平, 村井綱兄, 細川雄亮, 時田祐吉, 浅井邦也, 田中貴久, 田中邦夫, 清水 渉 : Culotte Stenting for Jailed Common Iliac Artery Stenosis. CCT2015 (神戸), 2015. 10.
- 12) Hosokawa Y, Takano H¹⁾, Suzuki K, Furuse E, Ko T, Sangen H, Inui K¹⁾, Kubota Y, Aoyama R, Kiamura M, Tara S¹⁾, Tokita Y, Yamamoto T, Asai K¹⁾, Shimizu W¹⁾ (¹⁾ 循環器内科) : A case of Rotablator in STEMI with very advanced age. CCT 2016 (神戸), 2015. 10.
- 13) 三軒豪仁, 中村俊一, 中村有希, 久保田芳明, 乾 恵輔, 青山里恵, 細川雄亮, 村井綱兄, 太良修平, 時田祐吉, 坪 宏一, 山本剛, 浅井邦也, 高野仁司, 清水 渉 : 24 時間自由行動下血圧 (ABPM) と 冠動脈プラーク性状の関係. 日本冠疾患学会 (第 29 回) (札幌), 2015. 11.
- 14) 古瀬領人, 細川雄亮, 山本 剛, 鈴木啓士, 黄 俊憲, 三軒豪仁, 林 洋史, 坪 宏一, 青山里恵¹⁾, 時田祐吉¹⁾, 高野仁司¹⁾, 清水渉¹⁾, 川瀬康裕²⁾, 石井庸介²⁾, 新田 隆²⁾ (¹⁾ 循環器内科, ²⁾ 心臓外科) : 初療の経胸壁心エコーにて早期診断し得た, 前乳頭筋断裂を合併した後壁梗塞に伴う心原性ショックの 1 例. 日本冠疾患学会 (第 29 回) (札幌), 2015. 11.
- 15) 鈴木啓士, 山本 剛, 古瀬領人, 三軒豪仁, 林 洋史, 細川雄亮, 坪 宏一, 高木郁代¹⁾, 清水 渉¹⁾ (¹⁾ 循環器内科) : NOAC 登場後の VTE 診療の変化. 肺塞栓症研究会 (第 22 回) (東京), 2015. 11.
- 16) 林 洋史, 古瀬領人, 鈴木啓士, 黄 俊憲, 三軒豪仁, 細川雄亮, 坪 宏一, 山本 剛 : 「院外心停止を来した QT 延長症候群の 1 例」. 東京 CCU 研究会 (第 35 回) (東京), 2015. 12.
- 17) 鈴木啓士, 坪 宏一, 林 洋史, 古瀬領人, 黄 俊憲, 三軒豪仁, 細川雄亮, 宮城泰雄¹⁾, 石井庸介¹⁾, 山本 剛, 清水 渉 (¹⁾ 心臓血管外科) : 外科的治療に先行する心嚢穿刺の適応判断に苦慮した心タンポナーデの 3 例. 日本循環器学会関東甲信越地方会 (第 239 回) (東京), 2015. 12.
- 18) 西 祐吾, 林 洋史, 鈴木啓士, 三軒豪仁, 古瀬領人, 黄 俊憲, 細川雄亮, 坪 宏一, 山本 剛, 岩崎雄樹, 林 明聡, 宮内靖史, 清水 渉 : Purkinje 起源 PVC に対するカテーテルアブレーションにより electrical storm を抑制し得た心筋梗塞の 1 例. 関東甲信越地方会 (第 239 回) (東京), 2016. 2.
- 19) 三軒豪仁, 山本 剛, 鈴木啓士, 古瀬領人, 黄 俊憲, 林 洋史, 細川雄亮, 坪 宏一, 杉田慎二, 竹田晋浩, 清水 渉 : CCU における Cardiac ECMO 長期使用例の最近の成績. 集中治療学会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 20) 鈴木啓士, 坪 宏一, 林 洋史, 古瀬領人, 黄 俊憲, 三軒豪仁, 細川雄亮, 宮城泰雄¹⁾, 石井庸介¹⁾, 山本 剛, 清水 渉 (¹⁾ 心臓血管外科) : 外科的治療に先行する心嚢穿刺の適応判断に苦慮した心タンポナーデの 3 例. 集中治療学会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 21) 黄 俊憲, 萩原かな子¹⁾, 林 洋史, 坪 宏一, 山本 剛, 岡本彬美²⁾, 杉原 仁²⁾, 五十嵐健人³⁾, 市場晋吾⁴⁾, 竹田晋浩⁴⁾, 清水渉¹⁾ (¹⁾ 循環器内科, ²⁾ 糖尿病内分泌代謝内科, ³⁾ 内分泌外科, ⁴⁾ 外科系集中治療科) : 褐色細胞腫の自然破裂により急激な血行動態の悪化を来したが, 集中管理により緊急手術を回避でき待機手術に成功した 1 例. 集中治療学会 (第 43 回) (神戸), 2016. 2.
- 22) Akutsu K, Ko T, Yamamoto T, Hosokawa Y, Hayashi H, Sangen H, Suzuki K, Furuse E, Morota T¹⁾, Nitta T¹⁾, Shimizu W (¹⁾ Division of Cardiovascular Intensive Care) : Outcome of initial medical management for non-communicating acute type A aortic dissection : Is all necessary for surgical repair?. 日本循環器学会総会 (第 80 回) (仙台), 2016. 3.
- 23) 三軒豪仁, 北村光信, 坪井一平, 青山里恵, 宮國知世, 小野寺健太, 久保田芳明, 浅井邦也, 高山守正, 清水 渉 : Comparison between 5-Year Sudden Cardiac Death Risk Estimation and the Actual Event Rate in Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy after Alcohol Septal Ablation. 日本循環器学会 (第 80 回) (仙台), 2016. 3.
- 1) Akutsu K, Yoshino H¹⁾, Tobaru T¹⁾, Hagiya K¹⁾, Watanabe Y¹⁾, Tanaka K¹⁾, Koyama N¹⁾, Yamamoto T, Nagao K¹⁾, Takayama M¹⁾ (¹⁾ Division of Cardiovascular Intensive Care, Tokyo CCU Network Scientific Committee) : Tokyo CCU Network Scientific Committee. Clinical Similarities and Differences between Patients with Acute Type B Aortic Dissection with Communi-

cating vs. Non-Communicating False Lumen : Analysis of 502 Patients from the Tokyo CCU-Network Database. 東京 CCU 研究会 (第 35 回) (東京), 2015. 12.

論文

[追加分]

追加分総説 :

- 1) 山本 剛 : 救急・集中治療領域における広範型肺塞栓症の治療戦略. *Life Style Medicine* 2015 ; 9 (3) : 33-37.

学会発表

追加分一般講演 :

- 1) 林 洋史, 古瀬領人, 鈴木啓士, 黄 俊憲, 三軒豪仁, 細川雄亮, 坪 宏一, 山本 剛 : うっ血性心不全に合併した頻脈性心房細動・心房頻拍に対するアミオダロン静注の有効性と安全性. 日本集中治療医学会学術集会 (第 43 回) (神戸), 2015. 2.

[付属病院病理診断科・病理部]

研究概要

現在病理診断科・病理部スタッフ, 病理専門医である専任病理医 7 名, 細胞検査士 9 名含む技師 11 名, 事務員 1 名に加え, 病理学教室と協力しながら日常診断業務 (病理組織診断, 細胞診, 剖検診断) を遂行している. 今年度はさらに病理専門医を目指す若き人材も 1 名加わる予定である. 研究テーマは, 主に日常業務や毎週開催の内部検討会などに取り上げられた症例などから見出されている. その他, 診療各科と共同開催している乳腺, 甲状腺, 内分泌, 婦人科および消化器カンファレンス等で検討された症例については, お互いに情報交換することにより知識が深まり, 臨床側も病理側も, より踏み込んだ発表や研究ができるようになってきている. 研究対象臓器は, 乳腺, 脾臓, 婦人科, 呼吸器, 腎臓, など多岐に渡り, 各種学会において病理学教室の医師や臨床医が我々病理診断科・病理部と共同で発表を行っている. その他にも, 病理学会, 臨床細胞学会などで, 多くの発表と研究サポートを行った. 今後も, 新たな人材も活かしつつ, 継続して研究に取り組んでいきたいと考えている.

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) Takaya A, Peng Wx, Ishino K, Kudo M, Yamamoto T, Wada R, Takeshita T, Naito Z : Cystatin B as a potential diagnostic biomarker in ovarian clear cell carcinoma. *Int J Oncol* 2015 ; 46 (4) : 1573-1581.
- 2) Peng Wx, Kure S, Ishino K, Kurose K, Yoneyama K, Wada R, Naito Z : P16-positive continuous minimal deviation adenocarcinoma and gastric type adenocarcinoma in a patient with Peutz-Jeghers syndrome. *Int J Clin Exp Pathol* 2015 ; 1 (8) : 5877-5882.
- 3) Ohashi R, Matsubara M, Watarai Y, Yanagihara K, Yamashita K, Tsuchiya S, Takei H, Naito Z : Diagnostic value of fine needle aspiration and core needle biopsy in special types of breast cancer. *Breast Cancer* 2015.
- 4) Ohashi R, Matsubara M, Watarai Y, Yanagihara K, Yamashita K, Tsuchiya S, Takei H, Naito Z : Cytological features of complex type fibroadenoma in comparison with non-complex type fibroadenoma. *Breast Cancer* 2015.
- 5) Kawaguchi K, Ohashi R, Koike J, Honda K, Nagashima Y : Atypical hemolytic uremic syndrome diagnosed for years after ABO-incompatible transplantation. *Nephrology* 2015 ; (supple 2) : 61-65.
- 6) Kanai H, Ohashi R : Pediatric case of crescentic post-streptococcal glomerulonephritis with myeloperoxidase anti-neutrophil cytoplasmic antibody. *Clin Nephrol* 2015 ; 83 (4) : 243-248.
- 7) Morita M¹⁾, Shimizu A, Masuda Y, Ohashi R¹⁾ (Department of Internal Medicine Division of Neurology) : Glomerular endothelial cell injury and focal segmental glomerulosclerosis lesion in idiopathic membranous nephropathy. *PLoS One* 2015 ; 10 (4) : e0116700.
- 8) Kaneko T¹⁾, Nagahama K, Shimizu A¹⁾ (Department of Internal Medicine Division of Neurology) : IgA Nephropathy and Psoriatic Arthritis that Improved with Steroid Pulse Therapy and Mizoribine Combination with Treatment for Chronic Tonsillitis and Epipharyngitis. *Intern Med* 2015 ; 54 (9) : 1085-1090.
- 9) Nomura S¹⁾, Terasaki M, Terasaki Y, Kimura G¹⁾, Shimizu A, Kondo Y¹⁾ (Department of Urology) : Dual-specificity tyrosine phosphorylation-regulated kinase 2 (DYRK2) as a novel marker in T1 high-grade and T2 bladder cancer patients receiving neoadjuvant chemotherapy : DYRK2 is associated with survival in bladder cancer. *BMC Urol* 2015 ; 19 (15) : 53-53.

- 10) Kanzaki G, Shimizu A (1) Department of Analytic Human Pathology) : Currently available useful immunohistochemical markers of renal pathology for the diagnosis of renal allograft rejection. *Nephrology (Carlton)* 2015 ; 20 (2) : 9-15.
 - 11) Kaneko T¹⁾, Shimizu A (1) Division of Nephrology) : Comparison of immunosuppressive therapies for IgA nephropathy after tonsillectomy : three - course versus one - course steroid pulse combined with mizoribine. *Int Urol Nephrol* 2015 ; 47 (11) : 1823-1830.
 - 12) Tani T, Shimizu A (1) Department of Nephrology, Nippon Medical School) : Pulmonary hemorrhage associated with Henoch-Schöenlein purpura in an adult patient primary diagnosed of IgA nephropathy. *CEN Case Rep* 2015 ; 4 : 48-54.
 - 13) Kusano T¹⁾, Nagahama K, Shimizu A (1) Division of Nephrology, Tokyo Teishin Hospital) : Endothelial cell injury in acute and chronic glomerular lesions in patients with IgA nephropathy. *Hum Pathol* 2016 ; 49 : 135-144.
- (2) 総説 :
- 1) 大橋隆治 : 腎病理診断へのアプローチ : 半月体形成性糸球体腎炎とその鑑別診断. *Nephrology Frontier* 2015 ; 14 (4) : 348-353.
 - 2) 大橋隆治 : Dense deposit disease と C3 腎症 : 病理医の立場から. *腎と透析* 2015 ; 78 (5) : 738-743.
- (3) 症例報告 :
- 1) 大橋隆治 : 大橋隆治他 急性腎障害を呈した慢性活動性EBウイルス感染症関連リンパ腫の1例 : 病理所見の見方. *腎と透析* 2015 ; in press.

著 書

- 1) 坂谷貴司 : [自著] お知恵拝借. お知恵拝借 *Chugai Pathology Times*, 2015 ; Chugai Pathology Times,.
- 2) 内藤善哉 : [共著] 消化器. 細胞診ガイドライン5 (日本臨床細胞学会 細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ委員会), 2015 ; p 全ページ, 金原出版.
- 3) 坂谷貴司 : [自著] TMN 分類. 日本臨床腫瘍学会編. 「新臨床腫瘍学 改訂第4版」, 2015 ; 南江堂.
- 4) 坂谷貴司 : [分担] 細胞診ガイドライン5 消化器 (分担). 細胞診ガイドライン5 消化器, 公益社団法人 日本臨床細胞学会編, 2015 ; 金原出版.
- 5) 内藤善哉 : [共著] 甲状腺・内分泌・神経系. 細胞診ガイドライ3 (日本臨床細胞学会 細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ委員会), 2015 ; p 全ページ, 金原出版..
- 6) 坂谷貴司 : [分担] 乳癌 HER2 病理診断ガイドライン (分担) 第1版. 乳癌 HER2 病理診断ガイドライン, 2015 ; 金原出版社.
- 7) 坂谷貴司 : [共著] 病理診断. 日本臨床腫瘍学会編. 「新臨床腫瘍学 改訂第4版」, 2015 ; 南江堂.
- 8) 和田龍一, 下田朋宏, 内藤善哉 : [共著] 総説 消化管・膵臓の穿刺吸引細胞診の見方と診断. *病理と臨床* 13, 2015 ; pp748-752, 文光堂.

学会発表

- (1) 特別講演 :
- 1) 内藤善哉 : 胆膵の細胞診ガイドラインの報告様式について : 異型/鑑別困難と判定される症例の取り扱い, そして pitfall. 広島県臨床細胞学会学術集会 (41 回) (広島市), 2016. 3.
- (2) 招待講演 :
- 1) Ohashi R : Current topics of renal pathology in pediatric patients : C3 glomerulopathy and dense deposit disease. *Korea-China-Japan Pediatric Nephrology Seminar (13rd)* (Seoul, Korea), 2015. 4.
 - 2) 大橋隆治 : 腎臓病理診断について (総合病理コメンテーター). 京都北野カンファレンス (京都), 2015. 12.
 - 3) 大橋隆治 : 移植拒絶腎における電顕の応用. 東北腎生検カンファレンス (仙台), 2015. 12.
- (3) 教育講演 :
- 1) 大橋隆治 : 初回腎生検で C3 腎炎と診断され, 追跡腎生検で Dense Deposit Disease が疑われた女児例 (病理コメンテーターとして). 関東小児腎臓研究会 (81 回) (東京), 2015. 6.
 - 2) 大橋隆治 : 持続する低補体血症と血尿を認め, C3 優位の IgA 供沈着を呈した1例. 関東小児腎臓研究会 (81 回) (東京), 2015. 7.
 - 3) 大橋隆治 : 単独質量分析により診断に至ったアミロイドーシスの一剖検例 (病理コメンテーターとして). 第68回日本病理学会関東支部会 2015.(東京), 2015. 8.
 - 4) 大橋隆治 : 半月体形成性糸球体腎炎の鑑別診断. 診断病理サマーフェスト (9 回) (東京), 2015. 8.
 - 5) 内藤善哉 : 胆管内乳頭状腫瘍 (IPNB) の概念, 特徴, そして問題点. 日本臨床細胞学会秋期大会 (54 回) (名古屋), 2015. 11.
- (4) 一般講演 :
- 1) Peng W-X, Ishino K, Kurose K, Naito Z : Malignant endometrial polyp : a case report. *European Congress of Cytology (39th)*, (Milan, Italy), 2015. 6.

- 2) Ohashi R : Severe renal and vascular injury due to the involvement by T-cell lymphoma associated with chronic active EB virus infection in a 29 year old man. China-Japan Renal Pathology Conference (4th) (Shanghai, China), 2015. 9.
- 3) Dowsett M, Sakatani T : Analytical validation of a standardized scoring protocol for Ki67 : Phase-3 of an international multicenter collaboration. Thirty-Eighth Annual CTRC-AACR San Antonio Breast Cancer Symposium,(San Antonio), 2015. 12.
- 4) Nakamizo M¹⁾, Ohashi R (1) 日本医科大学 頭頸部外科 : Management of retropharyngeal node metastasis in cases with advanced hypopharyngeal carcinoma. Congress of Asian Society of Head and Neck Oncology (4th) (Kobe), 2015. 6.
- 5) 呉 壮香, 和田龍一, 彭 為霞, 石井英昭, 内藤善哉 : 耳下腺に発生した oncocytic papillary cystadenocarcinoma の 1 例. 日本病理学会総会 (104 回) (名古屋), 2015. 4.
- 6) 大橋隆治, 川原清子, 武井寛幸¹⁾, 内藤善哉 : 乳癌 neoadjuvant chemotherapy 前後における EpCAM 発現の意義. 日本病理学会総会 (104 回) (名古屋), 2015. 4.
- 7) 寺澤憲昭, 坂谷貴司 : 胆管原発 mixed adenoneuroendocrine carcinoma の 1 例. 日本臨床細胞学会総会 (56 回), 2015. 6.
- 8) 柳田裕美, 細根 勝, 片山博徳, 内藤善哉 : リンパ節捺印細胞診にて転移性腫瘍との鑑別に難渋した CD30 (+) B 細胞性リンパ腫の 1 例. 日本臨床細胞学会春期大会 (56 回) (鳥取), 2015. 6.
- 9) 川瀬里衣子, 松原美幸, 彭 為霞, 和田龍一, 内藤善哉 : 傍大動脈リンパ節転移を認めた dysgerminoma の 1 例. 日本臨床細胞学会春期大会 (56 回) (鳥取), 2015. 6.
- 10) 勝野 暁¹⁾, 内田英二¹⁾, 内藤善哉 (1) 日本医科大学 消化器外科 : 膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵切除術の手術成績. 日本膵臓学会大会 (46 回) (名古屋市), 2015. 6.
- 11) 柳原恵子¹⁾, 大橋隆治, 土屋眞一, 武井寛幸¹⁾ (1) 日本医科大学 乳腺外科 : 転移性乳癌に対するエブリンの有用性と安全性の検討. 日本乳癌学会総会 (23 回) (東京), 2015. 6.
- 12) 大橋隆治, 坂谷貴司, 松原美幸, 柳原恵子¹⁾, 土屋眞一, 武井寛幸¹⁾, 内藤善哉 (1) 日本医科大学 乳腺外科 : 神経内分泌分化を伴う乳腺粘液癌の細胞像に関する検討. 日本乳癌学会総会 (23 回) (東京), 2015. 6.
- 13) 森谷卓也¹⁾, 坂谷貴司 (1) 川崎医科大学 : 乳癌の Ki-67 ラベリングインデックスに対する至適な計測法の検討. 日本乳癌学会学術総会 (23 回) (東京国際フォーラム, 東京), 2015. 7.
- 14) 安齋眞一¹⁾, 内藤善哉 (1) 日本医科大学 皮膚科 : Bowen 病と日光角化症における病理組織学的鑑別診断マーカーとしての lumican の発現の検討. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 (31 回) (大阪市), 2015. 7.
- 15) 大橋隆治, 坂谷貴司, 松原美幸, 柳原恵子¹⁾, 山下浩二¹⁾, 土屋眞一, 武井寛幸¹⁾, 内藤善哉 (1) 日本医科大学 乳腺外科 : 神経内分泌分化を伴う乳腺粘液癌の細胞像と臨床組織像との比較. 日本乳癌学会学術総会 (23 回) (東京), 2015. 7.
- 16) 米山剛一¹⁾, 寺崎美佳²⁾, 内藤善哉, 大橋隆治, 竹下俊行³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院, ²⁾ 解析人体病理, ³⁾ 日本医科大学付属病院 産科婦人科 : 組織所見が非定型的な子宮頸部肉腫. 日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2015 年 8 月 (57 回) (盛岡市), 2015. 8.
- 17) 高屋 茜¹⁾, 内藤善哉, 竹下俊行¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 産科婦人科 : 卵巣明細胞線癌の診断バイオマーカーとしての CystatinB の可能性. 日本婦人科腫瘍学会学術講演会 (57 回) (盛岡市), 2015. 8.
- 18) 坂谷貴司 : 臨床教授特別講演 形態学探求の多様性と展開. 日本医科大学医学会総会 (83 回) (橋桜ホール, 東京), 2015. 9.
- 19) 若林奈緒, 内藤善哉 : 良悪性の診断に非常に苦慮した耳下腺腫瘍の 1 例. 日本医科大学医学会総会 (83 回) (東京), 2015. 9.
- 20) 柳田裕美, 細根 勝, 内藤善哉 : 転移性腫瘍との鑑別に難渋した CD30 (+) B 細胞性リンパ腫の 1 例. 日本医科大学医学会総会 (83 回) (東京), 2015. 9.
- 21) 楊井瑛美¹⁾, 大橋隆治, 清水 章²⁾ (1) 日本医科大学 小児科, ²⁾ 日本医科大学 解析人体病理 : ステイロイド治療により寛解した FSGS tip variant の 15 歳男児例. 日本小児腎臓病学会 (東京), 2015. 9.
- 22) 眞田麻梨恵, 杉谷 巖, 清水一雄, 彭 為霞, 大橋隆治, 内藤善哉 : 内視鏡補助下手術で治療した若年者甲状腺濾胞癌の 1 例. 日本甲状腺外科学会学術集会 (48 回) (東京), 2015. 10.
- 23) 渡會泰彦, 村瀬幸宏, 石井英昭, 内藤善哉, 土屋眞一, 越川 卓¹⁾, 清水一雄²⁾, 山田英雄³⁾ (1) 愛知県看護大学看護部病理学, ²⁾ 日本医科大学内分泌外科, ³⁾ NPO 法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク : チェルノブイリ甲状腺癌検診に関わるロシア語甲状腺細胞診教本の発刊の意義. 日本臨床細胞学会秋期大会 (54 回) (名古屋), 2015. 11.
- 24) 村瀬幸宏, 大橋隆治, 坂谷貴司, 松原美幸, 渡會泰彦, 石井英昭, 内藤善哉 : 低分化成分を伴った甲状腺乳頭癌の組織細胞像に関する検討. 日本臨床細胞学会秋期大会 (54 回) (名古屋), 2015. 11.
- 25) 葉山綾子, 大橋隆治, 坂谷貴司, 松原美幸, 渡會泰彦, 石井英昭, 土屋眞一¹⁾, 内藤善哉 (1) 飯田市立病院 病理診断科 : 印環細胞を伴った乳癌の組織・細胞像に関する検討. 日本臨床細胞学会秋期大会 (54 回) (名古屋), 2015. 11.
- 26) 柳田裕美, 細根 勝, 内藤善哉 : 細胞診材料における術中迅速細胞免疫染色が有用であった Germinoma の 1 例. 日本臨床細胞学会秋期大会 (54 回) (名古屋), 2015. 11.
- 27) 長岡竜太¹⁾, 杉谷 巖¹⁾, 大橋隆治 (1) 日本医科大学 頭頸部外科 : 下咽頭粘膜に静脈瘤をともなった巨大甲状腺低分化癌の 1 例. 日本内分泌外科学会総会 (27 回) (東京), 2015. 11.

論文

[追加分]

追加分原著：

- 1) Watanabe H¹⁾, Ohashi R, Shimizu A (1) Division of Clinical Nephrology and Rheumatology, Niigata University Graduate School of Medical and Dental) : A case of endocapillary proliferative glomerulonephritis with macrophages phagocytosing monoclonal immunoglobulin lambda light chain. *Pathol Int* 2015 ; 65 (1) : 38-42.
- 2) Polley M¹⁾, Sakatani T (1) Biometric Research Branch, Division of Cancer Treatment and Diagnosis, National Cancer Institute, Bethesda, Maryland, USA) : An international study to increase concordance in Ki67 scoring. *Mod Pathol*. 2015 ; 28 : 778-786.

著書

追加分：

- 1) 坂谷貴司：〔分担〕乳腺・皮膚・軟部骨（分担）. 細胞診ガイドライン 2, 公益社団法人 日本臨床細胞学会編, 2015 ; 金原出版.
- 2) 内藤善哉：〔共著〕呼吸器・胸腺・体腔液・リンパ節. 細胞診ガイドライン 4 (日本臨床細胞学会 細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ委員会), 2015 ; p 全ページ, 金原出版.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) 坂谷貴司：ER, PgR, HER2 のセルフアセスメント. NPO 法人 日本病理精度保証機構 教育・研修会 (日本臨床検査技師会館, 東京), 2015. 3.

[付属病院臨床検査部]

研究概要

臨床検査部は、臨床検査の検査技術の向上を通して正確・精密な検査データを迅速に医師に伝え、信頼性のある検査データの提供を介して病院利用者のケアに貢献することにより、臨床検査部の役割とその信頼性の向上、責任の明確化および医療安全への貢献に取り組んでいる。2015年3月には日本臨床検査薬協会より『体外診断用医薬品等の臨床研究におけるガイドライン』が発表され、臨床検査薬の提供など臨床研究支援活動のための製薬に関わる企業の基本的な考え方が示された。これに伴い当院で従来行われてきた臨床検査試薬の比較試験や性能試験においても、倫理委員会での臨床研究の承認や企業との契約が必要となり、当院の臨床検査部において新しい臨床研究の形態の幕開けとなった。10月からは臨床検査室を運営するための国際規格である ISO 15189 認証に向けて準備を開始した。また、臨床検査部の運用面では新病院の開院以後 中央採血室および1階採血室にて外来採血を行ってきたが、人材の有効活用のため、10月より午後は1階採血室を閉鎖し、生理機能部門の教育を支援する体制を導入した。更に、研究面では当院給食におけるクックチル食品の安全性を確保するためクックチル食品を対象とした細菌学的検査という、臨床検査部が病院食品衛生に貢献できる新たな研究を行った。これらの一連の取り組みは臨床検査部の発展のみならず、患者サービスの向上に繋がるものと考えられる。

研究業績

論文

(1) 総説：

- 1) 柴田泰史：ゼロから学ぶ血液ガス・酸塩基平衡①：血液ガス検査の目的と検査時の注意点. *Medical Technology* 2016 ; 44 (1) : 82-86.
- 2) 柴田泰史：ゼロから学ぶ血液ガス・酸塩基平衡②：ガス交換の指標としての血液ガス (1) 測定意義とパラメータの意味. *Medical Technology* 2016 ; 44 (2) : 160-184.
- 3) 柴田泰史：ゼロから学ぶ血液ガス・酸塩基平衡③：ガス交換の指標としての血液ガス (2) データの読み方. *Medical Technology* 2016 ; 44 (3) : 293-296.

著書

- 1) 松崎つや子, 本間 博：〔自著〕ひとりでも困らない！検査当直イエローページ [III章 報告前に必要なチェック] 超音波検査 心臓超音波. 臨床検査 vol.59 no.11 2015年 増刊号, 2015 ; pp1316-1321, 医学書院.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 大前美月, 福間長知¹⁾, 菅谷寿理, 會田智弘, 加藤政利, 吉田由紀子, 飯野幸永, 高圓雅博, 加藤和代, 佐野眞己²⁾, 清水 渉¹⁾ (1) 日本医科大学 内科学循環器部門, ²⁾ 日本医科大学付属病院 栄養科) : 心臓リハビリテーション実施中の心筋梗塞後患者における食塩摂取量分布と経時的变化. 日本循環器学会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 2) 加藤政利, 福間長知¹⁾, 菅谷寿理, 會田智弘, 高圓雅博¹⁾, 加藤和代¹⁾, 高橋 啓¹⁾, 清水 渉¹⁾ (1) 日本医科大学 内科学循環器部門) : Time Course of Subtraction of Expiratory from Inspiratory Ventilation during Exercise as Index of Ventilatory Reserve in Heart Disease Patients. 日本循環器学会 (第 79 回) (大阪), 2015. 4.
- 3) 柴田泰史, 日ノ澤進一郎, 山下純一, 影山憲貴, 鳴海武長, 飯野幸永, 本間 博 : 血糖測定装置「HemoCue Glucose 201 DM RT アナライザ」の評価. 日本医学検査学会 (第 64 回) (福岡市), 2015. 5.
- 4) 加藤政利, 福間長知¹⁾, 菅谷寿理, 會田智弘, 高圓雅博¹⁾, 加藤和代¹⁾, 愛須紀子¹⁾, 飯野幸永, 清水 渉¹⁾ (1) 日本医科大学 内科学循環器部門) : 心肺運動負荷試験から得られる吸気量・呼気量関係の検討. 日本心臓リハビリテーション学会 (第 21 回) (福岡), 2015. 7.
- 5) 會田智弘, 福間長知¹⁾, 菅谷寿理, 加藤政利, 加藤祐子¹⁾, 高橋 啓¹⁾, 本間 博¹⁾, 清水 渉¹⁾ (1) 日本医科大学 内科学循環器部門) : 心筋梗塞に合併する睡眠時呼吸障害と腎機能障害の関係. 日本心臓リハビリテーション学会 (第 21 回) (福岡), 2015. 7.
- 6) 加藤政利, 福間長知¹⁾, 菅谷寿理, 大前美月, 會田智弘, 吉田由紀子, 飯野幸永, 高圓雅博¹⁾, 加藤和代¹⁾, 加藤裕子¹⁾, 清水 渉¹⁾ (1) 日本医科大学 内科学循環器部門) : 心筋梗塞例に見られる閉塞性呼吸機能障害と心肺運動負荷試験指標. 日本循環器学会 (第 79 回) (大阪), 2015. 9.
- 7) 宗方祐美子, 永山 寛¹⁾, 熊谷智昭¹⁾, 加藤政利, 青木 亘, 佐藤淳子, 吉田由紀子, 菅谷寿理, 橋本政子, 本間 博²⁾, 木村和美¹⁾ (1) 日本医科大 神経脳血管内科, ²⁾ 日本医科大学 内科学循環器部門) : 視覚誘発電位 (VEP) 測定における刺激装置の違いが潜時に及ぼす影響の検討. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 8) 三橋 太 : もう一度基礎から学ぼう寄生虫検査. 東京都臨床検査技師会 学術部一般検査部門研修会 (東京都), 2015. 9.
- 9) 渡部明子, 中村祐三, 橋本政子, 遠藤康実, 本間 博 : 当院給食におけるクックチル食品の安全性に関する細菌学的検討 : 院内細菌検査室の新たな業務の可能性. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京都), 2015. 9.
- 10) 宮原一真^{1, 2)}, 園部晴代^{1, 2)}, 小川早恵子^{1, 2)}, 植田貴子^{1, 2)}, 亀山澄子^{1, 2)}, 橋本政子^{1, 2)}, 本間 博¹⁾, 田村秀人²⁾ (1) 付属病院臨床検査部, ²⁾ 付属病院輸血部) : 当院における輸血後感染症検査の実施状況について. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京都), 2015. 9.
- 11) 菅谷寿理¹⁾, 福間長知¹⁾, 加藤政利, 高圓雅博¹⁾, 加藤和代¹⁾, 高橋 啓¹⁾, 本間 博¹⁾, 清水 渉¹⁾, 水野杏一²⁾ (1) 日本医科大学内科学循環器部門, ²⁾ 三越厚生事業団内科) : Depression Leads to Increase in Cortisol Secretion as a Mineralocorticoid Hormone in Patients after Myocardial Infarction. 日本循環器学会 (第 79 回) (大阪), 2015. 9.
- 12) 山本あす香, 吉永香織, 鳴海武長, 日ノ澤進一郎, 橋本政子, 本間 博 : 全自動赤血球沈降速度測定装置 Roller20PN の基礎性能評価と有用性 第 1 報. 日本臨床検査自動化学会第 47 回大会 (横浜市), 2015. 10.
- 13) 吉永香織, 山本あす香, 鳴海武長, 日ノ澤進一郎, 橋本政子, 本間 博 : 全自動赤血球沈降速度測定装置 Roller20PN の基礎性能評価と有用性 第 2 報 : 相関と乖離検体. 日本臨床検査自動化学会第 47 回大会 (横浜市), 2015. 10.
- 14) 柴田泰史, 山下純一, 鳴海武長, 橋本政子, 本間 博 : マイクロキュベットテクノロジーを用いた血糖測定機器の低濃度における精度について. 日本臨床検査自動化学会第 47 回大会 (横浜市), 2015. 10.
- 15) 竹山 舞, 今井瑞希, 村山智美, 山下純一, 三橋 太, 青砥泰二, 橋本政子, 本間 博 : 血中リチウム測定試薬「フレックスカートリッジ リチウム Li」の基礎的検討. 日本臨床検査自動化学会第 47 回大会 (横浜市), 2015. 10.
- 16) 今井瑞希, 竹山 舞, 村山智美, 山下純一, 三橋 太, 青砥泰二, 橋本政子, 本間 博 : 血中メトトレキサート測定用試薬『アーキテクトメトトレキサート』の基礎的検討. 日本臨床検査自動化学会第 47 回大会 (横浜市), 2015. 10.
- 17) 寺田紀, 内田安美, 佐々木香織, 青砥泰二, 橋本政子, 本間 博 : 全自動免疫分析装置 cobas6000 <e601>によるエクルーシス試薬 Tg II の基礎的検討. 日本臨床検査自動化学会第 47 回大会 (横浜市), 2015. 10.
- 18) 内田安美, 大川咲奈, 青砥泰二, 田島克美, 橋本政子, 遠藤康美, 本間 博 : 全自動免疫分析装置 cobas6000 <e601>による E2IV 試薬の基礎的検討報告. 私立医科大学臨床検査技師会学術研修会 (第 33 回) (愛知県), 2015. 10.
- 19) 田代彩香, 園部一成, 中村祐三, 橋本政子, 遠藤康実, 本間 博 : 市販血液培養ボトルにおける Streptobacillus moniliformis の分離精度に関して. 東京都医学検査学会 (第 11 回) (立川市), 2015. 11.
- 20) 田代彩香, 園部一成, 中村祐三, 橋本政子, 本間 博 : 足底胼肌潰瘍の 2 次感染として Pasteurella bettyae を検出した 1 症例. 日本臨床微生物学会総会・学術集会 (第 27 回) (仙台市), 2016. 1.
- 21) 柴田泰史, 日ノ澤進一郎, 山下純一, 影山憲貴, 鳴海武長, 飯野幸永, 本間 博 : 救急診療で求められる臨床検査技師の役割. 臨床検査フォーラム (第 21 回) (つくば市), 2016. 2.

論文

[追加分]

追加分総説：

- 1) 柴田泰史, 青砥泰二, 飯野幸永: 救急検査技師認定制度とは. *Kameraden* 2015; 60: 8-10.

[付属病院薬剤部]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) 矢島 領^{1, 2)}, 今岡楓太²⁾, 輪湖哲也¹⁾, 黒田裕子²⁾, 松元一明²⁾, 木津純子²⁾, 片山志郎¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院薬剤部, 2) 慶應義塾大学薬学部実務薬学講座): フレーバー添加レバミピド内用液剤の安定性に関する基礎検討. *YAKUGAKU ZASSHI* 2015; 135 (12): 1397-1402.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 岸田悦子^{1, 2)} (1) 日本医科大学付属病院 化学療法科, 2) 日本医科大学付属病院 薬剤部): がん治療・緩和医療領域における鎮痛・鎮静 (主題: 領域を超えた鎮痛・鎮静管理). 日本医療薬学会年会 (第25回) (パシフィコ横浜), 2015. 11.

(2) ワークショップ：

- 1) 岸田悦子^{1, 2)}, 鶴川百合^{1, 2)}, 輪湖哲也^{1, 2)}, 久保田馨¹⁾, 片山志郎²⁾ (1) 日本医科大学付属病院 化学療法科, 2) 日本医科大学付属病院 薬剤部): 抗EGFR抗体薬治療を受けた大腸がん患者における低マグネシウム (Mg) 血症. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (京王プラザホテル), 2015. 6.

(3) 一般講演：

- 1) 大坂奈央子¹⁾, 萩原 研¹⁾, 伊勢雄也¹⁾, 片山志郎¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院): 薬品情報室における 医薬品情報の収集と提供内容についての実態調査. 第18回日本医薬品情報学会総会・学術大会 (岡山), 2015. 6.
- 2) 大坂奈央子¹⁾, 片山志郎¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院): Prothrombin time (PT) of apixaban can be estimated by age and PT of warfarin to check up effectiveness. 第30回日本不整脈学会学術大会ならびに第32回日本心電学会学術集会 (京都), 2015. 7.
- 3) 大坂奈央子¹⁾, 岸田悦子¹⁾, 萩原 研¹⁾, 伊勢雄也¹⁾, 片山志郎¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院): 外来患者への連日自己注射用テリパチド製剤の投与状況と投与後の骨粗鬆症治療の実態調査. 第17回日本骨粗鬆症学会 (広島), 2015. 9.
- 4) 岸田悦子^{1, 2)}, 輪湖哲也^{1, 2)}, 久保田馨¹⁾, 片山志郎²⁾ (1) 日本医科大学付属病院 化学療法科, 2) 日本医科大学付属病院 薬剤部): EGFR-TKI 処方患者における皮膚障害に関する後ろ向き調査. 日本肺癌学会学術集会 (第56回) (パシフィコ横浜), 2015. 11.
- 5) 鶴川百合^{1, 2)}, 輪湖哲也^{1, 2)}, 岸田悦子^{1, 2)}, 久保田馨¹⁾, 片山志郎²⁾ (1) 日本医科大学付属病院 化学療法科, 2) 日本医科大学付属病院 薬剤部): 外来でのシスプラチン・ショートハイドレーション法の腎機能に及ぼす影響. 日本肺癌学会学術集会 (第56回) (パシフィコ横浜), 2015. 11.
- 6) 長谷 綾¹⁾, 鈴木 藍¹⁾, 岸田悦子^{1, 2)}, 輪湖哲也^{1, 2)}, 片山志郎¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 薬剤部, 2) 日本医科大学付属病院 化学療法科): 日本医科大学付属病院におけるベグフィルグラスチムの使用実態調査. 日本医療薬学会年会 (第25回) (パシフィコ横浜), 2015. 11.
- 7) 宇波奈央子¹⁾, 片山志郎¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院): ワルファリンからアピキサバンへの切り替え後のプロトロンビン時間は年齢と切り替え前のプロトロンビン時間から推定可能である. 日本薬学会第136年会 (横浜), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分総説：

- 1) 伊勢雄也¹⁾, 矢島 領¹⁾, 片山志郎¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院薬剤部): 緩和医療における薬学研究のススメ: 日常業務を研究論文にする. *薬局* 2014; 65 (13): 3142-3146.

[付属病院看護部]

研究概要

今年度の学会発表は26件であり、クリティカルケア領域、がん領域、周手術看護領域、糖尿病看護などの領域で、指定演題やシンポジウム、交流集会など多様な報告、討論の機会が得られていた。また、ここでは、4病院研修「臨床における看護研究の取り組み」で実施された研究についても表題を紹介する。小児看護領域では「感染予防に関する視聴覚教材の効果：小児病棟の家族を対象に」、内科系看護領域では「糖尿病足病変発症時の患者の認識と療養生活：患者の語りから外来での看護を検討する」、外科系領域では「人工肛門造設患者のストーマセルフケアの習得過程における体験」、「高次脳機能障害が予測される急性期の患者に関わる看護師の困難感」、「心臓外科手術後に心臓リハビリテーションを受ける患者の認識の変化」、クリティカルケア看護領域では、「高度救命救急センターに勤務する看護師の小児救急看護に対する思い」の6演題であった。次年度は今年度実施した研究をブラッシュアップさせ誌上や学会で報告する予定である。

研究業績

論文

(1) 総説：

- 1) 岩永 航¹⁾, 中村幸子, 平田晶子, 竹田晋浩¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科)：ECMO中のリハビリテーション (ECOMOを用いた呼吸不全の治療戦略)。人工呼吸 2015；32 (1)：33-36.

(2) 解説：

- 1) 磯崎奈津子：褥瘡を治すために必要なこと 1 褥瘡の評価 両性肉芽と不良肉芽はどう見分けるの？ (評価・選択・実行できる褥瘡ケアレビュー)。月刊ナーシング 2015；35 (8)：38.
- 2) 磯崎奈津子：褥瘡を治すために必要なこと 1 褥瘡の評価 炎症と感染は何を見て判断するの？ (評価・選択・実行できる褥瘡ケアレビュー)。月刊ナーシング 2015；35 (8)：36-37.
- 3) 磯崎奈津子：褥瘡を治すために必要なこと 1 褥瘡の評価 壊死組織は何をみるの？ (評価・選択・実行できる褥瘡ケアレビュー)。月刊ナーシング 2015；35 (8)：37.
- 4) 磯崎奈津子：褥瘡を治すために必要なこと 1 褥瘡の評価 ポケットはどうはかるの？ (評価・選択・実行できる褥瘡ケアレビュー)。月刊ナーシング 2015；35 (8)：39.
- 5) 古山景子, 高木 元¹⁾, 瀬戸奈津子²⁾ (1) 日本医科大学 循環器内科, 2) 大阪大学医学系研究科保健学専攻)：糖尿病足病変：足潰瘍と蜂窩織炎を発症した事例 (患者さんの全体像がみえる疾患別看護過程 第9回)。ナーシング・キャンパス 2016；4 (1)：35-62.
- 6) 柿沼香里：これならできる！ 嚥下評価とリハ介入の実践編 (1) 気管チューブ抜管後の場合 (Respiratory Care Seminar ICUスタッフのための嚥下リハビリテーション虎の巻)。呼吸器ケア 2016；14 (2)：83-87.

(3) ケーススタディ：

- 1) 亀ヶ谷泰匡, 中村幸子, 伊与恭子：重症肺炎でECMOを導入した患者。急性・重症患者ケア 2015；4 (3)：621-632.

(4) 報告：

- 1) 森 伊代, 山崎弓子, 倉藤晶子：小児先天性心疾患手術を受けた患児の母親が手術室看護師に抱く思い。手術医学 2015；36 (3)：246-250.

著書

- 1) 増田恭子：〔分担〕脳・神経疾患 脳腫瘍 第2章回復期リハビリテーションでの疾患別マネジメントの実際。回復期リハディーズ (和田玲), 2015；pp102-115, 学研メディカル秀潤社.
- 2) 腹子あきこ：〔分担〕外来化学療法室看護師の薬剤別工夫。肺癌化学療法レジメン実践と工夫 (弦間昭彦), 2015；pp157-171, 中外医学社.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 志村知子：クリティカルケア領域における画期的な褥瘡予防マネジメント (2025問題を見据えて 褥瘡予防の新技术：褥瘡発生率1%以下を目指して)。日本創傷治癒学会 (第45回) (東京), 2015. 11.

(2) パネルディスカッション：

- 1) 細萱順一, 背戸陽子, 山口文子, 佐藤憲明, 西川律子, 鈴木智恵子：病棟単位を超えて周手術期管理の質の向上を目指したCritical CNSとしての横断的活動 (外科系領域における専門看護師の役割)。日本外科連合学会 (第40回) (東京・新宿), 2015. 6.
- 2) 稲田浩美：外科病棟における病棟薬剤師を看護師の連携について。日本外科連合学会 (第40回) (東京), 2015. 6.

(3) ポスターセッション：

- 1) 杉山理恵, 高木 元¹⁾, 三原恵理¹⁾ 日本医科大学付属病院 循環器内科)：当院のNST 活動報告. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京・新宿), 2015. 6.
- 2) 穂山真理, 村田智子, 島内ちゆき, 鈴木規仁¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 麻酔科・緩和ケア科)：大学病院外来化学療法室での初回治療患者の苦痛・ニーズの現状と今後の課題. 日本緩和医療学会学術集会 (第20回) (横浜), 2015. 6.
- 3) 深田陽子, 西川律子：A 病院のがん患者とのコミュニケーションに関する看護師教育の取り組み. 日本がん看護学会学術集会 (第30回) (千葉・幕張), 2015. 6.
- 4) 細萱順一, 福岡長知^{2, 1)}, 加藤和代^{2, 1)}, 高圓雅博^{2, 1)}, 菅谷寿理¹⁾, 加藤政利¹⁾, 古澤剛幸¹⁾, 桐原佳裕¹⁾, 田辺真理子, 田上素子³⁾, 石井庸介³⁾, 佐藤憲明, 小川香野 (1) 日本医科大学付属病院 心臓リハビリテーション室, 2) 日本医科大学付属病院 循環器内科, 3) 日本医科大学付属病院 心臓血管外科)：集中治療室における心臓リハビリテーションとしての心疾患術後患者に対する介入. 日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (第21回) (福岡), 2015. 7.
- 5) 池田征史, 深田陽子, 西川律子：非がん領域の看護師の医療用麻薬使用に関する傾向と認識. 日本看護学会慢性期看護学術集会 (第46回) (福島), 2015. 9.
- 6) 仲程知恵, 宮崎史江, 櫻澤菜緒子：糖尿病足病変患者に関わる看護師のケアの実際. 日本糖尿病教育看護学会学術集会 (第20回) (高松), 2015. 9.
- 7) 亀ヶ谷泰匡, 富岡康友, 末松宏美, 中村幸子, 細萱順一, 背戸陽子：体外式膜型人工心肺 (ECMO) を導入した患者への看護実践. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
- 8) 大野綾子, 中山誠一, 足立 圭, 亀ヶ谷泰匡, 細萱順一, 背戸陽子, 鈴木健一¹⁾, 杉田慎二²⁾, 市場晋吾, 竹田晋浩 (1) 日本医科大学付属病院 ME 部, 2) 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科)：胚移植の bridge として ECMO 管理を行った患者における看護実践の経験. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
- 9) 徳満琴恵, 穂山真理, 村田智子：外来化学療法の看護師の対応に関する患者満足度—2012年と2015年の比較—. 日本がん看護学会学術集会 (第30回) (千葉・幕張), 2016. 2.
- 10) 西川律子, 深田陽子：がん患者とのコミュニケーションに関する看護師教育の現状と課題. 日本緩和医療学会学術集会 (第20回) (横浜), 2016. 2.

(4) ワークショップ：

- 1) Shimura T, Nishihata T, Yokoyama M, Ushijima M, Suzuki M, Takahashi Y, Tabata Y, Sato N：A study on the effectiveness of a formula for predicting the occurrence of medical adhesive-related skin injury (MARS). 日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 (第24回) (千葉・幕張), 2015. 5.
- 2) 内海真紀, 松代美希, 柳原恵子¹⁾, 梅澤裕己²⁾, 中尾淳一²⁾, 武井寛幸²⁾ (1) 日本医科大学付属病院 乳腺科, 2) 日本医科大学付属病院 形成外科)：乳房再建術に伴う看護師の戸惑いとクリニカルパス作成の取り組み. 日本外科連合学会学術集会 (第40回) (東京), 2015. 6.

(5) 一般講演：

- 1) 佐々木純子, 橋本梨花子, 上原あゆみ, 細萱順一, 佐藤憲明：胸部大動脈瘤患者の術後せん妄の遷延化に関する要因の検討. 日本クリティカルケア看護学会学術集会 (第11回) (福岡), 2015. 6.
- 2) 鈴木雅智, 志村知子, 横山瑞江, 牛島麻衣, 高橋幸憲, 田端陽太, 佐藤憲明：口腔ケアで生じる環境汚染の実態とその防護対策に向けた検討第2報—ブラッシング法と拭き取り法で生じる環境汚染の差—. 日本クリティカルケア学会学術集会 (第11回) (福岡), 2015. 6.
- 3) 山川祐亮, 石井瑞穂, 菊永恭子：糖尿病教育入院が療養生活にもたらす影響—再入院に至る患者といたらない患者の比較—. 糖尿病教育・看護学会 (第20回) (高知), 2015. 9.
- 4) 若林恵子, 楠原朝子, 工藤美美, 小原俊彦¹⁾, 兵働英也¹⁾, 小野寺直子¹⁾, 須崎 真²⁾, 川井 真²⁾, 安武正弘¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院総合診療科, 2) 日本医科大学付属病院救急診療科)：総合診療センターにおけるマーストリアージシステムの有用性と評価. 日本病院総合診療医学会学術集会 (第11回) (奈良), 2015. 9.
- 5) 横山瑞江, 志村知子, 鈴木雅智, 牛島麻衣, 高橋幸憲, 田端陽太, 川原龍太, 西畑 毅, 竹原典子, 佐藤憲明：口腔ケアで生じる環境汚染の実態とその防護対策に向けた検討 第3報. 日本救急看護学会学術集会 (第17回) (佐賀), 2015. 10.
- 6) 大井真貴子, 山崎弓子, 倉藤晶子：ロボット支援腹腔鏡手術を受ける患者が抱く手術へのイメージ. 日本手術看護学会年次大会 (第29回) (札幌), 2015. 10.
- 7) 島内ちゆき, 穂山真理：モースの「病気体験の理論」を用いた再発大腸がん患者の希望を見出すための看護支援. 日本臨床死生学会大会 (第21回) (東京), 2015. 11.

(6) メディカルスタッフプログラム：

- 1) 稲田浩美：在宅におけるストーマ装具交換のサポートを考える. 日本消化器関連学会 (第23回) (東京), 2015. 10.

(7) 交流セッション：

- 1) 高橋聡子：患者家族の悲嘆を理解した意思決定支援のあり方（脳死患者の家族に先手申提示を行う際の看護師の役割）. 日本クリティカルケア看護学会学術集会（第11回）（福岡），2015. 6.

(8) 交流集会：

- 1) 森小律恵¹⁾，岡崎優子¹⁾，古山景子¹⁾，中山法子¹⁾，米田昭子¹⁾，黒田久美子¹⁾，福井トシ子¹⁾，数間恵子²⁾（¹⁾ 日本糖尿病教育・看護学会 特別委員会，²⁾ 日本糖尿病教育・看護学会）：特定行為研修提案へのインフォメーションエクステンジ. 日本糖尿病看護・教育看護学会学術集会（第20回）（香川），2015. 9.

(9) 指定演題：

- 1) 田中 茜，内海清乃：警視庁 IMAT の概要と今後の展望. 日本救急医学会関東地方会（第66回）（東京），2016. 2.

[付属病院放射線科技師室]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) 土橋俊男，松本浩史¹⁾，榊田喜正²⁾，石森文朗²⁾，砂森秀昭³⁾，藤田 功⁴⁾，中井敏晴⁵⁾（¹⁾ 千葉大学医学部附属病院，²⁾ 医療法人 聖麗会 聖麗メモリアル病院，³⁾ 社会福祉法人 恩賜財団 済生会 水戸済生会総合病院，⁴⁾ さいたま市立病院，⁵⁾ 独立行政法人国立長寿医療研究センター）：MRI 装置の緊急停止システム用統一シールの提案. 日本診療放射線技師会誌 2016；63（1）：14-19.

(2) 研究報告書：

- 1) 平井国雄，大保 勇¹⁾，住田知隆²⁾，宇内大祐³⁾，嶋崎龍洋⁴⁾，高橋大樹⁵⁾，玉井 勲⁶⁾，山田尚史⁷⁾，坂下恵治⁸⁾（¹⁾ 名古屋第二赤十字病院，²⁾ 愛知厚生連海南病院，³⁾ 聖路加国際病院，⁴⁾ 共立蒲原総合病院，⁵⁾ 国立病院機構仙台医療センター，⁶⁾ 岐阜県立多治見病院，⁷⁾ 新潟県立小出病院，⁸⁾ りんくう総合医療センター）：救急放射線技術に関連した off the job training の受講の実態調査. 日本臨床救急医学会雑誌 2015；18（5）：650-657.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 土橋俊男：安全な MRI 検査：吸着事故・火傷防止と条件付き MRI 対応デバイスについて. 千葉 MRI セミナー（第35回），2015. 10.
- 2) 土橋俊男：k-space と sampling bandwidth から見た pilse sequence. 北九州 MR 勉強会（第10回），2016. 3.

(2) 招待講演：

- 1) 中島宗一郎：160mm ノンヘリカルボリュームスキャンの体軸方向 CT 値均一性の評価. 日本放射線技術学会中部部会 CT 研究会（エーザイ株式会社 名古屋コミュニケーションオフィス），2015. 6.
- 2) 中島宗一郎：GE の CT 装置の最新情報. 私立医科大学放射線技師会学術講演会（20）（エーザイ本社），2015. 9.
- 3) 菅谷正範，秀永慎一，村木巖太郎，高橋克之，工藤正寿，中島宗一郎，渡邊裕次郎，江澤賢治，太田慎之介，蟹谷庄平，永塚賢司：Revolution CT 基礎的物理解説. Revolution CT Summit（第1回）（東京），2015. 9.

(3) 教育講演：

- 1) 土橋俊男：臨床実習生受入れ側の教育体制. 日本診療放射線学教育学会（第9回），2015. 9.
- 2) 土橋俊男：最近の MRI 装置：歯科用金属材料との関係を中心に. 日本磁気菌科学会（25回），2015. 11.

(4) シンポジウム：

- 1) 小川匡史：低再収束角高速 SE 法の臨床への応用（撮像方法 匠の技）. 日本磁気共鳴医学会（第43回）（東京），2015. 9.

(5) パネルディスカッション：

- 1) 土橋俊男：条件付き MRI 対応デバイス患者の MRI 検査の実際. 2015. 11.
- 2) 平井国雄：救急初療室における診療放射線技師のあり方. 日本救急医学会関東地方会（第66回）（東京），2016. 2.

(6) セミナー：

- 1) 土橋俊男：安全な MRI 検査－吸着事故防止と条件付き MRI 対応デバイスについて－. Imaging Now Kanagawa（第11回），2015. 6.
- 2) 土橋俊男：放射線科の検査担当者から見た課題：MRI 対応デバイスを安全管理の観点から再考する. 2015. 7.
- 3) 土橋俊男：MRI 対応植込み型不整脈治療デバイス患者の MRI 検査の実際と課題. 日本医学放射線学会秋季臨床大会（第51回），2015. 10.

(7) 一般講演：

- 1) 吉澤賢史, 原科悟史, 椿山信吾, 江澤賢治, 古崎治子, 逸見円香, 松村善雄, 土橋俊男, 小野真平 (1) 日本医科大学付属病院 形成外科) : Non-contrast enhanced MR angiography of the foot region using wheat pad. 日本磁気共鳴医学会大会 (第 43 回) (東京), 2015. 9.
- 2) 大島有希 : X 線自動検出技術を用いた FPD システムと γ 線の影響. 日本放射線技術学会総会学術大会 (第 71 回) (横浜), 2015. 4.
- 3) 吉田伸二郎¹⁾, 浅野恭司¹⁾, 原科悟史¹⁾, 田代順也¹⁾, 犬貝雅徳¹⁾, 横 利夫¹⁾, 櫻井 実²⁾ (1) 日本医科大学付属病院, 2) 日本医科大学健診医療センター) : 半導体 SPECT 装置における SPECT 再構成視野内の空間分解能変化について. 第 71 回日本放射線技術学会総会学術大会 (横浜), 2015. 4.
- 4) 工藤正寿¹⁾, 菅谷正範¹⁾, 中島宗一郎¹⁾, 秀永慎一¹⁾, 村木巖太郎¹⁾, 土橋俊男¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 放射線科) : X-Y 面内における逐次近似応用を用いたビームハードニング補正の検討. 日本放射線技術学会総会学術大会 (第 71 回) (パシフィコ横浜会議センター), 2015. 4.
- 5) 中島宗一郎, 菅谷正範, 工藤正寿, 秀永慎一, 村木巖太郎, 土橋俊男 : 160mm ノンヘリカルボリュームスキャンの体軸方向 CT 値均一性の評価. 日本放射線技術学会総会学術大会 (71 回) (パシフィコ横浜会議センター), 2015. 4.
- 6) 菅谷正範, 江澤賢治, 鍛冶尚利, 工藤正寿, 中島宗一郎, 秀永慎一, 村木巖太郎 : 新たに導入された逐次近似応用再構成法の MTF 評価. 日本放射線技術学会東京支部春期学術大会 (第 69 回) (駒澤大学駒澤キャンパス), 2015. 5.
- 7) 蟹谷庄平, 渡邊裕次郎, 工藤正寿, 菅谷正範, 中島宗一郎, 村木巖太郎, 秀永慎一 : 256 列 MDCT におけるノンヘリカルスキャンの X-Y 面内空間分解能評価. 日本放射線技術学会東京支部春期学術大会 (第 69 回) (駒澤大学 駒沢キャンパス), 2015. 5.
- 8) 永塚賢司, 江澤賢治, 中島宗一郎, 菅谷正範, 工藤正寿, 村木巖太郎, 秀永慎一, 蟹谷庄平, 太田慎之介, 渡邊裕次郎, 高橋克幸 : 256 列 MDCT におけるノンヘリカルスキャンによる体軸方向のノイズ特性の検討. 日本放射線技術学会東京支部春期学術大会 (第 69 回) (駒澤大学), 2015. 5.
- 9) 太田慎之介, 菅谷正範, 工藤正寿, 中島宗一郎, 有賀大樹, 秀永慎一, 村木巖太郎 : 160mm ノンヘリカルスキャン時に生じるマスク領域の基礎的検討. 日本放射線技術学会東京支部春期学術大会 (第 69 回) (駒澤大学), 2015. 5.
- 10) 渡邊裕次郎, 蟹谷庄平, 工藤正寿, 菅谷正範, 中島宗一郎, 江澤賢治, 村木巖太郎, 秀永慎一 : 256 列 MDCT におけるノンヘリカルスキャン収集モードの違いによる空間分解能評価. 日本放射線技術学会東京支部春期学術大会 (第 69 回) (東京), 2015. 5.
- 11) 須賀龍也¹⁾, 平井国雄²⁾, 西田宗生³⁾ (1) 済美会 昭和病院 放射線部, 2) 日本医科大学付属病院 放射線技術部門, 3) 徳洲会 大垣徳洲会病院 放射線科) : 救急診療におけるインシデント・アクシデント事案の調査. 日本臨床救急医学会学術集会 (第 18 回) (富山), 2015. 6.
- 12) 大島有希 : デジタルマンモグラフィにおける異なる X 線管ターゲットが及ぼす効果の検証. 日本放射線技術学会秋季学術大会 (第 43 回) (金沢), 2015. 10.
- 13) 菅谷正範, 工藤正寿, 中島宗一郎, 江澤賢治, 秀永慎一, 村木巖太郎, 土橋俊男 : 新たに導入された逐次近似応用再構成法と従来型逐次近似応用再構成法の MTF 比較. 日本放射線技術学会秋季学術大会 (第 43 回) (金沢市文化ホール), 2015. 10.
- 14) 中島宗一郎, 工藤正寿, 菅谷正範, 江澤賢治, 村木巖太郎, 秀永慎一, 土橋俊男 : 160mm ノンヘリカルスキャンにおける体軸方向 X-Y 面内の信号雑音比評価. 日本放射線技術学会秋季学術大会 (43) (金沢市文化ホール), 2015. 10.
- 15) 渡邊裕次郎, 蟹谷庄平, 工藤正寿, 菅谷正範, 中島宗一郎, 江澤賢治, 村木巖太郎, 秀永慎一 : 256 列 MDCT におけるノンヘリカルスキャンの X-Y 面内空間分解能評価. 日本放射線技術学会秋季学術大会 (第 43 回) (金沢), 2015. 10.

[付属病院 ME 部]

研究概要

臨床工学技士の基礎研究として呼吸；循環；代謝が挙げられる。本年度の研究も基本に基づいた研究内容が主であるが安全というキーワードでの研究も行った。現代の医療は高度な医療機器を使用するのが多く高度な医療を患者に提供するためにも常に安全を担保しなければならぬ。付属病院 ME 部としては安全をテーマとした研究を主に行って行きたい。

研究業績

学会発表

(1) 教育講演：

- 1) 鈴木健一¹⁾ (1) 付属病院 ME 部) : History of ECMO treatment Future of ECMO treatment in Japan. 日本体外循環医学会北海道地方会 補助循環勉強会 (北海道), 2015. 4.
- 2) 鈴木健一¹⁾, 竹田晋浩^{1,2)}, 市場晋吾²⁾ (1) 付属病院 ME 部, 2) 外科系集中治療科) : History of ECMO treatment Future of ECMO treatment in Japan. 日本体外循環技術医学会北陸地方会 (第 54 回) (金沢), 2015. 6.

(2) シンポジウム：

- 1) 鈴木健一¹⁾, 竹田晋浩¹⁾, 坂本篤裕²⁾, 倉藤晶子³⁾ (¹⁾ 付属病院 ME 部, ²⁾ 麻酔科学教室, ³⁾ 看護部) : 手術室における安全管理 : チーム医療として「チームで行う安全管理」: 臨床工学技士の目線から. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- 2) 鈴木健一¹⁾, 竹田晋浩^{1, 2)}, 市場晋吾²⁾, 濱田ゆう子¹⁾, 大石沙織¹⁾, 黄川田弥生¹⁾, 内田千草¹⁾, 美野輪恵子¹⁾, 橋本美紀¹⁾, 豊富達智¹⁾, 八重田知見¹⁾, 少前貴康¹⁾, その他 20 名 (¹⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部, ²⁾ 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科) : 臨床工学技士から見た ICU における pitfall 長期補助循環. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (第 24 回) (東京), 2015. 8.

(3) セミナー：

- 1) 鈴木健一¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部) : 手術で使用される ME 機器の基礎知識と安全な取り扱い. 平成 27 年度日本手術看護学会関東甲信越地区 教育セミナー (東京), 2016. 2.
- 2) 鈴木健一¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部) : 血液に優しい体外循環. 東北 HMS セミナー (第 5 回) (仙台), 2016. 2.

(4) 一般講演：

- 1) 鈴木健一¹⁾, 竹田晋浩^{1, 2)}, 市場晋吾²⁾ (¹⁾ 付属病院 ME 部, ²⁾ 外科系集中治療科) : 本邦初の CARDIOHELP 臨床使用経験. 日本呼吸療法医学会 (第 37 回) (京都), 2015. 7.
- 2) 橋本美紀, 鈴木健一, 梅井菜央¹⁾, 杉田慎二¹⁾, 市場晋吾¹⁾, 竹田晋浩 (¹⁾ 外科系集中治療室) : 人工肺を並列で 2 個使用した ECMO 症例. 日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (第 24 回), 2015. 8.
- 3) 中山拓也¹⁾, 鈴木健一¹⁾, 橋本美紀¹⁾, 佐藤 望¹⁾, 市場晋吾¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部) : エアフリー圧力チャンバによるアラーム発生不良. 日本急性血液浄化学会学術集会 (26) (東京都新宿区西新宿 2-2-1 京王プラザ), 2015. 10.
- 4) 鈴木健一¹⁾, 市場晋吾^{1, 2)}, 大石沙織¹⁾, 黄川田弥生¹⁾, 内田千草¹⁾, 美野輪恵子¹⁾, 豊富達智¹⁾, 八重田知見¹⁾, 中山拓也¹⁾, 中山 瞳¹⁾, 小磯那津美¹⁾, 梅井菜央²⁾, 杉田慎二²⁾, その他 15 名 (¹⁾ 日本医科大学付属病院 ME 部, ²⁾ 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科) : CARDIOHELP Longrun の経験. 日本人工臓器学会 (第 53 回) (東京), 2015. 11.

(5) ポスター発表：

- 1) 美野輪恵子, 橋本美紀, 鈴木健一, 竹田晋浩 : 臨床工学技士 24 時間体制開始からの現状と課題. 第 24 回 日本集中治療医学会関東甲信越地方会, 2015. 8.

[付属病院東洋医学科]

研究概要

当東洋医学科では第 65 回日本東洋医学会総会で、「東洋医学の発想と近代医学の最前線：未病と自然炎症」という総合タイトルで、メインシンポジウムを担当したが、その中で、従来「未病」と考えられてきた漠然とした概念が、「自然免疫担当細胞」の体内異物に対する慢性的な応答の可能性「自然炎症 (homeostatic inflammation)」について言及した。本年度は、その内容を日本東洋医学会雑誌にまとめ総説として「未病と自然炎症：生薬成分による制御の可能性」というタイトルで発表 (印刷中) するとともに、第 43 回日本小児東洋医学会のシンポジウムなどで発表した。また、こうした「自然炎症」が体内に侵入した病原微生物や抗癌剤などの薬剤使用に伴い体内に発生した細胞破壊産物由来の脂質・核酸群に対する生体の応答であること示したところ、多くの学会員から非常に興味をもたれ、KAMPO Medical Conference での「ウイルスに対する生体応答と各種の疾病」、「邪正闘争としての疾病」、「未病と自然炎症」、「最新の免疫学からみた東洋医学による治療戦略の意義」などの講演、そして日本東洋医学科関西支部総会や、平成 27 年度日本東洋医学会関東甲信越地区春期教育講演会の特別講演などで講演するとともに、「最新の免疫学からみた東洋医学による治療戦略」という総説を (アレルギー・免疫：23：49-356, 2016) に掲載した。また、その 1 つの治療戦略として、「漢方薬による $\gamma\delta$ T 細胞活性化」に関する研究を展開している。また一方において、「自然炎症」は「自己修復」の過程で誘発される現象であることも明らかとなり、漢方薬の成分の中に、「自然炎症」を治し「自己修復」を促す有効成分が存在するという視点から、生薬成分による免疫制御に関する研究を昨年に引き続き展開している。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Takahashi M¹⁾, Watari E¹⁾, Takahashi H (¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School) : Dichloroacetate induces cell cycle arrest in human glioblastoma cells persistently infected with measles virus : A way for controlling viral persistent infection. *Antiviral Res.* 2015 ; 113 (2) : 107-110.
- 2) Nakagawa Y¹⁾, Negishi Y¹⁾, Shimizu M¹⁾, Takahashi M¹⁾, Ichikawa M¹⁾, Takahashi H (¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School) : Effect of extracellular pH and hypoxia on the function and development of antigen-specific cytotoxic T lymphocytes. *Immunol. Lett.* 2015 ; 167 (2) : 72-86.
- 3) Shinya E¹⁾, Shimizu M¹⁾, Owaki A¹⁾, Paoletti S²⁾, Mori L²⁾, Libero G²⁾, Takahashi H (¹⁾ Department of Microbiology and Im-

munology, Nippon Medical School, ²⁾ Experimental Immunology, Department of Biomedicine, University Hospital) : Hemopoietic cell kinase (Hck) and p21-activated kinase 2 (PAK2) are involved in the down-regulation of CD1a lipid antigen presentation by HIV-1 Nef in dendritic cells. *Virology* 2016 ; 487 : 285-295.

- 4) Murakami R¹⁾, Nakagawa Y¹⁾, Shimizu M¹⁾, Wakabayashi A¹⁾, Negishi Y¹⁾, Hiroi T²⁾, Okubo K³⁾, Takahashi H (¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Allergy and Immunology, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, ³⁾ Department of Oto-Rhino-Laryngology, Nippon Medical School) : Effects of dendritic cell subset manipulation on airway allergy in a mouse model. *Int. Arch. Allergy Immunol.* 2016 ; 168 (4) : 219-232.

(2) 総説 :

- 1) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座（第15回）両腕のしびれ. *医道の日本* 2015 ; 74 (4) : 108-114.
- 2) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座（第16回）乳がんの頸部の痛み. *医道の日本* 2015 ; 74 (5) : 118-123.
- 3) 高橋秀実：HIV感染に対する新たな視点と治療法. *臨床免疫・アレルギー科* 2015 ; 63 (6) : 569-576.
- 4) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座（第17回）子宮がん. *医道の日本* 2015 ; 74 (6) : 114-121.
- 5) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座（第18回）不妊症. *医道の日本* 2015 ; 74 (7) : 132-139.
- 6) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座（第19回）若年性パーキンソン症候群. *医道の日本* 2015 ; 74 (8) : 118-124.
- 7) 津田篤太郎：【不定愁訴臨床を極める！】スペシャリストに聞きたい不定愁訴の疑問 不定愁訴に対する漢方治療とは？. *Modern Physician* 2015 ; 35 (8) : 983-986.
- 8) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座（第20回）肺炎とせん妄（1）. *医道の日本* 2015 ; 74 (9) : 103-109.
- 9) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座（第21回）肺炎とせん妄（2）. *医道の日本* 2015 ; 74 (10) : 110-115.
- 10) 津田篤太郎：【いまアレルギー外来がおもしろい-安全で効果の高い治療を使いこなす】治療薬を使いこなす アレルギー診療における東洋医学. *Medicina* 2015 ; 52 (11) : 1916-1918.
- 11) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座（第22回）胃がん（1）. *医道の日本* 2015 ; 74 (11) : 116-122.
- 12) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座（第23回）胃がん（2）. *医道の日本* 2015 ; 74 (12) : 118-125.
- 13) 津田篤太郎：【併存疾患のある慢性疾患管理】関節リウマチと併存疾患 複合疾患群（マルチモビディティ）としての治療戦略. *総合診療* 2015 ; 25 (12) : 1116-1122.
- 14) 高橋秀実：最新の免疫学からみた東洋医学による治療戦略の意義. *アレルギー・免疫* 2016 ; 23 (3) : 349-356.
- 15) 高橋秀実：未病と自然炎症：生薬成分による制御の可能性. *日本東洋医学会雑誌* 2016 ; 67 (2) : 195-203.
- 16) 高橋秀実：HIV感染と自然免疫. *アレルギー・免疫* 2016 ; 23 (5) : 684-690.
- 17) 高橋秀実： γ δ T細胞と生体制御（序）. *炎症と免疫* 2016 ; 24 (3) : 171-172.
- 18) 高橋秀実：HIV感染と γ δ T細胞. *炎症と免疫* 2016 ; 24 (3) : 173-177.

著書

- 1) 津田篤太郎：〔分担〕chapter E プライマリで役立つリウマチ膠原病の漢方. 関節リウマチの診かた, 考え方 ver.2, 2015 ; pp363-374, 中外医学社.
- 2) 神谷 茂¹⁾, 高橋秀実, 林 英生²⁾, 俣野哲朗³⁾ (¹⁾ 杏林大学医学部感染症学, ²⁾ 筑波大学名誉教授・中国学園大学, ³⁾ 国立感染症研究所エイズ研究センター) : 〔監訳〕ブラック微生物学（第3版）, 2015 ; pp1-864, 丸善出版.
- 3) 津田篤太郎：〔分担〕漢方のCosmology. 治療 特別編集 先生, 漢方を鍼灸を試してみたいんですけど……患者さんにいわれて困ったときに読む本, 2015 ; pp227-230, 南山堂.

学会発表

(1) 特別講演 :

- 1) 高橋秀実：邪正闘争としての疾病. KAMPO Medical Conference（東京）, 2015. 4.
- 2) 津田篤太郎：最近の症例から：アレルギーを中心に. KAMPO Medical Conference（東京）, 2015. 5.
- 3) 平馬直樹：日本の中医学：歴史と現状. KAMPO Medical Conference（東京）, 2015. 6.
- 4) 高橋秀実：未病と自然炎症. KAMPO Medical Conference（東京）, 2015. 7.
- 5) 津田篤太郎：慢性疼痛の漢方治療. KAMPO Medical Conference（東京）, 2015. 9.
- 6) 高橋秀実：漢方薬の解表作用によるlipid raftの解離とアレルギー・感染症の治療. 日本東洋医学会関西支部総会（大阪）, 2015. 10.
- 7) 高橋秀実：温病学（1）. KAMPO Medical Conference（東京）, 2015. 11.
- 8) 津田篤太郎：和田啓十郎没後100年. KAMPO Medical Conference（東京）, 2015. 12.
- 9) 平馬直樹：肝の病証と治療. KAMPO Medical Conference（東京）, 2016. 1.
- 10) 高橋秀実：最新の免疫学からみた東洋医学による治療戦略の意義. KAMPO Medical Conference（東京）, 2016. 2.

- 11) 高橋秀実：日本医科大学における東洋医学にかんする教育の現況と展望. 第2回日本漢方教育懇話会（鶴見），2016. 2.
 - 12) 高橋秀実：Suppression of a Tumor Growing through Activated CD8+ CTLs Primed by Administration of α -galactosylceramide (α -GalCer) in vivo. 平成26年度丸山ワクチン研究助成発表会（東京），2016. 3.
 - 13) 高橋秀実：漢方と免疫. 平成27年度日本東洋医学会関東甲信越地区春期教育講演会（東京），2016. 3.
 - 14) 津田篤太郎：更年期と漢方. KAMPO Medical Conference（東京），2016. 3.
- (2) 教育講演：
- 1) 菅沼 栄：陰陽学説①. 東京中医学研究会（東京），2015. 4.
 - 2) 菅沼 栄：陰陽学説②・辛涼解表薬. 東京中医学研究会（東京），2015. 5.
 - 3) 菅沼 栄：五行学説①・辛涼解表剤. 東京中医学研究会（東京），2015. 6.
 - 4) 菅沼 栄：五行学説②・去暑薬. 東京中医学研究会（東京），2015. 7.
 - 5) 菅沼 栄：気の生理と病理①・補益薬①. 東京中医学研究会（東京），2015. 9.
 - 6) 平馬直樹：漢方方剤運用のための基礎理論講座 証と治療 その1血虚証. 仙台中医学研究会（宮城），2015. 10.
 - 7) 菅沼 栄：気の生理と病理②・補益薬②. 東京中医学研究会（東京），2015. 10.
 - 8) 平馬直樹：漢方方剤運用のための基礎理論講座 証と治療 その2気滞と気逆. 神奈川実践漢方勉強会（横浜），2015. 11.
 - 9) 菅沼 栄：血の生理と病理・補血薬. 東京中医学研究会（東京），2015. 11.
 - 10) 菅沼 栄：津液. 東京中医学研究会（東京），2016. 1.
 - 11) 菅沼 栄：八綱弁証 表裏弁証・補血剤. 東京中医学研究会（東京），2016. 2.
 - 12) 高橋秀実：漢方と免疫. 日本東洋医学会関東甲信越地区春期教育講演会（東京），2016. 3.
 - 13) 菅沼 栄：八綱弁証 寒熱弁証. 東京中医学研究会（東京），2016. 3.
- (3) シンポジウム：
- 1) 高橋秀実：低濃度パクリタキセルによる免疫抑制性樹状細胞への分化阻害シンポジウム. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業シンポジウム（東京），2015. 6.
 - 2) 高橋秀実：自然免疫，自然炎症と漢方医学. 第43回日本小児東洋医学会総会（東京），2015. 9.
- (4) セミナー：
- 1) 高橋秀実：東洋医学入門パートI，東洋医学入門パートII. 臨床研修指導医のための漢方入門セミナー（福岡），2015. 6.
 - 2) 高橋秀実：東洋医学入門パートI，東洋医学入門パートII. 臨床研修指導医のための漢方入門セミナー セミナー（京都），2015. 10.
- (5) 一般講演：
- 1) Negishi Y¹⁾, Ichikawa T¹⁾, Takeshita T²⁾, Takahashi H⁽¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School) : Adoptive transfer of DEC-205-positive DCs activated by α -galactosylceramide induced marked fetal loss in pregnant mice. The 35th Annual Meeting of the American Society for Reproductive Immunology (Ontario), 2015. 6.
 - 2) Negishi Y¹⁾, Shima Y¹⁾, Takahashi H, Takeshita T²⁾ ⁽¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School) : Role of DEC-205 positive dendritic cells in moderately and late preterm delivery. 第23回日本胎盤学会総会（東京），2015. 11.
 - 3) Shinya E¹⁾, Shimizu M¹⁾, Owaki A¹⁾, Matsumura J¹⁾, Okura S¹⁾, Mori L²⁾, De-G. L²⁾, Takahashi H⁽¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, ²⁾ Experimental Immunology, Department of Biomedicine, University Hospital) : Hemopoietic cell kinase (HCK) augmented the interaction between HIV-1 Nef and p21-activated kinase 2 (PAK2) to down-regulate CD1a-restricted lipid-antigen presentation in dendritic cells. 第44回日本免疫学会学術集会（札幌），2015. 11.
 - 4) Kumagai Y¹⁾, Takahashi H⁽¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School) : The interaction between HIV-1 gp120 and chemokine receptor analyzed by using multivalent V3 epitopes grafted at immunoglobulin hypervariable regions. 第44回日本免疫学会学術集会（札幌），2015. 11.
 - 5) Azuma H¹⁾, Koike E¹⁾, Otsuka Y¹⁾, Negishi Y¹⁾, Takahashi H⁽¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School) : Effect of humoral factor and E-cadherin interaction on TLR-expressions of Langerhans cells derived from CD34+ cord blood cell. 第44回日本免疫学会学術集会（札幌），2015. 11.
 - 6) Otsuka Y¹⁾, Koike E¹⁾, Azuma H¹⁾, Mayumi N¹⁾, Saeki H²⁾, Takahashi H⁽¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Dermatology, Nippon Medical School) : Effect of stimulation with TLR ligands on monocytes-derived Langerhans cells. 第44回日本免疫学会学術集会（札幌），2015. 11.
 - 7) Wakabayashi A¹⁾, Yonekawa M¹⁾, Ishii K¹⁾, Murakami R¹⁾, Date T, Takahashi H : HMGB-1 contributes to the enhancement of co-stimulatory molecule-expression on mucosal DCs by oral administration of cholera toxin. 第44回日本免疫学会学術集会（札幌），2015. 11.

- 8) Negishi Y¹⁾, Ichikawa T¹⁾, Shimizu M¹⁾, Takeshita T, Kuroki K, Takeshita T³⁾, Takahashi H (¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School) : Miscarriage of murine pregnancy induced by adoptive cell transfer of α -GalCer-activated DEC-205+ DCs. 第44回日本免疫学会学術集会(札幌), 2015. 11.
- 9) Kougo H¹⁾, Shimizu M¹⁾, Yonekawa M¹⁾, Tomita Y¹⁾, Uchida E²⁾, Takahashi H (¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, ²⁾ Surgery for Organ and Biological Regulation, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Suppression of tumor growing through activated CD8+ CTLs primed by administration of α -galactocylceramide. 第44回日本免疫学会学術集会(札幌), 2015. 11.
- 10) Takaku S, Shimizu M¹⁾, Takahashi H (¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School) : Japanese herbal medicine enhance tumor vaccine efficacy mediated CD8+ T cells in a syngeneic manner. 第44回日本免疫学会学術集会(札幌), 2015. 11.
- 11) Negishi Y¹⁾, Ichikawa T¹⁾, Takeshita T²⁾, Takahashi H (¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Obstetrics and Gynecology, Nippon Medical School) : Role of iNKT cells in the miscarriages of pregnant mice induced by adoptive transfer of α -GalCer-activated DEC-205+ DCs. 第30回日本生殖免疫学会総会(熊本), 2015. 11.
- 12) 根岸靖幸, 島 義雄¹⁾, 西田直子²⁾, 朝倉啓文²⁾, 竹下俊行²⁾, 高橋秀実 (¹⁾ 日本医科大学小児科学教室, ²⁾ 日本医科大学産婦人科学教室) : 後期早産の胎盤における DEC-205 陽性樹状細胞の役割. 第67回日本産婦人科学会総会(東京), 2015. 4.
- 13) 津田篤太郎: 日本医学会と日本医史学会 日本医史学会はなぜ「第一分科会」なのか. 第116回日本医史学会総会・学術大会(大阪), 2015. 4.
- 14) 郷家明子: 鍼灸入門: 経絡治療の実際 (29). KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 4.
- 15) 郷家明子: 鍼灸入門: 経絡治療の実際 (30). KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 5.
- 16) 小野顕人: 漢方治療にて慢性蕁麻疹が改善した1例. KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 5.
- 17) 小野顕人: 漢方薬の併用により心不全が改善した1例. KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 5.
- 18) 平馬直樹: 江戸時代, 口訣の医学の伝統. 温知会(東京), 2015. 5.
- 19) 廣田 薫, 高久 俊, 小野顕人, 伊達伯欣, 石井一史, 平馬直樹, 高橋秀実: 咽喉不利の病態 胃食道逆流症の症例から. 第66回日本東洋医学会学術総会(富山), 2015. 6.
- 20) 小野顕人, 近江恭子, 廣田 薫, 高久 俊, 平馬直樹, 高橋秀実: 木防已湯ならびに五苓散の併用により心不全が改善した1例. 第66回日本東洋医学会学術総会(富山), 2015. 6.
- 21) 齊藤 仁, 廣田 薫, 高久 俊, 小野顕人, 平馬直樹, 高橋秀実: 漢方薬によりステロイド, 免疫抑制剤の減量・中止が可能となった臨床的非筋炎型皮膚筋炎CADMに合併した間質性肺炎の1例. 第66回日本東洋医学会学術総会(富山), 2015. 6.
- 22) 郷家明子: 鍼灸入門: 経絡治療の実際 (31). KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 6.
- 23) 廣田 薫: 咽喉不利の病態 胃食道逆流症の症例から II. KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 6.
- 24) 齊藤 仁: 漢方薬によりステロイド, 免疫抑制剤の減量・中止が可能となった clinically amyopathic dermatomyositis (CADM) に合併した間質性肺炎の1例. KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 6.
- 25) 郷家明子: 鍼灸入門: 経絡治療の実際 (32). KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 7.
- 26) 今藤誠俊: 乳がんに対する抗がん生薬. KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 7.
- 27) 福岡豊永, 花村 碧¹⁾, 飛塚峻介¹⁾, 高久 俊, 平馬直樹, 高橋秀実 (¹⁾ 天空洞) : がんの在宅医療における鍼灸治療の役割代2報. 第5回日本中医学学会学術総会(東京), 2015. 9.
- 28) 松村次郎¹⁾, 大脇敦子¹⁾, 新谷英滋¹⁾, 高橋秀実 (¹⁾ 日本医科大学微生物学免疫学教室) : HIV-1 の指向性変化に対する APOBEC-3G の影響. 第29回日本エイズ学会学術集会(東京), 2015. 11.
- 29) 大倉定之¹⁾, Stoye J²⁾, 高橋秀実 (¹⁾ Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School, ²⁾ Division of Virology, MRC National Institute for Medical Research, London, UK) : 細胞内抑制因子 Fv1 存在下におけるレトロウイルスゲノムの細胞内局所の解析. 第29回日本エイズ学会学術集会(東京), 2015. 11.
- 30) 石井一史: 急性胆嚢炎後に発症した局所性多汗症の1例. KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 12.
- 31) 郷家明子: 鍼灸入門: 経絡治療の実際 (33). KAMPO Medical Conference (東京), 2016. 1.
- 32) 郷家明子: 鍼灸入門: 経絡治療の実際 (34). KAMPO Medical Conference (東京), 2016. 2.
- 33) 郷家明子: 鍼灸入門: 経絡治療の実際 (35). KAMPO Medical Conference (東京), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分総説：

- 1) 松村次郎¹⁾, 高橋秀実⁽¹⁾ 日本医科大学微生物学免疫学教室)：HIV と悪性腫瘍. 臨床免疫・アレルギー科 2015；63 (1)：21-27.
- 2) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座 (第 12 回) めまい. 医道の日本 2015；74 (1)：222-227.
- 3) 高橋秀実：HAART 治療中の粘膜組織に潜伏する HIV とその制御. 日本エイズ学会誌 2015；17 (1)：14-18.
- 4) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座 (第 13 回) 痛みの症状に隠された思わぬ疾患. 医道の日本 2015；74 (2)：150-154.
- 5) 津田篤太郎：鍼灸師のためのカルテ講座 (第 14 回) 腫れを伴う足の痛み. 医道の日本 2015；74 (3)：126-131.

著書

追加分：

- 1) 津田篤太郎：〔自著〕漢方水先案内, 2015；pp1-227, 医学書院.

学会発表

追加分教育講演：

- 1) 平馬直樹：漢方方剤運用のための基礎理論講座 証と治療 その 2 気滞と気逆. 仙台中医学研究会 (宮城), 2015. 1.
- 2) 菅沼 栄：下焦湿熱. 東京中医学研究会 (東京), 2015. 1.
- 3) 平馬直樹：漢方方剤運用のための基礎理論講座 証と治療 その 1 気虚証. 神奈川実践漢方勉強会 (横浜), 2015. 1.
- 4) 菅沼 栄：中医学歴史・中薬学総論①. 東京中医学研究会 (東京), 2015. 2.
- 5) 菅沼 栄：中医学基本概念・中薬学総論②・辛温解表薬. 東京中医学研究会 (東京), 2015. 3.

追加分一般講演：

- 1) 郷家明子：鍼灸入門：経絡治療の実際 (26). KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 1.
- 2) 郷家明子：鍼灸入門：経絡治療の実際 (27). KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 2.
- 3) 郷家明子：鍼灸入門：経絡治療の実際 (28). KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 3.

追加分特別講演：

- 1) 平馬直樹：江戸時代, 口訣の医学の伝統. 2015 中医薬学術研討会 (台北), 2015. 3.
- 2) 高橋秀実：「ウイルスに対する生体応答と各種の疾病」. KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 1.
- 3) 津田篤太郎：「漢方治療の有害事象」再考. KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 2.
- 4) 平馬直樹：江戸時代口訣の医学の展開：津田玄仙の医学. KAMPO Medical Conference (東京), 2015. 3.

[ゲノム先端医療部]

研究概要

ヒト遺伝子研究の成果は、遺伝子検査の対象が従来の単一遺伝子病から薬物感受性や疾患易罹患性といった多因子病へと幅が広がってきている。遺伝情報を個の医療に活用する、個人の疾患の早期診断さらに予防に繋げる、すなわちオーダーメイド医療（個別化医療）が現実のものになりつつある。今後、日常診療の場でオーダーメイド医療のための遺伝情報を用いる機会が増えることが予想され、そのための病院内での体制作りが急がれる。日本医科大学付属病院では法人の全面的支援を受けて全国の医科大学に先駆け、平成 20 年 4 月にオーダーメイド遺伝子医療を実現するための「ゲノム先端医療部」を開設した。我々の部署では近年著しく増加してきた臨床の有用性が実証されつつある遺伝情報を、倫理的課題にも配慮し医療現場に還元することを目的としている。これまでに、全自動遺伝子解析装置を導入し、インターフェロンの感受性に関わる IL28B 遺伝子多型解析については、消化器内科と協働して平成 25 年 5 月に先進医療実施施設として認定され、保険収載されているイリノテカンの副作用に関連する UGT1A1 遺伝子検査とともに臨床検査部に移行した。院内検査でできる遺伝子多型検査項目を増やしつつある。また、体細胞変異である悪性腫瘍の遺伝子検査として、血液内科、臨床検査部と協働して慢性骨髄増殖性疾患への JAK2 遺伝子検査の院内検査導入を開始した。今後も診療科の要望を踏まえ、さらなる検査項目の増加を目指し研究レベルから診療への導入を目指し検討を進めている。これらのオーダーメイド医療を臨床の場で実現するには、倫理的・法的・社会的問題 (Ethical, Legal and Social Issues) への対応を同時に検討することが求められる。ゲノム先端医療部は、これらの進歩に迅速に対応し、日本における先端医療の臨床応用への橋渡しを推進していく部署として発展していきたい。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Koeda M¹, Watanabe A, Tsuda K², Matsumoto M², Ikeda Y³, Kim W¹, Naing B, Karibe H³, Shimada T, Suzuki H⁴, Matsuura M², Okubo Y¹ (1) Department of Neuropsychiatry, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, (2) Department of Biofunctional Informatics, Tokyo Medical and Dental University, (3) Department of Pediatric Dentistry, Nippon Dental University, (4) Department of Pharmacology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School) : Interaction Effect between Handedness and CNTNAP2 Polymorphism (rs7794745genotype) on Voice-specific Frontotemporal Activity in Healthy Individuals : An fMRI Study. *Front Behav Neurosci.* 2015 ; 9 (87).
- 2) Sago H¹, Sekizawa A², Watanabe A (1) Center of Maternal-Fetal, Neonatal and Reproductive Medicine, National Center for Child Health and Development, (2) Department of Obstetrics and Gynecology, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan) : Nationwide demonstration project of next-generation sequencing of cell-free DNA in maternal plasma in Japan : 1-year experience. *Prenat Diagn* 2015 ; 35 (4) : 331-336.
- 3) Oyama S¹, Funasaka Y¹, Watanabe A, Takizawa T¹, Kawana S¹, Saeki H¹ : BRAF, KIT, and NRAS mutations and expression of c-KIT, pERK and pAKT in Japanese melanoma patients. *J Dermatol.* 2015 ; 42 (5) : 447-484.
- 4) Hara K¹, Watanabe A, Matsumoto S¹, Matsuda Y², Kuwata T³, Kan H¹, Yamada T¹, Koizumi M¹, Shinji S¹, Yamagishi A¹, Ishiwata T², Naito Z², Shimada T, Uchida E¹ (1) Department of Gastrointestinal and Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Nippon Medical School, (2) Department of Pathology and Integrative Oncological Pathology, Nippon Medical School Graduate School, (3) National Cancer Center Hospital East) : Surgical specimens of colorectal cancer fixed with the PAXgene Tissue System preserve high-quality RNA. *Biopreserv Biobank.* 2015 ; 13 (5) : 325-334.
- 5) Iijima O, Miyake K, Watanabe A, Miyake N, Igarashi T¹, Kanokoda C, Nakamura-Takahashi A, Kinoshita H², Noguchi T³, Abe S³, Narisawa S⁴, Millán J⁴, Okada T, Shimada T (1) Department of Ophthalmology, Nippon Medical School Hospital, (2) Department of Dental Materials Science, Tokyo Dental College, (3) Department of Anatomy, Tokyo Dental College, (4) Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham Medical Research Institute, La Jolla, California) : Prevention of Lethal Murine Hypophosphatasia by Neonatal Ex Vivo Gene Therapy Using Lentivirally Transduced Bone Marrow Cells. *Hum Gene Ther.* 2015 ; 26 (12) : 801-812.
- 6) Tosa M¹, Watanabe A, Ghazizadeh M¹ (1) Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital) : IL-6 Polymorphism and Susceptibility to Keloid Formation in Japanese Population.(in press). *J Invest Dermatol.* 2016 ; 136 : 1069-1072.
- 7) Watanabe A, Satoh K¹, Maniwa T¹, Matsumoto K¹ (1) Department of Biosignaling and Radioisotope Experiment, Interdisciplinary Center for Science Research, Organization for Research, Shimane University) : Proteomic analysis for the identification of serum diagnostic biomarkers for joint hypermobility syndrome. *Int J Mol Med.* 2016 ; 37 (2) : 461-467.
- 8) Nakamura-Takahashi A, Miyake K, Watanabe A, Hirai Y, Iijima O, Miyake N, Adachi K, Kasahara Y, Kinoshita H¹, Noguchi T², Abe S², Narisawa S³, Millán J³, Shimada T, Okada T (1) Department of Dental Materials Science, Tokyo Dental College, (2) Department of Anatomy, Tokyo Dental College, (3) Sanford Children's Health Research Center, Sanford-Burnham Prebys Medical Discovery Institute, La Jolla, California, USA) : Treatment of hypophosphatasia by muscle-directed expression of bone-targeted alkaline phosphatase via self-complementary AAV8 vector. *Mol Ther Methods Clin Dev.* 2016 ; 3 (15059).
- 9) Yaoita M¹, Niihori T¹, Mizuno S², Okamoto N³, Hayashi S⁴, Watanabe A, Yokozawa M⁵, Suzumura H⁶, Nakahara A⁷, Nakano Y⁸, Hokosaki T⁹, Ohmori A¹⁰, Sawada H¹⁰, Migita O, Mima A, et al. (1) Department of Medical Genetics, Tohoku University School of Medicine, (2) Department of Pediatrics, Central Hospital, Aichi Human Service Center, (3) Department of Medical Genetics, Osaka Medical Center, Research Institute for Maternal and Child Health, (4) Department of Neonatology, The Jikei University Hospital, (5) Department of Pediatric Cardiology, Hokkaido Medical Center for Child Health and Rehabilitation, (6) Department of Pediatrics, Dokkyo Medical University, (7) Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, University of Miyazaki, Miyazaki, (8) Department of Cardiology, Nagano Children's Hospital, (9) Department of Pediatrics, Yokohama City University Hospital, (10) and others) : Spectrum of mutations and genotype-phenotype analysis in Noonan syndrome patients with RIT1 mutations. *Human Genet.* 2016 ; 135 (2) : 209-222.

(2) 総説：

- 1) 糸賀 栄¹, 渡邊 淳, 野村文夫¹ (1) 千葉大学医学部附属病院) : 第1章実用化に向かう次世代シーケンサーとその周辺7. 全自動遺伝子解析装置の最新情報. 遺伝子医学MOOK「ますます臨床利用が進む遺伝子検査—その現状と今後の展望そして課題—」2015 ; 28 : 54-61.

- 2) 渡邊 淳, 武田(岡崎) 恵利^{1,2)}, 佐々木元子⁽¹⁾ 名古屋市立大学病院産科婦人科, ²⁾ お茶の水女子大学大学院): 第4章遺伝カウンセリングとその周辺 1. 遺伝学的検査を扱う際に知っておくべきガイドラインの概要. 遺伝子医学 MOOK「ますます臨床利用が進む遺伝子検査—その現状と今後の展望そして課題—」 2015; 28: 222-227.
- 3) 渡邊 淳: 固形腫瘍におけるコンパニオン診断と利用のポイント. 臨床病理 2015; 63 (11): 1310-1315.

著 書

- 1) 野村文夫: [共著] 11. 遺伝子関連検査 14. 結合織疾患. 日常診療のための検査値のみかた (野村文夫, 村上正巳, 和田隆志, 末岡榮三郎), 2015; pp697-702, 中外医学社.
- 2) 渡邊 淳: [共著] 11. 遺伝子関連検査 14. 結合織疾患. 日常診療のための検査値のみかた (野村文夫, 村上正巳, 和田隆志, 末岡榮三郎編集), 2015; pp697-702, 中外医学社.

学会発表

(1) 特別講演:

- 1) 渡邊 淳: 医療現場で PGx 検査を実施する有用性: 現状と課題「医療現場における PGx の実際と展望—TDM と PGx との協働を目指して」. 日本 TDM 学会・学術大会 (第 32 回) (松本市), 2015. 5.
- 2) 渡邊 淳: ファーマコゲノミクス (PGx) 検査. 遺伝カウンセリング研修会 (第 6 回) (松本市), 2015. 7.
- 3) 渡邊 淳: PGx 情報の活用に向けた現状と課題「遺伝情報の取り扱いについて」. 日本遺伝子診療学会大会 (第 22 回 (横浜市), 2015. 7.

(2) シンポジウム:

- 1) 渡邊 淳: 中等教育担当者との協働活動の取り組み. 遺伝関連学会合同シンポジウム「ヒトの遺伝教育の充実に向けて」. 日本人類遺伝学会 (第 60 回) (東京都新宿区), 2015. 10.

(3) 一般講演:

- 1) 金子朋広¹⁾, 新井桃子¹⁾, 森田めぐみ¹⁾, 渡辺容子¹⁾, 平間章郎¹⁾, 藤田恵美子¹⁾, 清水 章²⁾, 渡邊 淳, 鶴岡秀一¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院腎臓内科, ²⁾ 日本医科大学付属病院 解析人体病理学): 遺伝子型測定によるタクロリムス治療効果判定の有用性. 日本腎臓学会学術総会 (第 58 回) (名古屋), 2015. 6.
- 2) 佐々木元子, 松本健一¹⁾, 島田 隆, 岡田尚巳²⁾, 渡邊 淳 (¹⁾ 島根大学総合研究支援センター, ²⁾ 日本医科大学大学院 分子遺伝学): えん下困難, 早期満腹を伴う関節可動亢進型エーラスダンロス症候群. 日本人類遺伝学会 (第 60 回) (東京), 2015. 10.
- 3) 田嶋華子¹⁾, 渡邊 淳, 根本春子²⁾, 佐々木元子, 伊藤保彦¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学 小児科, ²⁾ 日本大学松戸歯学部 小児歯科学講座): 乳歯早期脱落を機に受診し, 低ホスファターゼ症 (歯限局型) と診断した 1 例. 日本小児科学会 東京都地方会講話会 (第 626 回) (東京), 2016. 3.

29. 武蔵小杉病院付置施設等

[武蔵小杉病院消化器病センター]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Bou H, Suzuki H, Maejima K, Uchida E¹⁾, Tokunaga A²⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School, 2) Professor Emeritus (M), Nippon Medical School) : Prevention of Incisional Surgical Site Infection Using a Subcuticular Absorbable Suture in Elective Surgery for Gastrointestinal Cancer. *International Surgery* 2015 ; 100 : 999-1003.
- 2) 鈴木英之¹⁾, 飯野雅子²⁾ (1) 武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 武蔵小杉病院 看護部) : 消化器外科病棟における診療看護師 (NP) の役割と成果. *看護研究* 2015 ; 48 (5) : 443-448.

(2) 症例報告：

- 1) 三島圭介^{1,2)}, 塩谷 猛¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 渡邊善正¹⁾, 小峯 修¹⁾, 渋谷 肇¹⁾, 大山莉奈^{1,2)}, 清水貴夫^{1,2)}, 鈴木英之²⁾ (1) さいたま市民医療センター外科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター) : 急性虫垂炎を契機に発症した壊死性筋膜炎の1例. *日本腹部救急医学会雑誌* 2015 ; 35 卷 (6号) : 823-828.
- 2) 黒田誠司^{1,2)}, 塩谷 猛¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 渡邊善正¹⁾, 小峯 修¹⁾, 渋谷 肇¹⁾, 三島圭介^{1,2)}, 内間久隆³⁾, 島田裕司⁴⁾ (1) さいたま市民医療センター 外科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 3) さいたま市民医療センター 病理診断科, 4) さいたま市民医療センター 放射線科) : 術後病理標本で胆嚢管転移が発見された睪癌の1例. *日本消化器外科学会雑誌* 2015 ; 48 (6) : 513-520.
- 3) 大山莉奈¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 三浦克洋¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 消化器外科) : 術前診断に難渋した villous adenoma の形態を示した進行大腸癌の1例. *神奈川医学外雑誌* 2015 ; 42 (2) : 1-5.
- 4) 和田由大¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 小峯 修¹⁾, 内間久隆²⁾ (1) さいたま市民医療センター 外科, 2) さいたま市民医療センター 病理診断科) : 腸閉塞をきたした単純性小腸潰瘍に腹腔鏡補助下小腸切除術を施行した1例. *日本外科系連合学会誌* 2015 ; 40 (6) : 1113-1119.
- 5) 中田亮輔^{1,2)}, 加納恒久¹⁾, 萩原英之¹⁾, 内山喜一郎¹⁾, 鈴木英之^{1) 2)} (1) 海老名総合病院 外科, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター) : 腹腔鏡下で整復しえた成人特発性腸重積の1例. *日本腹部救急医学会雑誌* 2016 ; 35 (6) : 745-748.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 針金幸平, 黒田誠司, 渡辺昌則, 助川 誠, 山岸征嗣, 千原直人, 坊 英樹, 鈴木英之 : メッケル憩室に起因した絞扼性イレウスの2例. *神奈川臨床外科医学会集談会* (144回) (神奈川県横浜市), 2015. 12.

(2) シンポジウム：

- 1) 黒田誠司¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 三島圭介¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 消化器外科) : 当センターで経験した腹腔鏡下ヘルニア修復術 (TAPP) の pitfall. *日本ヘルニア学会学術集会* (第13回) (名古屋), 2015. 5.
- 2) 千原直人, 鈴木英之, 渡辺昌則, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 外科) : 当科における腹腔鏡下ヘルニア修復術の適応; 腹部手術歴の TAPP 症例に対する術前 TAU mapping を中心に: (腹腔鏡下ヘルニア修復術の適応基準と成績). *日本ヘルニア学会学術集会* (第13回) (名古屋), 2015. 5.
- 3) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 村木 輝¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学外科) : 背景腺や術野にかかわらず画一的に行える簡便・確実な膵管空腸粘膜吻合手順. 第27回日本肝胆膵外科学会 (東京), 2015. 6.
- 4) 千原直人, 鈴木英之, 三島圭介, 豊田哲鎬, 渡辺昌則, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 外科) : Mesh 感染に対する腹腔鏡下 mesh 除去は術式統一が可能か?. *神奈川ヘルニア研究会* (第7回) (神奈川), 2015. 12.

(3) パネルディスカッション：

- 1) 三島圭介¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 野村 聡¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 八木重記¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 和田由大¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 消化器外科) : 当院における嵌頓ヘルニアに対する治療法と成績. *日本*

ヘルニア学会学術集会 (第13回) (名古屋), 2015. 5.

- 2) 渡辺昌則, 野村 聡, 埴 秀暁, 三島圭介, 黒田誠司, 水谷 聡, 吉野雅則, 坊 英樹, 鈴木英之, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 定時大腸手術における適正な予防的抗菌薬の使用は周術期感染予防に貢献する. 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京), 2015. 6.
- 3) 千原直人, 鈴木英之, 渡辺昌則, 黒田誠司, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 外科): 腹部手術歴のある鼠径ヘルニアに対する TAPP の挑戦: 術前 TAU mapping の活用: (腹腔鏡下ヘルニア修復術, 困難症例への挑戦). 日本内視鏡外科学会総会 (第28回) (大阪), 2015. 12.

(4) ワークショップ:

- 1) 黒田誠司¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科): 当センターにおける若手外科医の腹腔鏡下ヘルニア修復術 (TAPP). 日本外科系連合学会学術集会 (第40回) (東京), 2015. 6.
- 2) 村木 輝¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 助川 誠¹⁾, 八木亜記¹⁾, 三島圭介¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 豊田哲鎬¹⁾, 埴 秀暁¹⁾, 前島頭太郎¹⁾, 千原直人¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学消化器外科): 腹腔鏡下虫垂切除術における虫垂根部処理の工夫 - 体内結紮と Roeder's knot について -. 第40回日本外科系連合学会学術集会 (新宿 (東京)), 2015. 6.
- 3) 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 飯野雅子²⁾, 内田英二³⁾ (1) 武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 武蔵小杉病院 看護部, 3) 消化器外科): 癌チーム医療におけるナースプラクティショナー (NP) の役割と課題. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡), 2015. 11.
- 4) 黒田誠司¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 針金幸平¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 消化器外科): パリテックス・ラッププログリップの使用経験. 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡), 2015. 11.
- 5) 千原直人, 鈴木英之, 渡辺昌則, 山岸征嗣, 三島圭介, 黒田誠司, 針金幸平, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 外科): 当院における嵌頓ヘルニアに対する緊急腹腔鏡下手術 (TAPP, TEP) の標準化への取り組み (外科救急診療における内視鏡外科の応用 (胸腔鏡, 腹腔鏡)). 日本臨床外科学会総会 (第77回) (福岡), 2015. 11.

(5) 一般講演:

- 1) Oyama R¹⁾, Suzuki H¹⁾, Chihara N¹⁾, Watanabe M¹⁾, Nakata R¹⁾, Uchida E²⁾ (1) Institute of Gastroenterology, Nippon Medical School, Musashikosugi Hospital, 2) Department of Surgery, Nippon Medical School, Tokyo Japan): Laparoscopic transabdominal preperitoneal (TAPP) inguinal hernia repairs in patients with previous abdominal surgery. 1st world conference on abdominal wall hernia surgery (Milan, Italy), 2015. 4.
- 2) 中田亮輔, 千原直人, 鈴木英之, 大山莉奈, 助川 誠, 渡辺昌則, 内田英二¹⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan): The safety and feasibility of laparoscopic repair for sliding inguinal hernia. 1st world conference on abdominal wall hernia surgery (Milan, Italy), 2015. 4.
- 3) Chihara N, Suzuki H, Watanabe M, Nakata R, Uchida E¹⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan): Feasibility of laparoscopic surgery for incarcerated hernia. 1st world conference on abdominal wall hernia surgery (Milan (Italy)), 2015. 4.
- 4) 助川 誠, 千原直人, 鈴木英之, 渡辺昌則, 野村 聡, 内田英二¹⁾ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan): LAPAROSCOPIC ABSORBABLE BARBED SUTURING TECHNIQUE FOR PERITONEAL CLOSURE. 1st world conference on abdominal wall hernia surgery (Milan, Italy), 2015. 4.
- 5) 中田亮輔, 水谷 聡, 鈴木英之, 相本隆幸, 山岸征嗣, 村木 輝, 助川 誠, 星野有哉, 渡辺昌則, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院 外科): Examination of post-operative complication having influence on prolonged hospital stay after sub-total stomach-preserving pancreaticoduodenectomy (SSpPD). European Pancreatic Club (Toledo, Spain), 2015. 5.
- 6) 山岸征嗣¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 村木 輝¹⁾, 中田亮輔¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学付属病院 外科): Efficacy of continuous suction drainage tubes on drainage efficiency in patients with pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy. European Pancreatic Club (第47回) (スペイン), 2015. 6.
- 7) Mishima K¹⁾, Mizutani S¹⁾, Suzuki H¹⁾, Aimoto T²⁾, Yamagishi S¹⁾, Sukegawa M¹⁾, Muraki A¹⁾, Nakata R¹⁾, Uchida E³⁾ (1) Institute of Gastroenterology, Nippon Medical School MusashiKosugi Hospital, 2) Institute of Gastroenterology, Nippon Medical School MusashiKosugi Hospital, Department of Surgery, Seifukai Kobayashi Hospital, 3) Department of Gastroenterological Surgery, Nippon Medical School Hospital): Review of Pancreatic Neuroendocrine Tumors (pNETs) in Japan and Clinicopathological examination of our surgical experiences. Annual Meeting of the European Pancreatic Club (47th) (Spain), 2015. 6.
- 8) Mizutani S¹⁾, Suzuki H¹⁾, Aimoto T¹⁾, Yamagishi S¹⁾, Mishima K¹⁾, Muraki A¹⁾, Nakata R¹⁾, Sukegawa M¹⁾, Maejima K¹⁾,

- Yoshino M¹, Hoshino A¹, Watanabe M¹, Uchida E² (1) Institute of Gastroenterology, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, (2) Department of Surgery, Nippon Medical School) : Validity of circumferential superior mesenteric arterial nerve plexus-preserving pancreaticoduodenectomy for pancreatic head carcinoma with no-invasion into superior mesenteric arterial nerve plexus diagnosed by preoperative images. 47th Annual Meeting of the European Pancreatic Club (Toledo), 2015. 6.
- 9) Muraki A¹, Mizutani S¹, Suzuki H¹, Aimoto T², Yamagishi S¹, Mishima K¹, Nakata R¹, Sukegawa M¹, Uchida E³ (1) Institute of Gastroenterology, Nippon Medical School Musashi-kosugi Hospital, Kawasaki, Japan, (2) Kobayashi Hospital, Tokyo, Japan, (3) Department of Gastroenterological Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Efficacy of surgical treatment for metastatic pancreatic tumor from renal cell carcinoma : a literature review. 47th Annual Meeting of the European Pancreatic Club (Toledo, Spain), 2015. 6.
- 10) 助川 誠, 水谷 聡, 鈴木英之, 相本隆幸¹, 山岸征嗣, 三島圭介, 村木 輝, 中田亮輔, 内田英二² (1) 正風会 小林病院 外科, (2) 日本医科大学 消化器外科) : Pancreaticojejunostomy with duct-to-mucosa is superior to total diversion in the incidence of over grade B pancreatic fistula in patients with soft pancreas. European Pancreatic Club (47th) (Spain), 2015. 6.
- 11) Watanabe M, Suzuki H, Kuroda S, Mishima K, Nomura S, Maejima K, Chihara N, Mizutani S, Yoshino M, Uchida E¹ (1) Department of Surgery, Nippon Medical School) : The choice of wound closure depending on subclassification of dirty wound after colon perforation. Pan-Pacific Surgical Association-Japan Chapter (The 32nd) (Hawaii), 2015. 9.
- 12) Muraki A¹, Hideyuki S¹, Mizutani S¹, Yamagishi S¹, Toyoda T¹, Nomura S¹, Hanawa H¹, Matsunobu T¹, Chihara N¹, Yoshino M¹, Watanabe M¹, Uchida E² (1) Nippon Medical School Musashi-kosugi Hospital, Japan, (2) Nippon Medical School Hospital, Japan) : Reduced port surgery in laparoscopic appendectomy : a retrospective comparative study <Which is the best way with 3 or 2 or single port?>. The 12th Asia-Pacific congress of endoscopic and laparoscopic surgery (Daegu, Korea), 2015. 9.
- 13) 山岸征嗣¹, 水谷 聡¹, 鈴木英之¹, 相本隆幸¹, 村木 輝¹, 三島圭介¹, 助川 誠¹, 渡辺昌則¹, 内田英二² (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, (2) 日本医科大学付属病院 外科) : Evaluation for postoperative clinical course of open liver resection in our hospital- for clinical path introduction. 日本肝胆膵外科学会総会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.
- 14) 三島圭介¹, 水谷 聡¹, 鈴木英之¹, 山岸征嗣¹, 助川 誠¹, 清水貴夫¹, 大山莉奈¹, 谷合信彦², 内田英二² (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, (2) 日本医科大学 消化器外科) : Evaluation of Intraductal Papillary Neoplasma of Bile Duct (IPNB) in our institution. 日本肝胆膵外科学会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.
- 15) 助川 誠, 水谷 聡, 鈴木英之, 相本隆幸¹, 山岸征嗣, 三島圭介, 埴 秀暁, 前島顕太郎, 坊 英樹, 渡邊昌則, 内田英二² (1) 正風会 小林病院 外科, (2) 日本医科大学 消化器外科) : A case of Brunner's gland adenocarcinoma patient undergone pancreaticoduodenectomy. 日本肝胆膵外科学会 (第 27 回) (東京), 2015. 6.
- 16) 黒田誠司¹ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター) : 腹腔鏡下ヘルニア修復術の『ピットフォール』と『こつ』と今後. 橋桜消化器外科研究会 (第 6 回) (東京), 2015. 4.
- 17) 山岸征嗣¹, 水谷 聡¹, 鈴木英之¹, 相本隆幸¹, 三島圭介¹, 渡辺昌則¹, 丸山雄二², 井村 肇², 内田英二³ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, (2) 日本医科大学武蔵小杉病院 外科, (3) 日本医科大学付属病院 外科) : 感染性大動脈瘤による腹部大動脈十二指腸瘻に対し腸管先行処理を行った 1 例. 手術手技研究会 (第 69 回) (高崎), 2015. 5.
- 18) 水谷 聡¹, 鈴木英之¹, 相本隆幸¹, 谷合信彦¹, 吉田 寛¹, 山岸征嗣¹, 三島圭介¹, 助川 誠¹, 村木 輝¹, 清水貴夫¹, 大山莉奈¹, 前島顕太郎¹, 吉野雅則¹, 渡辺昌則¹, 内田英二² (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, (2) 日本医科大学外科) : 狭視野における胆管空腸・膵管空腸吻合の工夫. 第 69 回手術手技研究会 (高崎), 2015. 5.
- 19) 山岸征嗣¹, 水谷 聡¹, 鈴木英之¹, 相本隆幸¹, 三島圭介¹, 渡辺昌則¹, 内田英二² (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, (2) 日本医科大学付属病院 外科) : 当院で DP-CAR を施行した腹腔動脈浸潤膵体尾部癌の検討. 日本膵臓学会総会 (第 46 回) (名古屋), 2015. 6.
- 20) 前島顕太郎, 坊 英樹, 埴 秀暁, 鈴木英之, 渡辺昌則, 吉野雅則, 水谷 聡, 千原直人, 野村 聡, 内田英二¹ (1) 付属病院 消化器外科) : 腹腔鏡下胃全摘術における開腹術手順と同じ再建法の工夫. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- 21) 大山莉奈¹, 塩谷 猛¹, 南部弘太郎¹, 渡邊義正¹, 小峯 修¹, 渋谷 肇¹, 山田太郎¹ (1) さいたま市民医療センター 外科) : 若手外科医による腹腔鏡下ヘルニア修復術. 日本外科系連合学会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- 22) 三島圭介¹, 水谷 聡¹, 鈴木英之¹, 山岸征嗣¹, 助川 誠¹, 清水貴夫¹, 大山莉奈¹, 谷合信彦², 内田英二² (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, (2) 日本医科大学 消化器外科) : Intraductal Papillary Neoplasma of Bile Duct (IPNB) の手術 3 症例. 日本外科系連合学会学術集会 (第 40 回) (東京), 2015. 6.
- 23) 黒田誠司¹, 渡辺昌則¹, 埴 秀暁¹, 野村 聡¹, 三島圭介¹, 鈴木英之¹ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター) : まれな食道腫瘍の 1 例. 神奈川食道疾患研究会 (第 85 回) (横浜), 2015. 6.
- 24) 水谷 聡¹, 鈴木英之¹, 山岸征嗣¹, 三島圭介¹, 村木 輝¹, 中田亮輔¹, 谷合信彦¹, 吉田 寛¹, 前島顕太郎¹, 吉野雅則¹, 星

- 野有哉¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学外科): 肝門部領域癌術前ドレナージに対する当院の方針と成績. 第40回日本外科系連合学会学術集会(東京), 2015. 6.
- 25) 水谷 聡, 鈴木英之, 相本隆幸, 山岸征嗣, 三島圭介, 助川 誠, 村木 輝, 前島顕太郎, 清水貴夫, 大山莉奈, 吉野雅則, 渡辺昌則, 内田英二 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学外科): SMA 神経叢浸潤陰性膵頭部癌に対する左方アプローチ膵頭十二指腸切除術. 第46回日本膵臓学会大会(名古屋), 2015. 6.
- 26) 渡辺昌則, 野村 聡, 塙 秀暁, 黒田誠司, 三島圭介, 村木 輝, 前島顕太郎, 坊 英樹, 鈴木英之, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): E-PASS scoring system による食道癌術後短期および長期成績の検討. 日本食道学会(第69回)(横浜), 2015. 6.
- 27) 村木 輝¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 松信哲朗¹⁾, 相本隆幸²⁾, 山岸征嗣¹⁾, 中田亮輔¹⁾, 三島圭介¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 正風会 小林病院, 3) 日本医科大学 消化器外科): 4年間に膵頭十二指腸切除を含む5回の手術を施行した脱分化型脂肪肉腫の1例. 第27回日本肝胆膵外科学会・学術集会(台場(東京)), 2015. 6.
- 28) 山岸征嗣¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 三島圭介¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 丸山雄二²⁾, 井村 肇²⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院 外科, 3) 日本医科大学付属病院 外科): 感染性腹部大動脈瘤による腹部大動脈十二指腸瘻に対する腸管先行処理の有用性. 消化器外科学会総会(第70回)(浜松), 2015. 7.
- 29) 清水貴夫¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 神野 彩¹⁾, 范姜明志¹⁾, 渋谷 肇¹⁾, 端山 軍¹⁾, 小峯 修¹⁾, 渡邊善正¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 山田太郎¹⁾, 内間久隆²⁾, 大石卓爾³⁾, 島田裕司³⁾ (1) さいたま市民医療センター 外科, 2) さいたま市民医療センター 病理診断科, 3) さいたま市民医療センター 放射線科): Ball valve syndrome をきたした0-I型胃癌に対し術中整復し手術施行し得た1例. 埼玉県外科医会外科臨床問題検討会(第18回)(さいたま), 2015. 7.
- 30) 前島顕太郎, 坊 英樹, 塙 秀暁, 鈴木英之, 渡辺昌則, 吉野雅則, 水谷 聡, 千原直人, 野村 聡, 内田英二¹⁾ (1) 付属病院 消化器外科): 腹腔鏡下胃全摘術における再建法の工夫: 最大限に開腹術に近づけるために. 日本消化器外科学会総会(第70回)(静岡), 2015. 7.
- 31) 野村 聡¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 塙 秀暁¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 千原直人¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 消化器外科): 当科における腹臥位胸腔鏡下食道切除術習得のための手術手順, 手技の定型化. 第69回日本食道学会学術集会(横浜), 2015. 7.
- 32) 中田亮輔¹⁾, 萩原英之¹⁾, 小泉正樹¹⁾, 去川秀樹¹⁾, 鎌田順道¹⁾, 宮前 拓¹⁾, 阿部 豊¹⁾, 加納恒久¹⁾, 名取穰治¹⁾, 内山喜一郎¹⁾, 鈴木英之 (1) 海老名総合病院 外科): 腸閉塞症に対する腹腔鏡手術の安全性と有用性. 日本消化器外科学会総会(第70回)(静岡), 2015. 7.
- 33) 三島圭介¹⁾, 渡邊昌則¹⁾, 野村 聡¹⁾, 塙 秀暁¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 千原直人¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 許田典夫²⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉 病理診断科, 3) 日本医科大学 消化器外科): 4型胃癌様の胃壁内転移をきたした食道扁平上皮癌の1例. 日本食道学会(第69回)(横浜), 2015. 7.
- 34) 塙 秀暁¹⁾, 野村 聡¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 外科): 早期胃癌に対する開腹手術と腹腔鏡補助下手術のE-PASSスコアリングシステムを用いた比較. 日本消化器外科学会(第70回)(浜松), 2015. 7.
- 35) 黒田誠司¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 千原直人¹⁾, 野村 聡¹⁾, 塙 秀暁¹⁾, 三島圭介¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 消化器外科): 壁外発育型食道 GIST の1例. 日本食道学会(第69回)(横浜), 2015. 7.
- 36) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 三島圭介¹⁾, 村木 輝¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学外科): 膵管径や視野にとらわれない簡便かつ画一的に行える膵管空腸粘膜吻合手順. 第70回日本消化器外科学会(浜松), 2015. 7.
- 37) 村木 輝¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 助川 誠¹⁾, 大山莉奈¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 中田亮輔¹⁾, 千原直人¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 消化器外科): 腹腔鏡下虫垂切除術における Reduced port surgery: Which is the best way with 3 or 2 or Single port?. 第70回日本消化器外科学会総会(浜松(静岡)), 2015. 7.
- 38) 鈴木英之¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 三浦克洋¹⁾, 豊田哲鎬¹⁾, 八木亜紀¹⁾, 菅 隼人²⁾, 内田英二²⁾ (1) 武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 消化器外科): 進行再発大腸癌サルベージラインにおける経口化学療法の効果とマネージメントの検討. 日本大腸肛門病学会学術集会(第70回)(名古屋), 2015. 9.
- 39) 千原直人: 私のII型の流儀. 腹腔鏡下ヘルニア手術手技研究集会(第7回)(東京), 2015. 9.
- 40) 鈴木英之¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 三浦克洋¹⁾, 豊田哲鎬¹⁾, 八木亜紀¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 消化器外科): 進行再発大腸癌後期化学療法における経口化学療法の効果とマネージメント. JDDW2015(第23回)(東京), 2015. 10.
- 41) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 三島圭介¹⁾, 助川 誠¹⁾, 村木 輝¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 大山莉奈¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学外科): 切除可能膵頭部癌に対する上腸間膜動脈神経叢全周温存膵頭十二指腸切除術の妥当性. JDDW2015(第13回日本消化器外科学会大会)(東京), 2015. 10.

- 42) 渡辺昌則, 野村 聡, 埴 秀暁, 三島圭介, 黒田誠司, 前島顕太郎, 坊 英樹, 水谷 聡, 吉野雅則, 千原直人, 鈴木英之, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 大腸穿孔手術の創汚染度細分類による腹壁閉鎖法の選択. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) JDDW2015 (東京), 2015. 10.
- 43) 坊 英樹, 前島顕太郎, 鈴木英之, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学 外科) : 消化器癌手術における SSI 防止をめざした閉創. 日本消化器外科学会大会 (第 13 回) (品川), 2015. 10.
- 44) 清水貴夫¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 神野 彩¹⁾, 范姜明志¹⁾, 渋谷 肇¹⁾, 端山 軍¹⁾, 小峯 修¹⁾, 渡邊善正¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 山田太郎¹⁾, 内間久隆²⁾, 大石卓爾³⁾, 島田裕司³⁾ (1) さいたま市民医療センター 外科, 2) さいたま市民医療センター 病理診断科, 3) さいたま市民医療センター 放射線科) : Ball valve syndrome をきたした 0-I 型胃癌に対し術中整復し手術施行し得た 1 例. 日本臨床外科学会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 45) 吉野雅則, 鈴木英之, 豊田哲鎬, 八木亜記, 和田由大, 黒田誠司, 三島圭介, 助川 誠, 針金幸平, 千原直人, 渡辺昌則, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科) : 当センターにおける大腸癌イレウスの治療戦略. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 46) 三島圭介¹⁾, 千原直人¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 八木亜記¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 和田由大¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 渡邊昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 消化器外科) : 当院における小腸イレウスに対する鏡視下手術の検討. 日本臨床外科学会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 47) 三島圭介¹⁾, 渡邊昌則¹⁾, 埴 秀暁¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 野村 聡¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 千原直人¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 消化器外科) : 2 個所に穿孔部位を認めた Boerhaave 症候群の 1 例. 神奈川食道疾患研究会 (第 86 回) (横浜), 2015. 11.
- 48) 埴 秀暁¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 野村 聡¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 三島圭介¹⁾, 鈴木英之²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 外科) : 噴霧式ニトログリセリン製剤を用いた気管支動脈 3D 血管構築の有用性. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 49) 野原 剛¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 三島圭介¹⁾, 八木亜記¹⁾, 千原直人¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 消化器外科) : 研修医の技量に配慮した腹腔鏡下虫垂切除術 (LA) の取り組み. 日本臨床外科学会総会 (第 77 回) (福岡), 2015. 11.
- 50) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 村木 輝¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 山際 亮¹⁾, 助川 誠¹⁾, 針金幸平¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学外科) : 残腔の確実な保持を目的とした膵管空腸粘膜吻合手順. 第 77 回日本臨床外科学会 (福岡), 2015. 11.
- 51) 村木 輝¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸²⁾, 山岸征嗣¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 正風会 小林病院, 3) 日本医科大学 消化器外科) : 自動縫合器を用いた尾側膵切除における膵液瘻発生リスクとしての膵離断面の厚みの検討. 第 77 回日本臨床外科学会総会 (福岡), 2015. 11.
- 52) 鈴木英之¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 豊田哲鎬¹⁾, 三浦克洋¹⁾, 八木亜紀¹⁾, 菅 隼人²⁾, 内田英二²⁾ (1) 武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 消化器外科) : 鏡視下手術における超音波凝固切開装置 (UAS) の特性と上手な使い方. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 53) 大山莉奈¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 渡邊義正¹⁾, 小峯 修¹⁾, 渋谷 肇¹⁾, 清水貴夫¹⁾ (1) さいたま市民医療センター 外科) : 術前診断し腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した胆嚢捻転症の 1 例. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 54) 中田亮輔, 萩原英之, 小泉正樹, 去川秀樹, 鎌田順道, 宮前 拓¹⁾, 阿部 豊¹⁾, 加納恒久 (1) 日本医科大学付属病院 外科) : 臍窩アクセスポートを用いた癒着性腸閉塞に対する腹腔鏡下手術の治療成績. 日本内視鏡外科学会総会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 55) 埴 秀暁¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 三島圭介¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 外科) : 食道癌手術における噴霧式ニトログリセリン製剤を用いた術前気管支動脈造影 CT の有用性. 日本内視鏡外科学会 (第 28 回) (大阪), 2015. 12.
- 56) 清水貴夫¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 范姜明志¹⁾, 渋谷 肇¹⁾, 端山 軍¹⁾, 小峯 修¹⁾, 渡邊善正¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 山田太郎¹⁾, 内間久隆²⁾, 大石卓爾³⁾, 島田裕司³⁾ (1) さいたま市民医療センター 外科, 2) さいたま市民医療センター 病理診断科, 3) さいたま市民医療センター 放射線科) : 若年発症の横行結腸・下行結腸軸捻転症を腹腔鏡補助下に治療した 1 例. 大宮医学会記念総会 (第 50 回) (さいたま), 2016. 3.
- 57) 清水貴夫¹⁾, 塩谷 猛¹⁾, 范姜明志¹⁾, 渋谷 肇¹⁾, 端山 軍¹⁾, 小峯 修¹⁾, 渡邊善正¹⁾, 南部弘太郎¹⁾, 山田太郎¹⁾ (1) さいたま市民医療センター 外科) : 若手外科医による腹腔鏡下ヘルニア修復術. 埼玉ヘルニア研究会 (第 1 回) (さいたま), 2016. 3.
- 58) 前島顕太郎, 坊 英樹, 鈴木英之, 渡辺昌則, 吉野雅則, 水谷 聡, 三島圭介, 内田英二¹⁾ (1) 付属病院 消化器外科) : 進行再発胃癌に対する SP 療法有害事象対策と外来化学療法. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (大分), 2016. 3.
- 59) 前島顕太郎, 坊 英樹, 鈴木英之, 渡辺昌則, 吉野雅則, 水谷 聡, 千原直人, 三島圭介, 内田英二¹⁾ (1) 付属病院 消化器外科) : 高齢者 (80 歳以上) 胃癌手術における術後合併症と縮小手術の予後に与える影響. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (大分), 2016. 3.

60) 坊 英樹, 前島顕太郎, 三島圭介, 鈴木英之, 佐藤悦基¹⁾, 福田直人¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 川崎協同病院, 2) 日本医科大学 外科): HER2 陽性切除不能・再発胃癌に対する S-1+CDDP+Trastuzumab 療法の検討. 日本胃癌学会総会 (第 88 回) (大分), 2016. 3.

(6) モーニングセミナー:

- 1) 鈴木英之¹⁾ (1) 武蔵小杉病院 消化器病センター): 高齢者における消化器手術後譫妄の臨床と対策: 漢方薬の役割. 日本消化器外科学会総会 (第 70 回) (浜松), 2015. 7.

著 書

[追加分]

追加分:

- 1) 渡辺昌則, 野村 聡, 埜 秀暁, 小峯 修, 鈴木英之, 内田英二: [分担] 食道がんに対する手術術式の進歩. 腫瘍内科, 2015: pp27-32, 科学評論社.

学会発表

追加分一般講演:

- 1) 山際 亮, 山本康弘, 岡村幹郎, 重原健吾, 鈴木達也: 慢性骨髄性白血病経過中に術後 9 年を経て胃癌再発を繰り返した 1 例. 北海道医学会 (第 95 回) (北海道大学), 2014. 9.
- 2) 山際 亮, 山本康弘, 岡村幹郎, 重原健吾, 鈴木達也: 盲腸 Richter 型単径ヘルニア嵌頓に対し腹腔鏡下に修復しえた 1 例. 日本臨床外科学会北海道支部例会 (第 108 回) (札幌医科大学), 2014. 12.
- 3) 埜 秀暁¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 清水貴夫¹⁾, 黒田誠司¹⁾, 三島圭介¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 内田英二²⁾, 野村 聡¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学医 外科): 術前化学療法により組織学的 CR が得られた cStageII 食道癌の 1 例. 日本食道学会 (第 69 回) (横浜), 2015. 2.
- 4) 埜 秀暁¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 坊 英樹¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 水谷 聡¹⁾, 千原直人¹⁾, 野村 聡¹⁾, 山際 亮¹⁾, 助川 誠¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 日本医科大学 外科): 早期胃癌に対する開腹手術と腹腔鏡補助下手術の E-PASS スコアリングシステムを用いた比較. 日本胃癌学会 (第 87 回) (広島), 2015. 3.
- 5) 水谷 聡¹⁾, 鈴木英之¹⁾, 相本隆幸¹⁾, 山岸征嗣¹⁾, 中田亮輔¹⁾, 村木 輝¹⁾, 前島顕太郎¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 渡辺昌則¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター, 2) 日本医科大学外科): 臍頭十二指腸切除術後第 10 病日に発症した SMA 血栓症による広範囲小腸虚血の 1 例. 第 51 回日本腹部救急医学会総会 (京都), 2015. 3.

追加分パネルディスカッション:

- 1) 渡辺昌則, 千原直人, 三浦克洋, 中田亮輔, 黒田誠司, 野村 聡, 吉野雅則, 鈴木英之, 田島廣之¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, 2) 日本医科大学消化器外科): 抗血栓薬内服患者の内視鏡検査における生検以上の手技: ガイドライン順守の結果. 日本腹部救急医学会総会 (第 51 回) (京都), 2015. 3.

追加分ワークショップ:

- 1) 渡辺昌則, 野村 聡, 埜 秀暁, 三島圭介, 中田亮輔, 千原直人, 水谷 聡, 吉野雅則, 鈴木英之, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学消化器外科): 大腸汚染手術における SSI 発生率から検討した腹壁閉鎖法の選択. 日本腹部救急医学会総会 (第 51 回) (京都), 2015. 3.

追加分要望演題:

- 1) 鈴木英之¹⁾, 吉野雅則¹⁾, 三浦克洋¹⁾, 内田英二²⁾ (1) 武蔵小杉病院 消化器病センター, 2) 消化器外科): 腹腔鏡手術における術中頭低位と偶発症リスクの検討. 日本腹部救急医学会総会 (第 51 回) (京都), 2015. 3.

[武蔵小杉病院中央検査室]

研究概要

平成 27 年度に於いては, 10 月に検体検査部門の検査システム・検査機器を一括更新した. このため年度当初は更新機器の選定・性能評価と効果的活用法の策定が活動の中心となり, 新体制移行後は, より一層の待ち時間短縮と収支改善を目標に, 更新機器の効果的活用法について検証を行った. 機器更新に於いては, 血中薬物濃度測定機を生化学汎用分析装置に変更するため 2 機種への適用を試み, この結果について日本臨床検査自動化学会第 47 回大会において報告すると共に, 日本臨床検査自動化学会誌, 日本臨床検査技師会「医学検査」に投稿した. また, CK-MB に於いては, 従来の免疫阻害法 (活性測定) から蛋白量測定法への変更を画策し蛋白量測定法を新規導入するに至り, 生理機能検査に於いては呼吸抵抗測定を新規導入した. 細菌分野では院内感染対策としての環境調査に於いて中心的役割を担うと共に, 遺伝子解析実現のための方策の策定にも協力している. 平成 28 年度に於いては, 耳鼻科より嗅覚検査の実施要請が来ており導入に向けて調整を行っている. また, 懸案となっている L-FABP の導入についても早期導入を目指す.

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) 高木 豊, 間宮一夫¹⁾, 常木美智子¹⁾, 白井一城, 田村祥子, 影山憲貴¹⁾, 中島由美子, 森本 進, 岸 恵, 勝部康弘⁽¹⁾ 日本医科大学付属病院臨床検査部)：ゴンベルツ曲線を利用したプロトンビン時間凝固プロファイル解析によるフィブリノゲン量の推定. 日本臨床検査自動化学会誌 2015；40 (2)：144-149.
- 2) 田村祥子, 高木 豊, 高橋裕太, 山賀節子, 津金香代子, 森本 進, 岸 恵, 勝部康弘：Viva-E システムを用いたテイコプラニン血中濃度測定用試薬「ナノピア TDM テイコプラニン」の性能評価. 医学検査 2015；64 (3)：330-336.
- 3) 田村祥子, 高木 豊, 高橋裕太, 森本 進, 岸 恵, 勝部康弘：アルベカシン血中薬物濃度測定試薬「ナノピア TDM アルベカシン」の Viva-E システムへの適応性能評価. 日本臨床検査自動化学会誌 2015；40 (3)：282-286.
- 4) 田村祥子, 高木 豊, 櫻田裕太, 青木麻衣, 吉田一樹, 森本 進, 岸 恵, 勝部康弘：LABOSPECT008 を用いた「ナノピア KL-6 エーザイ」の基本性能評価. 医学検査 2015；64 (6)：713-718.
- 5) 水口義昭¹⁾, 水瀬 学, 中村慶春¹⁾, 内田英二¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院消化器外科)：膵臓の超音波検査を極める：臍超音波スクリーニング検査のポイントと描出のコツ - 特に膵尾部の描出法. 臨床検査 2015；59 (12)：1416-1420.
- 6) 田村祥子, 高木 豊, 櫻田裕太, 菅原 通, 森本 進, 岸 恵, 勝部康弘：汎用自動分析装置 LABOSPECT008 を用いた「ナノピア TDM アルベカシン」の基礎的検討. 日本臨床検査自動化学会誌 2016；41 (1)：101-107.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 高木 豊, 田村祥子, 森本 進, 岸 恵, 勝部康弘：ビッグデータを利用したインフルエンザ流行予測の活用方法の模索. 日本臨床検査自動化学会 (第 47 回) (横浜), 2015. 10.
- 2) 田村祥子, 高木 豊, 櫻田裕太, 菅原 通, 森本 進, 岸 恵, 勝部康弘：汎用自動分析装置 LABOSPECT008 を用いたナノピア TDM アルベカシンの基礎的検討. 日本臨床検査自動化学会 (第 47 回) (横浜), 2015. 10.

[武蔵小杉病院薬剤部]

研究概要

武蔵小杉病院薬剤部では新体制 3 年目を迎え、院外処方箋の一般名表記、後発医薬品への切り替え (数量ベース 70% 以上)、プレアボイド報告 (神奈川県での報告数トップ、優秀事例表彰)、HP リニューアル、院内定数薬の整理を行いました。22 名体制でスタートし、1 人の退職者も出さず安定した薬剤業務を遂行することができました。HP をリニューアルしたことで部員のラジオ出演依頼や見学者が増加したことは、今後の採用時にもつながる成果であると評価します。

研究業績

著書

- 1) 此松晶子：〔分担〕 Part2 がん治療薬 知っておきたいポイント デキサメタゾン. がん治療薬まるわかり BOOK (勝俣範之, 足利幸乃, 菅野かおり), 2015；pp254-255, 照林社.
- 2) 此松晶子：〔分担〕 III 副作用をうまく抑えよう！ アレルギー. 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣 範之), 2015；pp124-125, メジカルビュー社.
- 3) 此松晶子：〔分担〕 III 副作用をうまく抑えよう！ 腎障害. 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣 範之), 2015；pp141-142, メジカルビュー社.
- 4) 宮田広樹：〔分担〕 Part2 がん治療薬知っておきたいポイント その他 その他 ポリノスタット. がん治療薬まるわかり BOOK (勝俣範之, 足利幸乃, 菅野かおり), 2015；pp256-257, 照林社.
- 5) 宮田広樹：〔分担〕 ② III 副作用をうまく抑えよう！ 婦人科がん化学療法時の制吐薬の使い方. 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣範之), 2015；pp121-123, MEDICAL VIEW.
- 6) 宮田広樹：〔分担〕 ② III 副作用をうまく抑えよう！ 下痢 (主にイリノテカン). 誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法 (勝俣範之), 2015；pp136 -138, MEDICAL VIEW.
- 7) 吉田奈央, 笠原英城：〔雑誌〕 新薬くろーずあっぷ 175. 調剤と情報 Vol. 21 No. 12, 2015；pp115-122, じほう.
- 8) 野口周作：〔雑誌〕 ドライアイについて. ビルと環境 No151, 2015；pp28-33, 公益社団法人 日本建築衛生管理教育センター.
- 9) 此松晶子：〔分担〕 Part.3 適切な治療マネジメントのポイント 消化器症状. Expert choice 乳がんレジメン (渡辺 亨), 2015；pp133-135, 先端医学社.

- 10) 此松晶子：〔分担〕 Part.3 適切な治療マネジメントのポイント 血管外漏出. Expert choice 乳がんレジメン (渡辺 亨), 2015 ; pp153-156, 先端医学社.
- 11) 笠原英城：〔分担〕 妊婦授乳婦への薬物療法と海外リスク分類, 服薬指導薬剤情報, 今日の治療指針 2016, 2016 ; pp1685-1713, 医学書院.
- 12) 笠原英城：〔分担〕 耳鼻科, 眼科他：処方ポイント, 薬剤ポイント. 治療薬ハンドブック 2016, 2016 ; じほう.
- 13) 松岡順子, 笠原英城：〔雑誌〕 RS ウイルス感染症にオノン処方する理由. 日経ドラッグインフォメーション, 2016 ; pp41-42, 日経 BP 社.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 笠原英城¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部)：プレアボイド！臨床現場で活躍する薬剤師の実例と今後の展望. 千葉県病院薬剤師会南部支部講習会 (亀田総合病院), 2015. 6.

(2) 教育講演：

- 1) 宮田広樹：肺がんの症状と有害事象の緩和. 日本緩和医療薬学会 (横浜), 2015. 10.

(3) 一般講演：

- 1) 吉田奈央¹⁾, 野口周作^{1,2)}, 望月 徹²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部)：当院における TAZ/PIPC の使用状況調査と適正使用推進策. 日本化学療法学会東日本支部総会 (第 62 回) (札幌), 2015. 10.
- 2) 野口周作^{1, 2)}, 吉田奈央²⁾, 望月徹^{1, 3)}, 三浦義彦⁴⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部, 3) 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, 4) 日本医科大学付属病院感染制御部)：当院におけるカルバペネム系抗菌薬 AUD 及び DOT と緑膿菌感性率に関する検討. 日本化学療法学会東日本支部総会 (第 62 回) (札幌), 2015. 10.
- 3) 永井 徹⁴⁾, 原 弘士⁴⁾, 臼田 誠⁴⁾, 吉田奈央²⁾, 野口周作²⁾, 牧野淳子³⁾, 岩崎弥生³⁾, 内田裕之¹⁾, 吉村 歩⁶⁾, 五十嵐文⁶⁾, 山永雄介⁵⁾, 蛭田剛俊⁷⁾, 青木悠佳⁸⁾ (1) 関東労災病院薬剤部, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部, 3) 厚木市立病院薬剤管理指導室, 4) 横浜市立脳血管医療センター薬剤科, 5) 神奈川県立循環器呼吸器病センター薬剤部, 6) 横浜市立市民病院薬剤部, 7) 神奈川県立汐見台病院, 8) 神奈川県立こども医療センター)：基質型 β ラクタマーゼ (ESBL) 産生菌の検出状況と、治療に関する多施設調査. 日本化学療法学会東日本支部総会 (第 62 回) (札幌), 2015. 10.
- 4) 山永雄介⁵⁾, 野口周作²⁾, 吉田奈央²⁾, 牧野淳子³⁾, 岩崎弥生³⁾, 内田裕之¹⁾, 吉村 歩⁶⁾, 五十嵐文⁶⁾, 蛭田剛俊⁷⁾, 永井 徹⁴⁾, 臼田 誠⁴⁾, 原 弘士⁴⁾ (1) 関東労災病院薬剤部, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部, 3) 厚木市立病院薬剤管理指導室, 4) 横浜市立脳血管医療センター薬剤科, 5) 神奈川県立循環器呼吸器病センター薬剤部, 6) 横浜市立市民病院薬剤部, 7) 神奈川県立汐見台病院)：神奈川県下 7 施設における抗菌薬使用量と薬剤感受性の検討. 日本化学療法学会東日本支部総会 (第 62 回) (札幌), 2015. 10.

(4) ポスター発表：

- 1) 望月 徹¹⁾, 山口朋禎¹⁾, 野口周作¹⁾, 上野ひろむ¹⁾, 小林綾乃¹⁾, 吉岡美香¹⁾, 三崎貴子²⁾, 丸山 絢²⁾, 清水英明²⁾, 松尾千秋²⁾, 岩瀬耕一²⁾, 岡部信彦²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部, 2) 川崎市健康安全研究所)：所轄保健所との連携で迅速な診断治療が出来たオウム病の 1 例. 日本感染症学会・学術大会 (第 89 回) (京都), 2015. 4.
- 2) 海老井佳織, 村上桂子, 松岡順子, 宮内秀則, 野口周作, 宮田広樹, 若城由美子, 笠原英城：川崎病における薬物治療に関する検討. 日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 (第 45 回) (つくば), 2015. 8.
- 3) 小林正人, 野口周作, 宮内秀則, 吉田奈央, 松岡順子, 宮田広樹, 若城由美子, 笠原英城：救命救急センターにおける病棟薬剤業務の現状と展望. 日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 (第 45 回) (つくば), 2015. 8.
- 4) 田原 温, 宮田広樹, 野口周作, 若城由美子, 笠原英城：GCU/NICU での病棟薬剤師の取り組み. 日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 (第 45 回) (つくば), 2015. 8.
- 5) 吉田房江¹⁾, 青木和代¹⁾, 望月瑠美¹⁾, 福永ヒトミ¹⁾, 東さやか, 此松晶子, 笠原英城 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院看護部)：自主臨床試験における支援の実際. CRC と臨床試験のあり方を考える会議 (第 15 回) (兵庫県神戸市), 2015. 9.
- 6) 中村康一⁴⁾, 板倉潮人²⁾, 高木 聡¹⁾, 月岡悦子¹⁾, 山口貴子¹⁾, 齊藤浩子¹⁾, 小林陽和³⁾, 野口周作⁶⁾, 加藤和久⁵⁾, 白杵二郎²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院看護部, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院呼吸器内科, 3) 日本医科大学武蔵小杉病院栄養科, 4) 日本医科大学武蔵小杉病院整形外科, 5) 日本医科大学武蔵小杉病院 ME 部, 6) 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部)：サルコペニアが疑われる呼吸不全例に対して外来でリハビリテーションと栄養療法を実施した 1 例. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術大会 (第 25 回) (舞浜), 2015. 10.
- 7) 宮内秀典, 野口周作, 宮田広樹, 若城由美子, 笠原英城：病棟薬剤業務による処方参画についての現状調査. 日本医療薬学会年会 (第 25 回) (横浜), 2015. 11.
- 8) 野口周作^{1,6)}, 濱野公俊^{2,6)}, 小林加寿夫^{3,6)}, 小林 岳^{4,6)}, 向山雅士^{5,6)} (1) 日本医科大学武蔵小杉病院, 2) 川崎市立多摩病院, 3) 川崎市立井田病院, 4) 川崎市立川崎病院, 5) 総合高津中央病院, 6) KAWASAKI 地域感染制御協議会薬剤師部会)：KAWASAKI 地域

感染制御協議会における地域感染対策への取り組み：薬剤師部会活動報告. 日本医療薬学会年会（第25回）（横浜），2015. 11.

- 9) 内田裕之^{1,5)}，小林加寿夫^{2,5)}，長井美知子^{3,5)}，野口周作^{4,5)}（¹⁾ 関東労災病院，²⁾ 川崎市立井田病院，³⁾ 帝京大学医学部附属溝口病院，⁴⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院，⁵⁾ KAWASAKI 地域感染制御協議会薬剤師部会第2ワーキンググループ）：KAWASAKI 地域感染制御協議会加盟施設における抗菌化学療法業務実態調査報告：特定抗菌薬サーベイランスについて. 日本医療薬学会年会（第25回）（横浜），2015. 11.
- 10) 今村真沙美，松岡順子，宮内秀典，野口周作，笠原英城：てんかんビデオ脳波モニタリング患者の背景調査. かながわ薬剤師学術大会（第14回）（横浜），2016. 1.
- 11) 此松晶子，宮田広樹，屋嘉部未央，安島亜矢子，小野寺恵子¹⁾，酒井 瞳²⁾，門倉玄武²⁾，松田正典³⁾，勝俣範之²⁾，笠原英城（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院看護部，²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科，³⁾ 済生会川口総合病院腫瘍内科）：日本医科大学武蔵小杉病院における bi-weekly および weekly に抗がん剤を投与するレジメンでのペグフィルグラスチム投与. 日本臨床腫瘍薬学会（鹿児島），2016. 3.

追加分ポスター発表：

- 1) 望月 徹¹⁾，國島広之¹⁾，長島悟郎¹⁾，竹村 弘¹⁾，坂本光男¹⁾，平居義裕¹⁾，駒場留美子¹⁾，中谷佳子¹⁾，藤井春子¹⁾，野口周作¹⁾，小林 岳¹⁾，宮本豊一¹⁾，吉岡美香¹⁾（¹⁾ KAWASAKI 地域感染制御協議会）：感染防止対策地域連携における KAWASAKI 地域感染制御協議会の役割（続報）. 日本環境感染学会総会学術大会（第31回）（京都），2015. 2.

【武蔵小杉病院看護部】

研究概要

著書 1) 泌尿器ストーマのスキンケア指導について 2) 医療機器に関わる創傷の予防方法 3, 4) がん治療薬の薬剤ごとの解説と副作用マネジメントについて 5) 婦人科がん薬物療法薬の副作用マネジメントについて（末梢神経障害，爪障害）6, 7) 乳がん化学療法における Ns の役割（8）患者の行動の変化をどのようにアセスメントするか，せん妄のフローシートを作成，情報収集，アセスメント，対応について解説，学会発表 1) 化学療法中の非加熱食摂取と発熱の影響 2) PostIntensiveCareSyndrome の1つである精神的な問題を予防するために必要な看護ケアについて患者の実態から質的に検討 3) 呼吸不全患者に対する RST の関わり 4) 慢性呼吸器疾患患者に対して呼吸と嚥下の調整に関する調査を行い，呼吸相での嚥下と呼吸数の関連を調査 5) 集中治療室入室患者の記憶を再構築するための術前介入の効果について分析 6) ネーザルハイフロー使用によって有効であった間質性肺炎の症例報告 7) ISU 入室患者の非現実的な体験や記憶の欠落がもたらす影響と要因を量的に検討 8) 慢性呼吸器疾患患者を対象の呼吸相での嚥下について要因の検討 9) 慢性呼吸器疾患患者を対象とした呼吸と嚥下の調整パターンに関する研究 10) 先進医療 B の臨床試験の支援依頼について，医師と協議の上体制整備を行い実施に至った経緯の発表 11) 当院における心不全チームの活動内容とその中間評価について 12) 全人的苦痛を抱える患者に対し出来るだけ患者らしい生活を送れるように介入した1例 13) 小児急病センターの現状と地域に与えた影響についての検討 14) てんかん長時間ビデオ脳波モニタリング検査のパンフレットと問診票の導入前後の比較検討 15) 人工呼吸器離脱困難患者へ他職種と協同し呼吸リハビリテーションを実施した1例 16) 当センターの各部門の役割，活動結果，現状報告

研究業績

著書

- 1) 山口貴子：〔自著〕先輩看護師の思考過程，暗黙知ケアが見える化！アセスメントフローシート『患者の行動の変化』，重症集中ケア 14 巻 1 号（剣持雄二），2015；pp120-123，日経研出版.
- 2) 野村好美：〔自著〕「医療機器」に関わる除圧をどのように行う？. 褥瘡治療ケアの「こんなときどうする？」（館 正弘），2015；pp79-86，照林社.
- 3) 小野寺恵子：〔分担〕がん治療 知っておきたいポイント（アンスラサイクリン系）. がん治療薬まるわかり BOOK（勝俣範之ほか），2015；pp72-77，照林社.
- 4) 小野寺恵子：〔分担〕副作用対策と安全管理（心・循環器生涯 CHF）. がん治療薬まるわかり BOOK（勝俣範之），2015；pp314-316，照林社.
- 5) 小野寺恵子：〔分担〕末梢神経障害・爪障害. 婦人科がん薬物療法（勝俣範之），2015；pp126-131，メジカルビュー社.
- 6) 野村好美：〔自著〕カラー写真でよくわかる！尿路ストーマとスキンケア. 泌尿器ケア（樋口ミキ），2015；pp210-216，メディカ出版株式会社.
- 7) 小野寺恵子：〔分担〕安心・安全・適正な薬物療法を行うための役割分担，看護師の視点から，乳がんレジメン（渡辺亨），2015；pp44-46，先端医学社.
- 8) 小野寺恵子：〔分担〕皮膚障害. 乳がんレジメン（渡辺亨），2015；pp136-139，先端医学社.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 山口貴子, 菊池美穂, 加藤 由, 月岡悦子, 石川秀一, 福永ヒトミ：PostIntensiveSyndrome「集中治療室入室患者の妄想的記憶や記憶の欠落の実態とその要因」. 日本集中治療医学会学術集会（第43回）（兵庫県神戸市），2016. 2.

(2) パネルディスカッション：

- 1) 伊藤美由紀, 柚下佳代：長時間ビデオ脳波モニタリング検査におけるパンフレットと問診票の導入：統一された看護につなげるために. 全国てんかんセンター協議会 JEPICA2016（宮城県仙台市），2016. 1.

(3) 一般講演：

- 1) 月岡悦子, 山口貴子：突発性間質性肺炎急性憎悪患者にネーザルハイフローが有効であった症例の看護を振り返る. 日本クリティカルケア看護学会学術集会（第11回）（福岡県福岡市），2015. 6.
- 2) 山口貴子, 月岡悦子：集中治療室入室患者の非現実的な体験や記憶の欠落をもたらす影響とその要因. 日本クリティカルケア看護学会（第11回）（福岡県福岡市），2015. 6.
- 3) 小野寺恵子, 相馬照美, 栗原香織, 此松晶子¹⁾, 酒井 瞳²⁾, 門倉文武²⁾, 勝俣範之²⁾（¹⁾ 薬剤部, ²⁾ 腫瘍内科）：がん化学療法中における非加熱食摂取の発熱性好中球減少症への影響. 日本臨床腫瘍学会（第13回）（北海道），2015. 7.
- 4) 寒竹由香理, 柳原 剛¹⁾, 徐 東博¹⁾, 星野レイ¹⁾, 右田 真¹⁾, 海津聖彦¹⁾, 勝部康弘¹⁾（¹⁾ 小児科）：新たに開設した準夜間小児急病センターの現状と地域に与えた影響について. 日本小児科学会学術集会（第118回）（大阪府），2015. 7.
- 5) 山口貴子, 菊池美穂, 加藤 由, 今田ゆかり, 石川秀一, 福永ヒトミ：集中治療室入室患者の歪んだ記憶の再構築に対する術前介入の効果. 日本看護協会—急性期看護—学術集会（第46回）（愛媛県愛媛市），2015. 9.
- 6) 高木 聡, 板倉潮人¹⁾, 宮川哲夫²⁾（¹⁾ 呼吸器内科, ²⁾ 昭和大学大学院保健医療学研究科）：慢性呼吸器疾患患者における呼吸と嚥下の調整に関する研究：呼吸相嚥下の要因について. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会（第21回）（京都府京都市），2015. 9.
- 7) 高木 聡, 板倉潮人¹⁾, 宮川哲夫²⁾（¹⁾ 呼吸器内科, ²⁾ 昭和大学大学院保健医療学研究科）：慢性呼吸器疾患患者における嚥下時呼吸相に関する研究. 日本看護学会—慢性期看護—学術集会（第46回）（福島県郡山市），2015. 9.
- 8) 吉田房江, 青木和代, 望月瑠美, 福永ヒトミ, 東さやか¹⁾, 此松晶子¹⁾, 笠原英城¹⁾（¹⁾ 薬剤部）：自主臨床試験における支援の実際. CRCと臨床試験のあり方を考える会議 2015inKOBE（第15回）（兵庫県神戸市），2015. 9.
- 9) 中村康一¹⁾, 板倉潮人²⁾, 白杵二郎²⁾, 加藤和久³⁾, 野口周作⁴⁾, 小林和陽⁵⁾, 山口貴子, 高木 聡, 月岡悦子, 齋藤浩子（¹⁾ リハビリテーション科, ²⁾ 呼吸器内科, ³⁾ ME部, ⁴⁾ 薬剤部, ⁵⁾ 栄養科）：サルコペニアが疑われる呼吸不全に対し外来でリハビリテーションと栄養指導を実施した1例. 日本呼吸ケアリハビリテーション学会学術集会（第25回）（千葉県舞浜市），2015. 10.
- 10) 高木 聡, 月岡悦子, 山口貴子, 齋藤浩子, 中村康一¹⁾, 小林和陽²⁾, 加藤和久³⁾, 白杵二郎⁴⁾, 板倉潮人⁴⁾, 宮川哲夫⁵⁾（¹⁾ リハビリテーション科, ²⁾ 栄養科, ³⁾ ME部, ⁴⁾ 呼吸器内科, ⁵⁾ 昭和大学大学院保健医療学研究科）：慢性呼吸器疾患における嚥下時呼吸相と呼吸数の関係について. 日本呼吸ケアリハビリテーション学会学術集会（第25回）（千葉県舞浜市），2015. 10.
- 11) 石田洋子, 石原嗣郎¹⁾, 佐藤直樹¹⁾（¹⁾ 循環器内科）：当院における心不全チームの現状（ハートチームシンポジウム：心不全ケアにおける理想的な医療専門職チーム IPWを構築するためには？）. 日本心不全学会学術集会（第19回）（大阪府），2015. 10.
- 12) 高橋順子, 長崎千恵子, 軽部みなと, 青山豊子, 勢力桃子, 伊藤桃子, 小笠原香子, 舛谷寛子, 藤原佳美, 高橋久美子, 熊谷幸子, 小泉嘉子, 鈴木弓弦葉：患者支援センターの開設と現状の報告：6部門で構成される患者支援センター. 神奈川県病院学会（第34回）（神奈川県横浜市），2015. 10.

(4) ポスター発表：

- 1) 栗原香織, 藤原佳美, 青山豊子：外来で全人的苦痛を持つ患者の療養を支えた1症例. 日本緩和医療学会学術集会（第20回）（神奈川県横浜市），2015. 6.
- 2) 山口貴子, 月岡悦子：人工呼吸器離脱困難症例への他職種協同による呼吸リハビリテーション. 日本集中治療医学会学術集会（第43回）（兵庫県神戸市），2016. 2.

【武蔵小杉病院放射線科技師室】

研究業績

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 西村祥循, 小原陽子¹⁾, 黒瀬厚成, 高橋 徹（¹⁾ 株式会社日立メディコ）：腹部非造影 MRA に BeamSat pulse を用いた撮像法の検討. Advanced CT・MR 2015（軽井沢），2015. 6.
- 2) 池田龍紀, 船橋孝斉, 秋本 浩, 高橋照夫, 蘭牟田治, 高橋直人¹⁾, 花岡大資¹⁾, 石川昌弘¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 橋和聡文²⁾, 市川太郎²⁾,

田島廣之³⁾, 汲田伸一郎⁴⁾ (1) 武蔵小杉病院循環器内科, 2) 武蔵小杉病院放射線科, 3) 武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター, 4) 付属病院放射線科): 負荷心筋シンチ検査におけるアーチファクトに影響する因子の検討. 日本核医学会関東甲信越地方会 (第83回) (東京), 2015. 7.

- 3) 西村祥循, 小原陽子¹⁾, 黒瀬厚成, 高橋 徹 (1) 株式会社日立メディコ): 腹部非造影 MRA に BeamSAT pulse を用いた撮像法の検討. 日本磁気共鳴医学会大会 (第43回) (東京), 2015. 9.

[武蔵小杉病院認知症センター]

研究概要

日本医科大学武蔵小杉病院は川崎市から認知症疾患医療センターの指定を受け、認知症に係わる鑑別診断と専門医療相談を行ない、認知症についての臨床的、社会医学的研究を行っている。街ぐるみ認知症相談センターにおいては認知症になっても安心して暮らせるように、一般市民、医療機関、介護機関、行政、企業などとネットワークを作る連携事業を行う研究をしている。1 街ぐるみ認知症相談センターで認知症の早期発見、また認知症の介護をしている方を支援するための相談業務を行ない、家族支援や認知症相談についての研究を実施した。2 相談者のもの忘れなどに関する情報をかかりつけ医へ提供し、かかりつけ医を中心とした認知症の診療システムを構築する試みを実施し、その効果について研究をしている。3 市民が認知症について理解を深めるような試みとして、川崎市と共催の市民公開講座の実施、地域催事への参加、勉強会への講師派遣などを行っている。4 認知症介護に携わる専門家と医療との連携を促進するための試みとして、専門職向けの公開講座を年に3回、地域のかかりつけ医とのミーティングを年に2回実施している。5 若年認知症の人と家族を支援するための会を5回開催し、若年認知症についての研究を実施している。6 認知症と始めて診断された人を対象とした認知症始めて教室の開催を継続している。7 川崎市の認知症まちづくり対策委員会に参加し、地域ぐるみで認知症になっても暮らしやすいまちづくりを目指して活動している。8 川崎市ウエルフェアイノベーション公募型研究開発事業において、川崎市の企業（富士通）とモバイルを用いた高齢者の認知症早期発見、認知症予防等を目的としたシステムの検証実験を実施した。

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) 中村 祐¹⁾, 北村 伸²⁾, 本間 昭³⁾, 浜田知久馬⁴⁾, 松本卓之⁵⁾, 中山 裕⁶⁾ (1) 香川大学医学部精神神経医学講座, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症II症センター, 3) 認知症介護研究・研修東京センター, 4) 東京理科大学工学部経営工学科, 5) 第一三共株式会社安全管理統括部データマネジメントグループ, 6) 第一三共株式会社安全管理統括部メディカルアフェアーズグループ): 中等度および高度アルツハイマー型認知症患者に対するメマンチン塩酸塩の長期投与に伴う服薬継続に影響を及ぼす背景因子. *Progress in Medicine* 2015; 35 (11): 1747-1758.

(2) 総説:

- 1) 野村俊明¹⁾, 川西智也¹⁾, 奥村雄介¹⁾ (1) 日本医科大学医療心理学教室, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター, 3) 府中刑務所): 高齢初回受刑者のプロフィールに関する研究. *老年精神医学雑誌* 2015; 26 (3): 297-303.
- 2) 野村俊明¹⁾ (1) 日本医科大学医療心理学教室): ロジャーズ派の精神療法およびカウンセリングの副作用. *精神神経医学雑誌* 2015; 117 (6): 452-456.
- 3) 野村俊明¹⁾ (1) 日本医科大学医療心理学教室): ロジャーズ派の精神療法から始めて. *精神療法増刊2号* 2015; 41 (増刊2号): 77-83.
- 4) 並木香奈子¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター): 認知症の人や家族が住み慣れた地域で安心して暮らせる街をめざして. *月刊福祉* 2015; 2015 (7): 25-28.
- 5) 川西智也¹⁾, 野村俊明²⁾, 原 祐子³⁾, 渡邊 悟¹⁾, 山本麻奈¹⁾, 奥村雄介¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター, 2) 日本医科大学医療心理学教室, 3) 財団法人西熊谷病院, 4) 府中刑務所, 5) 八王子医療刑務所): 高齢累犯受刑者のプロフィールに関する研究. *老年精神医学雑誌* 2015; 26 (9): 1028-1036.
- 6) 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター): メマンチン. *月刊薬事* 2015; 57 (11): 1815-1819.

(3) 症例報告:

- 1) Ishiwata A¹⁾, Nito C¹⁾, Kimura K¹⁾ (1) Department of Neurological Science, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School): Lewy Body Dementia as an Underlying Etiology for Posterior Cortical Atrophy Initially Presented with Visual Agnosia and Alexia: A Case Report. *Journal of Neurology & Neurophysiology* 2015; 6 (2).

著書

- 1) 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院): [分担] 血管性認知症. 認知症の脳画像診断 (竹田雅俊), 2015; pp119-128, メジカル

ビュー社.

- 2) 野村俊明¹⁾, 青木紀久代²⁾, 堀越 勝³⁾ (1) 日本医科大学医療心理学教室, 2) お茶の水女子大学): [監修] 暮らしの中の心理臨床. 第1巻 うつ (野村俊明, 青木紀久代, 堀越勝), 2015; pp1-176, 福村出版.

学会発表

(1) 特別講演:

- 1) 野村俊明¹⁾ (1) 日本医科大学医療心理学教室): 高齢者によくみられる精神障害とその非薬物治療. 日本運動・スポーツ科学学会 (第22回) (東京), 2015. 6.

(2) シンポジウム:

- 1) 櫻村正美¹⁾, 野村俊明¹⁾ (1) 日本医科大学医療心理学教室): 高齢者に対する認知行動療法の適用の可能性. 日本うつ病学会総会 (第12回) (東京), 2015. 7.
- 2) 野村俊明¹⁾ (1) 日本医科大学医療心理学教室): 暮らしの中の心理臨床と多職種協同. 日本心理臨床学会 (第34回) (神戸), 2015. 9.
- 3) 根本留美¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター): 地域臨床について. 自主シンポジウム 「高齢者支援としての心理臨床の実践【第8講】心理アセスメント再考」. 日本心理臨床学会 (第34回) (神戸), 2015. 9.
- 4) 野村俊明¹⁾ (1) 日本医科大学医療心理学教室): 高齢受刑者のプロフィール調査からみる矯正医療の今後. 日本矯正医学会 (第62回) (東京), 2015. 10.

(3) セミナー:

- 1) 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター): 問診と神経学的診察 認知症診療の実践セミナー「認知症診療の実際」. 日本老年精神医学会学術集会 (第56回) (東京), 2015. 6.

(4) 一般講演:

- 1) Saito A¹⁾, Aoki K¹⁾, Hirano N²⁾, Kobayashi M³⁾, Nomura T⁴⁾, Asahi K¹⁾ (1) お茶の水女子大学, 2) 北海道教育大学, 3) 京都教育大学, 4) 日本医科大学医療心理学教室): Stress of Japanese Youth Overseas: Cross-Cultural Comparisons in the U.S., Hong Kong, Japan. American Psychological Association.123th Annual Convention.(Toronto, Ontario, Canada.), 2015. 8.
- 2) Koshi M¹⁾, Aoki K¹⁾, Kobayashi M²⁾, Hirano N³⁾, Machizawa S⁴⁾, Nomura T⁵⁾, Yatsuda M¹⁾ (1) お茶の水女子大学, 2) 京都教育大学, 3) 北海道教育大学, 4) The Chicago School of Professional Psychology, 5) 日本医科大学医療心理学教室): A cross-cultural multilevel analysis of how school connectedness resilience among Japanese students at home and abroad. American Psychological Association.123th Annual Convention.(Toronto, Ontario, Canada.), 2015. 8.
- 3) 石渡明子¹⁾, 水村 直²⁾, 館野 周³⁾, 大久保善朗³⁾, 木村和美⁴⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院神経内科, 2) 東邦大学, 3) 日本医科大学): 軽度認知障害における 18F-AV45 (Florbetapir) -PET によるアミロイド蓄積評価. 日本神経学会総会 (第56回) (新潟), 2015. 5.
- 4) 稲垣千草¹⁾, 根本留美¹⁾, 川西智也¹⁾, 井上志津子¹⁾, 長久美江子¹⁾, 並木香奈子¹⁾, 石渡明子²⁾, 野村俊明³⁾, 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院神経内科, 3) 日本医科大学医療心理学教室): 早期発見にむけての継続的な見守り支援の取り組み: 街ぐるみ認知症相談センターの継続来所の動向から. 日本認知症ケア学会 (第16回) (札幌), 2015. 5.
- 5) 川西智也¹⁾, 稲垣千草¹⁾, 根本留美¹⁾, 並木香奈子¹⁾, 石渡明子²⁾, 野村俊明³⁾, 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院神経内科, 3) 日本医科大学医療心理学教室): 本人-家族間の「もの忘れ」理解の不一致からみた, もの忘れ相談の意義: 早期からの三項関係の醸成. 日本認知症ケア学会 (第16回) (札幌), 2015. 5.
- 6) 根本留美¹⁾, 稲垣千草¹⁾, 川西智也¹⁾, 井上志津子¹⁾, 長久美江子¹⁾, 並木香奈子¹⁾, 石渡明子²⁾, 野村俊明³⁾, 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院神経内科, 3) 日本医科大学医療心理学教室): 地域臨床における家族支援についての一考察: 家族相談の類型化とそこから見えてきたニーズを通じて. 日本認知症ケア学会 (第16回) (札幌), 2015. 5.
- 7) 櫻村正美¹⁾, 野村俊明¹⁾, 石渡明子²⁾, 北村 伸³⁾ (1) 日本医科大学医療心理学教室, 2) 日本医科大学大学院医学研究科神経内科学分野, 3) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター): もの忘れを主訴とした高齢者に対する認知行動療法の安全性の検討. 日本認知症予防学会 (第5回) (神戸), 2015. 9.
- 8) 稲垣千草¹⁾, 根本留美¹⁾, 川西智也¹⁾, 並木香奈子¹⁾, 石渡明子²⁾, 野村俊明³⁾, 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター, 2) 日本医科大学大学院医学研究科神経内科学分野, 3) 日本医科大学医療心理学教室): 専門職向け公開講座の開催: 講座の有用性と専門職のニーズについての検討. 日本認知症予防学会 (第5回) (神戸), 2015. 9.
- 9) 根本留美¹⁾, 川西智也¹⁾, 稲垣千草¹⁾, 並木香奈子¹⁾, 櫻村正美²⁾, 石渡明子³⁾, 野村俊明²⁾, 北村 伸¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター, 2) 日本医科大学医療心理学教室, 3) 日本医科大学大学院医学研究科神経内科学分野): 認知症早期発見における

地域連携：かかりつけ医からの相談者紹介における一考察. 日本認知症予防学会（第5回）（神戸），2015. 9.

- 10) 川西智也¹⁾，根本留美¹⁾，稲垣千草¹⁾，並木香奈子¹⁾，石渡明子²⁾，野村俊明³⁾，北村 伸¹⁾（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター，²⁾ 日本医科大学大学院医学研究科神経内科学分野，³⁾ 日本医科大学医療心理学教室）：地域のもの忘れ相談機関を利用した潜在的な DLB 患者の症状と認知機能. 日本認知症予防学会（第5回）（神戸），2015. 9.
- 11) 並木香奈子¹⁾，根本留美¹⁾，稲垣千草¹⁾，川西智也¹⁾，井上志津子¹⁾，長久美江子¹⁾，若松直規²⁾，石渡明子³⁾，野村俊明⁴⁾，北村 伸¹⁾（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター，²⁾ 新潟リハビリテーション大学，³⁾ 日本医科大学大学院医学研究科神経内科学分野，⁴⁾ 日本医科大学医療心理学教室）：地域のかかりつけ医に対する認知症診療に関する調査：2009年と2014年の比較から. 日本認知症予防学会（第5回）（神戸），2015. 9.
- 12) 稲垣千草¹⁾，根本留美¹⁾，川西智也¹⁾，並木香奈子¹⁾，石渡明子²⁾，野村俊明³⁾，北村 伸¹⁾（¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター，²⁾ 日本医科大学大学院医学研究科神経内科学分野，³⁾ 日本医科大学医療心理学教室）：独居/高齢者世帯における認知症早期発見/早期対応についての検討：街ぐるみ認知症相談センターにおける地域の認知症相談より. 日本老年精神医学会（第30回）（神戸），2015. 9.

30. 多摩永山病院付置施設等

[多摩永山病院病理部]

研究概要

現在の主な研究テーマは以下の通りである。1. 臨床に呼応した迅速細胞・組織診断（外来・病棟・術中・剖検時）の確立。2. 免疫細胞・組織化学（サイトケラチン 7/20/34 β E12/35 β H11, MIB-1, Napsin A, Villin）を用いた客観的原発巣推定診断・予後診断法の確立。3. 乳腺腫瘍 1) 穿刺吸引細胞診材料を用いた予後診断の確立；細胞転写法を用いて ER, PgR, HER2 蛋白質, MIB-1 指数の他, HER2 に関しては蛋白質の過剰発現と遺伝子増幅（CISH）の両方を検討する。2) 乳癌における, ホルモンレセプターと細胞骨格, 接着因子の関係および転移性乳癌の臨床病理学的研究；HER2 タンパク質と基底膜分解酵素について。4. 細胞転写法による中皮腫の免疫細胞学的診断法の確立（特異抗体；カルレチニン, CK5/6, メズテリン, D2-40, WT1 など）。5. 骨軟部腫瘍 1) 穿刺吸引細胞診による迅速診断法の確立（免疫組織化学, 電顕的検索の併用）。6. 子宮癌 1) 子宮内膜癌の細胞診による診断の確立（免疫組織化学, 電顕的検索の併用）とくにセルブロック法。7. リンパ節病変 1) リンパ節病変の迅速診断法の検索, 免疫細胞学的アプローチ。2) リンパ節病変の分子生物学的検索。3) 悪性リンパ腫の細胞診断学。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) 細根 勝, 片山博徳, 内藤善哉¹⁾ (1) 日本医科大学病理学講座統御機構・腫瘍学)：悪性リンパ腫の診断確定に必要な multidisciplinary approach：B 細胞性リンパ腫を中心に。血液内科 2015；70 (5)：561-568.

著書

- 1) 片山博徳, 細根 勝, 前田昭太郎¹⁾ (1) LSI メディエンス病理・細胞診センター)：[分担] 体腔液。4 呼吸器・胸腺・体腔液・リンパ節 2015 年版 上気道／呼吸器／胸腺／体腔液／リンパ節・血液（公益社団法人日本臨床細胞学会 編。），2015；pp117-189, 金原出版。

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) Hosone M：Special promotion speech for the forthcoming ICC2016 YOKOHAMA. Thai- Japanese Workshop in Diagnostic Cytology (The 23rd) (Thailand), 2016. 1.

(2) 教育講演：

- 1) 片山博徳, 細根 勝, 前田昭太郎¹⁾ (1) LSI メディエンス病理・細胞診センター)：乳腺の細胞診。平成 27 年度 東京都多摩がん検診センター第 3 回細胞検査士養成 公開講座（東京），2015. 8.
- 2) 片山博徳：免疫・迅速：基礎から上級まで。第 1 回 中級者のための病理技術 STEP UP 同学院講習会（東京），2015. 8.

(3) シンポジウム：

- 1) Hosone M, Katayama H, Arai S, Naito Z¹⁾ (1) Dept. of Integrative Pathology of Nippon Medical School)：A Current Topic of Effusion-based Lymphoma：Cytodiagnosis of Primary Effusion Lymphoma and HHV8-negative Common Effusion Lymphoma. Korea-Japan Joint Meeting for Diagnostic Cytopathology (The 14th) (Korea), 2015. 7.

(4) ワークショップ：

- 1) Hosone M, Katayama H, Arai S, Naito Z¹⁾ (1) Dept. of Integrative Pathology of Nippon Medical School)：A case of pediatric peripheral T-cell lymphoma associated with re-activation of EBV infection. Society for Hematopathology & European Association for Haematopathology (California, USA), 2015. 10.

(5) 一般講演：

- 1) Yanagida Y, Hosone M, Katayama H, Sugano Y¹⁾, Maeda S²⁾, Naito Z³⁾ (1) Nippon Medical School third-year student, 2) Mitsubishi Chemical Medience, Pathology and Cytology Center, 3) Dept. of Integrative Pathology of Nippon Medical School)：A case of pineal germinoma diagnosed by intraoperative combined analysis on histology and cytology with rapid immunocytochemistry. Thai-Japanese Workshop in Diagnostic Cytology (The 23rd) (Thailand), 2016. 1.
- 2) Sugano Y¹⁾, Hosone M, Katayama H, Yanagida Y, Maeda S²⁾, Naito Z³⁾ (1) Nippon Medical School third-year student, 2) Mitsubishi Chemical Medience, Pathology and Cytology Center, 3) Dept. of Integrative Pathology of Nippon Medical School)：Claudin-1

and claudin-4 expression in adenocarcinoma, malignant mesothelioma, and reactive mesothelial cells from cytological specimens of pleural effusion. Thai- Japanese Workshop in Diagnostic Cytology (The 23rd) (Thailand), 2016. 1.

- 3) 柳田裕美, 細根 勝, 片山博徳, 磯部宏昭, 川野記代子, 岩瀬裕美, 日吾美栄子, 新井 悟, 前田昭太郎¹⁾, 内藤善哉²⁾ (1) LSI メディエンス, 2) 病理学 統御機構・腫瘍学) : リンパ節捺印細胞診にて転移性腫瘍との鑑別に難渋した CD30 (+) B 細胞性リンパ腫の 1 例. 日本臨床細胞学会総会 (第 56 回) (鳥根県), 2015. 6.
- 4) 柳田裕美, 細根 勝, 新井 悟, 湯本典夫, 片山博徳, 東 敬子, 磯部宏昭, 川野記代子, 岩瀬裕美, 日吾美栄子, 丹野正隆, 東直行¹⁾, 前田昭太郎²⁾, 内藤善哉³⁾ (1) 多摩永山病院 皮膚科, 2) LSI メディエンス, 3) 病理学 統御機構・腫瘍学) : 転移性腫瘍との鑑別に難渋した CD30 (+) B 細胞性リンパ腫の 1 例. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.
- 5) 柳田裕美, 細根 勝, 片山博徳, 磯部宏昭, 川野記代子, 岩瀬裕美, 日吾美栄子, 新井 悟, 前田昭太郎¹⁾, 内藤善哉²⁾ (1) LSI メディエンス, 2) 病理学 統御機構・腫瘍学) : 細胞診材料における術中迅速細胞免疫染色が有用であった Germinoma の 1 例. 日本臨床細胞学会秋期大会 (第 54 回) (愛知県), 2015. 11.
- 6) 平田知己¹⁾, 吉野直之¹⁾, 竹内千枝¹⁾, 宮 敏路²⁾, 上原隆志²⁾, 細根 勝, 新井 悟, 片山博徳, 前田昭太郎³⁾, 林久美子³⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院 呼吸器外科, 2) 同 呼吸器内科, 3) LSI メディエンス) : 悪性胸膜中皮腫 (上皮型/二相型) における p16 FISH の遺伝子異常の検討. Japan Mesothelioma Interest Group (第 6 回) (北九州市), 2015. 11.
- 7) 松田一平¹⁾, 榎本純子¹⁾, 渡部百合子¹⁾, 井上 淳¹⁾, 平田知己¹⁾, 細根 勝, 片山博徳, 柳田裕美 (1) 多摩永山病院 中央検査室) : 胸腔内転移をきたし胸水中に Ewing sarcoma/primitive neuroectodermal tumor (PNET) を認めた 1 例. 東京都医学検査学会 (第 11 回) (東京都), 2015. 11.

学会発表

[追加分]

追加分一般講演 :

- 1) 北川泰之¹⁾, 丸山 剛¹⁾, 牧野 晃¹⁾, 今野俊介¹⁾, 宮本雅史¹⁾, 高井信朗²⁾, 新井 悟, 細根 勝 (1) 多摩永山病院整形外科, 2) 整形外科) : 10 年の経過を有した下腿皮下 angiofibroma of soft tissue の 1 例. 日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会 (第 47 回) (大阪), 2014. 7.
- 2) 竹内千枝¹⁾, 平田知己¹⁾, 宮 敏路¹⁾, 神尾孝一郎¹⁾, 葛 伸一¹⁾, 大森美和子¹⁾, 小林有紀¹⁾, 細根 勝, 新井 悟, 白田実男²⁾, 川本雅司³⁾ (1) 多摩永山病院呼吸器センター, 2) 付属病院呼吸器外科, 3) 帝京大学医学部附属病院臨床病理科) : 血痰の持続を契機に発見された空洞結節型肺多形癌の手術例. 第 55 回日本肺癌学会学術集会 (京都), 2014. 11.

[多摩永山病院中央検査室]

研究概要

中央検査室では、「診察前検査」「検体検査の当日報告」を中心に臨床検査業務を行っている。平成 27 年度は、運動負荷心電図検査装置の更新を行い、精度ならびに安全性が担保された。検体検査部門では、一般検査において、新規全自動尿分析装置の基礎的検討、免疫検査では、測定方法毎の比較検討を行った。多摩地区の中心的な検査室を目指し、臨床検査の充実と発展に邁進し、情報発信を行う。今年度の主な研究は下記の通りである。1) 当院救命救急センターにおける NCSE 症例の多様性に関する考察、2) 全自動輸血検査装置 Ortho-VISION の評価、3) 全自動尿分析装置「US-3500」の基礎的検討、4) 胸腔内転移を認め、胸水内に Ewing sarcoma /primitive neuroectodermal tumor (PNET) を認めた 1 例、5) 部分肺動脈還流異常を伴った三心房心の 1 例、6) 脳死下臓器提供における役割・EEG/ABR、7) ヒト癌胎児性フィブロネクチン検出試薬「イムノテスタ fFN」の基礎的検討。

研究業績

論文

(1) 研究報告書 :

- 1) 奥田直貴¹⁾, 林 昌子¹⁾, 寺田佳世子¹⁾, 原田寛子¹⁾, 川端英恵¹⁾, 井口輝彦, 中井章人¹⁾ (1) 多摩永山病院女性診療科) : ヒト癌胎児性フィブロネクチン検出試薬「イムノテスタ fFN」の基礎的検討. 医学と薬学 2015 ; 72 (9) : 1591-1594.

学会発表

(1) パネルディスカッション :

- 1) 井口輝彦, 相澤 正, 佐藤千枝, 澤柳妙子, 大堀昌平, 井上 淳, 平田知己 : 全自動輸血検査装置 Ortho VISION の評価. 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京都), 2015. 9.

(2) セミナー：

- 1) 久保田稔：脳死判定時の脳波/ABR. 日本小児救急医学会（第29回）（埼玉県），2015. 5.
- 2) 松田一平：STI 予防教室「正しい知識と方法で」. 東京都臨床検査技師会（東京都），2015. 9.
- 3) 中原 慶：部分肺静脈還流異常症を伴った三心房心の1例. 多摩心エコー図セミナー（東京都），2015. 11.
- 4) 久保田稔：脳死下臓器提供における役割（2015年救急医療における脳死患者の対応セミナー）. 日本臓器移植ネットワーク本部（神奈川県），2015. 11.
- 5) 久保田稔：EEG・ABR（2015年救急医療における脳死患者の対応セミナー）. 日本臓器移植ネットワーク本部（神奈川県），2015. 11.
- 6) 久保田稔：脳死下臓器提供法的脳死判定等における脳波・ABRに関して（2015年法的脳死判定等における脳波測定研修会）. 日本臓器移植ネットワーク本部（秋田県），2015. 12.

(3) 一般講演：

- 1) 久保田稔：当院救命救急センターにおけるNCSE（非けいれん性てんかん重積）症例の多様性に関する考察. NMS Epilepsy Network Meeting（第4回）（東京都），2015. 7.
- 2) 野路佳子，榎本純子，渡部百合子，作間俊介，井上 淳，平田知己：全自動尿分析装置「US-3500」の基礎的検討. 日本臨床検査自動化学会（第47回）（神奈川県），2015. 10.
- 3) 丸山 弘¹⁾，吉田 寛¹⁾，牧野浩司¹⁾，横山 正¹⁾，磐井佑輔²⁾，上原隆志²⁾，田杭直哉²⁾，鈴木美子，田中 愛²⁾，山本 愛²⁾，内田英二³⁾（¹⁾多摩永山病院外科，²⁾感染制御部，³⁾附属病院消化器外科）：消化器外科におけるCandida属の検出状況と薬剤感受性. 日本感染症学会東日本地方会学術集会（第64回）日本化学療法学会東日本支部総会（第62回）合同学会（北海道），2015. 10.
- 4) 松田一平，榎本純子，渡部百合子，井上 淳，平田知己，細根 勝¹⁾，片山博徳¹⁾，柳田裕美¹⁾（¹⁾多摩永山病院病理部）：胸腔内転移をきたし胸水中にEwing sarcoma/primitive neuroectodermal tumor (PNET) を認めた1例. 東京都医学検査学会（第11回）（東京都），2015. 11.
- 5) 鈴木健介¹⁾，及川真奈²⁾，門馬 治²⁾，石ヶ森重之²⁾，久保田稔，諸江雄太³⁾，久野将宗³⁾，畝本恭子³⁾（¹⁾多摩永山病院救命救急センター・日本体育大学保健医療学部，²⁾多摩永山病院看護部，³⁾多摩永山病院救命救急センター）：後方支援を行うDMATのあり方の検討. 日本集団災害医学会総会（第21回）（山形県），2016. 2.
- 6) 磐井佑輔¹⁾，山本 愛¹⁾，田中 愛¹⁾，鈴木美子，田杭直哉¹⁾，上原隆志¹⁾，丸山 弘¹⁾（¹⁾感染制御部）：当院救命救急センターにおける中心ライン関連血流感染サーベイランスの結果. 日本環境感染学会総会・学術集会（第31回）（京都府），2016. 2.
- 7) 山本 愛¹⁾，丸山 弘¹⁾，磐井佑輔¹⁾，田中 愛¹⁾，鈴木美子，田杭直哉¹⁾，上原隆志¹⁾（¹⁾感染制御部）：N95マスク装着指導と漏れ率の定量的評価から当院の空気感染対策を考える. 日本環境感染学会総会・学術集会（第31回）（京都府），2016. 2.
- 8) 田杭直哉¹⁾，鈴木美子，菅谷量俊¹⁾，村田和也¹⁾，丸山 弘²⁾（¹⁾多摩永山病院薬剤部，²⁾多摩永山病院外科）：当院におけるMIC=2 $\mu\text{g/ml}$ のMRSA株検出割合およびVCMの細菌学的有用性について. 日本環境感染学会総会・学術集会（第31回）（京都府），2016. 2.

[多摩永山病院薬剤部]

研究概要

現在，病棟薬剤業務実施をはじめとして，薬剤師のチーム医療への参加さらにその充実が必要とされており，チーム医療の一員として患者への薬物療法に対する安全管理また薬物の適正使用に対し，様々な分野で薬剤師の職能を十分に発揮することが強く求められている。そのような状況の中，当薬剤部は感染における抗菌剤の適正使用や造影剤使用後のメトホルミンによる腎毒性の調査，腎機能障害患者の蛋白質摂取状況調査，病棟業務日誌及び業務集計システムの構築など，多岐に渡る分野について発表し，また感染チームの一員としてMRSAに対するMICごとのバンコマイシンの治療成績等の研究発表も行った。さらに免疫抑制剤の食事による吸収率低下に関してTDM学会誌にて論文での報告を行った。今後も，薬剤師がチーム医療への積極的な参加し医薬品の適正使用などを通して患者さまの安全性の確保，QOLの向上に，薬物治療の専門家として薬剤師職能を充分発揮できるよう努力したいと考えている。

研究業績

論文

(1) 短報：

- 1) 田杭直哉，近藤匡慶，吉田真人，菅谷量俊，村田和也：潰瘍性大腸炎患者における食事再開に伴う段階的栄養摂取量の変動によるタクロリムスの血中濃度への影響. TDM研究 2016；Vol.33（No.1）：33.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 波田博文¹⁾, 吉田敦行²⁾, 川越宣明³⁾, 中西里永子⁴⁾, 伊藤幸恵⁵⁾, 加藤浩子, 嶋田紗知⁶⁾, 菅原加奈美⁴⁾, 田村奈美子⁴⁾, 得田保雄⁷⁾, 深田かおり⁸⁾, 宮田 弥⁹⁾, 中澤 舞⁴⁾, 村田里佳¹⁰⁾, 鈴木, その他 11 名 (¹⁾ 小平薬局天神, ²⁾ 近藤医院, ³⁾ 多摩センタークリニックみらい, ⁴⁾ 立川相互病院, ⁵⁾ 青梅市立総合病院, ⁶⁾ あきしま相互病院, ⁷⁾ 日野市立病院, ⁸⁾ クリニックみらい国立, ⁹⁾ マロン薬局サルビア, ¹⁰⁾ その他)：糖尿病療養担当者のためのセミナー「はじめてコース」参加者の追跡調査. 第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会 (山口), 2015. 5.
- 2) 近藤匡慶, 菅谷量俊, 磐井祐輔¹⁾, 金子純也¹⁾, 諸江雄太¹⁾, 石之神小織¹⁾, 久野将宗¹⁾, 畝本恭子¹⁾, 村田和也 (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 救命救急センター)：救命救急病棟におけるバンコマイシン負荷投与の有効性. 第 18 回日本臨床救急医学会総会・学術集会 (富山), 2015. 6.
- 3) 長野楨彦, 菅谷量俊, 近藤匡慶, 吉田真人, 村田和也：薬剤師による TDM 積極的介入の治療効果への影響. 第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム (名古屋), 2015. 7.
- 4) 菅谷量俊, 田杭直哉, 村田和也：抗菌薬適正使用に向けてのアプローチ. 日本病院薬剤師会関東ブロック第 45 回学術大会 (茨城), 2015. 8.
- 5) 杉原加寿子, 亀山明美, 菅谷量俊, 村田和也, 小谷英太郎¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 内科・循環器内科)：造影剤使用後の腎機能に対するメトホルミンの影響. 第 4 回 日本くすりと糖尿病学会学術集会 (新潟), 2015. 9.
- 6) 田杭直哉, 近藤匡慶, 菅谷量俊, 村田和也, 上原隆志¹⁾, 丸山 弘²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院呼吸器腫瘍内科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科)：プロンプト法における MIC=1 μ g/mL および 2 μ g/mL の MRSA 株に対する VCM の有効性. 第 62 回日本化学療法学会東日本支部総会第 64 回日本感染症学会東日本地方会学術集会合同学会 (札幌), 2015. 10.
- 7) 青木利恵¹⁾, 矢萩英子¹⁾, 深尾彰平, 吉田真人, 葛 伸一²⁾, 宮 敏路²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院看護部, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院呼吸器腫瘍内科)：EGFK-TKI による爪周囲炎に対し, 除圧テーピングを用いた 1 症例. 第 56 回日本肺癌学会学術集会 (横浜), 2015. 11.
- 8) 小谷英太郎¹⁾, 杉原加寿子, 亀山明美, 菅谷量俊, 草間芳樹¹⁾, 村田和也 (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 内科・循環器内科)：メトホルミンの造影剤使用後の腎機能に対する影響. 第 50 回日本成人病 (生活習慣病) 学会 (東京), 2016. 1.
- 9) 田杭直哉, 鈴木美子¹⁾, 菅谷量俊, 村田和也, 丸山 弘²⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院中央検査室, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院外科)：当院における MIC=2 μ g/mL の MRSA 株検出割合および VCM の細菌学的有効性について. 第 31 回日本環境感染症学会総会・学術集会 (京都), 2016. 2.
- 10) 黒田香織, 村田和也：当院における腎機能障害患者の蛋白質摂取状況. 第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 (福岡), 2016. 2.
- 11) 磐井祐輔¹⁾, 山本 愛¹⁾, 田中 愛¹⁾, 鈴木美子¹⁾, 田杭直哉, 上原隆志¹⁾, 丸山 弘¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 感染制御部)：当院救命救急センターにおける中心ライン関連血流感染サーベイランスの結果. 第 31 回日本環境感染症学会総会学術集会 (京都), 2016. 2.
- 12) 山本 愛¹⁾, 丸山 弘¹⁾, 磐井祐輔¹⁾, 田中 愛¹⁾, 鈴木美子¹⁾, 田杭直哉, 上原隆志¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 感染制御部)：N95 マスク装着指導と漏れ率の定量的評価から当院の空気感染対策を考える. 第 31 回日本環境感染症学会総会 (京都), 2016. 2.
- 13) 淡路健作, 深尾彰平, 田杭直哉, 菅谷量俊, 村田和也：トラマドール塩酸塩とワルファリンカリウム併用時の PT-INR の変動調査. 日本薬学会第 136 年会 (横浜), 2016. 3.
- 14) 下道友莉恵, 深尾彰平, 菅谷量俊, 村田和也：ミノサイクリンの治療効果に及ぼす食品に含まれる金属イオンの影響. 日本薬学会第 136 年会 (横浜), 2016. 3.
- 15) 深尾彰平, 菅谷量俊, 村田和也：病棟業務日誌及び業務集計システムの構築. 日本薬学会第 136 年会 (横浜), 2016. 3.

[多摩永山病院看護部]

研究概要

今年度は 10 演題で日本環境感染症学会, 日本がん看護学会, 日本看護学会ヘルスプロモーション学会, 日本救急看護学会, 第 30 回 JSCRS 学術総会, 日本外科連合学会等で発表が行われた. 1. 685 名の職員に N95 マスクを装着指導後, マスクフィッティングテスターを用いて定量的漏れ率を測定し適合性を評価した. 2. がん看護相談外来にて複数回利用者の現状調査を実施した結果, 患者は治療への不安や有害事象を体験する中で自分らしい過ごし方を考え, 家族は今後の見通しや予測情報を得ながら出来ることを具体化し進んでいた. 3. 眼科手術でのエラーリスクとして, 左右の部位間違いや白内障手術でのレンズ間違いがある. これに対して記録の簡略化, 手術部位及び眼内レンズの度数の確認方法の工夫など安全対策の取り組みを実施. 4. 救命救急センター看護師に, ICU-AW の認知度と早期離床に対する認識を調査した結果, 早期離床の実践度をあげるため必要事項が示唆された. 5. ドクターカー出動内容を項目別に分析し, 現在実施中の教育方法や今後の課題を ADDIE モデルを使用し検討. 6. 保育器内外の環境音を調査し, 環境音への看護師意識と新生児のストレス反応の

関係を検証した。7. 看護師の経験年数による患者の行動抑制を行う判断の相違があるか、事例回答式調査を実施した結果、抑制のアセスメント項目の選択に経験年数の相違はなかった。8. 救命救急センターにおける手指衛生遵守率を調査した結果、開始時9.3%から2013年度平均平均は44.1%、2014年度は56.2%であった。9. 手術療法、化学療法、放射線治療などのがん治療を実施している消化器外科患者の抱える不安や問題に対し緩和ケアチームの一員として、またがん看護相談外来において支援を行っている。10. N95 定量的フィットテストの結果、今後必要な対策を検討した。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) 前田省悟：読めば明日から1人前に。夜勤ひとり立ちマニュアル：Part2 夜勤トレーニング：まずは夜勤トレーニング：夜間の病棟環境と注意点を知らう：消灯前に行うこととラウンドのポイント。ナーシング 2015；35（6）：42-44.

(2) 解説：

- 1) 前田省悟：読めば明日から1人前に。夜勤ひとり立ちマニュアル：Part3 いよいよ1人のナースとして夜勤デビュー：先輩と一緒に夜の病棟を守ろう：業務の流れと組み立てを考える。ナーシング 2015；35（6）：52-54.
- 2) 白勢 彩：評価選択実行できる。褥瘡ケアデビュー：Part1：褥瘡を発生させないために必要なこと：病棟で働くことになったら褥瘡について、こんなことを知っておこう：「ナースであれば、これだけは」編：30. 体位変換はどれくらいですか？。月間ナーシング 2015；35（8）：60-60.
- 3) 白勢 彩：評価選択実行できる。褥瘡ケアデビュー：Part1：褥瘡を発生させないために必要なこと：病棟で働くことになったら褥瘡について、こんなことを知っておこう：「ナースであれば、これだけは」編：29. 褥瘡予防で間違いやすい方法は？。月間ナーシング 2015；35（8）：58-59.
- 4) 松村佳世子：評価選択実行できる褥瘡ケアデビュー：Part1 病棟で働くことになったら、褥瘡について、こんなことを知っておこう「ナースであれば、これだけは」編：褥瘡を発生させないために必要なこと：褥瘡予防に不可欠なポジショニングの適切な方法は？。ナーシング 2015；35（8）：54-55.
- 5) 松村佳世子：評価選択実行できる褥瘡ケアデビュー：Part1 病棟で働くことになったら、褥瘡について、こんなことを知っておこう「ナースであれば、これだけは」編：褥瘡を直すために必要なこと：褥瘡の治療・ケアの実態：褥瘡予防は、どのように行うの？。ナーシング 2015；35（8）：53-54.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 新里小百合：眼科看護の医療安全面の落とし穴-安全対策をどうするか-(リスク軽減への取り組み)。JSCRS 学術総会（第30回）（東京都），2015. 6.

(2) パネルディスカッション：

- 1) 高仲雅子，矢萩英子，牧野浩司¹⁾，横山 正¹⁾，丸山 弘¹⁾，平方淳史¹⁾，吉田 寛¹⁾（¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・一般外科・乳腺外科）：外科系領域における専門看護師の役割（消化器外科におけるがん看護専門看護師の役割）。日本外科系連合学会学術集会（第40回）（東京都），2015. 6.
- 2) 喜久川浩子，矢野安佐子，池尻由香，佐々木和美，小谷英太郎¹⁾（¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科）：新生児室における環境音の実態調査-看護師意識と新生児のストレス反応-。日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会（第46回）（富山県），2015. 11.
- 3) 山本 愛，丸山 弘¹⁾，磐井佑輔²⁾，田中 愛³⁾，鈴木美子⁴⁾，田杭直哉⁵⁾，上原隆志⁶⁾（¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・一般外科・乳腺外科，²⁾ 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター，³⁾ 日本医科大学多摩永山病院感染制御部，⁴⁾ 日本医科大学多摩永山病院中央検査室，⁵⁾ 日本医科大学多摩永山病院薬剤部，⁶⁾ 日本医科大学多摩永山病院呼吸器・腫瘍内科）：N95 マスク装着指導と漏れ率の定量的評価から当院の空気感染対策を考える。日本環境感染学会総会学術集会（第31回）（京都府），2016. 2.

(3) ワークショップ：

- 1) 青木利恵，滝澤聖子，矢萩英子，横山 正¹⁾，関 奈紀¹⁾，吉田 寛¹⁾（¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・一般外科・乳腺外科）：化学療法における副作用対策 それぞれの立場から：当院における化学療法副作用対策：半夏瀉心湯によるうがいのリーフレット作成と指導。日本外科系連合学会学術集会（第40回）（東京都），2015. 6.
- 2) 鈴木健介¹⁾，荒井永地，秋田久美，山本裕之，石ヶ森重之，久野将宗¹⁾，畝本恭子¹⁾，二宮宣文¹⁾（¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター）：ドクターカーの事後検証を基にしたシミュレーション教育-緊急走行と現場活動のシミュレーションの効果-(救急医療の教育体制)。日本臨床救急医学会総会・学術集会（第18回）（富山県），2015. 6.

(4) 一般講演：

- 1) 佐藤 遥, 池田麻里, 加賀佳奈, 和田みづき, 石ヶ森重之：救急搬送された患者家族のアセスメント用紙を用いた心理的な危機的状況の評価. 日本救急看護学会学術集会 (第 17 回) (佐賀県), 2015. 10.
- 2) 上原みずき, 小金澤幸子, 荻原綾子, 長野 忍：ICU-AW と早期離床に対する救命救急センター看護師の認識調査. 日本救急看護学会 (第 17 回) (佐賀県), 2015. 10.
- 3) 及川真奈, 石ヶ森重之, 山本裕之, 新行内賢, 荒井永地：当施設におけるドクターカー症例をふまえた同乗看護師のシミュレーション教育の現状と課題. 日本救急看護学会学術集会 (第 17 回) (佐賀県), 2015. 10.
- 4) 富谷好絵, 長内まき子：看護師の経験年数による患者の行動抑制を行う判断の相違：事例を用いた質問紙から見える抑制アセスメントシートの妥当性. 東京都看護協会多摩南地区支部看護研究発表会 (東京都), 2015. 12.
- 5) 高仲雅子：がん看護相談外来の複数回利用者の現状. 日本がん看護学会学術集会 (第 30 回) (東京都), 2016. 2.
- 6) 藤井裕士, 西尾光貴, 山本 愛：救命救急センターにおける手指衛生遵守率の調査報告. 日本環境感染学会総会・学術集会 (第 31 回) (京都府), 2016. 2.

論文

[追加分]

追加分解説：

- 1) 松村佳世子：ちょっとした工夫でぐっとよくなる WOC ナースが伝えたい！ちょいワザ第 3 回：紙おむつ使用時のトラブルを防ぐ. ExpertNurse 2014；30 (7)：60-61.
- 2) 松村佳世子：ちょっとした工夫でぐっとよくなる WOC ナースが伝えたい！ちょいワザ第 2 回：弾性ストッキングによる骨突出部のトラブル予防. ExpertNurse 2014；30 (5)：78-79.
- 3) 渡邊 成¹⁾, 平山千登勢²⁾, 白勢 彩, 清野美砂³⁾ (1) 川口市立医療センター, (2) 杏林大学医学部付属病院, (3) けやき通り訪問看護ステーション)：特集：管理栄養士が押さえておきたい英略語でわかる栄養ケアキーワード集：7. 生化学検査項目. NutritionCare 2014；7 (5)：438-446.
- 4) 小林智美¹⁾, 松村佳世子 (1) 日本大学医学部附属病院看護部)：ちょっとした工夫でぐっとよくなる WOC ナースが伝えたい！ちょいワザ第 5 回：経口挿管チューブ, 気管切開カニューレ挿入時のスキンケア. ExpertNurse 2014；30 (10)：63-65.
- 5) 松村佳世子, 黒木さつき¹⁾ (1) 稲沢市民病院看護部)：ちょっとした工夫でぐっとよくなる WOC ナースが伝えたい！ちょいワザ第 6 回：乾燥した皮膚のスキンケア. ExpertNurse 2014；30 (11)：48-49.
- 6) 柴田まり子：連載：その案いただき！糖尿病患者さん指専用アイデアグッズ・ツマレンジャー. 糖尿病ケア 2014；11 (8)：708-709.
- 7) 松村佳世子, 黒木さつき¹⁾ (1) 稲沢市民病院看護部)：ちょっとした工夫でぐっとよくなる WOC ナースが伝えたい！ちょいワザ第 8 回：ガーゼ使用時の創周囲皮膚の保護. ExpertNurse 2014；30 (13)：70-71.
- 8) 前田省悟：異変発見！すぐ, みる技術. 急変時に 0 秒で行う患者評価と判断の手順：07 麻痺が起きている (脳神経系の異変). 月間ナーシング 2014；34 (13)：74-75.
- 9) 松村佳世子：ちょっとした工夫でぐっとよくなる WOC ナースが伝えたい！ちょいワザ第 10 回：皮膚被膜剤の多用途での活用. ExpertNurse 2014；31 (1)：62-63.
- 10) 小林智美¹⁾, 松村佳世子 (1) 日本大学医学部附属病院看護部)：特別付録：フローチャートで選び方がわかる！ストーマ装具選択 BOOK. ExpertNurse 2014；31 (1)：3-35.
- 11) 小林智美¹⁾, 松村佳世子, 黒木さつき²⁾ (1) 日本大学医学部附属病院看護部, (2) 稲沢市民病院看護部)：ちょっとした工夫でぐっとよくなる WOC ナースが伝えたい！ちょいワザ第 11 回：胃瘻周囲の皮膚ケアと保護. ExpertNurse 2015；31 (2)：58-60.
- 12) 石ヶ森重之：特集：循環器病棟の急変予測シミュレーション：8. 声掛けに反応なし！息をしていない！脈がない！. 循環器ナーシング 2015；5 (1)：64-70.

学会発表

追加分ポスター：

- 1) 滝澤聖子, 椿原久美子, 横山 正¹⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院消化器外科・一般外科・乳腺外科)：乳がん患者における CV ポート挿入により感じる変化. 日本乳癌学会学術総会 (第 22 回) (大阪府), 2014. 7.
- 2) 丸山 弘¹⁾, 田中 愛¹⁾, 山本 愛, 磐井佑輔²⁾, 角田 隆³⁾, 菅谷量俊⁴⁾, 鈴木美子⁵⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院感染制御部, (2) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, (3) 日本医科大学多摩永山病院整形外科, (4) 日本医科大学多摩永山病院薬剤部, (5) 日本医科大学多摩永山病院中央検査室)：救命センターにおける MRSA 積極的監視培養. 日本環境感染学会総会・学術集会 (第 30 回) (兵庫県), 2015. 2.

追加分一般講演：

- 1) 高仲雅子：がん看護相談会 相談内容の実態. 日本緩和医療学会学術大会（第19回）（兵庫県），2014. 6.
- 2) 今井圭司，石ヶ森重之，山本裕之，上原みずき，前田省悟，山本 愛：臀部植皮術後における腹臥位管理に関する一考察. 日本熱傷学会総会・学術集会（第40回）（埼玉県），2014. 6.
- 3) 廣中優美，山岸千春，千葉 彩，後藤由香：柚子胡椒を用いた嚥下機能改善の効果：脳血管障害患者2名の事例を通して. 日本看護学会慢性期看護学術集会（第45回）（徳島県），2014. 9.
- 4) 上原みずき，長野 忍，荻原綾子：A病院救命救急センターにおけるICU-AW発生率の調査報告. 日本救急看護学会学術集会（第16回）（大阪府），2014. 10.

追加分シンポジウム：

- 1) 高仲雅子：大学病院のがん看護専門看護師の立場から「在宅との接点として，在宅外来を試みて」. 大学病院の緩和ケアを考える会 総会・研究会（第20回）（東京都），2014. 9.

【多摩永山病院消化器科】

研究概要

当科は消化器全般の疾患を診療の対象とし，幅広い視野・能力を有する臨床医の養成を目指すとともに，消化器疾患に関する臨床研究を行っている。研究活動としては，1) 日常診療で多く遭遇する消化管出血の現状や病態を，上部および下部消化管の内視鏡検査を用いて解析している。具体的には，*Helicobacter pylori* 感染や非ステロイド性消炎鎮痛薬と胃病変との関連性や *Helicobacter pylori* の2次除菌，3次除菌における有効性の比較検討，透析患者における尿素呼气試験を含めた *Helicobacter pylori* の存在診断法の検討，食道胃逆流症，機能的胃症，過敏性腸症候群などの消化管運動異常の解析，および，逆流性食道炎や胃潰瘍の発生機序に関して，基礎および臨床疫学的な研究を行っているほか，2) 胃癌ESDに及ぼす抗凝固薬の影響を検討している。また3) C型慢性肝炎に対するインターフェロン，リバビリン，プロテアーゼ阻害薬併用および経口2剤による治療効果と副作用の発現について検討し症例を蓄積中である。さらに4) 炎症性腸疾患，とくに潰瘍性大腸炎に対する病態の解析を試み，白血球（顆粒球）吸着療法，および抗TNF製剤による治療の症例も蓄積している。また5) モンゴル，中国，韓国，ベトナム，タイ，ネパール，ミャンマー，バングラデシュなどの国々において *Helicobacter pylori* 感染・胃十二指腸疾患の現状と，背景胃粘膜や病態の相異について疫学調査を行っている。特に，平成22年度4月より大分大学との共同研究「アジア諸国における *Helicobacter pylori* 感染の実態と胃発癌機序の解明」が始まっているほか，胆汁酸逆流が胃粘膜に及ぼす影響についても共同研究を行っている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Kawami N, Iwakiri K¹⁾, Sano H¹⁾, Tanaka Y¹⁾, Sakamoto C¹⁾ (1) Dept. of Gastroenterology, Internal Medicine, Nippon Medical School) : Effects of aging and acid reflux on esophageal motility. *Digestion* 2015 ; 91 (3) : 181-186.
- 2) Miyake K¹⁾, Akimoto T¹⁾, Hanada Y¹⁾, Nagoya H¹⁾, Kodaka Y¹⁾, Ueki N, Kusunoki M¹⁾, Kawagoe T¹⁾, Futagami S¹⁾, Takahashi Y¹⁾, Takano H¹⁾, Sakamoto C¹⁾ (1) Dept. of Gastroenterology, Internal Medicine, Nippon Medical School) : Proton pump inhibitors are associated with lower gastrointestinal tract bleeding in low-dose aspirin users with ischemic heart disease. *Dig Liver Dis* 2015 ; 47 (9) : 757-762.
- 3) Mitsui K¹⁾, Fujimori S¹⁾, Tanaka S¹⁾, Ehara A¹⁾, Omori J, Akimoto N¹⁾, Maki K¹⁾, Suzuki M¹⁾, Kosugi Y¹⁾, Ensaka A¹⁾, Matsuura Y¹⁾, Kobayashi T¹⁾, Yonezawa M¹⁾, Tatsuguchi A¹⁾, Sakamoto C¹⁾ (1) Dept. of Gastroenterology, Internal Medicine, Nippon Medical School) : Retrieval of Retained Capsule Endoscopy at Small Bowel Stricture by Double-Balloon Endoscopy Significantly Decreases Surgical Treatment. *J Clin Gastroenterol*. 2016 ; 50 (2) : 141-146.

(2) 総説：

- 1) 植木信江，三宅一昌¹⁾，坂本長逸¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器肝臓内科)：【リウマチ医に必要な消化器疾患の最新知識】NSAIDsによる消化管傷害. *リウマチ科* 2015 ; 53 (5) : 460-464.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 川見典之，岩切勝彦¹⁾，坂本長逸¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器肝臓内科)：難治性GERDの病態と治療 PPI倍量抵抗性NERD患者の病態と治療. 日本消化器病学会総会 (101) (仙台)，2015. 4.

(2) ワークショップ：

- 1) 西本崇良, 二神生爾¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器肝臓内科)：早期胃排出能・GSRs 質問票を用いた膵機能異常合併症例の検討：FD 治療フローチャートに膵機能評価は必要か. 日本消化管学会総会学術集会 (12) (東京), 2016. 2.

(3) 一般講演：

- 1) 植木信江, 鮑本哲兵¹⁾, 丸木雄太¹⁾, 山脇博士¹⁾, 小高康裕¹⁾, 名児耶浩幸¹⁾, 進藤智隆¹⁾, 楠 正典¹⁾, 河越哲郎¹⁾, 二神生爾¹⁾, 三宅一昌¹⁾, 坂本長逸¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器肝臓内科)：低用量アスピリンは胃 ESD 後潰瘍治療遅延と出血リスク増加をもたらす十二指腸胃逆流の関与. 日本消化器内視鏡学会総会 (89) (名古屋), 2015. 5.
- 2) 鮑本哲兵^{1,2)}, 後藤 修¹⁾, 木下 聡¹⁾, 相良誠二¹⁾, 藤本 愛¹⁾, 落合康利¹⁾, 西澤俊宏¹⁾, 中村理恵子¹⁾, 植木信江, 浦岡俊夫¹⁾, 辰口篤志²⁾, 三宅一昌²⁾, 坂本長逸²⁾, 矢作直久¹⁾ (1) 慶應義塾大学 医学部腫瘍センター低侵襲療法研究開発部門, 2) 日本医科大学 消化器肝臓内科)：H.pylori 除菌後胃癌および背景粘膜に生じる組織学的変化と内視鏡診断の検討. 日本消化器内視鏡学会総会 (89) (名古屋), 2015. 5.
- 3) 江原彰仁¹⁾, 大森 順, 秋元直彦¹⁾, 小杉友紀¹⁾, 鈴木将大¹⁾, 馬來康太郎, 遠坂由紀子¹⁾, 三井啓吾¹⁾, 米澤真興¹⁾, 田中 周¹⁾, 辰口篤志¹⁾, 藤森俊二¹⁾, 岩切勝彦¹⁾, 坂本長逸¹⁾ (1) 日本医科大学 消化器肝臓内科学)：内視鏡を活用したあらたな診療展開 十二指腸, 小腸 当院における小腸血管性病変の検討. 日本消化器内視鏡学会関東地方会 (100) (東京), 2015. 6.

(4) 症例報告：

- 1) 石川裕美子, 馬來康太郎, 大森 順, 新福摩弓, 川見典之, 植木信江, 津久井拓, 岩切勝彦¹⁾, 細根 勝²⁾, 井川 修³⁾ (1) 日本医科大学 消化器肝臓内科, 2) 日本医科大学多摩永山病院 病理部, 3) 日本医科大学多摩永山病院 循環器内科)：急激に進行し心転移を来した未分化胃癌の 1 例. 日本内科学会関東地方会 (622) (東京), 2016. 3.

論文

[追加分]

追加分 (解説/特集)：

- 1) 松久威史：【ヘリコバクター感染症の最新知見 - H. pylori の感染病態, 診断, 治療を中心として】 H. pylori 感染症の除菌治療. 臨床と微生物 2015 ; 42 (2) : 137-143.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) 栗林志行¹⁾, 岩切勝彦²⁾, 川田晃世¹⁾, 保坂浩子¹⁾, 星野慎太郎²⁾, 川見典之, 竹之内菜菜²⁾, 下山康之¹⁾, 河村 修¹⁾, 山田正信¹⁾, 草野元康¹⁾ (1) 群馬大学医学部附属病院 消化器内科, 2) 日本医科大学消化器肝臓内科)：食道内圧検査における high resolution manometry 機器による正常値の違い. 日本消化器病学会総会 (101) (仙台), 2015. 3.

31. 千葉北総病院付置施設等

[千葉北総病院集中治療室]

研究概要

開設以来、重症循環器疾患を主体に集中管理を要する内科疾患についての病態、診断、治療に係る研究を継続し、症例報告5件を欧文誌上で発表、その他の研究課題は国内の主要学会で報告した。急性冠症候群については、冠動脈カテーテル治療の成績ならびに合併症について報告し、冠動脈疾患の画像評価を主体とする研究を継続している。千葉北総病院ではドクターヘリ搬送される重症循環器疾患が多く、その有用性についての検討も継続しており、今年度は急性冠症候群におけるドクターヘリ搬送の特徴について報告した。急性心不全については、急性腎障害についての研究継続とともに、重症度判定法、心不全症例の季節による特徴、肥満との関係ならびに肝機能障害との関係についての研究を進めている。急性大動脈解離については、以前から腎障害ならびに呼吸障害との関連についての研究を継続しているが、今年度は上腸間膜動脈に解離が進展した症例をステントを用いて治療した症例報告を行い優秀賞を受賞した(日本心血管カテーテル治療学会関東甲信越地方会)。肺循環については、旅行者血栓症を含めた肺血栓塞栓症についての研究を続けている。心停止後に入院した症例の神経学的保護を目的とした低体温療法の有用性、脳内酸素飽和度の臨床的意義ならびに最新の体表冷却装置の特長についての研究を継続している。その他、急性肺炎、敗血症、全身性炎症反応症候群、急性肺障害、急性腎不全などについて、薬物療法、急性血液浄化療法、呼吸管理法を中心に研究を継続している。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) 水野正之¹⁾, 岡崎大武, 稲見 徹²⁾, 河原崎昇¹⁾, 清野精彦²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 放射線センター, (2) 日本医科大学千葉北総病院 循環器内科) : FD-OCT における外側色調が内側のシグナル輝度に及ぼす影響. 日本心血管インターベンション治療学会誌 2015 ; 7 (3) : 86-89.

(2) 症例報告：

- 1) Kobayashi N, Hata N, Kuwako T¹⁾, Shimizu W²⁾ (1) Dept of Radiology, Nioopn Medical school Chiba Hokusoh Hospital, (2) Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Extravasation from an accessory renal artery. A critical complication associated with percutaneous coronary intervention. JACC Cardiovasc Interv 2015 ; 8 (3) : e45-e47.
- 2) Okazaki H, Hata N, Shirakabe A, Tsurumi M, Shinada T, Shimizu W¹⁾ (1) Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Early effects of oral pulmonary vasodilators in an elderly patient with critical thromboembolic pulmonary hypertension : A case report. JNMS 2015 ; 82 (4) : 206-210.
- 3) Kobayashi N, Hata N, Okazaki H, Shimizu W¹⁾ (1) Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Longitudinal stent deformation as a cause of very late stent thrombosis : Opitcal coherence tomography images. Int J Cardiol 2016 ; 202 : 601-603.
- 4) Kobayashi N, Takano M¹⁾, Shimura T¹⁾, Hata N, Shimizu W²⁾ (1) Cardiovascular Center, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, (2) Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Flow-limiting thrombosis after intracoronary coil embolisation : optical coherence tomography during acute myocardial infarction. Eurointervention 2016 ; 11 (9) : 1028-1028.
- 5) Shirakabe A, Takano M¹⁾, Yamamoto M¹⁾, Kurihara O¹⁾, Kobayashi N, Matsushita M, Tsurumi M, Okazaki H, Hata N, Shimizu W²⁾ (1) Cardiovascular Center, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, (2) Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Preventive effects of bere-metal stent on restenosis after everolimus-eluting stent deployment. Heart Vessel 2016 ; 31 (3) : 434-437.

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 小林宣明 : ST 上昇型急性前壁心筋梗塞における左冠動脈前行下枝の解剖学的特徴が予後に与える影響 : 心臓 MRI を用いた検討 (海外留学者講演). 日本医科大学医学会総会 (第 83 回) (東京), 2015. 9.

(2) 一般講演：

- 1) Okada K¹⁾, Yagi T¹⁾, Saito N¹⁾, Hara Y¹⁾, Matsumoto H¹⁾, Yokota H²⁾, Matsushita M³⁾, Tsurumi M, Bessho R⁴⁾, Hata N (1) Shock and Trauma Center, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, (2) Dept of Critical Care Medicin, Nippon Medical School, (3) Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, (4) Dept of Cardiothoracic Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital) : Use of veno-venous extracorporeal membrane oxygenation for multiple trauma patients

with respiratory insufficiency : A case series. Asia-Pacific Chapter of Extracorporeal Life Support Organization (2nd) (kyoto), 2015. 7.

- 2) Shiomura R, Kobayashi N, Hata N, Okazaki H, Tsurumi M, Tomita K, Shinada T, Seino Y¹⁾, Shimizu W²⁾ (1) Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, 2) Cardiovascular Medicine, Nippon Medical School) : Coronary artery aneurysm formation in the early stage after stent implantation. 日本心血管インターベンション治療学会学術集会 CVIT2015 (第24回) (福岡), 2015. 7.
- 3) 澁谷淳介, 塩村玲子, 岡崎大武, 鶴見昌史, 富田和憲, 小林宣明, 品田卓郎, 畑 典武, 清水 渉¹⁾ (1) 日本医科大学 循環器内科) : 上腸間膜動脈解離を併発し緊急経皮的血管形成術で救命し得た Stanford B 大動脈解離の1例. 日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会 (第40回) (東京), 2015. 5.
- 4) 西郡 卓, 小林宣明, 澁谷淳介, 塩村玲子, 岡崎大武, 鶴見昌史, 品田卓郎, 松本 尚¹⁾, 畑 典武, 清水 渉²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター, 2) 日本医科大学 循環器内科) : 急性冠症候群におけるドクターヘリ搬送症例の臨床的特徴. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
- 5) 宗像 亮¹⁾, 栗原 理¹⁾, 岡崎大武, 鶴見昌史, 小林宣明, 品田卓郎, 高野雅充¹⁾, 畑 典武, 清野精彦¹⁾, 清水 渉²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 循環器内科, 2) 日本医科大学 循環器内科) : 急性肺血栓塞栓症の予後と, 症状出現から治療までの時間についての検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.

[千葉北総病院病理部]

研究業績

著 書

- 1) 内藤善哉¹⁾, 中村直哉²⁾, 佐々木惇³⁾, 有田茂実⁴⁾, 伊古田勇人⁵⁾, 井野元智恵¹⁾, 佐藤信也⁶⁾, 佐藤勇一郎⁷⁾, 清水秀樹, 芹澤昭彦⁸⁾, 武井英博⁹⁾, 平戸純子¹⁰⁾ (1) 日本医科大学大学院統御機構診断病理学, 2) 東海大学医学部基礎診療学系病理診断学, 3) 埼玉医科大学病理学, 4) 千葉県がんセンター臨床病理部病理検査科, 5) 群馬大学大学院医学系研究病態病理学分野, 6) 国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科, 7) 宮崎大学医学部附属病院病理診断科・病理部, 8) 東海大学医学部附属病院病理検査技術科, 9) 旭川医科大学病理部, 10) その他) : [分担] 中枢神経. 細胞診ガイドライン3 甲状腺・内分泌・神経系 2015年版甲状腺/副甲状腺/副腎/中枢神経/脳脊髄液/眼器 (日本臨床細胞学会), 2015 : pp130-161, 金原出版株式会社.

学会発表

(1) ワークショップ :

- 1) 清水秀樹, 羽鳥 努 : 病理診断業務における職場環境改善の流れと法的背景 - 化学物質について -. 日本臨床細胞学会秋期大会 (第54回) (名古屋), 2015. 11.

(2) 一般講演 :

- 1) 三枝順子, 京本晃典, 小黒辰夫, 羽鳥 努, 飯塚幸人¹⁾, 浅野伍朗²⁾, 内藤善哉³⁾ (1) 博慈会記念病院病理部, 2) 日本医科大学附属病院病理診断科, 3) 日本医科大学病理学 (統御機構・腫瘍学)) : 癌組織周囲の微小環境の電顕的・免疫組織学的検討 (Triple negative 乳癌を中心に). 日本臨床分子形態学会総会・学術集会 (第47回) (長崎県), 2015. 9.
- 2) 竹内真吾¹⁾, 平井恭二¹⁾, 飯島慶仁¹⁾, 長谷川千花子, 白田実男²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院呼吸器外科, 2) 日本医科大学付属病院呼吸器外科) : 術中に胸腺腫との鑑別に苦慮し胸腔鏡補助下に切除した前縦隔発生の mediastinal large B-cell lymphoma の1例. 日本肺癌学会学術集会 (第56回) (横浜市), 2015. 11.

(3) ガイドライン解説 :

- 1) 佐々木惇¹⁾, 中村直哉²⁾, 平戸純子³⁾, 清水秀樹, 佐藤勇一郎⁴⁾, 伊古田勇人³⁾, 井野元智恵²⁾, 佐藤信也⁵⁾, 有田茂実⁶⁾, 芹澤昭彦²⁾ (1) 埼玉医科大学, 2) 東海大学, 3) 群馬大学, 4) 宮崎大学, 5) 国際医療福祉大学, 6) 千葉県がんセンター) : 細胞診ガイドライン解説 [中枢神経系/脊髄液]. 日本臨床細胞学会総会 春期大会 (第56回) (島根県), 2015. 6.

[千葉北総病院中央検査室]

研究概要

平成27年度における当検査室の主な活動内容は、昨年度に引き続き循環器内科を中心としたバスキュラーラボ関連検査として、その中心となる下肢静脈超音波検査の拡充と、心不全を中心とした終夜睡眠ポリグラフィー検査の充実に努めた。微生物検査部門の取り組みとしては、蓄尿等の伝搬感染を考慮した検体採取の再考や、カルバパネマーゼ産生菌への対応の考察や入院時のアクティブサーベイランス

への対応の基礎的検討に努め、輸血検査部門においては「救命救急における緊急輸血」への対応と判定法の再確認を行った。また生理機能検査部門の取り組みとして、新たに「認定心電図検査技師」育成のために、心電図判読の基礎的観点に立ち返り、スタッフ間の技術向上に努めた。また本年度の取り組みとして学術的内容としては「亜急性過敏性肺炎における肺機能検査の有用性」を検討した。なお下記の業績は例年通り当検査室職員が筆頭名であるものおよび、中心的役割を担ったものを基本として掲載した。今後も引き続き教育と技術水準の向上を目指すべく各種課題に取り組んで行く予定である。

研究業績

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 小峯菜那, 亀山雅弥：亜急性過敏性肺炎における肺機能検査の有用性。日本医科大学医学会総会（第83回）（東京都），2015. 9.

[千葉北総病院薬剤部]

研究概要

がん診療連携拠点病院に指定された27年度は、全病院的にがん診療に取組み、薬剤師もチームの一員として貢献できた。認定専門取得者は更新の時期を迎え、業務を遂行しながらハードな条件をクリアすべく努力している。まだ若い薬剤師が多い中、学会参加、県内外研究会、地域研究会、看護学校講師、様々な講習会等講師、学生指導を年間計画にて役割を分担することで各人のブラッシュアップにもつながっている。通常業務の数値化、記録の取り方の工夫を心がけ、臨床の積み重ねによる成果が発表できる体制を確立していきたいと考える。2年前から取り組んできた地域薬剤師会と医師との連携した吸入指導に関することを日本薬学会で発表できたことはまさにその結果の賜物と考える。

研究業績

論文

(1) 総説：

- 1) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑧. alfresa pharmacy news 2015；(241)：3-3.
- 2) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑨. alfresa pharmacy news 2015；(243)：3-3.
- 3) 浜田康次：高尿酸血症・痛風治療薬のアンメット・メディカル・ニーズ. 治療 2015；91（5）：585-587.
- 4) 浜田康次：高尿酸血症・痛風治療薬のアンメット・メディカル・ニーズ. 薬局 2015；66（6）：9-11.
- 5) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑩. alfresa pharmacy news 2015；(245)：3-3.
- 6) 浜田康次：「ステム」を知ればジェネリック医薬品も怖くない，その1 消化器関連薬のステム. 月刊ナーシング 2015；35（7）：4-5.
- 7) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑪. alfresa pharmacy news 2015；(247)：3-3.
- 8) 浜田康次：先発 VS ジェネリック医薬品 シェアは薬効領域別でも同じか？!. 治療 2015；91（7）：877-879.
- 9) 浜田康次：先発 VS ジェネリック医薬品 シェアは薬効領域別でも同じか？!. 薬局 2015；66（8）：9-11.
- 10) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑫. alfresa pharmacy news 2015；(249)：3-3.
- 11) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑬. alfresa pharmacy news 2015；(251)：3-3.
- 12) 浜田康次：「ステム」を知ればジェネリック医薬品も怖くない，その2 高血圧治療薬のステム. 月刊ナーシング 2015；35（10）：10-11.
- 13) 浜田康次：DPP-4 阻害薬 vs SGLT2 阻害薬 発売1年後の処方シェアの動向は？!. 薬局 2015；66（10）：9-11.
- 14) 浜田康次：DPP-4 阻害薬 vs SGLT2 阻害薬 発売1年後の処方シェアの動向は？!. 治療 2015；97（9）：1165-1167.
- 15) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑭. alfresa pharmacy news 2015；(253)：3-3.
- 16) 西脇龍広¹⁾, 中園裕紀¹⁾, 福田恵子¹⁾, 清野精彦²⁾ (1) 千葉北総病院薬剤部, 2) 千葉北総病院循環器内科)：薬剤師の視点から. Medical Alliance 2015；1（4）：336-342.
- 17) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑮. alfresa pharmacy news 2015；(255)：3-3.
- 18) 浜田康次：C型肝炎治療薬の最新動向は？!. 薬局 2015；66（12）：9-11.
- 19) 浜田康次：C型肝炎治療薬の最新動向は？!. 治療 2015；97（11）：1493-1495.
- 20) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑯. alfresa pharmacy news 2015；(257)：3-3.
- 21) 浜田康次：「ステム」を知ればジェネリック医薬品も怖くない，その3 睡眠薬・抗不安薬と解熱鎮痛薬のステム. 月刊ナーシング 2015；35（14）：10-11.
- 22) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑰. alfresa pharmacy news 2016；(259)：3-3.

- 23) 浜田康次：現場目線で考える『薬剤師国家試験対策』。青レシピプラス 2016；1 (1)：1-3.
- 24) 浜田康次：アイクとラットライズ。レシピプラス 2016；15 (1)：79-79.
- 25) 浜田康次：既存便秘症治療薬 VS アミティーザ 最新の処方動向は？！。薬局 2016；67 (1)：5-7.
- 26) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑱。alfresa pharmacy news 2016；(261)：3-3.
- 27) 浜田康次：最新の保険査定事例から⑲。alfresa pharmacy news 2016；(263)：3-3.
- 28) 浜田康次：「ステム」を知ればジェネリック医薬品も怖くない，その4 抗菌薬のステム。月刊ナーシング 2016；36 (3)：6-7.
- 29) 浜田康次：抗精神病薬の最新動向 第一世代 VS 第二世代。薬局 2016；67 (3)：5-7.

著書

- 1) 定光大海¹⁾，渡邊暁洋²⁾ (1) 大阪医療センター救命救急センター，²⁾ 千葉北総病院薬剤部)：[監修] 救急・ICUの業務と薬 Q & A (定光 大海)，2015；じほう.
- 2) 渡邊暁洋¹⁾ (1) 千葉北総病院薬剤部)：[分担] 災害時における薬剤師の役割：薬剤供給を通じて生活を守る。災害時の歯科保健医療対策，2015；pp274-277，一社出版.
- 3) 浜田康次¹⁾ (1) 千葉北総病院薬剤部)：[編集] わかりやすい薬剤情報提供のための一写真付/服薬指導 CD-ROM 2016年3月版(患者向け医薬品情報 CD 化編集委員会)，2016；じほう.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 渡邊暁洋¹⁾ (1) 千葉北総病院薬剤部)：災害薬剤師研修コースについて。日本病院薬剤師会関東ブロック(第45回)(茨城県)，2015. 8.

(2) 一般講演：

- 1) 山崎恵子¹⁾，渡邊暁洋¹⁾，佐藤 茜¹⁾，福田恵子¹⁾ (1) 千葉北総病院薬剤部)：当院におけるせん妄ワーキンググループの取り組み。日本病院薬剤師会関東ブロック(第45回)(茨城県)，2015. 8.
- 2) 花澤迪子¹⁾，片山皓希¹⁾，渡邊暁洋¹⁾，福田恵子¹⁾ (1) 千葉北総病院薬剤部)：病棟薬剤業務の質の向上を目的とした研修プログラムの構築と取り組み。日本医療薬学会(第25回)(横浜)，2015. 11.
- 3) 勝田 恵¹⁾，渡邊暁洋¹⁾，福田恵子¹⁾ (1) 千葉北総病院薬剤部)：千葉県における当院の災害対応の役割について：薬剤師の視点。日本医療薬学会(第25回)(横浜)，2015. 11.
- 4) 屋代亜弓¹⁾，渡邊暁洋¹⁾，石原裕子¹⁾，山崎恵子¹⁾，浦 裕之¹⁾，山口彩子¹⁾，福田恵子¹⁾ (1) 千葉北総病院薬剤部)：小児科病棟における業務展開と今後の課題。千葉県病院薬剤師会会員研究発表会(第31回)(千葉県)，2016. 2.
- 5) 星 憲司¹⁾，青木空真¹⁾，川上準子¹⁾，佐藤憲一¹⁾，浜田康次²⁾ (1) 東北薬大医薬情報科学教室，²⁾ 千葉北総病院薬剤部)：近距離通信を利用した持ち出し可能な服薬モニタリングシステムの開発と評価。日本薬学会(第136回)(横浜)，2016. 3.
- 6) 東条隆明¹⁾，佐藤和佳子¹⁾，大竹麻衣子¹⁾，浜田康次²⁾，富口匡史³⁾，林誠一郎⁴⁾，川上準子¹⁾，星 憲司¹⁾，青木空真¹⁾，佐藤憲一¹⁾ (1) 東北薬大 医薬情報科学教室，²⁾ 千葉北総病院薬剤部，³⁾ アポック毛呂岩井薬局，⁴⁾ 明治薬科大)：多剤処方における副作用発現頻度評価ツール：眠気・口渇・便秘・転倒・EPSの発現評価と代替薬提案。日本薬学会(第136回)(横浜)，2016. 3.
- 7) 原田光枝¹⁾，鮎川安祐²⁾，永井美奈子³⁾，中山妙子⁴⁾，平井千晶⁵⁾，川崎祐子⁶⁾，横井 愛⁷⁾，石丸雄基⁸⁾，菊原菊子⁷⁾，福田恵子¹⁾，日野光紀⁹⁾ (1) 千葉北総病院薬剤部，²⁾ アイン薬局，³⁾ あけぼの薬局，⁴⁾ 幸田薬局，⁵⁾ さくら薬局，⁶⁾ たから薬局，⁷⁾ 薬局マツモトキヨシ，⁸⁾ ヤックスドラッグ，⁹⁾ 千葉北総病院呼吸器内科)：EX手帳を用いたCOPD病薬連携の試み(第1報)。日本薬学会(第136回)(横浜)，2016. 3.

[千葉北総病院放射線センター]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) 水野正之，高野雅充，岡崎大武，稲見 徹，河原崎昇，清野精彦：FD-OCTにおける外側色調が内側のシグナル輝度に及ぼす影響。CVIT JPN 2015；7 (3)：86-89.

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 水野正之, 寺澤亮太, 高野雅充, 影山拓人, 前田悠斗, 小西哲夫, 清野精彦：FD-OCT を用いたプラークの色調解析の展望. 日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会 (第46回) (東京都), 2015. 5.
- 2) 水野正之, 影山拓人, 高野雅充, 前田悠斗, 小西哲夫, 清野精彦：OCT におけるプラークの色調解析. 日本心血管インターベンション治療学会学術集会 (第24回) (福岡市), 2015. 7.
- 3) 水野正之, 佐久間健, 高野雅充：FD-OCT を用いた色解析の試み. 日本心血管インターベンション治療学会 関東地方会 (第47回) (東京都), 2015. 10.

[千葉北総病院歯科]

研究概要

当科では、歯科治療におけるレーザーを用いた歯周軟組織や硬組織の有用性についての基礎的研究および臨床的効果についての研究。全身疾患と歯科治療の関係において、II型糖尿病と歯周病との関係についての研究。交通外傷におけるインプラント治療への長期応用における臨床的効果についての研究。有病者における口腔衛生管理に対する臨床的効果についての研究。周術期患者に対する口腔衛生管理に対する臨床的効果各種ブラシにおける有用性および安全性の検証。乳酸菌生成が歯周病に及ぼす影響歯周病セルフチェックアンケート開発などを行っている。

研究業績

著書

- 1) 村田侑加¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院歯科)：〔分担〕嚥下期3相の諸検査と処置方法の補遺. 口腔ケア歯科衛生士の役割を問う (鴨井久一), 2015；pp138-141, クインテッセンス出版。

学会発表

(1) 一般講演：

- 1) 川村浩樹¹⁾, 熊澤康雄¹⁾, 鴨井久一¹⁾, 小倉喜一郎²⁾, 鴨井久博²⁾ (1) 日本歯科大学, 2) 日本医科大学千葉北総病院歯科)：歯周病患者の唾液中低分子の網羅解析. 第58回春季歯周病学会学術大会 (千葉), 2015. 5.
- 2) 大木亜悠子¹⁾, 大畑菜々子¹⁾, 鈴木結己¹⁾, 村田侑加¹⁾, 藤川瑞穂¹⁾, 吉峰正彌¹⁾, 小倉喜一郎¹⁾, 鴨井久博¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院歯科)：周術期口腔機能管理下における歯周病状態について. 日本歯科保存学会2015年度春季学会 (北九州), 2015. 6.
- 3) 吉峰正彌¹⁾, 大畑菜々子¹⁾, 鈴木結己¹⁾, 村田侑加¹⁾, 藤川瑞穂¹⁾, 大木亜悠子¹⁾, 小倉喜一郎¹⁾, 鴨井久博¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院歯科)：SOLADEYRHYTHM®の周術期患者に対する臨床効果について. 第12回日本口腔ケア学会総会・学術大会 (下関), 2015. 6.
- 4) 吉峰正彌¹⁾, 鴨井久博¹⁾, 高市直子²⁾, 瀬谷知子³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院歯科, 2) 日本医科大学千葉北総病院 看護部, 3) 日本医科大学千葉北総病院 外科)：外来化学療法患者における口腔機能管理. 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会 (札幌), 2015. 7.
- 5) 若林徳哉¹⁾, 鈴木結己¹⁾, 村田侑加¹⁾, 藤川瑞穂¹⁾, 大木亜悠子¹⁾, 吉峰正彌¹⁾, 鴨井久博¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院歯科)：振幅を増加させた音波振動歯ブラシの各種ブラシにおける有用性および安全性の検証. 2015年度ライフケア学会学術大会 (名古屋), 2015. 11.
- 6) 村田侑加¹⁾, 鈴木結己¹⁾, 若林徳哉¹⁾, 藤川瑞穂¹⁾, 大木亜悠子¹⁾, 吉峰正彌¹⁾, 鴨井久博¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院歯科)：日本医科大学千葉北総病院における化学療法患者の周術期口腔機能管理の現状と展望. 2015年度ライフケア学会学術大会 (名古屋), 2015. 11.

[千葉北総病院看護部]

研究概要

研究概要 本年度の院内看護研究発表は12演題であった。研究テーマは下記の様に研究部署だけの問題ではなく、他部署の関連する現状の問題に取り組んだ研究が多く今後の日々の業務に繋がるものであった。テーマ11, 12については4病院の看護継続教育において1年間受講し、その成果を4病院と院内の看護研究発表で行った。

〈テーマ〉

1. 産休・育休後の復帰時に配置転換があった未就学子育て中の看護師の仕事継続に関する実態調査

2. 6階西病棟における看護補助者の夜勤導入による効果と課題
 3. 混合病棟で働く看護師の充実感に影響を与える要因
 4. 呼吸器センターにおける STAS-J 実施状況—入院時スクリーニングの結果から—
 5. 消化器がん患者の褥瘡リスク評価についての考察（第2報）—小野寺式 PNI 値と喫食率を用いた検証—
 6. 抗がん剤に関連する医療安全対策の課題—インシデント・アクシデントレポートからの分析—
 7. 救命救急センターに短期入院し、自宅退院した患者の不安や思いを明らかにする—リーフレットを用いた退院指導を通して—
 8. 手術を受ける患児の手術オリエンテーションに DVD を導入して—術前から帰宅までの患児と親の不安の軽減を図る—
 9. 生活リズムの確立におけるせん妄予防効果とせん妄発生リスクの検討
 10. スマートフォン動画伝送システムにおける看護の有用性（第2報）
 11. 末梢神経障害に対して、症状マネジメントの統合的アプローチ（The Integrated Approach Symptom Management : IASM）を用いた事例報告
 12. 新たな柔らかい凸型装具が適応するストーマの局所条件の検討
- 院外発表は 20 演題が行われた。毎年取り組んでいる看護研究をそれぞれの分野で発表した。

研究業績

著書

- 1) 渡辺光子：〔分担〕気をつけたい！ “誤った” ドレッシング材の使用。エキスパートナーズ 褥瘡・創傷における「ドレッシング材」「外用薬」の選び方・使い方（溝上祐子），2015；pp13-17，照林社。
- 2) 渡辺光子：〔分担〕受け持ったときにすでに褥瘡がある。まず、おさえておくべきことは？。月刊ナーシング，2015；pp72-75，学研。
- 3) 渡辺光子：〔分担〕「汚染からの保護」，どのように行う？。褥瘡治療・ケアの「こんなときどうする？」（監修：館正弘・編集：渡邊千登世，渡辺光子，丹波光子，竹之内美樹），2015；pp186-191，照林社。
- 4) 渡辺光子：〔共著〕概説・創傷ケア用品の使い方。すぐに活かせる！ 最新 創傷ケア用品の上手な選び方・使い方 第3版（田中秀子），2015；pp3-17，日本看護協会出版会。
- 5) 増渕美恵子：〔共著〕看護師・歯科衛生士のコラボレーション：チーム医療と当院の課題。口腔ケア 歯科衛生士の役割を問う（鴨井久一），2015；pp106-111，クインテッセンス。
- 6) 加瀬寛恵：〔分担〕最新の酸素療法・酸素療法の安全管理。重症集中ケア，2015；pp33-40，日総研。
- 7) 加瀬寛恵：〔分担〕体位ドレナージの実施後，効果をどう評価する？。呼吸器ケア，2016；pp35-41，メディカ。

学会発表

(1) 招待講演：

- 1) 水野憲宏：「私はこうやっている：プレホスピタルケア準備」プレホスピタルを学ぶための教育。日本救急医学会関東地方会（第66回）（東京都 千代田区），2016. 2.

(2) 教育講演：

- 1) 水野憲宏：フライトナースの役割と意識。日本小児救急医学会学術集会（第29回）（埼玉県 さいたま市），2015. 6.

(3) 一般講演：

- 1) 高澤直央：A 病院救急領域に勤務する看護師の嚆下訓練に関する認識とアセスメント：脳神経外科看護師との比較。日本クリティカルケア看護学会学術集会（第11回）（福岡県 福岡市），2015. 6.
- 2) 平野知子，松本智司¹⁾，池森紀夫²⁾，肥田道彦²⁾，伏屋洋志³⁾，小泉はるか，下川陽子⁴⁾，古山めぐみ，三浦剛史⁵⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 外科，²⁾ 日本医科大学千葉北総病院 メンタルヘルス科，³⁾ 日本医科大学千葉北総病院 リハビリテーション科，⁴⁾ 日本医科大学千葉北総病院 薬剤部，⁵⁾ 日本医科大学千葉北総病院 泌尿器科）：患者自記式 STAS-J 症状版を用いた，苦痛のスクリーニングの導入。日本緩和医療学会学術大会（第20回）（神奈川県 横浜市），2015. 6.
- 3) 太田充美，岡部亜紀，高津奈緒美，遠藤みさを：ガーゼ・タオルの体内異物残存防止の取り組み。日本外科系連合学会学術集会（第40回）（東京都 新宿区），2015. 6.
- 4) 山田佳子，牧山瑞希，根本雅隆，鈴木しほり，植木大輔，二瓶美穂，安藤俊哉，大森ゆかり，関口靖子，水成隆之¹⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 脳神経センター脳神経外科）：生活リズム確立によるせん妄の予防効果とせん妄発生リスクの検討。日本意識障害学会（第24回）（静岡県 浜松市），2015. 7.
- 5) 白井 舞，渡辺光子，石井暢明¹⁾（¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 形成外科）：用手形成皮膚保護材を用いた褥瘡の排泄物汚染に対する予防ケア。日本褥瘡学会学術集会（第17回）（宮城県 仙台市），2015. 8.
- 6) 西村謙治，小高綾香，石井亜紀恵，小番まどか，渡辺光子：消化器がん患者における褥瘡リスク評価についての考察（第2報）：小野寺式 PNI 値と喫食率を用いた検証。日本褥瘡学会学術集会（第17回）（宮城県 仙台市），2015. 8.

- 7) 宮澤和正, 岩橋美奈子: 病棟での血糖測定, インスリン注射に関わるインシデント対策の効果と課題. 日本糖尿病教育・看護学会学術集会 (第 20 回) (香川県 高松市), 2015. 9.
- 8) 岩橋美奈子, 鈴木千賀子: 病棟での血糖測定業務改善の取り組みと課題: 電子カルテ自動送信システムを導入して. 日本糖尿病教育・看護学会学術集会 (第 20 回) (香川県 高松市), 2015. 9.
- 9) 辻本将和: 外傷患者が頸椎固定装具使用時に発生する圧迫創を予防した取り組み: 接触部位の圧分散を試みて. 日本救急看護学会学術集会 (第 17 回) (佐賀県 佐賀市), 2015. 10.
- 10) 岡田知弥子: 看護師の視点による脳卒中後うつ発症の早期発見方法. 日本脳神経看護研究学会 (第 42 回) (北海道 札幌市), 2015. 10.
- 11) 望月千暁, 渡辺光子, 白井 舞, 松本智司¹⁾, 松田明久¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科: ストーマ粘膜皮膚接合部の不良肉芽に対する液体窒素法の有用性の評価. 東関東ストーマ・排泄リハビリテーション研究会 (第 18 回) (茨城県 水戸市), 2015. 11.
- 12) 重山香織, 森 香織, 大森章代, 増淵美恵子, 本村友一¹⁾, 松本 尚¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 救急救命センター: スマートフォン動画伝送システムにおける看護の有用性 (第 2 報). 日本航空医療学会総会 (第 22 回) (群馬県 前橋市), 2015. 11.
- 13) 渡辺光子, 白井 舞: 新たな柔らかい凸面装具の有用性の検討. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 (第 33 回) (山梨県 甲府市), 2016. 2.
- 14) 望月千暁, 渡辺光子, 白井 舞, 松本智司¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科: ストーマ粘膜皮膚接合部に発生する不良肉芽に対する対処法の検討. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 (第 33 回) (山梨県 甲府市), 2016. 2.
- 15) 森田利枝子, 始関千加子, 安松比呂志¹⁾, 益子一樹¹⁾, 松本 尚¹⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 救急救命センター: 救急外来に勤務する看護師の外傷外科手術に関する意識と現状: 外傷外科看護の基本理念をベースにした学習準備状態の事前調査. 日本救急医学会関東地方会学術集会 (第 66 回) (東京都 千代田区), 2016. 2.
- 16) 淵端志保, 塚本 優, 福田悦子, 山下直子, 菊地真由美, 藤岡久恵: 心不全患者のセルフマネジメントに対する取り組み: 「心不全手帳」を用いた効果について. 千葉県看護研究学会 (第 34 回) (千葉県 美浜区), 2016. 2.
- 17) 古山めぐみ: 看護師の体験からとらえる「がんの痛みとスピリチュアルペイン」. 日本がん看護学会 (第 30 回) (千葉県 美浜区), 2016. 2.
- 18) 小泉はるか, 平野知子, 古山めぐみ, 下川陽子¹⁾, 伏屋洋志²⁾, 池森紀夫³⁾, 栗山 翔⁴⁾, 井上大輔⁵⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 薬剤部, 2) 日本医科大学千葉北総病院 リハビリテーション科, 3) 日本医科大学千葉北総病院 メンタルヘルス科, 4) 日本医科大学千葉北総病院 外科, 5) 日本医科大学千葉北総病院 緩和ケア科: 自記式 STAS-J 症状版を用いたがん患者に対する苦痛のスクリーニングとその対応. 日本がん看護学会 (第 30 回) (千葉県 美浜区), 2016. 2.

〔4〕 付 置 研 究 施 設

1. 先端医学研究所

[分子細胞構造学分野]

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Shimizu H^{1,3)}, Yamagishi S²⁾, Chiba H³⁾, Ghazizadeh M¹⁾ (1) Department of Molecular Pathology, Institute of Gerontology, Nippon Medical School, Japan, 2) Department of Surgery, Division of Thoracic Surgery, Aizu Chuo Hospital, Fukushima, Japan, 3) Department of Basic Pathology, Fukushima Medical University, Fukushima, Japan) : Methionine Aminopeptidase 2 as a Potential Therapeutic Target for Human Non-Small-Cell Lung Cancers. *Adv Clin Exp Med* 2016 ; 25 (1) : 117-128.

学会発表

(1) セミナー：

- 1) 藤原正和¹⁾ (1) 日本医科大学 先端医学研究所 病態解析学部門) : アフリカツメガエルによる血管形成イメージング解析. 日本比較病理学研究会 (第4回) (東京), 2016. 2.

(2) 一般講演：

- 1) 藤原正和¹⁾ (1) 日本医科大学 先端医学研究所 病態解析学部門) : アフリカツメガエルによる血管の形態に関わる因子の機能解析. 日本血管生物医学会 (第23回) (神戸), 2015. 12.

[細胞生物学分野]

研究概要

大学院医学研究科加齢科学系専攻細胞生物学分野(先端医学研究所細胞生物学部門)では、細胞内小器官のミトコンドリアがエネルギー産生だけでなく多くの病気や老化現象に関わっていることを明らかにし、その機能を重視しながら様々な疾患への関与を探っている。「科学は実用されて光り輝く」を基本とし、研究が社会に寄与するための基盤となる基礎研究を進めている。ミトコンドリアから発せられる活性酸素が、ほとんどの生活習慣病や老化の原因となることは今や広く知られている。水素分子が効果的な抗酸化作用を示すことを明らかにし、2007年にNature Medicineに論文を発表した後は、他の研究室からの報告が相次ぎ、その引用論文は500報以上の報告に至っている。本年度は、分子状水素の多彩な機能のメカニズムを追求し、解明できた内容を論文として発表できた。臨床試験では、水素ガス医療を本格的に臨床応用することに向けての試みが始まりつつあり、医療現場で使用できる可能性が現実的になってきた。ミトコンドリア病に対しては、タウリン治療が希少疾患の治験段階に入った。今年度も国内外での水素の臨床応用に関心が高まり、取材を受けた雑誌記事も多く、水素研究発表の講演が多かった。教授は学会活動においては、分子状水素医学生物学会を立ち上げ、その理事長を務めることになった。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) Kanamaru T, Kamimura N, Yokota T, Nishimaki K, Iuchi K, Lee H, Takami S¹⁾, Akashiba H¹⁾, Shitaka Y¹⁾, Ueda M²⁾, Katsura K²⁾, Kimura K²⁾, Ohta S (1) Pharmacol. Res. Laboratories, Astellas Pharma Inc., 2) Dept. Neurological Sci.) : Intravenous transplantation of bone marrow-derived mononuclear cells prevents memory impairment in transgenic mouse models of Alzheimer's disease. *Brain Res.* 2015 ; 1605 : 49-58.
- 2) Yokota T, Kamimura N, Igarashi T¹⁾, Takahashi H¹⁾, Ohta S, Oharazawa H²⁾ (1) Dept. Ophthalmol., 2) Dept. Ophthalmol, Musashikosugi Hosp.) : Protective effect of molecular hydrogen against oxidative stress caused by peroxynitrite derived from nitric oxide in rat retina. *Clin Experiment Ophthalmol.* 2015 ; 43 (6) : 568-577.
- 3) Hayashida K¹⁾, Sano M²⁾, Kamimura N, Yokota T, Suzuki M¹⁾, Ohta S, Fukuda K²⁾, Hori S¹⁾ (1) Department of Emergency and Critical Care Medicine, School of Medicine, Keio University, 2) Department of Cardiology, School of Medicine, Keio University) : Response to Letter Regarding Article, "Hydrogen Inhalation During Normoxic Resuscitation Improves Neurological Outcome in a Rat Model of Cardiac Arrest Independently of Targeted Temperature Management". *Circulation* 2015 ; 132 (11) : e148.

- 4) Iuchi K, Imoto A, Kamimura N, Nishimaki K, Ichimiya H, Yokota T, Ohta S : Molecular hydrogen regulates gene expression by modifying the free radical chain reaction-dependent generation of oxidized phospholipid mediators. *Sci Rep.* 2016 ; 6 : 1-12.
- 5) Nicolson LG¹⁾, Mattos G²⁾, Settineri R³⁾, Costa C²⁾, Ellithorpe R⁴⁾, Rosenblatt S⁵⁾, Valle LJ⁶⁾, Jimenez A⁷⁾, Ohta S (¹⁾ Dept. Mol. Pathol., The Inst. Mol. Med., Huntington Beach, USA, ²⁾ Lab. Ion Channels, Sch. Med., Universidad de la Rep. blica, Montevideo, Uruguay, ³⁾ Sierra Res. Irvine, USA, ⁴⁾ Tustin Longevity Center, Tustin, USA, ⁵⁾ Saint John's Health Center, Santa Monica, USA, ⁶⁾ Progressive Med. Center, Orange, USA, ⁷⁾ Hope Cancer Inst., Playas de Tijuana, Mexico) : Clinical Effects of Hydrogen Administration : From Animal and Human Diseases to Exercise Medicine. *Int J Clin Med.* 2016 ; 7 : 32-76.
- 6) Uwaya A, Lee H, Park J¹⁾, Lee H²⁾, Muto J³⁾, Nakajima S⁴⁾, Ohta S, Mikami T⁵⁾ (¹⁾ Dept. Laboratory Med., The Jikei Univ. Sch. Med., ²⁾ Dept. Cell Biol. Neurosci., Juntendo Med. Sch., ³⁾ Graduate Sch. Health and Sport Sci., Nippon Sport Sci. Univ., ⁴⁾ Kyoritsu Women's Junior College, ⁵⁾ Dept. Health and Sport Sci.) : Acute immobilization stress following contextual fear conditioning reduces fear memory : timing is essential. *Behav Brain Funct.* 2016 ; 12 (1) : 1-8.
- 7) Kamimura N, Ichimiya H, Iuchi K, Ohta S : Molecular hydrogen stimulates the gene expression of transcriptional coactivator PGC-1 *α* to enhance fatty acid metabolism. *npj Aging and Mechanisms of Disease* 2016 ; 2 : 16008.

著 書

- 1) Ohta S : [自著] Molecular hydrogen as a novel antioxidant : overview of the advantages of hydrogen for medical applications. *Methods Enzymol.* 2015 ; pp289-317, *Methods Enzymol.*
- 2) 早坂理恵 : [監修] 水素美容のひみつ. 水素美容のひみつ (太田成男), 2015 ; pp1-112, 産学社.

学会発表

(1) 招待講演 :

- 1) 太田成男 : Molecular Hydrogen as a Novel Antioxidant : Overviews of the Advantages of Hydrogen for Medical Applications. *European Pharma Congress 2015 (Valencia Italy)*, 2015. 8.

(2) 一般講演 :

- 1) 上村尚美, 西槇貴代美, 一宮治美, 太田成男 : Molecular hydrogen improves obesity and diabetes by regulating hepatic gene expression and stimulating energy metabolism in db/db mice. *Aging, Biology of Gordon Research Conferences (Newry, ME USA)*, 2015. 7.
- 2) 西槇貴代美, 横田 隆, 上村尚美, 大澤郁朗¹⁾, 太田成男 (¹⁾ 東京都健康長寿医療センター研究所 生体環境応答研究) : Drinking effect of hydrogen water against prevention and progression of Alzheimer's disease. *Aging, Biology of Gordon Research Conferences (Newry, ME USA)*, 2015. 7.
- 3) 太田成男 : 水素医学研究の最新情報. アンチエイジング歯科学会 (第 10 回) (東京国際フォーラム), 2015. 5.
- 4) Wolf MA, 中島裕也, 太田成男 : ブルーライト照射による皮膚内での酸化ストレス誘導. 日本化粧品学会 (第 40 回) (東京 (有楽町朝日ホール)), 2015. 6.
- 5) 井内勝哉, 井本明美¹⁾, 西槇貴代美, 一宮治美, Lee H, 横田 隆, 上村尚美, 太田成男 (¹⁾ 北里大学医療衛生臨床化学) : TBHP を用いた酸化ストレス誘導性の細胞死に対する分子状水素の保護作用. 日本 Cell Death 学会学術集会 (第 24 回) (大阪大学会館), 2015. 7.
- 6) 上村尚美, Wolf MA, 一宮治美, 井内勝哉, 西槇貴代美, 横田 隆, 太田成男 : 糖尿病モデルマウスにおけるミトコンドリアの *in vivo* 酸化還元状態の測定と分子状水素の効果. 日本ミトコンドリア学会年会 (第 15 回) (福井県 福井県国際交流会館), 2015. 11.
- 7) 上村尚美, Wolf MA, 一宮治美, 井内勝哉, 西槇貴代美, 横田 隆, 太田成男 : 糖尿病モデルマウスの *in vivo* 酸化還元状態の測定と分子状水素の効果. 日本日本分子生物学会年会 (第 38 回) 日本生化学会大会 (第 88 回) 合同大会 (兵庫県 神戸ポートアイランド), 2015. 12.
- 8) 井内勝哉, 井本明美¹⁾, 西槇貴代美, 一宮治美, Lee H, 横田 隆, 上村尚美, 太田成男 (¹⁾ 北里大学医療衛生臨床化学) : 分子状水素はフリーラジカル連鎖反応で生じる脂質メディエーターを調節して遺伝子発現を制御する. 日本日本分子生物学会年会 (第 38 回) 日本生化学会大会 (第 88 回) 合同大会 (兵庫県 神戸ポートアイランド), 2015. 12.
- 9) 横田 隆, 上村尚美, 五十嵐勉¹⁾, 高橋 浩¹⁾, 小原澤英彰¹⁾, 太田成男 (¹⁾ 日本医科大学付属病院眼科学) : ペルオキシナイトライト産生酸化ストレス傷害に対する水素分子 (H₂) のラット網膜保護効果. 日本日本分子生物学会年会 (第 38 回) 日本生化学会大会 (第 88 回) 合同大会 (兵庫県 神戸ポートアイランド), 2015. 12.

[生体機能制御学分野]

研究概要

栄養状態およびホルモン環境の変化に対応する生体機能制御機序を解明することにより、生活習慣病の治療法の開発をめざす。

(1) インスリン受容体基質 (IRS-2) の病態生理的意義の研究 (豊島由香, 田口雄亮, 時田玲子): ゲノム編集技術 CRISPR/Cas9 法を用いて IRS-2 ノックアウトラットの作製に成功した。

(2) 肝脂質代謝制御機構の研究 (豊島由香, 時田玲子, 田口雄亮): 低タンパク質栄養によって起こる肝臓脂質蓄積には、翻訳抑制因子 4E-BP1 の量的増加が必要であること、中性脂肪合成の亢進はインスリンシグナルの増強に依存せずに生じることを明らかにした。

(3) 脂肪肝における脂肪酸合成酵素の意義 (八木孝, 矢野宏行, 南史朗): 脂肪酸合成酵素の肝特異的欠損マウスによる検討から、摂食絶食サイクルにおける血糖変動を緩衝して血糖の恒常性維持に寄与していることを明らかとした。NASH 病態においては炎症、線維化を促進する一方、腫瘍形成には抑制的であることが示唆された。

(4) 養育行動の神経回路の研究 (折笠千登世, 勝又晴美): 性的未経験雄の養育行動の表出が単飼か群飼かで大きく異なることを明らかにし、その機序に脳内メラニン凝集ホルモンの関与が示唆された。

(5) 成長ホルモンの新たな生理作用 (中田朋子, 南史朗): GH がステロイドホルモンの代謝や胆汁酸の合成に関与する Aldo-keto reductase family 1 member D1 (AKR1D1) 遺伝子の mRNA とタンパクの量を調節することを明らかにした。

研究業績

論文

(1) 原著:

1) Orikasa C, Nagaoka K, Katsumata H, Sato M, Kondo Y, Minami S, Sakuma Y: Social isolation prompts maternal behavior in sexually naïve male ddN mice. *Physiol Behav* 2015; 151: 9-15.

(2) 総説:

1) 松本道宏¹⁾, 酒井真志人¹⁾, 八木 孝^{1, 2)} (1) 国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部, 2) 日本医科大学大学院 生体機能制御学): 肝での糖新生制御機構と薬物治療標的. *Annual Review 2016 糖尿病・代謝・内分泌* 2016: 21-29.

学会発表

(1) シンポジウム:

1) 松本道宏¹⁾, 酒井真志人¹⁾, 八木 孝^{1, 2)} (1) 国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター分子代謝制御研究部, 2) 日本医科大学大学院生体機能制御学): 肝臓における糖代謝調節の分子機構. 肝臓と糖尿病・代謝研究会 (第2回) (下関), 2015. 5.

(2) 一般講演:

1) Taguchi Y¹⁾, Toyoshima Y¹⁾, Tokita R¹⁾, Kato H²⁾, Takahashi S³⁾, Minami S¹⁾ (1) Department of Bioregulation, Institute for Advanced Medical Sciences, Nippon Medical, 2) Corporate Sponsored Research Program "Food for Life", Organization for Interdisciplinary Research Projects, The University of Tokyo, 3) Department of Animal Sciences, Graduate School of Agriculture and Life Sciences, The University of Tokyo): Insulin-induced acetyl-CoA carboxylase alpha is responsible for triglyceride accumulation in primary hepatocytes of low protein diet-fed rats. 12th Asian Congress of Nutrition (Pacifco Yokohama, Japan), 2015. 5.

2) Toyoshima Y¹⁾, Tokita R¹⁾, Taguchi Y¹⁾, Yoshizawa F²⁾, Takahashi S³⁾, Kato H⁴⁾, Minami S¹⁾ (1) Department of Bioregulation, Institute for Advanced Medical Sciences, Nippon Medical, 2) Department of Agrobiological and Bioresources, Faculty of Agriculture, Utsunomiya University, 3) Department of Animal Sciences, Graduate School of Agriculture and Life Sciences, The University of Tokyo, 4) Corporate Sponsored Research Program "Food for Life", Organization for Interdisciplinary Research Projects, The University of Tokyo): Protein malnutrition increases the amount and phosphorylation of 4E-binding protein 1 (4E-BP1) to accumulate lipid in rat liver. 12th Asian Congress of Nutrition (Pacifco Yokohama, Japan), 2015. 5.

3) 福島 誠¹⁾, 岡本芳久¹⁾, 勝又晴美¹⁾, 石川真由美²⁾, 南 史朗¹⁾ (1) 日本医科大学大学院 生体機能制御学, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院 内分泌・糖尿病・動脈硬化内科): アディポネクチンを介した成長ホルモンの食餌性肥満マウス内臓脂肪への作用. 日本内分泌学会学術総会 (第88回) (東京都千代田区), 2015. 4.

4) 八木 孝^{1, 2)}, 酒井真志人¹⁾, 内田 亨³⁾, 辻村 (早川) 知子¹⁾, 山地大介¹⁾, 矢野宏行^{1, 2)}, 満島 勝¹⁾, 長嶋洋治⁴⁾, 南 史朗²⁾, 春日雅人⁵⁾, 松本道宏¹⁾ (1) 国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部, 2) 日本医科大学大学院 生体機能制御学, 3) 兵庫大学健康科学部, 4) 東京女子医科大学病理診断科, 5) 国立国際医療研究センター): 肝臓特異的な脂肪酸合成酵素の欠損は ob/ob マウスの脂肪肝と耐糖能を改善するが随時高血糖を惹起する. 日本臨床分子医学会学術集会 (第52回) (京都), 2015. 4.

5) 八木 孝^{1, 2)}, 酒井真志人¹⁾, 辻村 (早川) 知子¹⁾, 山地大介¹⁾, 矢野宏行^{1, 2)}, 満島 勝¹⁾, 内田 亨⁴⁾, 長嶋洋治⁵⁾, 南 史朗²⁾, 春

- 日雅人³⁾, 松本道宏¹⁾ (1) 国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部, ²⁾ 日本医科大学大学院 生体機能制御学, ³⁾ 国立国際医療研究センター, ⁴⁾ 兵庫大学健康科学部, ⁵⁾ 東京女子医科大学病理診断科): 肝臓特異的な脂肪酸合成酵素の欠損は ob/ob マウスの脂肪肝と耐糖能を改善するが随時高血糖を惹起する. 日本内分泌学会学術総会 (第 88 回) (東京), 2015. 4.
- 6) 石川真由美¹⁾, 豊村順子²⁾, 田口雄亮³⁾, 中田朋子³⁾, 豊島由香³⁾, 南 史朗³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院内分泌・糖尿病・動脈硬化内科, ²⁾ 日本歯科大学生命歯学部 NDU 生命科学講座, ³⁾ 日本医科大学先端医学研究所生体機能制御学分野): 成長ホルモンによる膵β細胞の小胞体ストレスの抑制. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関), 2015. 5.
- 7) 八木 孝^{1, 2)}, 酒井真志人¹⁾, 辻村 (早川) 知子¹⁾, 山地大介¹⁾, 矢野宏行^{1, 2)}, 満島 勝¹⁾, 内田 亨³⁾, 長嶋洋治⁴⁾, 南 史朗²⁾, 春日雅人⁵⁾, 松本道宏¹⁾ (1) 国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部, ²⁾ 日本医科大学大学院 生体機能制御学, ³⁾ 兵庫大学健康科学部, ⁴⁾ 東京女子医科大学病理診断科, ⁵⁾ 国立国際医療研究センター): 肝臓特異的な脂肪酸合成酵素の欠損は ob/ob マウスの脂肪肝と耐糖能を改善するが随時高血糖を惹起する. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関), 2015. 5.
- 8) 松本道宏¹⁾, 早川 (辻村) 知子¹⁾, 酒井真志人¹⁾, 山地大介¹⁾, 八木 孝^{1, 2)}, 矢野宏行^{1, 2)}, 満島 勝¹⁾, 南 史朗²⁾, 春日雅人³⁾ (1) 国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター分子代謝制御研究部, ²⁾ 日本医科大学大学院生体機能制御学, ³⁾ 国立国際医療研究センター): 転写調節分子 CITED2 は癌抑制遺伝子産物 Rb の不活化を介して前駆脂肪細胞の増殖を誘導し脂肪細胞分化を促進する. 日本糖尿病学会年次学術集会 (第 58 回) (下関), 2015. 5.
- 9) 石川真由美¹⁾, 豊村順子²⁾, 田口雄亮³⁾, 立花利公⁴⁾, 中田朋子³⁾, 豊島由香³⁾, 南 史朗³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院内分泌・糖尿病・動脈硬化内科, ²⁾ 日本医科大学生命歯学部 NDU 生命科学講座, ³⁾ 日本医科大学先端医学研究所生体機能制御学分野, ⁴⁾ 東京慈恵会医科大学・基盤研究施設 (分子細胞生物学)): 膵島の加齢変化における成長ホルモンの役割. 日本ヒト細胞学会 (第 33 回) (宮崎), 2015. 8.
- 10) Orikasa C, Nagaoka K, Katsumata H, Sato M, Kondo Y, Sakuma Y, Minami S: Social isolation prompts maternal behavior in sexually naïve male ddN mice. 日本神経内分泌 (第 42 回)・日本行動神経内分泌合同学術集会 (第 23 回) (仙台), 2015. 9.
- 11) 福永ヒトミ¹⁾, 望月瑠美¹⁾, 金子佳世¹⁾, 大槻晶子²⁾, 八木 孝²⁾, 石川真由美²⁾, 南 史朗²⁾, 立山尚子³⁾, 米山剛一³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院看護部, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院内分泌糖尿病動脈硬化内科, ³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科): 妊娠糖尿病の反復例における患者の意識についての検討. 日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会 (第 31 回) (東京), 2015. 11.
- 12) 中田朋子, 平野良隆, 勝又晴美, 時田玲子, 南 史朗: 成長ホルモンはラット肝臓において AKR1D1 の発現を抑制する. 日本分子生物学会年会 (第 38 回) 日本生化学会大会 (第 88 回) 合同大会 (神戸), 2015. 12.
- 13) 八木 孝^{1, 2)}, 酒井真志人¹⁾, 辻村 (早川) 知子¹⁾, 矢野宏行^{1, 2)}, 満島 勝¹⁾, 長嶋洋治³⁾, 南 史朗²⁾, 春日雅人⁴⁾, 松本道宏¹⁾ (1) 国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部, ²⁾ 日本医科大学大学院 生体機能制御学, ³⁾ 東京女子医科大学病理診断科, ⁴⁾ 国立国際医療研究センター): 脂肪肝合併 2 型糖尿病の病態における肝臓の脂肪酸合成酵素の役割の解明. 分子糖尿病学シンポジウム (第 27 回) (東京), 2015. 12.
- 14) 八木 孝^{1, 2)}, 酒井真志人¹⁾, 辻村 (早川) 知子¹⁾, 矢野宏行^{1, 2)}, 満島 勝¹⁾, 飯田 智¹⁾, 長沼孝雄¹⁾, 高峰 英¹⁾, 長嶋洋二³⁾, 南史朗²⁾, 春日雅人⁴⁾, 松本道宏¹⁾ (1) 国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部, ²⁾ 日本医科大学大学院 生体機能制御学, ³⁾ 東京女子医科大学 病理診断科, ⁴⁾ 国立国際医療研究センター): 肝臓特異的な脂肪酸合成酵素の欠損は食餌誘導性非アルコール性脂肪肝炎の進展を抑制する. 日本病態栄養学会年次学術集会 (第 19 回) (横浜), 2016. 1.

2. 健診医療センター

研究概要

健診医療センターでは、精神神経科・薬理学教室とともに認知症の画像診断であるアミロイドイメージングやタウイメージングの治験を進めている。特にタウイメージングについては、国内でも検査可能な施設が限られているため、その他の精神疾患への画像診断についてもPET検査の利用を進めている。また、並行してfunctional MRIの検討も進めており、特殊な刺激装置を利用した研究の準備を進めている。現在は装置からの影響によるノイズを制限するための方法について模索している段階である。¹³N-アンモニアを利用した心筋血流PET検査、心筋症や心サルコイドーシス病変への¹⁸F-FDG-PET検査利用についても検討が進められ、臨床へ寄与している。技術的な検討においては、¹⁸F-FDG-PET検査における微小病変への集積について、定量的な測定が可能かどうかの検討が開始され、様々な検討がなされている。当施設では特にTOF効果を利用したPET装置が導入されているため、微小病変の検出には優れており、臨床への応用が期待されている。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) 富山 毅¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾, 石原圭一²⁾, 須田匡也²⁾, 櫻井 実²⁾, 箱崎謙太²⁾, 橋本英伸¹⁾, 高橋直人³⁾, 高野 仁²⁾, 小林靖宏¹⁾, 桐山智成¹⁾, 福島善光¹⁾, 清水 渉³⁾ (1) 日本医科大学放射線医学, (2) 日本医科大学健診医療センター, (3) 日本医科大学循環器内科) : Patients with reduced heart rate response to adenosine infusion have low myocardial flow reserve in ¹³N-ammonia PET studies. THE INTERNATIONAL JOURNAL OF CARDIOVASCULAR IMAGING 2015 ; 31 (5) : 1089-1095.
- 2) 富山 毅¹⁾, 石原圭一²⁾, 須田匡也²⁾, 金谷浩司²⁾, 櫻井 実²⁾, 高橋直人³⁾, 高野 仁³⁾, 箱崎謙太²⁾, 汲田伸一郎¹⁾ (1) 日本医科大学放射線医学, (2) 日本医科大学健診医療センター, (3) 日本医科大学循環器内科) : Impact of time-of-flight on qualitative and quantitative analyses of myocardial perfusion PET studies using (13) N-ammonia. 2015 ; 22 (5) : 998-1007.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 櫻井 実¹⁾, 長谷康二¹⁾, 須田匡也¹⁾, 金谷浩司¹⁾, 本郷めぐみ¹⁾, 石原圭一¹⁾, 汲田伸一郎²⁾ (1) 日本医科大学健診医療センター, (2) 日本医科大学 放射線医学教室) : 共同研究や治験に参加する際に必要な撮像部門での注意点. PET セミナー 2015 in 東京ベイ (千葉県), 2015. 8.

(2) パネルディスカッション：

- 1) 櫻井 実¹⁾, 石原圭一^{1,2)}, 須田匡也¹⁾, 汲田伸一郎²⁾, 小林靖宏²⁾, 富山 毅²⁾ (1) 日本医科大学健診医療センター, (2) 日本医科大学放射線医学教室) : 心臓 PET の精度管理技術：心サルコイドーシス評価における¹⁸F-FDG PET/CT 検査とピットフォール. 日本心臓病学会 (第 63 回) (横浜), 2015. 9.

3. 成田国際空港クリニック

研究概要

空港クリニックでは、引き続き国際空港の救急医療を担う診療機関としての診療実績をまとめ分析することを中心に研究を進めていきたい。インフルエンザ患者の年度毎の状況の比較や検疫所からの検査依頼を受けた患者の分析もまとめたいと考えている。また、救急患者や増加傾向にある外国人患者の特徴をまとめ明らかにするとともに、発病や傷病の予防につながるようにデータを検討してゆきたい。また、継続的に症例のデータ化を適切に進め、将来様々な角度から検討ができるようにしてゆくとともに、肺血栓塞栓のような空港内診療所に特徴的な疾患についても継続的に調査検討してゆく。災害時の対処をさらに確実にするための訓練やマニュアルの見直しについても研究して行く予定で、具体的な見直し作業への調整を進め2020年の東京オリンピックまでには終了したいと考えている。さらに、様々な新興再興の熱帯感染症の症例について必要に応じて調査し、診断の確実性を高め、必要な検査についても検討して行きたいと考える。

研究業績

論文

(1) 総説：

- 1) 赤沼雅彦：日本医科大学成田国際空港クリニックの診療の現状. 交通医学 2015；69（3・4）：13（73）-16（76）.
- 1) 孫 光鎬¹⁾, 赤沼雅彦, 松井岳巳¹⁾ (¹⁾ 首都大学東京)：Clinical Evaluation of the Newly Developed Infectious Disease/Fever Screening Radar System Using the Neural Network and Fuzzy Grouping Method for Travellers with Suspected Infectious Diseases at Narita International Airport Clinic. Journal of Infection 2016；72（1）：121-123.

著書

- 1) 赤沼雅彦：〔分担〕環境・職業性因子による疾患 時差ぼけ（時差症候群）. 今日の治療指針2016年版（山口徹 北原光夫 ・ 福井次矢 高木誠 小室一成）, 2016；pp1082-1082, 南江堂.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 赤沼雅彦：海外勤務と健康管理日本医科大学成田国際空港クリニックの診療の現状. 日本交通医学会総会（第69回）（宮城県（仙台市））, 2015. 5.

(2) 一般講演：

- 1) 赤沼雅彦：成田国際空港クリニックにおける救急症例の検討. 日本宇宙航空環境医学会大会（第61回）（東京）, 2015. 11.

[5] そ の 他

1. 医学教育センター

研究概要

当センターで行う研究については実務との関わりの中で行い、研究開発が現在の本学における教育改善に直結するよう心がけている。医学教育の国内外の動向については常に情報収集に努め、アウトカム基盤型教育の推進、Active learningの推進、学習評価の信頼性、妥当性の検証、教育業績評価の実施、SP参加型教育の推進、卒業後、生涯教育との連携を視野に置いた研究、開発活動が続けていく。一方で教学IRに関連した研究、ICT活用やシミュレーション教育に関連した研究も行っている。

研究業績

論文

(1) 総説：

- 1) 藤倉輝道：医学教育における倫理と価値：プロフェッショナルリズム教育としての共通基盤と価値。法曹養成と臨床教育 2015；8：42-48.

(2) その他：

- 1) 早坂明哲：医用統計ソフトのいろいろとその正しい使い方。ペパーズ 2015；108：97-101.

著書

- 1) 海原純子：〔自著〕第1章：男らしさという病第2章：変化する時代と評価に苦しむ男たち第3章：上司と部下のむづかしい関係第4章：自分はこのまま終わってしまうのではないか、という苦悩第5章：結婚は幸せか？人生の墓場か第6章：何が彼を救ったか？第7章：結局ストレスはどうしたら消えるのか？。男はなぜこんなに苦しいのか、2016；pp1-267, 朝日新聞出版.

学会発表

(1) 招待講演：

- 1) 阿曾亮子：日本医科大学における模擬患者（SP）参加型医療面接実習の卒業医師による評価。医療コミュニケーション研究会（第29回）（名古屋），2015. 12.

(2) シンポジウム：

- 1) 藤倉輝道：医学教育における倫理と価値（法曹の中核的価値と法科大学院教育の役割）。臨床法学教育学会（第8回）（名古屋），2015. 4.
- 2) 海原純子：うつ病の理解と地域とのかかわり。日本うつ病学会総会（第12回）日本認知療法学会総会（第15回）（京王プラザホテル），2015. 7.
- 3) 藤倉輝道：コンピテンス作成の試行：日本医科大学における取組から（医学部のコンピテンシーとは）。日本医学教育学会（第47回）（新潟），2015. 7.
- 4) 海原純子：依存－特にたばこ依存について。日本肺がん学会（第56回）メディカルスタッフシンポジウム（パシフィコ横浜），2015. 11.

(3) ワークショップ：

- 1) 海原純子：がんと向き合える社会のために。日本肺がん学会（第56回）（横浜パシフィコ），2015. 11.

(4) 一般講演：

- 1) Aso R：Evaluation of medical interview training with simulated patients (SPs) by graduates of Nippon Medical School. International Conference on Communication in Healthcare (13th) (New Orleans), 2015. 10.
- 2) 阿曾亮子, 井上千鹿子, 早坂明哲, 竹下俊行, 藤倉輝道：日本医科大学クリニカル・シミュレーション・ラボ (C. S. Lab.) における変遷と利用者の推移。日本シミュレーション医療教育学会（第3回）（栃木県下野市），2015. 6.
- 3) 阿曾亮子, 大西弘高¹⁾, 藤倉輝道, 吾妻安良太²⁾ ¹⁾ 東京大学医学系研究科医学教育国際研究センター, ²⁾ 呼吸器内科)：参加型臨床実習 (clinical clerkship : CC) 中の医学生は臨床前のSPとの医療面接実習をどう振り返るか。日本医学教育学会大会（第47回）（新潟市），2015. 7.
- 4) 井上千鹿子, 阿曾亮子, 高柳和江, 早坂明哲, 竹下俊行, 藤倉輝道：模擬患者 (SP) の定着率の改善の試み：SP養成プログラムの10年間の取組と推移。日本医学教育学会（第47回）（新潟県新潟市），2015. 7.
- 5) 阿部恵子¹⁾, 安井浩樹¹⁾, 末松三奈¹⁾, 川上ちひろ²⁾, 井上千鹿子, 前田純子³⁾, 植村和正⁴⁾, 伴信太郎⁵⁾ ¹⁾ 名古屋大学地域医療教育学, ²⁾ 岐阜大学医学教育開発研究センター, ³⁾ 岡山SP研究会, ⁴⁾ 名古屋大学医学部総合医学教育センター, ⁵⁾ 名古屋大学大学院医

- 学系研究科総合診療医学)：模擬患者 (SP) パフォーマンス評価票開発のためのエキスパートパネル. 日本医学教育学会 (第 47 回) (新潟県新潟市), 2015. 7.
- 6) 早坂明哲, 井上千鹿子, 伊藤保彦¹⁾, 竹下俊行, 藤倉輝道 (1) 日本医科大学大学院医学研究科 小児・思春期医学)：タブレット端末を利用した OSCE 実施支援システムの導入. 日本医学教育学会大会 (第 47 回) (新潟市), 2015. 7.
 - 7) 岡田唯男¹⁾, 藤倉輝道, 竹下俊行, 早坂明哲, 井上千鹿子 (1) 鉄蕉会 亀田ファミリークリニック館山)：大学における, 医学教育, 指導法にこだわらない faculty development の取り組み (第 1 報). 日本医学教育学会 (第 47 回) (新潟市), 2015. 7.
 - 8) 竹下俊行, 藤倉輝道, 早坂明哲, 井上千鹿子：日本医科大学における FD ワークショップ 20 年間の歩みと今後の展望. 日本医学教育学会 (第 47 回) (新潟市), 2015. 7.
 - 9) 藤倉輝道, 井上千鹿子, 早坂明哲, 三宅弘一¹⁾, 檜村正美²⁾, 竹下俊行 (1) 日本医科大学 生化学・分子遺伝学, 2) 日本医科大学 臨床心理学)：仲間と, そして市民としての SP 参加で学ぶ：新入生オリエンテーション TBL. 日本医学教育学会 (第 47 回) (新潟), 2015. 7.
 - 10) 早坂明哲, 井上千鹿子, 伊藤保彦¹⁾, 竹下俊行, 藤倉輝道 (1) 日本医科大学大学院医学研究科 小児・思春期医学)：タブレット端末を利用した医学系 OSCE 実施支援システムの評価. 大学 ICT 推進協議会 2015 年度 年次大会 (名古屋市), 2015. 12.

付 表

1. 各種研究費補助金・研究助成金交付状況

1) 平成 27 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金・一部基金）交付決定一覧

※は前年度から継続

研究種目	研究代表者	所属・職	直接経費： 千円	研究課題名
新学術領域研究 (研究領域提案型)	小林 克典	薬理学分野・准教授	2,700	精神疾患のプレシナプスエンドフェノタイプの形成・維持機構の解析
基盤研究 (B)	大久保善朗	精神・行動医学分野・大学院教授	4,000	アミロイド関連うつ病の分子イメージング
若手研究 (A)	田上 隆	救急医学分野・助教	4,200	重症救急疾患 big data：データベース構築と臨床研究への活用
研究活動 スタート支援	山田真吏奈	救急医学分野・講師	1,200	※重症敗血症後の長期認知機能障害機構の解明
特別研究員 奨励費	岩崎 俊雄	代謝・栄養学分野・講師	1,000	※細胞増殖に関わる細菌型 mitoNEET の生体内レドックス制御システムの網羅的解析
基盤研究 (B) (一部基金)	瀧澤 俊広	分子解剖学分野・大学院教授	2,700	※妊娠高血圧症候群の分子病態におけるマイクロ RNA の役割解明と新規予知因子の開発
〃	太田 成男	細胞生物学分野・大学院教授	3,900	※健康増進と疾病予防に寄与する分子状水素の多様な機能を発揮するメカニズムの解明
〃	岡田 尚巳	分子遺伝医学分野・大学院教授	2,400	※アデノ随伴ウイルスベクターを応用した脳神経疾患に対する遺伝子細胞療法
〃	横堀 将司	救急医学分野・講師	2,300	※虚血再灌流病態を伴う外傷性脳内血腫に対する術前急速導入脳低温療法の有効性の検討

2) 平成 27 年度科学研究費助成事業 (科学研究費補助金・一部基金) 研究分担の交付決定一覧

※は前年度から継続

研究分担者・所属	研究種目	研究代表者・所属	研究課題名
1 森田 明夫 脳神経外科学分野	基盤研究 (S)	光石 衛 東京大学	※超微細手術のための汎用プラットフォーム開発とそれを交える超精密テクノロジーの追求
2 佐藤 直樹 循環器内科学分野	基盤研究 (A)	鈴木 和幸 電気通信大学	リスクモードとオンラインモニタリング技術高度化に着目した未然防止体系の新展開
3 野村 俊明 武蔵境校舎 医療心理学	基盤研究 (B)	青木紀久代 お茶の水女子大学	※学校における心の健康と発達支援～学校力と地域・分化資源の活用
4 三品 雅洋 神経内科学分野	〃	石渡 喜一 東京都健康長寿医療センター	※代謝型グルタミン酸受容体1型の分子イメージング：ファーストインヒューマン研究
5 武井 寛幸 乳腺外科学分野	〃	関野 正樹 東京大学	※センチネルリンパ節を特定する磁気プローブの開発
6 本村 友一 救急医学分野	〃	西本 哲也 日本大学	※ヒト胸腹部の損傷メカニズムの解明による災害発生時の安全ガイドラインの作成
7 石渡 俊行 統御機構診断病理学分野	〃	道下 正貴 日本獣医生命科学大学	※犬の難治性がんにおけるがん幹細胞の特性解析とがん幹細胞標的治療法の基盤構築
8 藤倉 輝道 医学教育センター	〃	宮川 成雄 早稲田大学	法専門職教育の再定義と臨床法学教育の研究
9 岡本 研 代謝・栄養学分野	〃	西野 武士 東京大学	蛋白凝集神経変性疾患に対するキサンチン酸化酵素阻害剤の病変進行遅延効果の機構解明
10 瀧澤 俊広 分子解剖学分野	〃	齋藤 滋 富山大学	母体、胎児免疫相関から見た妊娠維持機構ならびにその破綻
			補助金直接経費合計額 7,540,000 円

3) 平成 27 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）交付決定一覧

※は前年度から継続

研究種目	研究代表者	所属・職	直接経費： 千円	研究課題名
基盤研究 (C)	鶴岡 秀一	腎臓内科学分野・大学院教授	800	※アニオン型尿毒症性物質群を除去するハイブリッド型人工腎臓の開発
〃	川田 智之	衛生学公衆衛生学分野・大学院教授	300	※職場勤務者のメタボリック症候群関連指標とメンタルヘルスに関する総合的研究
〃	高木 元	循環器内科学分野・講師	800	※薬剤送達システム徐放化多血小板血漿による血管再生治療
〃	横田 裕行	救急医学分野・大学院教授	400	※臓器提供に関する本人、家族意思を反映し得る脳死判定補助検査に関する研究
〃	川野 陽一	消化器外科学分野・助教	0	※小児生体肝移植後グラフト肝加齢変化のテロメア長とテロメラーゼ活性による解明
〃	井村 肇	心臓血管外科学分野・准教授	100	※人工心肺中低頻度人工呼吸の肺保護効果の研究：臨床応用と未熟肺への基礎的アプローチ
〃	原 義明	救急医学分野・助教	0	※血漿マイクロ RNA 発現による骨折治療遅延の新しい分子治療の解明
〃	原 行弘	リハビリテーション学分野・大学院教授	800	※脳機能画像をもとにした二元的脳機能賦活戦略
〃	大林 茂	リハビリテーション学分野・助教	900	※脳卒中後高次脳機能障害の皮質・皮質下相互作用による脳活動ガイド下介入治療
〃	三上 俊夫	武蔵境校舎スポーツ科学教室・准教授	800	※グルココルチコイドは高強度運動による海馬での神経新生の増加を引き起こす要因か否か
〃	西楨貴代美	細胞生物学分野・マネジメントサポート・スタッフ	1,200	※水素分子による酸化ストレス防御機構と脳内レドックス動態の解析
〃	長谷部 孝	武蔵境校舎 生物学教室・准教授	100	※消化管上皮幹細胞の起源と幹細胞制御における Notch シグナル経路の役割
〃	石井 寛高	解剖学・神経生物学分野・講師	1,200	※多重プロモーターと選択的スプライシングによるエストロゲン受容体発現調節機構の解明
〃	濱田 知宏	感覚情報科学分野・助教	900	※心の性を司る視索前野性的二型核および分界条床核の性差形成機構
〃	柿沼 由彦	生体統御科学分野・大学院教授	300	※心筋細胞 Ach 産生系制御による代謝リモデリング介入効果についての基盤的研究
〃	鈴木 秀典	薬理学分野・大学院教授	1,100	※発達障害治療を指向した脳部位特異的マイクログリアにおける microRNA 機能解析
〃	平井 幸彦	分子遺伝医学分野・講師	900	※適正製造規範に適合する簡易精製が可能な次世代 AAV ベクターの開発
〃	岩堀 徹	解析人体病理学分野・研究員	1,300	※多重染色 FACS を用いた腎組織病理診断に替わる糸球体腎炎の診断・病態解析法の確立
〃	阿曾 亮子	医学教育センター・助教	1,200	※医療面接実習において学生が行動変容を来す模擬患者のフィードバック手法の特定
〃	茂木 孝	呼吸器内科学分野・助教	500	※患者状態適応型パスを用いた COPD の診療・連携パスの質評価に関する研究
〃	長谷場 健	法医学分野・准教授	1,400	※高 KmADH3 の慢性 Alc 摂取下での Alc 代謝と Alc 性障害発症における役割
〃	石渡 俊行	統御機構診断病理学分野・准教授	1,100	※microRNA による nestin 制御：脳腫瘍治療の臨床応用を目指した検討
〃	高野 仁司	循環器内科学分野・准教授	1,100	※PET による冠動脈ステント留置部位の炎症反応の非侵襲的評価
〃	弦間 昭彦	呼吸器内科学分野・大学院教授	900	※ドライバー 遺伝子変異依存肺癌に対する finishing blow 治療に関する研究
〃	峯岸 裕司	呼吸器内科学分野・講師	1,000	※特発性間質性肺炎合併肺癌の化学療法関連急性増悪予測バイオマーカーの探索的研究
〃	木田 厚瑞	呼吸器内科学分野・特任教授	1,200	※Marfan 型 COPD の遺伝子レベルから見た ECM の動態と革新的治療に向けた研究
〃	寺崎 泰弘	解析人体病理学分野・准教授	900	※ヒト病変および新規動物モデルを用いたリンパ球浸潤性の肺線維化病変の病態解明

〃	飯島 修	分子遺伝医学分野・助教	1,400	※低フォスファターゼ症マウスを用いた先天性代謝異常症の再生医療・細胞治療法の開発
〃	萩原 郁夫	感覚情報科学分野・准教授	1,400	※ナトリウムチャンネル遺伝子変異が引き起こすてんかん性脳症の発症機序解明
〃	高橋 秀実	微生物学・免疫学分野・大学院教授	1,200	※ランゲルハンス細胞活性化による新たな免疫療法の開発
〃	安齋 眞一	皮膚粘膜病態学分野・准教授	1,200	※ケラトアカントーマは良性腫瘍か：プロテオミクスを用いた不均質性の解明
〃	館野 周	精神・行動医学分野・准教授	900	※ドパミントランスポーター PET による妄想の病態解明と客観的評価法の開発研究
〃	眞野あすか	生体統御科学分野・講師	700	※神経性食欲不振症の病態進行機序における視床下部 CRF の役割の解明
〃	田島 廣之	臨床放射線医学分野・教授	1,100	※新規システムを用いた致死性静脈血栓塞栓症に対するハイブリッド IVR に関する研究
〃	平方 敦史	消化器外科学分野・助教	1,000	※ミニブタ脳死ドナー/臓器への一酸化炭素投与の移植臓器生着延長効果と臓器間の相違
〃	坂本俊一郎	心臓血管外科学分野・講師	500	※心房細動治療における心房間伝導調整の研究
〃	吉田 大蔵	脳神経外科学分野・准教授	500	※下垂体腺腫における Gremlin の発現と細胞内シグナルの解析に関する研究
〃	高井 信朗	整形外科科学分野・大学院教授	1,300	※関節鏡視下色彩色差計測による関節軟骨評価法の開発
〃	坂井 敦	薬理学分野・講師	1,200	※神経障害性疼痛特異的 microRNA クラスターの多角的解析
〃	竹下 俊行	女性生殖発達病態学分野・大学院教授	600	※原因不明不妊症における新規自己抗体とその標的抗原の同定
〃	松本 尚	救急医学分野・教授	900	※体幹部外傷時の大量出血に対する超分子ゲルを用いた一時的止血効果に関する基礎的実験
〃	布施 明	救急医学分野・准教授	700	※マイクロウェーブ照射による新しい脳損傷モデルの病態解析
〃	新井 正徳	救急医学分野・助教	1,200	※マウス腎虚血再灌流障害モデルにおける Egr-1 の役割
〃	金 史英	救急医学分野・助教	1,400	※急性腸間膜虚血の早期診断および救命率向上に向けた治療戦略の構築
〃	増野 智彦	救急医学分野・講師	1,200	※ショック後腸管リンパ液生理活性および臓器障害に対する組織損傷の影響
〃	上村 尚美	細胞生物学分野・准教授	1,200	※水素分子の糖尿病改善効果と遺伝子発現誘導における作用機序の解明
〃	西山 康裕	神経内科学分野・助教	900	※脳梗塞モデルにおけるミクログリアとマクロファージが神経機能に与える影響の解明
〃	高橋 謙治	整形外科科学分野・准教授	1,100	※MRI による非侵襲温度分布モニタリングを指標とした関節深部加温法の開発
〃	岡田 浩典	分子遺伝医学分野・特別研究生	1,100	※超音波血液脳関門開放と AAV ベクターを用いた成体マウスマウスでてんかんモデルの開発
〃	菊地 浩人	武蔵境校舎 物理学教室・准教授	700	※ヒトには効くがバクテリアには効かない痛風薬一酵素薬剤相互作用のダイナミクス
〃	小澤 一史	解剖学・神経生物学分野・大学院教授	1,200	※新規生殖制御系への環境情報入力と三次元的相互作用, 生活環に関する機能形態学的研究
〃	喜納 裕美	分子遺伝医学分野・特別研究生	1,400	※筋ジストロフィーの遺伝子治療を目指した免疫寛容誘導法の検討
〃	李 卿	衛生学公衆衛生学分野・准教授	1,000	※カーバメイト系農薬による抗癌免疫機能への影響及びその機序
〃	林田眞喜子	法医学分野・准教授	1,000	※法医中毒薬毒物の QTOF データに対する包括的マルチプロセス解析の検討
〃	宮永 晃彦	呼吸器内科学分野・助教	900	※肺神経内分泌腫瘍の遺伝子変異・融合遺伝子の同定と新規治療標的バイオマーカーの開発
〃	神尾孝一郎	呼吸器内科学分野・助教	1,500	※自家骨髄細胞の肺線維化病態への臨床応用に向けた培養系構築と脾臓の役割に関する研究
〃	吾妻安良太	呼吸器内科学分野・教授	1,500	※肺線維化病態における mTOR-SPARC 経路の解明と新規バイオマーカーの探索
〃	寺崎 美佳	解析人体病理学分野・助教	1,200	※炎症性肺疾患におけるサバイビンの分子病態の解明と新規遺伝子治療法の開発

〃	功刀しのぶ	解析人体病理学分野・講師	900	※間質性肺炎におけるマイクロRNA、エクソソームを介する病態の解析と臨床応用
〃	三品 雅洋	神経内科学分野・准教授	900	※レヴィ小体病における脳機能の代償とアミロイド分布の関連に関する研究
〃	田村 秀人	血液内科学分野・准教授	1,100	※骨髄腫微小環境におけるSLAMファミリー分子の機能解析と新規治療の開発
〃	猪口 孝一	血液内科学分野・大学院教授	1,100	※新規RCS1-ABL1遺伝子癌化能と分子標的薬開発
〃	岳野 光洋	アレルギー膠原病内科学分野・准教授	1,000	※ベーチェット病におけるM2マクロファージ機能不全とその修復による治療戦略
〃	桑名 正隆	アレルギー膠原病内科学分野・大学院教授	1,300	※末梢血単球を標的とした強皮症に対する新規治療法の開発
〃	永野 昌俊	薬理学分野・講師	1,000	※染色体重複モデル動物を用いた科学的根拠に基づく自閉症治療法開発の基礎的研究
〃	植田 高弘	小児・思春期医学分野・准教授	800	※脂肪由来間葉系幹細胞を用いた骨髄再生の研究・人工骨髄の作成をめざして
〃	三宅 弘一	分子遺伝医学分野・准教授	1,200	※ダイヤモンド・ブラックファン貧血の新規動物モデル作製と治療法の開発
〃	深澤 隆治	小児・思春期医学分野・准教授	1,400	※川崎病発症機序の解明
〃	天野 康雄	臨床放射線医学分野・准教授	500	※3次元タギングMRIを用いた心不全の予後予測
〃	松谷 毅	消化器外科学分野・講師	1,200	※外科的侵襲時における脂肪組織とM1/M2マクロファージのクロストーク機構の解明
〃	石井 永一	解析人体病理学分野・研究生	1,100	※ラット肝臓移植モデルを用いた移植肝臓の免疫寛容獲得の機序とバイオマーカーの同定
〃	山田 岳史	消化器外科学分野・講師	1,500	※cell free DNAを用いたEGFR阻害剤耐性獲得機序解明
〃	松下 晃	消化器外科学分野・助教	1,300	※膀胱癌におけるStat5の生物学的役割とそのシグナル伝達経路について
〃	近藤 幸尋	男性生殖器・泌尿器科学分野・大学院教授	1,300	※尿路上皮癌における生理活性酸化脂質の新規役割の究明
〃	松根 彰志	頭頸部・感覚器科学分野・教授	1,100	※難治性鼻副鼻腔炎病態における局所粘膜での抗体産生に関する研究.
〃	五十嵐 徹	小児・思春期医学分野・講師	1,100	※網膜動脈閉塞症に対する水素水点眼の臨床応用
〃	高橋 浩	眼科学分野・大学院教授	1,200	※網膜酸化ストレス傷害に対する水素水点眼の効果
〃	堀 純子	眼科学分野・准教授	1,400	※眼組織の移植と再生のための眼免疫応答の制御
〃	小川 令	形成再建再生医学分野・大学院教授	1,100	※ケロイド発生における局所、全身、遺伝因子の相互作用機序の解明
〃	村上 正洋	形成再建再生医学分野・准教授	1,100	※ケロイドにおけるTh17細胞/制御性T細胞による免疫機構の解明と新治療の開発
〃	若林あや子	微生物学・免疫学分野・助教	1,200	細菌外毒素による腸管からの損傷関連分子パターンの放出と食物アレルギー反応の誘導
〃	野村 務	消化器外科学分野・准教授	1,000	医学生を対象とした効率的な内視鏡外科手術手技トレーニングプログラムの開発
〃	洲鎌 秀永	生体統御科学分野・講師	1,600	パーキンソン病発症における慢性ストレスおよび活性化ミクログリア作用の解析
〃	大倉 定之	微生物学・免疫学分野・助教	1,500	ヒト化マウスモデルにおけるHIV-1感染病態への粘膜局所自然免疫の関与の解明
〃	岡 敦子	武蔵境校舎 生物学教室・教授	1,900	消化管上皮幹細胞の系譜解析とニッチ形成機構解明のための培養系の開発
〃	永原 則之	基礎医学 RI 研究室・准教授	1,400	硫化水素および硫黄酸化物産生不全モデル・硫黄転移酵素ノックアウトマウスの病態代謝
〃	杉原 仁	内分泌糖尿病代謝内科学分野・大学院教授	1,200	メタボリックシンドローム発症と摂食行動：新規モデルマウスを用いた解析
〃	藤倉 輝道	医学教育センター・准教授	900	市民と共に学ぶ医療を実現する次世代模擬患者養成プログラム開発に関する研究
〃	海原 純子	医学教育センター・特任教授	1,100	女性医師のワークファミリー・コンフリクトの解決と持続的就労を可能にする要因の研究
〃	荒木 尚	救急医学分野・助教	600	救急・集中治療における一般の脳死判定の現況と患者対応に関する研究

〃	可知 悠子	衛生学公衆衛生学分野・助教	2,500	非正規雇用の健康影響に関する国際比較研究
〃	後藤 穰	頭頸部・感覚器科学分野・准教授	1,100	体系的ゲノムワイド解析にもとづく舌下免疫療法の有効性診断法の開発
〃	大塚 俊昭	衛生学公衆衛生学分野・准教授	3,200	メタボリック症候群発症予測指標としての血中多価不飽和脂肪酸の有用性：職域疫学研究
〃	李 英姫	衛生学公衆衛生学分野・講師	1,800	好中球性アレルギー喘息病態における Nrf2 の役割
〃	金涌 佳雅	法医学分野・講師	2,300	死後髄液から死亡前発症のけいれん発作の有無を検出する法医診断技術の基盤的研究
〃	石井 健男	呼吸器内科学分野・講師	1,100	COPD 増悪における肺と gap junction の役割と肺由来新規バイオマーカー
〃	三宅 紀子	分子遺伝医学分野・テクニカル・スタッフ	1,300	脳神経病変を標的とした成体リソゾーム病の新規遺伝子治療法の開発
〃	松本 多絵	小児・思春期医学分野・助教	1,100	AAV バクターによる低ホスファターゼ血症の遺伝子治療
〃	早川 潤	小児・思春期医学分野・講師	1,300	造血幹細胞移植における脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた細胞療法の可能性の検討
〃	山西 慎吾	小児・思春期医学分野・助教	1,100	乳幼児早期マウスへの抗生剤投与の自然リンパ球への影響と喘息との関連
〃	島 義雄	小児・思春期医学分野・教授	800	自然免疫からみた早産発来機序の解明
〃	佐伯 秀久	皮膚粘膜病態学分野・大学院教授	1,500	アトピー性皮膚炎および乾癬の遺伝要因の研究
〃	肥田 道彦	精神・行動医学分野・講師	1,500	認知症におけるデフォルトモードネットワーク異常に関する分子イメージング研究
〃	汲田伸一郎	臨床放射線医学分野・大学院教授	600	半導体 SPECT 装置を用いた冠血流予備能測定：アンモニア PET との比較研究
〃	松田 明久	消化器外科学分野・助教	1,200	リゾリン脂質の外科侵襲後炎症性生体反応への関与とその治療応用
〃	萩原 信敏	消化器外科学分野・助教	1,300	微量検体からの遺伝子変異診断による消化管間質腫瘍の新規治療戦略
〃	宮下 正夫	消化器外科学分野・教授	1,600	MMP-9 の発現に関わる miRNA に着目した食道癌新規診断・治療法の検討
〃	水口 義昭	消化器外科学分野・助教	1,500	胆管癌上皮間葉移行における TGF-β/miR-200 ファミリーの直接交絡
〃	新田 隆	心臓血管外科学分野・大学院教授	1,000	ダブルポテンシャル法を応用した低侵襲心房細動手術の確立
〃	石角太郎	呼吸器外科学分野・講師	1,100	胸部悪性腫瘍に対する新規内視鏡的凍結融解療法の開発
〃	仁藤智香子	神経内科学分野・講師	1,300	アデノ随伴ウイルスを用いて遺伝子導入した歯髄幹細胞移植による新規脳梗塞治療の開発
〃	金 景成	脳神経外科学分野・助教	2,500	吸収性スクリューによる頸椎椎間関節固定術の生体力学的研究
〃	坂本 篤裕	疼痛制御麻酔科学分野・大学院教授	1,300	全身麻酔薬作用機序における分子生物学的検討
〃	彭 為霞	統御機構診断病理学分野・講師	800	網羅的な蛋白質解析による子宮内膜腺癌バイオマーカーの同定及び治療標的候補の検索
〃	渡邊 健一	頭頸部・感覚器科学分野・准教授	1,200	老人性難聴とエピジェネティックス-DNA メチル化とヒストン蛋白質修飾の解析
〃	鈴木 久晴	眼科学分野・講師	1,200	白内障手術における前房温度と角膜内皮傷害
〃	塚本 剛志	救急医学分野・助教	1,400	外傷後臓器障害発生における骨軟部組織損傷の役割に関する研究
挑戦の萌芽研究	勝又 聖夫	衛生学公衆衛生学分野・助教	1,000	※サリン事件被害者の長期的な健康不安の解析
〃	崎村 耕二	武蔵境校舎 英語教室・教授	700	※Oxford & Cambridge Unions の討論に見る英語の論述表現
〃	渡邊 淳	分子遺伝医学分野・准教授	1,000	※一般市民への「ヒトの遺伝」リテラシー向上を目指した課題調査とプログラム・教材開発
〃	樫村 正美	武蔵境校舎 医療心理学教室・講師	600	※高齢者支援のための心理社会的介入プログラムの開発
〃	飯島 典生	解剖学・神経生物学分野・准教授	400	※近赤外発光による脳深部の in vivo 光イメージングシステムの構築

〃	田中 信之	遺伝子制御学分野・大学院教授	1,400	※転写制御因子 HIF-1 による抗癌剤耐性獲得の分子機構とそれに対する癌治療法の開発
〃	岩崎 俊雄	代謝・栄養学分野・講師	1,100	※グルコース感受性に関わる細菌型 mitoNEET システムの網羅的解析
〃	江本 直也	内分泌糖尿病代謝内科学分野・准教授	500	※神経経済学的適応障害としての 2 型糖尿病の行動経済学的病態分析
〃	瀧澤 俊広	分子解剖学分野・大学院教授	1,100	※胆管癌特異的長鎖ノンコーディング RNA の同定と革新的治療法開発への挑戦
〃	佐々木元子	付属病院 遺伝診療科・医療技術員	900	学校教育への「ヒトの遺伝」導入に向けた課題と方策の明確化
〃	安武 正弘	総合医療・健康科学分野・大学院教授	1,200	新型高洗浄環境技術<CUSP>を用いた高齢者睡眠障害に関する研究
〃	山崎 峰雄	神経内科学分野・准教授	1,600	血清 NMR データを用いた新たなアルツハイマー病診断法の開発
〃	足立 好司	脳神経外科学分野・准教授	1,200	NMR メタボロミクスを用いた脳腫瘍血清診断
若手研究 (B)	鈴木 由香	生体機能制御学分野・講師	900	※低タンパク質栄養によるアディポネクチン増加機構の解明とその生理的意義
〃	林 宏紀	呼吸器内科学分野・助教	800	※クラスター分析による慢性閉塞性肺疾患のフェノタイプと特異バイオマーカーの同定
〃	近藤 麻加	血液内科学分野・助教	600	※骨髄異形成症候群 (MDS) における IL-2 受容体 α 鎖を標的とした新規治療の検討
〃	栗田 二郎	心臓血管外科学分野・助教	400	※徐放化多血小板血漿による血管新生療法の開発
〃	間瀬 有里	女性生殖発達病態学分野・助教	600	※exosomal microRNA をもとにした周産期予後マーカーの新規開発
〃	阿部 芳憲	遺伝子制御学分野・助教	900	※慢性炎症誘発性発癌に関わる新しい Sonic hedgehog 遺伝子誘導機構の解明
〃	阿部 新	神経内科学分野・助教	700	※急性期脳梗塞における ADMA 値の経時変化と身体機能予後への影響
〃	石井 俊行	感覚情報科学分野・助教	600	※コリン作動性ニューロンにおける新たなコリン代謝経路の解明
〃	玉井 勇人	血液内科学分野・講師	1,000	※MLL/AF4 陽性 ALL の S100A6 抑制による新規治療開発
〃	林 美雪	小児・思春期医学分野・助教	800	※小児喘息の phenotype-endotype に寄与するバイオマーカーの解明
〃	安齋めぐみ	疼痛制御麻酔科学分野・助教	600	※In vitro イメージングを用いた吸入麻酔薬セボフルランの標的分子の探索
〃	丸山 基世	実験動物管理室・助教	1,300	※冷痛覚過敏の治療標的としての TRPV3 チャネル機能解析
〃	関根 久遠	頭頸部・感覚器科学分野・助教	600	※新たな内耳性難聴治療法の開発 RNAi による難聴原因蛋白 Cochlin の発現抑制
〃	本間 耕平	感覚情報科学分野・助教	900	※細胞機能解析によるヒト iPS 細胞由来視細胞の移植適同期同定
〃	細萱 順一	付属病院 集中治療室・看護師	500	※全身麻酔を受けた術後患者の自律神経活動を基盤とした離床プログラムの開発
〃	林 昌子	女性生殖発達病態学分野・助教	900	※母体血中 RNA を用いた HLA 遺伝子の動態解析～胎児バイオマーカー開発への展開
〃	井上千鹿子	医学教育センター・助教	1,400	医療系学生の臨床推論能力を高めるムラージュ教材の開発
〃	井内 勝哉	細胞生物学分野・助教	900	ミトコンドリア生体分子の化学修飾に着目した水素の抗炎症作用メカニズムの解明
〃	Lee Hyunjin	細胞生物学分野・ポストドクター	1,100	エピジェネティクス制御からみた水素の抗炎症作用のメカニズム
〃	岩田 衣世	解剖学・神経生物学分野・講師	1,200	プロゲステロンとその代謝産物による体温調節に関する機能形態学的メカニズムの解析
〃	猪俣 稔	呼吸器内科学分野・特別研究生	700	肺線維化病態におけるエクソソームを介した肺と骨髄のクロストークに関する研究
〃	國保 成暁	解析人体病理学分野・研究生	1,400	mTOR 阻害薬による薬剤性肺障害の病態解明と疾患関連蛋白のバイオマーカーの検索

〃	秋山美知子	皮膚粘膜病態学分野・助教	1,200	Nestin siRNA によるメラノーマの腫瘍抑制効果について
〃	小野澤志郎	臨床放射線医学分野・助教	1,400	リアルタイム抗がん剤濃度コントロールによる革新的閉鎖循環下骨盤内抗がん剤灌流療法
〃	赤城 一郎	消化器外科学分野・助教	1,200	食道癌における分子標的治療薬の開発を目指した lincRNA の網羅的機能解析
〃	上田 純志	消化器外科学分野・助教	900	ESRP1 を用いた膀胱癌の治療法開発
〃	肥後 心平	解剖学・神経生物学分野・助教	800	吸入麻酔薬による Per2 発現抑制機構の解明—ICU 症候群の機構解明を志向して—
〃	BANYAR T. NAING	分子解剖学分野・助教	1,400	Placenta specific long-non-coding RNA analysis: a new molecular basis of miscarriage
〃	倉品 隆平	女性生殖発達病態学分野・助教	1,600	19 番染色体マイクロ RNA クラスタに着目したトロホプラスト形成の機構解明
〃	國重 智之	眼科学分野・助教	1,700	角膜血管リンパ管新生における ICOS の働き

4) 平成 27 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究分担の交付決定一覧

※は前年度から継続

研究分担者・所属	研究種目	研究代表者・所属	研究課題名
1 中澤 秀夫 武蔵境校舎 数学	基盤研究 (C)	門脇 光輝 滋賀県立大学	※ある特異性を持つ波動伝播のグリーン関数の漸近挙動とその散乱理論への応用
2 高野 仁司 循環器内科学分野	〃	稲見 茂信 国際医療福祉大学	※冠動脈プラーク破綻発症機序の解明：コレステロール結晶の重要性
3 岡田 尚巳 分子遺伝医学分野	〃	永田 哲也 国立精神・神経医療研究センター	※アデノ随伴ウイルスを用いた筋ジストロフィーに対するエクソン・スキップ治療の開発
4 岳野 光洋 アレルギー膠原病内科学分野	〃	浅見由希子 横浜市立大学	※全身性エリテマトーデスにおける炎症制御機構の破綻メカニズム
5 白田 実男 呼吸器外科学分野	〃	粕谷 和彦 東京医科大学	※肝内胆管がんに対する複合型細径ファイバを用いた光線力学治療研究
6 松下 晃 消化器外科学分野	〃	松田 陽子 東京都健康長寿医療センター	※膵癌における Nestin のリン酸化制御による抗腫瘍効果の検討
7 進士 誠一 消化器外科学分野	〃	松田 陽子 東京都健康長寿医療センター	※膵癌における Nestin のリン酸化制御による抗腫瘍効果の検討
8 石渡 俊行 統御機構診断病理学分野	〃	松田 陽子 東京都健康長寿医療センター	※膵癌における Nestin のリン酸化制御による抗腫瘍効果の検討
9 小川 令 形成再建再生医学分野	〃	西良 浩一 徳島大学	※腰部脊椎管狭窄症における黄色靭帯肥厚メカニズムの解明
10 松田 明久 消化器外科学分野	〃	角 由佳 順天堂大学	※ATP/adenosine balance からみた SIRS 病態の解明
11 鈴木 英紀 形態解析共同研究施設	〃	萩沢 康介 防衛医科大学校	※衝撃波に起因するびまん性肺出血の病態解明と止血制御対策
12 大久保善朗 精神・行動医学分野	〃	苅部 洋行 日本歯科大学	※非侵襲的脳機能画像法を用いた歯科恐怖症に対する効果的な認知行動技法の定量的評価
13 館野 周 精神・行動医学分野	〃	苅部 洋行 日本歯科大学	※非侵襲的脳機能画像法を用いた歯科恐怖症に対する効果的な認知行動技法の定量的評価
14 肥田 道彦 精神・行動医学分野	〃	苅部 洋行 日本歯科大学	※非侵襲的脳機能画像法を用いた歯科恐怖症に対する効果的な認知行動技法の定量的評価
15 清水 渉 循環器内科学分野	〃	林 研至 金沢大学	※遺伝性不整脈の新規原因遺伝子検索およびゼブラフィッシュを用いた不整脈重症度評価
16 太田 成男 細胞生物学分野	〃	高木章乃夫 岡山大学	※脂肪肝炎～肝発癌の病期に応じた最適な酸化ストレス介入療法の開発
17 岳野 光洋 アレルギー膠原病内科学分野	〃	吉見 竜介 横浜市立大学	※ユビキチン化修飾系を治療標的とする膠原病の新規治療法の可能性について
18 岸 泰宏 精神・行動医学分野	〃	八田耕太郎 順天堂大学	※神経炎症を視点にしたせん妄の予測、予防、治療に関する総合研究
19 柿沼 由彦 生体統御科学分野	〃	倉林 陸 高知大学	新たなメカニズムによる血糖コントロールと糖代謝異常の治療への展開
20 佐藤 直樹 循環器内科学分野	〃	鈴木 洋 昭和大学	神奈川県循環器救急レジストリーの構築—急性重症心筋梗塞の予後改善へ向けての対策—
21 小野澤志郎 臨床放射線医学分野	〃	井上 政則 慶應義塾大学	乳糜胸水に対する経皮的胸管塞栓術の基礎的検討：実験動物モデルの確立と安全性の検討
22 杉谷 巖 内分泌外科学分野	〃	軸菌 智雄 大阪府立大学	穿刺吸引細胞診検体のトランスクリプトーム解析による甲状腺癌術前診断の可能性を探る
23 永原 則之 基礎 RI 研究室	〃	田中 水緒 神奈川県立こども医療センター	小児腫瘍高精度診断マーカーの開発
24 片山 映 代謝・栄養学分野	〃	田中 水緒 神奈川県立こども医療センター	小児腫瘍高精度診断マーカーの開発
25 平川 慶子 法医学分野	〃	佐藤 格夫 京都大学	テラヘルツ計測、代謝物計測を応用した腸管虚血壊死の新たな早期診断確立

26	金涌 佳雅 法医学分野	〃	佐藤 格夫 京都大学	テラヘルツ計測、代謝物計測を応用した腸管虚血壊死の新たな早期診断確立
27	藤崎 弘士 武蔵境校舎 物理学	挑戦的萌芽研究	戸田 幹人 奈良女子大学	※非平衡非定常現象への統計科学の展開と生体分子の機能発現機構に対するその応用
28	平川 慶子 法医学分野	〃	吉村 長久 京都大学	※核磁気共鳴を用いた滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF治療の反応性予測法の開発
29	平川 慶子 法医学分野	〃	森 智治 京都大学	血清と尿のNMRデータを用いた発熱原因の予測
30	金涌 佳雅 法医学分野	〃	森 智治 京都大学	血清と尿のNMRデータを用いた発熱原因の予測
31	平川 慶子 法医学分野	〃	村井 俊哉 京都大学	血清NMRデータを用いた電気けいれん療法の効果予測
32	平川 慶子 法医学分野	〃	小池 薫 京都大学	近赤外組成イメージングシステムを用いた新しい組織障害評価法の開発
33	金涌 佳雅 法医学分野	〃	小池 薫 京都大学	近赤外組成イメージングシステムを用いた新しい組織障害評価法の開発
34	平川 慶子 法医学分野	〃	鈴木 崇生 京都大学	核磁気共鳴データのパターン認識解析による敗血症関連脳症の予後予測法の開発
35	金涌 佳雅 法医学分野	〃	鈴木 崇生 京都大学	核磁気共鳴データのパターン認識解析による敗血症関連脳症の予後予測法の開発

補助金直接経費合計額 9,721,000円

5) 平成27年度補助委託一覧

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
野村俊明	人文科学・社会科学・医学心理学	分担	科学研究費補助金 科学研究(B)	学校における心の健康と発達支援：学校力と地域・文化資源の活用	青木紀久代	お茶の水女子大学
野村俊明	人文科学・社会科学・医学心理学	分担	科学研究費補助金 科学研究	高齢者支援のための心理社会的介入プログラムの開発	榎村正美	日本医科大学
野村俊明	人文科学・社会科学・医学心理学	代表	科学研究費補助金 科学研究(C)	高齢者の「反社会的行動」に関する研究	野村俊明	日本医科大学
榎村正美	人文科学・社会科学・医学心理学	分担	科学研究費補助金 科学研究(C)	市民と共に学ぶ医療を実現する次世代模擬患者養成プログラムの開発に関する研究	藤倉輝道	日本医科大学
榎村正美	人文科学・社会科学・医学心理学	代表	科学研究費補助金 科学研究	高齢者支援のための心理社会的介入プログラムの開発	榎村正美	日本医科大学
榎村正美	人文科学・社会科学・医学心理学	分担	科学研究費補助金 科学研究(C)	高齢者の「反社会的行動」に関する研究	野村俊明	日本医科大学
中澤秀夫, 渡邊一雄	自然科学・数学	分担	科学研究費補助金 科学研究(C)	ある特異性を持つ波動伝播のグリーン関数の漸近挙動とその散乱理論への応用	門脇光輝	愛媛大学大学院理工学研究科
藤崎弘士	自然科学・物理学	代表	科学研究費補助金 科学研究(C)	ヒトには効くがバクテリアには効かない痛風薬：酵素薬相互作用のダイナミクス	菊地浩人	日本医科大学 医学部
	自然科学・物理学	分担	科学研究費補助金 科学研究	非平衡非定常現象への統計科学の展開と生体分子の機能発現機構に対するその応用	戸田幹人	奈良女子大学・自然科学系
	自然科学・生物学	代表	科学研究費補助金 科学研究(C)	消化管上皮幹細胞の系譜解析とニッチ形成機構解明のための培養系の開発	岡 敦子	日本医科大学
	自然科学・生物学	代表	科学研究費補助金 科学研究(C)	消化管上皮幹細胞の起源と幹細胞制御におけるNotchシグナル経路の役割	長谷部孝	日本医科大学
	外国語・英語	代表	科学研究費補助金 科学研究	Oxford & Cambridge Unions の討論に見る英語の論述表現	崎村耕二	
	スポーツ科学	代表	科学研究費補助金 科学研究(C)	グルココルチコイドは高強度運動による海馬での神経新生の増加を引き起こす要因か否か	三上俊夫	
	スポーツ科学	代表	株式会社ニユートリ ショアクト	ストレス負荷時のミトコンドリア機能に与えるオレピータ摂取の影響	三上俊夫	
	分子解剖学分野	代表	科学研究費補助金 科学研究(B)	妊娠高血圧症候群の分子病態におけるマイクロRNAの役割解明と新規予知因子の開発	瀧澤俊広	日本医大分子解剖
	分子解剖学分野	代表	科学研究費補助金 科学研究	胆管癌特異的長鎖ノンコーディングRNAの同定と革新的治療法開発への挑戦	瀧澤俊広	日本医大分子解剖
	分子解剖学分野	代表	科学研究費補助金 科学研究(B)	Placenta specific long-non-coding RNA analysis : a new molecular basis of miscarriage	B a n y a r Tha n N a - i n g 齋藤 滋	日本医大分子解剖 富山大学 大学院医学薬学 (医学) 教授
村口 篤, 二階堂敏 雄, 瀧澤俊 広	分子解剖学分野	分担	科学研究費補助金 科学研究(B)	母体、胎児免疫相関から見た妊娠維持機構ならびにその破綻	齋藤 滋	富山大学 大学院医学薬学 (医学) 教授
	分子解剖学分野	代表	科学研究費補助金 科学研究(C)	キヌベベンチンによる甲状腺刺激ホルモン放出ホルモンを介した生殖生理調節を検証する	澤井信彦	日本医大分子解剖
飯島典生, 託見 健, 肥後心平, 石井寛高, 岩田衣世	解剖学・神経生物学分野	代表分担	科学研究費補助金 科学研究(C)	新規生殖制御系への環境情報入力と3次元相相互作用、生活環境に関する機能形態学的研究	小澤一史	解剖学・神経生物学分野

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
	解剖学・神経生物学分野	代表	科学研究費補助金 萌芽研究	近赤外発光による脳深部の in vivo 光イメージングシステムの構築	飯島典生	解剖学・神経生物学分野
	解剖学・神経生物学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	多重プロモーターと選択的スプライシングによるエストロゲン受容体発現調節機構の解明	石井寛高	解剖学・神経生物学分野
	解剖学・神経生物学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (B)	プロゲステロンとその代謝産物による体温調整に関する機能形態学的メカニズムの解析	岩田衣世	解剖学・神経生物学分野
	解剖学・神経生物学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (B)	吸入麻酔薬による Per2 発現抑制機構の解明ーICU 症候群の機構解明を志向してー	肥後心平	解剖学・神経生物学分野
	感覚情報科学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	ナトリウムチャネル遺伝子変異が引き起こすてんかん性脳症の発症機序解明	荻原郁夫	日本医科大学 システム生理学
	感覚情報科学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (B)	細胞機能解析によるヒト iPS 細胞由来視細胞の移植適期同定	本間耕平	
	感覚情報科学分野	代表	科学研究費補助金 手研究 (B)	コリン作動性ニューロンにおける新たなニコリン代謝経路の解明	石井俊行	
金田 誠	感覚情報科学分野	分担	科学研究費補助金 盤研究 (C)	網膜酸化ストレス傷害に対する水素水点眼の効果	高橋 浩	
	感覚情報科学分野	代表		アステラスアカデミックサポーター (中枢神経系疾患領域に関する研究)	金田 誠	感覚情報科学
	感覚情報科学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	心の性を司る視索前野野性的二型核および分界条床核の性差形成機構	濱田知宏	
	感覚情報科学分野	代表	財団法人てんかん治療研究振興財団 研究助成金	Dravet 症候群発症機構解明のための SCN1A 遺伝子発現可視化マウスの開発	荻原郁夫	日本医科大学 システム生理学
	生体統御科学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	心筋細胞 ACh 産生系制御による代謝リモデリングケル介人効果についての基盤的研究	柿沼由彦	
柿沼由彦	生体統御科学分野	分担	科学研究費補助金 盤研究 (C)	新たなメカニズムによる血糖コントロールと糖代謝異常の治療への展開	栗林 睦	高知大学教育研究部医療学系病理学
	生体統御科学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	パーキンソン病発症における慢性ストレスおよび活性化ミトコンドリア作用の解析	洲鎌秀永	
	生体統御科学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	神経性食欲不振症の病態進行機序における視床下部 CRF の役割の解明	眞野あすか	
根本崇宏	生体統御科学分野	分担	科学研究費補助金 特定領域研究	ニコチン投与母ラットあるいは父ラットからの出生仔における成長後の耐糖能の異常の検討	杉原 仁	日本医科大学 内分泌糖尿病代謝内科
	代謝・栄養学分野	代表	科学研究費補助金 萌芽研究	グルコース感受性に関わる細菌型 mitoNEET システムの網羅的解析	岩崎俊雄	
	代謝・栄養学分野	代表	科学研究費補助金 (特別研究員奨励費 (外国人))	細胞増殖に関わる細菌型 mitoNEET の生体内レドックス制御システムの網羅的解析	岩崎俊雄	
	代謝・栄養学分野	代表	腎不全病態研究助成	高リンによる血管平滑筋細胞内 Ca2+ 調節の変化と血管・骨形質転換との関連性	藤原めぐみ	生化学 (代謝・栄養学)
岡田尚巳	分子遺伝医学分野	主任分担	厚生労働省科研費補助金	遺伝性難病に対する遺伝子治療薬の臨床開発に向けた安全性、有効性評価法の確立・ガイドライン作成・人材育成	小野寺雅史	国立成育医療研究センター 研究所成育遺伝研究部
渡邊 淳	分子遺伝医学分野	主任分担	厚生労働省科研費補助金	胎児・新生児骨系疾患の診断と予後に関する研究	澤井英明	兵庫医科大学産科婦人科
	分子遺伝医学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (B)	アデノ随伴ウイルスベクターを応用した脳神経疾患に対する遺伝子細胞療法	岡田尚巳	

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
岡田尚巳	分子遺伝医学分野	代表分担	科学研究費補助金 盤研究 (C)	アデノ随伴ウイルスを用いた筋ジストロフィー に対するエクソン・スキップ治療の開発	永田哲也	東京医科歯科大学 大学 院歯学総合研究科 医 歯学系専攻 認知行動医 学講座 脳神経病態学
	分子遺伝医学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	筋ジストロフィーの遺伝子治療を旨じた免疫 寛容誘導法の検討	喜納裕美	
	分子遺伝医学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	超音波血液脳関門開放とAAVベクターを用い た成体マウスモデルの開発	岡田浩典	
	分子遺伝医学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	適正製造規範に適合する簡易精製が可能な次世 代AAVベクターの開発	平井幸彦	
	分子遺伝医学分野	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	ダイヤモンド・ブラックファン貧血の新規動物 モデル作製と治療法の開発	三宅弘一	
三宅弘一	分子遺伝医学分野	代表分担	科学研究費補助金 盤研究 (C)	脳神経病変を標的とした成体リゾゾーム病の新 規遺伝子治療法の開発	三宅紀子	
三宅弘一	分子遺伝医学分野	代表分担	科学研究費補助金 盤研究 (C)	AAVベクターによる低ホスファターゼ血症の 遺伝子治療	松本多絵	
三宅弘一, 島田 隆	分子遺伝医学分野	代表分担	科学研究費補助金 盤研究 (C)	低フォスファターゼ症マウスを用いた先天性代 謝異常症の再生医療・細胞治療法の開発	飯島 修	
	分子遺伝医学分野	代表	科学研究費補助金 芽研究	一般市民への「ヒトの遺伝」リテラシー向上を 目指した課題調査とプログラム・教材開発	渡邊 淳	
渡邊 淳	分子遺伝医学分野	代表分担	科学研究費補助金 定領域研究	学校教育への「ヒトの遺伝」導入に向けた課題 と方策の明確化	佐々木元子	
三宅弘一	分子遺伝医学分野	代表分担	科学研究費補助金 盤研究 (C)	炎症性肺疾患におけるサバイビンの分子病態の 解明と新規遺伝子治療法の開発	寺崎美佳	
三宅弘一	分子遺伝医学分野	代表分担	科学研究費補助金 盤研究 (C)	ヒト病変および新規動物モデルを用いたリンパ 球浸潤性の肺線維化病変の病態解明	寺崎泰弘	
岡田尚巳	分子遺伝医学分野	代表分担	科学研究費補助金 盤研究 (C)	ALSに対する新規治療技術の創出	山梨裕司	東京大学医科学研究所腫 瘍抑制分野
岡田尚巳	分子遺伝医学分野	代表分担		難治性神経変性疾患に対する神経シナプス形成 を促進させるマイクロRNAの補充による新規 治療法の開発と確立	北條浩彦	国立研究開発法人国立・ 神経医療センター神経研 究所
岡田尚巳	分子遺伝医学分野	代表分担		遺伝性髄鞘形成不全症の病態に基づく革新的な 治療法の開発のための研究	井上 健	国立研究開発法人国立精 神・神経医療研究セン ター 神経研究所
岡田尚巳	分子遺伝医学分野	代表分担		AAV中空粒子を用いる臓器特異的DDSの臨床 応用に向けた開発	峰野純一	タカラバイオ株式会社バ イオ産業支援事業部門 信州大学医学部付属病院 遺伝子診療部
岡田尚巳, 渡邊 淳	分子遺伝医学分野	代表分担		デルマタン4-O-硫酸基転移酵素-J欠損に基づく エーララスタンロロス症候群の病態解明と治療法の 開発	古庄知己	
岡田尚巳	分子遺伝医学分野	代表分担		筋萎縮治療に対する創薬基盤バイオマーカーの 探索と治療法開発に関する研究	山梨裕司	東京大学医科学研究所腫 瘍抑制分野
	分子遺伝医学分野	代表		骨格筋指向性のあるペプチド付加モルフォリノ 核酸DDS 技術の臨床応用に向けた開発	岡田尚巳	
渡邊 淳	分子遺伝医学分野	代表分担		ゲノム情報で規定される超高リスク群の診断 と、層別化・個別化予防のためのエビデンス構 築をめざした臨床観察研究	吉田輝彦	国立がん研究センター 遺伝学研究分野

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
渡邊 淳	分子遺伝医学分野	代表分担		全ゲノムシークエンクス時代の多施設共同研究における倫理課題に関する研究希少がんの発生に 関与する遺伝要因の解明のための多施設共同研 究体制の構築と関与遺伝子の探索	塚田俊彦	国立がん研究センター 遺伝医学研究分野
齋藤文仁, 永野昌俊, 坂井 敦	薬理学分野	代表分担	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	発達障害治療を指向した脳部位特異的ミクログ リアにおける microRNA 機能解析	鈴木秀典	
鈴木秀典, 齋藤文仁, 坂井 敦, 三ヶ原靖規	薬理学分野	代表	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	神経障害性疼痛特異的 microRNA クラスターの 多角的解析	坂井 敦	
鈴木秀典	薬理学分野	代表	科学研究費補助金 特 定領域研究	精神疾患のプレシナプスエフェクトタイプの 形成・維持機構の解析	小林克典	
永野昌俊	薬理学分野	分担	科学研究費補助金 基 盤研究 (B)	アミロイド関連うつ病の分子イメージング	大久保善朗	精神・行動医学分野
永野昌俊	薬理学分野	分担	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	硫化水素および硫酸酸化物産生不全モデル・硫 黄転移酵素ノックアウトマウスの病態代謝	永原則之	放射性同位元素研究室
永野昌俊	薬理学分野	分担	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	マイクログルニューブ照射による新しい脳損傷モデ ルの病態解析	布施 明	救急医学分野
松井祥子, 寺崎美佳, 三宅弘一	解析人体病理学分野	代表	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	多重染色 FACS を用いた腎組織病理診断に替わ る糸球体腎炎の診断・病態解析法の確立	岩堀 徹	解析人体病理学
寺崎美佳, 三宅弘一	解析人体病理学分野	代表	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	ヒト病変および新規動物モデルを用いたリンパ 球浸潤性の肺線維化病変の病態解明	寺崎泰弘	解析人体病理学
寺崎泰弘	解析人体病理学分野	代表	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	炎症性肺炎におけるサバビビンの分子病態の解 明と新規遺伝子治療法の開発	寺崎美佳	解析人体病理学
松田陽子, 松下 晃, 進士誠一	統御機構診断病理学分野	代表	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	間質性肺炎におけるマイクログ RNA, エクソ ソームを介する病態の解析と臨床応用	功刀しのぶ	解析人体病理学
内藤善哉, 和田龍一	統御機構診断病理学分野	代表	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	ラット肝臓移植モデルを用いた移植肝臓の免疫 寛容獲得の機序とパイオマーカーの同定	石井永一	解析人体病理学
内藤善哉	統御機構診断病理学分野	代表	科学研究費補助金 若 手研究 (B)	mTOR 阻害薬による薬利星肺障害の病態解明と 骨髄の疾患関連連蛋白のパイオマーカーの探索	國保成暁	解析人体病理学
内藤善哉, 工藤光洋	統御機構診断病理学分野	代表	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	microRNA による nestin 制御：腫瘍治療の臨床 応用を旨とした検討	石渡俊行	
工藤光洋, 石野孔祐, 沼野琢旬, 古川文夫	統御機構診断病理学分野	代表	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	網羅的な蛋白質解析による子宮内膜腺癌バイオ マーカーの同定及び治療標的候補の探索	彭 為霞	
		代表	私立大学戦略的研究 基 盤形成支援事業	Clinical Rebiopsy Bank Project を基盤とした包 括的がん治療開発拠点形成	弦間昭彦	
		代表	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	ケラトアクトームは良性腫瘍か：プロテオミ クスを用いた不均質性の解明	安齋真一	武蔵小杉病院皮膚科
		代表	平成 27 年度喫煙科学研 究財団助成金	タバコ抽出物によるびまん性肺胞傷害における 2-deoxy-D-glucose の抑制効果について	内藤善哉	
	微生物学・免疫学分野	代表	科学研究費補助金 基 盤研究 (C)	ランゲルハルハンス細胞活性化による新たな免疫療 法の開発	高橋秀実	日本医科大学・微生物学 免疫学教室

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
高橋秀美	微生物学・免疫学分野	分担	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	Clinical Rebiopsy Bank Project を基盤とした包括的がん治療開発拠点形成 (課題: 再発癌における樹状細胞の解析)	弦間昭彦	日本医科大学内科学 (呼吸器内科学) 教室
高橋秀美	微生物学・免疫学分野	分担	厚生労働省科研究費補助金	粘膜自然免疫を標的とした HIV の感染伝播とその制御	侯野哲郎	国立感染症研究所 エイズ研究センター
	微生物学・免疫学分野	代表	科学研究費補助金 (C)	ヒト化マウスモデルにおける HIV-1 感染病態への粘膜局所自然免疫の関与の解明	大倉定之	日本医科大学微生物学・免疫学教室
	微生物学・免疫学分野	代表	科学研究費補助金 (C)	細菌外毒素による腸管からの損傷関連分子パターン放出と食物アレルギー反応の誘導	若林あや子	日本医科大学微生物学・免疫学教室
	微生物学・免疫学分野	代表	科学研究費補助金 研究活動スタート支援	異常な形態へ変化したクラミジアの特徴解析による新規治療薬の標的分子探索	黒木(石田)春澄	日本医科大学微生物学・免疫学教室
根岸靖幸	微生物学・免疫学分野	分担	科学研究費補助金 (C)	自然免疫からみた早産発来機序の解明	島 義雄	日本医科大学武蔵小杉病院新生児内科
	微生物学・免疫学分野	代表	平成27年度NPO丸山ワクチン研究助成	腫瘍内樹状細胞活性化による抗腫瘍免疫誘導	高橋秀美	日本医科大学微生物学・免疫学教室
大塚俊昭, 稲垣弘文, 若山葉子, 勝又聖夫	衛生学公衆衛生学分野	代表分担	科学研究費補助金 (C)	職場勤務者のメタボリック症候群関連指標とメンタルヘルスに関する総合的研究	川田智之	
川田智之	衛生学公衆衛生学分野	代表分担	科学研究費補助金 (C)	カーバメイト系農薬による抗腫瘍免疫機能への影響及びその機序	李 卿	
川田智之	衛生学公衆衛生学分野	代表分担	農林水産省高度化事業 研究	戦略的イノベーション創造プログラム (次世代農林水産業創造技術)「2-(5) 脳・内分泌・自律神経・免疫活動を用いた人での評価法の開発」	李 卿	
川田智之	衛生学公衆衛生学分野	代表分担	科学研究費補助金 (C)	メタボリック症候群発症予測指標としての血中多価不飽和脂肪酸の有用性: 職域疫学研究	大塚俊昭	
勝又聖夫, 稲垣弘文, 川田智之	衛生学公衆衛生学分野	代表分担	科学研究費補助金 萌芽研究	サリン事件被害者の長期的な健康不安の解析	勝又聖夫	日本医科大学
川田智之, 吾妻安良, 稲垣弘文, 平田幸代	衛生学公衆衛生学分野	代表分担	科学研究費補助金 (C)	好中球性アレルギー喘息病態における Nr2 の役割	李 英姫	
李 英姫	衛生学公衆衛生学分野	代表分担	科学研究費補助金 特定領域研究	環境と次世代健康科学: 疾患原因解明と予防に向けた先進的研究	武田 健	東京理科大学 総合研究機構
川田智之, 高橋美保	衛生学公衆衛生学分野	代表分担	科学研究費補助金 (C)	非正規雇用の健康影響に関する国際比較研究	可知悠子	
川田智之, 大塚俊昭	衛生学公衆衛生学分野	代表分担	科学研究費補助金 (B)	非正規雇用の増加は健康と医療の格差を拡大したのか: 20年間の経時的分析から平成27年度森林浴による健康増進等に関する調査研究 (公益財団法人車両競技公益資金記念財団)	可知悠子	
秋元敏雄, 丸山基世, 植草協子, 安部寛子	法医学分野	代表分担	科学研究費補助金 (C)	高 KmADH3 の慢性的 Alc 摂取下での Alc 代謝と Alc 性障害発症における役割	長谷場健	日本医科大学法医学
	法医学分野	代表分担	科学研究費補助金 (C)	法医学毒物学の QTOF データに対する包括的マルチプルロス解析の検討	林田眞喜子	日本医科大学法医学

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
平川慶子, 佐藤格夫, 小池 薫, 金城 潤, 金浦佳雅	法医学分野	代表分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	死後髄液から死亡前発症のけいれん発作の有無を検出する法医診断技術の基盤的研究	金浦佳雅	日本医科大学法医学
平川慶子	法医学分野	分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	テラヘルツ計測, 代謝物計測を応用した腸管虚血壊死の新たな早期診断確立	佐藤格夫	京都大学
平川慶子	法医学分野	分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	テラヘルツ計測, 代謝物計測を応用した腸管虚血壊死の新たな早期診断確立	佐藤格夫	京都大学
平川慶子	法医学分野	分担	科学研究費補助金 萌芽研究	核磁気共鳴を用いた滲出型加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 治療の反応性予測法の開発	吉村長久	京都大学
平川慶子	法医学分野	分担	科学研究費補助金 萌芽研究	血清と尿の NMR データを用いた発熱原因の予測	森 智治	京都大学
金浦佳雅	法医学分野	分担	科学研究費補助金 萌芽研究	血清と尿の NMR データを用いた発熱原因の予測	森 智治	京都大学
平川慶子, 小池 薫	法医学分野	分担	科学研究費補助金 萌芽研究	血清 NMR データを用いた新たなアレルツハイマー病診断法の開発	山崎峰雄	日本医科大学
平川慶子	法医学分野	分担	科学研究費補助金 萌芽研究	血清 NMR データを用いた電気けいれん療法の効果予測	村井俊哉	京都大学
平川慶子	法医学分野	分担	科学研究費補助金 萌芽研究	NMR メタボロミクスを用いた脳腫瘍血清診断	足立好司	日本医科大学
平川慶子	法医学分野	分担	科学研究費補助金 萌芽研究	近赤外線組成イメージングシステムを用いた新しい組織障害評価法の開発	小池 薫	京都大学
金浦佳雅	法医学分野	分担	科学研究費補助金 萌芽研究	近赤外線組成イメージングシステムを用いた新しい組織障害評価法の開発	小池 薫	京都大学
平川慶子	法医学分野	分担	科学研究費補助金 萌芽研究	核磁気共鳴データのパターン認識解析による敗血症関連脳症の予後予測法の開発	鈴木崇生	京都大学
金浦佳雅	法医学分野	分担	科学研究費補助金 萌芽研究	核磁気共鳴データのパターン認識解析による敗血症関連脳症の予後予測法の開発	鈴木崇生	京都大学
秋元敏夫, 丸山基世, 木下 学, 佐藤俊一, 鈴木英紀	基礎医学共同研究利用施設・実験動物管理室 基礎医学共同研究利用施設・実験動物管理室 基礎医学共同研究利用施設・形態解析共同研究施設	代表 分担 分担	科学研究費補助金 若手研究 (B) 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 科学研究費補助金 基盤研究 (C)	冷痛覚過敏の治療標的としての TRPV3 チャネル機能解析 高 KmADH3 の慢性 Alc 摂取下での Alc 代謝と Alc 性障害発症における役割 衝撃波に起因するびまん性肺出血の病態解明と止血制御対策	丸山基世 長谷場健 萩沢康介	日本医科大学 医学部 実験動物管理室 日本医科大学 医学部 法医学 防衛医科大学校医学教育部
永原則之	基礎医学共同研究利用施設・基礎医学放射線同位元素研究室	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	硫化水素および硫酸酸化物産生不全モデル・硫酸転移酵素ノックアウトマウスの病態代謝	永原則之	日本医科大学
木村和美	神経内科学分野・付属病院神経・脳血管内科	代表分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C) 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	小児腫瘍高精度診断マーカーの開発 発症時刻不明の脳梗塞患者に対する静注血栓溶解療法への適応拡大を目指した臨床研究	田中水緒 豊田一則	神奈川県立こども医療センター 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
阿部 新	神経内科学分野・付属病院神経・脳血管内科	代表 分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C) 科学的イノベーション戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)	アデノ随伴ウイルスを用いて遺伝子導入した歯髄幹細胞移植による新規脳梗塞治療の開発 急性期脳梗塞における ADMA 値の経時変化と身体機能予後への影響 食シグナルの認知科学の新展開と脳を活性化させる次世代機能性食品開発へのグラウンディング	仁藤智香子 阿部 新 阿部啓子	国立大学法人東京大学

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
	神経内科学分野・千葉北総病院神経・脳血管内科	代表	科学研究費補助金 萌芽研究	血清NMRデータをを用いた新たなアレルツハイマー病診断法の開発	山崎峰雄	日本医科大学千葉北総病院 神経脳血管内科
	腎臓内科学分野・付属病院腎臓内科	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	アニオン型尿毒症性物質群を除去するハイブリッド型人工腎臓の開発	鶴岡秀一	日本医科大学 腎臓内科
鶴岡秀一	腎臓内科学分野・付属病院腎臓内科	分担	厚生労働省科研費補助金	慢性腎臓病の進行を促進する薬剤等による腎臓害の早期診断法と治療法の開発	成田一衛	新潟大学 腎臓内科
鶴岡秀一, 酒井行直	腎臓内科学分野・付属病院腎臓内科	分担	厚生労働省科研費補助金	慢性腎臓病患者に対する人工透析導入への進展予防に関する研究	山縣邦弘	筑波大学 腎臓内科
清水 章, 折茂英生, 鶴岡秀一	腎臓内科学分野・付属病院腎臓内科	代表分担	平成27年度(公財)日本腎臓財団 公募助成	ヒト血管を用いた、腎不全における異所性中膜石灰化の解析	谷 崇	日本医科大学大学院 腎臓内科学
岡本 章, 清水 章, 鶴岡秀一	腎臓内科学分野・付属病院腎臓内科	代表分担	2015年度HMTメタボロミクス先導研究助成	急性腎障害モデルにおけるキサンチンオキシダーゼ阻害薬がもたらす腎保護効果の代謝学解析	谷 崇	日本医科大学大学院 代謝・栄養学
	腎臓内科学分野・付属病院腎臓内科	代表	公益財団法人石橋由紀子記念基金	被嚢性腹膜硬化症における血管新生制御の分子機構の解明	酒井行直	日本医科大学付属病院腎臓内科
	血液内科学分野・付属病院血液内科	代表	IMF骨髄腫患者の会 堀之内朗記念助成	骨髄腫におけるSLAMファミリー分子の機能とそれらを標的としたキメラ抗原受容体遺伝子改変T細胞免疫療法	田村秀人	日本医科大学血液内科
山口博樹	血液内科学分野・付属病院血液内科	代表	科学研究費補助金 盤研究 (C)	骨髄腫微小環境におけるSLAMファミリー分子の機能解析と新規治療の開発	田村秀人	日本医科大学血液内科
山口博樹	血液内科学分野・付属病院血液内科	分担	IL26-難治等(難)-一般-029	先天性骨髄不全症の登録システムの構築と診断ガイドラインの作成に関する研究	伊藤悦朗	国立大学法人弘前大学
	血液内科学分野・付属病院血液内科	分担	厚生労働省科研費補助金	稀少小児遺伝性血液疾患に対する新規責任遺伝子の探索と遺伝子診断システムの構築に関する研究	小島勢二	
玉井勇人	血液内科学分野・付属病院血液内科	代表分担	科学研究費補助金 盤研究 (C)	新規RCSDI-ABLI 遺伝子糖化能と分子標的薬開発	猪口孝一	日本医科大学
	血液内科学分野・付属病院血液内科	代表	科学研究費補助金 手研究 (B)	MLL/AF4 陽性 ALL の SI00A6 抑制による新規治療開発	玉井勇人	日本医科大学
稲垣恭子	内分泌糖尿病代謝内科学分野・付属病院糖尿病・内分泌代謝内科	分担	厚生労働省科研費補助金	家族性高コレステロール血症に関する研究	石橋 俊	自治医科大学
長尾元嗣	内分泌糖尿病代謝内科学分野・付属病院糖尿病・内分泌代謝内科	代表分担	科学研究費補助金 盤研究 (C)	メタボリックシンドローム発症と摂食行動：新規モデルマウスを用いた解析	杉原 仁	日本医科大学
長尾元嗣	内分泌糖尿病代謝内科学分野・付属病院糖尿病・内分泌代謝内科	代表分担	喫煙科学研究財団 研究助成	ニコチン投与母ラットあるいは父ラットからの出生仔における成長後の耐糖能異常の検討	杉原 仁	日本医科大学
弦間昭彦, 清家正博, 山本和男, 宮永晃彦, 千葉美佳	内分泌糖尿病代謝内科学分野・千葉北総病院内分泌内科 呼吸器内科学分野・付属病院呼吸器内科, 化学療法科	代表	科学研究費補助金 芽研究	神経経済学的適応障害としての2型糖尿病の行動経済学的分析	江本直也	日本医科大学
	呼吸器内科学分野・付属病院呼吸器内科, 化学療法科	代表分担	丸山記念研究助成金	悪性胸膜中皮腫の新規治療的バイオマーカー探索	武内 進	
勝長範之	呼吸器内科学分野・武蔵小杉病院腫瘍内科	代表	若手研究者奨励助成金	EGFR チロシinkinナーゼ阻害薬耐性化メカニズムに関する研究	武内 進	
	呼吸器内科学分野・武蔵小杉病院腫瘍内科	分担	科学研究費補助金 特定領域研究	充実したがんサバイブシップに向けた多角的支援モデルの開発に関する研究	高橋 都	国立がん研究センター がん対策情報センター

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
岸 泰宏	精神・行動医学分野・付属病院精神神経科・武蔵小杉病院精神科・千葉北総病院メンタルヘルス科	分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	神経炎症を視点にしたせん妄の予測、予防、治療に関する総合研究	八田耕太郎	順天堂大学
舘野 周	精神・行動医学分野・付属病院精神神経科・武蔵小杉病院精神科・千葉北総病院メンタルヘルス科	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	トバミントラントスポンターPETによる妄想の病態解明と客観的評価法の開発研究	舘野 周	
肥田道彦	精神・行動医学分野・付属病院精神神経科・武蔵小杉病院精神科・千葉北総病院メンタルヘルス科	代表分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	非侵襲的脳機能画像法を用いた歯科恐怖症に対する効果的な認知行動技法の定量的評価	苅部洋行	日本歯科大学生命歯学部 小児歯科学講座
大久保善朗	精神・行動医学分野・付属病院精神神経科・武蔵小杉病院精神科・千葉北総病院メンタルヘルス科	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (B)	アミロイド関連うつ病の分子イメージング	大久保善朗	
大久保善朗	精神・行動医学分野・付属病院精神神経科・武蔵小杉病院精神科・千葉北総病院メンタルヘルス科	主任	厚生労働省科研費補助金	高齢者うつ病の病態診断と治療評価のためのイメージングバイオマーカーの開発と実用化	大久保善朗	
大久保善朗	精神・行動医学分野・付属病院精神神経科・武蔵小杉病院精神科・千葉北総病院メンタルヘルス科	代表分担	科学研究費補助金 特定領域研究	認知症におけるデフォルトモードネットワーク異常に関する分子イメージング研究	肥田道彦	日本医科大学精神医学教室
Pawankar R	小児・思春期医学分野・付属病院小児科・武蔵小杉病院周産期・小児医療センター(小児科, 小児外科, 新生児内科)・多摩永山病院小児科・千葉北総病院小児科	分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	乳幼児早期マウスへの抗生剤投与の自然リンパ球への影響と喘息との関連	山西慎吾	
Pawankar R	小児・思春期医学分野・付属病院小児科・武蔵小杉病院周産期・小児医療センター(小児科, 小児外科, 新生児内科)・多摩永山病院小児科・千葉北総病院小児科	分担	科学研究費補助金 若手研究 (B)	小児喘息の phenotype-endotype に寄与するバイオマーカーの解明	林 美雪	
	小児・思春期医学分野・付属病院小児科・武蔵小杉病院周産期・小児医療センター(小児科, 小児外科, 新生児内科)・多摩永山病院小児科・千葉北総病院小児科	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	マウスモデルを用いたトキソプラズマ感染と注意欠陥多動症の検討	浅野 健	
	小児・思春期医学分野・付属病院小児科・武蔵小杉病院周産期・小児医療センター(小児科, 小児外科, 新生児内科)・多摩永山病院小児科・千葉北総病院小児科	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	乳幼児早期マウスへの抗生剤投与の粘膜自然リンパ球への影響と喘息との関連	山西慎吾	
	小児・思春期医学分野・付属病院小児科・武蔵小杉病院周産期・小児医療センター(小児科, 小児外科, 新生児内科)・多摩永山病院小児科・千葉北総病院小児科	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	造血幹細胞移植における脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた細胞療法の可能性の検討	早川 潤	放射線科
	小児・思春期医学分野・付属病院小児科・武蔵小杉病院周産期・小児医療センター(小児科, 小児外科, 新生児内科)・多摩永山病院小児科・千葉北総病院小児科	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	単分散系エマルジョンを用いた革新的薬剤送達系に関する基礎的検討	安井大祐	日本医科大学放射線科
能勢隆之	臨床放射線医学分野・付属病院放射線科, 放射線治療科	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	3次元タキングMRIを用いた心不全の予後予測	天野康雄	国立がん研究センター
	臨床放射線医学分野・多摩永山病院放射線治療科	分担	平成27年度厚生労働省科学研究費革新的がん医療実用化研究事業伊丹班	トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高変化の研究：加速乳房部分照射法	伊丹 純	
	皮膚粘膜病態学分野・付属病院皮膚科	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	アトピー性皮膚炎および乾癬の遺伝要因の研究	佐伯秀久	皮膚科

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
佐伯秀久	皮膚粘膜病態学分野・付属病院皮膚科	分担	厚生労働省科研費補助金	アトピー性皮膚炎の診療の均てん化のための大規模疫学調査と診療ガイドライン・連携資料の作成	加藤則人	京都府立医科大学皮膚科
森田明夫	皮膚粘膜病態学分野・付属病院皮膚科	代表	科学研究費補助金 (B)	Nestin siRNAによるメラノーマの腫瘍抑制効果について	秋山美知子	
	心臓血管科学分野・付属病院心臓血管外科・千葉北総病院胸部・心臓血管外科	代表	科学研究費補助金 (C)	ダブルポテンシャル法を応用した低侵襲心房細動手術の確立	新田 隆	
	脳神経外科学分野・付属病院脳神経外科	代表	内閣府革新的研究開発推進プログラム「Im-PACT」	内視鏡下頭蓋底手術を安全におこなうためのスマートフォンと手術手技評価方法の開発	原田香奈子	東京大学
田原重志	脳神経外科学分野・付属病院脳神経外科	分担	厚生労働省科研費補助金	間脳下垂体機能障害における診療ガイドライン作成に関する研究	島津 章	国立病院機構京都医療センター臨床研究センター
森田明夫	脳神経外科学分野・付属病院脳神経外科	代表	科学研究費補助金 (C)	下垂体腺腫におけるグレムリン発現の意義に関する研究	吉田大蔵	付属病院脳神経外科
竹下俊行	脳神経外科学分野・付属病院脳神経外科	分担	科学研究費補助金 (S)	超微細手術のための汎用プラットフォーム開発とそれを交える超精密テクノロジーの追求	光石 衛	東京大学
中井章人	女性生殖産科産科	分担	厚生労働省科研費補助金	生殖補助医療に関する研究	苛原 稔	徳島大学
	女性生殖産科産科	分担	厚生労働省科研費補助金	地域格差是正を通じた周産期医療体制の将来ビジョン実現に向けた先行研究	田村正徳	埼玉医科大学総合医療センター
大久保公裕	頭頸部・感覚器科学分野・付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科・武蔵小杉病院耳鼻咽喉科・多摩永山病院耳鼻咽喉科・千葉北総病院耳鼻咽喉科	代表	科学研究費補助金 (C)	体系的ゲノムワイド解析にもとづく舌下免疫療法の有効性診断法の開発	後藤 稜	
大久保公裕	頭頸部・感覚器科学分野・付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科・武蔵小杉病院耳鼻咽喉科・多摩永山病院耳鼻咽喉科・千葉北総病院耳鼻咽喉科	分担	厚生労働省科研費補助金	スギエキスをを用いた舌下免疫療法による発症予防についての検討ースギ花粉感作陽性未発症者を対象とした2重盲検比較試験ー	岡本美孝	千葉大学
	頭頸部・感覚器科学分野・付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科・武蔵小杉病院耳鼻咽喉科・多摩永山病院耳鼻咽喉科・千葉北総病院耳鼻咽喉科	分担	科学研究費補助金 (特 定領域研究)	ナットウキナーゼブラセラ対照ランダム化2重盲検試験	藤枝重治	福井大学
	頭頸部・感覚器科学分野・付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科・武蔵小杉病院耳鼻咽喉科・多摩永山病院耳鼻咽喉科・千葉北総病院耳鼻咽喉科	代表	科学研究費補助金 (C)	老人性難聴とエピソードネックス-DNAメチル化とヒストン修飾の解析	渡邊健一	
	頭頸部・感覚器科学分野・付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科・武蔵小杉病院耳鼻咽喉科・多摩永山病院耳鼻咽喉科・千葉北総病院耳鼻咽喉科	代表	科学研究費補助金 (C)	難治性鼻副鼻腔炎症病態における局所粘膜での抗体産生に関する研究	松根彰志	
	頭頸部・感覚器科学分野・付属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科・武蔵小杉病院耳鼻咽喉科・多摩永山病院耳鼻咽喉科・千葉北総病院耳鼻咽喉科	代表	科学研究費補助金 (B)	新たな内耳性難聴治療法の開発 RNAiによる難聴原因蛋白 Cochlin の発現抑制	関根久遠	
	眼科学分野・付属病院眼科・武蔵小杉病院眼科・多摩永山病院眼科・千葉北総病院眼科	代表	科学研究費補助金 (C)	一般白内障手術における前房温度と角膜内皮障害	鈴木久晴	眼科学
	眼科学分野・付属病院眼科・武蔵小杉病院眼科・多摩永山病院眼科・千葉北総病院眼科	代表	科学研究費補助金 (C)	網膜酸化ストレス傷害に対する水素水点眼の効果	高橋 浩	眼科学

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
	眼科学分野・付属病院眼科・武蔵小杉病院眼科 眼科・多摩永山病院眼科・千葉北総病院眼科	代表	科学研究費補助金 手研究 (B)	角膜血管リノンパ管新生生における ICOS の働き	國重智之	眼科学
	眼科学分野・付属病院眼科・武蔵小杉病院眼科 眼科・多摩永山病院眼科・千葉北総病院眼科	代表	科学研究費補助金 手研究 (C)	眼組織の移植と再生のための眼免疫応答の制御	堀 純子	眼科学
	眼科学分野・付属病院眼科・武蔵小杉病院眼科 眼科・多摩永山病院眼科・千葉北総病院眼科	代表	国立研究開発法人科学技術振興機構、革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)	汎用型脳計測応用研究開発プログラム名「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」プログラム・マネージャー「山川 義徳」	小野眞史	眼科学
	疼痛制御麻酔科学分野・付属病院麻酔科・ペインクリニック	代表	科学研究費補助金 手研究 (C)	全身麻酔薬作用機序における分子生物学的検討	坂本篤裕	
	疼痛制御麻酔科学分野・付属病院麻酔科・ペインクリニック	代表	科学研究費補助金 手研究 (B)	In vitro イメージングを用いた吸入麻酔薬セボフルランの標的分子の探索	安齋めぐみ	
	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター	主任	厚生労働省 科研究費補助金	脳死患者の家族に選択肢提示を行う際の対応のあり方に関する研究	横田裕行	
荒木 尚	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター	分担	厚生労働省 科研究費補助金	脳死患者の家族に選択肢提示を行う際の対応のあり方に関する研究	横田裕行	日本医科大学大学院医学科 研究科
	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター	主任	厚生労働省 科研究費補助金	脳卒中や心筋梗塞に関する医療連携構築に関する研究	横田裕行	
横田裕行	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター	分担	厚生労働省 科研究費補助金	救急医療体制の推進に関する研究	山本保博	一般財団法人救急振興財 団
	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター	分担	厚生労働省 科研究費補助金	心臓突然死の生命予後・機能予後を改善させるための一般市民による AED の有効活用に関する研究	坂本哲也	帝京大学医学部救急医学 講座
横田裕行	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター	分担	日本医療研究開発委員会 研究開発費 (AMED)	臓器移植後成績向上のための、脳死臓器提供におけるドナー評価・管理システム・ガイドラインの作成	福嶋教華	国立研究開発法人国立循環器病研究センター 医療部
塚本剛志, 新井正徳, 横田裕行	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター	代表分担	科学研究費補助金 手研究 (C)	ショック後腸管リノンパ管液体生理活性および臓器障害に対するドナー評価・管理システム・ガイドラインの作成	増野智彦	
増野智彦, 横田裕行	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター	代表分担	科学研究費補助金 手研究 (C)	急性腸間膜虚血の早期診断および救命率向上に向けた治療戦略の構築	金 史英	
塚本剛志, 増野智彦, 横田裕行	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター	代表分担	科学研究費補助金 手研究 (C)	マウス腎虚血再灌流障害モデルにおける Egr-1 の役割	新井正徳	

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
増野智彦, 松居亮平, 横田裕行	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属 病院高度救命救急センター・武蔵小杉病 院救命救急センター・多摩永山病院救命 救急センター	代表分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	外傷後臓器障害発生における骨軟部組織損傷の 役割に関する研究	塚本剛志	
増野智彦	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属 病院高度救命救急センター・武蔵小杉病 院救命救急センター・多摩永山病院救命 救急センター	代表分担	科学研究費補助金 基盤研究 (B)	虚血再灌流病態を伴う外傷性脳内血腫に対する 術前急速導入低温療法の有効性の検討	横堀将司	
片山 映, 永野昌俊, 横田裕行	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属 病院高度救命救急センター・武蔵小杉病 院救命救急センター・多摩永山病院救命 救急センター	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	救急・集中治療における一般の脳死判定の現況 と患者対応に関する研究	荒木 尚	
横田裕行, 布施 明, 増野智彦, 栗本健太郎	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属 病院高度救命救急センター・武蔵小杉病 院救命救急センター・多摩永山病院救命 救急センター	代表分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	マイクロウェーブ照射による新しい脳損傷モデ ルの病態解析	布施 明	
五十嵐豊, 恩田昌敏, 山口昌敏, 栗本健太郎, 増野智彦, 横田裕行	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属 病院高度救命救急センター・武蔵小杉病 院救命救急センター・多摩永山病院救命 救急センター	代表分担	日本損害保険協会交通 事故医療に関する一般 研究助成	重症頭部外傷患者における Pupillometry を用い た脳幹機能の定量的評価と臨床的意義	横堀将司	
山田真吏 奈, 増野智 彦	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属 病院高度救命救急センター・武蔵小杉病 院救命救急センター・多摩永山病院救命 救急センター	代表	公益信託丸茂救急医学 研究振興基金	重症急性脳損傷におけるバイオマーカー測定を 用いた急性期治療戦略の確立	横堀将司	日本医科大学 救命
山田真吏 奈, 増野智 彦	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属 病院高度救命救急センター・武蔵小杉病 院救命救急センター・多摩永山病院救命 救急センター	代表	日本損害保険協会 特 定課題研究 2014-2015 年度	高齢者重症頭部外傷における機能転帰改善を指 向した集学的治療戦略の確立：日本頭部外傷 データベースプロジェクト2015による検討	横堀将司	
山田真吏 奈, 増野智 彦	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属 病院高度救命救急センター・武蔵小杉病 院救命救急センター・多摩永山病院救命 救急センター	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	臓器提供に関する本人、家族意思を反映し得る 脳死判定補助検査に関する研究	横田裕行	
山田真吏 奈, 増野智 彦	救急医学分野・付属病院救命救急科・付属 病院高度救命救急センター・武蔵小杉病 院救命救急センター・多摩永山病院救命 救急センター	代表	挑戦的萌芽研究	急性硬膜下血腫：幹細胞移植モデルを用いた急 性期ブレコング治療の確立	横堀将司	
松本 尚	救急医学分野・千葉北総病院救命救急セ ンター	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	血漿 microRNA 発現による骨折治癒遅延の新し い分子治療の解明	原 義明	独立行政法人国立病院機 構災害医療センター
松本 尚	救急医学分野・千葉北総病院救命救急セ ンター	分担	厚生労働省 科研費補助 金	東日本大震災の課題からみた今後の災害医療体 制の在り方に関する研究	小井土雄一	独立行政法人国立病院機 構災害医療センター
松本 尚	救急医学分野・千葉北総病院救命救急セ ンター	分担	厚生労働省 科研費補助 金	災害時における医療チームと関係機関との連携 に関する研究	小井土雄一	独立行政法人国立病院機 構災害医療センター
松本 尚	救急医学分野・千葉北総病院救命救急セ ンター	分担	科学研究費補助金 特定領域研究	首都圏直下地震に対応したDMATの戦略的医 療活動に必要な医療支援の定量的評価に関する 研究	定光大海	独立行政法人国立病院機 構大阪医療センター

研究者	所属	代表分担	補助・委託元	研究課題	代表研究者	代表研究者所属
渡邊 淳	付属病院付置施設等・ゲノム先端医療部	代表分担		全ゲノムシークエンクス時代の多施設共同研究における倫理課題に関する研究希少がんの発生に 関与する遺伝要因の解明のための多施設共同研 究体制の構築と関与遺伝子の探索	塚田俊彦	国立がん研究センター
櫻村正美, 北村 伸, 山本 卓	武蔵小杉病院付置施設等・武蔵小杉病院 認知症センター	代表分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	高齢者の「反社会的」行動に関する研究-医療・ 福祉・司法からの多面的アプローチ	野村俊明	医療心理学教室
野村俊明	武蔵小杉病院付置施設等・武蔵小杉病院 認知症センター	分担	科学研究費補助金 基盤研究 (B)	高齢者支援のための心理社会的介入プログラムの 開発	櫻村正美	医療心理学教室
上村尚美, Wolf M.A, 井内勝哉, 西 榎 貴 代 美, 一宮治 美, 横田 隆	先端医学研究所・細胞生物学分野	代表分担	科学研究費補助金 基盤研究 (B)	健康増進と疾病予防に寄与する分子状水素の多 様な機能を発揮するメカニズムの解明	太田成男	大学院医学研究科
太田成男, Wolf M.A, 井内勝哉	先端医学研究所・細胞生物学分野	代表分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	水素分子の糖尿病改善効果と遺伝子発現誘導に おける作用機序の解明	上村尚美	
太田成男	先端医学研究所・細胞生物学分野	代表	科学研究費補助金 特定領域研究	水素分子による酸化ストレス防御機構と脳内レ ドックス動態の解析	西榎貴代美	
太田成男	先端医学研究所・細胞生物学分野	代表	科学研究費補助金 手研究 (B)	ミトコンドリア生体分子の化学修飾に着目した 水素の抗炎症作用メカニズムの解明	井内勝哉	
太田成男	先端医学研究所・細胞生物学分野	代表	科学研究費補助金 手研究 (B)	エビジェネティクス制御からみた水素の抗炎症 作用のメカニズム	Lee Hyun- jin	日本医科大学スポーツ科 学
太田成男	先端医学研究所・細胞生物学分野	代表分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	グルココルチコイドは高強度運動による海馬で の神経新生の増加を引き起こす要因か否か	三上俊夫	
太田成男	先端医学研究所・細胞生物学分野	代表分担	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	脂肪肝～肝発癌の病期に応じた最適な酸化スト レス介入方法の開発	高木章乃夫	岡山大学大学院歯薬学総 合研究科
太田成男	先端医学研究所・細胞生物学分野	代表分担	科学研究費補助金 特定領域研究	タウリンによる MELAS 脳卒中様発作再発抑制 療法の実用化	砂田芳秀	川崎医科大学
	医学教育センター	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	医療面接実習において学生が行動変容を来たす 模擬患者のフィードバック手法の特定	阿曾亮子	
	医学教育センター	代表	科学研究費補助金 手研究 (B)	医療系学生の臨床推論能力を高めるムラージュ 教材の開発	井上千鹿子	
	医学教育センター	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	女性医師の継続就労を可能にする要因について	海原純子	
	医学教育センター	代表	科学研究費補助金 基盤研究 (C)	市民と共に学ぶ医療を実現する次世代模擬患者 養成プログラム開発に関する研究	藤倉輝道	
藤倉輝道	医学教育センター	分担	科学研究費補助金 基盤研究 (B)	法専門職の再定義と臨床法教育の研究	宮川成雄	早稲田大学大学院法務研 究科

6) 平成27年度学術受賞一覧

受賞者	所属	受賞者区分	受賞学術賞名	受賞研究名・論文	受賞団体	年	月
武藤三千代	スポーツ科学	個人	日本体育学会第66回大会測定評価領域優秀発表	ラジオ体操を励行している高齢者の生活習慣について	日本体育測定評価学会	2016	2
Kawaguchi Y	代謝・栄養学分野	個人	Royal Society of Chemistry Books Prize	The role of Asp428 in the reactivity of xanthine dehydrogenase	IX Molybdenum & Tungsten Enzymes Conference 2015	2015	9
三宅紀子	分子遺伝医学分野	個人	日本遺伝子治療学会 学術奨励賞	Trans-BBB gene therapy for metachromatic leukodystrophy using self-complementary type 9 AAV vector	日本遺伝子治療学会	2015	7
岡田浩典	分子遺伝医学分野	個人	日本遺伝子治療学会 アンジェス賞	rAAV1 and 8-mediated induction of local OPMD histopathology in common marmoset	日本遺伝子治療学会	2015	7
石渡俊行, 吉村久 ¹⁾ , 松田陽子 ²⁾ , 鈴木妙子, 河本陽子, 川原清子, 石渡俊二 ³⁾ , 松下晃 ⁴⁾ , 中村慶春 ⁴⁾ , 内田英二 ⁴⁾ , 内藤善哉	(1)日本獣医生命科学大学病理学, (2)東京都健康長寿医療センター病理診断科, (3)近畿大学薬学部医療薬理学, (4)日本医科大学消化器外科)・統御機構診断病理学分野	個人	PanCAN Basic Research Award	癌瘍における線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR4) 発現と治療標的としての可能性	日本癌臓学会	2015	6
石渡俊行	統御機構診断病理学分野	個人	A 演説	癌幹細胞と上皮間葉転換を標的とした革新的な癌治療法の研究	一般社団法人日本病理学会	2015	11
西城由之	衛生学公衆衛生学分野	個人	第38回日本高血圧学会総会 Reserch Awards	健康集団における経緯喫煙及び禁煙による高血圧発症リスク：体重変化の影響を考慮した検討	日本高血圧学会	2015	10
齋藤典恒徳	循環器内科学分野・多摩永山病院内科, 循環器内科	個人	第10回高血圧と冠動脈疾患研究会研究賞	左室収縮障害を伴う高血圧性心疾患の心筋細胞障害およびオートトファジーの検出とその臨床的意義	2015	2015	12
須田 智	神経内科学分野・付属病院神経・脳血管内科	個人	優秀研究論文助成オープンセサミ賞	脳梗塞モデルにおけるバルプロ酸投与による脳保護効果の検討：1型糖尿病誘発動物を用いて	一般財団法人博慈会老人病研究所	2015	4
坂本悠記	神経内科学分野・付属病院神経・脳血管内科	個人	第8回脳血管山峰会 敢闘賞	Effects of stroke education using an animated cartoon and a manga on elementary school children.	脳血管山峰会	2015	7
野村浩一 ^{1,2)}	(1)医療法人 SHIODA 塩田病院 脳神経内科, (2)日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野)・神経内科学分野・付属病院神経・脳血管内科	個人	浦上賞	勝浦市における認知症早期発見・早期対応への取り組み：特定健康診査におけるスクリーニングの効果の検討	第5回日本認知症予防学会 学術集會	2015	9
須田 智	神経内科学分野・付属病院神経・脳血管内科	個人	同窓会医学研究助成金受賞	臨床実用化を目指した骨髄幹細胞を用いた 脳出血急性期治療の探索	日本医科大学 同門会	2016	5
山中 聡 ¹⁾	(1)日本医科大学 付属病院血液内科)・血液内科学分野・付属病院血液内科	個人	第48回老年者造血管器疾患研究会優秀演題賞	急性前骨髄性白血病39例における寛解前脳出血を来した5例の検討	2015	2015	11

受賞者	所属	受賞者区分	受賞学術賞名	受賞研究名・論文	受賞団体	年	月
厚川正則	消化器内科学分野・千葉北総病院消化器内科	個人	日本肝臓学会研究奨励賞	Serum 25-hydroxyvitamin D ₃ levels affect treatment outcome in pegylated interferon/ribavirin combination therapy for compensated cirrhotic patients with hepatitis C virus genotype 1b and high viral load	日本肝臓学会	2015	5
清家正博	呼吸器内科学分野・付属病院呼吸器内科, 化学療法科	個人	日本医科大学賞 (研究部門)	肺癌の Precision Medicine 実現に向けたトランスレーショナル研究		2015	3
肥田道彦 ¹⁾	(1) 日本医科大学精神医学教室)・精神・行動医学分野・付属病院精神神経科・武蔵小杉病院精神科・千葉北総病院メンタルヘルス科	個人	第23回世界心身医療学会学術総会 ベストポスター賞	Cross-cultural Differences in the Processing of Fearful and Painful Vocalizations by Japanese and Canadian Listeners		2015	8
肥田道彦 ¹⁾	(1) 日本医科大学精神医学教室)・精神・行動医学分野・付属病院精神神経科・武蔵小杉病院精神科・千葉北総病院メンタルヘルス科	個人	第29回英国神経精神学会学術総会	Mazindol effect on cerebral response to nonverbal affective vocalization in healthy individuals : An fMRI study		2016	2
Sekine T, Buck A, Delso G, Ter Voert E, Huellner M, Veit-Haibach P, Warrnock G	臨床放射線医学分野・付属病院放射線科, 放射線治療科	個人	2015th annual meeting of SNMMI	Evaluation of atlas-based MR-attenuation correction for integrated PET-MR in human brain by using PET-CT and PET-MR patient data	Second place, SNMMI	2015	6
Sekine T, Barbosa F, Burger I, Kuhn F, Veit-Haibach P, Schuthness G, Huellner M	臨床放射線医学分野・付属病院放射線科, 放射線治療科	個人	2015th annual meeting of E-ANM	PET/MR versus PET/CT in the Initial Staging of Head and Neck Cancer	Highlight Lecture, E-ANM	2015	10
尾崎紗恵子, 船坂陽子, 大塚洋平, 伊藤路子, 長田真一, 上野孝, 岡村賢 ¹⁾ , 穂積豊 ¹⁾ , 鈴木民夫 ¹⁾ , 佐伯秀久	(1) 山形大学皮膚科学講座)・皮膚粘膜炎態学分野・付属病院皮膚科	個人	第114回日本皮膚科学学会総会ポスター賞	有色素性悪性黒色腫を生じた眼皮膚白皮症4型	日本皮膚科学会	2015	5
青山純也	心臓血管外科学分野・付属病院心臓血管外科・千葉北総病院胸部・心臓血管外科	個人	Young Investigator 's Award	多発性心室期外収縮に対する胸腔鏡心拍動下心外膜焼灼の一例	日本循環器学会 関東甲信越地方会	2016	2
服部裕次郎	脳神経外科学分野・付属病院脳神経外科	個人	第42回日本神経内分泌学会・第23回日本行動神経内分泌研究会合同学術集会トラベルグラント			2015	
大久保敦	整形外科学分野・付属病院整形外科・リウマチ外科, 武蔵小杉病院整形外科, 多摩永山病院整形外科, 千葉北総病院整形外科	個人	第63回東日本整形災害外科学会学術奨励賞	肩関節拘縮における上肢拳上時の体幹重心移動に関する検討	東日本整形災害外科学会	2015	9
稲垣知子	女性生殖発達病態学分野・武蔵小杉病院女性診療科・産科	個人	第130回関東連合産科婦人科学会学術集会 若手優秀演題賞	術前診断に難渋した卵巣成熟性奇形腫破裂の1症例		2015	10
角田陽平	女性生殖発達病態学分野・武蔵小杉病院女性診療科・産科	個人	第130回関東連合産科婦人科学会学術集会 若手優秀演題賞	帝王切開後に急性心不全を発生した二絨毛膜二羊膜性双胎の1例		2015	10

受賞者	所属	受賞者区分	受賞学術賞名	受賞研究名・論文	受賞団体	年	月
高屋 茜	女性生殖発達病態学分野・武蔵小杉病院女性診療科・産科	個人	平成27年度日本医科大学産婦人科学教室同窓会医学研究奨励賞	卵巣癌プロテオーム解析による新規バイオマーカーの探索		2016	2
横堀将司	救急医学分野・付属病院救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター	個人	日本医科大学 大学賞(研究部門)	「脳損傷患者に対する術前早期導入脳低温療法に関する橋渡し研究と血管内冷却法を用いた臨床研究」	日本医科大学	2015	4
本村友一, 松本 高, 益子 邦洋	救急医学分野・千葉北総病院救命救急センター	個人	最優秀演題賞	日本とドイツの交通事故実態調査データの閾値決定と精度検証	日本外傷学会	2015	6
石川博敏 ¹⁾ , 益子邦洋 ²⁾ , 本村友一	(1)HEM-Net, ²⁾ 南多摩病院)・救急医学分野・千葉北総病院救命救急センター	グループ	MCPC award 2015 ユーザー部門 モバイルパブリック賞	世界初の新たな交通事故救命の実現：日本版「先進事故自動通報システム」	NPO 法人救急ヘリ病院ネットワーク (HEM-Net) AACN 研究会	2015	10
坪井昭典 ¹⁾ , 西本哲也 ¹⁾ , 本村友一	(1)日本大学工学部)・救急医学分野・千葉北総病院救命救急センター	個人	ベスト・ペーパー賞	交通事故実態調査に基づく腹部傷害の解析	日本医科大学・日本大学交通事故調査チーム	2016	3
梅澤裕己 ¹⁾	(1)日本医科大学付属病院形成外科・美容外科	個人	第1回日本医科大学形成外科学教室同門会賞			2015	7
小野真平 ¹⁾ , 小川 令 ¹⁾	(1)日本医科大学付属病院形成外科・美容外科	グループ	第83回日本医科大学医学会総会 優秀演題賞	きれいな手指は患者のQOLを向上させる：ヘパードン結節の整容再建	小野真平, 小川 令	2015	9
小川 令 ¹⁾ , 赤石論史 ¹⁾ , 黄晨暎 ¹⁾ , 土肥輝之 ¹⁾ , 青木雅代 ¹⁾ , 大森康高 ¹⁾ , 小池幸子 ¹⁾ , 河邊京子 ¹⁾ , 秋元正宇 ²⁾ , 百東比古 ¹⁾	(1)日本医科大学付属病院形成外科・美容外科, ²⁾ 日本医科大学千葉北総病院形成外科・形成再建再成再建再生医学分野・付属病院形成外科	グループ	第83回日本医科大学医学会総会 優秀論文賞	Clinical Applications of Basic Research that Shows Reducing Skin Tension Could Prevent and Treat Abnormal Scarring: The Importance of Fascial/Subcutaneous Tensile Reduction Sutures and Flap Surgery for Keloid and Hypertrophic Scar Reconstruction	小川 令, 赤石論史, 黄晨暎, 土肥輝之, 青木雅代, 大森康高, 小池幸子, 河邊京子, 秋元正宇, 百東比古	2015	9
柘植琢哉 ¹⁾ , 佐野仁美 ¹⁾ , 小川 令 ¹⁾	(1)日本医科大学付属病院形成外科・美容外科	グループ	日本形成外科学会基礎学術集会「学生・研修医によるスタートアップセッション」最優秀賞	メカニカルフォースに対するリンパ管内皮細胞応答：リンパ浮腫の病態解明と新しい治療開発を目標として	柘植琢哉, 佐野仁美, 小川 令	2015	10
根本留美 ¹⁾ , 稲垣千草 ¹⁾ , 川西智也 ¹⁾ , 井上志津子 ¹⁾ , 長久美江子 ¹⁾ , 並木香奈子 ¹⁾ , 石渡明子 ²⁾ , 野村俊明 ²⁾ , 北村 伸 ¹⁾	(1)日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院神経内科, ³⁾ 日本医科大学医療心理学教室・武蔵小杉病院認知症センター	個人	日本認知症ケア学会 石崎賞	地域臨床における家族支援についての一考察：家族相談の類型化とそこから見えてきたニーズを通じて	一般社団法人日本認知症ケア学会	2015	5
柳田裕美 ¹⁾ , 細根 勝 ¹⁾ , 片山博徳 ¹⁾ , 磯部宏昭 ¹⁾ , 川野記代子 ¹⁾ , 岩瀬裕美 ¹⁾ , 日吾栄栄子 ¹⁾ , 新井 悟 ¹⁾ , 前田昭太郎 ^{1,3)} , 内藤善哉 ²⁾	(1)多摩永山病院 病理診断科・病理部, ²⁾ 病理学 統御機構・腫瘍学, ³⁾ LSIメデイエンス)・多摩永山病院付施設部 等	個人	日本臨床細胞学会優秀演題賞	細胞診材料における術中迅速細胞免疫染色が有用であった Germinaloma の1例	日本臨床細胞学会	2015	11

受賞者	所属	受賞者区分	受賞学術賞名	受賞研究名・論文	受賞団体	年	月
Yanagida Y, Hosone M, Katayama H, Sugano Y ¹⁾ , Maeda S ²⁾ , Naito Z ³⁾	(¹)Nippon Medical School third-year student, (²)Mitsubishi Chemical Medicine, Pathology and Cytology Center, (³)Dept. of Integrative Pathology of Nippon Medical School)・多摩永山病院付置施設等・多摩永山病院病理部	個人	The First Prize of The 23rd Thai-Japanese Workshop in Diagnostic Cytopathology in the poster contest	A case of pineal germinoma diagnosed by intraoperative combined analysis on histology and cytology with rapid immunocytochemistry	Thai-Japanese Workshop in Diagnostic Cytopathology	2016	1
Sugano Y ¹⁾ , Hosone M, Katayama H, Yanagida Y, Maeda S ²⁾ , Naito Z ³⁾	(¹)Nippon Medical School third-year student, (²)Mitsubishi Chemical Medicine, Pathology and Cytology Center, (³)Dept. of Integrative Pathology of Nippon Medical School)・多摩永山病院付置施設等・多摩永山病院病理部	個人	The Second Prize of The 23rd Thai-Japanese Workshop in Diagnostic Cytopathology in the poster contest	Claudin-1 and claudin-4 expression in adenocarcinoma, malignant mesothelioma, and reactive mesothelial cells from cytological specimens of pleural effusion	Thai-Japanese Workshop in Diagnostic Cytopathology	2016	1
八木 孝 ^{1,2)}	(¹)国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター分子代謝制御研究部, (²)日本医科大学 大学院 生体機能制御科学)・先端医学研究所・生体機能制御学分野	個人	若手研究奨励賞	肝臓特異的な脂肪酸合成酵素の欠損は ob/ob マウスの脂肪肝と耐糖能を改善するが随時高血糖を惹起する	日本内分泌学会	2015	4
石川真由美 ¹⁾	(¹)日本医科大学武蔵小杉病院内分泌・糖尿病・動脈硬化内科学)・先端医学研究所・生体機能制御学分野	個人	優秀演題賞	陸島の加齢変化における成長ホルモン	日本ヒト細胞学会	2015	8
八木 孝 ^{1,2)}	(¹)国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター分子代謝制御研究部, (²)日本医科大学 大学院 生体機能制御科学)・先端医学研究所・生体機能制御学分野	個人	若手研究奨励賞	脂肪肝合併2型糖尿病の病態における肝臓の脂肪酸合成酵素の役割の解明	分子糖尿病学研究会	2015	12
須田匡也 ¹⁾	健診医療センター	個人	日本心臓核医学会学会賞(技術部門)	心臓核医学領域における time-of-flight PET の有用性に関する研究	日本心臓核医学会	2015	6

7) 平成27年度知的財産一覧(特許権)

発明者	所属	発明の名称	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	特許番号 (登録日)	出願人
赤阪裕子, 鈴木秀典	薬理学分野	神経因性疼痛用鎮痛剤	特願 2011-125089 2011/6/3	特開 2012-250936 2012/12/20	特許第 5782299 号 2015/7/24	株式会社ミノフアーンゲン 製薬学校法人日本医科大 学
西昭徳, 小林克典, 宮川剛, グリーンガードポール	薬理学分野	うつ病治療のための併用剤	特願 2013-543442 2012/3/22	特表 2014-514244 2014/6/19	特許第 5828345 号 2015/10/30	学校法人久留米大学学校 法人日本医科大学学校法 人藤田学園サ ロックフェ ラー ユニバーシティ
和田啓男, 神野清勝, 齋戸美弘, 大野曜吉, 林田真喜子	法医学分野	薬物の簡易分析方法 (SIMPLE ANALYSIS METHOD OF DRUGS)	CA2601120 2006/3/14	CA2601120 2006/9/21	CA2601120 2015/11/24	信和化工株式会社 (SHIN- WA CHEMICAL INDUS- TRIES LTD), 豊橋技術科 学大学 (UNIVERSITY CORPORATION TOYO- HASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY), 学校法 人日本医科大学 (NIPPON MEDICAL SCHOOL FOUNDATION)
和田啓男, 神野清勝, 齋戸美弘, 大野曜吉, 林田真喜子	法医学分野	薬物の簡易分析方法 (SIMPLE ANALYSIS METHOD OF DRUGS)	11/886,223		US9,097,693B2 2015/8/4	信和化工株式会社 (SHIN- WA CHEMICAL INDUS- TRIES LTD), 豊橋技術科 学大学 (UNIVERSITY CORPORATION TOYO- HASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY), 学校法 人日本医科大学 (NIPPON MEDICAL SCHOOL FOUNDATION)
小池薫, 平川慶子, 大野曜吉, 森山剛, 森川秀行, 村木秀樹	法医学分野	混合物試料の特性を表現する方法, 混合物試料の特性を評価する方法, 混合物試料の属性を識別する方法, および混合物試料に由来する電磁波信号を処理する方法	特願 2013-255181 2013/12/10	特開 2015-114157 2015/6/22		国立大学法人京都大学, 学 校法人日本医科大学, 学校 法人東京工業大学, 株式会 社ユニフローエス
吉田大蔵, 武井次郎	脳神経外科学分野・付 属病院脳神経外科	トランスフェクション剤	特願 2010-526725 2008/8/6	WO2010/024262 2009/3/4	特許第 5606318 号 2015/9/5	株式会社スリー・ディー・ マトリックス, 学校法人日 本医科大学
吉田大蔵, 武井次郎	脳神経外科学分野・付 属病院脳神経外科	トランスフェクション剤	13,058,880		9,133,484 2015/9/15	
太田成男・室田渉・大澤郁朗	先端医学研究所・細胞 生物学分野	生体内の有害な活性酸素及び/またはフリーラジカル除去剤	PCT/JP2006/316665 2006/8/18	WO2007/021034 A1 2010/11/18	9050278 2015/6/9	太田成男・室田渉・大澤郁 朗

2. 動物実験実施状況

1) 平成27年度教室別動物実験実施実施予定者数, 実験計画書(課題)数および使用動物数(平成27年4月~平成28年3月)

教室名	予定者数	受講者数	課題数
[基礎医学(武蔵境校舎)]			
生物学	3	4	3
スポーツ科学	6	5	2
小計	9	9	5
[基礎科学]			
分子解剖学	9	7	3
解剖学・神経生物学	20	18	17
感覚情報科学	26	13	6
生体統御科学	9	9	7
代謝・栄養学	15	12	4
分子遺伝医学	31	23	7
薬理学	17	18	7
解析人体病理学	11	13	11
統御機構病理学	18	12	2
微生物学・免疫学	23	21	14
衛生学公衆衛生学	6	6	1
法医学	17	13	4
形態解析共同研究施設	2	2	1
実験動物管理室	16	17	5
基礎RI研究室	0	1	0
小計	220	185	89

実験予定者の合計	394
講習会受講者数の合計	457
課題数の合計	199

実験予定者計: 394名 講習会受講者計: 457名 実験課題数計: 199題 (研究課題提出者の所属が2教室ある場合は重複計数)

使用数	マウス	ラット	モルモット	ウサギ	ネコ	ブタ	サル	サカナ	カエル
	11,095	6,020	7	158	1	0	3	102	638

科名	予定者数	受講者数	課題数
[附属病院]			
循環器内科学	10	1	6
神経内科学	1	8	2
腎臓内科学	1	12	1
血液内科学	3	3	1
消化器内科学	9	10	1
内分泌糖尿病代謝内科学	9	12	3
呼吸器内科学	2	2	3
アレルギー・膠原病内科	8	12	3
小児・思春期医学	5	6	1
皮膚粘膜炎病態学	5	9	3
疼痛制御麻酔科学	6	6	7
臨床放射線医学	3	3	3
呼吸器外科学	6	3	1
消化器外科学	8	8	3
心臓血管外科学	7	11	8
脳神経外科学	1	1	1
乳癌外科	6	7	2
眼科学	2	2	2
頭頸部・感覚器科学	14	22	4
女性生殖発達病態学	12	3	6
リウマチ科	0	1	1
形成再生医学	110	187	53
整形外科学	12	10	6
救命医学	0	3	3
ワクチン療法			
生命科学研究センター			
小計	110	187	53

科・部門・教室名	予定者数	受講者数	課題数
[武蔵小杉病院]			
内分泌科	0	7	5
神経内科	3	3	1
血管内・低侵襲治療センター	3	3	3
小児科	1	1	1
小計	0	7	5
[多摩永山病院]			
小児科	3	3	1
循環器内科	3	3	1
呼吸器内科	1	1	1
消化器科	2	2	2
外科	2	2	2
女性診療科	2	2	2
眼科	2	2	2
病理部	2	2	2
放射線科	2	2	2
耳鼻科	1	1	1
小計	4	17	2
[千葉北総病院]			
循環器内科	2	2	1
小児科	2	2	1
救急救命センター	5	7	3
心臓血管外科	1	1	1
外科	3	3	2
脳神経外科	2	2	1
小計	14	17	8
[先端医学研究所]			
病態解析学	2	2	1
細胞生物学	11	10	10
遺伝子制御学	14	14	21
生体機能制御学	10	9	5
小計	37	35	37

2) 平成27年度千駄木地区実験動物飼育施設動物種別飼育室別稼働率(ケージ数を基に算出(%))

丸山記念研究棟

動物種	飼育室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
マウス・ ハムスター・ スナネズミ	SPF 動物飼育室	35.8	41.1	45.3	48.1	38.6	33.3	37.8	39.2	40.3	42.5	45.3	50.3	41.5
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	P1A クリーン動物飼育室	10.5	17.3	20.7	20.7	23.2	21.0	20.7	22.4	24.8	28.1	27.5	29.1	22.2
ラット	SPF 動物飼育室	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	P1A クリーン動物飼育室	5.4	12.8	8.8	8.8	10.1	8.8	8.1	14.9	14.9	18.2	18.9	16.9	12.2
モルモット		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ウサギ イヌ・ブタ 魚	クリーン動物飼育室	0.0	6.7	36.7	16.0	10.0	3.3	3.3	3.3	10.0	3.3	43.3	90.0	18.8
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	57.1	19.0

大学院研究棟

動物種	飼育室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
マウス・ ハムスター・ スナネズミ	SPF 動物飼育室	67.5	68.3	64.8	65.9	66.5	65.1	63.8	60.8	64.2	59.2	61.5	53.2	63.4
	P3A 感染動物飼育室	1.0	0.0	4.2	4.2	9.4	3.1	9.4	13.5	7.3	9.4	17.7	10.4	7.5
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室	51.4	53.3	55.2	55.7	54.3	49.0	48.6	48.6	51.0	52.9	54.3	55.7	52.5
	P1A クリーン動物飼育室	48.5	42.3	40.5	41.3	40.0	39.2	42.3	45.6	42.6	39.5	38.5	38.5	41.6
ラット	SPF 動物飼育室	64.7	73.3	74.0	72.0	68.0	68.0	71.3	74.7	58.7	56.7	74.0	65.3	68.4
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	P1A クリーン動物飼育室	35.6	39.4	48.9	53.3	51.1	52.2	61.1	55.0	50.0	57.8	58.9	51.7	51.3
ウサギ・モルモット		5.0	8.0	15.0	8.0	6.7	13.3	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	8.0

3) 平成27年度千駄木地区実験動物飼育施設動物種別飼育室別搬入数

丸山記念研究棟

動物種	飼育室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
マウス	SPF 動物飼育室	457	73	98	83	91	50	60	66	47	62	33	120	1,240
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PIA クリーン動物飼育室	421	158	166	117	224	272	146	140	114	475	381	410	3,024
ハムスター	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラット	SPF 動物飼育室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PIA クリーン動物飼育室	60	53	61	129	64	38	20	31	44	46	38	56	640
モルモット		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウサギ		2	8	8	8	0	0	0	0	2	0	20	17	65
イヌ	クリーン動物飼育室	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ブタ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚		0	10	8	0	13	0	0	0	0	0	0	25	56

大学院研究棟

動物種	飼育室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
マウス	SPF 動物飼育室	396	281	333	239	349	256	246	227	253	229	348	254	3,411
	P3A 感染動物飼育室	0	0	11	21	23	2	15	1	25	32	2	0	132
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室	67	67	88	79	71	113	65	88	58	94	62	80	932
	PIA クリーン動物飼育室	155	144	204	210	50	124	171	131	70	176	107	175	1,717
ラット	SPF 動物飼育室	71	61	16	51	13	79	73	37	10	48	61	94	614
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PIA クリーン動物飼育室	137	92	83	111	59	155	66	59	76	211	131	109	1,289
ウサギ	PIA クリーン動物飼育室	2	19	23	10	9	0	4	4	3	0	0	0	74
モルモット		0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

4) 平成27年度千駄木地区実験動物飼育施設動物種別飼育室別搬出数

丸山記念研究棟

動物種	飼育室												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
マウス	14	24	49	188	176	22	35	60	39	40	26	133	806
	SPF 動物飼育室												
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室												
	41	157	137	164	270	225	139	103	146	402	292	290	2,366
	PIA クリーン動物飼育室												
ハムスター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室												
ラット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	SPF 動物飼育室												
	26	55	50	116	94	41	16	30	30	49	43	38	588
	PIA クリーン動物飼育室												
モルモット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウサギ	0	4	9	10	2	0	0	0	2	0	4	15	46
イヌ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ブタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚	0	2	0	0	1	1	0	10	9	0	0	0	23

大学院研究棟

動物種	飼育室												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
マウス	594	362	358	314	347	255	321	285	325	245	324	442	4,172
	SPF 動物飼育室												
	1	0	2	9	18	0	1	4	27	0	5	18	85
	P3A 感染動物飼育室												
	57	77	80	93	134	71	70	79	63	79	31	73	907
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室												
	440	188	166	166	103	70	147	192	178	132	167	129	2,078
	PIA クリーン動物飼育室												
ラット	28	56	26	92	6	59	32	91	60	18	18	90	576
	SPF 動物飼育室												
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室												
	81	55	73	122	78	108	127	80	70	183	114	128	1,219
	PIA クリーン動物飼育室												
ウサギ	7	16	26	9	2	6	4	3	3	0	0	0	76
モルモット	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

5) 平成27年度 千駄木地区実験動物飼育施設動物種別飼育室別延べ飼育数

丸山記念研究棟

動物種	飼育室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
マウス	SPF 動物飼育室	9,728	14,519	15,168	15,857	11,711	10,676	12,053	12,386	10,297	15,626	12,928	14,128	155,077
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	P1A クリーン動物飼育室	16,579	20,425	21,372	21,195	20,871	17,949	20,154	20,807	17,637	26,572	23,481	28,546	255,588
ハムスター	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラット	SPF 動物飼育室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	P1A クリーン動物飼育室	721	993	832	1,487	1,132	815	802	1,039	977	1,459	1,279	1,514	13,050
モルモット		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウサギ		16	67	227	147	85	30	31	30	58	37	221	692	1,641
イヌ	クリーン動物飼育室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ブタ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚		0	138	240	248	612	573	589	424	189	0	0	236	3,249

大学院研究棟

動物種	飼育室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
マウス	SPF 動物飼育室	41,382	41,808	37,587	40,013	39,504	36,220	37,403	33,817	28,146	38,027	31,642	29,739	435,288
	P3A 感染動物飼育室	20	0	270	546	357	162	613	532	469	1,170	1,330	1,038	6,507
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室	9,316	9,036	9,364	9,735	8,381	8,473	7,902	7,541	6,771	9,808	8,498	9,833	104,658
	P1A クリーン動物飼育室	16,106	16,301	16,015	19,235	17,734	17,095	19,242	17,568	13,290	19,061	15,308	16,092	203,047
ラット	SPF 動物飼育室	7,137	7,526	8,060	6,393	6,836	7,137	8,245	7,748	4,767	6,985	6,957	7,443	85,234
	P2A 遺伝子組み換え動物飼育室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	P1A クリーン動物飼育室	4,636	5,660	5,756	5,936	5,482	5,724	5,669	4,484	4,076	6,985	5,637	5,333	65,378
ウサギ	P1A クリーン動物飼育室	80	97	117	77	203	184	88	98	63	111	87	93	1,298
モルモット		0	22	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45

あ と が き

本年よりこの「日本医科大学研究業績年報」も世の中の医学雑誌と同様に印刷本としての発刊ではなく、オンライン版となりました。自分の経験からすると本が届くとバラバラとまず眺め、「はじめに」と「あとがき」が最初に目に入るものですが、オンライン版では皆様の眼に止まることも少ないかと存じます。本「日本医科大学研究業績年報」は皆様の研究発表および論文を執筆して頂いた結果を記しているわけですが、データ入力にご協力下さった各研究室の皆様、また取り纏めにご尽力下さった事務方の皆様に御礼申し上げます。

本年より日本学術振興会の科学研究費申請も大学教職員には、ある意味で義務化されております。つまり個人の教育研究費の独立化を図るために、学長のガバナンスにより日本学術振興会の科学研究費申請や獲得状況により研究室の教育研究費の差別化が成されます。先生方には日本学術振興会の科学研究費申請に限らず多くの競争的資金を得るためのデータベースとして本年報をご活用いただければ幸いです。

本年は日本学術振興会の科学研究費の獲得研究費も増加し、今後の日本医科大学における研究の発展が期待されております。また基礎医学の研究室における研究機器に関しても臨床系と共に使用し、効率化を図るべく変革をしております。今後は臨床系研究室の先生方も基礎医学の希望の機器をご使用して頂き益々研究を進展させていただきたく思います。その上で今後の「日本医科大学研究業績年報」も本年よりボリューム増に成ることを祈っております。皆様方の今後の研究の発展をお祈りしております。

平成 28 年 8 月

研究部長（研究部委員会委員長） 近藤 幸尋

平成28年 8 月 31 日 発 行

発 行 日 本 医 科 大 学
研 究 部 委 員 会

〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5
TEL 03 (3822) 2 1 3 1

印 刷 株 式 会 社 杏 林 舎

〒114-0024 東京都北区西ヶ原3-46-10
TEL 03 (3910) 4 3 1 1-5